

目 次

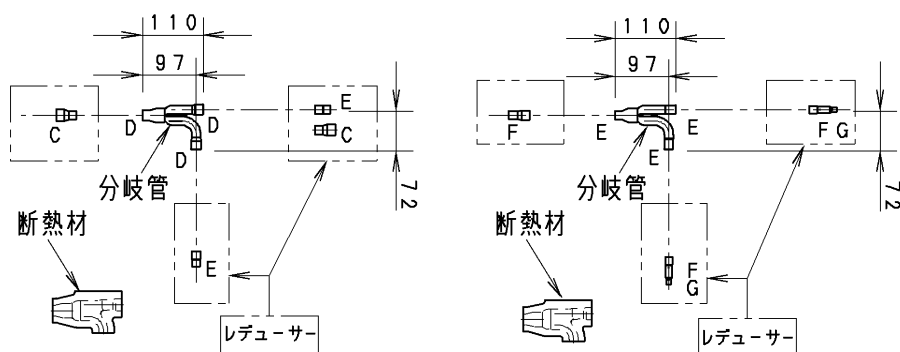
1. 別売部品一覧	F－	2
2. 冷媒関連部品		
(1) 分岐配管セット	F－	3
(2) ヘッダー配管セット	F－	5
(3) 外付電動弁キット		
1) ATK-SVRK36B	F－	7
2) ATK-SVRK56BN	F－	13
3) ATK-SVRK160B	F－	21
(4) ガス管弁キット	F－	29
(5) ボールバルブセット	F－	38
3. 室外ユニット関連部品		
(1) 排気延長キット	F－	39
(2) 単相キット	F－	41
4. 室内ユニット関連部品取付図	F－	45
5. 室内ユニット関連部品の仕様と据付		
(1) 4方向天井カセット形 (T1形)	F－	148
(2) 2方向天井カセット形 (S1形)	F－	227
(3) 1方向天井カセット形 (S1形)	F－	259
(4) 高天井用1方向カセット形 (S1形)	F－	280
(5) 天井ビルトインカセット形 (S2形)	F－	306
(6) ビルトインオールダクト形 (S2形)	F－	351
(7) 天井埋込形 (S1形)	F－	395
(8) 天井吊形 (T1形)	F－	438
(8) 天井吊形 (S1形)	F－	470
(9) 天吊形厨房用エアコン (S1形)	F－	523
(10) 床置プレナム形 (S1, S2形)	F－	524
(11) 床置ダクト形 (S2形)	F－	540
(12) 壁ビルトイン形 (S1, S2形)	F－	574
(13) 床置形ハイフレッシュ (S2形)	F－	594
(14) 天井埋込形ハイフレッシュ (S1形)	F－	601
(15) クリーンエアコン (S1形)	F－	625
(16) 1方向天井カセット スリム形 (T1形)	F－	633

部 品 名		室外ユニット
分岐配管セット		APR-P160B APR-P680B SGP-PCH1400K
ヘッダー配管セット		SGP-HCH280M SGP-HCH280K SGP-HCH560K
ボールバルブセット		SGP-BV710K SGP-BV355M SGP-BV450M BV-RXP335A BV-RXP280A BV-RXP224A BV-RXP160A SGP-BV56K BV-RP3
外付電動弁キット		ATK-SVRK36B ATK-SVRK56BN ATK-SVRK160B
ガス管弁キット		ATK-RX160A
排気延長キット		SGP-PEX560K
単相キット	224/280/355 形用	ACC-BM2M1-28
	450/560/710/850 形用	ACC-BM2M1-56

(1) 分岐配管セット

分岐後に接続される 室内ユニットの トータル容量(kW)	標準的な接続条件の場合			90m(相当長) < L1、または室外ユニットに対する 室内ユニットの容量比率が 130%を超える場合		
	APR— P160B	APR— P680B	SGP— PCH1400K	APR— P160B	APR— P680B	SGP— PCH1400K
～16.0	○	—	—	○	—	—
16.1～35.5	○	○	—	—	○	—
35.6～71.0	—	○	—	—	—	○
71.1～	—	—	○	—	—	○

1) APR—P160B

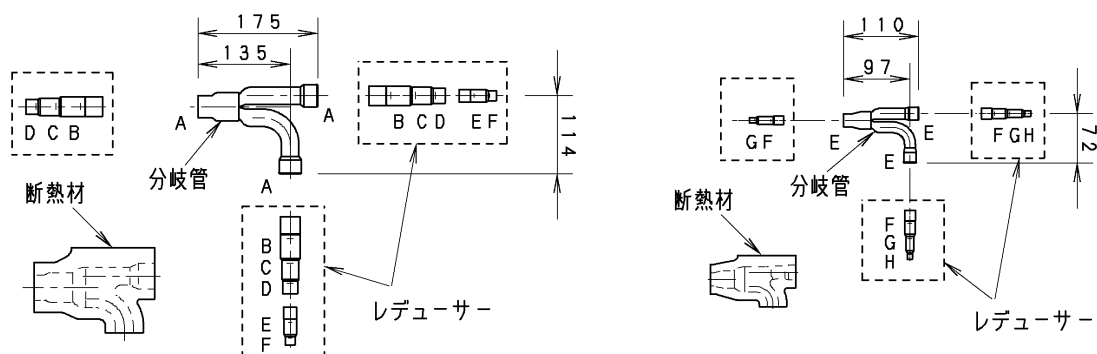


- 各部接続寸法（配管の内径を示す）

(mm)

位 置	C 部	D 部	E 部	F 部	G 部
寸 法	φ19.05	φ15.88	φ12.7	φ9.52	φ6.35

2) APR—P680B

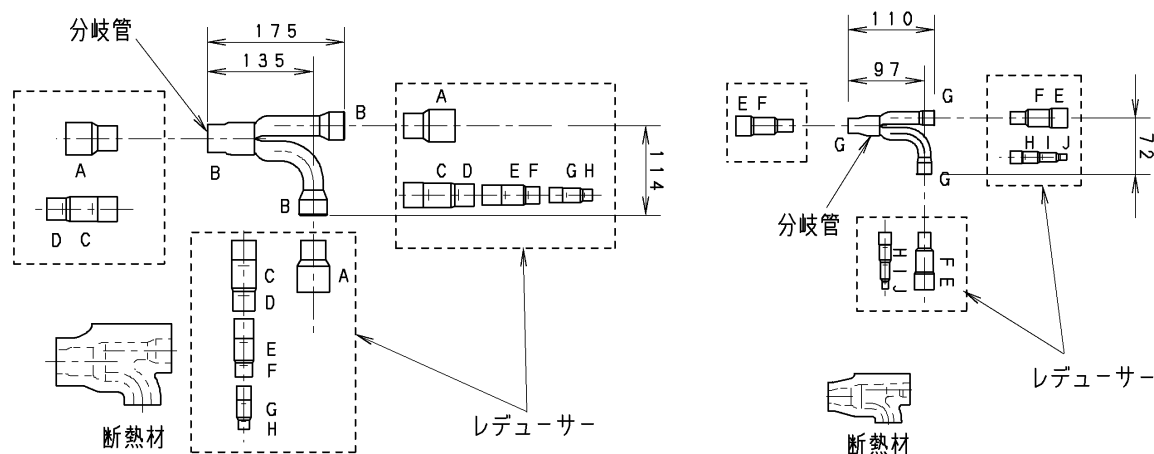


- 各部接続寸法（配管の内径を示す）

(mm)

位 置	A 部	B 部	C 部	D 部	E 部	F 部	G 部	H 部
寸 法	φ28.58	φ25.4	φ22.22	φ19.05	φ15.88	φ12.7	φ9.52	φ6.35

3) SGP-PCH1400K



- 各部接続寸法（配管の内径を示す）

(mm)

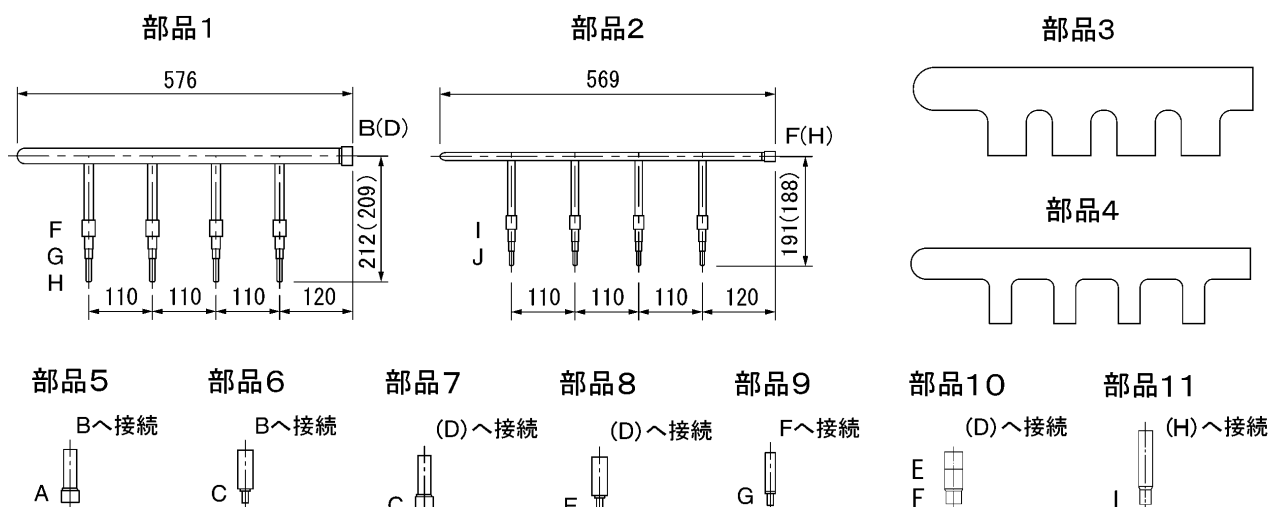
位 置	A 部	B 部	C 部	D 部	E 部	F 部	G 部	H 部	I 部	J 部
寸 法	φ38.1	φ31.75	φ28.58	φ25.4	φ22.22	φ19.05	φ15.88	φ12.7	φ9.52	φ6.35

(2) ヘッダー配管セット

分岐後に接続される 室内ユニットの トータル容量(kW)	標準的な接続条件の場合			90m(相当長)＜L1、または室外ユニットに対す る室内ユニットの容量比率が130%を超える場合		
	SGP－ HCH280M※2	SGP－ HCH280K	SGP－ HCH560K	SGP－ HCH280M※2	SGP－ HCH280K	SGP－ HCH560K
～16.0	○※1	—	—	○※1	—	—
16.1～28.0	○	○	—	○	○	—
28.1～45.0	—	○	—	—	—	○
45.1～	—	—	○	—	—	○

※1 現地にて、レデューサーの別途手配が必要です。

※2 受注対応品



*()はSGP-HCH280K・Mの寸法を示します。

●各部接続寸法（配管の内径を示す。）

(mm)

位置	A部	B部	C部	D部	E部	F部	G部	H部	I部	J部
寸法	φ38.1	φ31.75	φ28.58	φ25.4	φ22.22	φ19.05	φ15.88	φ12.7	φ9.52	φ6.35

	使用箇所	個数
部品1	ガス側ヘッダー配管	1
部品2	液側ヘッダー配管	1
部品3	部品1の断熱材	1
部品4	部品2の断熱材	1
部品5	レデューサー（HCH560Kに付属）	1
部品6	レデューサー（HCH560Kに付属）	1
部品7	レデューサー（HCH280Kに付属）	1
部品8	レデューサー（HCH280Kに付属）	1
部品9	レデューサー（HCH560Kに付属）	1
部品10	レデューサー（HCH280Mに付属）	1
部品11	レデューサー（HCH280Mに付属）	1

①SGP-HCH280M

- ガス管サイズがφ22.22の場合、部品1の(D)部に部品10をろう付してください。
- ガス管サイズがφ19.05の場合、部品1の(D)部に部品10をろう付してください。
- 液管サイズがφ9.52の場合、部品2の(H)部に部品11をろう付してください。
- 室内ユニットのトータル容量より選定された現地配管サイズに合わせたサイズ位置でパイプカッターで切断してください。(先端サイズと同一の場合は切断する必要はありません。)
- 切断はウチダボ部よりできるだけ長く離れた所で行ってください。
- 断熱材付属
- 1個あたり相当長0.5m

②SGP-HCH280K

- ガス管サイズがφ22.22の場合、部品1の(D)部に部品8をろう付してください。
- ガス管サイズがφ28.58の場合、部品1の(D)部に部品7をろう付してください。
- 室内ユニットのトータル容量より選定された現地配管サイズに合わせたサイズ位置でパイプカッターで切断してください。(先端サイズと同一の場合は切断する必要はありません。)
- 切断はウチダボ部よりできるだけ長く離れた所で行ってください。
- 断熱材付属
- 1個あたり相当長0.5m

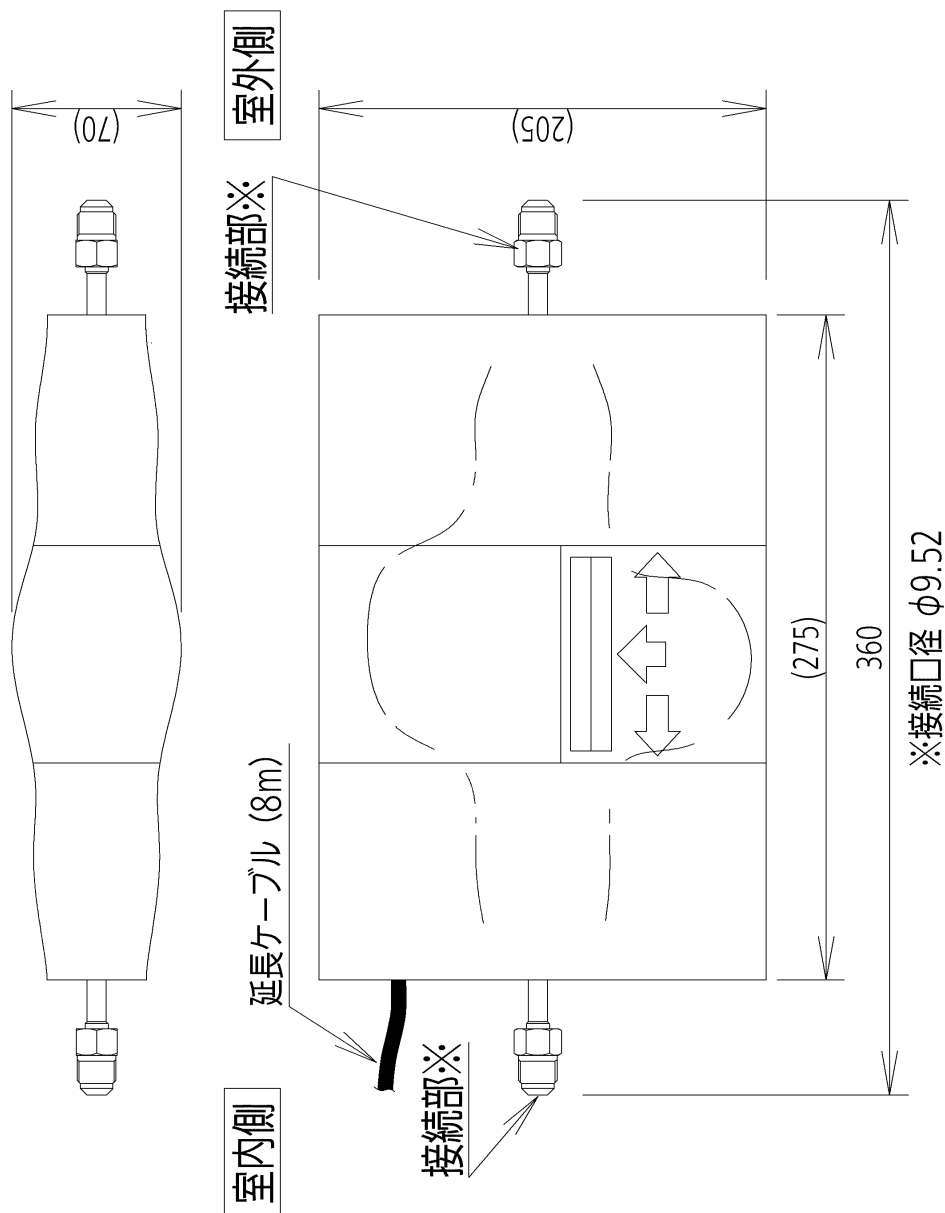
③SGP-HCH560K

- ガス管サイズがφ28.58の場合、部品1のB部に部品6をろう付してください。
- ガス管サイズがφ38.1の場合、部品1のB部に部品5をろう付してください。
- 液管サイズがφ15.88の場合、部品2のF部に部品9をろう付してください。
- 室内ユニットのトータル容量より選定された現地配管サイズに合わせたサイズ位置でパイプカッターで切断してください。(先端サイズと同一の場合は切断する必要はありません。)
- 切断はウチダボ部よりできるだけ長く離れた所で行ってください。
- 断熱材付属
- 1個あたり相当長1.0m

(3) 外付電動弁キット

1) ATK-SVRK36B

適用：ガスヒートポンプエアコン室内ユニット/一方向天井カセット形 電動弁外付タイプ
/一方向天井カセット スリム形 (T1形)



1. 取付位置の決定

- 本体は液管に取り付けます。図1を参照し、取付位置を決定してください。
外付電動弁からは冷媒音が発生することがあります。室内ユニットからの距離は、5m以上8m以内を目安としてください。(静音を要求される場所からは遠ざけて設置してください。)
- この距離がとれない場合には、天井裏等しや音の可能な場所への設置をお願いします。また、機能部品ですので、点検や交換が必要になる場合があります。この点も考慮して取付位置を決定してください。(点検口の付近等)
- 本製品は屋内専用です。屋外には設置しないでください。

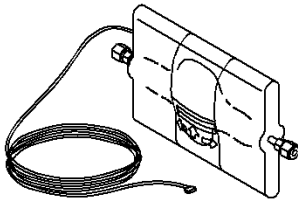
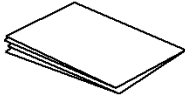
本文中に示した注意事項は、「⚠ 警告」・「⚠ 注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告 取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合

⚠ 注意 取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合

ご 確 認 事 項

内容を確認してください。下表に示す部品が同梱されています。

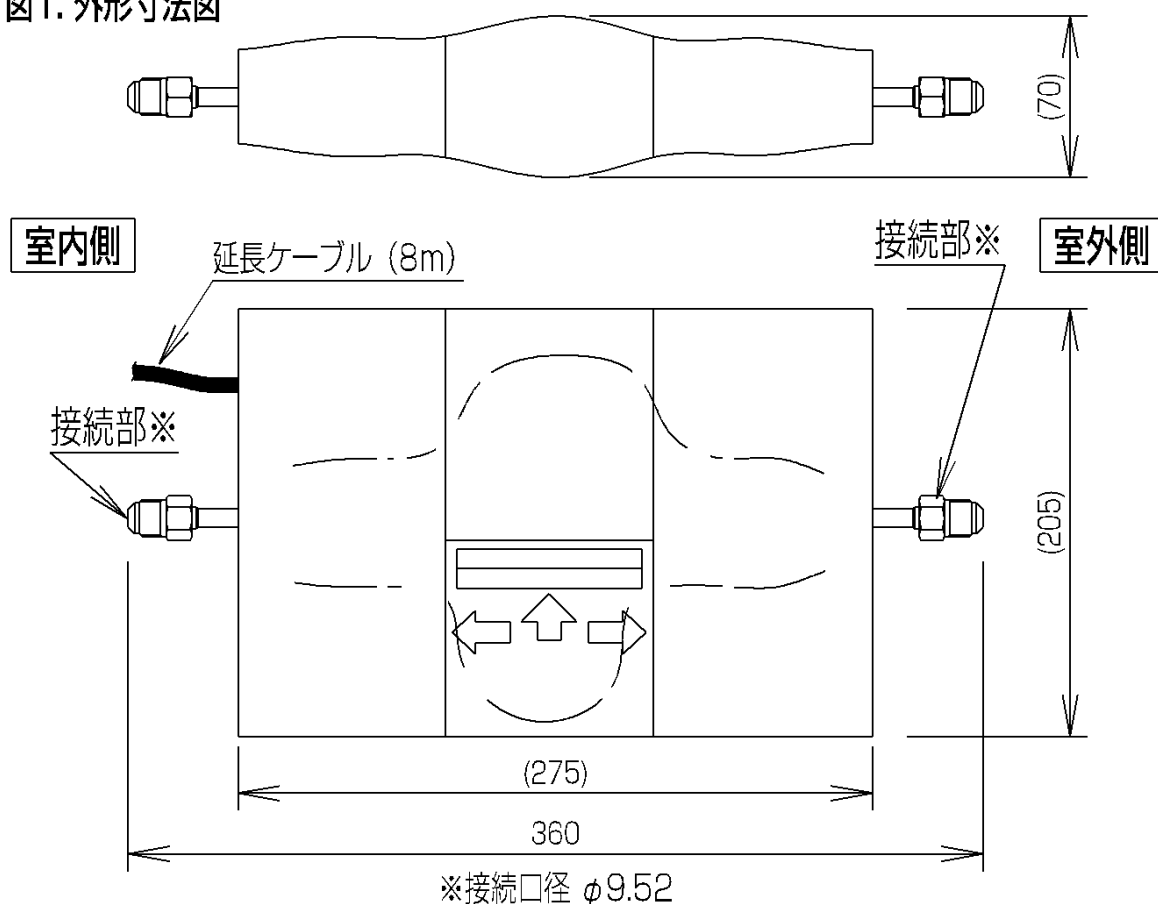
	名 称	形 状	個 数
1	外 付 電 動 弁 (延長ケーブル8m付属)		1
2	配 管 断 熱 材		2
3	クランパー (大：350mm、小：200mm)		大：2 小：4
4	取付説明書		1
5	断熱テープ	 白色 (耐熱用)	2

取 付 手 順

1. 取付位置の決定

- 本体は液管に取り付けます。図1を参照し、取付位置を決定してください。
外付電動弁からは冷媒音が発生することがあります。室内ユニットからの距離は、5m以上8m以内を目安としてください。（静音を要求される場所からは遠ざけて設置してください。）
この距離がとれない場合には、天井裏等しゃ音の可能な場所への設置をお願いします。
また、機能部品ですので、点検や交換が必要になる場合があります。この点も考慮して取付位置を決定してください。（点検口の付近等）
- 本製品は屋内専用です。屋外には設置しないでください。

図1. 外形寸法図



2. 液管の切断およびフレア加工

取付位置決定後、パイプカッターで液管を切断し、接続部をフレア加工してください。
(フレア加工は下記内容に注意して行なってください。)

(注) ●配管切断後は、必ずバリ取りを行ない、正しい端面に仕上げてください。

●加工時に、配管をつぶさないよう注意してください。

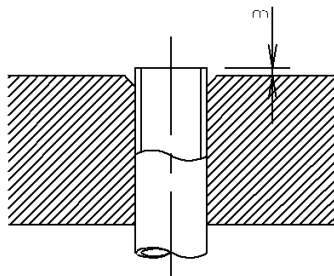
●配管の内部に、ゴミや水分等の異物が入らないよう注意してください。

●フレアナットは本体付属のものを使用してください。

●R410A用のフレア加工寸法は、従来のR407C、R22用とは異なります。

R410A用に新規に製作されたフレアツールをおすすめしますが、従来のツールでも下表にしたがって銅管の出し代を調整すれば、使用できます。

図2



フレア加工の銅管出し代：B (mm)

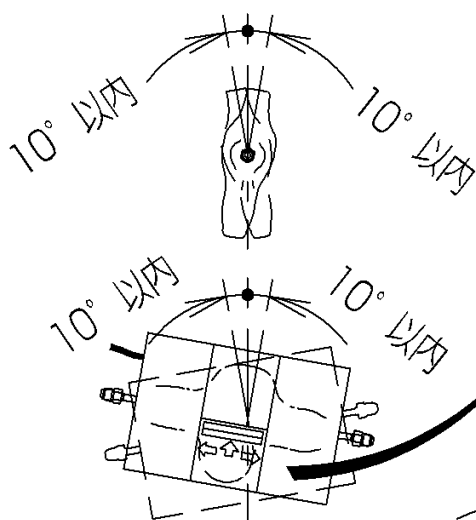
リジッド（クラッチ式）の場合	
R410A	
R410A専用 ツール使用時	従来ツール使用時
B=0~0.5	B=1.0~1.5

3. 外付電動弁の配管への接続

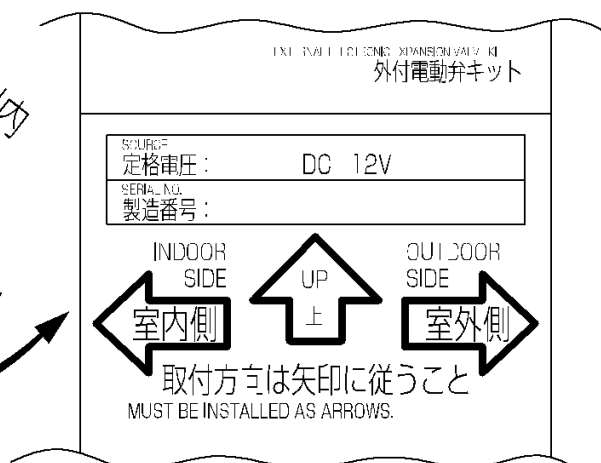
配管への接続時、本体の向きに注意してください。ラベル内の  マークが必ず上を向く様に設置してください。取付角度は鉛直線に対して±10度以内としてください。

また、フレア部の接続についても、ラベル内の矢印表示に従い、室内側・室外側の方向を確認してから接続してください。（配線引出し側が室内側となります。）（図3参照）

図3



本体貼付ラベル



●フレアナットの締め付けについて

⚠ 注意

配管接続部のフレアナットをはずす時および配管接続後にフレアナットを締め付ける時は、必ずダブルスパナで行い、締め付けは適正トルクで行なってください。フレア部等のゆるみ・破損が発生した場合に、冷媒漏れによる酸欠事故の原因になることがあります。

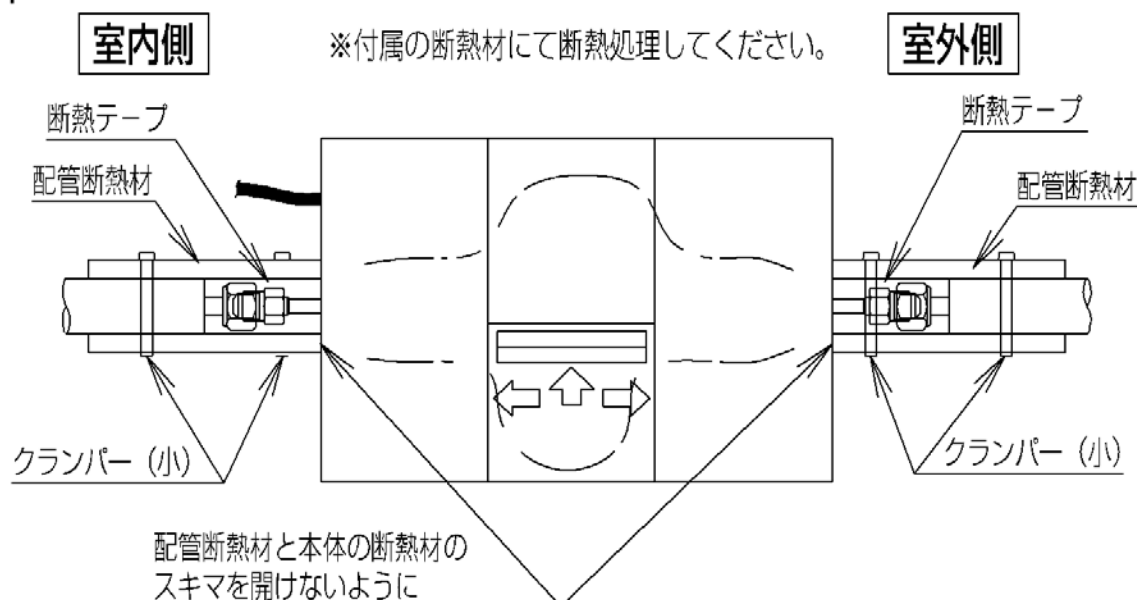
パイプ径	締め付けトルク
$\phi 9.52$ (3/8")	34~42N・m (340~420kgf・cm)

※この外付電動弁は「全開」で出荷しています。

4. 配管の断熱

漏れ検査が終了したら、図4のように付属の断熱材で配管接続部の断熱処理を施してください。

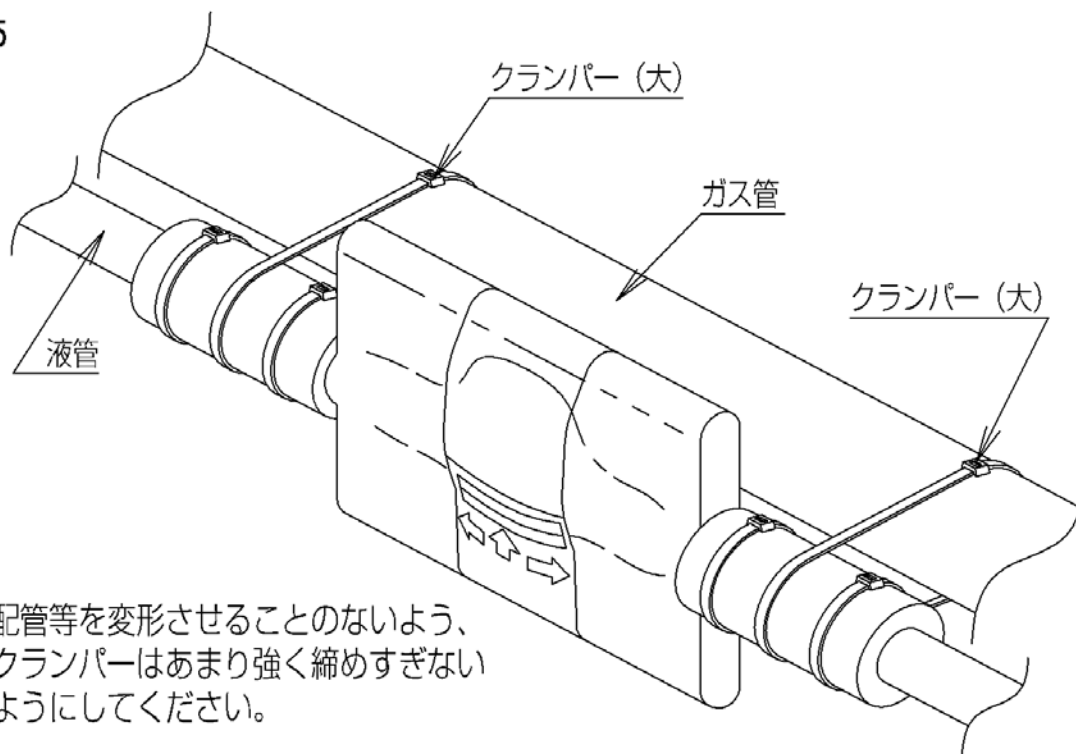
図4



5. 配管接続後の固定

外付電動弁は、配管への接続終了後、付属のクランパーを使用してガス管へ抱かせるように固定してください。（図5参照）

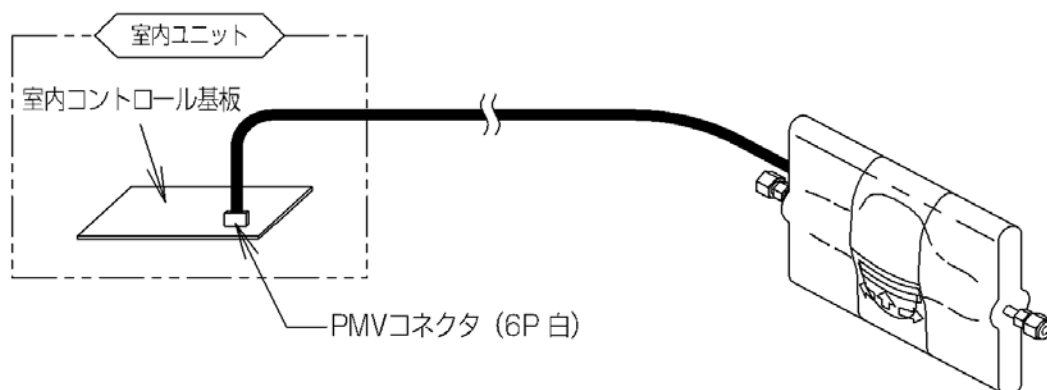
図5



配線手順

- 1 作業前に、必ず室内ユニットの電源を切ってください。
- 2 室内ユニットの電装ボックスを開けてください。
- 3 外付電動弁のコネクタを室内コントロール基板のPMVコネクタ（6P 白）に接続してください。
- 4 配線処理をして、電装ボックスを閉じてください。

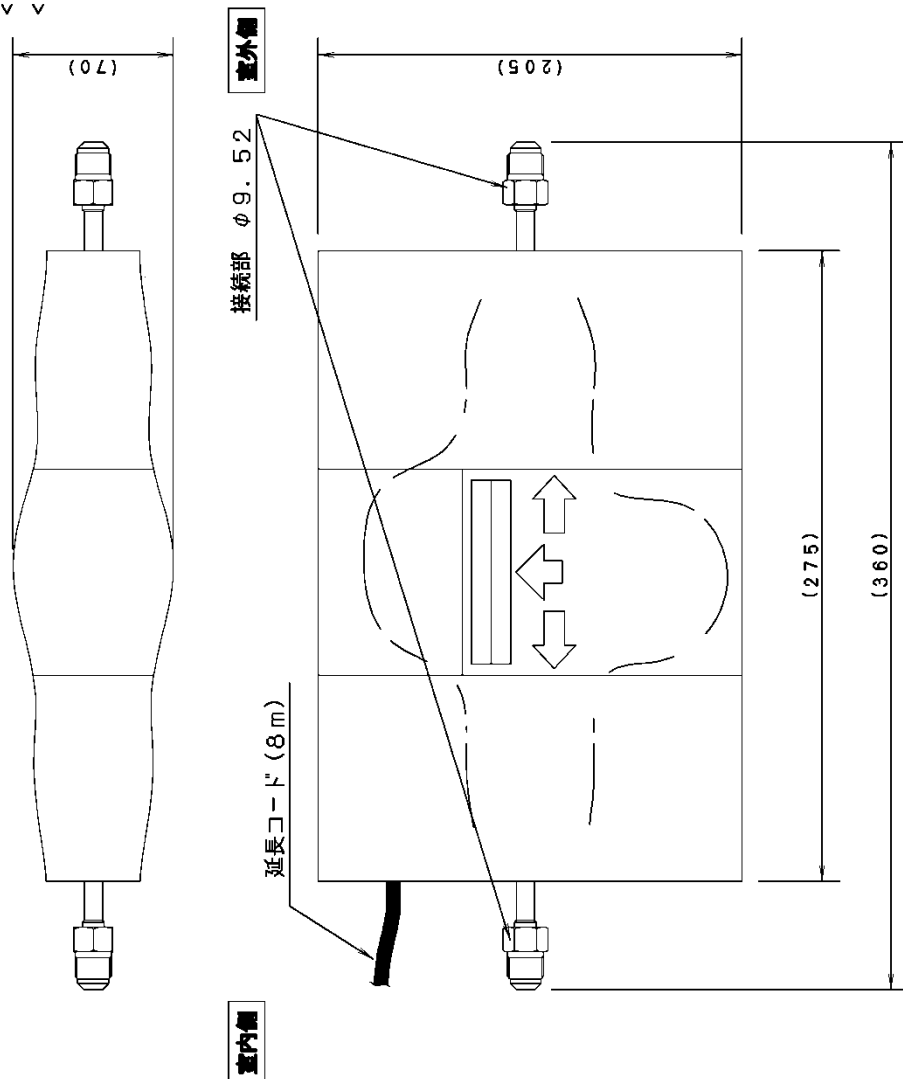
図6



2) ATK-SVRK56BN

適用：ガスヒートポンプエアコン室内ユニット/壁掛形

<電源>DC12V (室内ユニットから供給)
<質量>1.0kg



取り付け時の主な注意点

- 本製品は屋内専用です。屋外には設置しないでください。
- 室内ユニットからの距離は、5m以上8m以内を目安としてください。
- 配管への接続はラベル内の矢印表示に従い、室内側・室外側の方向を確認して接続してください。

品番	ATK-SVRK56BN	外形寸法図 (外付電動弁キット)
----	--------------	---------------------

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

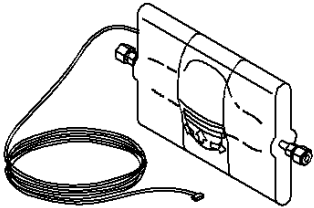
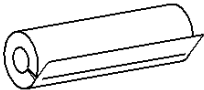
■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

⚠ 警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ 注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

ご 確 認 事 項

内容を確認してください。下表に示す部品が同梱されています。

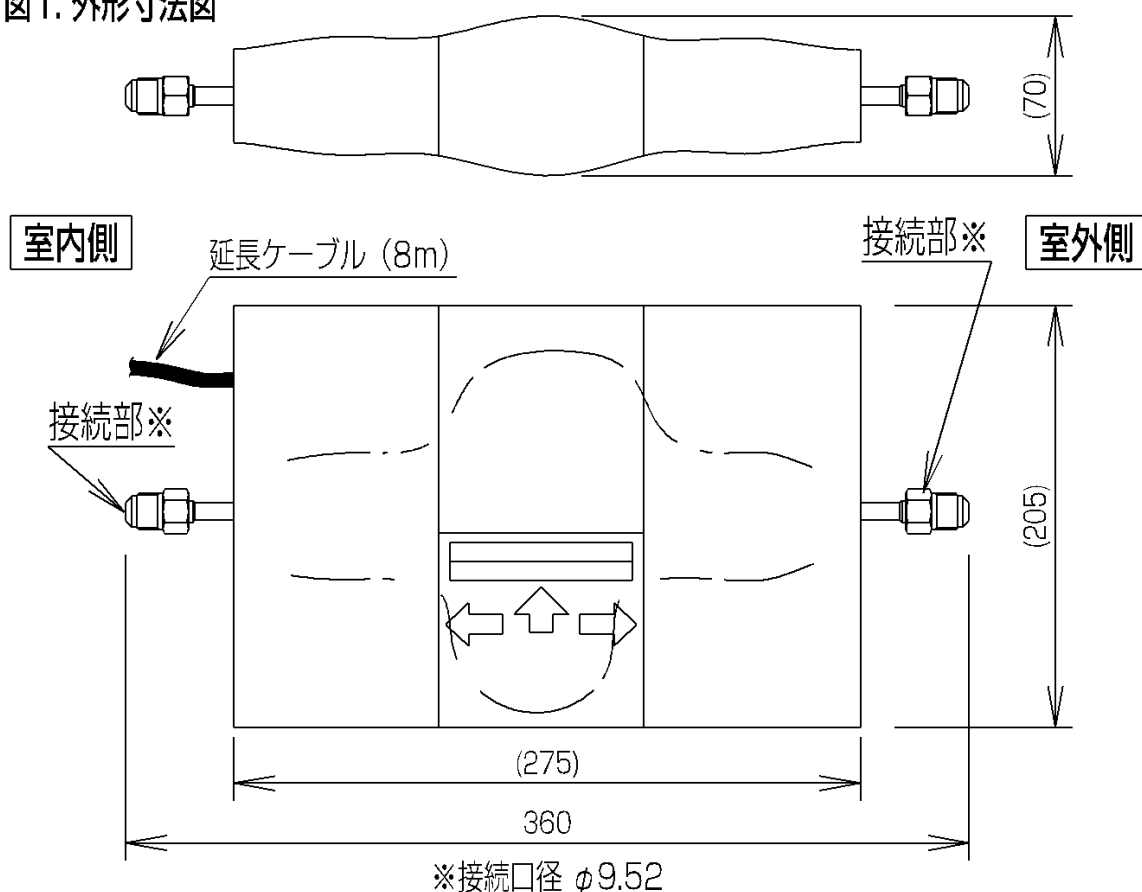
	名 称	形 状	個 数
1	外 付 電 動 弁 (延長ケーブル8m付属)		1
2	配 管 断 熱 材		2
3	クランパー (大：350mm、小：200mm)		大：2 小：4
4	コネクタ変換ケーブル (延長ケーブル8m付属に接続済み)		1
5	取付説明書		1
6	断熱テープ	 白色 (耐熱用)	2

取 付 手 順

1. 取付位置の決定

- 本体は液管に取り付けます。図1を参照し、取付位置を決定してください。
外付電動弁からは冷媒音が発生することがあります。室内ユニットからの距離は、5m以上8m以内を目安としてください。（静音を要求される場所からは遠ざけて設置してください。）
この距離がとれない場合には、天井裏等しゃ音の可能な場所への設置をお願いします。
また、機能部品ですので、点検や交換が必要になる場合があります。この点も考慮して取付位置を決定してください。（点検口の付近等）
- 本製品は屋内専用です。屋外には設置しないでください。

図1. 外形寸法図

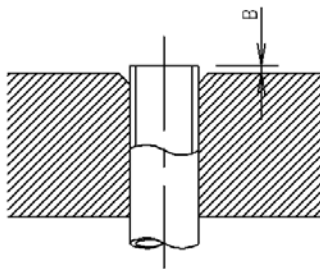


2. 液管の切断およびフレア加工

取付位置決定後、パイプカッターで液管を切断し、接続部をフレア加工してください。
(フレア加工は下記内容に注意して行なってください。)

- (注) ●配管切断後は、必ずバリ取りを行ない、正しい端面に仕上げてください。
●加工時に、配管をつぶさないよう注意してください。
●配管の内部に、ゴミや水分等の異物が入らないよう注意してください。
●フレアナットは本体付属のものを使用してください。
●R410A用のフレア加工寸法は、従来のR407C、R22用とは異なります。
R410A用に新規に製作されたフレアツールをおすすめしますが、従来のツールでも下表にしたがって銅管の出し代を調整すれば、使用できます。

図2



フレア加工の銅管出し代：B (mm)

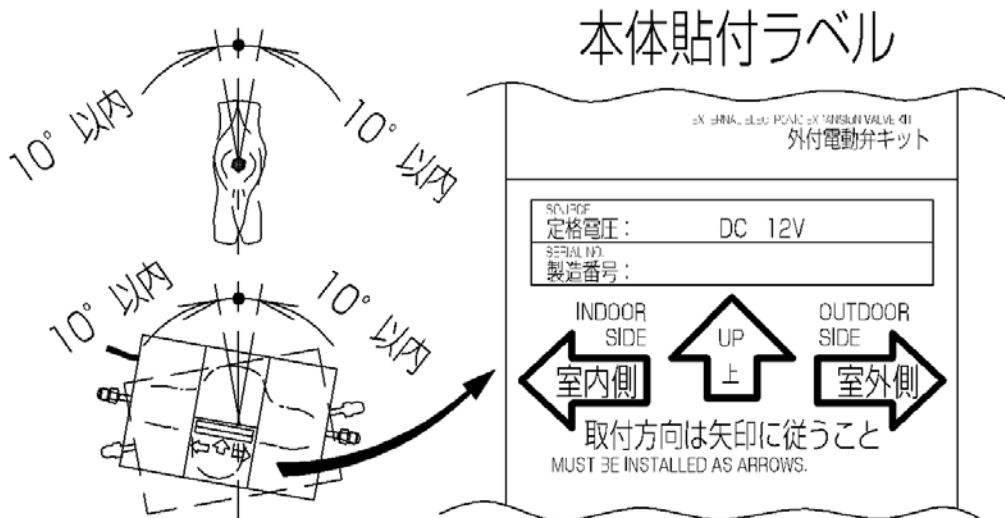
リジッド（クラッチ式）の場合	
R410A	
R410A専用 ツール使用時	従来ツール使用時
B=0~0.5	B=1.0~1.5

3. 外付電動弁の配管への接続

配管への接続時、本体の向きに注意してください。ラベル内の ㊦ マークが必ず上を向く様に設置してください。取付角度は鉛直線に対して±10度以内としてください。

また、フレア部の接続についても、ラベル内の矢印表示に従い、室内側・室外側の方向を確認してから接続してください。（配線引出し側が室内側となります。）（図3参照）

図3



●フレアナットの締め付けについて

⚠ 注意

配管接続部のフレアナットをはずす時および配管接続後にフレアナットを締め付ける時は、必ずダブルスパナで行い、締め付けは適正トルクで行なってください。フレア部等のゆるみ・破損が発生した場合に、冷媒漏れによる酸欠事故の原因になることがあります。

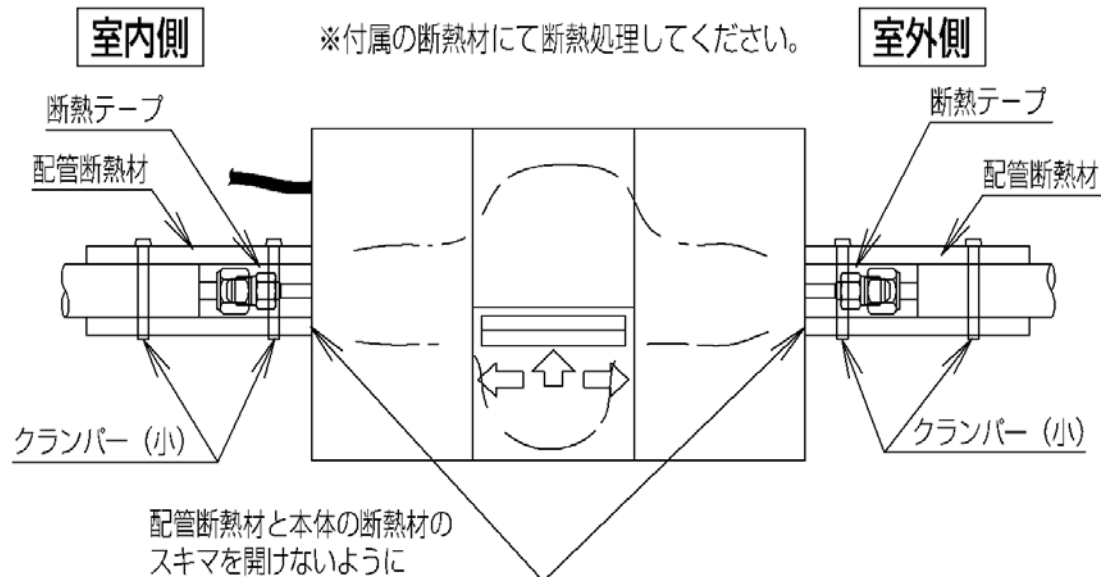
パイプ径	締め付けトルク
$\phi 9.52$ (3/8")	34~42N・m (340~420kgf・cm)

※この外付電動弁は「全開」で出荷しています。

4. 配管の断熱

漏れ検査が終了したら、図4のように付属の断熱材で配管接続部の断熱処理を施してください。

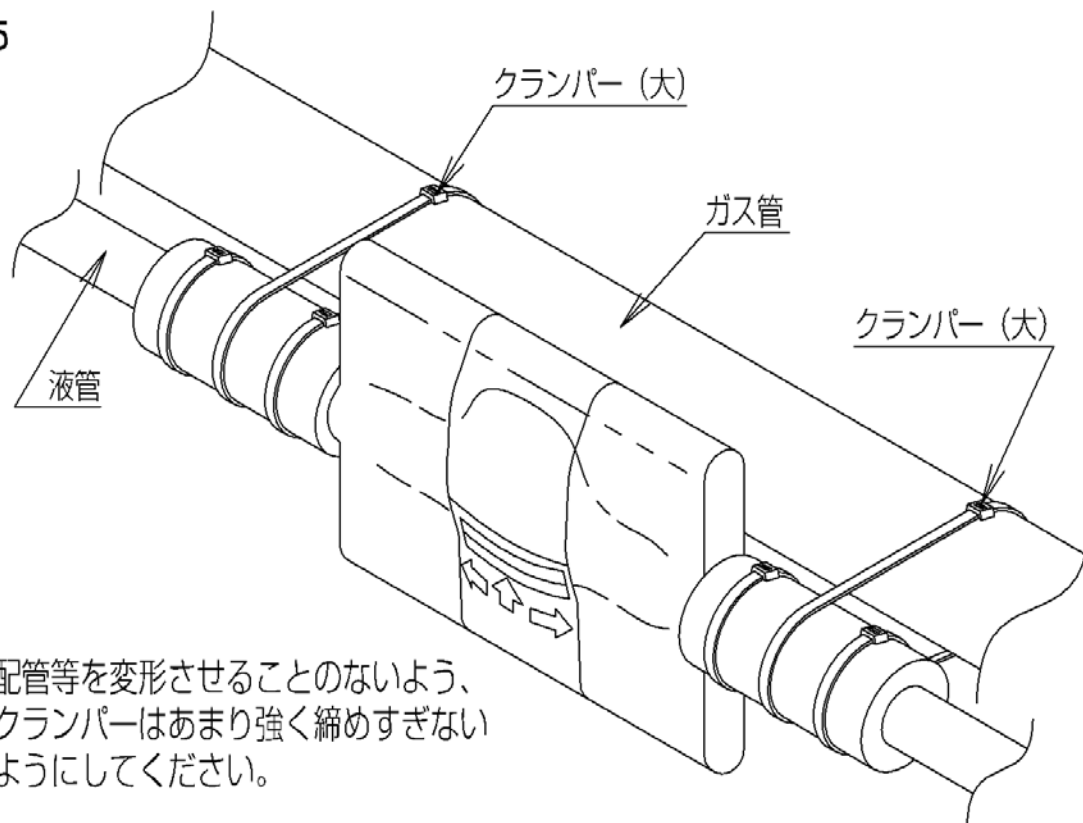
図4



5. 配管接続後の固定

外付電動弁は、配管への接続終了後 付属のクランパーを使用してガス管へ抱かせるように固定してください。（図5参照）

図5



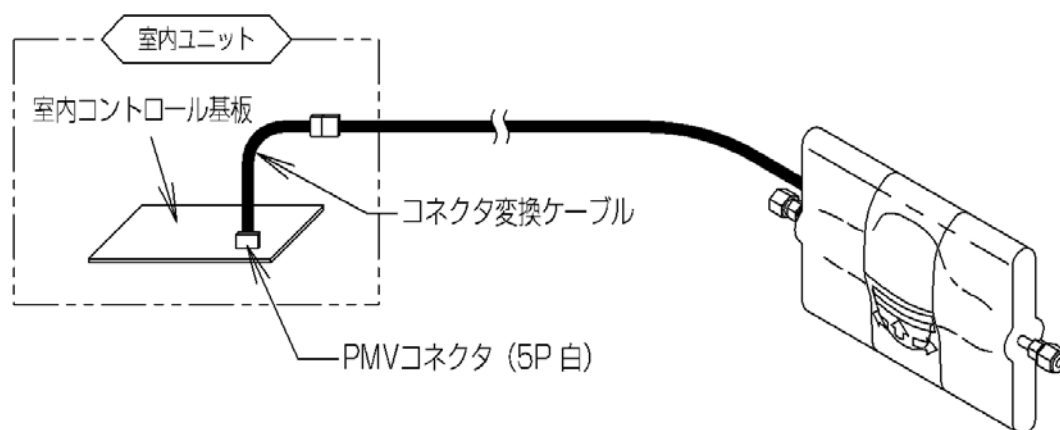
配線手順

通電前の室内ユニットの場合

室内ユニット内蔵の電動弁は、全開で出荷されています。

- 1 作業前に、室内ユニットの電源が切れていることを確認してください。
- 2 室内ユニットの電装ボックスを開け、室内コントロール基板から内蔵の電動弁のコネクタを外してください。
- 3 外付電動弁のコネクタ（コネクタ変換ケーブル接続済み）を室内コントロール基板のPMVコネクタ（5P 白）に接続してください。
- 4 配線処理をして、電装ボックスを閉じてください。

図6



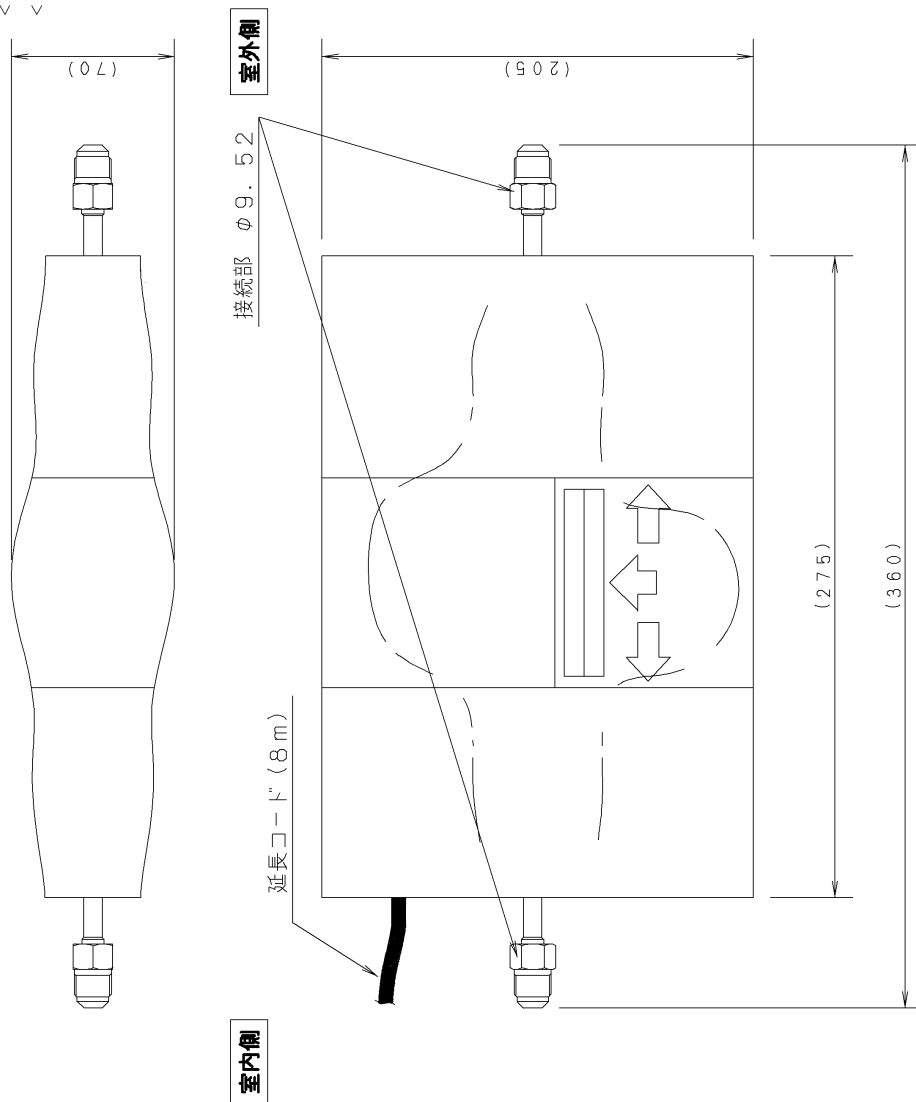
通電後の室内ユニットの場合

室内ユニットに通電すると、内蔵の電動弁が全閉になります。そのため、配線処理をする前に内蔵の電動弁を全開にする作業が必要となります。

- 1 GHP室外コントロール基板にて室内ユニットを一括停止させ、弁開操作により室内ユニット内蔵の電動弁を全開にします。
《注》GHP室外コントロール基板の操作方法は、機種によって異なりますので、各機種のサービスマニュアルを参照してください。
- 2 内蔵の電動弁を全開にした状態で、室内ユニットの電源を切ってください。
- 3 室内ユニットの電装ボックスを開け、室内コントロール基板から内蔵の電動弁のコネクタを外してください。
- 4 外付電動弁のコネクタ（コネクタ変換ケーブル接続済み）を室内コントロール基板のPMVコネクタ（5P 白）に接続してください。
- 5 配線処理をして、電装ボックスを閉じてください。

3) ATK-SVRK160B

<電源> DC12V (室内ユニットから供給)
<質量> 1.0kg



取り付け時の主な注意点

- 本製品は屋内専用です。屋外には設置しないでください。
- 室内ユニットからの距離は、5m以上8m以内を目安としてください。
- 配管への接続はラベル内の矢印表示に従い、室内側・室外側の方向を確認して接続してください。

品番	ATK-SVRK160B	外形寸法図 (外付電動弁キット)
----	--------------	---------------------

外付電動弁取付説明書

本文中に示した注意事項は、「 警告」・「 注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

 **警告** 取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合

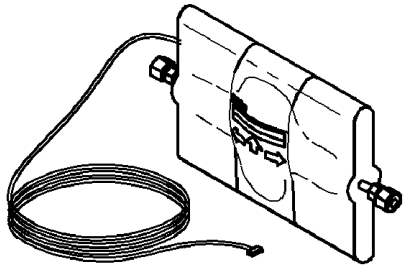
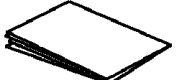
 **注意** 取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合

●この外付電動弁は下記冷媒に対応可能です。

R410A、R407C、R22

ご確認事項

内容を確認してください。下表に示す部品が同梱されています。

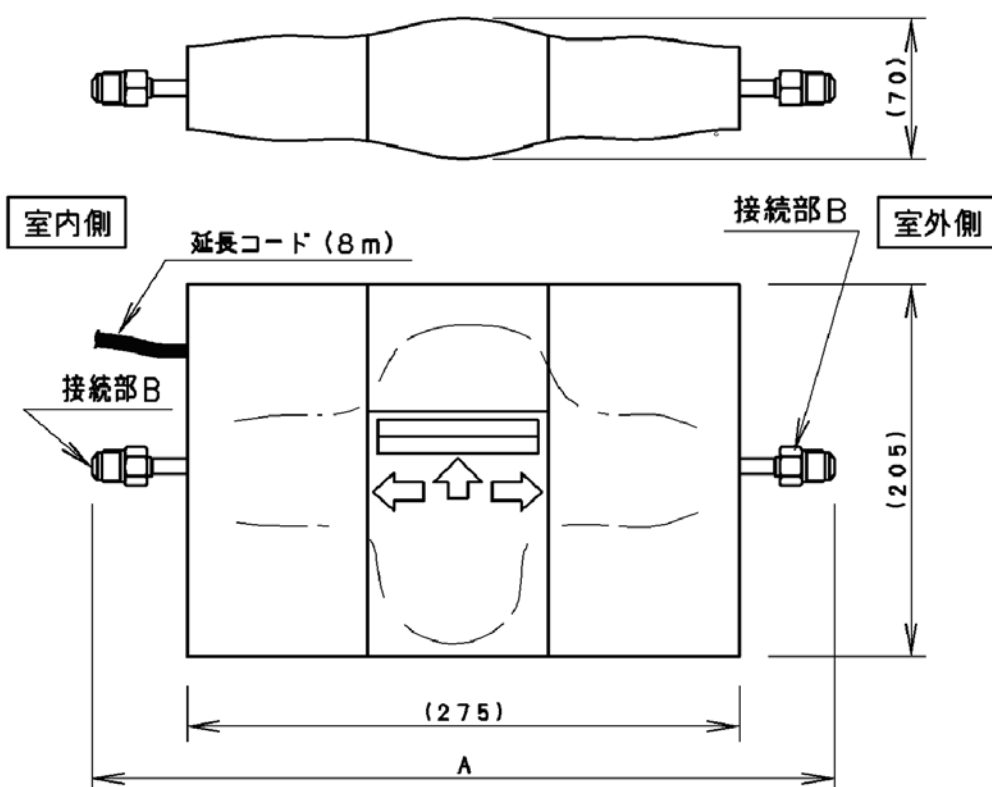
	名 称	形 状	個 数
1	外 付 電 動 弁 (延長コード8m付属)		1
2	配 管 断 熱 材		2
3	クランプ (大:350mm、小:200mm)		大:2 小:4
4	コネクタ変換ケーブル		1
5	取付説明書		1
6	断熱テープ	 白色 (耐熱用)	2

取 付 手 順

1. 取付位置の決定

- 本体は液管に取り付けます。図1の外形寸法図を参照し、取付位置を決定してください。
外付電動弁からは冷媒音が発生することがあります。室内ユニットからの距離は、5 m以上8 m以内を目安としてください。（静音を要求される場所からは遠ざけて設置してください。）この距離がとれない場合には、天井裏等しや音の可能な場所への設置をお願いします。
また、機能部品ですので、点検や交換が必要になる場合があります。この点も考慮して取付位置を決定してください。（点検口の付近等）
- 本製品は屋内専用です。屋外には設置しないでください。

図1. 外形寸法図



	160形
A寸法 (mm)	360
接続部B (mm)	φ9. 52

2. 液管の切断およびフレア加工

取付位置決定後、パイプカッターにて液管を切断し、接続部をフレア加工してください。

(フレア加工は下記内容に注意して行なってください。)

(注) ●配管切断後は、必ずバリ取りを行ない、正しい端面に仕上げてください。

●加工時に、配管をつぶさないよう注意してください。

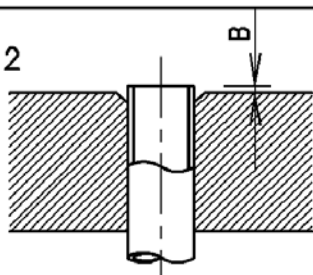
●配管の内部に、ゴミや水分等の異物が入らないよう注意してください。

●フレアナットは本体付属のものを使用してください。

●R410A用のフレア加工寸法は、従来のR407C、R22用とは異なります。

R410A用に新規に製作されたフレアツールをおすすめしますが、従来のツールでも下表にしたがって銅管の出し代を調整すれば、使用できます。

図2



フレア加工の銅管出し代：B (mm)

リジッド（クラッチ式）の場合

R410A		R407C、R22
R410A専用 ツール使用時	従来ツール使用時	従来ツール使用時
B=0～0.5	1.0～1.5	0～0.5

3. 外付電動弁の配管への接続

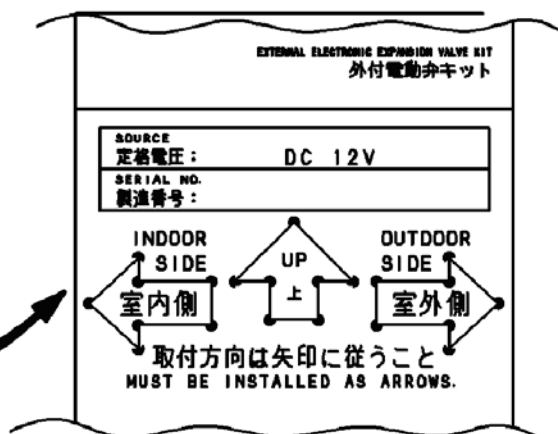
配管への接続時、本体の向きに注意してください。ラベル内の  マークが必ず上を向く様に設置してください。取付角度は鉛直線に対して±10度以内としてください。

また、フレア部の接続についても、ラベル内の矢印表示に従い、室内側・室外側の方向を確認してから接続してください。（配線引出し側が室内側となります。）（図3参照）

図3



本体貼付ラベル



●フレアナットの締め付けについて

⚠ 注意

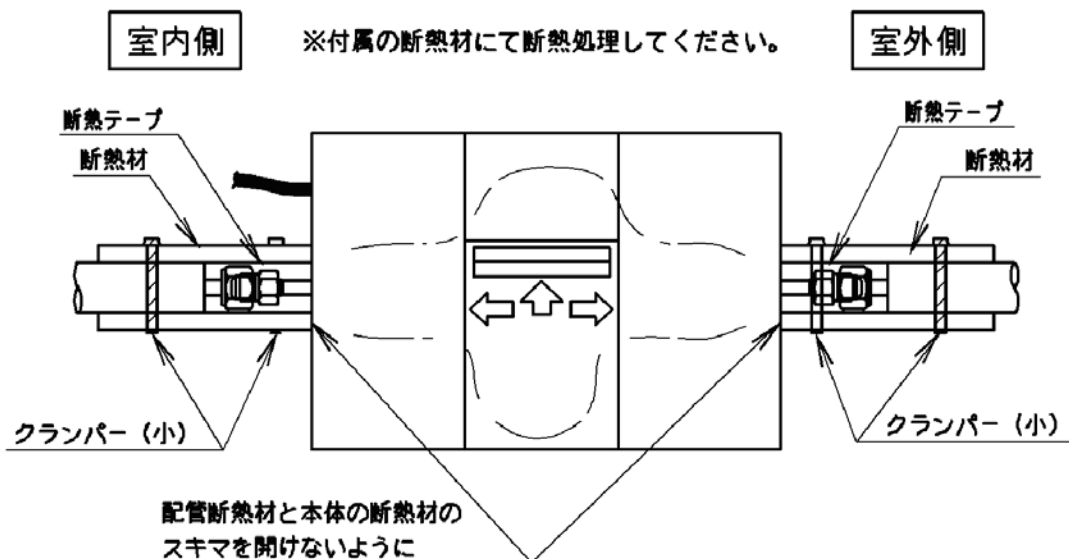
配管接続部のフレアナットをはずす時および配管接続後にフレアナットを締め付ける時は、必ずダブルスパナで行い、締め付けは適正トルクで行なってください。フレア部等のゆるみ・破損が発生した場合に、冷媒漏れによる酸欠事故の原因になることがあります。

パイプ径	締め付けトルク
φ9. 52 (3/8")	34~42N・m (340~420kgf・cm)

4. 配管の断熱

漏れ検査が終了したら、図4のように付属の断熱材で配管接続部の断熱処理を施してください。

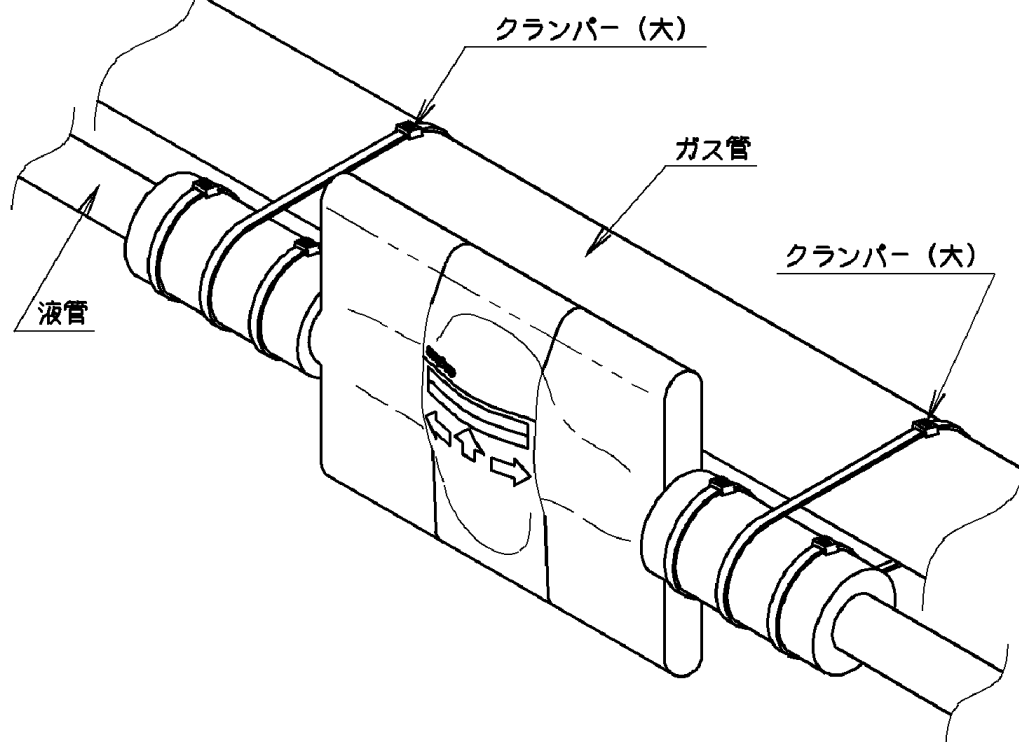
図4



5. 配管接続後の固定

外付電動弁は、配管への接続終了後、付属のクランパーを使用してガス管へ抱かせるように固定してください。（図5参照）

図5



※配管等を変形させることのないよう、クランパーはあまり強く締めすぎないようにしてください。

配線手順（ガスヒートポンプの場合）

通電前の室内ユニットの場合

室内ユニット内蔵の電動弁は、全開で出荷されていますので、配線処理（手順1～3）のみとなります。ただし、室内ユニットが外付電動弁タイプの場合は電動弁が内蔵されていないため、下記a、bのみとなります。

- a. 電動弁接続コネクタが電装ボックスの外に出ている機種は、電装ボックスを開ける必要はありません。中継コネクタ（“外付電動弁中継用”ラベルあり）に外付電動弁のコネクタを接続してください。
- b. 電動弁接続コネクタの無い機種は、配線処理のみとなります。
電装ボックスを開けたあと、手順2、3を行なってください。

手順

- 1 室内ユニットの電装ボックスを開け、室内電動弁のコネクタを外してください。
- 2 外付電動弁のコネクタを室内コントロール基板（PMVまたはT6）に接続してください。
- 3 配線処理をして、電装ボックスを閉じてください。

通電後の室内ユニットの場合

室内ユニットに通電すると、内蔵電動弁が全閉になります。そのため、配線処理をする前に内蔵電動弁を全閉にする作業が必要となります。（手順1～4）

ただし、室内ユニットが外付電動弁タイプの場合は電動弁が内蔵されていないため、下記a、bのみとなります。

- a. 電動弁接続コネクタが電装ボックスの外に出ている機種は、電装ボックスを開ける必要はありません。中継コネクタ（“外付電動弁中継用”ラベルあり）に外付電動弁のコネクタを接続してください。
- b. 電動弁接続コネクタの無い機種は、配線処理のみとなります。
電装ボックスを開けたあと、手順3、4を行なってください。

手順

- 1 室外コントロール基板にて室内ユニットを一括停止させ、弁開操作により室内ユニットの電動弁を全開にします。
《注》室外コントロール基板の操作方法は、機種によって異なりますので、各機種のサービスマニュアルを参照してください。
- 2 電動弁を全開にしたうえで、電装ボックスを開き、電磁弁のコネクタを外してください。
- 3 外付電動弁のコネクタを室内コントロール基板（PMVまたはT6）に接続してください。
- 4 配線処理をして、電装ボックスを閉じてください。

配線手順（付属ケーブルの使用法）

本製品は、接続する室内ユニットの種類により、付属のコネクタ変換ケーブルを使用することになります。対象ユニット・使用法については以下をご参照ください。

●コネクタ変換ケーブルを使用する室内ユニット（形名は三洋品番）

PAC：T形／U形室内ユニット

GHP：G形／H形／J1形室内ユニット

リビングメイトSシリーズ室内ユニット

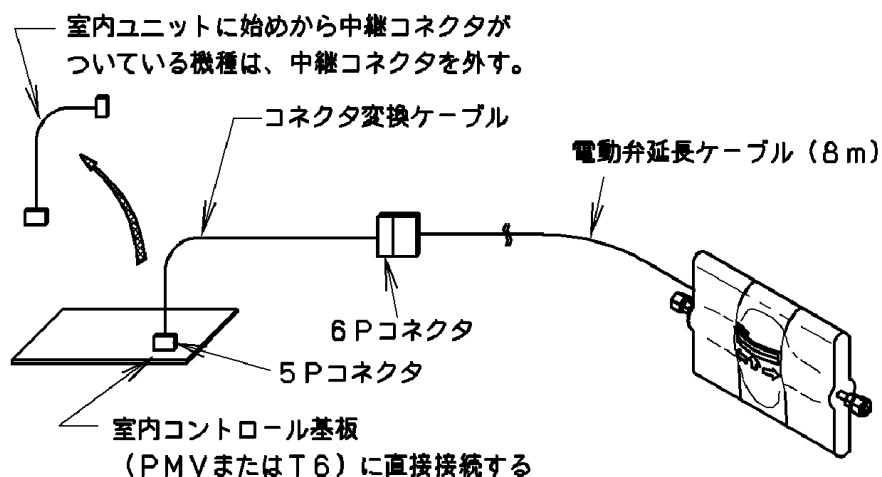
コネクタ変換ケーブルの使用法

コネクタ変換ケーブルは、電動弁本体から出ている延長ケーブル（8 m）に継ぎ足して使用します。（図7参照）

コネクタ変換ケーブル接続後、前述の配線手順に従い室内コントロール基板に接続してください。

※機種により室内コントロール基板に中継コネクタ（“外付電動弁中継用”ラベルあり）が取り付けられている場合がありますが、本付属ケーブルを使用する際には中継コネクタは取り外し、付属ケーブルを直接室内コントロール基板に接続してください。

図7



(4) ガス管弁キット

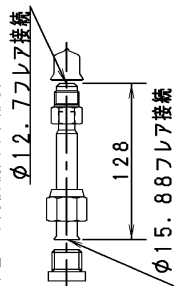
ATK-RX160A

GHP室内外ユニットの組み合わせが、ガス管弁キット（+基板ACC-3WAY-B1）を使用することにより拡大します。

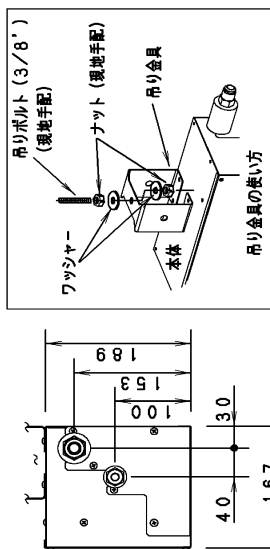
仕様

型番	ATK-RX160A
対応	6馬力（含む）以下
電源	単相200V 50/60Hz（室内ユニットより供給）
入力	6.8/5.2 W
重量	6.5 kg
付属品	・ガス管用ストレートナ×2 ・平ワッシャー×2 ・断熱材一式 ・ガス管φ12.7用接続パイプ×2 ・液管φ9.52用接続パイプ×2

ガス管φ12.7用接続パイプ形状



・このパイプの断熱材は、付属されていませんので、使用の際は、現地で手配してください。



品番	ATK-RX160A
外形寸法図	(ガス管弁キット)

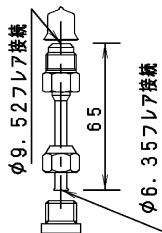
ATK-RX160A（6馬力以下）

配管接続部の種類と各種仕様

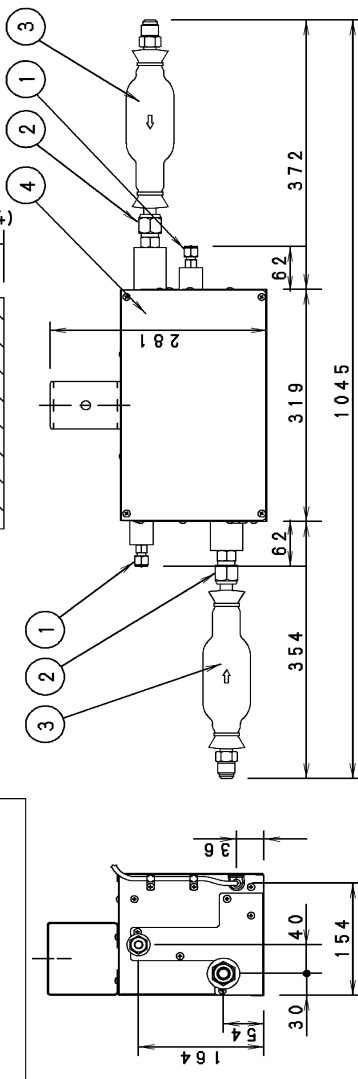
①	液管 φ 6.35フレア (1/4") (φ9.52フレア接続対応可・付属)
②	ガス管 φ15.88フレア (5/8") (φ12.7フレア接続対応可・付属)
③	ガス管用ストレートナ (5/8") (付属)
④	サービスカバー
⑤	コネクタ (2芯ケーブルケープル5m)

注) 8馬力、10馬力の室内ユニットにはATK-RX160Aを2台並列に接続してください。

液管φ9.52用接続パイプ形状



・このパイプの断熱材は、付属の液管用断熱材を使用してください。



- 取り付け時の注意（室内・室外ユニットとガス管弁キットとの取り付け方向は、本体ラベルに従って厳守願います。）
- 本体は、必ず標準体と吊りボルト等で固定してください。
- 本体は、室内ユニットから30mm以内の所に取り付けてください。
- 取り付けは、必ず上面を上にして取り付けてください。
- 取り付けの際は、サービスパネルの前に200mm以上のサービスペースをあけてください。
- 断熱材は、絶対に穴あけや溶接はしないでください。
- 天井面には、直接置かないでください。また、会議室等、静音を要求される部屋の近くには取付けないでください。

①機種一覧

室内ユニット形式		機種名	相当馬力	現地調達部品（員数）	
				ガス管弁キット (ATK-RX160A)	分岐管セット (APR-P160B～ SGP-PCH1400K) (*1)
床置ダクト形		G224BDS形	8	2	2
		G280BDS形	10		
天井埋込形		G224ES形	8	2	2
		G280ES形	10		
壁ビルトイン形	加湿器 無	G140WNS形	5	1	1
		G224WNS形	8	2	2
		G280WNS形	10		
	加湿器 内蔵	G140WS形	5	1	1
		G224WS形	8	2	2
		G280WS形	10		
クリーン エアコン	吸込一体形 (逆流防止 ダンパー付)	G45CKS形	1.6	1	1
		G56CKS形	2		
		G71CKS形	2.5		
	壁下吸込形	G45CDS形	1.6	1	1
		G56CDS形	2		
		G71CDS形	2.5		

室内ユニットで暖房サーモOFF時に冷風防止制御（室内風速LL風）のない機種をマルチ設置等する場合そのサーモOFFしている室内ユニットに冷媒が溜まり込む不具合を防ぐため、このガス管弁キットが必要となります。

(*1)

分岐後配管容量 (kW)	分岐配管品番
35.6 以上	SGP-PCH1400K
16.1～35.5	APR-P680B
16.0 以下	APR-P160B

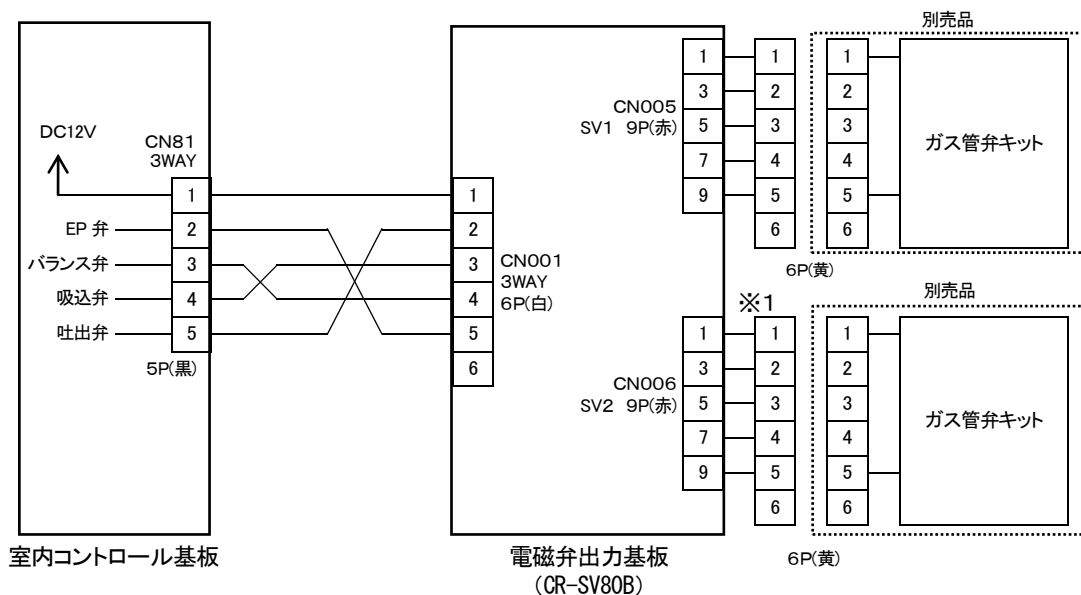
※224形で使用する場合は分岐後容量に関係なくすべてP160Bとなります。

- 注) 1. ガス管弁キット2台並列使用時、別売の分岐配管セットを2セットご使用ください。
 2. ガス管弁キットの室内ユニット内への取付けは不可です。（外付けとなります）
 3. ガス管弁キットの取付けは、必ず上面を上にして取付けてください。
 4. ガス管弁キットの取付けは、各別売品に同梱している「据付工事説明書(据付編)」をご参照ください。

②配線方法

ガス管弁キットのコネクタ（6P 黄）付配線を、室内電装BOX内の電磁弁出力基板（CR-SV80B）から出ているコネクタ（6P 黄）付配線と接続します。

※1：壁ビルトイン（140形）とクリーンエアコン（45・56・71形）は、電磁弁出力基板（CR-SV80B）のSV2（赤）にコネクタ（6P 黄）付配線はありません。



③機能設定の変更

- ・システム内にガス管弁キットを接続している室内ユニットがある場合は、室内ユニットと接続されている室外ユニットの室外メイン基板からその室内ユニットの機能設定を変更します。
- ・設定変更は、アドレス設定を終了した後に行います。

- 1) ①HOME (S004) キーを1秒以上押すとメニュー項目番号が表示されます。『n o 0 0 』
- 2) 次にUP (S005)・DOWN (S006) キーを押すとメニュー項目番号が表示されます。『n o 0 6 』にします。
- 3) 『n o 0 6 』の表示後、室内ユニット設定表示『ㄱ ㄷ ㅂ ㅅ ㅈ ㅊ ㅋ ㅌ ㅍ ㅎ』になります。室内ユニット設定表示の状態で、SET (S007) キーを押すと図1の様な表示に切り替わります。(緑LED点灯)

※図1の場合、室内ユニット1号機・データコード1になります。

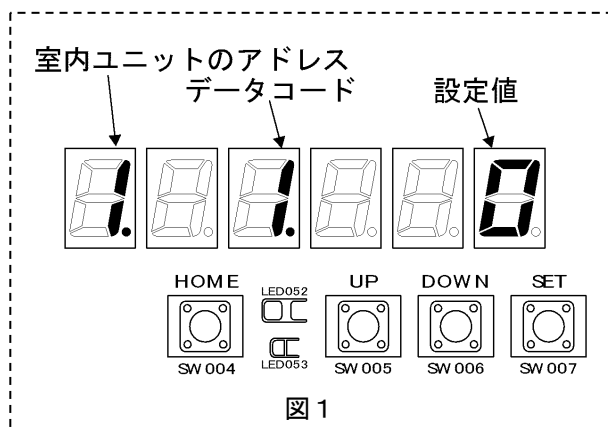


図1

この状態でDOWN (S006)・UP (S005) キーを操作すると、設定項目を選択することができます。

	データコード	データ名	初期値	備考
↓ d o w n	1	ガス管弁有無	0	0=無し 1=有り
	2	優先順位	0	0=最下位 1=1…4=最上位
	3	ドレンポンプ間欠制御	0	0=無し 1=四方弁冷房側中に間欠
	4	ドレンポンプ連続制御	0	0=無し 1=四方弁冷房側中に連続
↑ u p	.			
	.			
	.			
	8	加湿器設定	0	0=無し 1=暖房結露防止制御有り
↓	L	冷房吹き出し温度設定	0	0=機種別 -35=-35…92=92
	N	暖房吹き出し温度設定	0	0=機種別 -35=-35…92=92
	.			
	.			

- 4) 室内ユニット設定項目選択操作状態でセット (S007) キーを1秒以上押すと、TEST/WARNING 表示 (赤LED (D052) 点灯) が行われます。この状態で、DOWN (S006)・UP (S005) キーを操作することで、選択されている設定項目の設定内容を変更することができます。

※ガス管弁キットへの設定変更

データコード『1』 (ガス管弁有無) を選択し、設定値を『1』 (有り) にしてください。(図2)

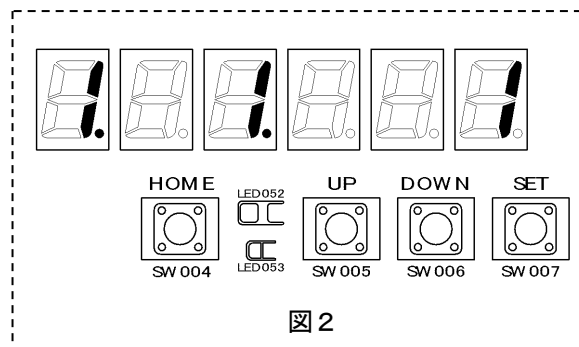
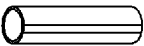
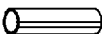
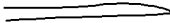
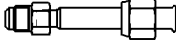
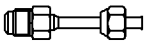


図2

- 5) 変更した値を不揮発性メモリにしまいたい場合は、SET (S007) キーを1秒以上押します。TEST/WARNING 表示は解除 (赤LED (D052) 消灯) され、室内ユニット設定項目選択操作に戻ります。変更した値を破棄したい場合は、TEST/WARNING 表示 (赤LED (D052) 点灯中) にホーム (S004) キーを1秒以上押します。(室内ユニット設定項目選択操作中にHOME (S004) キーを1秒以上押した場合、設定した内容は破棄しません。)

④据付

1. 付属品

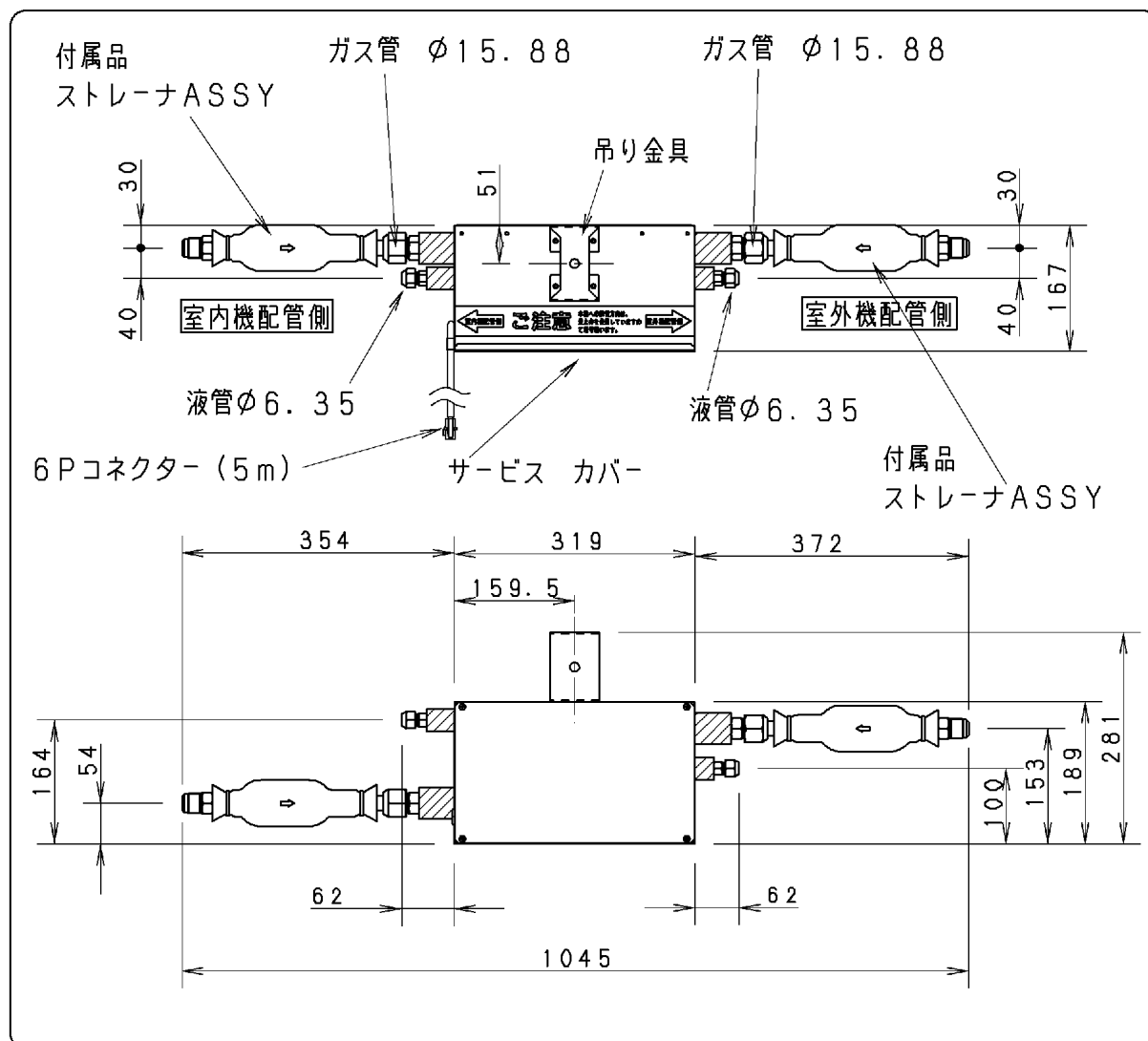
名 称	形 状	個数	備 考
ガス管用ストレナーASSY		2	ガス管用 注記)工場出荷時には2コをジョイントしてあります。 分離してお使いください。
フ レ ア - 断 熱 材		2	ガ ス 管 用
		2	液管用
断 熱 テ ー プ		4	ガス管フレア ナット部用
ビ ニ ー ル ク ラ ン パ ー		14	断熱材両端部
ワ ッ シ ャ ー		2	吊りボルト用
吊 り 金 具		1	本体吊り用
M 4 ネ ジ		4	吊り金具固定用
接 続 パ イ プ		2	φ12.7ガス管 接続用
		2	φ9.52液管 接続用

2. 本体寸法及び各部名称

接続可能な室内機能力は160形（6馬力）以下です。

224形（8馬力）、280形（10馬力）の場合はガス管弁キットを2台並列で使用してください。（図7 参照）

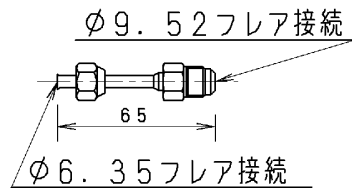
図1. 寸法及び各部名称



（注記）この図は吊り金具、ストレーナASSYを取付けた状態です。

図2. 接続パイプ形状 (φ9.52液管接続用)

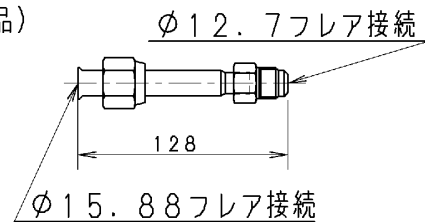
(付属品)



- このパイプの断熱材は、付属の液管用断熱材を使用してください。
- φ9.52液管を接続する場合に使用します。

図3. 接続パイプ形状 (φ12.7ガス管接続用)

(付属品)



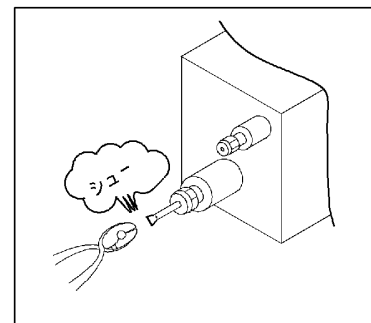
- このパイプの断熱材は、付属されていませんので使用の際は、現地にて手配してください。
- φ12.7ガス管を接続する場合に使用します。(ストレーナASSYと接続配管の間に使用)

3. 気密検査確認

- 本体内部には窒素が封入されています。フレア部を緩める前に、室内機側密栓パイプ部をプライヤ等でつぶし、「シュー」という音がでてる事を確認し気密チェックを行ってください。

図4 参照

図4. 気密検査確認



4. 取付け

1. 準備

- 本体に付属の吊り金具を4個のビスで取付けてください。
- 次にストレーナASSYをガス管出入口に取付け、フレアナットを締め付けてください。
- その時必ずスパナ2丁掛けで行ない締め付けトルクは表1を参照してください。
- ガス管弁キットには窒素が封入されていますので、フレアナットを外すときは注意してください。
- 室内機の配管径が本機の配管径と異なることがあります。その時は、液管、ガス管それぞれ図2、図3を参照して対応してください。
224形、280形の室内機には、ATK-RX160Aを2台並列に接続してください。

図5. 組立図

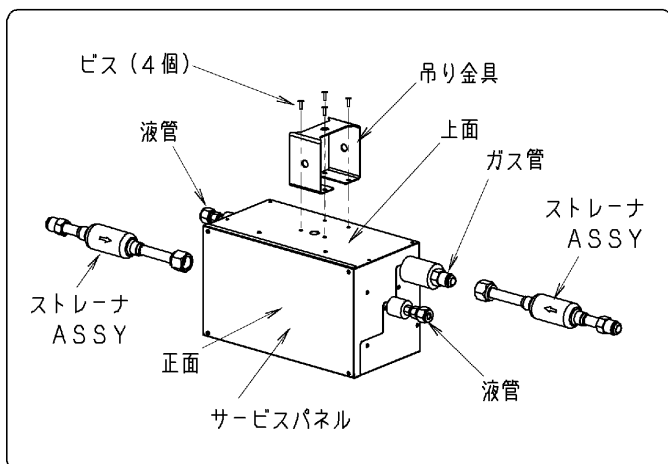


図6. サービススペースについて

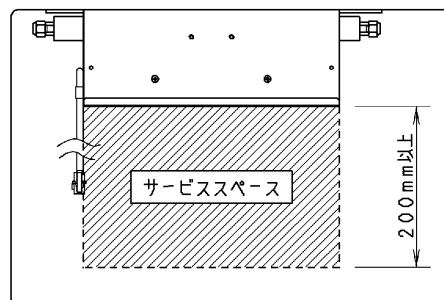
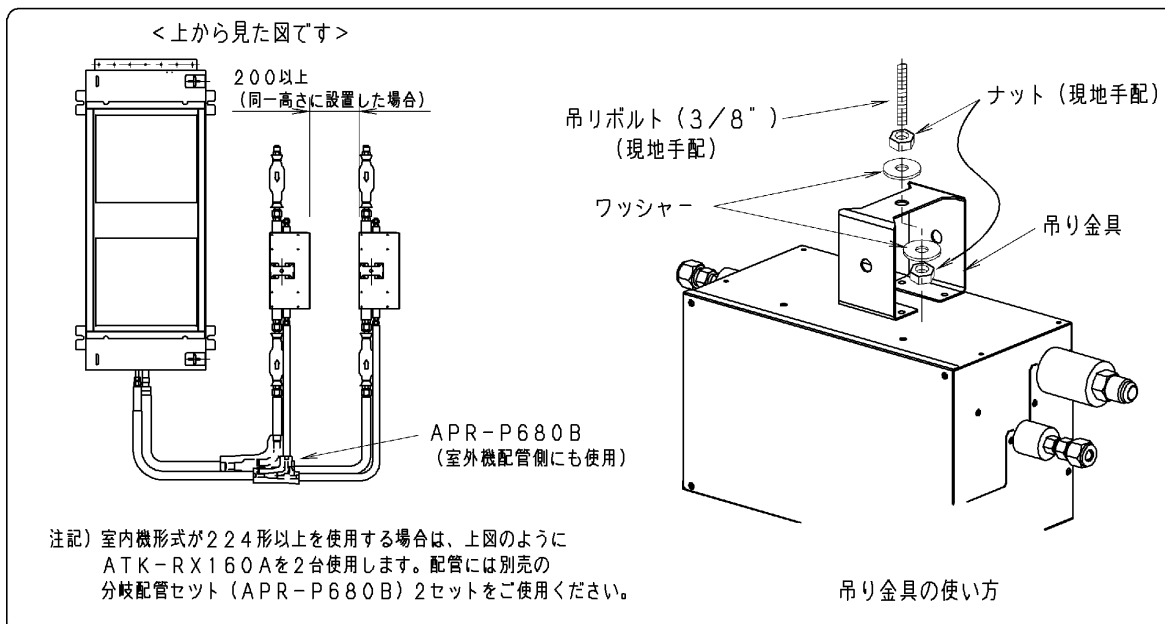


図7. ガス管弁キットの取付け例



2. 取付け時の注意

● 室内外機とガス管弁キットとの取付け方向は、本体ラベルに従って厳守願います。

- 本体は必ず構造体と吊りボルト等で固定してください。
- 本体は室内機から30m以内の所に図7のように取付けてください。
- 取付けは必ず上面を上にして取付けてください。
- 取付ける時にはサービススペースとして200mm以上あけてください。(図6)
- 本体は、吊り金具の上の穴か側面の穴を利用して固定してください。
- 天井面には直接置かないでください。また、会議室等、静音を要求される部屋の近くには取付けないでください。
- 板金には絶対に穴あけや溶接はしないでください。
- ドレンの邪魔にならないように配置してください。
- 別売の配管セットを使用する場合は、そちらの据付説明書を参照してください。

5. 配線、配管、断熱

1. 配線

- ガス管弁キットから出ている6Pのコネクターを室内機の電源取入口を通して、6Pのコネクター（黄色）と接続してください。(図8参照)
- キャプタイヤケーブルは約5メートルあります。長さが足りないときは途中で切断して図9のようにターミナルボックス（現地手配）で中継してください。
- キャプタイヤケーブルはユニット内の結束バンドで固定してください。
- キャプタイヤケーブルはリモコン線、ユニット間操作線と同一電線管内に通さないでください。

図8. 接続のしかた

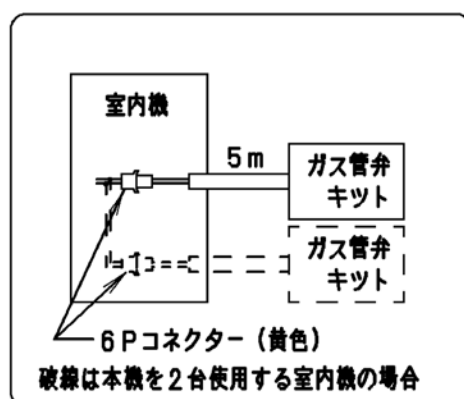
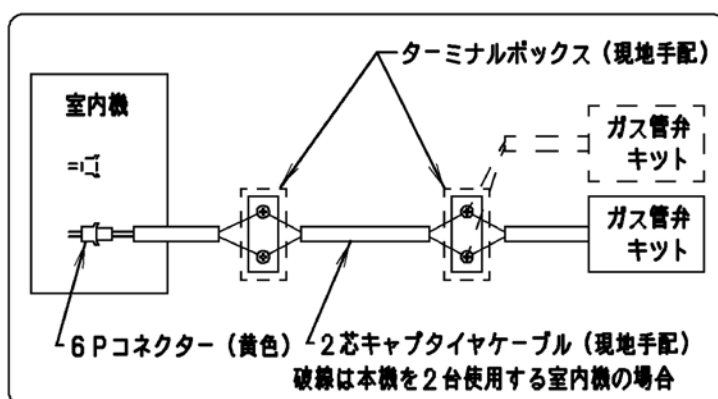


図9. 延長配線のしかた

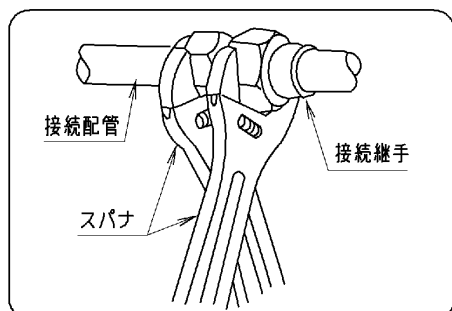


2. 冷媒配管のしかた

- 配管接続部のフレアナットを外すとき、および配管接続後にフレアナットを締め付けるときは、必ずスパナ2丁掛けで行ってください。
- フレアナットの締めすぎによるフレア部破壊を防ぐため、下表を目安に締め付けてください。

表1 締め付トルク

パイプ径	締め付けトルク	
	(N・m)	(kgf・cm)
φ 6.35 (1/4")	16±2	約 140～180
φ 9.52 (3/8")	38±4	約 340～420
φ 12.7 (3/8")	55±6	約 490～610
φ 15.88 (5/8")	75±7	約 680～820
φ 19.05 (3/4")	110±10	約 1000～1200

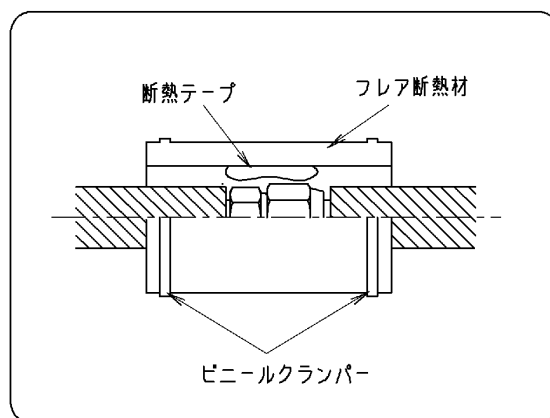


3. 断熱のしかた

(断熱は必ずリーク検査終了後行うこと。)

- 配管は必ず断熱をしてください。
- ガス管は120°C以上、液管は80°C以上の耐熱性断熱材で、厚さは10mm以上を使用してください。周囲がDB30°C、RH70%を超える場合は、断熱材厚さを1ランクアップしてください。
- ガス管のフレアナット部には、付属の断熱テープを各2枚ずつ使用して巻き付けてください。
- 次に、フレアナット部に付属のフレア断熱材を巻き付け、ビニールランパーで両端を固定してください。
- 断熱をしないと水漏れの原因になります。
- 付属の接続パイプ(φ12.7ガス管接続用)を使用する場合、断熱材は、付属されておきませんので現地手配として施工してください。

図10. 断熱のしかた



(5) ボールバルブセット

①品 番

バルブ接続管サイズ (mm) ※1			適応室内ユニット バルブより先の合計室内ユニット容量
品番	ガス管	液管	
SGP-BV710K	φ 31.75	φ 19.05	71.0kW超～85.0kW以下
SGP-BV355K	φ 28.58	φ 15.88	45.0kW超～71.0kW以下
SGP-BV450M	φ 28.58	φ 12.7	35.5kW超～45.0kW以下
BV-RXP335A	φ 25.4	φ 12.7	28.0kW超～35.5kW以下
BV-RXP280A	φ 22.22	φ 9.52	22.4kW超～28.0kW以下
BV-RXP224A	φ 19.05	φ 9.52	16.0kW超～22.4kW以下
BV-RXP160A	φ 15.88	φ 9.52	5.6kW超～16.0kW以下
SGP-BV56K	φ 12.7 ※2	φ 9.52	～ 5.6kW以下

注) 1. このボールバルブは接続銅管内径とほぼ同じ口径のため、圧力損失の補正は必要ありません。

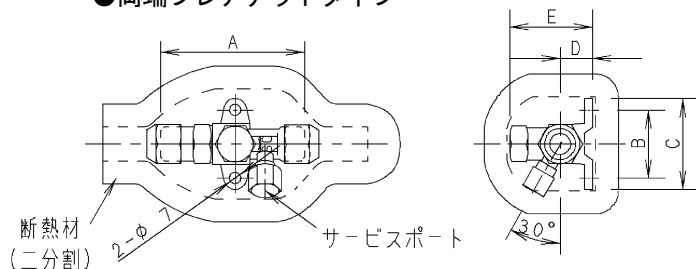
2. 気密性能は、4. 15 MPa 以上あります。

※1) 主配管サイズを超えないように選定してください。

※2) 5. 6 kW 以下の場合でも、分岐後の室内ユニットが2台以上の場合は、ガス管径をφ 15. 88 としてください。

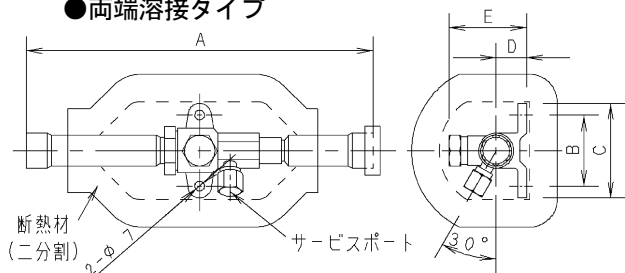
②寸 法 (サービスポートは、増設側に向くように取り付けてください。)

●両端フレアナットタイプ



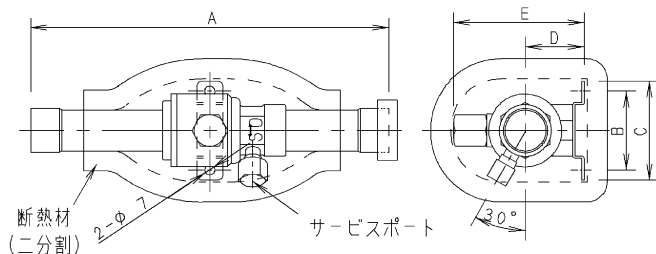
寸 法		A	B	C	D	E
サ イ ズ	φ 9.52 (3/8")	76	42	54	16	44
	φ 12.7 (1/2")	89	42	56	20	51
	φ 15.88 (5/8")	92	42	56	20	51

●両端溶接タイプ



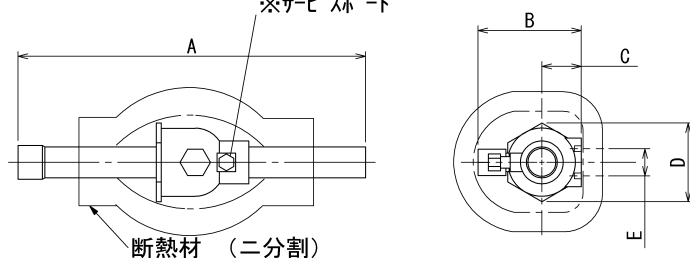
寸 法		A	B	C	D	E
サ イ ズ	φ 19.05 (3/4")	250	51	68	22	56
	φ 22.22 (7/8")	250	51	68	22	56

●両端溶接タイプ



寸 法		A	B	C	D	E
サ イ ズ	φ 25.4 (1")	250	55	69	36	84.5

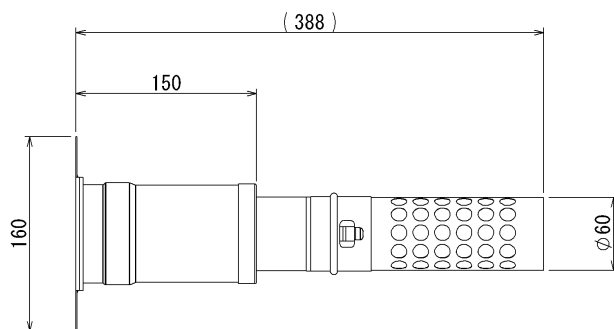
●両端溶接タイプ ※サービスポート



寸 法		A	B	C	D	E
サ イ ズ	φ 28.58 (1 1/8")	270	87	35	69	20

(1) 排気延長キット (SGP-PEX560K)

■外形寸法図



■排気延長キットの据付

安全上のご注意

安全に関する重要な内容です。よくお読みのうえ必ずお守りください。誤った工事をしたときに、死亡や重傷等重大な結果に結びつく可能性が大きいものを「**△警告**」の欄に、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があるものを「**△注意**」の欄にまとめてあります。

ご注意

△警告

- 取付け工事は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼してください。ご自分で工事をされ不備があると、排気ガスの中毒や火災の原因になります。
- 取付け工事は、この“排気延長用アダプタ取付説明書”に従って、確実に行ってください。取付けに不備があると、排気ガスの中毒や火災の原因になります。

据付場所の選定

△警告

- 排気トップの位置は、排気ガスが建物への給排気口や窓、または建物へ連絡する配管や通気口等から、建物に入らない場所に設置してください。排気ガスが建物に流入して、中毒等の原因になります。
- 排気トップの位置は、排気ガスが滞留しないよう大気に開放された、屋外に設置してください。排気ガスが建物に流入して、中毒等の原因になります。
- 排気ガスは、排水マスや溝等に直接排出する場合、周囲に悪影響を与えないところで、必ず大気に開放してください。排気ガスが建物に流入して、中毒等の原因になります。

△注意

- 排気筒や排気トップと可燃物との距離は、図8、9の定められた離隔距離をとってください。この距離がないと火災の原因になることがあります。
- 排気トップの位置は、排気ガスが動植物に被害を与えない場所に設置してください。動植物に悪影響を及ぼす原因になることがあります。

排気筒延長時の制限内容

排気筒の延長工事を行う際には、下記の制限を厳守してください。

施工時の制限内容	制限値
外気温度	-5℃以上
排気筒の延長	5m4曲がり以内
排気筒の勾配	上り勾配 3/100以上

使用する排気筒部材の指定

排気筒は、商品名KPパイプφ60シリーズを使用し、取付け金具類(受け足、二つ割)を含め、下記販売会社に現地手配をしてください。

販売会社 株式会社ホクアイ
 本社 札幌市西区発寒14条12丁目1-5
 TEL 011-665-8241、FAX 011-661-3452
 東京支店 東京都墨田区東墨田1丁目1-2
 TEL 03-3617-3001、FAX 03-3617-3092
 大阪支店 大阪府北区中津6丁目1-13
 TEL 06-452-1336、FAX 06-458-1797

排気延長用アダプタの取付手順

1

- 1) 梱包箱を開け、以下の部品が入っていることをご確認ください。
 排気延長用アダプタ × 1
 排気TOP ASSY × 1
 O-RING (P-70) × 1
- 2) 一度排気TOPを排気延長アダプタの奥まで差し込んでください。
- 3) 排気延長アダプタのストップ金具を押しながら、排気TOPを矢印の向きに引き抜いてください。

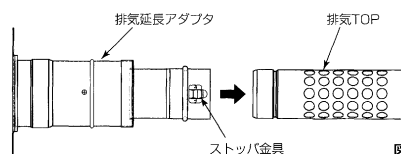


図 1

2

CAP及び排気TOP(標準品)の取外し

- 1) 室外ユニット上部に取り付けてあるCAP (M5ネジ) を取り外してください。
- 2) 同様に排気管が抜けないように注意しながら、排気TOP (M4ネジ×2) を取り外します。(潤滑剤を使用し、回しながら取り外すと、簡単に抜けます。) なお、M4ネジ×2は再利用しますので、粉失に注意してください。
- 3) 既存のO-RINGを排気管より、取り外し、付属のO-RINGを装着します。この際、排気管のエッジは鋭いので、怪我に注意しながら行ってください。

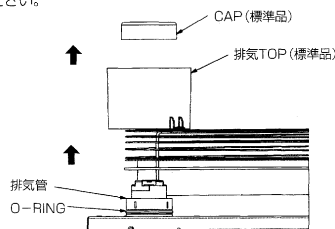


図 2

3

排気延長用アダプタの取付け

- 1) 排気延長アダプタを矢印の向きに、挿入します。(潤滑剤を使用すると、簡単に挿入できます。)
- 2) ②-2) で外したM4ビス×2を使用し、室外ユニット天面パネルに固定します。

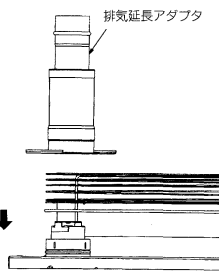


図 3

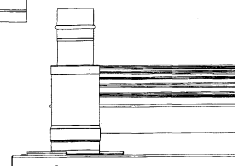


図 4

4

排気トップの取付

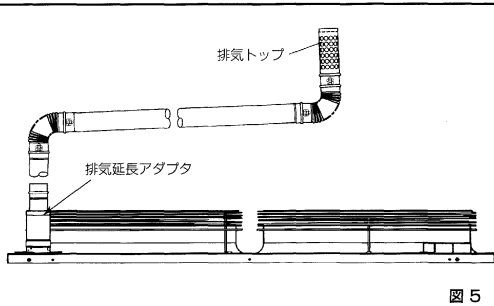


図5

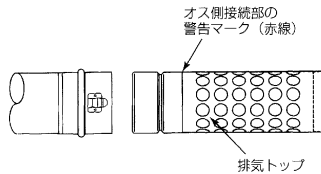


図6

- 1) 排気筒最終端には、必ず付属の排気トップを取付けてください。
- 2) 排気トップとKPパイプの接続は、オス側接続部の警告マーク（赤線）のところで、十分に差し込んでください。図6を参照してください。確実に接続されると「カチット」音がします。
- 3) 排気トップは、図5の様に必ず垂直に取付けてください。

施工時のご注意

① KPパイプ接続時のご注意

- KPパイプを接続する時は、オス側接続部の警告マーク（赤線）のところで、十分に差し込んでください。確実に接続されると「カチット」音がします。図6を参照してください。
- KPパイプは絶対に切断しないでください。寸法の調整が必要な場合は、スライド管をご使用ください。
- その他に関しては、KPメーカの取扱説明書に従ってください。

② 排気筒の固定方法

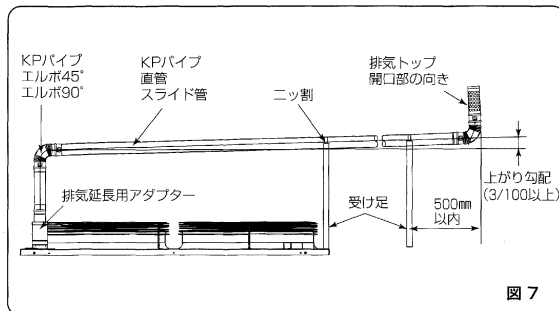


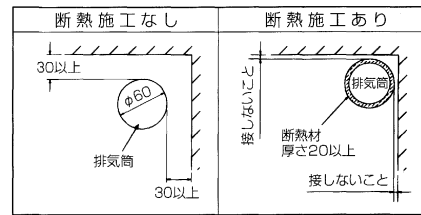
図7

- 排気筒の固定は、取付け金具（受け足、ニツ割り）を使用して現地加工を行い、ユニット天板のボルト・ビスを使用して共締めを行ってください。例として図7を参照してください。
- ユニット本体外に延長された排気筒は、取付け金具を使用して1.5～2.0m間隔で、外壁等に固定をしてください。
- 延長排気筒最終固定端からの長さ制限は、500mm以内としてください。図7を参照してください。

③ 排気筒の離隔距離

- 排気筒と「可燃材料、難燃材料または準不燃材料による仕上げをした建築物の部分等」との離隔距離(mm)は、図8に従ってください。

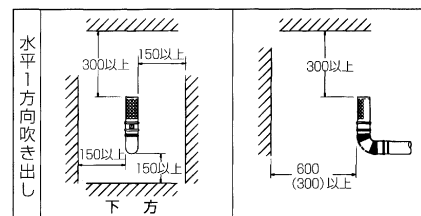
図8 (空間部)



④ 排気トップの離隔距離

- 排気筒の開口部と周囲の「可燃材料、難燃材料または準不燃材料による仕上げをした建築物の部分等」との離隔距離(mm)は、図9に従ってください。

図9 (排気トップ周囲の離隔距離)



〈備考〉()内の寸法は、防熱板を取付けた場合及び「不燃材料で有効に仕上げをした建築物の部分等」との寸法を示す。

⑤ 防振架台使用時のご注意

- 防振架台使用時にも排気延長は可能です。
- 延長排気筒の長さが500mm以下で、垂直に取付ける場合は固定の必要はありません。
- その他の場合は、取付け金具等を使用してユニット天板のボルト・ビスを使用し、共締めを行ってください。
- 例として図7を参照してください。

⑥ 吹き出し延長ダクト設置時のご注意

- 吹き出し延長ダクトを設置する場合は、ダクトの形状等から受け足金具類の使用が困難な場合があります。その場合はワイヤ等を使用して、ダクトやユニット天板のボルト・ビスを使用し、共締めを行ってください。
- 受け足金具を使用する場合は、例として図10を参照してください。

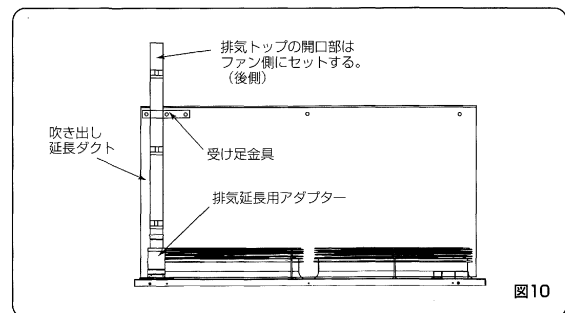


図10

(2) 単相キット

・ACC-BM2M1-56

●使用機種

450・560・710・850形

●付属品

・CONTROLLER ASSY (本体1ヶ)

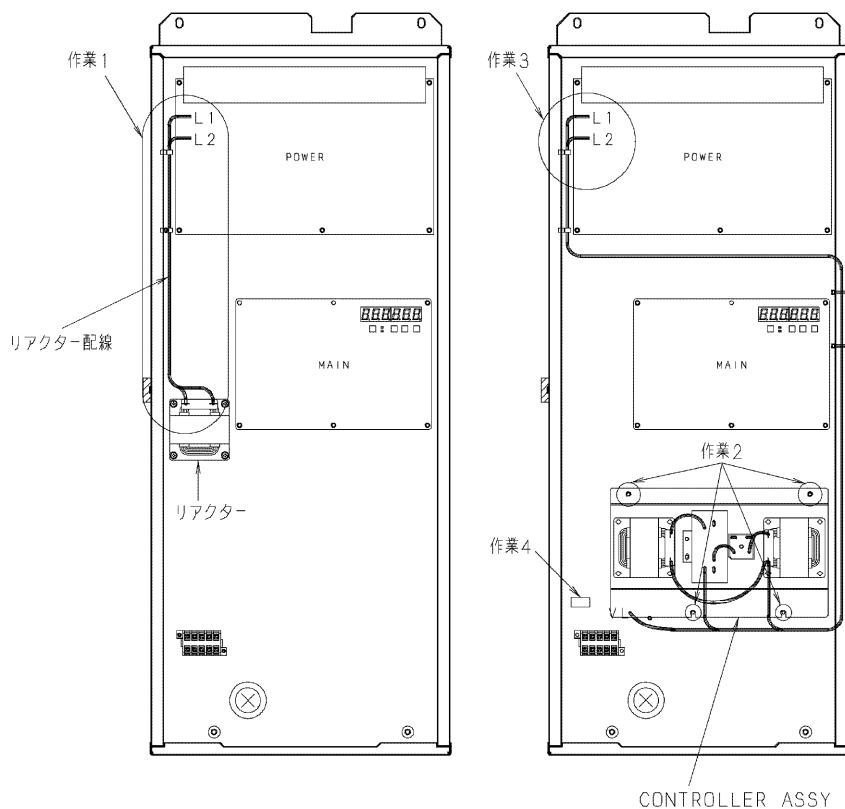
・クランパー (7本)

・ビス (4本)

・注意書「単相に改造済」

・作成手順書

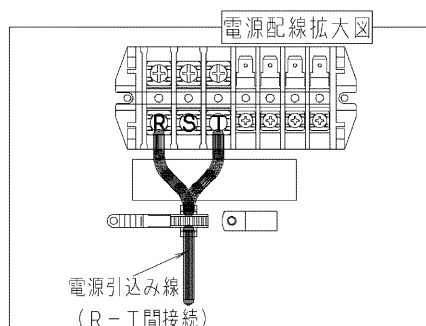
(同梱のショートビン2本は使用しません。)



現状 (三相仕様)



変更後 (単相仕様)



配線容量（電源配線は600Vビニール配線・ⅠV線を使用基準とし、現地手配となります。）

ユニット区分		室 外 側	
		大 形	
項目		単 相	三 相
スイッチ容量 (A)		30	
ヒューズ容量 (A)		15	
容量 (A)		20	
漏電遮断器		30	
漏れ電流 (mA)		0.1	
動作時間 (sec)			
電源配線電線最小太さ		2mm ² (1.7)	2mm ² (3.5)
(金属管・塩化管) (電圧降下基準 2%)	こう長25m迄	3.5mm ²	2mm ²
	50m迄	8mm ²	3.5mm ²
	75m迄	14mm ²	5.5mm ²
	100m迄	14mm ²	8mm ²
アース線太さ		2mm ²	
ユニット間接続太さ (室内外間)		0.5mm ² ～2mm ² (総延長1000mまで)	

- 電線最小太さの（ ）内数値は、その最大こう長（m）を表します。
- 室外側の電源わたり配線はできません。
- 室内側の配線容量は含みません。
室内側に総合電源引き込みを行うことはできませんのでご注意ください。
- 電源側漏電遮断器の選択については保護協調のため遅延形を推奨します。

注1. 電源配線は必ずR-Tに配線してください。（誤配線すると漏電ブレーカーが動きません。）

注2. 元電源を切った後、作業を行ってください。（室外機のブレーカーではなく、元電源を必ず切ること。）

注3. ハイパフォーマルチの場合は、この後の作業（1～3）は必要ありません。

作業1：リアクターとパワー基板のコネクタとの間のリアクター配線（黄色2本）を外してください。

注4. パワー基板上のL1、L2端子はポジティブロック端子です。（無理して引っ張ると基板を壊します。）
必ず端子の樹脂ケースを押さえて引き抜くこと。

作業2：CONTROLLER ASSYを付属のビス4本で固定してください。

作業3：パワー基板のL1端子にCONTROLLER ASSYの白配線を接続します。
パワー基板のL2端子にCONTROLLER ASSYの黄配線を接続します。

注5. L1、L2端子には極性があるため、絶対に白と黄の配線は誤配線しないこと。
（誤配線すると部品が破壊されます。）

作業4：CAUTION LABEL（826-6-4759-305-00）「単相に改造済」を貼ります。

作業5：電源端子台の各R、S、Tとアース間でそれぞれ絶縁抵抗を測ります。（10MΩ以上であること。）

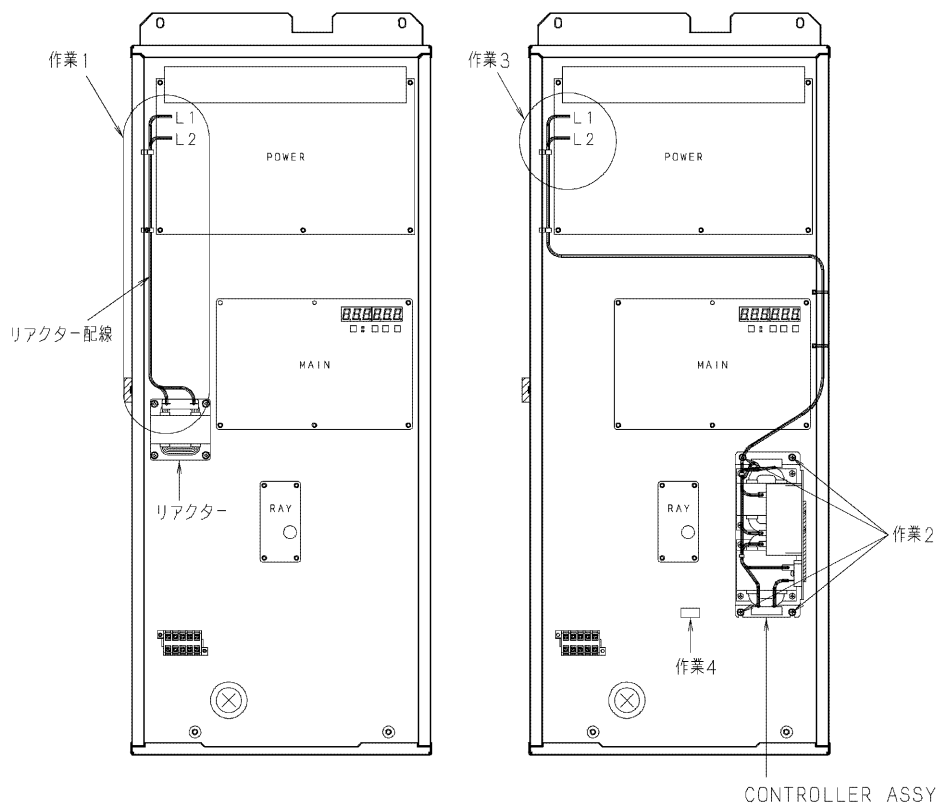
作業6：元電源を入れてメイン基板のDOWN・UPキーを押して、NO. 10 Firstを選択します。
Firstの中の項目Souを0から1へ変更してください。

作業後：試運転確認を行ってください。

※同梱のショートピンは2種類とも使用しません。

・ACC-BM2M1-28

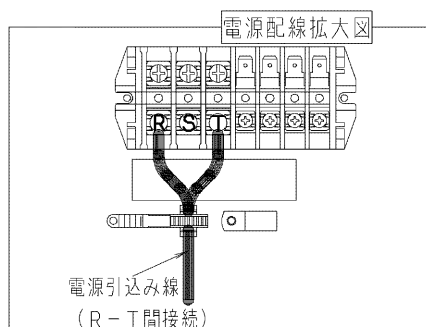
- 使用機種
224・280・355形
- 付属品
 - ・CONTROLLER ASSY (本体1ヶ)
 - ・クランパー (7本)
 - ・ビス (4本)
 - ・注意書「単相に改造済」
 - ・作成手順書
 (同梱のショートビン2本は使用しません。)



現状 (三相仕様)



変更後 (単相仕様)



配線容量（電源配線は600Vビニール配線・E-M-I-E線を使用基準とし、現地手配となります。）

項目	ユニット区分	室 外 側	
		中 形	
		単 相	三 相
スイッチ容量 (A)		30	
ヒューズ容量 (A)		15	
容量 (A)		20	
漏電遮断器	漏れ電流 (mA)	30	
	動作時間 (sec)	0.1	
電源配線	電線最小太さ	2mm ² (39)	2mm ² (65)
(金属管・塩ビ管) (電圧降下基準 2%)	こう長25m迄	2mm ²	2mm ²
	50m迄	3.5mm ²	2mm ²
	75m迄	5.5mm ²	3.5mm ²
	100m迄	5.5mm ²	3.5mm ²
アース線太さ		2mm ²	
ユニット間配線太さ (室内外間)		0.5mm ² ~2mm ² (総延長1000mまで)	

- 電線最小太さの（ ）内数値は、その最大こう長（m）を表します。
- 室外側の電源わたり配線はできません。
- 室内側の配線容量は含みません。
室内側に総合電源引き込みを行うことはできませんのでご注意ください。
- 電源側漏電遮断器の選択については保護協調をとられることを推奨します。

注1. 電源配線は必ずR-Tに配線してください。（誤配線すると漏電ブレーカーが動きません。）

注2. 元電源を切った後、作業を行ってください。（室外機のブレーカーではなく、元電源を必ず切ること。）

作業1：リアクターとパワー基板のコネクタとの間リアクター配線（黄色2本）を外してください。

注3. パワー基板上のL1、L2端子はポジティブロック端子です。（無理して引っ張ると基板を壊します。）
必ず端子の樹脂ケースを押さえて引き抜くこと。

作業2：CONTROLLER ASSYを付属のビス4本で固定してください。

作業3：パワー基板のL1端子にCONTROLLER ASSYの白配線を接続します。
パワー基板のL2端子にCONTROLLER ASSYの黄配線を接続します。

注4. L1、L2端子には極性があるため、絶対に白と黄の配線は誤配線しないこと。
（誤配線すると部品が破壊されます。）

作業4：CAUTION LABEL（826-6-4759-305-00）「単相に改造済」を貼ります。

作業5：電源端子台の各R、S、Tとアース間でそれぞれ絶縁抵抗を測ります。（10MΩ以上であること。）

作業6：元電源を入れてメイン基板のDOWN・UPキーを押して、NO. 10 Firstを選択します。
Firstの中の項目Souを0から1へ変更してください。

作業後：試運転確認を行ってください。

※同梱のショートピンは2種類とも使用しません。

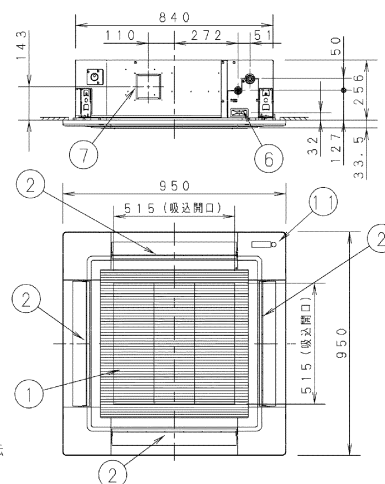
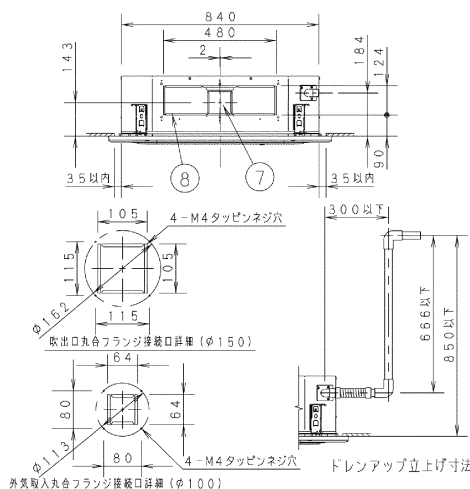
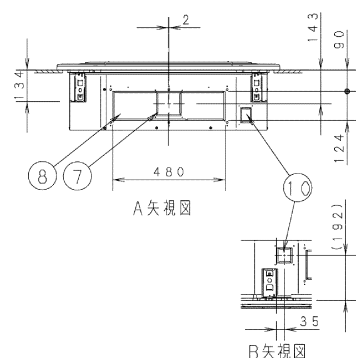
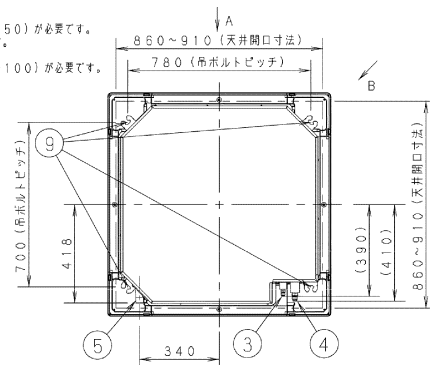
■標準パネル (CZ-160KPAU5(-H)、(-T)、(-K))

■オイルガードパネル (CZ-160KBU5(-K))

●S-G28・36・45・56・71・80UT1

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管 (液管)
4	冷媒配管 (ガス管)
5	ドレン配管口VP25 (外径φ32)
6	配線取入口
7	吹出口丸合フレンジ接続口 (φ150) ※1
8	気化式加温器 (別売品) 取付部
9	吊りボルト穴 (4-12×2.8長穴)
10	外気取入丸合フレンジ接続口 (φ100) ※2
11	ワイヤレスリモコン受信部 (別売品)
12	標準パネル (別売品) CZ-160KPU5 (-K, -T, -H) オイルガードパネル (別売品) CZ-160KBU5 (-K)

※1、別売品：
吹出口丸合フレンジ (φ150) が必要です。
※2、別売品：
外気取入丸合フレンジ (φ100) が必要です。
《フィルター寸法》
(520×520×15) ※1層

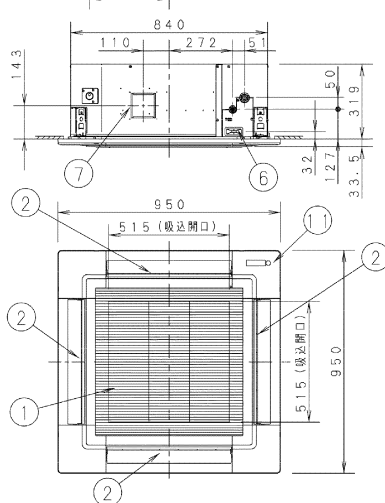
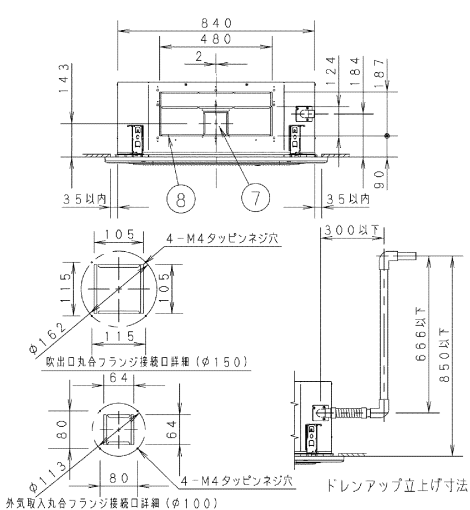
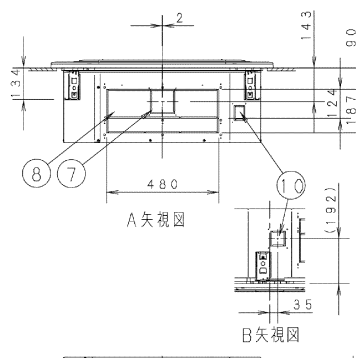
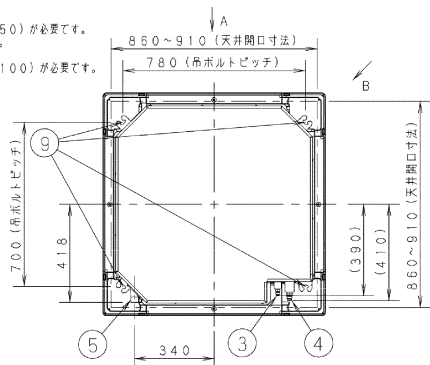


※、吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から30mm以上 (本体下面からは18mm以上) 隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

●S-G90・112・140・160UT1

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管 (液管)
4	冷媒配管 (ガス管)
5	ドレン配管口VP25 (外径φ32)
6	配線取入口
7	吹出口丸合フレンジ接続口 (φ150) ※1
8	気化式加温器 (別売品) 取付部
9	吊りボルト穴 (4-12×2.8長穴)
10	外気取入丸合フレンジ接続口 (φ100) ※2
11	ワイヤレスリモコン受信部 (別売品)
12	標準パネル (別売品) CZ-160KPU5 (-K, -T, -H) オイルガードパネル (別売品) CZ-160KBU5 (-K)

※1、別売品：
吹出口丸合フレンジ (φ150) が必要です。
※2、別売品：
外気取入丸合フレンジ (φ100) が必要です。
《フィルター寸法》
(520×520×15) ※1層



※、吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から30mm以上 (本体下面からは18mm以上) 隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

別売部品

4. 室内ユニット関連部品取付図 (4方向天井カセット形)

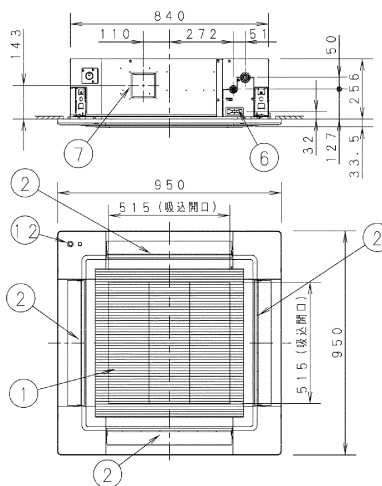
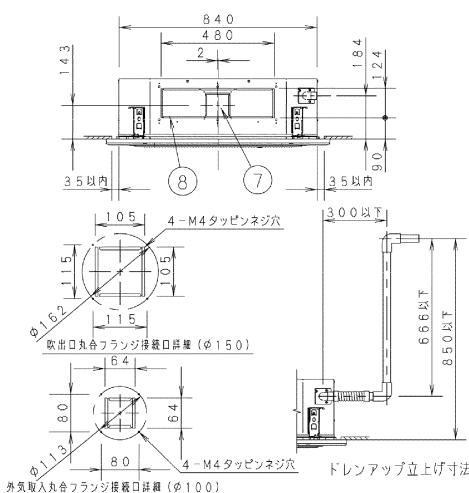
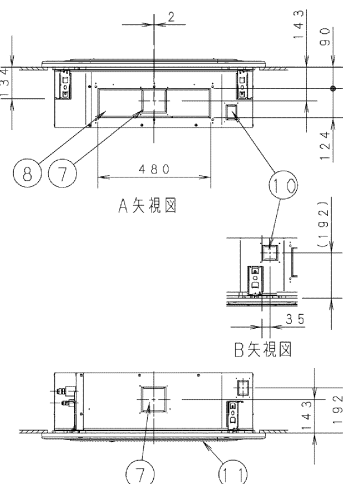
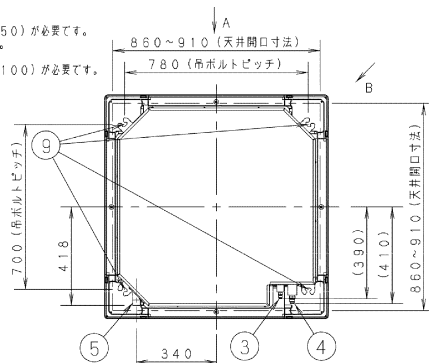
■エコナビパネル (CZ-160KPEU5 (-K))

●S-G28・36・45・56・71・80UT1

1	吸込口
2	吹出口
3	冷暖配管（湯管）
4	冷暖配管（ガス管）
5	ドレン配管口VP2.5（外径φ32）
6	配線取入口
7	吹出取込口フランジ接続口（φ150） ※1
8	気化式加湿器（別売品）取付部
9	吊りホルダ穴（4-12×2.8長穴）
10	外気取込兼吹出フランジ接続口（φ100） ※2
11	エコナビセンサー（別売品） CZ-160KPEU5（-K）
12	エコナビセンサー

※1、別売品：
吹出口丸合フレンジ(φ150)が必要です。
しゃも材が必須となります。

※2、別売品：
外気取入丸合フランジ(φ100)が必要です。
《フィルター寸法》
(520×520×15)※1個



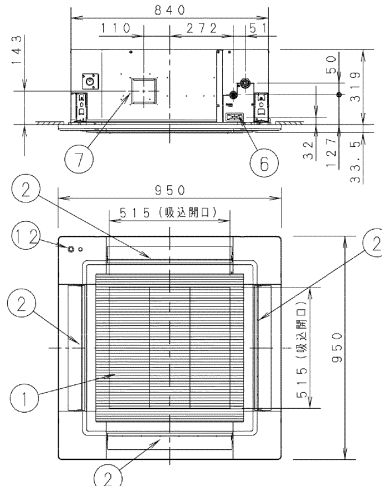
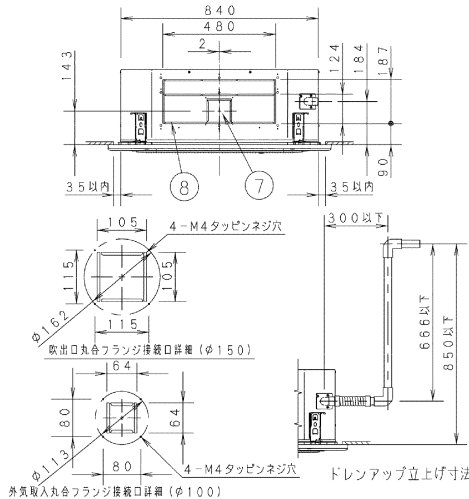
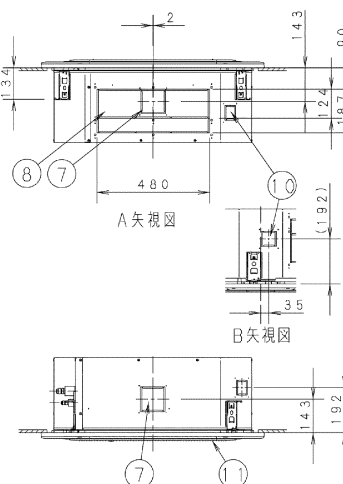
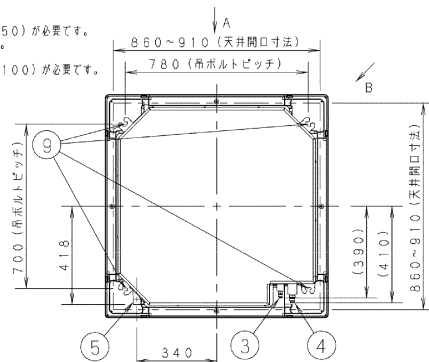
※ 吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から30mm以上（本体下面から18mm以上）隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けられません。

●S-G90・112・140・160UT1

1	吸込口
2	吹出口
3	冷暖配管（冷管）
4	冷暖配管（ガス管）
5	ドレン配管口VP25（外径φ32）
6	配線取出口
7	吹出口丸合フレンジ接続口（φ150） ※1
8	気化式加温器（別売品）取付部
9	吊りルト穴（4-12×2.8表穴）
10	外気取入丸合フレンジ接続口（φ100） ※2
11	エコパンプ（別売品） CZ-160KPEU5（-K）
12	エアダマセンサ

※1、別売品：
吹出口丸合フレンジ(φ150)が必要です。
しや風材が必須となります。

※2、別売品：
外気取入丸合フランジ(φ100)が必要です。
《フィルター寸法》
(520×520×15)※1個



※ 吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から30mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けられません。

■昇降グリル付天井パネル (標準: CZ-160KSU5(-K))

■昇降グリル付オイルガードパネル (CZ-160KSBU5(-K))

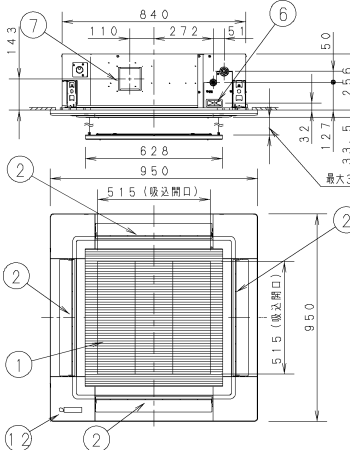
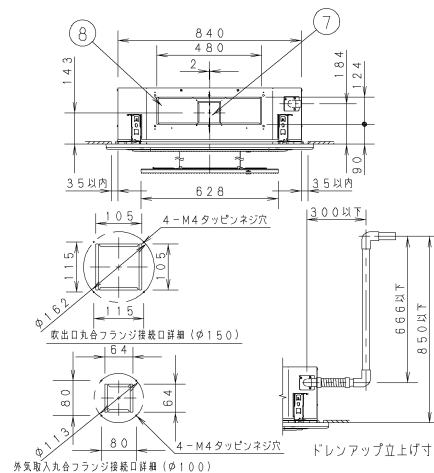
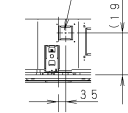
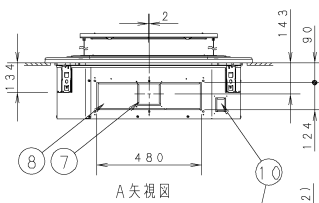
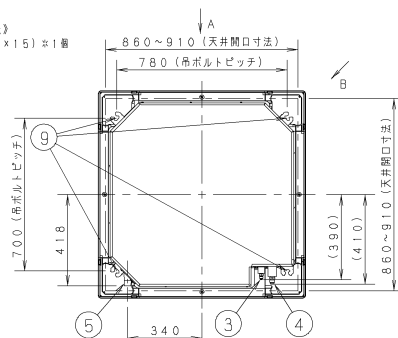
●S-G28・36・45・56・71・80UT1

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管 (液管)
4	冷媒配管 (ガス管)
5	ドレン配管口VP25 (外径φ32)
6	配線取入口
7	吹出口丸合フレンジ接続口 (φ150)
8	臭化式加湿器 (別売品) 取付部
9	吊りボルト穴 (4-12×2.8長穴)
10	外気取入丸合フレンジ接続口 (φ100)
11	昇降グリル付標準パネル (別売品) CZ-160KSU5(-K)
12	昇降グリル付オイルガードパネル (別売品) CZ-160KSBU5

※1 別売品: 吹出口丸合フレンジ (φ150) が必要です。
しや風材が必要となります。

※2 別売品: 外気取入丸合フレンジ (φ100) が必要です。

《フィルター寸法》
(520×520×15) ±1番



※. 吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から30mm以上 (本体下面からは18mm以上) 隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

(注記)
降下距離 (m) は昇降グリル用基板の設定スイッチにより以下の8種類から選択できます。
1. 2/1. 6/2. 0 (出荷時) / 2. 4/2. 8/3. 1/3. 5/3. 9m

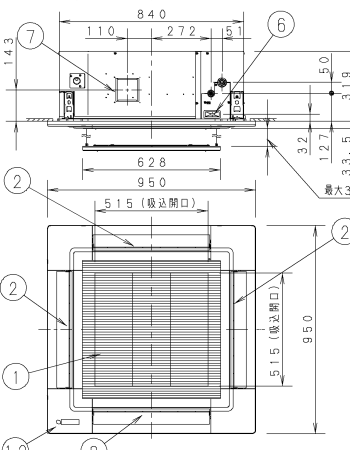
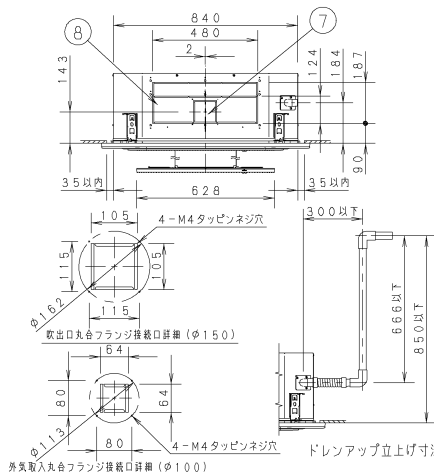
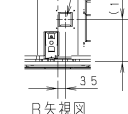
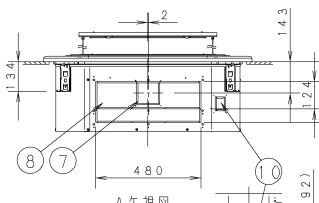
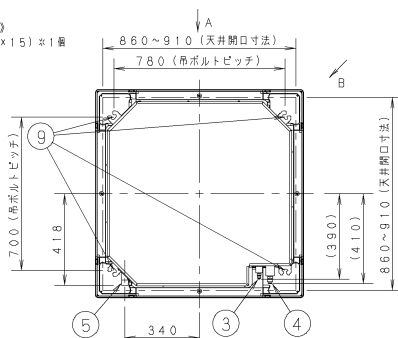
●S-G90・112・140・160UT1

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管 (液管)
4	冷媒配管 (ガス管)
5	ドレン配管口VP25 (外径φ32)
6	配線取入口
7	吹出口丸合フレンジ接続口 (φ150)
8	臭化式加湿器 (別売品) 取付部
9	吊りボルト穴 (4-12×2.8長穴)
10	外気取入丸合フレンジ接続口 (φ100)
11	昇降グリル付標準パネル (別売品) CZ-160KSU5(-K)
12	昇降グリル付オイルガードパネル (別売品) CZ-160KSBU5

※1 別売品: 吹出口丸合フレンジ (φ150) が必要です。
しや風材が必要となります。

※2 別売品: 外気取入丸合フレンジ (φ100) が必要です。

《フィルター寸法》
(520×520×15) ±1番



※. 吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から30mm以上 (本体下面からは18mm以上) 隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

(注記)
降下距離 (m) は昇降グリル用基板の設定スイッチにより以下の8種類から選択できます。
1. 2/1. 6/2. 0 (出荷時) / 2. 4/2. 8/3. 1/3. 5/3. 9m

別売部品

4. 室内ユニット関連部品取付図 (4方向天井カセット形)

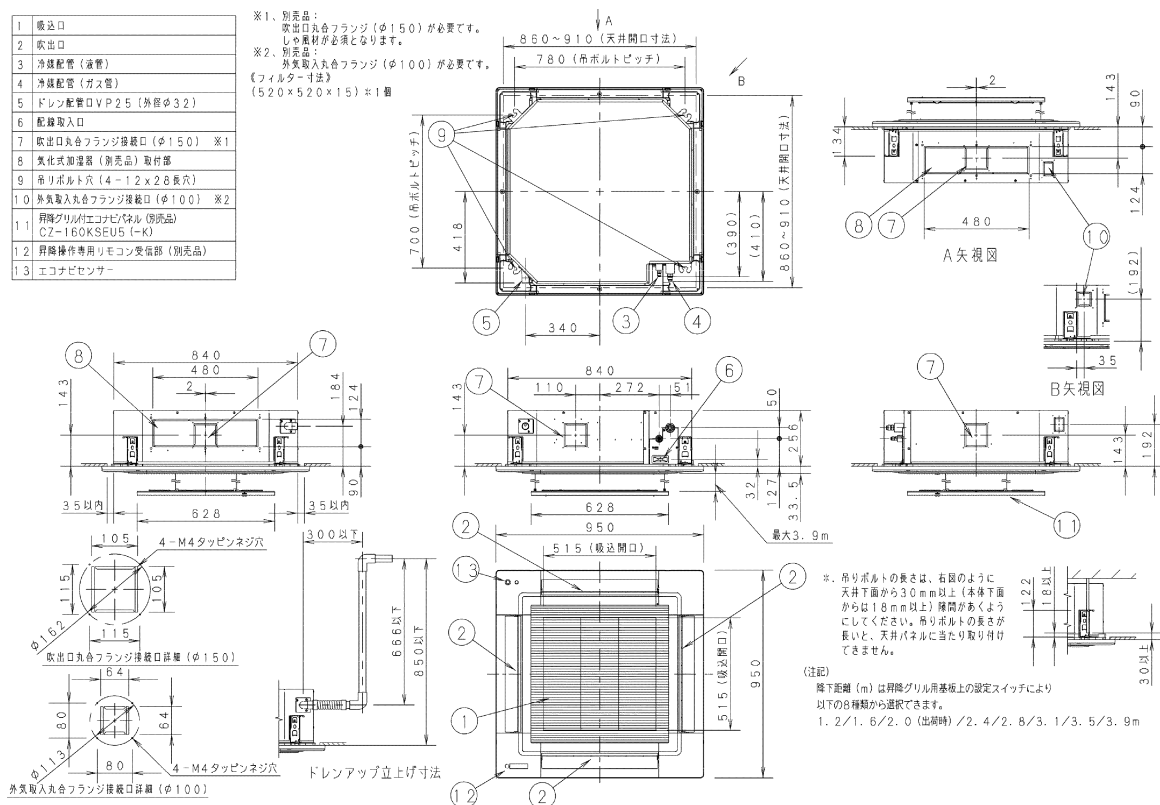
■昇降グリル付天井パネル（エコナビ：CZ-160KSEU5(-K)）

●S-G28・36・45・56・71・80UT1

1	吸込口
2	吹出口
3	冷暖配管（液管）
4	冷暖配管（ガス管）
5	ドレン配管口 V P 2.5（外径φ32）
6	配液口
7	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）※1
8	酸化性加温部（熱交換）取付部
9	吊りボルト孔（4-12.2 x 2.8 六孔）
10	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）※2
11	昇降機用アークエコーナヒル（防汚品） CZ-16IKSEU5-I-K
12	昇降機専用リモコン受信部（別売品）
13	エコナビエリレー

※1、別売品：
吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
しゃ風材が必須となります。

※2、別売品：
外気取入丸合フランジ(φ100)が必要です。
《フィルター寸法》
(520×520×15)※1個



※、吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から30mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

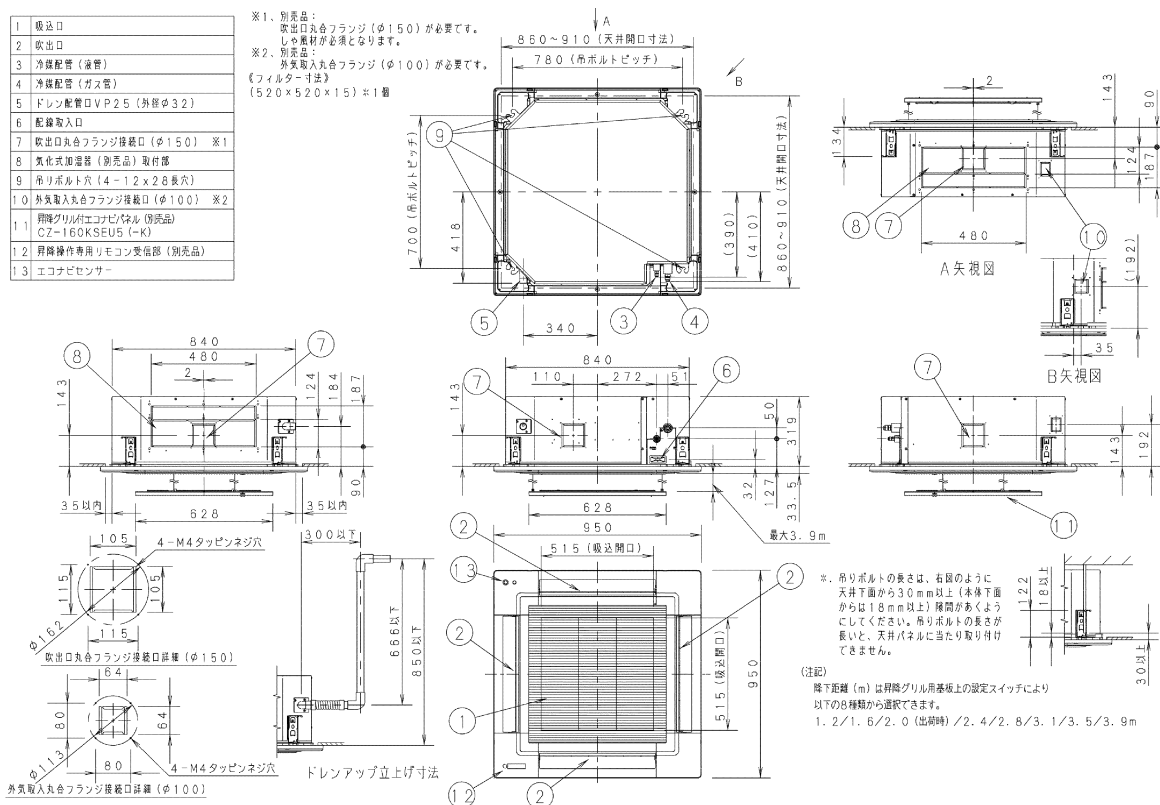
(注記)
降下距離 (m) は昇降グリル用基板上の設定スイッチにより
以下の8種類から選択できます。
1. 2/1. 6/2. 0 (出荷時) / 2. 4/2. 8/3. 1/3. 5/3. 9m

●S-G90・112・140・160UT1

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン配管VP25（外径φ32）
6	配管入口
7	吹出口丸合フラッジ接続口（φ150） ※1
8	氟化水添加器（別売品）取付部
9	吊りボルト穴（4-12×2.5スズメ穴）
10	外気取入丸合フラッジ接続口（φ100） ※2
11	潤滑オイル付エコナビオン（別売品） CZ-160K505（N-K）
12	昇降操作専用リモコン受信部（別売品）
13	エコナビセンサー

※1、別売品：
吹出口丸合フレンジ(φ150)が必要です。
しゃ風材が必須となります。

※2、別売品：
外気取入丸合フランジ(φ100)が必要です。
《フィルター寸法》
(520×520×15)※1個



※ 吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から30mm以上（本体下面からは18mm以上）余裕があくようにしてください。吊りボルトの長さが良いと、天井パネルに当たり取り付けてきません。

(注記)
降下距離 (m) は昇降グリル用基板上の設定スイッチにより
以下の8種類から選択できます。
1. 2/1. 6/2. 0 (出荷時) / 2. 4/2. 8/3. 1/3. 5/3. 9m

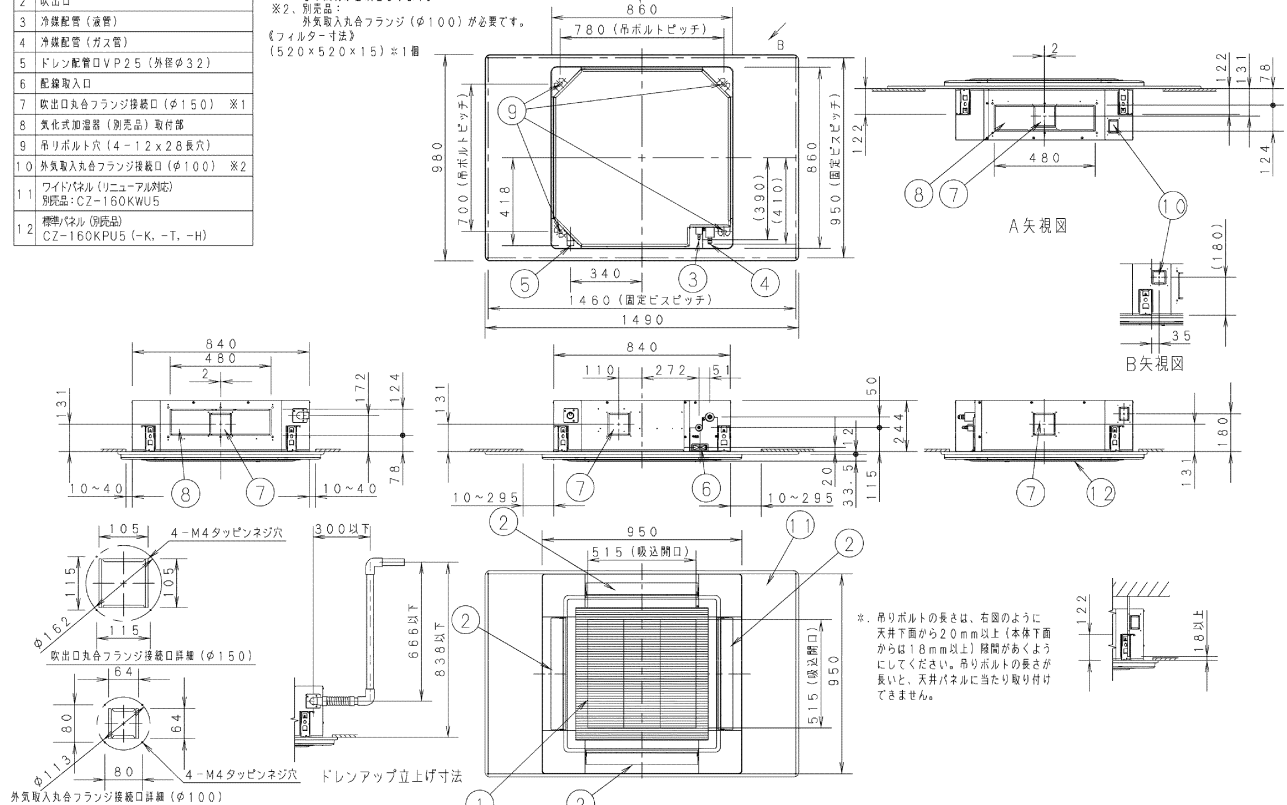
■ワイドパネル (CZ-160KWU5)

●S-G28・36・45・56・71・80UT1 (標準パネル)

1	吸込口
2	吹出口
3	冷暖配管 (液管)
4	冷暖配管 (ガス管)
5	ドレン配管口VP25 (外径φ32)
6	配線取入口
7	吹出口丸合フランジ接続口 (φ150) ※1
8	気化式加湿器 (別売品) 取付部
9	吊りボルト穴 (4-12x28長穴)
10	外気取入丸合フランジ接続口 (φ100) ※2
11	ワイドパネル (リニューアル対応) 別売品: CZ-160KWU5
12	標準パネル (別売品) CZ-160KPU5 (-K, -T, -H)

※1、別売品:
吹出口丸合フランジ (φ150) が必要です。
しゃも蓋材が必要となります。

※2、別売品:
外気取入丸合フランジ (φ100) が必要です。
《フィルター寸法》
(520×520×15) ※1個

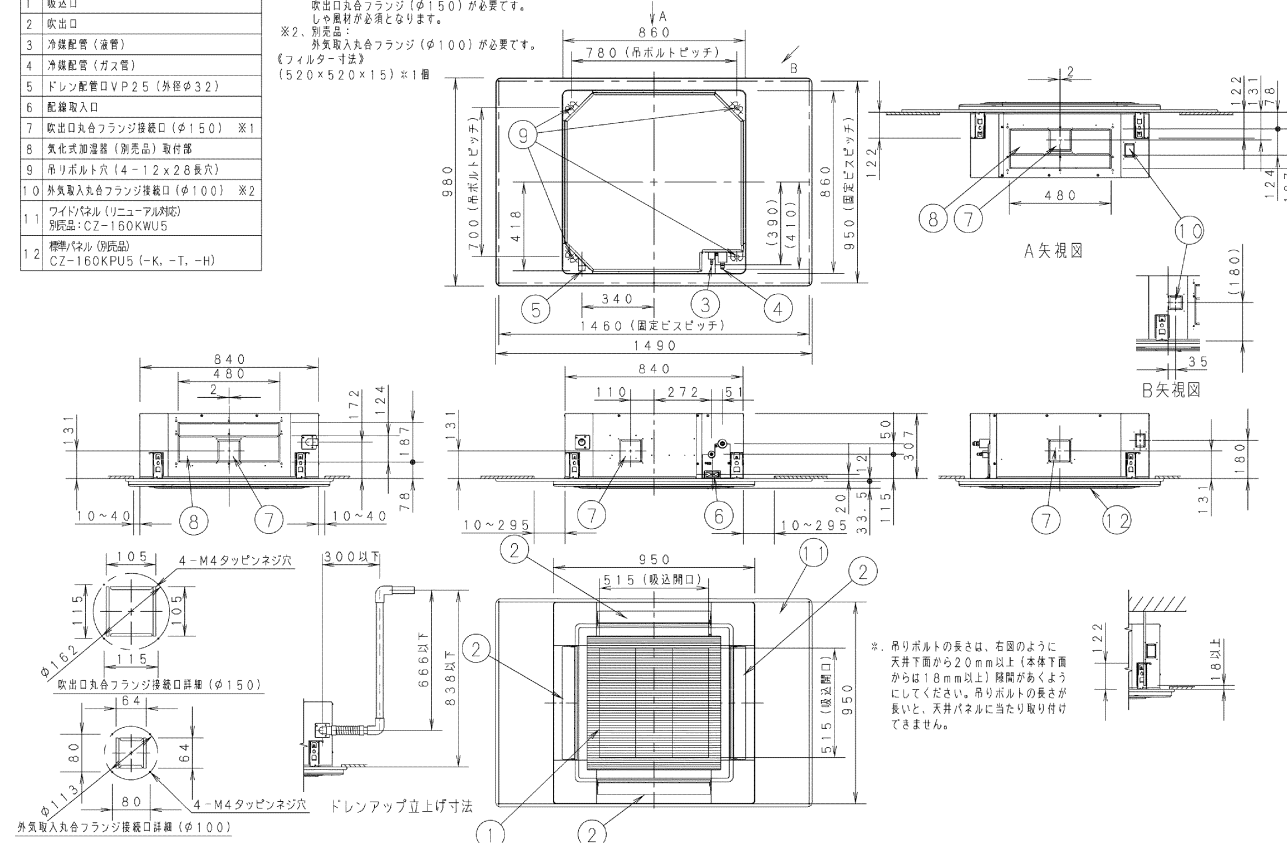


●S-G90・112・140・160UT1 (標準パネル)

1	吸込口
2	吹出口
3	冷暖配管 (液管)
4	冷暖配管 (ガス管)
5	ドレン配管口VP25 (外径φ32)
6	配線取入口
7	吹出口丸合フランジ接続口 (φ150) ※1
8	気化式加湿器 (別売品) 取付部
9	吊りボルト穴 (4-12x28長穴)
10	外気取入丸合フランジ接続口 (φ100) ※2
11	ワイドパネル (リニューアル対応) 別売品: CZ-160KWU5
12	標準パネル (別売品) CZ-160KPU5 (-K, -T, -H)

※1、別売品:
吹出口丸合フランジ (φ150) が必要です。
しゃも蓋材が必要となります。

※2、別売品:
外気取入丸合フランジ (φ100) が必要です。
《フィルター寸法》
(520×520×15) ※1個

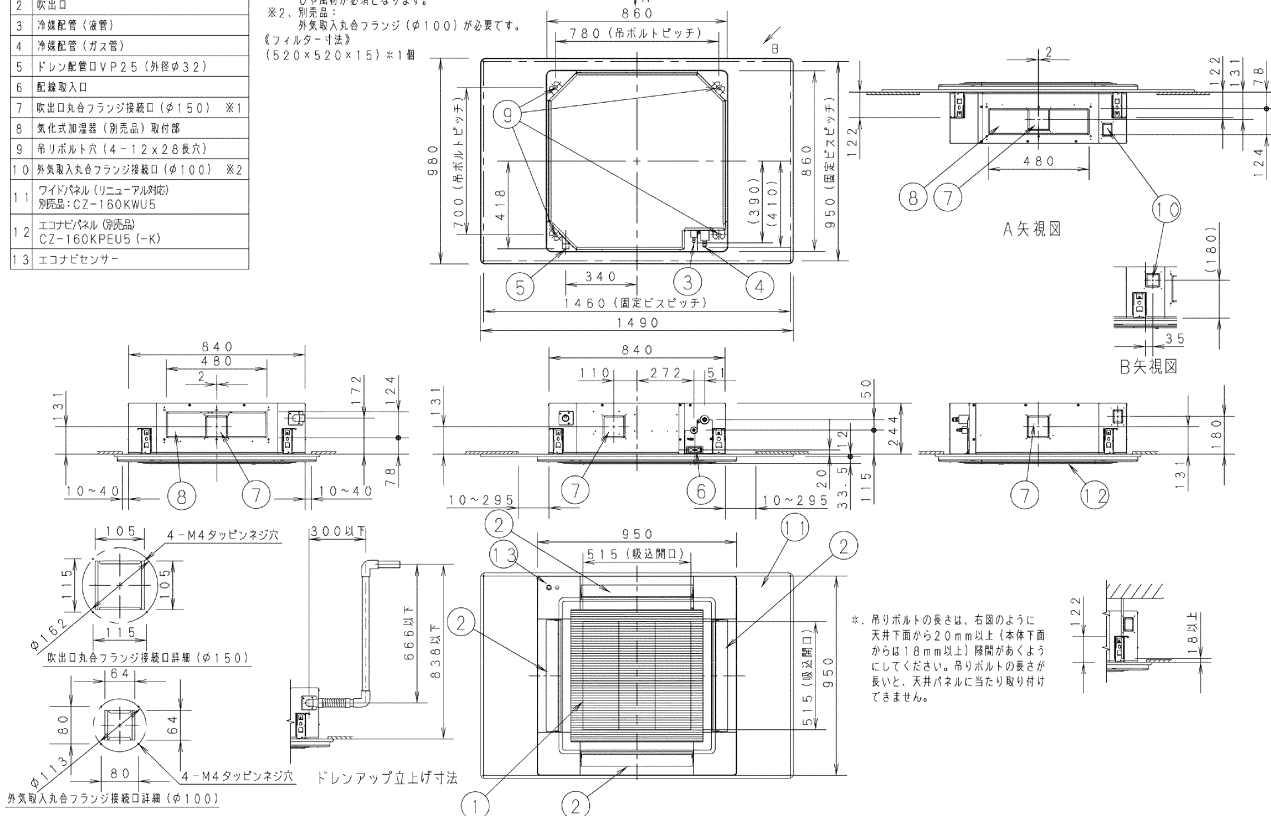


●S-G28・36・45・56・71・80UT1 (エコナビパネル)

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管 (液管)
4	冷媒配管 (ガス管)
5	ドレン配管口VP25 (外径φ32)
6	配線取入口
7	吹出口丸合フランジ接続口 (φ150) ※1
8	気化式加湿器 (別売品) 取付部
9	吊りボルト穴 (4-12×2.8長穴)
10	外気取入丸合フランジ接続口 (φ100) ※2
11	ワイドパネル (リニューアル対応) 別売品: CZ-160KWU5
12	エコナビパネル (別売品) CZ-160KPEU5 (-K)
13	エコナビセンサー

※1、別売品:
吹出口丸合フランジ (φ150) が必要です。
しゃも盾材が必要となります。

※2、別売品:
外気取入丸合フランジ (φ100) が必要です。
《フィルター寸法》
(520×520×15) ※1冊

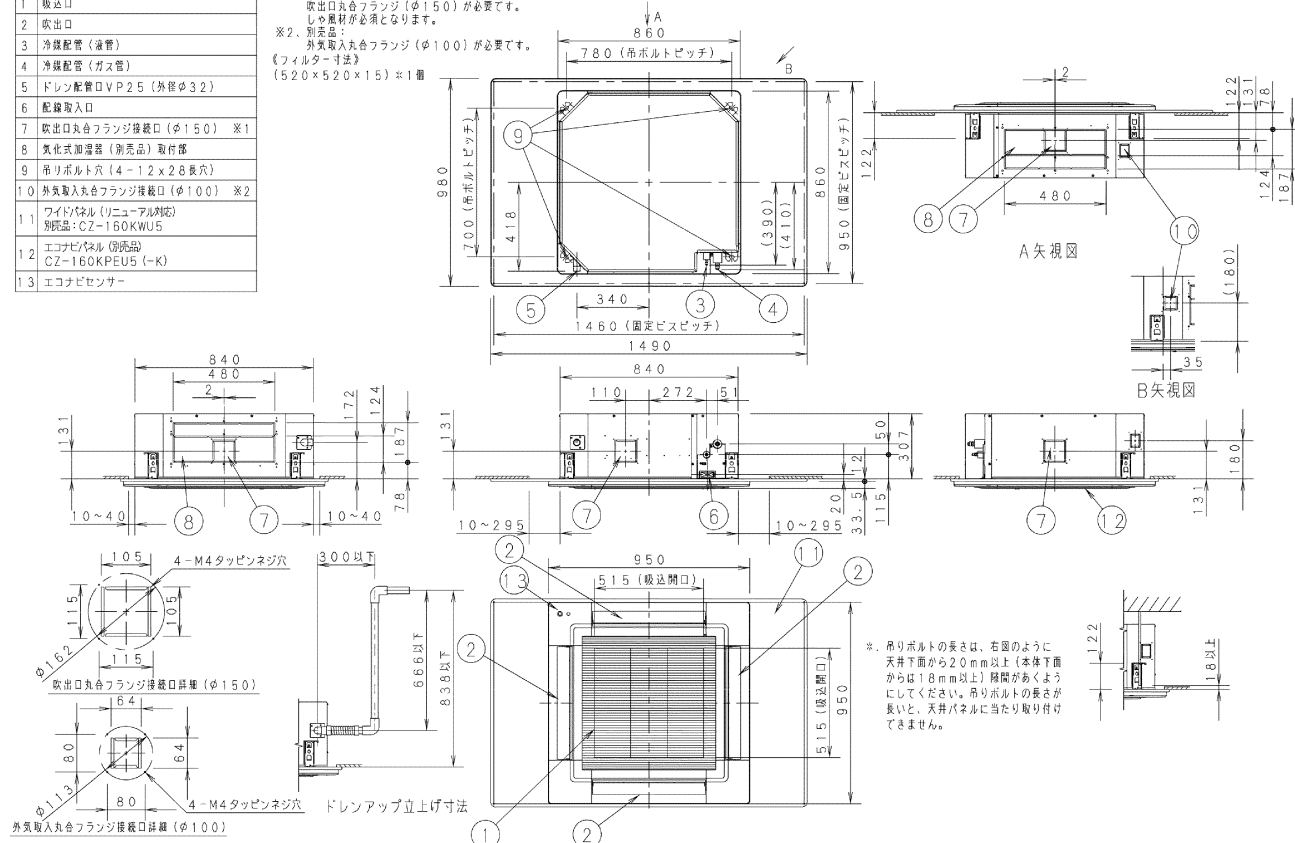


●S-G90・112・140・160UT1 (エコナビパネル)

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管 (液管)
4	冷媒配管 (ガス管)
5	ドレン配管口VP25 (外径φ32)
6	配線取入口
7	吹出口丸合フランジ接続口 (φ150) ※1
8	気化式加湿器 (別売品) 取付部
9	吊りボルト穴 (4-12×2.8長穴)
10	外気取入丸合フランジ接続口 (φ100) ※2
11	ワイドパネル (リニューアル対応) 別売品: CZ-160KWU5
12	エコナビパネル (別売品) CZ-160KPEU5 (-K)
13	エコナビセンサー

※1、別売品:
吹出口丸合フランジ (φ150) が必要です。
しゃも盾材が必要となります。

※2、別売品:
外気取入丸合フランジ (φ100) が必要です。
《フィルター寸法》
(520×520×15) ※1冊



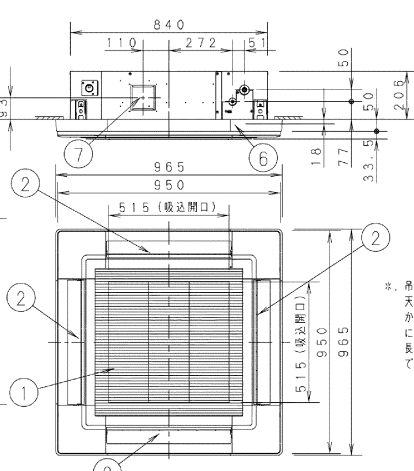
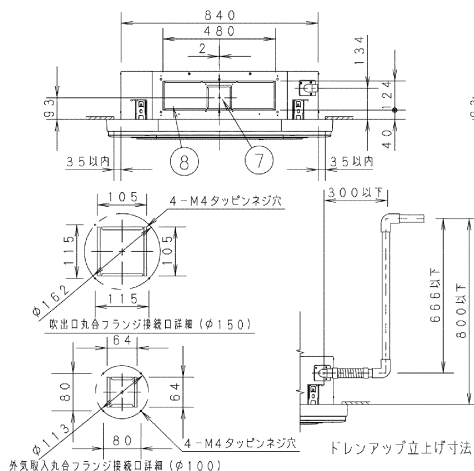
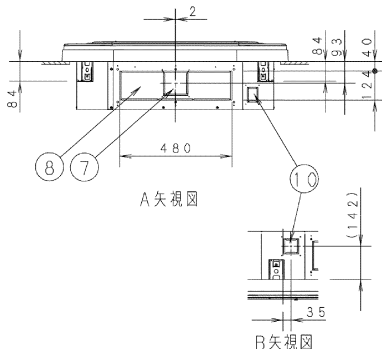
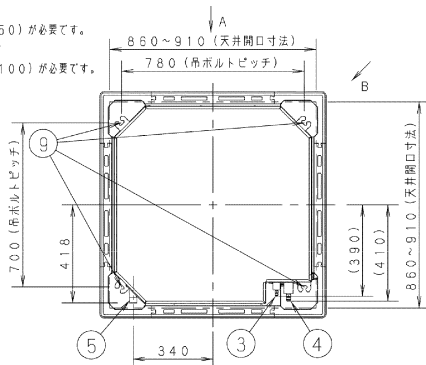
■パネルスパーサー (CZ-160-SPU5)

●S-G28・36・45・56・71・80UT1 (標準パネル)

1	吸込口
2	吹出口
3	冷暖配管 (冷水管)
4	冷暖配管 (ガス管)
5	ドレン配管口VP25 (外径φ32)
6	配線取入口
7	吹出口丸合フレンジ接続口 (φ150) ※1
8	気化式加湿器 (別売品) 取付部
9	吊りボルト穴 (4-12x28長穴)
10	外気取入丸合フレンジ接続口 (φ100) ※2
11	パネルスパーサー (別売品) CZ-160SPU5
12	標準パネル (別売品) CZ-160KPU5 (-K, -T, -H)

※パネルスパーサーをご使用いただく際には、取付位置が50mm下がりますので必ず外形寸法図をご確認の上 併設の可否をご判断ください。

- ※1、別売品：
吹出口丸合フレンジ (φ150) が必要です。
しゃもじ材が必要となります。
- ※2、別売品：
外気取入丸合フレンジ (φ100) が必要です。
《フィルター寸法》
(520×520×15) ※1個



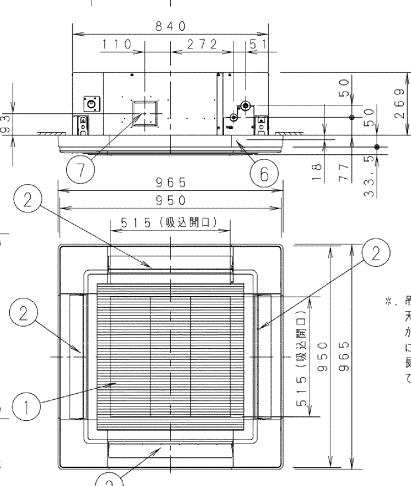
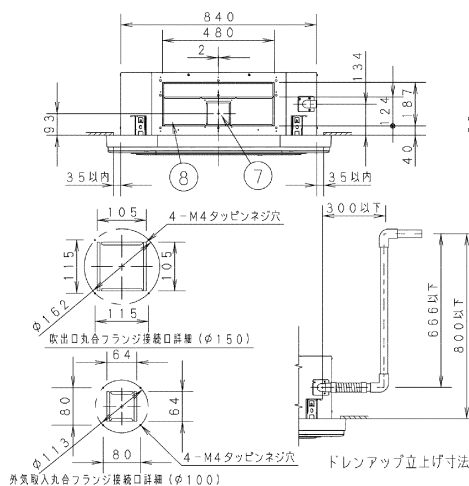
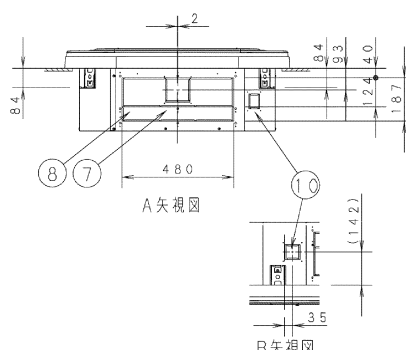
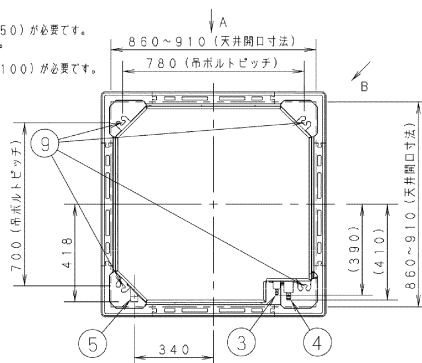
※、吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から20mm以下 (本体下面からは18mm以上) 隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

●S-G90・112・140・160UT1 (標準パネル)

1	吸込口
2	吹出口
3	冷暖配管 (冷水管)
4	冷暖配管 (ガス管)
5	ドレン配管口VP25 (外径φ32)
6	配線取入口
7	吹出口丸合フレンジ接続口 (φ150) ※1
8	気化式加湿器 (別売品) 取付部
9	吊りボルト穴 (4-12x28長穴)
10	外気取入丸合フレンジ接続口 (φ100) ※2
11	パネルスパーサー (別売品) CZ-160SPU5
12	標準パネル (別売品) CZ-160KPU5 (-K, -T, -H)

※パネルスパーサーをご使用いただく際には、取付位置が50mm下がりますので必ず外形寸法図をご確認の上 併設の可否をご判断ください。

- ※1、別売品：
吹出口丸合フレンジ (φ150) が必要です。
しゃもじ材が必要となります。
- ※2、別売品：
外気取入丸合フレンジ (φ100) が必要です。
《フィルター寸法》
(520×520×15) ※1個



※、吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から20mm以下 (本体下面からは18mm以上) 隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

4. 室内ユニット関連部品取付図 (4方向天井カセット形)

●S-G28・36・45・56・71・80UT1（エコナビパネル）

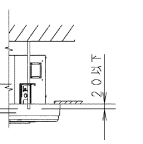
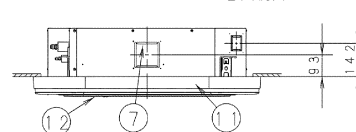
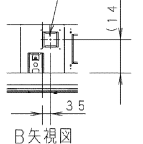
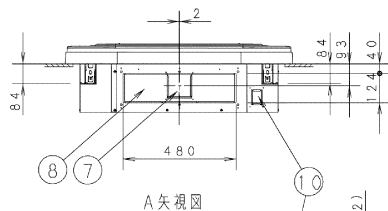
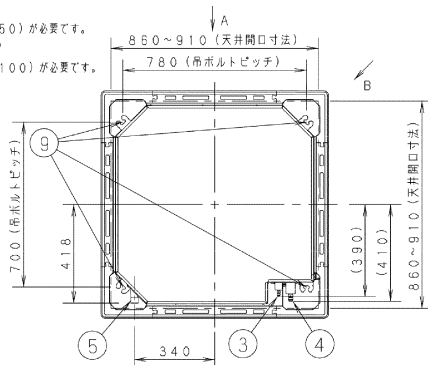
1	吸込口
2	吹出口
3	冷暖配管（湯管）
4	冷暖配管（ガス管）
5	ドレン配管（VP25（外径φ32）
6	配管取入口
7	吹出口と冷房フランジ接続口（φ150） ※1
8	気化式加湿器（別売品）取付部
9	吊りボルト穴（4-12×28長穴）
10	外気取入丸台フランジ接続口（φ100） ※2
11	パナソニック（別売品） CZ-160SPU5
12	エコナビ（別売品） CZ-160KPEU5（-K）
13	エコナビセンサー

※パネルスパーサーをご使用いただく際には、取付位置が50mm下がりますので必ず外形寸法図をご確認の上、併設の可否をご判断ください。

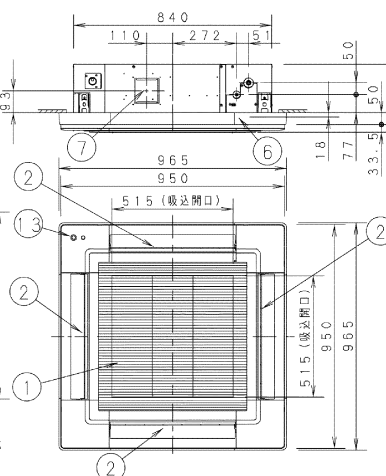
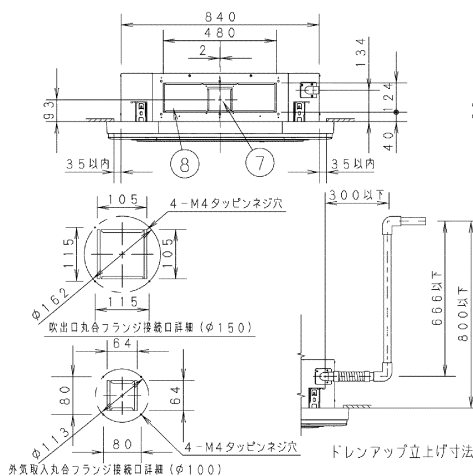
※1、別売品：
吹出口丸合フランジ(φ150)が必要です。
しゃ風材が必須となります。

※2、別売品：
外気取入丸合フランジ(φ100)が必要です。

《フィルター寸法》
(520×520×15)※1個



※、吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から20mm以下（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。



●S-G90・112・140・160UT1（エコナビパネル）

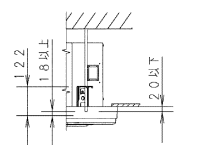
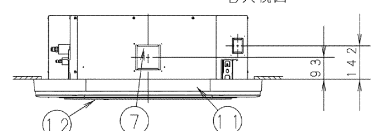
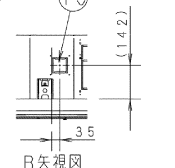
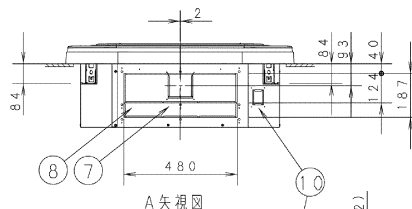
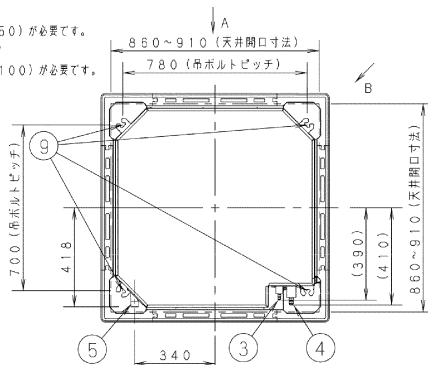
1	吸込口
2	吹出口
3	冷暖配管（湯管）
4	冷暖配管（ガス管）
5	ドレン配管（φV25（外径φ32）
6	配管取入口
7	吹出口混合フランジ接続口（φ150） ※1
8	気化式加湿器（別売品）取付部
9	吊り棒（L4-12×28長穴）
10	外気取入れ混合フランジ接続口（φ100） ※2
11	パネルスぺーサ（別売品） CZ-16GSPU5
12	エコパパネル（別売品） CZ-16GKPEU5（-K）
13	エコパセンサー

※パネルスパーサーをご使用いただく際には、取付位置が50mm下がりますので必ず外形寸法図をご確認の上、併設の可否をご判断ください。

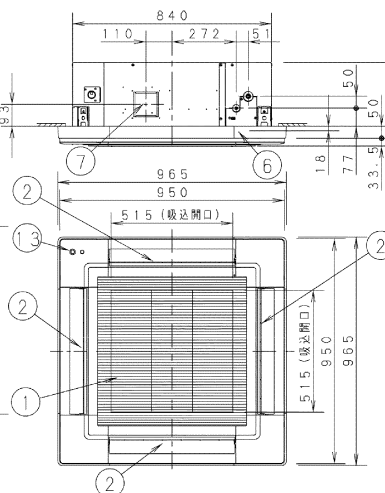
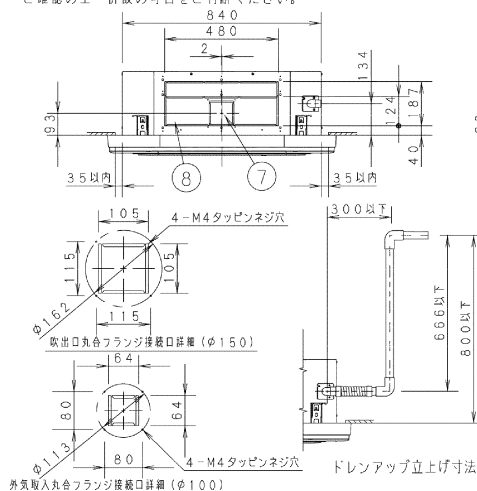
※1、別売品：
吸出口丸合フランジ(φ150)が必要です。
しや風材が必須となります。

※2、別売品：
外気取入丸合フランジ(φ100)が必要です。

《フィルター寸法》
(520×520×15) ※1枚



※、吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から20mm以下（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

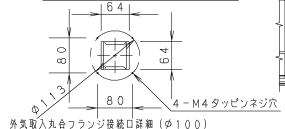
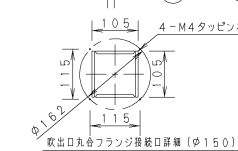
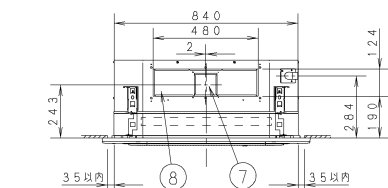


- フィルターチャンバー (CZ-160FDU5)
- 超ロングライフフィルター (CZ-160LFU5)
- 高性能フィルター (CZ-160MFU5) JIS比色法65%
(CZ-160HFU5) JIS比色法90%
- S-G28・36・45・56・71・80UT1 (標準パネル)

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管 (液管)
4	冷媒配管 (ガス管)
5	ドレン配管口VP25 (外径φ32)
6	配線取入口
7	吹出口丸合フランジ接続口 (φ150)
8	気化式加湿器 (別売品) 取付部
9	吊りボルト穴 (4-12×28長穴)
10	外気取入丸合フランジ接続口 (φ100)
11	フィルターチャンバー (別売品) CZ-160FDU5
12	標準/パネル (別売品) CZ-160KPU5 (-K, -T, -H)
13	高性能フィルター (別売品) (比色法65%) CZ-160MFU5 (比色法90%) CZ-160HFU5 超ロングライフフィルター (別売品) CZ-160LFU5

※1 別売品: 吹出口丸合フランジ (φ150) が必要です。

※2 別売品: 外気取入丸合フランジ (φ100) が必要です。



ドレンアップ立上げ寸法

外気取入丸合フランジ接続口詳細 (φ100)

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

35以内

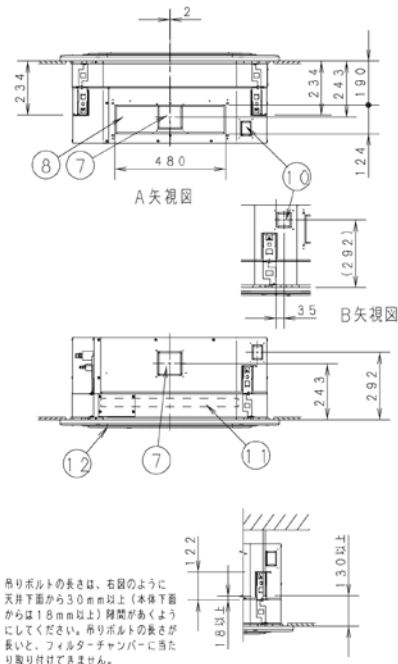
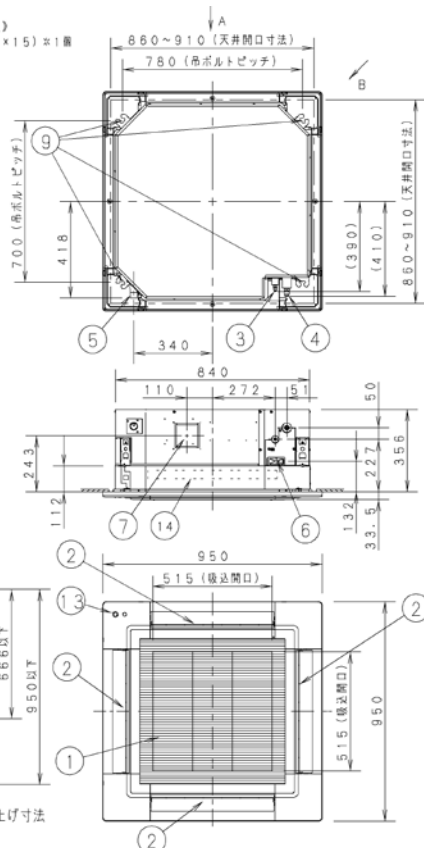
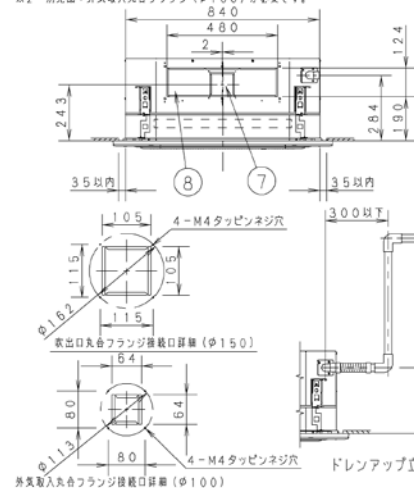
35以内

●S-G28・36・45・56・71・80UT1 (エコナビパネル)

1	吸込口
2	吹出口
3	冷暖配管(湯管)
4	冷暖配管(ガス管)
5	ドレン配管口VP25 (外径φ32)
6	配線取入口
7	吹出口丸合フレンジ接続口(φ150)
8	気化式加湿器(別売品)取付部
9	吊りボルト穴(4-12x28長穴)
10	外気取入れ合フレンジ接続口(φ100)
11	フィルターチャンバー(別売品) CZ-160FDU5
12	エコナビパネル(別売品) CZ-160KPEU5(-K)
13	エコナビセンサー
14	高性能フィルター(別売品) (比色法65%) CZ-160MFU5 (比色法90%) CZ-160HFU5 超ロングライフフィルター(別売品) CZ-160LFU5

※1 別売品: 吹出口丸合フレンジ(φ150)が必要です。
しや風材が必要です。

※2 別売品: 外気取入れ合フレンジ(φ100)が必要です。



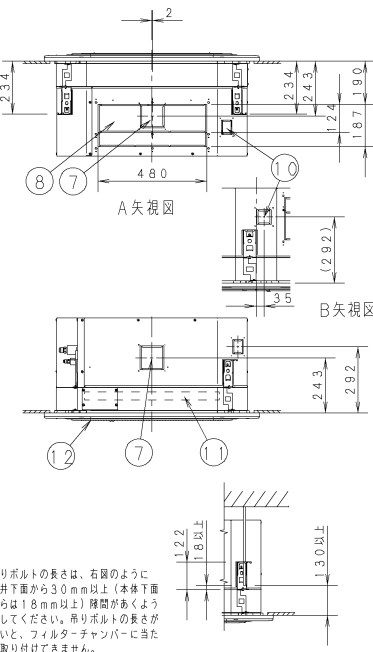
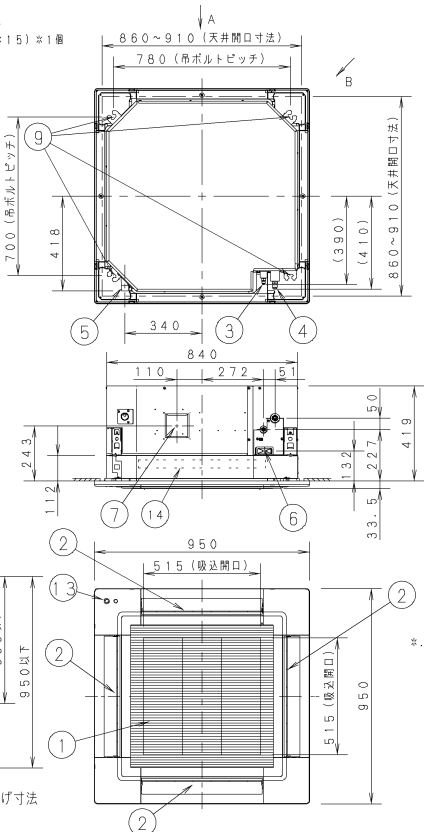
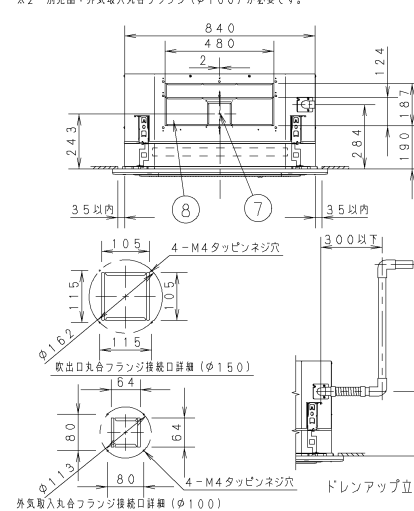
※ 吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から30mm以上(本体下面からは18mm以上)隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、フィルターチャンバーに当たり取り付けできません。

●S-G90・112・140・160UT1 (エコナビパネル)

1	吸込口
2	吹出口
3	冷暖配管(湯管)
4	冷暖配管(ガス管)
5	ドレン配管口VP25 (外径φ32)
6	配線取入口
7	吹出口丸合フレンジ接続口(φ150)
8	気化式加湿器(別売品)取付部
9	吊りボルト穴(4-12x28長穴)
10	外気取入れ合フレンジ接続口(φ100)
11	フィルターチャンバー(別売品) CZ-160FDU5
12	エコナビパネル(別売品) CZ-160KPEU5(-K)
13	エコナビセンサー
14	高性能フィルター(別売品) (比色法65%) CZ-160MFU5 (比色法90%) CZ-160HFU5 超ロングライフフィルター(別売品) CZ-160LFU5

※1 別売品: 吹出口丸合フレンジ(φ150)が必要です。
しや風材が必要です。

※2 別売品: 外気取入れ合フレンジ(φ100)が必要です。



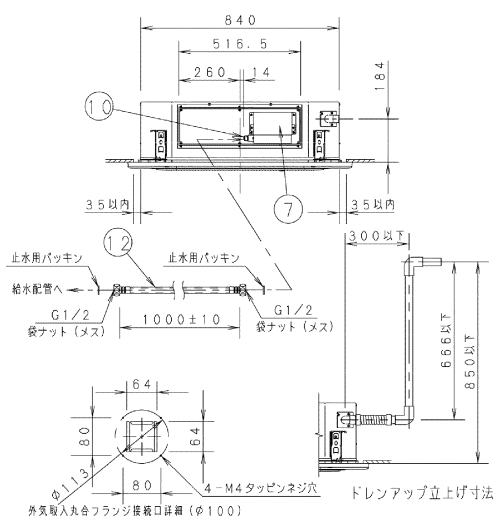
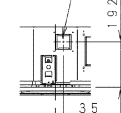
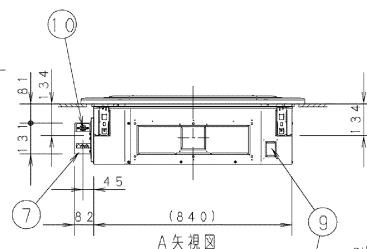
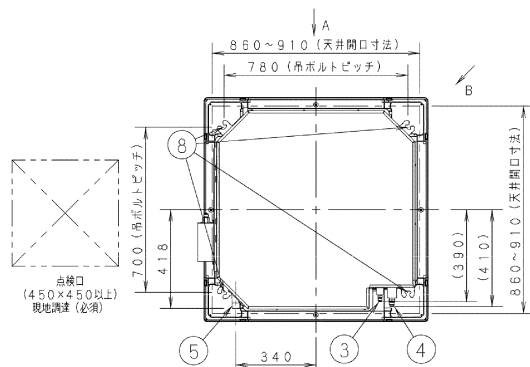
※ 吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から30mm以上(本体下面からは18mm以上)隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、フィルターチャンバーに当たり取り付けできません。

■自然気化式加湿器 (CZ-07ASU5)

●S-G28・36・45・56・71・80UT1 (標準パネル)

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管 (液管)
4	冷媒配管 (ガス管)
5	ドレン配管口VP25 (外径φ32)
6	配線取入口
7	自然気化式加湿器 (別売品) CZ-07ASU5
8	吊りボルト穴 (4-12×28長穴)
9	外気取入丸合フレンジ接続口 (φ100) ※1
10	給水口 給水ホース (加湿器付属品) 接続部
11	標準パネル (別売品) CZ-160KPU5 (-K, T, H)
12	給水ホース (加湿器付属品)

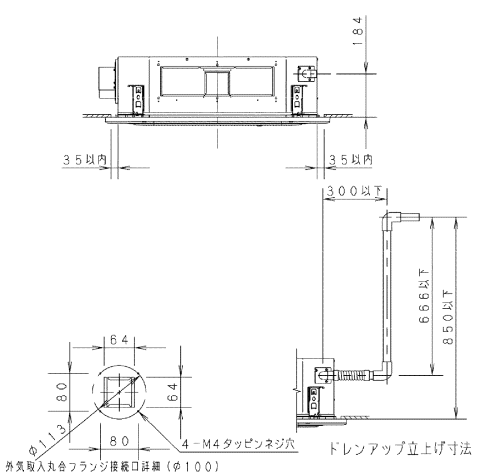
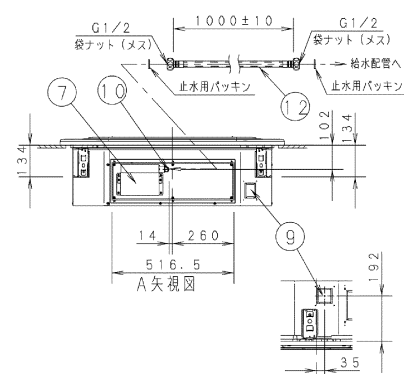
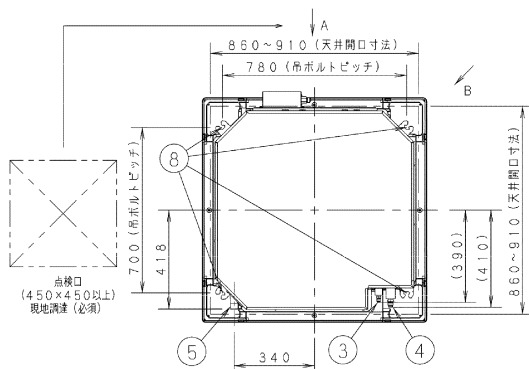
※1. 別売品: 外気取入丸合フレンジ (φ100) が必要です。
《フィルター寸法》
(520×520×15) ※1層



※. 吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から30mm以上 (本体下面からは18mm以上) 隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管 (液管)
4	冷媒配管 (ガス管)
5	ドレン配管口VP25 (外径φ32)
6	配線取入口
7	自然気化式加湿器 (別売品) CZ-07ASU5
8	吊りボルト穴 (4-12×28長穴)
9	外気取入丸合フレンジ接続口 (φ100) ※1
10	給水口 給水ホース (加湿器付属品) 接続部
11	標準パネル (別売品) CZ-160KPU5 (-K, T, H)
12	給水ホース (加湿器付属品)

※1. 別売品: 外気取入丸合フレンジ (φ100) が必要です。
《フィルター寸法》
(520×520×15) ※1層



※. 吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から30mm以上 (本体下面からは18mm以上) 隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

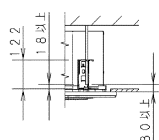
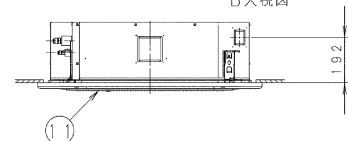
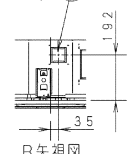
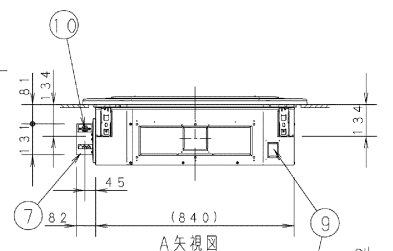
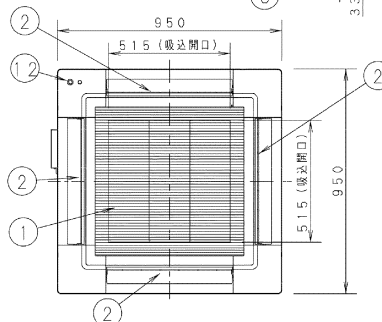
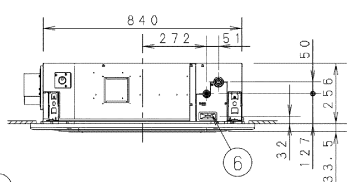
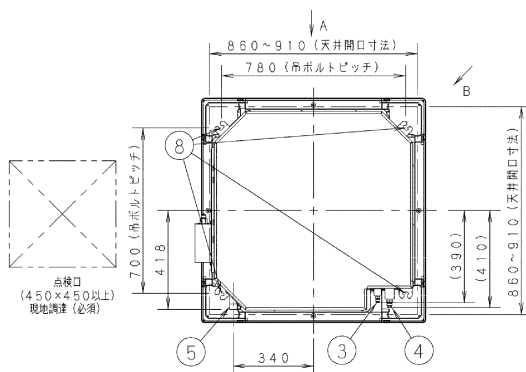
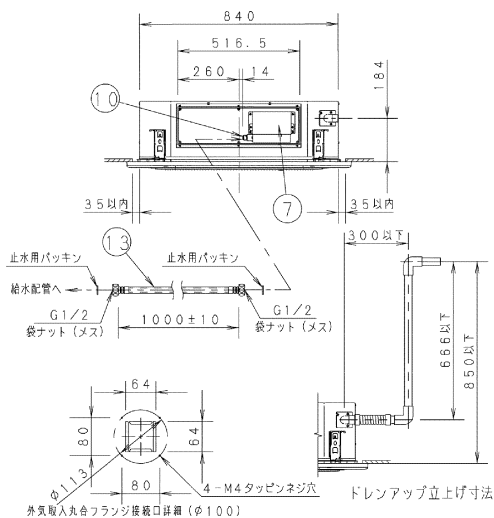
別売部品

4. 室内ユニット関連部品取付図 (4方向天井カセット形)

●S-G28・36・45・56・71・80UT1（エコナビパネル）

1	吸出口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン配管口VP25（外径φ32）
6	配線取入口
7	自然気化式加温器（別売品）CZ-07ASU5
8	吊りホルム穴（4-12×2.8長穴）
9	外気取入れ法兰ジ接続口（φ100）※1
10	給水口 給水ホース（加温器付属品）接続部
11	エコパナセル（別売品）CZ-160KPEU5（-K）
12	エコナビセンサー
13	給水ホース（加温器付属品）

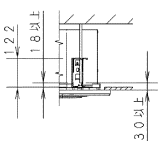
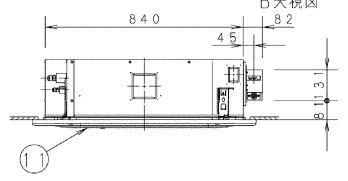
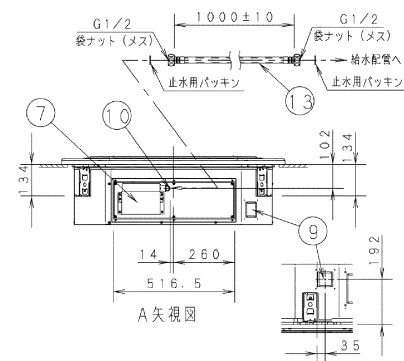
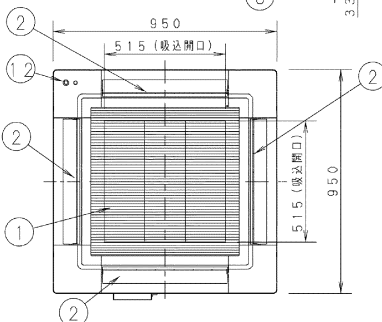
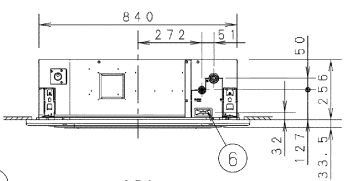
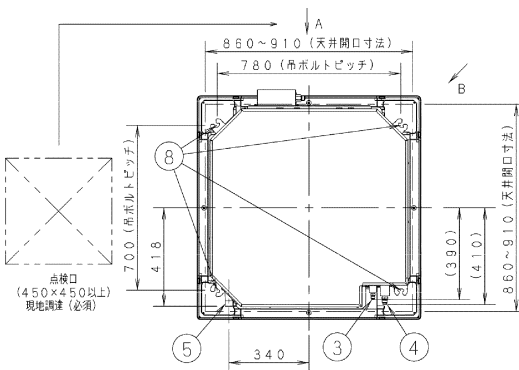
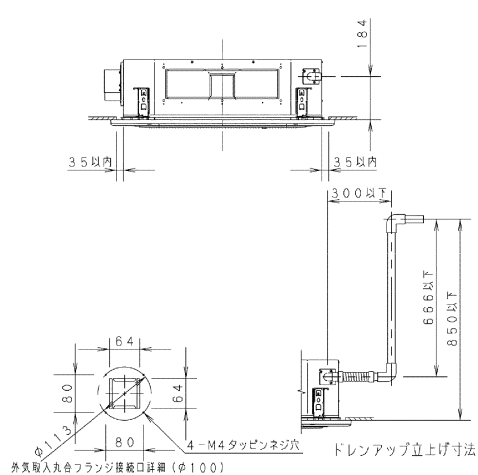
※1、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個



※、吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から30mm以上（本体下面からは18mm以上）降間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

1	吸込口
2	吹出口
3	冷暖配管（液管）
4	冷暖配管（ガス管）
5	ドレン配管口VP25（外径φ32）
6	配線取入口
7	自然気化式加湿器（別売品）CZ-07ASU5
8	吊りホルドルー（4-12×28長尺）
9	外気取入れ丸フレンジ接続口（φ100）※1
10	給水口 給水ホース（加温管付商品）接続部
11	エコパワーステール（別売品）CZ-160KPEU5（-K）
12	エコナビセンサー
13	給水ホース（加温管付商品）

※1、別売品：外気取入丸合フレンジ(φ100)が必要です。
 《フィルター寸法》
 (520×520×15)※1個



※、吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から30mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

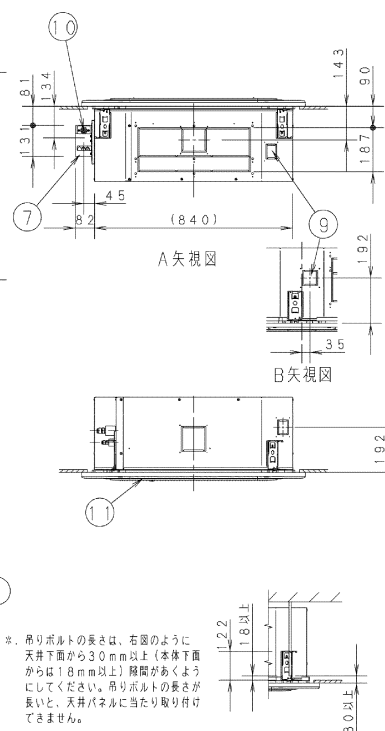
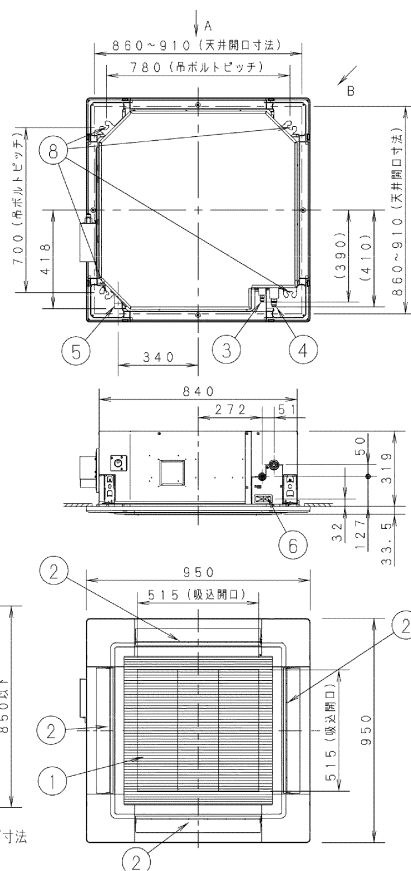
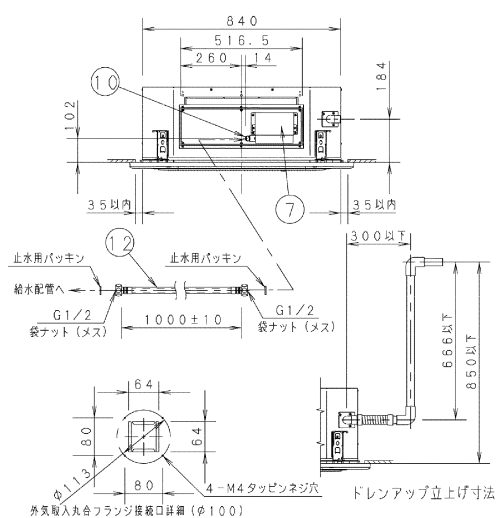
別売部品

4. 室内ユニット関連部品取付図 (4方向天井カセット形)

●S-G90UT1 (標準パネル)

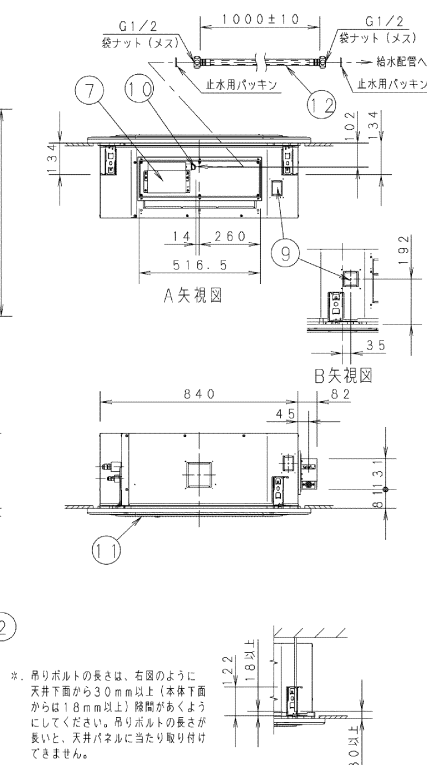
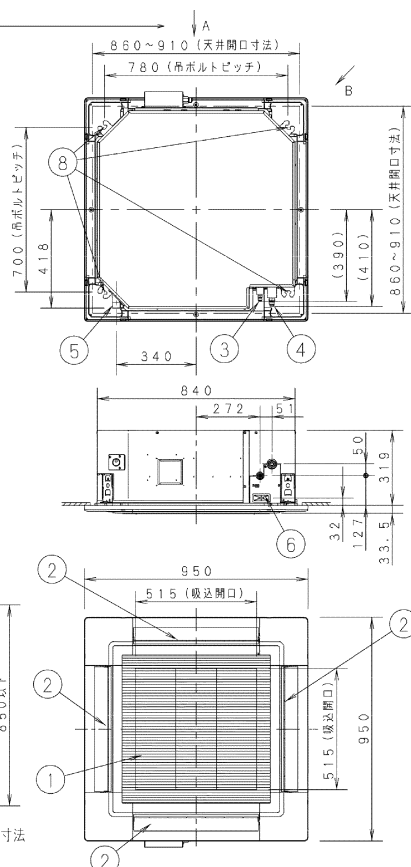
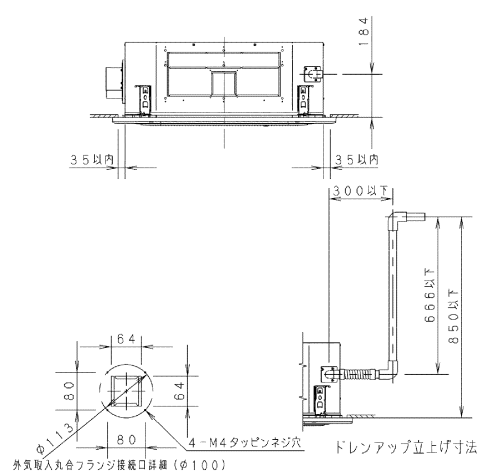
1	吸込口
2	吹出口
3	冷暖配管（湯管）
4	冷暖配管（ガス管）
5	ドレン配管VP25（外径φ32）
6	配給暖水入口
7	自然気化式加湿器（別売品）CZ-07ASU5
8	吊りボルト穴（4-12×2.8表穴）
9	外気取入れランジ配管口（φ100）※1
10	給水口 給水ホース（加湿器付属品）接続部
11	標準付属品（別売品）CZ-160KPUS（-K、T、H）
12	給水ホース（加湿器付属品）

※1、別売品：外気取入丸合フレンジ(φ100)が必要です。
《フィルター寸法》
(520×520×15)※1個



1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン配管口VP2.5（外径φ32）
6	配管取入口
7	自然気化式加湿器（別売品）CZ-07ASU.5
8	吊りボルト穴（4-1.2×2.8奥付）
9	外気取入金具付ラジエータ接続口（φ100）※1
10	給水口 給水ホース（加湿器付属品）接続部
11	潤滑オイル（別売品）CZ-160KPUS（-K.T.H）
12	給水ホース（加湿器付属品）

※1、別売品：外気取入丸合フランチ(φ100)が必要です。
 《フィルター寸法》
 {520×520×15}は1個



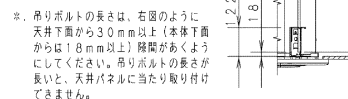
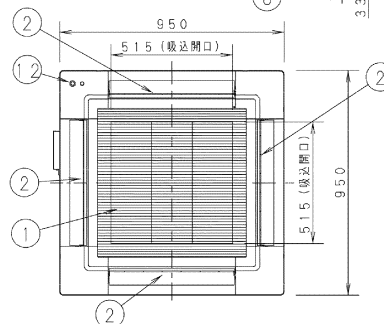
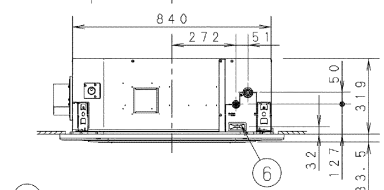
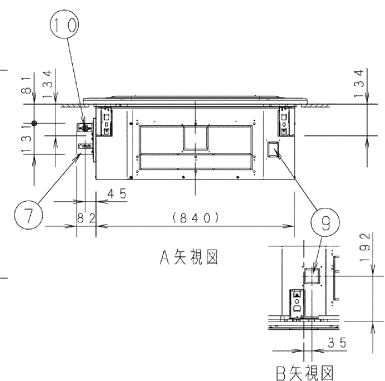
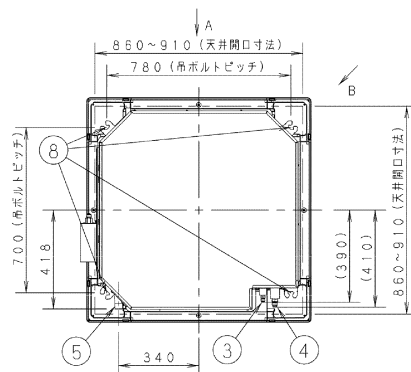
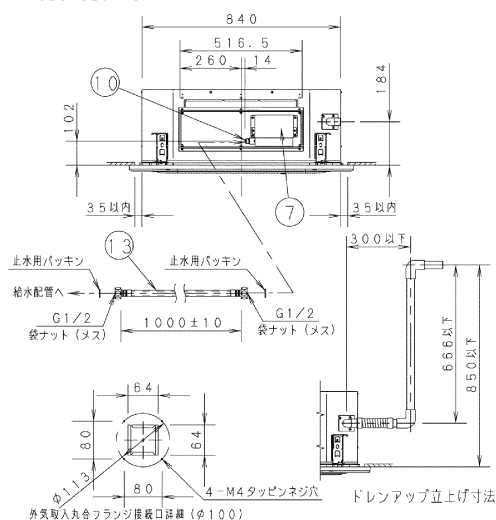
別売部品

4. 室内ユニット関連部品取付図 (4方向天井カセット形)

●S-G90UT1 (エコナビパネル)

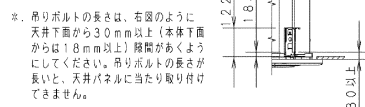
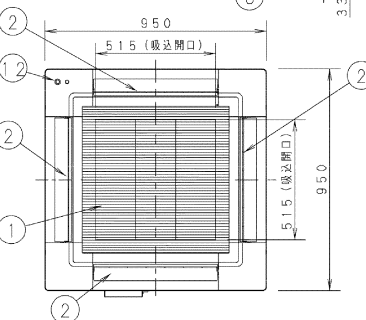
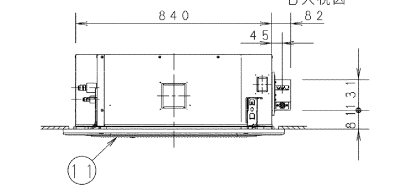
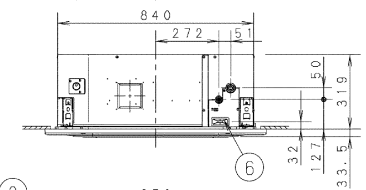
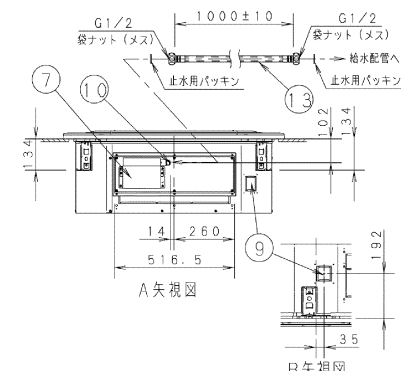
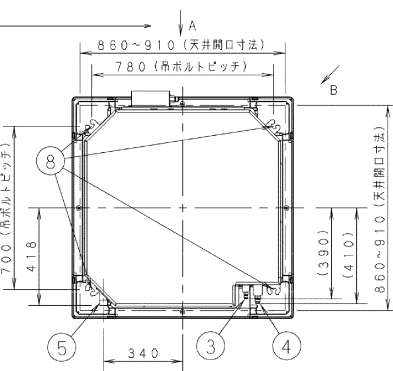
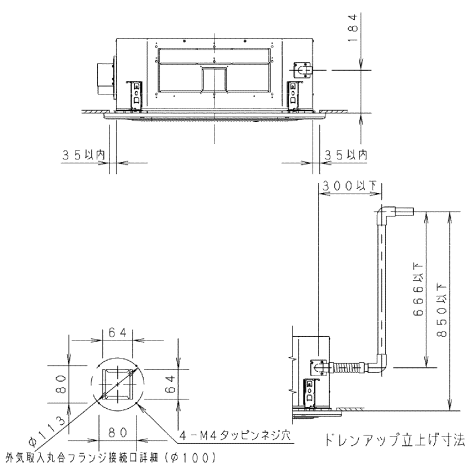
1	吸込口
2	吹出口
3	冷暖配管（湯管）
4	冷暖配管（ガス管）
5	ドレン配管（VP2.5（外径φ3））
6	配管取入口
7	自然気取り加温器（別売品）CZ-707ASU
8	吊りボルト穴（4-12x2.8スチール）
9	外気取り丸形フラッング接続口（φ100）※1
10	給水口 給水ホース（加温器付品）接続部
11	エナジエタル（別売品）CZ-160KPEU5（-K）
12	エコナビセンサ
13	給水ホース（加温器付品）

※1、別売品：外気取入丸合フレンジ(φ100)が必要です。
《フィルター寸法》
(520×520×15)※1個



1	吸込口
2	吹出口
3	冷暖配管（湯管）
4	冷暖配管（ガス管）
5	12mm配管用VP25（外径φ32）
6	配管盤受入口
7	自然気化式加温器（別売品）CZ-07ASU5
8	ボリリル穴（4-12×28穴内）
9	外気取入れ用フランジ接続口（φ100）※1
10	給水口 給水ホース（加温器付属品）接続部
11	エコナヒル（別売品）CZ-160KPEU5（-K）
12	エコナセンサー
13	給水ホース（加温器付属品）

※1、別売品：外気取入丸合フレンジ(φ100)が必要です。
《フィルター寸法》
(520×520×15)※1個

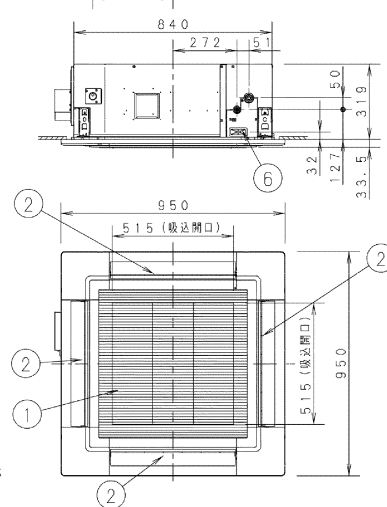
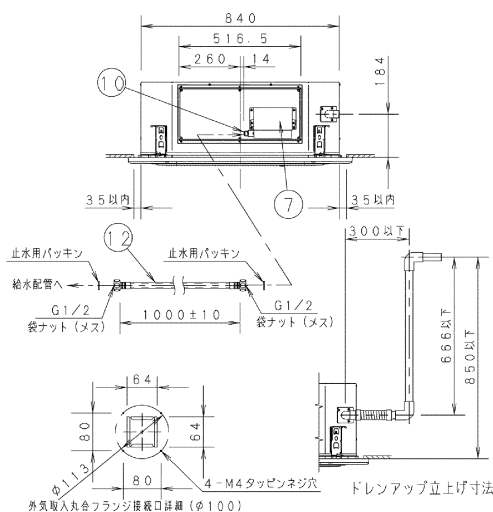
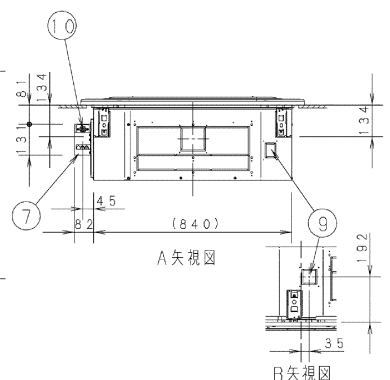
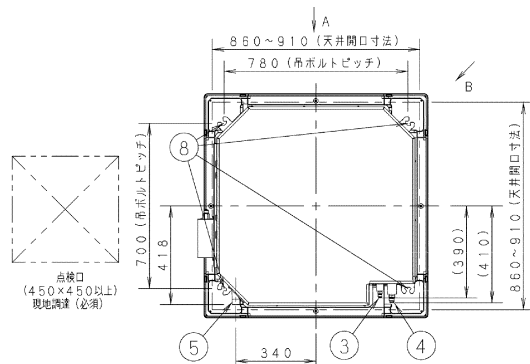


■自然気化式加湿器 (CZ-14ASU5)

●S-G112・140・160UT1 (標準パネル)

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管 (液管)
4	冷媒配管 (ガス管)
5	ドレン配管口 VP25 (外径φ32)
6	配線取入口
7	自然気化式加湿器 (別売品) CZ-14ASU5
8	吊りボルト穴 (4-12x2.8 兼穴)
9	外気取入れ合フラジ接続口 (φ100) ※1
10	給水口 給水ホース (加湿器付属品) 接続部
11	標準パネル (別売品) CZ-160KPU5 (-K, T, H)
12	給水ホース (加湿器付属品)

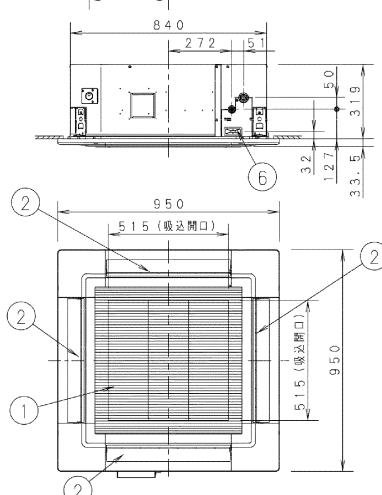
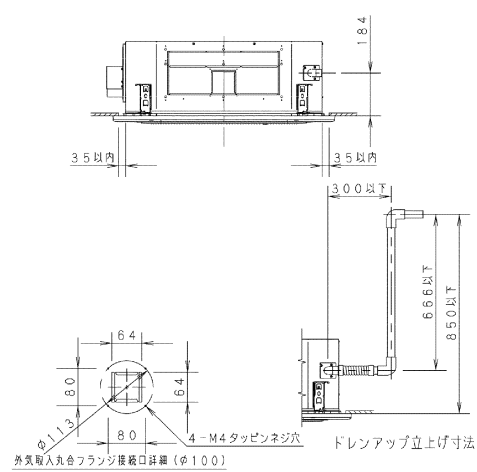
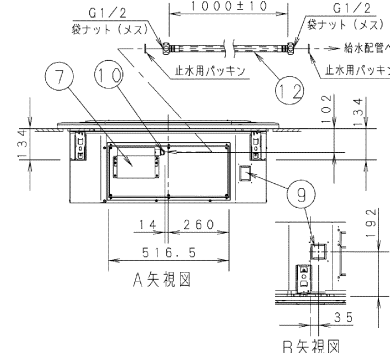
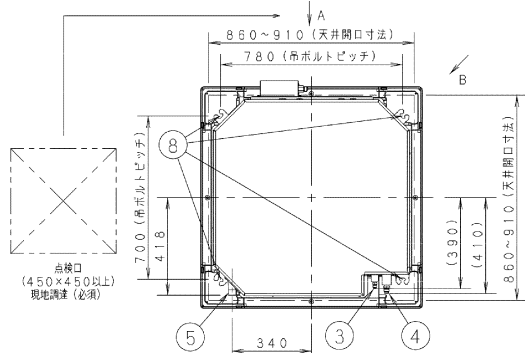
※1、別売品：外気取入れ合フラジ (φ100) が必要です。
《フィルター寸法》
(520×520×15) ※1層



※、吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から30mm以上 (本体下面からは18mm以上) 隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管 (液管)
4	冷媒配管 (ガス管)
5	ドレン配管口 VP25 (外径φ32)
6	配線取入口
7	自然気化式加湿器 (別売品) CZ-14ASU5
8	吊りボルト穴 (4-12x2.8 兼穴)
9	外気取入れ合フラジ接続口 (φ100) ※1
10	給水口 給水ホース (加湿器付属品) 接続部
11	標準パネル (別売品) CZ-160KPU5 (-K, T, H)
12	給水ホース (加湿器付属品)

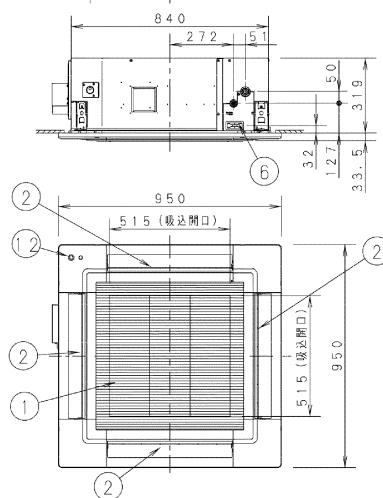
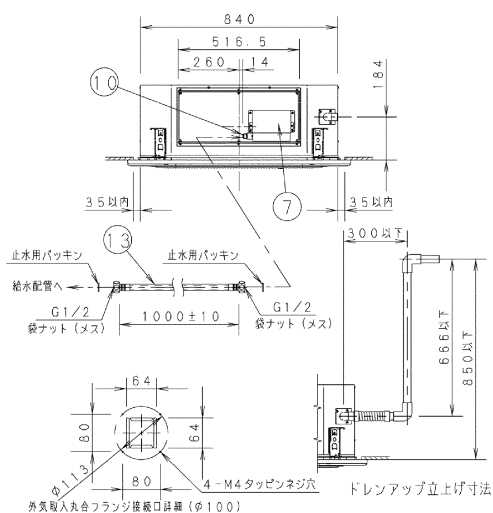
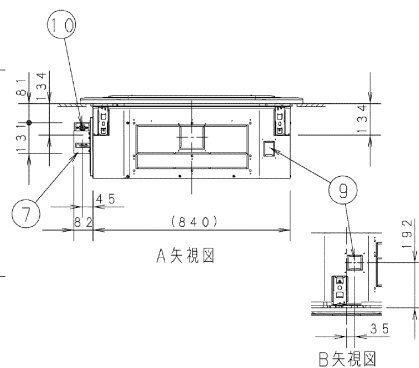
※1、別売品：外気取入れ合フラジ (φ100) が必要です。
《フィルター寸法》
(520×520×15) ※1層



※、吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から30mm以上 (本体下面からは18mm以上) 隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

4. 室内ユニット関連部品取付図 (4方向天井カセット形)

1	吸込口
2	吹出口
3	冷暖配管（液管）
4	冷暖配管（ガス管）
5	ドレン配管口 VP2.5（外径φ32）
6	配管取入口
7	自然気化式加温器（別売品）CZ-14ASU5
8	布リボリル穴（4-12×28穴）
9	外気取入れ用フランジ接続口（φ100）※1
10	給水口 給水ホース（加温器付属品）接続部
11	エコナビゲル（別売品）CZ-160KPEU5（-K）
12	エコナビゲル
13	給水ホース（加温器付属品）



※ 吊りボルトの長さは、右図のように、天井下面から30mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

1	吸込口
2	吹出口
3	冷暖配管（液管）
4	冷暖配管（ガス管）
5	冷暖配管口VP25（外径φ32）
6	配線盤吸入口
7	自然気化式増圧器（別売品）CZ-14ASU5
8	シリコンパル（4-12x28穴内）
9	外気取入れ用フランジ接続口（φ100）※1
10	給水口 給水ホース（加温器付属品）疫病部
11	エノバシタル（別売品）CZ-160KPEU5（-K）
12	エノバセンサー
13	給水ホース（加温器付属品）

Technical drawing of a square foundation for a 450x450mm column. The drawing shows a top-down view of the foundation with dimensions and callouts.

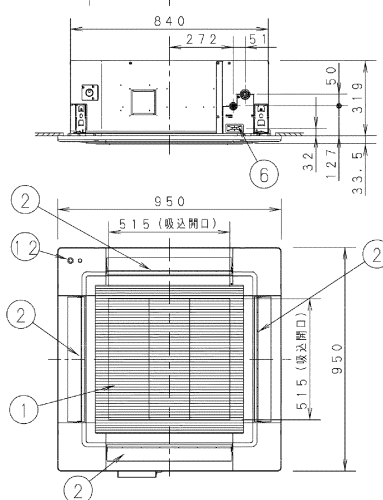
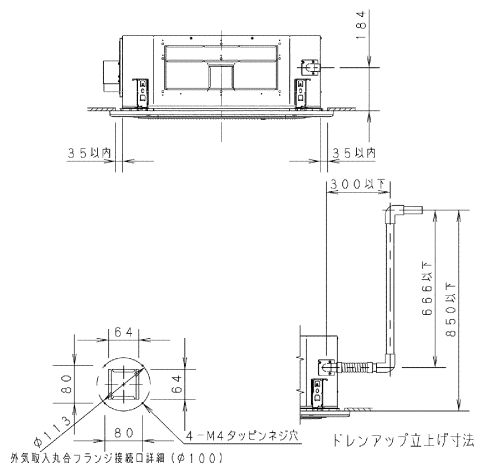
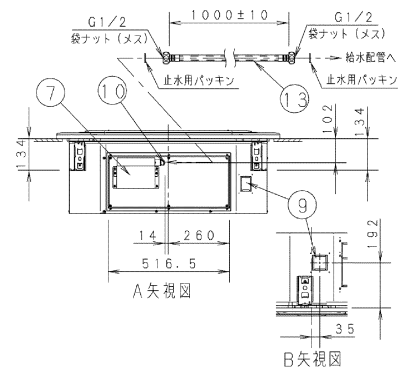
Dimensions:

- Top width: 860~910 (天井開口寸法)
- Internal width: 780 (吊ボルトピッチ)
- Right height: 860~910 (天井開口寸法)
- Internal height: 700 (吊ボルトピッチ)
- Central square area: 418 (418)
- Bottom width: 340
- Bottom height: 410

Callouts:

- 1: Top reinforcement bar
- 2: Bottom reinforcement bar
- 3: Side reinforcement bar
- 4: Corner reinforcement bar
- 5: Central reinforcement bar

Note: 点検口 (450×450以上) 現地端達 (必須) (Inspection port (450×450 or larger) must reach the ground level)



吊りボルトの長さは、右図のように、天井下面から30 mm以上（本体下面からは18 mm以上）隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けられません。

別売部品

4. 室内ユニット関連部品取付図 (4方向天井カセット形)

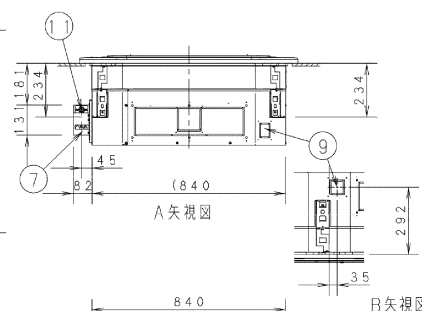
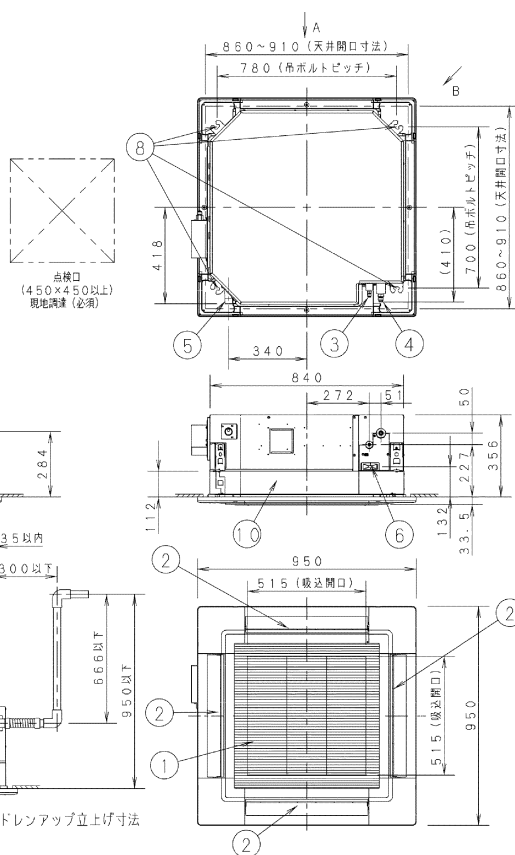
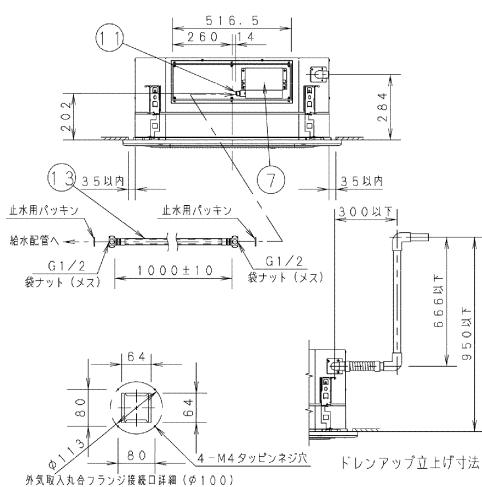
■フィルターチャンバー (CZ-160FDU5)

■ 自然気化式加湿器 (CZ-07ASU5)

●S-G28・36・45・56・71・80UT1（標準パネル）

1	吸込口
2	吹出口
3	冷暖配管（涼管）
4	冷暖配管（ガス管）
5	ドレン配管口 VP2.5（外径φ32）
6	配管接続口
7	自然気化式加湿器（別売品） CZ-07ASU5
8	シリコニル穴（4-12×28配合）
9	外気入れ用フローランジ接続口（φ100） ※1
10	フルターチャンパ（別売品） CZ-160FDU5
11	給水口 給水ホース（加湿器付属品）接続部
12	標準バルブ（別売品） CZ-160KU5（-K, T, H）
13	給水ホース（加湿器付属品）

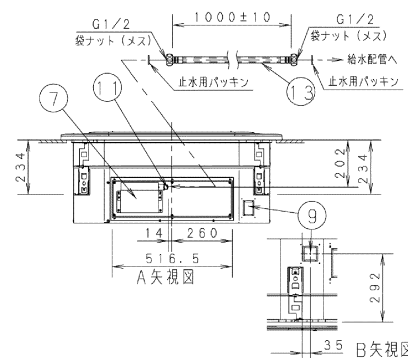
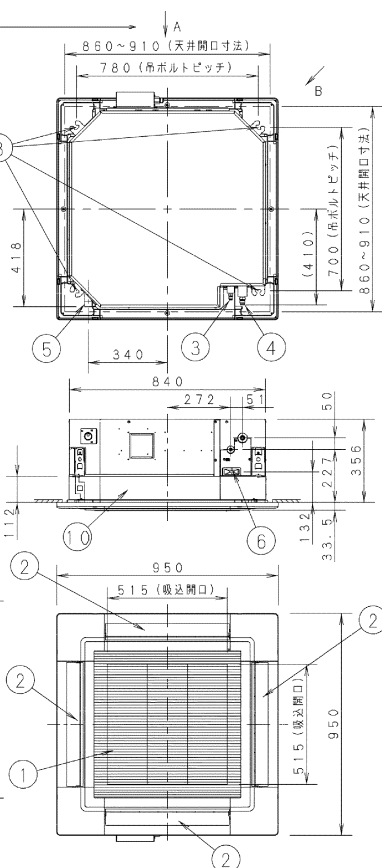
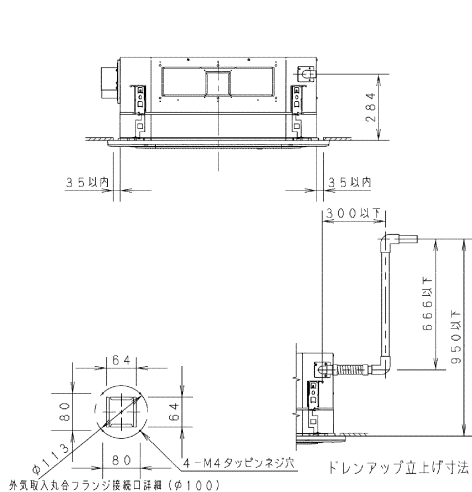
※1、別売品：外気取入丸台フランジ（φ100）が必要です。
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個



※ 吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から30mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、フィルターチャンバーに当たり取り付けられません。

1	吸込口
2	吹出口
3	冷暖配管（冷管）
4	冷暖配管（ガス管）
5	ドレン配管口VP25（外径φ32）
6	配線取出口
7	自然気化式加温器（別売品）CZ-07ASU5
8	吊りホルダー（4-12×28長尺）
9	外気吸入兼フラッシュ接続口（φ100）※1
10	フィルターチャンバー（別売品） CZ-18FDU5
11	給水口 給水ホース（加温器付属品）接続部
12	標榜（※1 併設品）CZ-1860KP5（-K, T, H）
13	給水ホース（加温器付属品）

※1、別売品：外気取入丸合フランジ(φ100)が必要です。
 《フィルター寸法》
 (520×520×15)※1個



注. 吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から30mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、フィルターチャンパーに当たり取り付けできません。

別売部品

4. 室内ユニット関連部品取付図 (4方向天井カセット形)

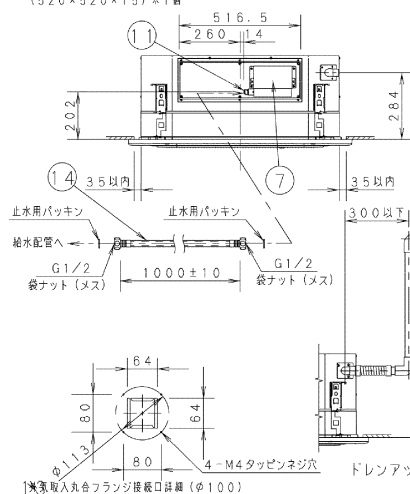
●S-G28・36・45・56・71・80UT1（エコナビパネル）

1	吸込口
2	吹出口
3	冷暖配管（演管）
4	冷暖配管（ガス管）
5	ドレン配管口VP25（外径φ32）
6	配線出入口
7	自然気化式加温器（別売品）CZ-07ASU5
8	吊りホルドル14（12×28長尺）
9	外気取入れ台フレンジ接続口（φ100）※1
10	フィルタチャッパ（別売品）CZ-160FDU5
11	給水口 給水ホース（加温器付属品）接続部
12	エコナビパネル（別売品）CZ-160KPEU5（-K）
13	エコナビセンサー
14	給水ホース（加温器付属品）

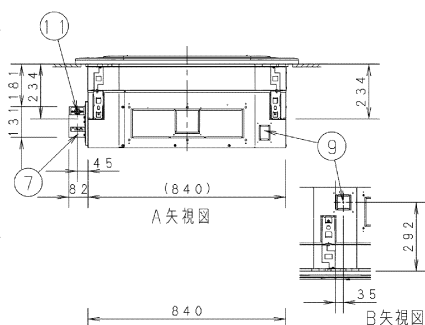
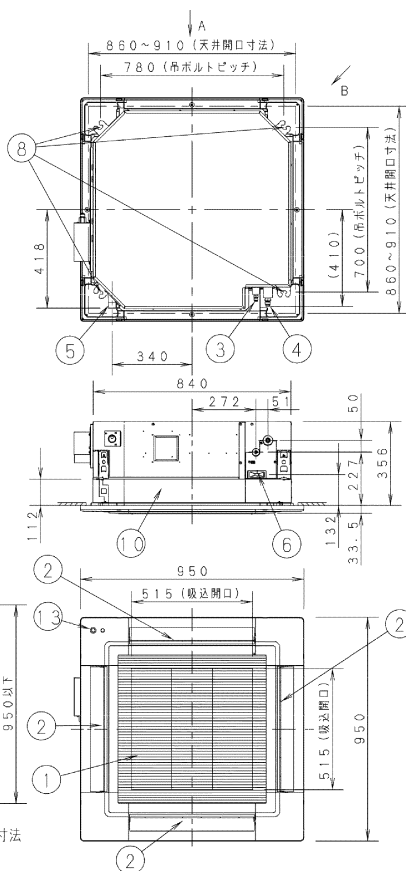
※1. 別売品：外気取入れ合フランジ（φ100）が必要です。

『フイリタ一寸巻』

(520×520×15)



ドレンアップ立上げ寸法

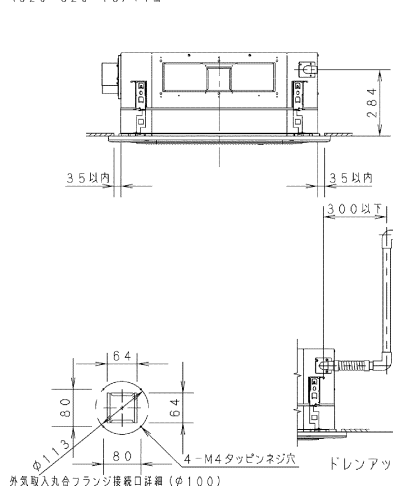


※ 吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から30mm以上（本体下面から18mm以上）隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、フィルターチャンバーに当たり取り付けできません。

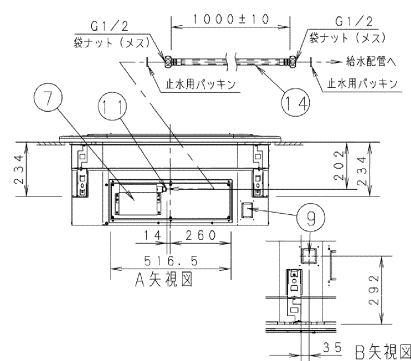
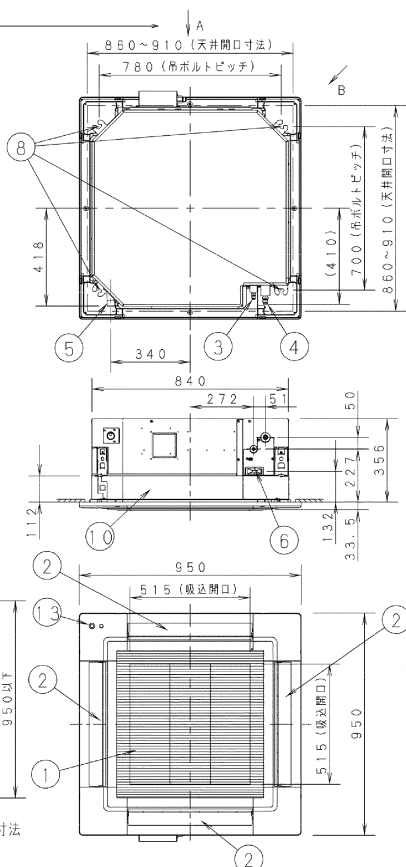
1	吸込口
2	吹出口
3	冷暖配管（液管）
4	冷暖配管（ガス管）
5	ドレン配管口VP25（外径φ32）
6	配線取入口
7	目視気化式加湿器（別売品）CZ-07ASU5
8	吊りホルルトR4（12×28長尺）
9	外気取入れ合フレンジ接続口（φ100）※1
10	フィルタチャンパ（別売品）CZ-160FDU5
11	給水口 給水ホース（加湿器付商品）接続部
12	エコナビスル（別売品）CZ-160KPEU5（-K）
13	エコナビセンサー
14	給水ホース（加湿器付商品）

※1、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。

《フィルター寸法》

$$(520 \times 520 \times 15) \times 1 \text{ 個}$$


ドレンアップ立上げ寸法

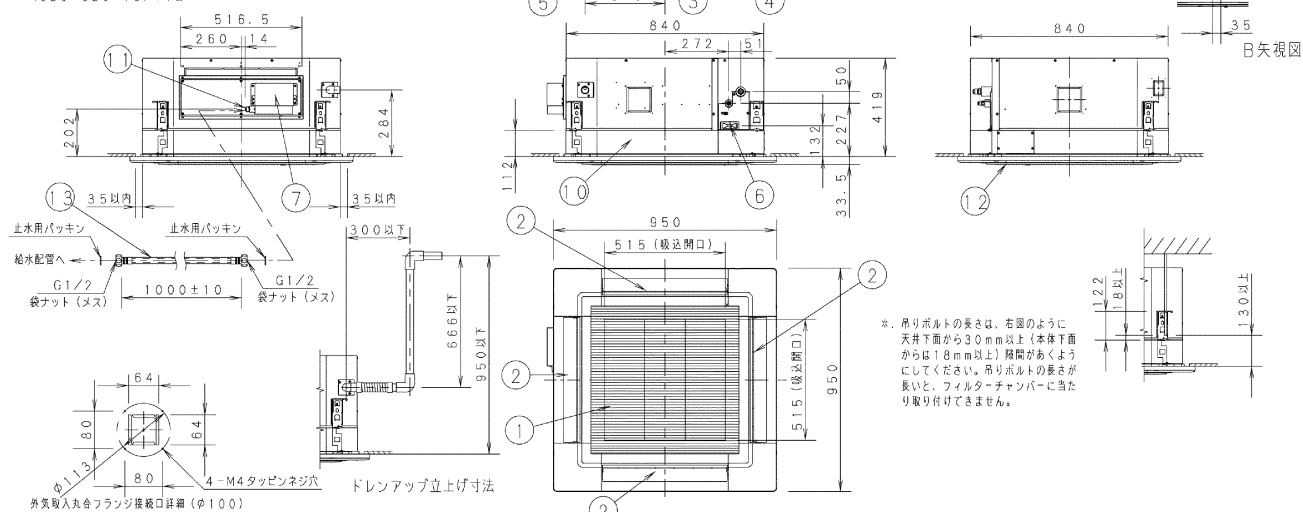


※ 吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から30mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、フィルターチャンバーに当たり取り付けできません。

●S-G90UT1 (標準パネル)

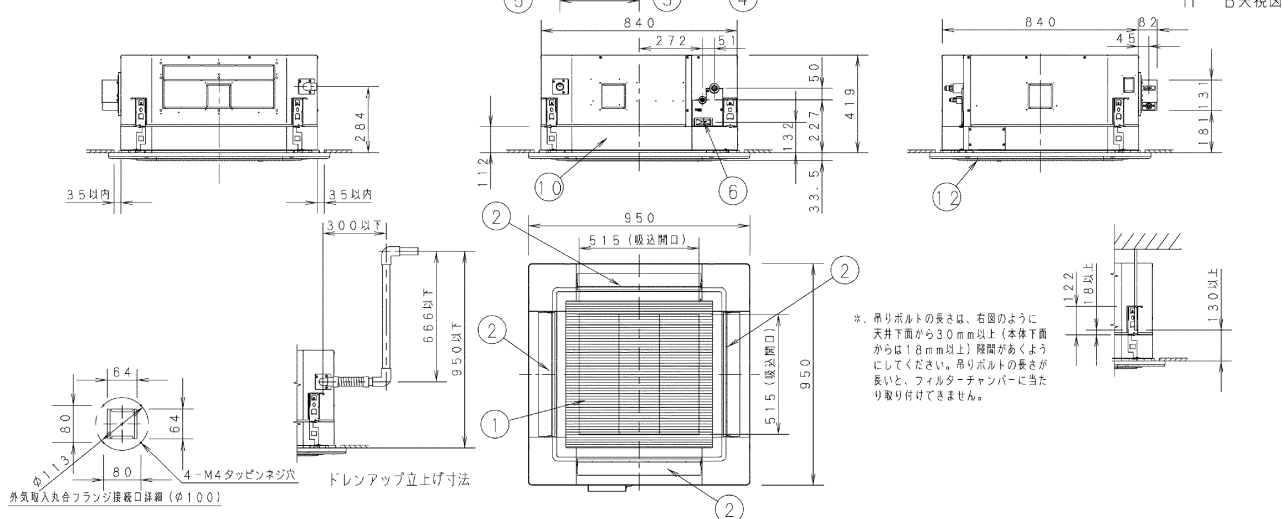
1	吸込口
2	吹出口
3	冷暖配管 (湯管)
4	冷暖配管 (ガス管)
5	ドレン配管口VP25 (外径φ32)
6	配線取入口
7	自然気化式加湿器 (別売品) CZ-07ASU5
8	吊りボルト穴 (4-12×2.8長穴)
9	外気取入れ合フラジ接続口 (φ100) ※1
10	フィルターチャンバー (別売品) CZ-160FDU5
11	給水口 給水ホース (加湿器付属品) 接続部
12	標準パネル (別売品) CZ-160KPU5 (-K, T, H)
13	給水ホース (加湿器付属品)

※1、別売品：外気取入れ合フラジ (φ100) が必要です。
【フィルター寸法】
(520×520×15) ※1個



1	吸込口
2	吹出口
3	冷暖配管 (湯管)
4	冷暖配管 (ガス管)
5	ドレン配管口VP25 (外径φ32)
6	配線取入口
7	自然気化式加湿器 (別売品) CZ-07ASU5
8	吊りボルト穴 (4-12×2.8長穴)
9	外気取入れ合フラジ接続口 (φ100) ※1
10	フィルターチャンバー (別売品) CZ-160FDU5
11	給水口 給水ホース (加湿器付属品) 接続部
12	標準パネル (別売品) CZ-160KPU5 (-K, T, H)
13	給水ホース (加湿器付属品)

※1、別売品：外気取入れ合フラジ (φ100) が必要です。
【フィルター寸法】
(520×520×15) ※1個



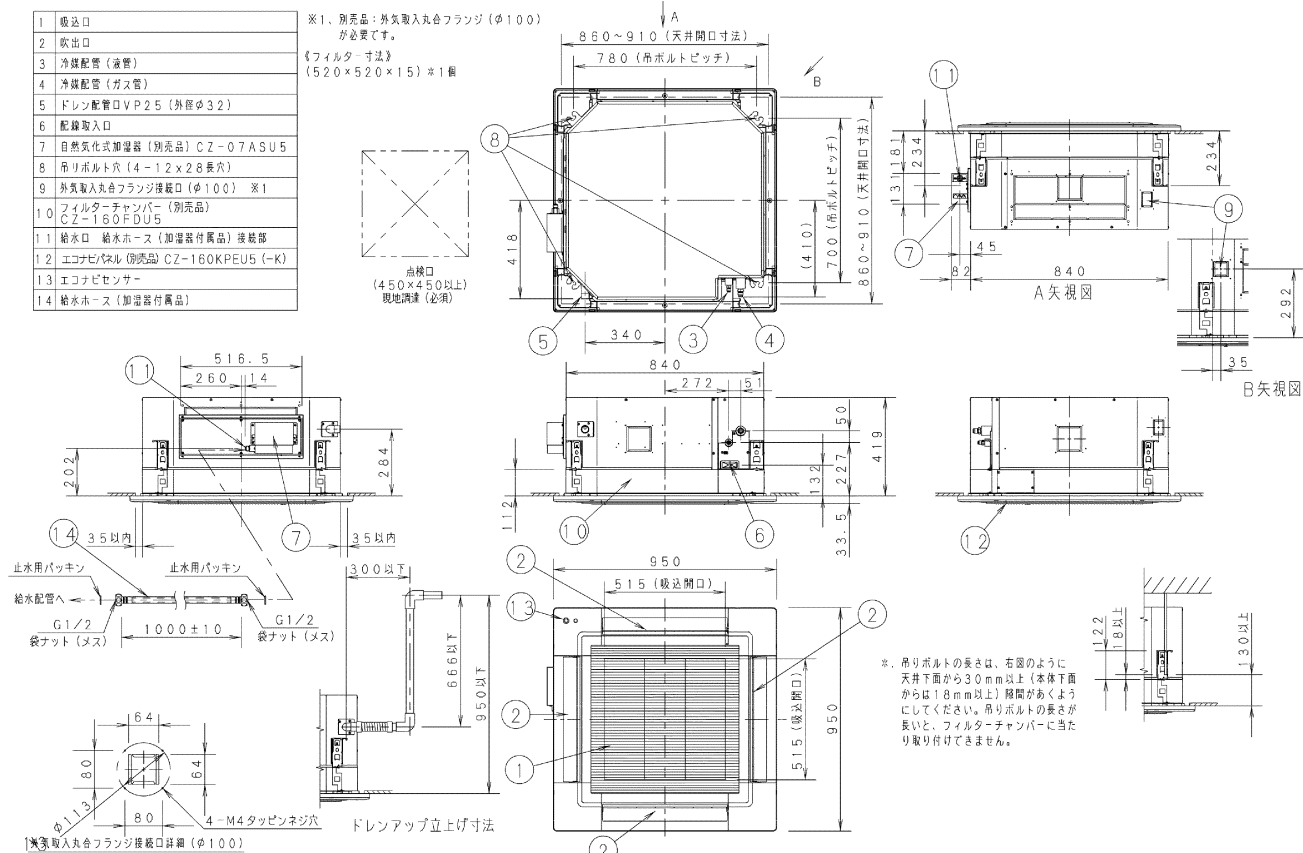
4. 室内ユニット関連部品取付図 (4方向天井カセット形)

●S-G90UT1 (エコナビパネル)

1	吸込口
2	吹出口
3	冷暖配管（液管）
4	冷暖配管（ガス管）
5	ドレン配管口VP25（外径φ32）
6	配線取入口
7	自然気化式加湿器（別売品）CZ-07ASU5
8	吊りホルルト尺（4-12×28長尺）
9	外気取入れ兼フレンジ接続口（φ100）※1
10	フィルターチャンパー（別売品）CZ-160FDU5
11	給水口 給水ホース（加湿器付属品）接続部
12	エコナビパネル（別売品）CZ-160KPEU5（-K）
13	エコナビセンサー
14	給水ホース（加湿器付属品）

※1、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。

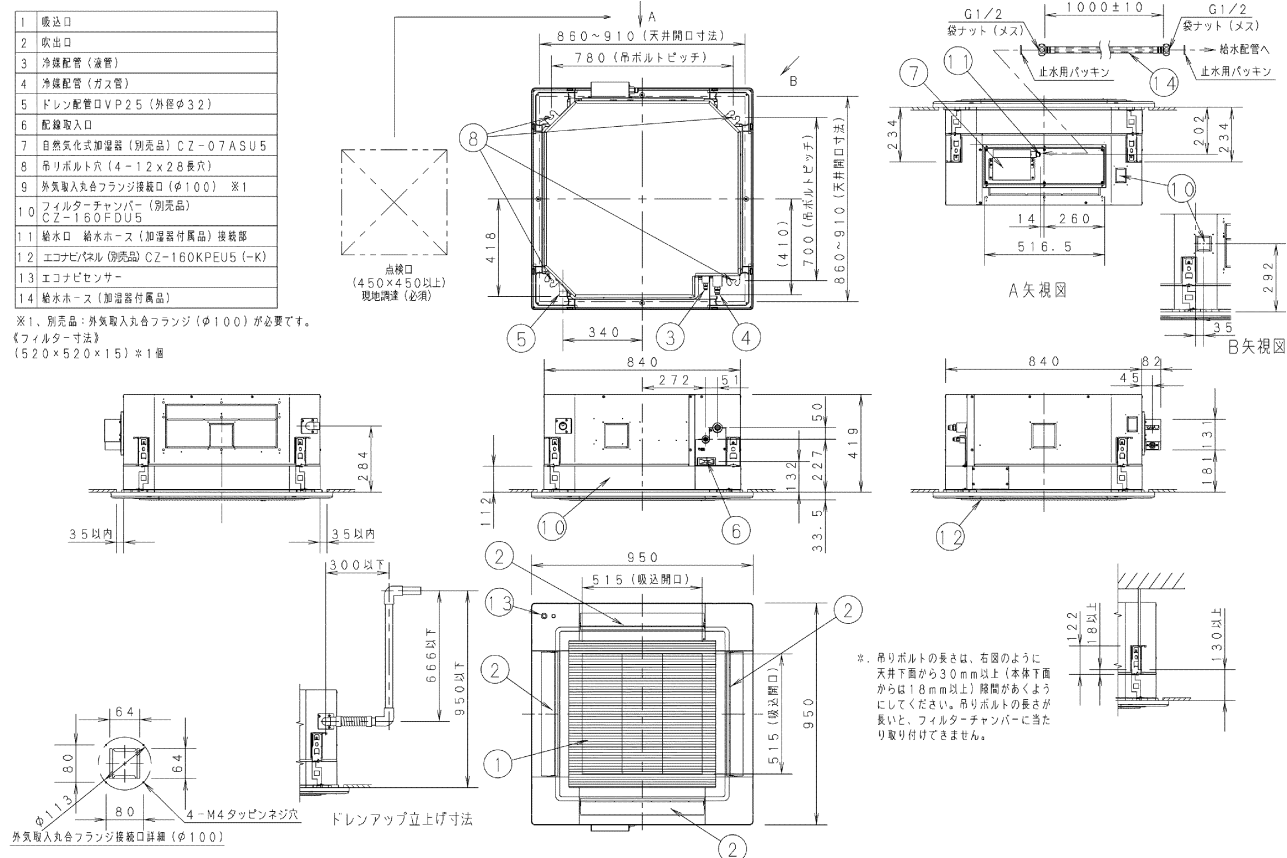
《フィルター寸法》
(520×520×15)※1個



1	吸込口
2	吹出口
3	冷暖配管（液管）
4	冷暖配管（ガス管）
5	ドレン配管口VP25（外径φ32）
6	配線取入口
7	目隠気化式加温器（別売品）CZ-07ASU5
8	布リボルト穴（4-12×28長尺）
9	外気取入れ台フレンジ接続口（φ100）※1
10	フィルタチャッパン（別売品）CZ-160FDU5
11	給水口 給水ホース（加温管付属品）後部
12	エコナビパネル（別売品）CZ-160KPEU5（-K）
13	エコナビセンサー
14	給水ホース（加温管付属品）

※1、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。

《フィルター寸法》
(520×520×15)※1個



別売部品

4. 室内ユニット関連部品取付図 (4方向天井カセット形)

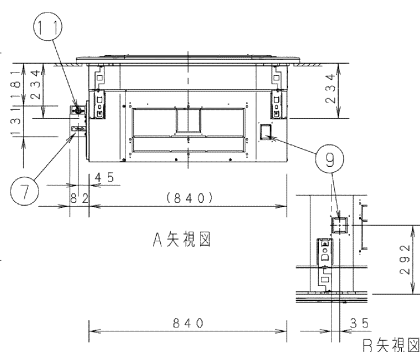
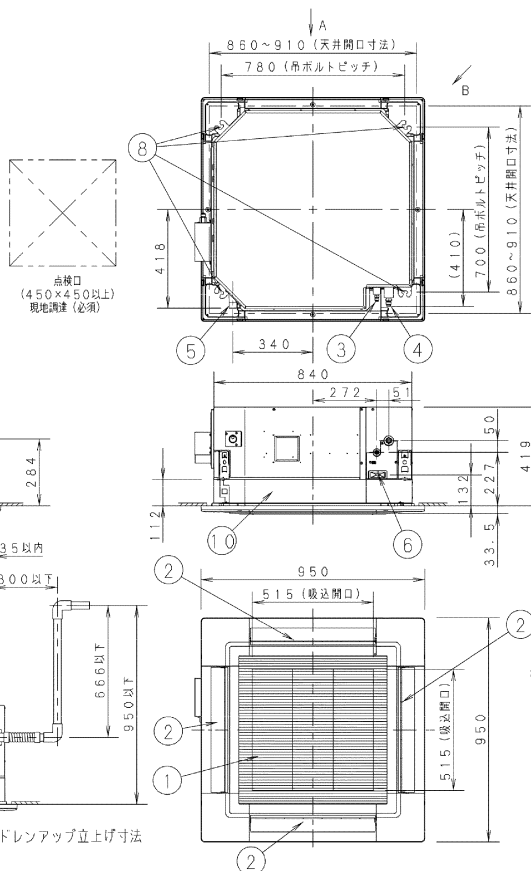
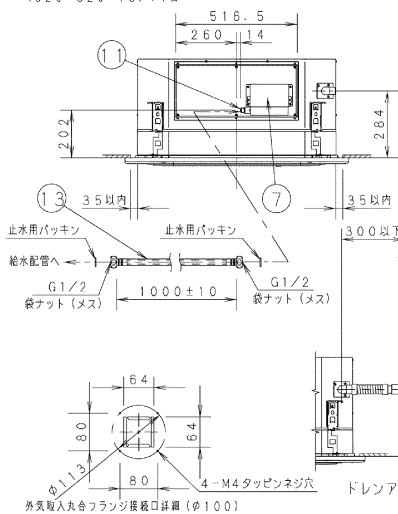
■フィルターチャンバー (CZ-160FDU5)

■ 自然気化式加湿器 (CZ-14ASU5)

●S-G112・140・160UT1 (標準パネル)

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン配管口VP25（外径φ32）
6	配線取出口
7	自然気化式加温器（別売品）CZ-14ASU5
8	吊りホルダー（4-1×2×28長尺）
9	外気取入弁点フランジ接続口（φ100）※1
10	フィルターチャンパー（別売品） CZ-16FDU5
11	給水口 給水ホース（加温器付属品）接続部
12	排水口（※別売品）CZ-16KPU5（-K、T、H）
13	給水ホース（加温器付属品）

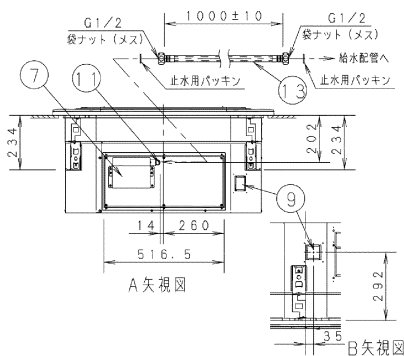
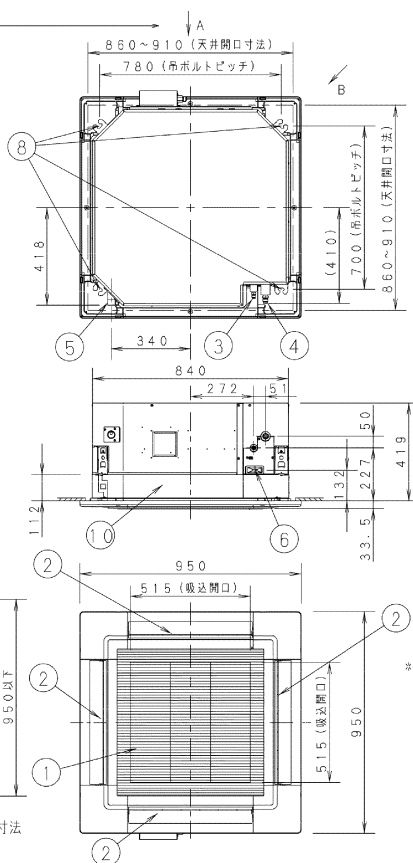
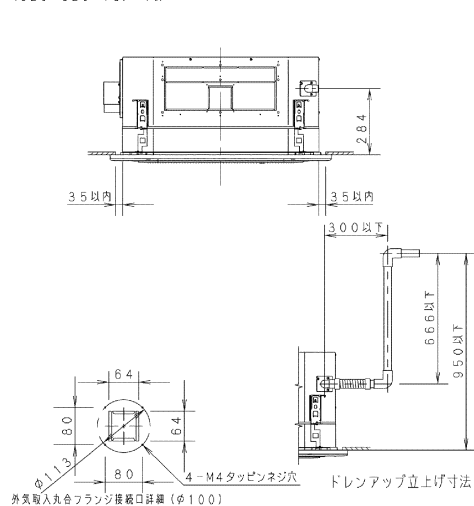
※1、別売品：外気取入丸合フランジ(φ100)が必要です。
《フィルター寸法》
(520×520×15)※1個



※ 吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から30mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、フィルターチャンバーに当たり取り付けできません。

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン配管口VP25（外径φ32）
6	配管取入口
7	自然気化式加温器（別売品）CZ-14ASU5
8	吊りホルダー（4-12×28奥尺）
9	外気導入用ホースフランジ接続口（φ100）※1
10	フィルターチャンバー（別売品） CZ-160FDU5
11	給水口 給水ホース（加温器付属品）接続部
12	標準（ケル）別売品）CZ-160KPUS（-K, T, H）
13	給水ホース（加温器付属品）

※1、別売品：外気取入丸合フレンジ(φ100)が必要です。
 《フィルター寸法》
 (520×520×15)※1個

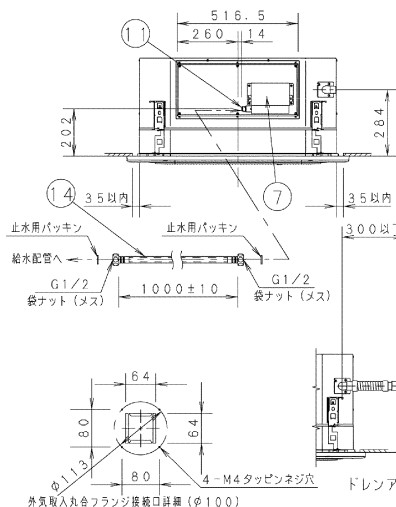
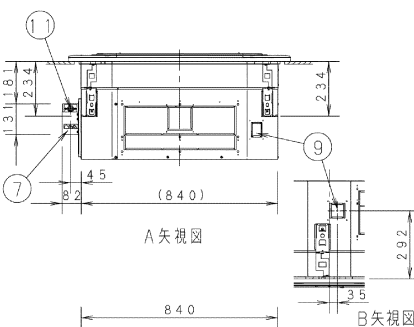
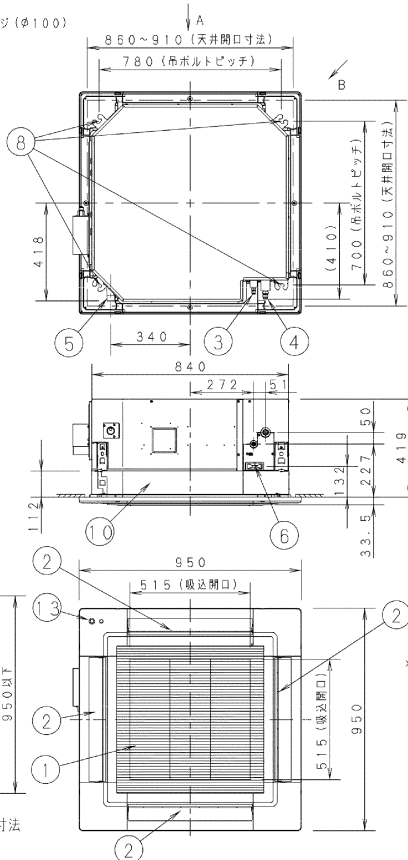
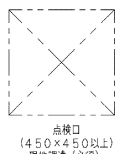


※、吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から30mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、フィルターチャンバーに当たり取り付けできません。

●S-G112・140・160UT1 (エコナビパネル)

1	吸込口
2	吹出口
3	冷暖配管 (液管)
4	冷暖配管 (ガス管)
5	ドレン配管口VP25 (外径φ32)
6	配線取入口
7	自然気化式加湿器 (別売品) CZ-14ASU5
8	吊りボルト穴 (4-12×28長穴)
9	外気取入れ合フラジ接続口 (φ100) ※1
10	フィルターチャンバー (別売品) CZ-160FDU5
11	給水口 給水ホース (加温器付製品) 接続部
12	エコナビパネル (別売品) CZ-160KPEU5 (-K)
13	エコナビセンサー
14	給水ホース (加温器付製品)

※1. 別売品: 外気取入れ合フラジ (φ100) が必要です。
《フィルター寸法》
(520×520×15) ※1個



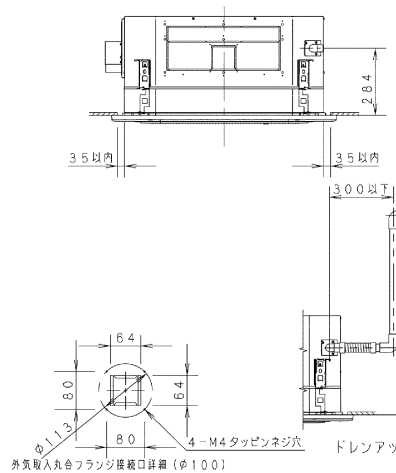
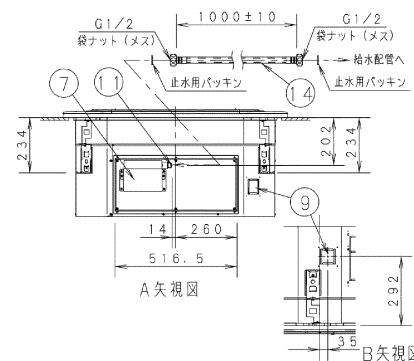
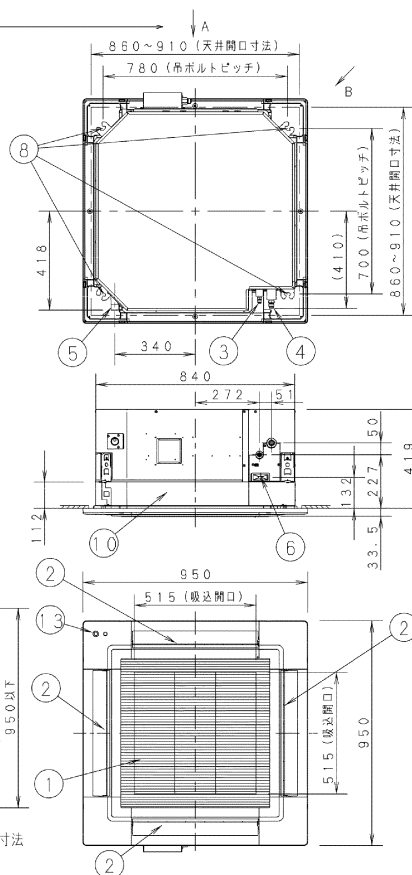
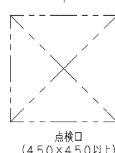
ドレンアップ立上げ寸法

外気取入れ合フラジ接続口詳細 (φ100)

※. 吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から30mm以上 (本体下面からは18mm以上) 隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、フィルターチャンバーに当たり取り付けできません。

1	吸込口
2	吹出口
3	冷暖配管 (液管)
4	冷暖配管 (ガス管)
5	ドレン配管口VP25 (外径φ32)
6	配線取入口
7	自然気化式加湿器 (別売品) CZ-14ASU5
8	吊りボルト穴 (4-12×28長穴)
9	外気取入れ合フラジ接続口 (φ100) ※1
10	フィルターチャンバー (別売品) CZ-160FDU5
11	給水口 給水ホース (加温器付製品) 接続部
12	エコナビパネル (別売品) CZ-160KPEU5 (-K)
13	エコナビセンサー
14	給水ホース (加温器付製品)

※1. 別売品: 外気取入れ合フラジ (φ100) が必要です。
《フィルター寸法》
(520×520×15) ※1個



ドレンアップ立上げ寸法

外気取入れ合フラジ接続口詳細 (φ100)

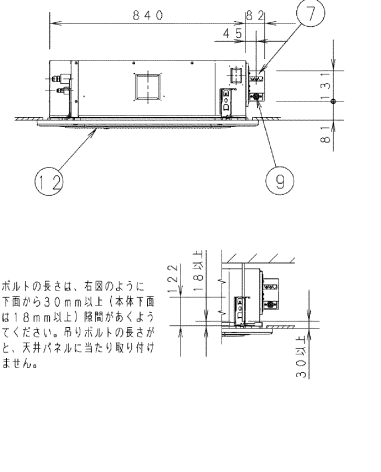
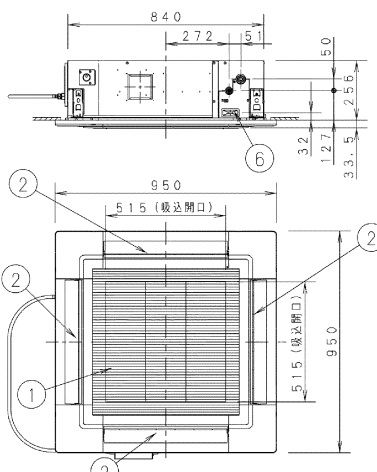
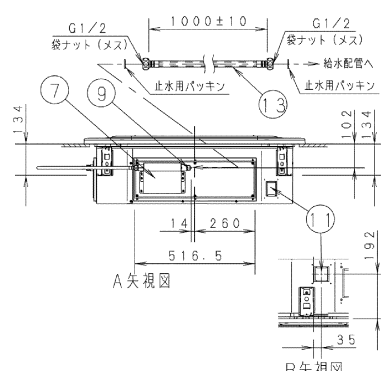
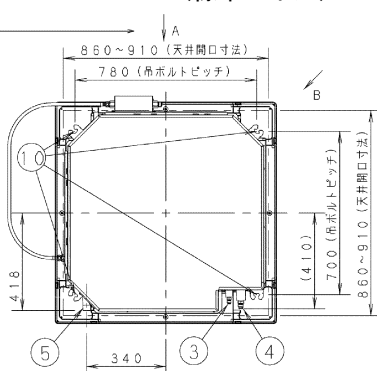
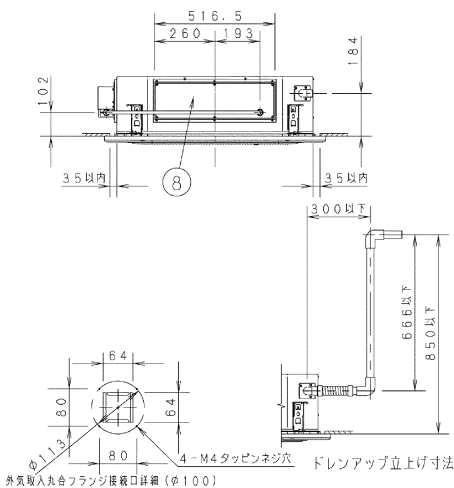
※. 吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から30mm以上 (本体下面からは18mm以上) 隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、フィルターチャンバーに当たり取り付けできません。

■自然気化式加湿器 高加湿タイプ (CZ-16ASHU5)

●S-G28・36・45・56・71・80UT1 (標準パネル)

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管 (液管)
4	冷媒配管 (ガス管)
5	ドレン配管口VP25 (外径φ32)
6	配線取入口
7	自然気化式加湿器高加湿タイプ (別売品) CZ-16ASHU5 <1次側>
8	自然気化式加湿器高加湿タイプ (別売品) CZ-16ASHU5 <2次側>
9	給水口 給水ホース (加湿器付属品) 接続部
10	吊りボルト穴 (4-12×2.8長穴)
11	外気取入れ合フレンジ接続口 (φ100) ※1
12	標準パネル (別売品) CZ-160KPU5 (-K, T, H)
13	給水ホース (加湿器付属品)

※1、別売品：外気取入れ合フレンジ (φ100) が必要です。
《フィルター寸法》
(520×520×15) ※1層

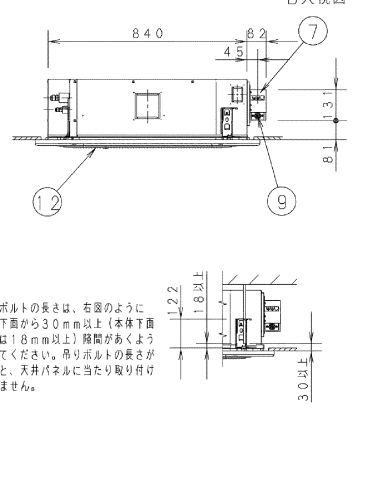
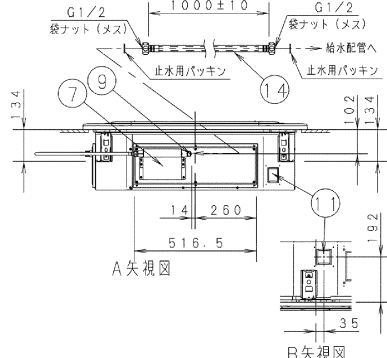
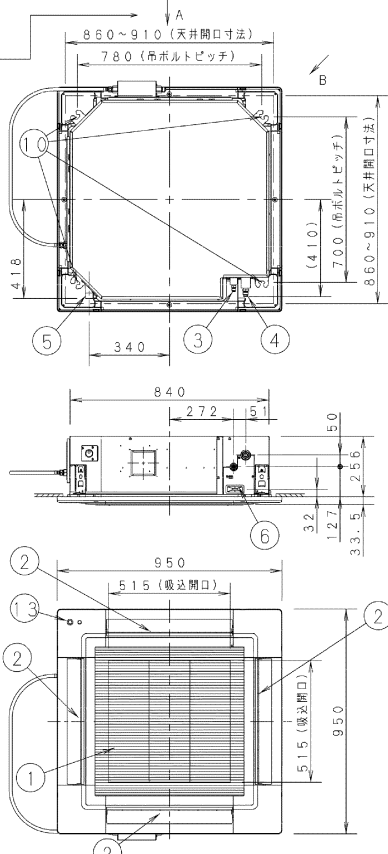
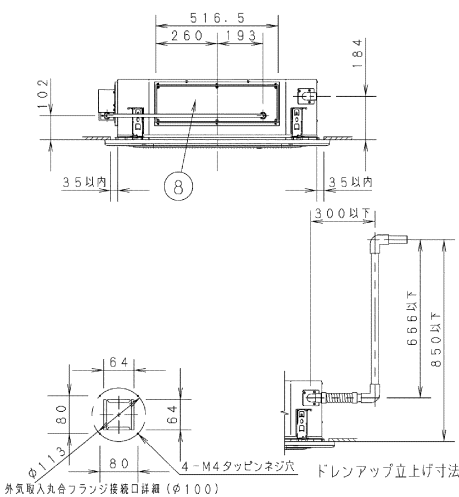


※、吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から30mm以上 (本体下面からは18mm以上) 隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

●S-G28・36・45・56・71・80UT1 (エコナビパネル)

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管 (液管)
4	冷媒配管 (ガス管)
5	ドレン配管口VP25 (外径φ32)
6	配線取入口
7	自然気化式加湿器高加湿タイプ (別売品) CZ-16ASHU5 <1次側>
8	自然気化式加湿器高加湿タイプ (別売品) CZ-16ASHU5 <2次側>
9	給水口 給水ホース (加湿器付属品) 接続部
10	吊りボルト穴 (4-12×2.8長穴)
11	外気取入れ合フレンジ接続口 (φ100) ※1
12	エコナビパネル (別売品) CZ-160KPEU5 (-K)
13	エコナビセンサー
14	給水ホース (加湿器付属品)

※1、別売品：外気取入れ合フレンジ (φ100) が必要です。



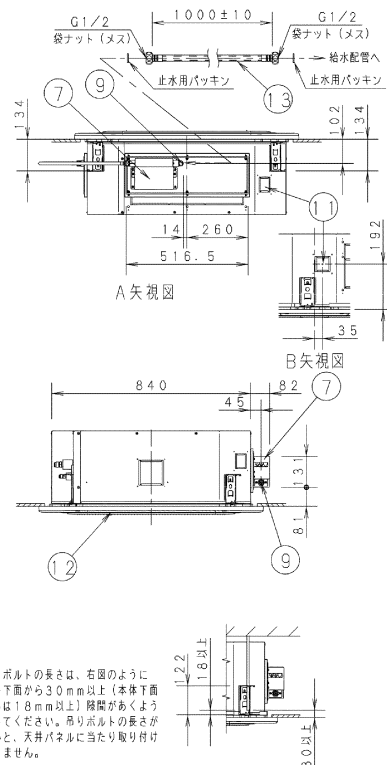
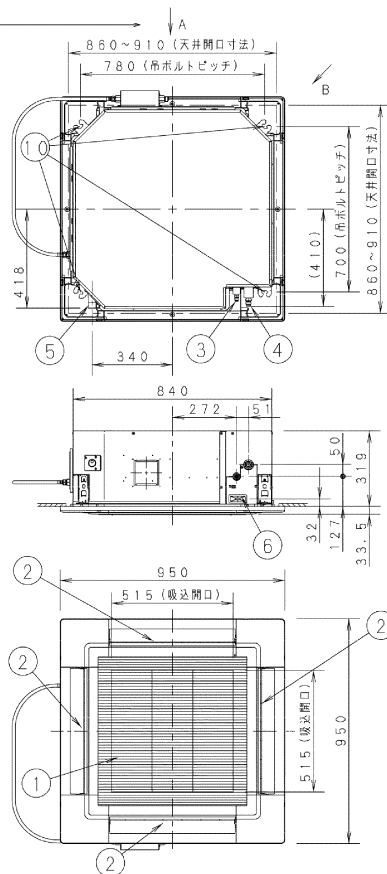
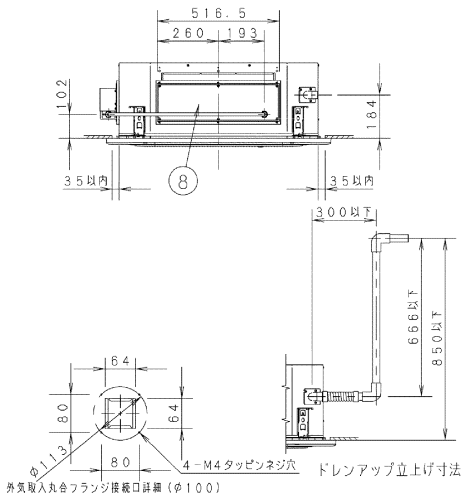
※、吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から30mm以上 (本体下面からは18mm以上) 隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

●S-G90UT1 (標準パネル)

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管(液管)
4	冷媒配管(ガス管)
5	ドレン配管口VP25(外径φ32)
6	配線取入口
7	自然気化式加温器高加温タイプ(別売品) CZ-16ASHU5 <1次側>
8	自然気化式加温器高加温タイプ(別売品) CZ-16ASHU5 <2次側>
9	給水口 給水ホース(加温器付商品)接続部
10	吊りボルト穴(4-12×28長穴)
11	外気取入れ合フランジ接続口(φ100) ※1
12	標準パネル(別売品) CZ-160KPU5 (-K, T, H)
13	給水ホース(加温器付商品)

※1、別売品：外気取入れ合フランジ(φ100)が必要です。

《フィルター寸法》
(520×520×15) ※1番

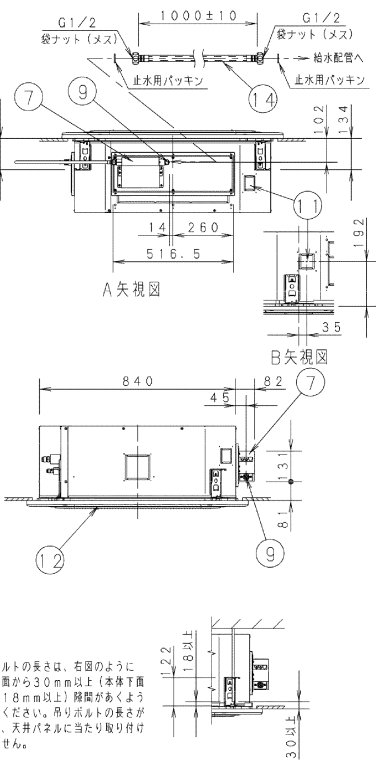
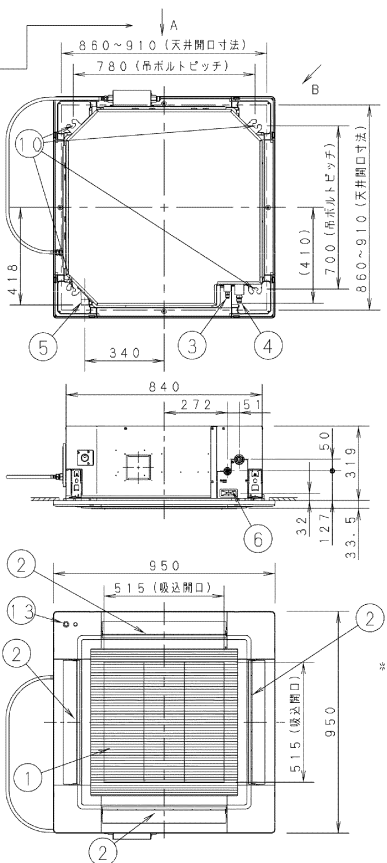
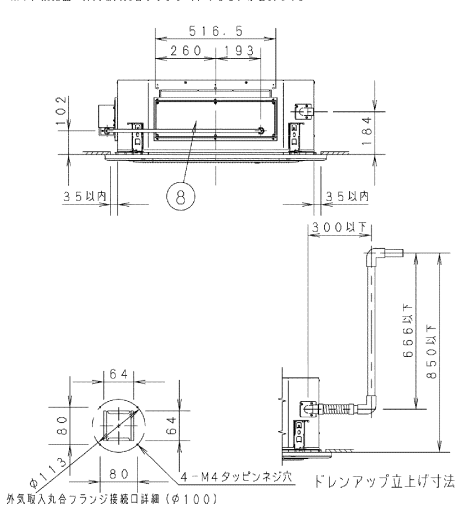


※、吊りボルトの長さ、右図のように天井下面から30mm以上(本体下面からは18mm以上)隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

●S-G90UT1 (エコナビパネル)

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管(液管)
4	冷媒配管(ガス管)
5	ドレン配管口VP25(外径φ32)
6	配線取入口
7	自然気化式加温器高加温タイプ(別売品) CZ-16ASHU5 <1次側>
8	自然気化式加温器高加温タイプ(別売品) CZ-16ASHU5 <2次側>
9	給水口 給水ホース(加温器付商品)接続部
10	吊りボルト穴(4-12×28長穴)
11	外気取入れ合フランジ接続口(φ100) ※1
12	エコナビパネル(別売品) CZ-160KPEU5 (-K)
13	エコナビセンサー
14	給水ホース(加温器付商品)

※1、別売品：外気取入れ合フランジ(φ100)が必要です。



※、吊りボルトの長さ、右図のように天井下面から30mm以上(本体下面からは18mm以上)隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

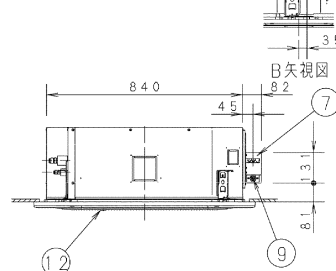
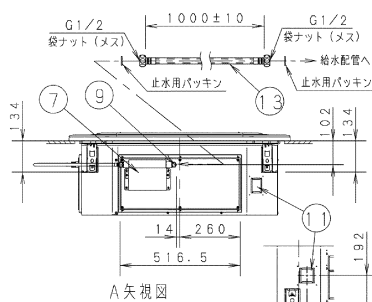
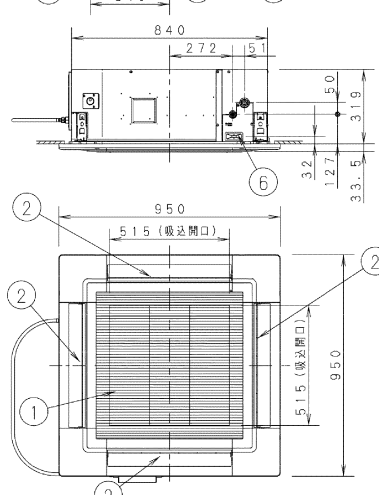
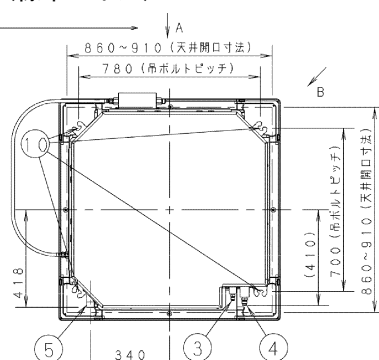
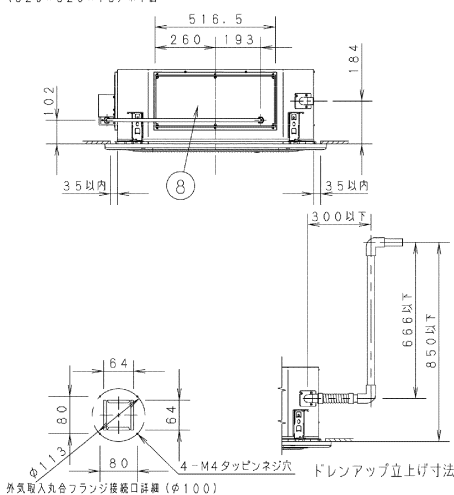
■自然気化式加湿器 高加湿タイプ (CZ-20ASHU5)

●S-G112・140・160UT1 (標準パネル)

1	吸込口
2	吹出口
3	冷暖配管 (液管)
4	冷暖配管 (ガス管)
5	ドレン配管口VP25 (外径φ32)
6	配線取入口
7	自然気化式加湿器高加湿タイプ (別売品) CZ-20ASHU5 <1次側>
8	自然気化式加湿器高加湿タイプ (別売品) CZ-20ASHU5 <2次側>
9	給水口 給水ホース (加湿器付属品) 接続部
10	吊りボルト穴 (4-12×2.8長穴)
11	外気取入丸合フランチ接続口 (φ100) ※1
12	標準パネル (別売品) CZ-160KPU5 (-K, T, H)
13	給水ホース (加湿器付属品)

※1、別売品：外気取入丸合フランチ (φ100) が必要です。

《フィルター寸法》
(520×520×15) ※1個

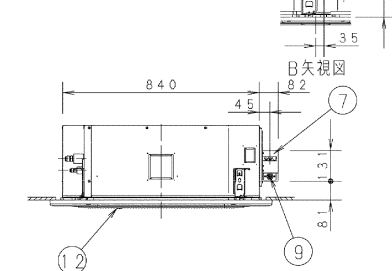
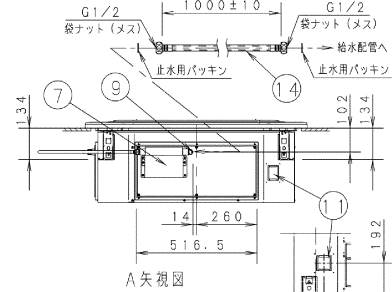
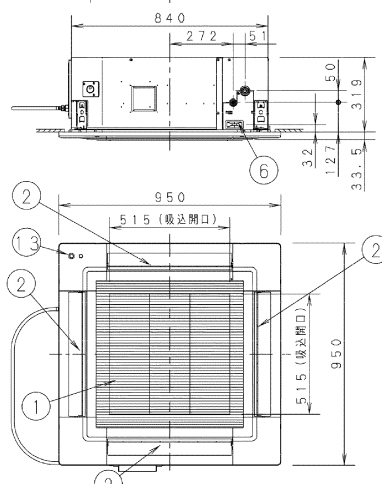
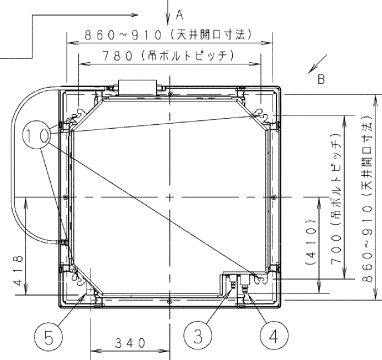
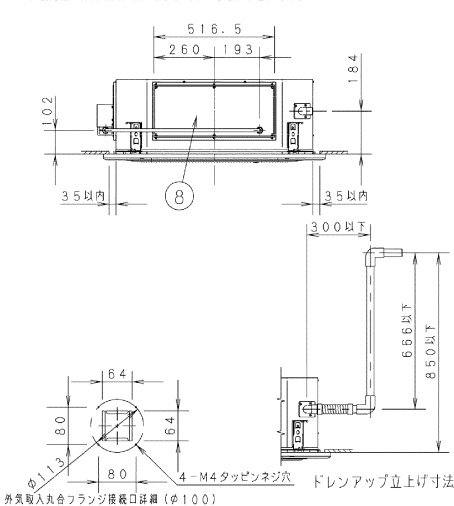


※、吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から30mm以上 (本体下面からは18mm以上) 隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

●S-G112・140・160UT1 (エコナビパネル)

1	吸込口
2	吹出口
3	冷暖配管 (液管)
4	冷暖配管 (ガス管)
5	ドレン配管口VP25 (外径φ32)
6	配線取入口
7	自然気化式加湿器高加湿タイプ (別売品) CZ-20ASHU5 <1次側>
8	自然気化式加湿器高加湿タイプ (別売品) CZ-20ASHU5 <2次側>
9	給水口 給水ホース (加湿器付属品) 接続部
10	吊りボルト穴 (4-12×2.8長穴)
11	外気取入丸合フランチ接続口 (φ100) ※1
12	エコナビパネル (別売品) CZ-160KEU5 (-K)
13	エコナビセンサー
14	給水ホース (加湿器付属品)

※1、別売品：外気取入丸合フランチ (φ100) が必要です。



※、吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から30mm以上 (本体下面からは18mm以上) 隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

別売部品

4. 室内ユニット関連部品取付図 (4方向天井カセット形)

■フィルターチャンバー (CZ-160FDU5)

■外気取入れキット（チャンバー用）（CZ-160GSCU5）

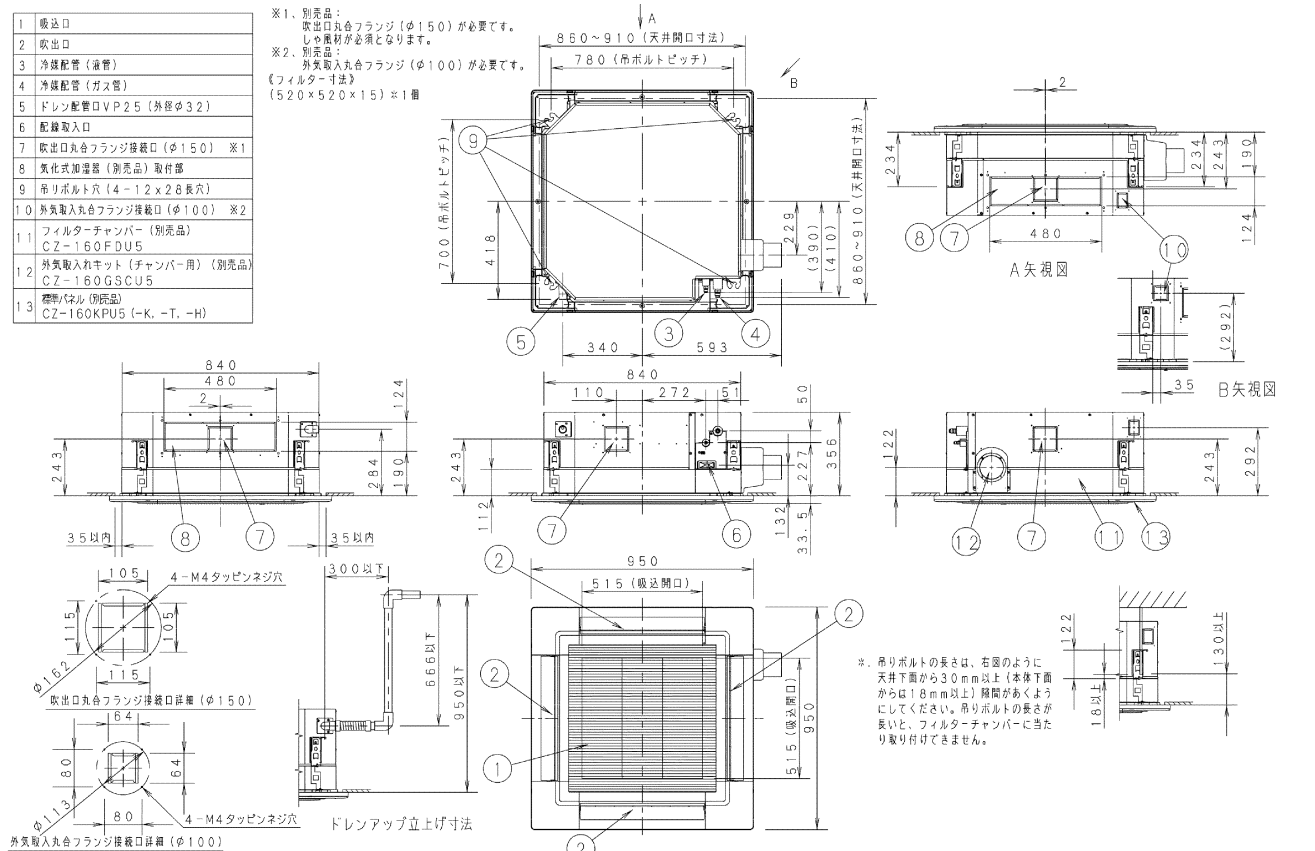
●S-G28・36・45・56・71・80UT1（標準パネル）

1	吸込口
2	吹出口
3	冷房配管（液管）
4	冷房配管（ガス管）
5	ドレン配管口VP25（外径φ32）
6	配線接続口
7	吹出口丸合フレンジ接続口（φ150） ※1
8	気化式加湿器（別売品）取付部
9	吊りホルダ取付（4-12x28長尺）
10	外気取入丸合フレンジ接続口（φ100） ※2
11	フィルターチャンプ（別売品） CZ-160FDU5
12	外気取入用キット（チャンプ用）（別売品） CZ-160GUST5
13	標準/ナール（別売品） CZ-160PKPU5（-K、-T、-H）

※1、別売品：
吹出口丸合フランジ(φ150)が必要です。
しゃく風材が必須となります。

※2、別売品：
外気取入丸合フランジ(φ100)が必要です。

《フィルター寸法》
(520×520×15)×1個



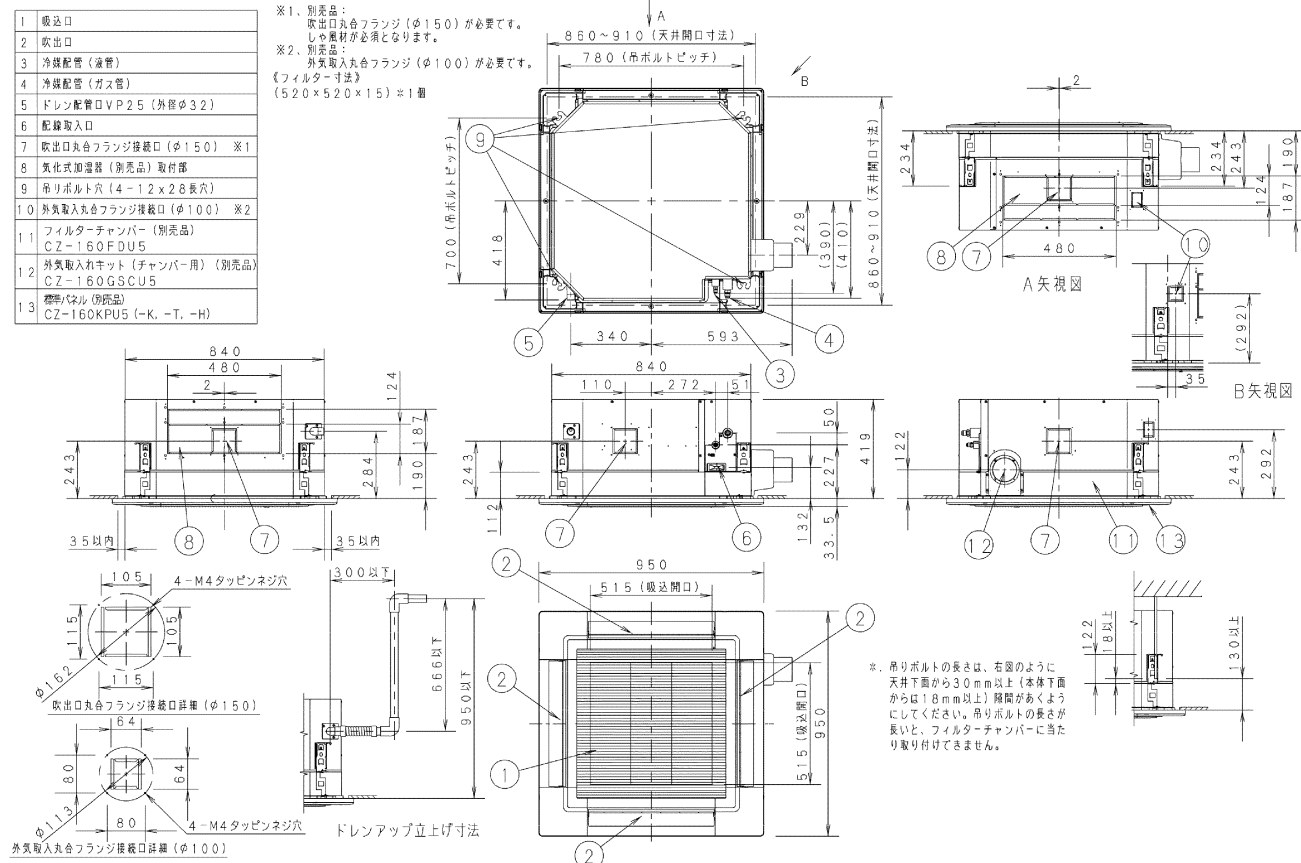
●S-G90・112・140・160T1（標準パネル）

1	吸込口
2	吹出口
3	冷凍配管（液管）
4	冷凍配管（ガス管）
5	ドレン配管口VP25（外径φ32）
6	配気配管口
7	吹出口丸合フレンジ接続口（φ150） ※1
8	気化式取替器（別売品）取替器
9	吊り止片スリ（4-12×28長尺）
10	外気取入れ丸合フレンジ接続口（φ100） ※2
11	フィルターチャンバー（別売品） CZ-160FDU5
12	外気取入れユニット（チャンバー用）（別売品） CZ-160GSSCT5
13	標準/ワイルド部品 CZ-160KPL15（K-T-H）

※1、別売品：
吹出口丸合フランジ(φ150)が必要です。
しや風材が必須となります。

※2、別売品：
外気取入丸合フランジ(φ100)が必要です。

《フィルター寸法》
(520×520×15)※1個

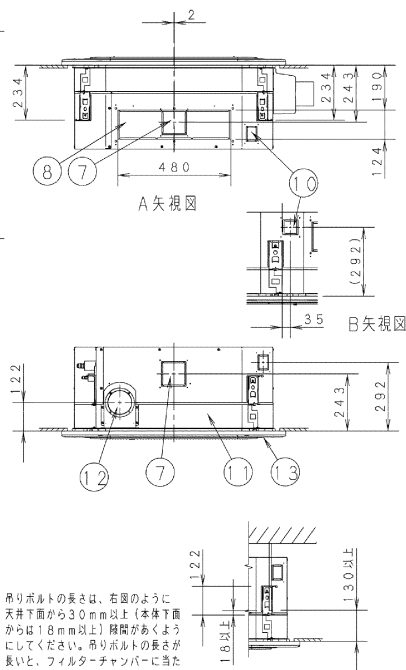
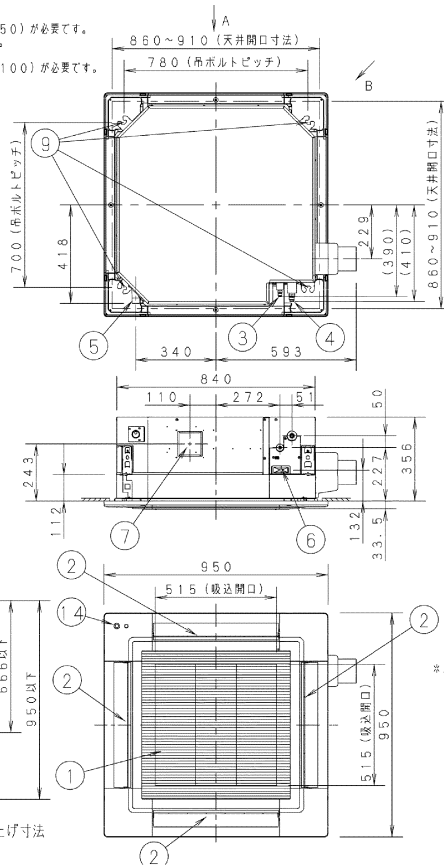
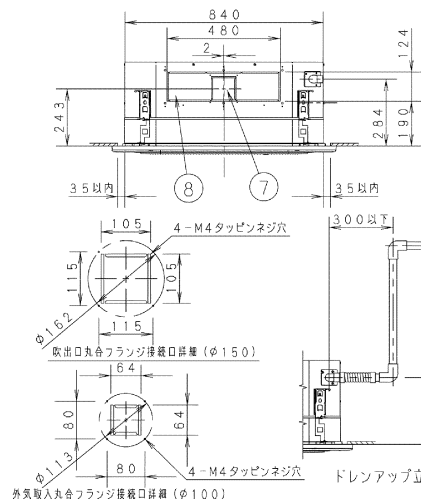


●S-G28・36・45・56・71・80UT1 (エコナビパネル)

1	吸込口
2	吹出口
3	冷暖配管 (液管)
4	冷暖配管 (ガス管)
5	ドレン配管口VP25 (外径φ32)
6	
7	吹出口丸合フラジ接続口 (φ150) ※1
8	気化式加湿器 (別売品) 取付部
9	吊りボルト穴 (4-12x28長穴)
10	外気取入れ合フラジ接続口 (φ100) ※2
11	フィルターチャンパー (別売品) CZ-160FDU5
12	外気取入れキット (チャンパー用) (別売品) CZ-160GSCU5
13	エコナビパネル (別売品) CZ-160KPEU5 (-K)
14	エコナビセンサー

※1. 別売品:
吹出口丸合フラジ (φ150) が必要です。
しや風材が必要となります。

※2. 別売品:
外気取入れ合フラジ (φ100) が必要です。
【フィルター寸法】
(520×520×15) ※1個



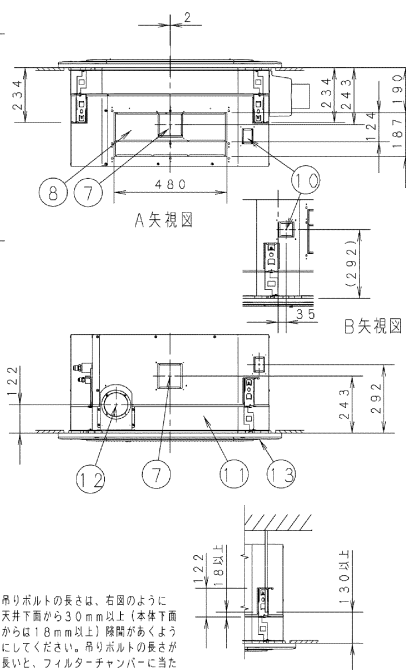
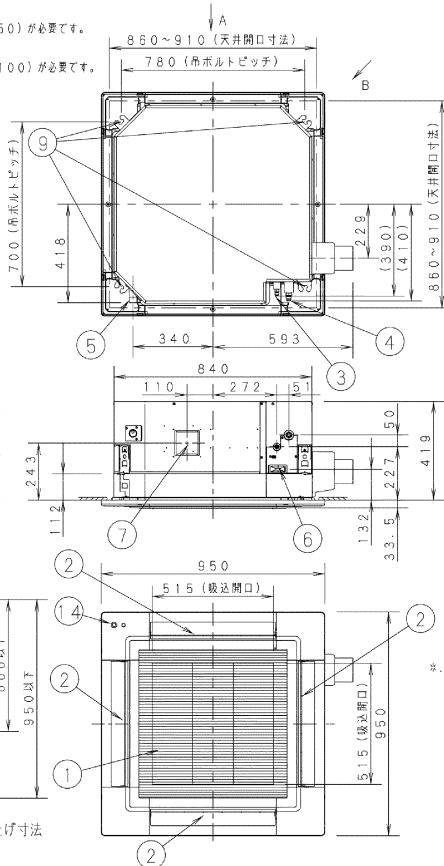
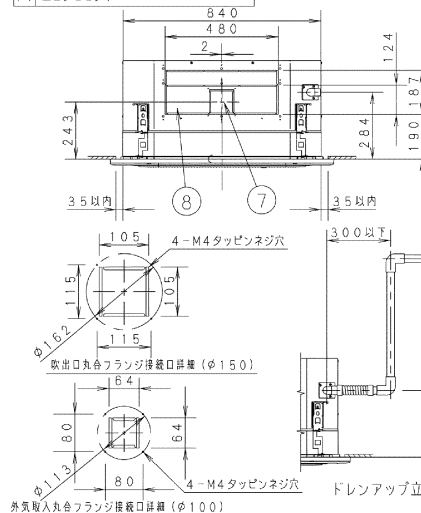
※. 吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から30mm以上 (本体下面からは18mm以上) 隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、フィルターチャンパーに当たり取り付けできません。

●S-G90・112・140・160T1 (エコナビパネル)

1	吸込口
2	吹出口
3	冷暖配管 (液管)
4	冷暖配管 (ガス管)
5	ドレン配管口VP25 (外径φ32)
6	配線取入口
7	吹出口丸合フラジ接続口 (φ150) ※1
8	気化式加湿器 (別売品) 取付部
9	吊りボルト穴 (4-12x28長穴)
10	外気取入れ合フラジ接続口 (φ100) ※2
11	フィルターチャンパー (別売品) CZ-160FDU5
12	外気取入れキット (チャンパー用) (別売品) CZ-160GSCU5
13	エコナビパネル (別売品) CZ-160KPEU5 (-K)
14	エコナビセンサー

※1. 別売品:
吹出口丸合フラジ (φ150) が必要です。
しや風材が必要となります。

※2. 別売品:
外気取入れ合フラジ (φ100) が必要です。
【フィルター寸法】
(520×520×15) ※1個



※. 吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から30mm以上 (本体下面からは18mm以上) 隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、フィルターチャンパーに当たり取り付けできません。

別売部品

4. 室内ユニット関連部品取付図 (4方向天井カセット形)

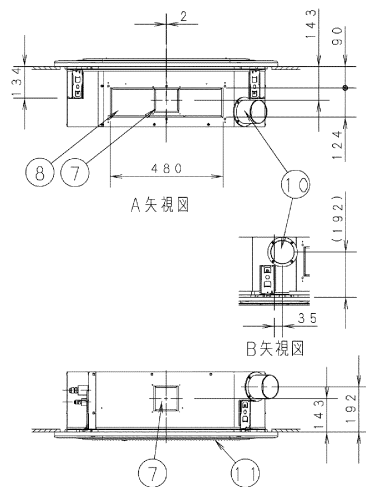
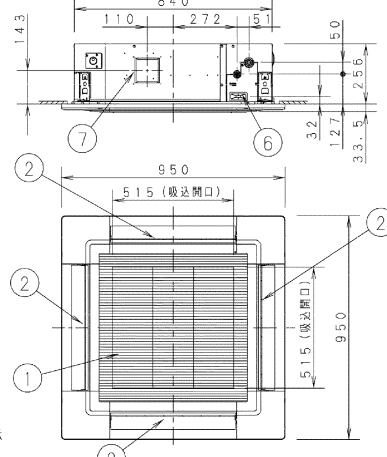
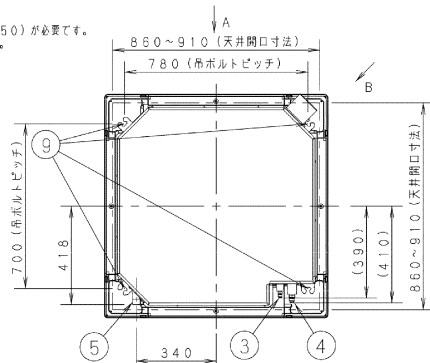
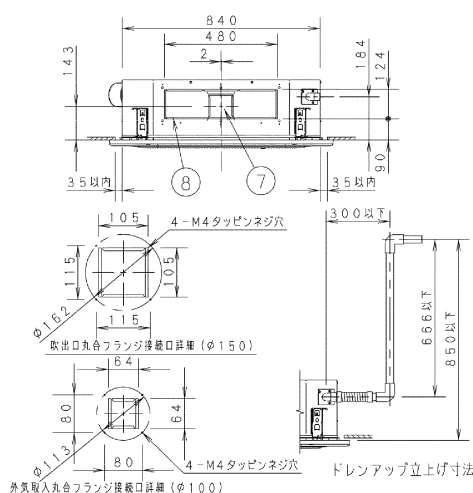
■外気取入丸合フレンジ(φ100) (CZ-AT100)

●S-G28・36・45・56・71・80UT1（標準パネル）

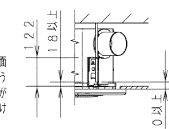
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（通管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン配管口VP2.5（外径φ32）
6	配管取入口
7	吹出口丸合フラッジ接続口（φ150） ※1
8	気化式加温器（別売品）取付部
9	準吊ボルト穴（4-1×2×8表穴）
10	外気吸入合口フラッジ（φ100）（別売品） CZ-A1T100
11	標準（ナメ）取付品 CZ-A160K1P5（-K、-T、-H）

※1、別売品：
吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
しゃ風材が必須となります。

《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個



※、吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から30mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さも長くと、天井パネルに当たり取り付できません。

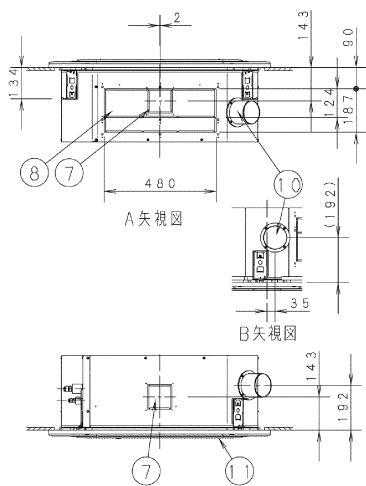
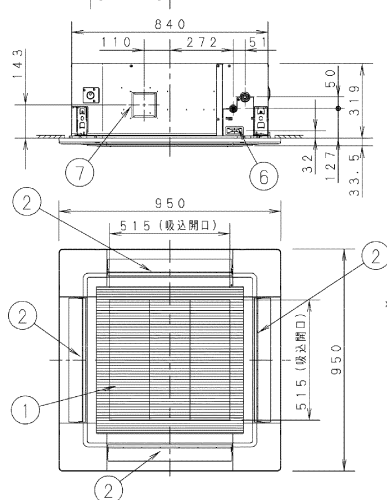
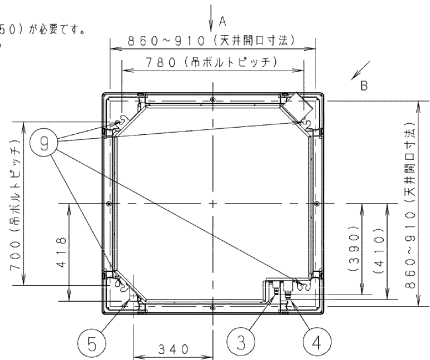
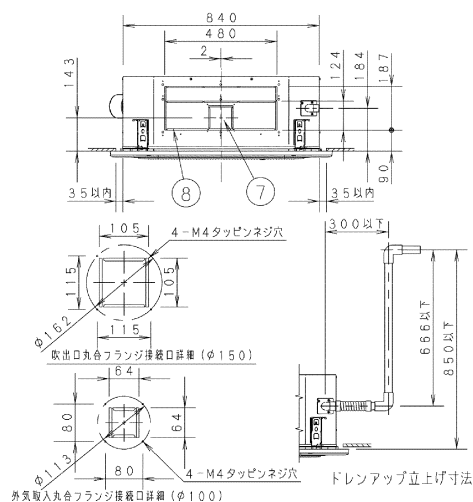


●S-G90・112・140・160UT1（標準パネル）

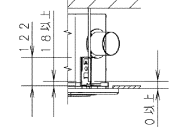
1	吸込口
2	吸出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン配管口VP25（外径φ32）
6	配線取入口
7	吸出口側合流フランジ接続口（φ150） ※1
8	気化式加温器（別売品）取付部
9	吊りボルト（4 - 1.2 × 2.8長尺）
10	外気取入合流フランジ（φ100）（別売品） CZ-A1T100
11	標準パネル（別添） CZ-160PKU5（-K、-T、-H）

※1、別売品：
吹出口丸合フレンジ(ゆ150)が必要です。
しゃ風材が必須となります。

《フィルター寸法》
(520×520×15)※1個



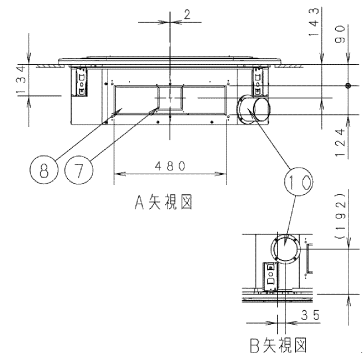
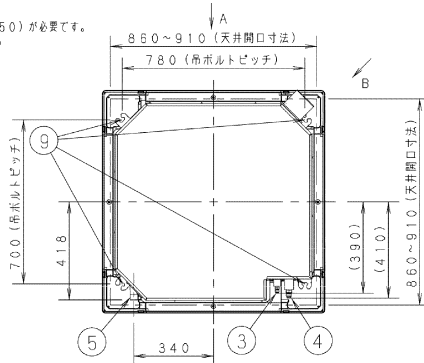
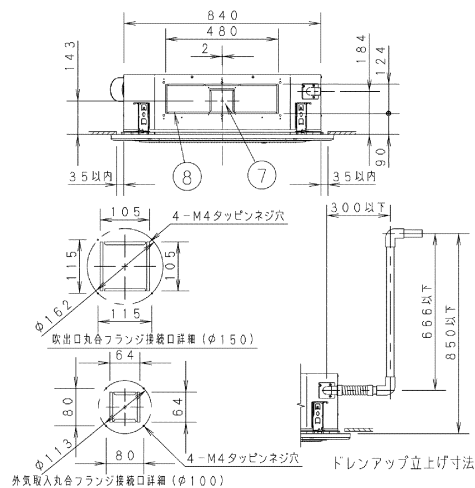
※ 吊りボルトの長さは、右図のように、天井下面から30 mm以上（本体下面からは18 mm以上）隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けてできません。



●S-G28・36・45・56・71・80UT1 (エコナビパネル)

1	吸込口
2	吹出口
3	冷暖配管 (液管)
4	冷暖配管 (ガス管)
5	ドレン配管VP25 (外径φ32)
6	配線取入口
7	吹出口丸合フラジ接続口 (φ150) ※1
8	気化式加湿器 (別売品) 取付部
9	吊りボルト穴 (4-12×2.8長穴)
10	外気取入丸合フラジ (φ100) (別売品) CZ-AT100
11	エコナビパネル (別売品) CZ-160KPEU5 (-K)
12	エコナビセンサー

※1、別売品：
吹出口丸合フラジ (φ150) が必要です。
しや風材が必要となります。
《フィルター寸法》
(520×520×15) ※1冊

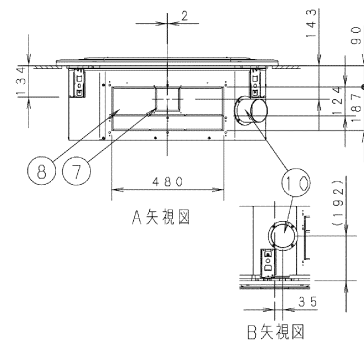
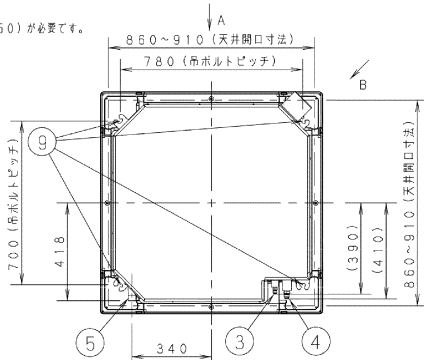
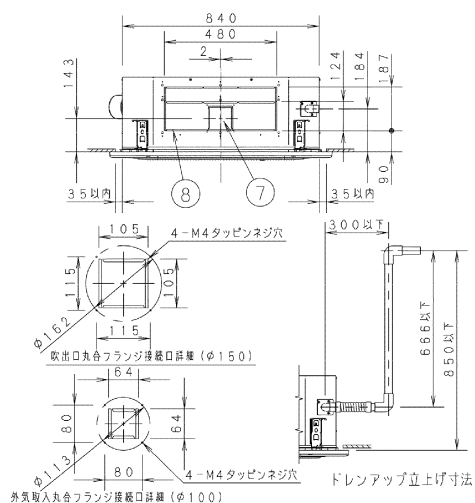


※、吊りボルトの長さは、右図のように
天井下面から30mm以上 (本体下面
からは18mm以上) 隙間があくよう
にしてください。吊りボルトの長さが
長いと、天井パネルに当たり取り付け
できません。

●S-G90・112・140・160UT1 (エコナビパネル)

1	吸込口
2	吹出口
3	冷暖配管 (液管)
4	冷暖配管 (ガス管)
5	ドレン配管VP25 (外径φ32)
6	配線取入口
7	吹出口丸合フラジ接続口 (φ150) ※1
8	気化式加湿器 (別売品) 取付部
9	吊りボルト穴 (4-12×2.8長穴)
10	外気取入丸合フラジ (φ100) (別売品) CZ-AT100
11	エコナビパネル (別売品) CZ-160KPEU5 (-K)
12	エコナビセンサー

※1、別売品：
吹出口丸合フラジ (φ150) が必要です。
しや風材が必要となります。
《フィルター寸法》
(520×520×15) ※1冊



※、吊りボルトの長さは、右図のように
天井下面から30mm以上 (本体下面
からは18mm以上) 隙間があくよう
にしてください。吊りボルトの長さが
長いと、天井パネルに当たり取り付け
できません。

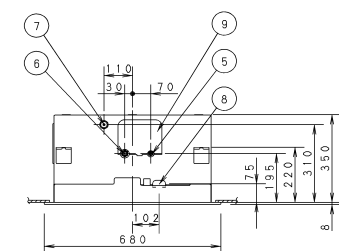
別売部品

4. 室内ユニット関連部品取付図 (2方向天井カセット形)

■天井パネル (CZ-02KPL3A)

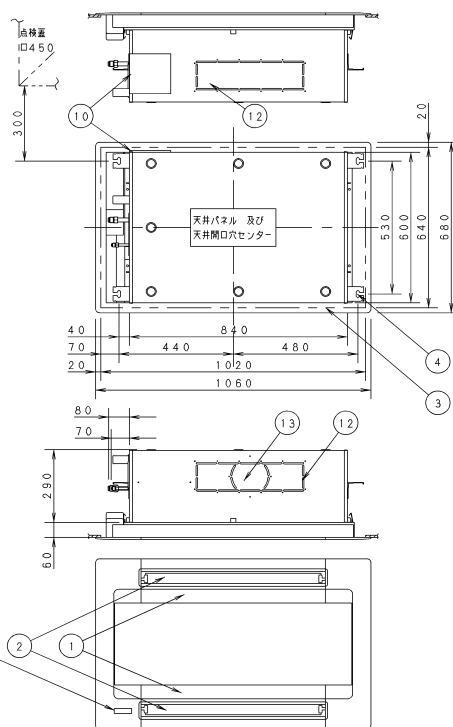
●S-G22・28・36・45・56LS1

- ① 天井パネル吸込口
- ② 天井パネル吹出口
- ③ 天井開口寸法 (1020X640)
- ④ 吊り金具 (切欠き12mm)
- ⑤ 冷媒配管 (液管) ... 注記2参照
- ⑥ 冷媒配管 (ガス管) ... 注記2参照
- ⑦ ドレン配管接続口VP25 (外径φ32) フレキホースφ200付属
- ⑧ 電源・ユニット間・オプションコード取入口
- ⑨ ドレンパン・ドレンポンプ点検蓋
- ⑩ ドレンポンプ点検蓋
- ⑪ 丸合フランジ (別売) 取付け部<新鮮外気取入れφ125>
- ⑫ 気化式加湿器 (別売) 取付け部<左右取付け可能>
- ⑬ 吹出ダクト (別売) 取付け部<φ150X1ヶ、右側面のみ取付け可能>
- ⑭ ワイヤレスリモコン (別売) 受信部取付け部



注記
1. 吹出ダクト13を使用する場合の加湿器は、左側面のみ取付け可能です。

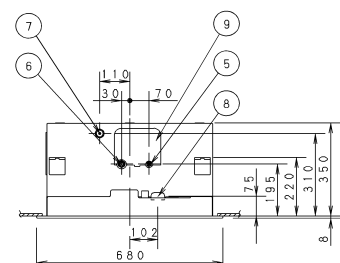
形 式	冷媒配管	
	液 管	ガス管
22・28・36 ・45・56形	φ9.52 フレア	φ12.7 フレア



■天井パネル (CZ-03KPL3A)

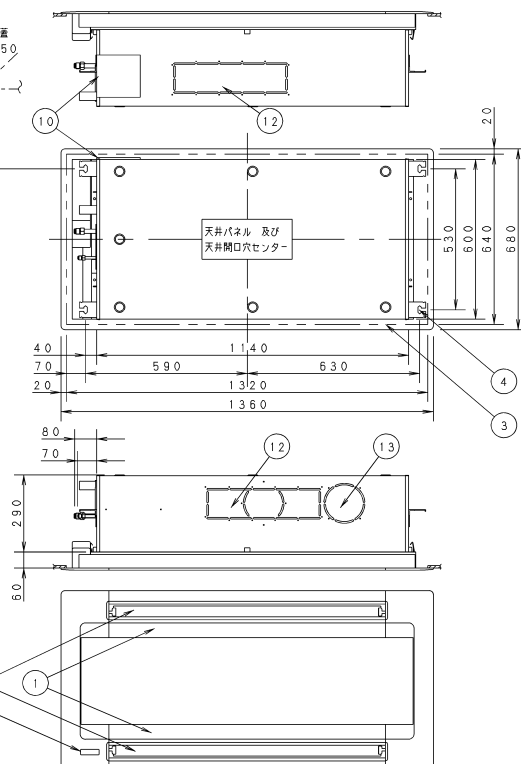
●S-G71・90LS1

- ① 天井パネル吸込口
- ② 天井パネル吹出口
- ③ 天井開口寸法 (1320X640)
- ④ 吊り金具 (切欠き12mm)
- ⑤ 冷媒配管 (液管) ... 注記2参照
- ⑥ 冷媒配管 (ガス管) ... 注記2参照
- ⑦ ドレン配管接続口VP25 (外径φ32) フレキホースφ200付属
- ⑧ 電源・ユニット間・オプションコード取入口
- ⑨ ドレンパン・ドレンポンプ点検蓋
- ⑩ ドレンポンプ点検蓋
- ⑪ 丸合フランジ (別売) 取付け部<新鮮外気取入れφ125>
- ⑫ 気化式加湿器 (別売) 取付け部<左右取付け可能>
- ⑬ 吹出ダクト (別売) 取付け部<φ150X2ヶ、右側面のみ取付け可能>
- ⑭ ワイヤレスリモコン (別売) 受信部取付け部



注記
1. 吹出ダクト13を使用する場合の加湿器は、左側面のみ取付け可能です。

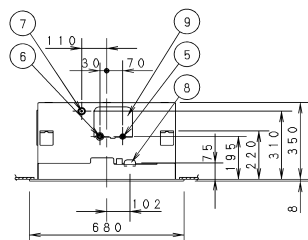
形 式	冷媒配管	
	液 管	ガス管
71・90形	φ9.52 フレア	φ15.88 フレア



■天井パネル (CZ-06KPL3A)

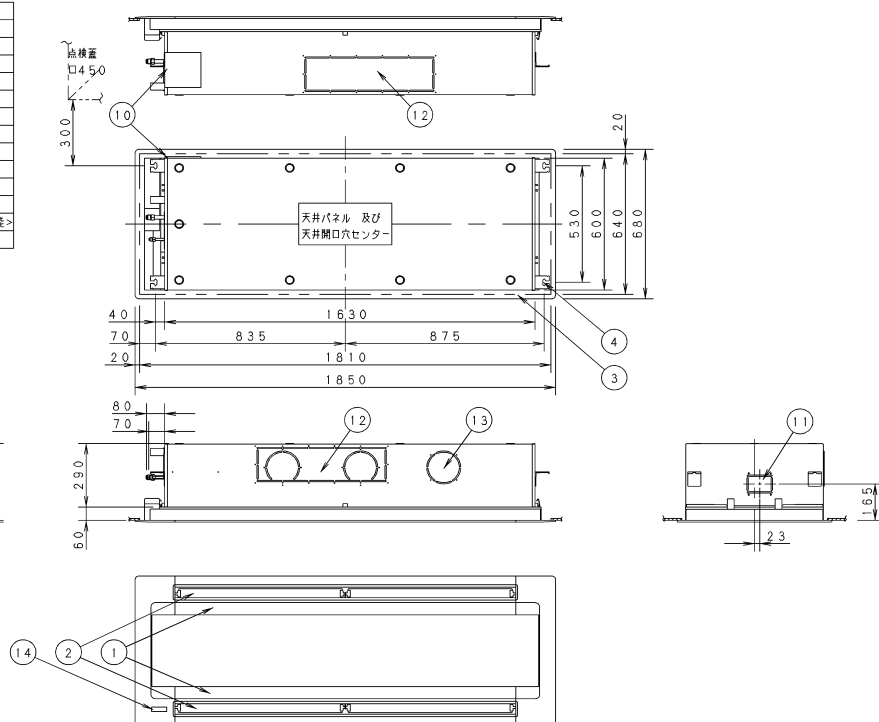
●S-G112・140・160LS1

①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法 (1810X640)
④	吊り金具 (切欠き12mm)
⑤	浄媒配管 (湯管) ・ ・ ・ ・ ・ φ9.52フレア
⑥	浄媒配管 (ガス管) ・ ・ ・ ・ ・ φ15.88フレア
⑦	ドレン配管接続口VP25 (外径φ32) フレキホースφ200付属
⑧	電源・ユニット開・オプションコード取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検蓋
⑩	ドレンポンプ点検蓋
⑪	丸合フレンジ (別売) 取付け部<新鮮外気取入れφ125>
⑫	気化式加湿器 (別売) 取付け部<左右取付け可能>
⑬	吹出ダクト (別売) 取付け部<φ150X3ヶ、右側面のみ取付け可能>
⑭	ワイヤレスリモコン (別売) 受信部取付け部



注記

1. 吹出ダクト13を使用する場合の加湿器は、左側面のみ取付け可能です。



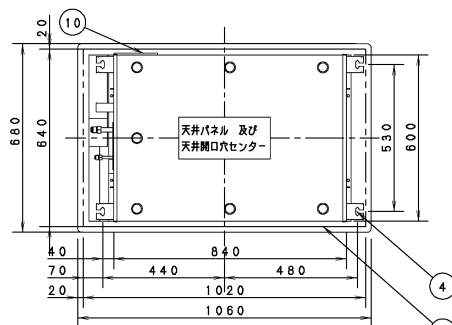
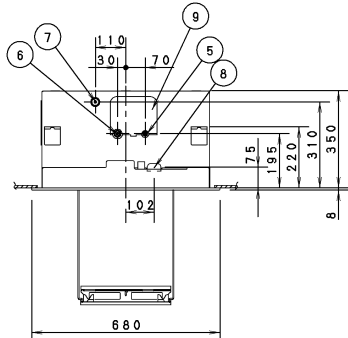
別売部品

4. 室内ユニット関連部品取付図 (2方向天井カセット形)

■昇降グリル付天井パネル (CZ-02KSL3)

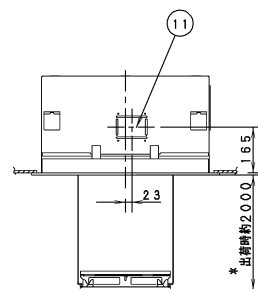
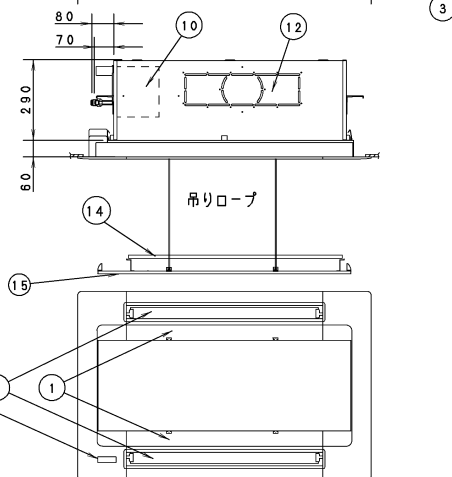
●S-G22・28・36・45・56LS1

① 天井パネル吸込口
② 天井パネル吹出口
③ 天井開口寸法 (1020X640)
④ 吊り金具 (切欠き12mm)
⑤ 冷暖配管 (液管)
⑥ 冷暖配管 (ガス管)
⑦ ドレン配管接続口VP25 (外径φ32) フレキホースφ200付属
⑧ 電源・ユニット間・オプションコード取入口
⑨ ドレンパン・ドレンポンプ点検蓋
⑩ ドレンポンプ点検蓋
⑪ 丸金フランジ (別売) 取付け部<新鮮外気取入れφ125>
⑫ 気化式加湿器 (別売) 取付け部<左右取付け可能>
⑬ ワイヤレスリモコン (別売) 受信部取付け部
⑭ ロングライフフィルタ
⑮ 昇降グリル付天井パネル



注記

1. 昇降グリルは、別売の電気ヒータ及びフィルタ、吹出しダクトとの組合せ (併用) はできません。

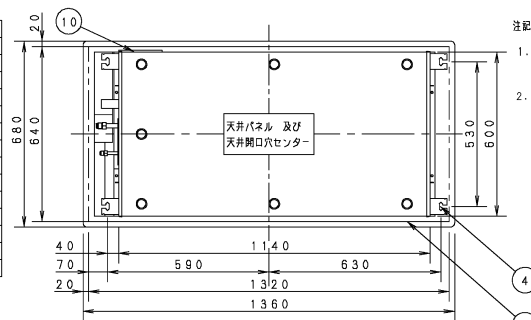
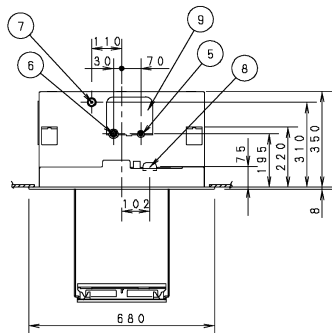


* フィルタ昇降寸法はさがある基板のディップスイッチで1.5m、2.0m、2.5mの3段階設定が可能 (出荷時設定2.0m)

■昇降グリル付天井パネル (CZ-03KSL3)

●S-G71・90LS1

① 天井パネル吸込口
② 天井パネル吹出口
③ 天井開口寸法 (1320X640)
④ 吊り金具 (切欠き12mm)
⑤ 冷暖配管 (液管) ...注記2参照
⑥ 冷暖配管 (ガス管) ...注記2参照
⑦ ドレン配管接続口VP25 (外径φ32) フレキホースφ200付属
⑧ 電源・ユニット間・オプションコード取入口
⑨ ドレンパン・ドレンポンプ点検蓋
⑩ ドレンポンプ点検蓋
⑪ 丸金フランジ (別売) 取付け部<新鮮外気取入れφ125>
⑫ 気化式加湿器 (別売) 取付け部<左右取付け可能>
⑬ ワイヤレスリモコン (別売) 受信部取付け部
⑭ ロングライフフィルタ
⑮ 昇降グリル付天井パネル

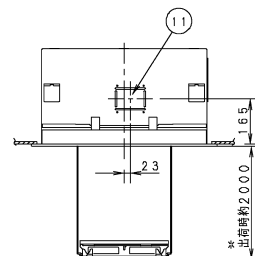
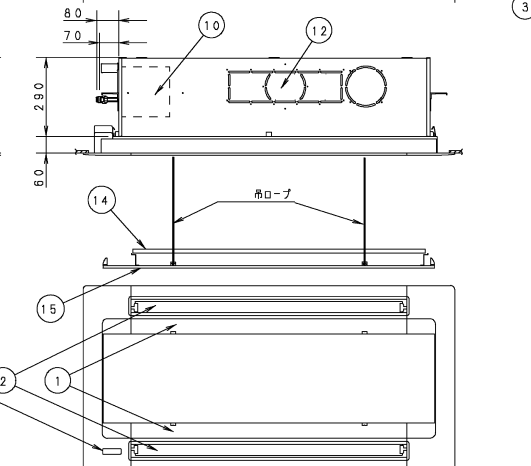


注記

1. 昇降グリルは、別売のフィルタ、吹出しダクトとの組合せ (併用) はできません。

2.

形式	液管	ガス管
71形	φ9.52 フレア	φ15.88 フレア
90形	φ9.52 フレア	φ19.05 フレア



* フィルタ昇降寸法はさがある基板内のディップスイッチで1.5m、2.0m、2.5mの3段階設定が可能 (出荷時設定2.0m)

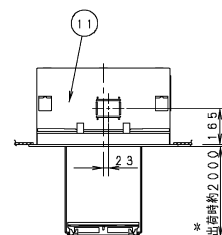
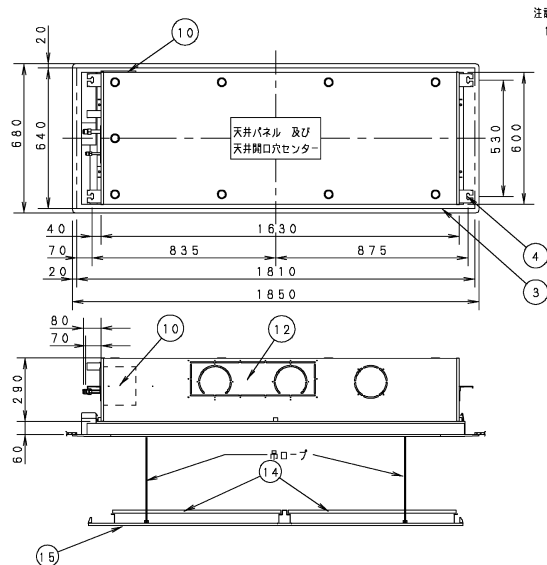
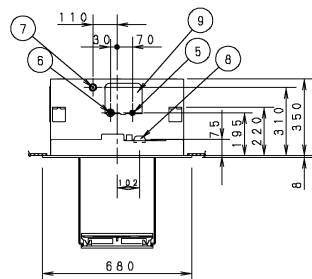
別売部品

4. 室内ユニット関連部品取付図 (2方向天井カセット形)

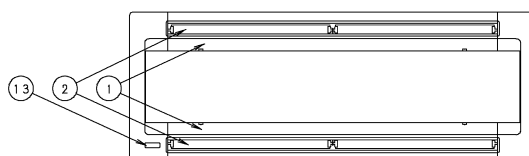
■昇降グリル付天井パネル（CZ-06KSL3）

● G 1 1 2 · 1 4 0 · 1 6 0 L S 1

①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吸出口
③	天井開口寸法 (1810 X 640)
④	吊り金具 (切欠き12mm)
⑤	冷暖配管 (液管) ... φ9. 52
⑥	冷暖配管 (ガス管) ... φ19. 05
⑦	ドレン配管取付口 P25 (外径φ32) フレキホース2000付属
⑧	電源・ユニット間・オプションコード取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ接続部
⑩	ドレンポンプ接続部
⑪	丸合フランジ (別売) 取付け部・新鮮外気取入れφ125>
⑫	異形式加湿器 (別売) 取付け部<左右取付け可能>
⑬	ワイヤレスリモコン (別売) 受信部取付け部
⑭	ロングライフフィルタ
⑮	昇降ギョリ付パネル



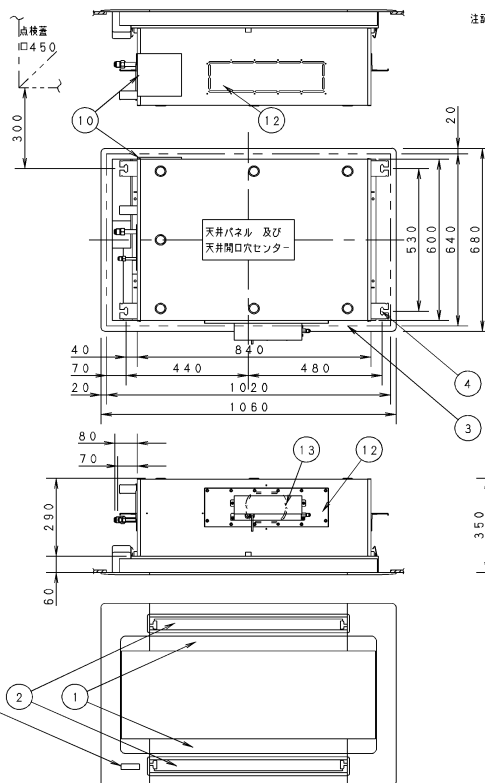
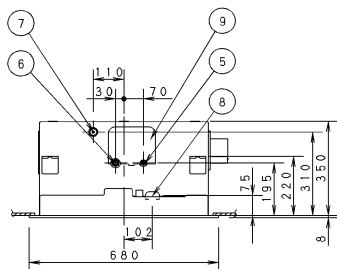
※ フィルタ昇降寸法はさがある基板内ディップスイッチで
1. 5m、2. 0m、2. 5mの3段階設定が可能
(出荷時設定2. 0m)



■自然気化式加湿器 (RH-SN07U)

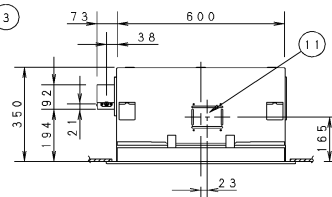
●S-G22・28・36・45・56LS1

- ① 天井パネル吸込口
- ② 天井パネル吸出口
- ③ 天井開口寸法 (1020×640)
- ④ 吊り金具 (切欠き12mm)
- ⑤ 冷媒配管 (液管)・・・注記2参照
- ⑥ 冷媒配管 (ガス管)・・・注記2参照
- ⑦ ドレン配管接続口VP25 (外径φ32) フレキホースφ200付属
- ⑧ 電源・ユニット間・オプションコード取入口
- ⑨ ドレンパン・ドレンポンプ点検蓋
- ⑩ ドレンポンプ点検蓋
- ⑪ 丸金フランジ (別売) 取付け部<新鮮外気取入れφ125>
- ⑫ 気化式加湿器 (別売) 取付け部<左右取付け可能>
- ⑬ 吹出ダクト (別売) 取付け部<φ150×1ヶ、右側面のみ取付け可能>
- ⑭ ワイヤレスリモコン (別売) 受信部取付け部



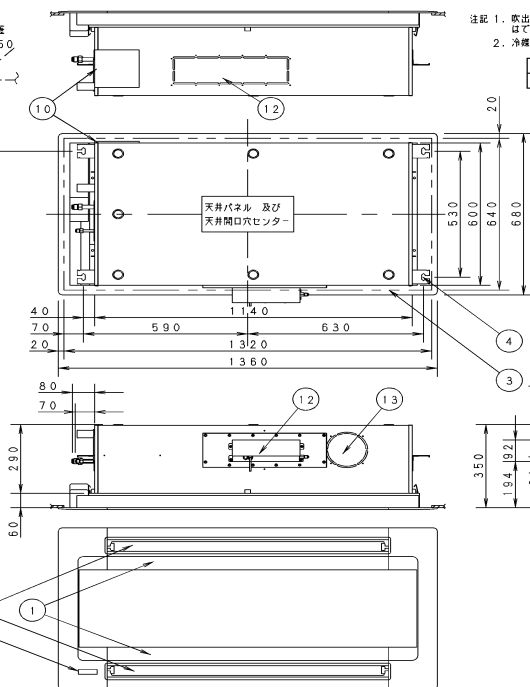
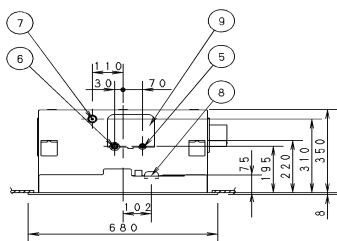
注記 1. 吹出ダクト13は高性能フィルターとの組合せ (併用) はできません。
2. 冷媒配管

適用室内ユニット	⑤	⑥
22~56形	φ9.52フレア	φ12.7フレア



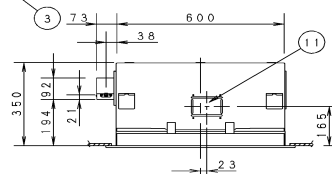
●S-G71・90LS1

- ① 天井パネル吸込口
- ② 天井パネル吸出口
- ③ 天井開口寸法 (1320×640)
- ④ 吊り金具 (切欠き12mm)
- ⑤ 冷媒配管 (液管)・・・注記2参照
- ⑥ 冷媒配管 (ガス管)・・・注記2参照
- ⑦ ドレン配管接続口VP25 (外径φ32) フレキホースφ200付属
- ⑧ 電源・ユニット間・オプションコード取入口
- ⑨ ドレンパン・ドレンポンプ点検蓋
- ⑩ ドレンポンプ点検蓋
- ⑪ 丸金フランジ (別売) 取付け部<新鮮外気取入れφ125>
- ⑫ 気化式加湿器 (別売) 取付け部<左右取付け可能>
- ⑬ 吹出ダクト (別売) 取付け部<φ150×2ヶ、右側面のみ取付け可能>
- ⑭ ワイヤレスリモコン (別売) 受信部取付け部



注記 1. 吹出ダクト13は高性能フィルターとの組合せ (併用) はできません。
2. 冷媒配管

適用室内ユニット	⑤	⑥
71・90形	φ9.52フレア	φ15.88フレア

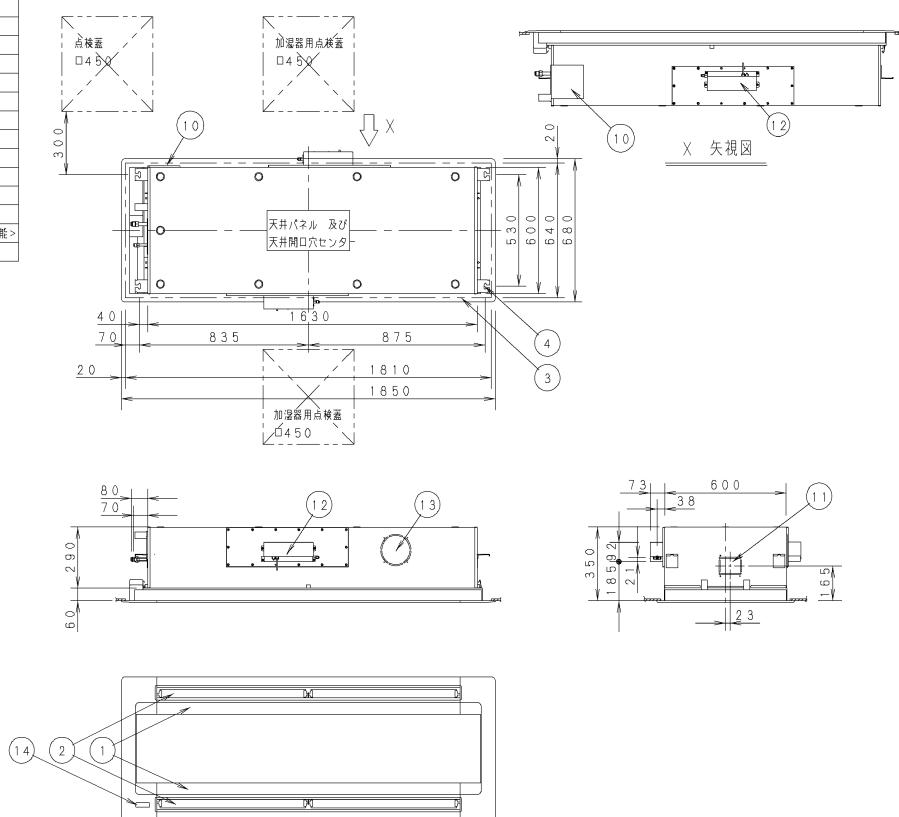


■自然気化式加湿器 (RH-SN14U)

●G112・140・160LS1

①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吸出口
③	天井開口寸法 (1810×640)
④	吊り金具 (切欠き12mm)
⑤	冷凍配管 (液管)
⑥	冷凍配管 (ガス管)
⑦	ドレン配管接続口 V P 25 (外径φ32) フレキホース J200付属
⑧	電源・ユニット間・オプションコード取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検蓋
⑩	ドレンポンプ点検蓋
⑪	丸合フラジ (別売) 取付け部<新鮮外気取入れφ125>
⑫	気化式加湿器 (別売) 取付け部左右取付け可能
⑬	吐出ダクト (別売) 取付け部<φ150×3ヶ、右側面のみ取付け可能>
⑭	ワイヤレスリモコン (別売) 受信部取付け部

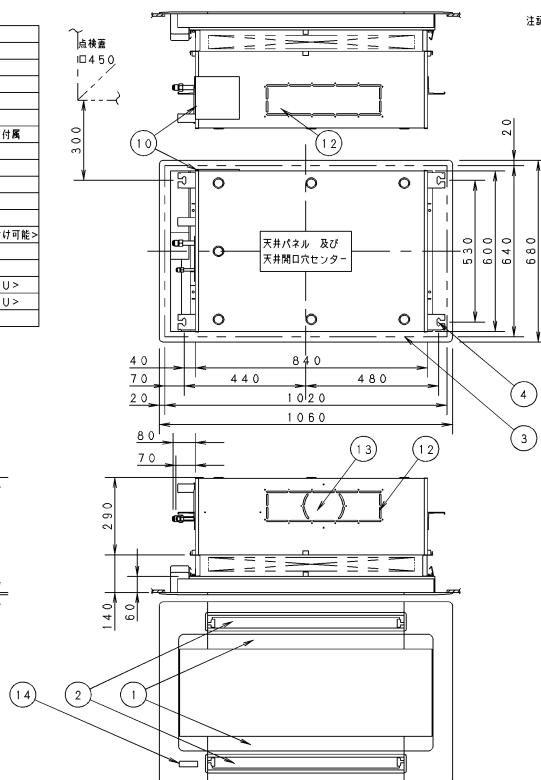
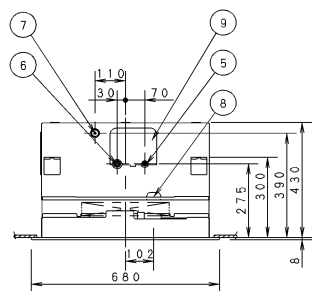
注) 吐出ダクト13は高性能フィルターとの組み合わせ (併用) できません。



■フィルター (AFT-M・H・LSS56U)・チャンバー (CMB-FSS56U)

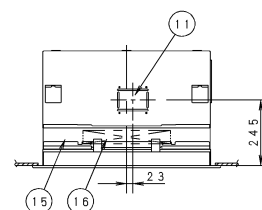
●S-G22・28・36・45・56LS1

- ① 天井パネル吸込口
- ② 天井パネル吹出口
- ③ 天井開口寸法 (1020×640)
- ④ 吊り金具 (切欠き12mm)
- ⑤ 冷媒配管 (液管) …… 注記2参照
- ⑥ 冷媒配管 (ガス管) …… 注記2参照
- ⑦ ドレン配管接続口VP25 (外径φ32) フレキホースφ200付属
- ⑧ 電源・ユニット間・オプションコード取入口
- ⑨ ドレンパン・ドレンポンプ点検蓋
- ⑩ ドレンポンプ点検蓋
- ⑪ 丸金フランジ (別売) 取付け部<新鮮外気取入れφ125>
- ⑫ 気化式加湿器 (別売) 取付け部<左右取付け可能>
- ⑬ 吹出ダクト (別売) 取付け部<φ150×1ヶ、右側面のみ取付け可能>
- ⑭ ワイヤレスリモコン (別売) 受信部取付け部
- ⑮ フィルター・チャンバー (別売) <CMB-FSS56U>
- ⑯ 高性能フィルター 比色法65% (別売) <AFT-MSS56U>
- ⑰ 高性能フィルター 比色法90% (別売) <AFT-HSS56U>
- ⑱ 超ロングライフフィルター (別売) <AFT-LSS56U>



注記 1. 吹出ダクト13は高性能フィルターとの組合せ (併用) はできません。
2. 冷媒配管

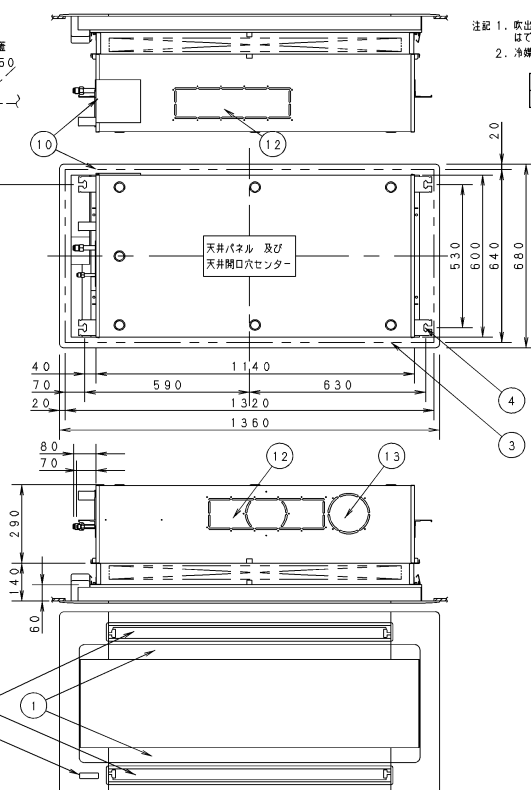
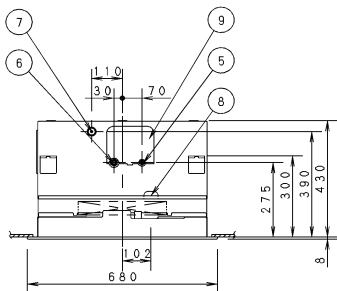
適用室内ユニット	⑤	⑥
22~56形	φ9.52フレア	φ12.7フレア



■フィルター (AFT-M・H・LSS80U)・チャンバー (CMB-FSS80U)

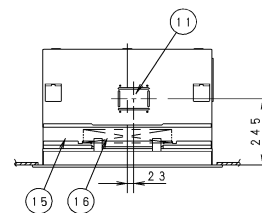
●S-G71・90LS1

- ① 天井パネル吸込口
- ② 天井パネル吹出口
- ③ 天井開口寸法 (1320×640)
- ④ 吊り金具 (切欠き12mm)
- ⑤ 冷媒配管 (液管) …… 注記2参照
- ⑥ 冷媒配管 (ガス管) …… 注記2参照
- ⑦ ドレン配管接続口VP25 (外径φ32) フレキホースφ200付属
- ⑧ 電源・ユニット間・オプションコード取入口
- ⑨ ドレンパン・ドレンポンプ点検蓋
- ⑩ ドレンポンプ点検蓋
- ⑪ 丸金フランジ (別売) 取付け部<新鮮外気取入れφ125>
- ⑫ 気化式加湿器 (別売) 取付け部<左右取付け可能>
- ⑬ 吹出ダクト (別売) 取付け部<φ150×2ヶ、右側面のみ取付け可能>
- ⑭ ワイヤレスリモコン (別売) 受信部取付け部
- ⑮ フィルター・チャンバー (別売) <CMB-FSS80U>
- ⑯ 高性能フィルター 比色法65% (別売) <AFT-MSS80U>
- ⑰ 高性能フィルター 比色法90% (別売) <AFT-HSS80U>
- ⑱ 超ロングライフフィルター (別売) <AFT-LSS80U>



注記 1. 吹出ダクト13は高性能フィルターとの組合せ (併用) はできません。
2. 冷媒配管

適用室内ユニット	⑤	⑥
71・90形	φ9.52フレア	φ15.88フレア

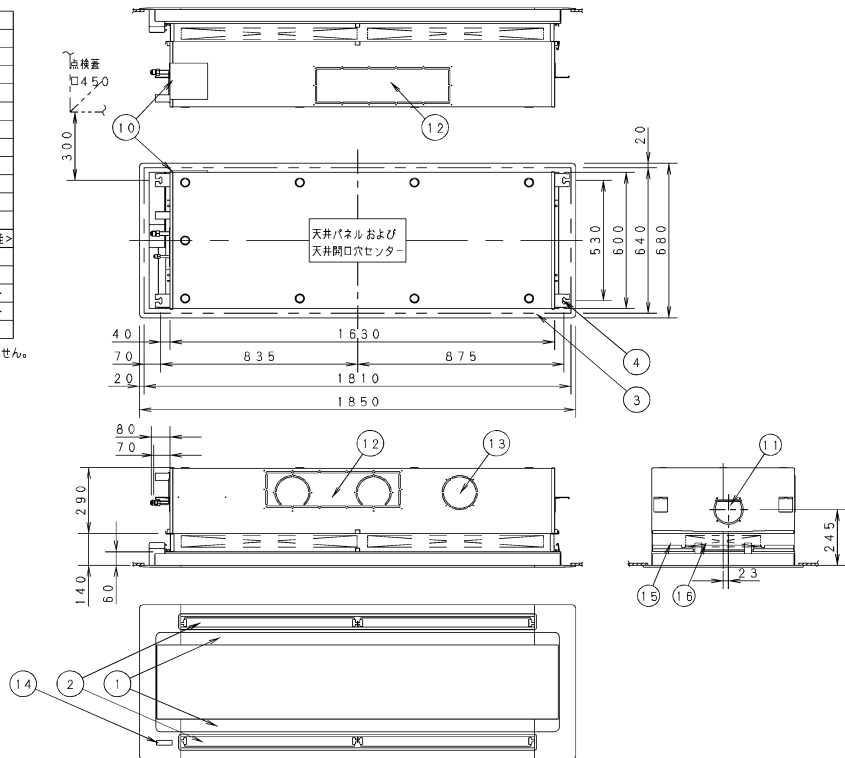
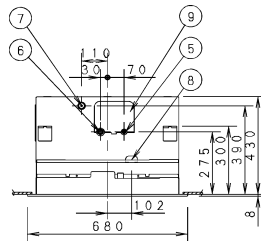


■フィルター (AFT-M・H・LSS140U)・チャンバー (CMB-FSS140U)

●G112・140・160LS1

①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法 (1810×640)
④	吊り金具 (切欠き12mm)
⑤	冷媒配管 (液管) ……φ9.52フレア
⑥	冷媒配管 (ガス管) ……φ15.88フレア
⑦	ドレン配管接続口VP25 (外径φ32) フレキホースφ200付属
⑧	電源・ユニット間・オプションコード取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検蓋
⑩	ドレンポンプ点検蓋
⑪	丸合フランチ (別売) 取付け部<新鮮外気取入れφ125>
⑫	気化式加湿器 (別売) 取付け部<左右取付け可能>
⑬	吹出ダクト (別売) 取付け部<φ150×3ヶ、右側面のみ取付け可能>
⑭	ワイヤレスリモコン (別売) 受信部取付け部
⑮	フィルターチャンバー (別売) <CMB-FSS140U>
⑯	高性能フィルター-比色法65% (別売) <AFT-MSS140U>
⑰	高性能フィルター-比色法90% (別売) <AFT-HSS140U>
⑱	超ロングライフフィルター (別売) <AFT-LSS140U>

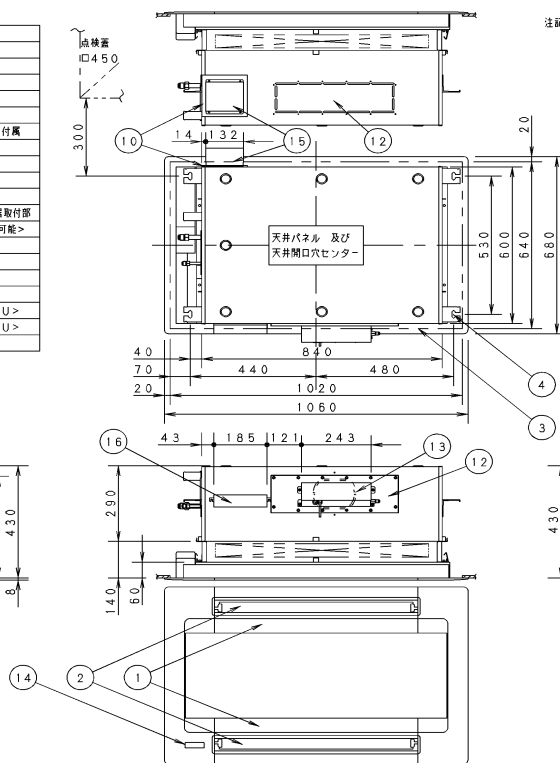
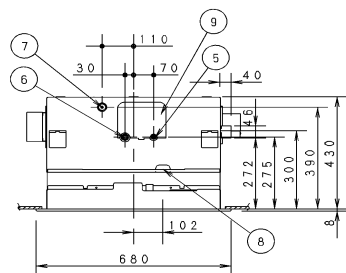
注記1. 吹出ダクト13は高性能フィルターとの組み合わせ (併用) はできません。



■自然気化式加湿器 (RH-SN07U)

●S-G22・28・36・45・56LS1

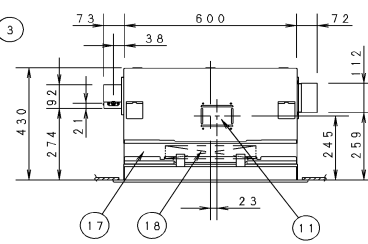
- ① 天井パネル吸込口
- ② 天井パネル吹出口
- ③ 天井開口寸法 (1020X640)
- ④ 吊り金具 (切欠き12mm)
- ⑤ 冷暖配管 (冷水管) ……注記2参照
- ⑥ 冷暖配管 (温水管) ……注記2参照
- ⑦ ドレン配管接続口VP25 (外径φ32) フレキホースφ200付属
- ⑧ 電源・ユニット間・オプションコード取入口
- ⑨ ドレンパン・ドレンポンプ接続蓋
- ⑩ ドレンポンプ接続蓋
- ⑪ 丸合フランチ (別売) 取付部<新鮮外気取入れφ125>
- ⑫ 気化式加湿器 (別売) RH-SN07U<左右取付可能>/加湿器取付部
- ⑬ 吹出ダクト (別売) 取付部<φ150X1ヶ、右側面のみ取付可能>
- ⑭ ファイアレスリモコン (別売) 受信部取付部
- ⑮ リレー・遠隔中継基板 (別売) ACC-DC24S
- ⑯ オプション基板 (別売) CR-3WAY-T
- ⑰ フィルター・チャンパー (別売) <CMB-FSS56U>
- ⑱ 高性能フィルター 比色法65% (別売) <AFT-MSS56U>
- ⑲ 高性能フィルター 比色法90% (別売) <AFT-HSS56U>
- ⑳ 超ロングライフフィルター (別売) <AFT-LSS56U>



注記 1. 吹出ダクト13は高性能フィルターとの組合せ (併用) はできません。

2. 冷暖配管

適用室内ユニット	⑤	⑥
22~56形	φ9.52フレア	φ12.7フレア

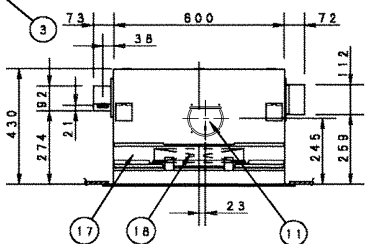
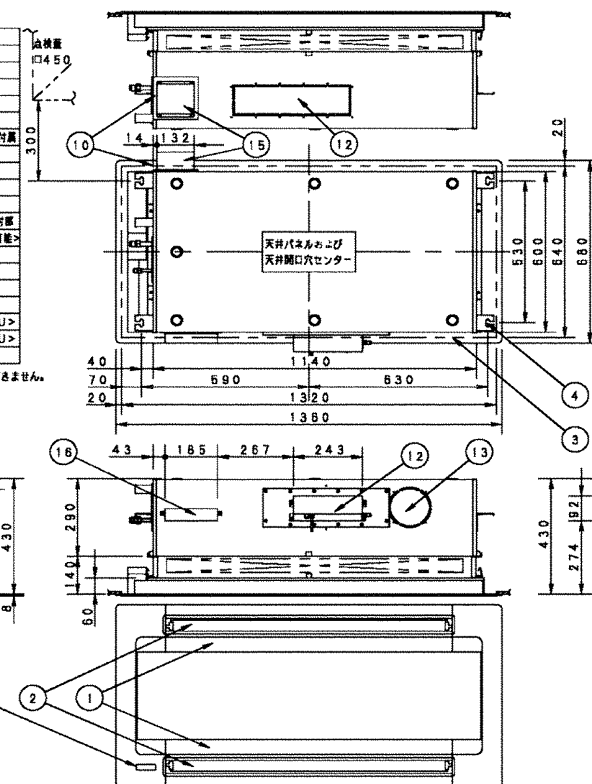
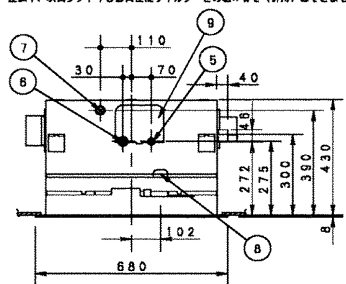


■自然気化式加湿器 (RH-SN07U)

●S-G71・90LS1

- ① 天井パネル吸込口
- ② 天井パネル吹出口
- ③ 天井開口寸法 (1320X640)
- ④ 吊り金具 (切欠き12mm)
- ⑤ 冷暖配管 (冷水管) ……φ9.52フレア
- ⑥ 冷暖配管 (温水管) ……φ12.7フレア
- ⑦ ドレン配管接続口VP25 (外径φ32) フレキホースφ200付属
- ⑧ 電源・ユニット間・オプションコード取入口
- ⑨ ドレンパン・ドレンポンプ接続蓋
- ⑩ ドレンポンプ接続蓋
- ⑪ 丸合フランチ (別売) 取付部<新鮮外気取入れφ125>
- ⑫ 気化式加湿器 (別売) RH-SN07U<左右取付可能>/加湿器取付部
- ⑬ 吹出ダクト (別売) 取付部<φ150X2ヶ、右側面のみ取付可能>
- ⑭ ファイアレスリモコン (別売) 受信部取付部
- ⑮ リレー・遠隔中継基板 (別売) ACC-DC24S
- ⑯ オプション基板 (別売) CR-3WAY-T
- ⑰ フィルター・チャンパー (別売) <CMB-FSS80U>
- ⑱ 高性能フィルター 比色法65% (別売) <AFT-MSS80U>
- ⑲ 高性能フィルター 比色法90% (別売) <AFT-HSS80U>
- ⑳ 超ロングライフフィルター (別売) <AFT-LSS80U>

注記 1. 吹出ダクト13は高性能フィルターとの組合せ (併用) はできません。

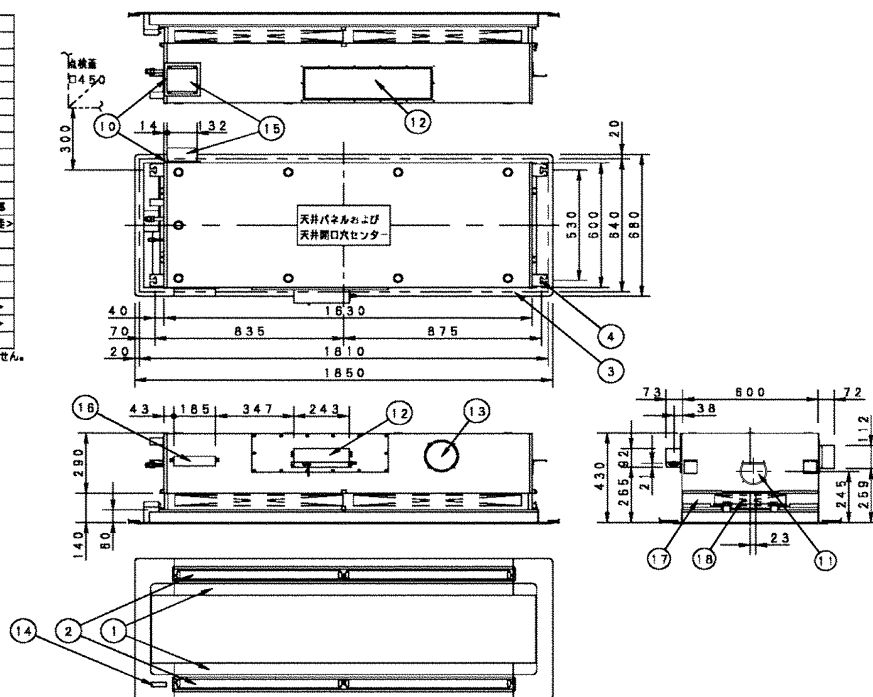
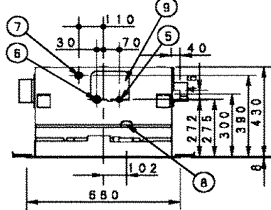


■自然気化式加湿器 (RH-SN14U)

●S-G112・140・160LS1

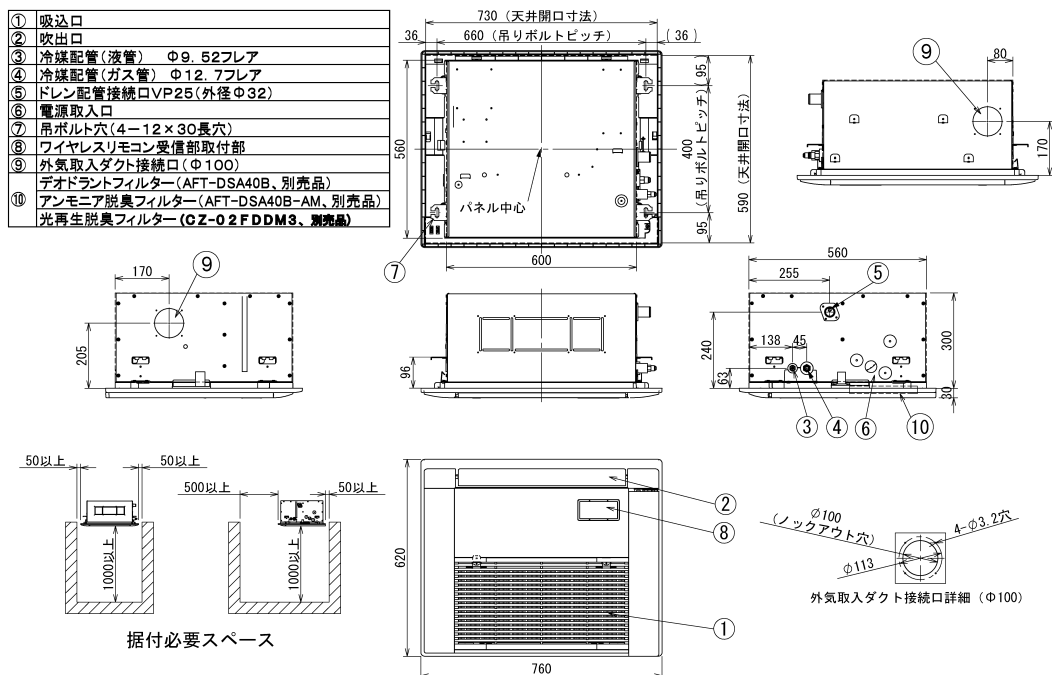
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吸出口
③	天井開口寸法 (1810 X 640)
④	吊り金具 (切欠き12mm)
⑤	冷暖配管 (給水管) ... ⑧、52フレア
⑥	冷暖配管 (排水管) ... ⑧、52フレア
⑦	ドレン配管接続口 VP25 (外径③2) フレキホース2200付属
⑧	電源・ユニット間・オプションコード取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ接続蓋
⑩	ドレンポンプ点検蓋
⑪	丸凸フランジ (別売) 取付寸法<断熱外気取入れ①125>
⑫	気化式加湿器 (別売) RH-SN14U<左右取付け可能>/加湿器取付部
⑬	吐出ダクト (別売) 取付寸法<①150 X 3ヶ、右側のみ取付け可能>
⑭	ワイヤレスリモコン (別売) 受信部取付部
⑮	リレー・過熱中継基板 (別売) ACC-DC24S
⑯	オプション基板 (別売) CR-3WAV-T
⑰	フィルターチャンバー (別売) <CHB-FSS140U>
⑱	高性能フィルター 比色法S5等 (別売) <AFT-HSS140U>
⑲	高性能フィルター 比色法S10等 (別売) <AFT-HSS140U>
⑳	縦ロングライフフィルター (別売) <AFT-LSS140U>

注記1、吐出ダクト13は高性能フィルターとの組み合わせ (併用) はできません。



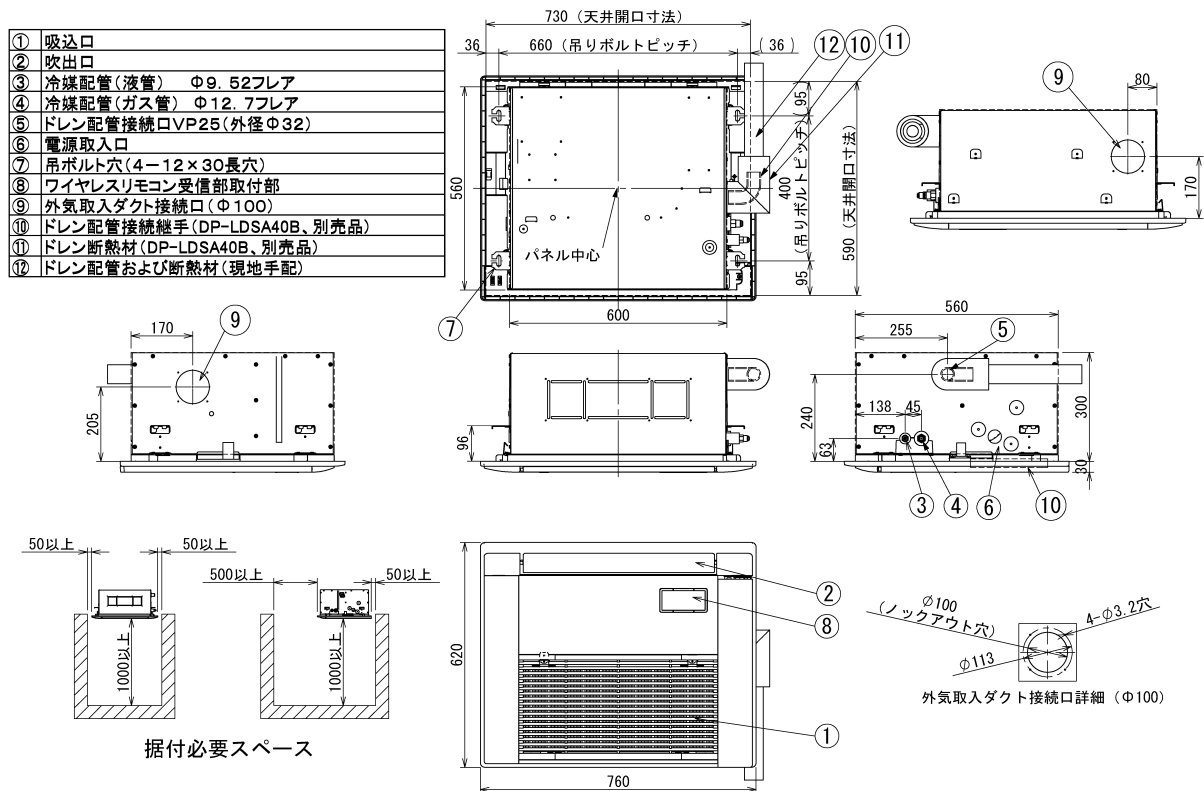
■各フィルター (AFT-DSA40B/DSA40B-AM CZ-02FDDM3)

●S-G22・28・36MS1



■L字ドレン配管キット (DP-LDSA40B)

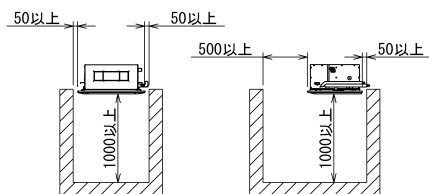
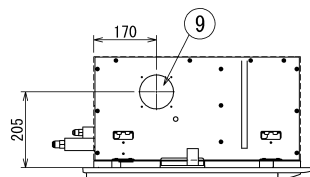
●S-G22・28・36MS1



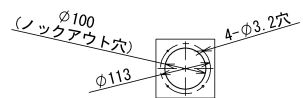
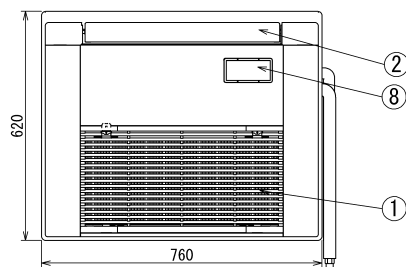
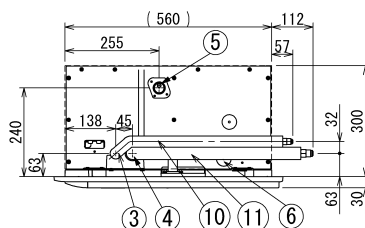
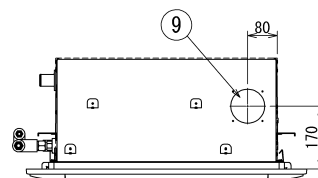
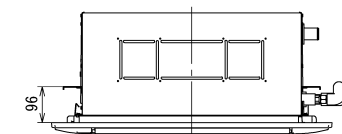
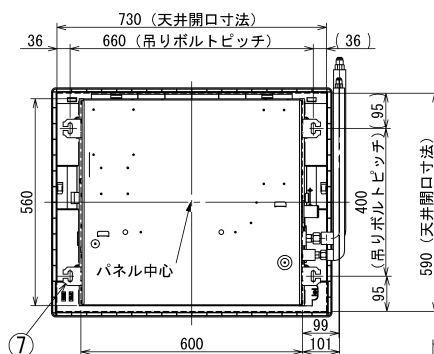
■延長配管セット (SGP-TE28JSA)

●S-G22・28・36MS1

①	吸込口
②	吹出口
③	冷媒配管(液管) Φ9.52フレア
④	冷媒配管(ガス管) Φ12.7フレア
⑤	ドレン配管接続口VP25(外径Φ32)
⑥	電源取入口
⑦	吊ボルト穴(4-12×30長穴)
⑧	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑨	外気取入ダクト接続口(Φ100)
⑩	延長配管セット(液管)
⑪	延長配管セット(ガス管)



据付必要スペース



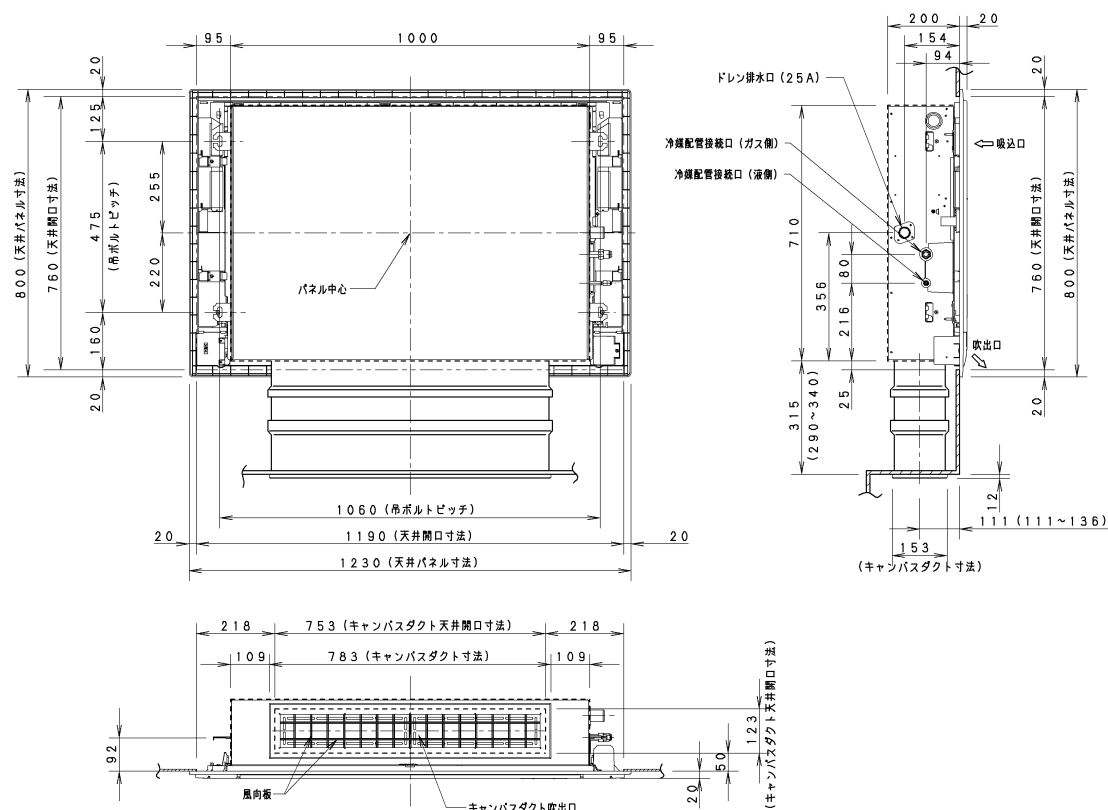
外気取入ダクト接続口詳細 (Φ100)

別売部品

4. 室内ユニット関連部品取付図 (高天井用 1 方向カセット形)

■吹出口ゲリル (DKT-CSL80B)

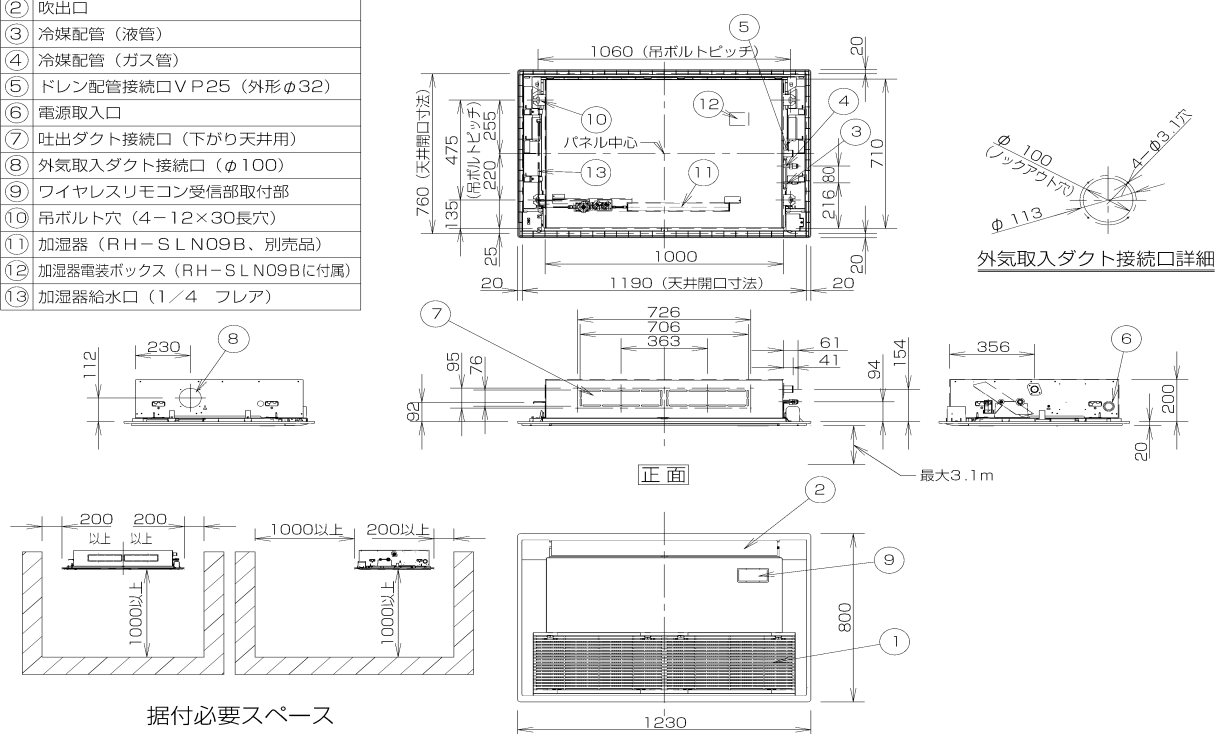
●S-G 28 · 36 · 45 · 56 · 71 · 80 DS 1



■自然気化式加湿器 (RH-SLN09B)

●S-G 2 8 · 3 6 · 4 5 · 5 6 · 7 1 · 8 0 D S 1

①	吸込口
②	吹出口
③	冷媒配管（液管）
④	冷媒配管（ガス管）
⑤	ドレン配管接続口V P25（外形φ32）
⑥	電源取入口
⑦	吐出ダクト接続口（下がり天井用）
⑧	外気取入ダクト接続口（φ100）
⑨	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑩	吊ボルト穴（4-12×30長穴）
⑪	加湿器（RH-SLN09B、別売品）
⑫	加湿器電装ボックス（RH-SLN09Bに付属）
⑬	加湿器給水口（1/4 フレア）

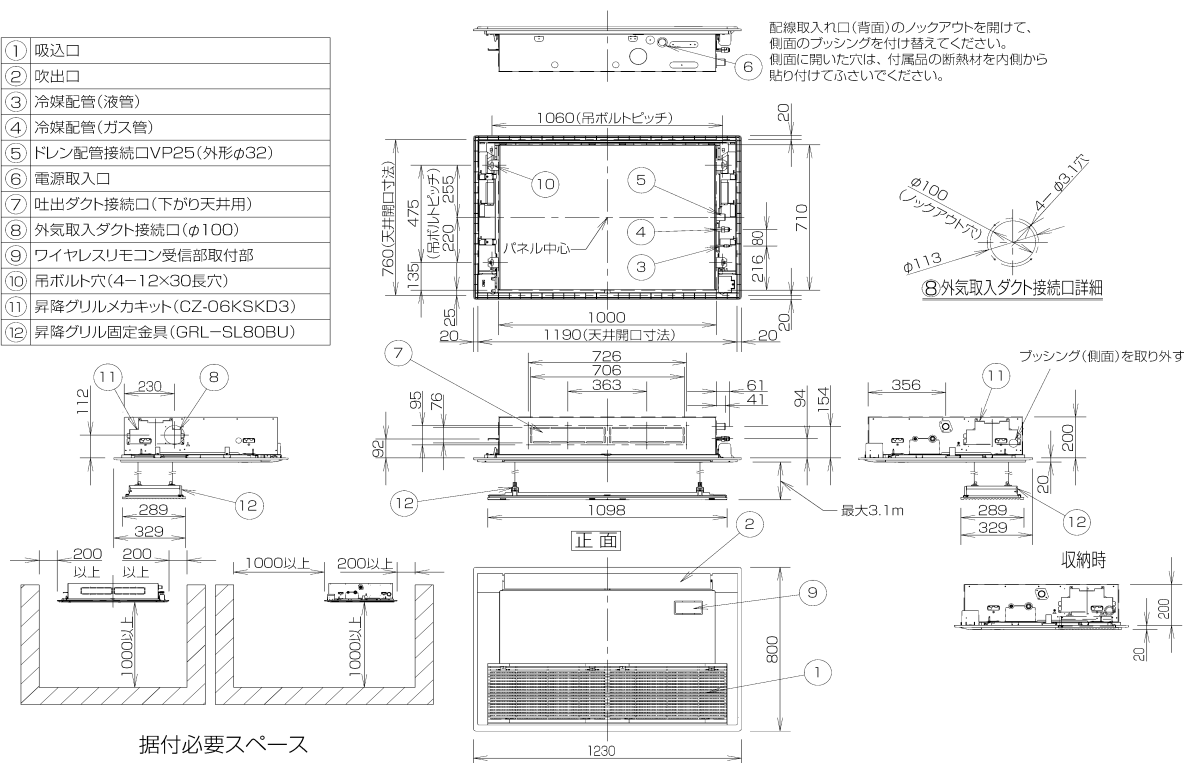


■昇降グリルメカキット (CZ-06KSKD3)

昇降グリル固定金具 (GRL-SL80BU)

●S-G28・36・45・56・71・80DS1

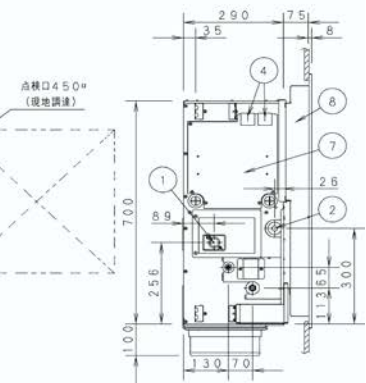
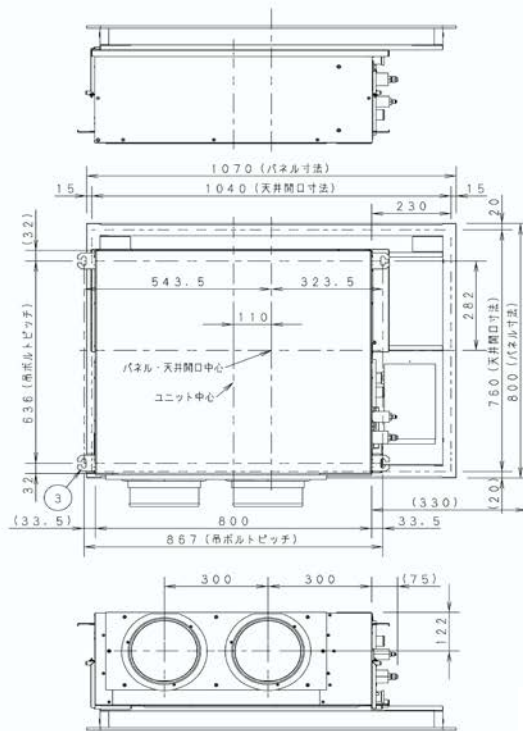
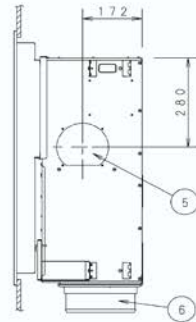
①	吸込口
②	吹出口
③	冷媒配管(液管)
④	冷媒配管(ガス管)
⑤	ドレン配管接続口VP25(外形φ32)
⑥	電源取入口
⑦	吐出ダクト接続口(下がり天井用)
⑧	外気取入ダクト接続口(φ100)
⑨	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑩	吊ボルト穴(4-12×30長穴)
⑪	昇降グリルメカキット(CZ-06KSKD3)
⑫	昇降グリル固定金具(GRL-SL80BU)



■大パネル標準タイプ (CZ-56KPF1)

●S-G22・28・36・45・56FS2

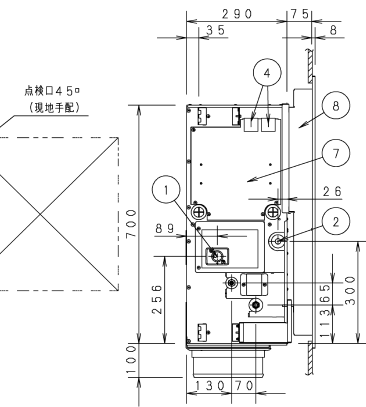
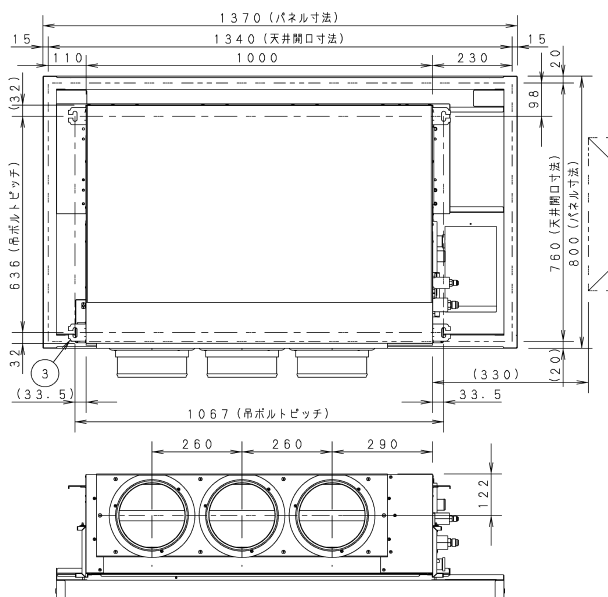
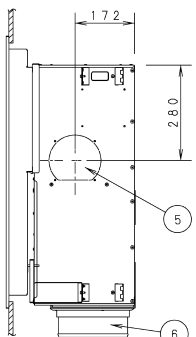
①	ドレン配管接続口 VP25 (外径φ32) φ200フレキホース付属
②	下部ドレン口 VP25 (外径φ32)
③	吊金具 (4-12X30長穴)
④	電源取入口
⑤	外気取入口 (φ150異形穴)
⑥	吹出ラダクト台フランジ (2-φ200)
⑦	電装箱
⑧	ビルトイン大パネル CZ-56KPF1 (別売品)



■大パネル標準タイプ (CZ-90KPF1)

●S-G71・90FS2

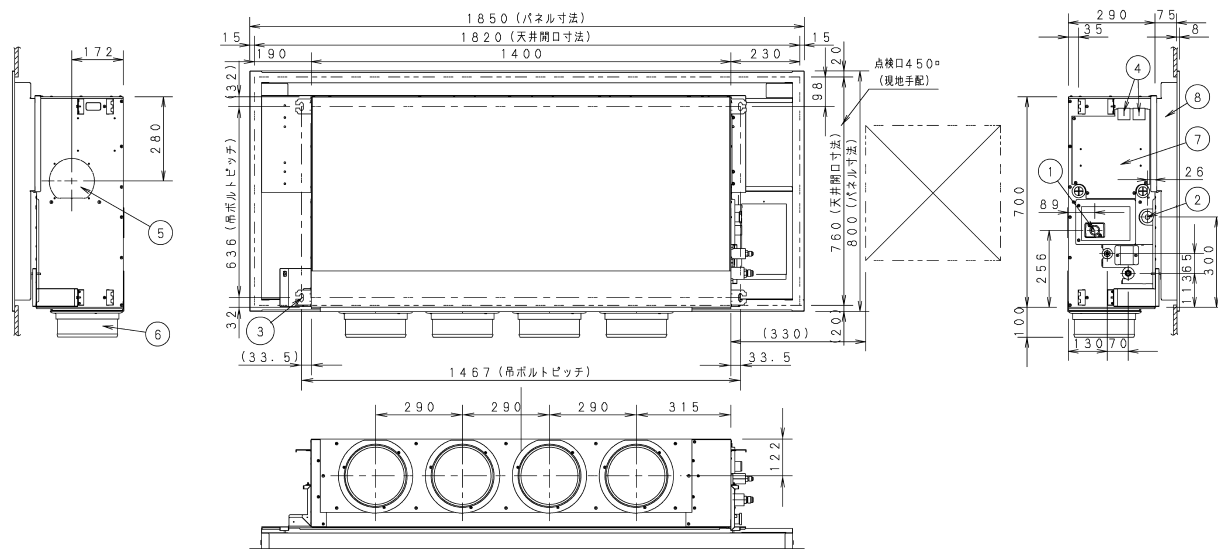
①	ドレン配管接続口 VP25 (外径φ32) φ200フレキホース付属
②	下部ドレン口 VP25 (外径φ32)
③	吊金具 (4-12X30長穴)
④	電源取入口
⑤	外気取入口 (φ150異形穴)
⑥	吹出ラダクト台フランジ (3-φ200)
⑦	電装箱
⑧	ビルトイン大パネル CZ-90KPF1 (別売品)



■大パネル標準タイプ (CZ-160KPF1)

●S-G112・140・160FS2

①	ドレン配管接続口 VP25 (外径φ32) φ200フレキホース付属
②	下部ドレン口 VP25 (外径φ32)
③	吊金具 (4-12X30長穴)
④	電源取入口
⑤	外気取入口 (φ150異形穴)
⑥	吹出丸ダクト金フランジ (4-φ200)
⑦	電装箱
⑧	ビルトイン大パネル CZ-160KPF1 (別売品)



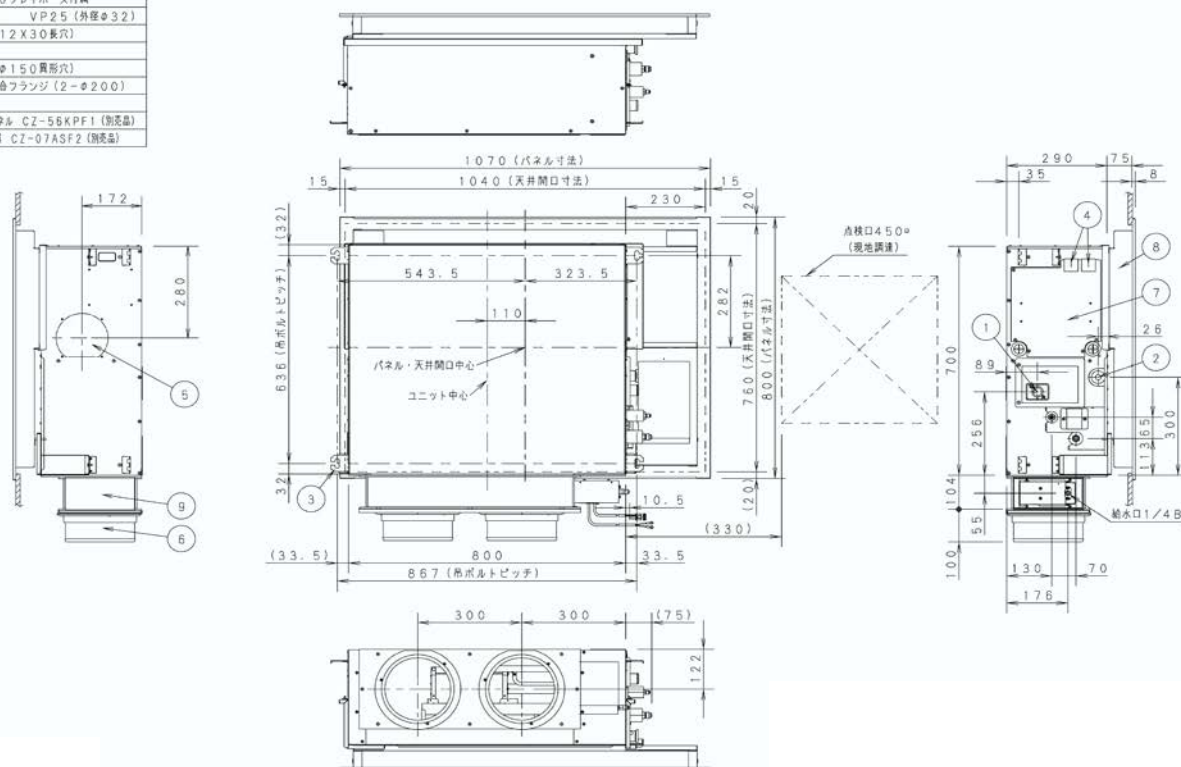
別売部品

4. 室内ユニット関連部品取付図 (天井ビルトインカセット形)

■大パネル標準タイプ（CZ-56KPF1）・自然気化式加湿器（CZ-07ASF2）

●S-G 2 2 · 2 8 · 3 6 · 4 5 · 5 6 F S 2

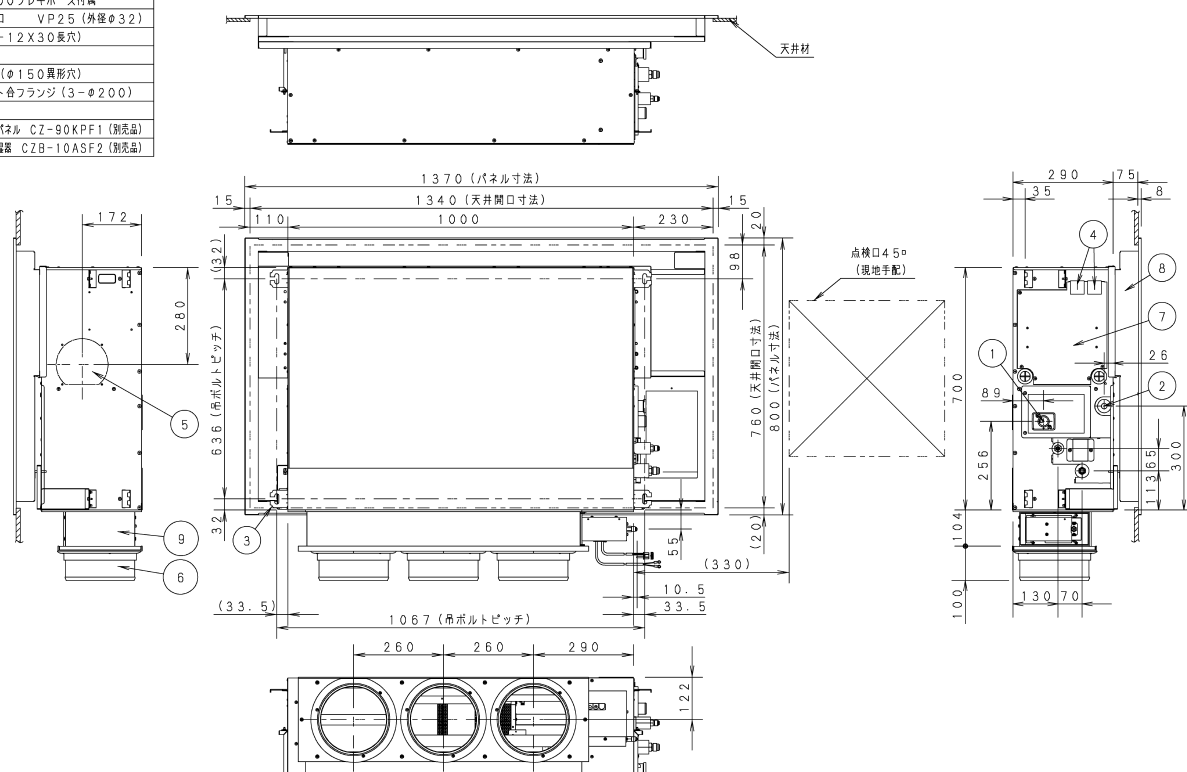
①	ドレン配管接続口 VP25 (外径φ32) ※200フレキホース付属
②	下部ドレン口 VP25 (外径φ32)
③	吊金具 (4-12X30長尺)
④	電源取入口
⑤	外気取入口 (φ150円形穴)
⑥	吹出ダクト合フレンジ (2-φ200)
⑦	電氣箱
⑧	別トインパパネル CZ-56KPF1 (別売品)
⑨	自然気化式加湿器 CZ-07ASF2 (別売品)



■大パネル標準タイプ（CZ-90KPF1）・自然気化式加湿器（CZ-10ASF2）

●S-G 7 1 · 9 0 F S 2

①	ドレン配管接続口 VP25 (外径φ32) ※200フレキホース付属
②	下部ドレン口 VP25 (外径φ32)
③	吊金具 (4-12X30長穴)
④	電源取入口
⑤	外気取入口 (φ150異形穴)
⑥	吹出丸ダクト合フランジ (3-φ200)
⑦	電装箱
⑧	ビルトイン大パネル CZ-90KPF1 (別売品)
⑨	自然気化式加湿器 CZR-10ASF2 (別売品)



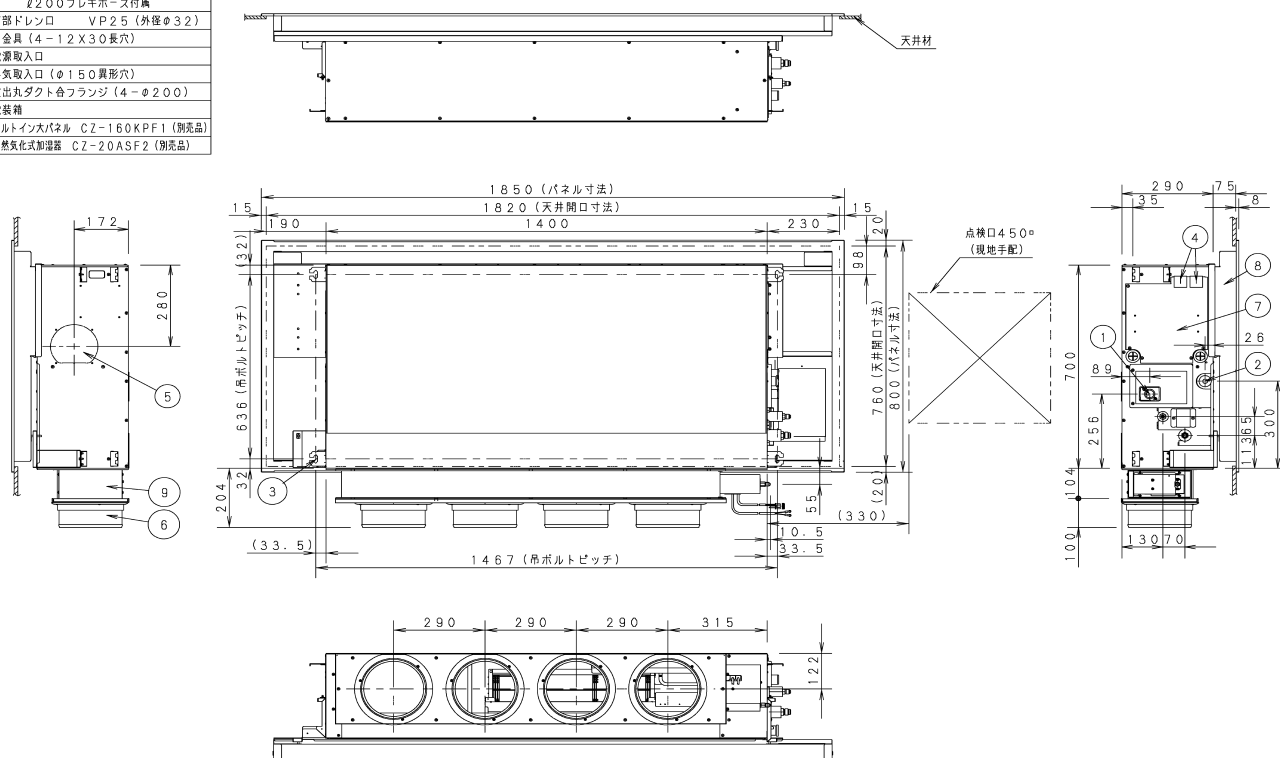
別売部品

4. 室内ユニット関連部品取付図 (天井ビルトインカセット形)

■大パネル標準タイプ (CZ-160KPF1)・自然気化式加湿器 (CZ-20ASF2)

●S-G 1 1 2 · 1 4 0 · 1 6 0 F S 2

①	ドレン配管接続口 VP25 (外径φ32) ℓ200フレキホース付属
②	下部ドレン口 VP25 (外径φ32)
③	吊金具 (4-1×2×30長穴)
④	電源取入口
⑤	外気取入口 (φ150異形穴)
⑥	吹出丸ダクト合フレンジ (4-φ200)
⑦	電装箱
⑧	ビルトイン大パネル CZ-160KPF1 (別売品)
⑨	自然気化式加湿器 CZ-20ASF2 (別売品)

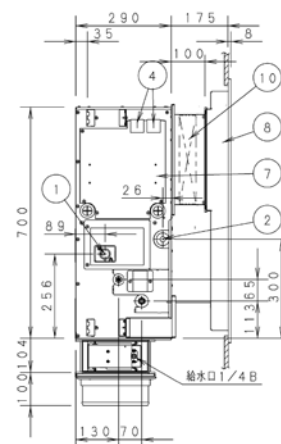
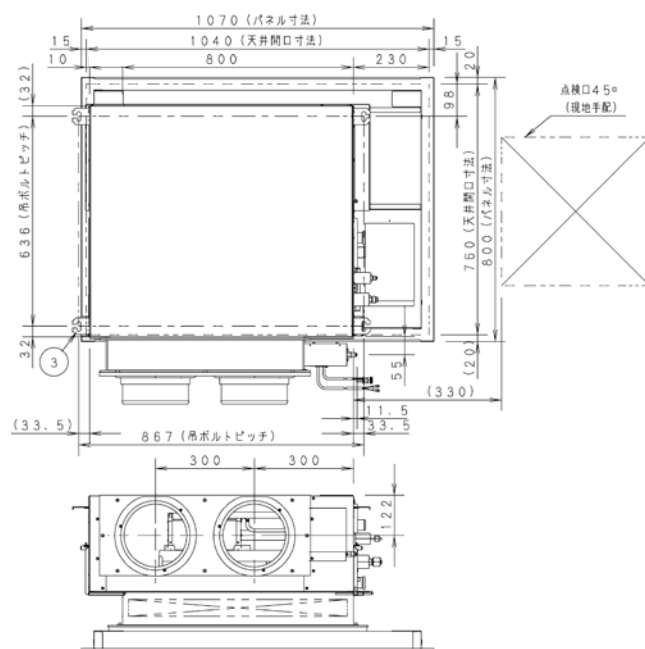
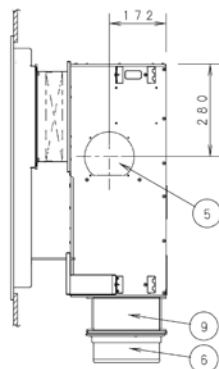


■大パネル標準タイプ (CZ-56KPF1)・自然気化式加湿器 (CZ-07ASF2)

フィルターチャンバー (CZ-56FBCF1)

●S-G22・28・36・45・56FS2

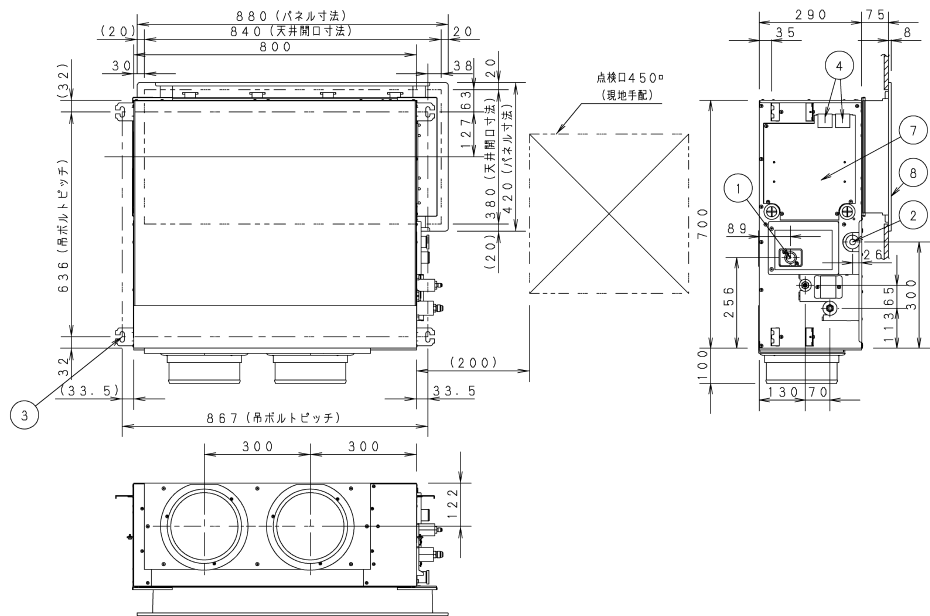
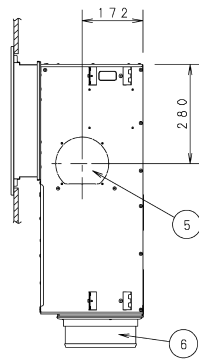
①	ドレン配管接続口 VP25 (外径φ32) φ200フレキホース付属
②	T部ドレンロ VP25 (外径φ32)
③	吊金具 (4-12X30長穴)
④	電源取入口
⑤	外気取入口 (φ150真形穴)
⑥	吹出丸ダクト合フランジ (2-φ200)
⑦	電装箱
⑧	ビルトイン大パネル CZ-56KPF1 (別売品)
⑨	自然気化式加湿器 CZ-07ASF2 (別売品)
⑩	フィルターチャンバー CZ-56FBCF1 (別売品)



■小パネル標準タイプ (CZ-02HPF3)

●S-G22・28・36・45・56FS2

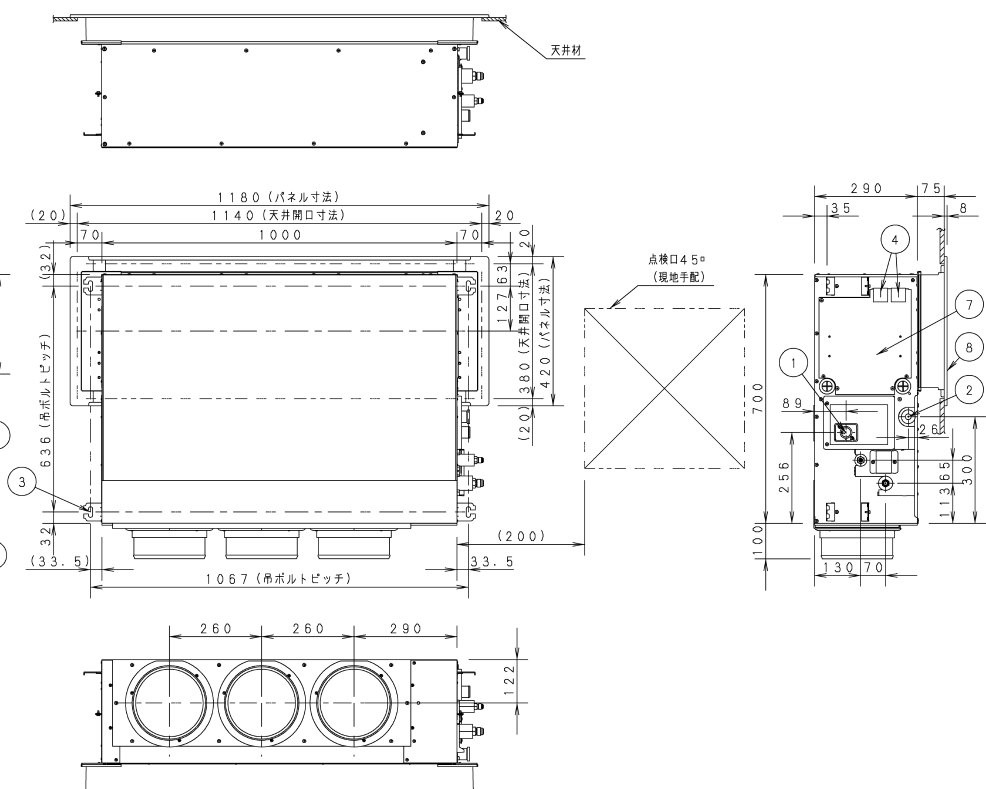
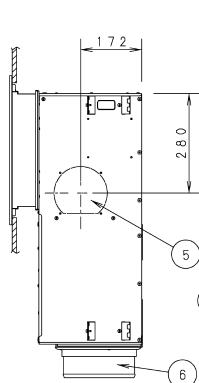
①	ドレン配管接続口 VP25 (外径φ32) φ200フレキホース付属
②	下部ドレン口 VP25 (外径φ32)
③	吊金具 (4-12X30長穴)
④	電源取入口
⑤	外気取入口 (φ150異形穴)
⑥	吹出丸ダクト合フランジ (2-φ200)
⑦	電装箱
⑧	ビルトイン小パネル CZ-02HPF3 (別売品)



■小パネル標準タイプ (CZ-03HPF3)

●S-G71・90FS2

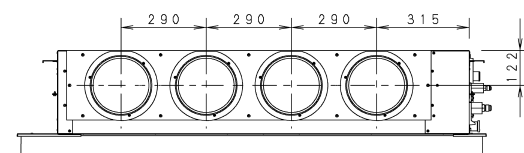
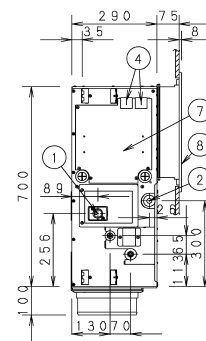
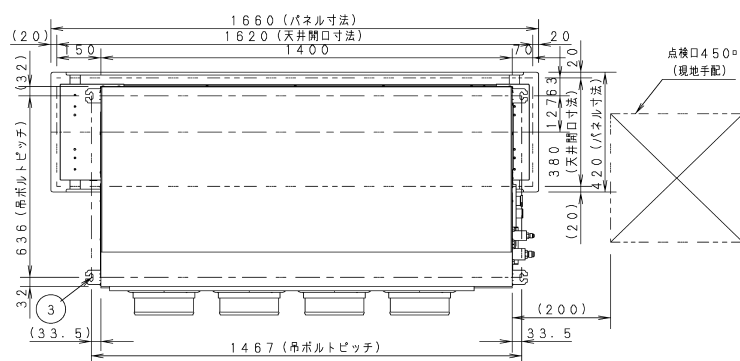
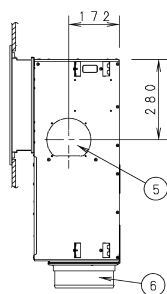
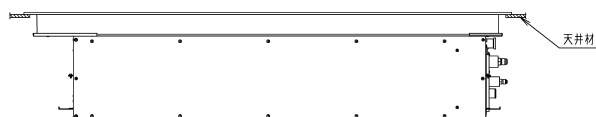
①	ドレン配管接続口 VP25 (外径φ32) φ200フレキホース付属
②	下部ドレン口 VP25 (外径φ32)
③	吊金具 (4-12X30長穴)
④	電源取入口
⑤	外気取入口 (φ150異形穴)
⑥	吹出丸ダクト合フランジ (3-φ200)
⑦	電装箱
⑧	ビルトイン小パネル CZ-03HPF3 (別売品)



■小パネル標準タイプ (CZ-06HPF3)

●S-G112・140・160FS2

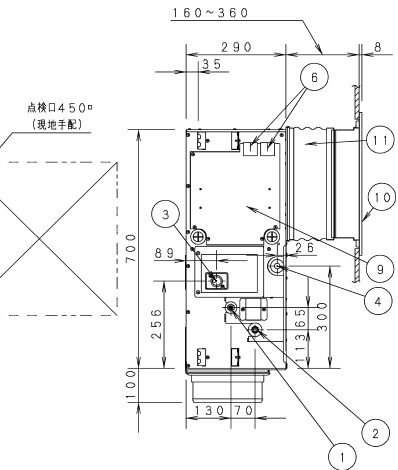
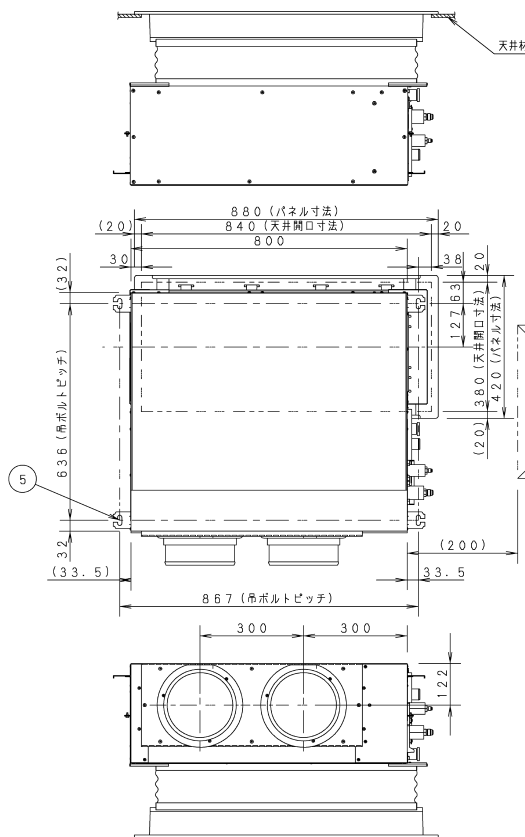
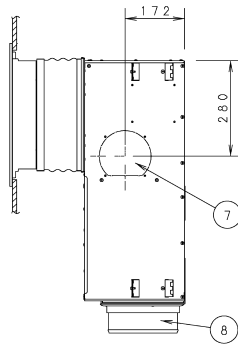
①	ドレン配管接続口 VP25 (外径φ32) φ200フレキホース付属
②	下部ドレン口 VP25 (外径φ32)
③	吊金具 (4-12X30長穴)
④	電源取入口
⑤	外気取入口 (φ150異形穴)
⑥	吹出丸ダクト合フランジ (4-φ200)
⑦	電装箱
⑧	ビルトイン小パネル CZ-06HPF3 (別売品)



■小パネル (CZ-02HPF3)・キャンバスダクト (DKT-CBD50T)

●S-G22~56FS2

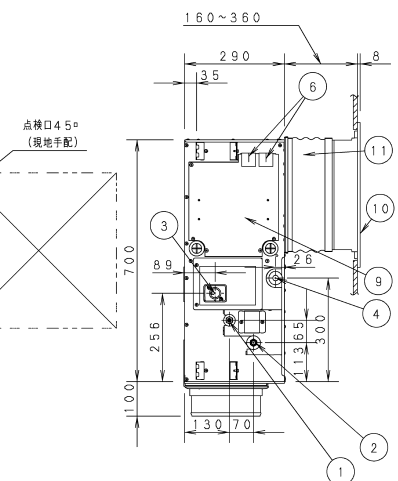
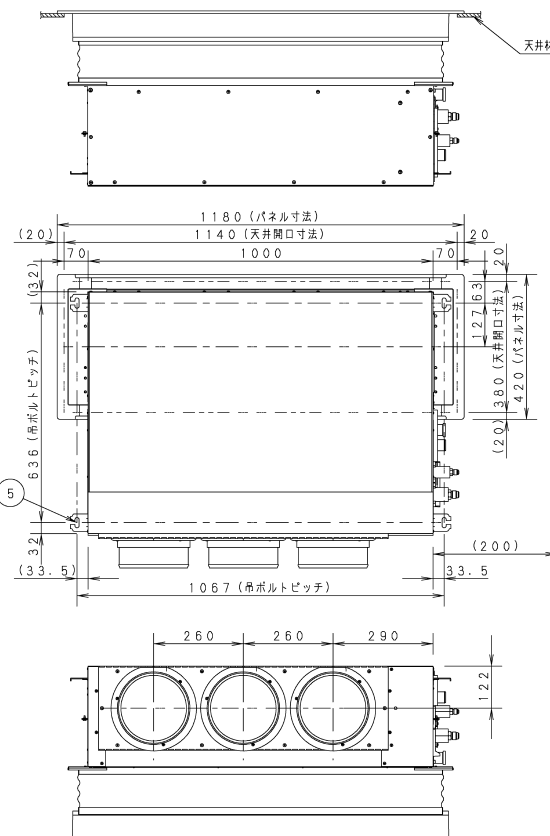
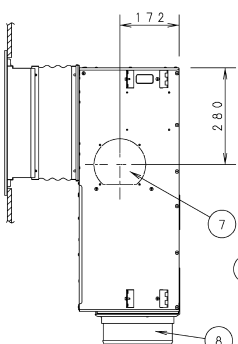
①	冷暖配管 (液管) φ6.35フレア
②	冷暖配管 (ガス管) φ12.7フレア
③	ドレン配管接続口 VP25 (外径φ32) φ200フレキホース付属
④	下部ドレン口 VP25 (外径φ32)
⑤	吊金具 (4-12X30長穴)
⑥	電源取入口
⑦	外気取入口 (φ150異形穴)
⑧	吹出ダクト合フランジ (2-φ200)
⑨	電装箱
⑩	ビルトイン小パネル CZ-02HPF3 (別売品)
⑪	キャンバスダクト DKT-CBD50T (別売品)



■小パネル (CZ-03HPF3)・キャンバスダクト (DKT-CBD80T)

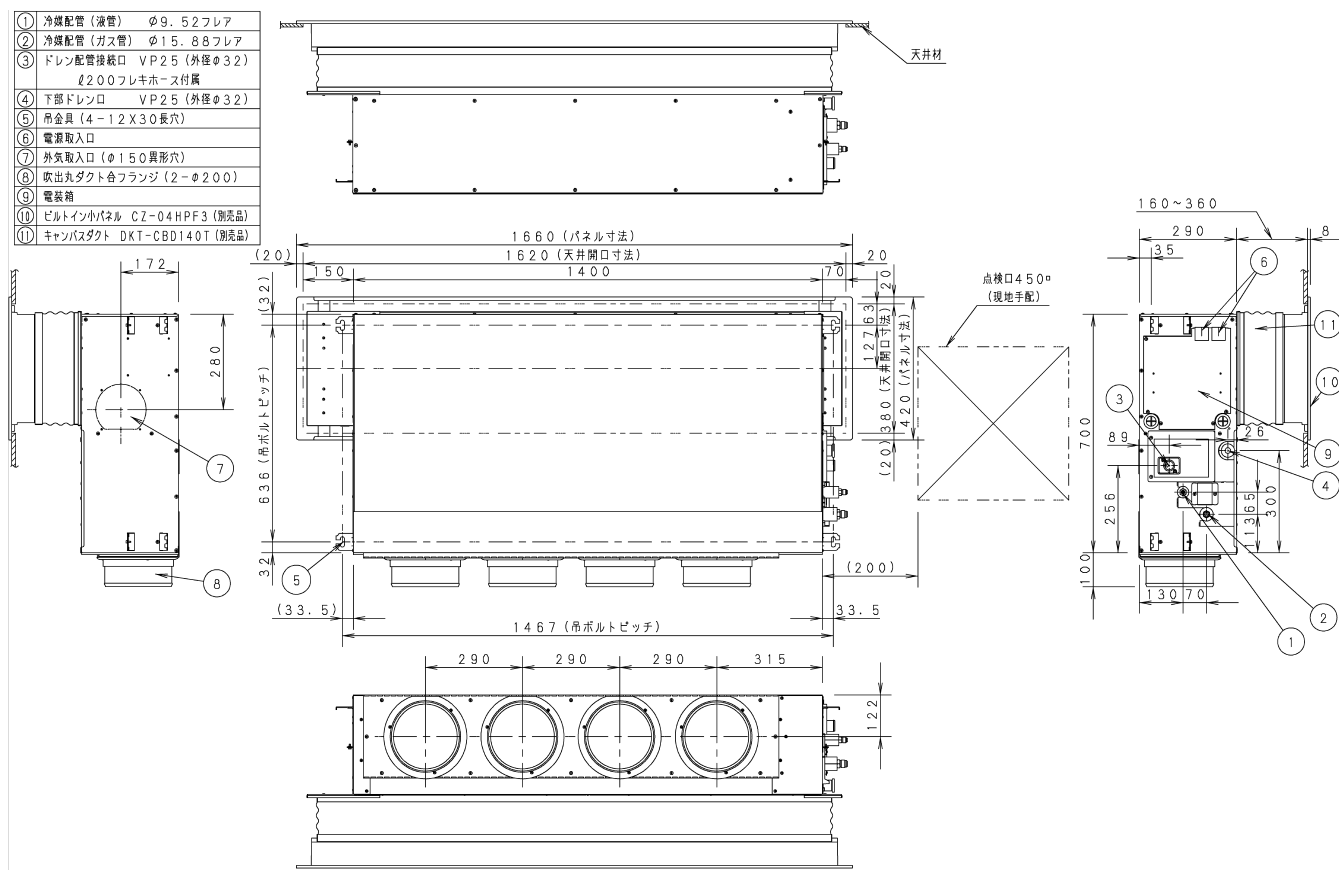
●S-G71・90FS2

①	冷暖配管 (液管) φ9.52フレア
②	冷暖配管 (ガス管) φ15.88フレア
③	ドレン配管接続口 VP25 (外径φ32) φ200フレキホース付属
④	下部ドレン口 VP25 (外径φ32)
⑤	吊金具 (4-12X30長穴)
⑥	電源取入口
⑦	外気取入口 (φ150異形穴)
⑧	吹出ダクト合フランジ (2-φ200)
⑨	電装箱
⑩	ビルトイン小パネル CZ-03HPF3 (別売品)
⑪	キャンバスダクト DKT-CBD80T (別売品)



■小パネル (CZ-06HPF3)・キャンバスダクト (DKT-CBD140T)

●S-G112~160FS2



別売部品

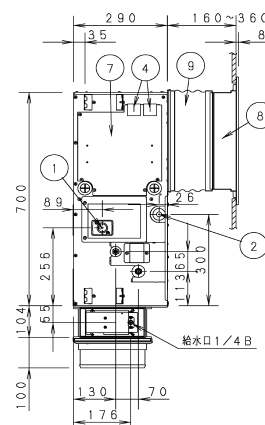
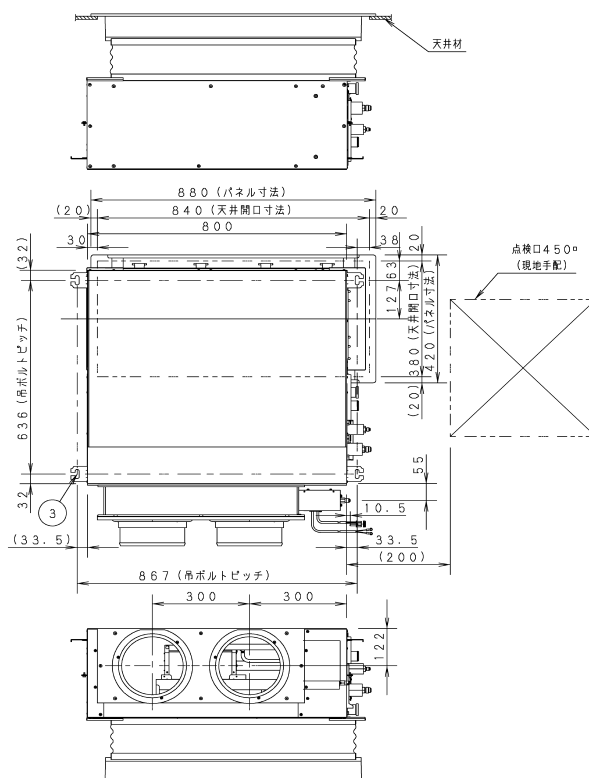
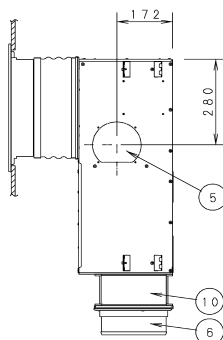
4. 室内ユニット関連部品取付図 (天井ビルトインカセット形)

■小パネル (CZ-02HPF3)・キャンバスダクト (DKT-CBD50T)

自然氣化式加湿器 (CZ-07ASF2)

●S-G 2 2 ~ 5 6 F S 2

①	ドレン配管接続口 VP25 (外径φ32) φ200フレキホース付属
②	下部ドレン口 VP25 (外径φ32)
③	吊金具 (4-12X30長尺)
④	電源取入口
⑤	外気取入口 (φ150異形穴)
⑥	吹出ダクト合フレンジ (2-φ200)
⑦	電装箱
⑧	ビルトインパネル CZ-02HPF3 (別売品)
⑨	キャンパスダクト DKT-CBD50T (別売品)
⑩	自然気化式加湿器 CZ-07ASF2 (別売品)

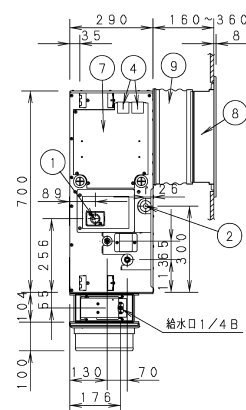
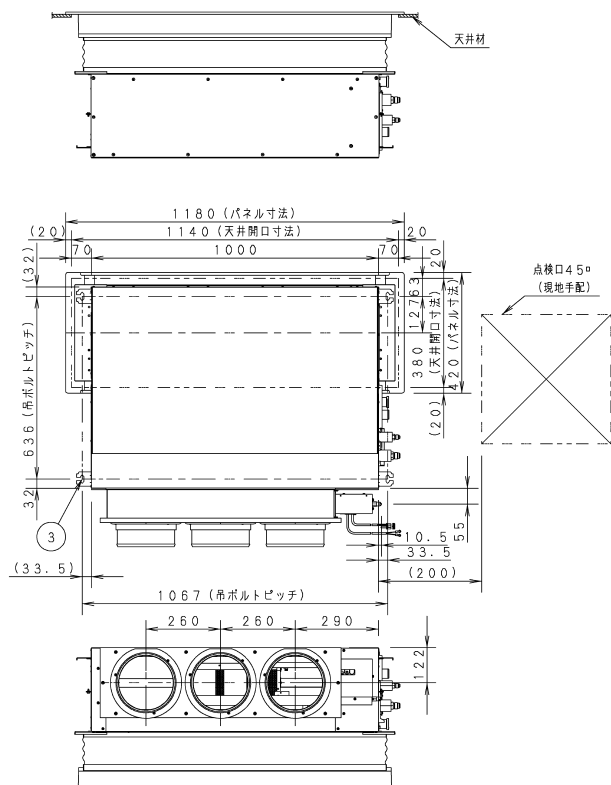
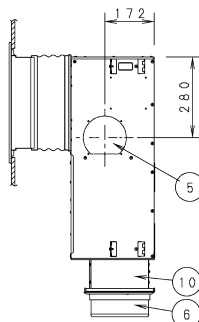


■小パネル (CZ-03HPF3)・キャンバスダクト (DKT-CBD80T)

自然気化式加湿器 (CZ-10ASF2)

●S-G 7 1 · 9 0 F S 2

①	ドレン配管接続口 VP25 (外径φ32) ø200フレキホース付属
②	下部ドレン口 VP25 (外径φ32)
③	吊金具 (4-12X30長尺)
④	電源取入口
⑤	外気取入口 (φ150異形穴)
⑥	吹出丸ダクト合フレンジ (3-φ200)
⑦	電装箱
⑧	ビルトインパネル CZ-03HPF3 (別売品)
⑨	キャブダクト DK1-CABD01 (別売品)
⑩	自然気化式消臭剤 KT-10ASF2 (別売品)



別売部品

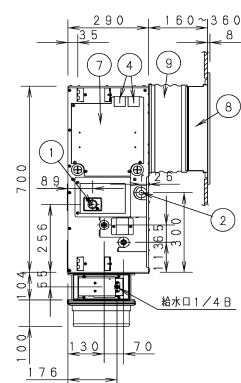
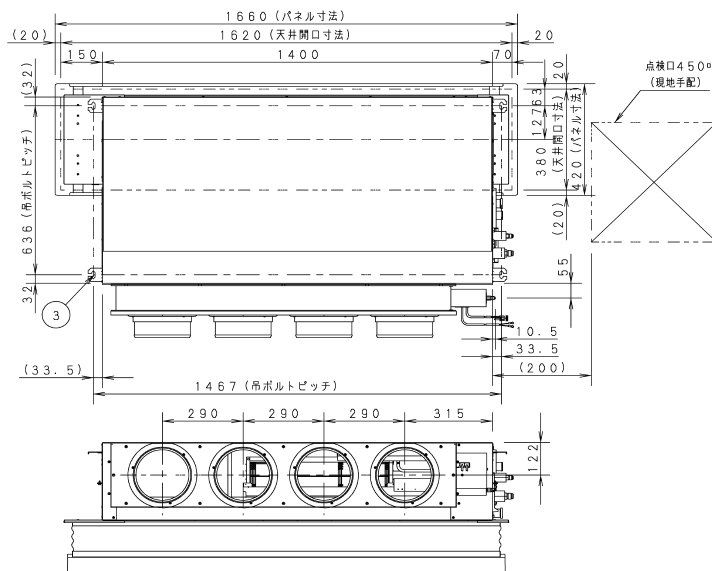
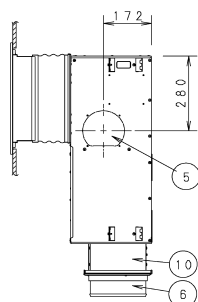
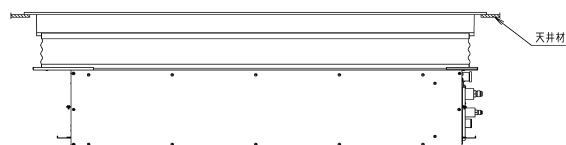
4. 室内ユニット関連部品取付図 (天井ビルトインカセット形)

■小パネル (CZ-06HPF3)・キャンバスダクト (DKT-CBD140T)

自然気化式加湿器 (CZ-20ASF2)

●S-G 1 1 2 ~ 1 6 0 F S 2

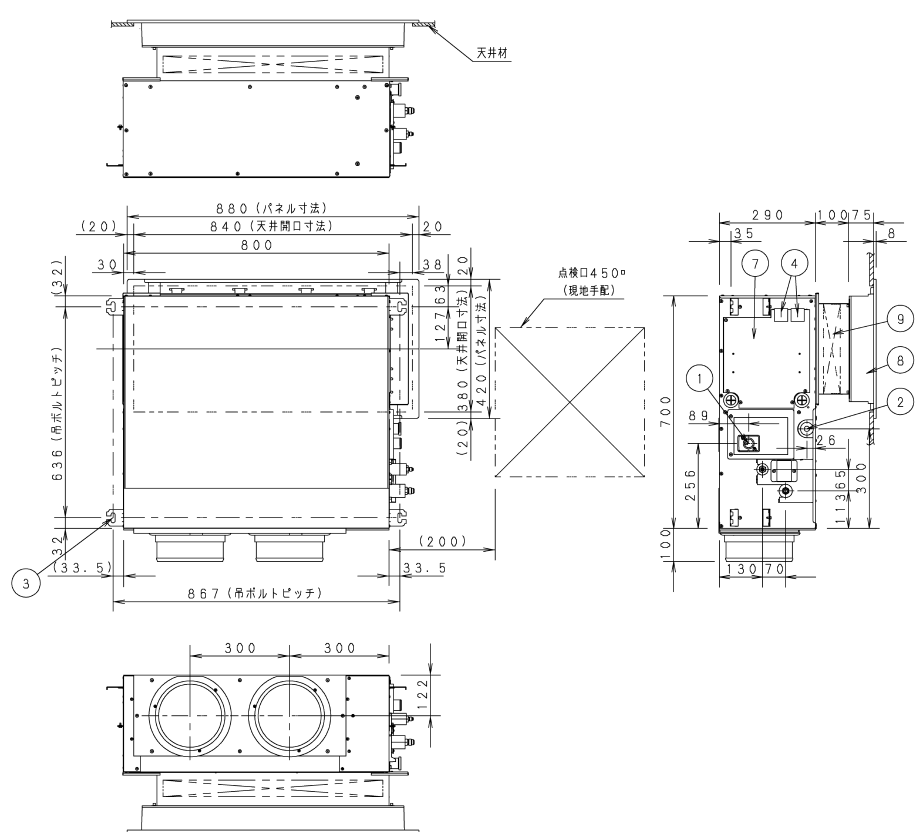
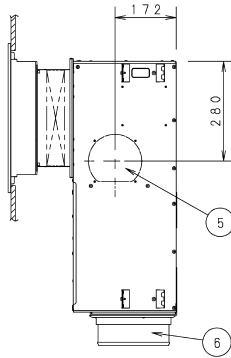
①	ドレン配管接続口 VP25 (外径φ32) φ200フレキホース付属
②	下部フレンド VP25 (外径φ32)
③	吊金具 (4-12×30長尺)
④	電源取入口
⑤	外気取入口 (φ150貫形穴)
⑥	吹出ダクト合フレンジ (4-φ200)
⑦	電装箱
⑧	ビルトインパネル CZ-06HPF3 (別売品)
⑨	キャンバスダクト DKT-CBD140T (別売品)
⑩	自然気化式加温器 CZ-20ASF2 (別売品)



■小パネル (CZ-02HPF3)・フィルターチャンバー (CZ-56FBCF1)

●S-G22~56FS2

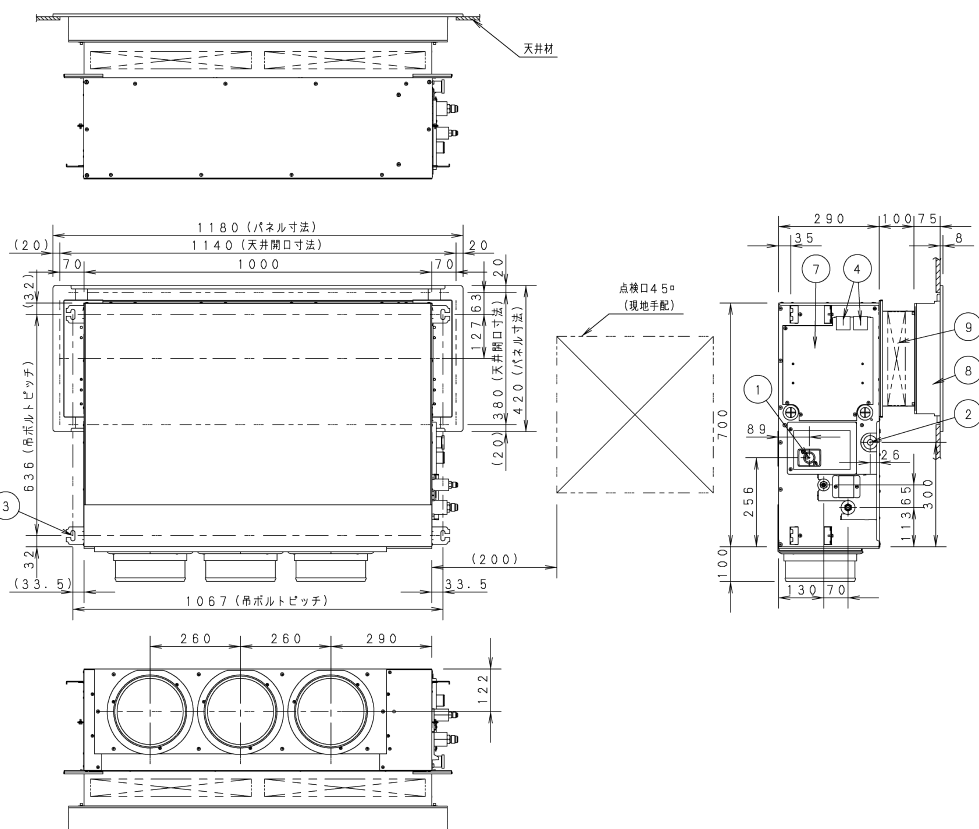
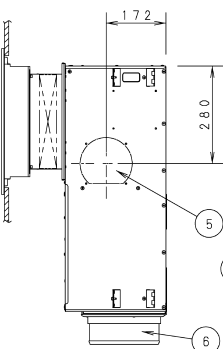
①	ドレン配管接続口 VP25 (外径φ32) φ200フレキホース付属
②	下部ドレン口 VP25 (外径φ32)
③	吊金具 (4-12X30長穴)
④	電源取入口
⑤	外気取入口 (φ150異形穴)
⑥	吹出風ダクト合フラジ (2-φ200)
⑦	電装箱
⑧	ビルトイン小パネル CZ-02HPF3 (別売品)
⑨	フィルターチャンバー CZ-56FBCF1 (別売品)



■小パネル (CZ-03HPF3)・フィルターチャンバー (CZ-90FBCF1)

●S-G71・90FS2

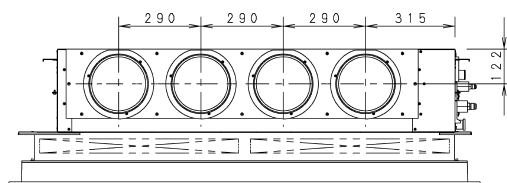
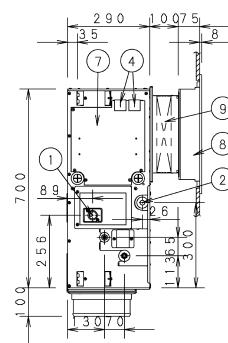
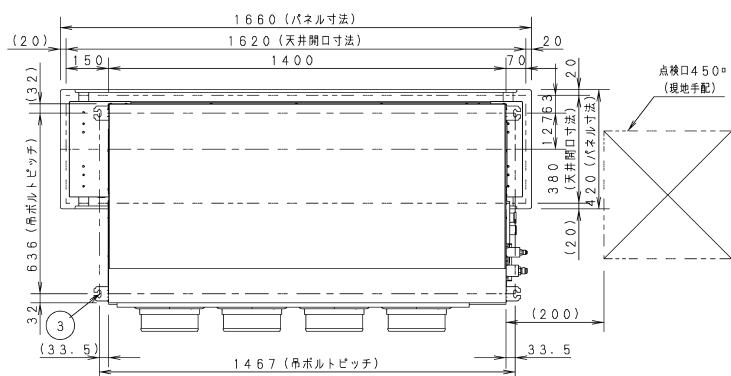
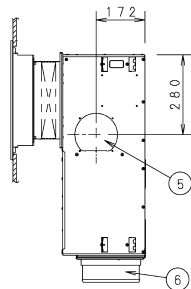
①	ドレン配管接続口 VP25 (外径φ32) φ200フレキホース付属
②	下部ドレン口 VP25 (外径φ32)
③	吊金具 (4-12X30長穴)
④	電源取入口
⑤	外気取入口 (φ150異形穴)
⑥	吹出風ダクト合フラジ (3-φ200)
⑦	電装箱
⑧	ビルトイン小パネル CZ-03HPF3 (別売品)
⑨	フィルターチャンバー CZ-90FBCF1 (別売品)



■小パネル (CZ-06HPF3)・フィルターチャンバー (CZ-160FBCF1)

●S-G112~160FS2

①	ドレン配管接続口 VP25 (外径φ32) φ200フレキホース付属
②	下部ドレン口 VP25 (外径φ32)
③	吊金具 (4-12×30長穴)
④	電源取入口
⑤	外気取入口 (φ150異形穴)
⑥	吹出丸ダクト合フランジ (4-φ200)
⑦	電装箱
⑧	ビルトイン小パネル CZ-06HPF3 (別売品)
⑨	フィルターチャンバー CZ-160FBCF1 (別売品)

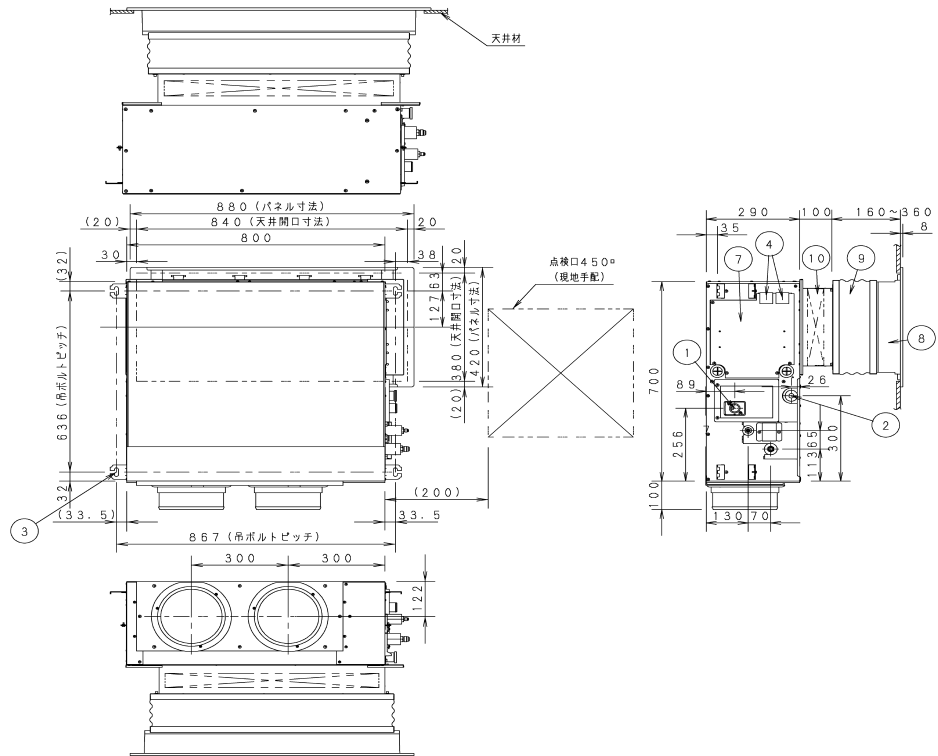
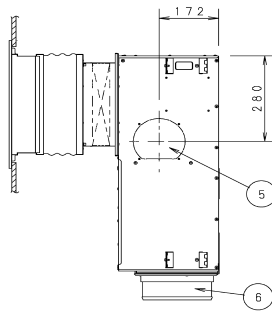


■小パネル (CZ-02HPF3)・フィルターチャンバー (CZ-56FBCF1)

キャンバスダクト (DKT-CBD50T)

●S-G22~56FS2

①	ドレン配管接続口 VP25 (外径φ32) φ200フレキホース付属
②	下部ドレンロ VP25 (外径φ32)
③	吊金具 (4-12X30長穴)
④	電源取入口
⑤	外気取入口 (φ150異形穴)
⑥	吹出丸ダクト合フラジ (2-φ200)
⑦	電装箱
⑧	ビルトイン小パネル CZ-02HPF3 (別売品)
⑨	キャンバスダクト DKT-CBD50T (別売品)
⑩	フィルターチャンバー CC-56FBCF1 (別売品)

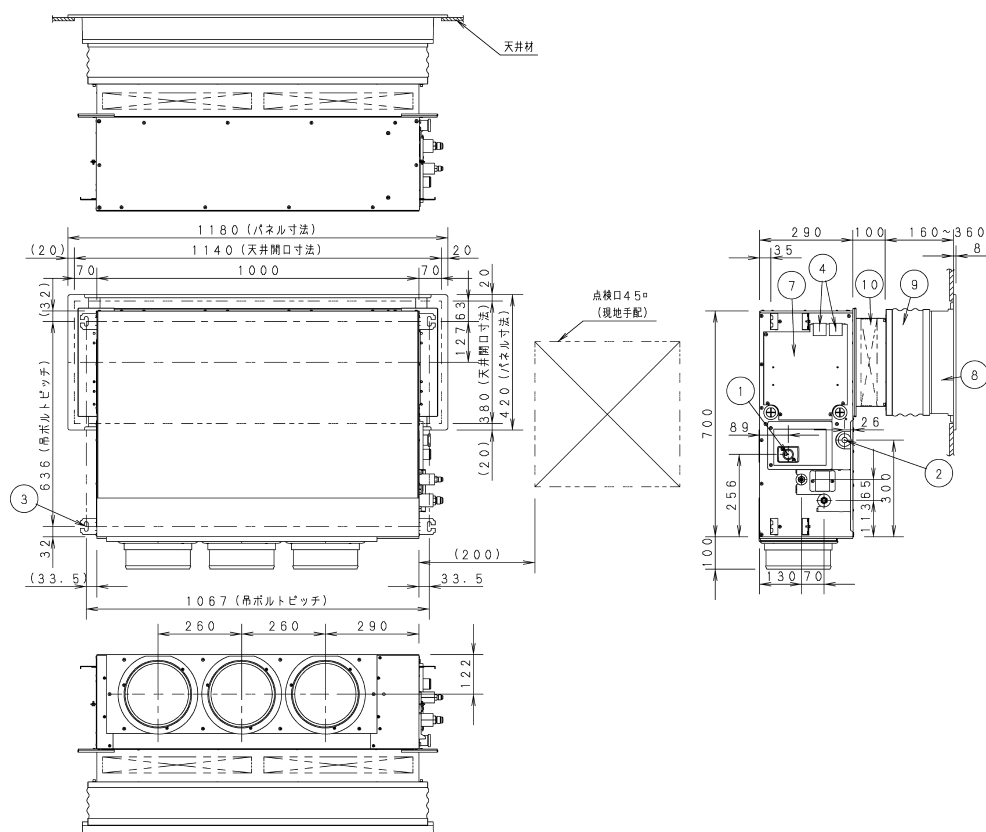
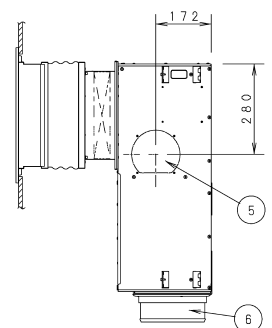


■小パネル (CZ-03HPF3)・フィルターチャンバー (CZ-90FBCF1)

キャンバスダクト (DKT-CBD80T)

●S-G71・90FS2

①	ドレン配管接続口 VP25 (外径φ32) φ200フレキホース付属
②	下部ドレンロ VP25 (外径φ32)
③	吊金具 (4-12X30長穴)
④	電源取入口
⑤	外気取入口 (φ150異形穴)
⑥	吹出丸ダクト合フラジ (3-φ200)
⑦	電装箱
⑧	ビルトイン小パネル CZ-03HPF3 (別売品)
⑨	キャンバスダクト DKT-CBD80T (別売品)
⑩	フィルターチャンバー CZ-90FBCF1 (別売品)

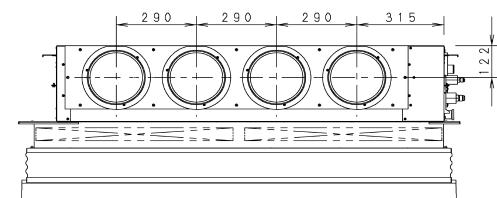
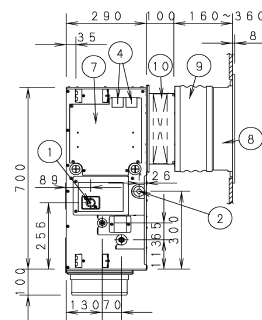
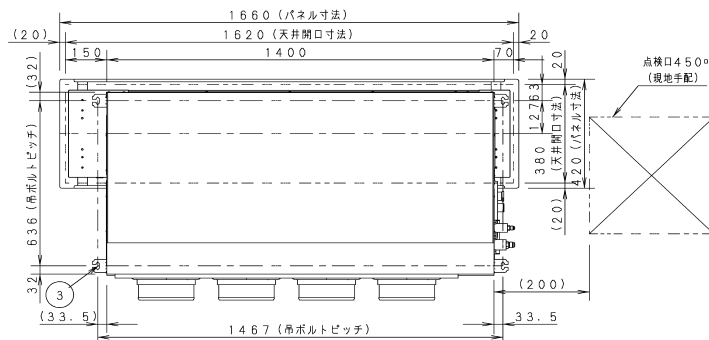
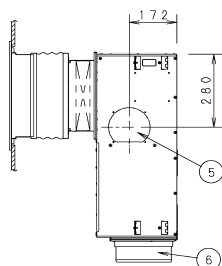
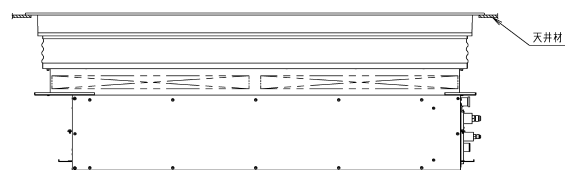


■小パネル (CZ-06HPF3)・フィルターチャンバー (CZ-160FBCF1)

キャンバスダクト (DKT-CBD140T)

●S-G112~160FS2

①	ドレン配管接続口 VP25 (外径φ32) φ200フレキホース付属
②	下部ドレン口 VP25 (外径φ32)
③	吊金具 (4-12X30長穴)
④	電源取入口
⑤	外気取入口 (φ150異形穴)
⑥	吹出風ダクト合フランジ (4-φ200)
⑦	電装箱
⑧	ビルトイン小パネル CZ-06HPF3 (別売品)
⑨	キャンバスダクト DKT-CBD140T (別売品)
⑩	フィルターチャンバー CZ-160FBCF1 (別売品)

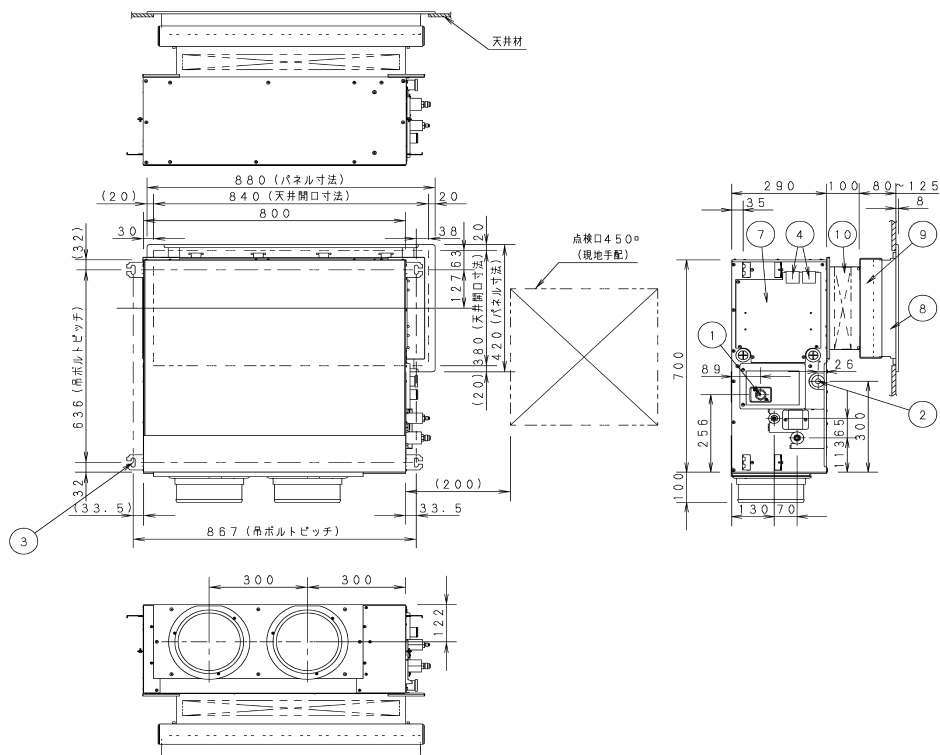
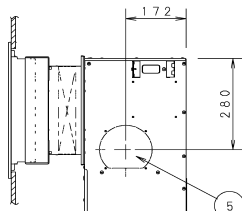


■小パネル (CZ-02HPF3)・フィルターチャンバー (CZ-56FBCF1)

スライドチャンバー (CMB-SLBD56B)

●S-G22~56FS2

①	ドレン配管接続口 VP25 (外径φ32) φ200フレキホース付属
②	下部ドレン口 VP25 (外径φ32)
③	吊金具 (4-12X30長穴)
④	電源取入口
⑤	外気取入口 (φ150異形穴)
⑥	吹出ダクト合フランジ (2-φ200)
⑦	電装箱
⑧	ビルトイン小パネル CZ-02HPF3 (別売品)
⑨	スライドチャンバー CMB-SLBD56B (別売品)
⑩	フィルターチャンバー CZ-56FBCF1 (別売品)

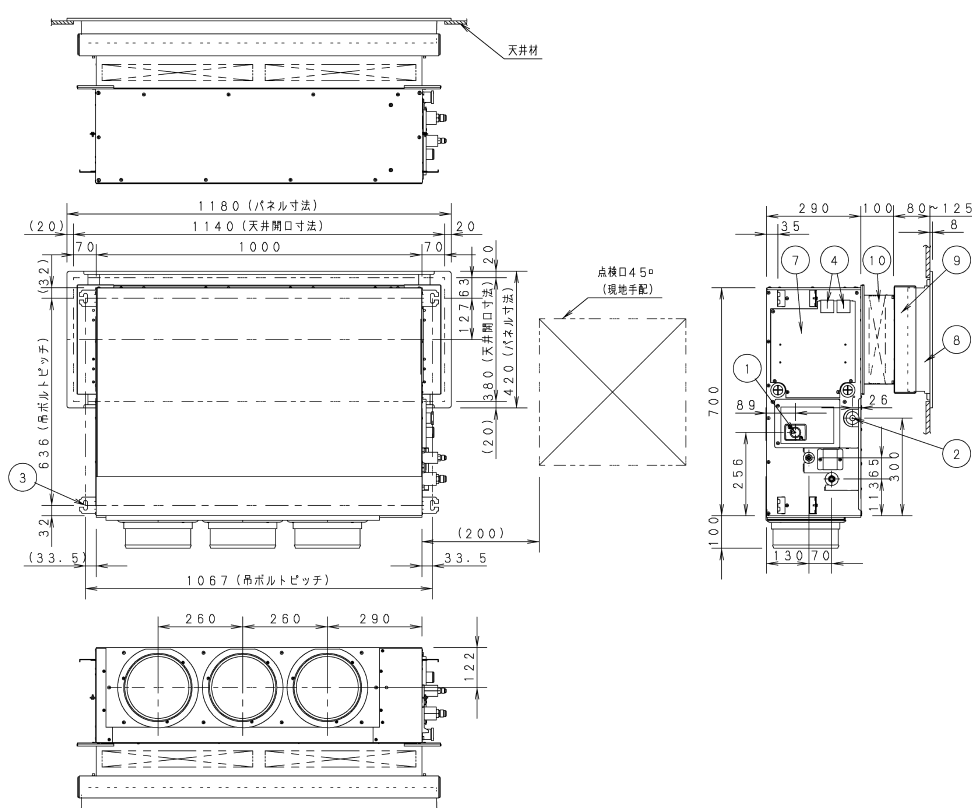
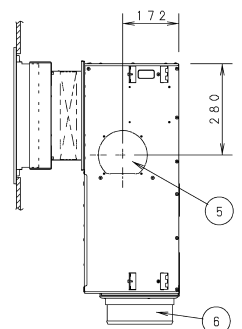


■小パネル (CZ-03HPF3)・フィルターチャンバー (CZ-90FBCF1)

スライドチャンバー (CMB-SLBD90B)

●S-G71・90FS2

①	ドレン配管接続口 VP25 (外径φ32) φ200フレキホース付属
②	下部ドレン口 VP25 (外径φ32)
③	吊金具 (4-12X30長穴)
④	電源取入口
⑤	外気取入口 (φ150異形穴)
⑥	吹出ダクト合フランジ (3-φ200)
⑦	電装箱
⑧	ビルトイン小パネル CZ-03HPF3 (別売品)
⑨	スライドチャンバー CMB-SLBD90B (別売品)
⑩	フィルターチャンバー CZ-90FBCF1 (別売品)

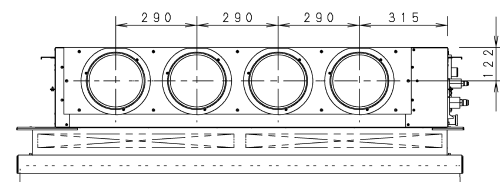
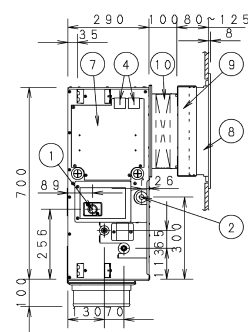
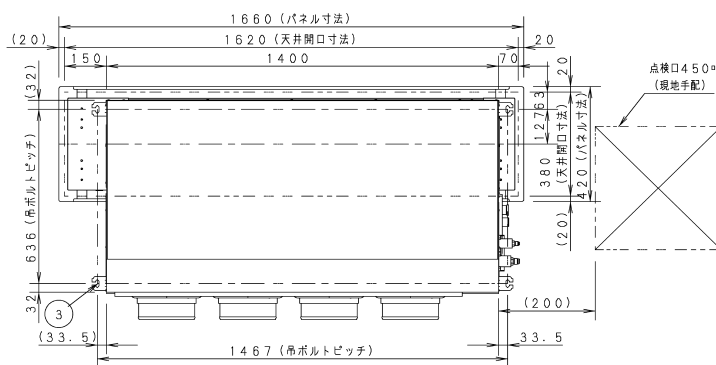
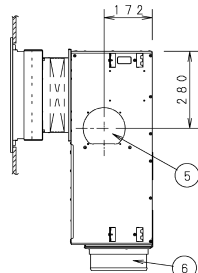


■小パネル (CZ-06HPF3)・フィルターチャンバー (CZ-160FBCF1)

スライドチャンバー (CMB-SLBD160B)

●S-G112~160FS2

①	ドレン配管接続口 VP25 (外径φ32) φ200フレキホース付属
②	下部ドレン口 VP25 (外径φ32)
③	吊金具 (4-12X30長穴)
④	電源取入口
⑤	外気取入口 (φ150異形穴)
⑥	吹出丸ダクト合フレンジ (4-φ200)
⑦	電装箱
⑧	ビルトイン小パネル CZ-06HPF3 (別売品)
⑨	スライドチャンバー CMB-SLBD160B (別売品)
⑩	フィルターチャンバー CZ-160FBCF1 (別売品)

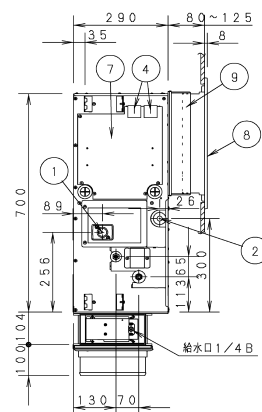
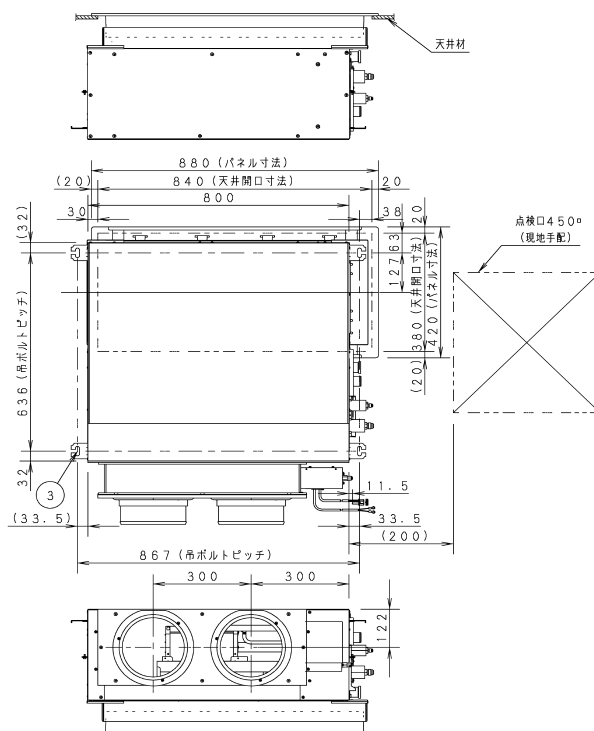
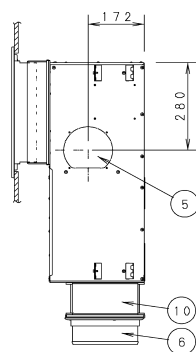


■小パネル (CZ-02HPF3)・自然気化式加湿器 (CZ-07ASF2)

スライドチャンバー (CMB-SLBD56B)

●S-G22~56FS2

①	ドレン配管接続口 VP25 (外径φ32) φ200フレキホース付属
②	下部ドレン口 VP25 (外径φ32)
③	吊金具 (4-12X30長穴)
④	電源取入口
⑤	外気取入口 (φ150異形穴)
⑥	吹出ダクト合フランジ (2-φ200)
⑦	電装箱
⑧	ビルトイン小パネル CZ-02HPF3 (別売品)
⑨	スライドチャンバー CMB-SLBD56B (別売品)
⑩	自然気化式加湿器 CZ-07ASF2 (別売品)

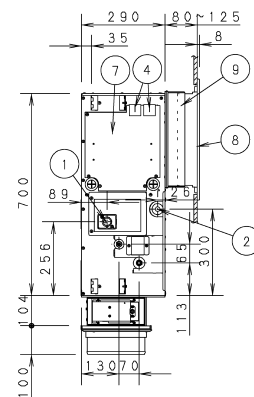
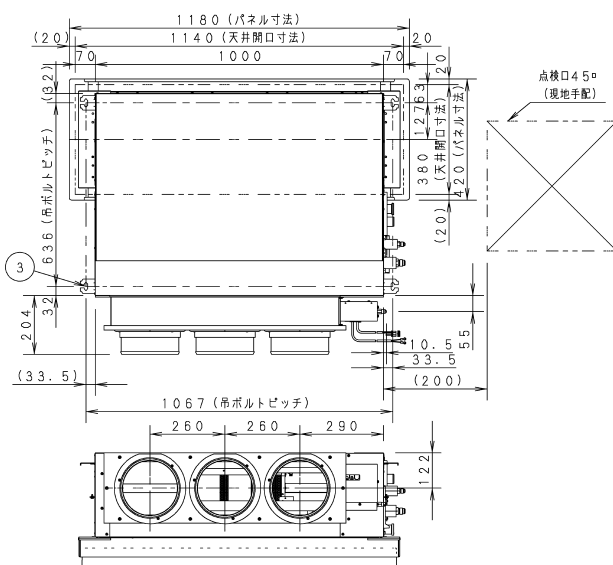
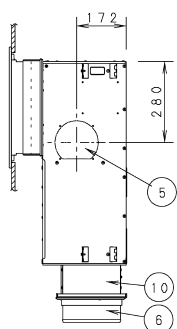


■小パネル (CZ-03HPF3)・自然気化式加湿器 (CZ-10ASF2)

スライドチャンバー (CMB-SLBD90B)

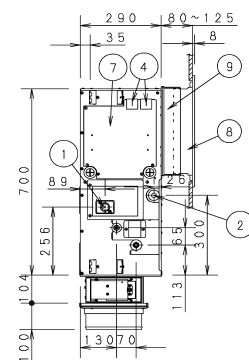
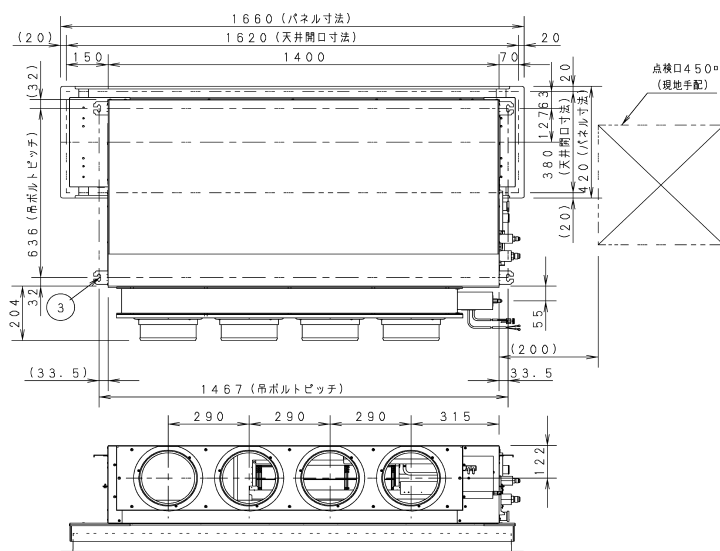
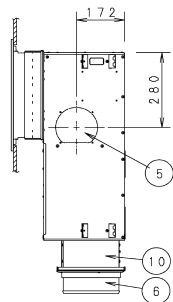
●S-G71・90FS2

①	ドレン配管接続口 VP25 (外径φ32) φ200フレキホース付属
②	下部ドレン口 VP25 (外径φ32)
③	吊金具 (4-12X30長穴)
④	電源取入口
⑤	外気取入口 (φ150異形穴)
⑥	吹出ダクト合フランジ (3-φ200)
⑦	電装箱
⑧	ビルトイン小パネル CZ-03HPF3 (別売品)
⑨	スライドチャンバー CMB-SLBD90B (別売品)
⑩	自然気化式加湿器 CZB-10ASF2 (別売品)



- 小パネル (CZ-06HPF3)・自然気化式加湿器 (CZ-20ASF2)
 スライドチャンバー (CMB-SLBD160B)
 ●S-G112~160FS1

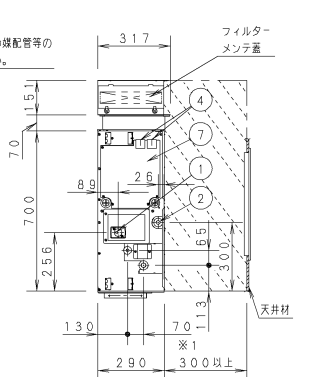
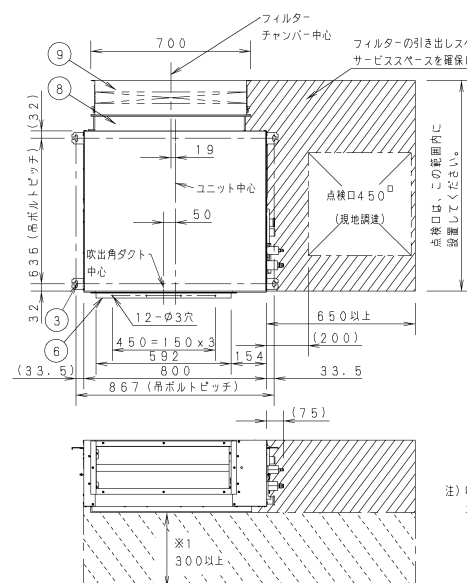
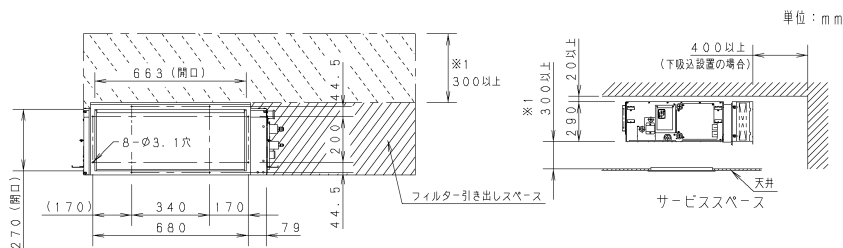
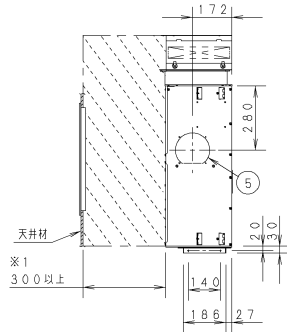
①	ドレン配管接続口 VP25 (外径φ32) ø200フレキホース付属
②	下部ドレン口 VP25 (外径φ32)
③	吊金具 (4-12X30長穴)
④	電源取入口
⑤	外気取入口 (ø150異形穴)
⑥	吹出丸ダクト合フランジ (4-ø200)
⑦	電装箱
⑧	ビルトイン小パネル CZ-06HPF3 (別売品)
⑨	スライドチャンバー CMB-SLBD160B (別売品)
⑩	自然気化式加湿器 CZ-20ASF2 (別売品)



■フィルターチャンバー (CMB-FBU50T)・接続チャンバー (CZ-56SPF1)

●S-G28~56FES2

①	ドレン配管接続口 VP25 (外径φ32) φ200フレキホース付属
②	下部ドレン口 VP25 (外径φ32)
③	吊金具 (4-12X30長穴)
④	電源取入口
⑤	外気取入口 (φ150異形穴)
⑥	吹出角ダクト合フレンジ
⑦	電装箱
⑧	接続チャンバー CZ-56SPF1 (別売品)
⑨	フィルターチャンバー CMB-FBU50T (別売品)



※1、サービススペース確保のお願い

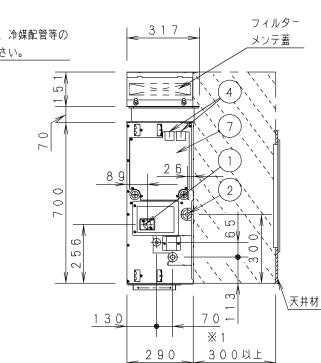
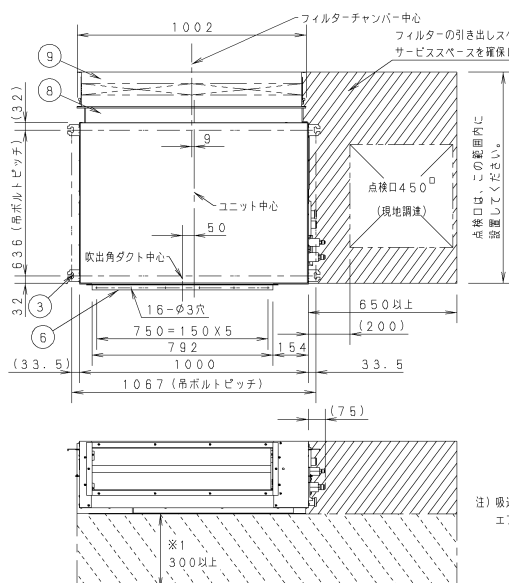
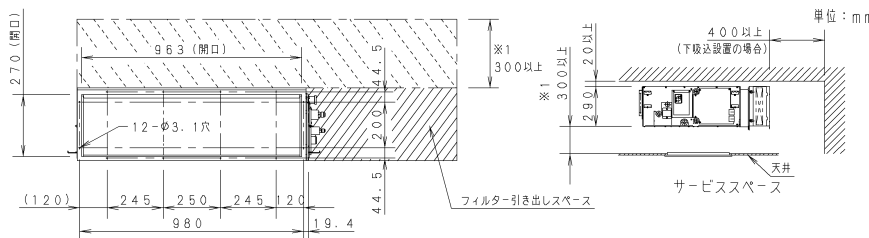
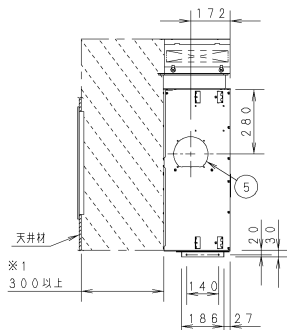
- ・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、サービススペースが必要となります。サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。
- ・天井材がはずれない場所では室内ユニット下面に、別売品のメンテナンスパネル (PNR-MBD45RF) を設置するか、室内ユニットを取りはずせる開口部を設けてください。
- ・メンテナンスパネルや開口部の設置ができない場合は、室内ユニット下面と天井材とのスペースを300mm以上確保してください。

注) 吸込側には必ずエアフィルターを装着してください。
エアフィルターは集塵効率50% (重量法) 以上のものを選定してください。

■フィルターチャンバー (CMB-FBU80T)・接続チャンバー (CZ-90SPF1)

●S-G71・90FES2

①	ドレン配管接続口 VP25 (外径φ32) φ200フレキホース付属
②	下部ドレン口 VP25 (外径φ32)
③	吊金具 (4-12X30長穴)
④	電源取入口
⑤	外気取入口 (φ150異形穴)
⑥	吹出角ダクト合フレンジ
⑦	電装箱
⑧	接続チャンバー CZ-90SPF1 (別売品)
⑨	フィルターチャンバー CMB-FBU80T (別売品)



※1、サービススペース確保のお願い

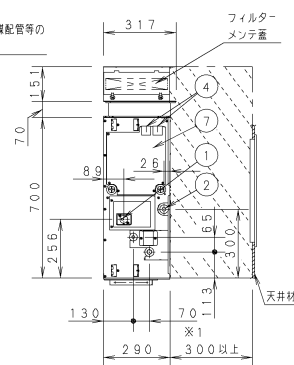
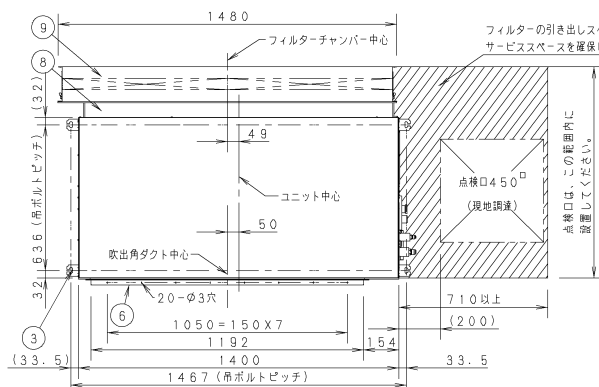
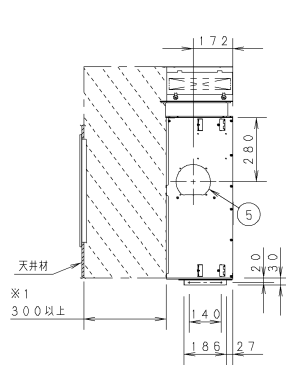
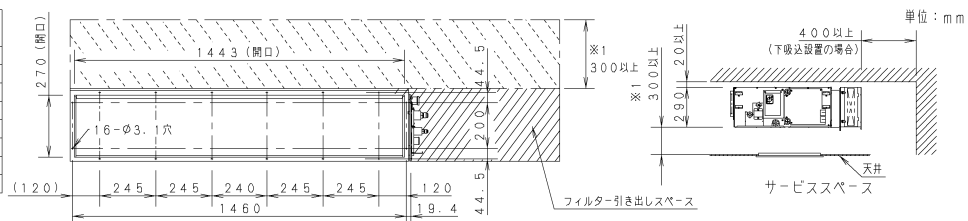
- ・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、サービススペースが必要となります。サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。
- ・天井材がはずれない場所では室内ユニット下面に、別売品のメンテナンスパネル (PNR-MBD71RF) を設置するか、室内ユニットを取りはずせる開口部を設けてください。
- ・メンテナンスパネルや開口部の設置ができない場合は、室内ユニット下面と天井材とのスペースを300mm以上確保してください。

注) 吸込側には必ずエアフィルターを装着してください。
エアフィルターは集塵効率50% (重量法) 以上のものを選定してください。

■フィルターチャンバー (CMB-FBU140T)・接続チャンバー (CZ-160SPF1)

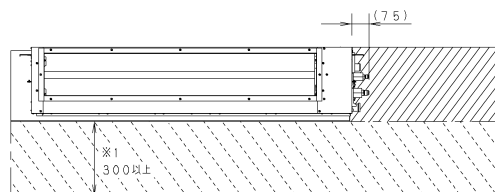
●S-G112~160FES2

①	ドレン配管接続口 VP25 (外径φ32) φ200フレキホース付属
②	下部ドレン口 VP25 (外径φ32)
③	吊金具 (4-12X30長穴)
④	電源取入口
⑤	外気取入口 (φ150異形穴)
⑥	吹出角ダクト合フラジ
⑦	電装箱
⑧	接続チャンバー CZ-160SPF1 (別売品)
⑨	フィルターチャンバー CMB-FBU140T (別売品)



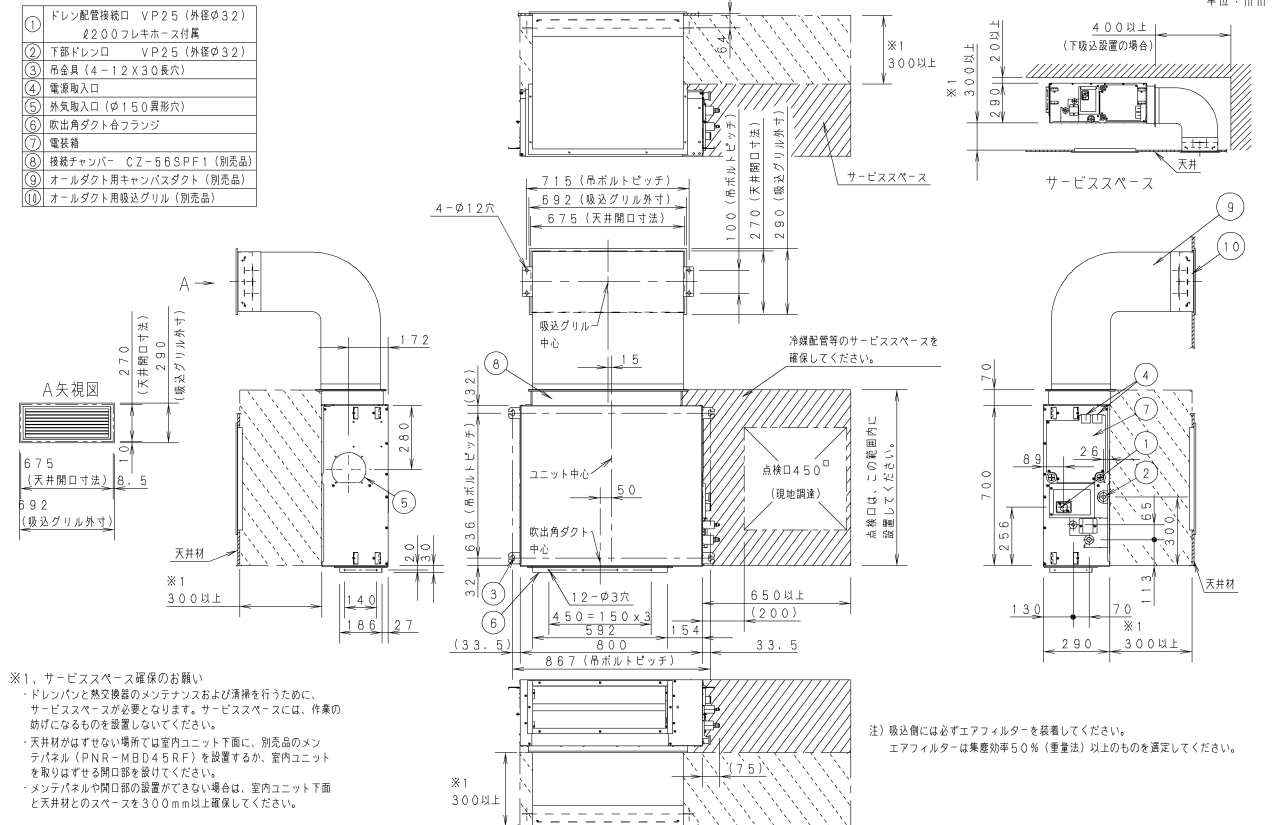
※1、サービススペース確保のお願い

- ・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、サービススペースが必要となります。サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。
- ・天井材がはずせない場所では室内ユニット下面に、別売品のメンテナンスパネル (PNR-MBD125RF) を設置するか、室内ユニットを取りはずせる開口部を設けてください。
- ・メンテナンスパネルや開口部の設置ができない場合は、室内ユニット下面と天井材とのスペースを300mm以上確保してください。

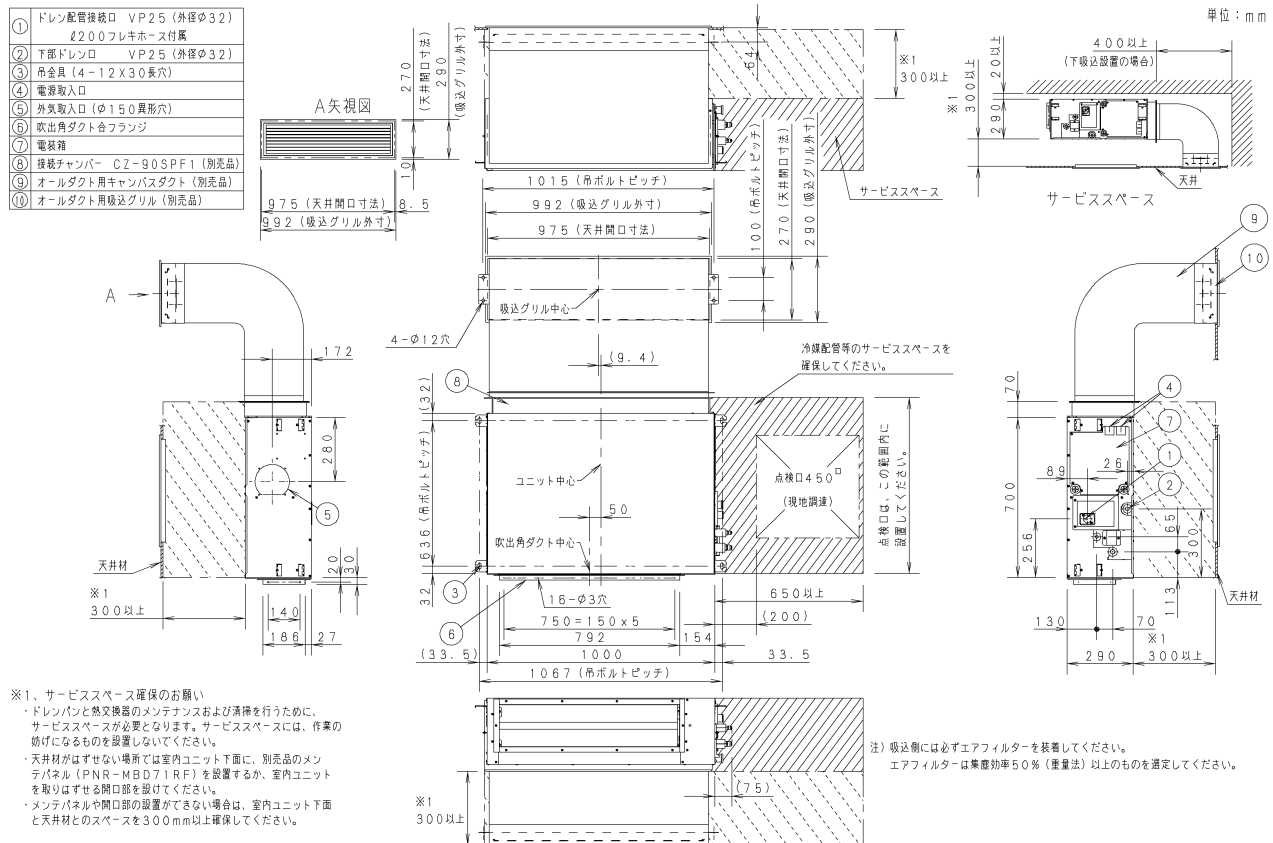


注) 吸込側には必ずエアフィルターを装着してください。
エアフィルターは集塵効率50% (重量法) 以上のものを選定してください。

- 接続チャンバー (CZ-56SPF1)・キャンバスダクト (DKT-CBU50T)
吸込グリル (GRL-RBU50TN)
● S-G28~56FES2



- 接続チャンバー (CZ-90SPF1)・キャンバスダクト (DKT-CBU80T)
吸込グリル (GRL-RBU80TN)
● S-G71・90FES2

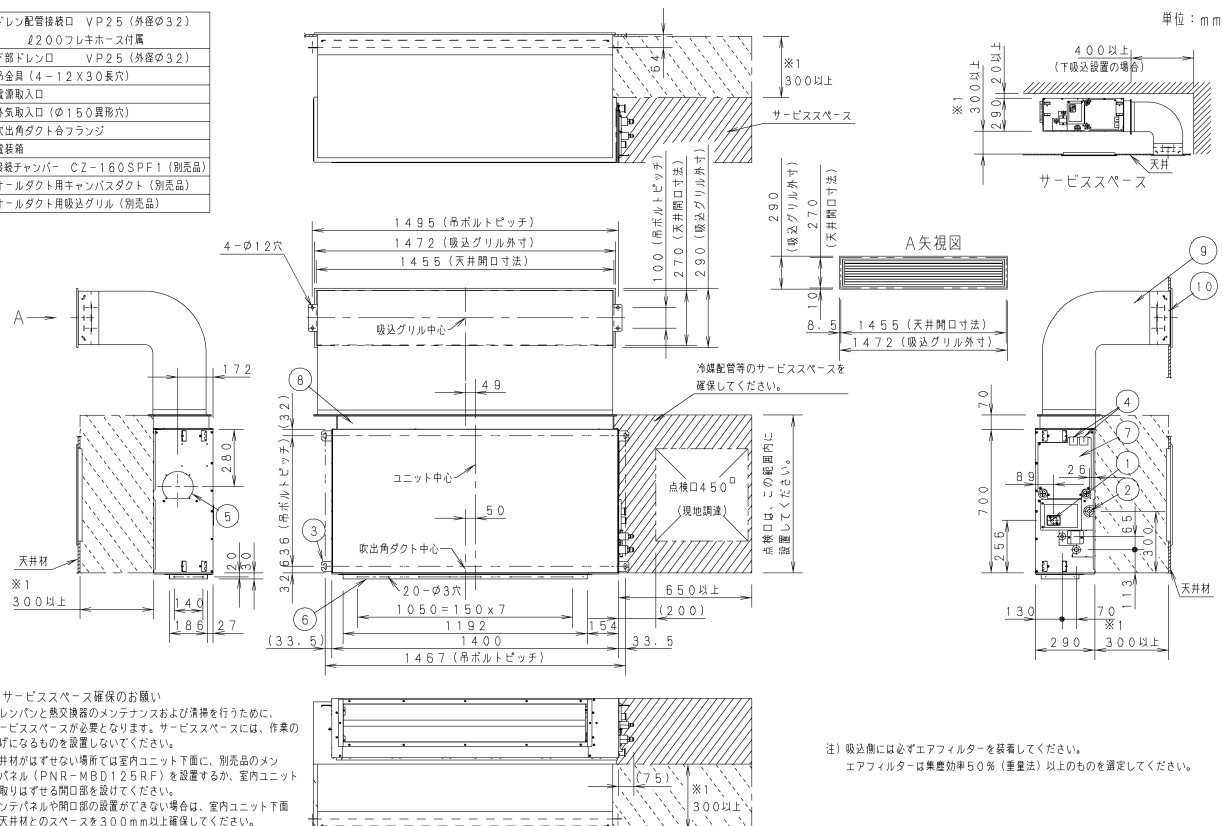


■接続チャンバー (CZ-160SPF1)・キャンバスダクト (DKT-CBU140T)

吸込グリル (GRL-RBU140TN)

●S-G112~160FES2

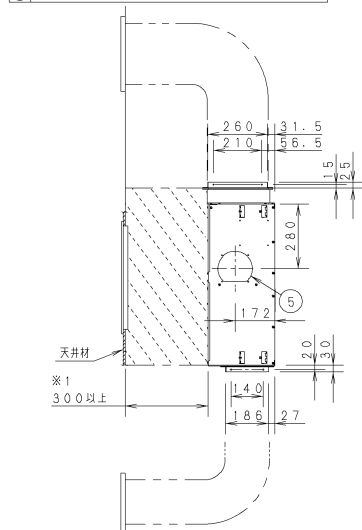
①	ドレン配管接続口 VP25 (外径φ32) φ200フレキホース付属
②	下部ドレン口 VP25 (外径φ32)
③	吊金具 (4-12X30長穴)
④	電源取入口
⑤	外気取入口 (φ150異形穴)
⑥	吹出角ダクト合フランジ
⑦	電装箱
⑧	接続チャンバー CZ-160SPF1 (別売品)
⑨	オールダクト用キャンバスダクト (別売品)
⑩	オールダクト用吸込グリル (別売品)



■接続チャンバー (CZ-56SPF1)・吸込角ダクト合フランジ (DKT-RFBD50T)

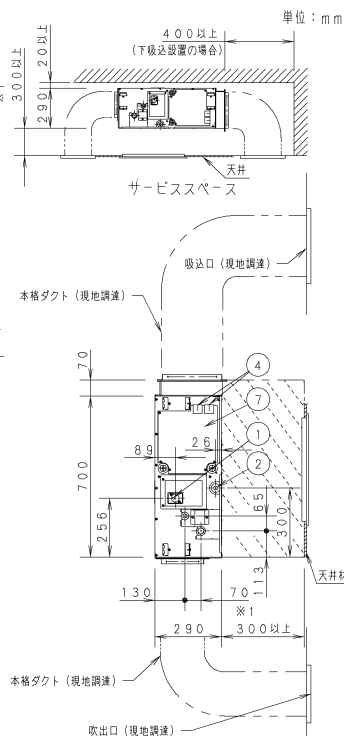
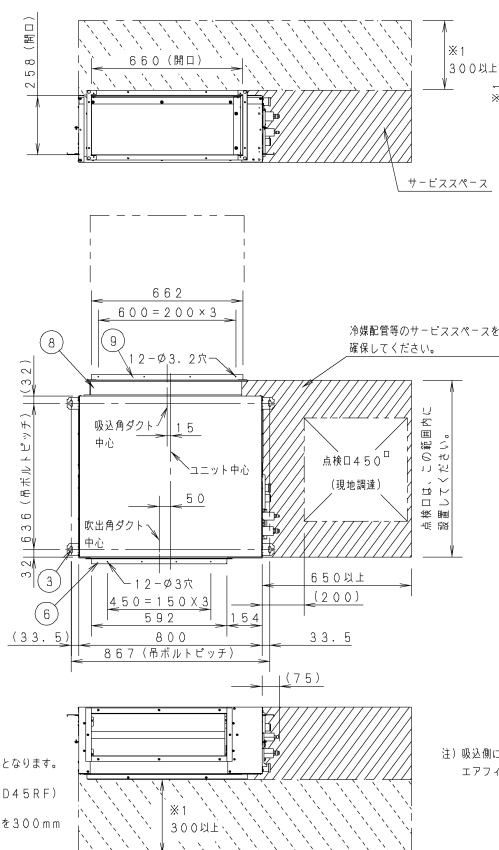
●S-G28~56FES2

①	ドレン配管接続口 VP25 (外径φ32) φ200フレキホース付属
②	下部ドレン口 VP25 (外径φ32)
③	吊金具 (4-12X30長尺)
④	電源取入口
⑤	外気取入口 (φ150異形穴)
⑥	吹出角ダクト合フランジ
⑦	電装箱
⑧	接続チャンバー CZ-56SPF1 (別売品)
⑨	吸込角ダクト合フランジ DKT-RFBD50T (別売品)



※1、サービススペース確保のお願い

- ・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、サービススペースが必要です。サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。
- ・天井材がはさまない場所では室内ユニット下面に、別売品のメンテパネル (PNR-MBD45RF) を設置するか、室内ユニットを取りはずせる開口部を設けてください。
- ・メンテパネルや開口部の設置ができない場合は、室内ユニット下面と天井材とのスペースを300mm以上確保してください。

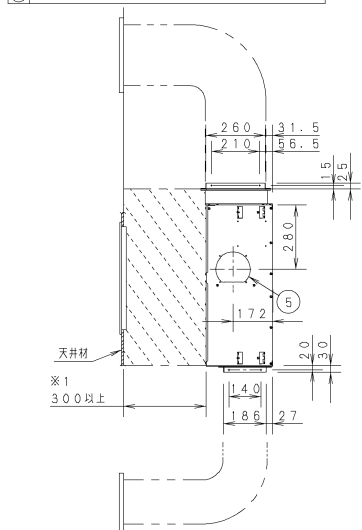


注) 吸込側には必ずエアフィルターを装着してください。
エアフィルターは集塵効率50% (重量法) 以上のものを選定してください。

■接続チャンバー (CZ-90SPF1)・吸込角ダクト合フランジ (DKT-RFBD80T)

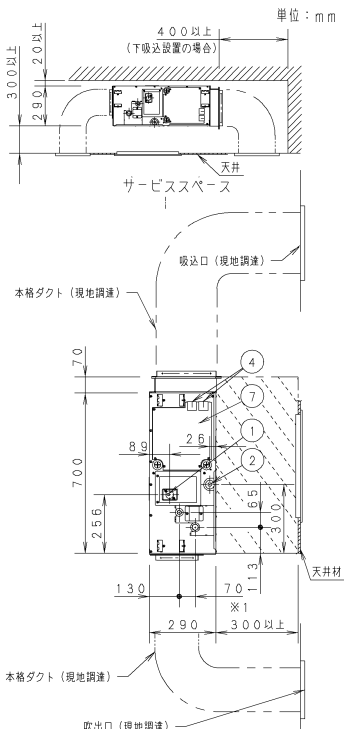
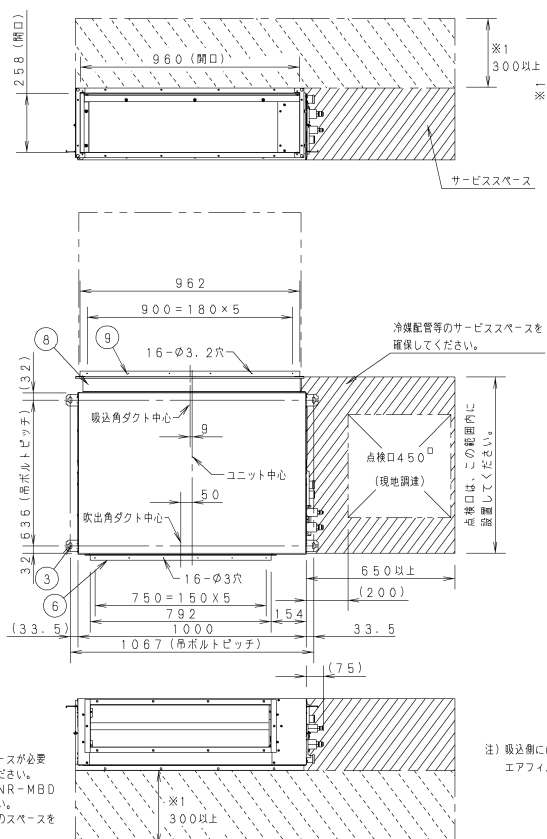
●S-G71・90FES2

①	ドレン配管接続口 VP25 (外径φ32) φ200フレキホース付属
②	下部ドレン口 VP25 (外径φ32)
③	吊金具 (4-12X30長尺)
④	電源取入口
⑤	外気取入口 (φ150異形穴)
⑥	吹出角ダクト合フランジ
⑦	電装箱
⑧	接続チャンバー CZ-90SPF1 (別売品)
⑨	吸込角ダクト合フランジ DKT-RFBD80T (別売品)



※1、サービススペース確保のお願い

- ・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、サービススペースが必要です。サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。
- ・天井材がはさまない場所では室内ユニット下面に、別売品のメンテパネル (PNR-MBD71RF) を設置するか、室内ユニットを取りはずせる開口部を設けてください。
- ・メンテパネルや開口部の設置ができない場合は、室内ユニット下面と天井材とのスペースを300mm以上確保してください。

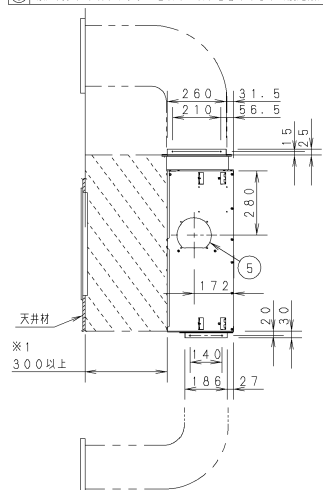


注) 吸込側には必ずエアフィルターを装着してください。
エアフィルターは集塵効率50% (重量法) 以上のものを選定してください。

■接続チャンバー (CZ-160SPF1)・吸込角ダクト合フランジ (DKT-RFBD140T)

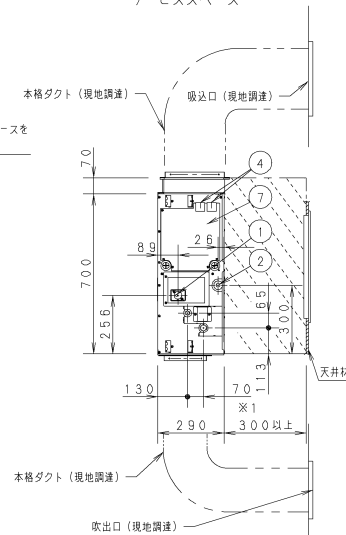
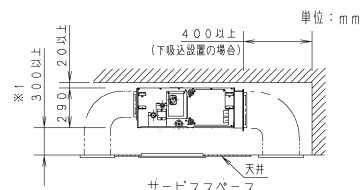
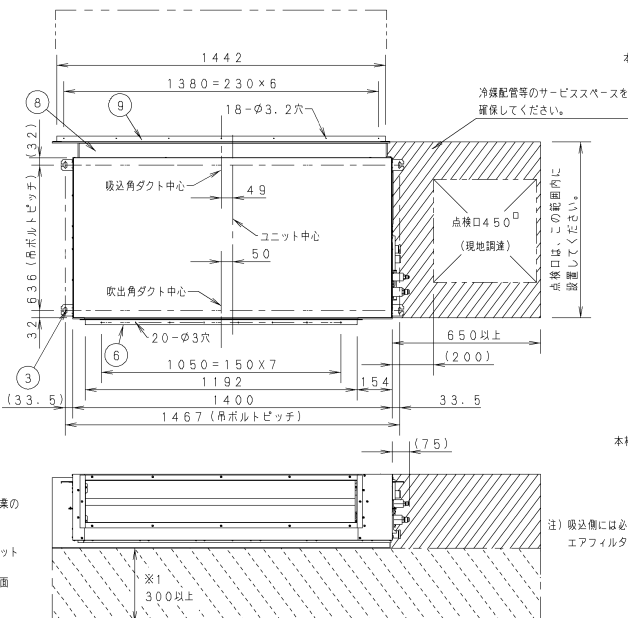
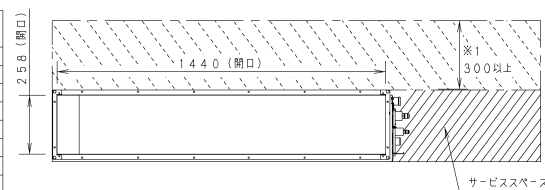
●S-G112~160FES2

①	ドレン配管接続口 VP25 (外径φ32) φ200フレキホース付属
②	下部ドレン口 VP25 (外径φ32)
③	吊金具 (4=12×30長穴)
④	電源取入口
⑤	外気取入口 (φ150貫形穴)
⑥	吹出角ダクト合フランジ
⑦	電装箱
⑧	接続チャンバー CZ-160SPF1 (別売品)
⑨	吸込角ダクト合フランジ DKT-RFBD140T (別売品)



※1、サービススペース確保のお願い

- ・ドレンパンと熱交換機のメンテナンスおよび清掃を行うために、サービススペースが必要となります。サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。
- ・天井材がはずせない場所では室内ユニット下面に、別売品のメンテナンスパネル (PNR-MBD125RF) を設置するか、室内ユニットを取りはずせる開口部を設けてください。
- ・メンテナンスパネルや開口部の設置ができない場合は、室内ユニット下面と天井材とのスペースを300mm以上確保してください。

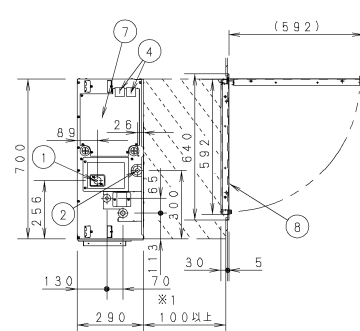
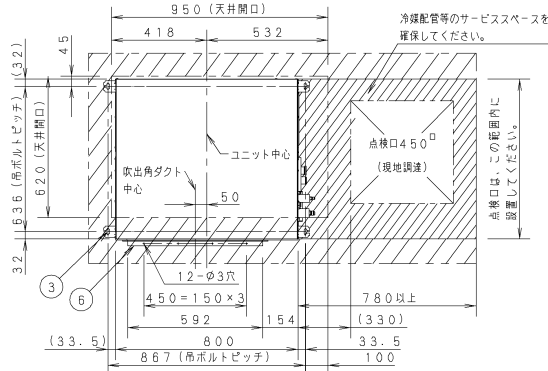
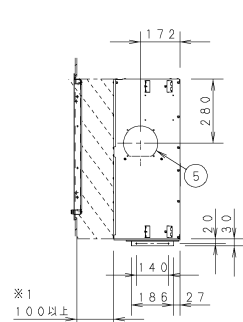
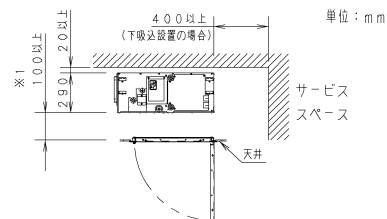
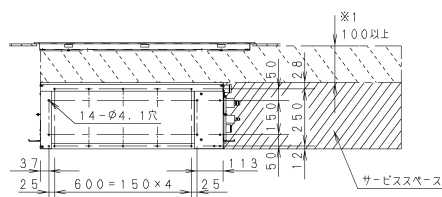


注) 吸込側には必ずエアフィルターを装着してください。
エアフィルターは集塵効率50% (重量法) 以上のものを選定してください。

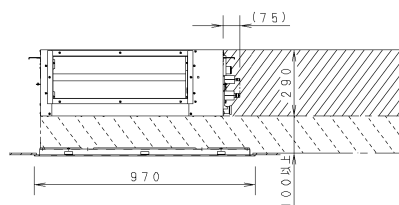
■オールダクト用メンテパネル (PNR-MBD45RF)

●S-G28~56FES2

①	ドレン配管接続口 VP25 (外径φ32) φ200フレキホース付属
②	下部ドレン口 VP25 (外径φ32)
③	吊金具 (4-12×30長穴)
④	電源取入口
⑤	外気取入口 (φ150貫形穴)
⑥	吹出角ダクト合フランジ
⑦	電装箱
⑧	オールダクト用メンテパネル PNR-MBD45RF (別売品)



※1、サービススペース確保のお願い
ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、サービススペースが必要となります。サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。
・天井材が設置できない場所では室内ユニット下面に、別売品のメンテパネル (PNR-MBD45RF) を設置するが、室内ユニットを取りはずせる開口部を設けてください。

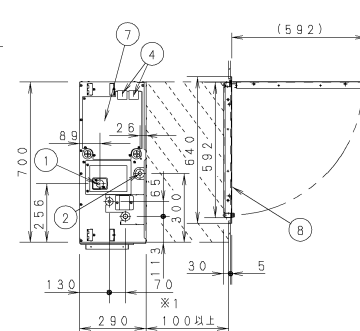
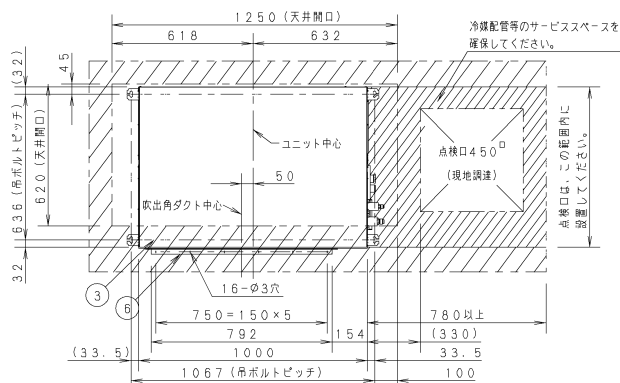
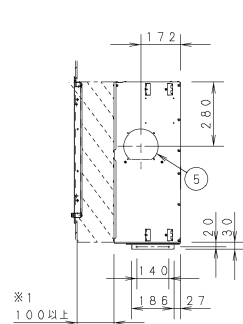
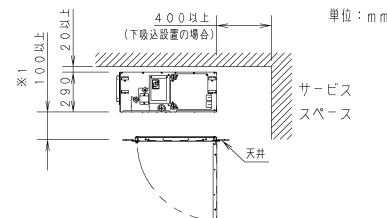
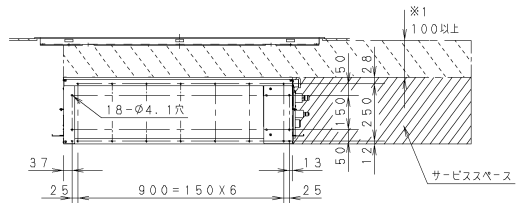


注) 吸込側には必ずエアフィルターを装着してください。
エアフィルターは集塵効率50% (重量法) 以上のものを選定してください。

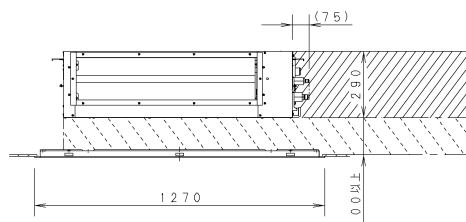
■オールダクト用メンテパネル (PNR-MBD71RF)

●S-G71・90FES2

①	ドレン配管接続口 VP25 (外径φ32) φ200フレキホース付属
②	下部ドレン口 VP25 (外径φ32)
③	吊金具 (4-12×30長穴)
④	電源取入口
⑤	外気取入口 (φ150貫形穴)
⑥	吹出角ダクト合フランジ
⑦	電装箱
⑧	オールダクト用メンテパネル PNR-MBD71RF (別売品)



※1、サービススペース確保のお願い
ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、サービススペースが必要となります。サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。
・天井材が設置できない場所では室内ユニット下面に、別売品のメンテパネル (PNR-MBD71RF) を設置するが、室内ユニットを取りはずせる開口部を設けてください。

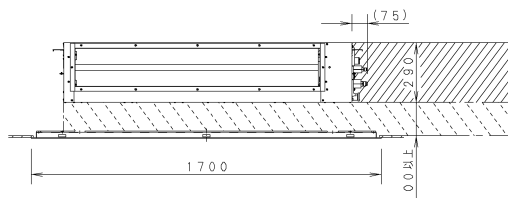
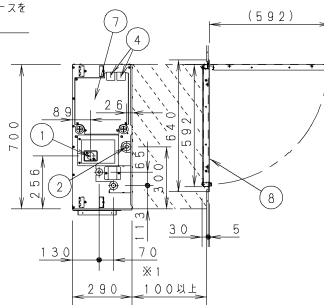
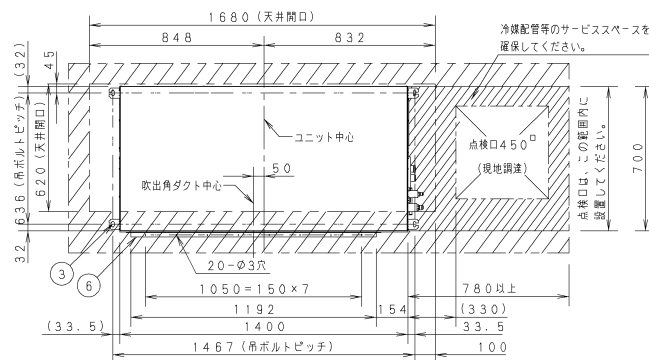
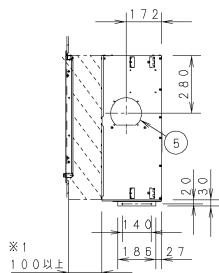
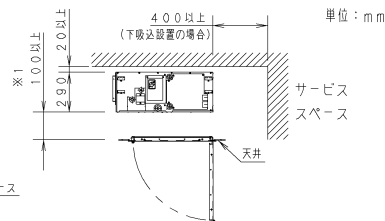
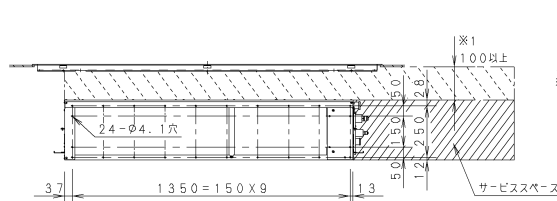


注) 吸込側には必ずエアフィルターを装着してください。
エアフィルターは集塵効率50% (重量法) 以上のものを選定してください。

■オールダクト用メンテパネル (PNR-MBD125RF)

●S-G112~160FES2

①	ドレン配管接続口 VP25 (外径φ32) φ200フレキホース付属
②	下部ドレン口 VP25 (外径φ32)
③	吊金具 (4-12X30長穴)
④	電源取入口
⑤	外気取入口 (φ150異形穴)
⑥	吹出角ダクト合フランジ
⑦	電装箱
⑧	オールダクト用メンテパネル PNR-MBD125RF (別売品)



※1、サービススペース確保のお願い

- ・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、サービススペースが必要となります。サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。
- ・天井材がはさまない場所では室内ユニット下面に、別売品のメンテパネル (PNR-MBD125RF) を設置するか、室内ユニットを取りはずせる開口部を設けてください。

注) 吸込側には必ずエアフィルターを装着してください。
エアフィルターは集塵効率50% (重量法) 以上のものを満足してください。

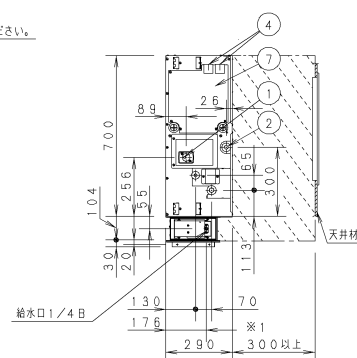
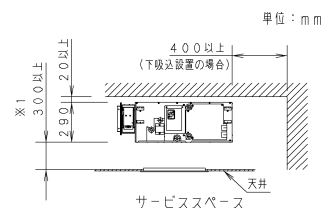
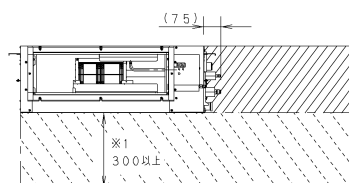
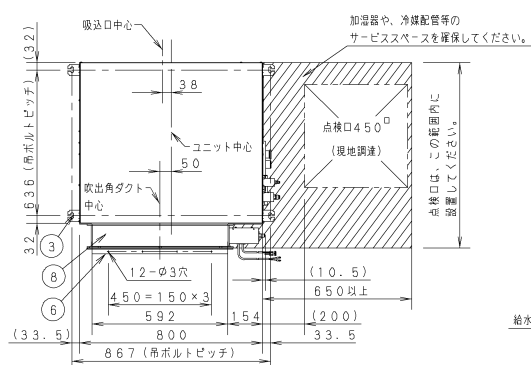
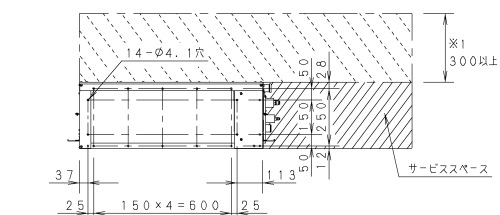
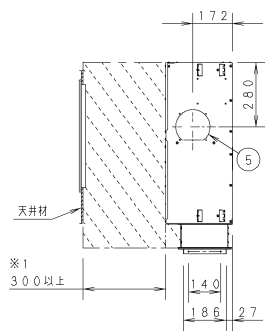
別売部品

4. 室内ユニット関連部品取付図 (ビルトインオールダクト形)

■自然気化式加湿器 (CZ-07ASF2)

●S-G 2 8 · 3 6 · 4 5 · 5 6 F E S 2

①	ドレン配管接続口 VP25 (外径φ32) 2200フレキホース付属
②	下部ドレン口 VP25 (外径φ32)
③	吊金具 (4-12×30長尺)
④	電源取入口
⑤	外気取入口 (φ150異形穴)
⑥	吹出角ダクト合フレンジ
⑦	電装箱
⑧	自然気化式加湿器 CZ-07ASF2 (別売品)



※1、サービススペース確保のお願い

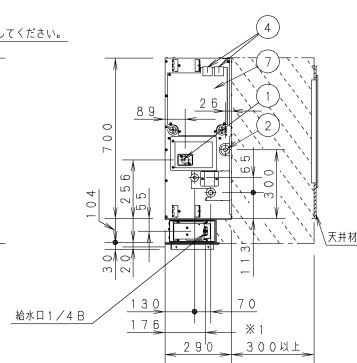
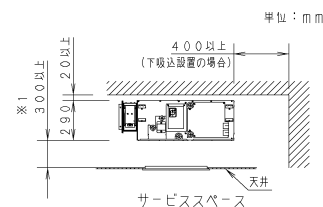
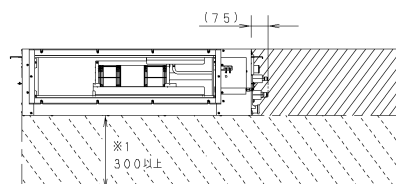
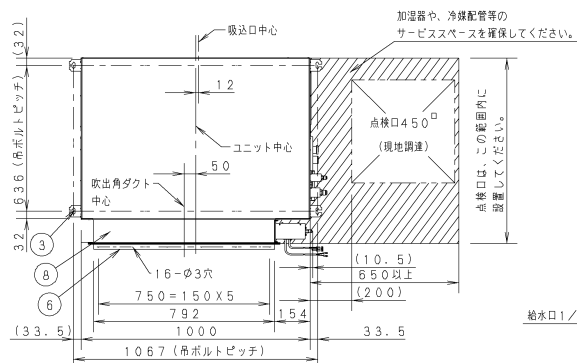
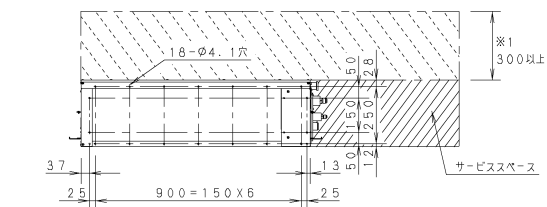
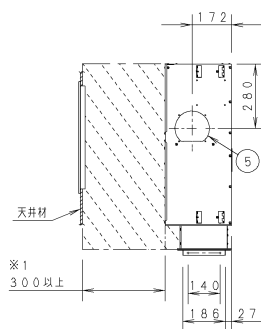
- ・天井・壁・床・天井裏・天井内配管等の取扱い
- ・ドレンパンと換気装置のメンテナンスおよび清掃を行うために、サービススペースが必要となります。サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。
- ・天井材がはずせない場所では室内ユニット下面に、別売品のメンテナンスル(PNR-MB45RF)を設置するが、室内ユニットを取りはずせる開口部を設けてください。
- ・メンテナンスルや開口部の設置ができない場合は、室内ユニット下面と天井材とのスペースを300mm以上確保し、室内ユニット

注) 吸込側には必ずエアフィルターを装着してください。
エアフィルターは集塵効率50%（重量法）以上のものを選定してください。

■自然気化式加湿器 (CZ-10ASF2)

●S-G 7 1 · 9 0 F E S 2

①	ドレン配管接続口 V P 2 5 (外径φ32) ℓ200フレキホース付属
②	下部ドレン口 V P 2 5 (外径φ32)
③	吊金具 (4-12×30長尺)
④	電源取入口
⑤	外気取入口 (φ150円形穴)
⑥	吐出角ダクト合フレンジ
⑦	電圧箱
⑧	自然気化式加湿器 C7-10ASF2 (別売品)



※1、サービススペース確保のお願い

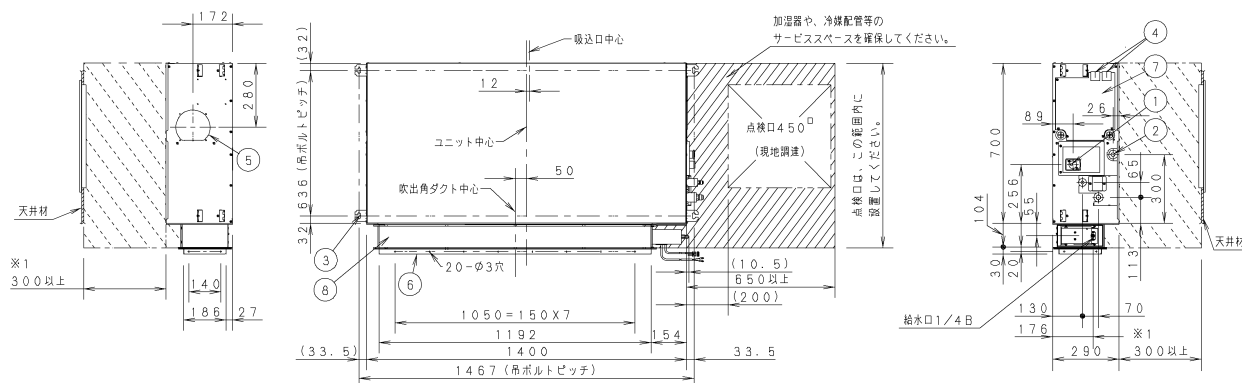
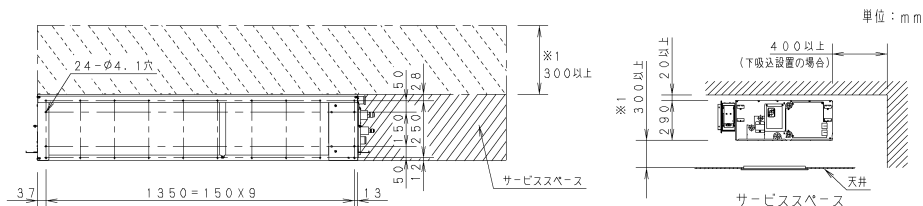
- ※、ドレンパイプと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、サービススペースが必要となります。サービススペースには、作業の妨げになるものを設置していただきません。
- ※天井材がはずせない場所では室内ユニット下面に、別売品のメンテナンスパネル（PNR-MBD71RF）を設置するか、室内ユニットを取り外す開口部を設けてください。
- ※メンドーバルの開口部の設置が不可能な場合は、室内ユニット下面と天井材の間にスペースを300mm以上確保してください。

注) 吸込側には必ずエアフィルターを装着してください。
エアフィルターは集塵効率50% (重量法) 以上のものを選んでください。

■自然気化式加湿器 (CZ-20ASF2)

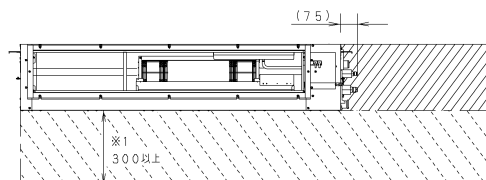
●S-G112・140・160FES2

①	ドレン配管接続口 VP25 (外径φ32) φ200フレキホース付属
②	下部ドレン口 VP25 (外径φ32)
③	吊金具 (4-12X30長穴)
④	電源取入口
⑤	外気取入口 (φ150貫形穴)
⑥	吹出角ダクト合フレンジ
⑦	電装箱
⑧	自然気化式加湿器 CZ-20ASF2 (別売品)



※1、サービススペース確保のお願い

- ・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、サービススペースが必要です。サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。
- ・天井材がはずせない場所では室内ユニット下面に、別売品のメンテナンスパネル (PNR-MBD125RF) を設置するが、室内ユニットを取りはずせる開口部を設けてください。
- ・メンテナンスや開口部の設置ができない場合は、室内ユニット下面と天井材とのスペースを300mm以上確保してください。



注) 吸込側には必ずエアフィルタを装着してください。
エアフィルタは集塵効率50% (重量法) 以上のものを選定してください。

別売部品

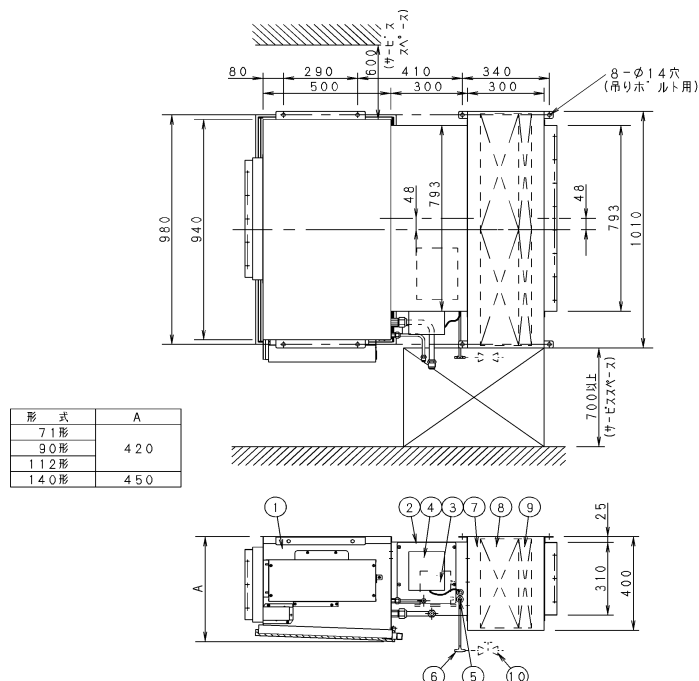
4. 室内ユニット関連部品取付図 (天井埋込形)

■ロングライフフィルター（SPW-LFU125R1）

高性能フィルター (SPW-M/HFU125R (JIS比色法65%/90%))

超音波加湿器チャンバー (RH-UU125SR)・フィルターチャンバー (SPW-MFU125RR)

●S-G71~140ES1



①	天井埋込形本体	
②	超音波加湿器チャパン [®]	RH-UU125R
③	超音波加湿器本体	(現地調達)
④	超音波加湿器用ボックス	(現地調達)
⑤	加湿器給水管接続口	
⑥	給水ストレーナー1/2B	
⑦	(客先取付)	
⑧	フィルターチャパン [®]	SPW-MFU125R
⑨	高性能フィルター	SPW-MFU125R (J15比色率65%) SPW-HFU125R (J15比色率90%)
⑩	ロック [®] ライフフィルター	SPW-LFU125R1
⑪	給水サージスポン	
⑫	(客先取付)	

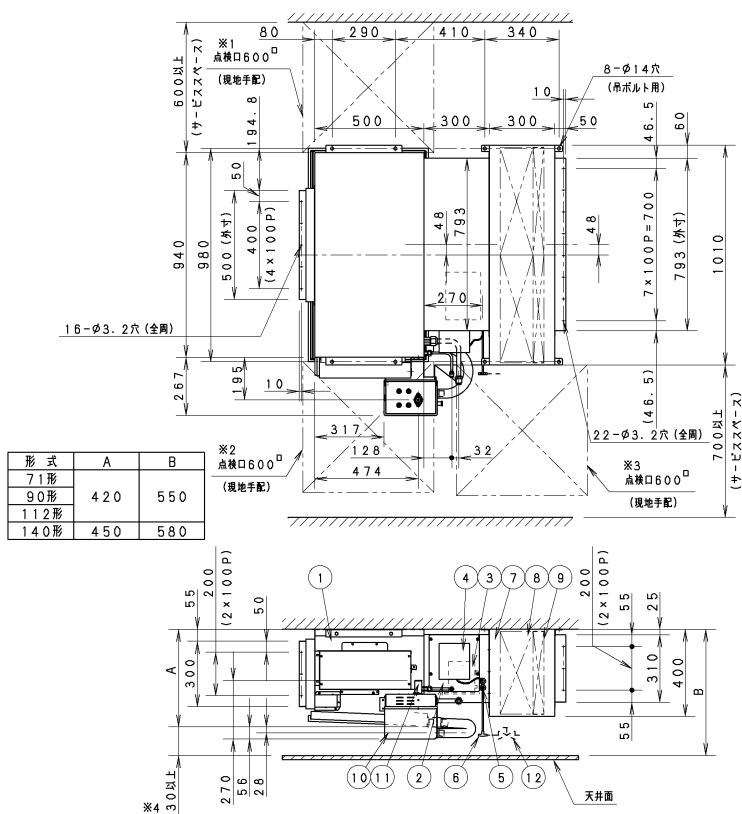
■ロングライフフィルター（SPW-LFU125R1）

高性能フィルター (SPW-M/HFU125R (JIS比色法65%/90%))

ドレンアップキット (DP-U140B)・フィルターチャンバー (SPW-MFU125R)

超音波加湿器チャンバー (RH-UU125SR)

●S-G 7 1 ~ 1 4 0 E S 1



①	天井型送風本体
②	加湿器ユニットP (フィルター・チャンパー・接続ダクト兼用) RH-UH125RR
③	静音加湿器本体 (注記3参照)
④	静音加湿器用トランスポンダ (注記3参照)
⑤	加湿器給水接続口
⑥	給水ストレーナー 1/2B (現地配)
⑦	フィルター・チャンパー SPW-MFU125RR
⑧	高性能フィルター SPW-MFU125R (JIS比色法65%)
⑨	高性能フィルター SPW-HFU125R (JIS比色法90%)
⑩	ロングライフフィルター AFT-LFU125R1
⑪	ドレンアップキット DP-U140B
⑫	ドレンポンプ排水口
⑬	給水サービスホス (現地手配)

注 記

1. 加湿器とドレンアップキットを併用する場合は無通電時（停電時やブレーカOFF時、ドレンアップキットは動作しません。）の電磁弁ゴミやその故障等による漏水（給水しっぱなし）を防ぐ為、電磁弁の二重設置や元バルブ設置を行って下さい。
2. ドレンアップキット使用時の吸込み側機外静圧は、定格機外静圧の80%以下で使用して下さい。

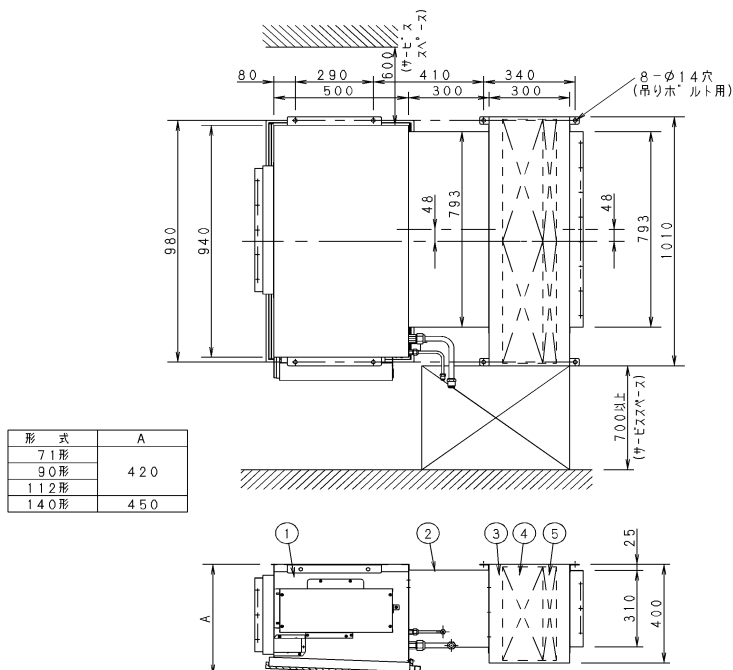
※1：ファンモータ及び別売品点検用

※2：主要部品点検用

※3：チャンバ内別売品点検用

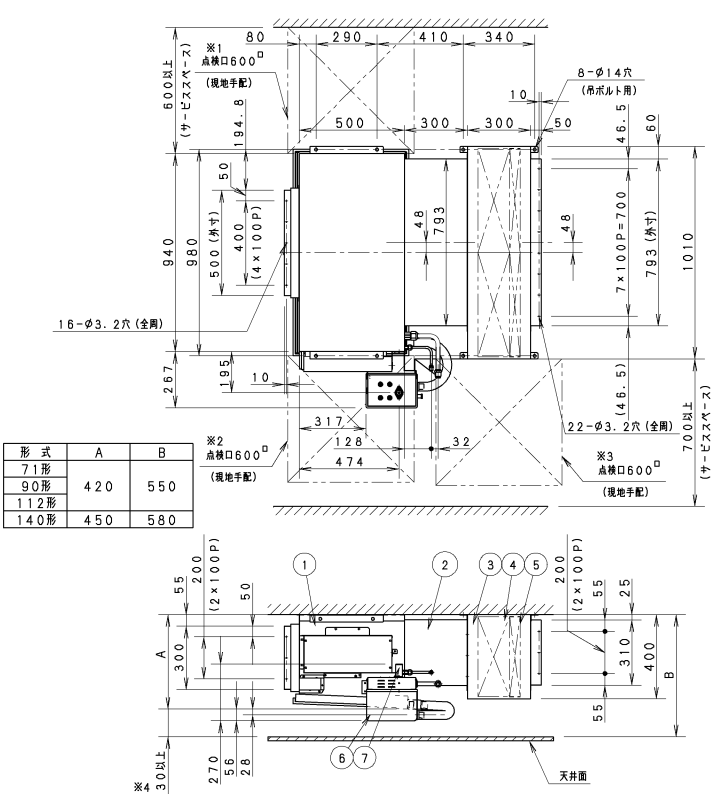
※4：ドレンパン取り外しスペース

- スペーサーチャンバー (CZ-03SPE3)・フィルターチャンバー (SPW-MFU125RR)
 高性能フィルター (SPW-M/HFU125R (JIS 比色法 65%/90%))
 ロングライフフィルター (SPW-LFU125R1)
 ● S-G71~140ES1



①	天井埋込形本体
②	スペーサーチャンバー CZ-03SPE3
③	フィルターチャンバー SPW-MFU125RR
④	高性能フィルター SPW-MFU125R (JIS 比色法 65%)
⑤	高性能フィルター SPW-HFU125R (JIS 比色法 90%)
⑥	ロングライフフィルター SPW-LFU125R1

- ロングライフフィルター (SPW-LFU125R1)・超音波加湿器チャンバー (RH-UU125SR)
 高性能フィルター (SPW-M/HFU125R (JIS 比色法 65%/90%))
 ドレンアップキット (DP-U140B)
 ● S-G71~140ES1



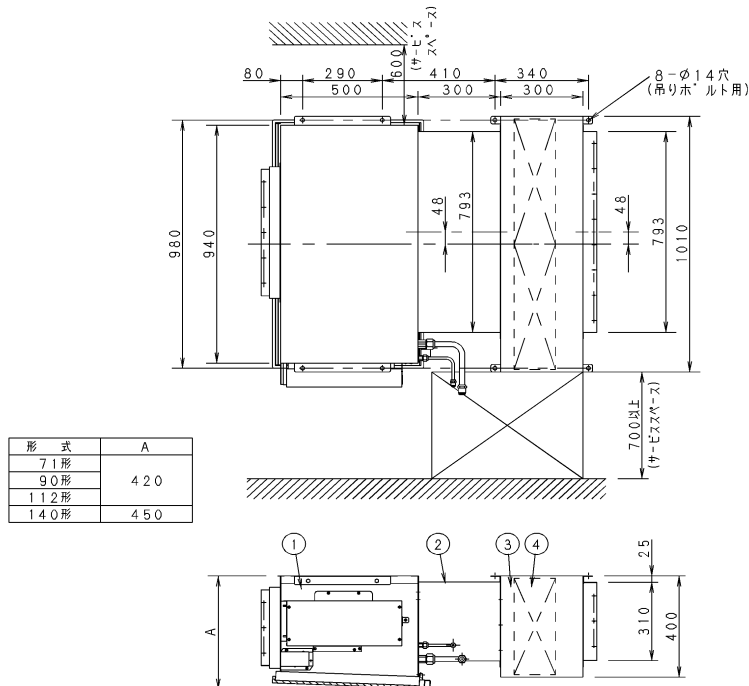
①	天井埋込形本体
②	超音波加湿器チャンバー RH-UU125SR
③	フィルターチャンバー SPW-MFU125RR
④	高性能フィルター SPW-MFU125R (JIS 比色法 65%)
⑤	高性能フィルター SPW-HFU125R (JIS 比色法 90%)
⑥	ロングライフフィルター SPW-LFU125R1
⑦	ドレンアップキット DP-U140B
⑧	ドレンポンプ排水口

注 記

1. ドレンアップキット使用時の吸込み側機外静圧は、
 定格機外静圧の80%以下で使用してください。

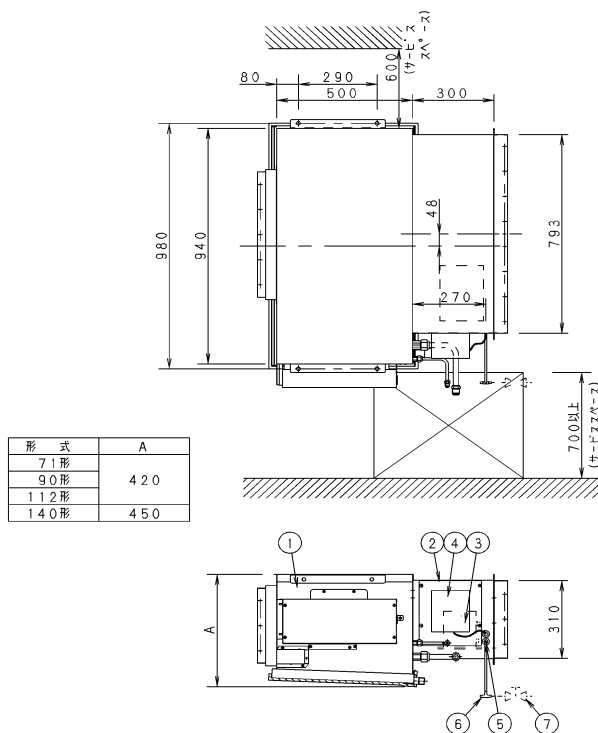
- ※1: ファンモータ及び別売品点検用
 ※2: 主要部品点検用
 ※3: チャンバー内別売品点検用
 ※4: ドレンパン取り外しスペース

- 高性能フィルター (SPW-M/HFU125R (JIS比色法65%/90%))
- フィルターチャンパー (SPW-MFU125RR)
- スぺーサーチャンパー (CZ-03SPE3)
- S-G71~140ES1



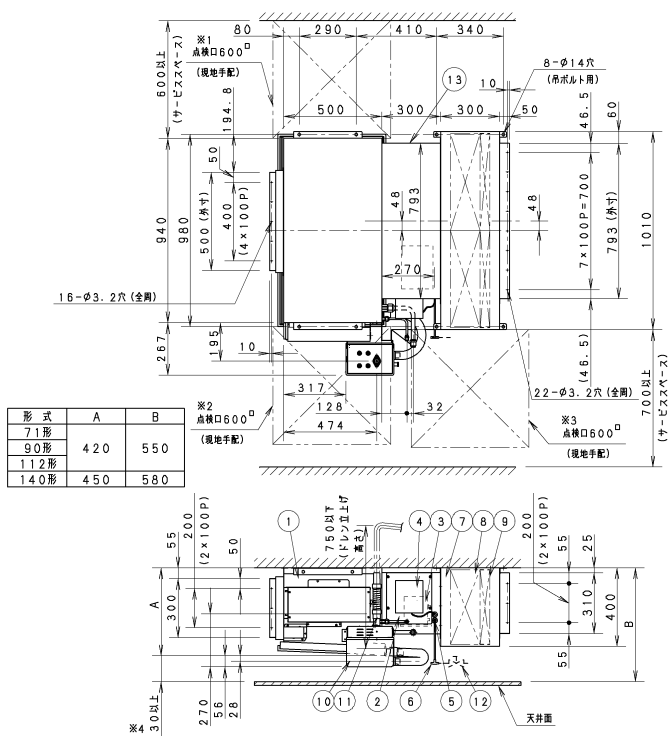
①	天井埋込形本体
②	スぺーサーチャンパー CZ-03SPE3
③	フィルターチャンパー SPW-MFU125RR
④	高性能フィルター SPW-MFU125R (JIS 比色法 65%) 高性能フィルター SPW-HFU125R (JIS 比色法 90%)

- 超音波加湿器チャンパー (RH-UU125SR)
- S-G71~140ES1



①	天井埋込形本体
②	超音波加湿器チャンパー RH-UU125SR
③	超音波加湿器本体 (現地調達)
④	超音波加湿器用トランス箱 (現地調達)
⑤	加湿器給水管接続口
⑥	給水ストレーナー 1/2B (※先取付)
⑦	給水サービス弁 (※先取付)

- フィルターチャンバー (SPW-MFU125RR)・ロングライフフィルター (SPW-LFU125R1)
高性能フィルター (SPW-M/HFU125R (JIS比色法65%/90%))
ドレンアップキット (DP-U140B)・超音波加湿器 (WM-ENA1200・2400・3600SN)
●S-G71・90・112・140ES1



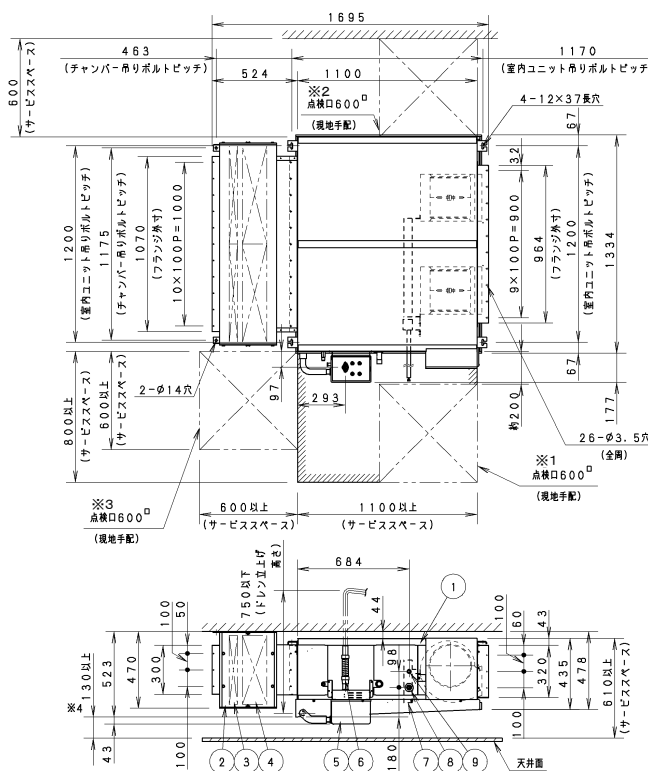
①	天井埋込形本体
②	加湿器チャンバー (フィルターチャンバー接続ダクト兼用) RH-U125SR
③	超音波加湿器本体 (注記3参照)
④	超音波加湿器用トランス箱 (注記3参照)
⑤	加湿器給水管接続口
⑥	給水ストレーナー1/2B (現地手配)
⑦	フィルターチャンバー SPW-MFU125RR
⑧	高性能フィルター SPW-MFU125R (JIS比色法65%)
⑨	高性能フィルター SPW-M/HFU125R (JIS比色法90%)
⑩	ロングライフフィルター AFT-LFU125R1
⑪	ドレンアップキット DP-U140B
⑫	ドレンポンプ排水口
⑬	給水サービス弁 (現地手配)
⑭	スベサーチャンバー SPW-MFU125RR2

注 記

- 加湿器とドレンアップキットを併用する場合は無通電時 (停電時やブレーカOFF時、ドレンアップキットは動作しません。) の電磁弁ゴミやその故障等による漏水 (給水しっぱなし) を防ぐ為、電磁弁の二重設置や元バルブ設置を行って下さい。
- 加湿器はウェットマスター社製の下記番製品を一つ選択し、現地手配ください。
WM-ENA1200SN (霧化量1.2kg/h)
WM-ENA2400SN (霧化量2.4kg/h)
WM-ENA3600SN (霧化量3.6kg/h)
- ドレン立上げ高さは750mm以内です。(左図参照)
(製品本体ドレンロセンターより750mm以内です)
- 加湿器チャンバー取付時には、スベサーチャンバーは不要です。
- ドレンアップキット使用時の吸込み側微外静圧は、定格微外静圧の80%以下で使用してください。

※1: ファンモータ及び別売品点検用
※2: 主要部品点検用
※3: チャンバー内別売品点検用
※4: ドレンパン取り外しスペース

- フィルターチャンバー (CMB-FU280U)・ロングライフフィルター (AFT-LU280U)
高性能フィルター (AFT-M/HU280U (JIS比色法65%/90%))
ドレンアップキット (DP-U280B)・気化式加湿器 (RH-UN45U)
●S-G224・280ES1



①	天井埋込形室内機本体
②	フィルターチャンバー (CMB-FU280U)
③	ロングライフフィルター (AFT-LU280U)
④	高性能フィルター AFT-MU280U (JIS比色法65%)
⑤	高性能フィルター AFT-HU280U (JIS比色法90%)
⑥	ドレンアップキット (DP-U280B)
⑦	ドレンアップキット排水口 (内径φ26)
⑧	気化式加湿器 (WM-RH-UN45U)
⑨	加湿器給水管接続口

注 記

- ドレン立上げ高さは750mm以内です。(左図参照)
(製品本体ドレンロセンターより750mm以内です)
- ドレンアップキット使用時の吸込み側微外静圧は、定格微外静圧の80%以下で使用してください。

※1: 主要部品点検用
※2: ドレンパン等取り外し時使用
※3: チャンバー内別売品点検用
※4: ドレンパン取り外しスペース

別売部品

4. 室内ユニット関連部品取付図 (天井埋込形)

■バリアゾーンシステム

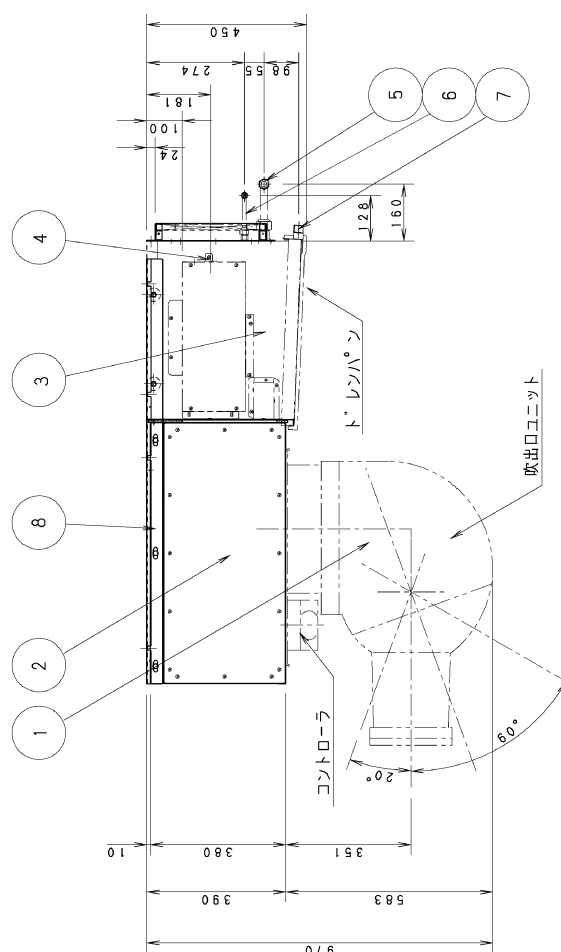
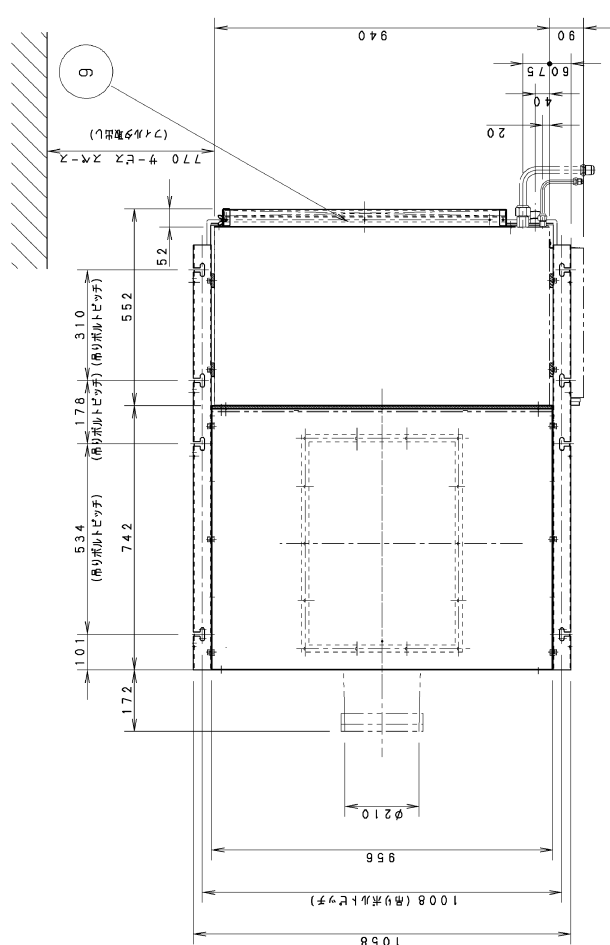
吹出口ユニット (FY-20XGR-D)・吹出口チャンバー (SGP-CMB140J)

吊金具セット (SGP-ATK140J)・吸込口グリル (SGP-GRL140J)

●S-G 7 1 · 9 0 · 1 1 2 · 1 4 0 E S 1

①	吹出口ユニット (ノズル形)	FY-20XGR-D
②	吹出口チャンバー	SGP-CMB140J
③	天井埋込形室内ユニット	SGP-UH140K1
④	室内ユニット電源取入口	
⑤	冷媒配管 (ガス管)	φ15.88
⑥	冷媒配管 (液管)	φ 9.52
⑦	ト・レンロ	25A 又は VP25
⑧	吊り金具セット	SGP-ATK140J
⑨	吸込口グリル	SGP-GR140J

品名	SGP-UH140K1	OPY-20XGR-D OSGP-CMB140J OSGP-GR140J OSGP-ATK140J	尺数	Face
----	-------------	--	----	------



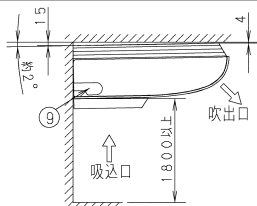
別売部品

4. 室内ユニット関連部品取付図 (天井吊形)

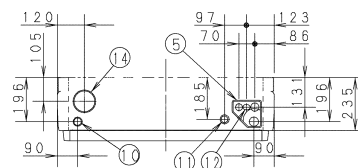
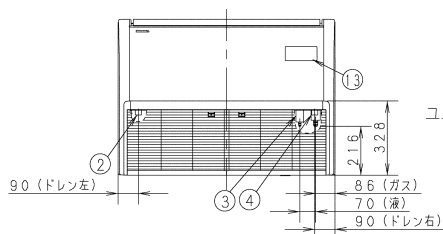
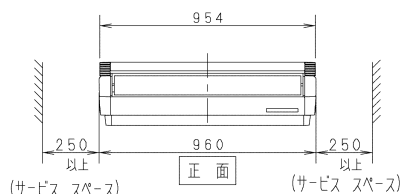
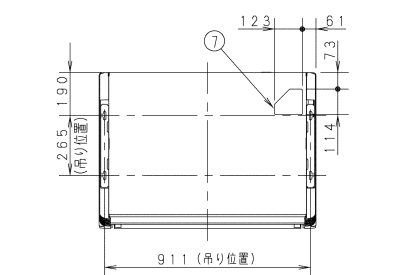
■ファルターチャンバー (CZ-56FBCT)

●S-G36・45・56TT1

①	ドレンロ VP20 (内径φ26、ホース付属)
②	ドレン左配管用
③	冷媒配管 (液管)
④	冷媒配管 (ガス管)
⑤	後配管取出口
⑥	壁面配管穴 (φ100穴)
⑦	上配管取出口
⑧	右配管取出口 (ノックアウト穴)
⑨	ドレン左配管取出口 (ノックアウト穴)
⑩	ドレン左配管背面取出口 (ノックアウト穴)
⑪	電源取入口
⑫	リモコン線取入口
⑬	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑭	丸合フランジ<外気取り入れ用> (別売) 取付部 φ100
⑮	高性能フィルター (CZ-56MFT, 別売品)
⑯	超ロングライフフィルター (CZ-56FLT, 別売品)
⑰	フィルターチャンバー (CZ-56FBCT, 別売品)



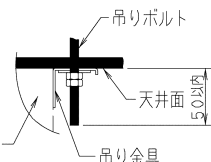
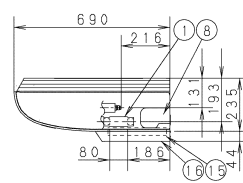
●水平もしくは、ドレン配管側
および背面を下げる。



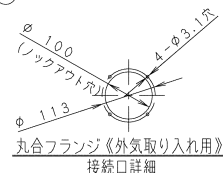
ユニット背面穴位置 (正面より図示)



壁面配管穴位置
(正面より図示)



吊りボルト長さ

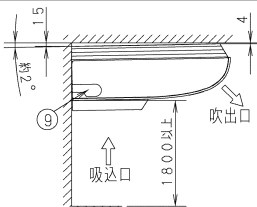


丸合フランジ《外気取り入れ用》
接続口詳細

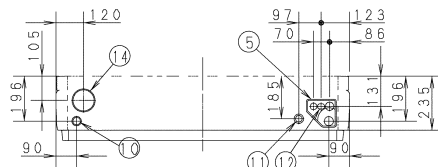
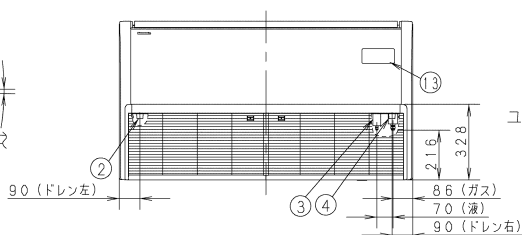
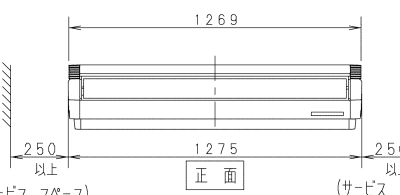
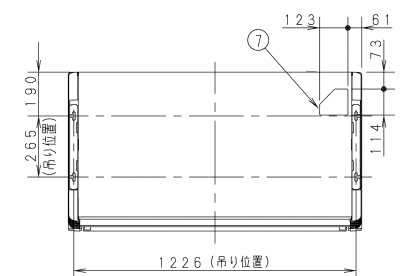
■ファルターチャンバー (CZ-80FBCT)

●S-G71・80・90TT1

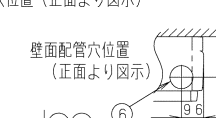
①	ドレンロ VP20 (内径φ26、ホース付属)
②	ドレン左配管用
③	冷媒配管 (液管)
④	冷媒配管 (ガス管)
⑤	後配管取出口
⑥	壁面配管穴 (φ100穴)
⑦	上配管取出口
⑧	右配管取出口 (ノックアウト穴)
⑨	ドレン左配管取出口 (ノックアウト穴)
⑩	ドレン左配管背面取出口 (ノックアウト穴)
⑪	電源取入口
⑫	リモコン線取入口
⑬	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑭	丸合フランジ<外気取り入れ用> (別売) 取付部 φ100
⑮	高性能フィルター (CZ-80MFT, 別売品)
⑯	超ロングライフフィルター (CZ-80FLT, 別売品)
⑰	フィルターチャンバー (CZ-80FBCT, 別売品)



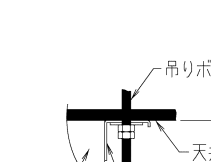
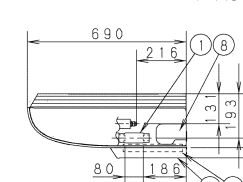
●水平もしくは、ドレン配管側
および背面を下げる。



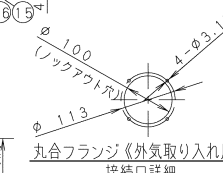
ユニット背面穴位置 (正面より図示)



壁面配管穴位置
(正面より図示)



吊りボルト長さ



丸合フランジ《外気取り入れ用》
接続口詳細

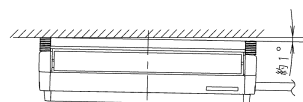
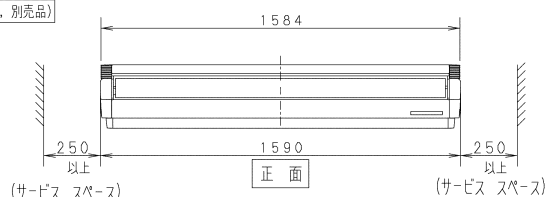
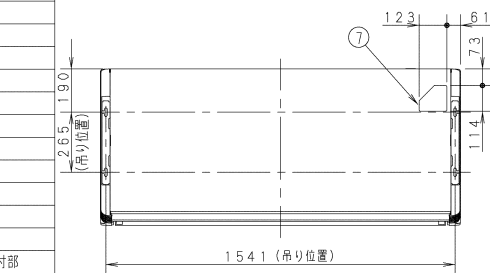
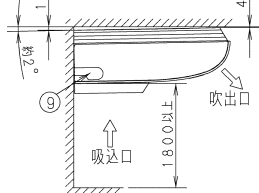
別売部品

4. 室内ユニット関連部品取付図 (天井吊形)

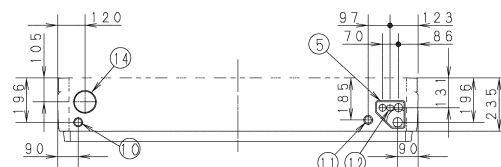
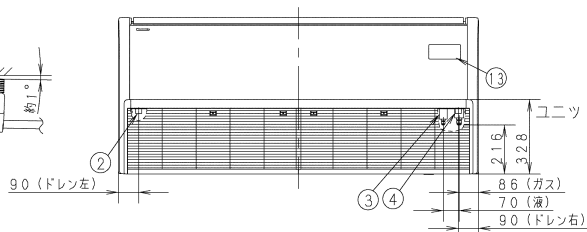
■ファルターチャンバー (CZ-160FBCT)

●S-G112・140・160TT1

①	ドレン口 VP20 (内径φ26、ホース付属)
②	ドレン左配管用
③	冷媒配管 (液管)
④	冷媒配管 (ガス管)
⑤	後配管取出口
⑥	壁面配管穴 (φ100穴)
⑦	上配管取出口
⑧	右配管取出口 (ノックアウト穴)
⑨	ドレン左配管取出口 (ノックアウト穴)
⑩	ドレン左配管背面取出口 (ノックアウト穴)
⑪	電源取入口
⑫	リモコン線取入口
⑬	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑭	丸合フランジ<外気取り入れ用> (別売) 取付部 φ100
⑮	高性能フィルター (CZ-160MFT, 別売品)
⑯	超ロングライフフィルター (CZ-160FLT, 別売品)
⑰	フィルターチャンバー (CZ-160FBCT, 別売品)

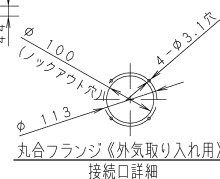
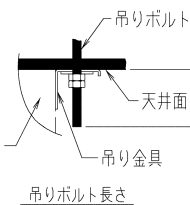
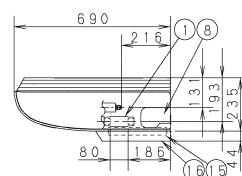


●水平もしくは、ドレン配管側
および背面を下げる。



ユニット背面穴位置 (正面より図示)

壁面配管穴位置
(正面より図示)



丸合フランジ《外気取り入れ用》
接続口詳細

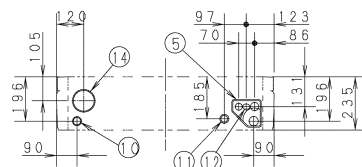
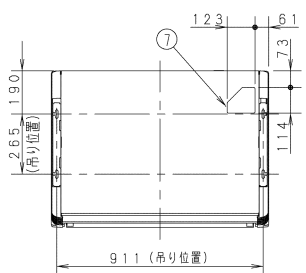
別売部品

4. 室内ユニット関連部品取付図 (天井吊形)

■オイルミストフィルター (CZ-56FBT)

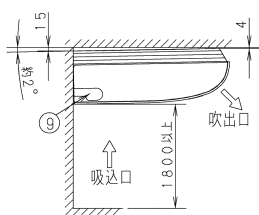
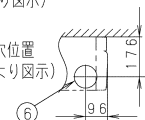
●S-G36・45・56TT1

①	ドレン口 VP20 (内径φ26、ホース付属)
②	ドレン左配管用
③	冷媒配管 (液管)
④	冷媒配管 (ガス管)
⑤	後配管取出口
⑥	壁面配管穴 (φ100穴)
⑦	上配管取出口
⑧	右配管取出口 (ノックアウト穴)
⑨	ドレン左配管取出口 (ノックアウト穴)
⑩	ドレン左配管背面取出口 (ノックアウト穴)
⑪	電源取入口
⑫	リモコン線取入口
⑬	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑭	丸合フランジ<外気取り入れ用> (別売) 取付部 φ100
⑮	オイルミストフィルター CZ-56FBT

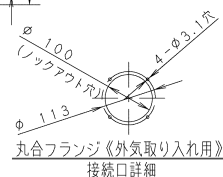
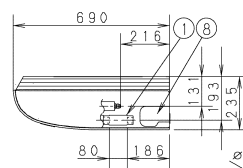
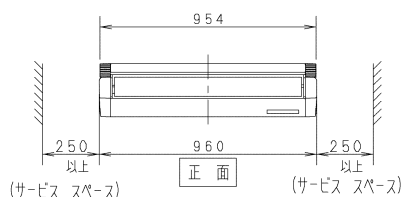


ユニット背面穴位置 (正面より図示)

壁面配管穴位置 (正面より図示)



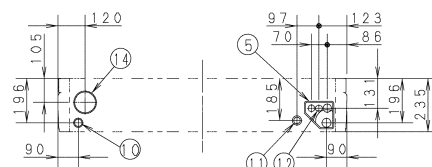
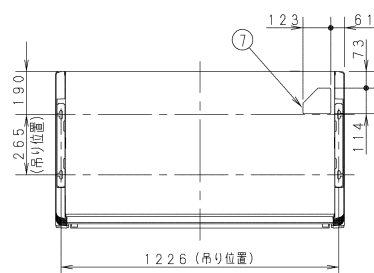
●水平もしくは、ドレン配管側および背面を下げる。



■オイルミストフィルター (CZ-80FBT)

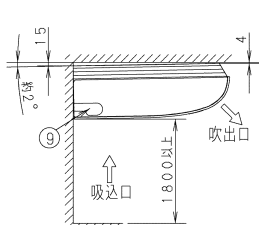
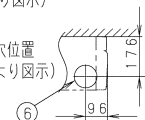
●S-G71・80・90TT1

①	ドレン口 VP20 (内径φ26、ホース付属)
②	ドレン左配管用
③	冷媒配管 (液管)
④	冷媒配管 (ガス管)
⑤	後配管取出口
⑥	壁面配管穴 (φ100穴)
⑦	上配管取出口
⑧	右配管取出口 (ノックアウト穴)
⑨	ドレン左配管取出口 (ノックアウト穴)
⑩	ドレン左配管背面取出口 (ノックアウト穴)
⑪	電源取入口
⑫	リモコン線取入口
⑬	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑭	丸合フランジ<外気取り入れ用> (別売) 取付部 φ100
⑮	オイルミストフィルター CZ-80FBT

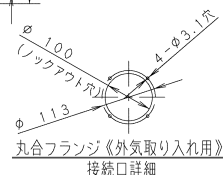
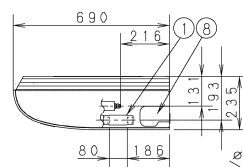
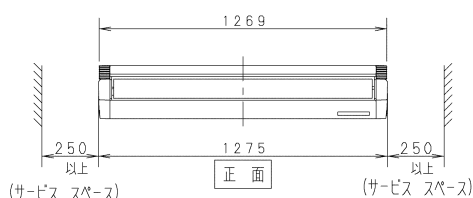


ユニット背面穴位置 (正面より図示)

壁面配管穴位置 (正面より図示)



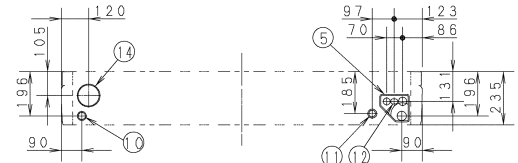
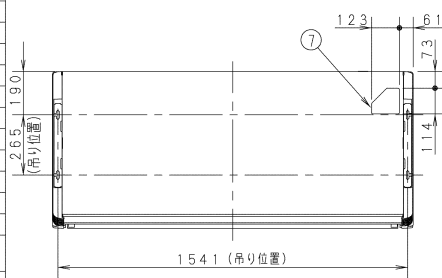
●水平もしくは、ドレン配管側および背面を下げる。



■オイルミストフィルター (CZ-160FBT)

●S-G112・140・160TT1

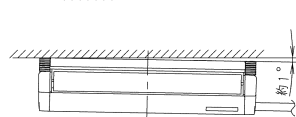
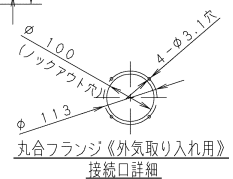
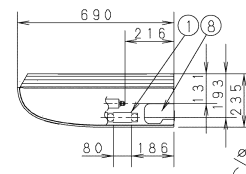
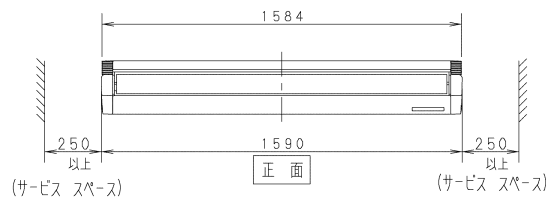
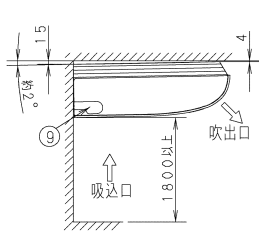
①	ドレンロ VP20 (内径φ26、ホース付属)
②	ドレン左配管用
③	冷媒配管 (液管)
④	冷媒配管 (ガス管)
⑤	後配管取出口
⑥	壁面配管穴 (φ100穴)
⑦	上配管取出口
⑧	右配管取出口 (ノックアウト穴)
⑨	ドレン左配管取出口 (ノックアウト穴)
⑩	ドレン左配管背面取出口 (ノックアウト穴)
⑪	電源取入口
⑫	リモコン線取入口
⑬	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑭	丸合フランジ<外気取り入れ用> (別売) 取付部 φ100
⑮	オイルミストフィルター CZ-160FBT



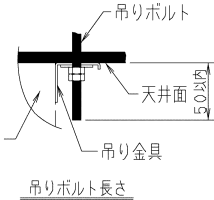
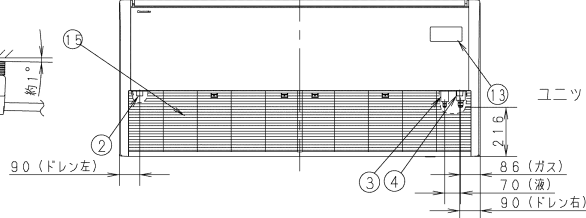
ユニット背面穴位置 (正面より図示)



壁面配管穴位置 (正面より図示)



●水平もしくは、ドレン配管側および背面を下げる。

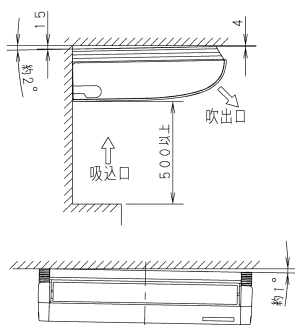


吊りボルト長さ

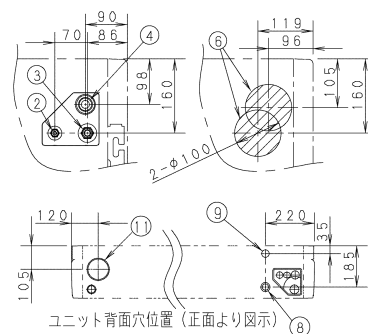
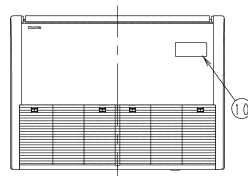
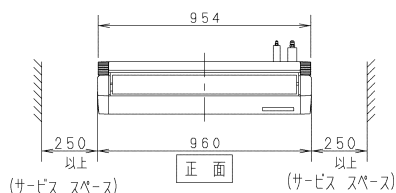
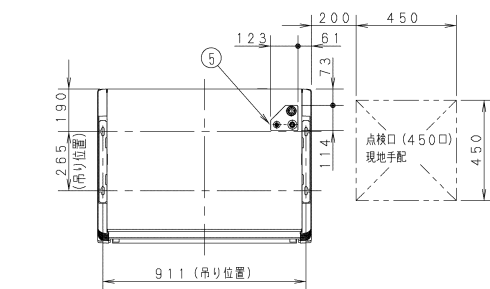
■ドレンアップキット (CZ-56DMTA)

●S-G36・45・56TT1

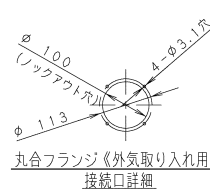
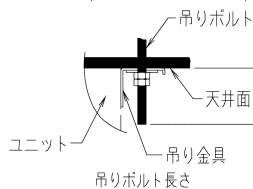
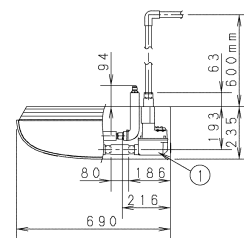
①	ドレンアップキット (CZ-56DMTA)
②	冷媒配管 (液管)
③	冷媒配管 (ガス管)
④	ドレンアップキット排水口 (20A)
⑤	上配管取出口カバー
⑥	天井壁面穴 (2-φ100穴)
⑦	上配管取出口
⑧	電源取入口
⑨	リモコン線取入口
⑩	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑪	丸合フランジ《外気取り入れ用》(別売) 取付部 φ100



●水平もしくは、ドレン配管側
および背面を下げる。



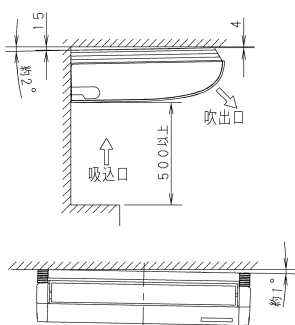
ユニット背面穴位置 (正面より図示)



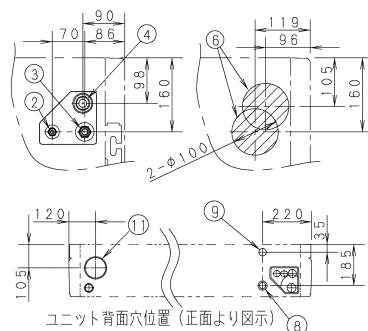
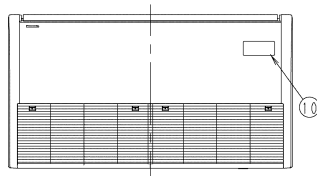
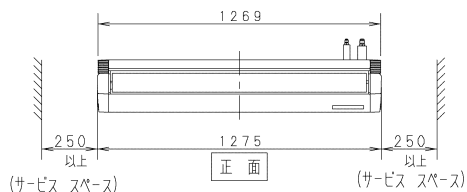
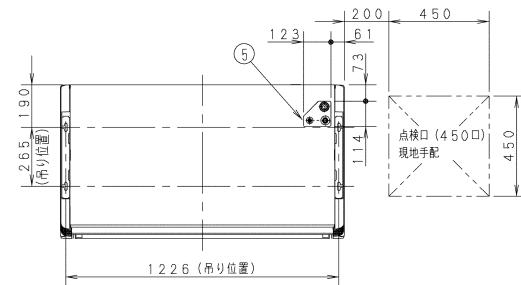
■ドレンアップキット (CZ-160DMTA)

●S-G71・80・90TT1

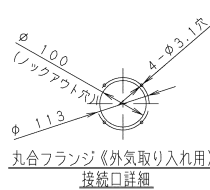
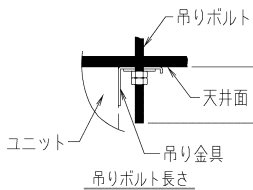
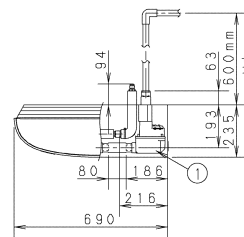
①	ドレンアップキット (CZ-160DMTA)
②	冷媒配管 (液管)
③	冷媒配管 (ガス管)
④	ドレンアップキット排水口 (20A)
⑤	上配管取出口カバー
⑥	天井壁面穴 (2-φ100穴)
⑦	上配管取出口
⑧	電源取入口
⑨	リモコン線取入口
⑩	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑪	丸合フランジ《外気取り入れ用》(別売) 取付部 φ100



●水平もしくは、ドレン配管側
および背面を下げる。



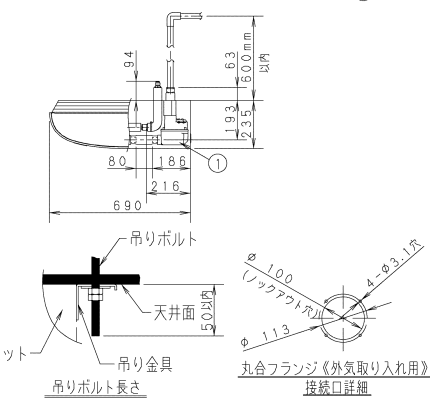
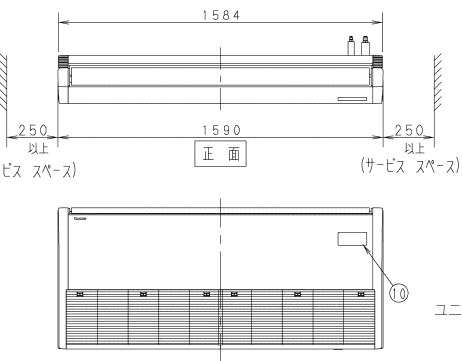
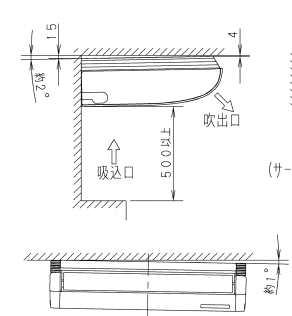
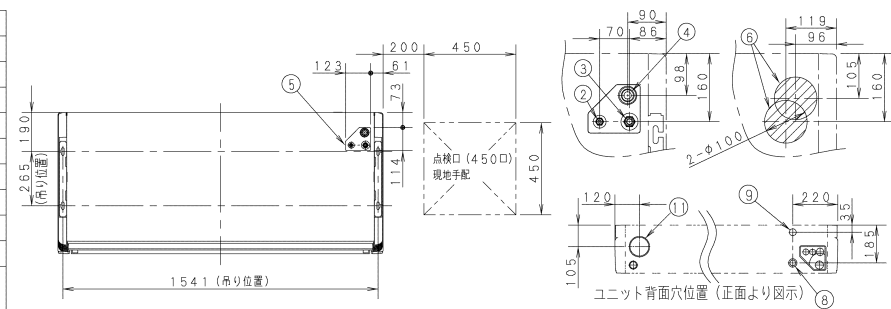
ユニット背面穴位置 (正面より図示)



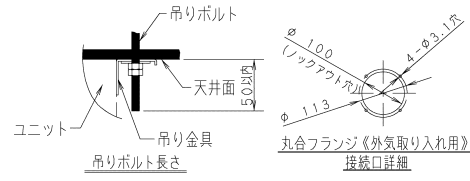
■ドレンアップキット (CZ-160DMTA)

●S-G112・140・160TT1

①	ドレンアップキット (CZ-160DMTA)
②	冷媒配管 (液管)
③	冷媒配管 (ガス管)
④	ドレンアップキット排水口 (20A)
⑤	上配管取出口カバー
⑥	天井壁面穴 (2-φ100穴)
⑦	上配管取出口
⑧	電源取入口
⑨	リモコン線取入口
⑩	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑪	丸合フランジ《外気取り入れ用》(別売) 取付部 φ100



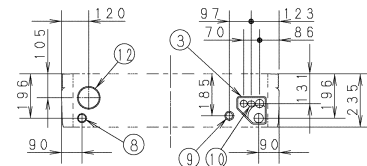
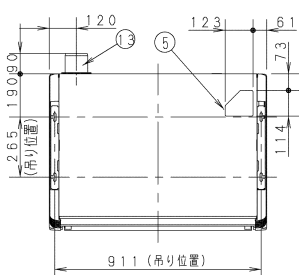
●水平もしくは、ドレン配管側
および背面を下げる。



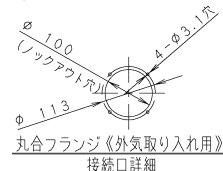
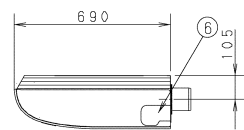
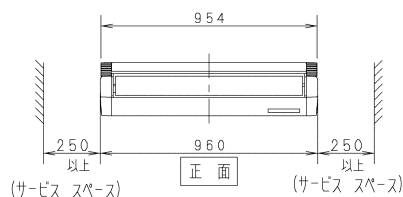
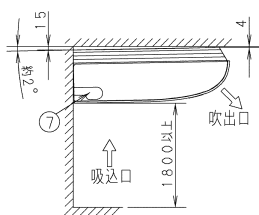
■丸合いフランジ<外気取入れ用> (φ 100) <CZ-DA100>

●S-G36・45・56TT1

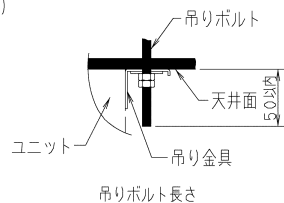
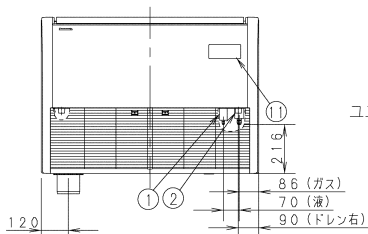
①	冷媒配管 (液管)
②	冷媒配管 (ガス管)
③	後配管取出口
④	壁面配管穴 (φ100穴)
⑤	上配管取出口
⑥	右配管取出口 (ノックアウト穴)
⑦	ドレン左配管取出口 (ノックアウト穴)
⑧	ドレン左配管背面取出口 (ノックアウト穴)
⑨	電源取入口
⑩	リモコン線取入口
⑪	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑫	丸合フランジ<外気取入れ用> (別売) 取付部 φ100
⑬	丸合フランジ<外気取入れ用> CZ-DA100 (別売品) φ100



ユニット背面穴位置 (正面より図示)



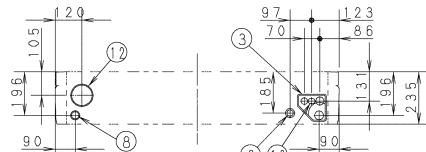
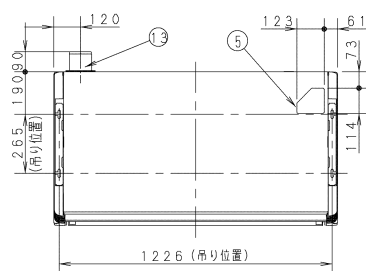
●水平もしくは、ドレン配管側および背面を下げる。



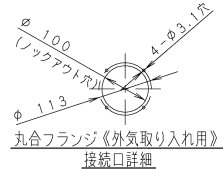
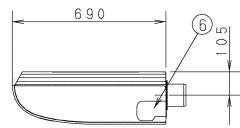
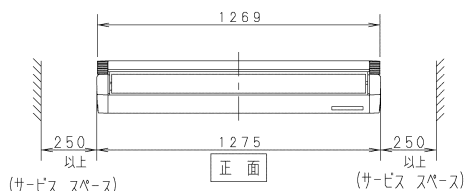
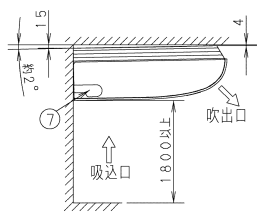
■丸合いフランジ<外気取入れ用> (φ 100) <CZ-DA100>

●S-G71・80・90TT1

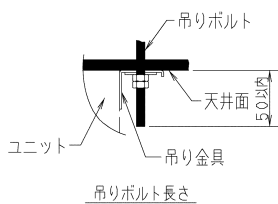
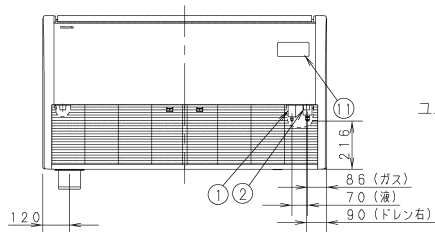
①	冷媒配管 (液管)
②	冷媒配管 (ガス管)
③	後配管取出口
④	壁面配管穴 (φ100穴)
⑤	上配管取出口
⑥	右配管取出口 (ノックアウト穴)
⑦	ドレン左配管取出口 (ノックアウト穴)
⑧	ドレン左配管背面取出口 (ノックアウト穴)
⑨	電源取入口
⑩	リモコン線取入口
⑪	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑫	丸合フランジ<外気取入れ用> (別売) 取付部 φ100
⑬	丸合フランジ<外気取入れ用> CZ-DA100 (別売品) φ100



ユニット背面穴位置 (正面より図示)



●水平もしくは、ドレン配管側および背面を下げる。

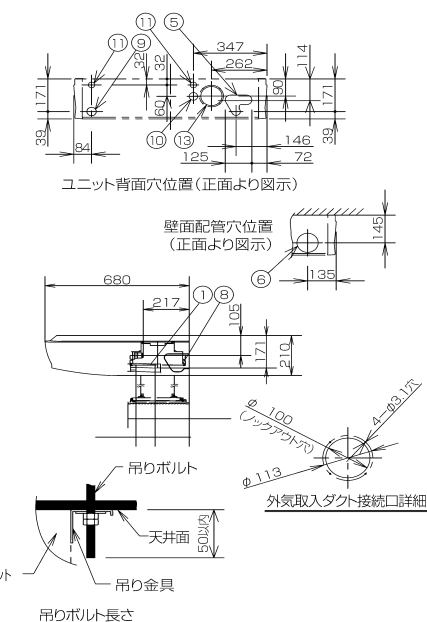
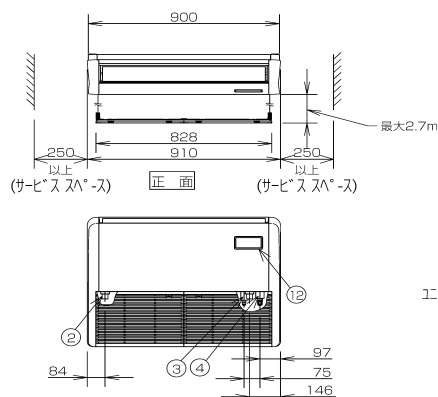
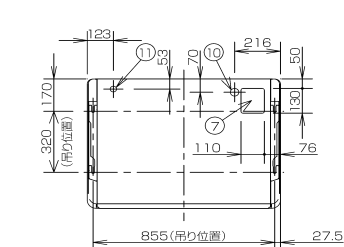
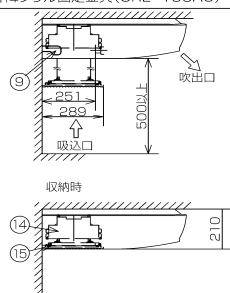


4. 室内ユニット関連部品取付図 (天井吊形)

■昇降グリルメカキット（CZ-06KSKD3）・昇降グリル固定金具（GRL-T56AU）

●S-G 3 6 · 4 5 · 5 6 T S 1

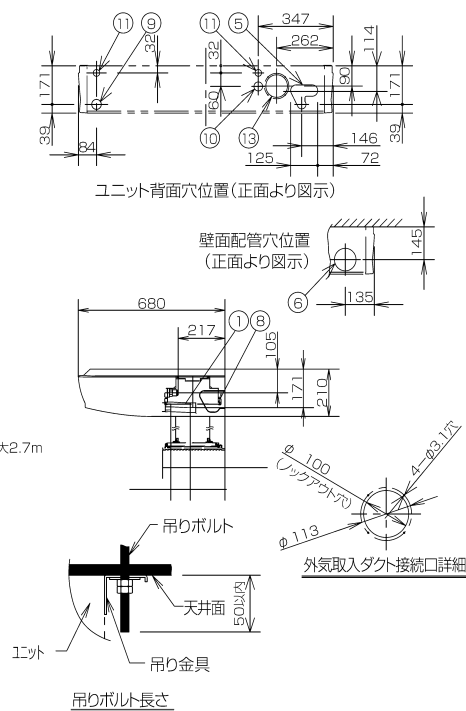
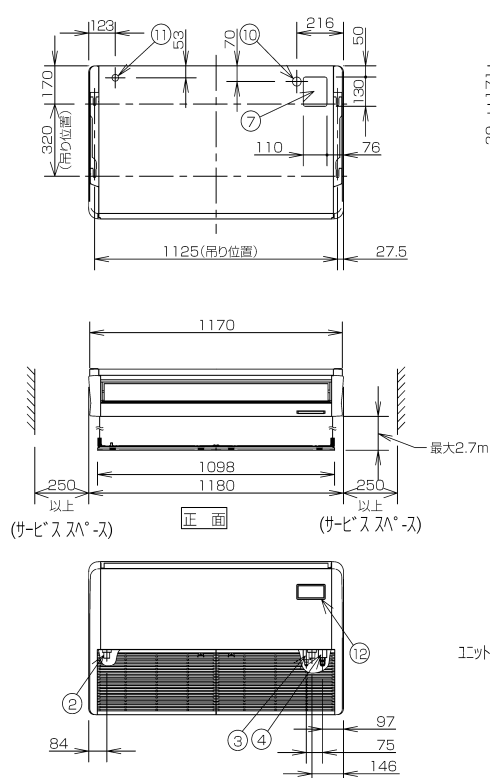
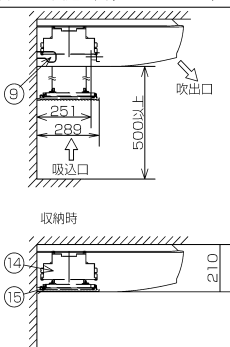
①	ドレン口 VP20(内径φ26、ホース付属)
②	ドレン左配管用
③	冷媒配管(液管)
④	冷媒配管(ガス管)
⑤	後配管取出口
⑥	壁面配管穴(φ100穴)
⑦	上配管取出口(ノックアウト穴)
⑧	右配管取出口(ノックアウト穴)
⑨	ドレン左配管取出口(ノックアウト穴)
⑩	電源取入口(ノックアウト穴 φ40)
⑪	リモコン配線取入口
⑫	昇降グリル受信部取付部
⑬	外気取入ダクト接続口(ノックアウト穴 φ100)
⑭	昇降グリルメカケット(CZ-06KSKD3)
⑮	昇降グリル固定金具(GRL-T56AU)



■昇降グリルメカキット (CZ-06KSKD3)・昇降グリル固定金具 (GRL-T80AU)

●S-G71・80・90TS1

①	ドレン口 VP20(内径φ26、ホース付属)
②	ドレン左配管用
③	冷媒配管(液管)
④	冷媒配管(ガス管)
⑤	後配管取出口
⑥	壁面配管穴(φ100穴)
⑦	上配管取出口(ノックアウト穴)
⑧	右配管取出口(ノックアウト穴)
⑨	ドレン左配管取出口(ノックアウト穴)
⑩	電源取入口(ノックアウト穴 φ40)
⑪	リモコン配線取入口
⑫	昇降گرلリ受信部取付部
⑬	外気取入ダクト接続口(ノックアウト穴 φ100)
⑭	昇降گرلメカキット(CZ-06KSKD3)
⑮	昇降گرلリ固定金具(GRL-TBOAU)



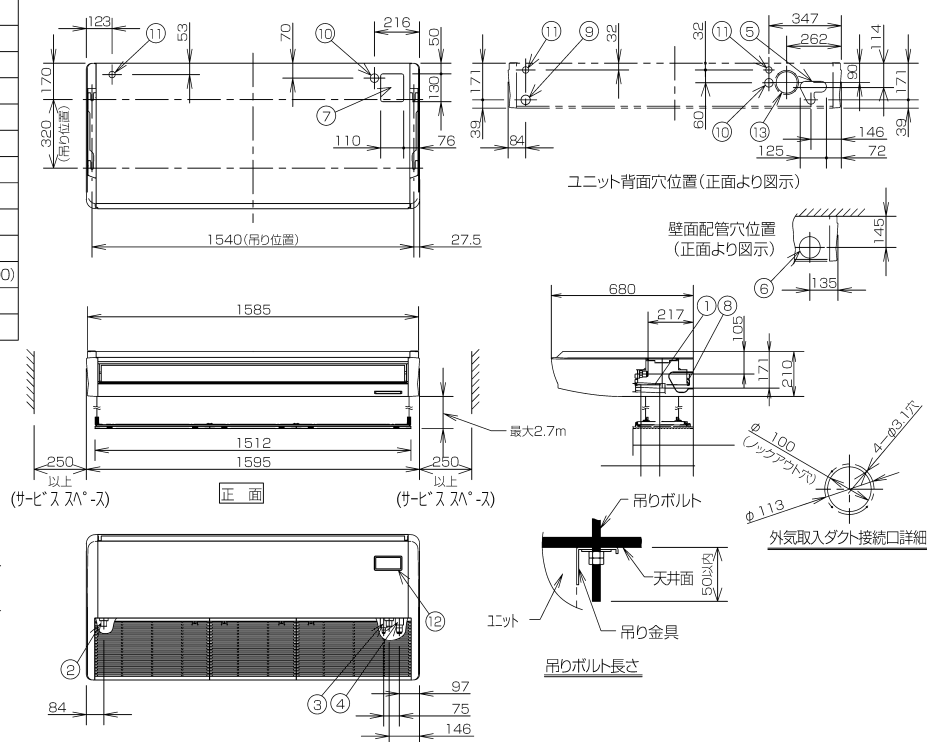
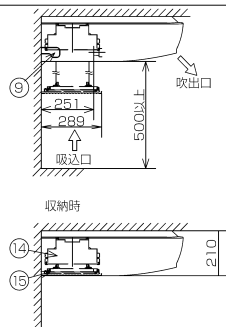
別売部品

4. 室内ユニット関連部品取付図 (天井吊形)

■昇降グリルメカキット（CZ-06KSKD3）・昇降グリル固定金具（GRL-T160AU）

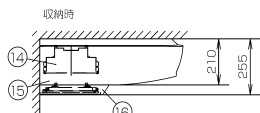
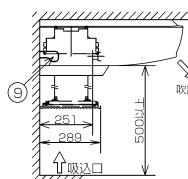
● G 1 1 2 · 1 4 0 · 1 6 0 T S 1

①	ドレン口 VP20(内径φ26、ホース付属)
②	ドレン左配管用
③	冷媒配管(液管)
④	冷媒配管(ガス管)
⑤	後配管取出口
⑥	壁面配管穴(φ100穴)
⑦	上配管取出口(ノックアウト穴)
⑧	右配管取出口(ノックアウト穴)
⑨	ドレン左配管取出口(ノックアウト穴)
⑩	電源取出口(ノックアウト穴 φ40)
⑪	リモコン配線取入口
⑫	昇降グリル受信部取付部
⑬	外気取込ダクト接続口(ノックアウト穴 φ100)
⑭	昇降グリルメカキット(CZ-06KSKD3)
⑮	昇降グリル固定金具(GRL-T1 60AU)

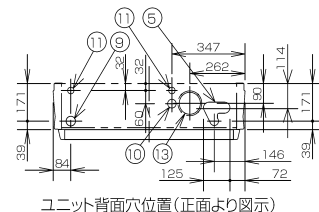
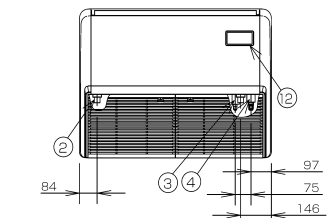
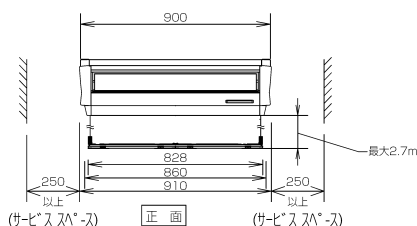
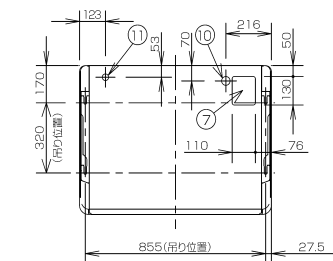


■フィルターチャンバー (CMB-FT56A)・昇降グリルメカキット (CZ-06KSKD3)
昇降グリル固定金具 (GRL-T56AU)
●S-G36・45・56TS1

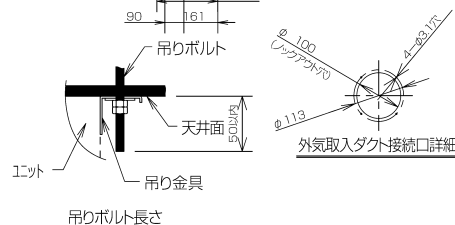
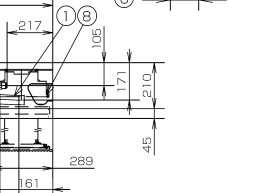
①	ドレン口 VP20(内径φ26、ホース付属)
②	ドレン左配管用
③	冷媒配管(液管)
④	冷媒配管(ガス管)
⑤	後配管取出口
⑥	壁面配管穴(φ100穴)
⑦	上配管取出口(ノックアウト穴)
⑧	右配管取出口(ノックアウト穴)
⑨	ドレン左配管取出口(ノックアウト穴)
⑩	電源取入口(ノックアウト穴 φ40)
⑪	リモコン配線取入口
⑫	昇降グリル受信部取付部
⑬	外気取入ダクト接続口(ノックアウト穴 φ100)



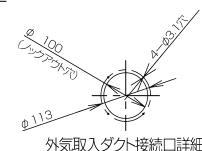
⑭	昇降グリルメカキット(CZ-06KSKD3)
⑮	昇降グリル固定金具(GRL-T56AU)
⑯	フィルターチャンバー(CMB-FT56A)



ユニット背面穴位置(正面より図示)



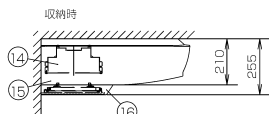
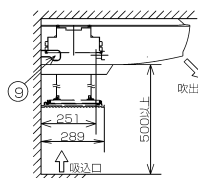
吊りボルト長さ



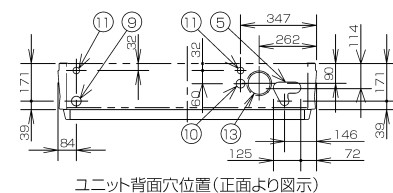
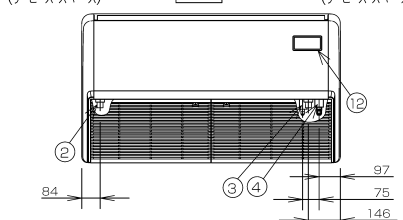
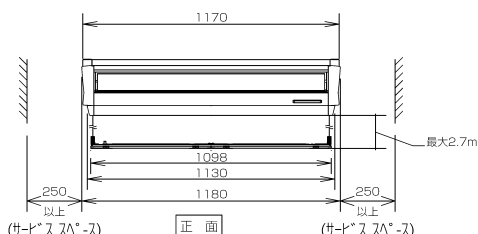
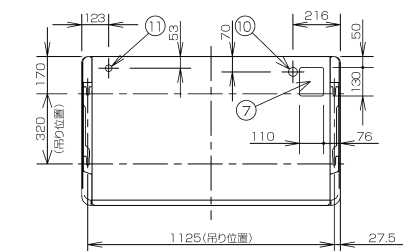
外気取入ダクト接続口詳細

■フィルターチャンバー (CMB-FT80A)・昇降グリルメカキット (CZ-06KSKD3)
昇降グリル固定金具 (GRL-T80AU)
●S-G71・80・90TS1

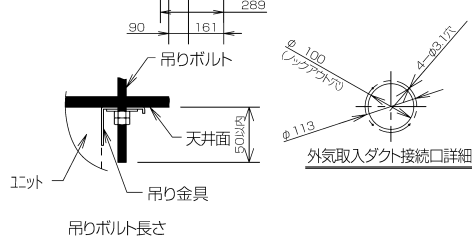
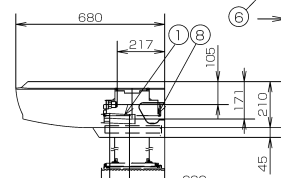
①	ドレン口 VP20(内径φ26、ホース付属)
②	ドレン左配管用
③	冷媒配管(液管)
④	冷媒配管(ガス管)
⑤	後配管取出口
⑥	壁面配管穴(φ100穴)
⑦	上配管取出口(ノックアウト穴)
⑧	右配管取出口(ノックアウト穴)
⑨	ドレン左配管取出口(ノックアウト穴)
⑩	電源取入口(ノックアウト穴 φ40)
⑪	リモコン配線取入口
⑫	昇降グリル受信部取付部
⑬	外気取入ダクト接続口(ノックアウト穴 φ100)



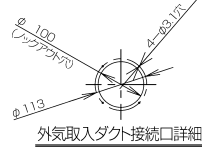
⑭	昇降グリルメカキット(CZ-06KSKD3)
⑮	昇降グリル固定金具(GRL-T80AU)
⑯	フィルターチャンバー(CMB-FT80A)



ユニット背面穴位置(正面より図示)



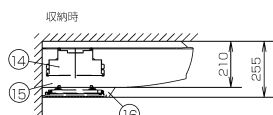
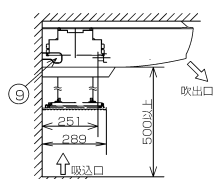
吊りボルト長さ



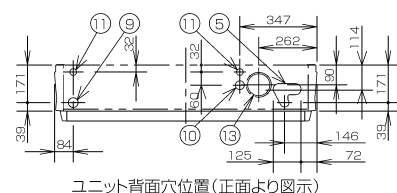
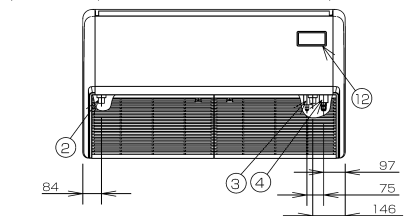
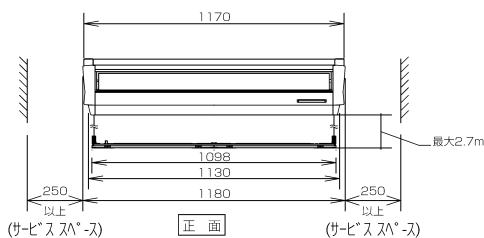
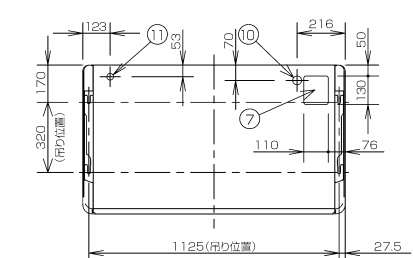
外気取入ダクト接続口詳細

- フィルターチャンバー (CMB-FT160A)・昇降グリルメカキット (CZ-06KSKD3)
 昇降グリル固定金具 (GRL-T160AU)
 ●S-G112・140・160TS1

①	ドレン口 VP20(内径φ26、ホース付属)
②	ドレン左配管用
③	冷媒配管(液管)
④	冷媒配管(ガス管)
⑤	後配管取出口
⑥	壁面配管穴(φ100穴)
⑦	上配管取出口(ノックアウト穴)
⑧	右配管取出口(ノックアウト穴)
⑨	ドレン左配管取出口(ノックアウト穴)
⑩	電源取入口(ノックアウト穴 φ40)
⑪	リモコン配線取入口
⑫	昇降グリル受信部取付部
⑬	外気取入ダクト接続口(ノックアウト穴 φ100)

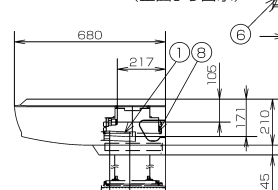


⑭	昇降グリルメカキット(CZ-06KSKD3)
⑮	昇降グリル固定金具(GRL-T80AU)
⑯	フィルターチャンバー(CMB-FT80A)



ユニット背面穴位置(正面より図示)

壁面配管穴位置
(正面より図示)



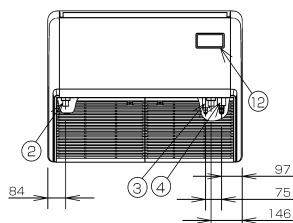
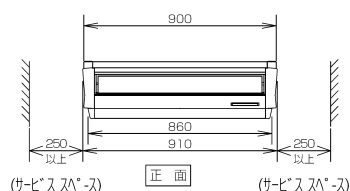
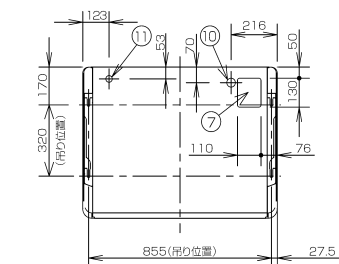
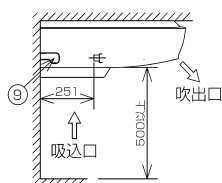
吊りボルト
天井面
吊り金具
吊りボルト長さ

外気取入ダクト接続口詳細

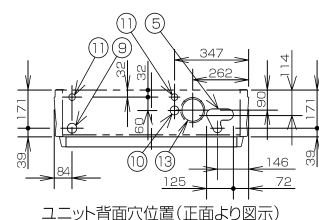
■各フィルター・フィルターチャンバー (CMB-FT56A)

●S-G36・45・56TS1

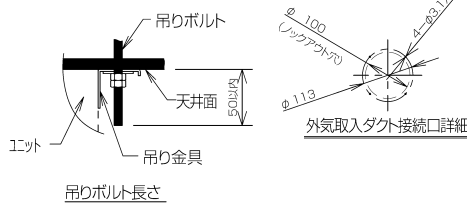
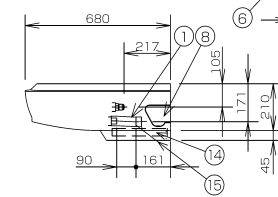
①	ドレン口 VP20(内径φ26、ホース付属)
②	ドレン左配管用
③	冷媒配管(液管)
④	冷媒配管(ガス管)
⑤	後配管取出口
⑥	壁面配管穴(φ100穴)
⑦	上配管取出口(ノックアウト穴)
⑧	右配管取出口(ノックアウト穴)
⑨	ドレン左配管取出口(ノックアウト穴)
⑩	電源取入口(ノックアウト穴 φ40)
⑪	リモコン配線取入口
⑫	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑬	外気取入ダクト接続口(ノックアウト穴 φ100)



⑭	高性能フィルター(AFT-MT56A, 別売品)
	超ロングライフフィルター(AFT-LT56A, 別売品)
	デオドラントフィルター(AFT-DT56A, 別売品)
	アンモニア脱臭フィルター(AFT-DT56A-AM, 別売品)
	光再生脱臭フィルター(AFT-DT56A-PC, 別売品)
⑮	フィルターチャンバー(CMB-FT56A, 別売品)



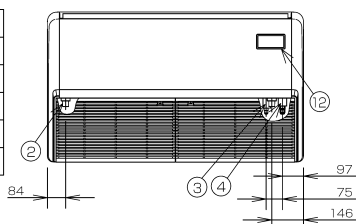
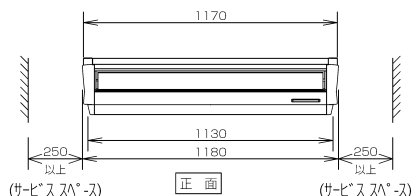
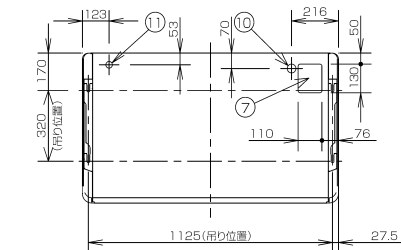
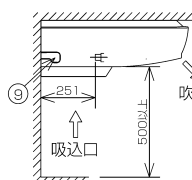
ユニット背面穴位置(正面より図示)



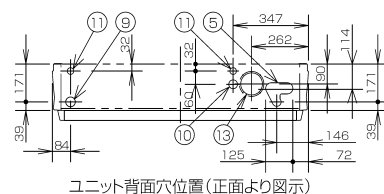
■各フィルター・フィルターチャンバー (CMB-FT80A)

●S-G71・80・90TS1

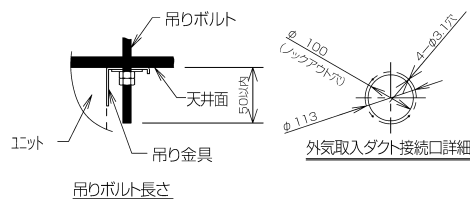
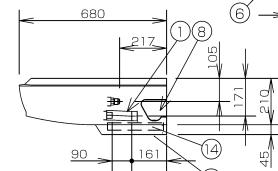
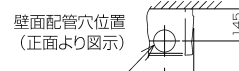
①	ドレン口 VP20(内径φ26、ホース付属)
②	ドレン左配管用
③	冷媒配管(液管)
④	冷媒配管(ガス管)
⑤	後配管取出口
⑥	壁面配管穴(φ100穴)
⑦	上配管取出口(ノックアウト穴)
⑧	右配管取出口(ノックアウト穴)
⑨	ドレン左配管取出口(ノックアウト穴)
⑩	電源取入口(ノックアウト穴 φ40)
⑪	リモコン配線取入口
⑫	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑬	外気取入ダクト接続口(ノックアウト穴 φ100)



⑭	高性能フィルター(AFT-MT80A, 別売品)
	超ロングライフフィルター(AFT-LT80A, 別売品)
	デオドラントフィルター(AFT-DT80A, 別売品)
	アンモニア脱臭フィルター(AFT-DT80A-AM, 別売品)
	光再生脱臭フィルター(AFT-DT80A-PC, 別売品)
⑮	フィルターチャンバー(CMB-FT80A, 別売品)



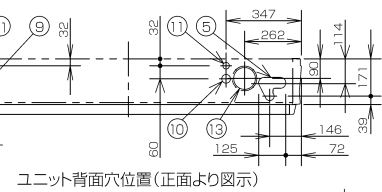
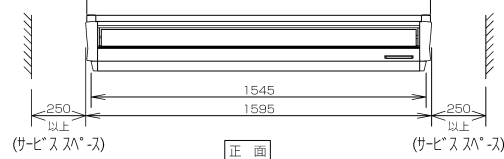
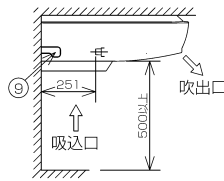
ユニット背面穴位置(正面より図示)



■各フィルター・フィルターチャンバー (CMB-FT160A)

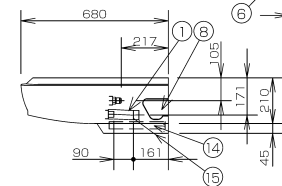
●S-G112・140・160TS1

①	ドレン口 VP20(内径φ26、ホース付属)
②	ドレン左配管用
③	冷媒配管(液管)
④	冷媒配管(ガス管)
⑤	後配管取出口
⑥	壁面配管穴(φ100穴)
⑦	上配管取出口(ノックアウト穴)
⑧	右配管取出口(ノックアウト穴)
⑨	ドレン左配管取出口(ノックアウト穴)
⑩	電源取入口(ノックアウト穴 φ40)
⑪	リモコン配線取入口
⑫	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑬	外気取入ダクト接続口(ノックアウト穴 φ100)

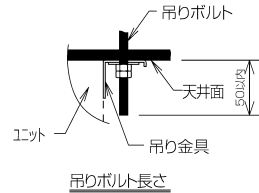
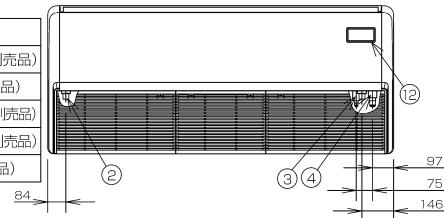


ユニット背面穴位置(正面より図示)

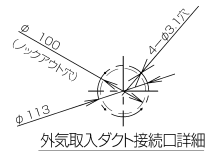
壁面配管穴位置(正面より図示)



⑭	高性能フィルター(AFT-MT160A,別売品)
	超ロングライフフィルター(AFT-LT160A,別売品)
	デオドラントフィルター(AFT-DT160A,別売品)
	アンモニア脱臭フィルター(AFT-DT160A-AM,別売品)
	光再生脱臭フィルター(AFT-DT160A-PC,別売品)
⑮	フィルターチャンバー(CMB-FT160A,別売品)



吊りボルト長さ

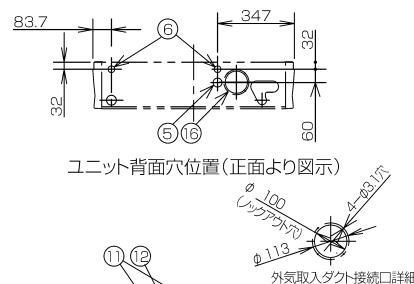
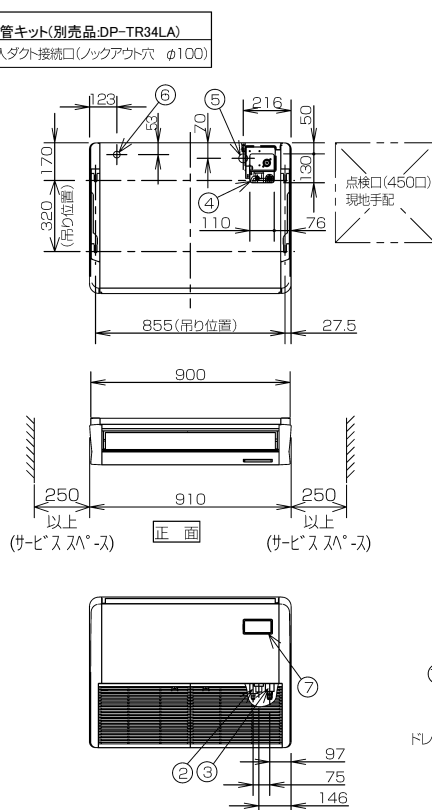
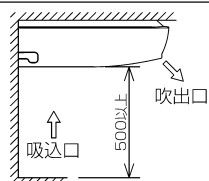


外気取入ダクト接続口詳細

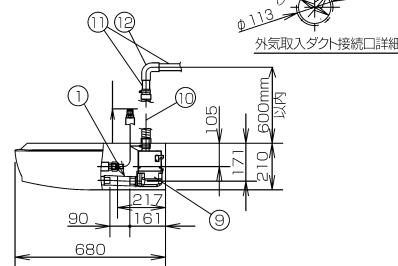
■ドレンアップキット (DP-TR160AN)・L字配管キット (DP-TR34LA)

●S-G36・45・56TS1

① ドレン口 VP20(内径φ26、ホース付属)	⑮ L字配管キット(別売品:DP-TR34LA)
② 冷媒配管(液管)	⑯ 外気取入ダクト接続口(ノックアウト穴 φ100)
③ 冷媒配管(ガス管)	
④ 上配管取出口(ノックアウト穴)	
⑤ 電源取入れ口(ノックアウト穴 φ40)	
⑥ リモコン配線取入れ口	
⑦ ワイヤレスリモコン受信部取付け部	
⑧ 天井面配管取出口(2-φ100穴)	
⑨ ドレンアップキット本体	
⑩ ドレン排水接続ホース(付属)	
⑪ 塩ビ管(25A)(現地手配)	
⑫ エルボ(25A)(現地手配)	
⑬ ドレンアップキット排水口(25A)	
⑭ ドレンアップキット固定金具(付属)	



ユニット背面穴位置(正面より図示)



ドレンアップキット取付状態詳細図
(上面より図示)

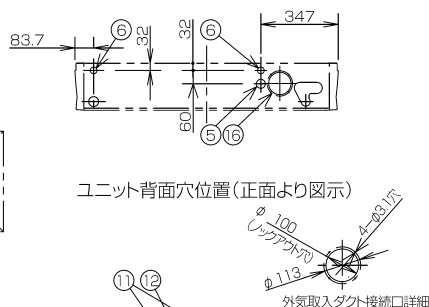
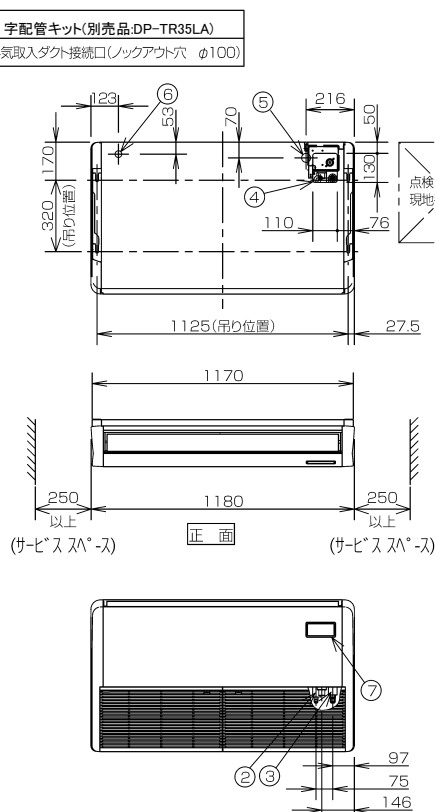
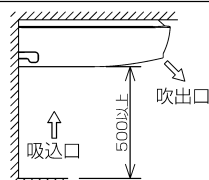
天井面配管取出口位置
(上面より図示)

ドレンアップキット取付時には、必ず別売品のL字配管キットを使用してください。

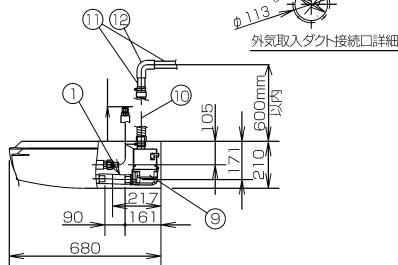
■ドレンアップキット (DP-TR160AN)・L字配管キット (DP-TR35LA)

●S-G71~90TS1

① ドレン口 VP20(内径φ26、ホース付属)	⑮ L字配管キット(別売品:DP-TR35LA)
② 冷媒配管(液管)	⑯ 外気取入ダクト接続口(ノックアウト穴 φ100)
③ 冷媒配管(ガス管)	
④ 上配管取出口(ノックアウト穴)	
⑤ 電源取入れ口(ノックアウト穴 φ40)	
⑥ リモコン配線取入れ口	
⑦ ワイヤレスリモコン受信部取付け部	
⑧ 天井面配管取出口(2-φ100穴)	
⑨ ドレンアップキット本体	
⑩ ドレン排水接続ホース(付属)	
⑪ 塩ビ管(25A)(現地手配)	
⑫ エルボ(25A)(現地手配)	
⑬ ドレンアップキット排水口(25A)	
⑭ ドレンアップキット固定金具(付属)	



ユニット背面穴位置(正面より図示)



ドレンアップキット取付状態詳細図
(上面より図示)

天井面配管取出口位置
(上面より図示)

ドレンアップキット取付時には、必ず別売品のL字配管キットを使用してください。

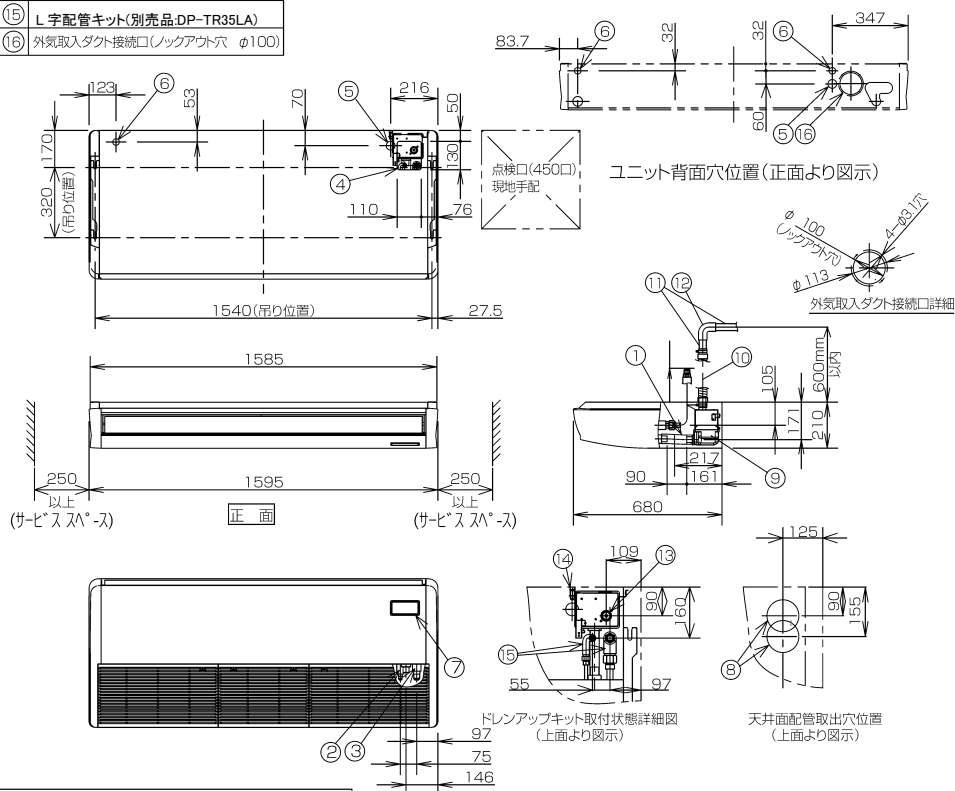
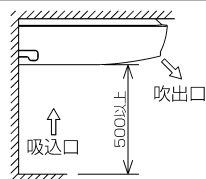
別売部品

4. 室内ユニット関連部品取付図 (天井吊形)

●S-G 1 1 2 ~ 1 6 0 T S 1

①	ドレン口 VP20(内径φ26、ホース付属)
②	冷媒配管(液管)
③	冷媒配管(ガス管)
④	上配管取出し口(ロックアウト穴)
⑤	電源取入れ口(ロックアウト穴 φ40)
⑥	リモコン配線取入れ口
⑦	ワイヤレスリモコン受信部取付け部
⑧	天井面配管取出口(2φ100穴)
⑨	ドレンアップキット本体
⑩	ドレン排水接続ホース(付属)
⑪	瘻ビ管(25A)(現地手配)
⑫	エルボ(25A)(現地手配)
⑬	ドレンアップキット排水口(25A)
⑭	ドレンアップキット固定金具(付属)

⑮	L字配管キット(別売品:DP-TR35LA)
⑯	外気取入ダクト接続口(ノックアウト穴 φ100)

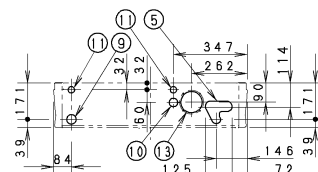
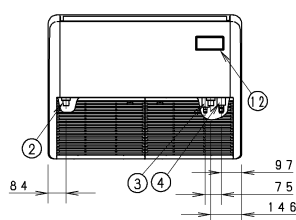
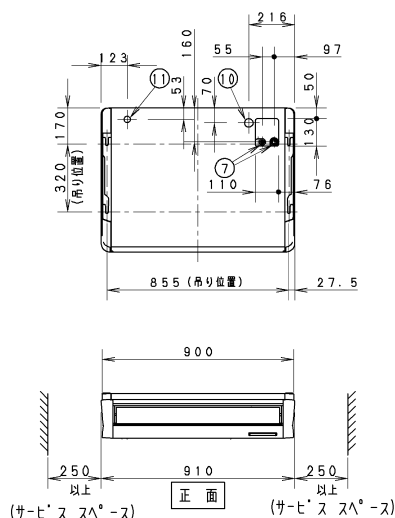
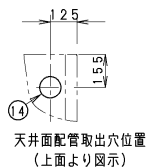
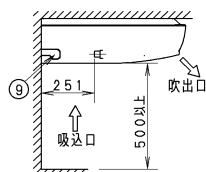


ドレンアップキット取付時には、必ず別売品のL字配管キットを使用してください。

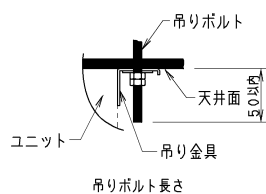
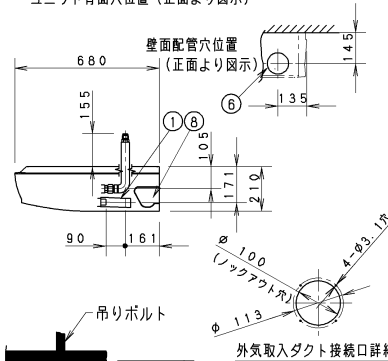
■ L字配管キット (DP-TR34LA)

● S-G36・45・56TS1

①	ドレンロ VP20 (内径φ26、ホース付属)
②	ドレン左配管用
③	冷媒配管 (液管) φ9.52フレア
④	冷媒配管 (ガス管) φ12.7フレア
⑤	後配管取出口
⑥	壁面配管穴 (φ100穴)
⑦	L字配管キット (DP-TR34LA)
⑧	右配管取出口 (ノックアウト穴)
⑨	ドレン左配管取出口 (ノックアウト穴)
⑩	電源取入口 (ノックアウト穴 φ40)
⑪	リモコン配線取入口
⑫	ワイヤレスリモコン受光部取付部
⑬	外気取入ダクト接続口 (ノックアウト穴 φ100)
⑭	天井面配管取出口 (φ100穴)



ユニット背面穴位置 (正面より図示)

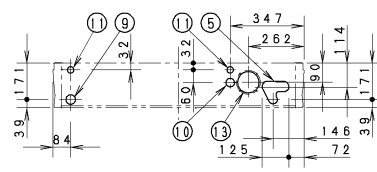
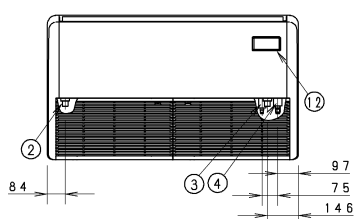
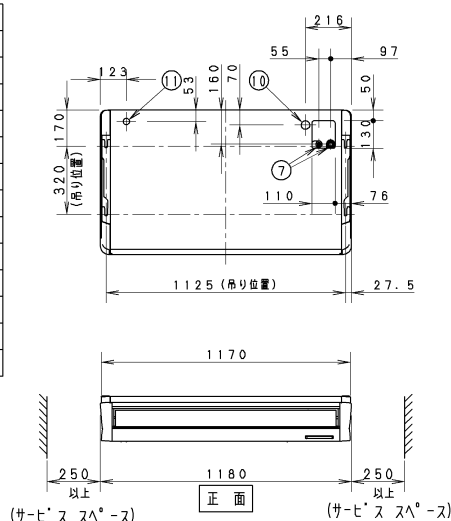
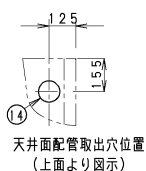
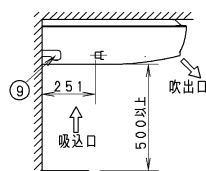


吊りボルト長さ

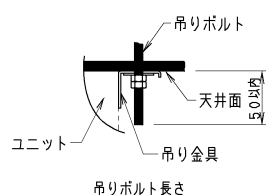
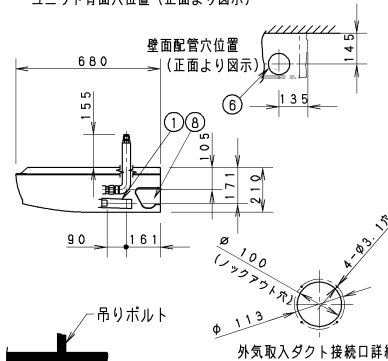
■ L字配管キット (DP-TR35LA)

● S-G71~90TS1

①	ドレンロ VP20 (内径φ26、ホース付属)
②	ドレン左配管用
③	冷媒配管 (液管) φ9.52フレア
④	冷媒配管 (ガス管) φ15.88フレア
⑤	後配管取出口
⑥	壁面配管穴 (φ100穴)
⑦	L字配管キット (DP-TR35LA)
⑧	右配管取出口 (ノックアウト穴)
⑨	ドレン左配管取出口 (ノックアウト穴)
⑩	電源取入口 (ノックアウト穴 φ40)
⑪	リモコン配線取入口
⑫	ワイヤレスリモコン受光部取付部
⑬	外気取入ダクト接続口 (ノックアウト穴 φ100)
⑭	天井面配管取出口 (φ100穴)



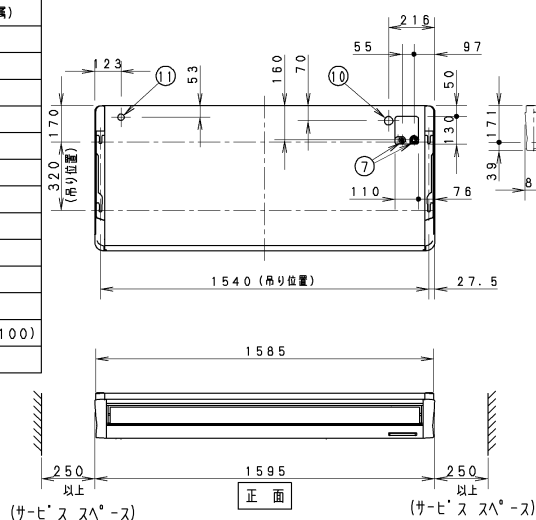
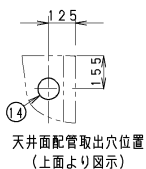
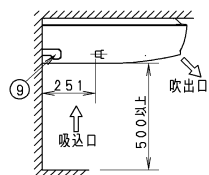
ユニット背面穴位置 (正面より図示)



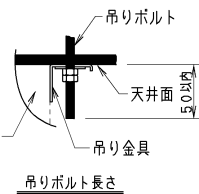
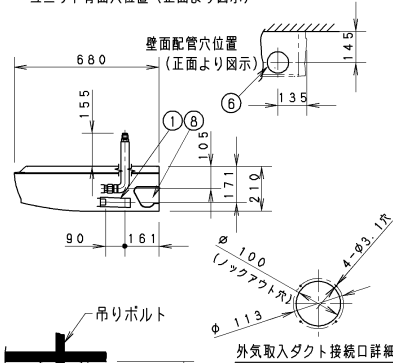
吊りボルト長さ

●G112～160TS1

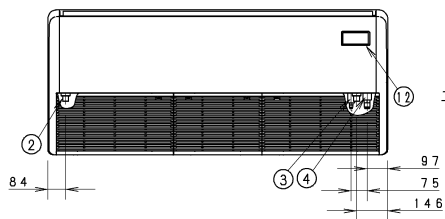
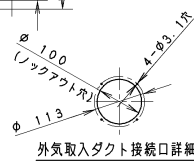
①	ドレンロ VP20 (内径φ26、ホース付属)
②	ドレン左配管用
③	冷暖配管 (液管) φ9.52 フレア
④	冷暖配管 (ガス管) φ15.88 フレア
⑤	検配管取出口
⑥	壁面配管穴 (φ100穴)
⑦	L字配管キット (DP-TR35LA)
⑧	右配管取出口 (ロックアウト穴)
⑨	ドレン左配管取出口 (ロックアウト穴)
⑩	電源取入口 (ロックアウト穴 φ40)
⑪	リモコン配線取入口
⑫	ワイヤレスリモコン受光部取付部
⑬	外気取入ダクト接続口 (ロックアウト穴 φ100)
⑭	天井面配管取出口 (φ100穴)



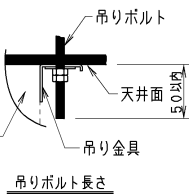
ユニット背面穴位置 (正面より図示)



外気取入ダクト接続口詳細



ユニット

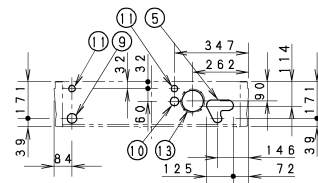
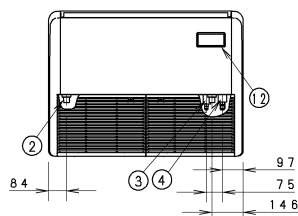
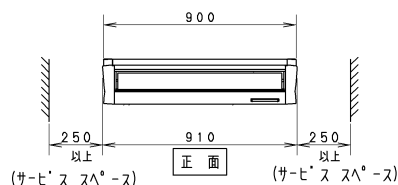
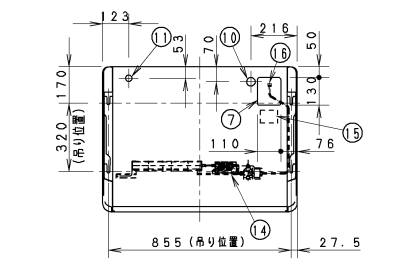
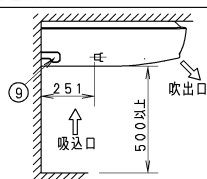


吊りボルト長さ

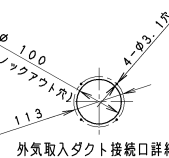
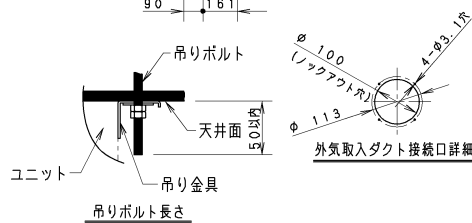
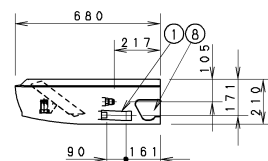
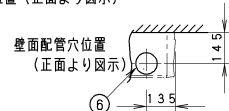
■自然気化式加湿器 (RH-TN05A)

●S-G36・45・56TS1

①	ドレンロ VP20 (内径φ26、ホース付属)
②	ドレン左配管用
③	冷媒配管 (液管) φ9.52フレア
④	冷媒配管 (ガス管) φ12.7 フレア
⑤	後配管取出口
⑥	壁面配管穴 (φ100穴)
⑦	上配管取出口 (ノックアウト穴)
⑧	右配管取出口 (ノックアウト穴)
⑨	ドレン左配管取出口 (ノックアウト穴)
⑩	電源取入口 (ノックアウト穴 φ40)
⑪	リモコン配線取入口
⑫	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑬	外気取入ダクト接続口 (ノックアウト穴 φ100)
⑭	加湿器 (RH-TN05A、別売品)
⑮	制御箱 (RH-TN05Aに付属)
⑯	加湿器給水口



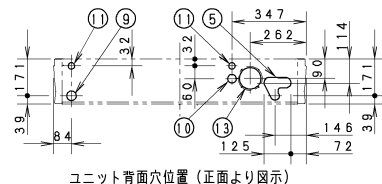
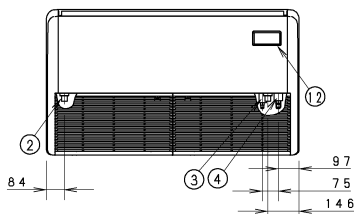
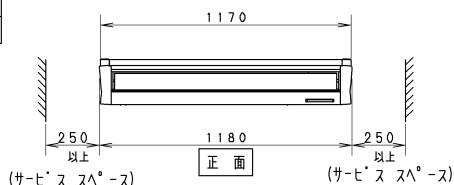
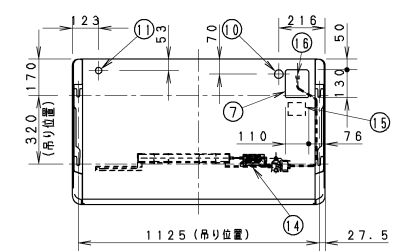
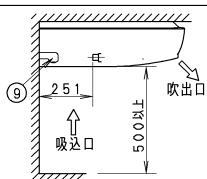
ユニット背面穴位置 (正面より図示)



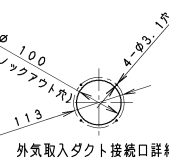
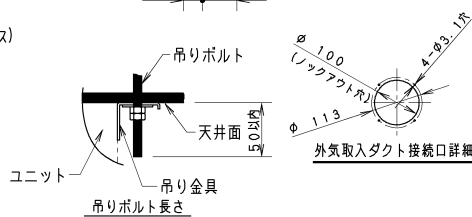
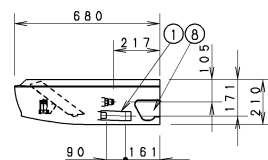
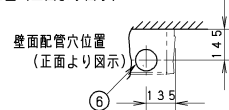
■自然気化式加湿器 (RH-TN07A)

●S-G71・80・91TS1

①	ドレンロ VP20 (内径φ26、ホース付属)
②	ドレン左配管用
③	冷媒配管 (液管) φ9.52フレア
④	冷媒配管 (ガス管) φ15.88フレア
⑤	後配管取出口
⑥	壁面配管穴 (φ100穴)
⑦	上配管取出口 (ノックアウト穴)
⑧	右配管取出口 (ノックアウト穴)
⑨	ドレン左配管取出口 (ノックアウト穴)
⑩	電源取入口 (ノックアウト穴 φ40)
⑪	リモコン配線取入口
⑫	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑬	外気取入ダクト接続口 (ノックアウト穴 φ100)
⑭	加湿器 (RH-TN07A、別売品)
⑮	制御箱 (RH-TN07Aに付属)
⑯	加湿器給水口 (1/4 フレア)



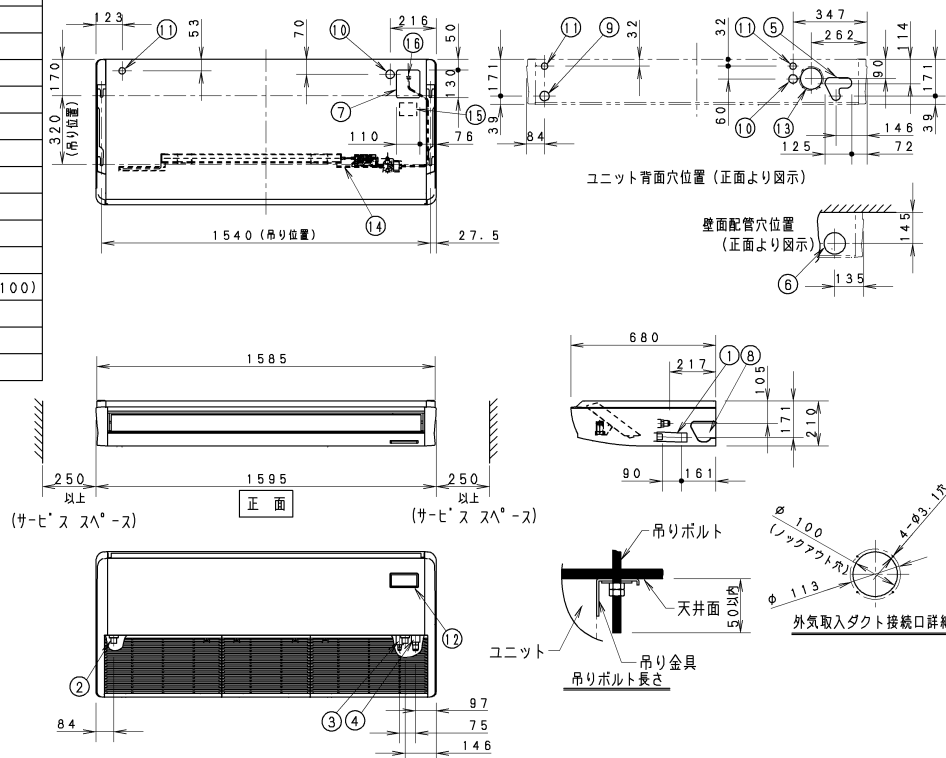
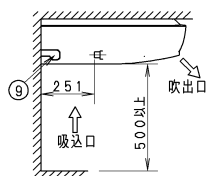
ユニット背面穴位置 (正面より図示)



■自然気化式加湿器 (RH-TN14A)

●S-G112・140・160TS1

①	ドレンロ VP20 (内径φ26、ホース付属)
②	ドレン左配管用
③	冷媒配管 (液管) φ9.52フレア
④	冷媒配管 (ガス管) φ15.88フレア
⑤	排配管取出口
⑥	壁面配管穴 (φ100穴)
⑦	上配管取出口 (ロックアウト穴)
⑧	右配管取出口 (ロックアウト穴)
⑨	トレン左配管取出口 (ロックアウト穴)
⑩	電源取入口 (ロックアウト穴 φ40)
⑪	リモコン配線取入口
⑫	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑬	外気取入ダクト接続口 (ロックアウト穴 φ100)
⑭	加湿器 (RH-TN14A、別売品)
⑮	制御箱 (RH-TN14Aに付属)
⑯	加湿器給水口 (1/4 フレア)



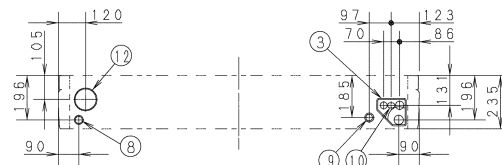
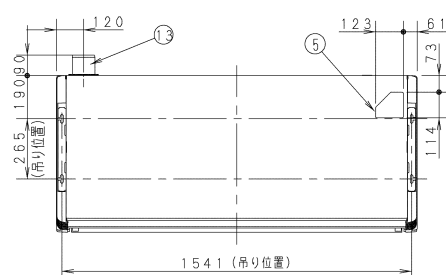
別売部品

4. 室内ユニット関連部品取付図 (天井吊形)

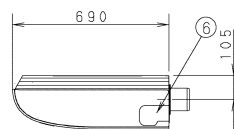
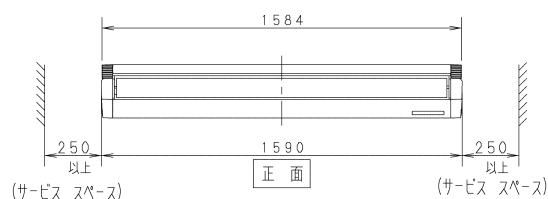
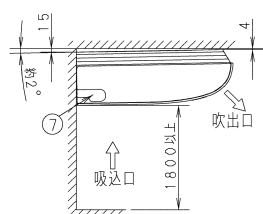
■丸合いフランジ〈外気取入れ用〉(φ 100)〈CZ-DA100〉

●S-G 1 1 2 · 1 4 0 · 1 6 0 T T 1

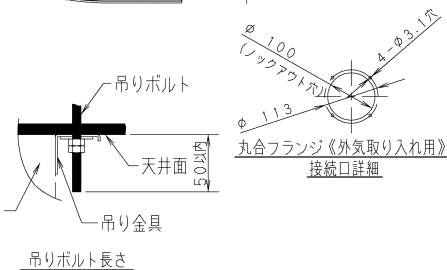
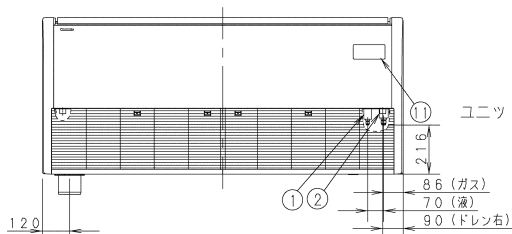
①	冷暖配管（液管）
②	冷暖配管（ガス管）
③	後配管取出口
④	壁面配管穴（φ100穴）
⑤	上配管取出口
⑥	右配管取出口（ノックアウト穴）
⑦	ドレン左配管取出口（ノックアウト穴）
⑧	ドレン左配管背面取出口（ノックアウト穴）
⑨	電源取入口
⑩	リモコン線取入口
⑪	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑫	丸合フランジ<外気取り入れ用>（別売）取付部 φ100
⑬	丸合フランジ<外気取り入れ用> CZ-D A100（別売品） φ100



ユニット背面穴位置（正面より図示）

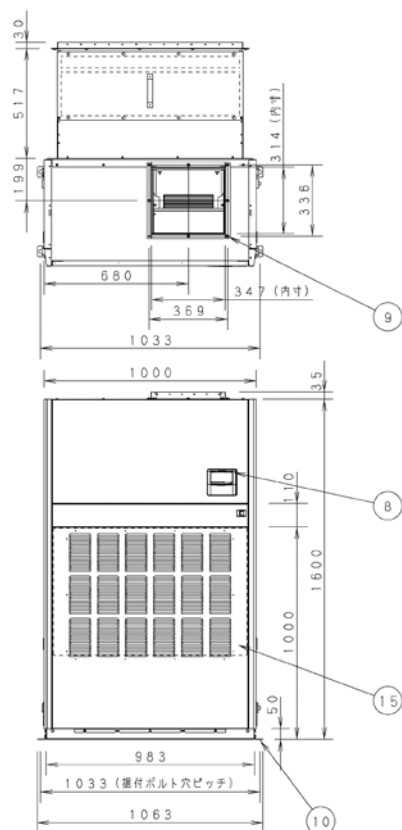


●水平もしくは、ドレン配管側
および背面を下げる。



■フィルターチャンバー (CMB-FE224E)

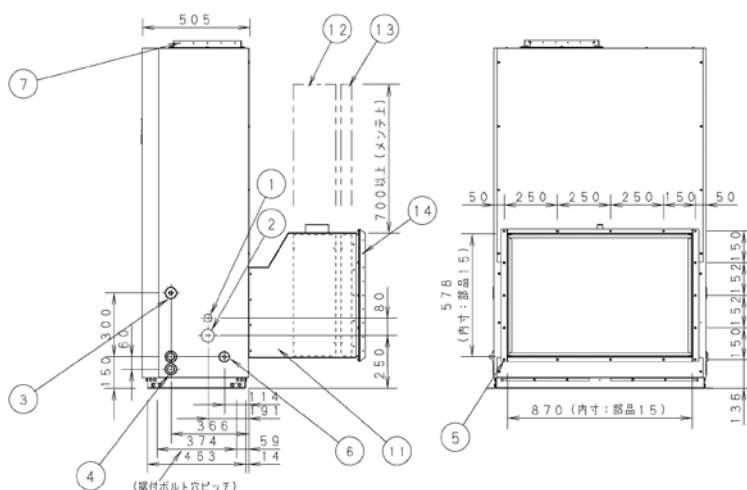
●S-G224BDS2



番号	名称	番号	名称
1	冷暖配管口、液側	9	8-φ8穴 (M6ボルト)
2	冷暖配管口、ガス側	10	据付金具 (据付穴φ16 M10ボルトを推奨する)
3	加温器 (別売品) 配管口	11	フィルターチャンバー (CMB-FE224E) 別売品
4	電源取入口	12	高性能フィルター (AFT-HE224E又はAFT-ME224E) 別売品
5	16-φ10穴 (M6ボルト) (後ろの吸い込み口を併し、16個の穴がある)	13	ロングライフフィルター (AFT-LE224E) 別売品
6	ドレン口 (PS1めねじ)	14	吸込側ダクト用フランジ (DKT-RFD224E) 別売品
7	吹出側ダクト用フランジ	15	新開蓋パネル (PNR-E224E) 別売品
8	コントロールスイッチ		

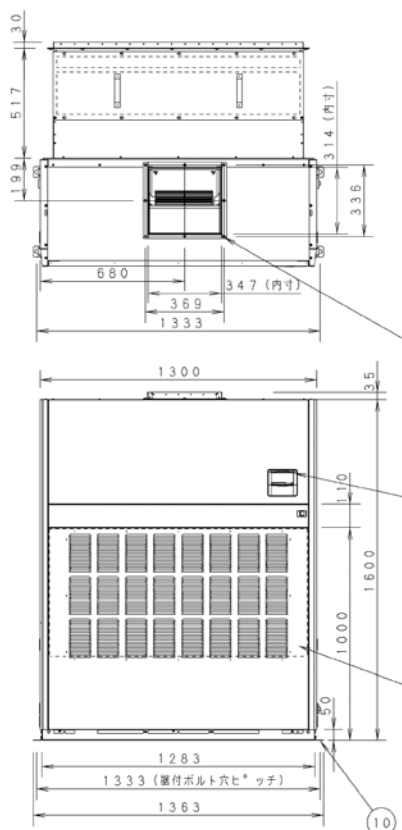
※配管は標準接続となります。(後接続はできません。)

※冷暖配管、電源、ドレン配管はユニット左右取出しが可能です。
※ヒーター配管口 (φ60ノックアウトホール) は、左右にあります。
※フィルターは上面取出してです。



■フィルターチャンバー (CMB-FE280E)

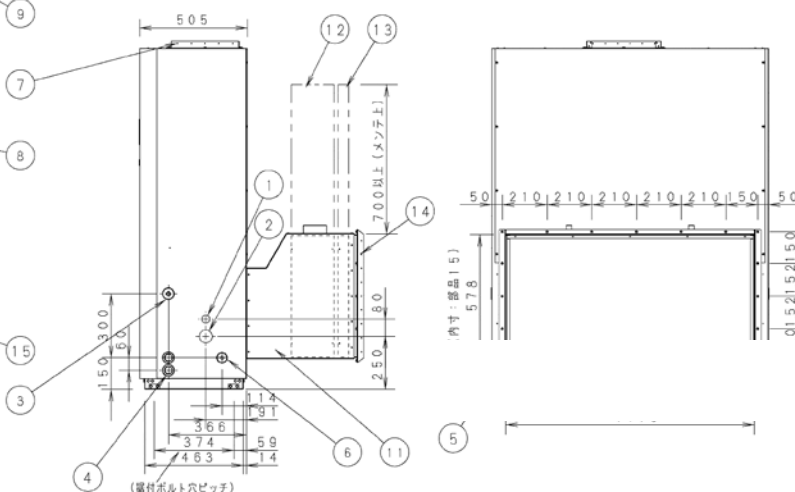
●S-G280BDS2



番号	名称	番号	名称
1	冷暖配管口、液側	9	8-φ8穴 (M6ボルト)
2	冷暖配管口、ガス側	10	据付金具 (据付穴φ16 M10ボルトを推奨する)
3	加温器 (別売品) 配管口	11	フィルターチャンバー (CMB-FE280E) 別売品
4	電源取入口	12	高性能フィルター (AFT-HE280E又はAFT-ME280E) 別売品
5	20-φ10穴 (M6ボルト) (後ろの吸い込み口を併し、20個の穴がある)	13	ロングライフフィルター (AFT-LE280E) 別売品
6	ドレン口 (PS1めねじ)	14	吸込側ダクト用フランジ (DKT-RFD280E) 別売品
7	吹出側ダクト用フランジ	15	新開蓋パネル (PNR-E280E) 別売品
8	コントロールスイッチ		

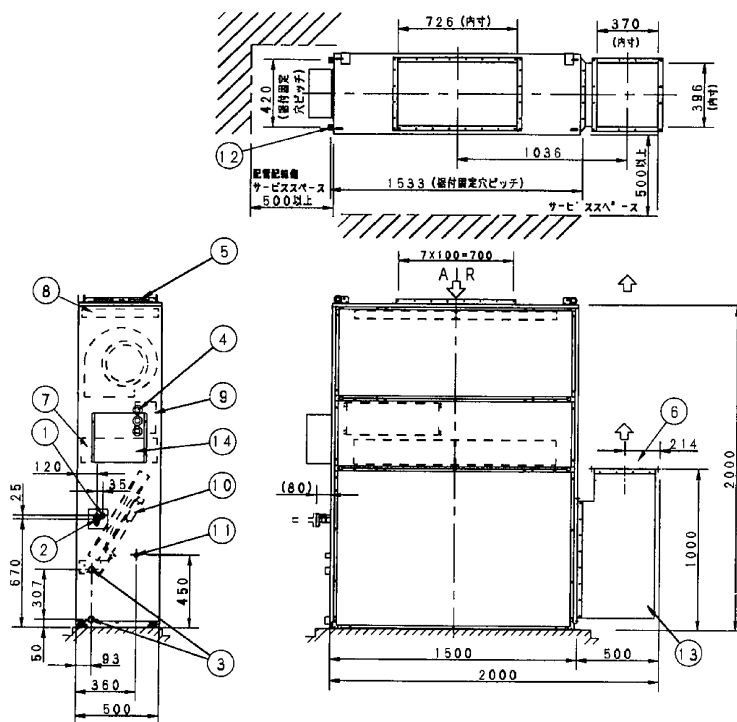
※配管は標準接続となります。(後接続はできません。)

※冷暖配管、電源、ドレン配管はユニット左右取出しが可能です。
※ヒーター配管口 (φ60ノックアウトホール) は、左右にあります。
※フィルターは上面取出してです。



■吹出口チャンバー (CMB-GUF)

●S-G200XWS2

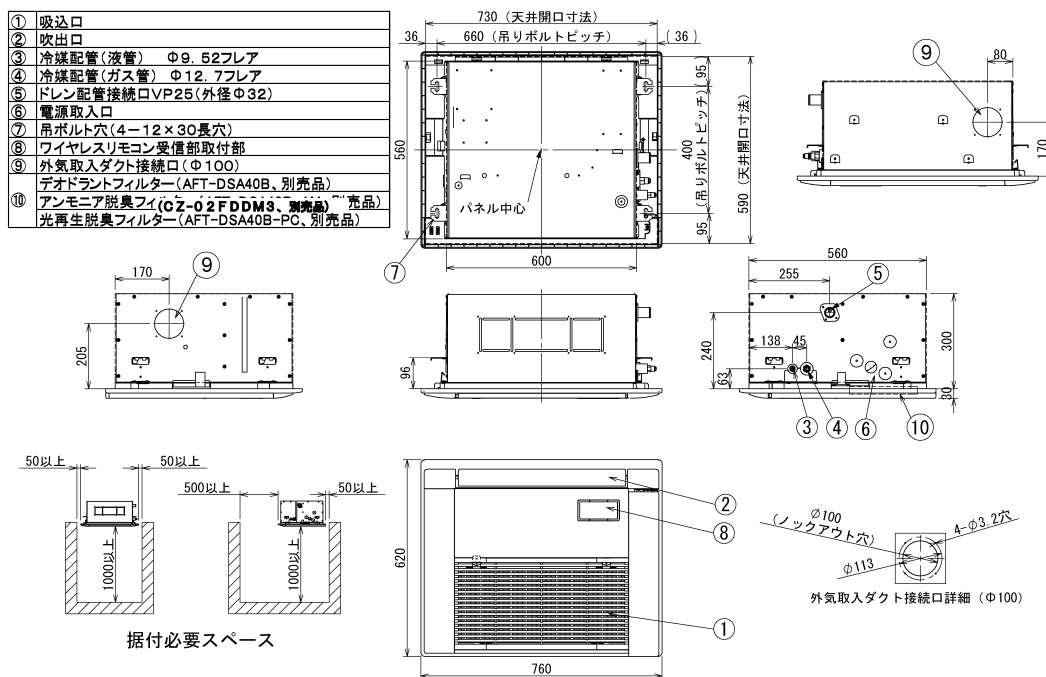


1	冷媒配管接続口 (液管) φ12.7 フレア接続
2	冷媒配管接続口 (ガス管) φ25.4 ろう付接続
3	ドレン出口 (上部、下部とも Rp1/2 ねじ)
4	電源取入口 (ゴムブッシュ付)
5	吸込側ダクトフランジ
6	吹出側ダクトフランジ
7	高性能フィルター (別売品)
8	ロングライフフィルター (標準装備)
9	電装ボックス
10	気化式加湿器 (標準装備)
11	加湿器用給水口 (Rp1/2 ねじ)
12	据付固定穴 4-φ16
13	吹出チャンバー (別売品)
14	リレー中継基板 (別売品)

1方向天井カセット形 (標準機種、電動弁外付けタイプ(カードキー対応機種とも))

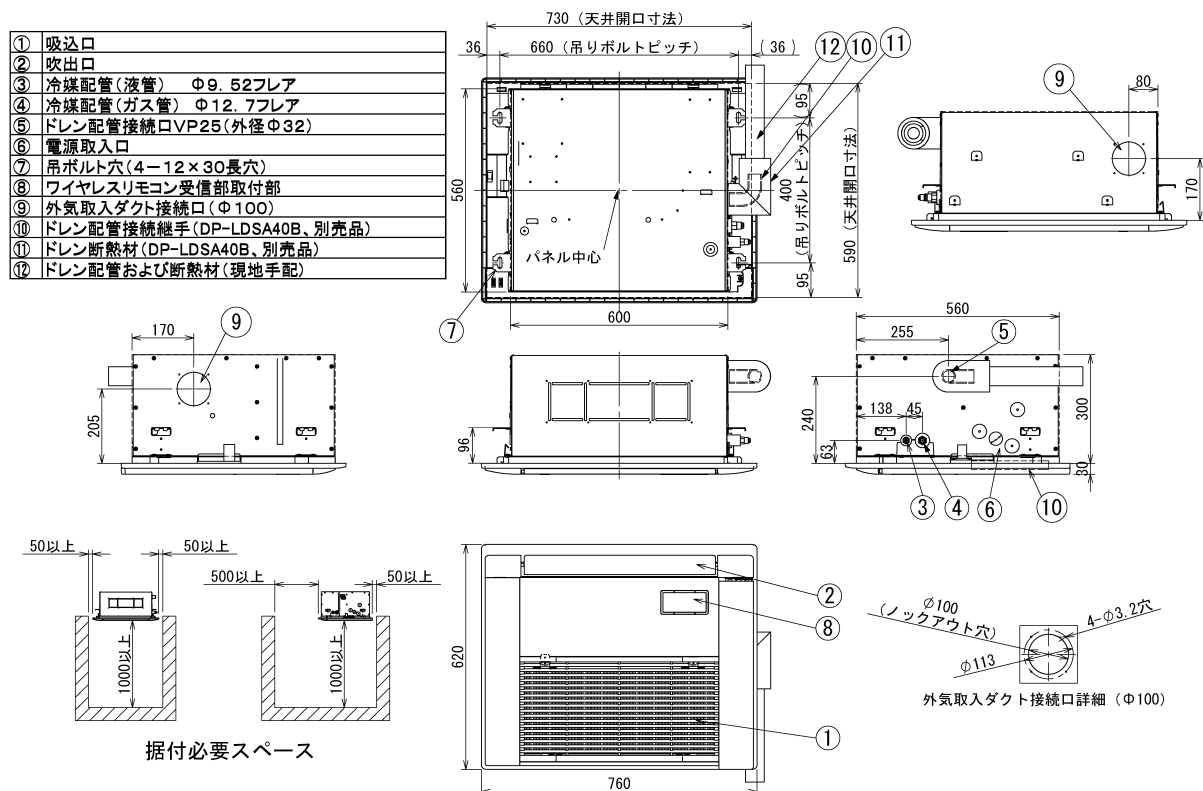
■各フィルター (AFT-DSA40B/DSA40B-AM CZ-02FDDM3)

●S-G22・28・36DMS1(M(-A))



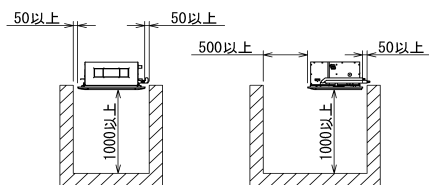
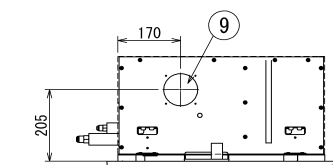
■L字ドレン配管キット (DP-LDSA40B)

●S-G22・28・36DMS1(M(-A))

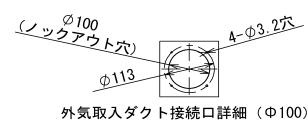
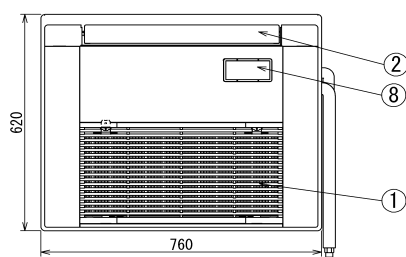
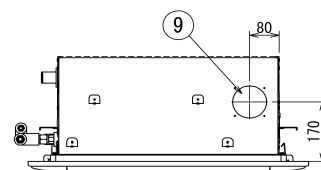
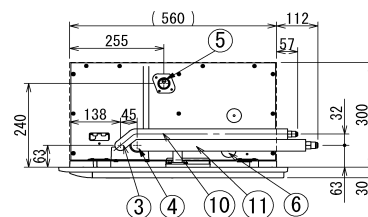
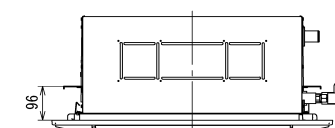
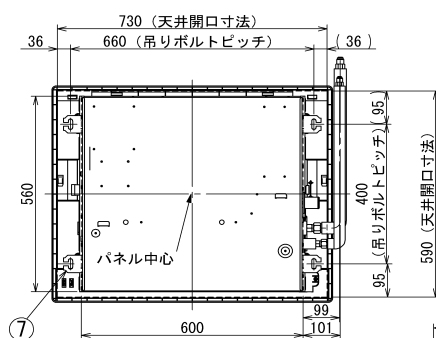


- 延長配管セット (SGP-TE28JSA)
●S-G22・28・36DMS1(M(-A))

①	吸込口
②	吹出口
③	冷媒配管(液管) Φ9.52フレア
④	冷媒配管(ガス管) Φ12.7フレア
⑤	ドレン配管接続口VP25(外径Φ32)
⑥	電源取入口
⑦	吊ボルト穴(4-12×30長穴)
⑧	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑨	外気取入ダクト接続口(Φ100)
⑩	延長配管セット(液管)
⑪	延長配管セット(ガス管)



据付必要スペース

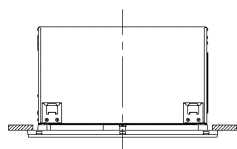
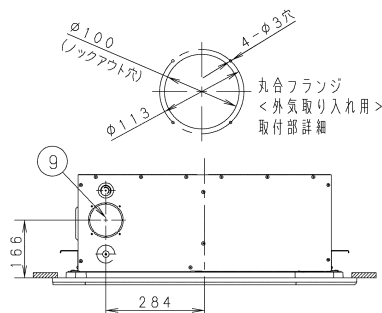
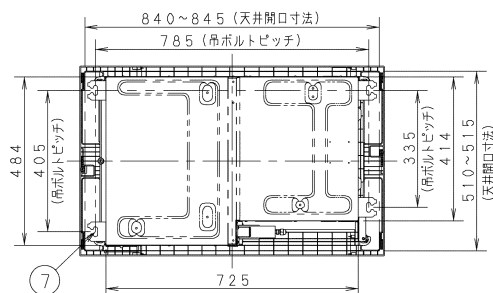


外気取入ダクト接続口詳細 (Φ100)

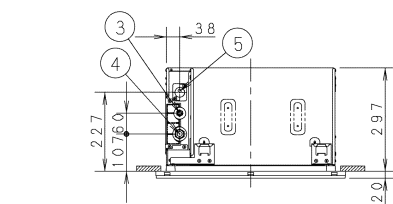
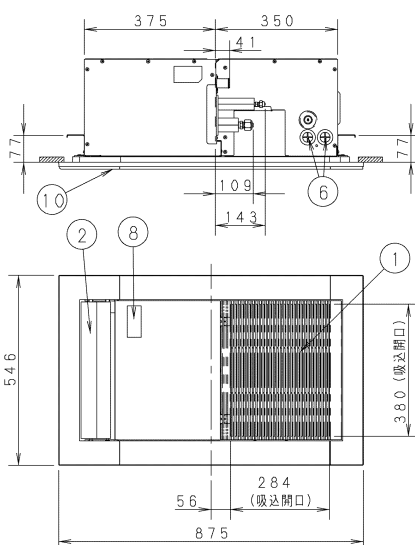
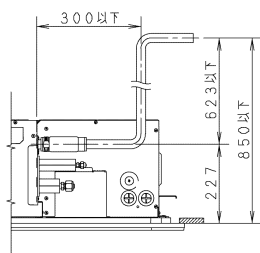
■天井パネル (CZ-28KPDS4)

●S-G22・28DST1(M)

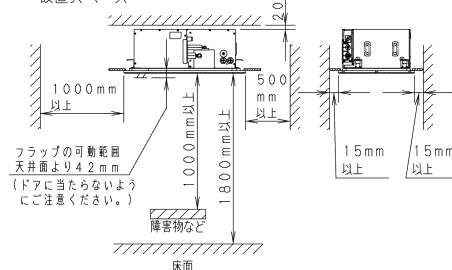
①	吸込口
②	吹出口
③	冷媒配管 (液管) $\phi 9.52$ (フレア)
④	冷媒配管 (ガス管) $\phi 12.7$ (フレア)
⑤	ドレン配管接続口 VP20 (外径 $\phi 26$)
⑥	電源取入口
⑦	吊ボルト穴 (4-12 $\times$ 28長穴)
⑧	照度センサー受光部
⑨	丸合フランジ<外気取り入れ用> (別売) 取付部 $\phi 100$
⑩	天井パネル (ホワイト) CZ-28KPDS4 (マンセル記号 N9.3)



ドレンアップ立上げ寸法



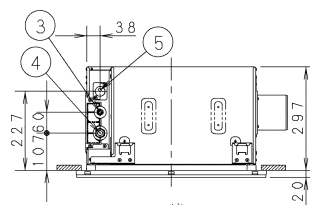
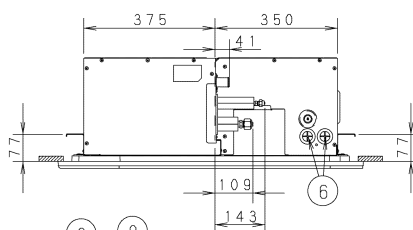
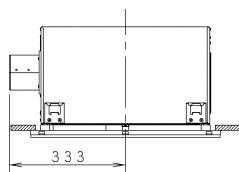
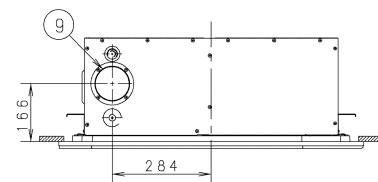
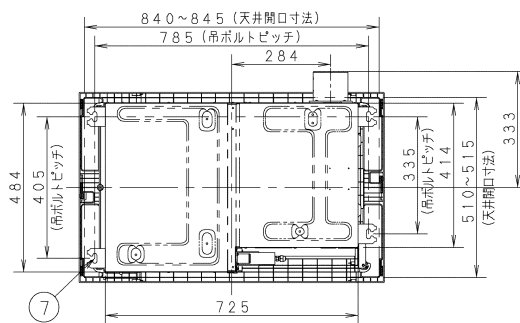
設置スペース



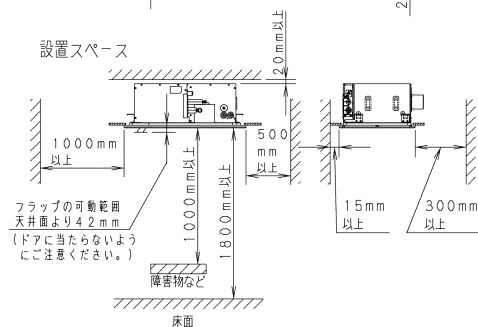
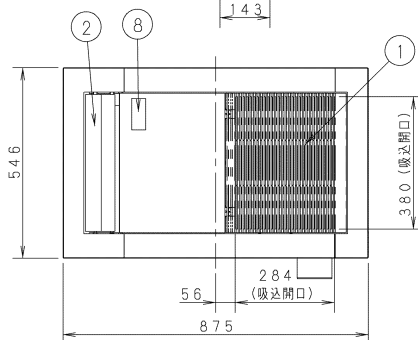
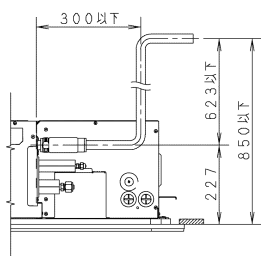
■丸合フランジ (CZ-DA100)

●S-G22・28DST1(M)

①	吸込口
②	吹出口
③	冷媒配管 (液管) $\phi 9.52$ (フレア)
④	冷媒配管 (ガス管) $\phi 12.7$ (フレア)
⑤	ドレン配管接続口 VP20 (外径 $\phi 26$)
⑥	電源取入口
⑦	吊ボルト穴 (4-12 $\times$ 28長穴)
⑧	照度センサー受光部
⑨	丸合フランジ<外気取り入れ用> CZ-DA100 (別売品) $\phi 100$



ドレンアップ立上げ寸法



(1) 4方向天井カセット形 (T1形)

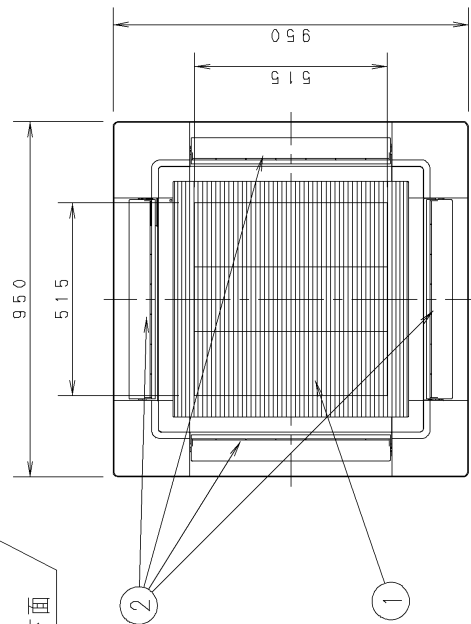
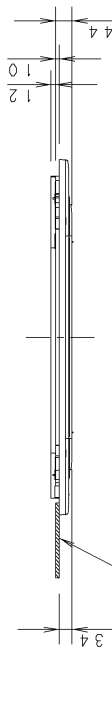
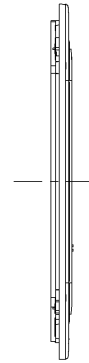
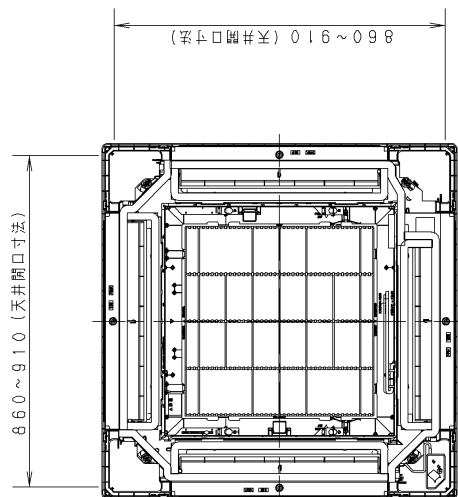
標準パネル (CZ-160KPU5 (-K、-H、-T))

エコナビパネル (CZ-160KPEU5 (-K))

オイルガードパネル (CZ-160KBU5 (-K))

■外形寸法図

	品番	パネル色
標準 パネル	CZ-160KPU5	ホワイト (DWC-W13) (マンセル記号 Ng. 3)
	CZ-160KPU5-K	ブラック (マンセル記号 N1. 0)
	CZ-160KPU5-T	ブラウン (マンセル記号 8. 6YR6. 7/3. 4)
	CZ-160KPU5-H	グレー (マンセル記号 1. 0G7. 2/0. 1)
オイル ガード パネル	CZ-160KBU5	ホワイト (DWC-W13) (マンセル記号 Ng. 3)
	CZ-160KBU5-K	ブラック (マンセル記号 N1. 0)



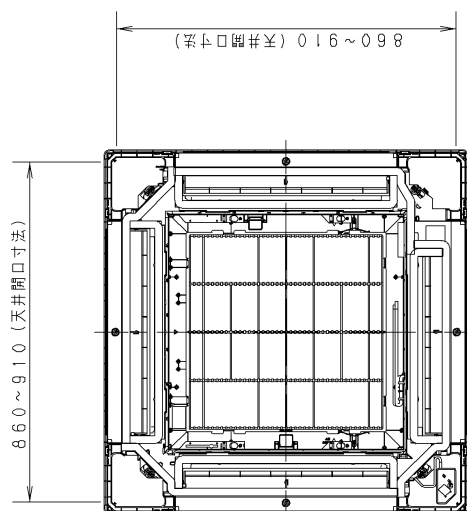
標準 品番	外形寸法図 《標準・オイルガードパネル》 4方向天井カセット形
CZ-160KPU5 (-T, -H, -K) CZ-160KBU5 (-K)	

① 吸込口
② 吹出口

《パネル質量》
5kg

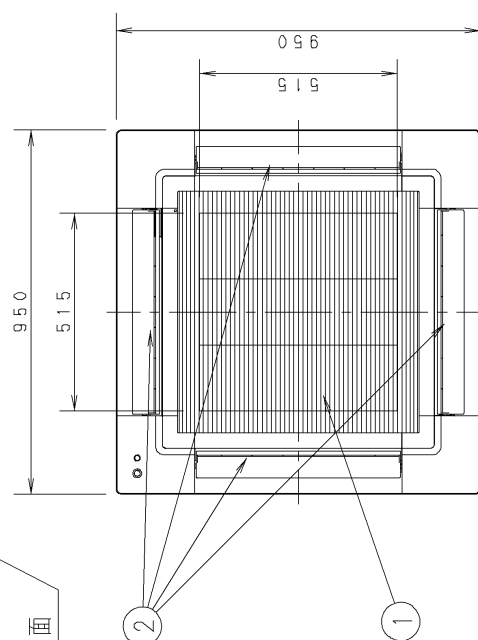
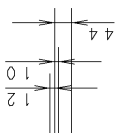
《フィルター寸法》
(520×520×15) ※1個

	品番	パネル色
エコナビ パネル	CZ-160KPEU5	ホワイト (DWC-W13) (マンセル記号 N9.3)
	CZ-160KPEU5-K	ブラック (マンセル記号 N1.0)



① 吸込口
② 吹出口

《パネル質量》
5kg
《フィルター寸法》
(520×520×16) ※1個



天井下面

品番	外形寸法図
CZ-160KPEU5-K	《エコナビパネル》 4方向天井カセット形

据付工事説明書

品番	標準パネル	CZ-160KPU5	CZ-160KPU5-K	CZ-160KPU5-H	CZ-160KPU5-T
	エコナビパネル	CZ-160KPEU5	CZ-160KPEU5-K		
	オイルガードパネル	CZ-160KBU5	CZ-160KBU5-K		

適用室内ユニット 4方向天井カセット形

- 取り付け工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この据付工事説明書をよくお読みのうえ取り付けてください。
特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この据付工事説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容（禁止事項）です。



実行しなければならない内容（強制事項）です。



警告



- 据付・電気工事は、販売店か専門業者に依頼する（感電・火災等の原因）
- 据付工事は、室内ユニットの「据付工事説明書」に従って行う（感電・火災等の原因）
- 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う（ユニットの落下による、けがの原因）
- 据付作業中に冷媒が漏れたときは換気する据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する（冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因）

- 電気工事は、電気工事士が下記に従って行う
 - 電気設備に関する技術基準
 - 内線規程
 - 据付工事説明書（感電・火災の原因）
- 配線は、所定のケーブルを確実に接続・固定する
 - 端子接続部に、ケーブルの外力が伝わらないようにする。（発熱・火災等の原因）
- 工事は、ユニットの漏電しゃ断器を切ってから行う（感電の原因）



注意



- 可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へ設置しない（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

- 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

本体			付属品				
品名	標準パネル/オイルガードパネル	エコナビパネル	座付ネジ	ネジ	据付工事説明書	エコナビパネルのみ	
個数	1	1	4	4	2	1	1
形状							

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

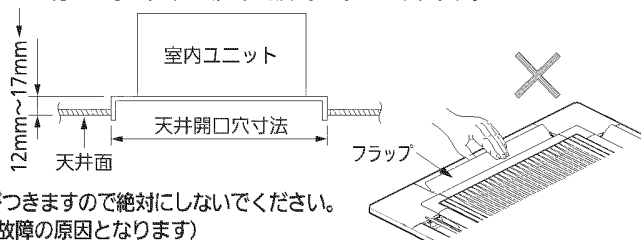
1. 取り付け前の準備

(1) 室内ユニット位置の確認

- ①天井開口穴が下記の範囲内か確認します。
860mm×860mm～910mm×910mm
- ②梱包箱に印刷されている据付原寸図を使用し、天井面と室内ユニットの位置出しを行ないます。天井面と室内ユニットの位置が合わないで風漏れや水漏れおよびフラップの作動不良等の原因となります。

- パネルを下向きに置くことや、立掛け、突起物の上への放置は表面に傷がつきますので絶対にしないでください。
- フラップにさわったり、力を加えたりしないでください。(フラップの故障の原因となります)

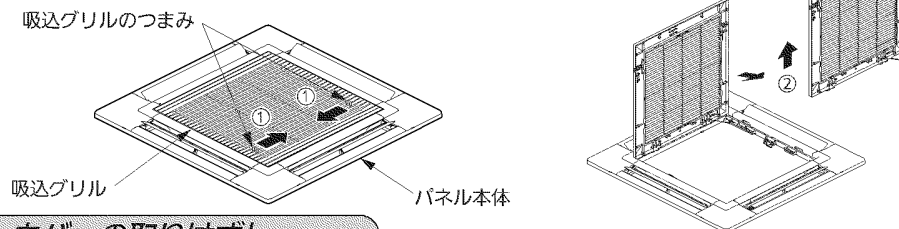
必ず12mm～17mmの範囲内とすること。
この範囲が守られない場合、故障等の原因となります。



2. 取り付けかた

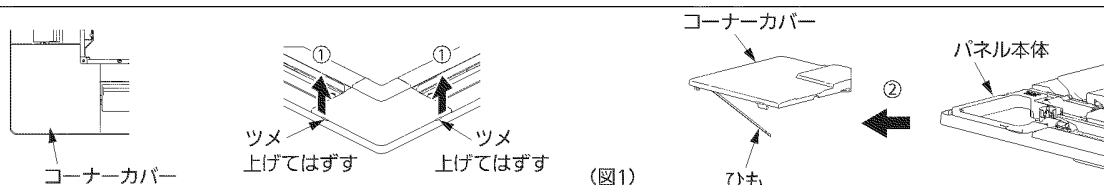
(1) 吸込グリルの取りはずし

- ①吸込グリルのつまみを矢印①の方向にスライドし、吸込グリルを開けてください。
- ②吸込グリルが開いた状態で吸込グリルのヒンジ部をパネル本体から矢印②の方向にはずしてください。



(2) コーナーカバーの取りはずし

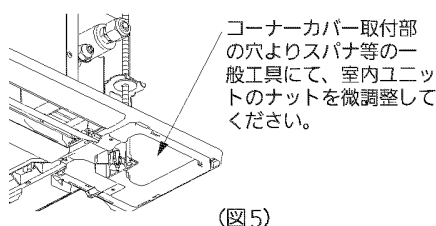
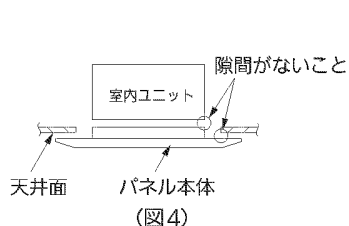
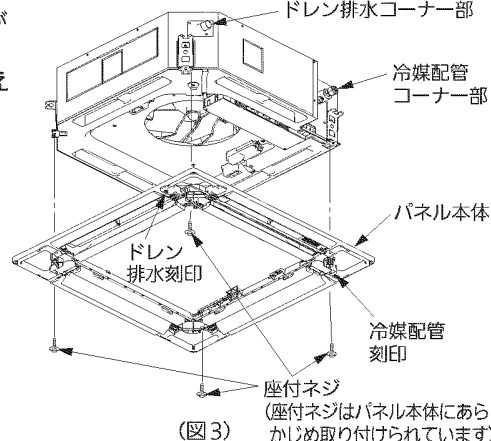
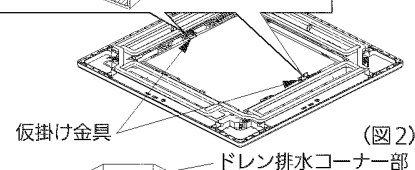
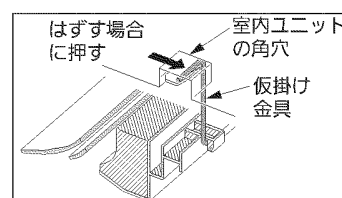
- ①コーナーカバーのツメを矢印①の方向へ押し上げてははずし、コーナーカバーを矢印②の方向へスライドしはずしてください。(図1)



(3) パネル本体の取り付け

フラップの角度変更は電源を入れなければできません。(フラップを手で動かさないでください。手で動かすと壊れるおそれがあります。)

- ①パネル本体面内の仮掛け金具を室内ユニットの角穴に挿入し仮掛けしてください。(図2)
- パネル本体コーナー部の冷媒配管・ドレン排水の刻印を室内ユニットの冷媒配管・ドレン排水コーナー部に合わせてください。
- ②パネル本体の取付穴と室内ユニットのネジ穴を合わせてください。
- ③パネル本体に取り付けられている座付ネジ (M5×26) でパネル本体取付部の4か所を室内ユニットに密着するまで締め込んでください。(図3)
- ④パネル本体が天井に密着したことを確認してください。
- この時、室内ユニットとパネル本体、およびパネル本体と天井面との間に隙間がないようにしてください。(図4)
- 天井との隙間が生じた場合、パネル本体を取り付けたまま、室内ユニットの据え付け高さを微調整し、天井との隙間をなくしてください。(図5)
- はずす場合はパネル本体を支えながら仮掛け金具を外側に押してください。

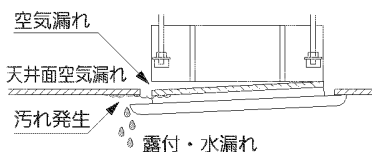


(図5)

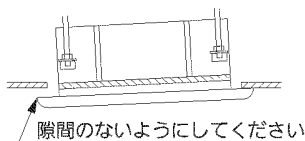
(図3)

ご 注 意

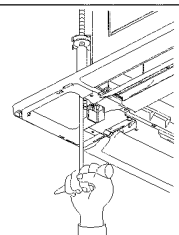
- 座付ネジの締め込みが不十分な場合、下図のような不具合発生の原因となりますので確実に絞め込んでください。



- 座付ネジを締め込んでも天井面とパネル本体との間に隙間ができる場合は室内ユニットの高さを再調整してください。



室内ユニットの水平度、ドレン配管等に影響がない程度であればパネル本体のコーナー部の穴よりパネル本体を付けたまま本体の高さ調整ができます。



(4) パネル本体の配線方法

- ①電装ボックスのふたを取りはずしてください。(ネジ2か所)

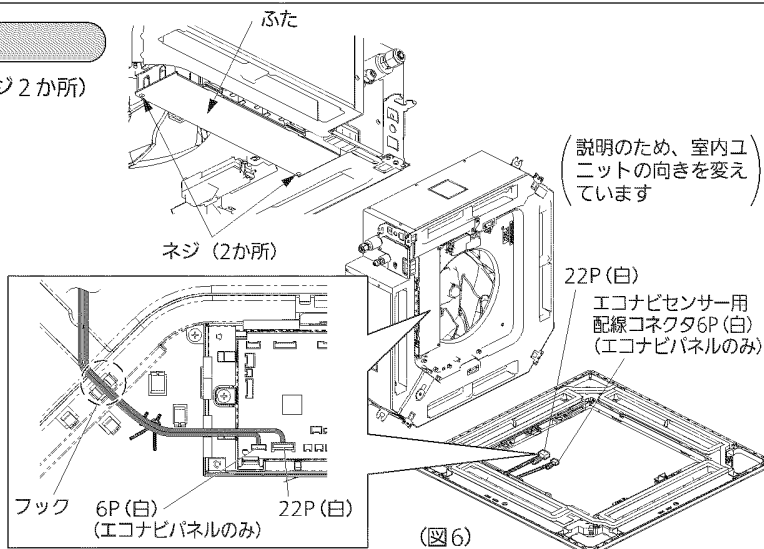
- ②パネル本体から出ている配線コネクタ(標準パネルとオイルガードパネルは22P(白)のみ、エコナビパネルは22P(白)と6P(白)の両方)を室内ユニットの基板のコネクタに接続してください。その際、配線は室内ユニットのフックに通して右図のように配線をしてください。

- コネクタを基板に接続したのち、軽く引っ張り抜いたりぐらぐらしないことを確認してください。(確実に接続されていないとオートフラップが動作せず、リモコンに“P09”が表示されます。)

- ③電装ボックスのふたを元通りに取り付けてください。

- 配線が電装ボックスとふたの間にはさまれていないことを確認してください。

- 配線が室内ユニットとパネル本体の間にはさまれていないことを確認してください。



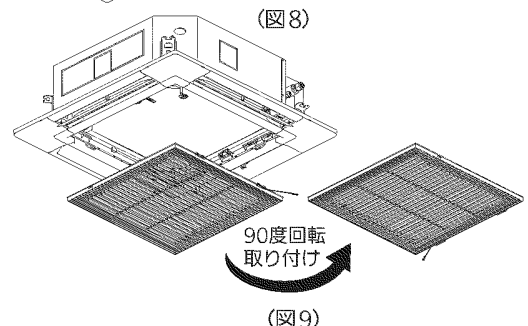
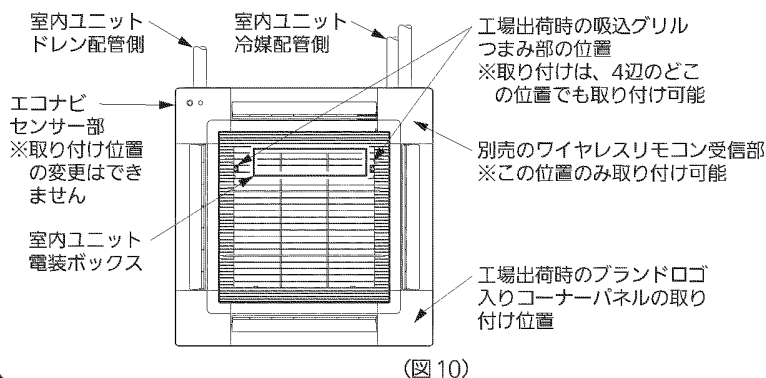
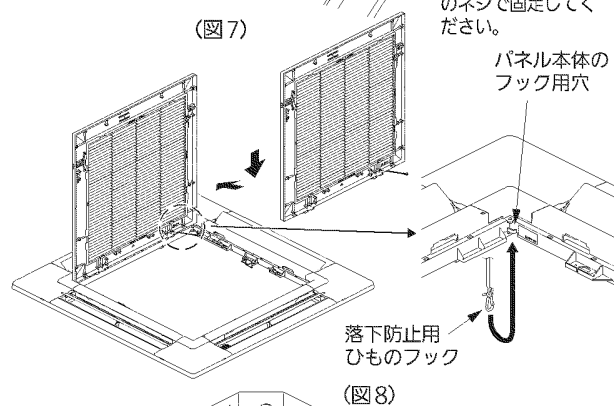
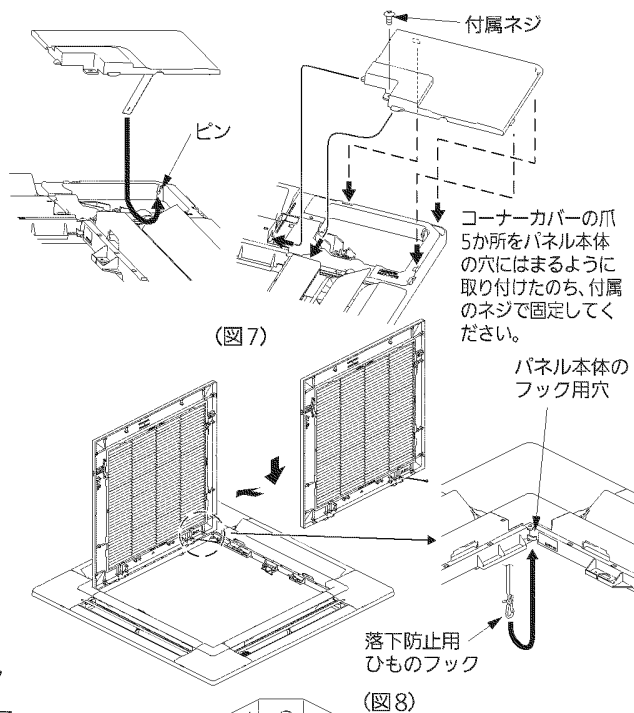
(5) コーナーカバー・吸込グリルの取り付け

A. コーナーカバーの取り付け

- ①コーナーカバーのひもを図7のようにパネル本体のピンに引っかけてください。(エコナビセンサーが付いているコーナーカバーには、ひもは付いていません。)
- ②コーナーカバーをパネル本体に、付属のネジで取り付けてください。

B. 吸込グリルの取り付け

- 取付方法は吸込グリルの取りはずしと逆の手順で取り付けてください。
- 吸込グリルを取り付ける際、配線をはさまないように注意してください。
- 必ず吸込グリル落下防止用ひもをパネル本体に図8の様に取付けてください。落下防止用ひもを取り付けない場合、吸込グリルが落下するおそれがあります。
- このパネル本体は、複数台設置時の吸込グリルの格子の方向合わせやコーナカバーのブランドロゴの位置(図10)を、お客様の要望により変更することができます。(図9)ただし、別売のワイヤレスリモコン受信部の位置は室内ユニットの冷媒配管部コーナーのみとなっています。(図10)



3. その他

A. 据え付け後の確認

- 室内ユニットとパネル本体、およびパネル本体と天井面に隙間のないことを再確認してください。
※隙間があると水漏れや露付の原因となります。
- 配線接続が確実にされていることを確認してください。
※接続されてないとオートフラップが動かない（リモコンにP09の表示が出ます）、また水漏れや露付等の原因となります。

B. ワイヤレスリモコン対応の場合

- 取り付け方法の詳細は、別売のワイヤレスリモコン受信部に付属の据付説明書を参照してください。

C. DCファンモータータップの選択 (4方向天井カセット形)

ご使用の用途、別売品に応じ、ファン回転数を設定する必要があります。(表1)
ファン回転数を設定する方法は、(1) 基板上のディップスイッチを切り替えて設定する方法 (2) ワイヤードリモコンで設定する方法があります。どちらかの方法で設定してください。※ディップスイッチによる設定が優先されます。

表1 DCファンモータータップ設定表

設定No.	項目コード5Dの設定データ	使用用途/別売品名称 ※1
	0000	標準 (出荷設定)
(1)	0001	高天井設定1 (標準、エコナビパネル時)
		オイルガードパネル ※2
		超ロングライフフィルター
		オイルミストフィルター ※2
		高性能フィルター (JIS比色法65%)
(3)	0003	昇降グリル付きオイルガードパネル ※2
		しゃ風材 (3方向吹出時) ※3
		しゃ風材 (吹出ダクト接続時) ※3
		高天井設定2 (標準、エコナビパネル時)
		高性能フィルター (JIS比色法90%)
(6)	0006	デオドラントフィルター
		しゃ風材 (2方向吹出時)

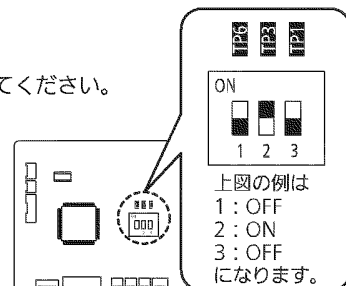
- ※1. 必ず、カタログ・設備設計資料等の別売品組合表にて、組合せ可能な別売品を確認し選定してください。
- ※2. オイルガードパネルとオイルミストフィルターまたは、昇降グリル付きオイルガードパネルとオイルミストフィルターを組み合わせる場合は、設定No. (3) または設定データ0003を設定してください。
- ※3. しゃ風材とそれ以外の別売品を併用の場合、
3方向吹出時 設定No. (3) または設定データ0003
吹出ダクト接続時 設定No. (3) または設定データ0003
2方向吹出時 設定No. (6) または設定データ0006
を設定してください。
なお、併用可能な別売品は一つまでとなります。

(1) 基板上のディップスイッチを切り替えて設定する場合

＜手順＞必ず電源 (漏電しゃ断器) を切ってください。

- ① ご使用の用途、別売品に応じた「設定No.」を表1で確認してください。
- ② 電装ボックスのふたを開き、室内コントロール基板を確認してください。(図11)
- ③ 表1で確認した設定No.に合わせ、室内コントロール基板上にあるディップスイッチを設定変更してください。

設定No.	ディップスイッチ	設定No.	ディップスイッチ	設定No.	ディップスイッチ
(1)	ON側 OFF側	(3)	ON側 OFF側	(6)	ON側 OFF側



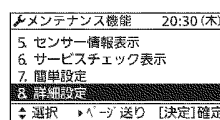
(図11) 室内コントロール基板

(2) ワイヤードリモコンで設定する場合 (別売品: CZ-10RT4/CZ-10RT4A/CZ-10RT4B)

ご使用の用途、別売品に応じた「項目コード5Dの設定データ」を表1で確認してください。

＜手順＞ユニットが運転を停止した状態で行ってください。

- ① [戻る] + [決定] + [戻る] ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。
- ② [戻る] / [決定] ボタンで選択、[戻る] / [決定] ボタンでページが切り替わります。
「8. 詳細設定」を選択し、[決定] ボタンを押してください。
[詳細設定画面] が表示されます。
[戻る] / [決定] ボタンで変更するユニットNo.を選択してください。
- ③ [戻る] / [決定] ボタンで項目コードを選択してください。
[戻る] / [決定] ボタンで項目コードを「5D」に変更してください。
- ④ [戻る] / [決定] ボタンで設定データを選択してください。
[戻る] / [決定] ボタンで設定データを表1で確認した値に変更し、[決定] ボタンを押してください。
- ⑤ [戻る] / [決定] ボタンでユニットNo.を選択後、[戻る] ボタンを押してください。
[詳細設定終了画面] が表示されます。
「はい」を選択し、[決定] ボタンを押してください。



ユニット No. 1-1
設定データ 項目コード 5D 0001

昇降グリル付標準パネル (CZ-160KSU5 (-K))

昇降グリル付エコナビパネル (CZ-160KSEU5 (-K))

昇降グリル付オイルガードパネル (CZ-160KSBU5)

据付工事説明書

品番	昇降グリル付標準パネル	CZ-160KSU5	CZ-160KSU5-K
	昇降グリル付エコナビパネル	CZ-160KSEU5	CZ-160KSEU5-K
	昇降グリル付オイルガードパネル	CZ-160KSBU5	

適用室内ユニット 4方向天井カセット形

- 取り付け工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この据付工事説明書をよくお読みのうえ取り付けてください。
特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この据付工事説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容（禁止事項）です。



実行しなければならない内容（強制事項）です。



警告



- 据付・電気工事は、販売店か専門業者に依頼する（感電・火災等の原因）
- 据付工事は、室内ユニットの「据付工事説明書」に従って行う（感電・火災等の原因）
- 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う（ユニットの落下による、けがの原因）
- 据付作業中に冷媒が漏れたときは換気する据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する（冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因）

- 電気工事は、電気工事が下記に従って行う

- 電気設備に関する技術基準
- 内線規程
- 据付工事説明書（感電・火災の原因）

- 配線は、所定のケーブルを確実に接続・固定する

- 端子接続部に、ケーブルの外力が伝わらないようにする。（発熱・火災等の原因）

- 工事は、ユニットの漏電しゃ断器を切ってから行う（感電の原因）

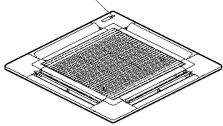
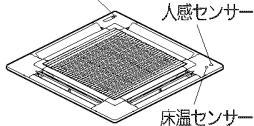


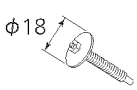
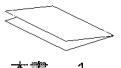
注意



- 可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へ設置しない（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

- 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

本体（昇降グリル付）		
品名	標準パネル／オイルガードパネル	エコナビパネル
個数	1 昇降用受信部	1 昇降用受信部
形状		

付属品						
品名	座付ネジ		ネジ	取扱説明書	据付工事説明書	エコナビパネルのみ
個数	4	M5X26 (座付ネジは パネル本体に あらかじめ取 り付けられて います)	4	4X12	1	2
形状						
	φ18				本書 1 補足 1	1 試運転編

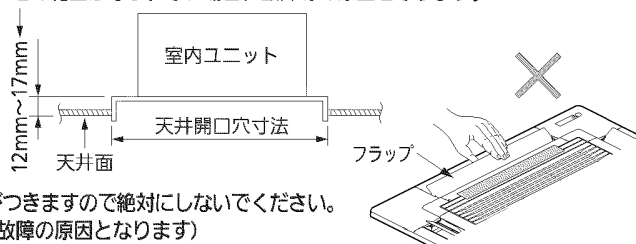
付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

1. 取り付け前の準備

(1) 室内ユニット位置の確認

- ①天井開口穴が下記の範囲内か確認します。
860mm×860mm～910mm×910mm
- ②梱包箱に印刷されている据付原寸図を使用し、天井面と室内ユニットの位置が出しを行ないます。天井面と室内ユニットの位置が合わない場合、風漏れや水漏れおよびフラップの作動不良等の原因となります。

必ず12mm～17mmの範囲内とすること。
この範囲が守られない場合、故障等の原因となります。

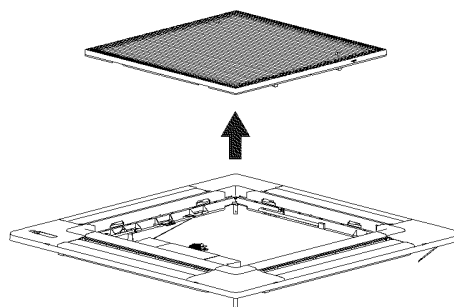
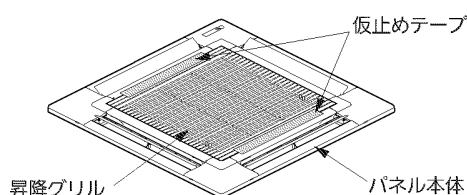


- パネルを下向きに置くことや、立掛け、突起物の上への放置は表面に傷が付きまますので絶対にしないでください。
- フラップにさわったり、力を加えたりしないでください。(フラップの故障の原因となります)

2. 取り付けかた

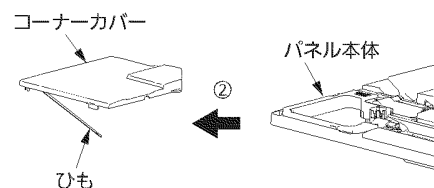
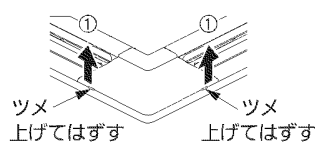
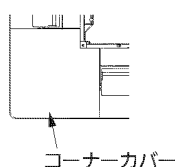
(1) 昇降グリルの取りはずし

- ①仮止めテープをはがし、昇降グリルを上方向に持ち上げ、パネル本体からはずしてください。



(2) コーナーカバーの取りはずし

- ①コーナーカバーのツメを矢印①の方向へ押し上げてはずし、コーナーカバーを矢印②の方向へスライドしはずしてください。(図1)



(図1)

(3) パネル本体の取り付け

フラップの角度変更は電源を入れなければできません。(フラップを手で動かさないでください。手で動かすと壊れるおそれがあります。)

①パネル本体内部の仮掛け金具を室内ユニットの角穴に挿入し仮掛けしてください。(図2)

●パネル本体コーナー部の冷媒配管・ドレン排水の刻印を室内ユニットの冷媒配管・ドレン排水コーナー部に合わせてください。

②パネル本体の取付穴と室内ユニットのネジ穴を合わせてください。

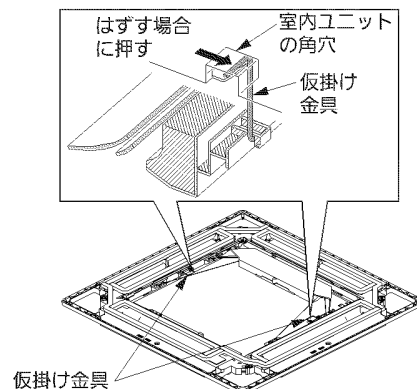
③パネル本体に取り付けられている座付ネジ (M5×26) でパネル本体取付部の4か所を室内ユニットに密着するまで締め込んでください。(図3)

④パネル本体が天井に密着したことを確認してください。

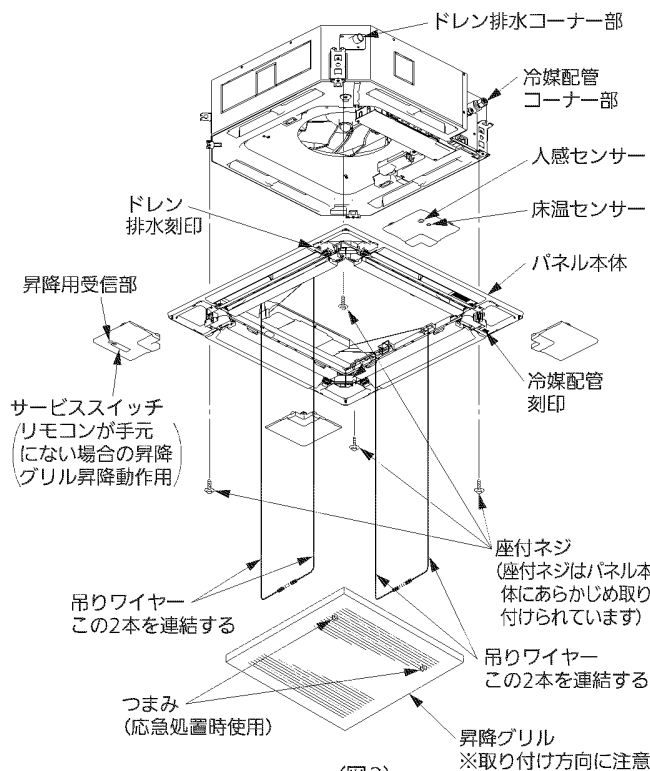
●この時、室内ユニットとパネル本体、およびパネル本体と天井面との間に隙間がないようにしてください。(図4)

●天井との隙間が生じた場合、パネル本体を取り付けたまま、室内ユニットの据え付け高さを微調整し、天井との隙間をなくしてください。(図5)

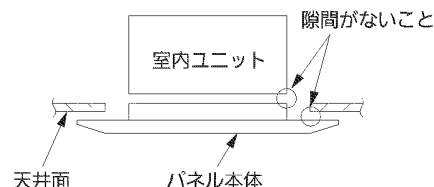
●はずす場合はパネル本体を支えながら仮掛け金具を外側に押してください。



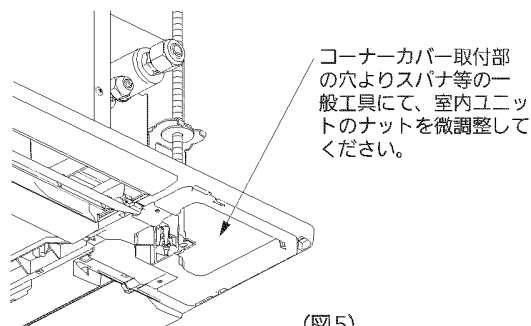
(図2)



(図3)



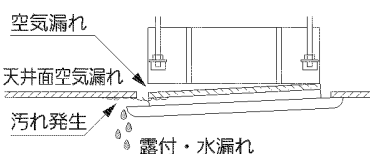
(図4)



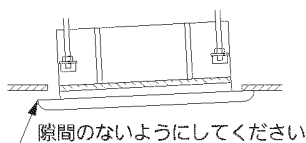
(図5)

ご 注 意

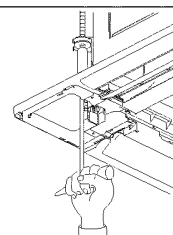
●座付ネジの締め込みが不十分な場合、下図のような不具合発生の原因となりますので確実に絞め込んでください。



●座付ネジを締め込んででも天井面とパネル本体との間に隙間ができる場合は室内ユニットの高さを再調整してください。



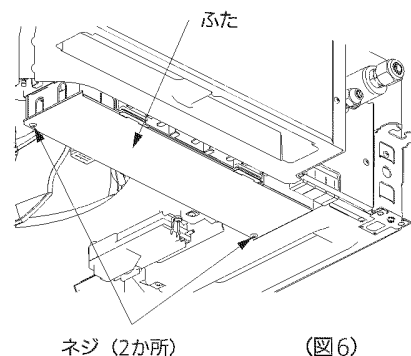
室内ユニットの水平度、ドレン配管等に影響がない程度であればパネル本体のコーナー部の穴よりパネル本体を付けたまま本体の高さ調整ができます。



(4) パネル本体の配線方法

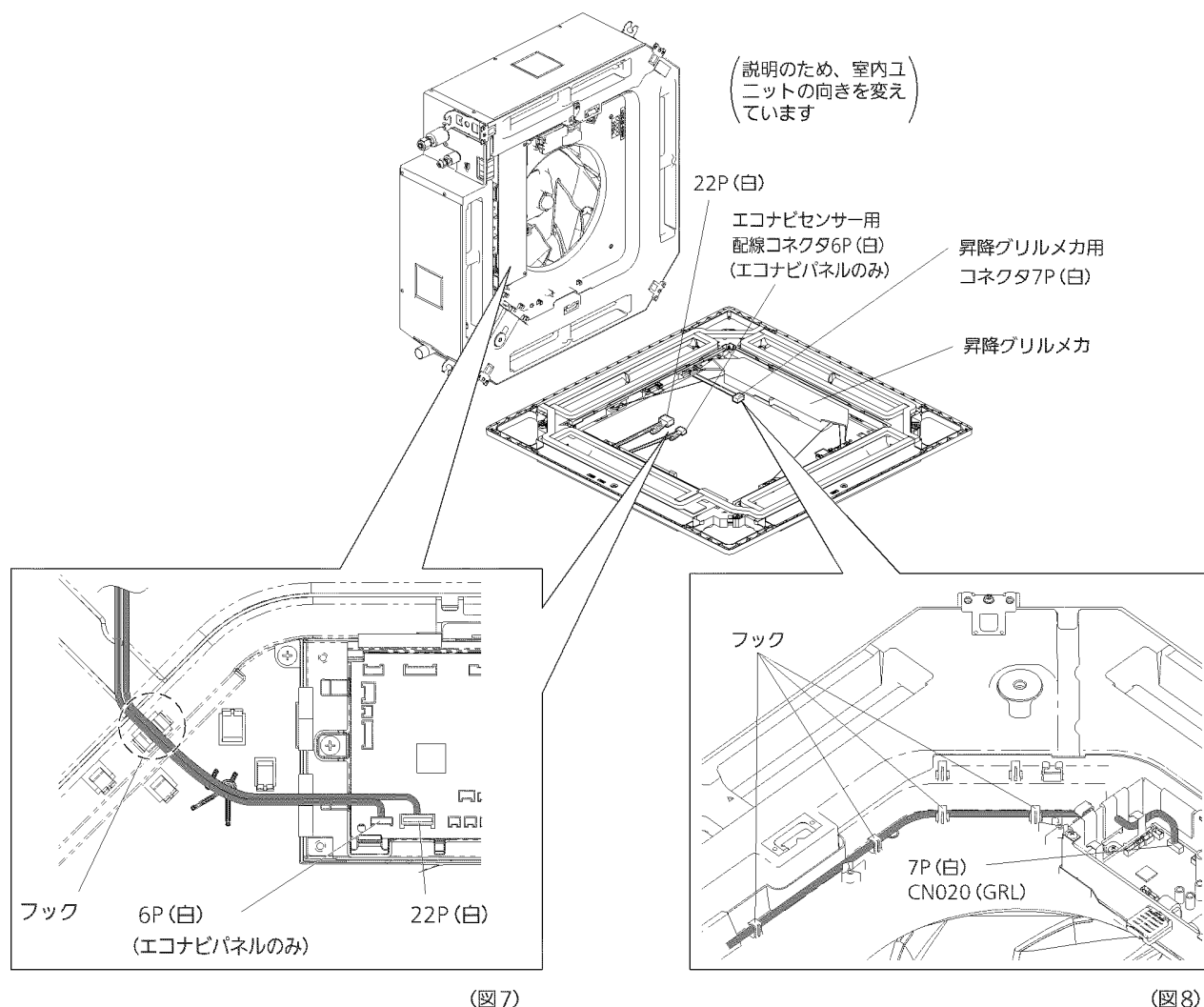
A. フラップモーター、エコナビパネルの配線

- ①電装ボックスのふたを取りはずしてください。(ネジ2か所) (図6)
- ②パネル本体から出ている配線コネクタ (標準パネルとオイルガードパネルは22P (白) のみ、エコナビパネルは22P (白) と6P (白) の両方) を室内ユニットの基板のコネクタに接続してください。その際、配線は室内ユニットのフックに通して下図のように配線してください。(図7)
- コネクタを基板に接続したのち、軽く引っ張り抜けたりぐらぐらししないことを確認してください。
(確実に接続されていないとオートフラップが動作せず、リモコンに“P09”が表示されます。)



B. 昇降グリルメカの配線

- ①昇降グリルメカから出ている配線コネクタ7P (白) を室内ユニットのコネクタに接続してください。その際、配線は室内ユニットのフックに通して下図のように配線してください。(図8)
- コネクタを基板に接続したのち、軽く引っ張り抜けたりぐらぐらししないことを確認してください。
(確実に接続されていないと、昇降グリルが動作しません。)
- ②電装ボックスのふたを元通りに取り付けてください。(図6)
- 配線が電装ボックスとふたの間にはさまれていないことを確認してください。
- 配線が室内ユニットとパネル本体の間にはさまれていないことを確認してください。



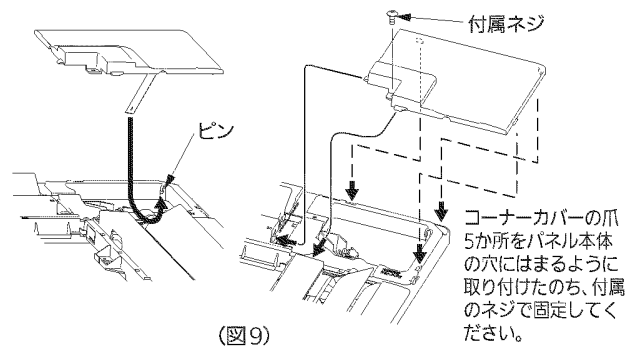
(5) コーナーカバー・昇降グリルの取り付け

A. コーナーカバーの取り付け

- ① コーナーカバーのひもを図9のようにパネル本体のピンに引っかけてください。(エコナビセンサー、昇降用受信部が付いているコーナーカバーには、ひもは付いていません。)
 - ② コーナーカバーをパネル本体に、付属のネジで取り付けてください。
- 昇降用受信部が付いているコーナーカバーを取り付ける時は、配線がパネル本体との間にはさまれていないことを確認してください。

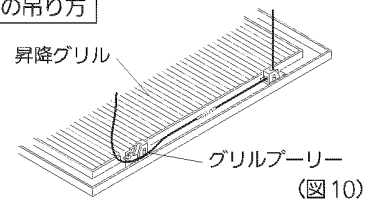
B. 昇降グリルの取り付け

- ① 図のようにグリルプリーヘワイヤーを確実に通してください。(図10、11)
 - ② 通電の有無で次の対応を行ってください。
- 取り付けが終わったらもう一度次の確認をしてください。
- ・ 昇降グリルの吊りワイヤーが配線などと接触していませんか
 - ・ 吊りワイヤーがプリーヘからはずれたりはさまったりしていませんか
- ※このパネル本体は、複数台設置時の昇降グリルの格子の方向合わせやコーナカバーのブランドロゴの位置(図15)を、お客様の要望により変更することができます。(図14)ただし、別売のワイヤレスリモコン受信部の位置は室内ユニットの冷媒配管部コーナーみとなっています。(図15)
- 無理やり、指定以外位置に取り付けした場合は、別売のワイヤレスリモコン受信部の故障の原因となります。



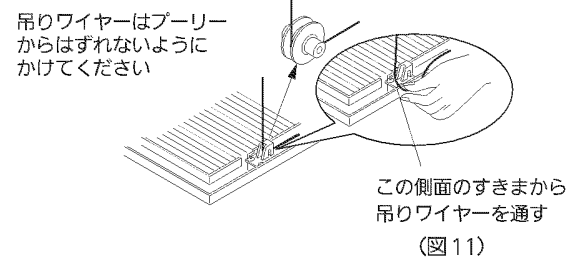
(図9)

昇降グリルの吊り方



(図10)

グリルプリーヘへのワイヤーの通し方



(図11)

エアコンに電源が通電されている場合

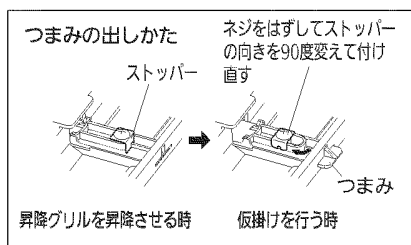
- ① 昇降グリルのつまみ(2か所)(図12)が昇降グリルよりはみだしていないことを確認してください。
- ② リモコンで昇降グリルを上昇させてください。

エアコンに電源が通電されていない場合

応急処置のしかた

電源が通電されていなくてリモコンで昇降グリルを上昇できない場合は付属の応急用部品を使用してください。

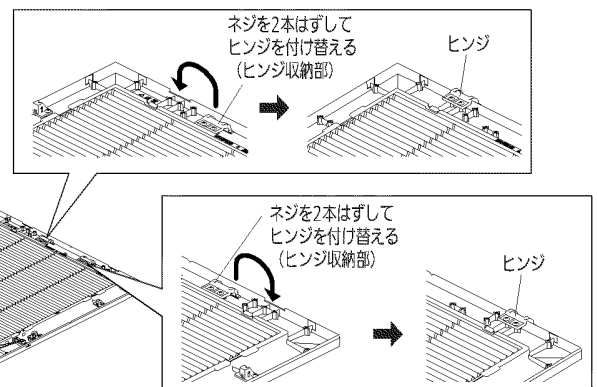
- ① 昇降グリルに取り付けてある応急用部品(ヒンジ)は、ネジをはずして収納部から図の位置に付け替えます。(図13)
- ② 昇降グリルに取り付けてある応急用部品(ストッパー)は、ネジをはずして図のように向きを変えて付け直します。(図12)
- ③ 昇降グリルの応急用部品(ヒンジ)をパネル本体に引っ掛けて、つまみをスライドさせて取り付けます。
- ④ 昇降動作をするときは必ずつまみを収納し、応急用部品(ヒンジ)を収納部に取り付けてください。



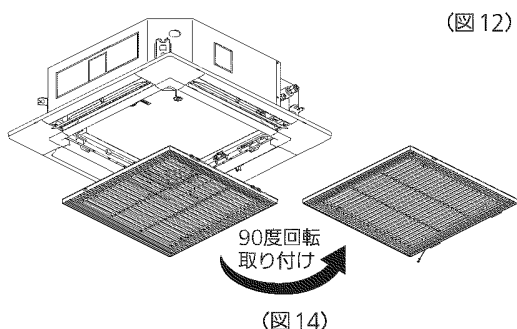
(図12)

応急用部品の取り付け方

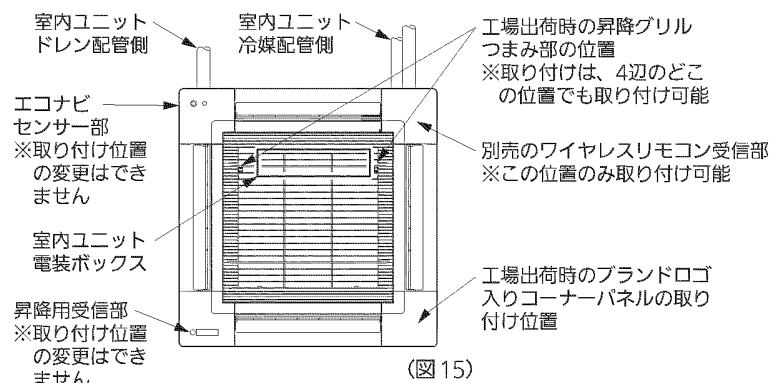
停止時昇降グリルの昇降動作が出来ないときに、降ろした昇降グリルをパネル本体に取り付ける場合



(図13)



(図14)



(図15)

3. その他

A. 据え付け後の確認

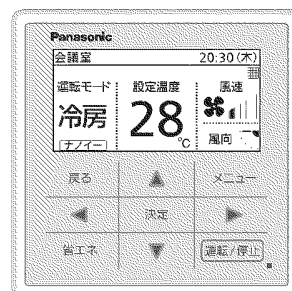
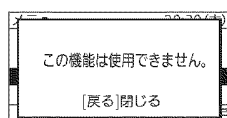
- 室内ユニットとパネル本体、およびパネル本体と天井面に隙間のないことを再確認してください。
※隙間があると水漏れや露付の原因となります。
- 配線接続が確実にされていることを確認してください。
※接続されてないとオートフラップが動かない（リモコンにP09の表示が出ます）、また水漏れや露付等の原因となります。

B. 昇降グリルを操作するための設定方法 (別売品：CZ-10RT4/CZ-10RT4A/CZ-10RT4B)

- 多機能ワイヤードリモコンで昇降グリルを操作するためには必ず（ワイヤードリモコンから）下記設定を行ってください。

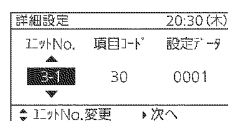
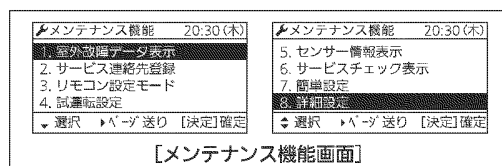
この設定をしないと、昇降グリル操作時に

“この機能は使用できません。”が表示されます。

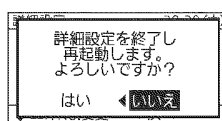


多機能ワイヤードリモコン

- ① [戻る] + [決定] + [右] ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。
- ② [上] / [下] ボタンで選択、[左] / [右] ボタンでページが切り替わります。
「8.詳細設定」を選択し、[決定] ボタンを押してください。
[詳細設定画面]が表示されます。
- [上] / [下] ボタンで変更するユニットNo.を選択してください。
- ③ [左] / [右] ボタンで項目コードを選択してください。
[上] / [下] ボタンで項目コードを「30」に変更してください。
- ④ [左] / [右] ボタンで設定データを選択してください。
[上] / [下] ボタンで設定データを「0000」から「0001」に変更し、[決定] ボタンを押してください。
- ⑤ [左] / [右] ボタンでユニットNo.を選択後、[戻る] ボタンを押してください。
[詳細設定終了画面]が表示されます。



[詳細設定画面]



[詳細設定終了画面]

C. 昇降グリル下降距離の設定

- 下記方法で昇降グリルの下降距離の設定が可能です。
- 図のネジをはずし、昇降グリルメカのふた（板金つき）を開け、基板上的SW1で設定してください。
- 出荷時は2.0mの設定になっています。

昇降高さの設定

ネジ

昇降グリル下降距離設定 (SW1)
(出荷設定=2.0m)

0 (OFF) 1 (ON)

[m]	1	2	3	4
1.2	0	0	0	
1.6	1	0	0	
2.0	0	1	0	
2.4	1	1	0	
2.8	0	0	1	
3.1	1	0	1	
3.5	0	1	1	
3.9	1	1	1	

未使用 (常時0)

D.ワイヤレスリモコン対応の場合

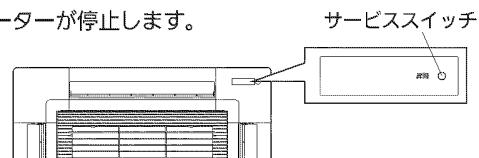
●取り付け方法の詳細は、別売のワイヤレスリモコン受信部に付属の据付説明書を参照してください。

据え付け後の動作確認

- 設定終了後に、動作確認を行ってください。
- 電源投入時、はじめて操作した場合は、下げるを押しても上昇動作をします。
- 昇降グリルがパネル本体にきちんと収まると、収納動作を2回くり返した後、モーターが停止します。

サービス時

- リモコン（ワイヤード・昇降リモコン・ワイヤレス）を使用しなくても、右図のサービススイッチにて、昇降が可能です。サービススイッチは押すごとに、上昇、停止、下降をくり返します。



E.DCファンモータータップの選択 (4方向天井カセット形)

ご使用の用途、別売品に応じ、ファン回転数を設定する必要があります。(表1)
ファン回転数を設定する方法は、(1) 基板上的のディップスイッチを切り替えて設定する方法 (2) ワイヤードリモコンで設定する方法があります。どちらかの方法で設定してください。※ディップスイッチによる設定が優先されます。

表1 DCファンモータータップ設定表

設定No.	項目コード5Dの設定データ	使用用途/別売品名称 ※1
	0000	標準 (出荷設定)
(1)	0001	高天井設定1 (標準、エコナビパネル時)
		オイルガードパネル ※2
		超ロングライフフィルター
		オイルミストフィルター ※2
		高性能フィルター (JIS比色法65%)
		昇降グリル付きオイルガードパネル ※2
(3)	0003	しゃ風材 (3方向吹出時) ※3
		しゃ風材 (吹出ダクト接続時) ※3
		高天井設定2 (標準、エコナビパネル時)
		高性能フィルター (JIS比色法90%)
(6)	0006	デオドラントフィルター
		しゃ風材 (2方向吹出時)

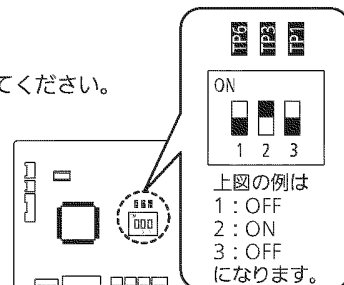
- ※1. 必ず、カタログ・設備設計資料等の別売品組合表にて、組合せ可能な別売品を確認し選定してください。
- ※2. オイルガードパネルとオイルミストフィルターまたは、昇降グリル付きオイルガードパネルとオイルミストフィルターを組み合わせる場合は、設定No. (3) または設定データ0003を設定してください。
- ※3. しゃ風材とそれ以外の別売品を併用の場合、
3方向吹出時 設定No. (3) または設定データ0003
吹出ダクト接続時 設定No. (3) または設定データ0003
2方向吹出時 設定No. (6) または設定データ0006
を設定してください。
なお、併用可能な別売品は一つまでとなります。

(1) 基板上的のディップスイッチを切り替えて設定する場合

<手順> 必ず電源 (漏電しゃ断器) を切ってください。

- ①ご使用の用途、別売品に応じた「設定No.」を表1で確認してください。
- ②電装ボックスのふたを開き、室内コントロール基板を確認してください。(図16)
- ③表1で確認した設定No.に合わせ、室内コントロール基板上にあるディップスイッチを設定変更してください。

設定No.	ディップスイッチ	設定No.	ディップスイッチ	設定No.	ディップスイッチ
(1)	ON側 OFF側	(3)	ON側 OFF側	(6)	ON側 OFF側
	ディップスイッチ		ディップスイッチ		ディップスイッチ



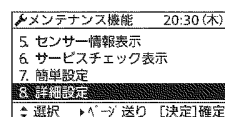
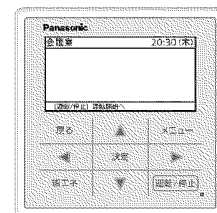
(図16) 室内コントロール基板

(2) ワイヤードリモコンで設定する場合 (別売品: CZ-10RT4/CZ-10RT4A/CZ-10RT4B)

ご使用の用途、別売品に応じた「項目コード5Dの設定データ」を表1で確認してください。

<手順> ユニットが運転を停止した状態で行ってください。

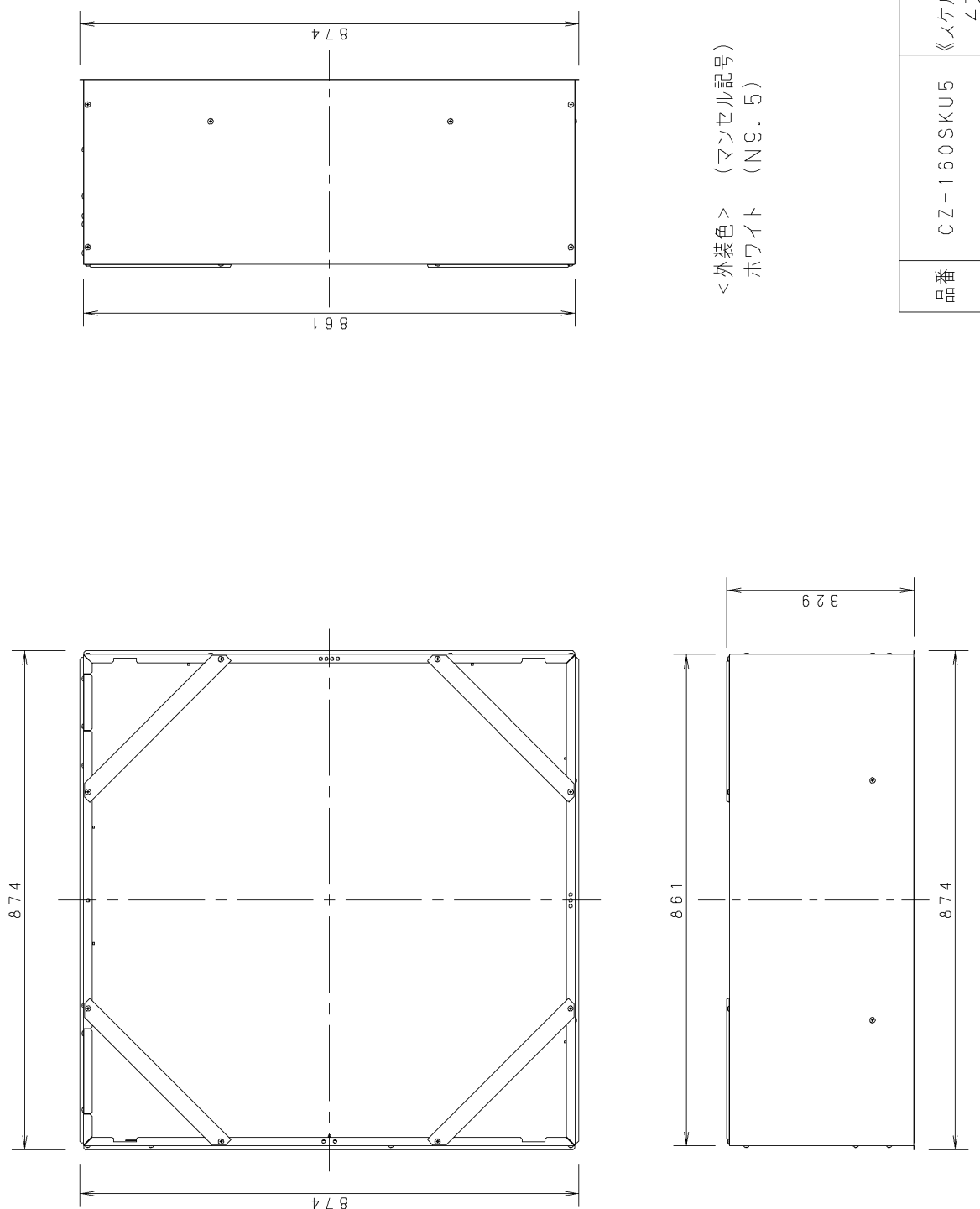
- ①戻る + 決定 + 決定 ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。
- ②決定 / 決定 ボタンで選択、決定 / 決定 ボタンでページが切り替わります。
「8.詳細設定」を選択し、決定 ボタンを押してください。
【詳細設定画面】が表示されます。
- ③決定 / 決定 ボタンで変更するユニットNo.を選択してください。
- ④決定 / 決定 ボタンで項目コードを選択してください。
- ⑤決定 / 決定 ボタンで設定データを選択してください。
- ⑥決定 / 決定 ボタンで設定データを表1で確認した値に変更し、決定 ボタンを押してください。
- ⑦決定 / 決定 ボタンでユニットNo.を選択後、戻る ボタンを押してください。
【詳細設定終了画面】が表示されます。
- ⑧「はい」を選択し、決定 ボタンを押してください。



ユニット No. 設定データ
項目コード

スケルトン天井用側面カバー (CZ-160SKU5)

■外形寸法図



据付工事説明書

スケルトン天井用側面カバー

品番 CZ-160SKU5

適用室内ユニット 4方向天井カセット形

- 据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容（禁止事項）です。



実行しなければならない内容（強制事項）です。



警告



- 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
(ユニットの落下や水漏れの原因)

- 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
(ユニットの落下による、けがの原因)
■付属品は当社指定の部品を使用する
(指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因)



注意



- 周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
(万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因)

- 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

- 使用上のご注意

- ・スケルトン天井用側面カバーは28～160形まで共通で使用できます。
- ・スケルトン天井用側面カバーは、室内ユニットの冷媒配管・ドレン配管終了後に、室内ユニットに取り付けてください。
- ・別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
- ・この据付工事説明書は、室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

1. 付属品

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

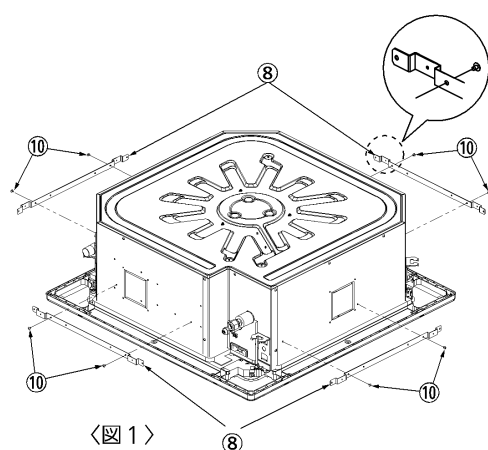
部品番号	名 称	個数	部品番号	名 称	個数
①	化粧パネル1 (配管側)	1	⑦	補強金具	4
②	化粧パネル2 (右側面)	1	⑧	固定金具	4
③	化粧パネル3 (配管側反対面)	1	⑨	化粧ネジ (2本予備)	30
④	化粧パネル4 (左側面)	1	⑩	取付ネジ (2本予備)	10
⑤	配管部カバー	1	⑪	据付工事説明書	1
⑥	ドレン部カバー	1			

2. 取り付けかた

- ⑧固定金具4個を、それぞれ⑩取付ネジ2本で、側面4か所に取り付けます。〈図1〉〈図2〉
- ①化粧パネル1を、⑨化粧ネジ2本で、⑧固定金具の2か所の穴に取り付けます。〈図3〉
- ①化粧パネル1の反対面に、③化粧パネル3を、⑨化粧ネジ2本で⑧固定金具の2か所の穴に取り付けます。〈図3〉
- ①化粧パネル1の右側面に、②化粧パネル2を、⑨化粧ネジ2本で⑧固定金具の2か所の穴に取り付けます。〈図3〉
- ①化粧パネル1の左側面に、④化粧パネル4を、⑨化粧ネジ2本で⑧固定金具の2か所の穴に取り付けます。〈図3〉
- ②化粧パネル2と④化粧パネル4の両端をそれぞれ、⑨化粧ネジ2本ずつで、①化粧パネル1と③化粧パネルの2か所の穴に取り付けます。〈図3〉
- ⑦補強金具を、それぞれ⑨化粧ネジ2本で4か所に取り付けます。〈図3〉
- ⑤配管部カバーの爪を①化粧パネル1の角穴にはめ込み、⑨化粧ネジ2本で取り付けます。〈図3〉
- ⑥ドレン部カバーの爪を①化粧パネル1の角穴にはめ込み、⑨化粧ネジ2本で取り付けます。〈図3〉

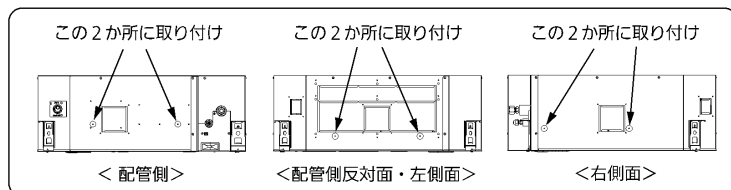
取り付け時のご注意

- ⑧固定金具は、曲げ形状の内側の穴を使用して取り付けてください。〈図1ー拡大図参照〉
- 化粧パネル天面 (A部) にパネル番号と等しい数の穴が開いているので、穴の数で部品を見分けてください。〈図2ーA部拡大図参照〉
- 化粧パネルは、①→③→②→④の順番で取り付けてください。
- 取り付け面と取り付け順序を間違えると、化粧パネルが組み立たないので注意してください。



〈図1〉

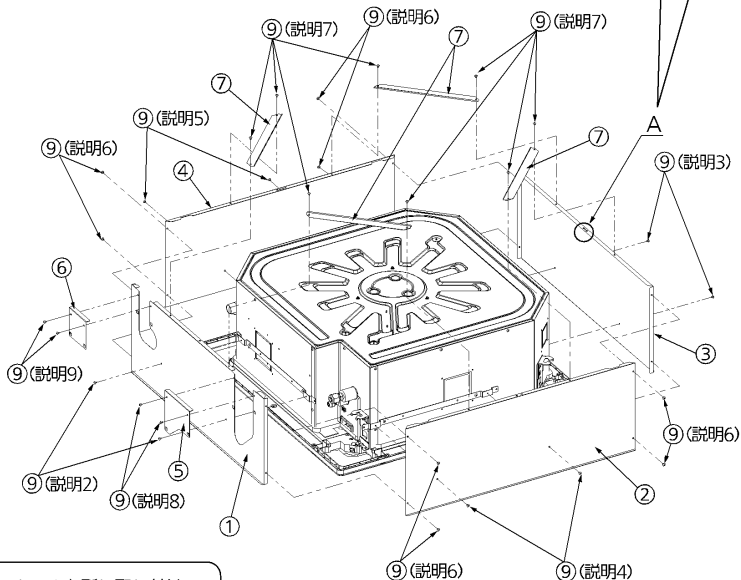
固定金具の取り付け穴 〈図2〉



< 配管側 >

< 配管側反対面・左側面 >

< 右側面 >



〈図3〉

A部拡大図



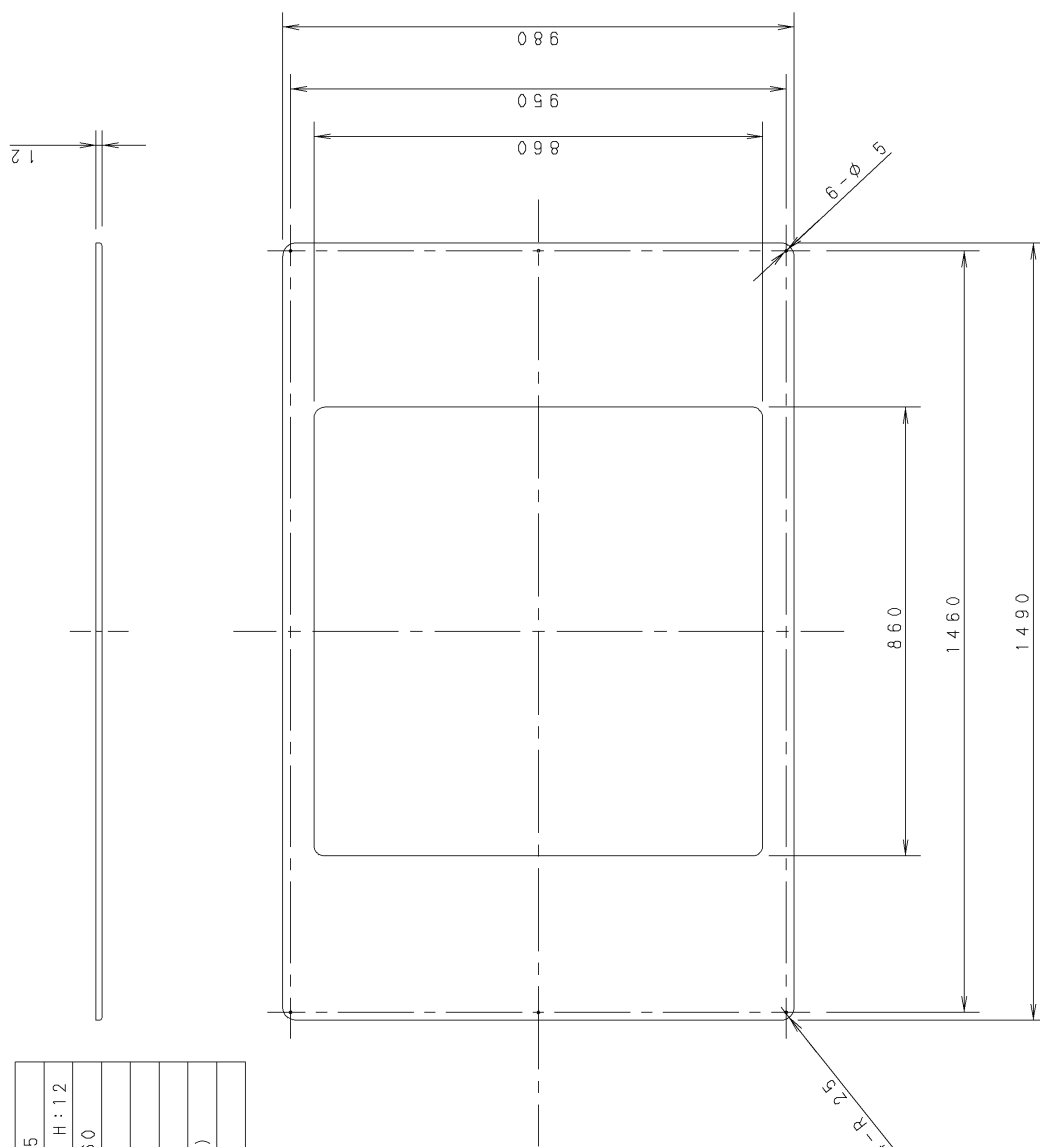
部品③は穴の数が3個

ワイドパネル (CZ-160KWU5)

■外形寸法図

■仕様

品番		CZ-160KWU5
外形寸法	mm	W:1490, D:980, H:12
開口寸法	mm	W:860, D:860
天井開口寸法	短手 mm	860~920
	長手 mm	860~1430
製品質量	kg	4
色 (マンセル記号)	ホワイト (N9.3)	
適用機種	28~160形	



品番	CZ-160KWU5	外形寸法図 《ワイドパネル》 (4方向カセット形)
----	------------	---------------------------------

据付工事説明書

ワイドパネル

品番 CZ-160KWU5

適用室内ユニット 4方向天井カセット形

- 据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」とこの「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

**警告**

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

**注意**

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容（禁止事項）です。



実行しなければならない内容（強制事項）です。

**警告**

- 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
(ユニットの落下や水漏れの原因)

- 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
(ユニットの落下による、けがの原因)
■付属品は当社指定の部品を使用する
(指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因)

**注意**

- 周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
(万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因)

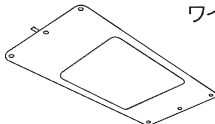
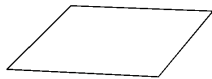
- 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■使用上のご注意

- ・ワイドパネルは、室内ユニットの冷媒配管・ドレン配管終了後、天井パネルを取り付ける際に、同時に取り付けてください。※先に天井パネルを取り付けてしまうと、ワイドパネルを取り付けできなくなります。
- ・別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
- ・この据付工事説明書は、室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

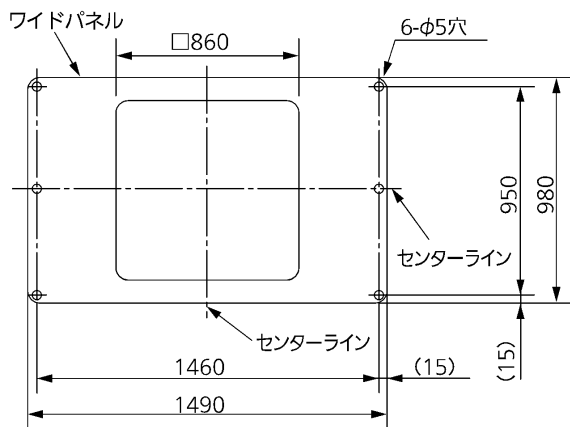
1. 付属品

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

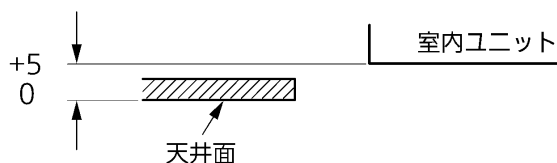
名 称	個数	名 称	個数	名 称	個数
 ワイドパネル	1	 取付ネジ 4×35 白色塗装付き 〔近似色 97年版 日本塗装工業会 NO.U22-85〕	6	 据付工事説明書	1

2. 取り付け前の準備

- 天井開口寸法が下記の範囲内か確認してください。
短手×長手：860～920×860～1,430
- ワイドパネルは、下図の位置でネジ止めします。
取付ネジが締められない天井材（石膏ボード等）の場合は、木材または天井材固定用Mバー等（現地調達、ダブルバー推奨）を天井材裏面に取り付けてください。

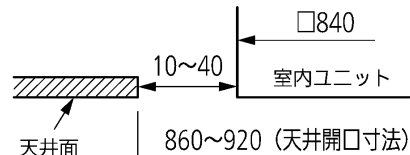


- 天井面の水平を確認してください。
※天井面が水平でない場合、ワイドパネルと天井面に多少の隙間が開く場合があります。
室内ユニットと天井面は、0～5mmの範囲に高さ設定してください。この範囲が守られない場合、故障等の原因となります。（図は、寸法を見やすくするために、室内ユニットの位置を高く表示しています。）



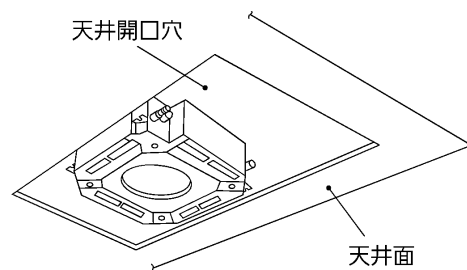
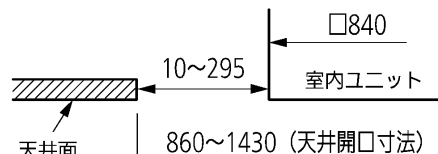
天井開口寸法 短手

短手方向で天井と室内ユニットの隙間が10～40で左右同一寸法になるように調整してください。



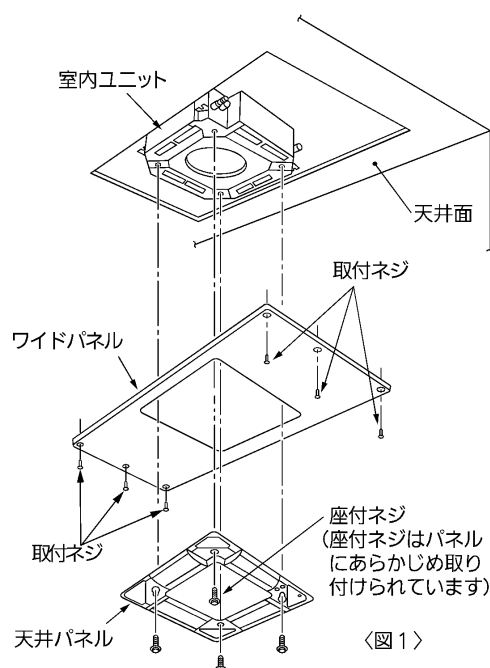
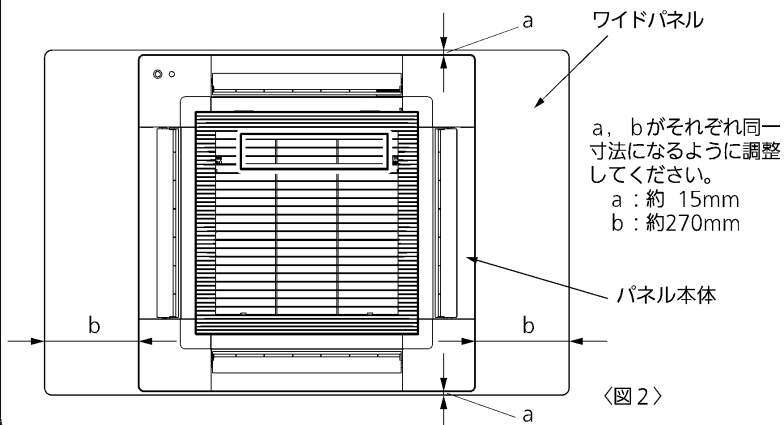
天井開口寸法 長手

長手方向で天井と室内ユニットの隙間が10～295で左右同一寸法になるように調整してください。



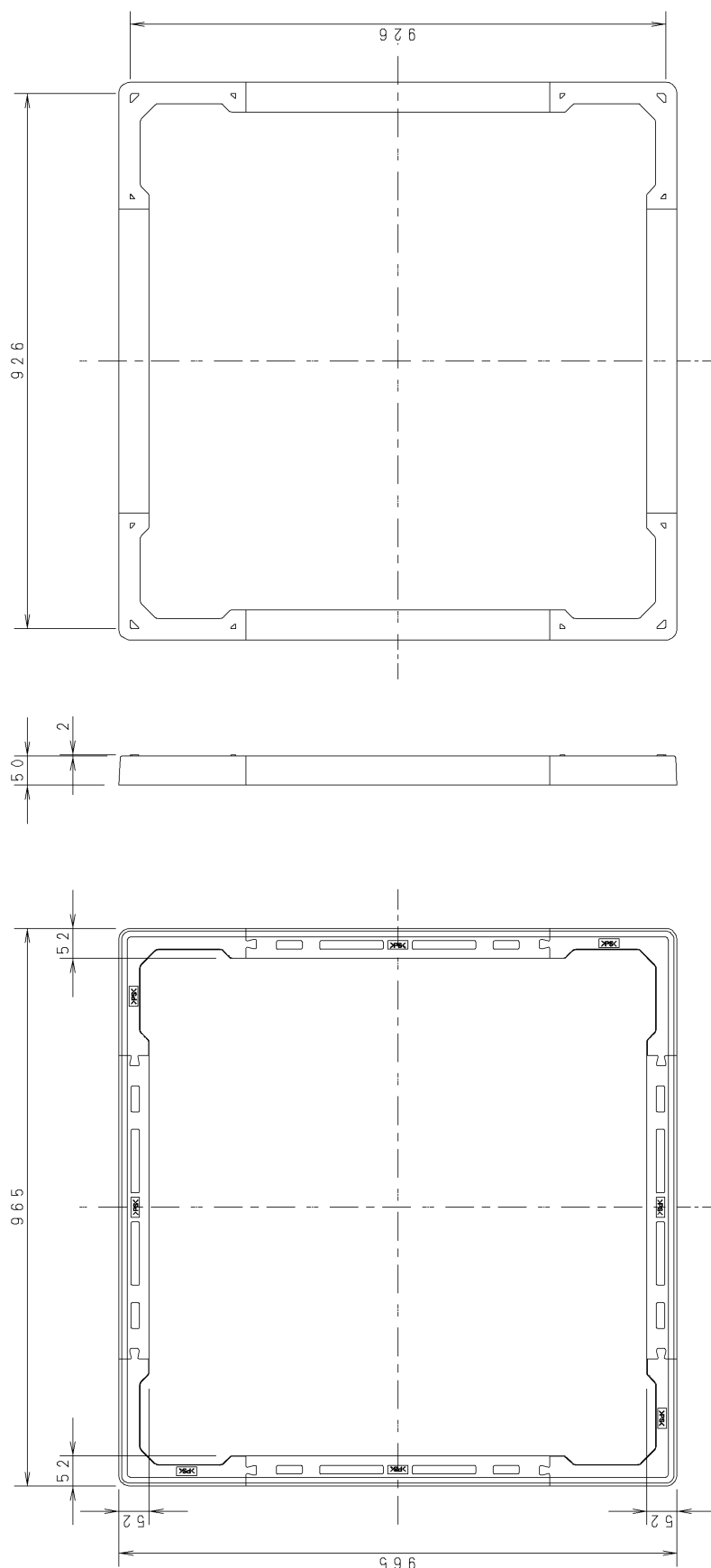
3. 取り付けかた

- 天井パネルの上にワイドパネルを載せて、天井パネルを室内ユニットに取り付けます。〈図1〉
※天井パネルの取り付けかたは、天井パネルに同梱されている据付工事説明書を参照してください。
※天井パネルとワイドパネルの位置合わせは〈図2〉を参照してください。
- ワイドパネルを取付ネジ6本で天井面へ固定します。
※取付ネジはワイドパネルが変形しない程度に締め込んでください。
変形した場合は、取付ネジを少し緩めてください。



パネルスペーサー (CZ-160SPU5)

■外形寸法図



<外装色> (マンセル記号)
ホワイト (5.2Y 9.7/0.2)

品番	CZ-160SPU5	外形寸法図 《パネルスペーサー》 4方向天井カセット形
----	------------	-----------------------------------

据付工事説明書

パネルスペーサー

品番 CZ-160SPU5

適用室内ユニット 4方向天井カセット形

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

**警告**

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

**注意**

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容（禁止事項）です。



実行しなければならない内容（強制事項）です。

**警告**

■据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
(ユニットの落下や水漏れの原因)

■据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
(ユニットの落下による、けがの原因)

■付属品は当社指定の部品を使用する
(指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因)

**注意**

■周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
(万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因)

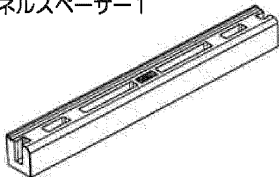
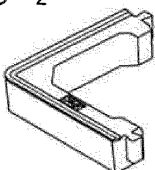
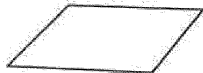
■据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■使用上のご注意

- ・天井パネルを室内ユニットに取り付ける前に、パネルスペーサーを取り付けてください。
※先に天井パネルを室内ユニットに取り付けてしまうと、パネルスペーサーを取り付けできなくなります。
- ・別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
- ・この据付工事説明書は、室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

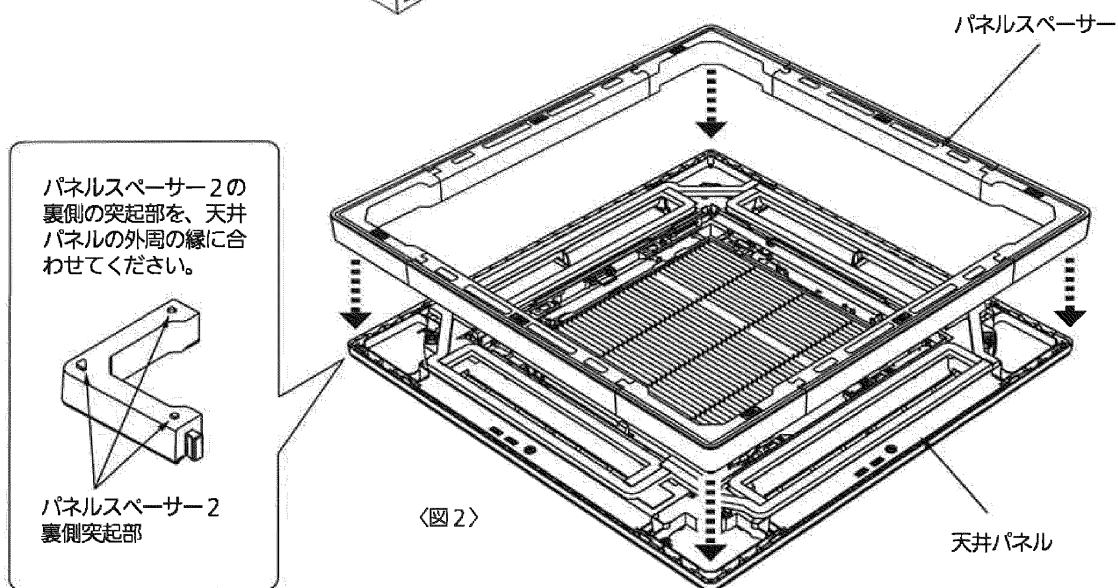
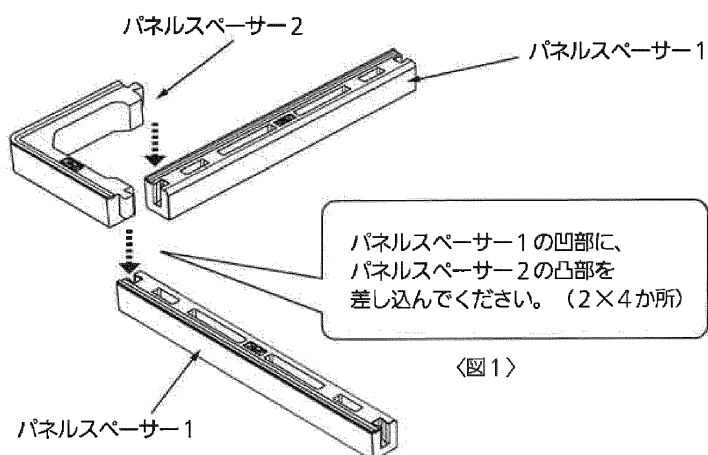
1. 付属品

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

名 称	個数	名 称	個数	名 称	個数
パネルスペーサー1 	4	パネルスペーサー2 	4	据付工事説明書 	1

2. 取り付けかた

1. パネルスペーサー1と2を、〈図1〉のように組み立てます。
2. 組み立てたパネルスペーサーを、天井パネルの外周に取り付けます。〈図2〉
 ※取り付ける際は、パネルスペーサー2の裏側の突起部を天井パネル外周の縁に合わせてください。
 ※取り付け時、天井パネル全周でパネルスペーサーが天井パネルより約5mm外側に出ていることを確認してください。
3. パネルスペーサー取り付け後、天井パネルを室内ユニットに取り付けてください。



別売部品

5. 室内ユニット関連部品の仕様と据付 (4方向天井カセット形)

高性能フィルター 比色法65% (CZ-160MFU5)

高性能フィルター 比色法90% (CZ-160HFU5)

超ロングライフフィルター 重量法40% (CZ-160LFU5)

■高性能フィルター (比色法65%) 仕様

名 称		高性能フィルター(比色法65%)						
品 番		CZ-160MFU5						
適用室内ユニット		28, 36形	45形	56形	71, 80形	90, 112形	140形	160形
初期風量	m ³ /min	15.4	17.7	18.1	19.6	31.8	32.3	33.0
最終風量	m ³ /min	9.4	9.6	9.8	10.0	20.4	21.0	21.4
初期圧損	Pa	10.0	12.9	13.5	16.2	30.7	32.4	33.0
最終圧損	Pa	24.2	33.7	35.8	37.5	67.0	68.3	70.0
フィルター寿命	時間	2,600	2,500	2,500	2,400	2,200	2,200	2,200
平均効率		比色法 65%(JIS 11種)						
使用濾材		ポリオレフィン系帯電繊維						
フィルター分割数		1枚組						
質量		kg						
フィルター 外形寸法	幅	mm						
	奥行	mm						
	厚み	mm						
適用 フィルター チャンバー		CZ-160FDU5						
適用 フィルター チャンバー	質量	kg						
	厚み	mm						

■高性能フィルター (比色法90%) 仕様

名 称		高性能フィルター(比色法90%)						
品 番		CZ-160HFU5						
適用室内ユニット		28, 36形	45形	56形	71, 80形	90, 112形	140形	160形
初期風量	m ³ /min	14.2	16.0	16.9	19.2	30.1	30.1	30.1
最終風量	m ³ /min	9.5	9.8	10.0	10.0	21.4	21.4	21.4
初期圧損	Pa	15.0	17.7	19.8	22.3	44.5	44.5	44.5
最終圧損	Pa	26.2	33.0	37.4	39.7	70.5	70.5	70.5
フィルター寿命	時間	1,800	1,750	1,750	1,600	1,500	1,500	1,500
平均効率		比色法 90%(JIS 11種)						
使用濾材		ポリオレフィン系帯電繊維						
フィルター分割数		1枚組						
質量		kg						
フィルター 外形寸法	幅	mm						
	奥行	mm						
	厚み	mm						
適用 フィルター チャンバー		CZ-160FDU5						
適用 フィルター チャンバー	質量	kg						
	厚み	mm						

注記

- (1) 高性能フィルターを組み込むと風量がダウンして、弱風運転の場合は保護装置が作動する恐れがあります。
これを防止するため、チャンバー付属の据付工事説明書に従い、ファンタップ変更を必ず行なってください。
(据付工事説明書参照)
- (2) 高性能フィルター組み込みの場合は、ダクト接続や2方向・3方向吹き出しはできません。
- (3) フィルター寿命は、塵埃濃度0.15mg/m³ (建築物衛生法規制値) で算出した値を示します。(JIS 11種)
フィルター寿命は、現場条件により異なりますのでご注意ください。
- (4) 高性能フィルターを組み込む場合は、別売品のフィルターチャンバーが必要ですのでご用意ください。
- (5) 天井パネルのエアーフィルターは、プレフィルターとしてそのまま使用します。
- (6) 風量・圧損・寿命は、急風時 (ファンタップ変更後) の値を示します。

■超ロングライフフィルター（重量法40%）仕様

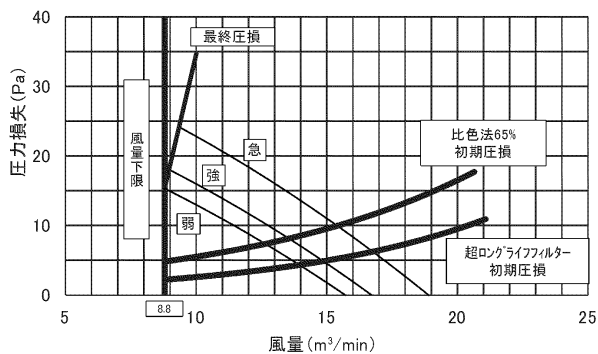
名 称			超ロングライフフィルター(重量法40%)						
品 番			CZ-160LFU5						
適用室内ユニット			28, 36形	45形	56形	71, 80形	90, 112形	140形	160形
初期風量	m ³ /min		16.8	19.1	19.6	21.2	35.0	35.4	36.2
最終風量	m ³ /min		9.4	9.6	9.8	10.0	20.4	21.0	21.4
初期圧損	Pa		6.8	8.5	9.1	10.5	17.8	18.7	19.3
最終圧損	Pa		24.2	33.7	35.8	37.5	67.0	68.3	70.0
フィルター寿命	時間		6, 200	6, 400	6, 700	6, 400	5, 100	5, 100	5, 100
平均効率			重量法 40%(JIS 11種)						
使用濾材			PPハニカム (防カビ仕様)						
フィルター分割数			1枚組						
質量		kg	1.9						
フィルター 外形寸法	幅	mm	594						
	奥行	mm	560						
	厚み	mm	35						
適用 フィルター チャンバー	品 番		CZ-160FDU5						
	質量	kg	2.0						
	厚み	mm	100						

注記

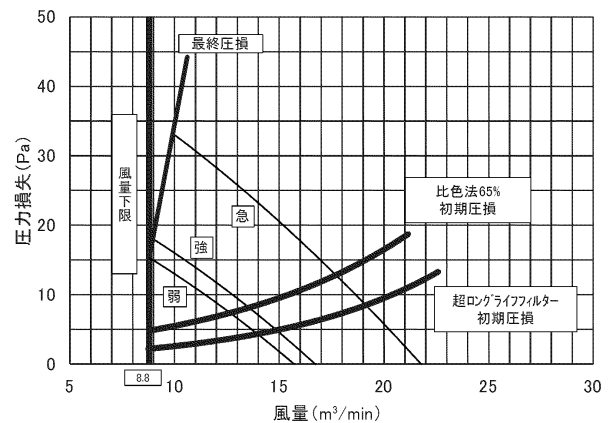
- (1) 超ロングライフフィルターを組み込むと風量がダウンして、弱風運転の場合は保護装置が作動する恐れがあります。
これを防止するため、チャンバー付属の据付工事説明書に従い、ファンタップ変更を必ず行なってください。
(据付工事説明書参照)
- (2) フィルター寿命は、塵埃濃度0.15mg/m³（建築物衛生法規制値）で算出した値を示します。（JIS 11種）
フィルター寿命は、現場条件により異なりますのでご注意ください。
- (3) 超ロングライフフィルターを組み込む場合は、別売品のフィルターチャンバーが必要です。ご注意ください。
- (4) 天井パネルのエアーフィルターは、取り外してご使用ください。
- (5) 風量・圧損・寿命は、急風時（ファンタップ変更後）の値を示します。

■ 風量・圧力損失特性線図 (高性能フィルター65%・超ロングライフフィルター)

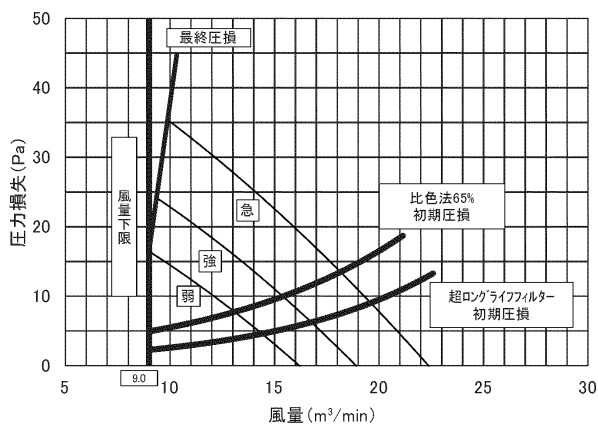
28・36形



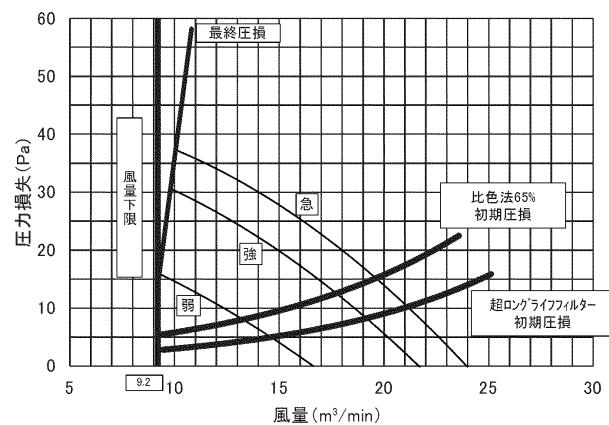
45形



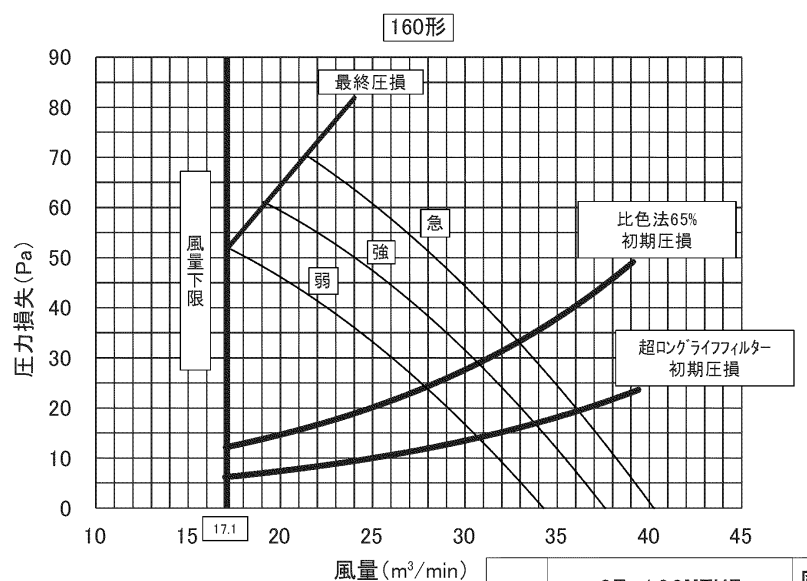
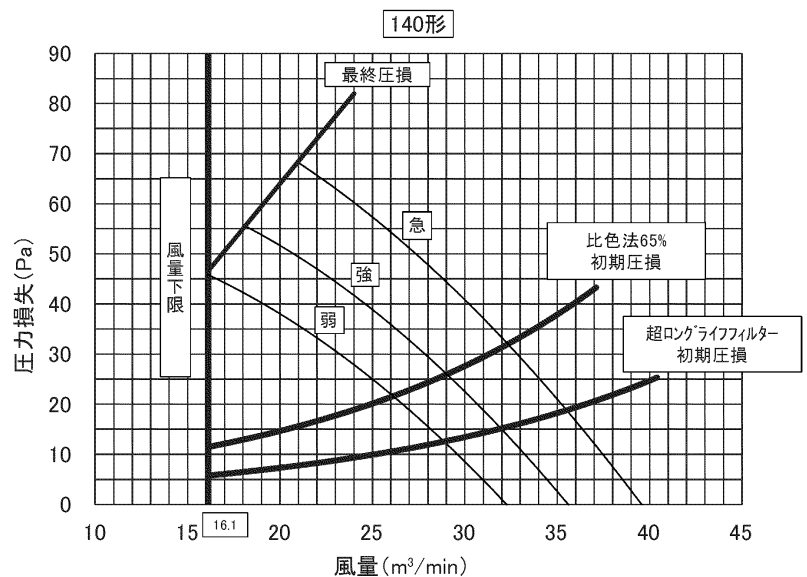
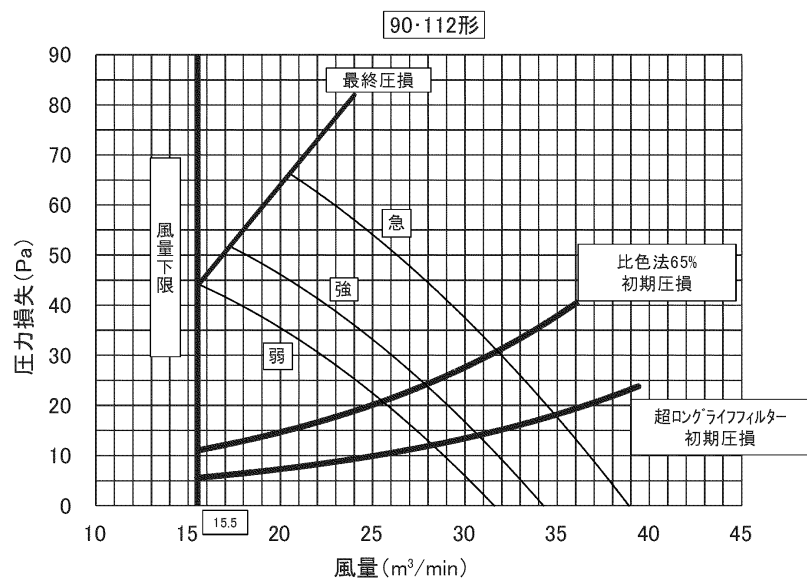
56形



71・80形

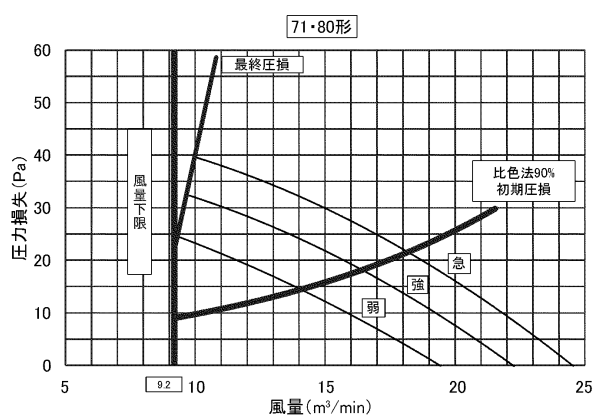
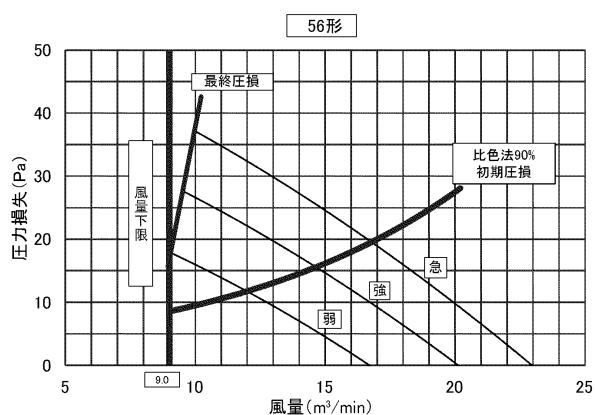
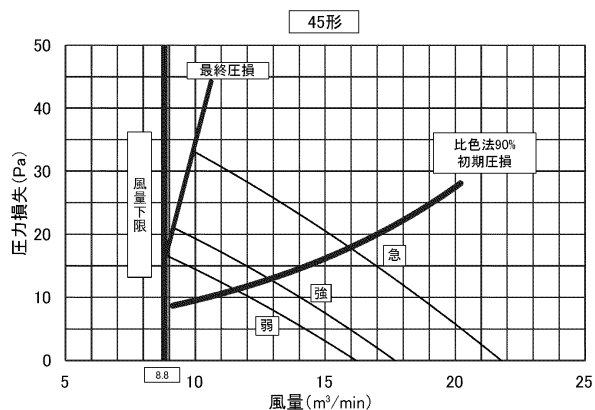
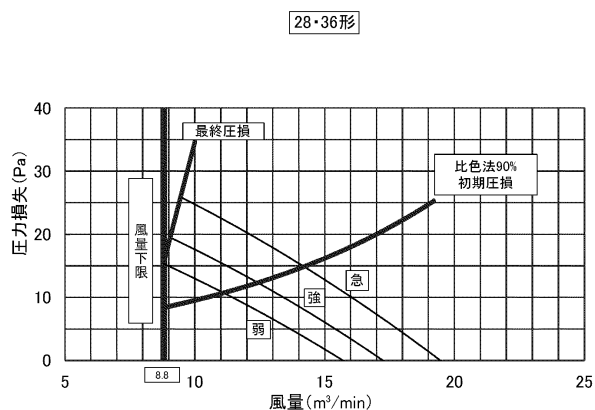


品番	CZ-160MFU5	風量・圧力損失線図 (1) 《高性能フィルター》(比色法65%) 《超ロングライフフィルター》
	CZ-160LFU5	

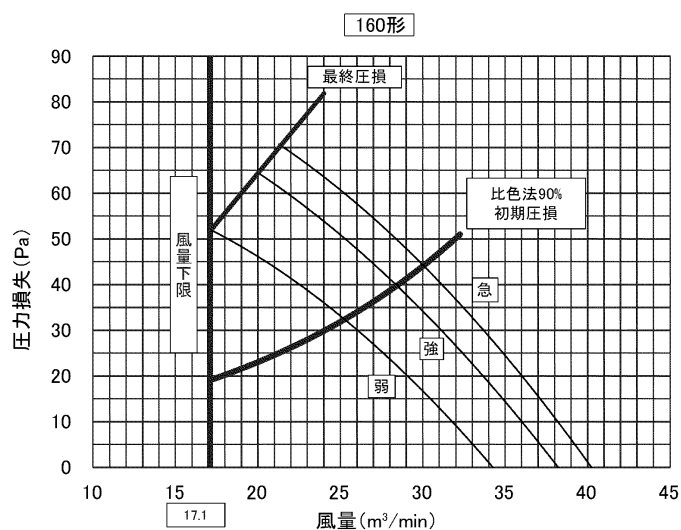
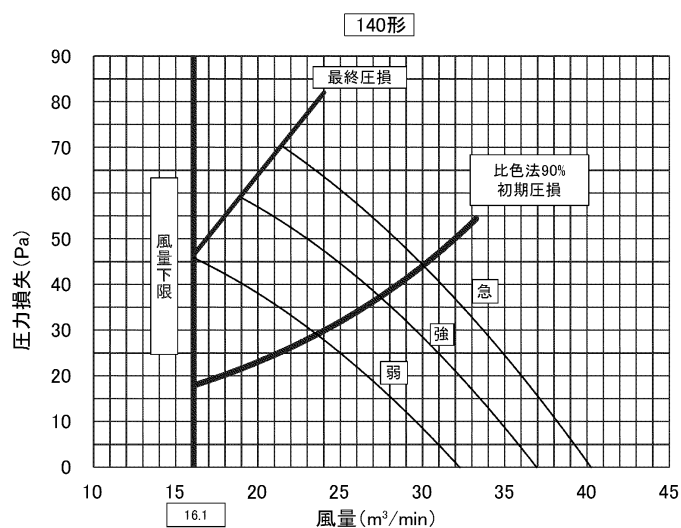
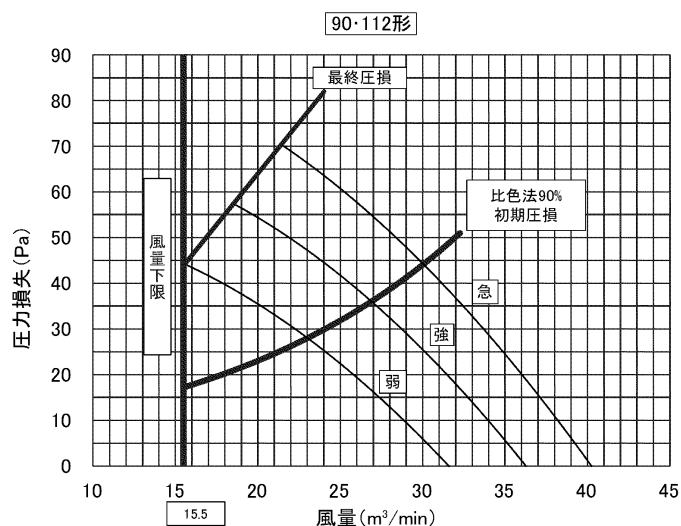


品番	CZ-160MFU5 CZ-160LFU5	風量・圧力損失線図 (2) 《高性能フィルター》(比色法65%) 《超ロングライフフィルター》
----	--------------------------	---

■ 風量・圧力損失特性線図 (高性能フィルター90%)

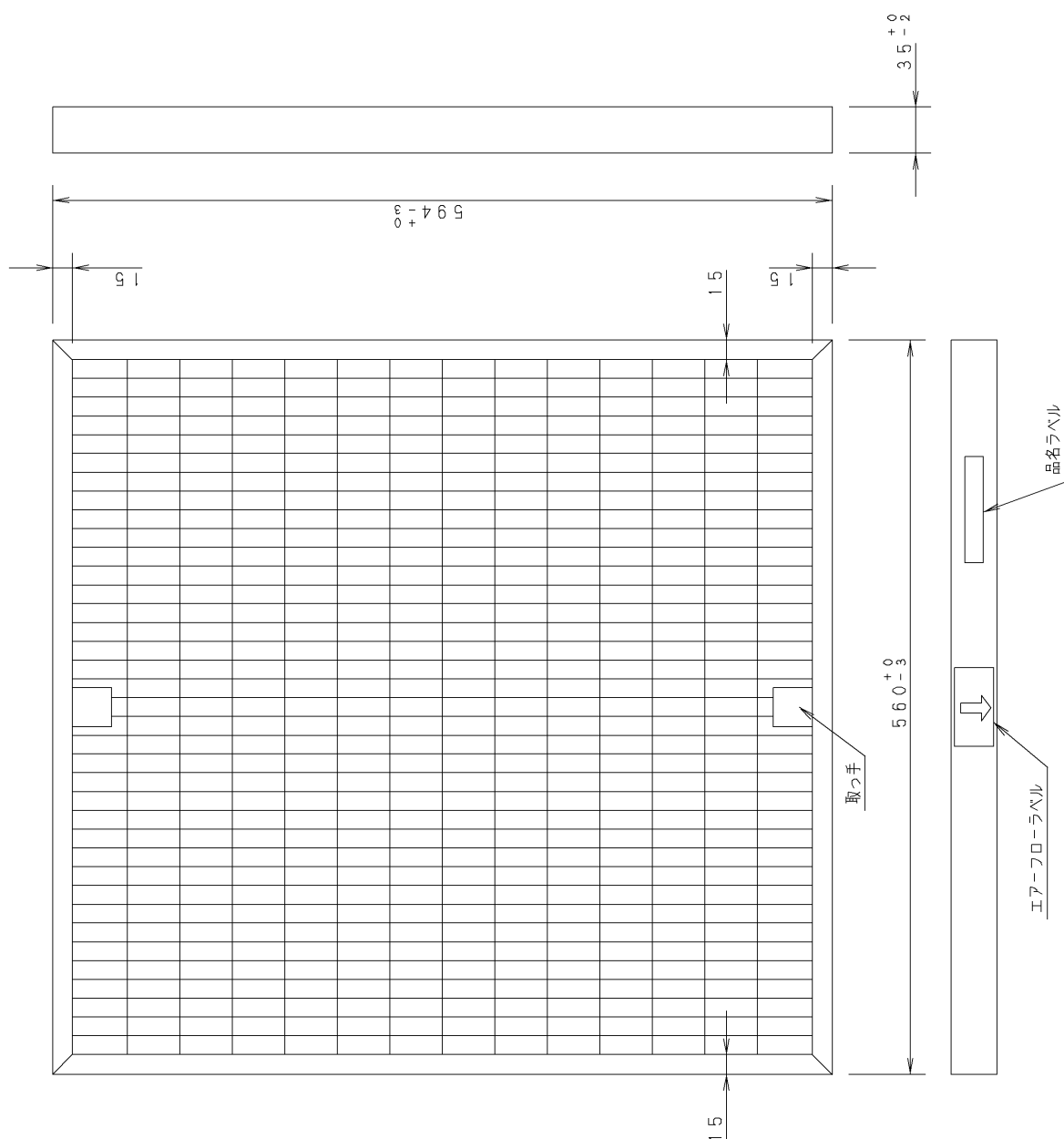


品番	CZ-160HFU5	風量・圧力損失線図 (1) 《高性能フィルター》 (比色法90%)
----	------------	---

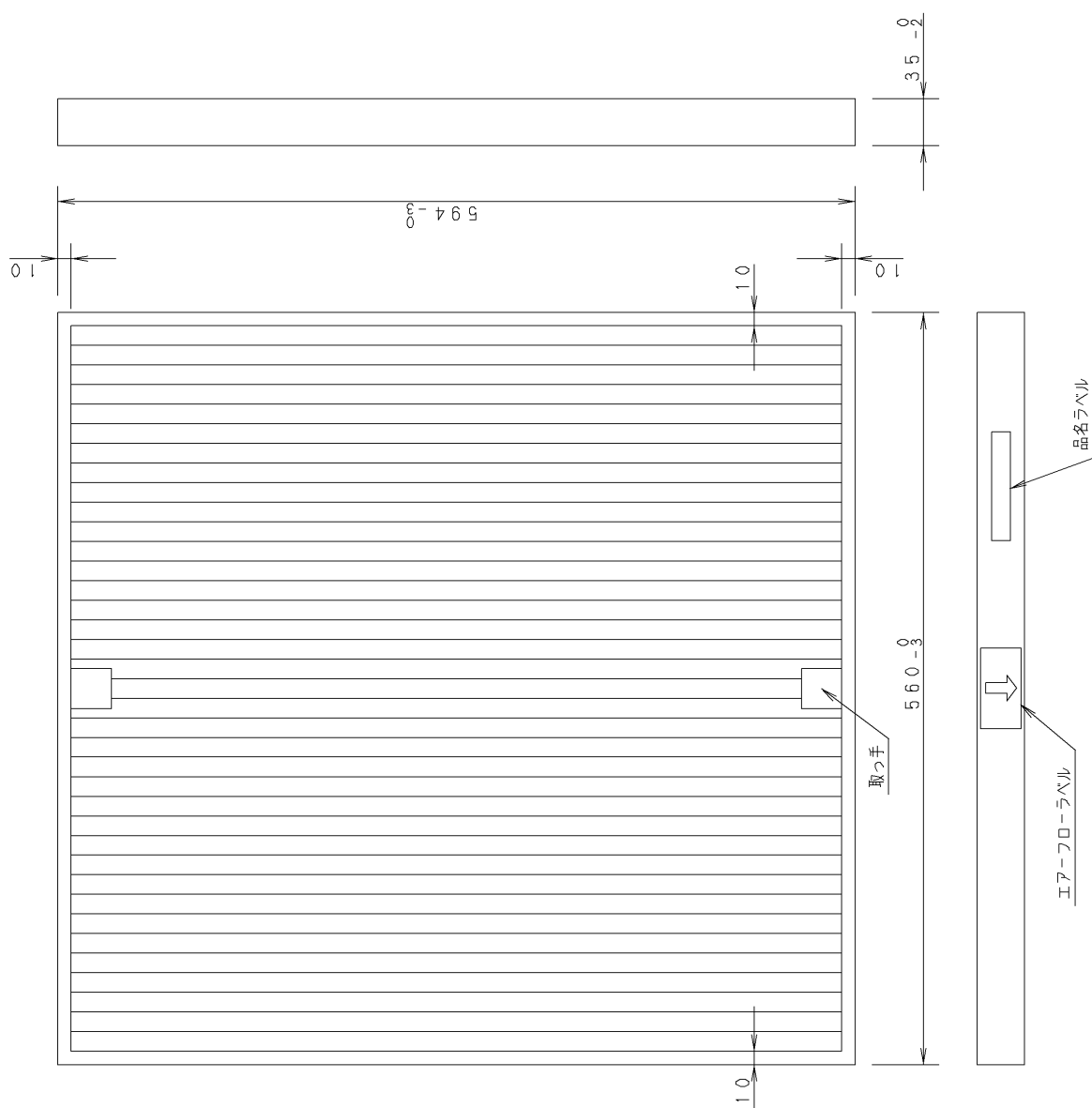


品番	CZ-160HFU5	風量・圧力損失線図 (2) 《高性能フィルター》 (比色法90%)
----	------------	---

■外形寸法図



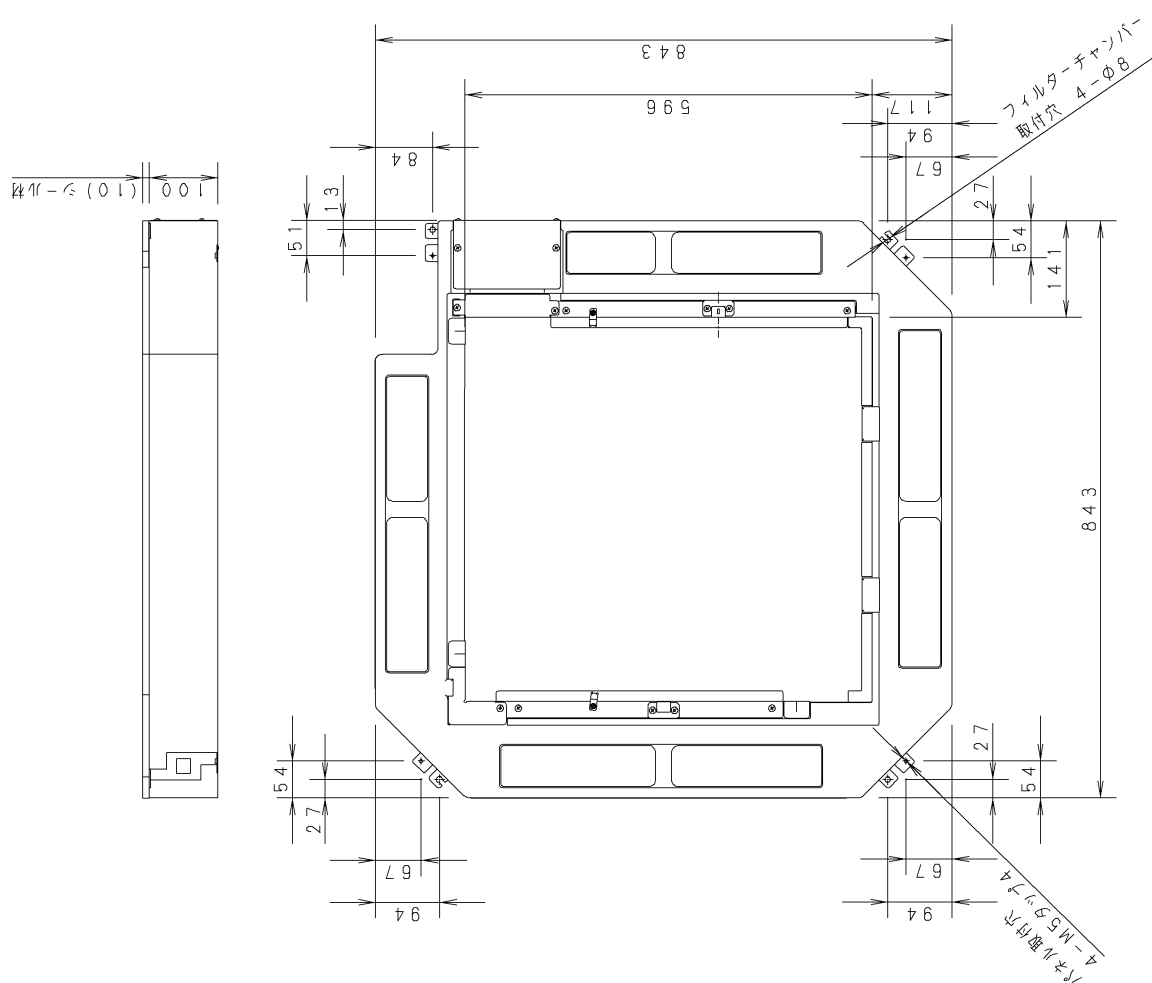
品番	CZ-160MFU5 -160HFU5	外形寸法図 《高性能フィルタ-65, 90%》 4方向天井カセット形
----	------------------------	--



品番	CZ-160LFU5	外形寸法図 《超ロングライフフィルター》 4方向天井カセット形
----	------------	---------------------------------------

フィルターチャンバー (CZ-160FDU5)

■外形寸法図



品番	CZ-160FDU5	外形寸法図 フィルターチャンバー
----	------------	---------------------

据付工事説明書

フィルターチャンバー

品番 CZ-160FDU5

適用室内ユニット 4方向天井カセット形

●据付工事の前に室内ユニットおよび天井パネルに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みの上取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容（禁止事項）です。



実行しなければならない内容（強制事項）です。



警告



■電源配線をバンドなどで束ねて収納しない
(発熱、火災の原因)

■配線は途中接続しない
(接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因)



■据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
(ユニットの落下や水漏れ、感電や火災の原因)

■据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
(ユニットの落下による、ケガの原因)

■配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する
(故障や発熱、火災の原因)

■電気工事（アース工事を含む）は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」およびこの「据付工事説明書」に従って施工する
(感電、火災のおそれ)

■配線をはさまないように、カバーは元どおり確実に取り付ける
(感電、火災の原因)

■付属品は当社指定の部品を使用する
(指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れ、感電、火災等の原因)



注意



■周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
(万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因)

■据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■使用上のご注意

- ・フィルターチャンバーは28～160形まで共通で使用できます。
- ・フィルターチャンバーは、室内ユニットを据え付ける前に室内ユニットに取り付けてください。
- ・据え付け時、フィルターチャンバーの側面に衝撃を与えると破損することがありますので、取扱いには十分注意してください。
- ・別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
- ・設備設計資料等をご確認ください。・この据付工事説明書は室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

1. 付属品

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

●下記部品が梱包内部に付属されていますので、確認してください。

名 称	個数	名 称	個数	名 称	個数
取付ネジ (5 x 40)  (フィルターチャンパー固定用)	4	ワッシャー  (フィルターチャンパー固定用)	4	据付工事説明書 	1

2. 取り付けかた

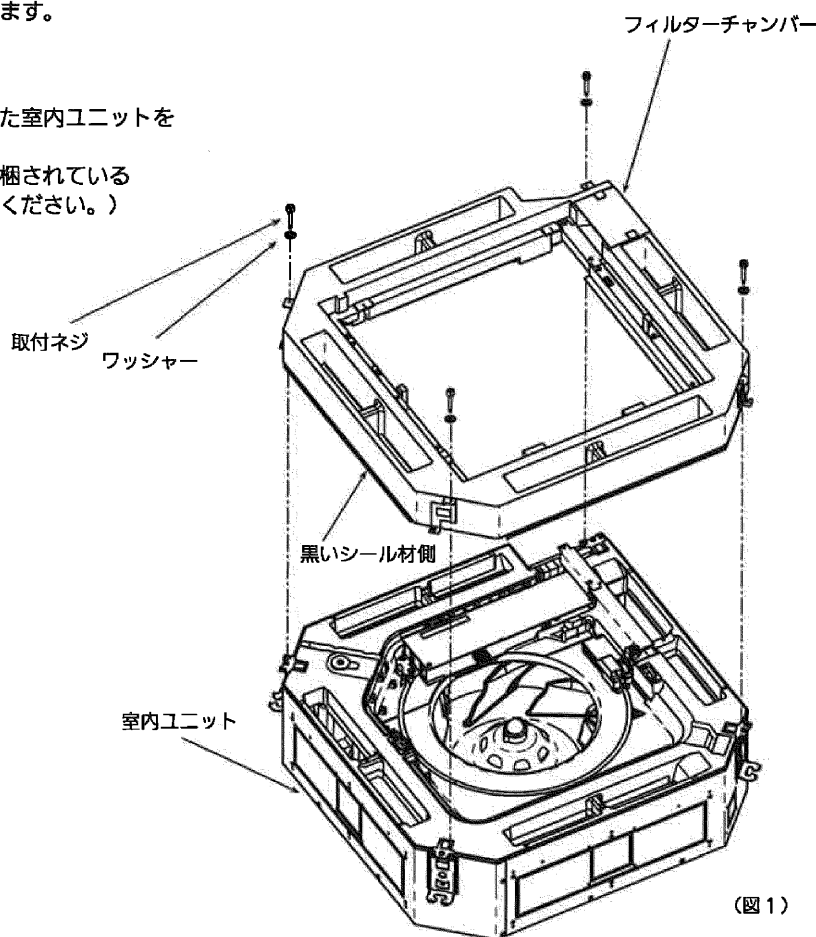
取り付け前に吹出口（4か所）に挿入してある緩衝材（ダンボール）を取り出してください。

①フィルターチャンパーの取り付け（図1）

- ・フィルターチャンパーの黒いシール材側と室内ユニットを合わせてください。
(取り付けの方向性がありますので、室内ユニットとフィルターチャンパーの形状を合わせてください。)
- ・付属の取付ネジ（4本）で固定します。

②室内ユニットの据え付け

- ・フィルターチャンパーを取り付けた室内ユニットを天井に据え付けます。
(据え付けは、室内ユニットに同梱されている据付工事説明書に従って行ってください。)



(図1)

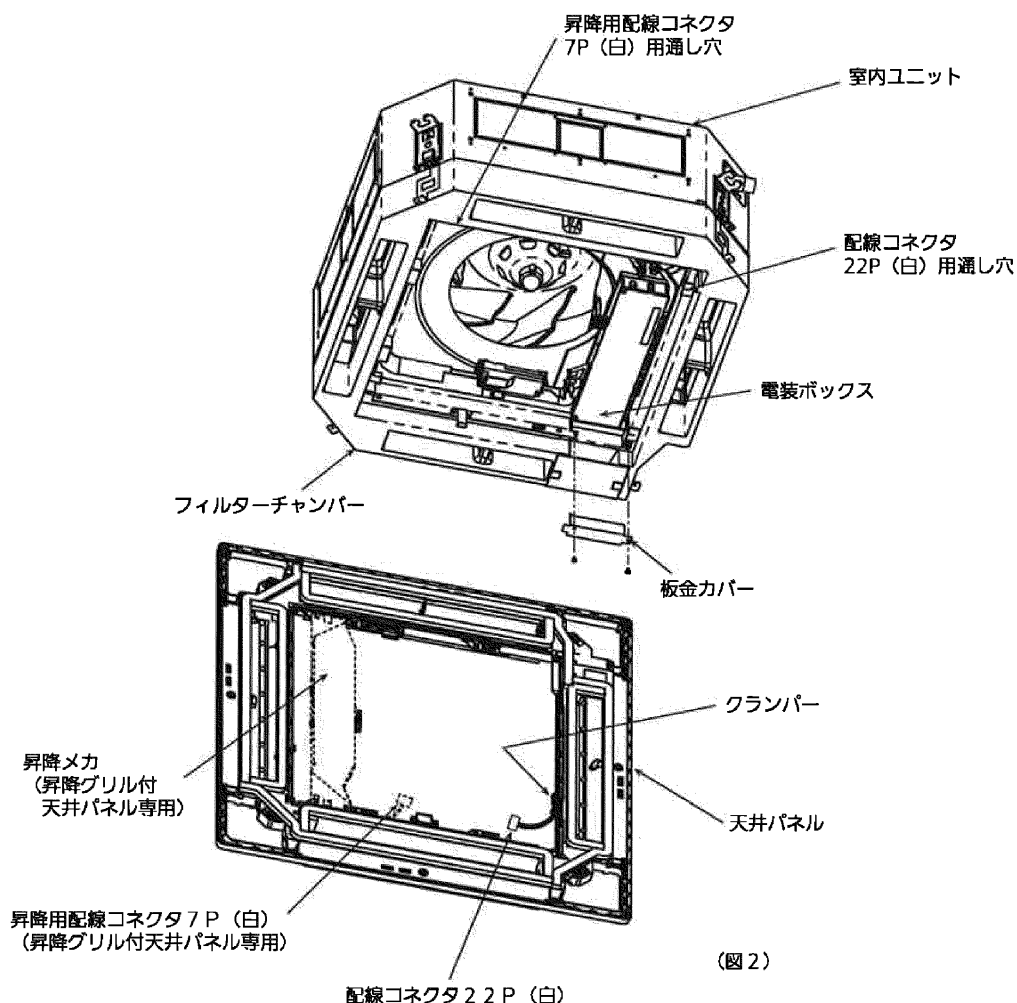
③天井パネルの取り付け（図2）

- ・室内ユニット（フィルターチャンパー付き）に天井パネルを取り付けます。
(取り付けかたは、天井パネルまたは、昇降グリル付天井パネルに同梱されている据付工事説明書を参照してください。)

④パネル配線の接続（図2）

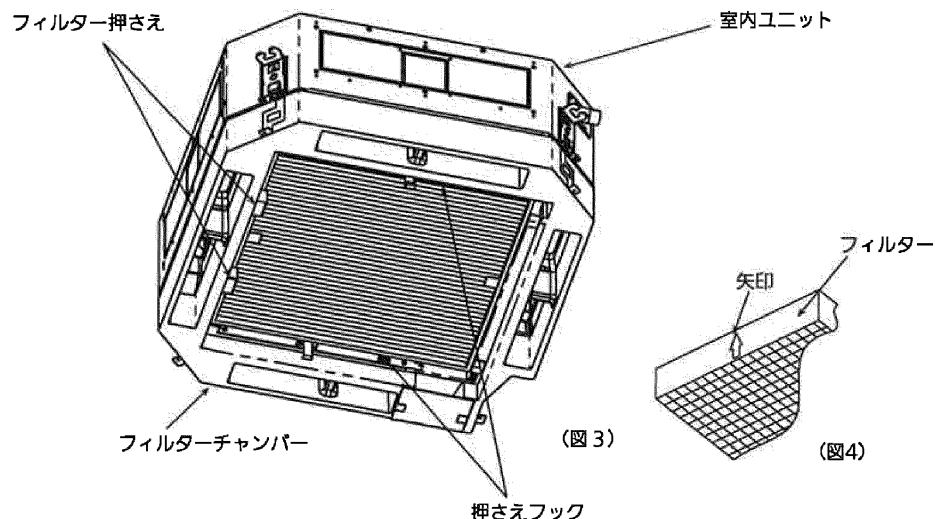
- ・フィルターチャンパーの板金カバーをはずし、電装ボックスのふたを取りはずします。
- ・天井パネルの配線コネクタ22P（白）は、束ねてあるクランプをカットしてからフィルターチャンパーの通し穴に差し込んで、電装ボックス内の22Pコネクタと接続してください。
- ・昇降グリル付天井パネルの場合は、配線コネクタ22P（白）の他に昇降用配線コネクタ7P（白）がありますので、同様にフィルターチャンパーの通し穴に差し込んで、電装ボックス内の基板に接続してください。
- ・電装ボックスのふたとフィルターチャンパーの板金カバーを元に戻してください。

2. 取り付けかた (つづき)



⑤高性能フィルター・超ロングライフフィルターの取り付け (図3)

- ・フィルターをフィルター押さえ (フィルターチャンバー) に差し込みます。
(取り付けの方向性があります。フィルター側面の矢印を下図 (図4) の方向にして差し込んでください。)
- ・フィルターチャンバーの押さえフック (2か所) を回転させて固定します。
(取り付けかたは、高性能フィルターまたは、超ロングライフフィルターに同梱されている据付工事説明書を参照してください。)



3. DCファンモータータップの選択

ご使用の用途、別売品に応じ、ファン回転数を設定する必要があります。(表1)
変更を行わない場合、風量減少により冷房時吐出温度が低下、露付きの原因となります。
ファン回転数を設定する方法は、(1) 基板上的ディップスイッチを切り替えて設定する方法 (2) ワイヤードリモコンで設定する方法
があります。どちらかの方法で設定してください。※ディップスイッチによる設定が優先されます。

表1 DCファンモータータップ設定表

設定No.	項目コード5D/5dの 設定データ	使用用途/別売品名称 ※1
	0000	標準 (出荷設定)
(1)	0001	高天井設定1 (標準、エコナビパネル時)
		オイルガードパネル ※2
		超ロングライフフィルター
		オイルミストフィルター ※2
		高性能フィルター (比色法65%)
(3)	0003	昇降グリル付きオイルガードパネル ※2
		しゃ風材 (3方向吹出時) ※3
		しゃ風材 (吹出ダクト接続時) ※3
		高天井設定2 (標準、エコナビパネル時)
		高性能フィルター (比色法90%)
(6)	0006	デオドラントフィルター
		しゃ風材 (2方向吹出時)

※1. 必ず、カタログ・設備設計資料等の別売品組合表にて、
組合せ可能な別売品を確認し選定してください。

※2. オイルガードパネルとオイルミストフィルターまたは、
昇降グリル付きオイルガードパネルとオイルミストフィルター
を組み合わせる場合は、設定No. (3) または設定データ0003
を設定してください。

※3. しゃ風材とそれ以外の別売品を併用の場合、

3方向吹出時 設定No. (3) または設定データ0003
吹出ダクト接続時 設定No. (3) または設定データ0003
2方向吹出時 設定No. (6) または設定データ0006

を設定してください。

なお、併用可能な別売品は一つまでとなります。

(1) 基板上的ディップスイッチを切り替えて設定する場合

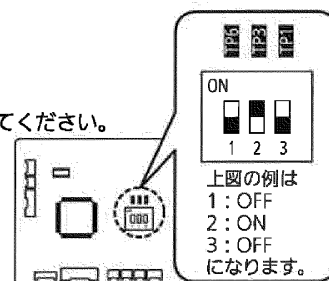
＜手順＞必ず電源 (漏電しゃ断器) を切ってください。

①ご使用の用途、別売品に応じた「設定No.」を表1で確認してください。

②電装ボックスのふたを開き、室内コントロール基板を確認してください。(図5)

③表1で確認した設定No.に合わせ、室内コントロール基板上にあるディップスイッチを設定変更してください。

設定No.	ディップスイッチ	設定No.	ディップスイッチ	設定No.	ディップスイッチ
(1)	ON側 OFF側	(3)	ON側 OFF側	(6)	ON側 OFF側



(図5) 室内コントロール基板

(2) ワイヤードリモコンで設定する場合 (別売品: CZ-10RT4シリーズ)

ご使用の用途、別売品に応じた「項目コード5Dの設定データ」を表1で確認してください。

＜手順＞ユニットが運転を停止した状態で行ってください。

① [戻る] + [決定] + [▶] ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。

② [▲] / [▼] ボタンで選択、[◀] / [▶] ボタンでページが切り替わります。

「8. 詳細設定」を選択し、[決定] ボタンを押してください。

「詳細設定画面」が表示されます。

[▲] / [▼] ボタンで変更するユニットNo.を選択してください。

③ [◀] / [▶] ボタンで項目コードを選択してください。

[▲] / [▼] ボタンで項目コードを「5D」に変更してください。

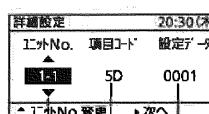
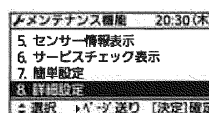
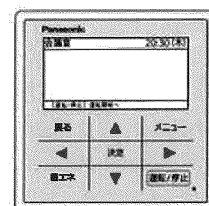
④ [◀] / [▶] ボタンで設定データを選択してください。

[▲] / [▼] ボタンで設定データを表1で確認した値に変更し、[決定] ボタンを押してください。

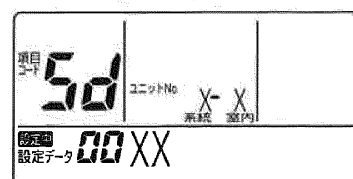
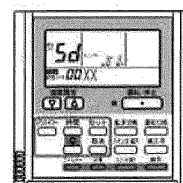
⑤ [◀] / [▶] ボタンでユニットNo.を選択後、[戻る] ボタンを押してください。

「詳細設定終了画面」が表示されます。

「はい」を選択し、[決定] ボタンを押してください。



ユニット No. 設定データ
項目コード



(3) ワイヤードリモコンで設定する場合 (別売品: CZ-10RT3/CZ-10RT3A)

ご使用の用途、別売品に応じた「項目コード5dの設定データ」を表1で確認してください。

＜手順＞ユニットが運転を停止した状態で行ってください。

① [点検] + [セット] + [取消] ボタンを同時に4秒間以上押します。

② [ユニット選択] ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニットNo.を順次
表示します。

このとき、選択されている室内ユニットのみファンモーターが運転します。

③ 温度設定 [▼] / [▲] ボタンで項目コード「5d」を指定します。

④ 時間 [▼] / [▲] ボタンで設定データを変更します。設定データの内容は表1の
ようになっています。

⑤ [セット] ボタンを押します。(表示が点滅から点灯に変わればOK)

⑥ [点検] ボタンを押します。通常の停止状態になります。

選択している室内ユニットを変更したい場合は②へ

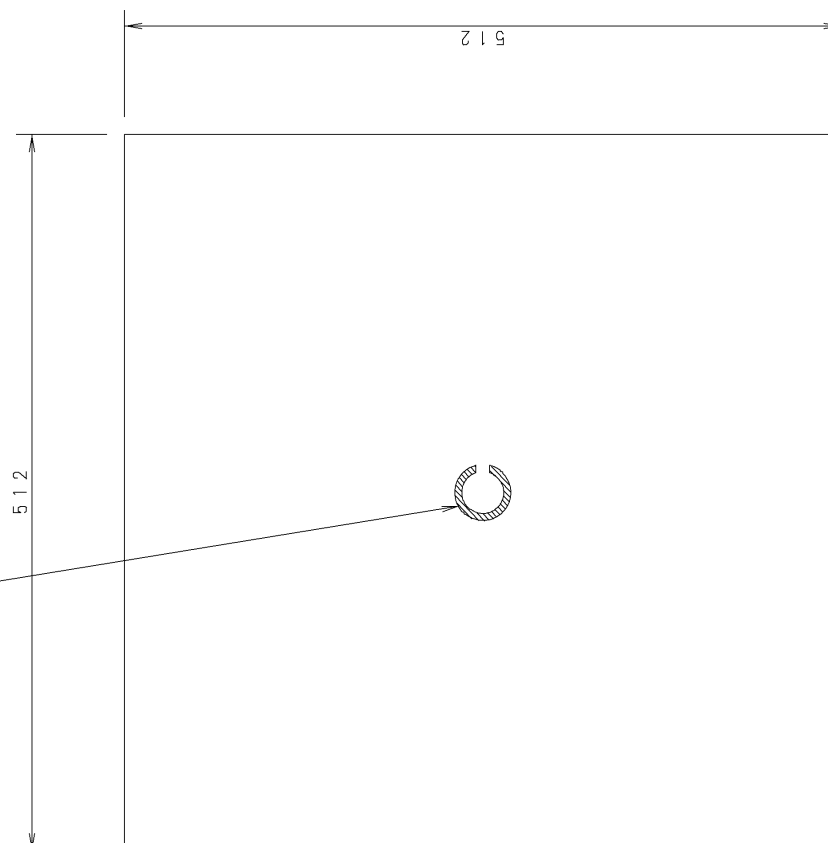
⑦ [点検] ボタンを押します。通常の停止状態になります。

オイルミストフィルター (CZ-160FBU5)

■外形寸法図

フィルター交換マーク

※フィルター中央部のフィルター交換マークが見えなくなったら、フィルターの交換をお願いします。
※交換時期は使用環境により大きく異なりますが、約150時間（オイルミスト濃度 $2\text{mg}/\text{m}^3$ ）が目安です。



フィルター厚み: 5.5mm
材質: ポリエステル系不織布



外形寸法図	《オイルミストフィルター》 4方向天井カセット形
品番	CZ-160FBU5

据付工事説明書
オイルミストフィルター

品番 CZ-160FBUS

適用室内ユニット 4方向天井カセット形

- 据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容（禁止事項）です。



実行しなければならない内容（強制事項）です。



警告



- フィルターが入っているポリ袋を幼児の手が届くところに置かない
(頭からかぶるなどしたとき口や鼻をふさぎ、窒息の原因)



- 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に
行う
(ユニットの落下や水漏れの原因)

- 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に
行う
(ユニットの落下による、けがの原因)

- 付属品は当社指定の部品を使用する
(指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因)



注意



- 周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
(万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因)



- 吸込グリルはパネル本体に確実に取り付ける
(取り付けが不完全な場合、吸込グリルの落下によるけがの原因)

- 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■ 使用上のご注意

- ・ご使用になるまで開封しないでください。
開封後は、袋の口を閉じて、ほこりが入らないように保管してください。
- ・別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
- ・この据付工事説明書は、室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

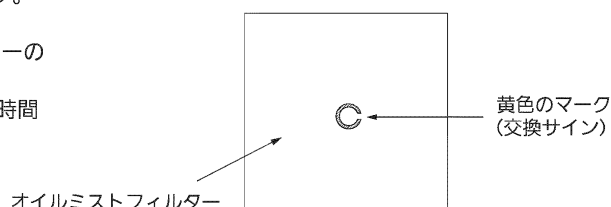
1. 仕様

入数	10枚入り
フィルター交換の目安	150時間 (オイルミスト濃度: $2.0\text{mg}/\text{m}^3$)

※ オイルミストフィルターは室内ユニットの保護を目的とするもので、店内に発生する油煙を捕集するものではありません。

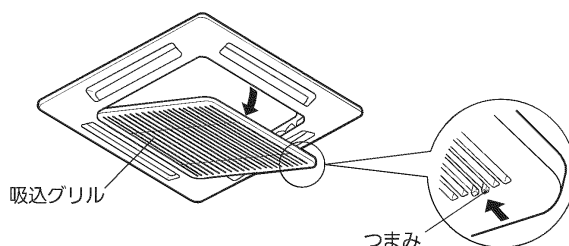
2. 交換サインについて

オイルミストフィルターの中央部に黄色のマークがあります。
(汚れではありません)
このマークが目立たなくなりましたら、オイルミストフィルターの交換をお願いします。
交換時期は使用環境により大きく異なりますが、およそ150時間
(オイルミスト濃度: $2.0\text{mg}/\text{m}^3$) が目安です。

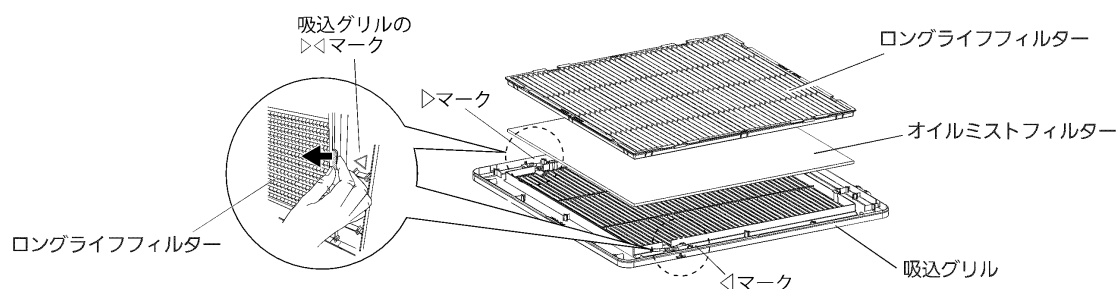


3. 交換のしかた

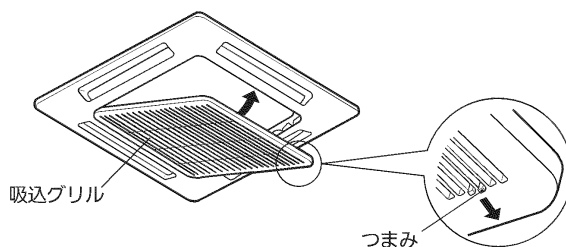
- ① 吸込グリルのつまみを内側にスライドさせ、吸込グリルを持って静かに開きます。



- ② 吸込グリルに印字されている◁マーク部のロングライフフィルター側面を押して手前に引くと、フィルターがはずれます。吸込グリルの上にオイルミストフィルターを置き、ロングライフフィルターを取り付けます。



- ③ 吸込グリルを閉じ、つまみを外側にスライドさせて、確実に固定してください。



別売の昇降グリル付天井パネルが取り付けられている場合の吸込グリルの昇降操作 (下降・停止・上昇) については、昇降グリル付天井パネルに同梱されている取扱説明書を参照してください。

デオドラントファルター (CZ-160FEU5)

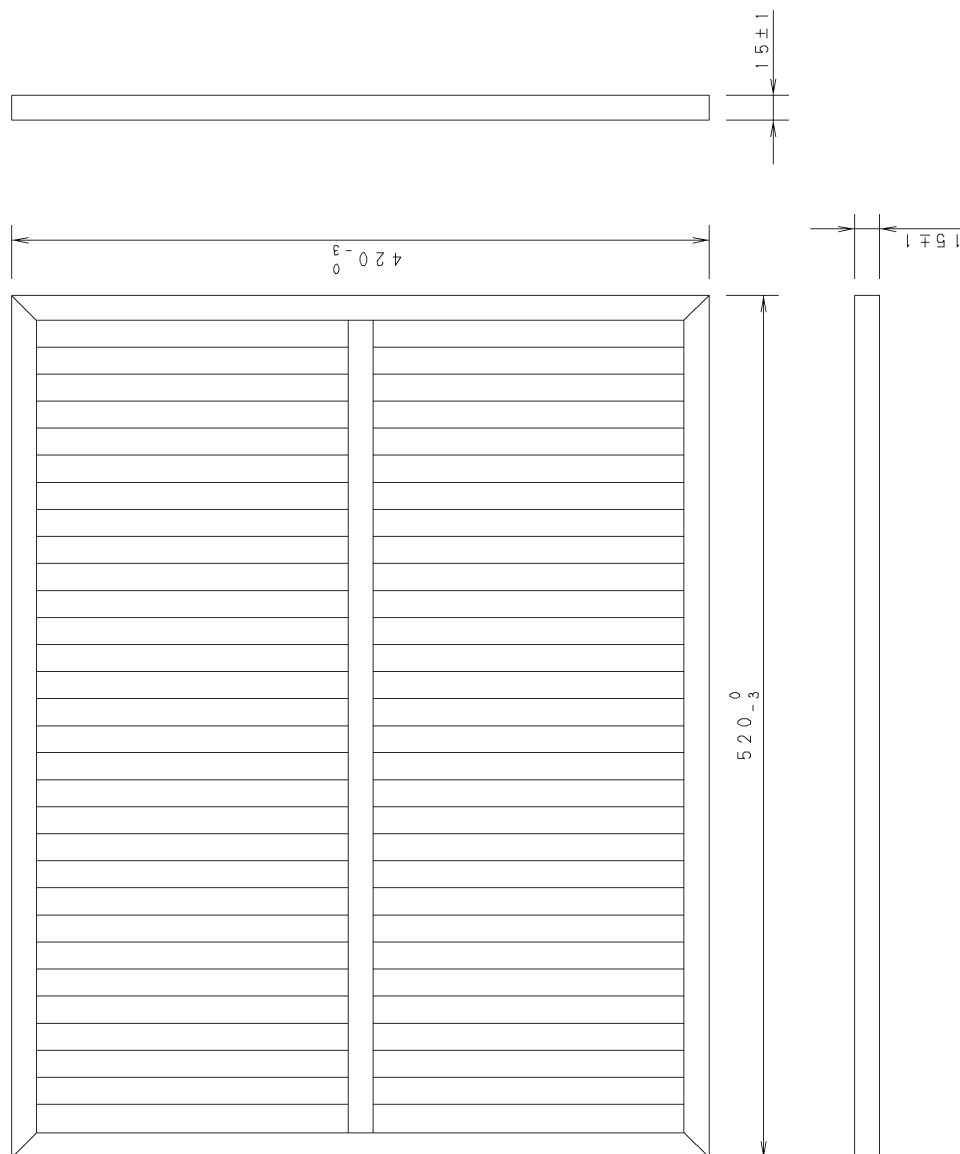
■デオドラントフィルター仕様

名 称		デオドラントフィルター						
品 番		CZ-160FEU5						
適用室内ユニット		28,36形	45形	56形	71,80形	90,112形	140形	160形
初期風量	m ³ /min	14.7	16.6	17.5	19.5	30.1	30.1	30.1
最終風量	m ³ /min	9.9	10.2	10.4	10.5	23.4	23.4	23.4
初期圧損	Pa	13.6	16.1	17.5	17.7	43.9	43.9	43.9
最終圧損	Pa	25.0	32.6	36.2	38.9	65.2	65.2	65.2
初期脱臭性能	%	85% (JEM1467準拠)						
フィルター寿命	時間	9ヶ月						
使用濾材	—	抗菌難燃性ポリエステル/レーヨン不織布+活性炭+ゼオライト吸着剤						
フィルター 外形寸法	幅	520						
	奥行	420						
	厚み	15						
質量	kg	0.36						
フィルター取付金具 (別売品)		CZ-160DFSU5						

注記

- 本製品は4方向用の標準パネル、昇降グリル付天井パネルに組み込んでご使用ください。
天井パネルのエアーフィルターは、プレフィルターとしてそのまま使用します。
- 本フィルターを組み込む場合は、別売のグリル取付フィルター用金具が必要ですのでご用意ください。
- 本フィルターを込むと風量がダウンして、弱風運転の場合は保護装置が作動する恐れがあります。
これを防止するため、グリル取付フィルター用金具に付属の据付工事説明書に従い、ファンタップ変更を必ず行なってください。
- 風量・圧損は、急風時 (ファンタップ変更後) の値を示します。
- フィルター寿命は、JEM1467に準拠して算出した値を示します。
また寿命は、現場条件により異なりますのでご注意ください。
- フィルターは2ヶ月に一度掃除を行なってください。(据付工事説明書参照)

■外形寸法図



注記：本部品の取付けには別売品のグリル取付用フィルター金具
(CZ-160DFSU5) が別途必要です。

品番	CZ-160FEU5	外形寸法図 (デオドラントフィルター)
----	------------	------------------------

据付工事説明書

デオドラントフィルター

品番 CZ-160FEU5

適用室内ユニット 4方向天井カセット形

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」、グリル取付フィルター用金具に同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容（禁止事項）です。



実行しなければならない内容（強制事項）です。



警告



■ フィルターが入っているポリ袋を幼児の手が届くところに置かない
(頭からかぶるなどしたとき口や鼻をふさぎ、窒息の原因)



■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
(ユニットの落下や水漏れの原因)

■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
(ユニットの落下による、けがの原因)

■ 付属品は当社指定の部品を使用する
(指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因)



注意



■ 周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
(万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因)



■ 吸込グリルはパネル本体に確実に取り付ける
(取り付けが不完全な場合、吸込グリルの落下によるケガの原因)

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■ 使用上のご注意

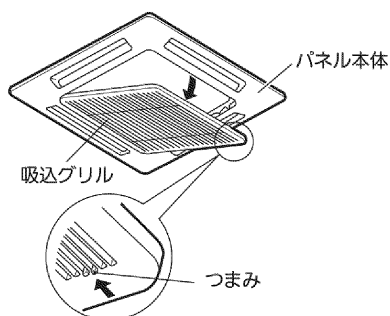
- ・ ご使用になるまで開封しないでください。
(デオドラントフィルターの寿命が短くなります。)
- ・ デオドラントフィルターの取り付けには、別売品のグリル取付フィルター用金具 (CZ-160DFSU5) が必要です。
- ・ 別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
- ・ この据付工事説明書は、室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

1. 仕様

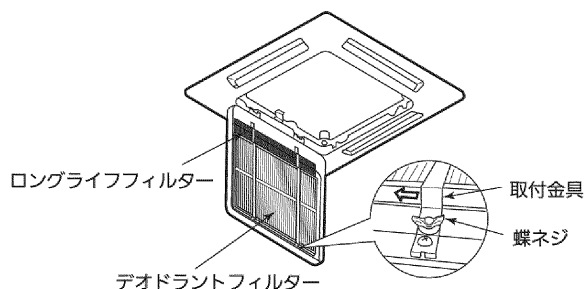
初期脱臭性能	85% (JEM1467準拠)
脱臭耐久性	9か月

2. 交換のしかた

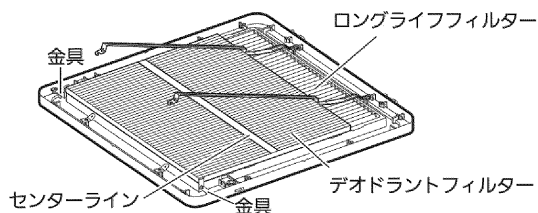
- ① 吸込グリルのつまみを内側にスライドさせて吸込グリルを持って静かに開きます。



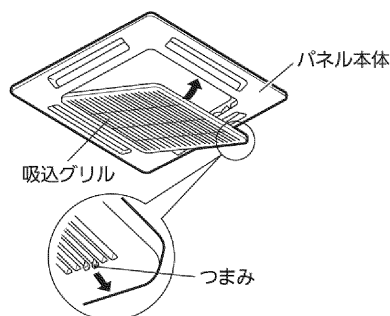
- ② 蝶ネジを緩め、取付金具をスライドさせ、使用済みフィルターを取り出します。このとき合わせて、パネル本体に付属のロングライフフィルターの掃除をおすすめします。ロングライフフィルターの掃除については、お使いの室内ユニットに同梱されている取扱説明書を参照してください。



- ③ 交換用のフィルターを袋から取り出し、吸込グリルに取り付けます。フィルターは図のようにセンターラインを表側にして左右の金具の間に取り付けます。



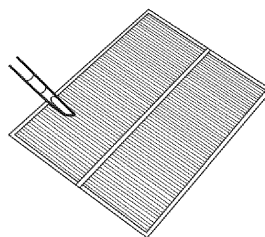
- ④ 吸込グリルを閉じ、つまみを外側にスライドさせて、確実に固定してください。



※別売の昇降グリル付天井パネルが取り付けられている場合の吸込口（昇降グリル）の操作（下降・停止・上昇）については、昇降グリル付天井パネルまたは室内ユニットに同梱されている取扱説明書を参照してください。

デオドラントフィルターの交換時期と掃除

- 交換時期は使いかたや使用場所により異なりますが、9か月～1年3か月に1回が目安です。
- 2か月に一度、ほこりを掃除機で吸い取ってください。

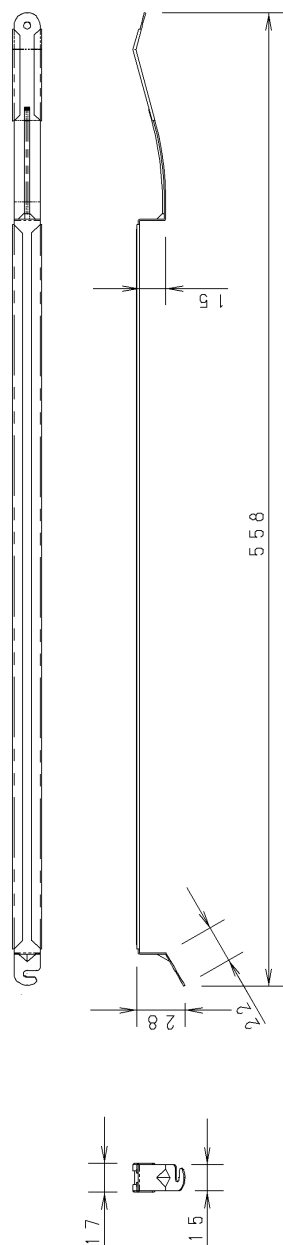


お願い

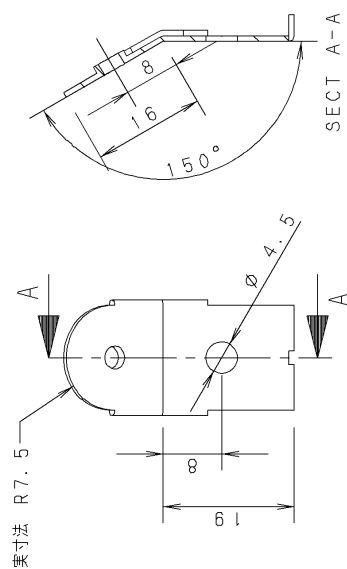
- このフィルターは洗って再使用できません。
- ご使用済みのフィルターは交換用フィルターの袋などに入れ、可燃物として処理してください。
- 取付金具を吸込グリルから取りはずさないでください。

グリル取付用フィルター金具 (CZ-160DFSU5)

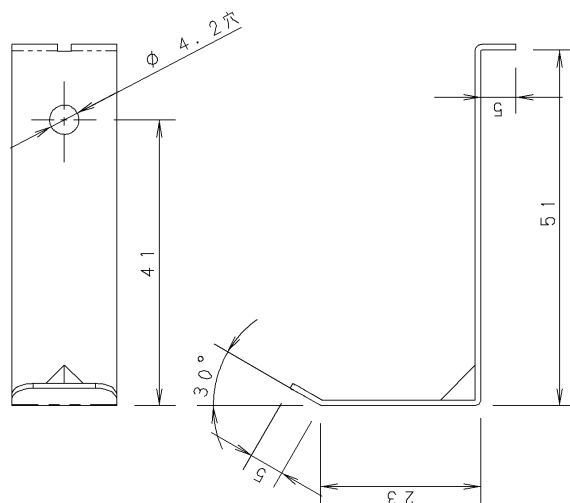
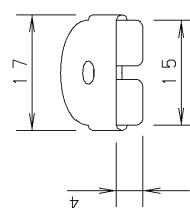
■外形寸法図



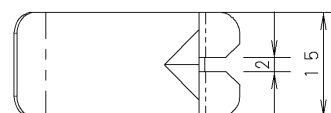
金具A



金具B



金具C



外形寸法図
(グリル取付用フィルター金具)

CZ-160DFSU5

品番

■据付方法

据付工事説明書

グリル取付フィルター用金具

品番 CZ-160DFSU5

適用室内ユニット 4方向天井カセット形

- 据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」、デオドラントフィルターに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容（禁止事項）です。



実行しなければならない内容（強制事項）です。



警告



- 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に
（ユニットの落下や水漏れの原因）

- 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に
（ユニットの落下による、けがの原因）
■付属品は当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因）



注意



- 周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）



- 吸込グリルはパネル本体に確実に取り付ける
（取り付けが不完全な場合、吸込グリルの落下によるけがの原因）

- 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■使用上のご注意

- ・別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
- ・この据付工事説明書は、室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

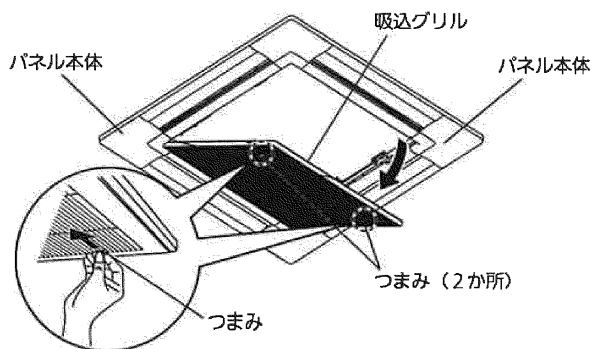
1. 同梱品

●下記部品が同梱されていますので、確認してください。

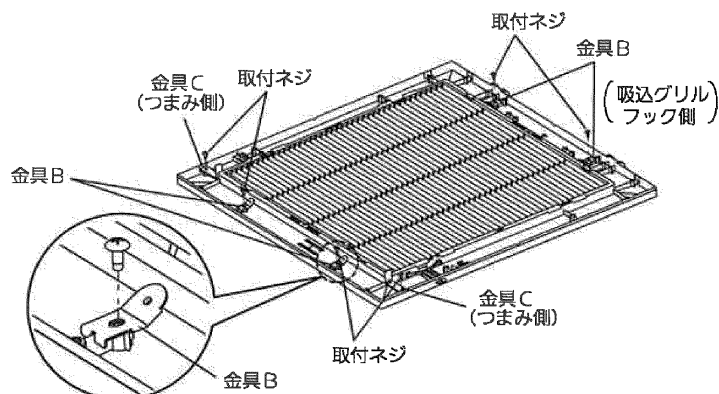
名称	金具A	金具B	金具C	蝶ネジ	ネジ	据付工事説明書
数量	2	4	2	4	6	1

2. 取り付けかた

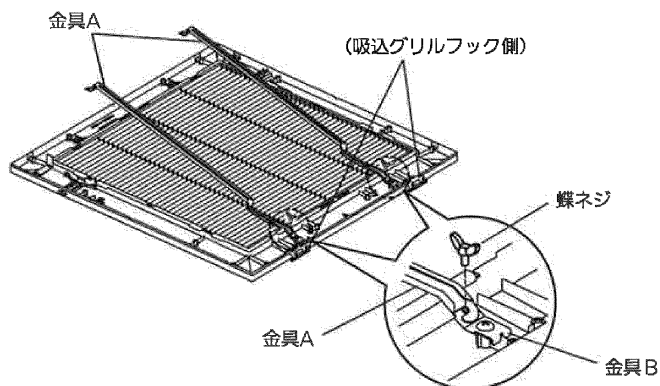
①吸込グリルのつまみを内側にスライドさせて、吸込グリルを持って静かに開き、パネル本体からはずします。



②金具Bと金具Cを図の位置に付属の取付ネジ6本で取り付けます。

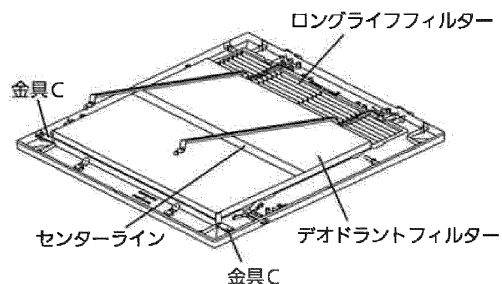


③金具A (2個) を付属の蝶ネジで金具Bに取り付けます。

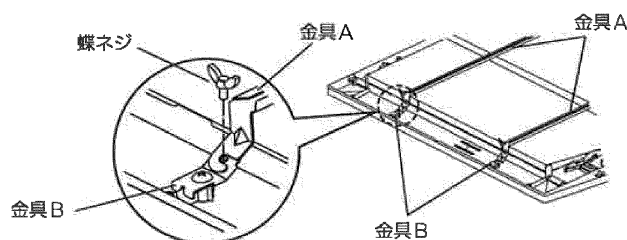


2. 取り付けかた (つづき)

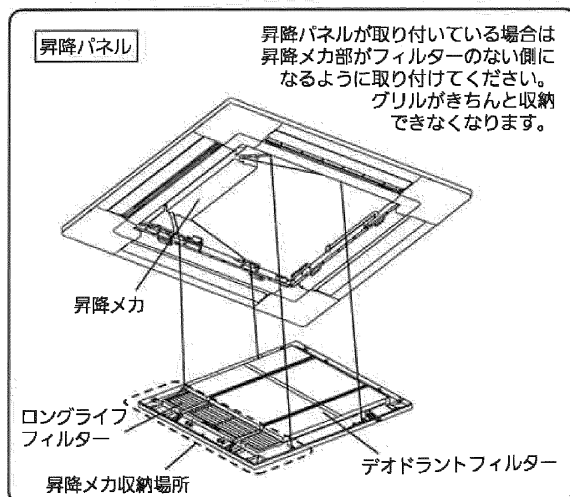
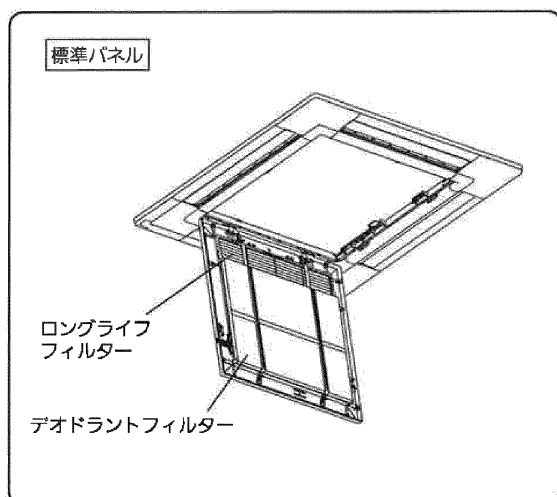
④フィルターは図のように、センターラインを表側にして、左右の金具Cの間に取り付けます。



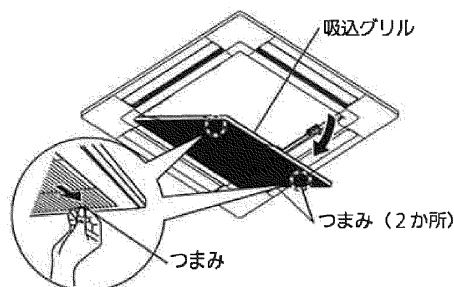
⑤金具A (2個) を付属の蝶ネジで金具Bに取り付けます。



⑥吸込グリルをパネル本体に取り付けます。



⑦吸込グリルを閉じ、つまみを外側にスライドさせて確実に固定してください。(標準パネルの場合)



⑧ワイヤードリモコン、または室内基板 (ディップスイッチ使用) にてDCファンタップの設定変更を行ってください。
(設定方法は、「3. DCファンモータータップの選択」を参照してください。)

3. DCファンモータータップの選択

ご使用の用途、別売品に応じ、ファン回転数を設定する必要があります。(表1)
変更を行わない場合、風量減少により冷房時吹出温度が低下、露付きの原因となります。
ファン回転数を設定する方法は、(1) 基板上的ディップスイッチを切り替えて設定する方法 (2) ワイヤードリモコンで設定する方法
があります。どちらかの方法で設定してください。※ディップスイッチによる設定が優先されます。

表1 DCファンモータータップ設定表

設定No.	項目コード5D/5dの 設定データ	使用用途/別売品名称 ※1
	0000	標準 (出荷設定)
(1)	0001	高天井設定1 (標準、エコナビパネル時)
		オイルガードパネル ※2
		超ロングライフフィルター
		オイルミストフィルター ※2
		高性能フィルター (比色法65%)
(3)	0003	昇降グリル付きオイルガードパネル ※2
		しゃ風材 (3方向吹出時) ※3
		しゃ風材 (吹出ダクト接続時) ※3
		高天井設定2 (標準、エコナビパネル時)
		高性能フィルター (比色法90%)
(6)	0006	デオドラントフィルター
		しゃ風材 (2方向吹出時)

※1. 必ず、カタログ・設備設計資料等の別売品組合表にて、
組合せ可能な別売品を確認し選定してください。

※2. オイルガードパネルとオイルミストフィルターまたは、
昇降グリル付きオイルガードパネルとオイルミストフィルター
を組み合わせる場合は、設定No. (3) または設定データ0003
を設定してください。

※3. しゃ風材とそれ以外の別売品を併用の場合、
3方向吹出時 設定No. (3) または設定データ0003
吹出ダクト接続時 設定No. (3) または設定データ0003
2方向吹出時 設定No. (6) または設定データ0006
を設定してください。
なお、併用可能な別売品は一つまでとなります。

(1) 基板上的ディップスイッチを切り替えて設定する場合

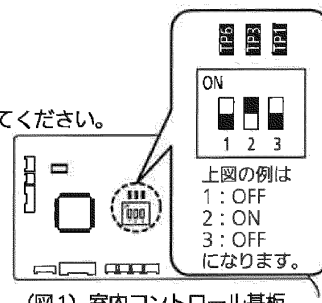
＜手順＞必ず電源 (漏電しゃ断器) を切ってください。

①ご使用の用途、別売品に応じた「設定No.」を表1で確認してください。

②電装ボックスのふたを開き、室内コントロール基板を確認してください。(図1)

③表1で確認した設定No.に合わせ、室内コントロール基板上にあるディップスイッチを設定変更してください。

設定No.	ディップスイッチ	設定No.	ディップスイッチ	設定No.	ディップスイッチ
(1)	ディップスイッチ ON側 OFF側	(3)	ディップスイッチ ON側 OFF側	(6)	ディップスイッチ ON側 OFF側



(図1) 室内コントロール基板

(2) ワイヤードリモコンで設定する場合 (別売品: CZ-10RT4シリーズ)

ご使用の用途、別売品に応じた「項目コード5Dの設定データ」を表1で確認してください。

＜手順＞ユニットが運転を停止した状態で行ってください。

① [戻る] + [決定] + [右] ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。

② [上] / [下] ボタンで選択、[左] / [右] ボタンでページが切り替わります。

「8. 詳細設定」を選択し、[決定] ボタンを押してください。

「詳細設定画面」が表示されます。

[上] / [下] ボタンで変更するユニットNo.を選択してください。

③ [左] / [右] ボタンで項目コードを選択してください。

[上] / [下] ボタンで項目コードを「5D」に変更してください。

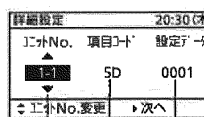
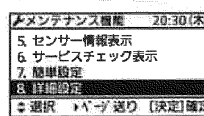
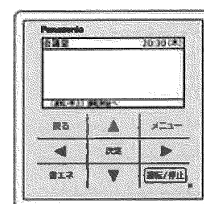
④ [左] / [右] ボタンで設定データを選択してください。

[上] / [下] ボタンで設定データを表1で確認した値に変更し、[決定] ボタンを押してください。

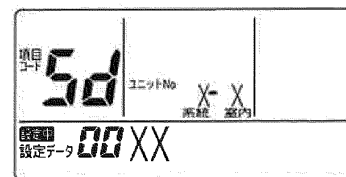
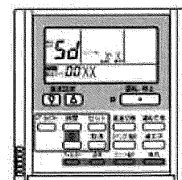
⑤ [左] / [右] ボタンでユニットNo.を選択後、[戻る] ボタンを押してください。

「詳細設定終了画面」が表示されます。

「はい」を選択し、[決定] ボタンを押してください。



ユニット
No. 項目コード



(3) ワイヤードリモコンで設定する場合 (別売品: CZ-10RT3/CZ-10RT3A)

ご使用の用途、別売品に応じた「項目コード5dの設定データ」を表1で確認してください。

＜手順＞ユニットが運転を停止した状態で行ってください。

① [点検] + [セット] + [取消] ボタンを同時に4秒間以上押します。

② [ユニット選択] ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニットNo.を順次
表示します。

このとき、選択されている室内ユニットのみファンモーターが運転します。

③ 温度設定 [下] / [上] ボタンで項目コード「5d」を指定します。

④ 時間 [下] / [上] ボタンで設定データを変更します。設定データの内容は表1の
ようになっています。

⑤ [セット] ボタンを押します。(表示が点滅から点灯に変わればOK)

⑥ [点検] ボタンを押します。通常の停止状態になります。

選択している室内ユニットを変更したい場合は②へ

⑦ [点検] ボタンを押します。通常の停止状態になります。

自然気化式加湿器 (CZ-07ASU5・CZ-14ASU5)

■仕様

■自然気化式加湿器仕様

品 番			CZ-07ASU5	CZ-14ASU5
対応ユニット			28, 36, 45, 56, 71, 80, 90形	112, 140, 160形
加湿性能	kg/h		0.7	1.4
加湿方式			自然蒸発式	
給水量	L/h		3.3	
加湿材			ポリエステル繊維 (抗菌・防カビ仕様)	
給水制御方式			タイマー制御による断続給水 (ON22秒、OFF38秒)	
電源電圧			AC200V (50/60Hz)	
定格消費電力	W		3.5	
質量	水(有)	kg	2.9	3.6
	水(無)	kg	2.5	3.0
使用範囲	給水圧力	Mpa	0.049 (0.5kgf/cm ²) ~0.49 (5kgf/cm ²)	
	給水圧力 (ポンプ使用時)	Mpa	0.049 (0.5kgf/cm ²) ~0.29 (3kgf/cm ²)	
	減圧弁		加湿器本体に内蔵	
	仕様周囲温湿度		5~40℃、90%RH以下	
	使用水		上水道水またはこれと同等以上のもの	
	取付角度		全方向共±2° 以内のこと	
保護装置			タイマー基板内に保護ヒューズ内蔵	
外形寸法	H	mm	160	223
	W	mm	163	163
	L	mm	516.5	516.5

注意)

加湿性能は、加湿器入口空気温度45℃、15%RH、通過風速1m/sで、それぞれCZ-07ASU5を80形室内ユニットに、CZ-14ASU5を140形室内ユニットに組み込んだときの値を示します。

自然気化式加湿器 高加湿タイプ (CZ-16ASHU5・CZ-20ASHU5)

■仕様

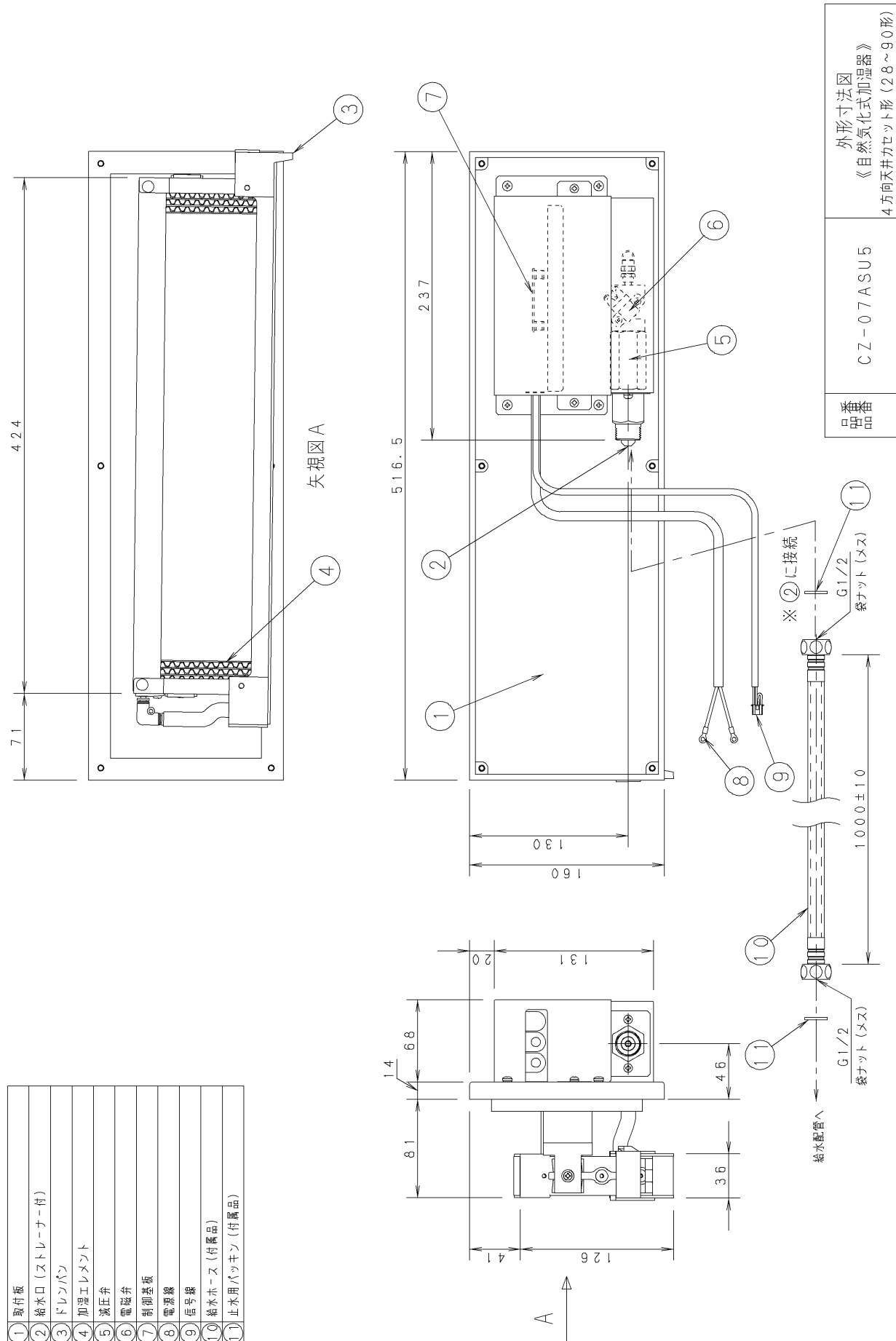
■自然気化式加湿器(高加湿タイプ)仕様

品 番			CZ-16ASHU5	CZ-20ASHU5
対応ユニット			28, 36, 45, 56, 71, 80, 90形	112, 140, 160形
加湿性能	kg/h		1.6	2.0
加湿方式			自然蒸発式	
給水量	L/h		3.3	6.0
加湿材			ポリエステル繊維 (抗菌・防カビ仕様)	
給水制御方式			タイマー制御による断続給水 (ON22秒、OFF38秒)	
電源電圧			AC200V (50/60Hz)	
定格消費電力	W		3.5	
質量	水(有)	kg	4.9	6.0
	水(無)	kg	4.1	4.8
使用 範囲	給水圧力	MPa	0.049 (0.5kgf/cm ²) ~ 0.49 (5kgf/cm ²)	
	給水圧力 (ポンプ使用時)	MPa	0.049 (0.5kgf/cm ²) ~ 0.29 (3kgf/cm ²)	
	減圧弁		加湿器本体に内蔵	
	仕様周囲温湿度		5~40℃、90%RH以下	
	使用水		上水道水またはこれと同等以上のもの	
	取付角度		全方向共±2° 以内のこと	
保護装置			タイマー基板内に保護ヒューズ内蔵	
外形寸法1 (電装BOX付)	H	mm	160	223
	W	mm	163	163
	L	mm	516.5	516.5
外形寸法2 (電装BOX無し)	H	mm	160	223
	W	mm	121	121
	L	mm	516.5	516.5

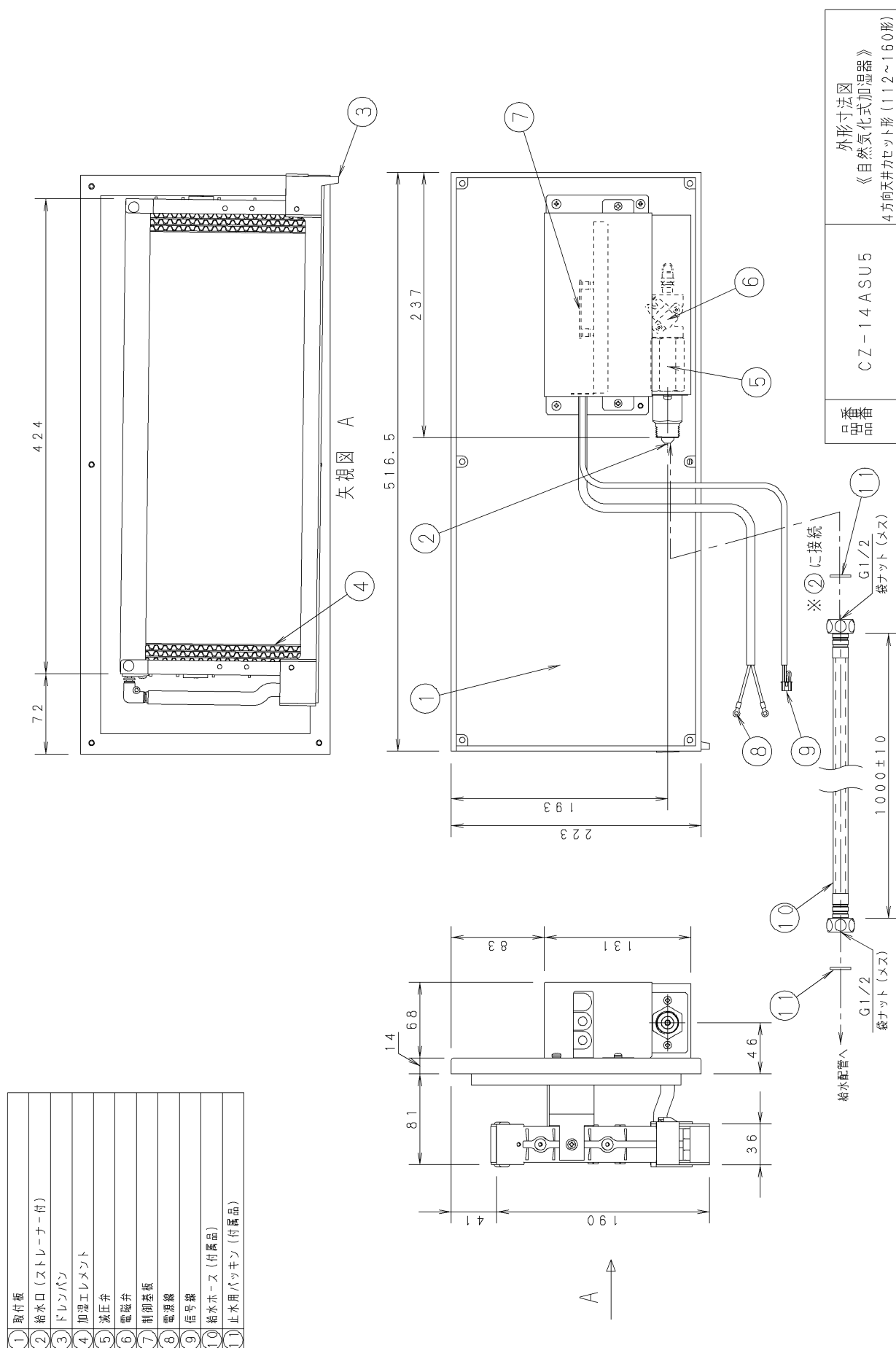
注意)

加湿性能は、加湿器入口空気温度45℃、15%RH、通過風速1m/sで、それぞれCZ-16ASHU5を80形室内ユニットに、CZ-20ASHU5を140形室内ユニットに組み込んだときの値を示します。

■外形寸法図



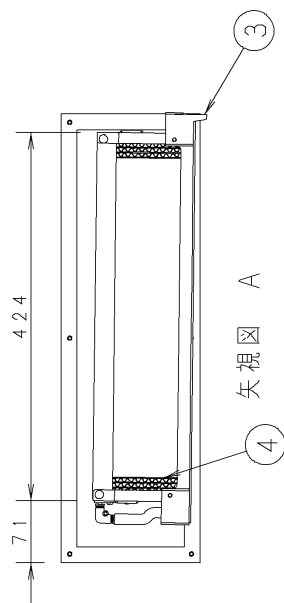
5. 室内ユニット関連部品の仕様と据付 (4方向天井カセット形)



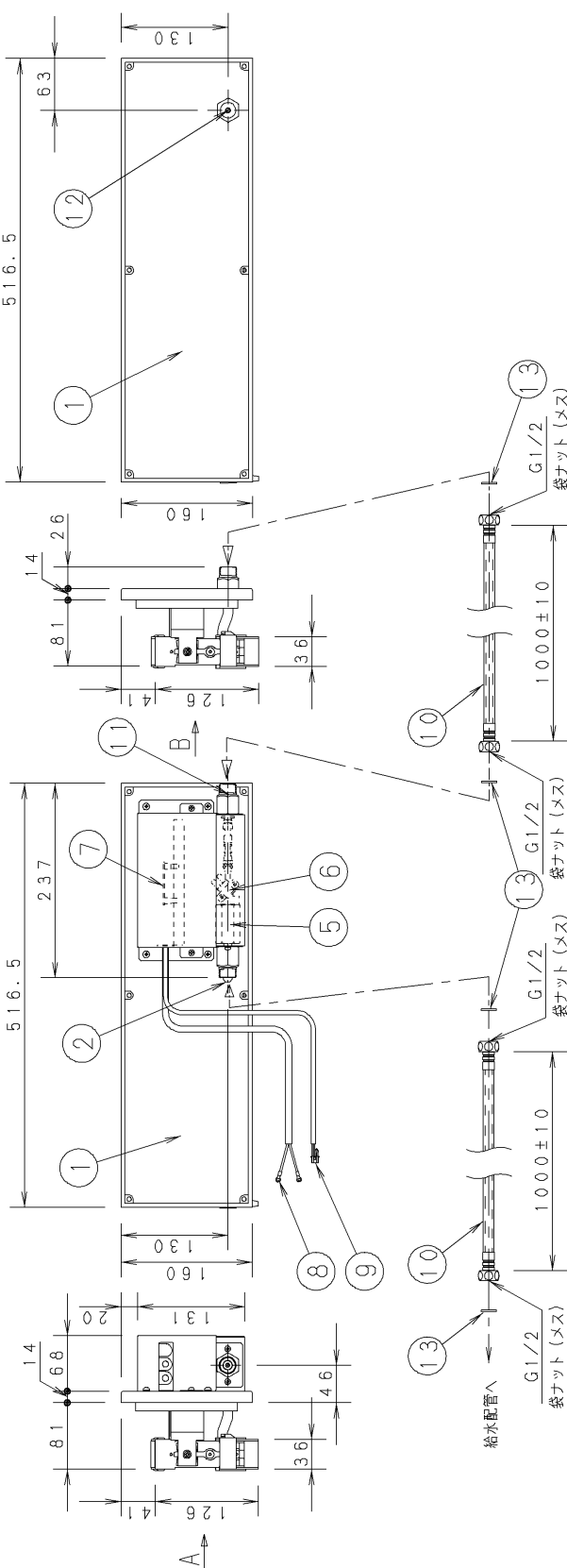
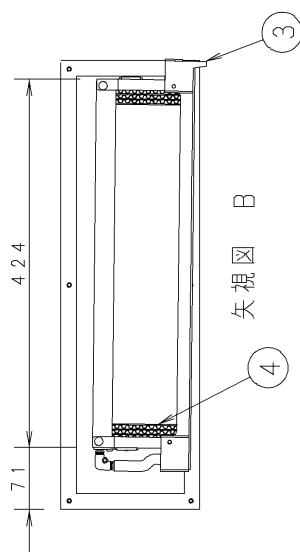
①	取付板
②	給水口（ストレーナー付）
③	ドレンパン
④	加温エレメント
⑤	減圧弁
⑥	電磁弁
⑦	制御基板
⑧	電源線
⑨	信号線
⑩	給水ホース（付属品）
⑪	止水用パッキン（付属品）

①	取付板
②	給水口 (ストレーナー付)
③	ドレンパン
④	加温エレメント
⑤	減圧弁
⑥	電磁弁
⑦	制御基板
⑧	電線線
⑨	信号線
⑩	給水ホース (付属品)
⑪	給水連結口 (1次側出口)
⑫	給水連結口 (2次側入口)
⑬	止水用パッキン (付属品)

自然気化式加湿器高加湿タイプ<1次側>

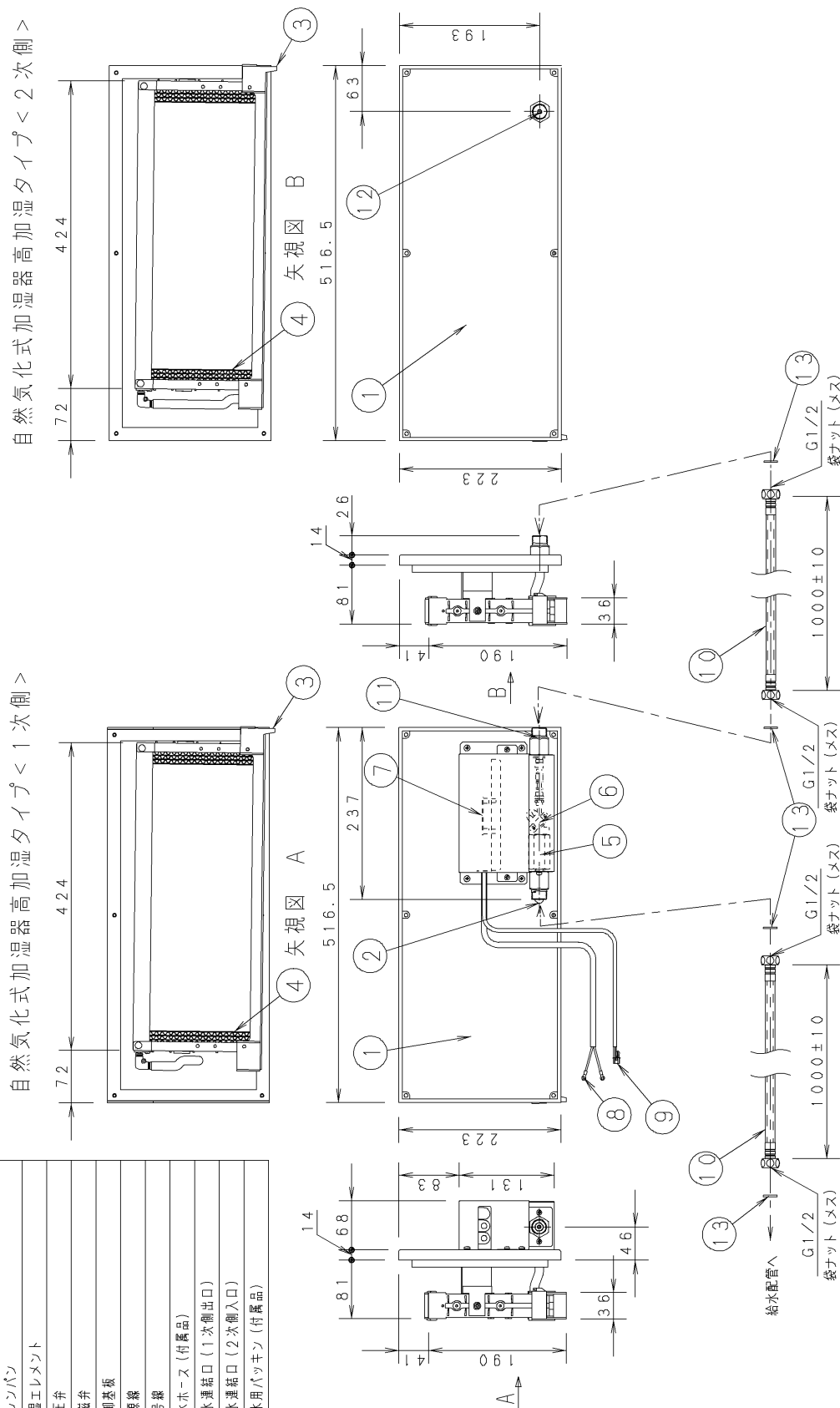


自然気化式加湿器高加湿タイプ<2次側>



品番	CZ-16ASHU5	外形寸法図 《自然気化式加湿器》高加湿タイプ 4方向天井カセット形 (28~90形)
----	------------	--

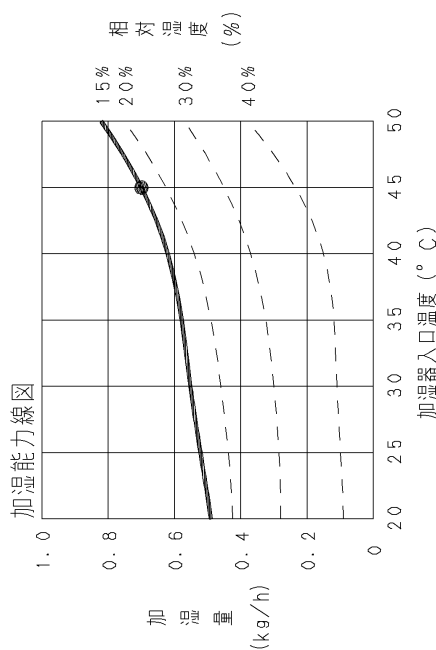
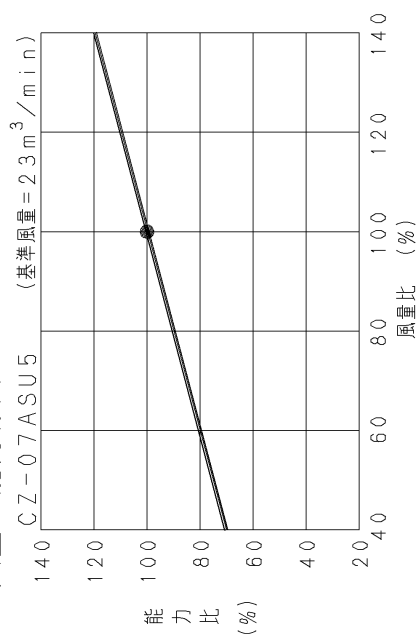
①	取付板
②	給水口 (ストレーナー付)
③	ドレンパン
④	加湿エレメント
⑤	減圧弁
⑥	電磁弁
⑦	制御基板
⑧	電源線
⑨	信号線
⑩	給水ホース (付属品)
⑪	給水連結口 (1次側出口)
⑫	給水連結口 (2次側入口)
⑬	止水用パッキン (付属品)



外形寸法図 《自然気化式加湿器》高加湿タイプ 4方向天井カセット形 (112~160形)	CZ-20ASHU5	標準品
--	------------	-----

■能力線図

<風量－能力線図> 風量比 (%) = 任意風量 / 基準風量 × 100



注記

- 1) 加湿能力条件は、加湿器通過 温度が DB45°C、RH15%の場合の値を示します。
- 2) 使用する室内ユニットの定格風量が基準風量と異なる場合は下記の式にて算出します。

<CZ-14ASU5>

定格加湿能力 : 1.4 kg/h
基準風量 : 37 m³/min

例 : 160形の場合 (CZ-14ASU5を使用)

定格風量 : 38 m³/min

風量比 = 任意風量 / 基準風量 × 100 より
= 38 / 37 × 100 = 102 (%) となり

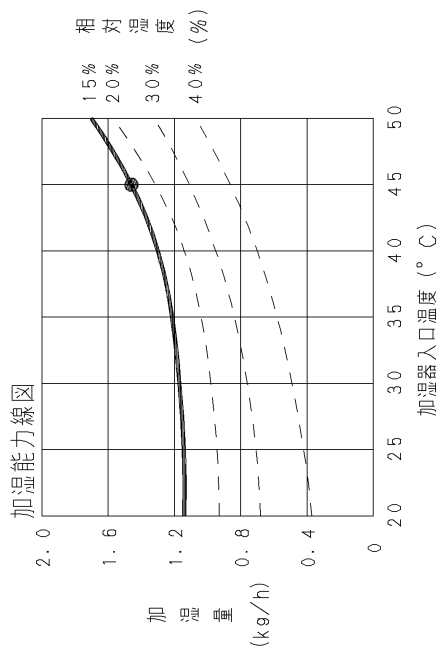
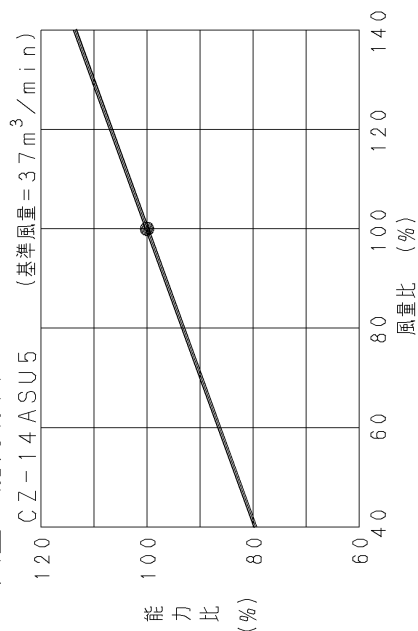
能力比は風量－能力線図より約101%となる。

従って加湿量は

加湿量 = 定格加湿能力 × 能力比 より

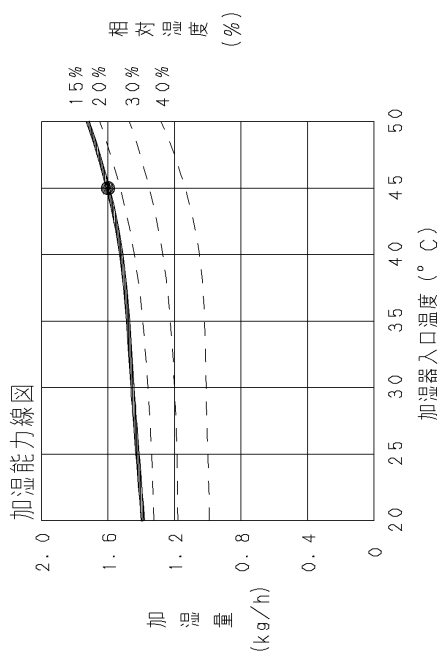
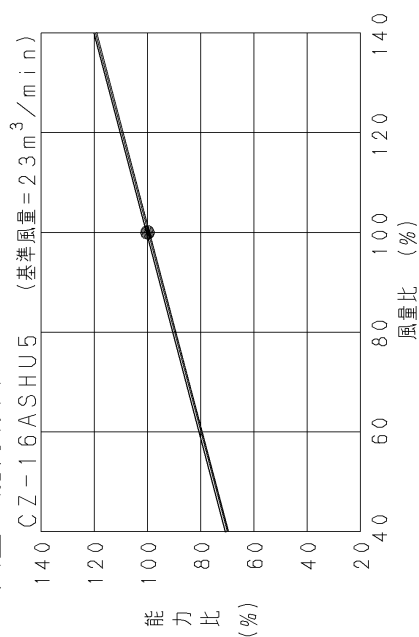
= 1.4 × 1.01 = 1.41 kg/h となります。

<風量－能力線図> 風量比 (%) = 任意風量 / 基準風量 × 100



品番	CZ-07ASU5 -14ASU5	能力線図 《自然気化式加湿器》 4方向天井カセット形 (28~160形)
----	----------------------	--

<風量－能力線図> 風量比 (%) = 任意風量 / 基準風量 × 100



注記

- 1) 加湿能力条件は、加湿器通過 温度度が DB45°C、RH15%の場合の値を示します。
- 2) 使用する室内ユニットの定格風量が基準風量と異なる場合は下記の式にて算出します。

<CZ-20ASHU5>

定格加湿能力 : 2.0 kg/h

基準風量 : 37 m³/min

例 : 160形の場合 (CZ-20ASHU5を使用)

定格風量 : 38 m³/min

風量比 = 任意風量 / 基準風量 × 100 より

= 38 / 37 × 100 = 102 (%) となり

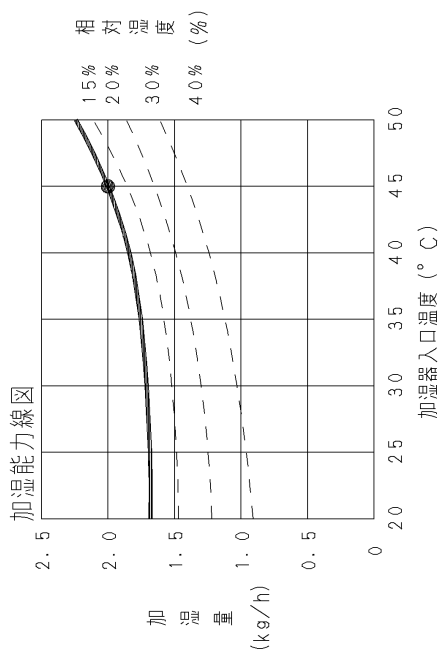
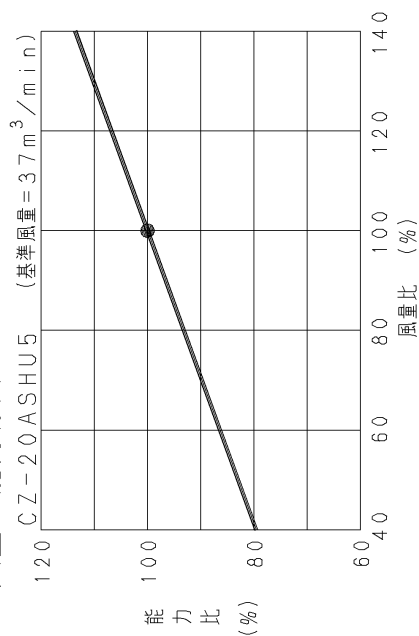
能力比は風量－能力線図より約101%となる。

従って加湿量は

加湿量 = 定格加湿能力 × 能力比 より

= 2.0 × 1.01 = 2.02 kg/h となります。

<風量－能力線図> 風量比 (%) = 任意風量 / 基準風量 × 100



品番	CZ-16ASHU5 -20ASHU5	能力線図 《自然気化式加湿器》(高加湿) 4方向天井カセット形 (28~160形)
----	------------------------	---

据付工事説明書

自然気化式加湿器

品番 CZ-07ASU5 CZ-14ASU5 CZ-16ASHU5 CZ-20ASHU5

適用室内ユニット 4方向天井カセット形 U4B,U5Bシリーズ

- 据付工事の前に、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。
- 据付工事終了後、必ず付属の「据付工事説明書 試運転編」に従って試運転を行い異常がないことを確認してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容（禁止事項）です。



実行しなければならない内容（強制事項）です。



警告

■電源配線をバンドなどで束ねて収納しない
(発熱、火災の原因)■配線は途中接続しない
(接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、
感電や火災の原因)■据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に
依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に
行う
(ユニットの落下や水漏れ、感電や火災の原因)■据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に
行う
(ユニットの落下による、けがの原因)■配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、
端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように
確実に固定する
(故障や発熱、火災の原因)■電気工事（アース工事を含む）は、電気工事士の
資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、
「内線規程」およびこの「据付工事説明書」に従って
施工する（感電、火災のおそれ）■配線をはさまないように、カバーは元どおり確
実に取り付ける（感電、火災の原因）■付属品は当社指定の部品を使用する
(指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れ、
感電、火災等の原因)

注意

■0℃以下の雰囲気となり、凍結のおそれがある場所には取り付けないでください。
(破損・水漏れの原因になります)■給水配管（現地調達）の断熱処理を行ってください（断熱材は現地調達）。不備があると、給水配管への
結露による水漏れや、給水配管内の水が凍結することにより配管や接続部が破壊され水漏れの原因となり
ます。

■据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■ 据付前のご注意

- 加湿器の取付工事は、必ず室内ユニットを据え付ける前に行ってください。加湿器組込み後の輸送はしないでください。
- 定期清掃や点検のため、加湿器取り付け側の天井面に口450以上の点検口を必ず設置してください。
- ヒューミディスタット（現地調達）は、湿度低下で接点がONとなる方式のもので、接点容量200V A以上のものを準備してください。
- 供給水質は上水または同等以上の水を使用し、保守管理のため加湿器毎に給水配管にサービスバルブ（現地調達）を設けてください。
- 現地調達の給水配管には死水排水バルブおよびY形ストレーナー（現地調達）を必ず取り付けてください。
- 給水配管は公共の水道管に直接接続することはできません。公共の水道管から給水しなければならない場合は、シスターン（型式認可品：現地調達）をご使用ください。
- 給水圧力は0.049～0.49MPaの範囲内でご使用ください。ただしポンプを使用して給水する場合は0.049～0.29MPaの範囲内でご使用ください。この範囲を超える場合は、給水系統毎に減圧弁（現地調達）を設けてください。また給水配管にトラップがあるとエアだまりがで異音が発生することがありますので、トラップが無いように設置してください。

1. 付属品

標準加湿タイプ CZ-07ASU5, CZ-14ASU5

品名	説明書	加湿ユニット	取付プレート	給水ホース	パッキン	給水ホース断熱材	断熱パイプ
形状	・据付工事説明書 ・取扱説明書 ・据付工事説明書 試運転編			 L=1000	 水道用19mmパッキン (ノンアスベスト)	 100×100 t10	 L=920
数量	各1	1	2	1	2	2	1

品名	ピンタイ	断熱材A	断熱材B	取付ネジ	取付ナット	閉端接続子	風向板
形状	 コード締結用: 3本 断熱材固定用: 2本	 t3	 t3	 トラス頭 2種 4×10タッピンネジ	 M4 L15	 ヒューミディ スタット用	
数量	5	2	2	6	6	2	1

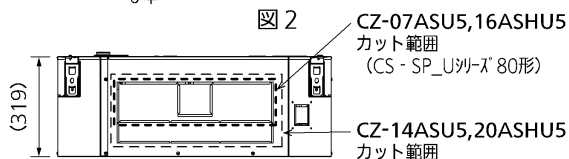
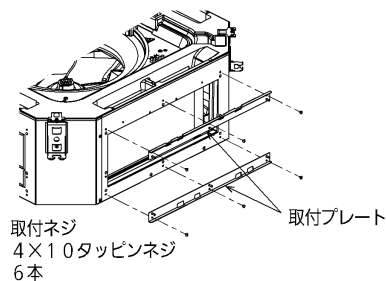
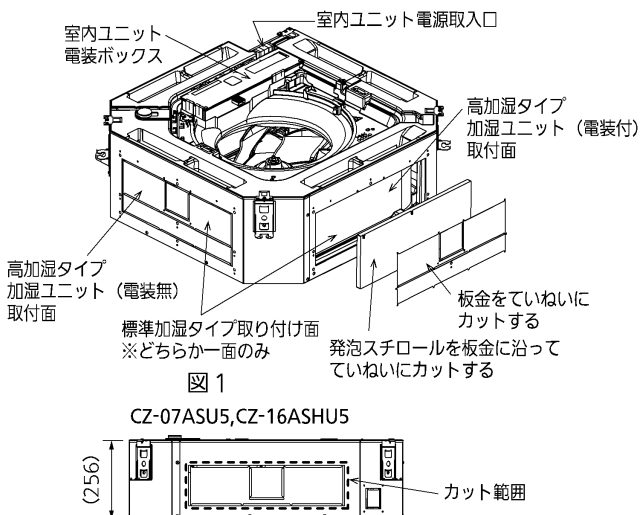
高加湿タイプ CZ-16ASHU5, CZ-20ASHU5

品名	加湿ユニット(電装付)	加湿ユニット(電装無)	据付工事説明書	取付プレート
形状			・据付工事説明書 ・取扱説明書 ・据付工事説明書 試運転編	4個
数量	1	1	1部 1部 2本 4個 2個 各4枚 1部	給水ホース断熱材 4枚 断熱パイプ 2本 ピンタイ 7本 取付ナット 12個 取付ネジ 12本 風向板 2枚

2. 取り付けかた

※加湿器の組み込みは、必ず室内ユニットを据え付ける前に行ってください。

- 室内ユニット側面の加湿器取付面ハーフカット部を金鋸・ニッパー等で板金をていねいに切断し、板金を取り除いてください。（側面を切断する前に、加湿ユニットを合わせて切断位置を確認してください。組み合わせる加湿器によりハーフカット部が異なります。）
さらに板金のカット面に沿って、室内ユニット内部の発泡スチロールをよく切れるカッターでカットし、角穴を開けてください。内部に熱交換器がありますので注意して作業してください。（図1）
※発泡スチロールの切りくずはよく取り除き、製品内部に残らないようにしてください。
※製品が破損するおそれがありますので、発泡スチロールは割り取らず、必ず切り取ってください。
- 室内ユニット側面の角穴部に付属の取付プレートを取り付けます。取り付けには付属の取付ネジを使用します。（図2）



上記室内ユニット（高さ319mm）は2種類の加湿器が取り付けられます。側面を切断する前に、加湿ユニットを合わせて切断位置を確認してください。

2. 取り付けかた (つづき)

3. 角穴の開口部周囲に付属品の断熱材A・Bを貼り付けてください。(図3、4)
4. 加湿ユニットの緩衝材(各2個)を取り除いてください。(図5)
5. 室内ユニット側面の角穴に、向きに注意しながら加湿ユニットを挿入します。このとき加湿器排水口が室内ユニット本体のドレンパンに入っていることを必ず確認してください。(図6、7)
6. 付属品の取付ナットで加湿ユニットをしっかりと固定してください。(図6)

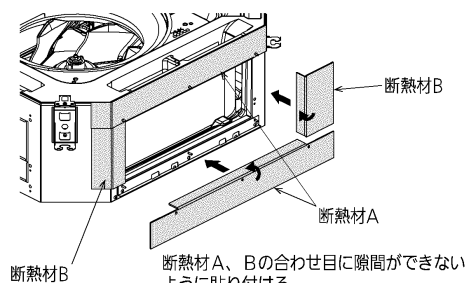


図3

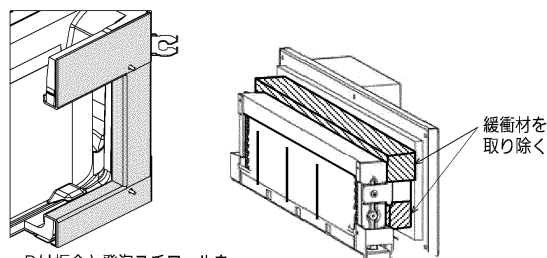


図4

図5

7. 高加湿タイプは、加湿ユニットの給水連結口に付属の給水ホースを接続し、断熱パイプを取り付けてください。(図8)
- ※必ず付属のパッキンを入れて袋ナットをダブルスパナで締め付けてください。(締付トルクの目安15.0N・m)
8. 「4. 給水配管」にそって給水配管を接続して、接続部の水漏れがないことを確認し、給水ホースの接続部に付属品の給水ホース断熱材を巻きつけてビニタイで固定してください。(図8)

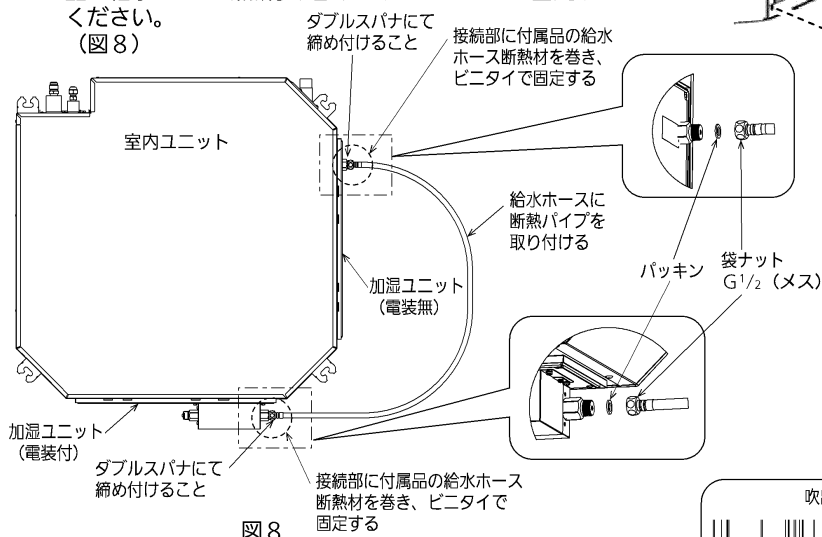


図8

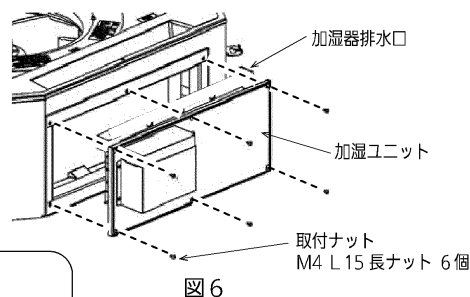


図6

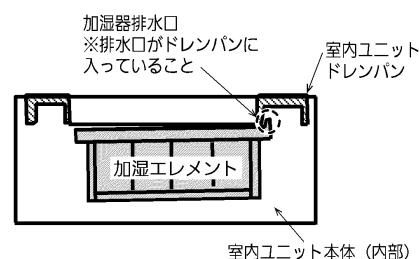


図7

9. 加湿ユニットを取り付けた側面の吹出口に付属品の風向板を取り付けてください。高加湿タイプは2か所になります。(図9,10,11)

注意 ●風向板を必ず取り付けてください。(結露、水漏れの原因になります。)

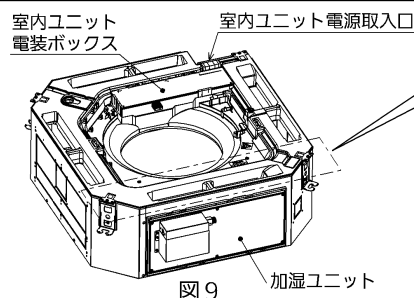


図9

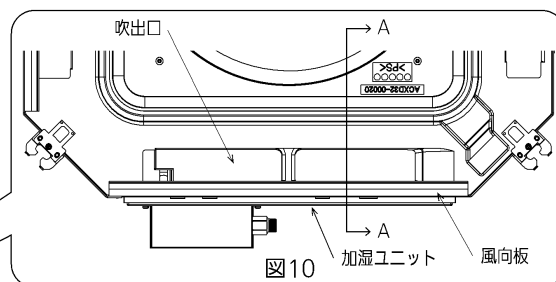


図10

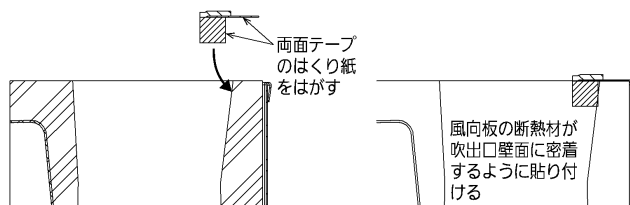


図11 (図10のA-A断面)

3. 電気配線

1. 室内ユニット電源取入口から、室内ユニット内へ配線を引き込みます。
2. 室内ユニット電装ボックスの蓋を開き、加湿器の電源線を3P端子板に接続します。(図12)
※電源線は黒を3P端子板の【R】に、白を【S】に接続してください。
3. 加湿器信号線のソケットを室内コントロール基板の【HU (CN066:4P白)】コネクタに接続します。(図12)
4. ヒューミディスタットをご使用になる場合は、加湿器電気回路図(図13)を参考に加湿器電装ボックス内にあるジャンパー線(青色)を切断し、付属品の閉端接続子でヒューミディスタットの配線と接続します。
接続部(閉端接続子)は、加湿器電装ボックス内に収納してください。

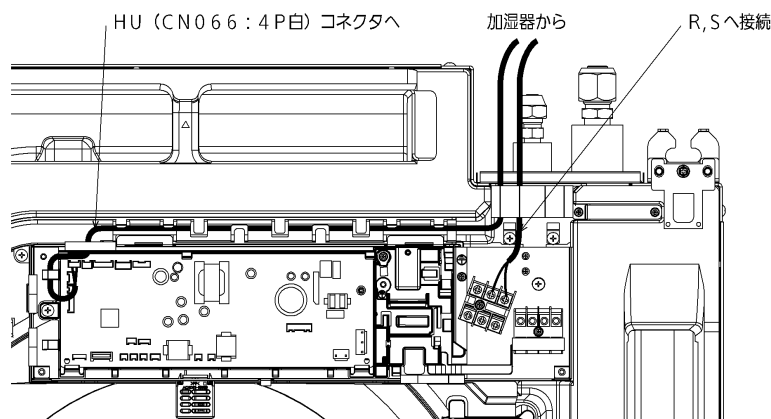


図12

加湿器電気回路図

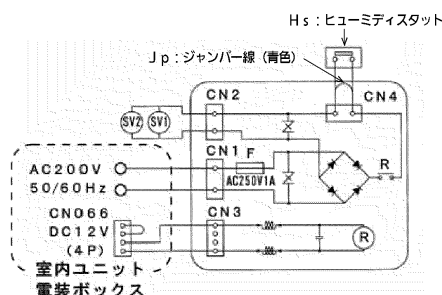


図13

お願い

ヒューミディスタット（現地調達）を取り付ける場合は、加湿器電装ボックス1台毎にヒューミディスタットを1個接続を基本としてください。
複数台の加湿器を1個のヒューミディスタットで制御する場合は、リレーにて個別に接点を分けて各加湿器に接続してください。(図14)
接点を分けないと正常な加湿動作が行えず、水漏れの原因になります。

例. 2台の加湿器を補助リレー接点にて制御する場合

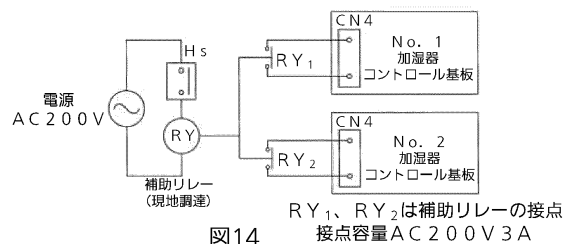


図14

4. 給水配管

警告 ●0℃以下の雰囲気となり、凍結のおそれがある場所には取り付けないでください。
(破損、水漏れの原因になります。)

1. 室内ユニットの「据付工事説明書」に従って、加湿器を組み込んだ室内ユニットを据え付けてください。
 2. 現地調達の給水配管内に通水し、配管内の汚れを取り除いてください。
 3. 給水ホースに断熱パイプを取り付けてから加湿ユニットの給水口に接続してください。(図15)
※必ず付属のパッキンを入れて袋ナットをダブルスパナで締め付けてください。(締付トルクの目安15.0N・m)
※加湿ユニットの給水口にストレーナーを取り付けた状態で配管を接続してください。
 4. 図15を参考に現地調達の給水配管等を接続してください。
- 以下の項目は試運転の後、問題が無いことを確認した上で行ってください。
5. 給水接続部の水漏れ確認を行ってください。
 6. 水漏れが無ければ、給水ホースの接続部に付属品の給水ホース断熱材を巻きつけてビニタイで固定してください。(図15)
 7. 現地調達の給水配管にも、断熱処理を行ってください。配管の凍結は漏水事故の原因となります。
十分に保温工事をしてください。この断熱材は現地調達になります。

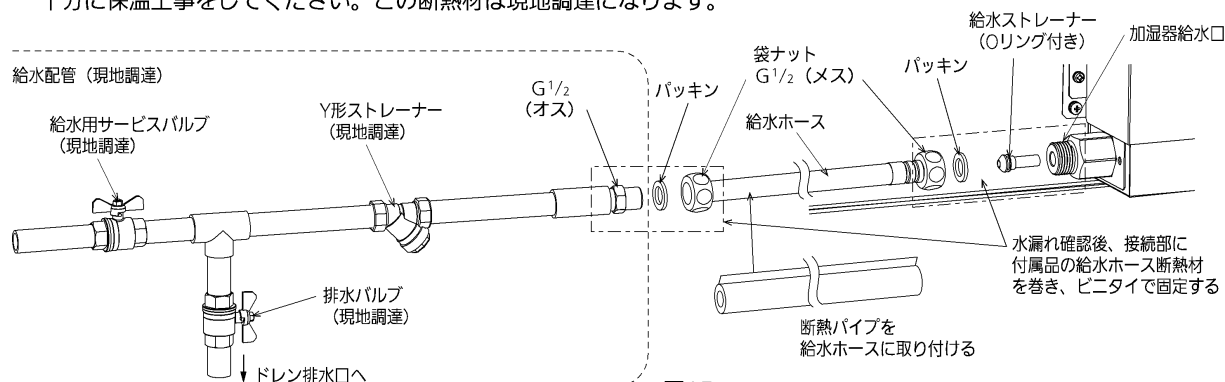


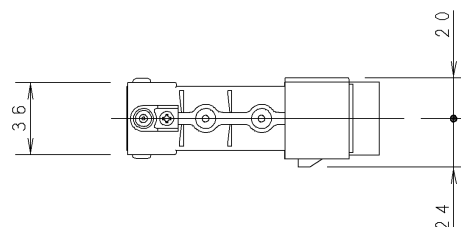
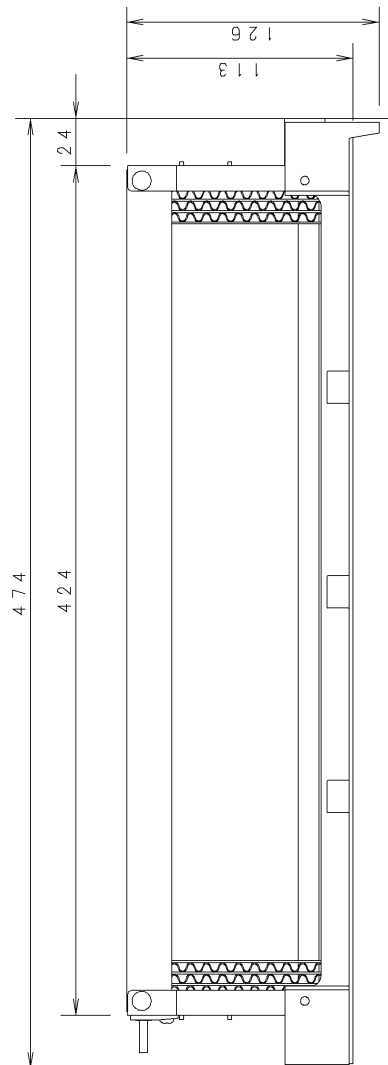
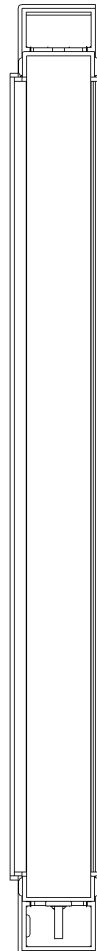
図15

交換用加湿エレメント (CZ-07AU5・CZ-14AU5)

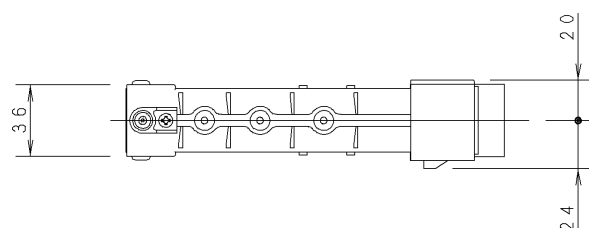
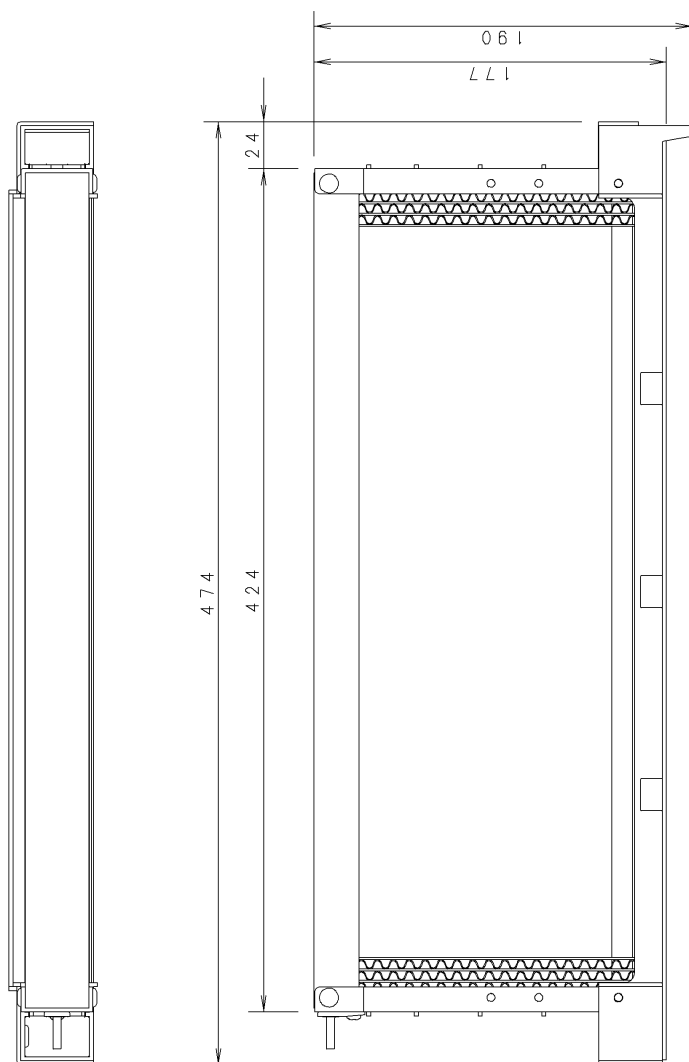
■ 交換用加湿エレメント仕様

品 番			CZ-07AU5	CZ-14AU5
対応ユニット			28, 36, 45, 56, 71, 80, 90形	112, 140, 160形
加湿性能	kg/h		—	—
加湿方式			自然蒸発式	
給水量	L/h		—	—
加湿材			ポリエステル繊維 (抗菌・防カビ仕様)	
給水制御方式			—	
電源電圧			—	
定格消費電力	W		—	
質量	水(有)	kg	—	—
	水(無)	kg	0.4	0.5
使用 範囲	給水圧力	MPa	—	
	給水圧力 (ポンプ使用時)	MPa	—	
	減圧弁		—	
	仕様周囲温湿度		5~40℃、90%RH以下	
	使用水		上水道水またはこれと同等以上のもの	
	取付角度		—	
保護装置			—	
外形寸法	H	mm	113	177
	W	mm	44	44
	L	mm	474	474

■外形寸法図



外形寸法図 《交換用加温エレメント》 4方向天井カセット形 (28~90形)	CZ-07AU5	品番
--	----------	----



外形寸法図 《交換用加温エレメント》 4方向天井カセット形(112~160形)	CZ-14AU5	品番
---	----------	----

加湿エレメント 交換のしかた

品番	CZ-07AU5 (自然気化式加湿器 CZ-07ASU5, CZ-16ASHU5, RH-SN07EQ, RH-SN07EQH 用)
	CZ-14AU5 (自然気化式加湿器 CZ-14ASU5, CZ-20ASHU5, RH-SN14EQ, RH-SN14EQH 用)

交換作業の前に、この「交換のしかた」をよくお読みください。
特に『安全上のご注意』は必ずお読みください。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容(禁止事項)です。



実行しなければならない内容(強制事項)です。



警告



■ 修理・改修は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する
(水漏れや感電、火災の原因)

■ 移動再設置は、販売店に相談する
(ユニットの落下や水漏れ、感電や火災の原因)



注意



■ 交換部品は、当社指定の部品を使用する
(指定の部品を使用しないと、水漏れの原因)

作業前の準備

- 作業は安全に留意して行ってください。特に板金のエッジ部分や熱交換器の温度等には十分に注意してください。加湿器の据付説明書もあわせてご覧ください。
- 作業にかかる前に必ず漏電しゃ断器を切り、給水用のサービスバルブを閉めてください。

(CZ-**ASU5, CZ-**ASHU5 をご使用の場合)

- 給水ホースの脱着の際に、パッキンを必ず新しいものに交換してください。パッキンを交換しないと漏水の原因になります。パッキンは市販の水道用19mm、厚さ2mmのノンアスベストパッキンまたは、サービスパーツ(CV6233336015)をご使用ください。

1. 交換のしかた

- ①給水ホースを取りはずしてください。(図1)
 ※加湿器給水口に巻いてある断熱材ははずしてください。
 ※給水ホース、加湿器内の残水が出てくる場合がありますので、バケツやウエスなどを準備してください。
- ②加湿器本体を固定している長ナット(M4×L15)もしくは、取付ネジ(M4×10)6個をはずし、電気配線を引っ張らないように加湿器を室内ユニットから取り出してください。(図2)
 ※給水ストレーナーを紛失しないようご注意ください。(図1)
- ③固定用のネジ(2本)とジョイントをはずして加湿エレメントを取りはずしてください。(図3)
- ④加湿器給水口に挿入されている給水ストレーナーを取りはずし、内側のゴミを洗い落としてください。
 ※給水ストレーナーに付いているOリング(もしくは、ワッシャー)をはずさないでください。(図1)
- ⑤元通りに取り付けてください。
- ⑥取りはずしと逆の手順で新しい加湿エレメントを組み付け、加湿器を室内ユニットに取り付けてください。
- ⑦給水ホースを加湿器給水口に接続してください。
 ※給水ストレーナーを元に戻し、パッキンを新しいものに変えてください。(CZ-**タイプ加湿器の場合)
 ※袋ナットをダブルスパナで締め付けてください。(締付トルクの目安15.0N・m)
 ※給水用サービスバルブを開き、水漏れがないことを必ず確認した後、はずした断熱材を加湿器給水口と袋ナットをおおように巻き付けてビニタイで固定してください。

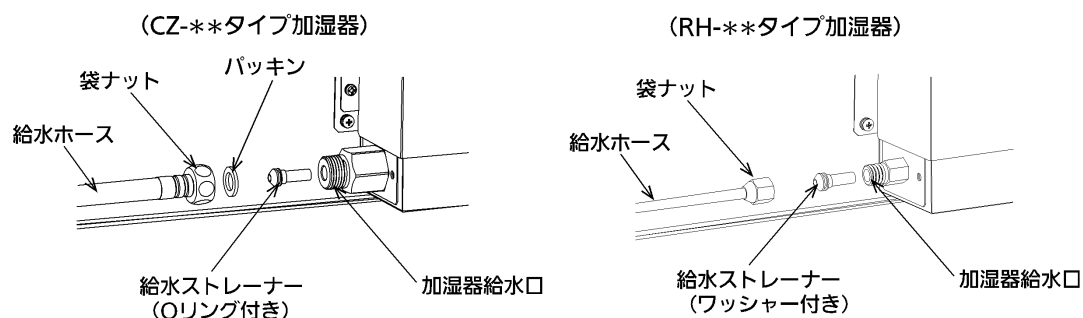


図1

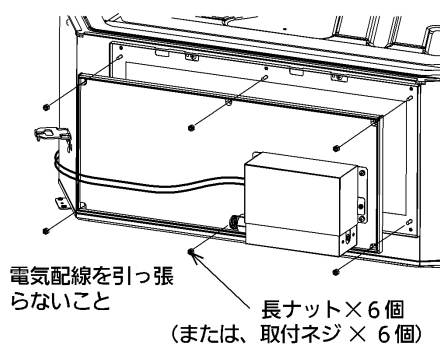


図2

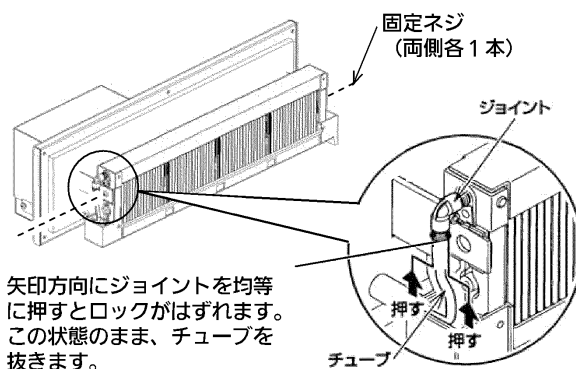
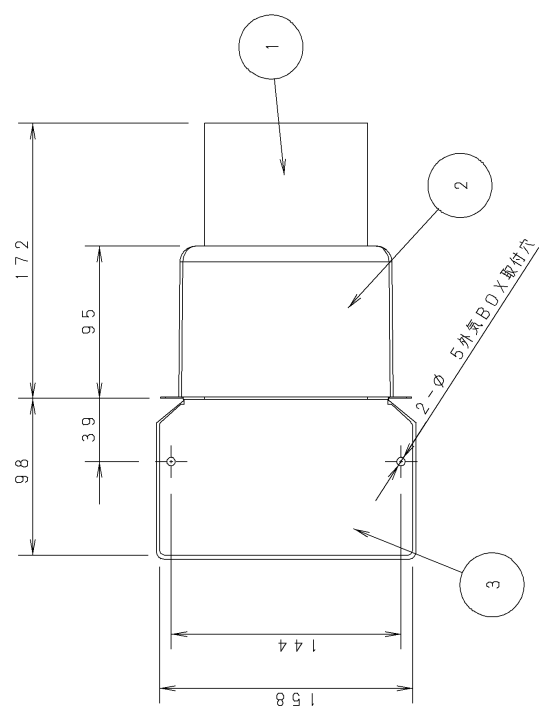


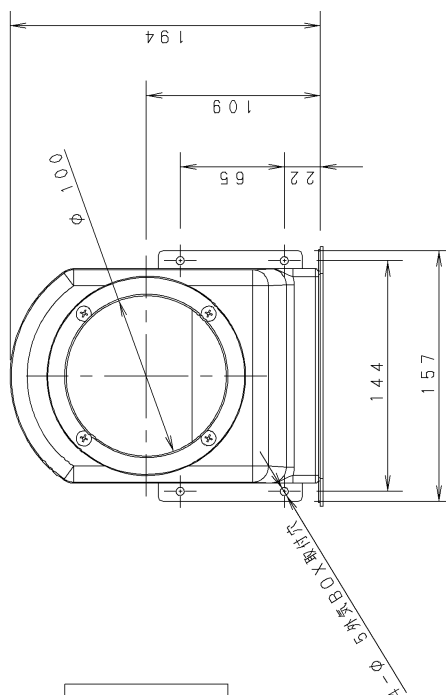
図3

外気取入れキット チャンバー用 (CZ-160GSCU5)

■外形寸法図



①	外気取入れフランジ" (φ100)
②	外気取入れBOX
③	取付板



品番	CZ-160GSCU5	外形寸法図 外気取入れキット (チャンバー用)
----	-------------	----------------------------

据付工事説明書

外気取入れキット (チャンバー用)

品番 CZ-160GSCU5

適用室内ユニット 4方向天井カセット形

- 据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」、フィルターチャンバーに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容 (禁止事項) です。



実行しなければならない内容 (強制事項) です。



警告



- 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
(ユニットの落下や水漏れの原因)

- 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に
(ユニットの落下による、けがの原因)
- 付属品は当社指定の部品を使用する
(指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因)



注意



- 周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
(万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因)

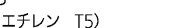
- 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■使用上のご注意

- ・別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
- ・この据付工事説明書は、室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

1. 付属品

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

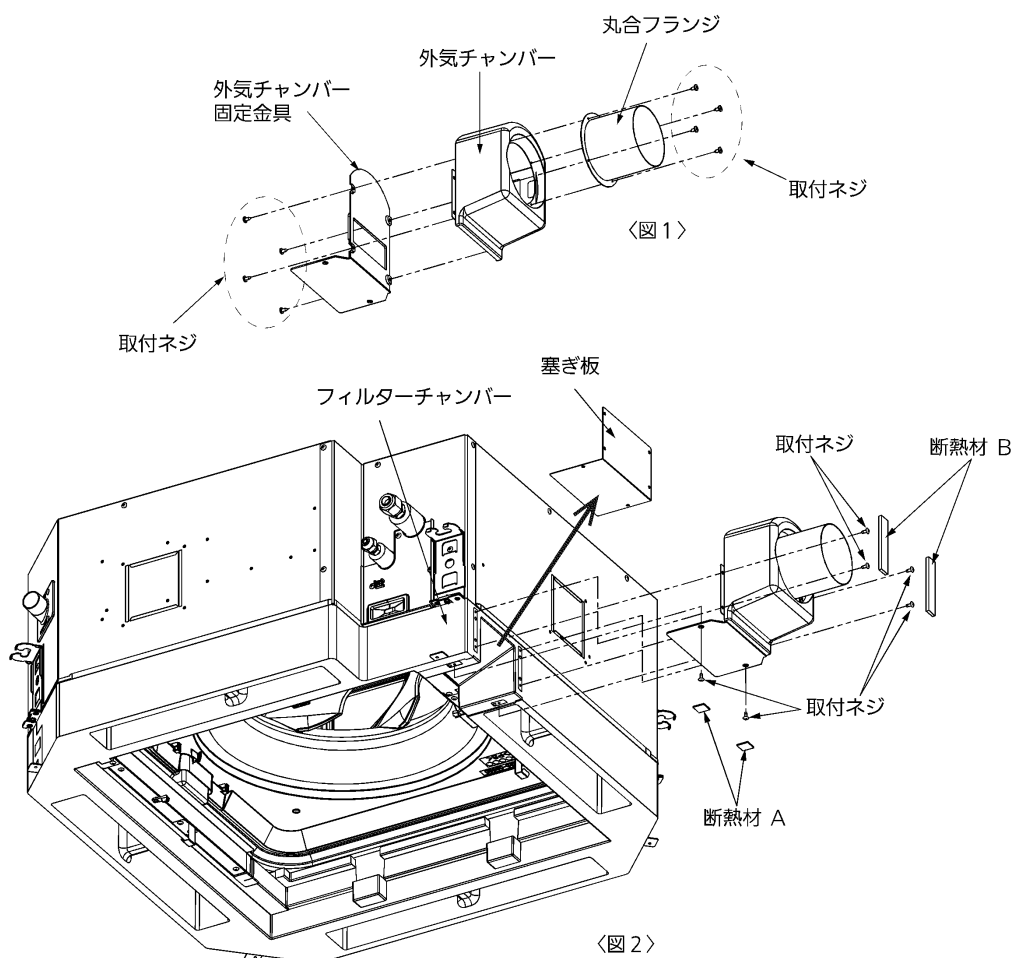
名 称	個数	名 称	個数	名 称	個数	名 称	個数
外気チャンパー 	1	外気チャンパー固定金具 	1	丸合フランジ（φ100） （ダクト用フランジ） 	1	据付工事説明書 	1
取付ネジ（4×10） 	14	断熱材 A （発泡ポリエチレン T2） 	2	断熱材 B （発泡ポリエチレン T5） 	2		

2. 取り付けかた

- ① 外気チャンパーに丸合フランジと外気チャンパー固定金具をはめ込み、付属の取付ネジ8本で固定します。〈図1〉
- ② フィルターチャンパーの塞ぎ板をはずします。〈図2〉
- ③ フィルターチャンパーに①で組み立てた外気チャンパーを、付属の取付ネジ6本で固定します。〈図2〉
- ④ 断熱材A、Bを、③で固定した取り付けネジ部に貼り付けます。〈図2〉

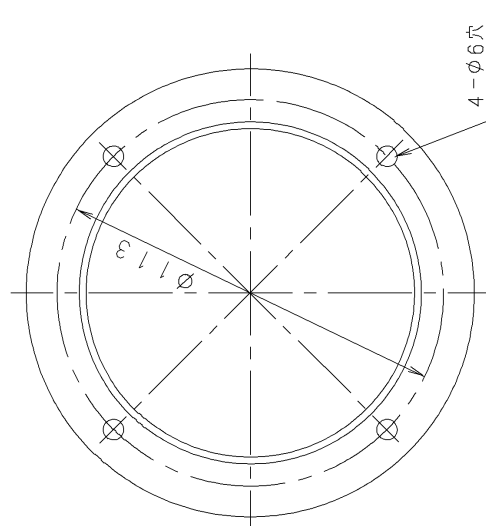
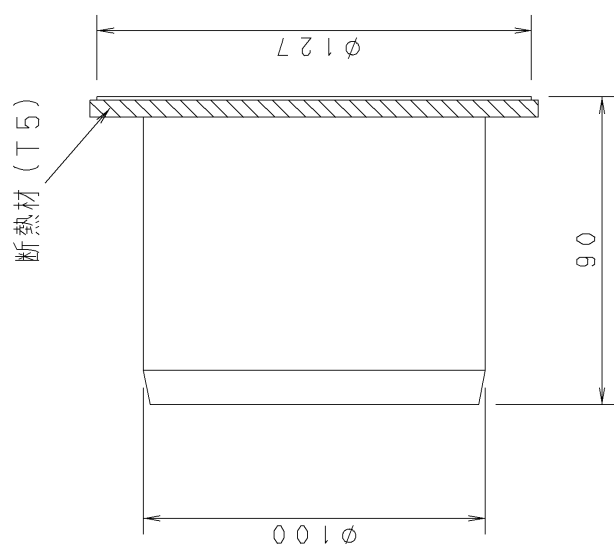
＊ 取り付け時のご注意 ＊

- ・外気取入キット（チャンパー用）の取り付けは、室内ユニットおよびフィルターチャンパーの据え付け後に行ってください。
- ・フィルターチャンパーの室内ユニットへの取り付けかたは、フィルターチャンパーに同梱の「据付工事説明書」を参照してください。
- ・フィルターチャンパーの側面に衝撃を与えると破損することがありますので、取り付け時は十分注意してください。



外気取入丸合フランジφ100 (CZ-AT100)

■外形寸法図



外形寸法図 (外気取入れ用丸合フランジ)
CZ-AT100
品番

据付工事説明書

外気取入丸合フランジ

品番 CZ-AT100

適用室内ユニット 4方向天井カセット形

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。

また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容（禁止事項）です。



実行しなければならない内容（強制事項）です。



警告



■据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
(ユニットの落下や水漏れの原因)

■据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
(ユニットの落下による、けがの原因)

■付属品は当社指定の部品を使用する
(指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因)



注意



■周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
(万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因)

■据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■使用上のご注意

- ・別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
- ・この据付工事説明書は、室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

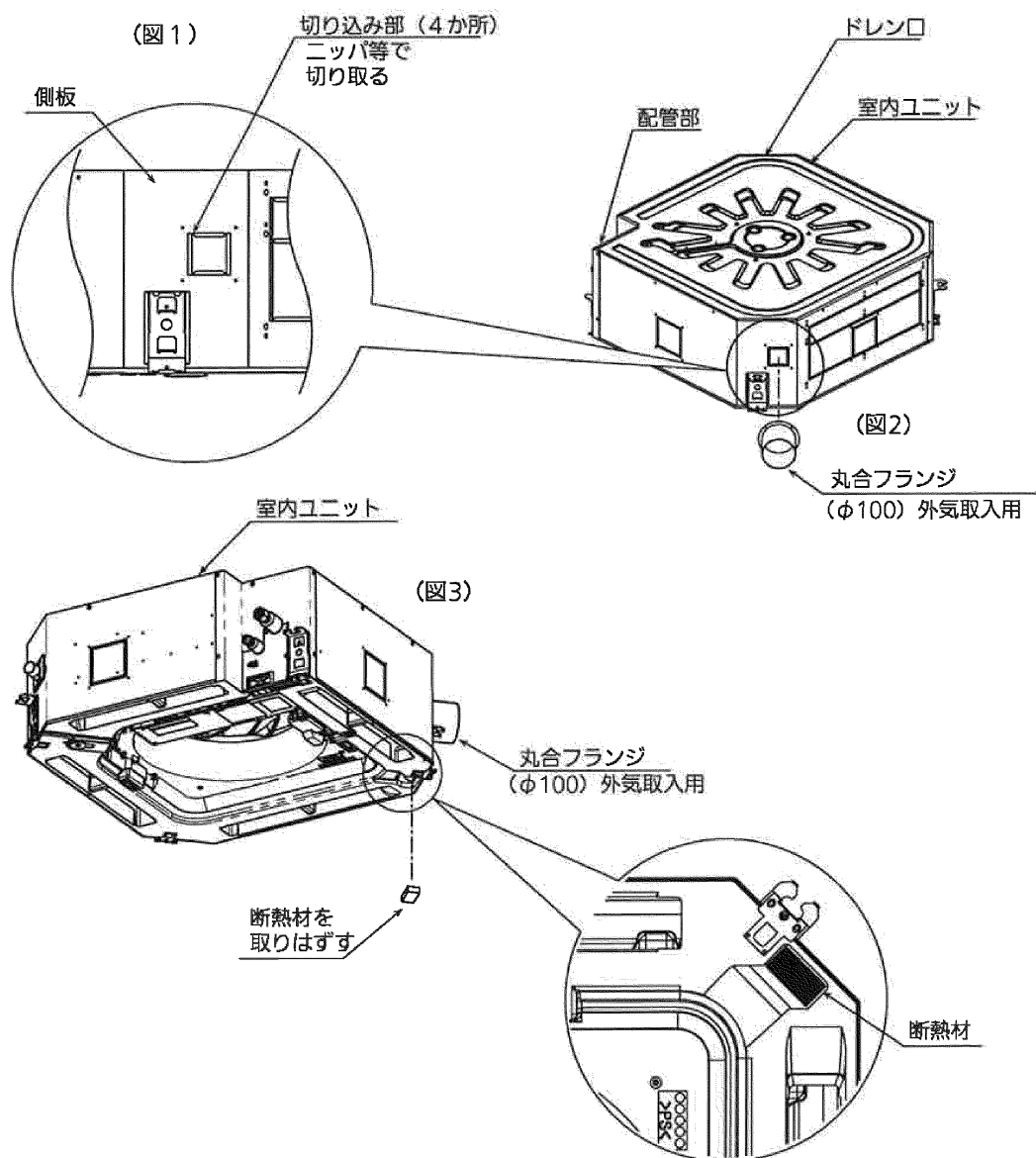
1. 付属品

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

名 称	個数	名 称	個数	据付工事説明書	個数
丸合フランジ φ100 外気取入用	1	取付ネジ (4×12)	4		1

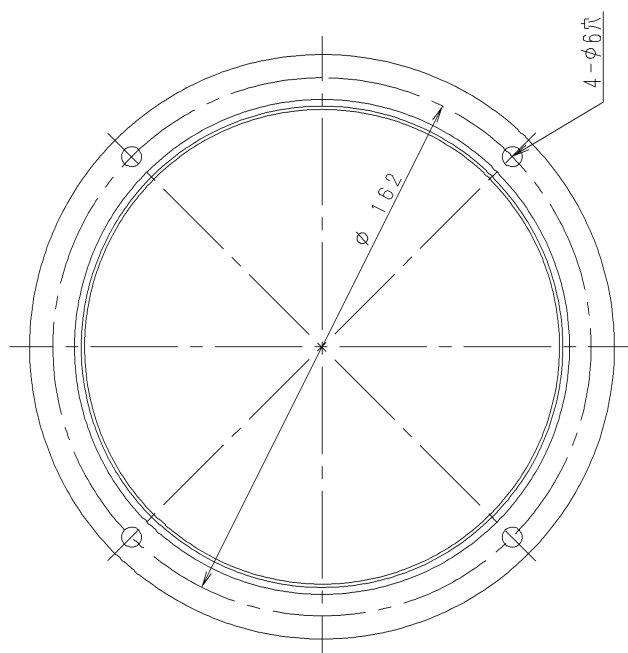
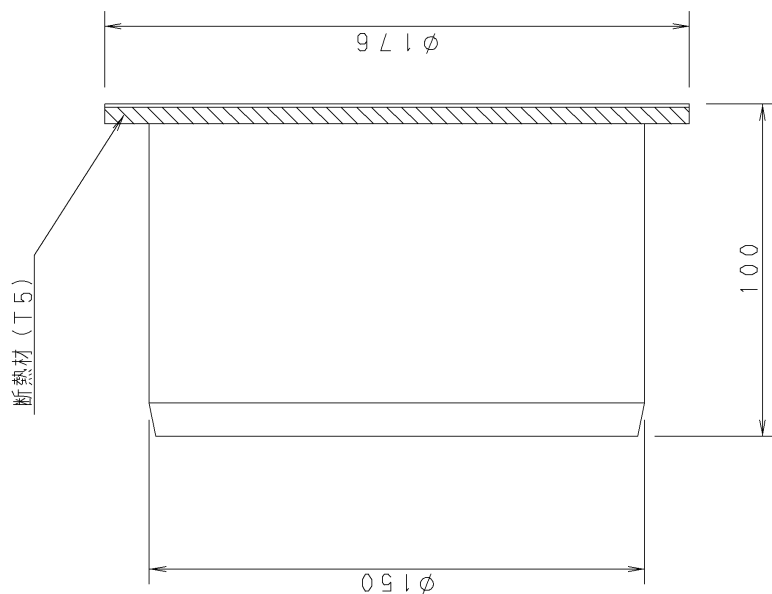
2. 取り付けかた

- (1) 室内ユニット側板の切り込み部を、ニッパ等で切り取ってください。(図1)
- (2) 丸合フランジを付属の取付ネジ4本で取り付けてください。(図2)
- (3) 断熱材を取りはずしてください。(図3)



吹出口丸合フランジφ150 (CZ-DA150)

■外形寸法図



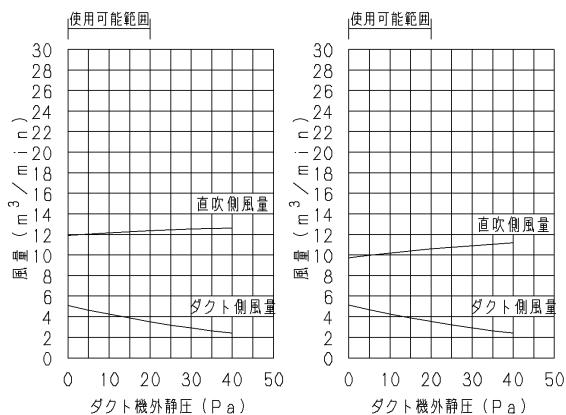
外形寸法図 (吹出し口用丸合フランジ)
CZ-DA150
品番

■送風機特性

28, 36, 45形

3方向吹出し

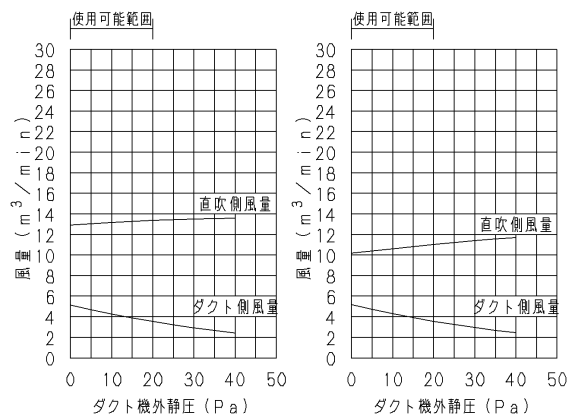
2方向吹出し



56形

3方向吹出し

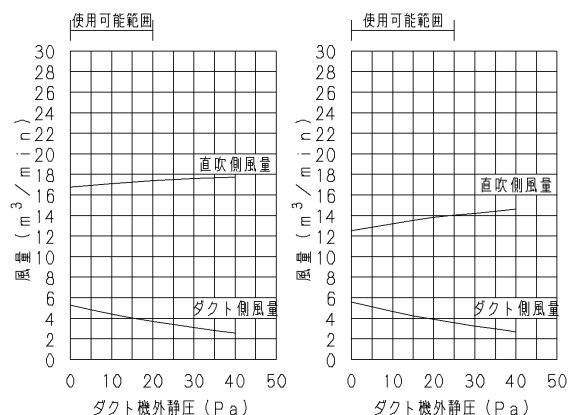
2方向吹出し



71, 80形

3方向吹出し

2方向吹出し

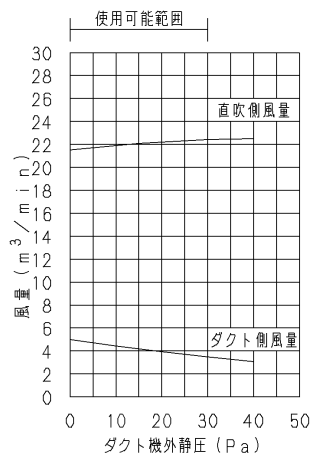
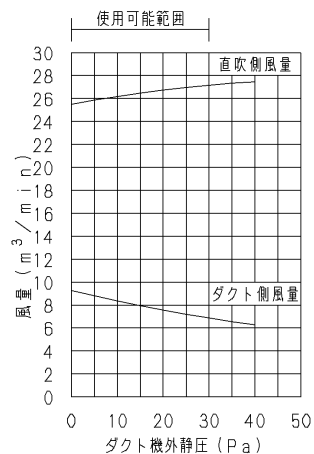


品番	CZ-DA150	送風機特性線図(1) 《ダクト取付時》 4方向天井カセット形(28~80形)
----	----------	--

90, 112形

3方向吹出し

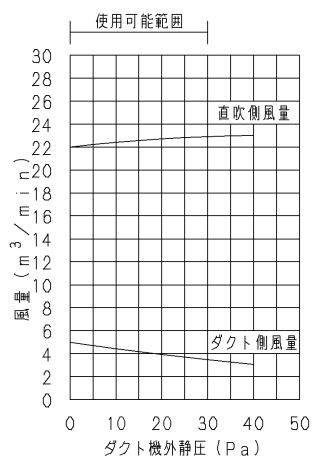
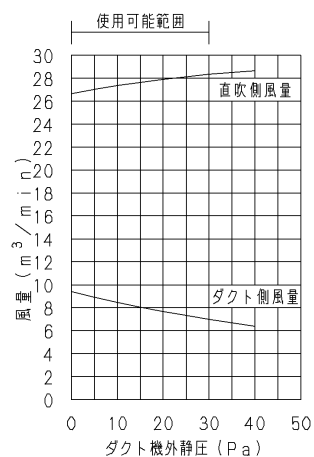
2方向吹出し



140, 160形

3方向吹出し

2方向吹出し



品番	CZ-DA150	送風機特性線図(2) 《ダクト取付時》 4方向天井カセット形(90~160形)
----	----------	---

据付工事説明書

吹出口丸合フランジ

品番 CZ-DA150

適用室内ユニット 4方向天井カセット形

- 据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容（禁止事項）です。



実行しなければならない内容（強制事項）です。



警告



- 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
(ユニットの落下や水漏れの原因)

- 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
(ユニットの落下による、けがの原因)
■付属品は当社指定の部品を使用する
(指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因)



注意



- 周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
(万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因)

- 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■使用上のご注意

- ・別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
- ・この据付工事説明書は室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

1. 付属品

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

名 称	個数	名 称	個数	据付工事説明書	個数
丸合フランジ φ150 吹出口用	1	取付ネジ (4×12)	4		1
シール用断熱材 A	2	シール用断熱材 B	2		

2. 取り付けかた

●取り付け前の準備

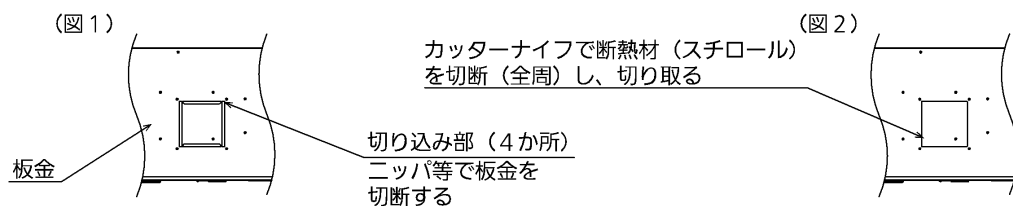
吹出口丸合フランジの取り付けには、別売品のフレキシブルダクト（丸）が必要ですので用意してください。

吹出口丸合フランジ	フレキシブルダクト（丸）
CZ-DA150	CZ-F1510 φ150 1m

●取り付けかた

- (1) 室内ユニット側板の切り込み部を、ニッパ等で切り取ってください。（図1）
- (2) 断熱材（スチロール）を、カッターナイフ等で切断し、切り取ってください。（図2）

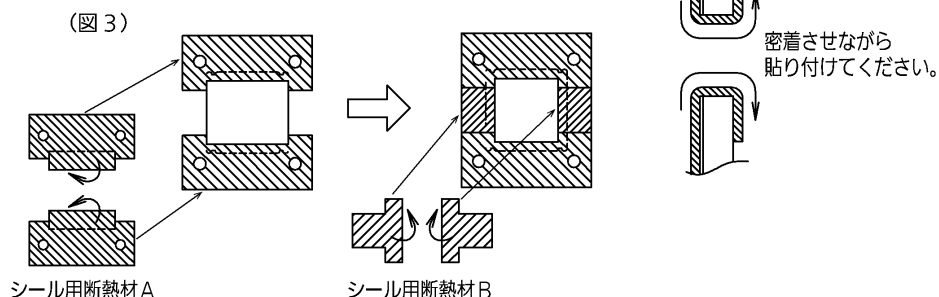
注意 内側のスチロールを切断するとき、カッター等の刃は30mm以上差し込まないよう注意してください。
(内部のドレンパンおよび熱交換器を傷つけると、水漏れの原因になります。)



- (3) スチロールと板金の間に隙間があると結露等の問題が発生しますので、必ず断熱材貼り付け手順に従い断熱材を貼り付けてください。（図3）

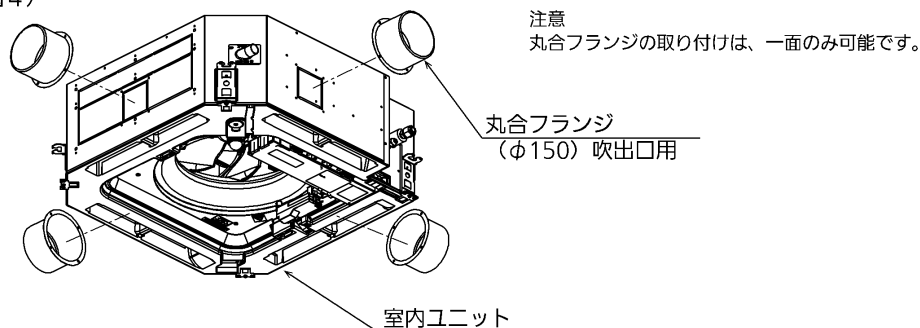
断熱材貼り付け手順

付属のシール用断熱材Aをネジ穴に合わせて貼り付けた後、シール用断熱材Bを貼り付けてください。



- (4) 室内ユニットに吹出口丸合フランジを付属の取付ネジ4本で取り付けてください。（図4）

(図4)



- (5) フレキシブルダクトの取り付けかたについては、フレキシブルダクトに同梱されている取付説明書を参照してください。

しゃ風材 (CZ-160CFU5)

据付工事説明書

しゃ風材

品番 CZ-160CFU5

適用室内ユニット 4方向天井カセット形

- 据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容（禁止事項）です。



実行しなければならない内容（強制事項）です。



警告



- 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
(ユニットの落下や水漏れの原因)

- 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
(ユニットの落下による、けがの原因)
- 付属品は当社指定の部品を使用する
(指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因)



注意



- 周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
(万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因)

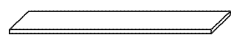
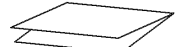
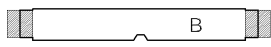
- 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■使用上のご注意

- ・しゃ風材は室内ユニット据え付け前に取り付けてください。
- ・しゃ風材をご使用になる場合、しゃ風パターンによっては、ナノイー機能が使用できませんのでご注意ください。
- ・別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
- ・この据付工事説明書は、室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

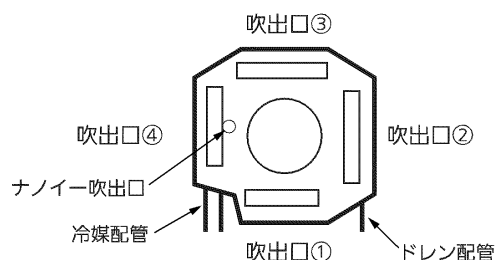
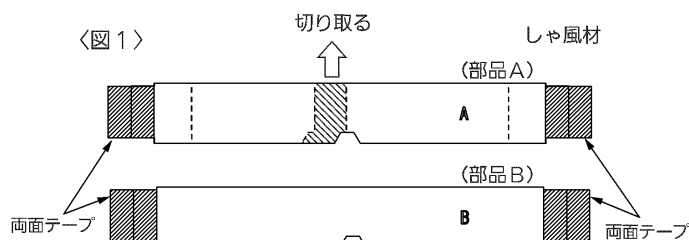
1. 付属品

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

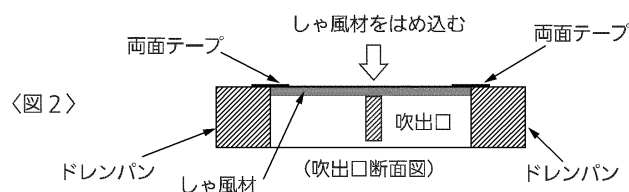
名 称	個数	名 称	個数	名 称	個数
しゃ風材 (470×65×T10)		パッキン (570×90×T2)		据付工事説明書	
A: 2個 	3		2		1
B: 1個 					

2. 取り付けかた

- (1) 取り付け位置の確認〈図1〉
吹出口①に取り付けるしゃ風材は、部品Aのミシン目によって折り曲げて、斜線部を切り取ってください。
吹出口③、④に取り付ける場合は部品Aを、吹出口②に取り付ける場合は部品Bを、そのまま使用してください。

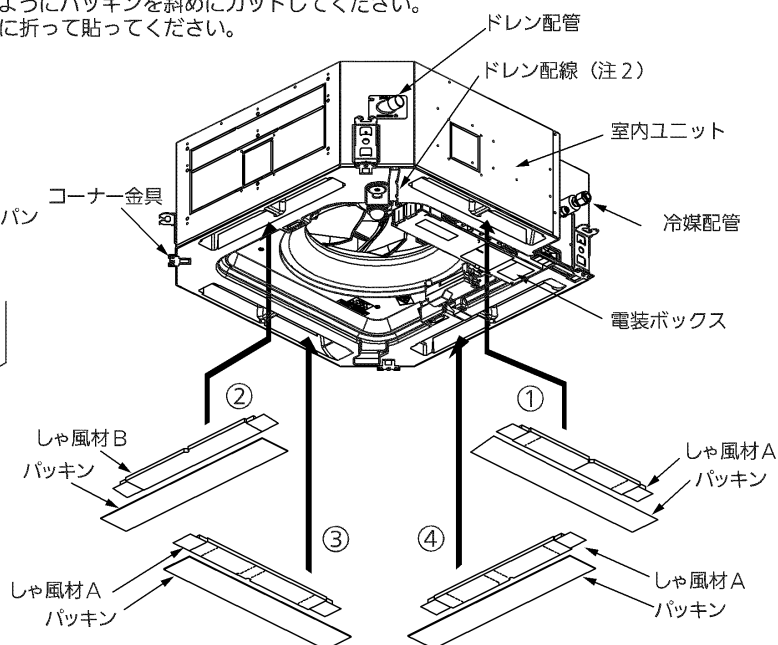
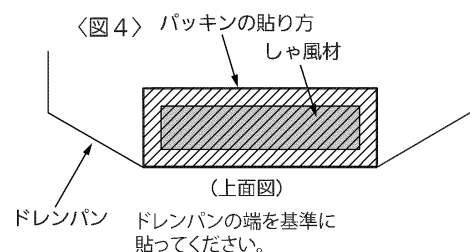
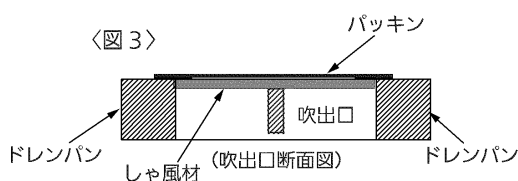


- (2) 吹出口としゃ風材の形状が合っていることを確認し、〈図2〉のように、しゃ風材の両端に付いている粘着テープを貼り付けてから、隙間がないようにしゃ風材を吹出口にはめ込んでください。



- (3) 最後に、しゃ風材の両面テープをはがし、〈図3〉〈図4〉のようにパッキンを貼り付けて閉塞してください。
パッキンは、しゃ風材の端から10mm以上かかるように貼り付けてください。
(かからないと、露付きの原因となります。)

注1) パッキンはコーナー金具に当たらないようにしてください。
注2) 吹出口①は、ドレン配線に当たらないようにパッキンを斜めにカットしてください。
パッキンがはみ出した部分は、側板側に折って貼ってください。

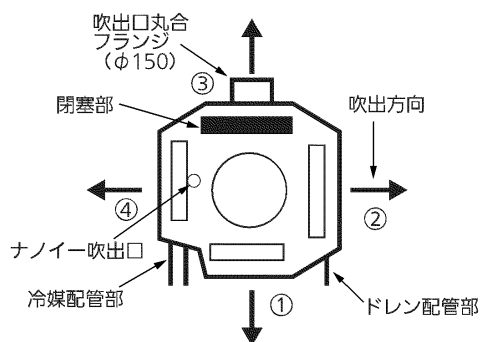


3. 吹出口閉塞パターン 室内ユニット下部より見た状態

- 3方向吹出し、2方向吹出し時、および吹出口丸合フランジ(φ150)接続時は、下記の吹出口閉塞パターンに従って吹出口閉塞を行ってください。
また、下表を参照の上、配管部の位置をご確認ください。
(イラストの見かたは右図参照)
吹出口丸合フランジ(φ150)の取り付けは結露防止のため、冷風漏れ、断熱不足のないようにしてください。

〈ご注意〉

④の吹出口を閉塞すると、ナノイーが発生しなくなりますので、下表の網かけの吹出口閉塞パターンで使用される場合は、ご注意ください。



- 下表の吹出口閉塞パターン以外は絶対に行わないでください。

3方向吹出し 1か所を閉塞可能です。				
2方向吹出し 2か所を閉塞可能です。				
吹出口丸合フランジ (φ150) 接続 3方向吹出し 1か所を閉塞しダクトに 接続可能です。				
吹出口丸合フランジ (φ150) 接続 2方向吹出し 2か所を閉塞しダクトに 接続可能です。 注) ダクト接続はどちら か1か所のみ可能です。				

■DCファンタップ設定変更

「4. DCファンモータータップの選択」に従って、ワイヤードリモコンまたは室内コントロール基板(ディップスイッチ)の設定を行ってください。

4. DCファンモータータップの選択

ご使用の用途、別売品に応じ、ファン回転数を設定する必要があります。(表1)
変更を行わない場合、風量減少により冷房時吹出温度が低下、露付きの原因となります。
ファン回転数を設定する方法は、(1) 基板上的ディップスイッチを切り替えて設定する方法 (2) ワイヤードリモコンで設定する方法
があります。どちらかの方法で設定してください。※ディップスイッチによる設定が優先されます。

表1 DCファンモータータップ設定表

設定No.	項目コード5D/5dの 設定データ	使用用途/別売品名称 ※1
	0000	標準 (出荷設定)
(1)	0001	高天井設定1 (標準、エコナビパネル時)
		オイルガードパネル ※2
		超ロングライフフィルター
		オイルミストフィルター ※2
		高性能フィルター (比色法65%)
(3)	0003	昇降グリル付きオイルガードパネル ※2
		しゃ風材 (3方向吹出時) ※3
		しゃ風材 (吹出ダクト接続時) ※3
		高天井設定2 (標準、エコナビパネル時)
		高性能フィルター (比色法90%)
(6)	0006	デオドラントフィルター
		しゃ風材 (2方向吹出時)

※1. 必ず、カタログ・設備設計資料等の別売品組合表にて、
組合せ可能な別売品を確認し選定してください。

※2. オイルガードパネルとオイルミストフィルターまたは、
昇降グリル付きオイルガードパネルとオイルミストフィルター
を組み合わせる場合は、設定No. (3) または設定データ0003
を設定してください。

※3. しゃ風材とそれ以外の別売品を併用の場合、
3方向吹出時 設定No. (3) または設定データ0003
吹出ダクト接続時 設定No. (3) または設定データ0003
2方向吹出時 設定No. (6) または設定データ0006
を設定してください。

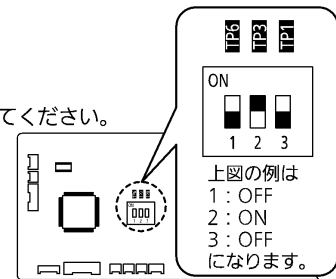
なお、併用可能な別売品は一つまでとなります。

(1) 基板上的ディップスイッチを切り替えて設定する場合

＜手順＞必ず電源 (漏電しゃ断器) を切ってください。

- ① ご使用の用途、別売品に応じた「設定No.」を表1で確認してください。
- ② 電装ボックスのふたを開き、室内コントロール基板を確認してください。(図5)
- ③ 表1で確認した設定No.に合わせ、室内コントロール基板上にあるディップスイッチを設定変更してください。

設定No.	ディップスイッチ	設定No.	ディップスイッチ	設定No.	ディップスイッチ
(1)	ON 側 OFF 側	(3)	ON 側 OFF 側	(6)	ON 側 OFF 側



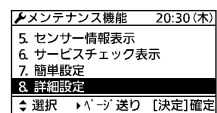
(図5) 室内コントロール基板

(2) ワイヤードリモコンで設定する場合 (別売品: CZ-10RT4シリーズ)

ご使用の用途、別売品に応じた「項目コード5Dの設定データ」を表1で確認してください。

＜手順＞ユニットが運転を停止した状態で行ってください。

- ① [戻る] + [決定] + [戻る] ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。
- ② [上] / [下] ボタンで選択、[左] / [右] ボタンでページが切り替わります。
「8. 詳細設定」を選択し、[決定] ボタンを押してください。
[詳細設定画面] が表示されます。
[上] / [下] ボタンで変更するユニットNo.を選択してください。
- ③ [左] / [右] ボタンで項目コードを選択してください。
- ④ [上] / [下] ボタンで項目コードを「5D」に変更してください。
- ④ [左] / [右] ボタンで設定データを選択してください。
- ⑤ [上] / [下] ボタンで設定データを表1で確認した値に変更し、[決定] ボタンを押してください。
- ⑤ [左] / [右] ボタンでユニットNo.を選択後、[戻る] ボタンを押してください。
[詳細設定終了画面] が表示されます。
「はい」を選択し、[決定] ボタンを押してください。



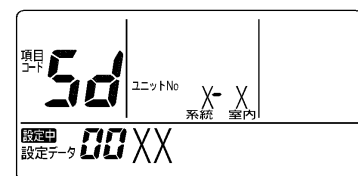
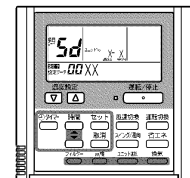
ユニット
No. 設定データ
 項目コード

(3) ワイヤードリモコンで設定する場合 (別売品: CZ-10RT3/CZ-10RT3A)

ご使用の用途、別売品に応じた「項目コード5dの設定データ」を表1で確認してください。

＜手順＞ユニットが運転を停止した状態で行ってください。

- ① [点検] + [セット] + [取消] ボタンを同時に4秒間以上押します。
- ② [ユニット選択] ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニットNo.を順次
表示します。
このとき、選択されている室内ユニットのみファンモーターが運転します。
- ③ 温度設定 [下] / [上] ボタンで項目コード「5d」を指定します。
- ④ 時間 [下] / [上] ボタンで設定データを変更します。設定データの内容は表1の
ようになっています。
- ⑤ [セット] ボタンを押します。(表示が点滅から点灯に変わればOK)
- ⑥ [点検] ボタンを押します。通常の停止状態になります。
選択している室内ユニットを変更したい場合は②へ
- ⑦ [点検] ボタンを押します。通常の停止状態になります。



(2) 2方向天井カセット形

天井パネル (CZ-02KPL3A)

□ 付属品



□ 取り付け前に

1. 天井開口寸法は図1に従い、確実に行ってください。
2. 室内ユニットまたは別売フィルターチャンパー下面と天井面との寸法は、60～65mmになるように室内ユニットの吊りボルトで高さ調節してください。(図2)

□ 天井パネルの取り付けかた

1. 吸込パネルとエアフィルターをはずします。

- ① 吸込パネルのはずしかた (図3)
A～Eの手順で吸込パネルの片側をはずし、パネルの落下防止用ひもを止めているねじをはずしてから、もう一方をはずします。
- ② エアフィルターのはずしかた (図8)
エアフィルターはフックを手で押してはずします。

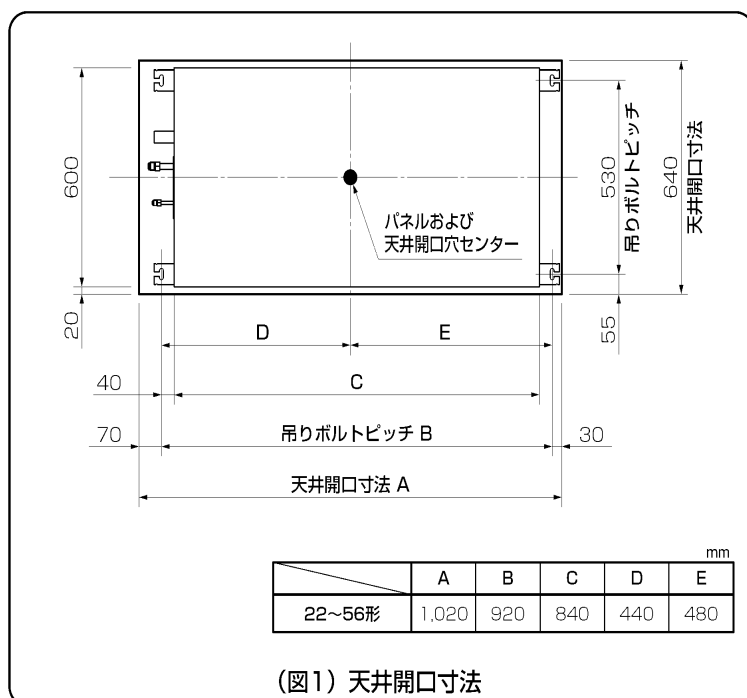
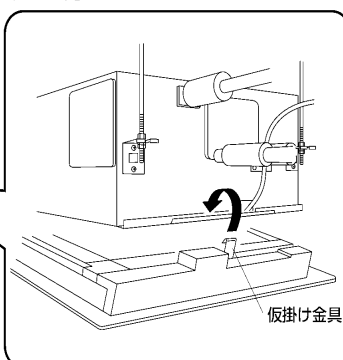
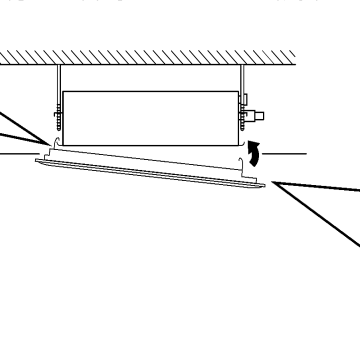
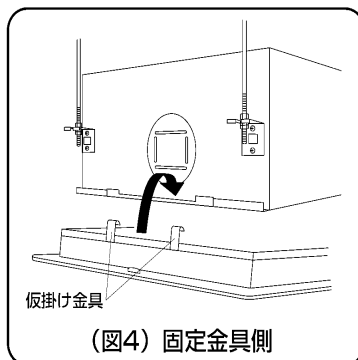
2. 天井パネルを室内ユニットに取り付けます。(図8.コネクタは電装ボックス側)

- ① コネクタと反対側の固定金具を室内ユニットに引っ掛けます。(図4)

次にコネクタ側を持ち上げ可動金具を室内ユニットに引っ掛けます。(図5)

このとき可動金具が、カチッと室内ユニットにロックすることを確認してください。

天井パネルは室内ユニットへの取り付けを容易にするため、仮掛け金具が付いています。



- ② 天井パネルが室内ユニットへ仮掛けされていることを確認してください。
- ③ 次に付属ねじ (M5×L40 ワッシャー付き 4本) で、天井パネルを固定します。
- ④ 天井パネルの取り付けが完了しましたら、室内ユニットの電装ボックス内の8P赤コネクタに天井パネルのコネクタを接続します。(図6)
(コネクタを接続しないとリモコンにエラー表示P09がでて、運転できません)
- ⑤ 天井パネルと天井面が密着していることを確認し、吸込パネルをはずした時の逆の手順でエアフィルターと吸込パネルを取り付けます。
忘れずに落下防止用ひもの固定ねじを止めてください。

安全上のご注意

- 据付工事・電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
 ■ ここに示した注意事項は、「⚠警告」「⚠注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告 取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。

⚠ 注意 取り扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

※ 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに“取扱説明書”にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また“据付工事担当のかたへ”、“電気工事担当のかたへ”は、“取扱説明書”とともに、お客様で保管いただくように依頼してください。

⚠ 警 告

- 天井パネルが室内ユニットに確実に仮掛けされていることを確認してください。
- 天井パネルは付属ねじ (M5×L40ワッシャー付き 4本) で固定してください。
付属以外のねじを使用すると天井パネルが落下してケガをする恐れがあります。

⚠ 注 意

- 絶対に手で吹出羽根を動かさないでください。故障の原因になります。
- 風向はエアコンの位置、お部屋の構造、調度品等によって変わることがあります。
冷えや暖まりが良くない時は、風向を変えて様子を見てください。
- 油を多量に使用する中華料理店などの調理場や工場の機械設備の近くには、室内ユニットを据え付けしないでください。樹脂部分の変形や破損の原因になります。

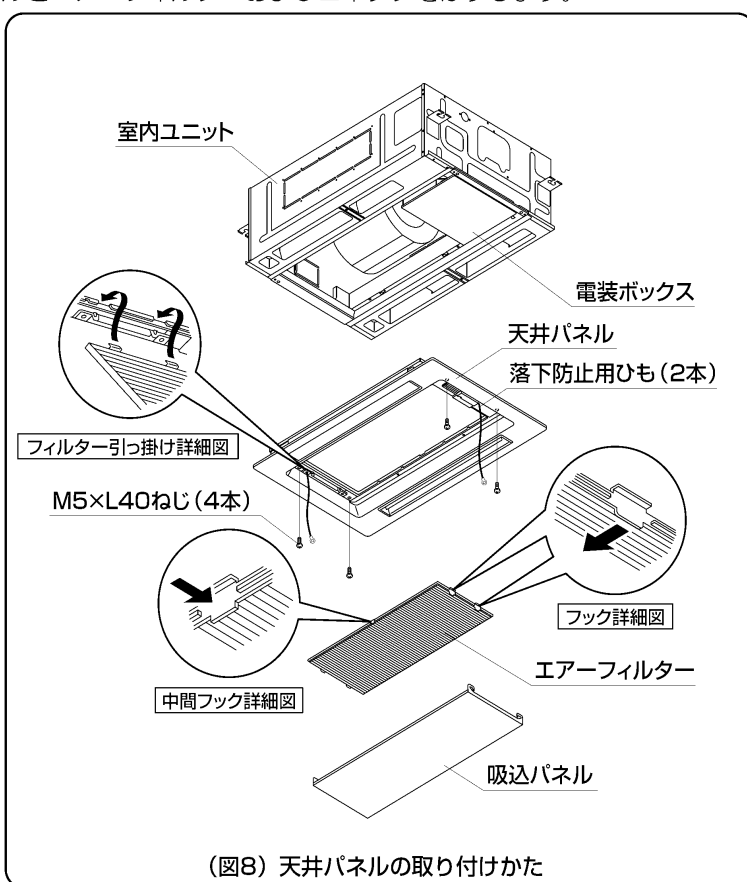
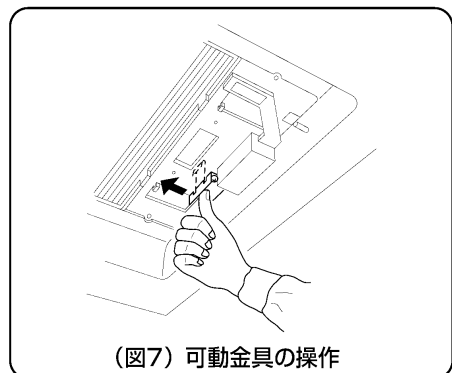
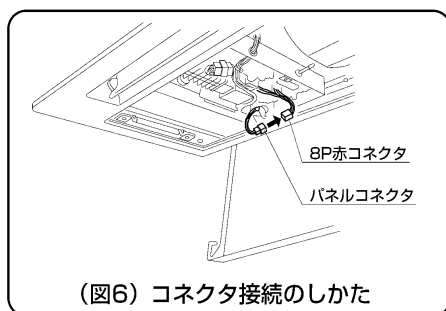
□ 風向調節のしかた

リモコン操作でお好みの位置に風向調節できます。またリモコンにはオートスイング機構も付いています。

□ サービスのしかた

1. 天井パネルをはずすときは、吸込パネルとエアーフィルターおよびコネクタをはずします。

2. 天井パネルは電装ボックス側を押し上げて、可動金具を図7の矢印方向に押し引いて引っ掛けをはずします。次に反対側の固定金具の引っ掛けをはずします。



天井パネル (CZ-03KPL3A・CZ-06KPL3A)

□ 付属品

取付ねじ	取付ビス
	
(M5×L40)	(M4×L25)
80形:4本	80形:2本
140形:4本	140形:2本

□ 取り付け前に

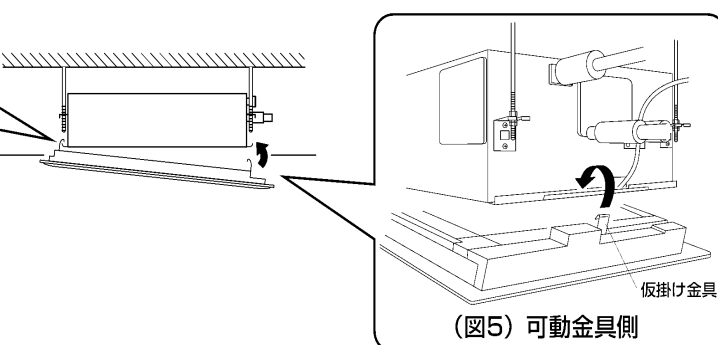
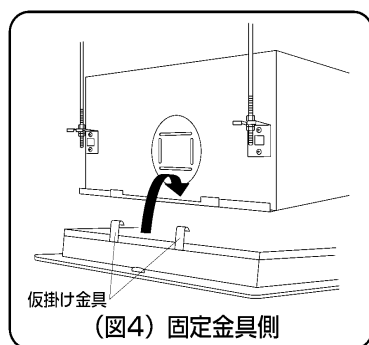
1. 天井開口寸法は図1に従い、確実に行ってください。
2. 室内ユニットまたは別売フィルターチャンバー下面と天井面との寸法は、60～65mmになるように室内ユニットの吊ボルトで高さ調節してください。(図2)

□ 天井パネルの取り付けかた

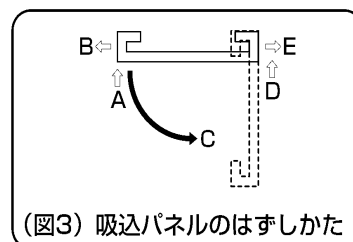
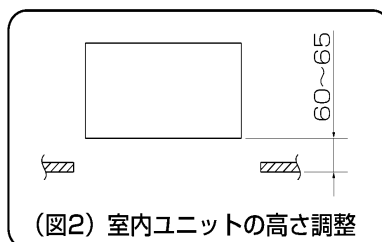
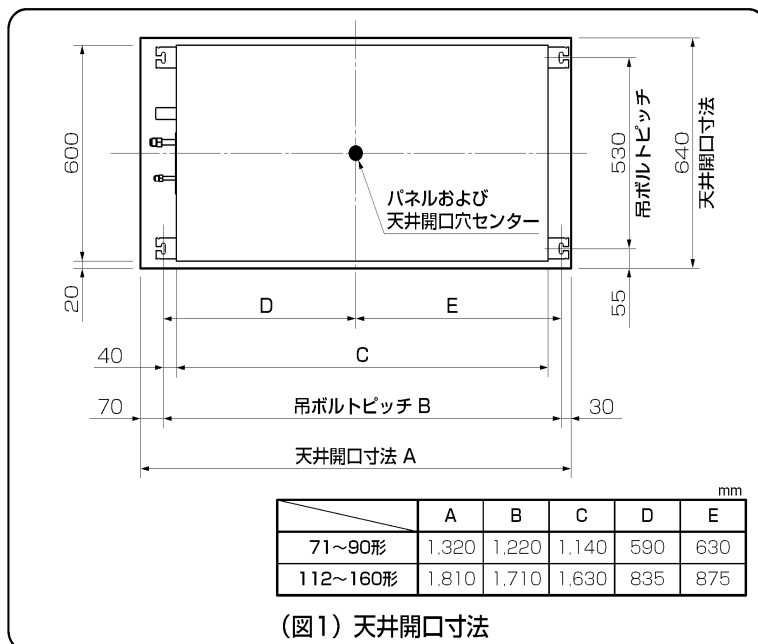
1. 吸込パネルとエアフィルターをはずします。
 - ① 吸込パネルのはずしかた (図3)
A～Eの手順で吸込パネルの片側をはずし、パネルの落下防止用ひもを止めているねじをはずしてから、もう一方をはずします。
 - ② エアフィルターのはずしかた (図8)
エアフィルターはフィルター押えフックを90度回転させてからはずします。

2. 天井パネルを室内ユニットに取り付けます。(図8.コネクタは電装ボックス側)

- ① コネクタと反対側の固定金具を室内ユニットに引っ掛けます。(図4)
次にコネクタ側を持ち上げ可動金具を室内ユニットに引っ掛けます。(図5)
このとき可動金具が、カチッと室内ユニットにロックすることを確認してください。
天井パネルは室内ユニットへの取り付けを容易にするため、仮掛け金具が付いています。



- ② 天井パネルが室内ユニットへ仮掛けされていることを確認してください。
- ③ 次に付属ねじ (M5×L40 ワッシャー付き 4本) で、天井パネルを固定します。80形と140形はさらに吹出口中央部を付属ビス (M4×L25 2本) で固定します。
- ④ 天井パネルの取り付けが完了しましたら、室内ユニットの電装ボックス内の8P赤コネクタに天井パネルのコネクタを接続します。(図6)
(コネクタを接続しないとリモコンにエラー表示P09がでて、運転できません)
- ⑤ 天井パネルと天井面が密着していることを確認し、吸込パネルをはずした時の逆の手順でエアフィルターと吸込パネルを取り付けます。
忘れずに落下防止用ひもの固定ねじを止めてください。



安全上のご注意

- 据付工事・電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
 ■ ここに示した注意事項は、「△警告」「△注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

△ 警告 取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。

△ 注意 取り扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

- ※ 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに“取扱説明書”にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また“据付工事担当のかたへ”、“電気工事担当のかたへ”は、“取扱説明書”と共に、お客様で保管いただくように依頼してください。

△ 警告

- 天井パネルが室内ユニットに確実に仮掛けされていることを確認してください。
- 天井パネルは付属ねじ（M5×L40 ワッシャー付き 4本）で固定してください。
付属以外のねじを使用すると天井パネルが落下してケガをする恐れがあります。

△ 注意

- 140形の天井パネルと吸込パネルは中央に引っ掛け金具があります。
吸込パネルは取り付け方向に注意して金具同士が確実に引っ掛かるようにしてください。
- 絶対に手で吹出羽根を動かさないでください。故障の原因になります。
- 風向はエアコンの位置、お部屋の構造、調度品等によって変わることがあります。
冷えや暖まりが良くない時は、風向を変えて様子を見てください。

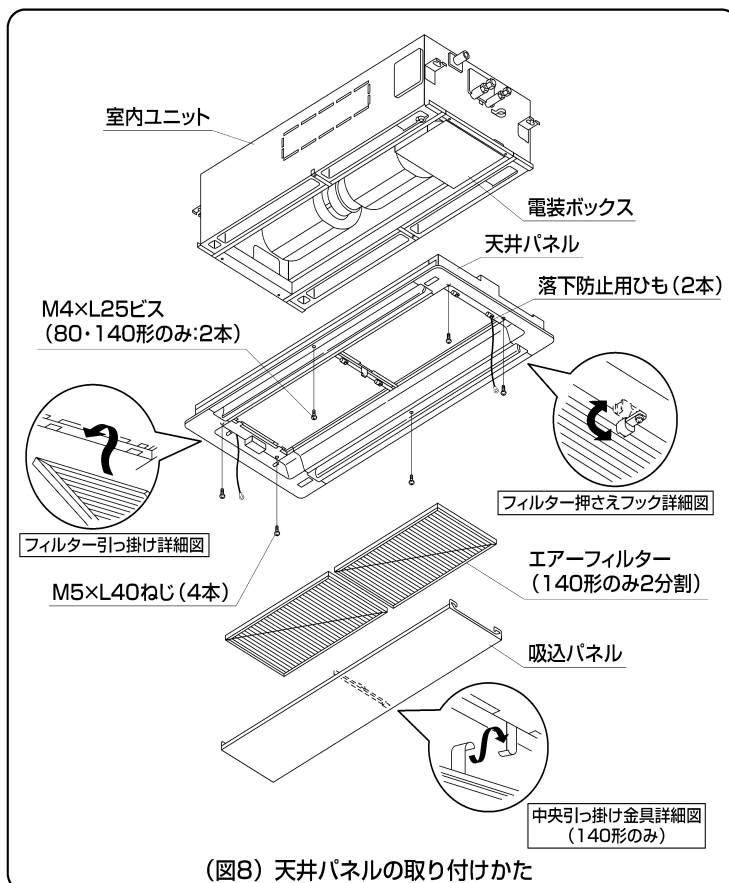
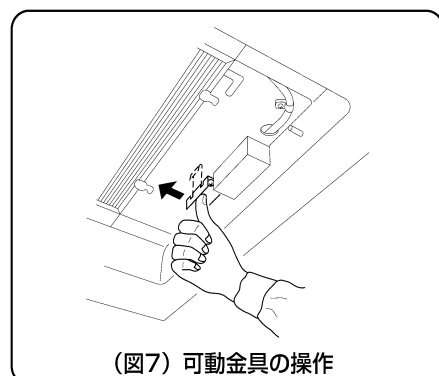
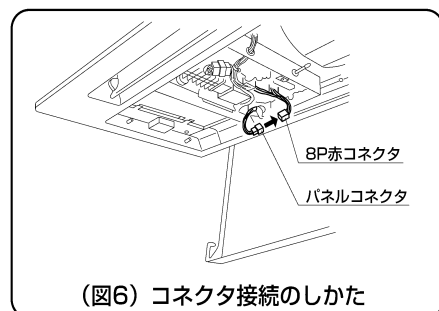
□ 風向調節のしかた

リモコン操作で好みの位置に風向調節できます。またリモコンにはオートスイング機構も付いています。

□ サービスのしかた

1. 天井パネルをはずすときは、吸込パネルとエアーフィルターおよびコネクタをはずします。

2. 天井パネルは電装ボックス側を押し上げて、可動金具を図7の矢印方向に押しつけて引っ掛けをはずします。次に反対側の固定金具の引っ掛けをはずします。



昇降グリル付天井パネル

(CZ-02KSL3A/CZ-03KSL3A/CZ-06KSL3A)



昇降グリル付天井パネル取付説明書

● 電気配線工事は、別紙「電気工事担当のかたへ」の説明にしたがってください。

安全上のご注意

- 据付工事・電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、「△警告」「△注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

△ 警告 取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。

△ 注意 取り扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに“取扱説明書”にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また“据付工事担当のかたへ”“電気工事担当のかたへ”は、取扱説明書と共に、お客様で保管いただくように依頼してください。

△ 警告

- 吸込パネルのフックに吊りワイヤーを引っ掛ける時は、説明書にそって確実に行ってください。
- 天井パネルの室内ユニットへの仮掛けおよび固定は確実に行ってください。また固定は必ず付属ねじを使用してください。

△ 注意

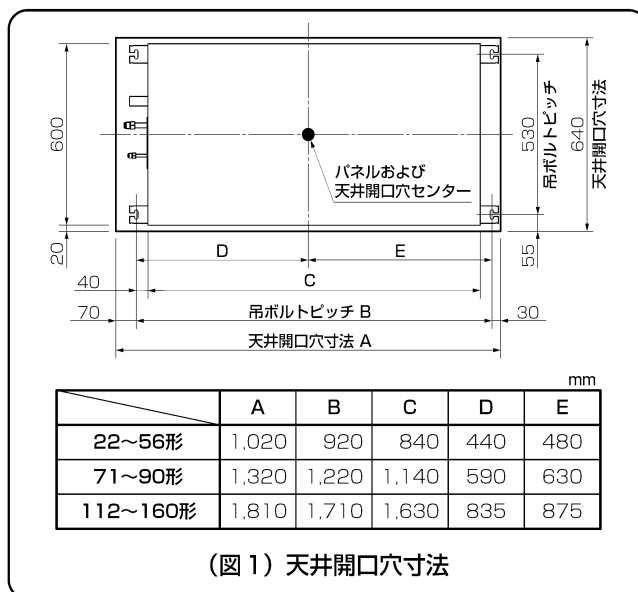
- 吹出フラップは手で動かさないでください。故障の原因になります。
- 風向はエアコンの位置、お部屋の構造、調度品などによって変わることがあります。冷えや暖まりが良くない時は、風向を変えて様子を見てください。
- 昇降グリル付天井パネルは、別売の電気ヒーターおよび吹出口丸合フランジ、高性能・超ロングライフフィルターとの併用はできません。ただし、フィルターチャンバーのみの併用は可能です。

付属品

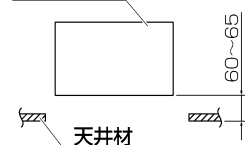
取付ねじ	取付ビス
 (M5×L40) 56形:4本 80形:4本 140形:4本	 (M4×L25) 56形:0本 80形:2本 140形:2本
樹脂クランパー	取扱説明書
 5本	 1冊

取り付け前に

1. 天井開口穴寸法は図1に従い、確実に行ってください。
2. 室内ユニット下面と天井面との寸法は、60～65mmになるように室内ユニットの吊ボルトで高さ調整してください。(図2)



室内ユニット



(図2) 室内ユニットの高さ調整

天井パネルの取り付けかた

ご注意

- ワイヤレスリモコンで操作する場合は、ワイヤレス受信部に付け替えてから天井パネルを取り付けます。(詳細は3ページを参照してください。)

1. エアフィルター付吸込パネルをパネル枠から取り出します。

- ① エアフィルター付吸込パネルは、パネル枠に両端テープ止めています。テープを取ると取り出せます。
- ② エアフィルターのはずしかた(図3)
エアフィルターはフィルター台の切欠きにそって手前へ引くと取り出せます。

2. パネル枠を室内ユニットに取り付けます。

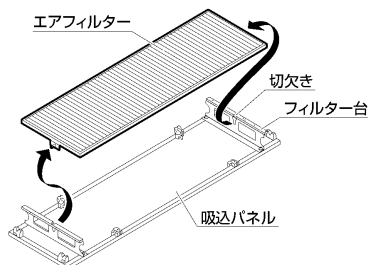
(図4、コネクタは室内ユニットの電装ボックス側にします。)

別売部品

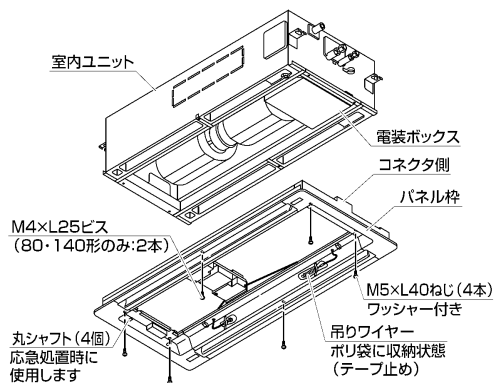
5. 室内ユニット関連部品の仕様と据付 (2方向天井カセット形)

ご注意

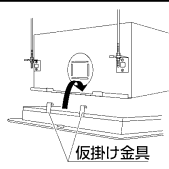
- パネル枠を取り付けるとき、吊りワイヤーは梱包状態（ポリ袋に収納、テープ止め）で行ってください。
- ① エアフィルターと吸込パネルははずした状態で、パネル枠を室内ユニットに取り付けます。
- ② コネクタと反対側仮掛け金具を室内ユニットに引っ掛けます。(図5)
次にコネクタ側を持ち上げ可動金具を室内ユニットに引っ掛けます。(図6)
このとき可動金具が、カチッと室内ユニットにロックしたことを確認してください。
(天井パネルは室内ユニットへの取り付けを容易にするため、仮掛け金具が付いています。)
- ③ パネル枠が室内ユニットへ確実に仮掛けされたことを確認してください。
- ④ 次に付属ねじ（M5×L40 ワッシャー付き 4本）で、パネル枠を固定します。80形と140形はさらに吹出口中央部に付属ビス（M4×L25 2本）で固定します。
- ⑤ パネル枠と天井面が密着していることを確認してください。隙間があると水漏れや露付きの原因となります。



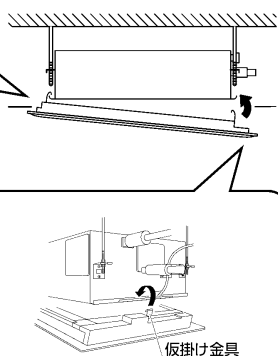
(図3) エアフィルターのはずしかた



(図4) 天井パネルの取り付けかた



(図5) 固定金具側



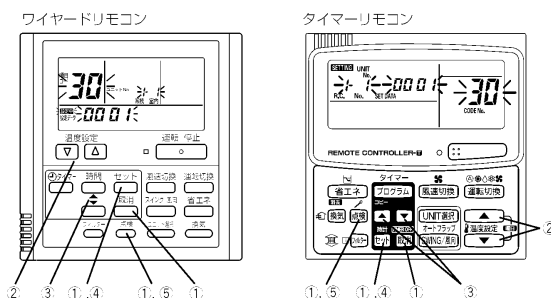
(図6) 可動金具側

昇降グリルをワイヤードまたは タイマーリモコンから操作するための設定方法

ワイヤード（タイマー）リモコンの（フィルター）ボタンでグリルを操作するためには必ずワイヤード（タイマー）リモコンから下記設定を行なってください。

この設定をしないと（フィルター）ボタンを長押ししても“この機能は使用できません”または“⊙”が表示されます。

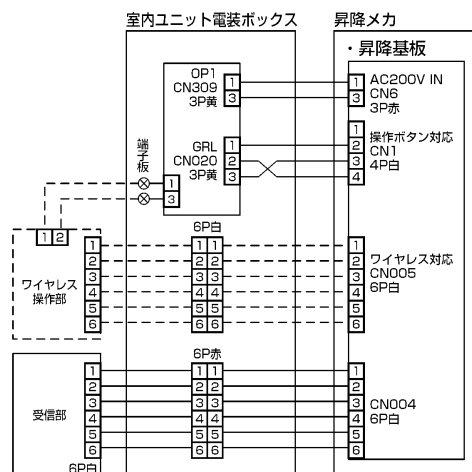
- ①（点検）＋（取消）＋（セット）ボタンを同時に4秒間以上押します。
※昇降グリルを設置している室内ユニットを含むグループ制御を行う場合は親機に対して設定する必要があります。最初に表示されるユニットNoはグループ制御の親機の室内ユニットアドレスですので（ユニット選択）ボタンを押さないでください。
- ② 温度設定（▲）／（▼）ボタンで項目コード「30」を指定します。
- ③ 時間（▲）／（▼）ボタンで設定データを「0000」から「0001」に変更します。
- ④ （セット）ボタンを押します。（表示が点滅から点灯になればOK）
- ⑤ （点検）ボタンを押します。通常の停止状態になります。（フィルター）ボタンを4秒間以上押して液晶表示部に“フィルター 昇降”または“⊙”と表示されることを確認してください。再度（フィルター）ボタンを4秒間以上（または、2回）押すと通常の停止状態に戻ります。



据え付け後の動作確認

- 電源投入時、初めて操作した場合は、下げるを押しても上昇動作をします。
- 昇降グリルが天井パネルにきちんと収まると、収納動作を2回くり返した後、モーターが停止します。

電気配線のしかた (図7)



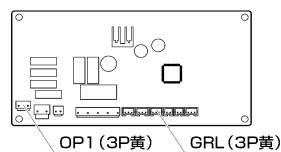
- ----- はワイヤレスリモコンに同梱の配線です。

(図7) 電気回路図

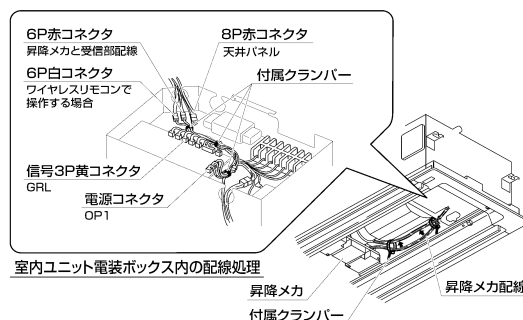
別売ワイヤードリモコンまたは昇降操作専用リモコンで操作する場合：出荷状態

- ① 天井パネルの8P赤コネクタを室内ユニット電装ボックス内の8P赤コネクタに接続します。コネクタを接続しないと運転できません。
- ② 昇降メカの電源3P黄コネクタ（2線）を室内ユニット基板のOP1（3P黄）に接続します。
- ③ 昇降メカの信号3P黄コネクタ（3線）を室内ユニット基板のGRL（3P黄）に接続します。
- ④ 昇降メカと受信部を結んでいる6P赤コネクタは、室内ユニット電装ボックス内の8P赤コネクタ部に収納します。
- ⑤ 昇降メカの配線はファンモーター配線に沿わせて付属クランパーで結束し、吊りワイヤーに接触しないように整形してください。また室内ユニット電装ボックス内も整形して付属クランパーで結束してください。

(図8、図9)



(図8) 室内ユニット基板への接続



(図9) 昇降メカ配線の結束

別売ワイヤレスリモコンで操作する場合（昇降操作専用リモコンでも操作できます。）

1. 昇降グリル受信部をワイヤレス受信部（IND-SH1U）に付け替えます。（図10）

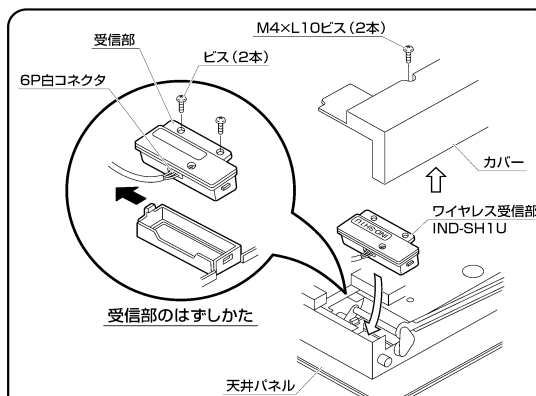
【注意】 受信部の付け替えは、天井パネルの取り付け作業前に行ってください。

- ① 天井パネルを裏側にして、カバーをはずします。（M4×L10 2本）
- ② 受信部（ビス2本）をはずしツメ部を矢印（←）方向に押しながら受信部を取り出し、6P白コネクタを根元からはずします。
- ③ ワイヤレスリモコンキットから受信部（IND-SH1U）のみ取り出し、②項ではずした6P（白）コネクタを接続して天井パネルに取り付けます。

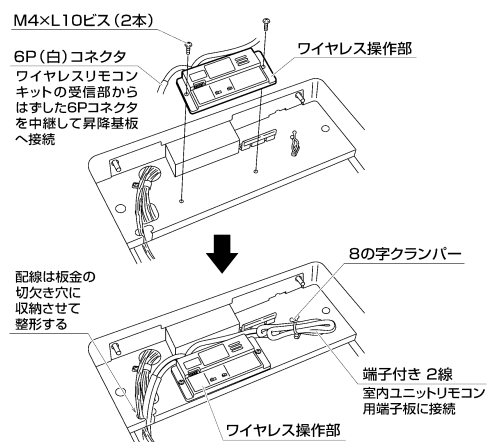
2. ワイヤレス操作部を取り付けます。（図11）

- ① 操作部は天井パネルを表面にして、付属ビス（M4×L10 2本）で固定します。
- ② 操作部の端子付き2線は、室内ユニットリモコン用端子板に接続します。（極性はありません。）配線は整形して8の字クランパーで結束します。
- ③ 操作部の6P白コネクタにワイヤレスリモコンキット受信部からはずした6P白コネクタを接続し、もう一方の6P白コネクタは昇降基板に接続します。昇降メカふた（ビス3本）をはずし配線穴を通して昇降基板の6P白（CN005）コネクタに接続します。（図12）

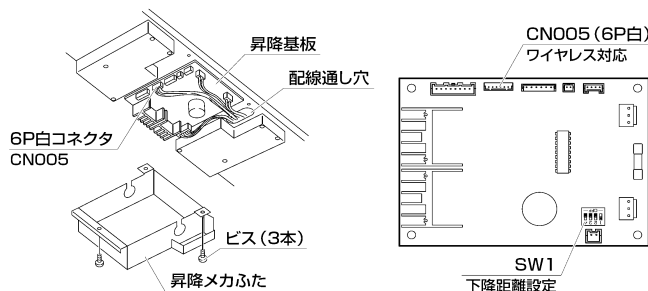
3. その他の電気配線のしかたは、“ワイヤードリモコンまたは昇降操作専用リモコンで操作する場合”と同じです。



(図10) ワイヤレス受信部の付け替え



(図11) ワイヤレス操作部の取り付けかた



(図12) 昇降基板への接続

吸込パネルの取り付けかた

ご注意

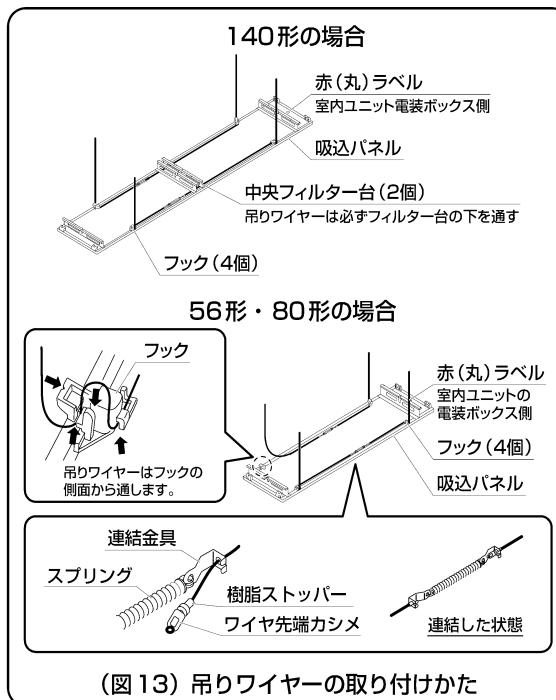
- 吸込パネルに吊りワイヤーを取り付ける時は、吊りワイヤーや吸込パネルに傷が付かないように安定した架台の上で作業してください。
- 吊りワイヤーは吸込パネルのフックへ確実に取り付けてください。不完全に取り付けると落下の恐れがあります。
- 吸込パネルの取り付けには方向性があり、赤（丸）ラベルを室内ユニット電装ボックス側にします。逆にすると吸込パネルが収納できません。

1. ポリ袋から吊りワイヤーを取り出します。

2. 吊りワイヤーを取り付けます。(図13)

- ① 56形・80形の場合は、吊りワイヤーの樹脂ストッパーを連結金具の切欠きに通して引っ掛けます。次に吊りワイヤーをフックに通して、吸込パネルを吊り下げます。
- ② 140形の場合は吊りワイヤーの片側を中央のフィルター台（2個）の下を通して、樹脂ストッパーを連結金具の切欠きに通して引っ掛けます。次に吊りワイヤーをフックに通して、吸込パネルを吊り下げます。

3. エアフィルターをフィルター台に取り付けます。吸込パネルが傾いているときは、吸込パネルを水平にしてください。



(図13) 吊りワイヤーの取り付けかた

その他

ご注意

- 昇降中に障害物に当たると、ワイヤーゆるみ検知が動作して昇降できなくなります。この時は吊りワイヤーを手で引き、ゆるみの無い状態でリモコン操作すると昇降できます。
- 昇降グリルを操作する時は、室内ユニットの運転は停止してから行ってください。運転したまま行うと故障の原因になります。

1. 昇降グリル下降距離設定のしかた

- ① 下記の方法で昇降グリルの下降距離が3段階に設定できます。
- ② 昇降メカふた（ビス3本）をはずし、昇降基板のSW1（下降距離設定、図12）で設定します。(図14)
- ③ 出荷時は2.0mの設定にしています。

2. サービス時の応急処置のしかた（吸込パネルが動作しない時）

- ① フックに取り付けている吊りワイヤーをはずしてエアフィルター付吸込パネルを取り出します。
- ② 吸込パネル両端にビス止めしている応急用金具を取り出します。(図15)
- ③ 応急用金具のとって部を外側に、はずしたビスで4コーナーに取り付けます。このとき応急用金具は、内側にスライドしておきます。(図16)
- ④ エアフィルター付吸込パネルをパネル枠の吸込口に収納させ、応急用金具を外側へスライドさせてパネル両端の丸シャフト（4個）に引っ掛けます。(図16)
- ⑤ 吸込パネルがパネル枠の丸シャフトへ確実にロックしたことを確認してください。

グリル下降距離設定 (SW1)

(出荷時設定=2.0m)

1 (ON)

0 (OFF)

1 2 3 4

[m] 1 2 3 4

1.5 0 0 ※未使用

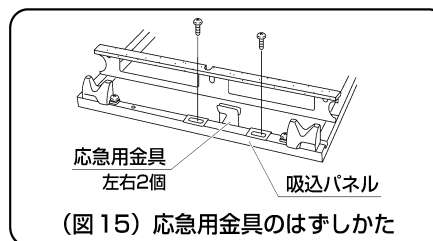
2.0 1 0 ※未使用

2.5 0 1 ※未使用

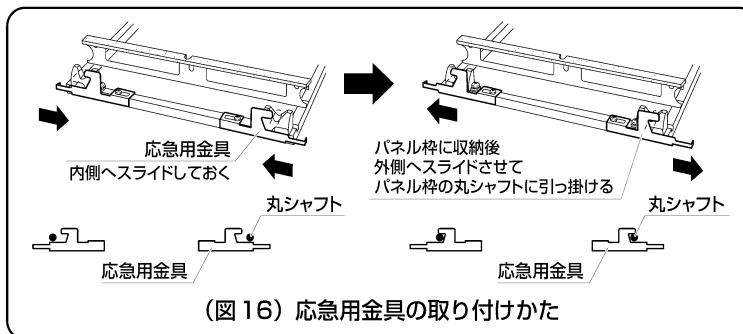
※56/80形は常時「0」

140形は常時「1」

(図14) グリル下降距離設定



(図15) 応急用金具のはずしかた



(図16) 応急用金具の取り付けかた

上記項目を確認した後、この説明書とユニット本体および別売部品の説明書等の一式全てをお客様へ渡してください。その際、取扱説明書に記載されたフィルターの清掃の説明を必ずお客様にしてください。

天井材組込パネル (CZ-O2KTL3)

□ 付属品

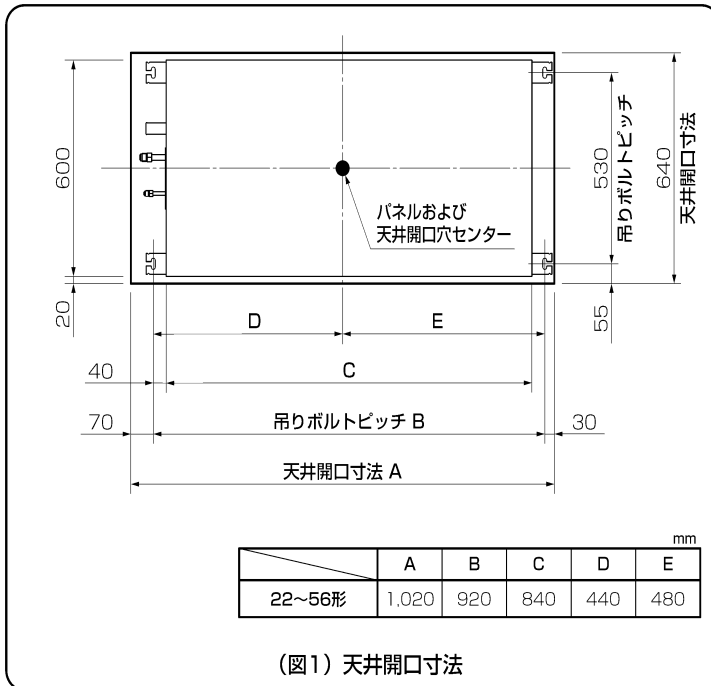
天井パネル取り付け用 取付ねじ	押え金具	天井材固定用 パッキン	取付ビス
 (M5×L40) 4本	 4個	 4個	 (M4×L10) 8本

□ 取り付け前に

1. 天井開口寸法は図1に従い、確実に行ってください。
2. 室内ユニットまたは別売フィルターチャンパー下面と天井面との寸法は、60～65mmになるように室内ユニットの吊りボルトで高さ調節してください。(図2)

□ 天井パネルの取り付けかた

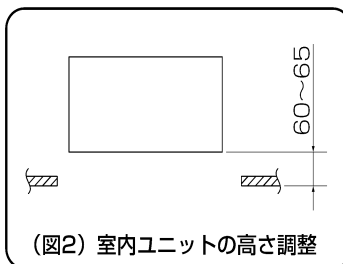
1. 吸込パネルとエアフィルターをはずします。
 - ① 吸込パネルのはずしかた (図3)
A～Eの手順で吸込パネルの片側をはずし、パネルの落下防止用ひもを止めているねじをはずしてから、もう一方をはずします。
 - ② エアフィルターのはずしかた (図8)
エアフィルターはフックを手で押しはずします。



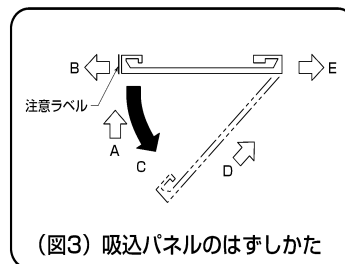
(図1) 天井開口寸法

2. 天井パネルを室内ユニットに取り付けます。(図8.コネクタは電装ボックス側)

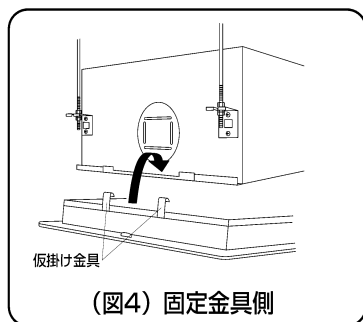
- ① コネクタと反対側の固定金具を室内ユニットに引っ掛けます。(図4)
次にコネクタ側を持ち上げ可動金具を室内ユニットに引っ掛けます。(図5)
このとき可動金具が、カチッと室内ユニットにロックすることを確認してください。
天井パネルは室内ユニットへの取り付けを容易にするため、仮掛け金具が付いています。



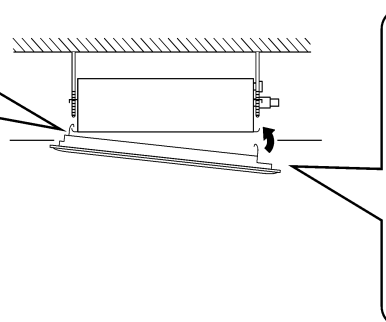
(図2) 室内ユニットの高さ調整



(図3) 吸込パネルのはずしかた



(図4) 固定金具側



(図5) 可動金具側

- ② 天井パネルが室内ユニットへ仮掛けされていることを確認してください。
- ③ 次に付属ねじ (M5×L40 ワッシャー付き 4本) で、天井パネルを固定します。
- ④ 天井パネルの取り付けが完了しましたら、室内ユニットの電装ボックス内の8P赤コネクタに天井パネルのコネクタを接続します。(図6)
(コネクタを接続しないとリモコンにエラー表示P09がでて、運転できません)
- ⑤ 天井パネルと天井面が密着していることを確認し、吸込パネルをはずした時の逆の手順でエアフィルターと吸込パネルを取り付けます。忘れずに落下防止用ひもの固定ねじを止めてください。

3. 天井材の取り付けかた

- ① 天井材の加工寸法は右表に従い、確実に行ってください。
- ② 吸込パネルへの取り付けかた
 - (1) 加工した天井材を吸込パネルに組込みます。
 - (2) 次に付属の押え金具で、天井材を固定します。
 - (3) 天井材の厚みは、9mm～15mmまで組込みできます。

	天井材寸法 (たて×よこ)
56形	300 × 900

安全上のご注意

- 据付工事・電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、「⚠警告」「⚠注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告 取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。

⚠ 注意 取り扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

※ 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに“取扱説明書”にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また“据付工事担当のかたへ”、“電気工事担当のかたへ”は、“取扱説明書”とともに、お客様で保管いただくように依頼してください。

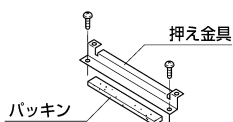
⚠ 警告

- 天井パネルが室内ユニットに確実に仮掛けされていることを確認してください。
- 天井パネルは付属ねじ（M5×L40ワッシャー付き 4本）で固定してください。付属以外のねじを使用すると天井パネルが落下してケガをする恐れがあります。

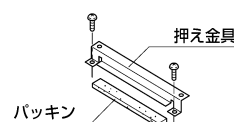
⚠ 注意

- 絶対に手で吹出羽根を動かさないでください。故障の原因になります。
- 風向はエアコンの位置、お部屋の構造、調度品等によって変わることがあります。冷えや暖まりが良くない時は、風向を変えて様子をみてください。
- 油を多量に使用する中華料理店などの調理場や工場の機械設備の近くには、室内ユニットを据え付けしないでください。樹脂部分の変形や破損の原因になります。

- 天井材の厚みが9mm～12mmの場合は、付属パッキンを貼って固定します。



- 天井材の厚みが15mmの場合は、押え金具を反転させ、付属パッキンを貼って固定します。

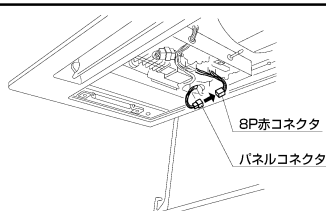


□ 風向調節のしかた

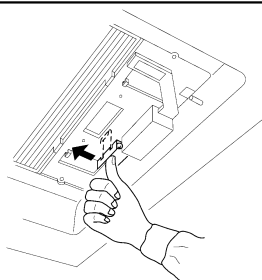
リモコン操作でお好みの位置に風向調節できます。またリモコンにはオートスイング機構も付いています。

□ サービスのしかた

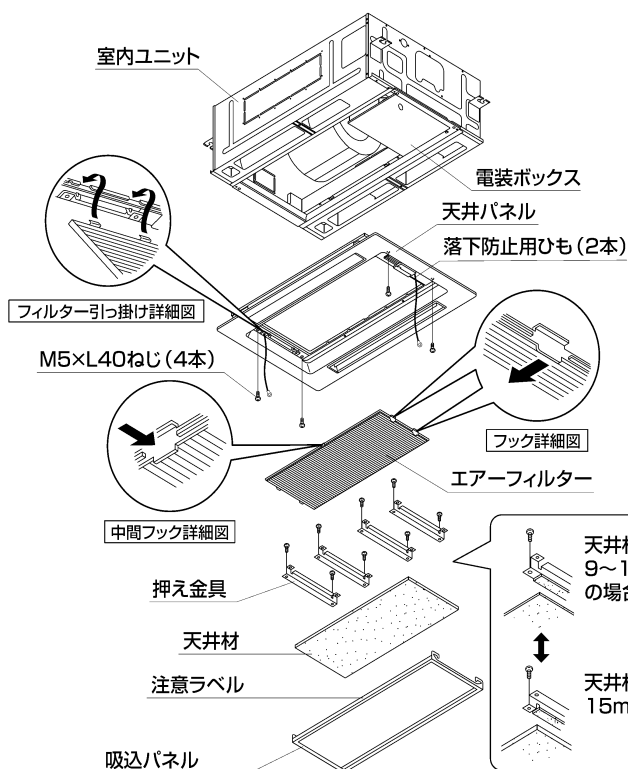
1. 天井パネルをはずすときは、吸込パネルとエアフィルターおよびコネクタをはずします。
2. 天井パネルは電装ボックス側を押し上げて、可動金具を図7の矢印方向に押しつけて引っ掛けをはずします。次に反対側の固定金具の引っ掛けをはずします。



(図6) コネクタ接続のしかた



(図7) 可動金具の操作



(図8) 天井パネルの取り付けかた

天井材組込パネル (CZ-03KTL3・CZ-06KTL3)

付属品

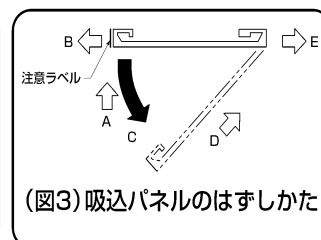
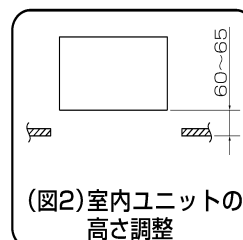
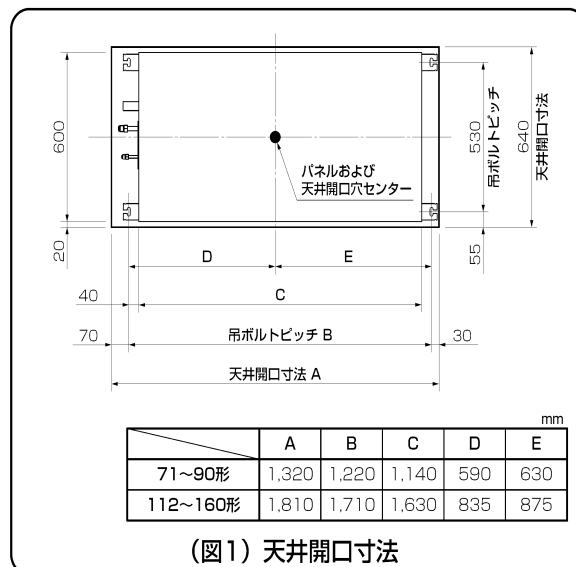
天井パネル取り付け用		天井材固定用		
取付ねじ	取付ビス	押え金具	押えパッキン	取付ビス
 (M5×L40) 80形:4本 140形:4本	 (M4×L25) 80形:2本 140形:2本	 80形:6個 140形:6個	 80形:6個 140形:6個	 (M4×L10) 80形:12本 140形:12本

取り付け前に

1. 天井開口寸法は図1に従い、確実に行ってください。
2. 室内ユニットまたは別売フィルターチャンバー下面と天井面との寸法は、60～65mmになるように室内ユニットの吊ボルトで高さ調節してください。(図2)

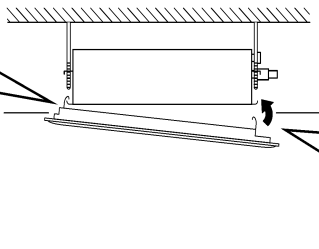
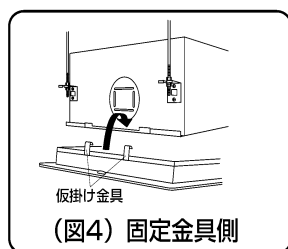
天井パネルの取り付けかた

1. 吸込パネルとエアーフィルターをはずします。
 - ① 吸込パネルのはずしかた (図3)
注意ラベル側を持って、A～B手順で手前をはずし、パネルの落下防止用ひもを止めているねじをはずしてから、C～E手順でもう一方をはずします。
吸込パネルは1方向開きで、注意ラベル側のみ開閉できます。
 - ② エアーフィルターのはずしかた (図8)
エアーフィルターはフィルター押えフックを90度回転させてからはずします。



2. 天井パネルを室内ユニットに取り付けます。(図8.コネクタは電装ボックス側)

- ① コネクタと反対側の固定金具を室内ユニットに引っ掛けます。(図4)
次にコネクタ側を持ち上げ可動金具を室内ユニットに引っ掛けます。(図5)
このとき可動金具が、カチッと室内ユニットにロックすることを確認してください。
天井パネルは室内ユニットへの取り付けを容易にするため、仮掛け金具が付いています。



- ② 天井パネルが室内ユニットへ仮掛けされていることを確認してください。
- ③ 次に付属ねじ (M5×L40 ワッシャー付き 4本) で、天井パネルを固定します。80形と140形はさらに吹出口中央部を付属ビス (M4×L25 2本) で固定します。
- ④ 天井パネルの取り付けが完了しましたら、室内ユニットの電装ボックス内の8P赤コネクタに天井パネルのコネクタを接続します。(図6)
(コネクタを接続しないとリモコンにエラー表示P09がでて、運転できません)
- ⑤ 天井パネルと天井面が密着していることを確認し、吸込パネルをはずした時の逆の手順でエアーフィルターと天井材を組み込んだ吸込パネルを取り付けます。忘れずに落下防止用ひもの固定ねじを止めてください。

3. 天井材の取り付けかた

- ① 天井材の加工寸法は右表に従い、確実に行ってください。
- ② 吸込パネルへの取り付けかた
 - (1) 加工した天井材を吸込パネルに組み込みます。
 - (2) 次に付属の押え金具で、天井材を固定します。
(80形…6本、140形…6本)
 - (3) 天井材の厚みは、9mm～15mmまで組み込みできます。

	天井材寸法 (たて×よこ)
80形	300 × 1,200
140形	300 × 1,690

■フィルターとフィルターチャンバーの組合せ

高性能フィルター (JIS 比色法65%)	高性能フィルター (JIS 比色法90%)	超ロングライフフィルター (JIS 重量法40%)	フィルターチャンバー
AFT-MSS56U	AFT-HSS56U	AFT-LSS56U	CMB-FSS56U
AFT-MSS80U	AFT-HSS80U	AFT-LSS80U	CMB-FSS80U
AFT-MSS140U	AFT-HSS140U	AFT-LSS140U	CMB-FSS140U

■高性能フィルター仕様(JIS 比色法65%)

名 称		高性能フィルター (JIS比色法65%)								
品 番		AFT-MSS56U			AFT-MSS80U			AFT-MSS140U		
適用室内機		22形	28・36形	45・56形	71形	80形	90形	112形	140形	160形
初期風量	m ³ /min	8.7	9.6	12.5	18.2	20	20.6	28.7	31.3	32.6
最終風量	m ³ /min	5.7	6.7	8.3	11.3	13.5	14.2	19.2	20.0	22.5
初期圧損	Pa(mmAq)	6.5(0.7)	6.8(0.7)	10.0(1.0)	11.2(1.1)	13.2(1.3)	14.5(1.5)	14.3(1.5)	14.9(1.5)	14.9(1.5)
最終圧損	Pa(mmAq)	63.0(6.4)	64.5(6.6)	93.0(9.5)	94.0(9.6)	96.0(9.8)	100.0(10.2)	98.7(10.1)	109.5(11.2)	112.3(11.5)
保塵量	g/ユニット	210	210	250	350	350	360	500	520	520
フィルター寿命	時間	6700	6200	5600	5400	4900	4900	4900	4600	4400
平均効率		JIS 比色法 65% (ダスト JIS 11種)								
使用濾材		ポリオレフィン系帯電繊維 (抗菌、防カビ仕様)								
フィルター分割数		1枚組			1枚組			2枚組		
質量		kg			kg			kg		
フィルター 外形寸法	幅	mm			mm			mm		
	奥行	mm			mm			mm		
	厚み	mm			mm			mm		
	品 番	CMB-FSS56U			CMB-FSS80U			CMB-FSS140U		
適用 フィルター	質量	kg			kg			kg		
	厚み	mm			mm			mm		

■高性能フィルター仕様(JIS 比色法90%)

名 称		高性能フィルター (JIS比色法90%)								
品 番		AFT-HSS56U			AFT-HSS80U			AFT-HSS140U		
適用室内ユニット		22形	28・36形	45・56形	71形	80形	90形	112形	140形	160形
初期風量	m ³ /min	8.5	9.5	12.2	17.4	19.4	20.0	27.9	30.4	31.8
最終風量	m ³ /min	5.7	6.7	8.3	11.3	13.5	14.2	19.2	20.0	22.5
初期圧損	Pa(mmAq)	12.1(1.2)	13.0(1.3)	17.6(1.8)	18.1(1.8)	19.9(2.0)	20.3(2.1)	19.9(2.0)	21.5(2.2)	24.0(11.5)
最終圧損	Pa(mmAq)	63.0(6.4)	64.5(6.6)	93.0(9.5)	94.0(9.6)	96.0(9.8)	100.0(10.2)	98.7(10.1)	109.5(11.2)	112.3(11.5)
保塵量	g/ユニット	140	150	190	280	280	290	400	410	410
フィルター寿命	時間	4600	4300	4200	4500	4000	4000	4000	3700	3600
平均効率		JIS 比色法 90% (ダスト JIS 11種)								
使用濾材		ポリオレフィン系帯電繊維 (抗菌、防カビ仕様)								
フィルター分割数		1枚組			1枚組			2枚組		
質量		kg			kg			kg		
フィルター 外形寸法	幅	mm			mm			mm		
	奥行	mm			mm			mm		
	厚み	mm			mm			mm		
	品 番	CMB-FSS56U			CMB-FSS80U			CMB-FSS140U		
適用 フィルター チャンバー	質量	kg			kg			kg		
	厚み	mm			mm			mm		

注記

- (1) フィルター寿命は、塵埃濃度0.15mg/m³(ビル管理法規制値)で算出した値を示します。
現場状況により、フィルター寿命と保塵量は異なりますのでご注意ください。
- (2) 高性能フィルターを取り付けると風量がダウンして弱風運転の場合は、保護装置が作動する恐れがあります。
これを防止するため、フィルターチャンバー付属の中継コネクタ(9P: 風量アップ用中継線)を室内ユニットの
電装ボックスのコネクタに接続してください。(製品に添付の取付説明書参照)
- (3) 風量・圧損・保塵量・寿命は、急風時(HTタップ)の値を示します。
- (4) 高性能フィルター取り付けの場合は、ダクト接続できません。

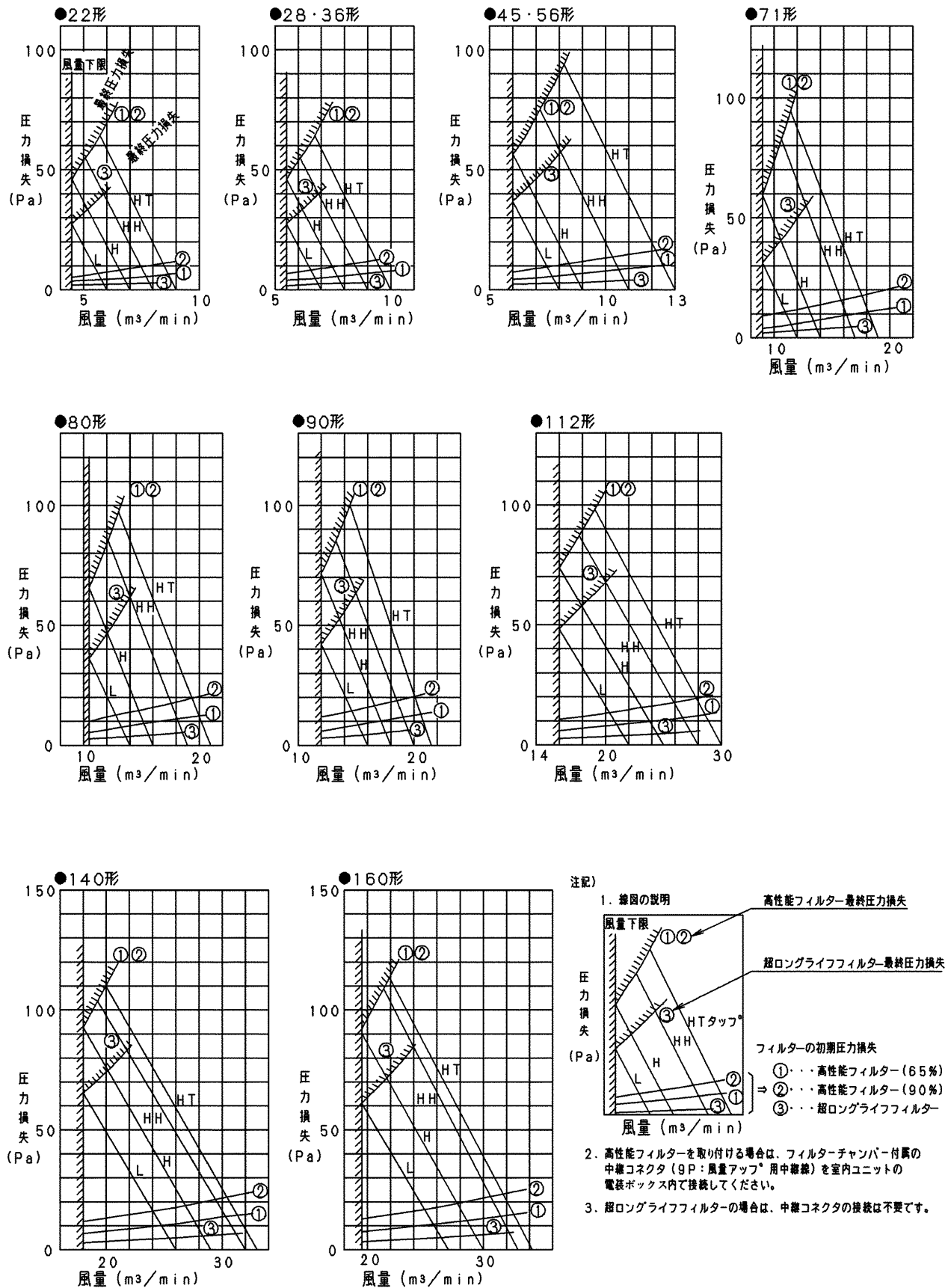
■超ロングライフフィルター仕様(JIS 重量法40%)

名 称		超ロングライフフィルター(JIS重量法40%)								
品 番		AFT-LSS56U			AFT-LSS80U			AFT-LSS140U		
適用室内ユニット		22形	28・36形	45・56形	71形	80形	90形	112形	140形	160形
初期風量	m ³ /min	7.7	7.9	10.8	16.7	18.6	19.5	27.4	31.2	32.3
最終風量	m ³ /min	5.8	6.8	8.1	12.6	14.1	15.0	20.0	21.9	23.6
初期圧損	Pa(mmAq)	2.0(0.2)	2.5(0.3)	4.0(0.4)	4.5(0.5)	5.0(0.5)	7.0(0.7)	6.0(0.6)	7.5(0.8)	7.7(0.8)
最終圧損	Pa(mmAq)	39.8(4.1)	40.2(4.1)	53.8(5.5)	56.1(5.7)	62.0(6.3)	63.0(6.4)	68.1(6.9)	81.2(8.3)	83.3(8.5)
保塵量	g/ユニット	1610	1650	1870	2730	2820	2870	4220	4580	4640
フィルター寿命	時間	23200	23200	19200	18200	16800	16300	17100	16300	16000
平均効率		JIS 重量法 40% (ダスト JIS 15種)								
使用濾材		PPハニカム(防カビ仕様)								
フィルター分割数		1枚組			1枚組			2枚組		
質量		kg			kg			kg		
フィルター 外形寸法	幅	mm			mm			mm		
	奥行	mm			mm			mm		
	厚み	mm			mm			mm		
適用 フィルター チャンバー	品 番	CMB-FSS56U			CMB-FSS80U			CMB-FSS140U		
	質量	kg			kg			kg		
	厚み	mm			mm			mm		

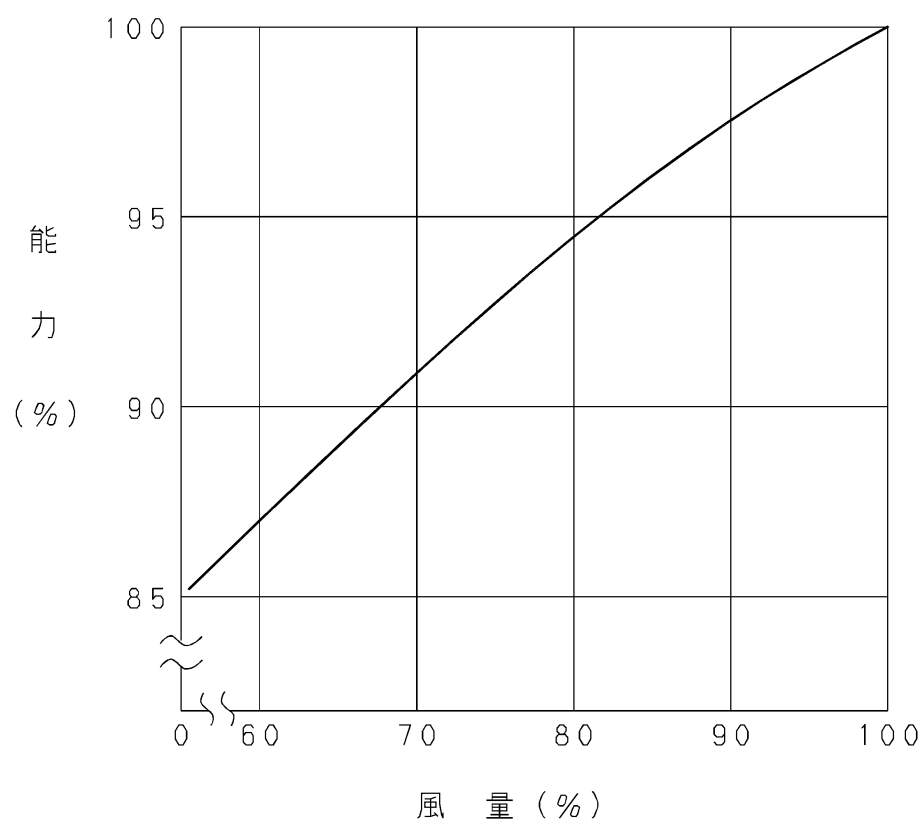
注記

- (1)フィルター寿命は、塵埃濃度0.15mg/m³(ℓ管理法規制値)で算出した値を示します。
現場状況により、フィルター寿命と保塵量は異なりますのでご注意ください。
- (2)風量・圧損・保塵量・寿命は、急風時(HHタップ)の値を示します。
- (3)フィルターチャンバー付属の中継コネクタ(9P：風量アップ用中継線)の接続は不要です。

■風量－圧力損失特性線図(高性能・超ロングライフフィルター)

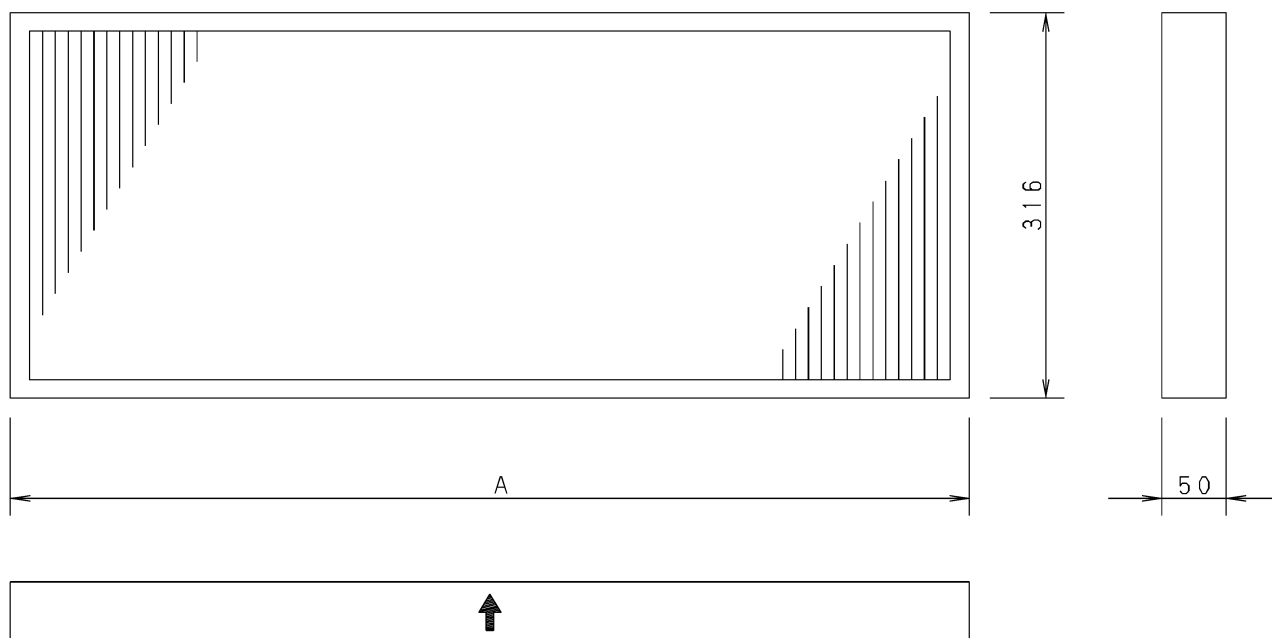


■風量－冷房・暖房能力変化特性線図



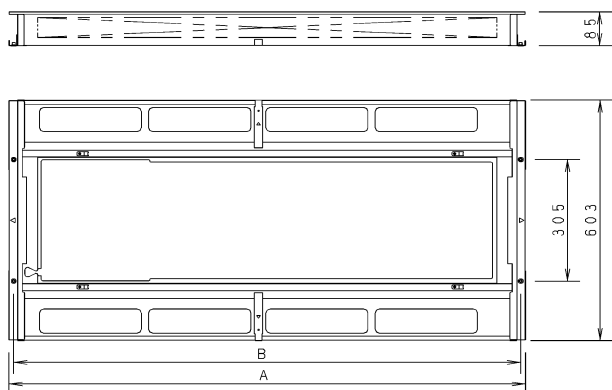
■外形寸法図

高性能フィルター (JIS比色法65%)	高性能フィルター (JIS比色法90%)	超ロングライフフィルター (JIS重量法40%)	A寸法	個数
AFT-MSS56U	AFT-HSS56U	AFT-LSS56U	745	1
AFT-MSS80U	AFT-HSS80U	AFT-LSS80U	1045	1
AFT-MSS140U	AFT-HSS140U	AFT-LSS140U	745	2



フィルターチャンバー (CMB-FSS56U・CMB-FSS80U・CMB-FSS140U)

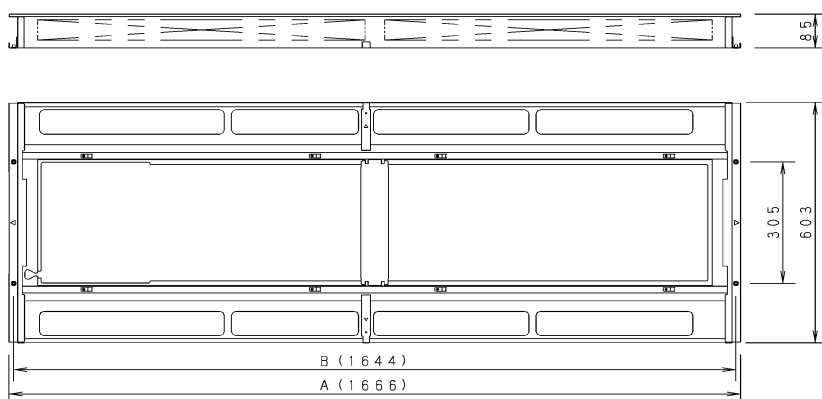
■外形寸法図



フィルターチャンバー

品 番	A	B	フィルター 使用個数
CMB-FSS56U	876	854	1
CMB-FSS80U	1176	1154	1
CMB-FSS140U	1666	1644	2

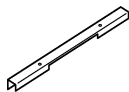
CMB-FSS56U
CMB-FSS80U



CMB-FSS140U

■フィルターチャンバーの取付けかた

□ 付属品

パネル取付金具	取付ねじ	取付ビス	中継コネクタ
			
2個	(M5×L35) 4本	(M5×L10) 4本	1個

□ 取り付け前に

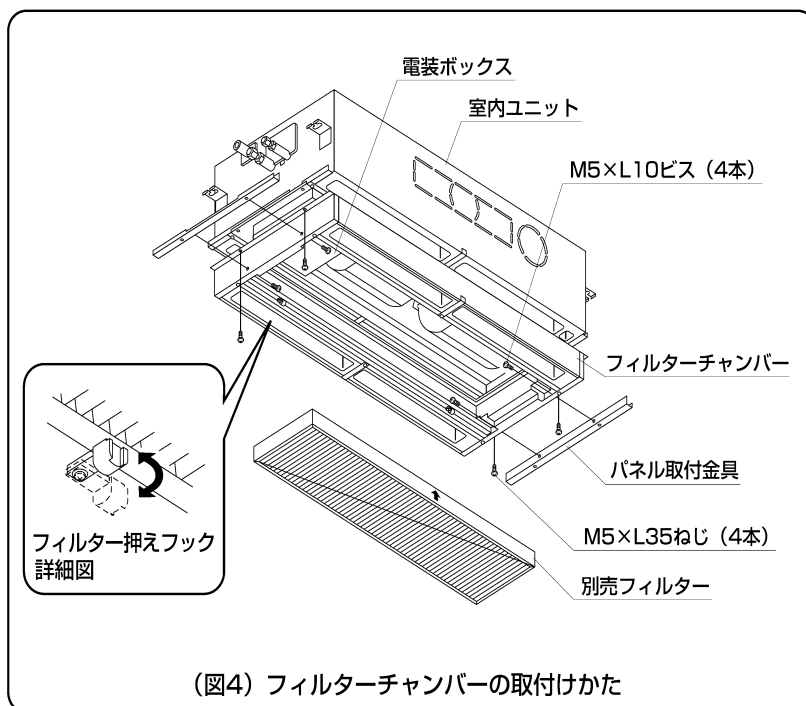
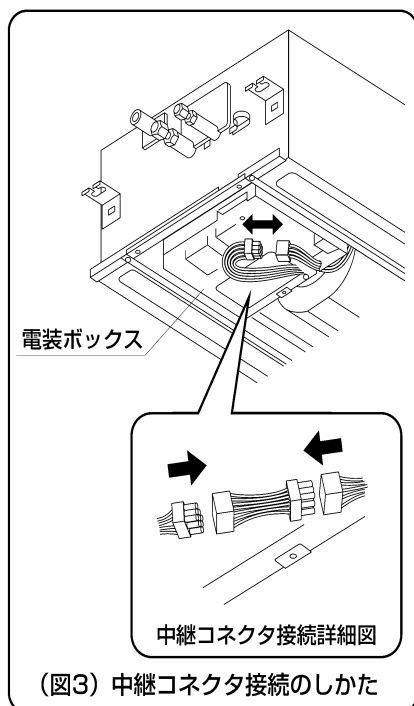
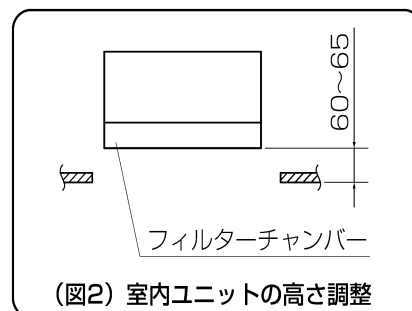
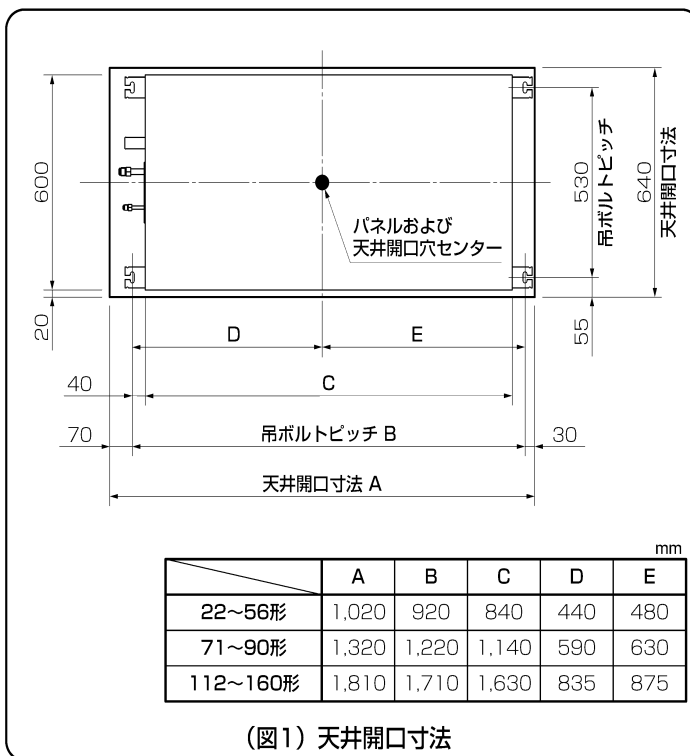
1. 天井開口寸法は図1に従い、確実に行ってください。
2. フィルターチャンバー下面と天井面との寸法は、60～65mmになるように室内ユニットの吊ボルトで高さ調節してください。(図2)

□ ご注意

1. 高性能フィルターを組込む場合は、室内ユニットの電装ボックス内の9P白コネクタ(ファンモーター線)をはずして、付属の中継コネクタを接続します。(図3)
超ロングライフフィルターの場合は、中継コネクタ接続は不要です。
2. 高性能フィルターと別売の遮風材は併用できません。

□ フィルターチャンバーの取り付けかた (図4)

1. フィルターチャンバーのパッキン面を室内ユニットに合わせます。
この時、天井パネルのリード線を通す切欠き穴は電装ボックス側にします。
2. 付属ねじ (M5×L35 4本) で室内ユニットに固定します。
3. 次に付属のパネル取付金具を付属ビス (M5×L10 4本) でチャンバーの内側面から固定します。



自然気化式加湿器 (RH-SN07U・RH-SN14U)

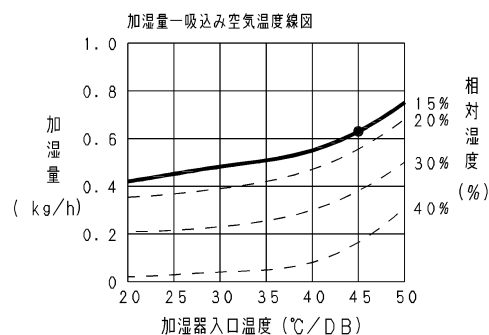
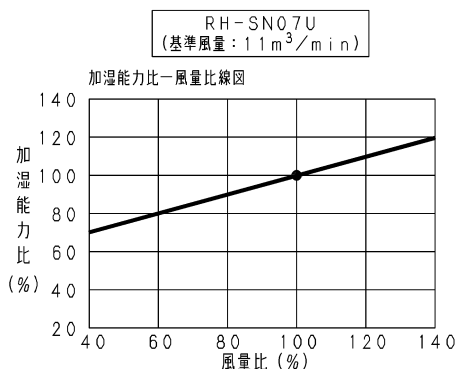
■仕様

形名		RH-SN07U	RH-SN14U
適合エアコン		22～90形	112～160形
外形寸法図 (H×W×L)		145×157×446	187×157×604
加湿性能 (kg/h)		0.7±20%	1.4±20%
加湿方式		自然蒸発式	
給水量 (L/h)		2.6	
加湿材		ポリエステル繊維 (抗菌・防カビ仕様)	
給水制御方式		タイマー制御による断続給水 (ON22秒、OFF38秒)	
電源電圧		単相200V±10% (50/60Hz)	
定格消費電力 (W)		5.5	
質量	水 (有り) (kg)	2.7	3.6
	水 (無し) (kg)	2.3	3.0
使用上の条件	給水圧力	0.049MPa (0.5Kgf/cm ²) ~ 0.49MPa (5Kgf/cm ²)	
	給水圧力 (ポンプ使用時)	0.049MPa (0.5Kgf/cm ²) ~ 0.29MPa (3Kgf/cm ²)	
	吐出圧力	49kPa	
	周囲温湿度条件 (加湿器本体部分を除く)	湿度 1℃~40℃ 相対湿度 90%RH以下	
	使用水	上水道又は、これと同等水質のこと (水温5℃~40℃)	
	減圧弁	加湿器本体に取付け	
	取付角度	全方向共±2° 以内のこと	
保護装置		タイマー基板内に保護ヒューズ内蔵	

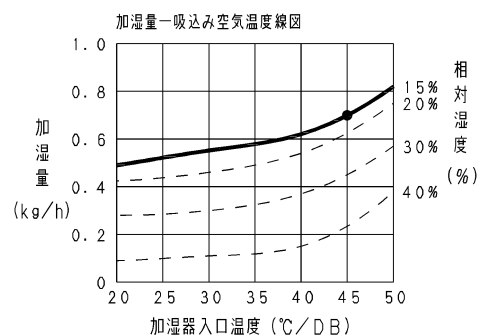
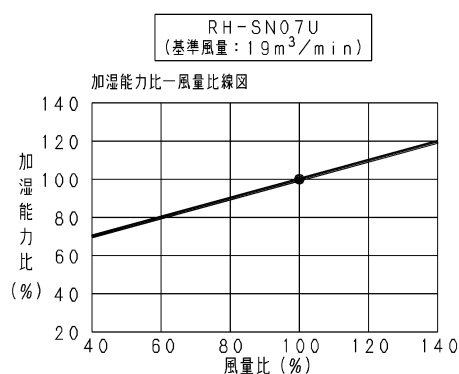
- ・加湿性能は、能力線図を参照してください。
- ・加湿器への給水は、公共の水道管に直接接続することはできません。
公共の水道管から給水しなければならない場合は、シスターン (型式認可品：現地調達) をご使用ください。

■能力線図

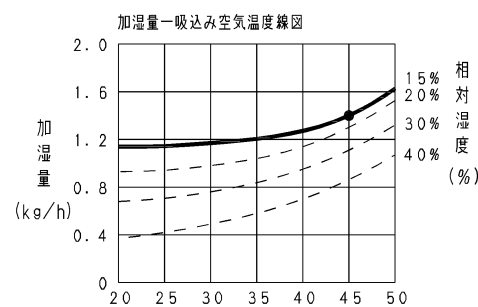
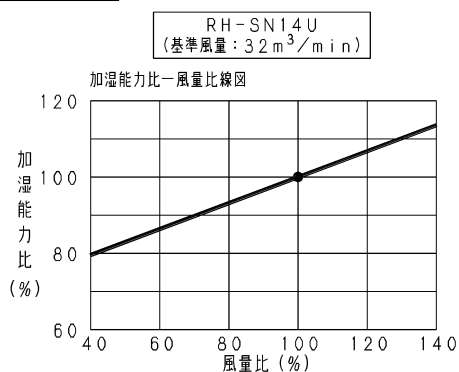
線図：《 ① 》



線図：《 ② 》



線図：《 ③ 》

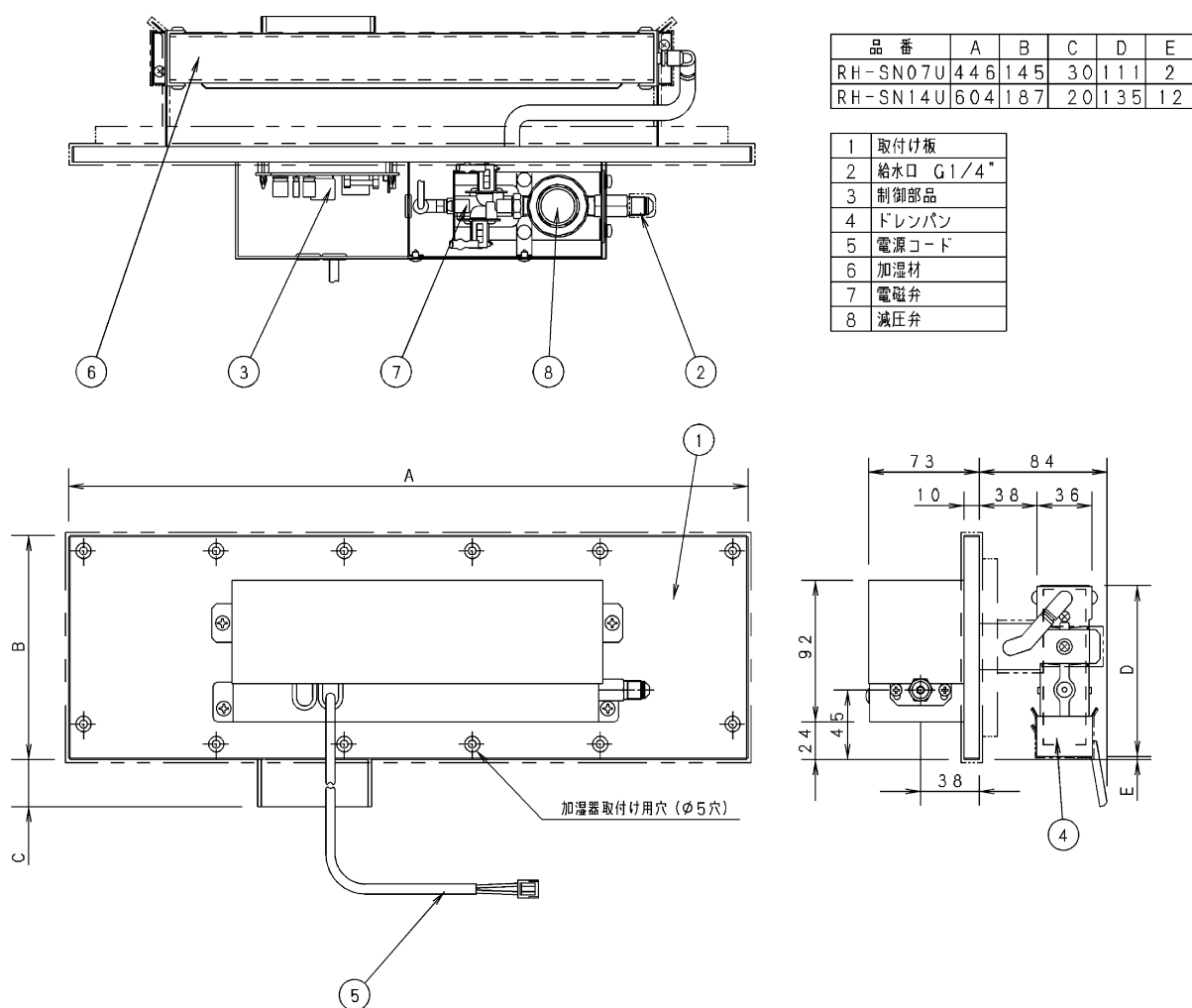


加湿器品番	RH-SN07U					RH-SN14U		
適用室内機	22形	28, 36形	45, 56形	71形	90形	112形	140形	160形
室内機風量 (急風) m ³ /min	8	9	11	17	20	28	32	33
加湿性能 kg/h	0.54	0.57	0.63	0.66	0.72	1.34	1.40	1.41
適用線図No.	①			②		③		

注記

- 加湿能力条件は、加湿器通過 温湿度がDB45℃、RH15%の場合の値を示します。
- 風量比（%）＝任意風量／基準風量×100

■外形寸法図



■ 取付説明書

自然気化式加湿器 取付説明書

品番 RH-SN07U RH-SN14U

取付説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。

特に『安全上のご注意』は、施工前に必ずお読みください。

取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、お客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、この取付説明書は他の付属の説明書とともにお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容 (禁止事項) です。



実行しなければならない内容 (強制事項) です。

警告



- 取付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う (ユニットの落下や水漏れ、感電や火災の原因)
- 付属品は当社指定の部品を使用する (指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れ、感電、火災等の原因)
- 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う (ユニットの落下による、けがの原因)
- 修理・改修は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する (水漏れや感電、火災の原因)

- 電気工事 (アース工事を含む) は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」およびこの「取付説明書」に従って施工する (感電、火災のおそれ)
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する (感電、火災のおそれ)
- 配線をはさまないように、カバーは元どおり確実に取り付ける (感電、火災の原因)
- 水道法に規制される部材の取扱いについては、専門業者に依頼してください。

注意



- 給水配管の断熱は、この「取付説明書」に従って確実に断熱する (正しく断熱されていないと、水漏れや凍結の原因)
- 給水には必ず水道水 (上水) を使用する



- 凍結のおそれがある場所には取り付けない (破損、水漏れの原因)

お願い

- 加湿器の取付工事は、必ず室内ユニットを据え付ける前に行ってください。加湿器組込み後の輸送はしないでください。
- 定期清掃や点検のため、加湿器取り付け側の天井面に 450□以上の点検口を必ず設置してください。
- ヒューミディスタット (現地調達) は、湿度低下で接点が ON となる方式のもので、接点容量 200VA 以上のものを準備してください。
- 保守管理のため加湿器毎に給水配管にサービスバルブ (現地調達) を設けてください。
- 加湿 (暖房) シーズン後、給水用サービスバルブ (現地調達) を必ず閉めてください。
- 現地調達の給水配管には死水排水バルブおよび Y 形ストレーナー (現地調達) の取り付けをおすすめします。冷房シーズンなどで長期間加湿器を使用しない場合は、給水配管内の水が腐ってしまいます。その水が加湿 (暖房) シーズン開始時に加湿器に給水されますと異臭の発生や菌の繁殖の原因になります。加湿 (暖房) シーズン開始時の運転前に、給水配管内を新しい水に置き換えてから使用してください。
- 給水配管は公共の水道管に直接接続することはできません。公共の水道管から給水しなければならない場合は、シスターン (型式認可品：現地調達) をご使用ください。
- 給水配管は水圧がかかりますのでフレア接続としてください。
- 給水圧力は 0.049 ~ 0.49MPa の範囲内でご使用ください。ただしポンプを使用して給水する場合は 0.049 ~ 0.29MPa の範囲内でご使用ください。この範囲を超える場合は、給水系統毎に減圧弁 (現地調達) を設けてください。また給水配管にトラップがあるとエアだまりができ異音が発生することがありますので、トラップが無いように設置してください。
- 定期清掃や点検を除いては、室内ユニットの漏電しゃ断器の電源は入れたままにしてください。万一、加湿器内部の給水用電磁弁にゴミ等がからみ閉じなくなった場合の漏水を防ぎます。
- 加湿 (暖房) シーズン開始時の運転前に、加湿器本体の給水配管接続口に挿入してあるストレーナーの清掃を行ってください。

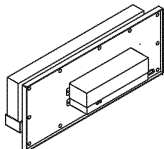
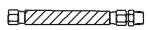
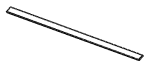
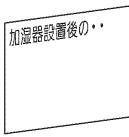
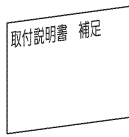
1. 仕様

品番	RH-SN07U	RH-SN14U
適合室内ユニット形番	22～90形	112～160形
加湿能力 (kg/h)	0.7 ±20%	1.4 ±20%
外形寸法 H×W×L (mm)	145×157×446	187×157×604
電源仕様	単相 200V±10% 50/60Hz	
給水圧力	0.049～0.49 Mpa	
給水圧力 (ポンプ使用時)	0.049～0.29 Mpa	
使用水および水温	上水 5～40℃	
周囲温湿度	1～40℃、90%RH 以下	

加湿能力は、加湿器入口空気温度DB45℃・相対湿度 15%・通過風速 1.0m/sで、それぞれ RH-SN07U を 80 形室内ユニットに、RH-SN14U を 140 形室内ユニットに組み込んだときの値を示します。

2. 付属品

※開梱時に付属品が入っているかを必ずご確認ください。

自然気化式加湿器 	給水用配管 φ6.35×500  断熱パイプ 継手付き	閉端接続子  ヒューミディ スタット用 (2個)	ピンタイ L=200  コード固定用 3本 断熱材固定用 2本	給水断熱材 T10x100x100 2枚  給水断熱用
説明書  本紙   各1枚		取付ネジ φ4x10  SN07U×12本 SN14U×14本	短絡コネクタ 3P黒  UN,H1,J1N 2方向用 U,H1,J1 4方向用 (HU短絡用) 2P白  SPW-A,B,E形 SGP-K1形 CS-P形、S-G形 2方向用 (FILTER短絡用)	

3. 取付工事の前に

※加湿器の取付工事の際、上記付属品の他に下記1～3の部品のご用意をおすすめいたします。

現地調達部品

No.	部 品 名
1	ヒューミディスタット
2	給水用サービスバルブ
3	死水排水バルブ

4. 取付け手順

※加湿器の組み込みは、必ず室内ユニットを吊り下げる前に行ってください。

※室内ユニット上面を床面に置いた状態で作業してください。

1. 取付け穴の加工

① 加湿器取付け面

・加湿器は室内ユニット本体の側面 (どちらか一方) に取り付けできます。

② 取付け穴の加工

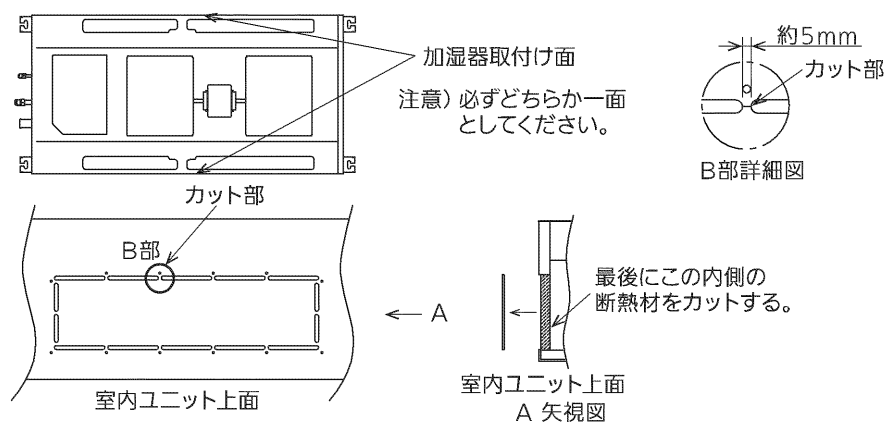
・ハーフカット穴部のカットされていない部分は、約5mmです。金鋸・ニッパー等でいねいに切断してください。

・上記の方法で側面の板金部をカットしたら、内面の断熱材 (4辺) をカッターで側面の板金に沿って、きれいに切り取り角穴をあけてください。(断熱材の切りクズがでないよう鋭利なカッターを使用してください。)

・内部に熱交換器があるので、注意して作業してください。

※最後に断熱材カット後の切りクズはすべて取り除いてください。

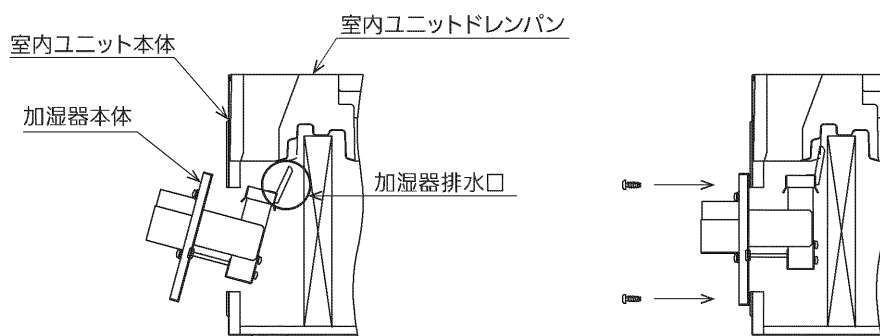
内部に残っていると吹出し口から飛び出すおそれがあります。



2. 加湿器本体の取付け

気化式加湿器本体を①、②に従って角穴に取り付けます。

- ① 室内ユニット本体の上面に向かって加湿器本体を挿入します。
- ② 付属の取付ネジで加湿器本体をしっかりと固定してください。



※加湿器排水口は、室内ユニット本体のドレンパンに確実に挿入してください。

3. 電気配線

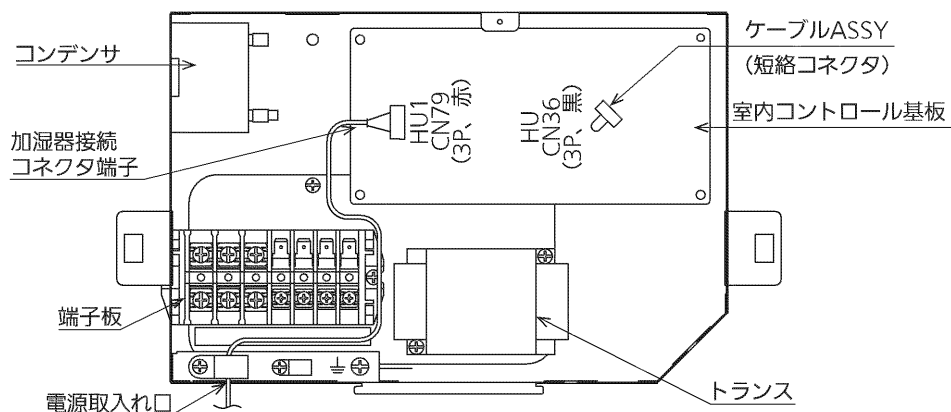
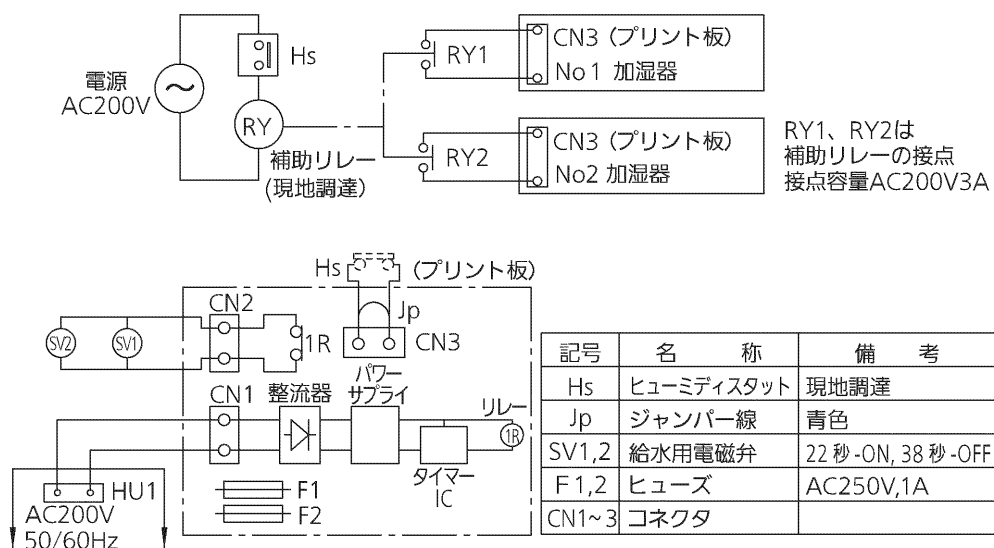
※下記内容は、SPW-U, UN形、SGP-H1, J1, J1N形機種のみ。
それ以外の機種については「自然気化式加湿器 取付説明書 補足」を参照してください。

- ① 室内ユニット本体の電源取り入れ口から室内ユニット本体へ配線を引き込みます。
 - ② 電装ボックスの蓋を開き、室内コントロール基板のHU1コネクタに接続します。付属の短絡コネクタはHU1コネクタ (3P黒) に差し込みます。
 - ③ ヒューミディスタットをご使用になる場合は、加湿器の制御部品箱内にあるジャンパー線 (青色) を切断し、付属の閉端接続子で接続します。※1
- ※1 ヒューミディスタットの接続部は、加湿器の制御部品箱に収納してください。

【ご注意】

ヒューミディスタット (現地調達) を取り付ける場合は、加湿器1台にヒューミディスタット1個を基本にしてください。複数台の加湿器を1個のヒューミディスタットで制御する場合は、リレーにて個別に接点を分けて各加湿器に接続してください。接点を分けないと正常な加湿器動作が行えず、水もれの原因になります。

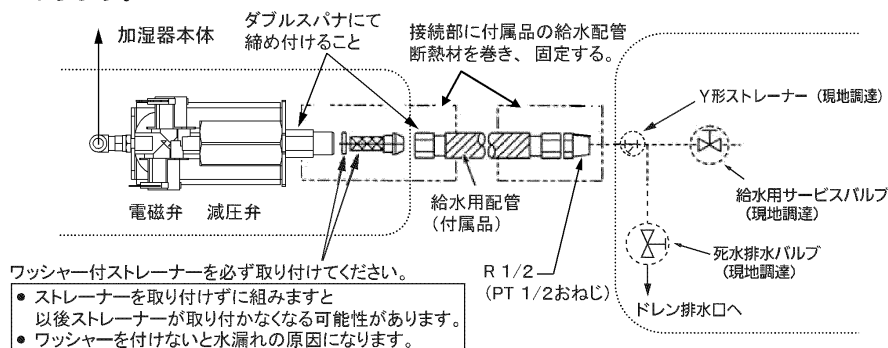
例) 2台の加湿器を補助リレー接点にて制御する場合



5. 給水配管

1. 室内ユニットの「据付工事説明書」に従って加湿器を組み込んだ室内ユニットを据え付けてください。
2. 現地調達の給水配管内に通水し、配管内の汚れを取り除いてください。
3. 加湿器本体の給水口に付属品の給水用配管を接続してください。
※ダブルスパナにて、締付トルクは 20N・m 程度
※加湿器本体の給水口に挿入されているワッシャーおよびストレーナーを取り付けた状態で配管を接続してください。
取り付けずに接続すると、以後ストレーナーが取り付けなくなったり、水漏れの原因になります。
4. 図を参考に現地調達の給水配管等を接続してください。

- 以下の項目は運転確認後、問題が無いことを確認した上で行なってください。
- 5. 給水接続部の水漏れ確認を行ってください。
- 6. 水漏れが無ければ、給水用配管の接続部に付属品の給水配管断熱材を巻きつけてクランパー等（現地調達）で固定してください。
- 7. 現地調達の給水配管にも、断熱処理を行ってください。配管の凍結は漏水事故の原因となります。十分に保温工事をしてください。この断熱材は現地調達になります。



6. 運転確認

1. 漏電しゃ断器を入れ、加湿器の給水用サービスバルブを開いて通水してください。
2. リモコンの運転 / 停止ボタンを押して空調機を運転させた後、運転切換ボタンで暖房運転にします。
※暖房運転できないとき、あるいは暖房サーモオンになりにくいときは、付属の試運転説明書を参照してください。
3. 加湿器に内蔵されている給水用電磁弁が作動し、正常に加湿制御していることを確認してください。
4. 正常な運転を確認したら、運転 / 停止ボタンを押して運転を停止してください。
※ヒューミディスタット（現地調達）をご使用の場合は、ご希望の湿度目盛りに合わせてご使用ください。このときの動作確認は、設定を変化させて給水用電磁弁が正しく動作していることを確認してください。
※漏電しゃ断器は入れたままにしてください。
※試運転時、加湿器から「ビーン」という異音が発生した場合に、給水用サービスバルブを閉めると音が消えるようであれば、給水系（減圧弁等）へのエアのかみ込みが考えられます。この場合、一旦給水配管の接続をはずしてエア抜きおよび加湿器給水口のストレーナーの清掃を実施してください。ポンプを使用して給水する場合は、ポンプによるエアのかみ込みが考えられます。給水圧力を調整できる場合は、給水圧を下げてください。

7. 保守

お願い

- 加湿能力の低下防止のため、1年に1回シーズンインの前に加湿部を洗浄してください。
- 水かぬるま湯に中性洗剤を溶かし、柔らかなブラシで表面の汚れを取ってください。

1. エレメント固定用ネジを2本はずします。
2. チューブをはずします。(A部)
3. ドレンパン固定用ネジをはずし (B部)、エレメント Assy 状態にします。(図2)
4. 図3の洗浄方法で加湿部の洗浄を行ってください。
5. 洗浄後、上記の逆手順で組み付けを行ってください。

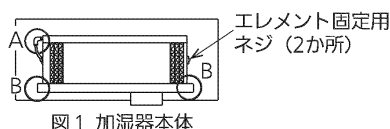


図1 加湿器本体

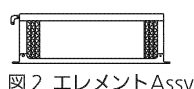
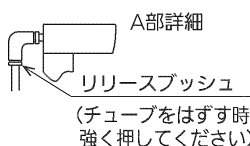
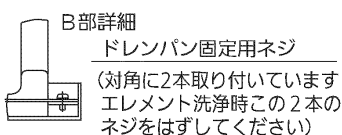


図2 エレメント Assy



A部詳細



B部詳細

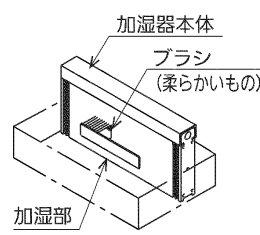


図3 洗浄方法

自然気化式加湿器 取付説明書 補足

SGP-K1 形 ,S-G 形 室内機をご使用の方へ

本加湿器を上記室内機と組み合わせてご使用の場合、次の手順にて電気配線と排水設定を行ってください。

1. 電気配線（室内機との接続方法）

加湿器本体からの配線を室内機本体の電源取り入れ口から室内機本体内部へ引き込みます。
電装ボックスの蓋を開き、室内コントロール基板上のHU1（CN79:赤3P）に接続します。

2. 排水の設定

※排水の設定を行わないと、エラー発生や水漏れの原因となりますので、必ず実施してください。

(1) 付属の短絡コネクタを使用する場合

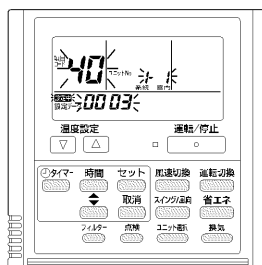
付属の短絡コネクタ（2P:白）を室内コントロール基板上のFILTER（CN70:白2P）に接続します。

注意) FILTER（CN70:白2P）を差圧スイッチ入力として使用している室内機（外気処理ユニットハイフレッシュ、床吹出しパッケージ等）に加湿器を組み込んで使用する場合は、付属の短絡コネクタ（2P:白）は使用しないで「(2) ワイヤードリモコンを使用する場合」を参照して設定してください。

(2) ワイヤードリモコンを使用する場合

<CZ-10RT3・CZ-10RT3Aの場合>

- ① 点滅 + 取消 + セット ボタンを3つ同時に4秒以上押します。
リモコン液晶表示部に『設定中』が点滅します。
- ② リモコン液晶表示部に、『項目コード10』『設定データ0001』が点滅します。
(この時、室内機のファンが回ります。)
- ③ 温度設定 ▽ / △ ボタンを押して、項目コードを『40』に変更します。
- ④ 時間 ⇄ ボタンを押して、設定データを『0003』から『0001』に変更します。
- ⑤ セット ボタンを押します。(点滅から点灯に表示が変更されて設定完了となります)
- ⑥ 点滅 ボタンを押してください。(通常の停止状態になります)



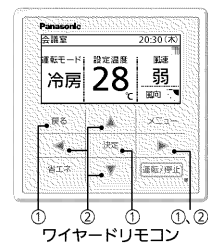
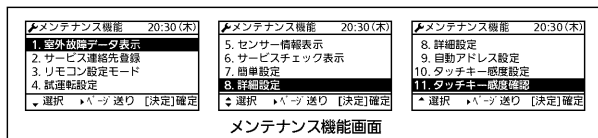
ワイヤードリモコン

<CZ-10RT4シリーズの場合>

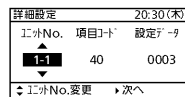
メンテナンス機能画面の表示(ユニットが停止中に行ってください。)

- ① + + ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。
- ② / ボタンで選択、 / ボタンでページが切り替わります。

必要な機能のページを表示し、選択してください。



ワイヤードリモコン



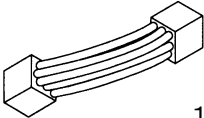
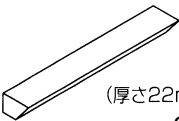
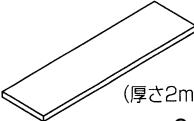
詳細設定画面

詳細設定方法 (ユニットが停止中に行ってください。)

- ③ / ボタンで『8.詳細設定』を選択し、 ボタンを押してください。
詳細設定画面が表示されます。
- ④ / ボタンでユニットNo./項目コード/設定データの選択を切り替えてください。
- ⑤ / ボタンでユニットNo.: 設定するユニット / 項目コード: 40 / 設定データ: 0001に設定し、 ボタンを押してください。続けて別のシステムを設定する場合はユニットNo.を変更し、 ボタンを押してください。
- ⑥ ボタンを押し、再起動: “はい” を選択し、 ボタンを押してください。

しゃ風材 (INS-DSS56U・INS-DSS80U・INS-DSS140U)

■ 部品一覧

中継コネクタ	しゃ風材 A	しゃ風材 B
 1 個	 (厚さ22mm) 2 個	 (厚さ2mm) 2 個

< 注意 >

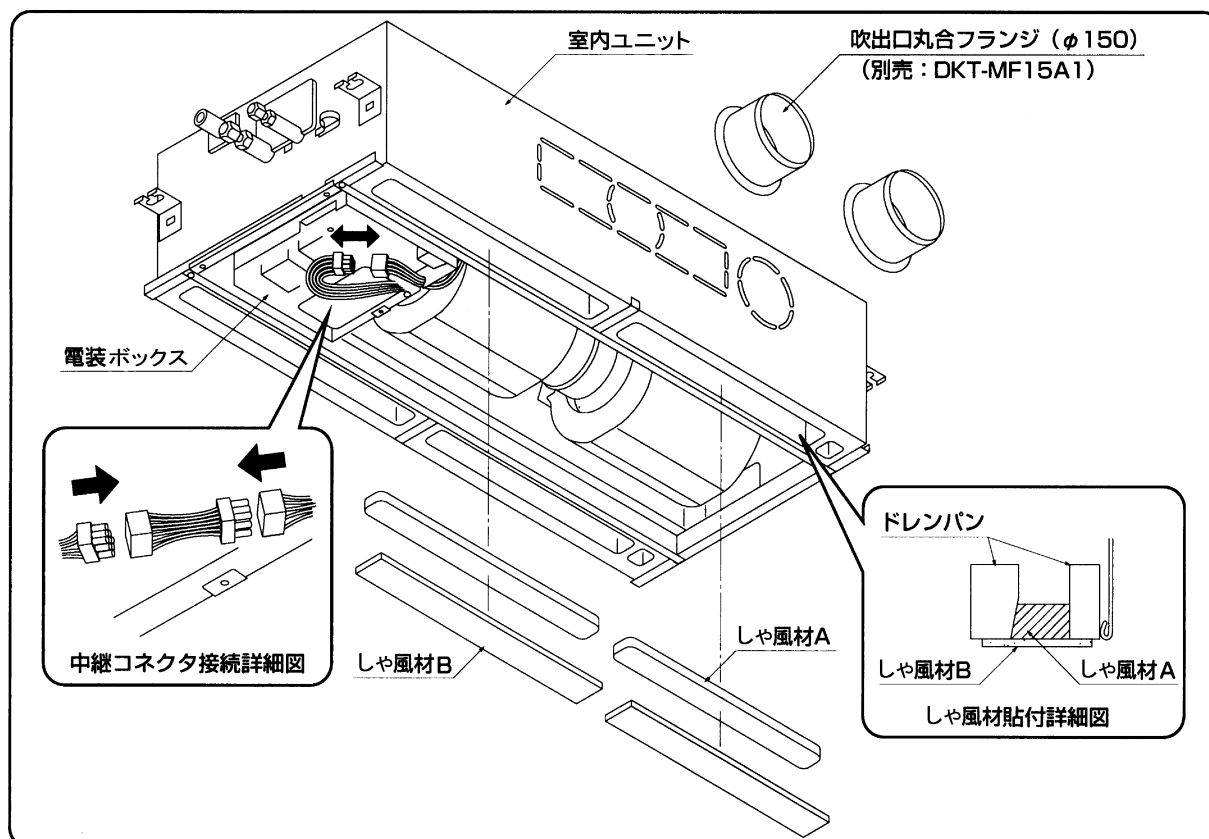
1. しゃ風材は配管側から見て、右側のみ取付けできます。
2. しゃ風材は別売の吹出口丸合フランジ(φ150)と必ず併用してください。しゃ風材のみの使用はできません。
3. 丸合フランジの取付け可能個数は下表のとおりです。

	丸合フランジ取付け可能個数
22・28・36・45・56形	1 個
71・90形	2 個
112・140・161形	3 個

4. 丸合フランジに接続するダクトは、必ず断熱してください。また、ダクトと丸合フランジの接合部から冷気が漏れないように、確実にシールしてください。
5. 別売の高性能フィルター(65%、90%)との併用はできません。

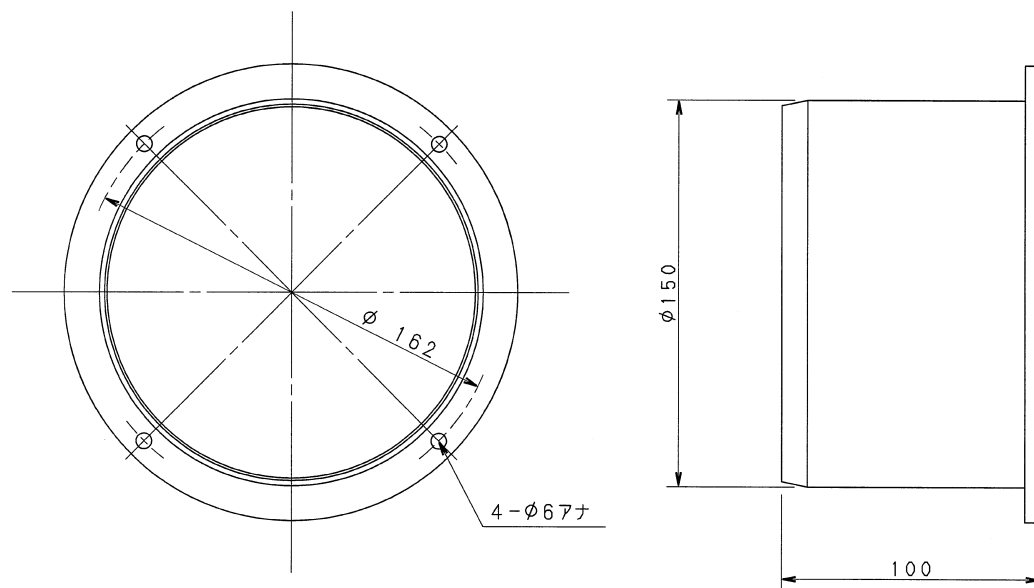
■ しゃ風材の取付けかた

1. しゃ風材 A (2 個) を吹出口の傾斜に合わせて、室内ユニット下面と面一まで挿入します。
2. センター金具を下げて、しゃ風材 B (2 個) をしゃ風材 A の上に貼ってシールします。
3. 室内ユニットの電装ボックス内の 9 P 白コネクタ (ファンモーター線) をはずして、付属の中継コネクタを接続します。



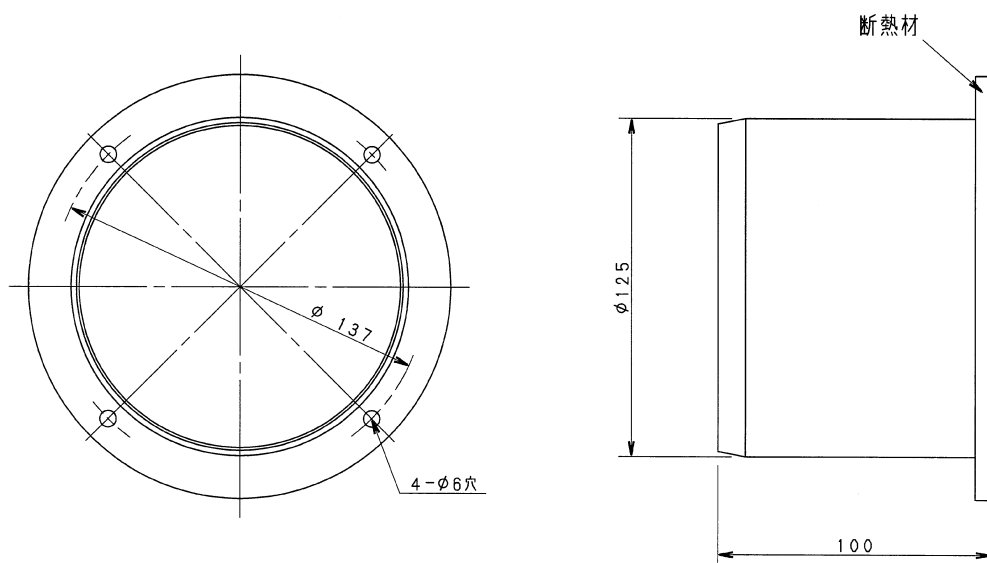
吹出口用丸合フランジ (DKT-MF15A1)

■外形寸法図



外気取入用丸合フランジ (DKT-MF12A)

■外形寸法図



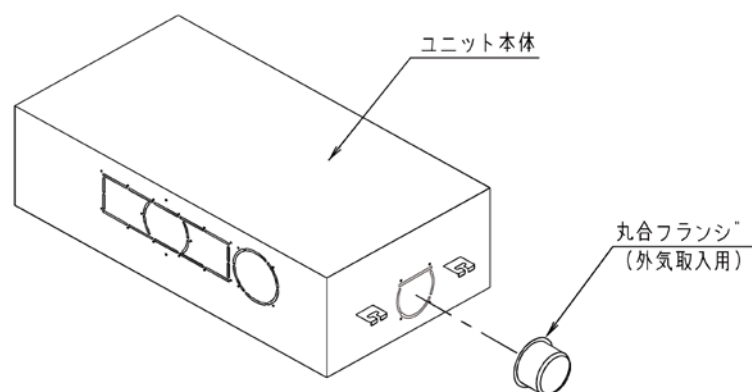
■付属部品

取付け用ネジ (タッピン4 × 12)	4 (個)
---------------------	-------

■取付方法

- (1) ユニット本体の切り込みを目印に、断熱材ごと、ニッパ、金ノコ等で切断し、切り取ってください。(下図)
- (2) ユニット本体に丸合フランジをネジ4本(付属)で取り付けてください。

●2方向天井カセット形の場合



(3) 1方向天井カセット形

天井パネル (CZ-01KPD3A、CZ-01KPD3A-T)



取付説明書

- 電気配線工事は、別紙「電気工事担当のかたへ」の説明にしたがってください。

安全上のご注意

- 据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、「△ 警告」、「△ 注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

△ 警告 取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。

△ 注意 取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認すると共に“取扱説明書”にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また“据付工事担当のかたへ”、“電気工事担当のかたへ”は、“取扱説明書”と共に、お客様で保管頂くように依頼してください。

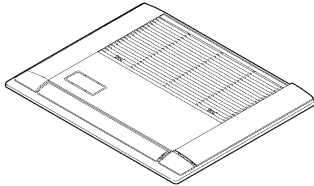
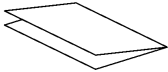
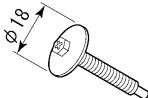
△ 警告

- 据付、電気工事は、販売店または専門業者に依頼してください。ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
- 据付工事は、“据付工事担当のかたへ”“電気工事担当のかたへ”に従って確実に行ってください。据え付けに不備があると、冷媒漏れ、水漏れ、感電、火災等の原因になります。
- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」および“据付工事担当のかたへ”“電気工事担当のかたへ”に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。電気回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
- 据え付けは、重量に十分耐える所に確実に行ってください。強度が不足している場合は、ユニットの落下により、けがの原因になります。
- 作業中に冷媒ガスが漏れた場合は換気をしてください。冷媒ガスが火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
- 設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認してください。冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

△ 注意

- 可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わないでください。万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。

構成部品

品名	天井パネル	取付説明書	座付ねじ	ビス
個数	1	1	4 M5X40	2 4X12
形状		 取付説明書	 天井パネル固定用	 サイドパネル固定用

1. 天井パネル取付前の準備

(1) 室内ユニット位置の確認

①天井開口穴が下記寸法であるか確認します。

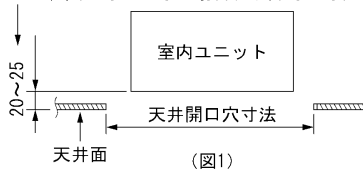
730mm×590mm

※詳細は室内ユニットに付属の据付説明書を参照してください。

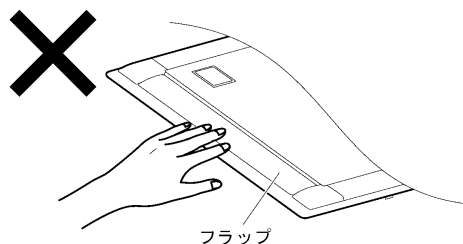
②天井面と室内ユニットの位置が図1のようになっているか確認します。天井面と室内ユニットの位置が合わないとうもれや水もれおよびフラップの作動不良等の原因となります。

- パネルを下向きに置くことや、立掛け、突起物の上への放置は表面に傷がつきますので絶対にしないでください。
- フラップに無理な力を加えないでください。
(フラップの故障の原因となります)。

必ず20～25の範囲内とすること。
この範囲が守られない場合、故障等の原因となります。



(図1)



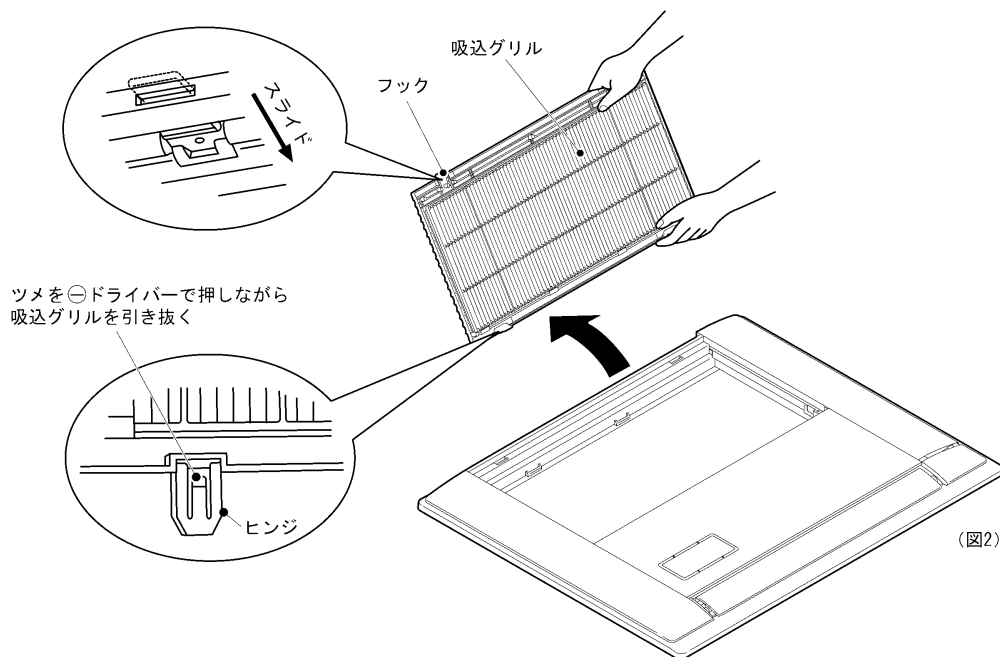
2. 室内ユニットへの取り付けかた

(1) 吸込グリルの取り外し

吸込グリル取り外し

吸込グリルのフック (2カ所) を矢印方向にスライドし、吸込グリルを開いてください。(図2)

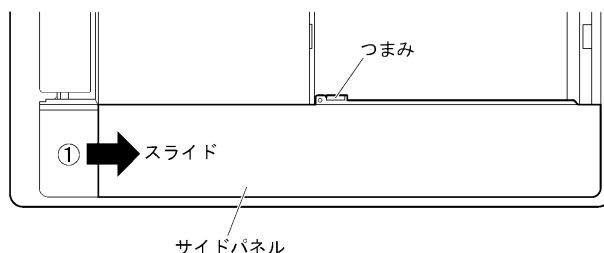
吸込グリルを開いた状態で、後部ヒンジ (2カ所) のツメ部を⊖ドライバーで押して吸込グリルを引き抜いてください。(図2)



(図2)

(2) サイドパネルの取り外し

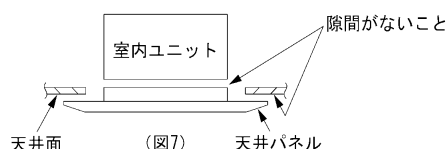
サイドパネルのつまみをもって矢印①の方向へスライドし、取り外します。(左右2カ所) (図3)



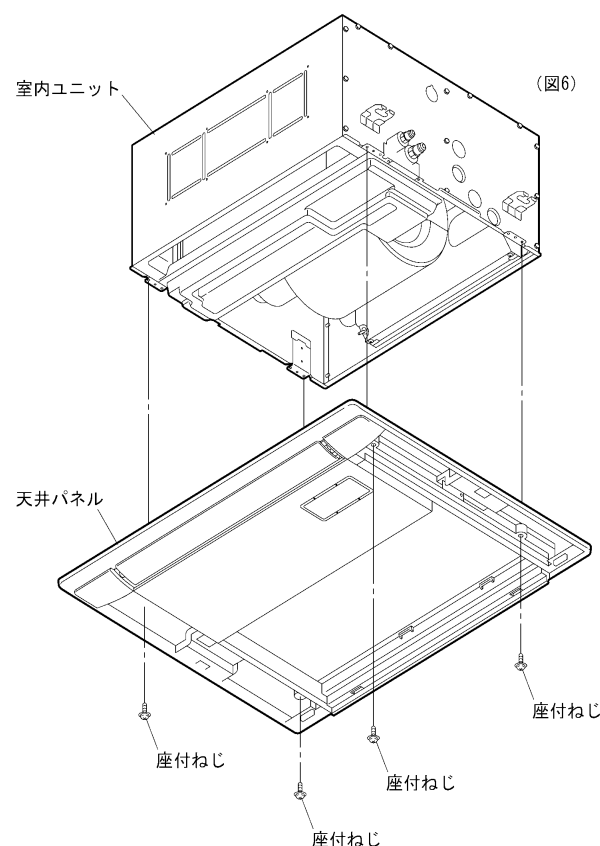
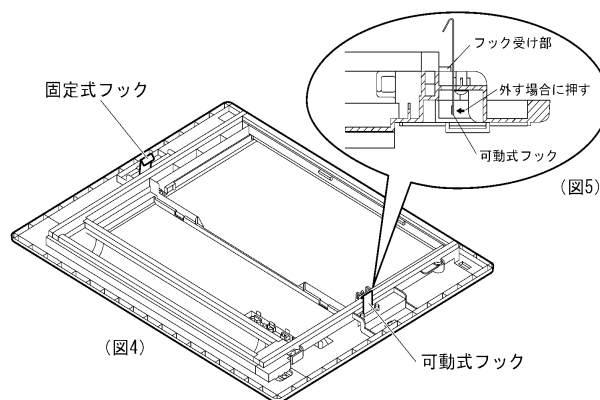
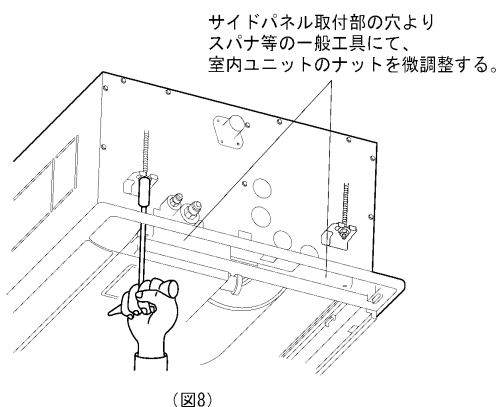
(図3)

(3) 天井パネルの取り付け

- 天井パネル両サイドに付いているフックを本体に引っ掛けます。フックは片側が固定式、もう一方が可動式となっています。(図4)
- ① パネルをやや斜めにしてパネルの固定式フックを本体側面のフック受け部に引っ掛けます。
- ② フックがかかっていることを確認したらパネルのもう一方を天井パネルが水平になるように押し上げ、可動式フックが本体のフック受け部に掛かるまで押し上げてください。
- ③ 天井パネル両側のフックが本体に確実に掛かっていることを確認してください。
確実に掛かっていないと、パネルが落下する場合があります。
これでパネルが本体に仮止めされています。
- 外す場合は天井パネルを支えながら可動式のフックを内側に押してください。(図5)
- ④ パネルの取付穴と本体側のねじ穴を合わせます。
- ⑤ 付属の座付ねじでパネル取付部の4カ所を本体に密着するまで締め込みます。(図6)
- ⑥ パネルが天井に密着したことを確認します。
- この時、室内ユニットと天井パネル、および天井パネルと天井面との間に隙間がないようにしてください。(図7)

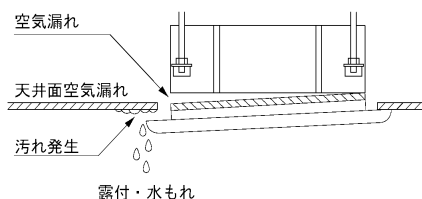


- 天井との隙間が生じた場合、天井パネルを取り付けたまま、室内ユニットの据え付け高さを微調整し、天井との隙間を無くしてください。(図8)
- 室内ユニットの水平度、ドレン配管等に影響がでない程度であれば天井パネルのサイドパネル取付部の穴より天井パネルを付けたまま本体の高さ調整ができます。

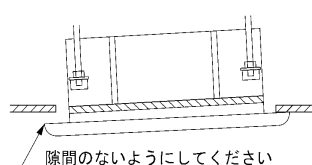


ご 注 意

- ねじの締め込みが不十分な場合、下図のような不具合発生の原因となりますので確実に絞め込んでください。

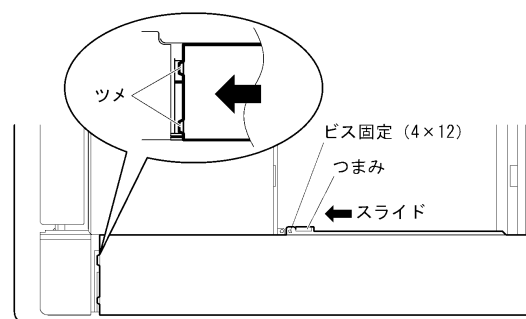
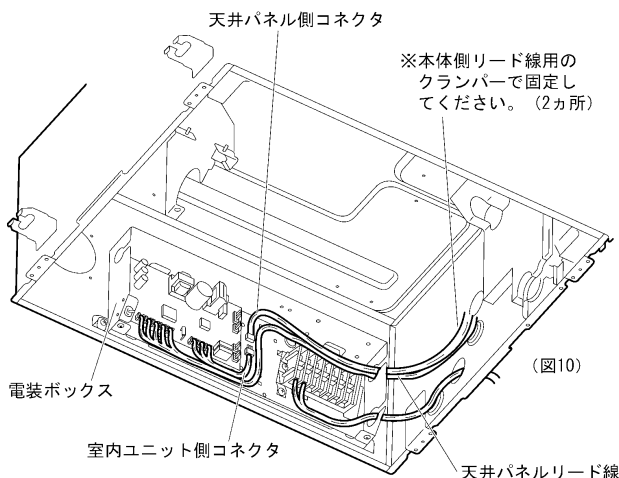
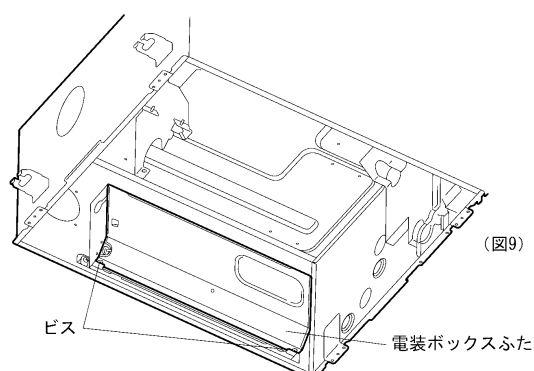


- ねじを締め込んでも天井面と天井パネルとの間に隙間ができる場合は室内ユニットの高さを再調整してください。(図8)



(4) 天井パネルの配線方法

- ①電装ボックスのふたをビス2本をゆるめて取り外してください。(図9)
- ②天井パネルから出ている配線コネクタ7P (赤) を本体側リード線クランパー (2カ所) で固定してから室内ユニットの電装ボックス内のコネクタ7P (赤) に接続してください。(図10)
- コネクタを接続しないと、リモコンにP09表示してオートフラップが動作しないので、確実に接続してください。
- 配線コネクタが電装ボックスとふたの間にはさみ込んでいないことを確認してください。
- 配線コネクタが室内ユニットと天井パネルの間にはさみ込んでいないことを確認してください。



サイドパネルの爪を天井パネルに引っかけるようにスライドして取り付け、付属のビス(4×12)で固定して下さい。(図11)

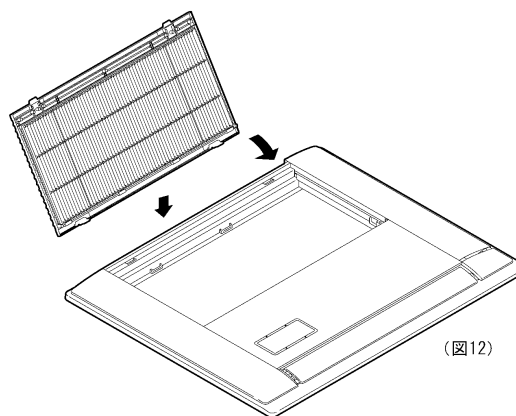
(5) サイドパネル・吸込グリルの取り付け

A. サイドパネルの取り付け

- ①サイドパネルのつまみをもって矢印の方向へスライドし、サイドパネルを取り付けます。(図11)
- ②サイドパネルを天井パネルに、付属のビス(4×12)で取り付けてください。

B. 吸込グリルの取り付け

- 取付方法は吸込グリルの取り外しの項を逆に作業を行ってください。(図12)
- 吸込グリルを取り付ける際、フラップのリード線をはさみ込まないように注意してください。(図12)



3. その他

A. 据え付け後の確認

- 室内ユニットと天井パネル、および天井パネルと天井面に隙間のないことを再確認します。
※隙間があると水もれや露付の原因となります。
- 配線接続が確実にされていることを確認します。
※接続されてないとオートフラップが動かない(リモコンにP09の表示が出ます)、また水もれや露付等の原因となります。

B. ワイヤレスリモコン対応の場合

- 取付方法の詳細は、別売品ワイヤレスリモコン本体組込受信部タイプに付属の据付説明書を参照してください。

上記項目を確認した後、この説明書と室内ユニットおよび別売部品の説明書等の一式全てをお客様へ渡してください。その際、室内ユニットの取扱説明書に記載されたフィルターの清掃について必ずお客様へ説明してください。

グリル取付デオドラントフィルター(AFT-DSA40B)

■仕様値表

品番		AFT-DSA40B	
適用機種		22・28形	36・40形
初期風量 (m ³ /min)		8.4	9.2
最終風量 (m ³ /min)		5.9	6.8
初期圧損 (Pa)		21.9	28.0
最終圧損 (Pa)		59.6	71.7
脱臭性能	初期脱臭性能	75% (JEM1467準拠)	
	交換目安	約6ヶ月	
集塵性能	初期集塵性能	JIS比色法 65%	
	交換目安	1800時間 (600時間毎にフィルター掃除を行った場合)	
使用濾材		除塵シート (帯電ポリエステル) 脱臭層 (活性炭+ゼオライト吸着剤) 抗菌シート (抗菌難燃性ポリエステル/レーヨン不織布)	
フィルター 外形寸法	幅 (mm)	445	
	奥行 (mm)	225	
	厚み (mm)	15	
	質量 (kg)	0.66	
グリル取付フィルター用金具	品番	STK-DFS40B	

注意

- (1) デオドラントフィルターを組み込むと風量がダウンして、弱風運転の場合は保護装置が作動する恐れがあります。これを防止するため、グリル取付フィルター用金具付属の説明書に従い、ファンタップ変更を必ず行なってください。(取付説明書参照)
- (2) 初期脱臭性能、交換目安は、JEM1467に準拠して算出した値を示します。
フィルター交換時期は、現場条件により異なりますのでご注意ください。
- (3) デオドラントフィルターを組み込む場合は、グリル取付フィルター用金具が必要ですのでご用意ください。
- (4) 吸込グリル付属のエアフィルターは、プレフィルターとしてそのまま使用します。
- (5) 風量・圧損・保塵量・寿命は、急風時 (ファンタップ変更後) の値を示します。
- (6) フィルターは2ヶ月に一度掃除を行なってください。(取付説明書参照)

グリル取付アンモニア脱臭フィルター(AFT-DSA40B-AM)

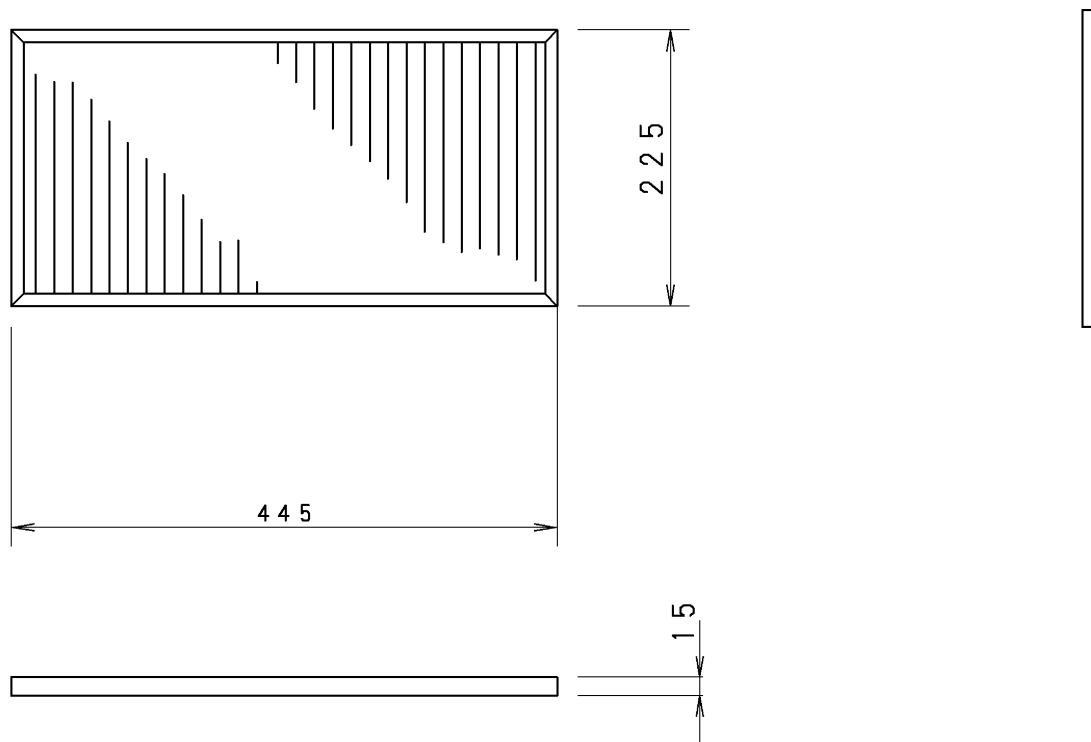
■仕様値表

品番		AFT-DSA40B-AM	
適用機種		22・28形	36・40形
初期風量 (m ³ /min)		8.6	9.4
最終風量 (m ³ /min)		5.9	6.8
初期圧損 (Pa)		18.4	23.4
最終圧損 (Pa)		59.6	71.7
脱臭性能	初期脱臭性能	90% (JEM1467準拠) (アンモニアのみ)	
	交換目安	約6ヶ月	
集塵性能	初期集塵性能	JIS比色法 65%	
	交換目安	1800時間 (600時間毎にフィルター掃除を行った場合)	
使用濾材		除塵シート (帯電ポリプロピレン) アンモニア脱臭抗菌シート (難燃性塩ビ系繊維+アンモニア吸着剤+抗菌剤)	
フィルター 外形寸法	幅 (mm)	445	
	奥行 (mm)	225	
	厚み (mm)	15	
	質量 (kg)	0.58	
グリル取付フィルター用金具	品番	STK-DFSA40B	

注意

- (1) アンモニア脱臭フィルターを組み込むと風量がダウンして、弱風運転の場合は保護装置が作動する恐れがあります。これを防止するため、グリル取付フィルター用金具付属の説明書に従い、ファンタップ変更を必ず行なってください。(取付説明書参照)
- (2) 初期脱臭性能、交換目安は、JEM1467に準拠して算出した値を示します。
フィルター交換時期は、現場条件により異なりますのでご注意ください。
- (3) アンモニア脱臭フィルターを組み込む場合は、グリル取付フィルター用金具が必要ですのでご用意ください。
- (4) 吸込グリル付属のエアフィルターは、プレフィルターとしてそのまま使用します。
- (5) 風量・圧損・保塵量・寿命は、急風時 (ファンタップ変更後) の値を示します。
- (6) フィルターは2ヶ月に一度掃除を行なってください。(取付説明書参照)

■外形寸法図



●1方向天井カセット形

デオドラントフィルター (形名: AFT-DSA40B)
アンモニア脱臭フィルター (形名: AFT-DSA40B-AM)

で注意

- ご使用になるまでフィルターを開封しないでください。
(デオドラントフィルター、アンモニア脱臭フィルターの寿命が短くなります。)
- フィルターの交換方法はこの用紙の裏面を参照してください。
- デオドラントフィルター、アンモニア脱臭フィルターの取り付けには、専用の取付金具 (STK-DFSA40B) が必要です。
- この説明書は室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管しておいてください。

仕 様

フィルター形名	デオドラントフィルター AFT-DSA40B	アンモニア脱臭フィルター AFT-DSA40B-AM
初期脱臭性能	75% (JEM1467準拠)	90% (JEM1467準拠) 〈アンモニアのみ〉
集塵効率	比色法65%	
取付金具	STK-DFSA40B	
適合天井パネル	標準パネル CZ-01KPD3A, CZ-01KPD3A-T	
交換目安	1800時間	

フィルターの交換時期

- 交換時期は、使い方や使用場所により異なりますが、6ヵ月～1年に1回が目安です。
(2ヵ月に一度、フィルター表面の掃除を行なってください。掃除方法は裏面を参照してください。)

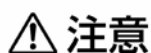
安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
表示と意味は次のようになっています。



警告

「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があること」を示します。



注意

「誤った取り扱いをすると人が傷害を負う可能性、または、物的損害のみが発生する可能性があること」を示します。

※1: 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。

※2: 物的損害とは、財産・資材の破損にかかわる拡大損害をさします。

図記号	図記号の意味
	禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
	強制(必ずすること)を示します。 具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

⚠ 警告

- フィルターが入っているポリ袋は幼児の手が届くところに置かないこと
頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ、窒息し、死亡する恐れがあります。



禁止

⚠ 注意

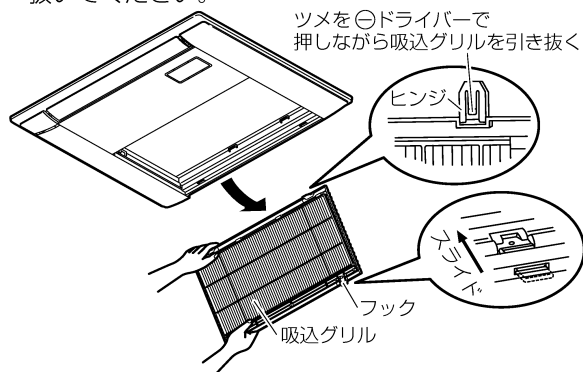
- 吸込グリルはパネル本体に確実に取り付けること
取り付けが不完全な場合は、吸込グリルの落下により、けがの原因になります。



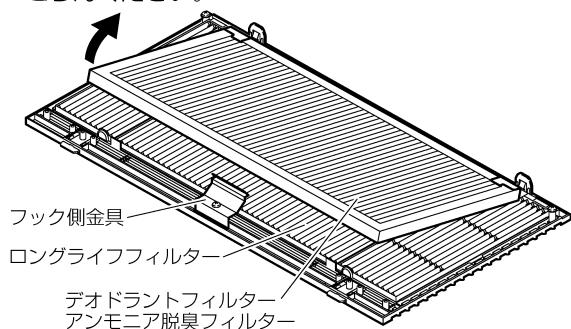
強制

フィルター交換のしかた

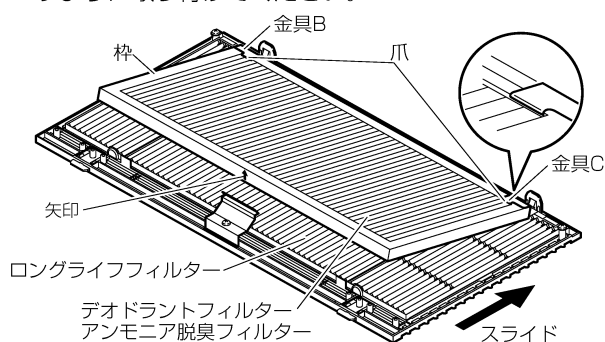
1. 吸込グリルのフック（2カ所）を矢印方向にスライドし、吸込グリルを開いてください。
吸込グリルを開いた状態で、後部ヒンジ（2カ所）のツメ部を○ドライバーで押して吸込グリルを引き抜いてください。



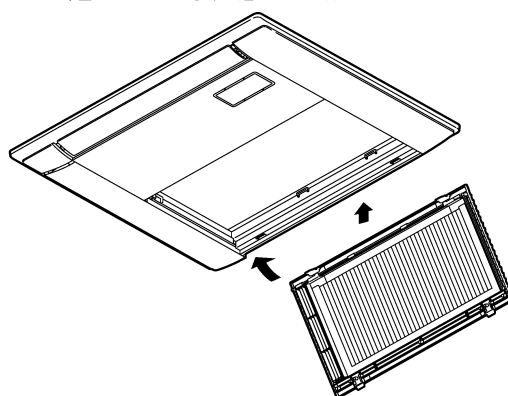
2. 使用済のフィルターをフック側の金具の爪からはずし、そのまま回転させながらヒンジ側に倒すと、ヒンジ側の金具の爪からはずれます。このとき、あわせてロングライフフィルターの掃除をおすすめします。ロングライフフィルターの掃除については、お使いの室内ユニットに付属されている取扱説明書をごらんください。



3. 交換用のフィルターを袋から出し吸込グリルに取り付けます。
取り付けるフィルターを図のようにスライドさせながらフィルターの枠を金具B、Cの爪に引っかけます。フィルターの枠に貼り付けてあるラベルに風の流れる方向を示す矢印が書かれています。矢印が上を示すように取り付けてください。



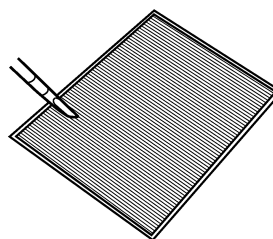
4. 吸込グリルをパネルに取り付けます。
取付方法は吸込グリルの取り外しの項を逆に作業を行ってください。
吸込グリルを取り付ける際、フラップのリード線をはさみ込まないよう注意してください。



フィルターの掃除

- 2ヵ月に一度は掃除をしてください。

- 「フィルター交換のしかた」を参照してフィルターを取り出してください。
- ホコリを掃除機で吸い取ってください。



- フィルターを取り付けてください。

お願い

- このフィルターは洗って再使用することができません。
- 取付金具を吸込グリルから取りはずさないでください。

グリル取付光再生脱臭フィルター(CZ-02FDDM3)

■仕様値表

品番		CZ-02FDDM3	
適用機種		22・28形	36・40形
初期風量 (m ³ /min)		8.1	9.2
最終風量 (m ³ /min)		5.9	6.9
初期圧損 (Pa)		5.9	7.8
最終圧損 (Pa)		35.3	45.5
脱臭性能	初期脱臭性能	70% (JEM1467準拠)	
	再生目安	約6ヶ月 (天日干しによる再生で約6年使用可能)	
使用濾材		難燃性塩ビ系不織布 (光触媒性酸化チタン、特殊ゼライト含有)	
フィルター 外形寸法	幅 (mm)	445	
	奥行 (mm)	225	
	厚み (mm)	15	
	質量 (kg)	0.58	
グリル取付フィルター用金具	品番	STK-DFSA40B	

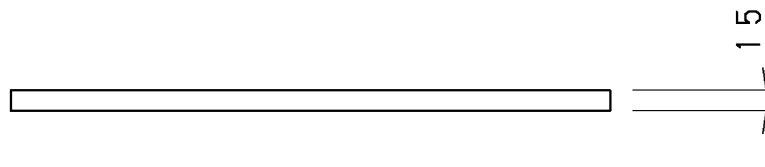
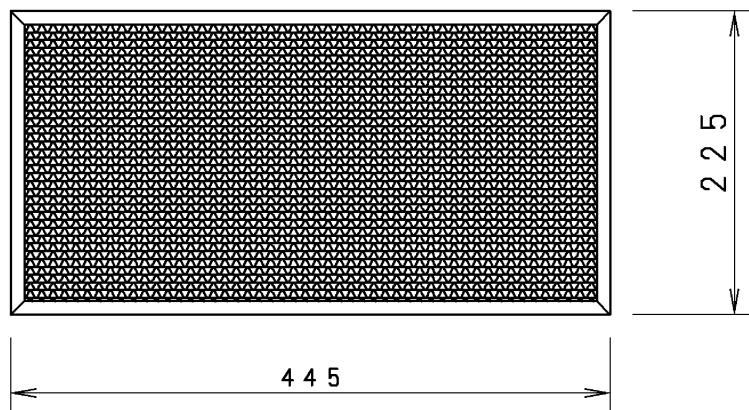
注意

- (1) 光再生脱臭フィルターを組み込むと風量がダウンして、弱風運転の場合は保護装置が作動する恐れがあります。これを防止するため、グリル取付フィルター用金具付属の説明書に従い、ファンタップ変更を必ず行なってください。(取付説明書参照)
- (2) 初期脱臭性能、再生目安は、JEM1467に準拠して算出した値を示します。
- (3) 光再生脱臭フィルターを組み込む場合は、グリル取付フィルター用金具が必要ですのでご用意ください。
- (4) 吸込グリル付属のエアフィルターは、プレフィルターとしてそのまま使用します。
- (5) 風量・圧損は、急風時 (ファンタップ変更後) の値を示します。
- (6) フィルターは6ヶ月に一度掃除を行なってください。(取付説明書参照)

天日干しにより脱臭性能の再生が可能です。再生を行なうことにより約6年使用可能となります。

(6ヶ月毎に再生の場合)

■外形寸法図



●1方向天井カセット形

光再生脱臭フィルター（形名：CZ-02FDDM3）

で注意

- ご使用になるまでフィルターを開封しないでください。
(光再生脱臭フィルターの寿命が短くなります。)
- フィルターの交換方法はこの用紙の裏面を参照してください。
- 光再生脱臭フィルターの取り付けには、専用の取付金具(STK-DFSA40B)が必要です。
- この説明書は室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管しておいてください。

仕 様

フィルター品番	光再生脱臭フィルター CZ-02FDDM3
初期脱臭性能	70%(JEM1467準拠)
取付金具	STK-DFSA40B
適合天井パネル	標準パネル CZ-01KPD3A, CZ-01KPD3A-T
再生目安	約6ヶ月

— フィルターの再生時期 —

- 再生時期は、使い方や使用場所により異なりますが、約6ヶ月に1回が目安です。

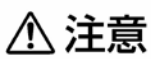
安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
表示と意味は次のようになっています。



警告

「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があること」を示します。



注意

「誤った取り扱いをすると人が^{※1}傷害を負う可能性、または、物的損害のみが発生する可能性があること」を示します。
^{※2}

※1：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。

※2：物的損害とは、財産・資材の破損にかかわる拡大損害をさします。

図記号	図記号の意味
	禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
	強制(必ずすること)を示します。 具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

⚠ 警告

- フィルターが入っているポリ袋は幼児の手が届くところに置かないこと
頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ、窒息し、死亡する恐れがあります。



禁止

⚠ 注意

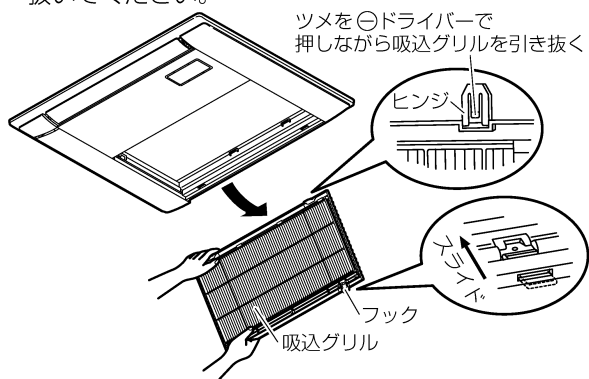
- 吸込グリルはパネル本体に確実に取り付けること
取り付けが不完全な場合は、吸込グリルの落下により、けがの原因になります。



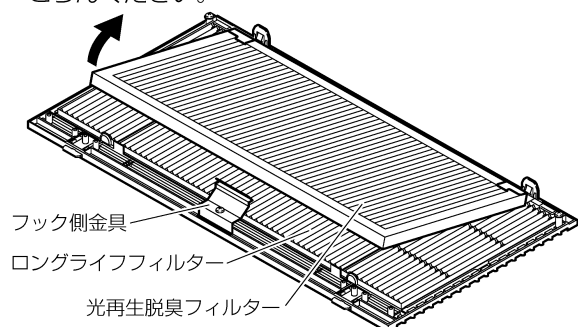
強制

フィルター交換のしかた

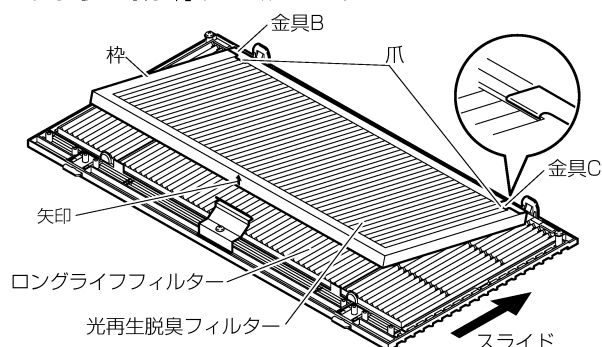
1. 吸込グリルのフック（2カ所）を矢印方向にスライドし、吸込グリルを開いてください。
吸込グリルを開いた状態で、後部ヒンジ（2カ所）のツメ部を○ドライバーで押して吸込グリルを引き抜いてください。



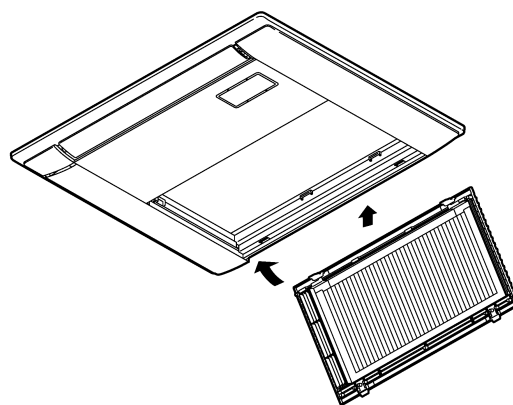
2. 使用済のフィルターをフック側の金具の爪からはずし、そのまま回転させながらヒンジ側に倒すと、ヒンジ側の金具の爪からはずれます。このとき、あわせてロングライフフィルターの掃除をおすすめします。ロングライフフィルターの掃除については、お使いの室内ユニットに付属されている取扱説明書をごらんください。



3. 交換用のフィルターを袋から出し吸込グリルに取り付けます。
取り付けるフィルターを図のようにスライドさせながらフィルターの枠を金具B、Cの爪に引っかけます。フィルターの枠に貼り付けてあるラベルに風の流れる方向を示す矢印が書かれています。矢印が上を示すように取り付けてください。



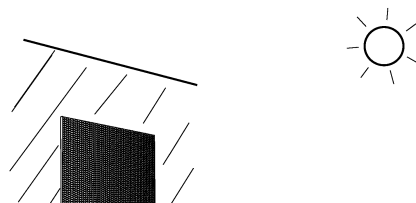
4. 吸込グリルをパネルに取り付けます。
取付方法は吸込グリルの取り外しの項を逆に作業を行ってください。
吸込グリルを取り付ける際、フラップのリード線をはさみ込まないよう注意してください。



フィルターの掃除

- 6ヵ月に一度は掃除をしてください。

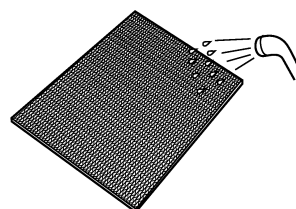
- 「フィルター交換のしかた」を参照してフィルターを取り出してください。
- フィルターを軽くたたかなどしてホコリを落とし、6時間以上天日干ししてください。



3. フィルターを取り付けてください。

フィルターを水洗いする場合

フィルターを天日干しできるところに水平に置き、シャワーなどの流水で水洗いをしてください。水洗いをしたあとは、そのまま乾くまで放置してください。このときも6時間以上天日干ししてください。



ご注意

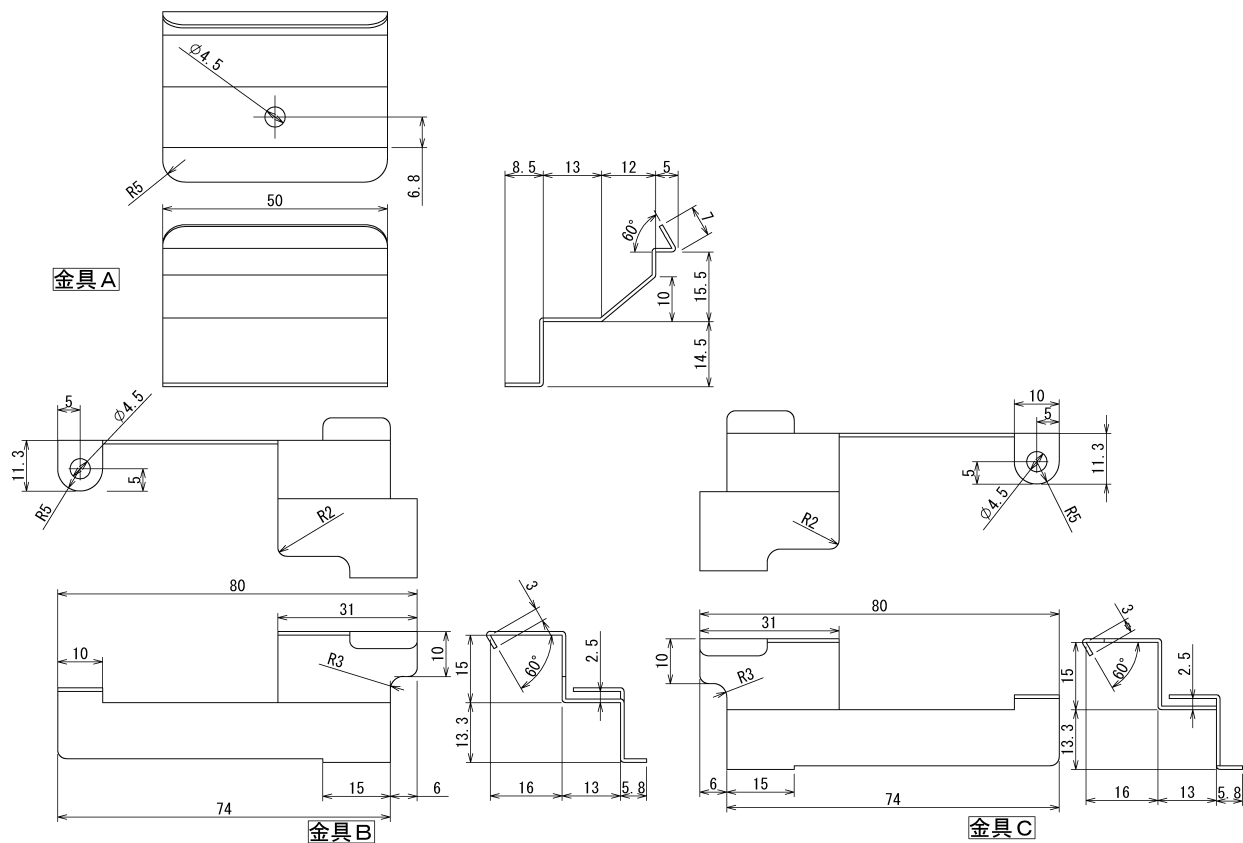
フィルターを水に濡れたまま取り扱うとフィルターが破損するおそれがあります。

お願い

- 取付金具を吸込グリルから取りはずさないでください。

グリル取付フィルター用金具 (STK-DFSA40B)

■外形寸法図



フィルター金具の取り付けかた

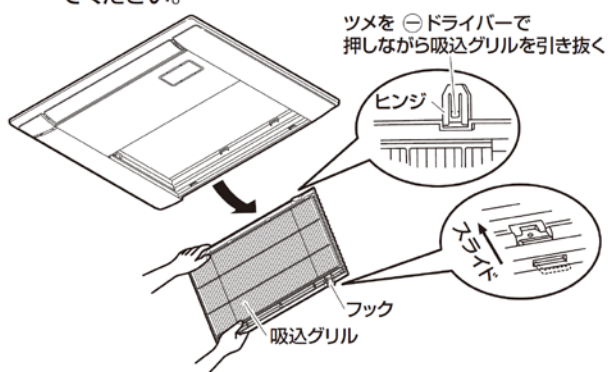
形名: STK-DFSA40B

1. 構成部品

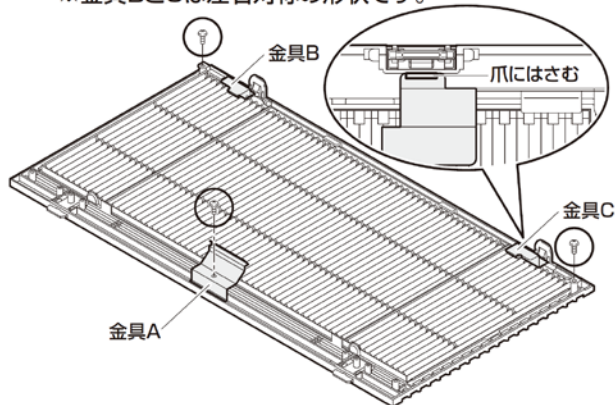
金具A	1個	金具B	1個	金具C	1個	ビス	3個	取付説明書	2枚	短絡用コネクタ	
								本説明書 DCファンタップ変更手順		(2P黄色)	

2. 取り付けかた

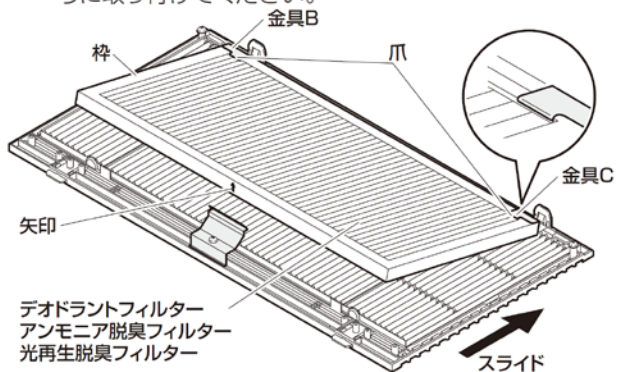
- ① 吸込グリルのフック(2ヵ所)を矢印方向にスライドし、吸込グリルを開いてください。
吸込グリルを開いた状態で、後部ヒンジ(2ヵ所)のツメ部を⊖ドライバーで押して吸込グリルを引き抜いてください。



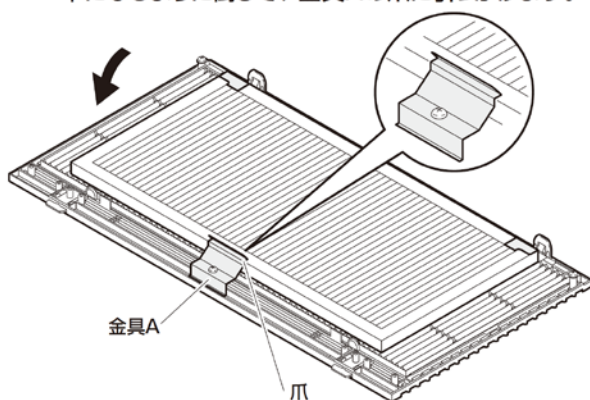
- ② 金具A、B、Cを図の位置に付属のビスで取り付けます。
※金具BとCは左右対称の形状です。



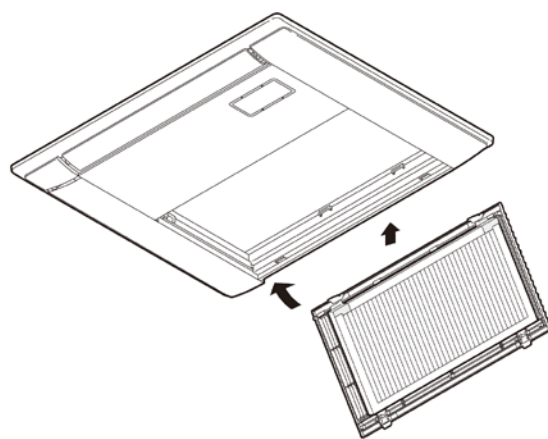
- ③ 取り付けるフィルターを図のようにスライドさせながらフィルターの枠を金具B、Cの爪に引っかけます。
フィルターの枠に貼り付けてあるラベルに風の流れる方向を示す矢印が書かれています。矢印が上を示すように取り付けてください。



- ④ 取り付けしたフィルターをロングライフフィルターと水平になるように倒して、金具Aの爪に引っかけます。



- ⑤ 吸込グリルをパネルに取り付けます。
取付方法は吸込グリルの取り外しの項を逆に作業を行ってください。
吸込グリルを取り付ける際、フラップのリード線はさみ込まないよう注意してください。

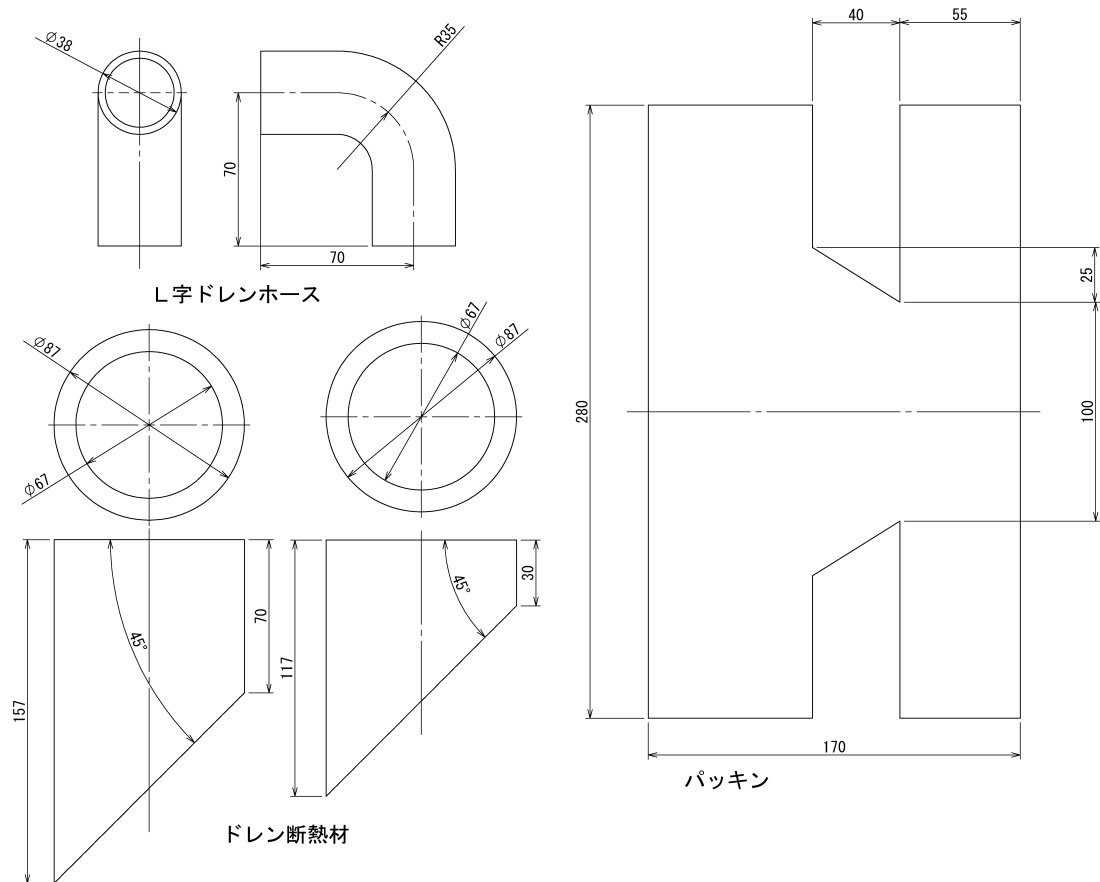


- ⑥ ワイヤードリモコン、または室内基板(付属短絡コネクタ使用)にてDCファンタップの設定変更を行なってください。
(設定方法は別紙説明書に従って行ない、光再生脱臭フィルターの場合は設定Noを(1)に、デオドラントフィルター、アンモニア脱臭フィルターの場合は設定Noを(3)に合わせてください。)

※設定を行なわない場合、風量減少、露付きの原因となります。

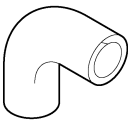
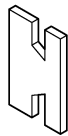
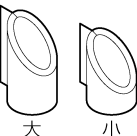
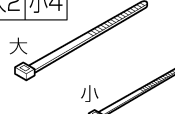
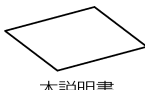
L字ドレン配管キット (DP-LDSA40B)

■外形寸法図



L字ドレン配管キットの取り付けかた

1. 構成部品

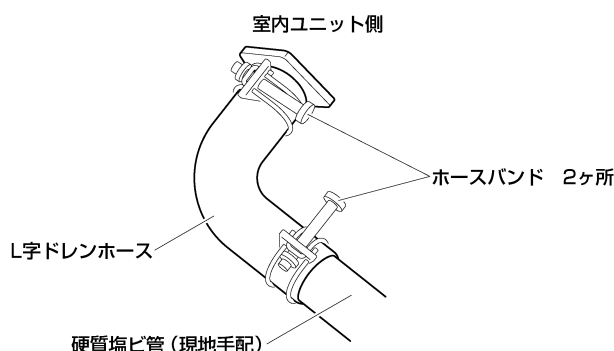
L字ドレンホース	パッキン	ドレン断熱材	ホースバンド	クランパー	取付説明書
1 	1 	各1 	2 	大2 小4 	1  本説明書

2. 取り付けかた

L字ドレン配管は、本説明書に従って確実に排水するよう配管し、結露が生じないように保温してください。配管工事に不備があると水漏れし、家財等を濡らす原因になることがあります。

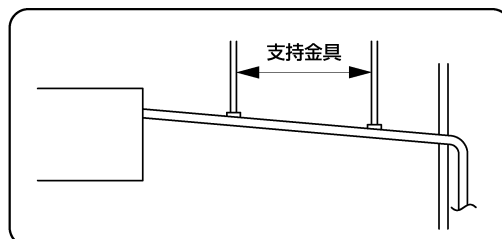
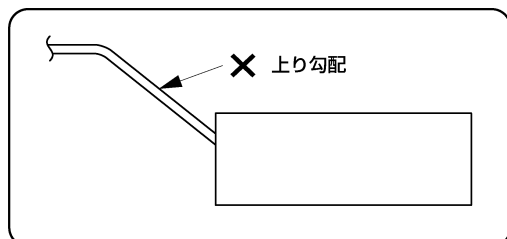
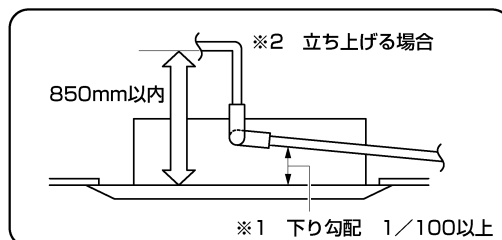
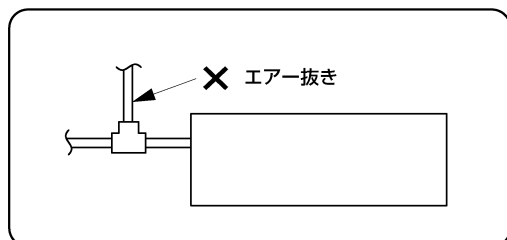
① 室内ユニット排水口にL字ドレンホースを接続し、ホースバンドで固定してください。

塩ビ配管側は、VP25用ソケットおよび硬質塩ビパイプ一般管、呼び径25mm、外形32mmのパイプをホースバンドで固定してください。



△ 注意

- ドレン接続口には、接着剤は使用しないでください。
- L字ドレンホースは、室内ユニット排水口の根元まで挿入してから、ホースバンドでしっかり締めてください。
- ホースバンドの締付位置は必ず上側にしてください。
- ドレン配管は必ず下り勾配 (1/100以上) とし、トラップの出来ないようにしてください。※1
- L字ドレンホースを立ち上げる場合は、垂直にして使用してください。※2
- ドレン配管高さを高くしたい場合は、天井下面より850mmを限度としてあげることができます。絶対に850mm以上にしないでください。水漏れの原因になります。
- 室内ユニット排水口 (透明) 部にて、ドレン排水の確認をしてください。
- ドレン配管は必ず断熱してください。
- エアー抜き管は絶対に付けしないでください。ドレン水が吹き出ることがあります。
- 自然排水はしないでください。
- 接続口より上り勾配で絶対に配管しないでください。室内ユニット停止時ドレン水が逆流して水漏れの原因になります。
- ドレン配管を接続する場合、室内ユニット側の配管に力を加えないで行い、できる限り室内ユニット近傍で配管を固定してください。



② ドレン排水確認のしかた

配線、配管工事終了後、排水がうまく行なわれるか次の要領で確認してください。
(作業前にバケツやウエスを用意してください。)

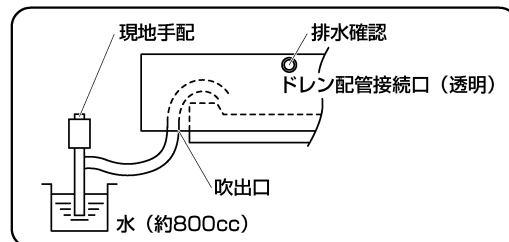
200V電源がきている場合

電装ボックス内の電源端子板 (R・S端子) に電源を接続してください。

100V電源がきている場合

昇圧トランスを使用し、電装ボックス内の電源端子板 (R・S端子) に電源を接続してください。

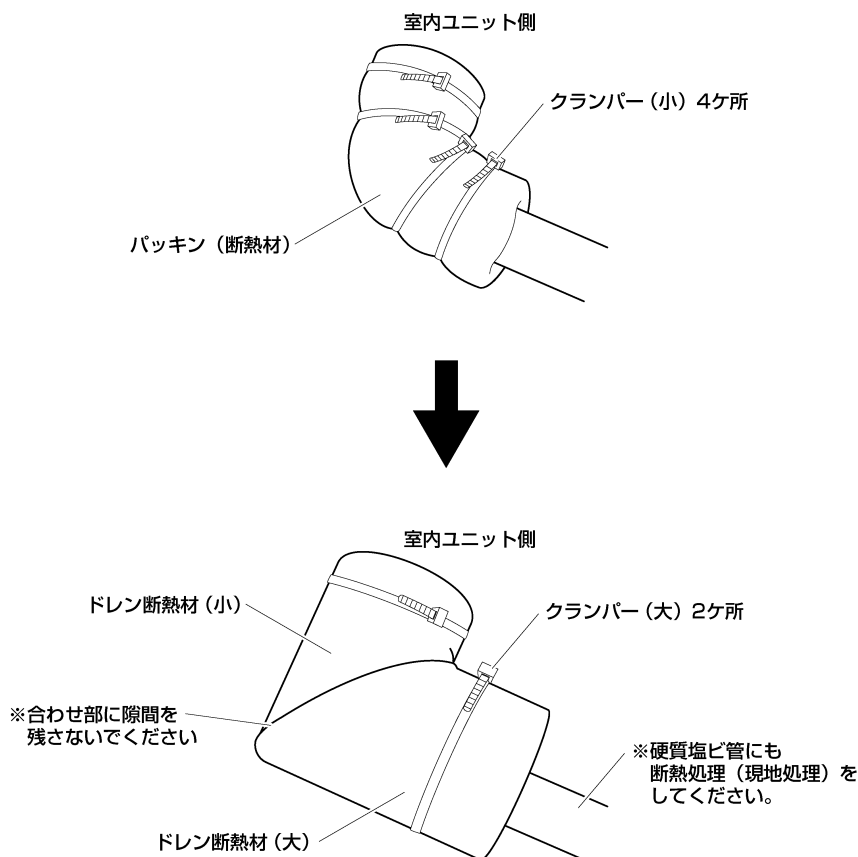
- ドレンパン部吹出口よりドレンパン内に排水確認用の水約800ccを少しずつ入れてください。
- 室内コントロール基板のCHK (2Pプラグ) ピンをワニグチクリップ等で短絡してドレンポンプを運転し、水の流れと水漏れの有無を確認してください。



⚠ 注意

- 室内コントロール基板のCHK (2Pプラグ) ピンを短絡すると、ファンも回転しますので注意してください。ケガをする恐れがあります。
- 排水確認が完了したらCHK (2Pプラグ) ピンのワニグチクリップ等をはずしてください。
- 昇圧トランスおよびドレンポンプ排水確認のための仮電源は、はずしてください。
- ドレンキャップをはずした場合、再度取り付ける際には、ドレンキャップが奥まで差し込まれていることを確認してください。きちんと取り付けないと水漏れ等の原因となります。

③ ドレン排水確認後、パッキンとドレン断熱材を巻いてください

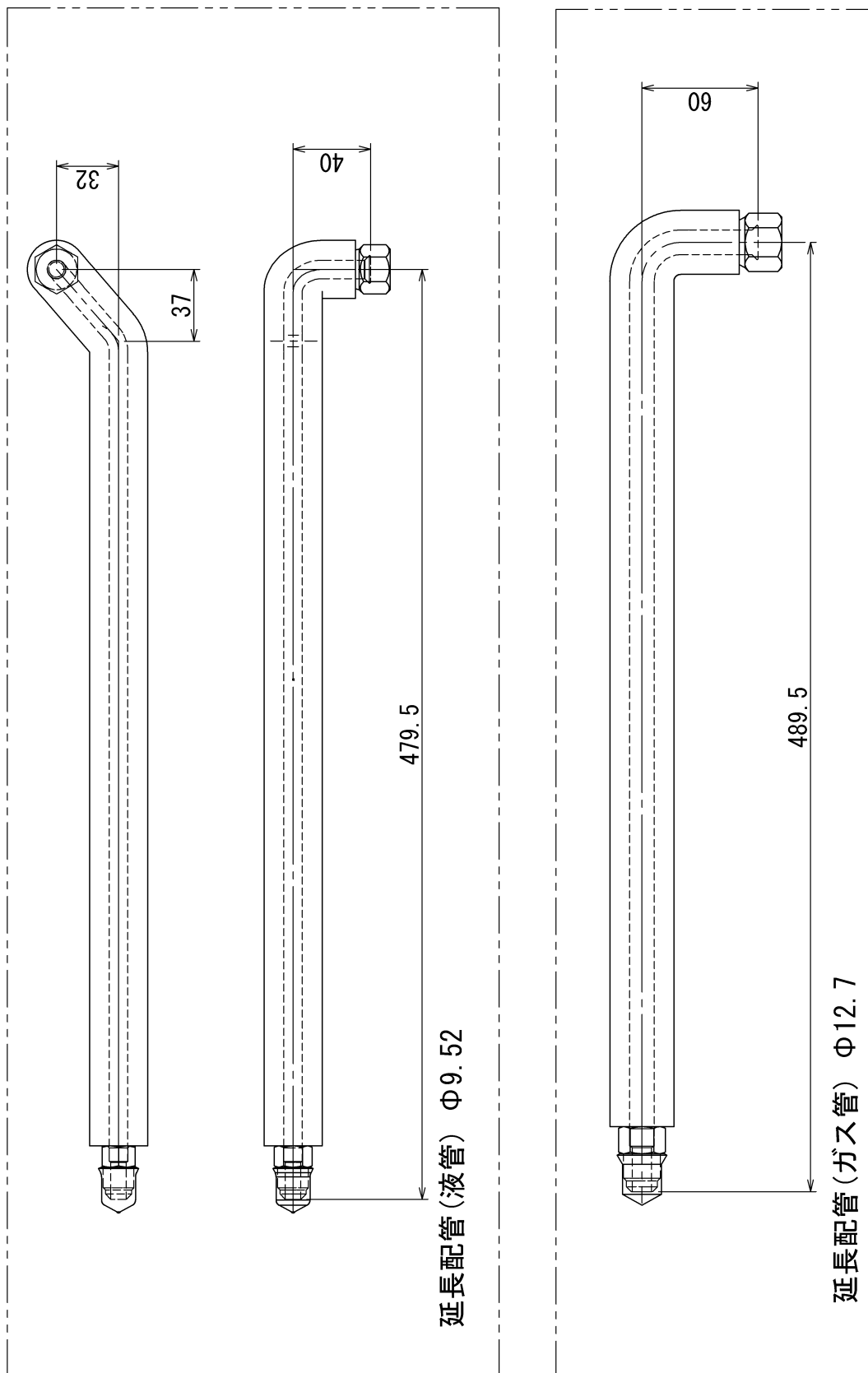


⚠ 注意

- 室内部分にあるドレン配管は必ず断熱してください。

延長配管セット (SGP-TE28JSA)

■外形寸法図

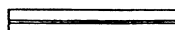


■取付手順

延長配管セットの取り扱い方

ご確認事項

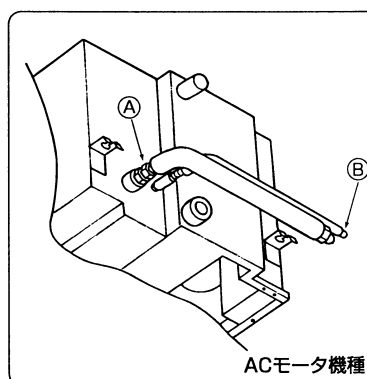
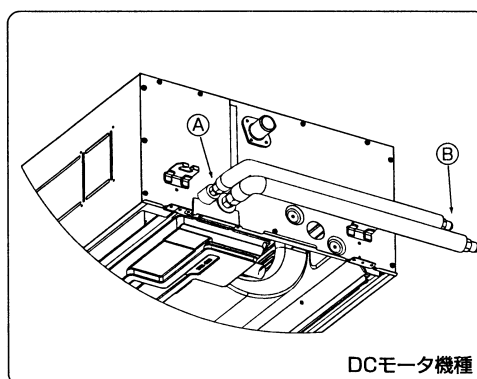
配管セットの内容をご確認ください。下記の部品が同梱されています。

部品番号	名称	形状	個数	備考	部品番号	名称	形状	個数	備考
1	冷媒配管	 (3/8")	1	液管	5	断熱テープ		2	ガス管・液管 ユニット面
2		 (1/2")	1	ガス管	6	断熱テープ	 (耐熱用 白色)	2	ガス管・液管 フレアナット部
3	フレア 断熱材		1	液管	7	ビニル クランパ		4	
4			1	ガス管					

取付手順

室内ユニットを吊る前に取付けることを推奨します。据付後は、接続部周辺に十分なスペースが得られず、フレアの締め付けが充分にできない場合があります。

- ①本体の冷媒配管接続部に、延長配管を取り付けてください。

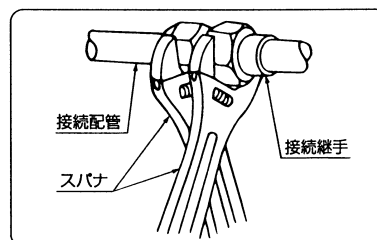


警告

- 配管継続部のフレアナットをはずすとき、および配管接続後にフレアナットを締め付けるときは、必ずスパナ2丁掛けで行ってください。締めすぎによるフレア部の破損に注意してください。フレア部等のゆるみ破損が発生した場合に、冷媒ガスが漏洩して酸欠事故の原因になります。
- フレアナットの締めすぎによるフレア部の破壊を防ぐため下表を目安に締め付けてください。
- 液側配管のフレアナットの締め付けは、呼び寸法200のモンキレンチ等で行ってください。

パイプ径	締め付けトルク (N・m)
φ9.52 (3/8")	34~42
φ12.7 (1/2")	49~61

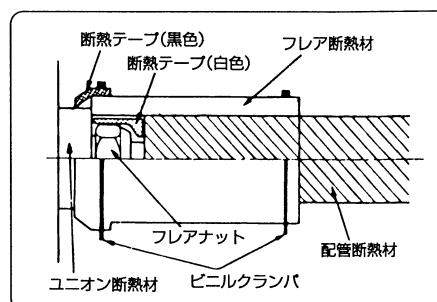
- R410A冷媒使用機種にご使用になる配管接続用フレアナットは必ず、ユニット付属のフレアナット、またはR410A用(2種)を使用してください。従来の冷媒に比べて圧力が約1.6倍高くなるため、破裂、ケガ、または冷媒漏れによる酸欠事故の原因となります。詳細は、室内ユニットに同梱されている“据付工事担当のかたへ”に従ってください。



- ②本体吊上げ後に配管接続部の断熱を行ってください。

- 配管接続部の断熱は必ずリークチェック確認後に行ってください。
- 断熱はガス管・液管とも行ってください。
 - a) フレアナット部に断熱テープ(白色)を巻き付けてください。
 - b) 配管接続部にフレア断熱材を巻き付けてください。
 - c) 結合部のすきまに断熱テープ(黒色)を巻き付けてください。
 - d) フレア断熱材の両端をビニルクランパで固定してください。

※④部の断熱は、室内ユニット本体付属の断熱材を使用し、⑤部の断熱は、当配管セット同梱の断熱材を使用してください。



DC ファンモータータップの選択(1方向天井カセット形)

ご使用になられる用途、別売品を下表1でご確認ください。

* 設定を行わない場合、風量減少、露付の原因となります。

表1 DC ファンモータータップ設定表

設定 No	リモコンの設定データ 項目コード 5d	仕様用途
	0000	標準(出荷設定)
(1)	0001	光再生脱臭フィルター
(3)	0003	デオドラントフィルター アンモニア脱臭フィルター

基板から設定する場合

＜手順＞停止中に行なってください。

- ①電装ボックスの蓋を開き、室内コントロール基板を確認してください。(図1)
- ②表1のDCファンモータータップ設定表で確認していただいた設定Noに応じて、別売品グリル取付フィルター用金具に付属の短絡コネクタ(2P:黄色)を室内コントロール基板の短絡ピンに接続してください。

設定No(1)の場合 短絡コネクタを室内コントロール基板の短絡ピンTP1(2P:赤色)に接続してください。
設定No(3)の場合 短絡コネクタを室内コントロール基板の短絡ピンTP3(2P:黄色)に接続してください。

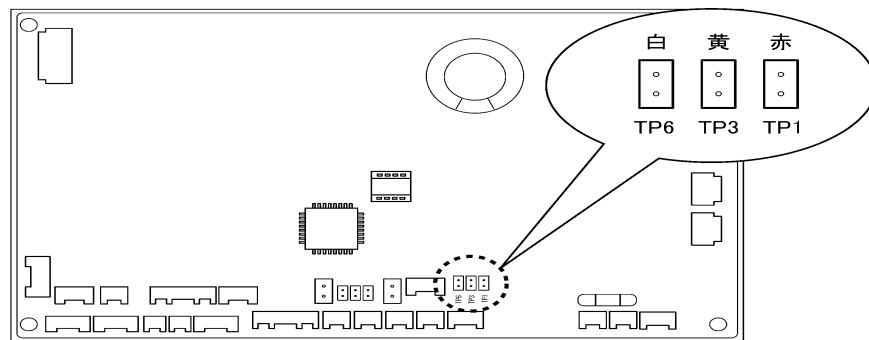


図1 室内コントロール基板

ワイヤードリモコンで設定する場合

＜手順＞停止中に行なってください。

- (1)リモコンの裏側に貼ってあるラベル(図2)をご確認ください。

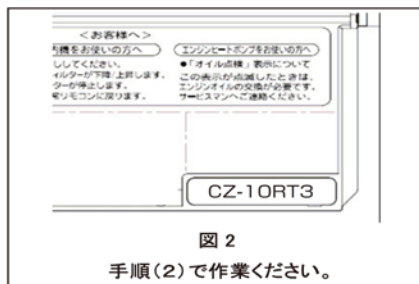


図2

手順(2)で作業ください。

(2)

- ①点検+取消+セットボタンを同時に4秒以上押します。
- ②ユニット選択ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニットNoを順次表示します。このとき、選択されている室内ユニットのみファンモーターが運転します。
- ③温度設定 ▼ / ▲ボタンで項目コード「5d」を指定します。
- ④時間 ▼ / ▲ボタンで設定データを変更します。設定データの内容は表1のようになっています。
- ⑤セットボタンを押します。(表示が点滅から点灯に変わればOK)
- ⑥点検ボタンを押します。通常の停止状態になります。

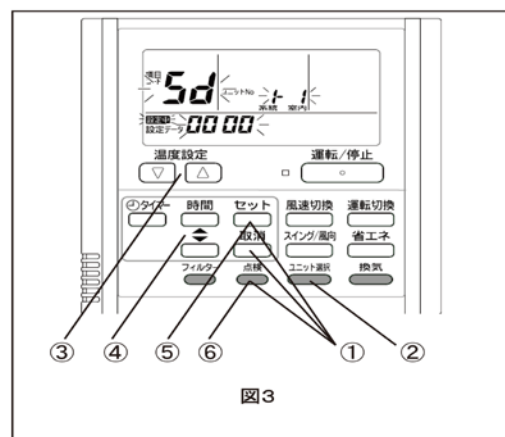


図3

(4) 高天井用 1 方向カセット形

天井パネル (CZ-03KPD3A)

■取付説明



取 付 説 明 書

- 電気配線工事は、別紙「電気工事担当のかたへ」の説明にしたがってください。

安全上のご注意

- 据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、「△ 警告」、「△ 注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

△ 警告 取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。

△ 注意 取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認すると共に“取扱説明書”にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また“据付工事担当のかたへ”、“電気工事担当のかたへ”は、“取扱説明書”と共に、お客様で保管頂くように依頼してください。

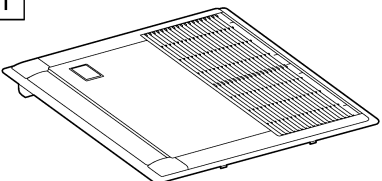
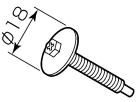
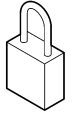
△ 警 告

- 据付、電気工事は、販売店または専門業者に依頼してください。ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
- 据付工事は、“据付工事担当のかたへ”“電気工事担当のかたへ”に従って確実に行ってください。据え付けに不備があると、冷媒漏れ、水漏れ、感電、火災等の原因になります。
- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」および“据付工事担当のかたへ”“電気工事担当のかたへ”に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。電気回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
- 据え付けは、重量に十分耐える所に確実に行ってください。強度が不足している場合は、ユニットの落下により、けがの原因になります。
- 作業中に冷媒ガスが漏れた場合は換気をしてください。冷媒ガスが火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
- 設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認してください。冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

△ 注 意

- 可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わないでください。万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。

構成部品

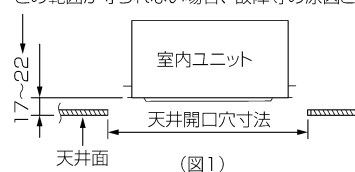
品名	天井パネル	取付説明書	座付ねじ	ビス	ビス	短絡コネクタ
個数	1	2	4 M5X40	2 4X12	2 4X35	1 (2P黄色)
形状		 DCファントップ変更手順  本説明書		 サイドパネル固定用	 パネル前後 中央部固定用	 高天井設定時使用

1. 天井パネル取付前の準備

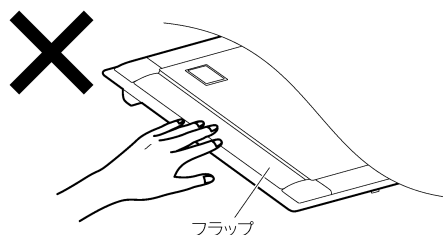
(1) 室内ユニット位置の確認

- ① 天井開口穴が下記寸法であるか確認します。
1190mm×760mm
 - ② 天井面と室内ユニットの位置が図1のようになっているか確認します。天井面と室内ユニットの位置が合わないと風もれや水もれおよびフラップの作動不良等の原因となります。
- パネルを下向きに置くことや、立掛け、突起物の上への放置は表面に傷がつきますので絶対にしないでください。
 - フラップに無理な力を加えないでください。
(フラップの故障の原因となります)。

必ず室内ユニットの吊金具下面と天井面の寸法が17~22の範囲に調整すること。
この範囲が守られない場合、故障等の原因となります。



(図1)



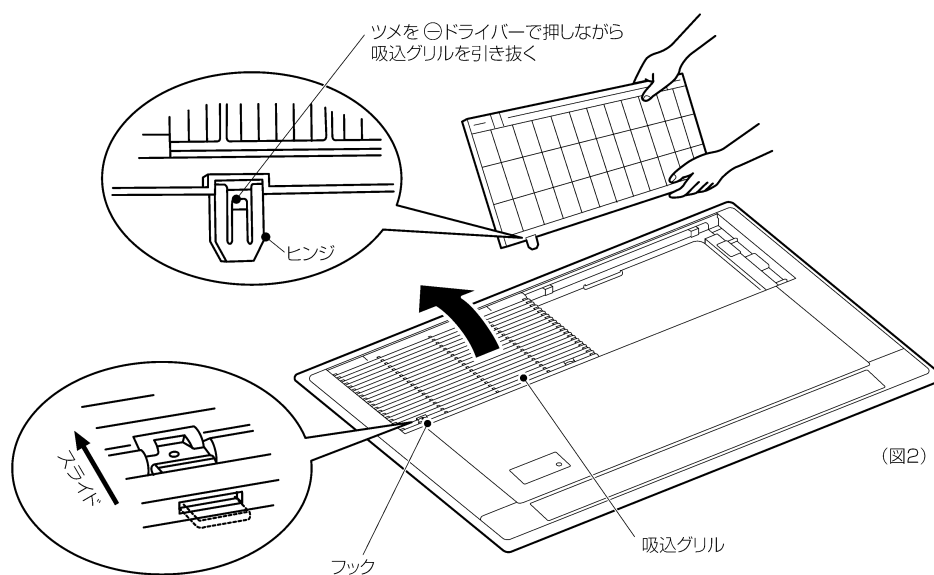
2. 室内ユニットへの取り付けかた

(1) 吸込グリルの取り外し

吸込グリル取り外し

吸込グリルのフック(2カ所)を矢印方向にスライドし、吸込グリルを開いてください。

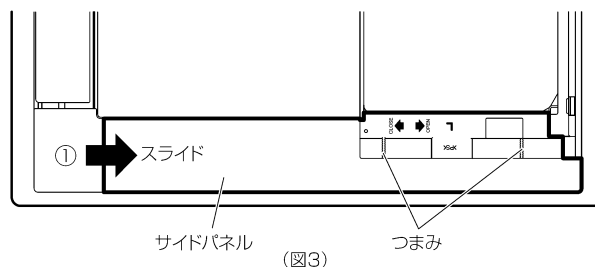
吸込グリルを開いた状態で、後部ヒンジ(2カ所)のツメ部を ⊖ドライバーで押して吸込グリルを引き抜いてください。(図2)



(図2)

(2) サイドパネルの取り外し

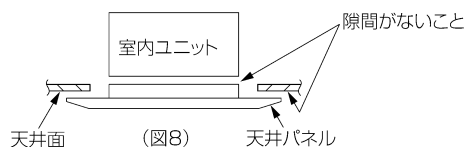
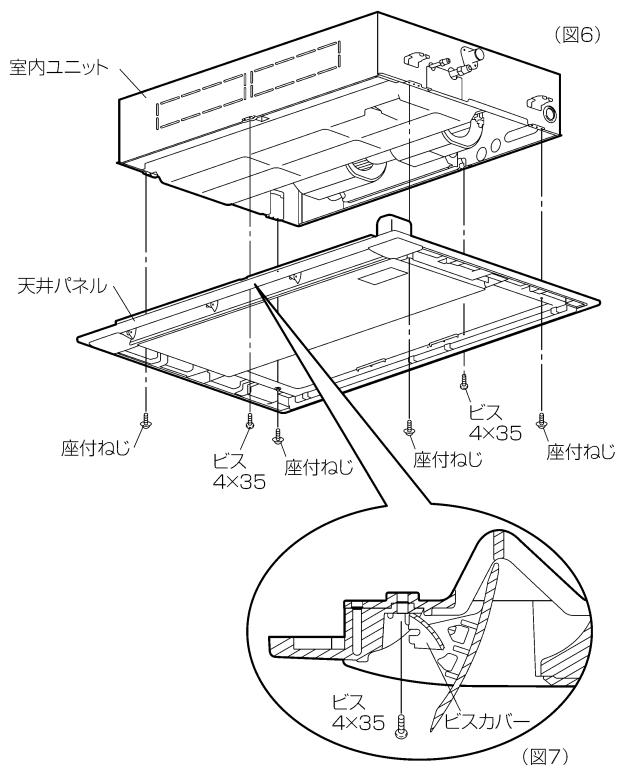
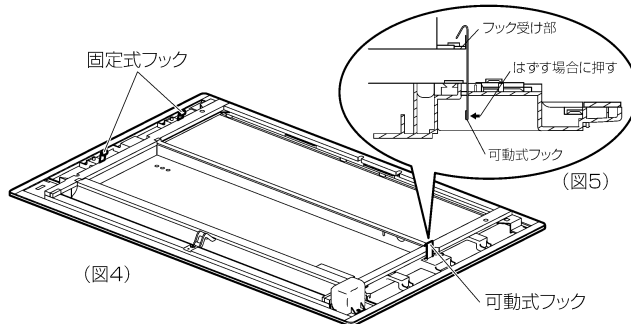
サイドパネルを矢印①の方向へスライドし、取り外します。(左右2カ所)(図3)



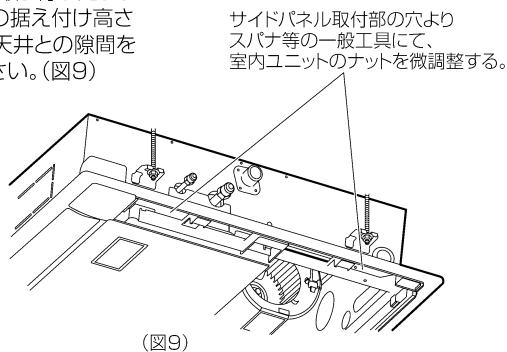
(図3)

(3) 天井パネルの取り付け

- ① 天井パネル両サイドに付いているフックを本体に引っ掛けます。フックは片側(2ヵ所)が固定式、もう一方が可動式となっています。(図4)
- ② パネルをやや斜めにしてパネルの固定式フックを本体側面のフック受け部に引っ掛けます。
- ③ フックがかかっていることを確認したらパネルのもう一方を天井パネルが水平になるように押し上げ、可動式フックが本体のフック受け部に掛かるまで押し上げてください。
- ④ 天井パネル両側のフックが本体に確実に掛かっていることを確認してから手を放してください。
これでパネルが本体に仮止めされています。
- はずす場合は天井パネルを支えながら可動式のフックを内側に押してください。(図5)
- ⑤ パネルの取付穴と本体のねじ穴を合わせます。
- ⑥ 付属の座付ねじでパネル取付部の4ヵ所を本体に密着するまで締め込みます。(図6)
- ⑦ パネル中央部(前後2ヵ所)を付属のビスで締め込みます。吹き出し部中央は図のようにビスカバーを開け、ビス固定後、閉めてください。(図7)
- ⑧ パネルが天井に密着したことを確認します。
- この時、室内ユニットと天井パネル、および天井パネルと天井面との間に隙間がないようにしてください。(図8)

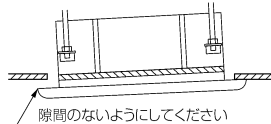
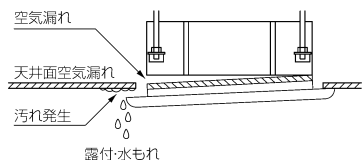


- 天井との隙間が生じた場合、天井パネルを取り付けたまま、室内ユニットの据え付け高さを微調整し、天井との隙間を無くしてください。(図9)

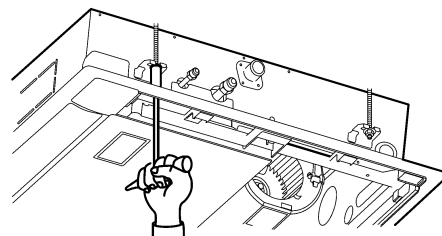


ご 注 意

- ねじの締め込みが不十分な場合、下図のような不具合発生の原因となりますので確実に締め込んでください。
- ねじを締め込んでも天井面と天井パネルとの間に隙間ができる場合は室内ユニットの高さを再調整してください。

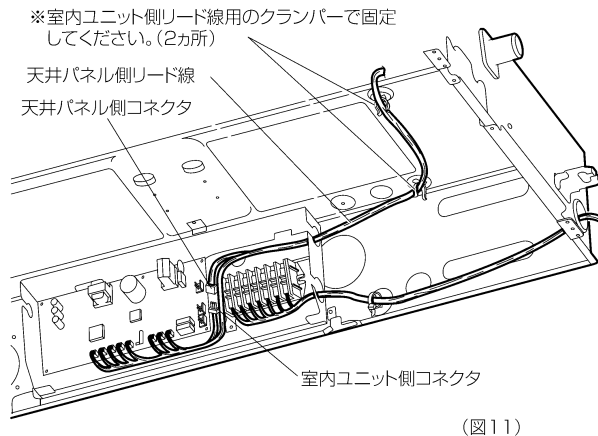
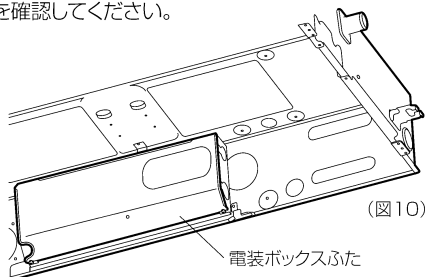


室内ユニットの水平度、ドレン配管等に影響がでない程度であれば天井パネルのサイドパネル取付部の穴より天井パネルを付けたまま本体の高さ調整ができます。



(4) 天井パネルの配線方法

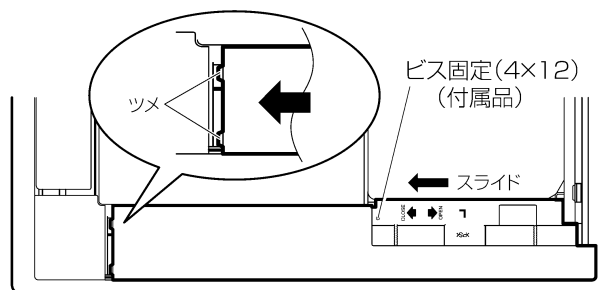
- ① 電装ボックスのふたを取り外してください。(図10)
- ② 天井パネルから出ている配線コネクタ7P(赤)を本体側リード線クランパー(2カ所)で固定してから室内ユニットの電装ボックス内のコネクタに接続してください。(図11)
- コネクタを接続しないと、オートフラップが動作しないので、確実に接続してください。
- 配線コネクタが電装ボックスとふたの間にはさみ込んでいないことを確認してください。
- 配線コネクタが室内ユニットと天井パネルの間にはさみ込んでいないことを確認してください。



(5) サイドパネル・吸込グリルの取り付け

A. サイドパネルの取り付け

- ① サイドパネルを矢印の方向へスライドし、サイドパネルを取り付けます。(図12)
- ② サイドパネルを天井パネルに、付属のビス(4×12)で取り付けてください。

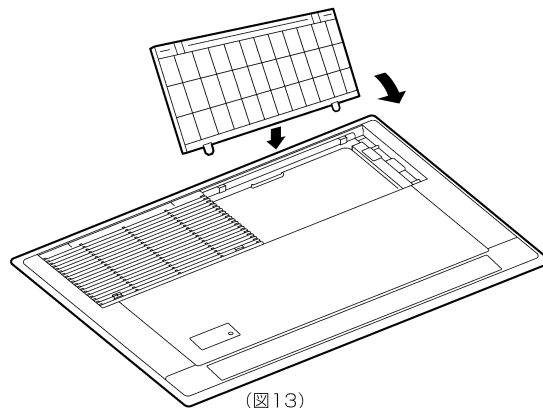


サイドパネルの爪を天井パネルに引っかけるようにスライドして取り付けたのち、付属のビス(4×12)で固定して下さい。

(図12)

B. 吸込グリルの取り付け

- 取付方法は吸込グリルの取り外しの項と逆に作業を行ってください。
- 吸込グリルを取り付ける際、フラップのリード線をはさみ込まないように注意してください。(図13)



3. その他

A. 据え付け後の確認

- 室内ユニットと天井パネル、および天井パネルと天井面に隙間のないことを再確認します。
※ 隙間があると水もれや露付の原因となります。
- 配線接続が確実にされていることを確認します。
※ 接続されてないとオートフラップが動かない(リモコンにP09の表示が出ます)、また水もれや露付等の原因となります。

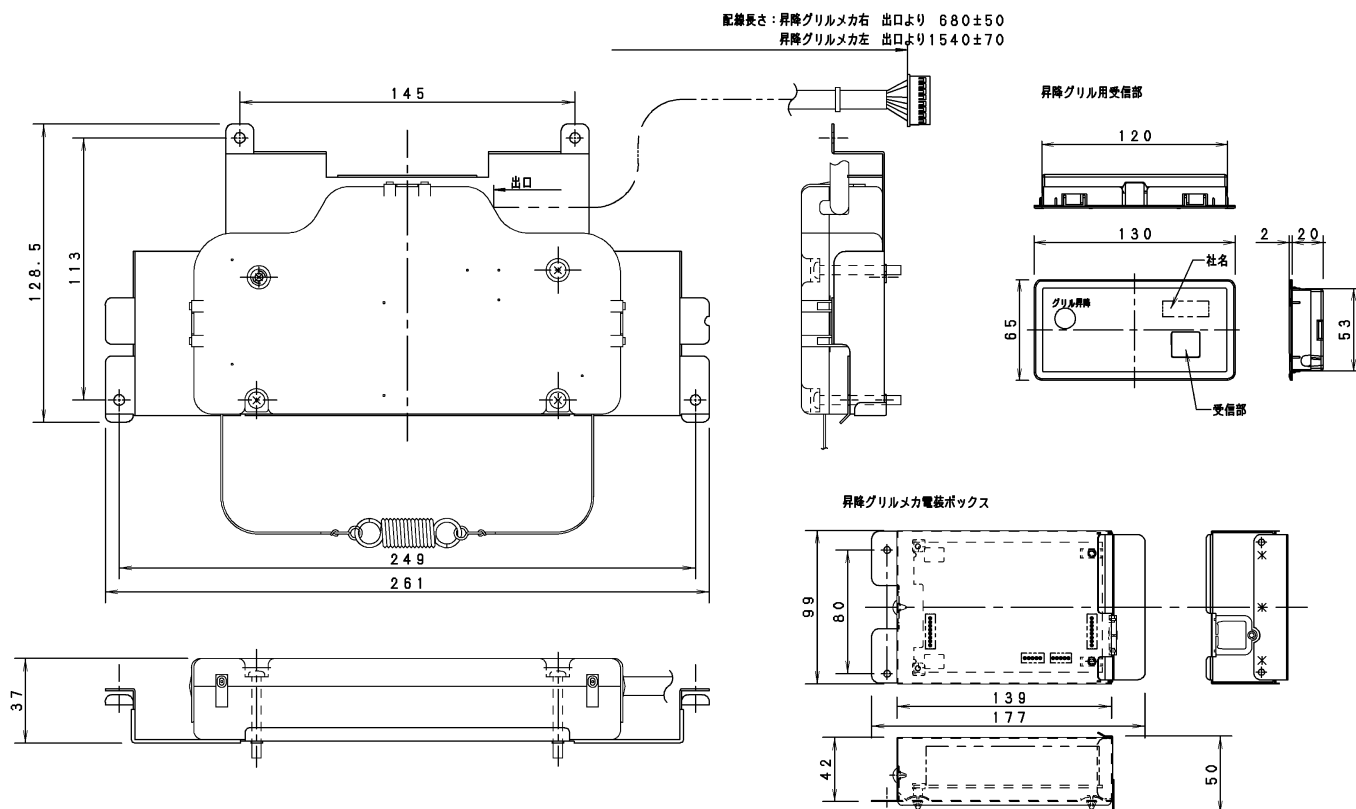
B. ワイヤレスリモコン対応の場合

- 取付方法の詳細は、別売品ワイヤレスリモコン本体組込受信部タイプに付属の据付説明書を参照してください。

上記項目を確認した後、この説明書と室内ユニットおよび別売部品の説明書等の一式全てをお客様へ渡してください。その際、室内ユニットの取扱説明書に記載されたフィルターの清掃の説明を必ずお客様へしてください。

昇降グリルメカキット (CZ-06KSKD3)

■外形寸法図



■取付説明



昇降グリルメカキット取付説明書

- 電気配線工事は、別紙「電気工事担当のかたへ」の説明にしたがってください。

安全上のご注意

- 据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
 ■ ここに示した注意事項は、「△警告」、「△注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。



警告

取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。



注意

取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認すると共に「取扱説明書」にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また「据付工事担当のかたへ」、「電気工事担当のかたへ」は、「取扱説明書」と共に、お客様で保管頂くように依頼してください。

△ 警告

- 据付、電気工事は、販売店または専門業者に依頼してください。ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
 ● 据付工事は、「据付工事担当のかたへ」「電気工事担当のかたへ」に従って確実に行ってください。据え付けに不備があると、冷媒漏れ、水漏れ、感電、火災等の原因になります。
 ● 電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および「据付工事担当のかたへ」「電気工事担当のかたへ」に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。電気回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。
 ● 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
 ● 据え付けは、重量に十分耐える所に確実に行ってください。強度が不足している場合は、ユニットの落下により、けがの原因になります。
 ● 作業中に冷媒ガスが漏れた場合は換気をしてください。冷媒ガスが火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
 ● 設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認してください。冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

△ 注意

- 可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わないでください。万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。

構成部品

品名	昇降メカA	昇降メカB	取扱説明書	取付説明書	電装ボックス	受信部	ビス	コードクランプ	ブッシング
個数	1 (短配線)	1 (長配線)	1	2	1	1	11 4×10	2	1
形状				 本説明書 ワイヤレスリモコン併用の場合				 2個 1個	 高天井用1方向カセット形のみ使用

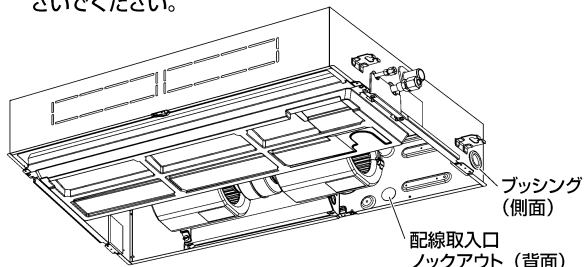
高天井用1方向カセット形に取り付ける場合

1. 昇降グリルメカキット取り付け前の準備

1. 室内ユニットの配線取入口変更

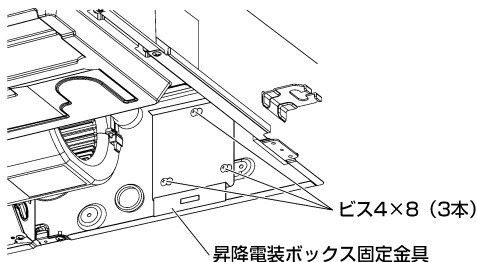
配線取入口ノックアウト穴(背面)を開け、付属のプッシングを付けてください。また、プッシングは外れないように接着剤で接着してください。

※側面のプッシングに穴が開いているときは、パテ等ですき間をふさいでください。



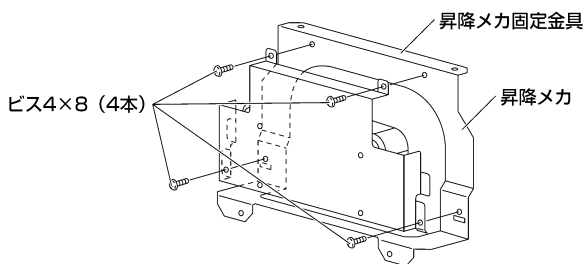
2. 昇降電装ボックス固定金具の取り付け

昇降グリル固定金具に付属の昇降電装ボックス固定金具を、昇降グリル固定金具に付属のビス4×8(3本)で室内ユニットに取り付けてください。



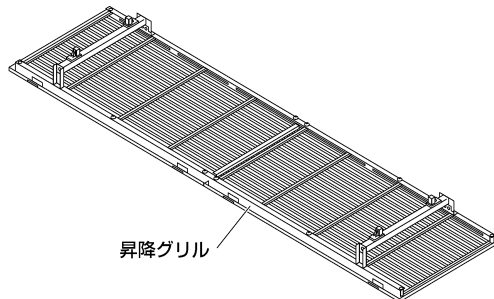
3. 昇降メカ固定金具の取り付け

昇降グリル固定金具に付属の昇降メカ固定金具と、昇降メカを昇降グリル固定金具に付属のビス4×8(4本)で取り付けてください。
※昇降メカAと昇降メカBの両方とも取り付けます。



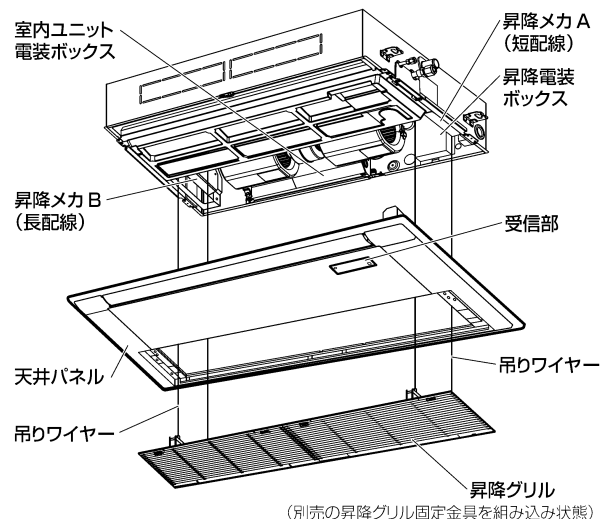
4. 別売部品の昇降グリル固定金具で昇降グリルを組み立てる

昇降グリルの組立方法は、昇降グリル固定金具に付属している取付説明書に従って組み立ててください。



〈注意〉吸込グリルに使用していたフック・ヒンジは応急時に使用しますので、お客様で保管いただくように依頼してください。
室内ユニットに取り付けしないでください。

昇降メカ取付図



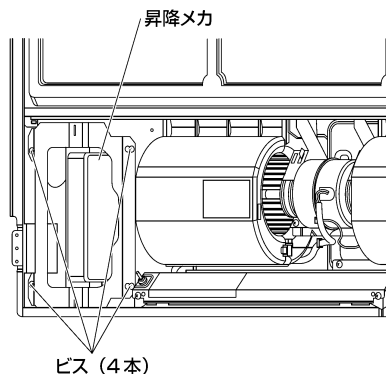
2. 昇降メカの取り付け

1. 取り付け前の準備で組み立てた昇降メカを付属のビス(4本)で取り付けます。

※昇降メカは左右違いますのでご注意ください。

※昇降メカの吊りワイヤーとばねの入ったビニール袋は、工事が終わるまで取りはずさないでください。

※昇降メカを取り付けの際に周囲のプッシング等に、緩衝しないように取り付けてください。



3. 昇降高さおよび機種切替の設定のしかた

1. 昇降電装ボックスのビス（1カ所）をゆるめ、カバーをはずしてください。
2. ご使用になる高さにあわせて、下図のように基板上的スイッチを設定してください。
出荷時は2.0m天井吊形の設定になっています。高天井用1方向カセット形は必ず4をON（1）にしてください。

グリル下降距離設定 (SW1)
(出荷時設定=2.0m天井吊形)

[m]	1	2	3	※ 4
1.0	0	0	0	1
1.5	1	0	0	1
2.0	0	1	0	1
2.4	0	1	1	1
2.7	1	1	0	1
3.1	1	1	1	1

※ 4は機種の切替です。高天井用1方向カセット形はON（1）にしてください。

3. 昇降電装ボックスを室内ユニットに取り付けてください。
取り付け前の準備で室内ユニットに取り付けた昇降電装ボックス固定金具の差し込み部に昇降電装ボックスを差し込み、付属のビス（2カ所）で固定してください。

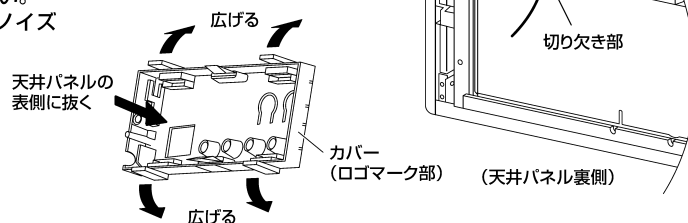
4. 受信部の取り付け

1. 室内ユニットの電装ボックスのカバー取付ビス（2カ所）をゆるめてカバーをはずします。
2. 受信部を天井パネルに取り付けます。
 - ① 天井パネルに取り付けてあるカバー（ロゴマーク部）を固定部のツメを広げながら表側に抜きます。
 - ② 受信部を天井パネルに取り付けます。（受信部の突起が天井パネルのツメで固定されます。）
 - ③ 受信部のリード線を天井パネル裏側のリブに沿って押し込み、切り欠き部に通します。
 - ④ 天井パネルを室内ユニットに取り付けます。
 - ⑤ 天井パネルから出たリード線は室内ユニット天面のクランパーで固定します。

ワイヤレスリモコンをご使用になる場合は、別紙の“昇降グリルメカキットとワイヤレスリモコンを併用する場合”の説明書に従って取り付けてください。

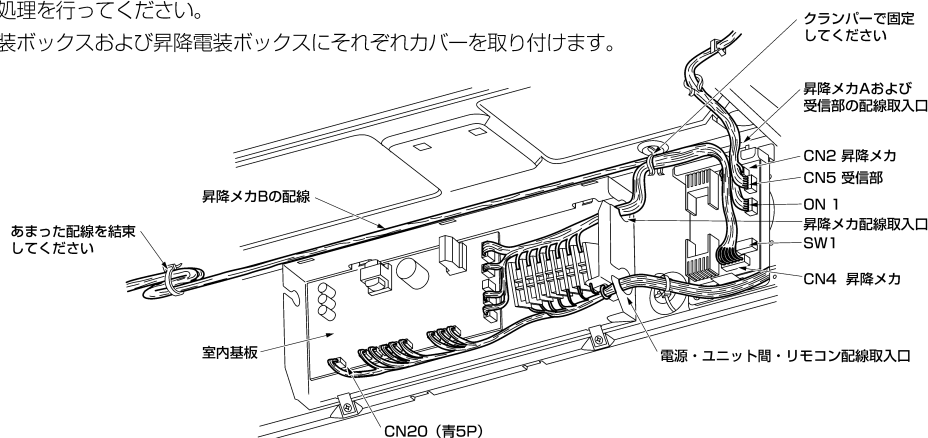
〈注意1〉 受信部の配線は電源引込線などといっしょにより合わせると誤作動の原因となりますので避けてください。

〈注意2〉 ユニット電源にノイズを誘導している場合は、ノイズフィルターを取り付ける等の処置が必要です。



5. 配線のしかた

1. 昇降メカから出ている配線コネクタを昇降電装ボックスに接続します。それぞれ昇降メカA（短配線）をCN2、昇降メカB（長配線）をCN4に接続します。
2. 受信部から出ている配線・コネクタを昇降電装ボックスのCN5に接続します。
3. 昇降電装ボックスのCN1から出ている配線コネクタを室内ユニットのCN20（GRL）コネクタに接続します。
4. 下図のように配線処理を行ってください。
5. 室内ユニットの電装ボックスおよび昇降電装ボックスにそれぞれカバーを取り付けます。



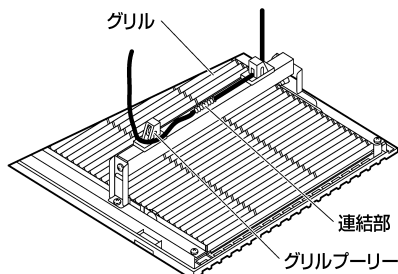
6. 昇降グリルの取り付け

昇降メカに貼り付けてあるビニール袋から吊りワイヤーとばねを取り出してください。

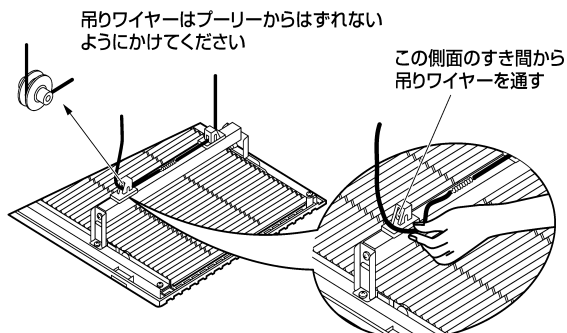
1. 図のようにグリルブリーへ吊りワイヤーを確実に通してください。

- 取り付けが終わったらもう一度次の確認をしてください
 - ・吊りワイヤーの連結部がはずれかけていませんか
 - ・グリルの吊りワイヤーが配線などと接触していませんか
 - ・吊りワイヤーがブリーからはずれたり、はさまったりしていませんか

グリルの吊り方



グリルブリーへの吊りワイヤーの通し方



2. 通電の有無で次の対応を行ってください。

エアコンに電源が通電されている場合

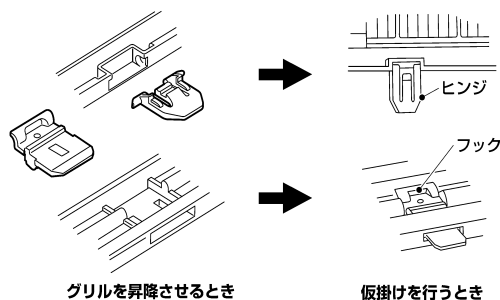
- ① 吸込グリルのフック (2カ所) をはずして、昇降グリル固定金具に付属しているシールを貼り付けてください。
ヒンジはそのまま取りはずしてください。
ヒンジ・フックは、取付説明書と一緒に保管してください。
- ② ヒンジ・フックが取り付けられていないのを確認し、昇降用リモコンで吸込グリルを上昇させます。

エアコンに電源が通電されていない場合

- ① 電源が通電されるまで吸込グリルに取り付けてあるフックとヒンジをそのまま使用し、ワイヤーが外に出ないように吸込グリルを取り付けてください。
- ② 通電されたら、必ず上記の“エアコンに電源が通電されている場合”の説明に従い、作業を行ってください。

ヒンジ・フックの取り付け方 (応急時)

仮掛けを行う場合には、室内ユニットのグリルに取り付けてあったフックおよびヒンジを使用してください。



7. 据え付け後の設定・その他

(1) 据え付け後の確認

- 配線接続が確実にされていることを確認します。
※接続されていないと、グリルの昇降動作ができなくなります。

(2) 昇降グリルをワイヤードまたはタイマーリモコンから操作するための設定方法

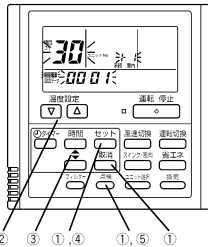
ワイヤード (タイマー) リモコンの **フィルタ** ボタンでグリルを操作するためには必ずワイヤード (タイマー) リモコンから下記設定を行なってください。
この設定をしないと **フィルタ** ボタンを長押ししても“この機能は使用できません”または“**⊘**”が表示されます。

- ① **点検** + **取消** + **セット** ボタンを同時に4秒間以上押します。

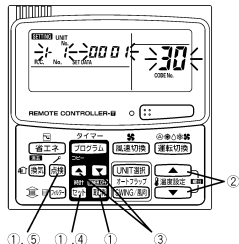
※昇降グリルを設置している室内ユニットを含むグループ制御を行なう場合は親機に対して設定する必要があります。最初に表示されるユニットNoはグループ制御の親機の室内ユニットアドレスですので **ユニット選択** ボタンを押さないでください。

- ② 温度設定 **▲** / **▼** ボタンで項目コード「30」を指定します。
- ③ 時間 **▲** / **▼** ボタンで設定データを「0000」から「0001」に変更します。
- ④ **セット** ボタンを押します。(表示が点滅から点灯に変わればOK)
- ⑤ **点検** ボタンを押します。通常の停止状態になります。**フィルタ** ボタンを4秒間以上押しで液晶表示部に“フィルター **昇降**”または“**⊘**”と表示されることを確認してください。再度 **フィルタ** ボタンを4秒間以上 (または、2回) 押すと通常の停止状態に戻ります。

ワイヤードリモコン



タイマーリモコン



ワイヤレスリモコン対応の場合

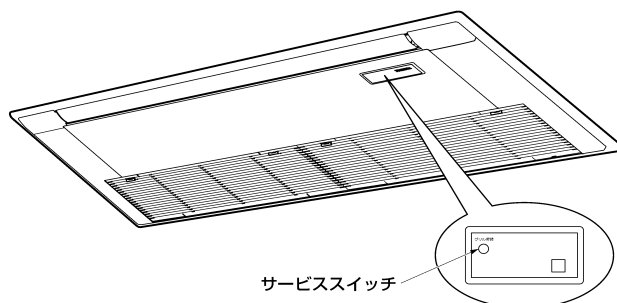
- 別売品の昇降操作専用リモコンでも昇降グリルの操作が可能です。
- 別売ワイヤレスリモコン (本体組込受信部タイプ) を併用する場合は、別紙「昇降グリルメカキットとワイヤレスリモコンを併用する場合」を参照してください。

(3) 据え付け後の動作確認

- (2) の設定終了後に、動作確認を行って下さい。
- 電源投入時、初めて操作した場合は、下げるを押しても上昇動作をします。
- 昇降グリルが室内ユニットにきちんと収まると、収納動作を2回くり返した後、モーターが停止します。
- 昇降メカA、Bの吊りワイヤーの長さが異なる条件でグリルを上昇した場合、グリルが収納できずに途中で停止することがあります。このような場合はグリルブーリーから吊りワイヤーがはずれていないことを確認してから、再度グリルを上昇させてください。

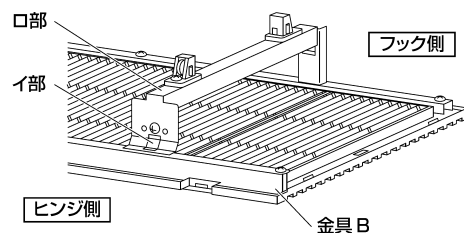
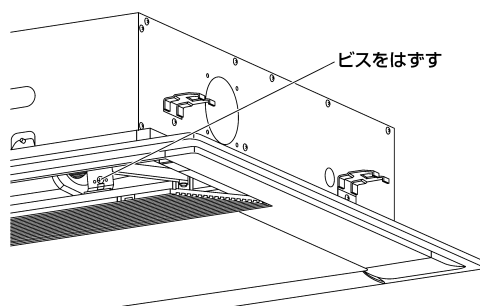
(4) サービス時

- リモコン（ワイヤード・昇降操作専用リモコン・ワイヤレス）を使用しなくても、右図のサービススイッチにて、昇降が可能です。サービススイッチは押すごとに、上昇、停止、下降をくり返します。

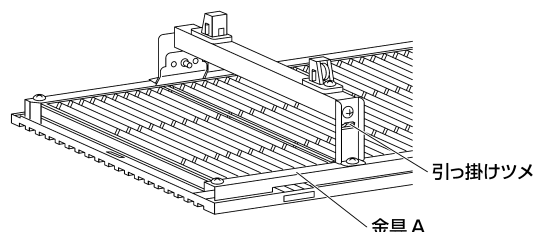
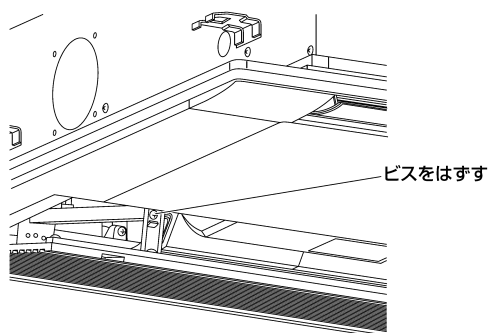


昇降グリルが動作しない場合（故障および停電時）の取りはずし方法

- ① 昇降グリルのヒンジ側を引き下げてブーリー台のイ部を押さえながらビスをはずし、ブーリー台と金具Bをはずします。
(ブーリー台はばねで上に戻りますが、イ部を押えている指がはさまらないように、反対の手で口部に持ち替えてから静かに戻してください。)



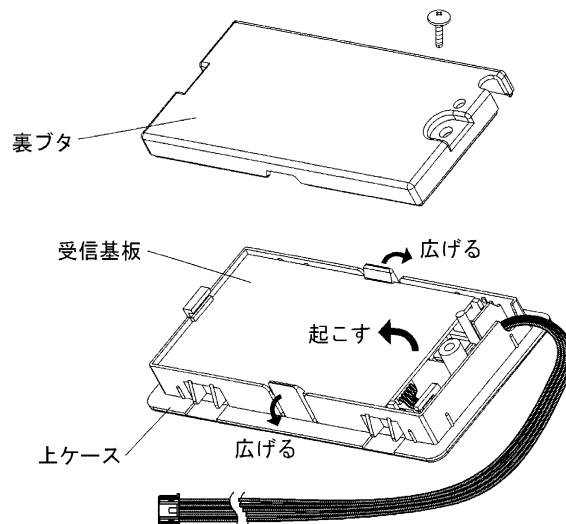
- ② 昇降グリルのフック側を引き下げて金具Aを押えながらビスをはずします。
- ③ 引っ掛けツメをはずして昇降グリルを取りはずします。



上記項目を確認した後、この説明書とユニット本体および別売部品の説明書等の一式全てとヒンジ・フックをお客様へ渡してください。
その際、ユニット本体の取扱説明書に記載されたフィルターの清掃の説明を必ずお客様へしてください。

■昇降グリルメカキットとワイヤレスリモコンを併用する場合

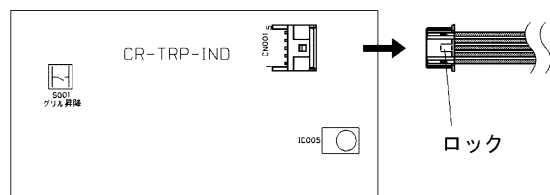
①昇降グリルメカキット付属の受信部およびワイヤレスリモコンの受信部の裏ブタをはずします。
(右の図は昇降グリルメカキット付属の受信部の例です)



②それぞれの受信基板を上ケースからはずします。このとき、基板両サイドの爪を広げながら、配線側を起こすようにはずしてください。

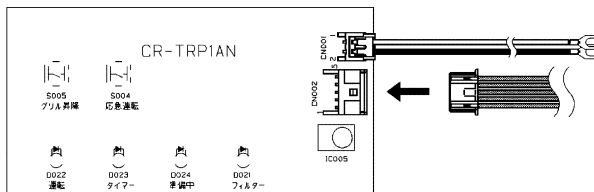
③昇降グリルメカキット付属の受信基板から配線をはずします。コネクタにはロックがありますので、押さえながら抜いてください。

昇降グリルメカ付属の受信基板

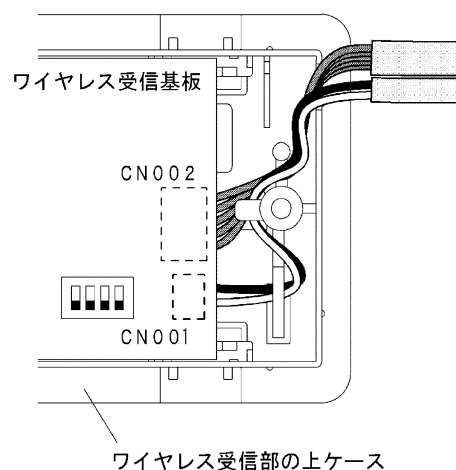


④昇降グリルメカキット付属の受信基板からはずした配線を、ワイヤレス受信基板のCN002に接続します。コネクタがロックするまでしっかりと挿入してください。

ワイヤレス受信基板

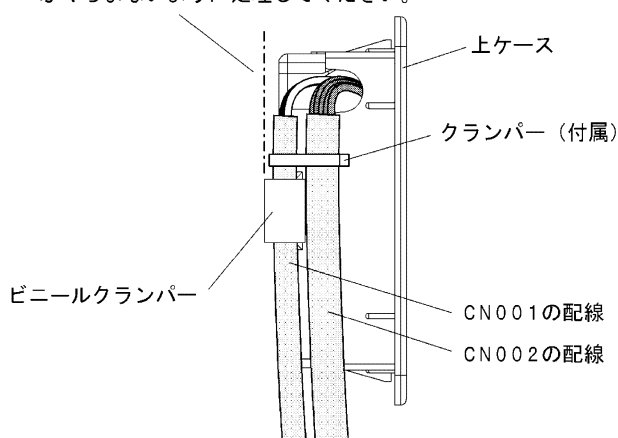


⑤ワイヤレス受信基板をワイヤレス受信部の上ケースに取り付け、それぞれの配線を下図のように処理してください。



⑥配線をはさまないように裏ブタを取り付け、CN001の配線(2本)をビニールクランパーでケースと共締めし、CN002の配線を付属のクランパーでCN001の配線と下図の位置で結束してください。

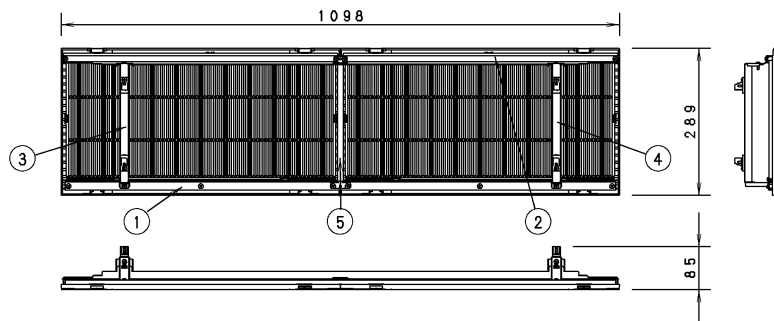
配線がケースのこの位置より上にふくらまないように処理してください。



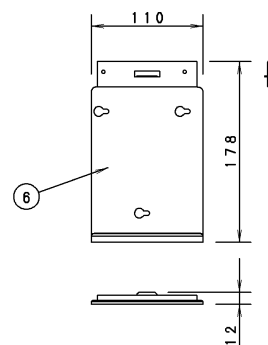
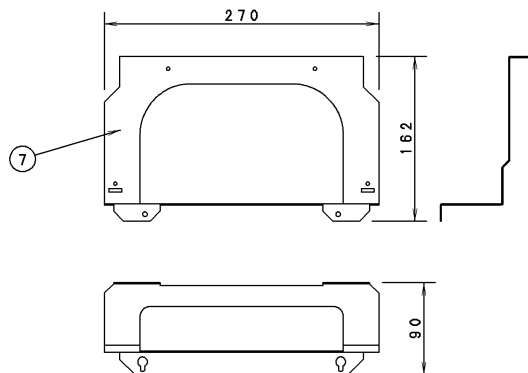
※受信部の室内ユニットへの取り付けは「天井吊形昇降グリルメカキット取付説明書」および、ワイヤレスリモコンの「据付(電気)工事担当およびサービス担当のかたへ」を参照してください。

昇降グリル固定金具 (GRL-SL80BU)

■外形寸法図



①	金具A
②	金具B
③	ブーリ台A
④	ブーリ台B
⑤	中央固定金具
⑥	昇降電装BOX固定金具
⑦	昇降メカ固定金具



■据付

高天井用一方向カセット形 昇降グリル固定金具 取付説明書

ご注意

品番: GRL-SL80BU

- ・取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。
- ・この取付説明書は昇降グリルメカキット取扱説明書と一緒に保管してください。
- ・グリル固定金具の取り付けは、必ず付属の⑤ビス(4×12)を使用してください。

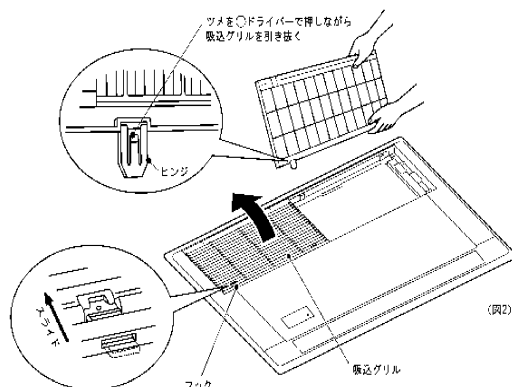
構成部品 (28～80形全機種共通)

図番	品名	形状	員数
①	金具A		1
②	金具B		1
③	プーリー台		2
④	中央固定金具		1
⑤	ビス 4×12		14
⑥	シール材	T2×20×24 (白色)	4
⑦	昇降電装箱固定金具	室内ユニットへ取り付け	1
⑧	昇降メカ固定金具	室内ユニットへ取り付け	2
⑨	ビス 4×8	⑦、⑧部品のユニットへの取り付け用	11

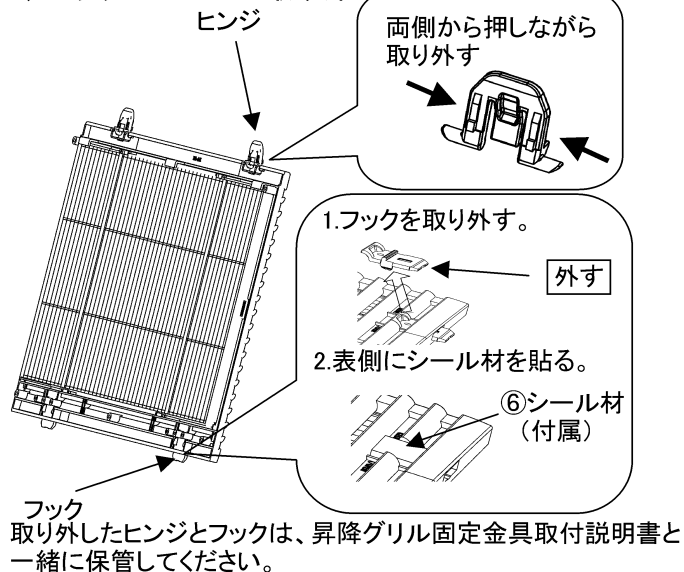
1. <昇降グリル固定金具取り付け前の準備>

(1) 吸込グリル取り外し

- ・吸込グリル固定フックを矢印方向にスライドし吸込グリルを開いてください。
- ・吸込グリルを開いた状態で、後部ヒンジのツメ部をマイナスドライバーで押しながら吸込グリルを引き抜いてください。

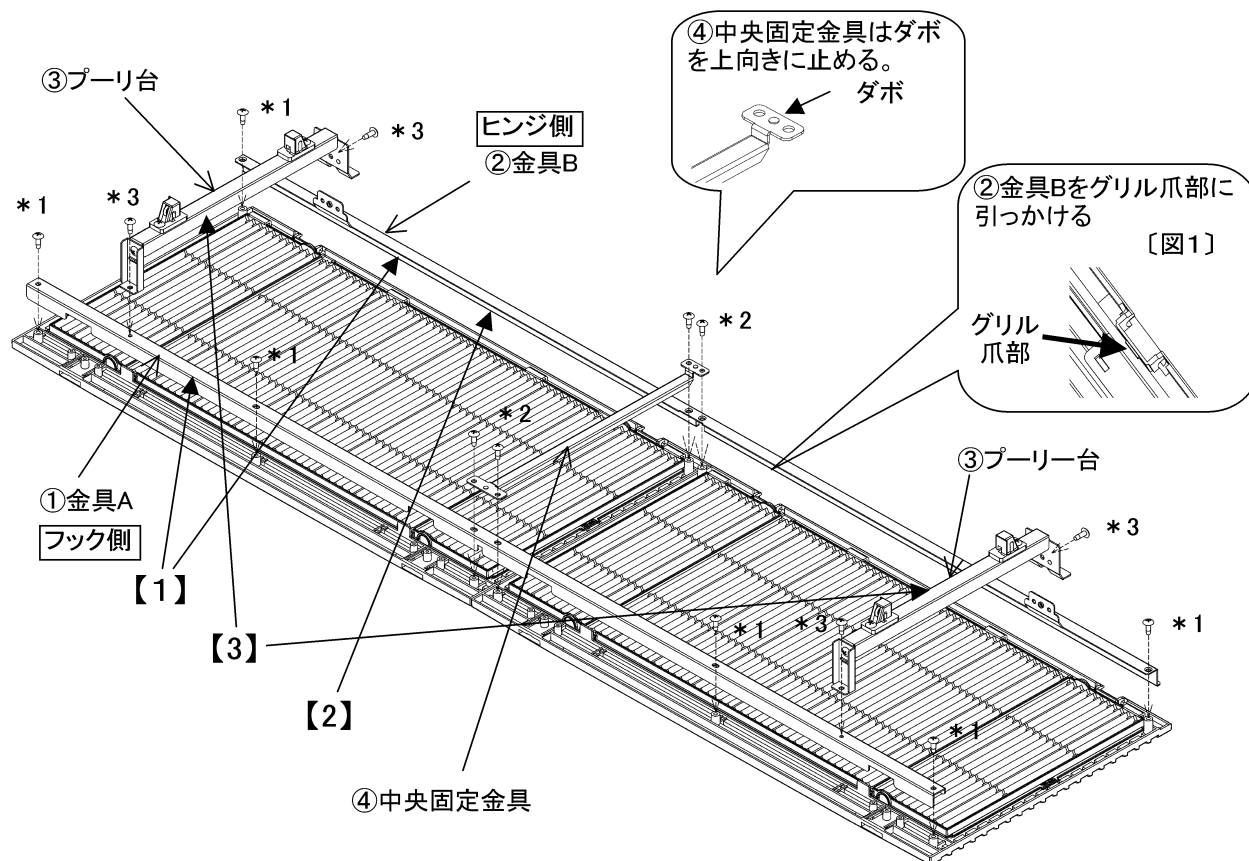


(2) フックとヒンジの取り外し



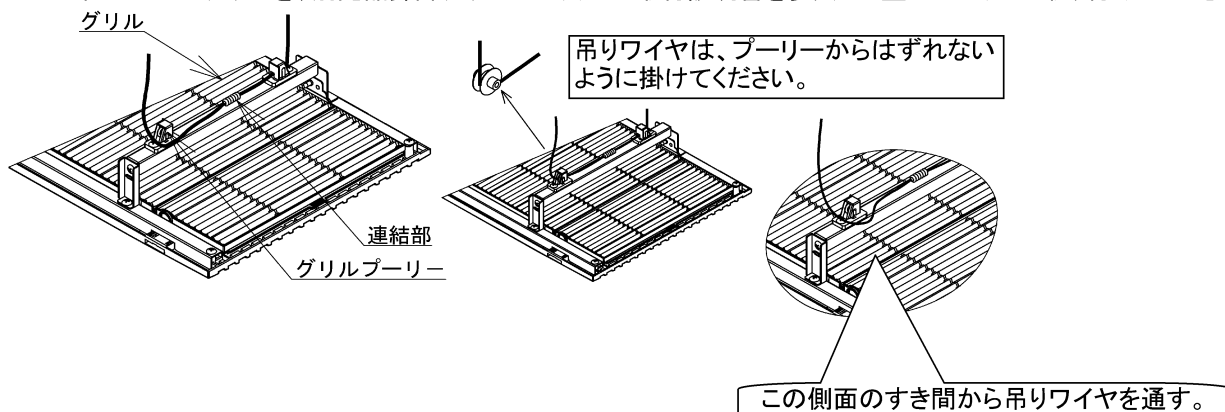
2. <昇降グリル固定金具の取り付け手順>

- 【1】グリルのフック側に①金具Aを、グリルのヒンジ側に②金具Bを*1ビス6本で止めてください。
②金具Bを乗せる際にグリル爪部に引っかけるように差し込んでください〔図1〕。
- 【2】④中央固定金具をダボが上向きになるように乗せ*2のビス4本で止めてください。
- 【3】グリル左側に③プーリー台を乗せビス*3のビス2本で止めてください。
グリル右側に③プーリー台を乗せビス*3のビス2本で止めてください。



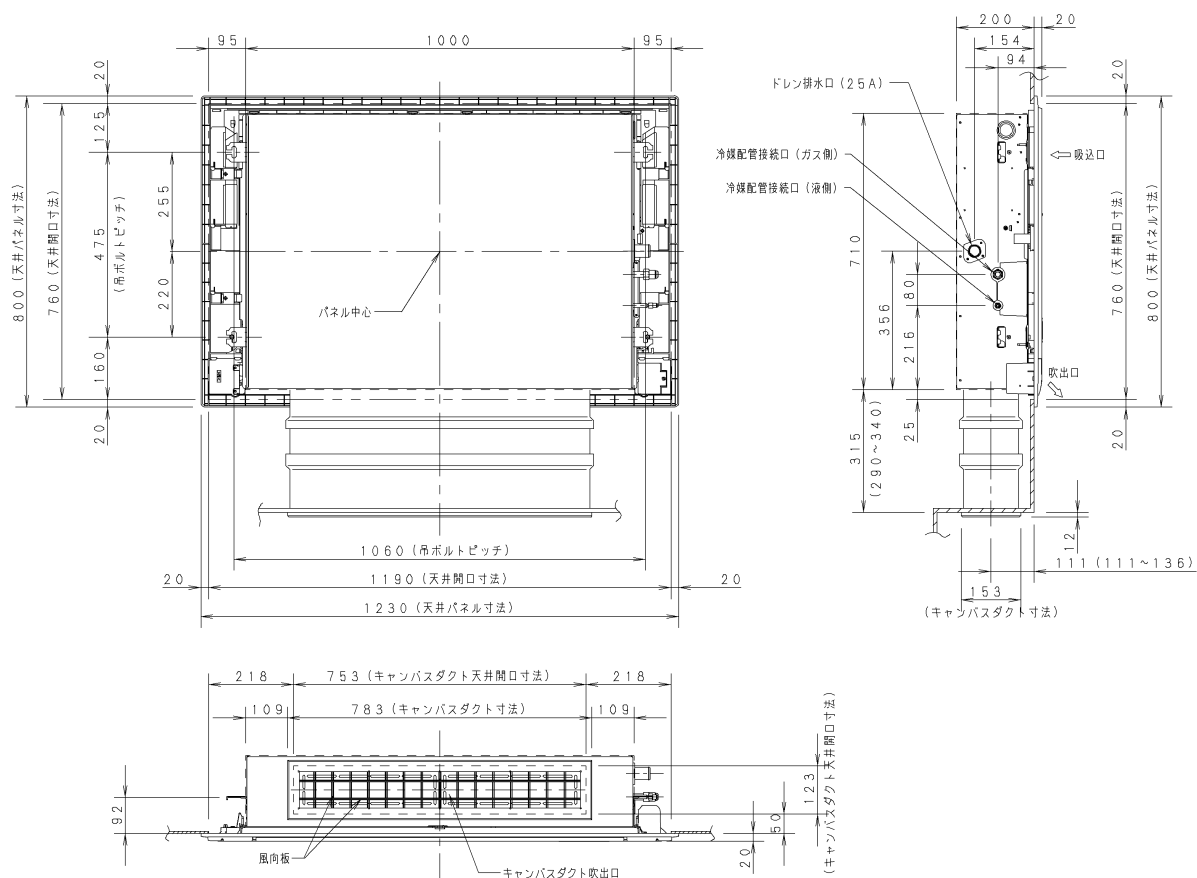
3. <室内ユニットへの取り付け方法>

2で組み立てたグリルを、別売品昇降グリルメカキットの取付説明書を参照して室内ユニットに取り付けてください。



吹出口グリル (DKT-CSL80B)

■外形寸法図



■据付

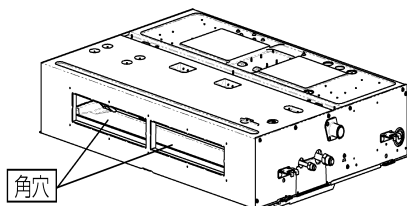
1. 構成部品

名 称	形 状	個 数	備 考
キャンバスダクト		1	
吹出口グリル		1	
断熱材①		4	室内ユニット吹出口シール用
断熱材②		2	室内ユニット吹出口シール用
断熱材③		1	室内ユニット吹出口シール用
仮掛け金具		4	ダクト仮掛け用
風向調整板		2	2方向下がり天井方式時使用
風量調整板		1	2方向下がり天井方式時使用 (両面テープ付)
しゃ風材		1	1方向下がり天井方式時使用
しゃ風材シール (長)		2	1方向下がり天井方式時使用
しゃ風材シール (短)		2	1方向下がり天井方式時使用
断熱材④ (白)		2	別売天井パネル吹出口断熱用
断熱材⑤ (白)		1	別売天井パネル吹出口断熱用
ビス		8	4×8 (仮掛け金具、 風向調整板用)
ビス		10	4×16 (ダクト用)
ね じ (黒)		4	M4×50 (グリル用)

※このキャンバスダクト・吹出口グリルのご使用方法は、「2方向下がり天井方式」および「1方向下がり天井方式」の2種類があります。
「2方向下がり天井方式」で使用する場合は、以下の手順に従ってください。
「1方向下がり天井方式」で使用する場合は、2ページをご覧ください。

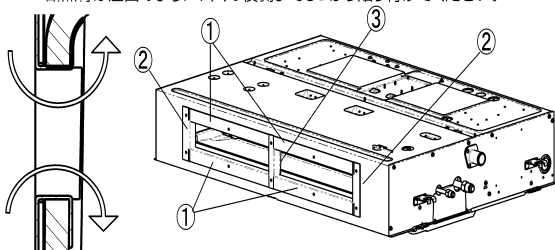
2. 「2方向下がり天井方式」で使用する場合

- (1) 室内ユニットの前面部に角穴(2ヶ所)をあけてください。
●板金のスリット部のつなぎ目をニッパ等で切断し、さらにカッターで断熱材を切り取って角穴をあけてください。



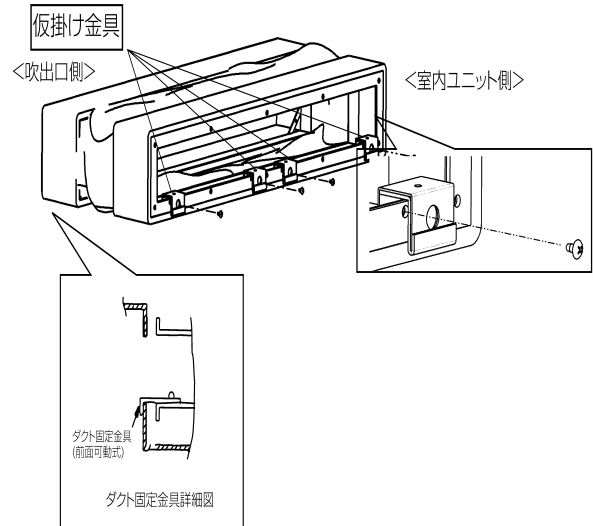
- (2) 室内ユニットに断熱材を貼り付けてください。

●図のように、断熱材①②③をビス穴に合わせて貼り付けてください。
断熱材は左図のように、穴の後側までしっかり貼り付けてください。



- (3) キャンバスダクトに仮掛け金具を取り付けてください。

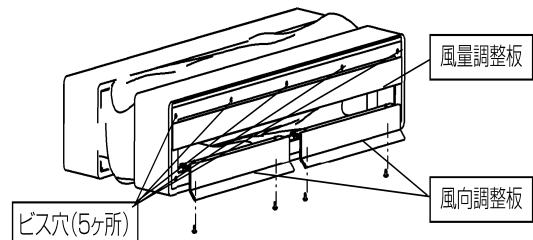
●図のようにキャンバスダクトの後面の下側に、仮掛け金具をビス(4×8)で固定してください。
ビス止めは図のように、金具の穴を通して行ってください。



(ご注意)
キャンバスダクトはダクト固定金具のある方を下側にしてください。

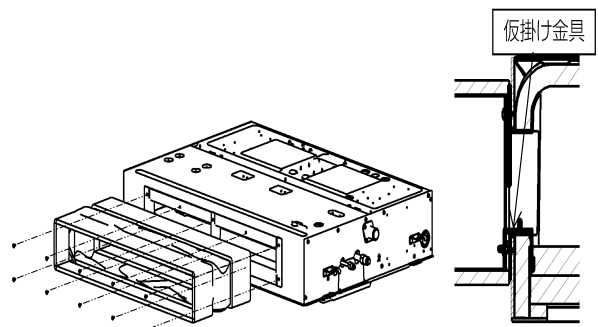
- (4) 仮掛け金具に風向調整板、キャンバスダクトに風量調整板を取り付けてください。

●図のように仮掛け金具に風向調整板をビス(4×8)で固定してください。
●図のようにキャンバスダクトに風量調整板を両面テープで貼り付けてください。
このときビス穴をあわせるように取り付けてください。

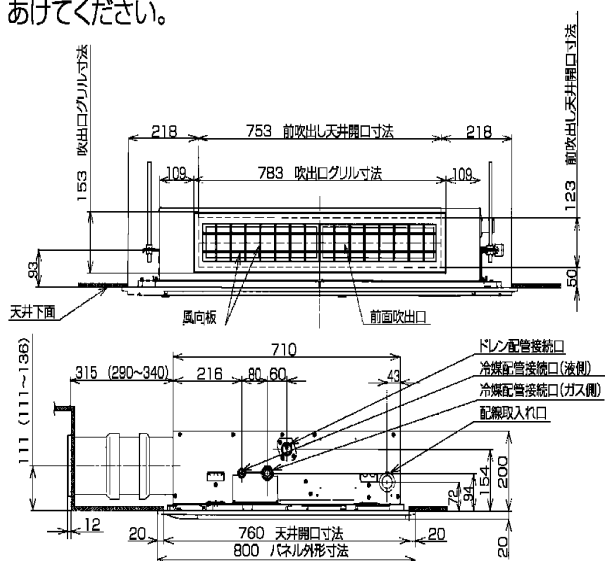


- (5) キャンバスダクトを室内ユニットにビスで固定してください。

●キャンバスダクトは、室内ユニットの吹出口から手を差し込み、押し下げるようにして、仮掛け金具を角穴に固定してください。
●仮掛け金具を製品本体の角穴に引掛け、ビス(4×16)で固定してください。
(両面テープで貼り付けた風量調整板は共締めとなります。)

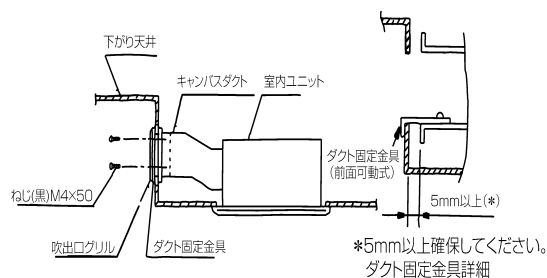


(6) 下がり天井に、吹出口グリルを取り付ける角穴(753×123)をあけてください。



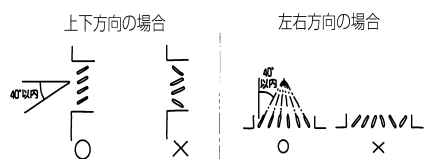
(7) 吹出口グリルを下がり天井をはさんでキャンバスダクトにねじ(黒)M4×50で固定してください。

●吹出口グリルを取り付ける前にダクト固定金具を吹出口グリル取付用角穴の下面に引掛けてください。



(8) 吹出口グリルの風向を調節してください。

- 上下方向は吹出口グリルの水平風向調整羽根を、左右方向は吹出口グリルの垂直風向調整羽根を室内の温度分布が最適になるように調整してください。
- 羽根の傾き角度は40°以内にしてください。
40°を超えると冷房運転時露付きを起こす恐れがあります。



(ご注意)
吹出口グリルの風向調整羽根は、風の流れを妨げるような急な曲げ方をしないでください。吹出口から水滴落下の原因となります。

(9) 別売天井パネルを取り付けてください。

●別売天井パネルの取り付けは、別売天井パネルに付属の説明書をご参照ください。

(10) リモコンで風量アップの設定をしてください。

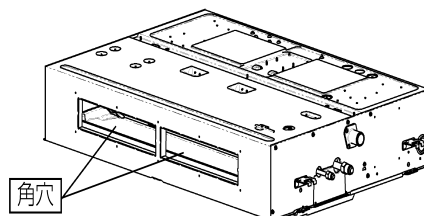
●「2方向下がり天井方式」の場合は、風量の調節が必要となりますので天井パネルに付属の「2方向下がり天井方式」の場合の設定方法に従い設定してください。変更方法は、ワイヤードリモコンで設定する場合と、基板から設定する場合の2種類があります。

(ご注意)
風量アップの設定を行わない場合、風量減少・露付の原因となります。

3. 「1方向下がり天井方式」で使用する場合

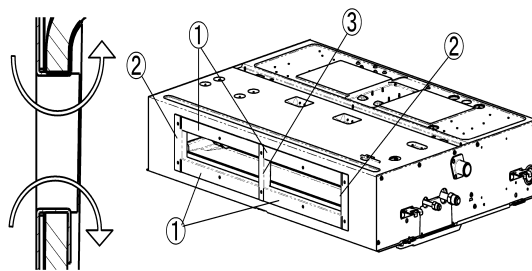
(1) 室内ユニットの前面部に角穴(2ヶ所)をあけてください。

●板金のスリット部のつなぎ目をニッパ等で切断し、さらにカッターで断熱材を切り取って角穴をあけてください。



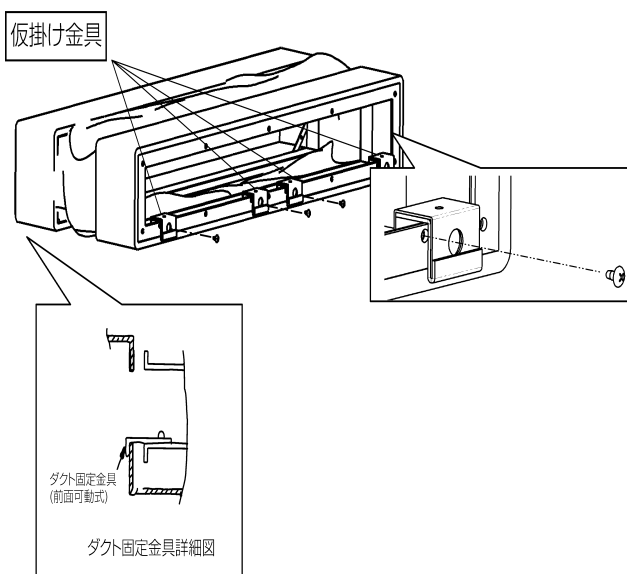
(2) 室内ユニットに断熱材を貼り付けてください。

●図のように、断熱材①②③をビス穴に合わせて貼り付けてください。断熱材は左図のように、穴の後側までしっかり貼り付けてください。



(3) キャンバスダクトに仮掛け金具を取り付けてください。

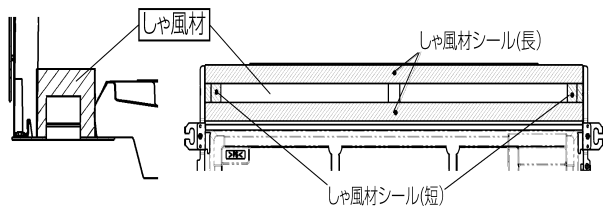
●図のようにキャンバスダクトの後面の下側に、仮掛け金具をビス(4×8)で固定してください。
ビス止めは図のように、金具の穴を通して行ってください。



(ご注意)
キャンバスダクトはダクト固定金具のある方を下側にしてください。

(4) 室内ユニットの吹出口にしゃ風材を取り付けてください。

- 付属のしゃ風材を吹出口につめ込み、さらにその上からしゃ風材シール(長)(短)を図のように貼り付けて閉塞してください。

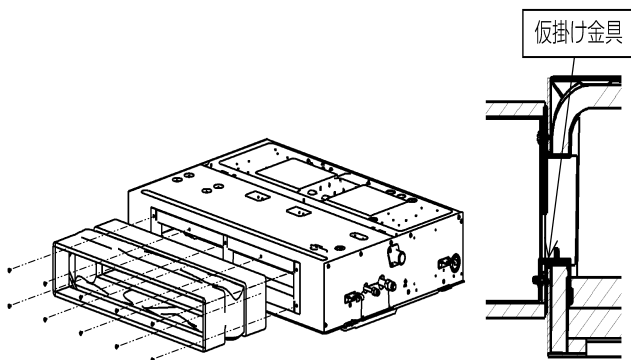


(ご注意)

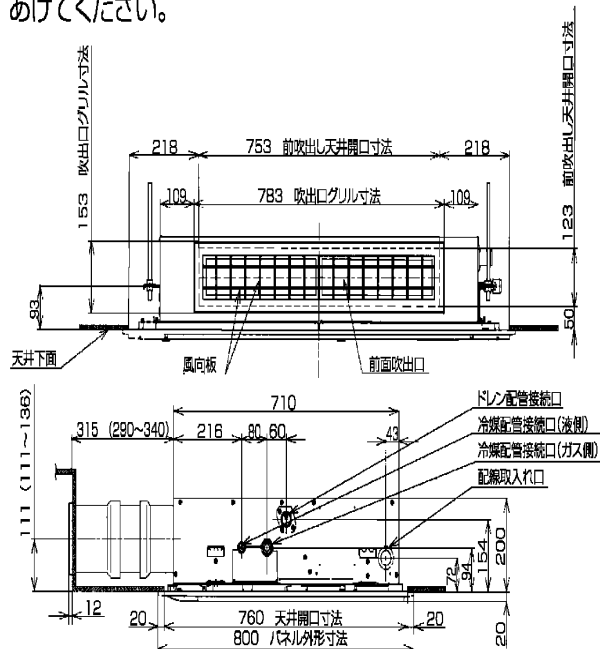
しゃ風材シールは、しゃ風材と発泡スチロールをシールするために使用します。特に、しゃ風材シール(短)は、段差に合わせて隙間ができないように貼り付けてください。

(5) キャンバスダクトを室内ユニットにビスで固定してください。

- 仮掛け金具を製品本体の角穴に引掛け、ビス(4×16)で固定してください。

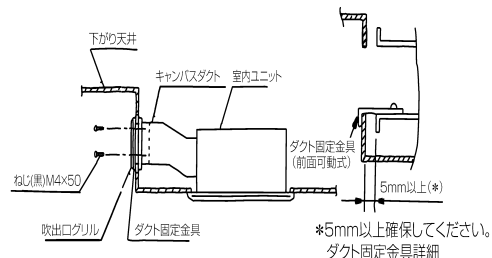


(6) 下がり天井に、吹出口グリルを取り付ける角穴(753×123)をあけてください。



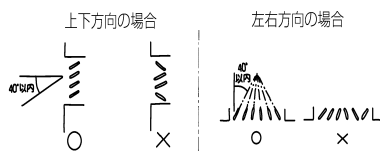
(7) 吹出口グリルを下がり天井をはさんでキャンバスダクトにねじ(黒)M4×50で固定してください。

- 吹出口グリルを取り付ける前にダクト固定金具を吹出口グリル取付用角穴の下面に引掛けてください。



(8) 吹出口グリルの風向を調節してください。

- 上下方向は吹出口グリルの水平風向調整羽根を、左右方向は吹出口グリルの垂直風向調整羽根を室内の温度分布が最適になるように調整してください。
- 羽根の傾き角度は40°以内にしてください。40°を超えると冷房運転時露付きを起こす恐れがあります。

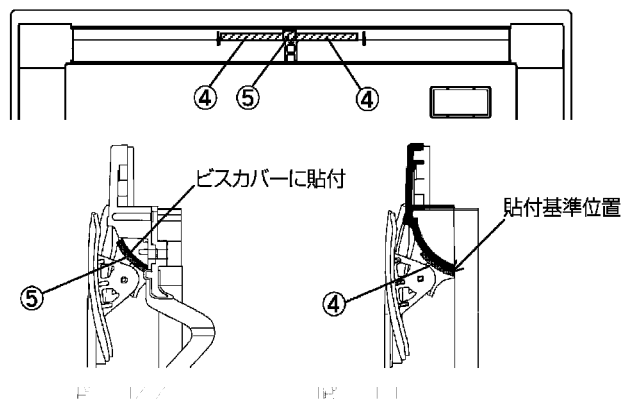


(ご注意)

吹出口グリルの風向調整羽根は、風の流れを妨げるような急な曲げ方をしないでください。吹出口から水滴落下の原因となります。

(9) 別売天井パネルを取り付けてください。

- 別売天井パネル取り付けの前に、下図のように別売天井パネルの吹出口のビスカバー部、ビスカバーの両側に、断熱材④⑤(白)を貼り付けてください。
- 別売天井パネルの取り付けは、別売天井パネルに付属の説明書をご参照ください。
- 「1方向下がり天井方式」で使用する場合は、別売天井パネルに付属の説明書に記載の配線方法に従って配線を行った後、室内ユニット基板のルーバモーターのコネクタ(白5P: CN033)をはずしてください。
- フラップは、別売天井パネルを取り付け後、両端を手で支えて閉じてください。

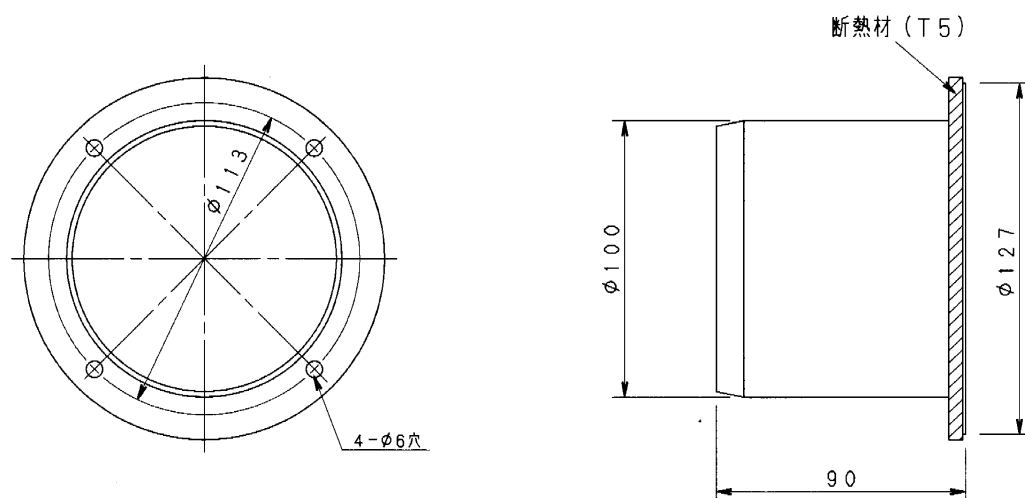


(10) リモコンでフラップ非表示の設定をしてください。

- リモコンのフラップ表示が不要となりますので、別紙の「1方向下がり天井方式で使用する場合の設定方法」に従い、設定をしてください。

外気取入れ用丸合フランジ (DKT-MF10AN)

■外形寸法図



丸合フランジの取り付けかた

1. 付属品

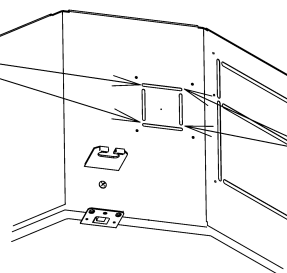
名 称	個数	名 称	個数
丸合フランジ ($\phi 100$ ・外気取入用)	1	取付ネジ (4x12)	4
シール用断熱材 A	2	シール用断熱材 B	2

2. 取り付けかた

(1) ユニット本体の切り込みを目印に、断熱材(スチロール)ごと、ニッパ・カッターナイフ等で切断し、切り取ってください。

注意 内側のスチロールを切断するとき、カッター等の刃は30mm以上差し込まないよう注意してください。
(内部のドレンパンを傷つけると、水漏れの原因になります。)

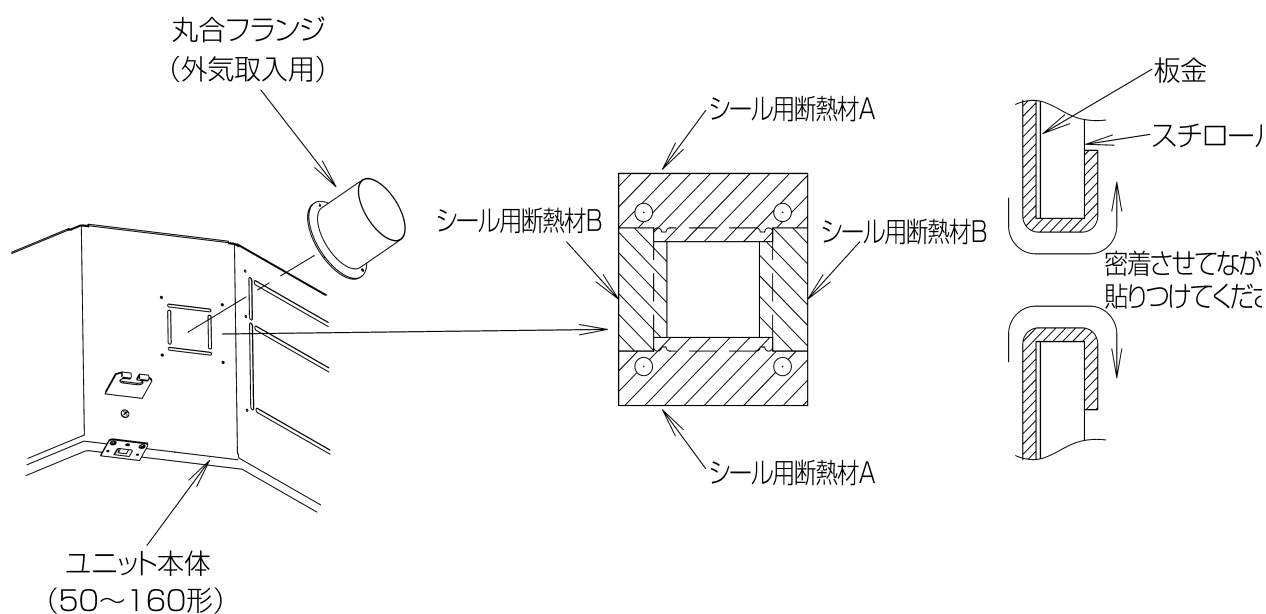
ニッパ等で板金を
切断する(4か所)



カッターナイフで断熱材(スチロール)
を切断(全周)し、切り取る

(2) スチロールと板金との隙間があると、結露等の問題が発生しますので必ず付属の断熱材A、Bにて貼りつけてください。

(3) ユニット本体に丸合フランジを付属の取付ネジ4本で取付けてください。



気化式加湿器 (RH-SLN09B)

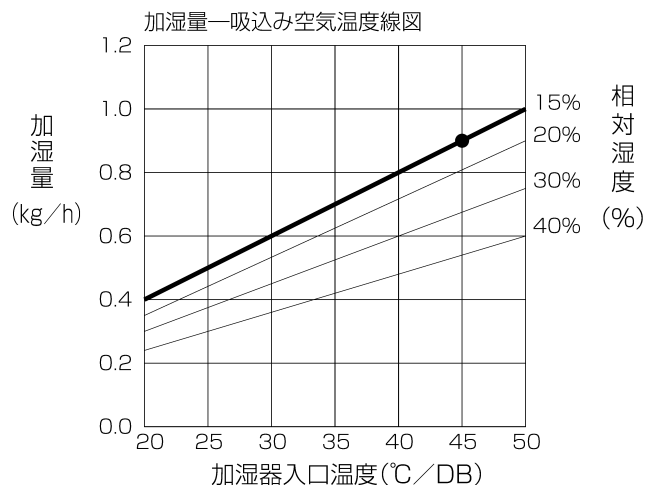
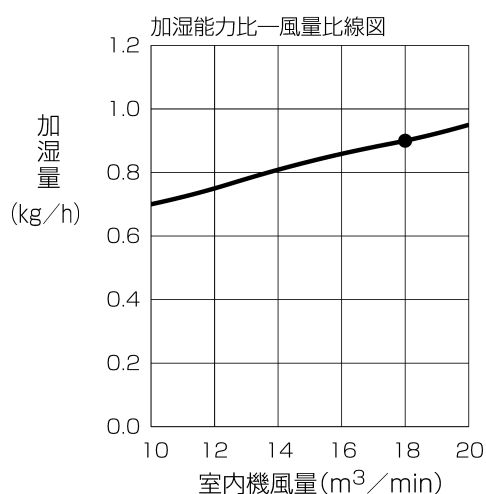
■仕様

項 目	仕 様		
品 番	RH-SLN09B		
適合エアコン形式	28・36・45形	56形	71・80形
外形寸法 H×W×D (mm)	71.5×789.3×79.8		
電 源 仕 様	単相200V±10% (50/60Hz)		
加 湿 能 力 (kg/h)	0.75	0.78	0.9
給 水 圧 力	0.049MPa(0.5kgf/cm ²)～0.49MPa(5kgf/cm ²)		
給水圧力(ポンプ使用時)	0.049MPa(0.5kgf/cm ²)～0.29MPa(3kgf/cm ²)		
使用上の条件	使 用 水	上水道又は、これと同等水質のこと(水温10℃～40℃)	
	減 圧 弁	加湿器本体に取り付け 水圧 0.049MPa(0.5kgf/cm ²)	
	周囲温湿度条件 (タイマーボックスを除く)	温 度 相対湿度	1℃～40℃ 90%以下

・加湿能力は、エアコンに組み込んだ時の値を示します。(加湿器入口空気温度45℃、相対湿度15%の時)

■能力線図

RH-SLN09B
(基準風量:18m³/min)

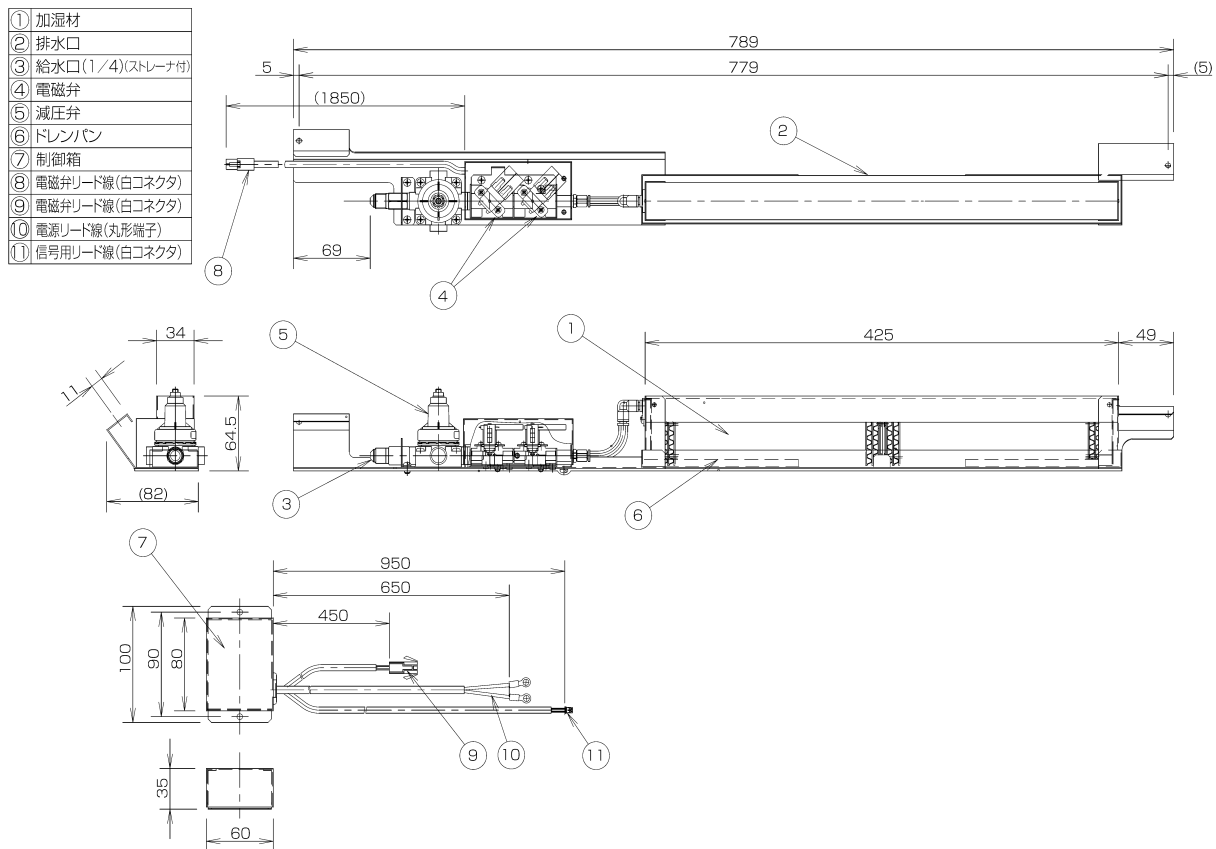


加湿器品番	RH-SLN09B		
適用室内機	28～45形	56形	71・80形
室内機風量(急風) m ³ /min	12	13	18
加湿性能 kg/h	0.75	0.78	0.90

注記

- 1) 加湿能力条件は、加湿器通過 温湿度がDB45° C、RH15%の場合の値を示します。
- 2) 風量比 (%) = (任意風量/基準風量) × 100

■外形寸法図



■取付説明

パッケージエアコン用気化式加湿器取付説明書

(高天井1方向形用) RH-SLN09B

パッケージエアコン用気化式加湿器キットをお買い上げいただきましてありがとうございました。
取り付け工事に際しましては、この説明書をよく読み正しい工事が行なわれますようお願い致します。

- | | | |
|---|-----------|--|
|  | 警告 | 誤った取り付け、取り扱いをした時、死亡・重傷等重大な結果に結びつく可能性が大きいものを示します。 |
|  | 注意 | 誤った取付け、取り扱いをした時、傷害や物的損害等に結びつく可能性があるものを示します。 |

基本的な注意事項

	警告	- 加湿器の取り付け工事は、必ずエアコン本体吊り下げ前に行なってください。 - 電気配線作業や点検等で電装ボックス蓋を開ける際は、必ず電源を切ってから行なってください。
		注意 0℃以下の霏雪気となり、凍結の恐れがある場所には取り付けないでください。 - ヒューミディスタット（現地手配）は、湿度低下で接点がONとなる型式のもので、接点容量200V A以上のものを準備してください。 - 供給水質は、上水道または同等以上の水を使用し、給水管には付属のストレーナを取り付け、保守管理上、各加湿器毎にサービス弁を設けてください。 - 給水は、公共の水道管に直接接続することはできません。公共の水道管から給水しなければならない場合は、シスターン（型式認可のもの）をご使用ください。 - 使用水压は0.049MPa(0.5kgf/cm²)～0.49MPa(5kgf/cm²)です。ただしポンプで給水する場合の使用水压は、0.049MPa(0.5kgf/cm²)～0.29MPa(3kgf/cm²)としてください。使用水压範囲を超える場合は、給水系統毎に別の減圧弁（現地手配）を設けてください。また配管内にエアが存在すると使用水压範囲内でも加湿器減圧弁から音が発生する場合があります。その場合は給水系統毎に別の減圧弁（現地手配）を設けて給水压を下げてください。 - 給水パイプへの接続は、水压がかかりますのでフレア接続としてください。 - 現地給水配管は、一度水を通して洗浄してから加湿器に接続してください。 - 加湿（暖房）シーズン中は元電源を入れたままにしておいてください。万一、給水用電磁弁にゴミ等がからみ閉じなくなった場合の漏水を防止します。 - 加湿（暖房）シーズン後は、給水用サービスバルブ（現地手配）を必ず閉めてください。 - 死水排水バルブ及びY型ストレーナ（現地手配）の取り付けをおすすめします。給水配管の水は加湿時のみ新しくなります。冷房時などで加湿器を使用しない時の給水配管内の水は、長時間動かないので腐ってしまいます。加湿（暖房）初めにその水が加湿器に給水されますと、においの発生、菌の繁殖の原因になります。加湿（暖房）シーズン使用開始時に死水排水バルブと給水用サービスバルブを開き、新しい水に置換してから使用することをおすすめします。 - 給水配管にトラップがあると「エア」だまりができ、減圧弁より音が発生する場合ことがありますので配管にトラップは設けないでください。

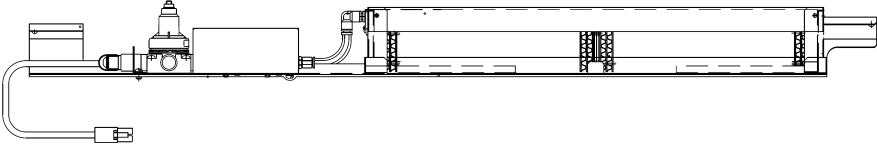
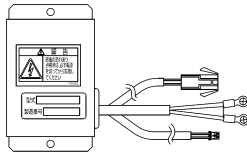
1 仕 様

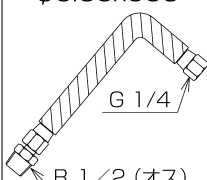
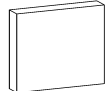
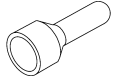
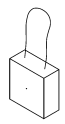
項 目		仕 様		
品 番		RH-SLN09B		
適合エアコン形式		28・36・45形	56形	71・80形
外形寸法 H X W X D (mm)		71.5×789.3×79.8		
電 源 仕 様		50/60Hz 単相200V ±10%		
加 湿 能 力 (kg/h)		0.75	0.78	0.9
給 水 圧 力		0.049MPa (0.5kgf/cm ²)～0.49MPa (5kgf/cm ²)		
給 水 圧 力 (ポンプ使用時)		0.049MPa (0.5kgf/cm ²)～0.29MPa (3kgf/cm ²)		
使用上の条件	使 用 水	上水道又は、これと同等水質のこと（水温10℃～40℃）		
	減 圧 弁	加湿器本体に取付け		
	周囲温湿度条件 (タイマーボックスを除く)	温 度	1℃～40℃	
		相対湿度	90%以下	

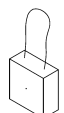
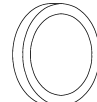
・加湿能力は、エアコンに組み込んだ時の値を示します。（加湿器入口空気温度45℃、相対湿度15%の時）

2 構成部品

※開梱時に同梱部品が入っているかを必ずご確認ください。

気化式加湿器本体	コントロールボックス
1台	1台
	

取付説明書	給水用銅パイプ	給水断熱材	閉端接続子	ビニタイ	短絡コネクタ①
1枚	1本	1枚	2個	2本	1個
 本紙(両面)	$\phi 6.35 \times 660$  断熱材付き	100×100 t=10  給水パイプ用	 ヒューミディスタット 取付け用	L=200  断熱材固定用	 パナソニック機種用 (2P:白色)

短絡コネクタ②	取付ビス	シール用パテ	リード線用ハトメゴム
1個	4個	1個	1個
 三洋機種用 (2P:黄色)	$\phi 4 \times 8$ (タッピンビス)  加湿器本体取り付け用(2ヶ) コントロールボックス 取り付け用(2ヶ)		

3 取付工事の前に

加湿器の取付工事の際、上記構成部品の他に下記1～3の部品のご用意をおすすめいたします。

現地手配部品

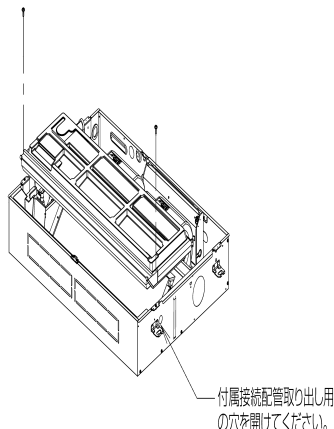
No.	部 品 名
1	ヒューミディスタット
2	給水用サービスバルブ
3	死水排水バルブ

4 取付け手順(加湿器の組み込みは必ず本体吊り下げ前に行なってください)

※エアコン上面を床面に置いた状態で作業してください。

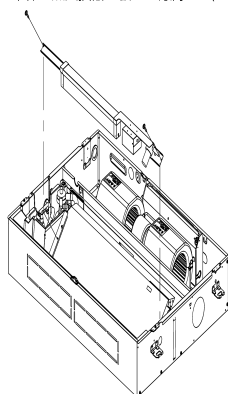
1. エアコン本体の準備

- ① エアコン本体のドレンパンを、下図のようにビス(2本)を外して取り外します。
- ② 下図の位置にあるエアコン本体の側面の穴(φ25)を外側から板金にそって、内側のスチロールをカッター等にて切り取ってください。



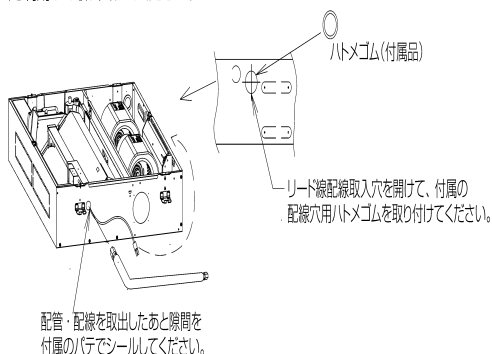
2. 加湿器本体の取付け

- ① 加湿器本体をエアコン本体の熱交換器の板金に付属ビス(2本)を使用して組み付けます。



3. 給水用銅パイプの取付け

- ① 電磁弁リード線を配管通し穴から出してください。
- ② リード線取出し後、ユニット外側から付属の給水パイプを差し込み加湿器本体の給水口に、給水パイプを接続します。
給水パイプの先端は加湿器のフレア部と合うように成形してください。
※フレアナット締め付けトルク目安：19.6N・m(200kgf・cm)
- ③ 給水配管の接続が終わりましたら付属のパテを使って、給水パイプ・電磁弁リード線と穴の隙間をシールしてください。
- ④ ユニット背面の穴(ノックアウト穴)：右図を開け、付属のハトメゴムを取り付けた後、リード線を本体内部に取り入れてください。
※必ずこの穴を利用して取り入れてください。



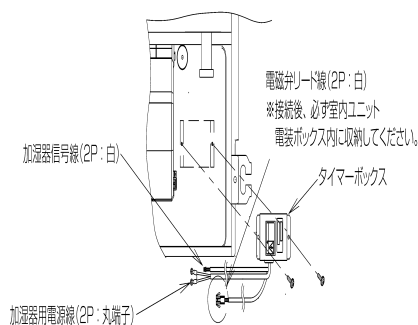
4. タイマーボックス取付け

- ① 加湿器のタイマーボックスは、室内ユニット配管側の天板に付属のビス(2本)で固定してください。
- ② 加湿器本体からの電磁弁リード線(2P：白)とタイマーボックスのリード線(2P：白)を室内ユニット電装ボックス内に接続してください。

注意 電磁弁リード線の接続は接続後、必ず室内ユニット電装ボックス内に収納してください。

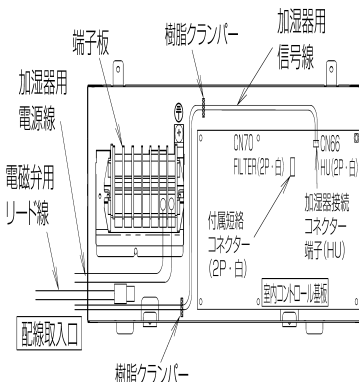
- ③ ヒューミディスタットをご使用になる場合は、あらかじめタイマーボックスのふたをあけて、ボックス内にあるリード線(白色)を切断し、付属の断端接続端子で接続してから取り付けてください。

(注意)ヒューミディスタットの接続部は、加湿器のタイマーボックス内に収納してください。

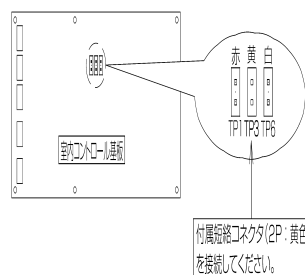


5. 電気配線 **警告** 電気配線作業は必ず電源が切れている状態で行なうこと。

- ① 電装ボックスの蓋を開き、室内コントロール基板のCN66：HU(2P：白)コネクタにタイマーボックスの加湿器信号線コネクタ(2P：白)を接続します。
- ② 室内コントロール基板のCN70：FILTER(2P：白)に付属の短絡コネクタ(2P：白)を接続してください。

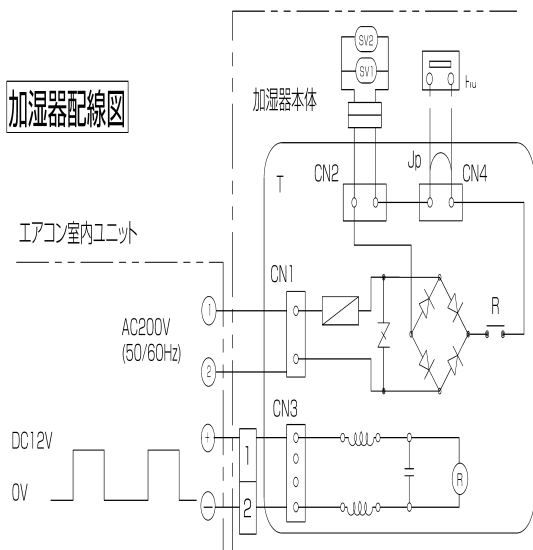


- ③ 室内コントロール基板の短絡ピンTP3(2P：黄色)に付属の短絡コネクタ(2P：黄色)を接続してください。
(設定を行わない場合、風量減少、露付きの原因となります。)



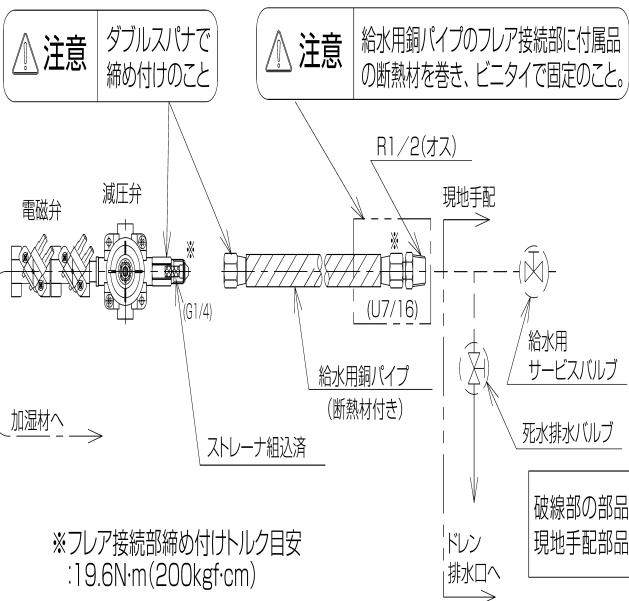
以上の作業が終了しましたら、エアコンのドレンパンを分解時の逆の手順で確実に組み付けてください。組込み時にドレンパンに浮きが無いことを確認してください。

加湿器配線図



記号	名 称	記 事	記号	名 称	記 事
Hs	ヒューミディスタット	現地手配	Fu	ヒューズ	AC200V、1A
Jp	ジャンパー線		CN1~4	コネクタ	
SV1,2	給水用電磁弁				

5 給水配管



注意 現地側の給水配管を加湿器に接続する際は、配管内の汚れを洗浄するため、必ず最初に一度水を通して汚れがなくなってから接続してください。

6 運転確認

- ・元電源を入れてください。
- ・加湿器の給水用サービスバルブを開いてください。
- ・運転停止ボタンを押します。
- ・リモコンの運転切り換えスイッチを「暖房」にします。
- ・温度設定を希望の温度にします。
- ・給水用電磁弁が作動し正しく加湿制御していることを確認してください。
- ・再び運転停止ボタンを押すと運転を停止します。

ご注意

試運転時、電磁弁または減圧弁から「ピーン」という異音が発生した場合、手元バルブを締めた時に音が消えるようであれば、給水系への「エア」のかみ込みが考えられますので、加湿器給水口を取り外し、エア抜き及びストレーナの清掃を実施してください。ポンプアップにより給水する場合は、ポンプによる「エア」のかみ込みが考えられます。給水圧を調整できる場合は給水圧を下げてください。

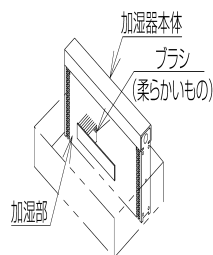
(おねがい)

- ・加湿(暖房)シーズン中は元電源を入れたままにしておいてください。万一、給水用電磁弁にゴミなどがからみ閉じなくなった場合の漏水を防止します。
- ・加湿(暖房)シーズン後、給水用サービスバルブ(現地手配)を必ず閉めてください。
- ・死水排水バルブ(現地手配)の取り付けをおすすめします。加湿(暖房)シーズン使用開始時に、給水用サービスバルブと死水排水バルブを開き、給水配管内の水を新しい水に置換してから使用することをおすすめします。
- ・ヒューミディスタットをご使用の場合は、希望の湿度目盛に合わせます。設定を変化させて給水用電磁弁が正しく加湿制御していることを確認してください。

7 保守

(おねがい)

- ・加湿能力の低下防止のため、1年に1回シーズンインの前に加湿部を洗浄してください。
- ・水かぬるま湯に中性洗剤を溶かし、柔らかなブラシで加湿部の汚れを取ってください。



(5) 天井ビルトインカセット形

●ダクト設計における留意点

《設計風量》

ダクトタイプは据付状態によって機外静圧が異なり風量も変化します。定格機外静圧を超えて使用しますと、送風量が減少して快適な空調が得られませんので、機外静圧は定格かそれ以下での使用を推奨します。

■システムによる許容ダクト長さ目安

次の表は主なシステムについて、丸ダクトの最大接続可能長さを表わしています。ダクト設計をされる際の目安にして下さい。下記以外のシステムについては次項以降の資料を参照のうえ設計して下さい。

- ※1. 高性能フィルター、ロングライフフィルターを使用する場合は、取付説明書に従って静圧設定を行ってください。
 ※2. 吹出口数の変更はできるだけ避けてください。下表のように機内の圧力損失が増加するため最大ダクト長は短くなります。
 ※3. 下表は定格風量で算出していますが、送風機特性の風量、静圧制限内で設計風量を下げることが可能です。
 機外静圧のアップ、最大ダクト長の延長が可能です。

			標準吹出口数の場合							吹出口数を変更した場合					
筐体→			小		中		大			中		大			
マルチ→			22, 28, 36, 45	56	71	90	112	140	160	71	90	112	140	160	
定格風量(m³/min)			13	14	21	23	32	34	36	21	23	32	34	36	
ユニット吹出口数(個)			2	2	3	3	4	4	4	2	2	3	3	3	
吹出口1個当たりの風量(m³/min)			6.5	7.0	7.0	7.7	8.0	8.5	9.0	10.5	11.5	10.7	11.3	12.0	
丸ダクト・吹出口径			φ200	φ200	φ200	φ200	φ200	φ200	φ200	φ200	φ200	φ200	φ200	φ200	
ビルトイン仕様	機外静圧(Pa)		タップ⑧	34	34	39	39	39	39	39	39	39	39	39	
			タップ⑪	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	
			タップ⑮	60	60	80	80	80	80	80	80	80	80	80	
	圧損(Pa)	吹出グリル		19.3	22.1	22.1	26.0	28.1	31.3	34.7	45.9	54.0	47.2	52.6	58.4
		高性能フィルター (JIS比色法65%)		16.7	18.8	21.4	25.1	21.4	23.9	26.5	21.4	25.1	21.4	23.9	26.5
		高性能フィルター (JIS比色法90%)		21.4	24.1	26.7	30.9	26.2	28.7	31.2	26.7	30.9	26.2	28.7	31.2
		小パネル (機外静圧に含まれる)		8.3	9.3	14.1	16.5	17.0	18.9	20.9	14.1	16.5	17.0	18.9	20.9
	フレキシブル ダクト圧損 (Pa/m)	直線部		0.9	1.0	1.0	1.2	1.3	1.5	1.7	2.3	2.7	2.4	2.7	3.0
		曲がり部 (半径R0.4m, 1ヶ所)		1.4	1.6	1.6	1.9	2.1	2.4	2.7	3.7	4.4	3.8	4.3	4.8
	接続最大長さ システム例 によるダクト (m)	ビルトイン 小パネル/大パネル	タップ⑧	16.3	11.2	16.2	10.1	7.7	4.6	2.0	-	-	-	-	-
			タップ⑪	(30)	27.1	27.1	19.2	16.0	11.9	8.5	1.2	-	0.6	-	-
			タップ⑮	(30)	(30)	(30)	(30)	(30)	(30)	26.5	14.4	8.9	13.3	9.7	6.6
		高性能フィルター (JIS比色法65%) +ビルトイン小パネル	タップ⑧	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			タップ⑪	15.6	8.5	5.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			タップ⑮	27.1	18.4	23.3	(30)	22.5	16.0	10.6	5.0	-	4.2	0.7	-
		高性能フィルター (JIS比色法90%) +ビルトイン小パネル	タップ⑧	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			タップ⑪	10.1	3.2	0.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
タップ⑮			21.6	13.1	(30)	18.5	18.9	12.8	7.8	2.7	-	2.2	-	-	

フレキシブルダクトの曲がり: 半径R0.4m, 1ヶ所を想定し算出(一直管相当長 $L_e=1.6m$)

吹出グリル(GRL-S20B)取付

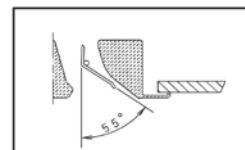
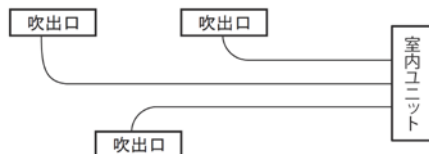
吸込グリルはフィルター付き

上表算出条件

1)ダクト接続長さ: 定格風量、定格機外静圧にて、最大何メートルまでダクト引きが可能かを算出しました。

2)フレキシブル丸ダクトの曲り: 半径R 0.4m、1ヶ所を想定し算出

3) 吹出羽角度



(注) 1. ビルトイン仕様の機外静圧は、小パネル装着時の値です。

2. 吹出口の数の変更は3個→2個、4個→3個の変更のみ可能、それ以外の変更はできません。

(例1) ビルトイン小パネル仕様

次の条件において機外静圧と風量を求めます。

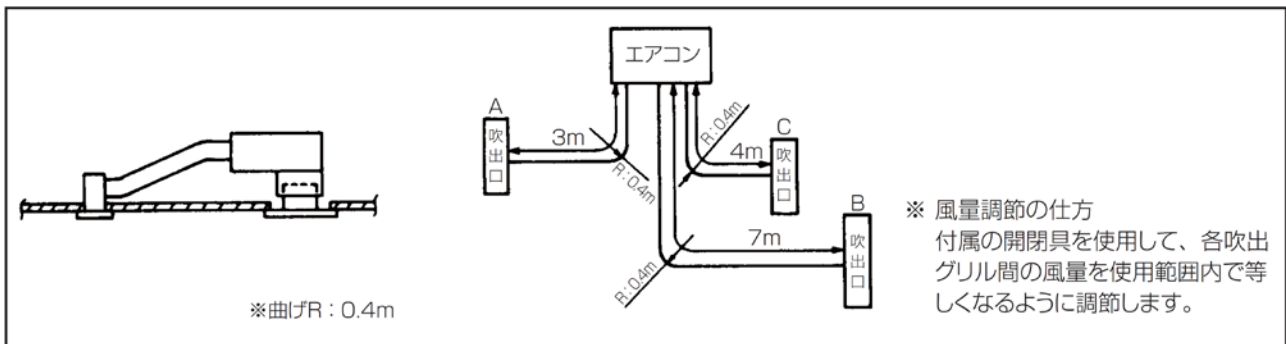
(条件)

電源	単相200V
使用機種 (ビルトイン小パネル仕様)	S-G71FS2
ビルトイン小パネル	CZ-03HPF3
スライドチャンバー	CMB-SLBD90B
φ200 フレキシブルダクト	DKT-F2010B,F2020B F2075B
φ200吹出口ユニット	GRL-S20B

(算出方法)

- イ. 送風機特性は、ビルトイン小パネル仕様のものを使用します。
 ロ. スライドチャンバーの圧力損失は、ビルトイン小パネル仕様の機内抵抗に含まれています。(ビルトイン用スライドチャンバーの圧力損失は、0Paとして計算できます。)
 ハ. 吹出側の圧力損失は、各スポットの中で1番圧損の大きいダクト系統で計算します。(吹出口ユニットの開閉シャッターの調整によって、各系統の風量は均一、圧力損失は同一になると定めます。) 本例のダクト系統では、B系統となります。(A、C系統の機外静圧は、吹出口ユニットの開閉シャッターの調節により静圧・風量調節を行います。)

吹出口の配列・ダクト系統は下図で、ユニットの
 風量は定格風量、各吹出口の風量はそれぞれ定格風量の1/3とします。



1 フレキシブルダクトと吹出口の圧力損失を求めます。

(1) 1系統当たり風量7.0m³/min時の圧力損失を前ページの表より求めます。

経路Bにおける圧力損失(Pa)	フィルタ等 吸込抵抗	φ200ダクト圧力損失		吹出口 圧力損失	合計 圧力損失	HHタップ における 機外静圧
		直線部	曲り部			
ダクト長さ		6.4m	0.6m			
風量m³/min 7.0(7.0×3=21)	—	1.0×6.4=6.4	1.6	22.1	30.1	39.0

(2) S-G71FS2 の送風機特性 (3×7.0=21m³/minの時、機外静圧39Pa)
 から定格以上の吹出風量が確保出来ることが分かります。

(尚、定格風量を必要とする場合、試運転時に吹出口内の風量調整板開度を調整する必要があります。)

2 室内ユニットの全風量に対する運転状態の求め方

圧力損失曲線を算出することによって、送風機の運転状態が推定されます。
 風量－圧力損失式 $P = \left(\frac{Q}{Q_0}\right)^2 P_0$ を利用して、S-G71FS2 (小パネル仕様)
 送風機特性グラフに 1 で算出した他に任意の点 (例えば19、
 15m³/minの点) をプロットします。

ア、21m³/min=30.1Pa
 イ、19m³/min時: $P = (19/20^2) \times 30.1 = 24.7$ Pa
 ウ、15m³/min時: $P = (15/21^2) \times 30.1 = 15.4$ Pa
 よって送風機は、この曲線と⑧急、⑧-2強、③-2弱の交点で運転されます。

S-G71FS2

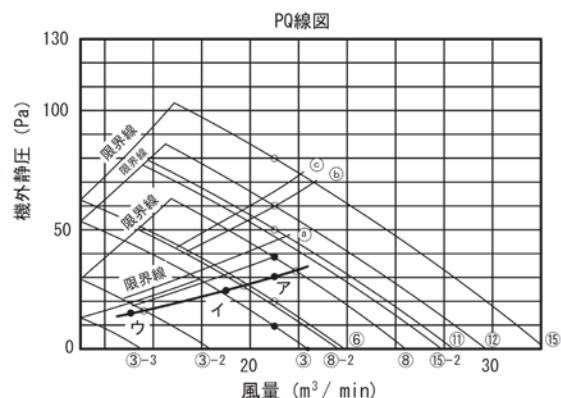
室内ファンタップ (ビルトインカセット)

項目コード "b0"		00 15 00 12 00 11 00 08 00 06 00 03											
ファン	タップ	冷房	暖房	冷房	暖房	冷房	暖房	冷房	暖房	冷房	暖房	冷房	暖房
		⑮	H	H									
		⑫			H	H							
		⑪	M	M			H	H					
		⑩-2											
		⑧			M	M		H	H				
		⑥	L	L		M	M		H	H			
		⑧-2					M	M					
		③			L	L	L	L		M	M	H	H
		③-2					L	L	L	L	M	M	
		③-3										L	L

(H: 急, M: 強, L: 弱)

- ① ロングライフフィルター初期圧力損失
 ② 高性能フィルター (JIS比色法65%) 初期圧力損失
 ③ 高性能フィルター (JIS比色法90%) 初期圧力損失

ノッチ	急	強	弱
S-G71FS2	21.9	19.9	15.7

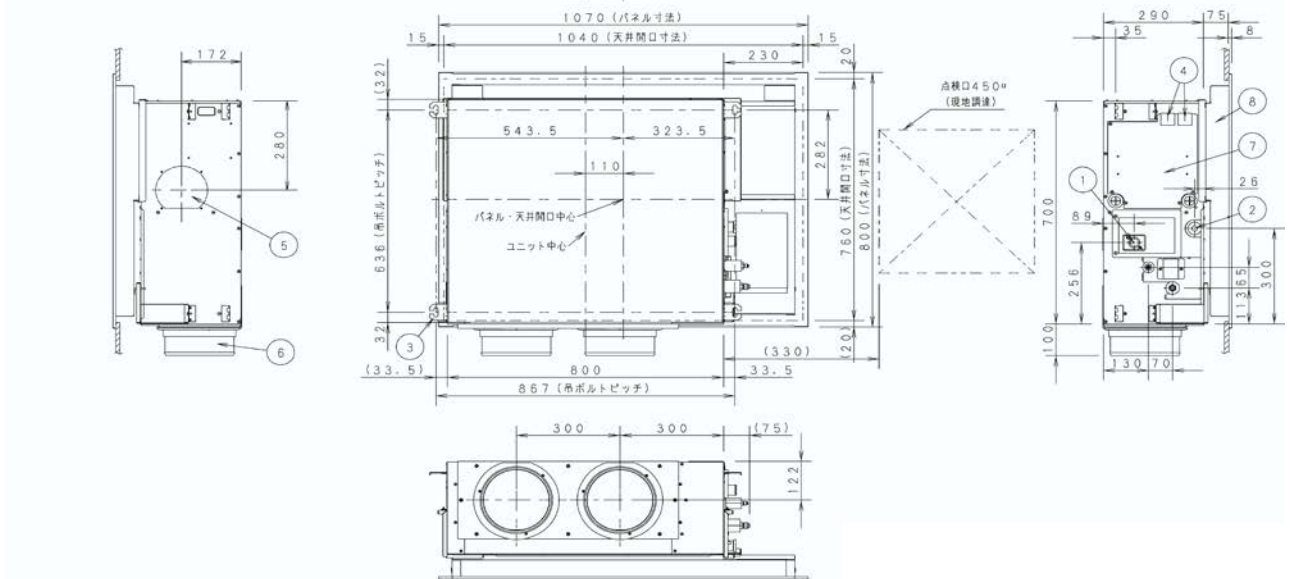


●仕様と据付

大パネル：CZ-56KPF1

■外形寸法図

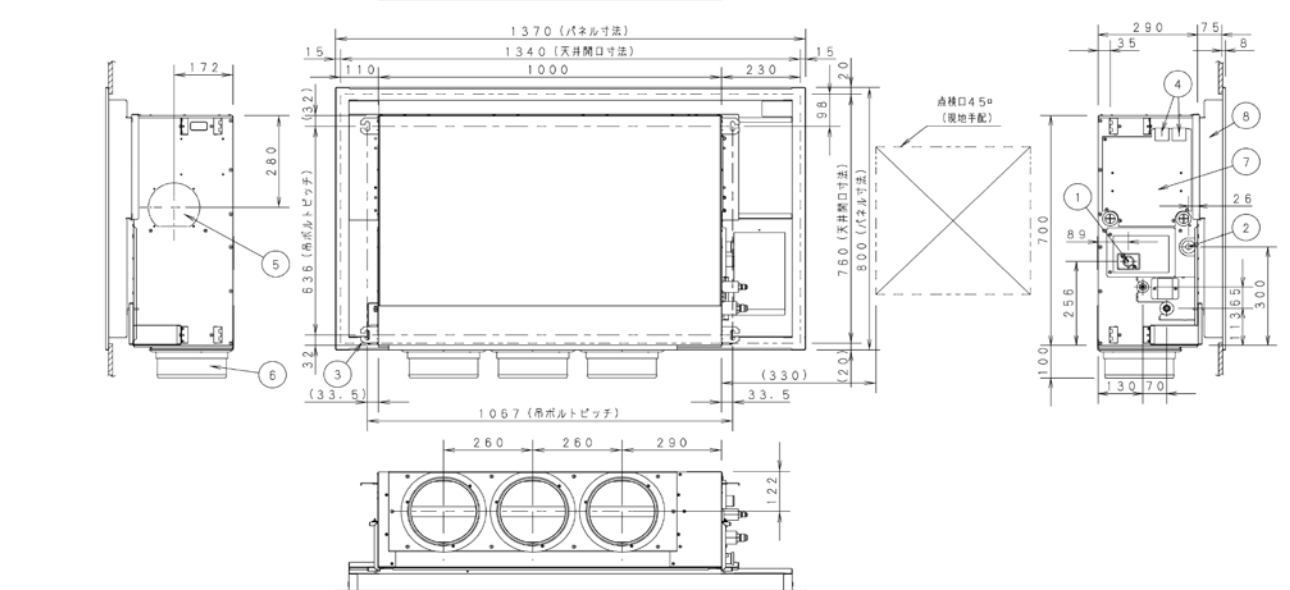
①	ドレン配管接続口 VP25 (外径φ32) φ200フレキホース付属
②	下部ドレン口 VP25 (外径φ32)
③	吊金具 (4-12X30長穴)
④	電源取入口
⑤	外気取入口 (φ150異形穴)
⑥	吹出ラダクト金フレンジ (2-φ200)
⑦	電装箱
⑧	ビルトイン大パネル CZ-56KPF1 (別売品)



大パネル：CZ-90KPF1

■外形寸法図

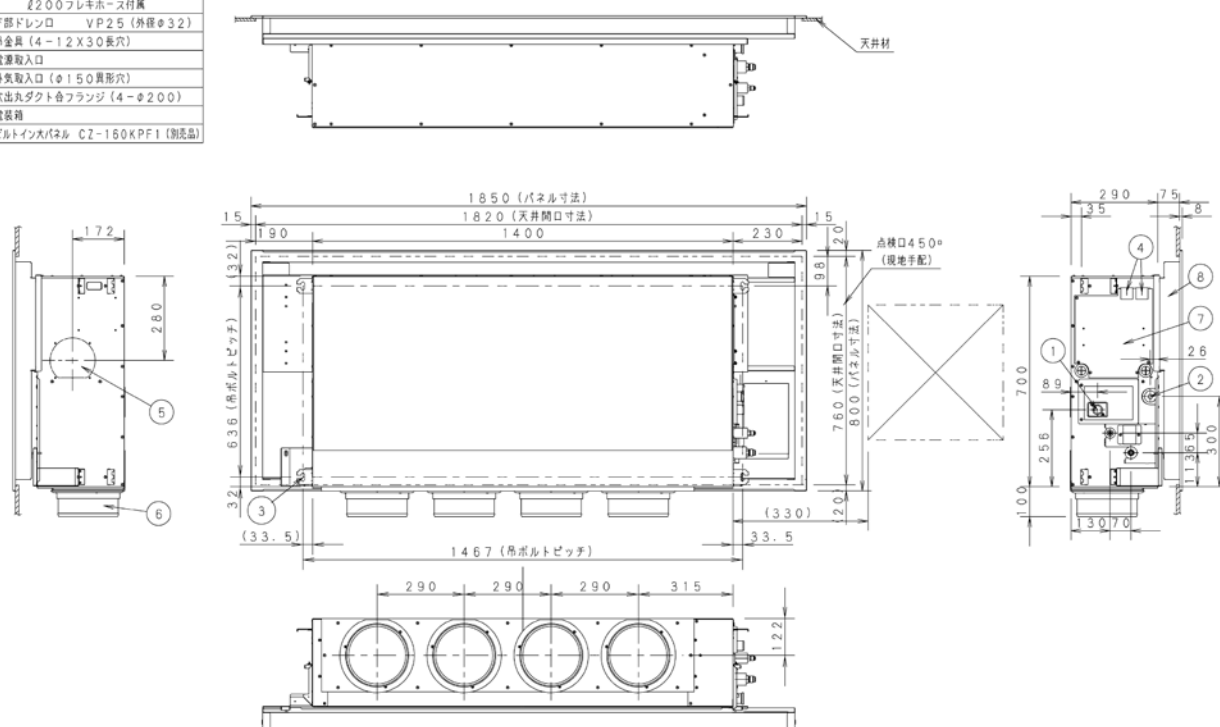
①	ドレン配管接続口 VP25 (外径φ32) φ200フレキホース付属
②	下部ドレン口 VP25 (外径φ32)
③	吊金具 (4-12X30長穴)
④	電源取入口
⑤	外気取入口 (φ150異形穴)
⑥	吹出ラダクト金フレンジ (3-φ200)
⑦	電装箱
⑧	ビルトイン大パネル CZ-90KPF1 (別売品)



大パネル：CZ-160KPF1

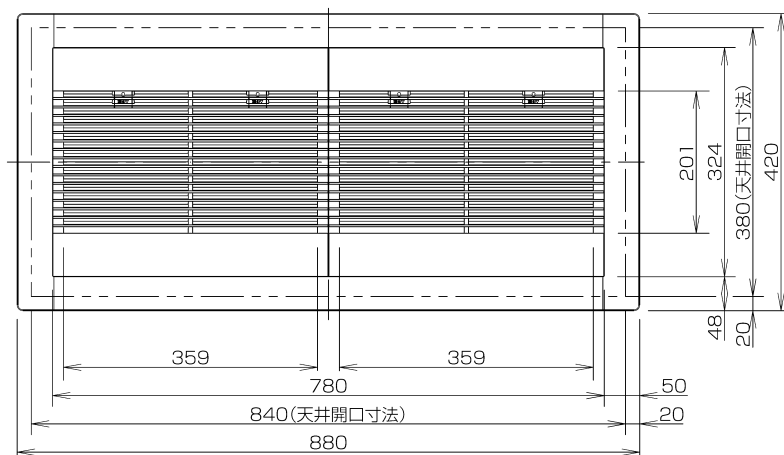
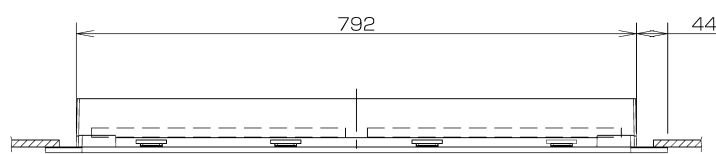
■外形寸法図

①	ドレン配管接続口 VP25 (外径φ32) φ200フレキホース付属
②	下部ドレン口 VP25 (外径φ32)
③	吊金具 (4-12X30長穴)
④	電源取入口
⑤	外気取入口 (φ150異形穴)
⑥	吹出ラダクト合フレンジ (4-φ200)
⑦	電機箱
⑧	ビルトイン大パネル CZ-160KPF1 (別売品)

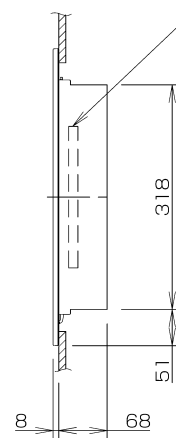


小パネル：CZ-02HPF3

■外形寸法図

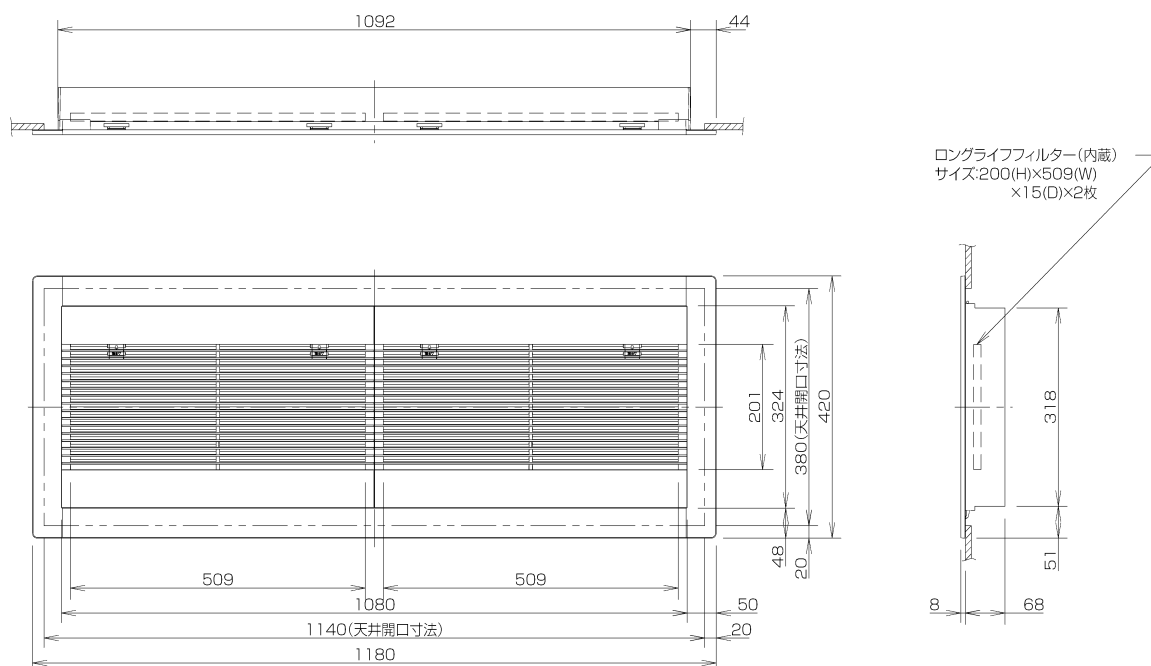


ロングライフフィルター(内蔵)
サイズ:200(H)×359(W)
×15(D)×2枚



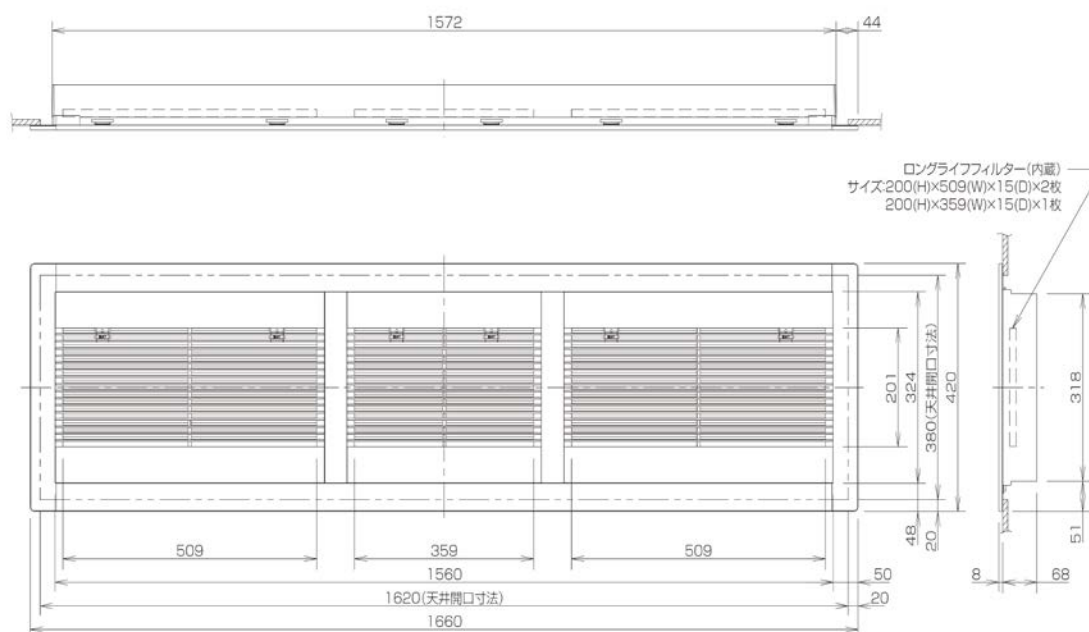
小パネル：CZ－03HPF3

■外形寸法図



小パネル：CZ－06HPF3

■外形寸法図



■大パネルの取付け方

□構成部品

パネル本体	金具A	金具B	金具C (56形)	金具C (90形)	金具C (160形)

(図1)

取付ネジ

(M5×L150)	(M5×L35)	(M5×L10)	(M4×L10)
56形: 1本 90形: 2本 160形: 2本	56形: 5本 90形: 6本 160形: 6本	4本	56形: 11本 90形: 13本 160形: 17本

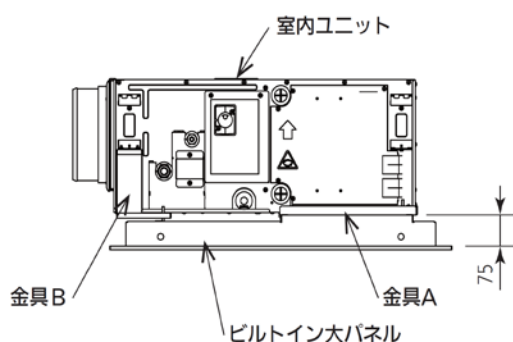
	(mm)	
	A	B
56形	1040	867
90形	1340	1067
160形	1820	1467

(M5×L115)	(M5×L16)
1本 (56形のみ使用)	1本 (56形のみ使用)

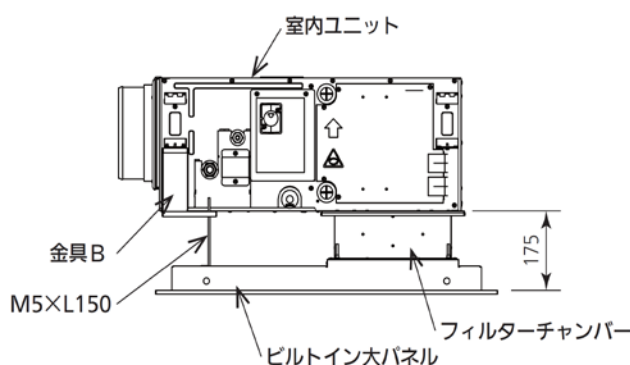
□取付け前に

1. 室内ユニットに、本品付属の金具A, B, Cを取り付けます。フィルターチャンバーを取り付ける場合は、取付板（室内ユニット付属品）を取り付けてください。（図6）金具Aは使用しません。
また、フィルターチャンバーは、1台のみ併用可能です。
2. 室内ユニットまたは別売品と天井面との寸法が、図2または図3に示す値となるように室内ユニットの高さを吊ボルトで調整してください。
3. 天井開口寸法は、図1を参照してください。

室内ユニットに直付け（図2）

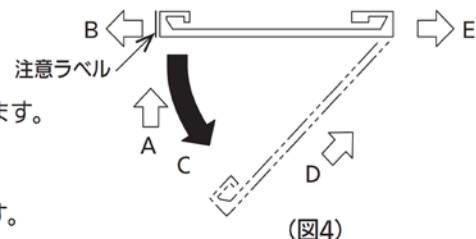


フィルターチャンバーとの併用（図3）



□ビルトイン大パネルの取付けかた（図5, 図6）

1. 吸込パネルをはずします。
 - ① 吸込パネルの注意ラベル側を持って、A, Bの手順で手前をはずします。
 - ② 落下防止ひもを固定しているネジをはずします。
 - ③ D, Eの手順でもう一方をはずします。
 - ④ 吸込パネルは注意ラベル側（エアフィルター側）のみ開閉できます。



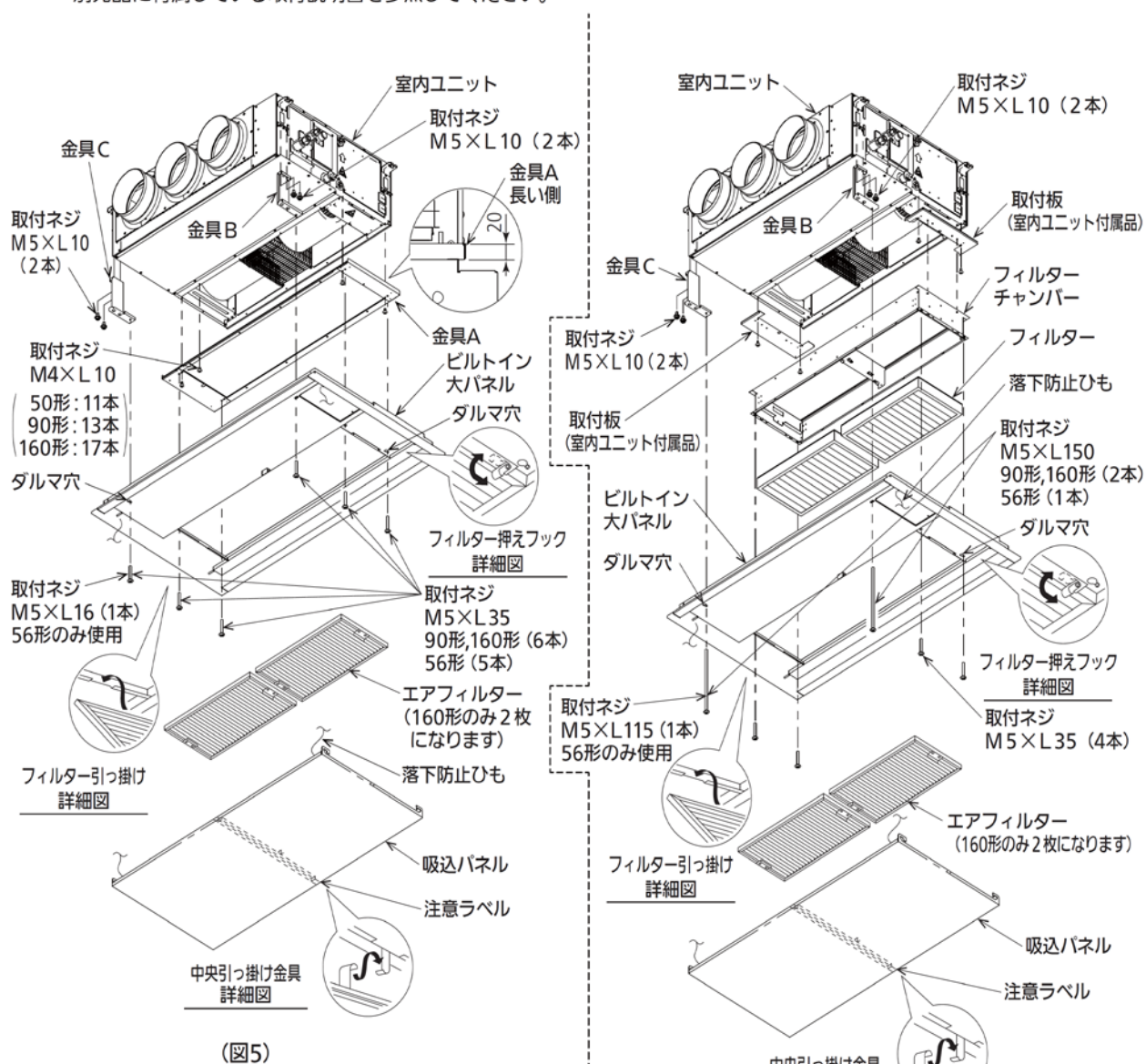
2. ビルトイン大パネルのダルマ穴（2か所）に合わせて、室内ユニット側に本品付属の取付ネジを仮止めします。
3. 仮止めしたネジにビルトイン大パネルのダルマ穴を挿入し、横に移動させて仮止めします。
4. 残りのネジを取り付け、ビルトイン大パネルを固定します。
5. ビルトイン大パネルと天井面が密着していることを確認し、吸込パネルを取り付けます。
落下防止ひもを必ず取り付けてください。ひもが下から見えないよう、内側に向けてください。
6. エアフィルターはフィルター押えフックを90度回転させると取りはずすことができます。

注意：●ビルトイン大パネル本体の仮止めは2人作業で行い、落下防止に心掛けてください。

- ビルトイン大パネルと天井面に隙間がある場合は、室内ユニットの吊ボルトの高さを再調整してください。
- 大パネル本体と吸込パネルは中央に引っ掛け金具があります。吸込パネルを取り付ける際には向きに注意して金具どうしが確実に引っ掛かるようにしてください。

□ 併用別売品の取付けかた

- 別売品に付属している取付説明書を参照してください。



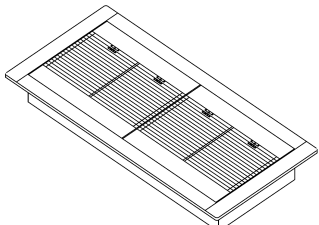
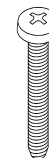
(図5)

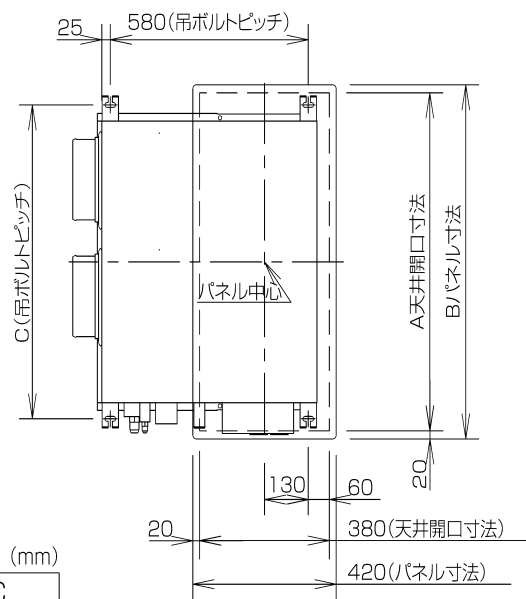
(図6)

■小パネルの取付け方

据付工事担当のかたへ ビルトイン小パネル取付説明書

1. 部品構成

ビルトイン小パネル	取り付けねじ(付属)
	 (M5XL35) 4本



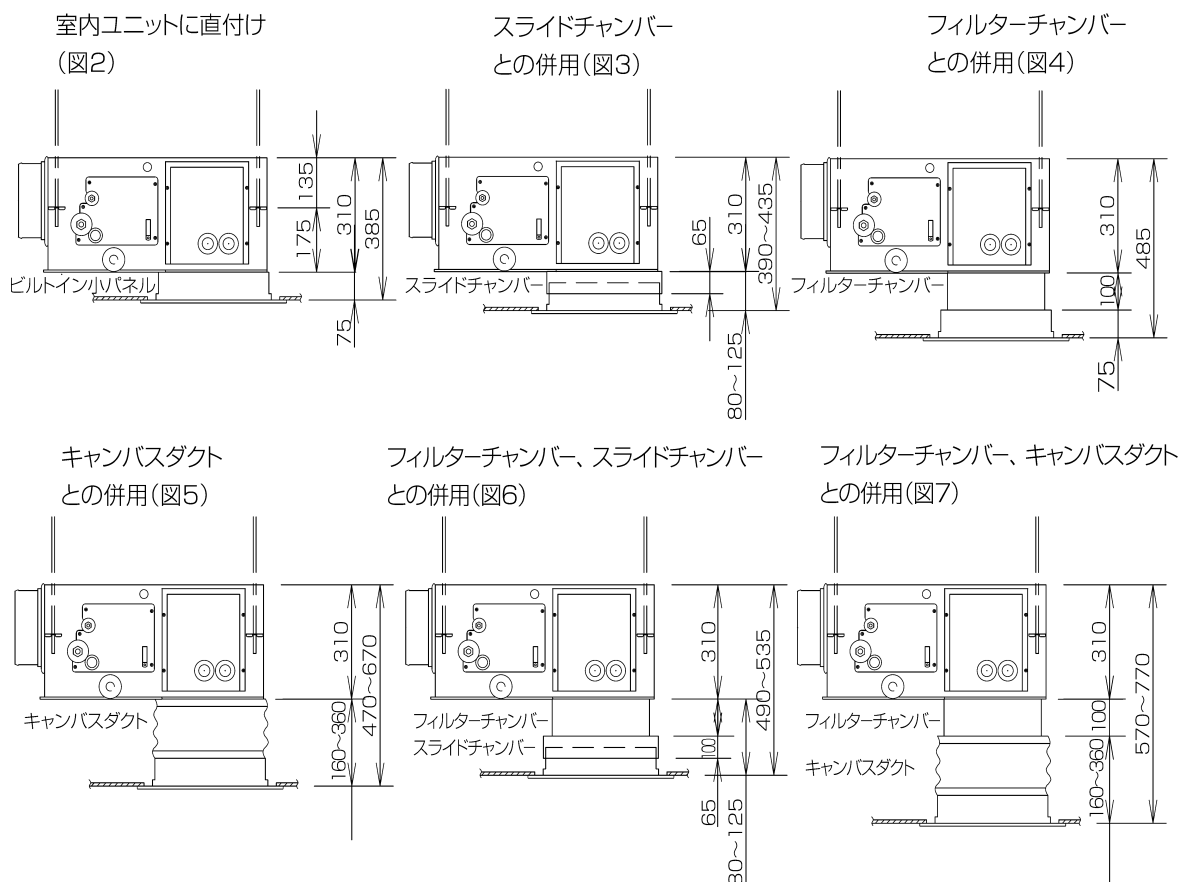
(mm)

	A	B	C
56形	840	880	780
80形	1140	1180	1080
160形	1620	1660	1560

(図1)

2. 取り付け前に

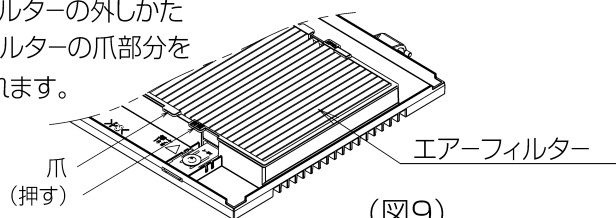
- ・天井開口寸法は、図1に従い確実に行ってください。
- ・室内ユニットまたは別売品下面と天井面との寸法は、図2～7になるように室内ユニットの吊ボルトで調整してください。



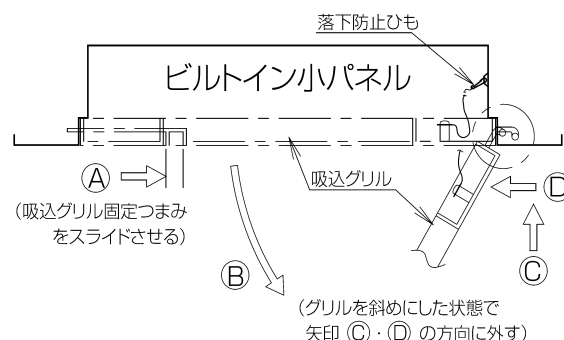
3. ビルトイン小パネルの取り付けかた

3-1. 吸込グリル(エアフィルター付)を外します。

- ・吸込グリルの外しかた
- ・吸込グリル内側に付いている落下防止ひもを外します。
- ・(A) ~ (D) の手順で吸込グリルを外します。
- ・エアフィルターの外しかた
エアフィルターの爪部分を
押すと外れます。



(図9)



(図8)

3-2. ビルトイン小パネルを室内ユニットまたは別売品に取り付けるときは、パネルのダルマ穴(対角)が付く個所に付属ねじを仮止めします。

3-3. 仮止めたねじにパネルのダルマ穴を挿入し、横に移動しながら、パネルを仮止めします。

3-4. 残りの付属ねじ(2本)と仮止めねじ(2本)でパネルを固定します。

3-5. パネルと天井面が密着していることを確認し、吸込グリルにエアフィルターが付いていることを確認し取り付けます。

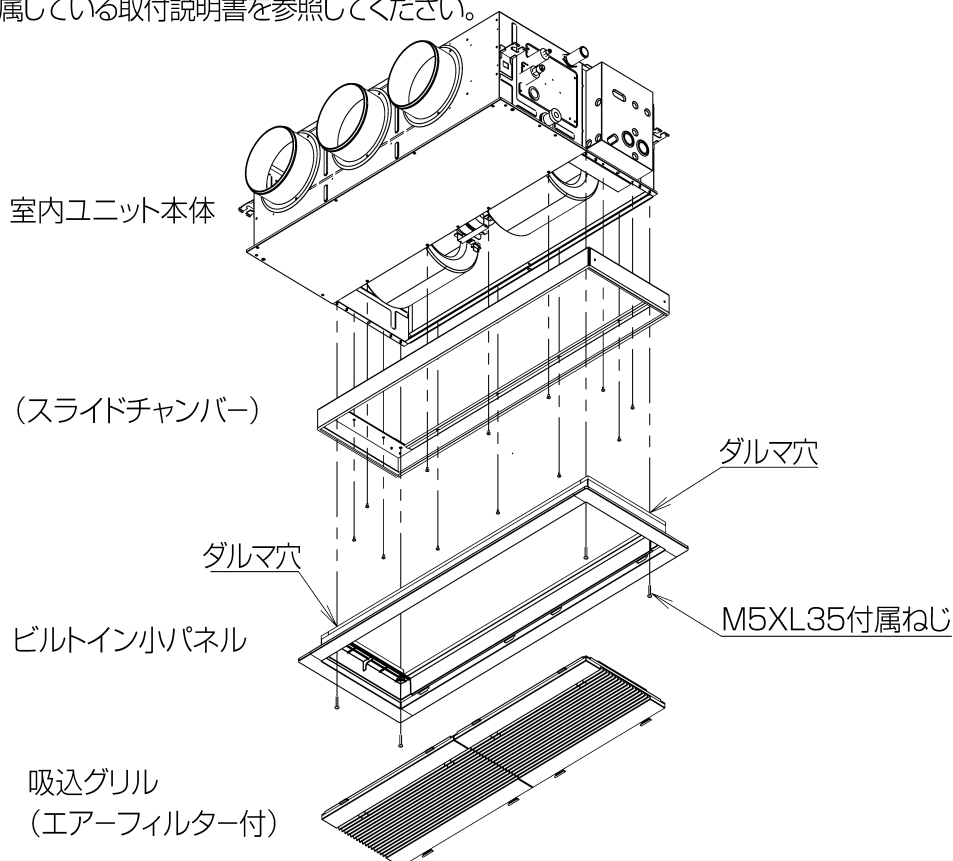
注意: ビルトイン小パネルと天井面に隙間がある場合は、室内ユニットの吊りボルトの高さを再調整してください。

3-6. 吸込グリル内側の落下防止ひもを取り付けます。

参考: 吸込グリルの取り付け向きは、どちら側でも可能です。

4. 併用別売品の取り付けかた

- ・別売品に付属している取付説明書を参照してください。



■フィルター仕様 (天井ビルトインカセット形)

●高性能フィルター (JIS比色法65%)

名 称		高性能フィルター (JIS比色法65%)						
品 番		AFT-MBD50T		AFT-MBD80T		AFT-MBD140T		
適用機種	天井ビルトインカセット形	22/28/36/45形	56形	71形	90形	112形	140形	160形
静 圧 設 定	—	15	15	15	15	15	15	15
初 期 風 量	m³/min	13.6	14.4	22.8	23.9	34.3	36.4	37.9
最 終 風 量	m³/min	9.0	10.3	17.0	18.5	25.8	25.8	27.4
初期機外静圧	Pa	54	56	70	73	70	69	71
最終機外静圧	Pa	93	94	102	108	103	112	115
寿 命	時間	4900	4600	3700	3700	4100	4100	4000
平 均 効 率	—	JIS比色法 65% (JIS 11種)						
使 用 濾 材	—	ポリオレフィン系帯電繊維						
フィルタ外形寸法 幅×奥行×厚み	mm	(663×1) × 269 × 50		(473×2) × 269 × 50		(713×2) × 269 × 50		

●高性能フィルター (JIS比色法90%)

名 称		高性能フィルター (JIS比色法90%)						
品 番		AFT-HBD50T		AFT-HBD80T		AFT-HBD140T		
適用機種	天井ビルトインカセット形	22/28/36/45形	56形	71形	90形	112形	140形	160形
静 圧 設 定	—	15	15	15	15	15	15	15
初 期 風 量	m³/min	13.1	14.1	22.2	23.3	33.6	35.2	36.9
最 終 風 量	m³/min	9.0	10.3	17.0	18.5	25.8	25.8	27.4
初期機外静圧	Pa	59	59	73	77	73	74	75
最終機外静圧	Pa	93	94	102	108	103	112	115
寿 命	時間	2500	2400	1900	1400	2000	2000	2000
平 均 効 率	—	JIS比色法 90% (JIS 11種)						
使 用 濾 材	—	ポリオレフィン系帯電繊維						
フィルタ外形寸法 幅×奥行×厚み	mm	(663×1) × 269 × 50		(473×2) × 269 × 50		(713×2) × 269 × 50		

●ロングライフフィルター

名 称		ロングライフフィルター						
品 番		AFT-LBD50T		AFT-LBD80T		AFT-LBD140T		
適用機種	天井ビルトインカセット形	22/28/36/45形	56形	71形	90形	112形	140形	160形
静 圧 設 定	—	8	8	11	11	11	11	11
初 期 風 量	m³/min	12.6	13.6	21.5	23.3	32.5	34.5	36.3
最 終 風 量	m³/min	10.0	11.7	15.9	17.4	24.5	24.3	26.1
初期機外静圧	Pa	39	39	47	48	48	49	48
最終機外静圧	Pa	62	59	79	83	80	87	91
寿 命	時間	5000	5000	5000	5000	5000	5000	5000
平 均 効 率	—	JIS重量法 28% (JIS 15種)						
使 用 濾 材	—	PPハニカム (防カビ仕様)						
フィルタ外形寸法 幅×奥行×厚み	mm	(663×1) × 269 × 50		(473×2) × 269 × 50		(713×2) × 269 × 50		

注意事項

- 1) 最終機外静圧・寿命は上記静圧設定時の値です。
- 2) フィルター寿命(時間)は、塵埃濃度0.15mg/m³(ビル管理法規制値)として算出しています。
寿命(時間)は現場条件により異なります。
- 3) ユニットに取り付ける場合は、フィルターチャンバーも必要ですので同時手配ください。

●フィルターチャンバー

品 番		CZ-56FBCF1	CZ-90FBCF1	CZ-160FBCF1
チャンバー外形寸法 幅×奥行×厚み	mm	783×313×100	1038×313×100	1518×313×100

■圧力損失

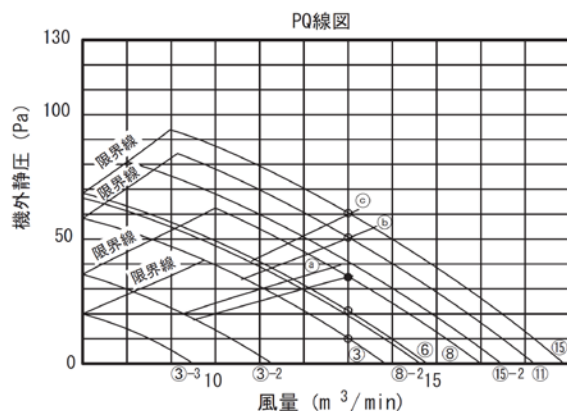
●天井ビルトインカセット形

室内ファンタップ (ビルトインカセット)

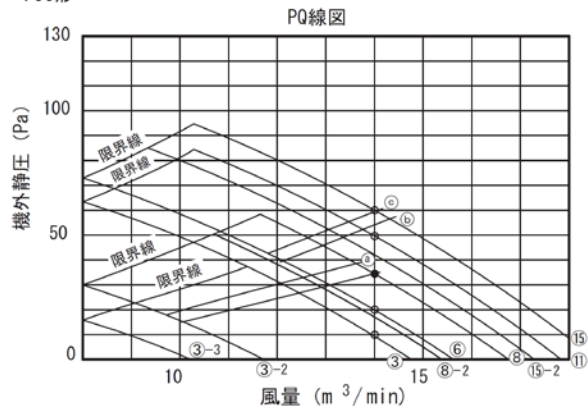
		項目コード "b0"											
		00	15	00	12	00	11	00	08	00	06	00	03
タップ	15	H	H										
	12			H	H								
	11					H	H						
	15-2	M	M										
	8			M	M			H	H				
	6	L	L			M	M			H	H		
	8-2					M	M						
	3			L	L	L	L			M	M	H	H
	3-2					L	L	L	L	M	M		
	3-3											L	L

(H:急、M:強、L:弱)

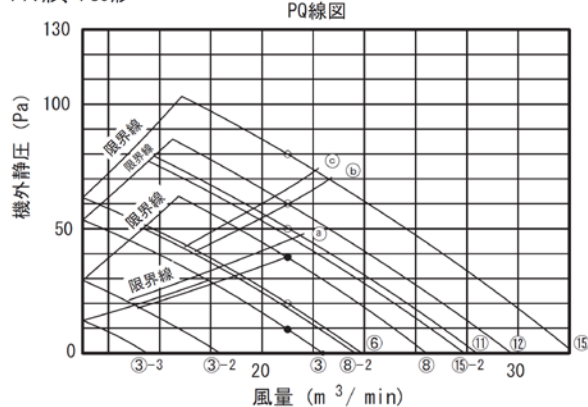
P22形、P28形、P36形、P45形



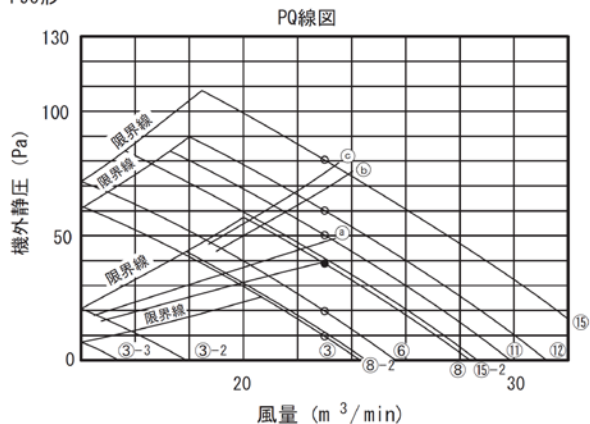
P56形



P71形、P80形

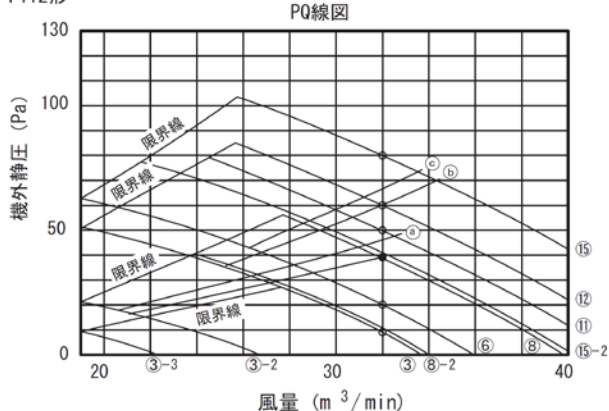


P90形

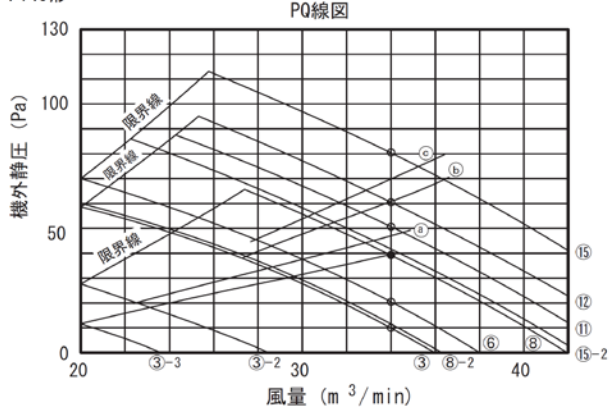


- ① ロングライフフィルター初期圧力損失
- ② 高性能フィルター (JIS比色法65%) 初期圧力損失
- ③ 高性能フィルター (JIS比色法90%) 初期圧力損失

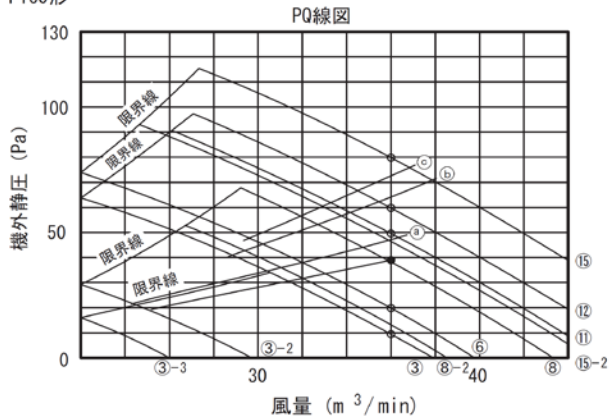
P112形



P140形



P160形



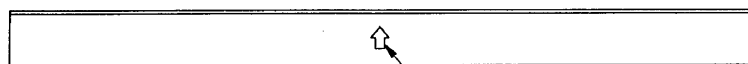
■外形寸法図

高性能フィルター（JIS比色法65%）

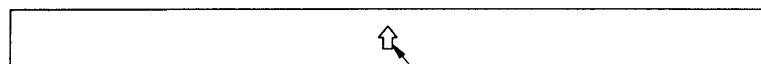
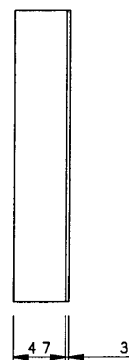
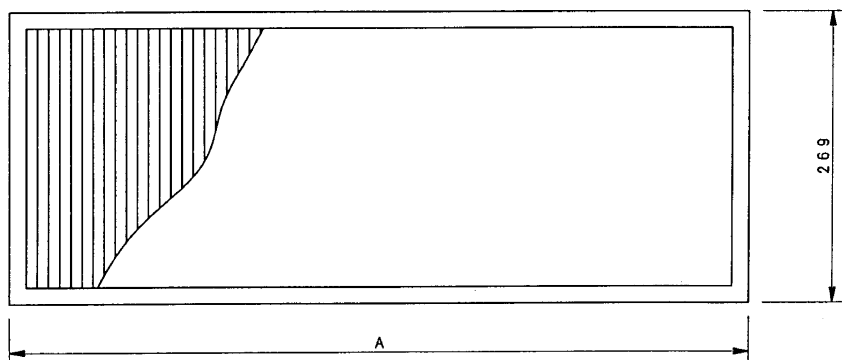
品 番	A	員数
AFT-MBD50T	663	1
AFT-MBD80T	473	2
AFT-MBD140T	713	2

高性能フィルター（JIS比色法90%）

品 番	A	員数
AFT-HBD50T	663	1
AFT-HBD80T	473	2
AFT-HBD140T	713	2

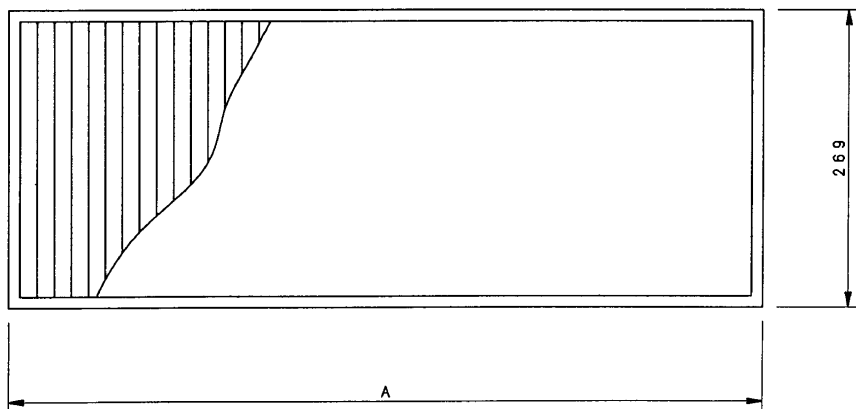


風の流れ



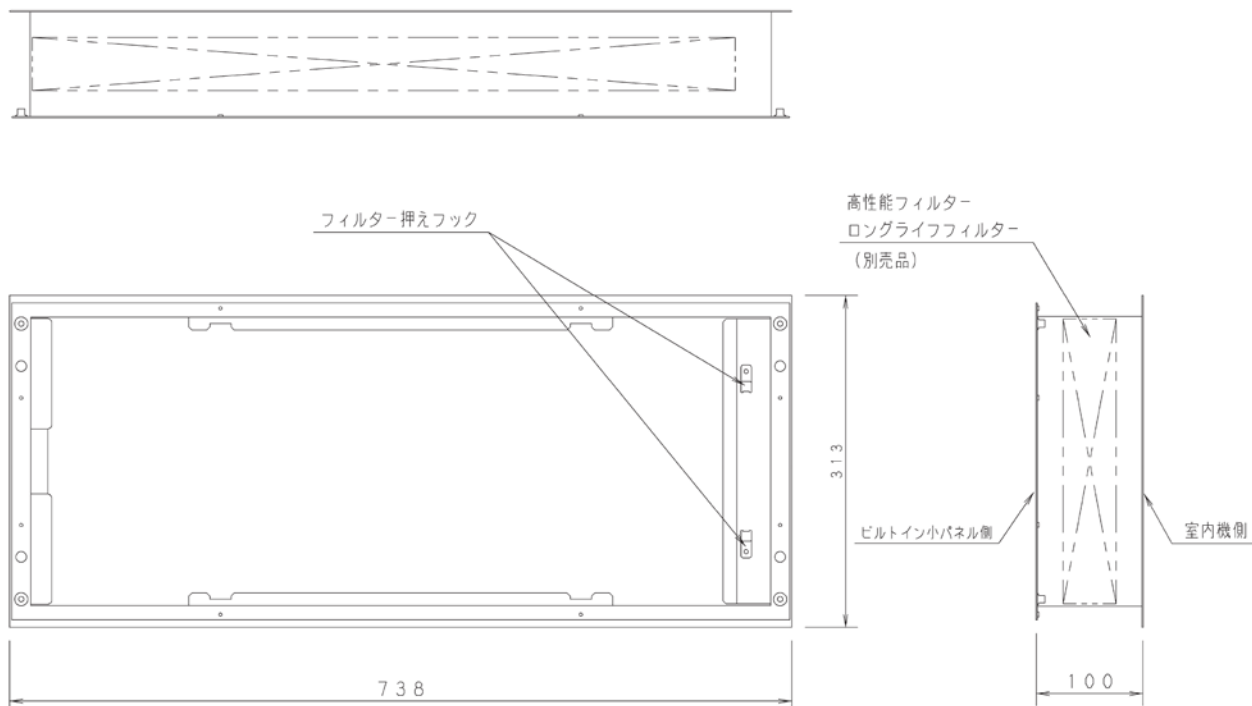
風の流れ

品 番	A	員数
AFT-LBD50T	663	1
AFT-LBD80T	473	2
AFT-LBD140T	713	2

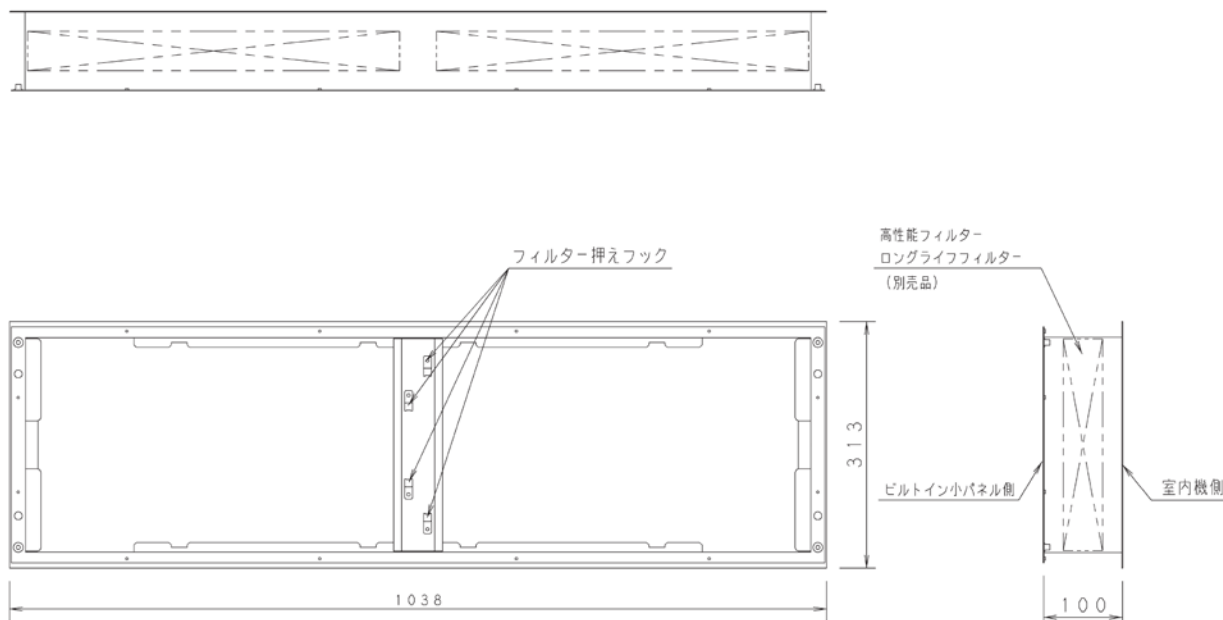


フィルターチャンバー (CZ-56・90・160FBCF1)

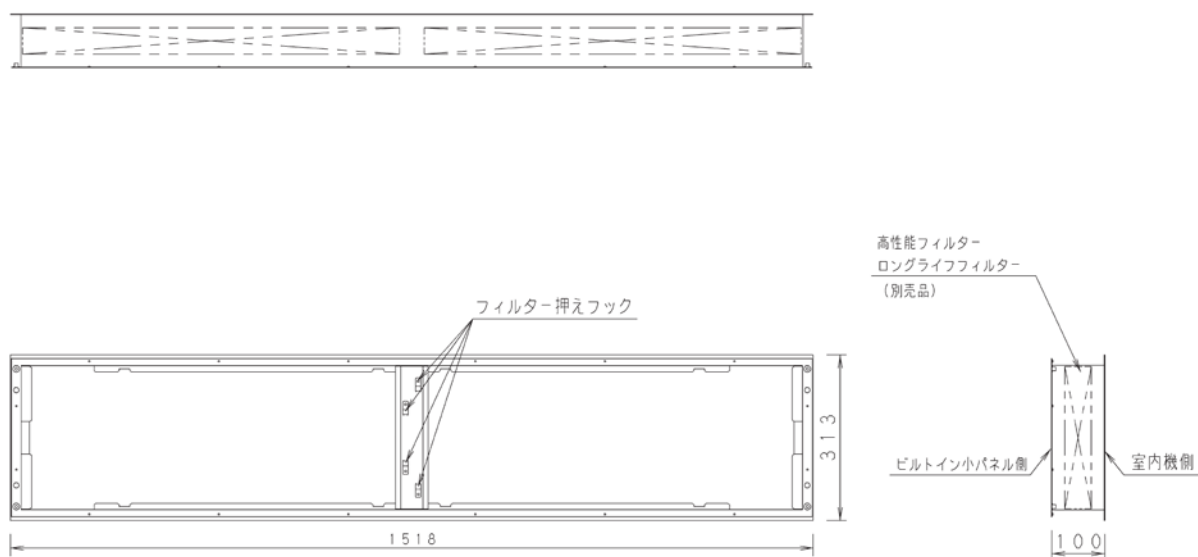
■外形寸法図



品番	CZ-56FBCF1	外形寸法図 フィルターチャンバー 天井ビルトインカセット形
----	------------	-------------------------------------



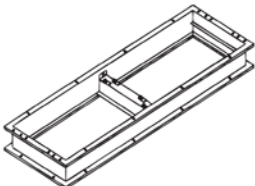
品番	CZ-90FBCF1	外形寸法図 フィルターチャンバー 天井ビルトインカセット形
----	------------	-------------------------------------



品番	CZ-160FBCF1	外形寸法図 フィルタチャンバー 天井ビルトインカセット形
----	-------------	------------------------------------

■ビルトイン用フィルター、フィルターチャンバーの取り付け方

□ 構成部品

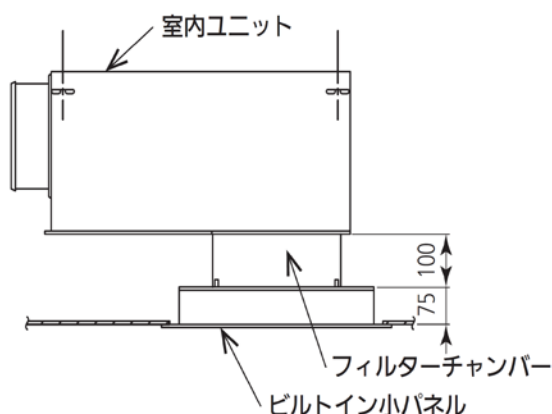
フィルターチャンバー	取付ネジ	
	(M5×L16)	(M4×L12)
		
	56形： 4本	56形： 4本
	90形： 4本	90形： 8本
	160形： 4本	160形： 12本

※フィルターは別売の高性能フィルターまたは、ロングライフフィルターを使用してください。

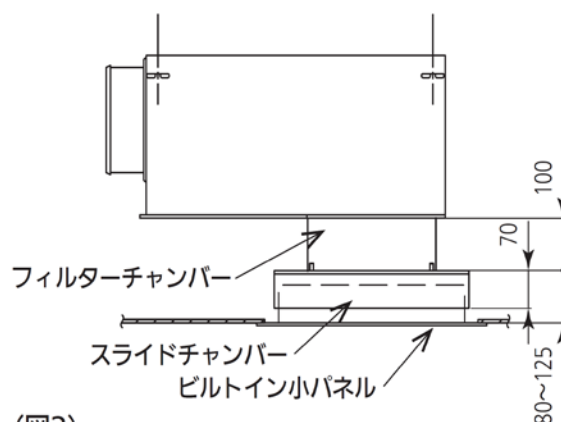
□ 取付け前に

1. 室内ユニットに取付板（室内ユニット付属品）を取り付けてください。
取付方法は、室内ユニットに付属の据付工事説明書を参照してください。
2. 高性能フィルターまたは、ロングライフフィルターを使用する場合は、裏面の設定方法に従って静圧設定を行ってください。
3. フィルターチャンバーと天井面との寸法が、図1～図3に示す値となるように室内ユニットの高さを吊ボルトで調整してください。
4. ビルトイン小パネル（別売）の天井開口寸法は、室内ユニットに付属の据付工事説明書またはビルトイン小パネル（別売）に付属の取付説明書を参照してください。

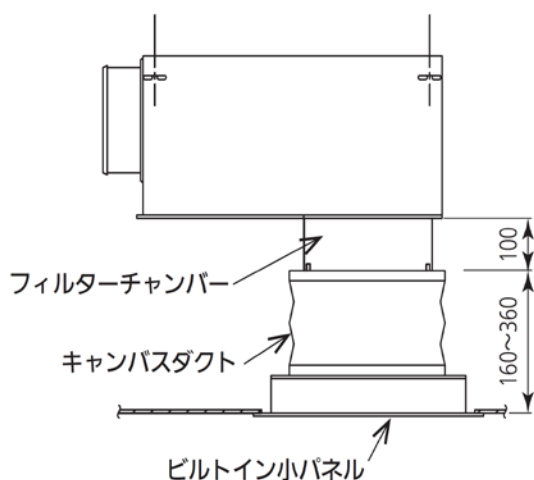
①ビルトイン小パネルとの併用（図1）



②ビルトイン小パネル、スライドチャンバーとの併用（図2）



③ビルトイン小パネル、キャンバスダクトとの併用（図3）

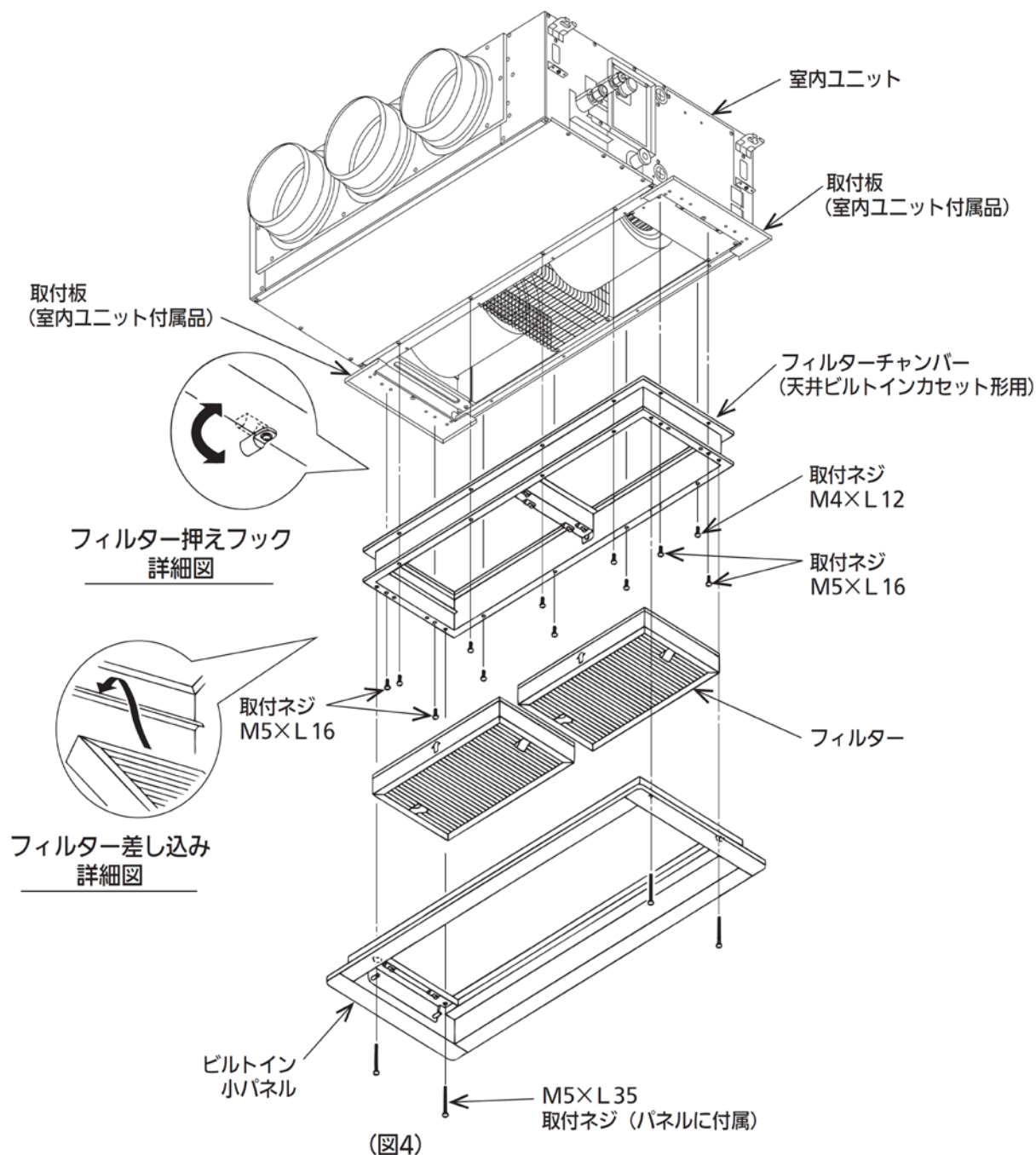


□ 取付けかた

1. フィルターチャンバーを付属の取付ネジで、室内ユニットに確実に固定します。(図4)
(56形…M5:4本・M4:4本、90形…M5:4本・M4:8本、160形…M5:4本、M4:12本)
2. 56形を取り付ける場合は、フィルター押えフックが電装箱側に来るように配置してください。
3. フィルターはフィルターチャンバーの片側に差込み、フィルター押えフックを90度回転させて固定します。取り付けについては、高性能フィルターまたは、ロングライフフィルター付属の取付説明書を参照してください。

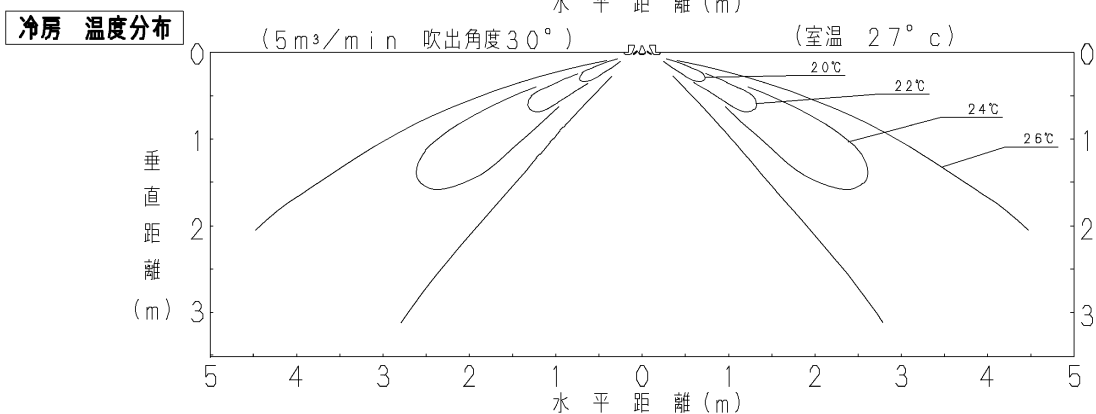
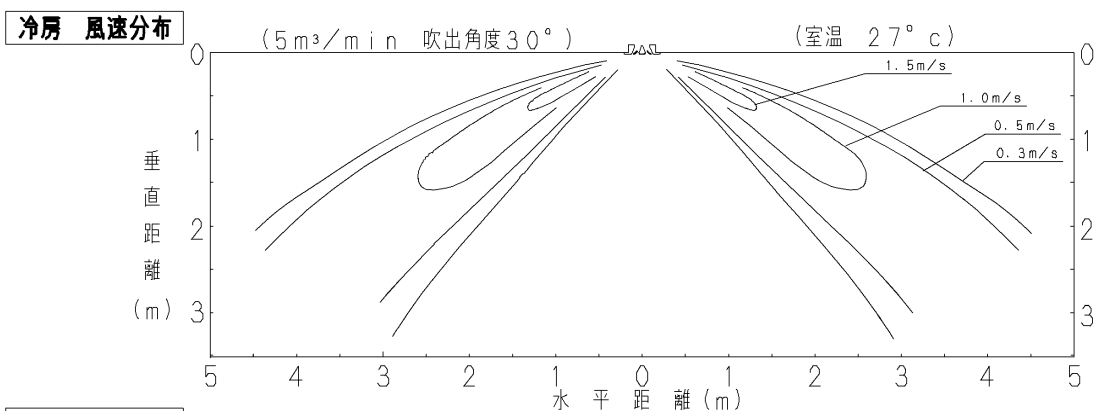
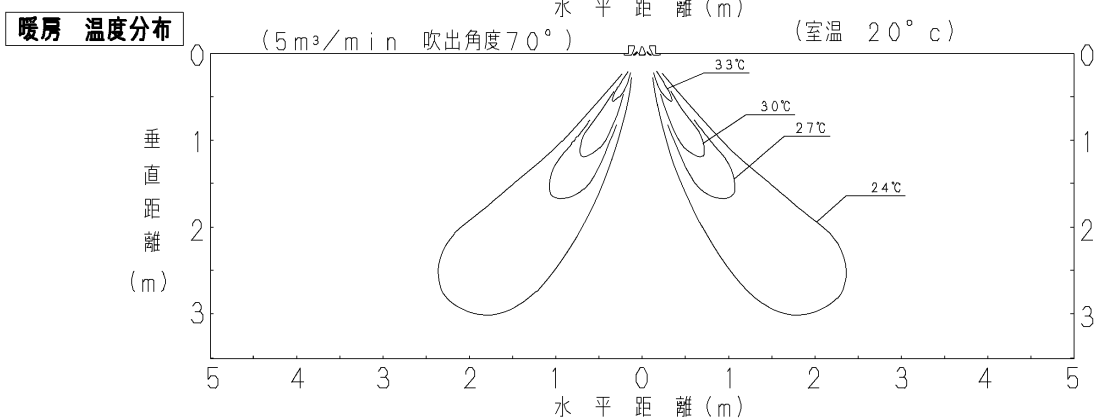
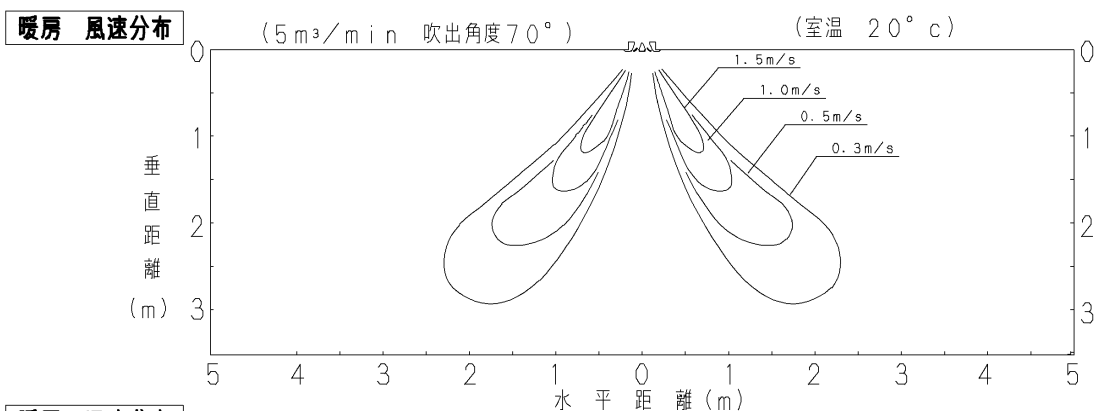
□ 併用別売品の取付けかた

- 別売品に付属している取付説明書を参照してください。

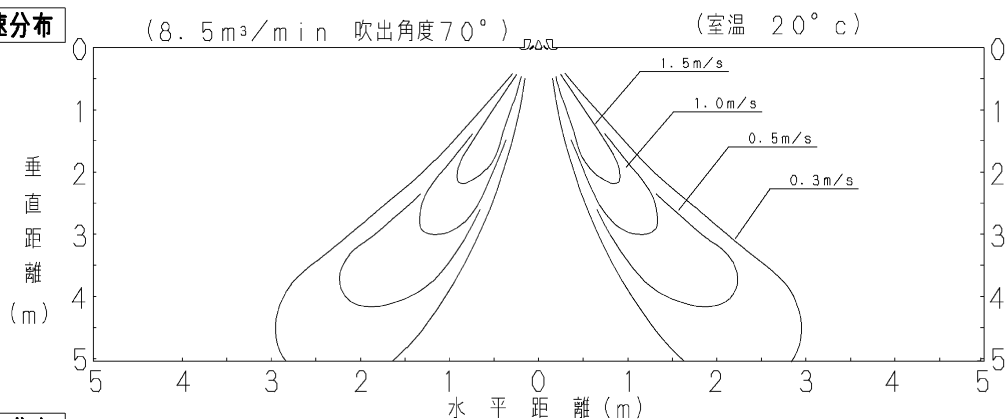


吹出口グリル (GRL-S15B・GRL-S20B)

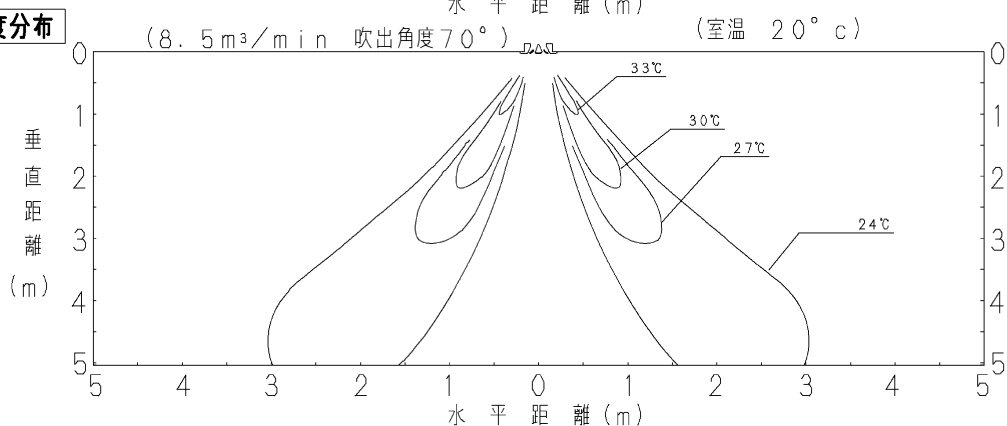
■風速分布・温度分布



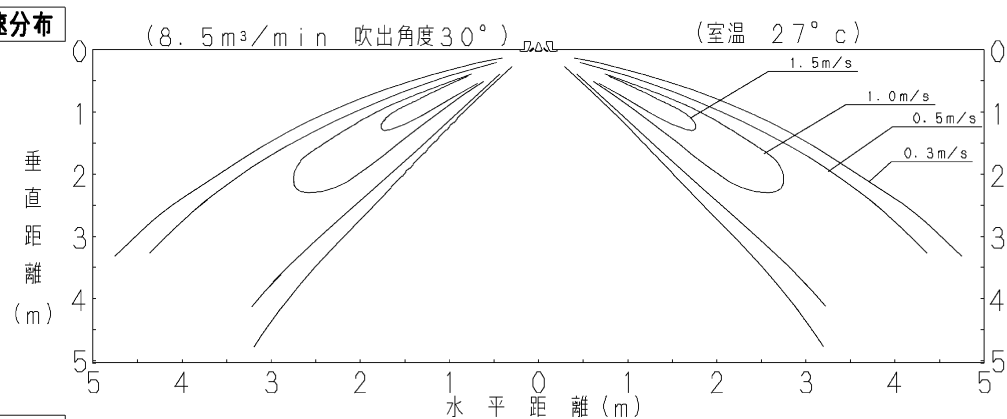
暖房 風速分布



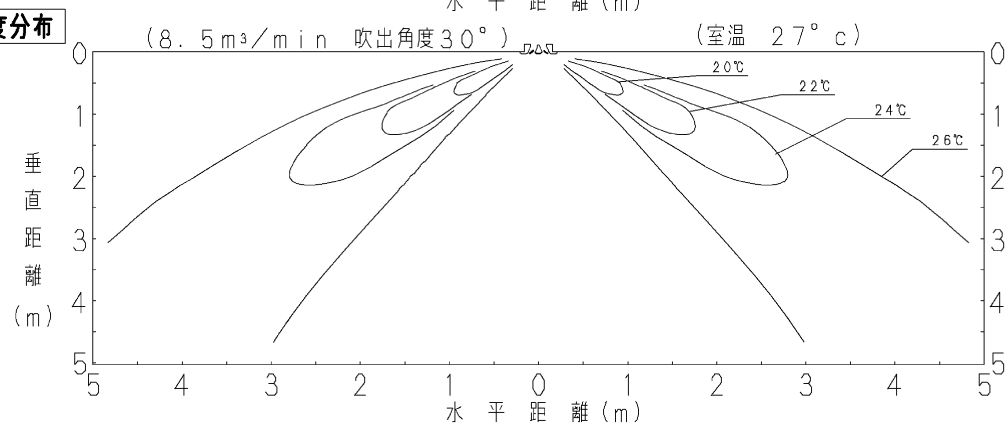
暖房 温度分布



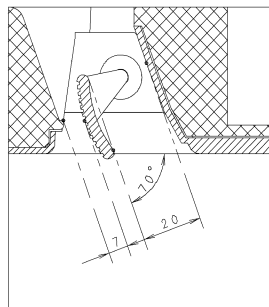
冷房 風速分布



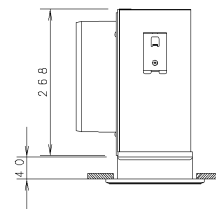
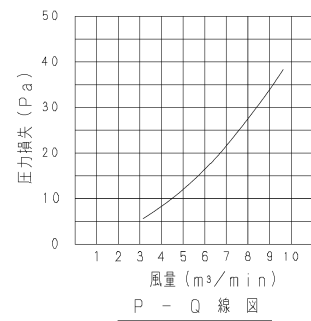
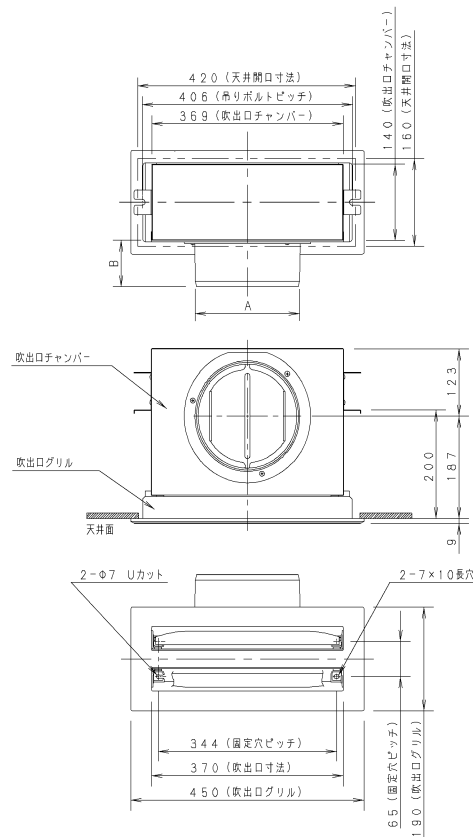
冷房 温度分布



■外形寸法図



$$S(16^\circ) = 0.020 \text{ (m}^2\text{)}$$



(mm)

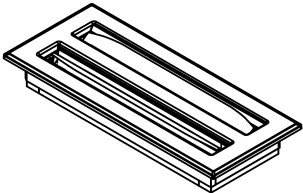
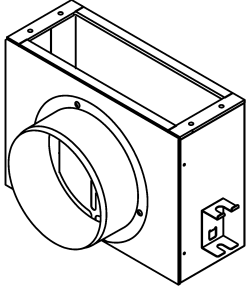
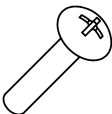
品 番	A	B
GRL-S15B	150	100
GRL-S20B	200	85

■据付説明

● 据え付け前に本説明書をよくお読みください。

- △注意
- ・据え付けは、製品重量に十分耐える所に行ってください。
強度が不足している場合、落下によりけがの原因になります。
 - ・油・オイルミスト雰囲気中に設置することは避けてください。
グリルが破損して落下する可能性があります。
 - ・落下させたり、無理な力を加えた場合、破損する可能性があります。

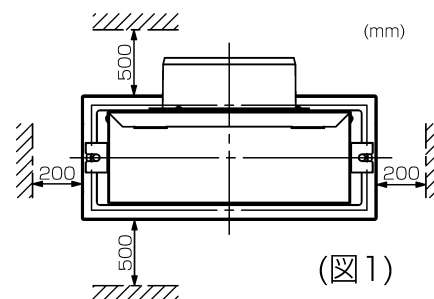
1. 梱包内容

グリル	チャンバー	グリル取付ビス	取付説明書
		 M4×35 4本	 本紙 1枚

機種名	ダクト接続径
GRL-S15B	Φ150
GRL-S20B	Φ200

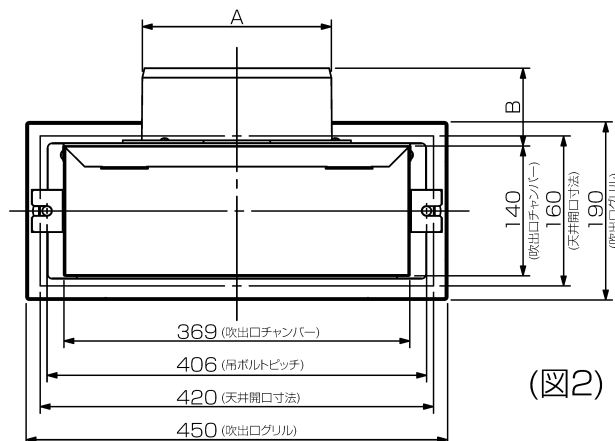
2. 据付場所

- ・吹出口グリルは、温度分布が均一になる様な場所に据え付けてください。
- また、吹出口グリルは壁面に対して、右図寸法以上近づけないようにしてください。冷房時、壁面に露が付くことがあります。
- ・建物の出入口付近には設置しないでください。
吹出口に露が付くことがあります。



3. 据え付け前の準備

- ・天井開口穴と吹出口グリル、吹出口チャンバーの位置関係は、下図に従ってください。

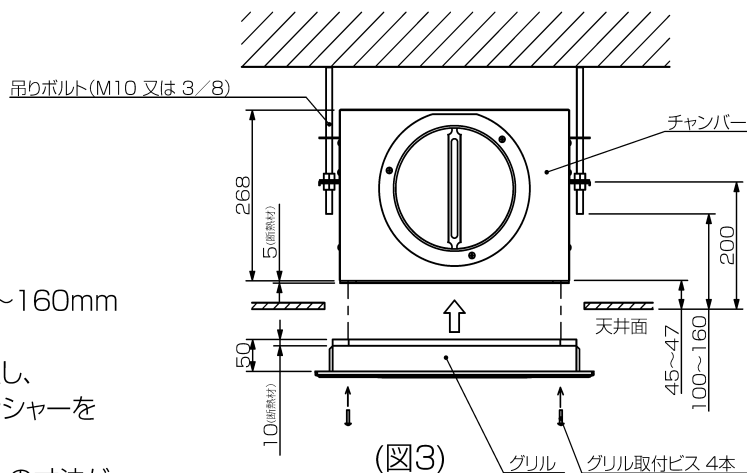


吹出口グリル	(mm)	
	A	B
GRL-S15B	150	100
GRL-S20B	200	85

4. 据え付けかた

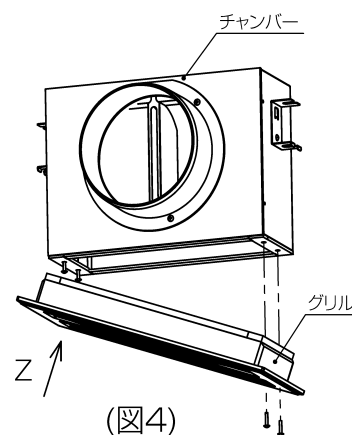
(1) チャンバーの据え付けかた (図3)

- ・吊りボルトの長さは、天井下面より100～160mmの範囲にしてください。
- ・チャンバーは、吊り金具に吊りボルトを通し、必ず吊り金具の上下両面からナット、ワッシャーを用いて確実に固定してください。
- ・チャンバー下部(板金部より)と天井下面との寸法が45～47mmの位置になるように調整してください。吊りボルトが長いと、グリルに当たり、グリルが破損、結露する可能性があります。



(2) グリルの取り付けかた (図4)

- ・付属のビス2本をチャンバー短手片側に5mm程度仮止めしてください。
- ・グリルのビス穴(Uカット側)を仮止めしたビスに通した後、逆側のビス2本をグリルを押し上げて止めてください。

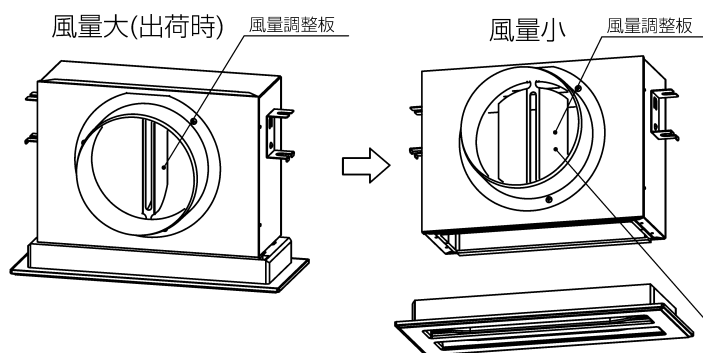


〈ご注意〉

吹出口チャンバーに吹出口グリルを取り付ける時には、絶対に隙間ができないように注意してください。
隙間ができると露が付く原因となります。

5. 風量調節のしかた

- (1) チャンバー内の風量調整板の角度を変えて風量を調整してください。
出荷時は風量最大になるようにしてあります。



〈ご注意〉

風量調整板は全閉では使用しないでください。異常音やグリルからの水滴落下の原因になります。

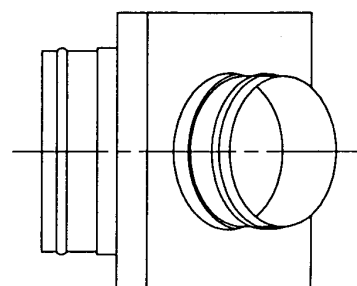
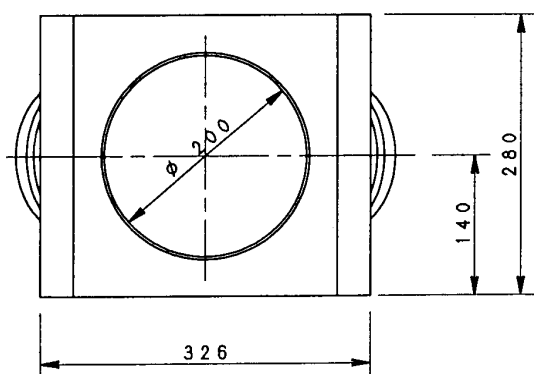
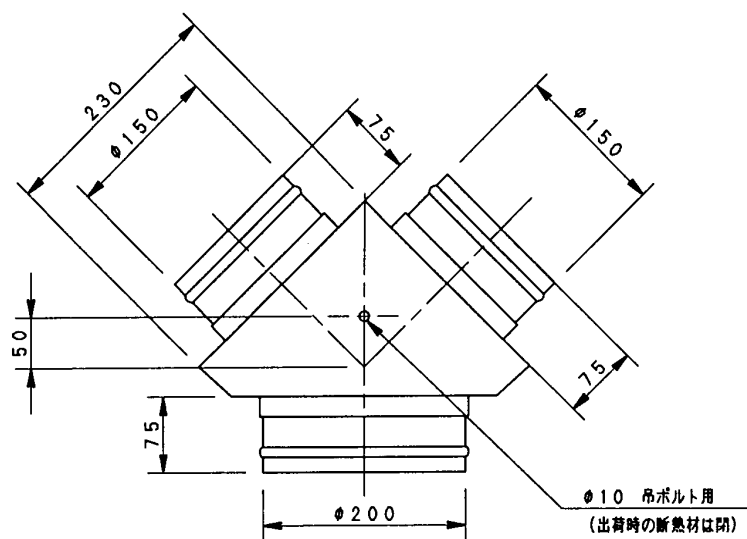
グリルを外して吹出口側から手を入れて調整してください。

(2) 風向調整のしかた

手動にて吹出グリルのフラップを動かし、風向を調節してください。

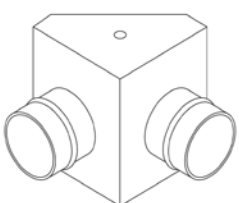
分岐チャンバー (CMB-B20B)

■外形寸法図



■取付方

□ 構成部品

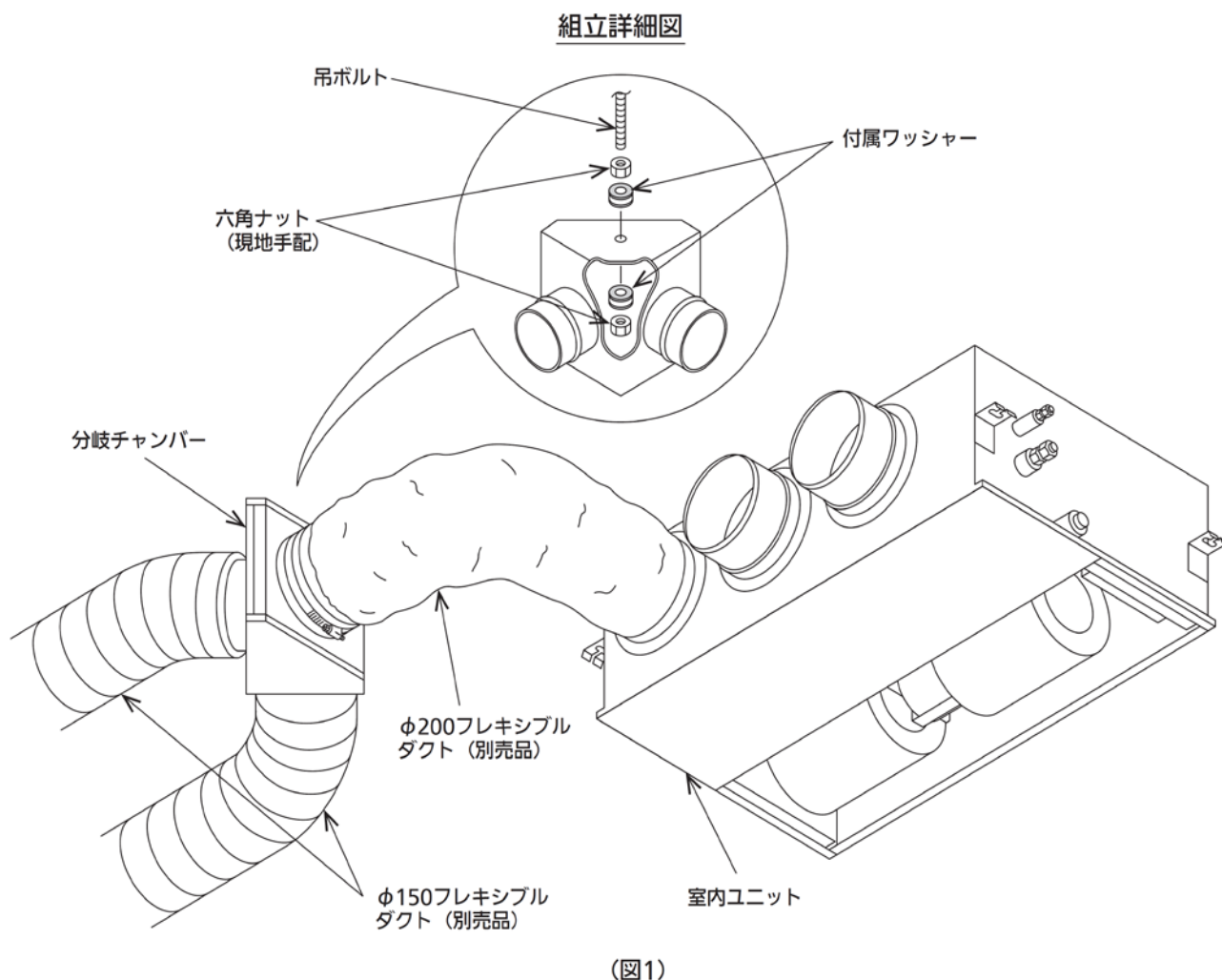
分岐チャンバー	ワッシャー (両面断熱材付き)
	 2個

□ 取付け前に

1. 分岐チャンバーの吊ボルト穴はφ10です。
出荷時の断熱材は穴無しになっています。吊ボルトによる吊込みを行う場合は、断熱材のヘコミ(φ10程度)を押し穴あけしてください。
2. 吊ボルトに付属のワッシャーを上下に差し込み、六角ナットで固定してください。(図1)
ワッシャーの取り付けは詳細図を参照してください。

□ 併用別売品の取付けかた

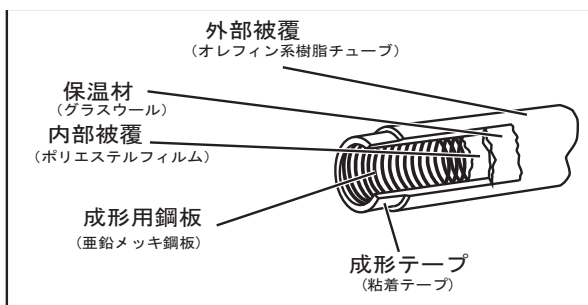
- 別売品に付属している取付説明書を参照してください。



別売部品

5. 室内ユニット関連部品の仕様と据付 (天井ビルトインカセット形)

フレキシブルダクト CZ-F1510、1520、1550
CZ-F2010、2020、2050

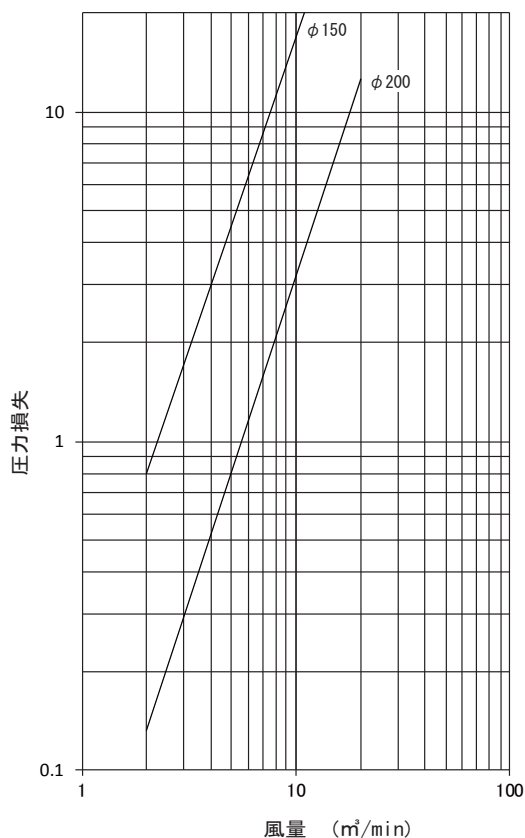


フレキシブルダクトは自由に曲げる事が出来、施工が困難な場所にもムリなく使用出来ます。
ダクト周囲温度が30℃、80%を超える場合は市販の高断熱仕様(断熱材厚さ: 50mm程度)のダクトをご使用ください。

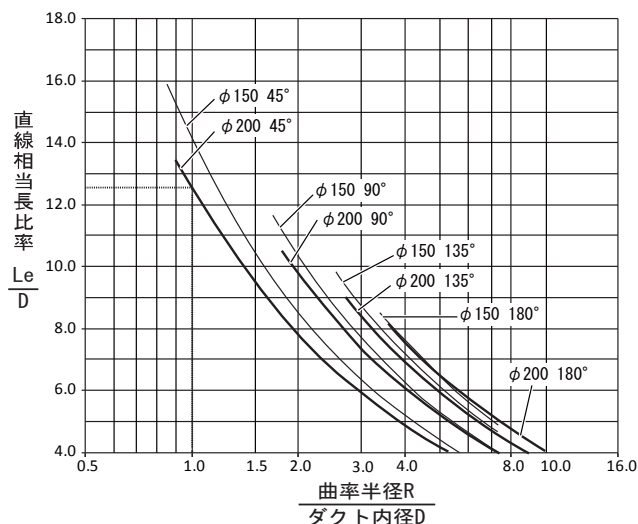
仕様

品番	CZ-F2010	CZ-F2020	CZ-F2050	CZ-F1510	CZ-F1520	CZ-F1550
口径 mm	φ200			φ150		
長さ m	1.0	2.0	5.0	1.0	2.0	5.0
使用温度	-10℃～80℃					
最大風速	15m / sec					
使用静圧	-150Pa～500Pa					
90° 最小曲率半径	360mm			255mm		
45° 最小曲率半径	180mm			128mm		
付属品	バンド×2, 断熱材×1, 粘着テープ×1			バンド×2, 断熱材×1, 粘着テープ×1		

圧力損失(直線部) 図-1 (Pa/m)

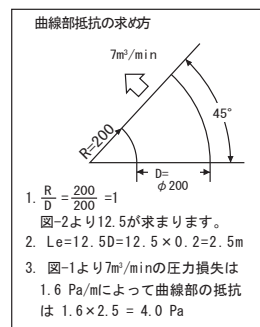
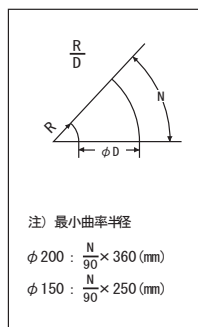


曲り部の直線相当長比率 図-2



Leの目安

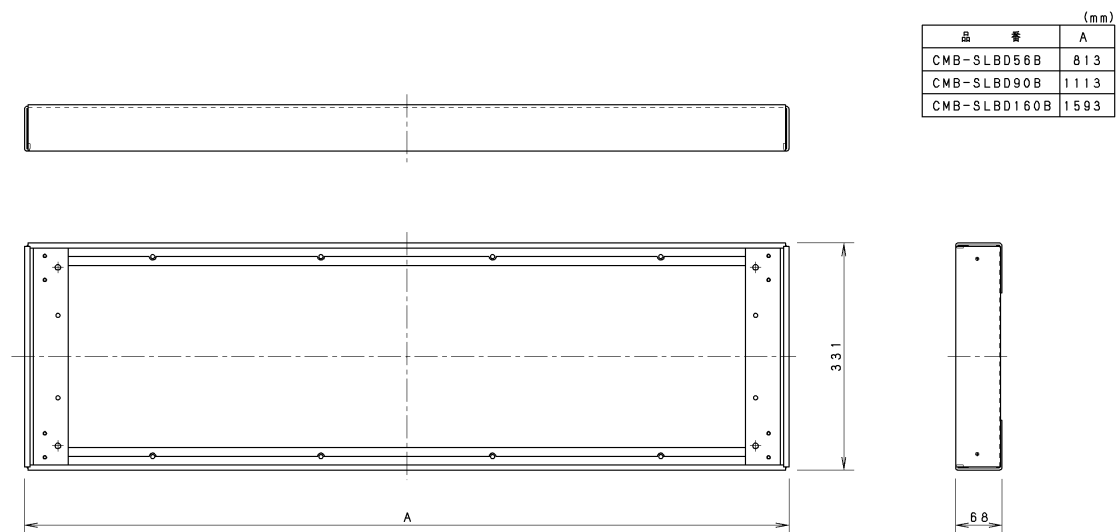
R/D	Le (m)		R/D	Le (m)	
	φ200	φ150		φ200	φ150
1.0	2.5	2.1	3.0	1.2	1.0
2.0	1.6	1.3	4.0	1.0	0.8



品番	CZ-F1510, 1520, 1550 CZ-F2010, 2020, 2050	外形寸法図 フレキシブルダクト(丸)
----	--	-----------------------

スライドチャンバー (天井ビルトインカセット形 : CMB-SLBD56・90・160B)

■外形寸法図

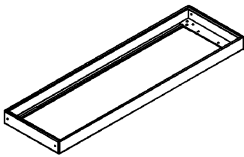


■取付方

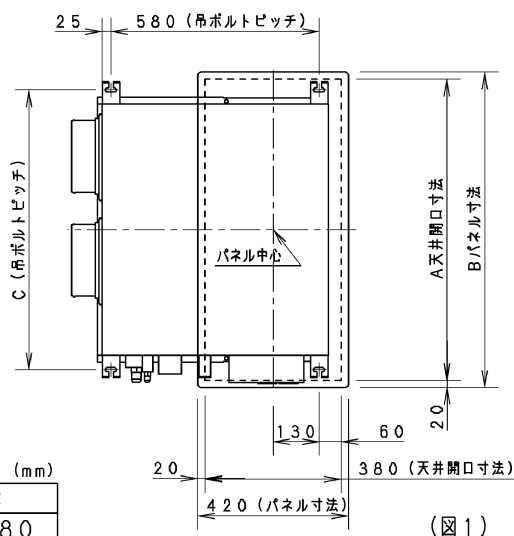
据付工事担当のかたへ

スライドチャンバー取付説明書

1. 部品構成

スライドチャンバー	取り付けねじ (付属)
	(M5×L100) 4本
	取り付けビス (付属)
	(4×L12) 56形: 8本 90形: 12本 160形: 16本

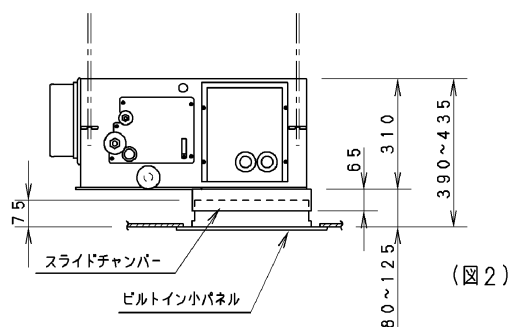
	(mm)		
	A	B	C
56形	840	880	780
90形	1140	1180	1080
160形	1620	1660	1560



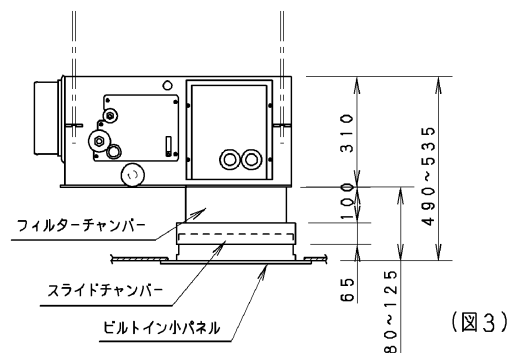
2. 取り付け前に

- ・天井開口寸法は、図1に従い確実に行ってください。
- ・室内ユニットまたは別売品下面と天井面との寸法は、図2または図3になるように室内ユニットの吊ボルトで調整してください。

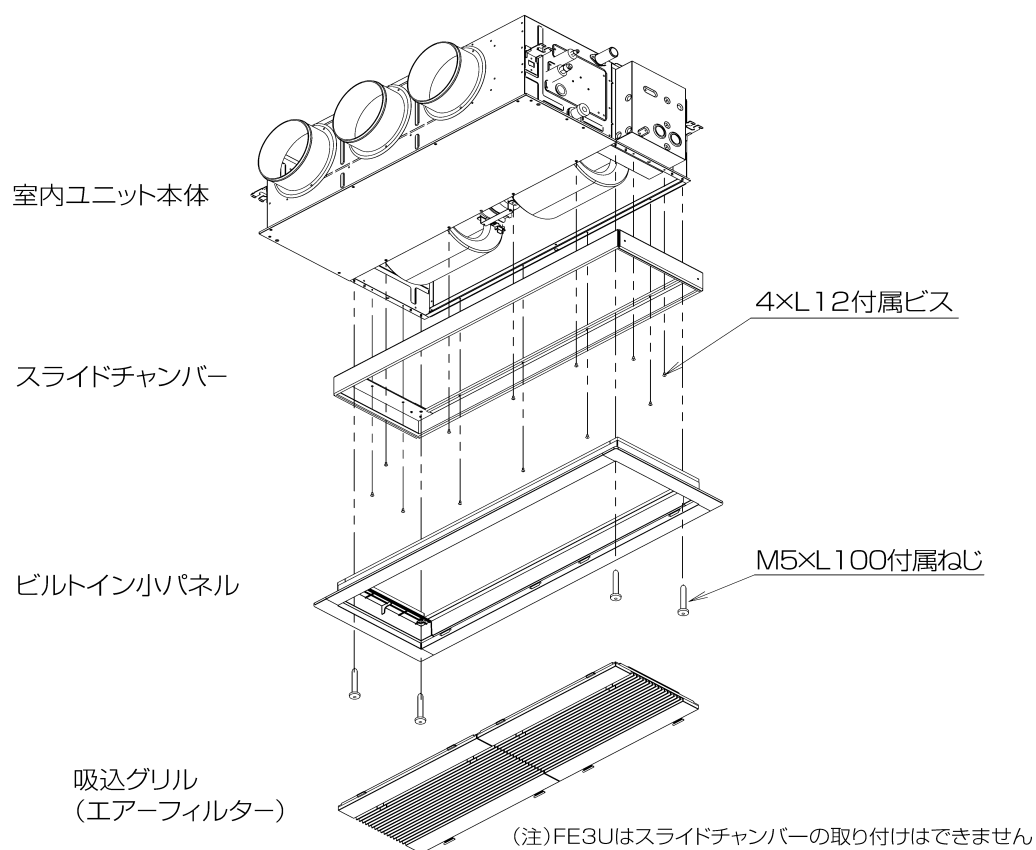
ビルトイン小パネルとの併用



フィルターチャンバー、ビルトイン小パネルとの併用

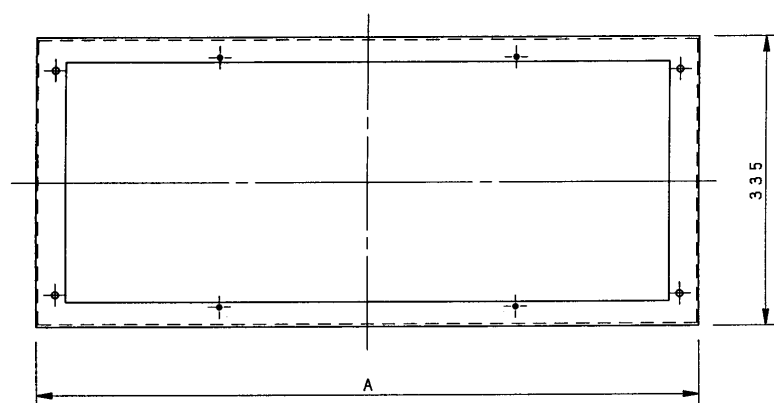


■スライドチャンバーの取付方法



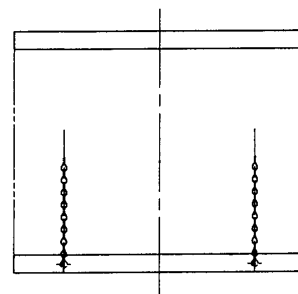
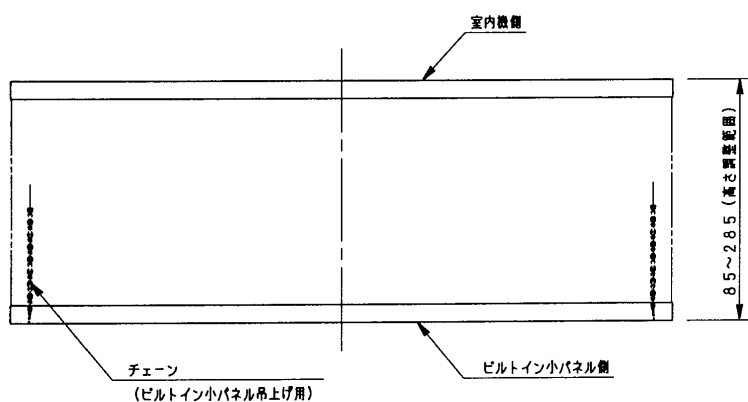
キャンバスダクト (DKT-CBD50・80・140T)

■外形寸法図



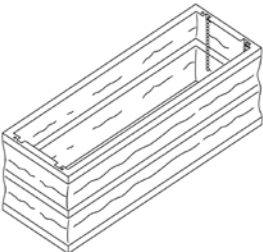
(mm)	
品 番	A
DKT-CBD50T	760
DKT-CBD80T	1060
DKT-CBD140T	1540

材 質	キャンバスクロス (防炎仕様)
補強ワイヤ入り 全長: 最大295mm	



■取付方

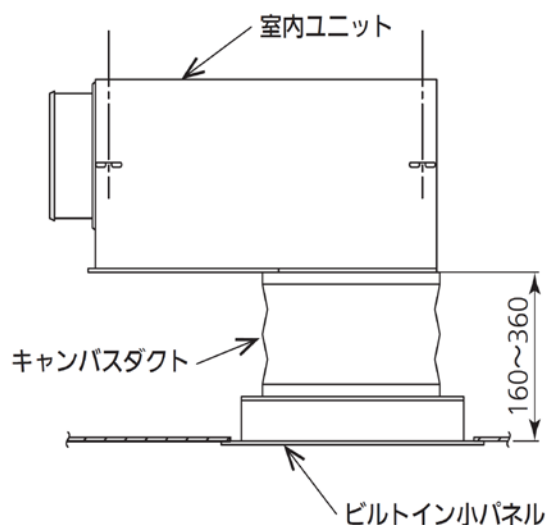
□構成部品

キャンバスダクト	取付ネジ	フック取付ネジ	フック (チェーン吊上げ用)
 (高さ:最大300mm)	(M4×L 12)  50形: 4本 80形: 8本 140形: 12本	(M5×L 35)  50形: 4本 80形: 4本 140形: 4本	 50形: 4個 80形: 4個 140形: 4個

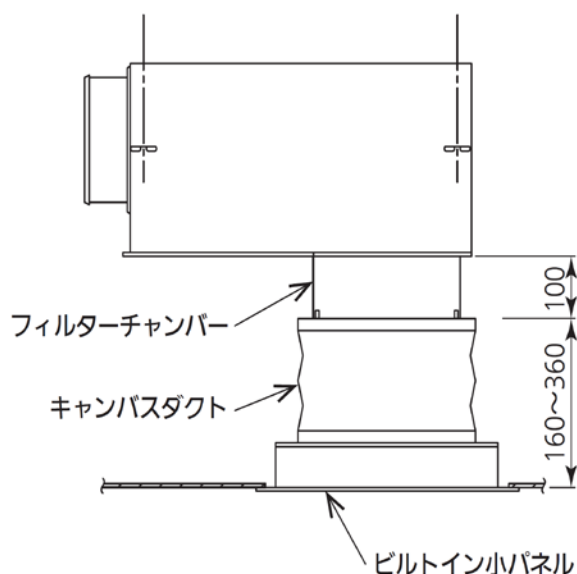
□取付け前に

1. 室内ユニットに取付板（室内ユニット付属品）を取り付けてください。（FE3,FES1,K1機種を除く）
取付方法は、室内ユニットに付属の据付工事説明書を参照してください。
2. 室内ユニットまたはフィルターチャンバー（別売品）と天井面との寸法が、図1または図2に示す値となるように室内ユニットの高さを吊ボルトで調整してください。
3. ビルトイン小パネルの天井開口寸法は、室内ユニットに付属の据付工事説明書またはビルトイン小パネルに付属の取付説明書を参照してください。

①ビルトイン小パネルとの併用（図1）

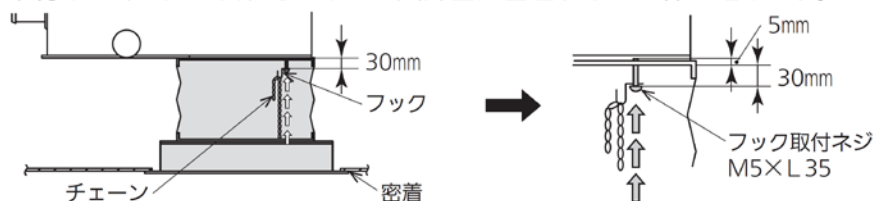


②ビルトイン小パネル、
フィルターチャンバーとの併用（図2）



□ 取付けかた

1. キャンバスダクトを付属の取付ネジ (M4×L12) で、室内ユニットまたはフィルターチャンバー (別売) に確実に固定します。(図4) (50形…4本、80形…8本、140形…12本)
2. 付属のフックに付属のフック取付ネジ (M5×L35) を差込み、室内ユニットまたはフィルターチャンバー (別売) に5mm程ねじ込みます。(図3)
3. ビルトイン小パネル (別売) をキャンバスダクトに取り付けます。(図4) 取付方法はビルトイン小パネルに付属の取付説明書を参照してください。
4. チェーンを吊上げ仮止めしたフックに引っ掛けます。チェーンはパネルと天井面がほぼ密着するまで吊上げてから、仮止めフックに引っ掛けてください。(図3)
5. 付属のフック取付ネジ (M5×L35) をパネルと天井面が密着するまで締め込みます。

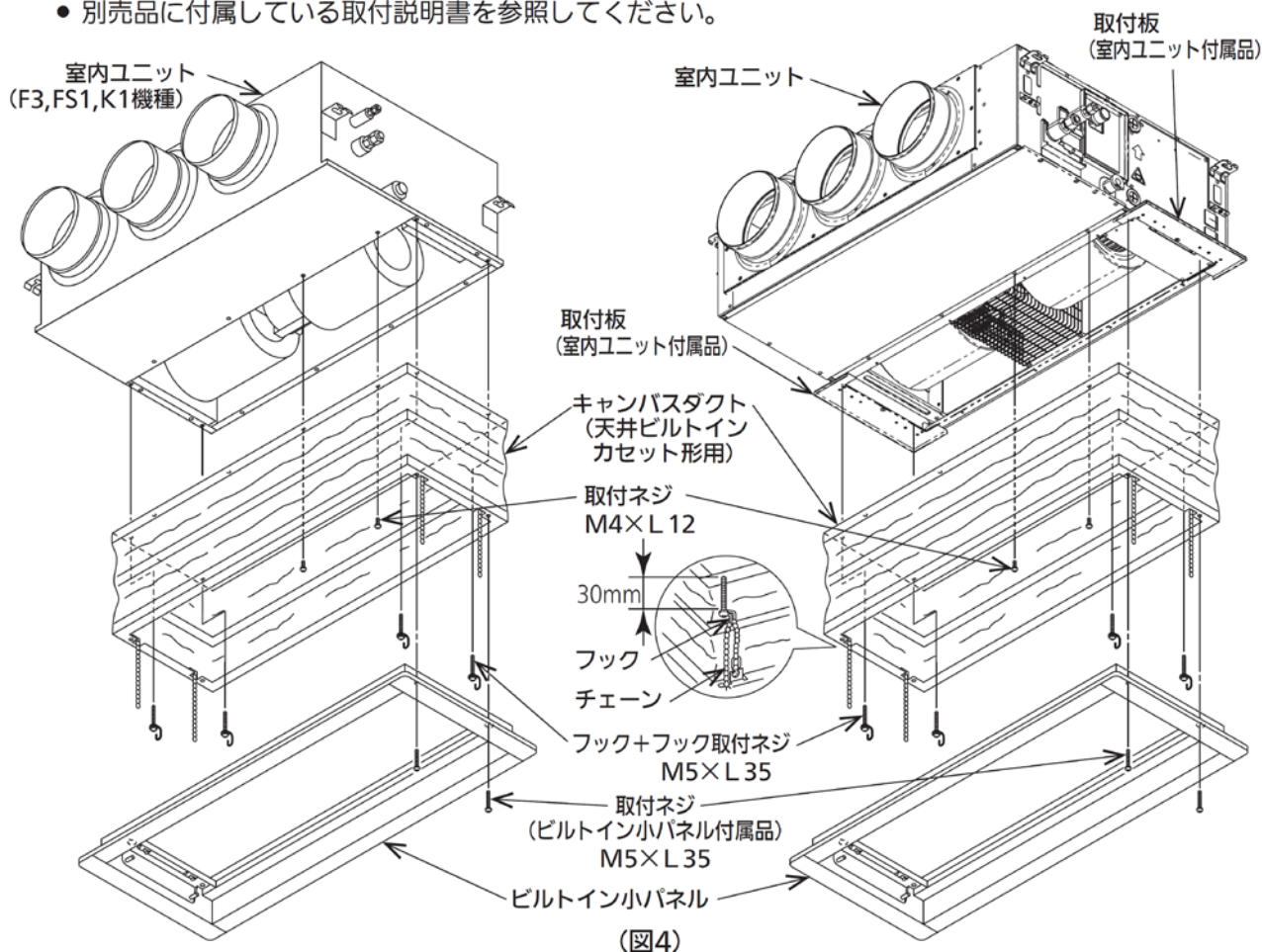


(図3)

- キャンバスダクトは高温高湿で使用すると結露のおそれがあります。
ダクトの外周に保温材を巻いてください。

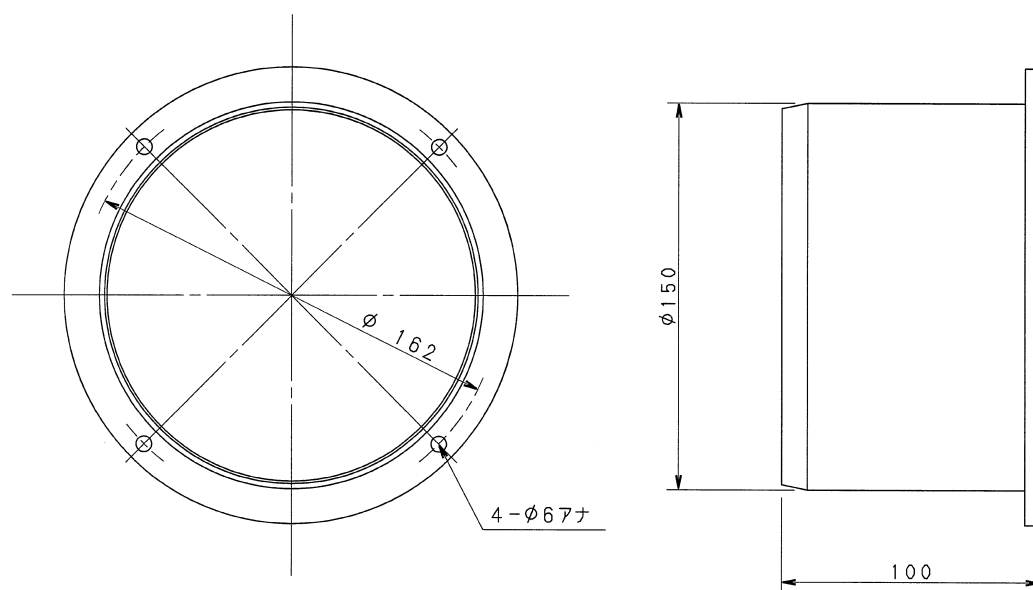
□ 併用別売品の取付けかた

- 別売品に付属している取付説明書を参照してください。



外気取入用丸合フランジ (DKT-MF15A1)

■外形寸法図



■付属部品

取付け用ネジ (タッピン 4 × 12)	4 (個)
----------------------	-------

■取り付け前の準備

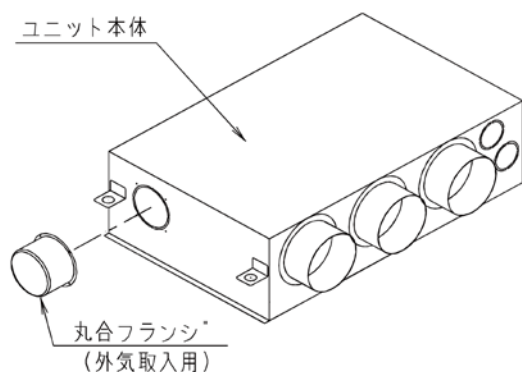
丸合フランジを取り付ける場合、フレキシブルダクト (別売品) が必要ですので用意して下さい

丸合フランジ	フレキシブルダクト (丸)		
DKT-MF15A1	DKT-F1510B	φ150	1m
	DKT-F1520B	φ150	2m
	DKT-F1575B	φ150	7.62m

■取付方法

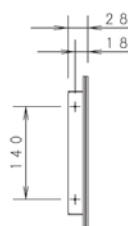
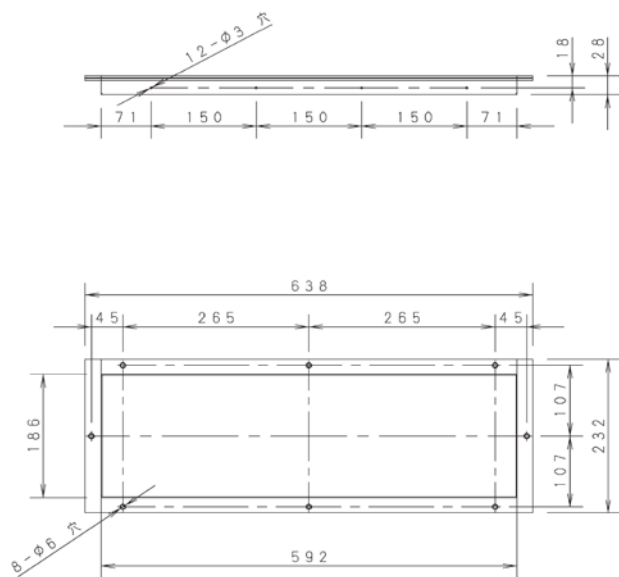
- (1) ユニット本体の切り込みを目印に、断熱材ごと、ニッパ、金ノコ等で切断し、切り取ってください。(下図)
- (2) ユニット本体の丸合フランジをネジ4本 (付属) で取り付けてください。
- (3) フレキシブルダクトの取付方法については、付属の取付説明書を参照してください。

●天井ビルトインカセット形の場合

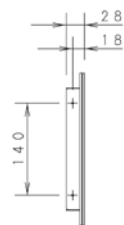
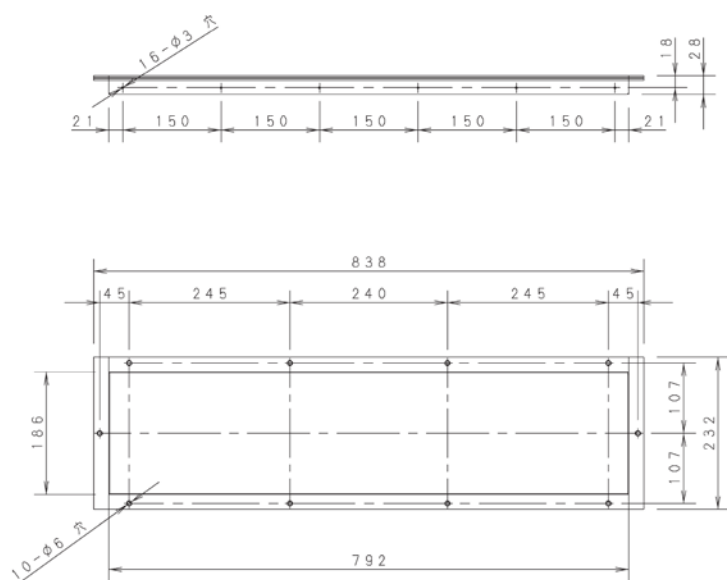


吹出角ダクト合フランジ (CZ-56・90・160SDGF1)

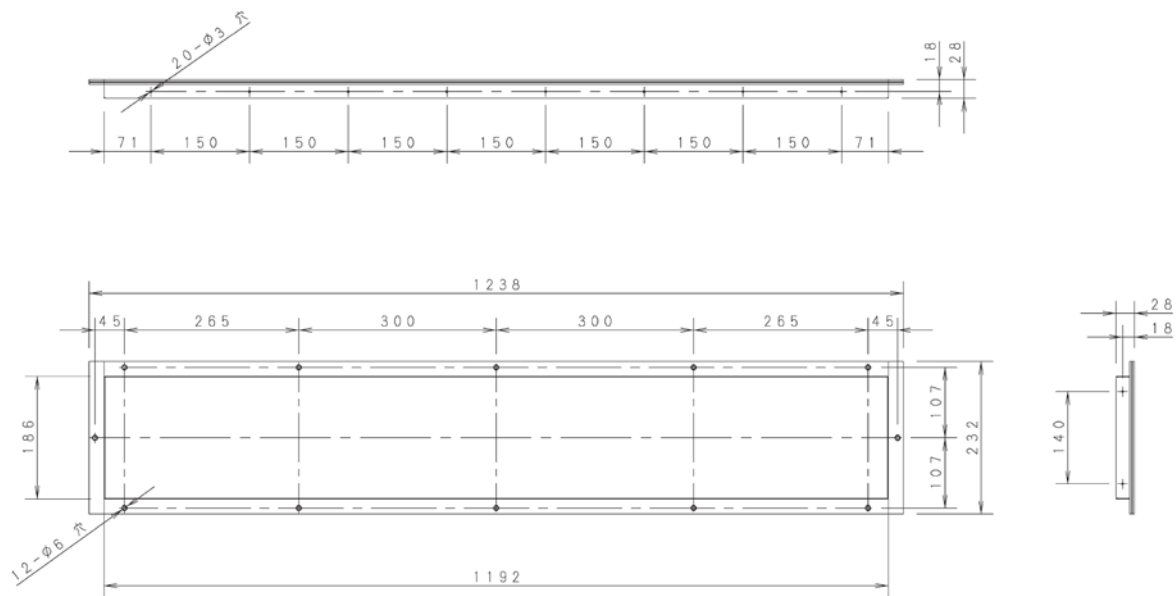
■外形寸法図



品番	CZ-56SDGF1	外形寸法図 吹出角ダクト合フランジ 天井ビルトインカセット形
----	------------	--------------------------------------



品番	CZ-90SDGF1	外形寸法図 吹出角ダクト合フランジ 天井ビルトインカセット形
----	------------	--------------------------------------



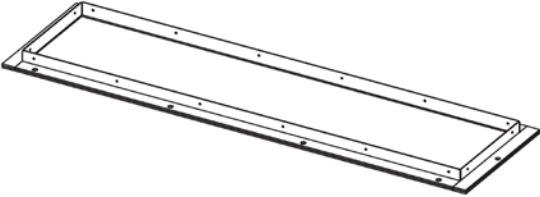
品番	CZ-160SDGF1	外形寸法図 吹出角ダクト合フレンジ 天井ビルトインカセット形
----	-------------	--------------------------------------

■取付方

吹出角ダクト合フランジ取付説明書

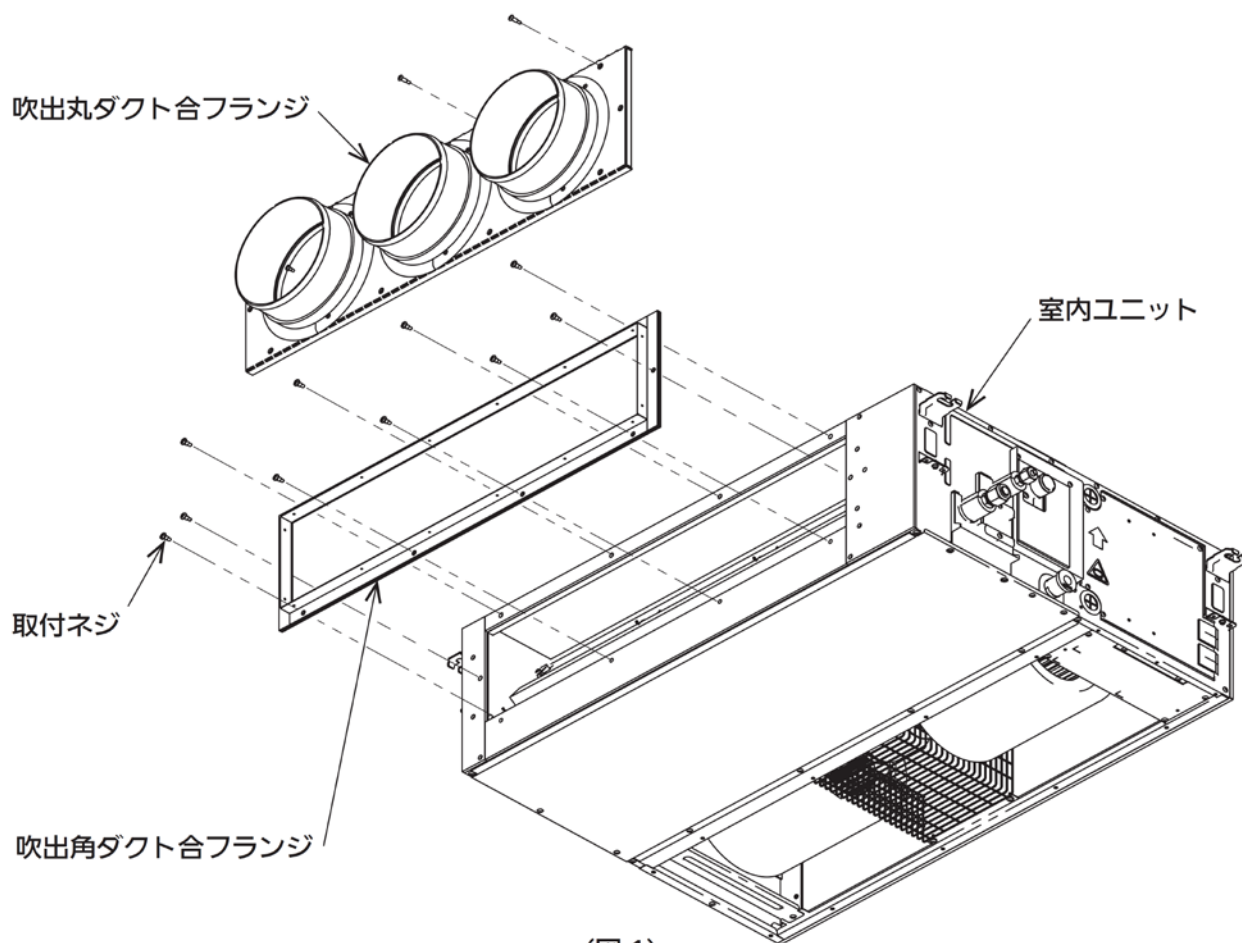
天井ビルトインカセット形用

□ 構成部品

吹出角ダクト合フランジ	取付ネジ
	
	56形： 8本 90形：10本 160形：12本

□ 取付けかた

1. 室内ユニット本体の吹出丸ダクト合フランジを取りはずします。
2. 本品を付属の取付ネジで固定します。(図 1)



気化式加湿器 (CZ-07・10・20ASF2)

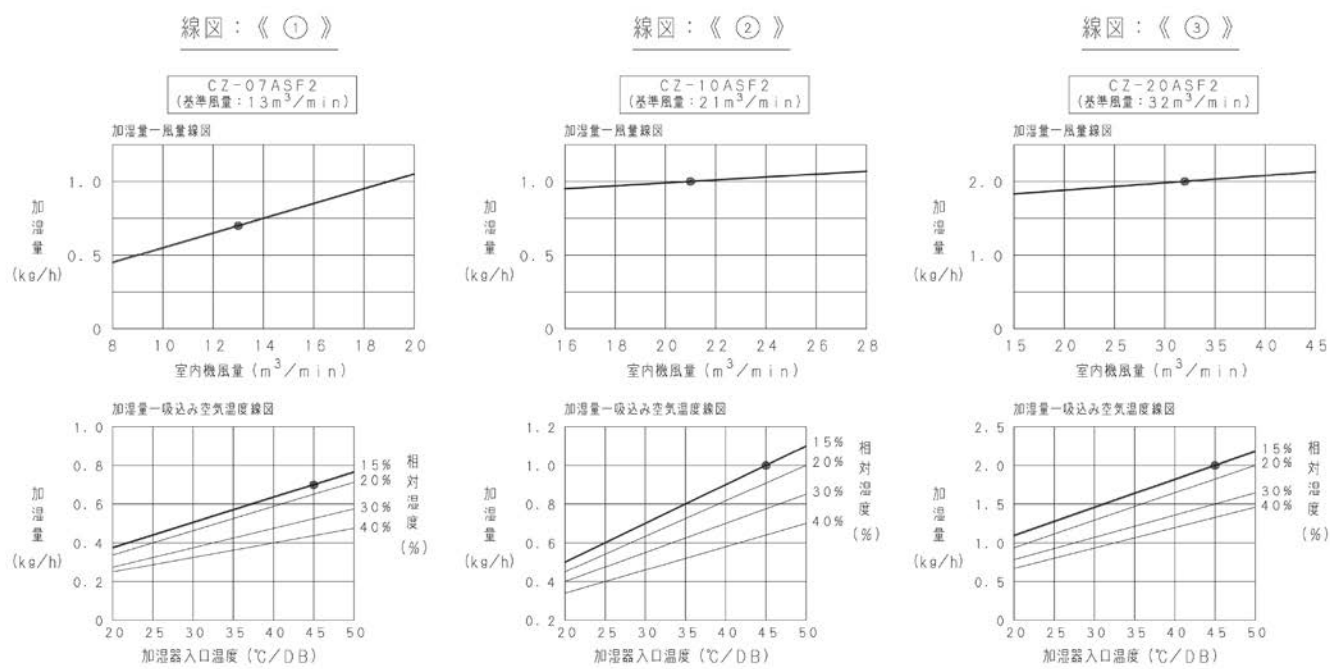
■仕様

品番			RH—BDN07B		RH—BDN10B		RH—BDN20B		
適用機種	天井ビルトインカセット形		22・28・ 36・45 形	56 形	71 形	90 形	112 形	140 形	160 形
加湿器方式			自然蒸発式						
室内ユニット風量		m ³ /min	13	14	21	23	32	34	36
加湿性能		kg/h	0.70	0.75	1.00	1.02	2.00	2.02	2.04
給水制御方式			タイマー制御による断続給水						
給水量		ℓ /h	9.4						
電源電圧			単相 200V 50／60Hz						
本体質量		kg	3.7		4.3		5.7		
定格消費電力		W	5.5±10%						
使用 条件	給水圧力		MPa	0.049 (0.5kgf/cm ²) ～0.49 (5kgf/cm ²)					
	給水圧力(ポンプ使用時)		MPa	0.049 (0.5kgf/cm ²) ～0.29 (3kgf/cm ²)					
	使用周囲温度			1℃～40℃、90%RH 以下					
	使用水			上水道又はこれと同等水質のこと (水温 5～40℃)					
	取付角度			全方向共±2° 以内のこと					
保護装置			排水管詰まり発生時、フロートスイッチによる電磁弁停止						

注) 加湿能力は加湿器入口空気温度 45℃、15%RH の値を示します。

- 加湿 (暖房) シーズン中は元電源を入れたままにしておいてください。
万一、給水用電磁弁にゴミなどがからみ閉じなくなった場合の漏水を防止します。
- 加湿 (暖房) シーズン後、給水用サービスバルブ (現地手配) を必ず閉めてください。
- 排水用止水バルブ (現地手配) の取付をおすすめします。加湿 (暖房) シーズン使用開始時に、給水用サービスバルブと排水用止水バルブを開き、給水配管内の水を新しい水に置換してから加湿器をご使用ください。
- ポンプによる給水を行う場合は、必ず給水圧力の上限は0.29Mpa以下としてください。
給水圧力範囲を超える場合は、別の減圧弁 (現地手配) を設けてください。
- ヒューミディスタットをご使用の場合は、希望の湿度目盛に合わせます。
設定を変化させて給水用電磁弁が正しく加湿制御していることを確認してください。
- 加湿能力の低下防止のため、1年に1回シーズン前に加湿部を洗浄してください。
水かぬるま湯に中性洗剤を溶かし、柔らかなブラシで表面の汚れを取ってください。

■能力線図

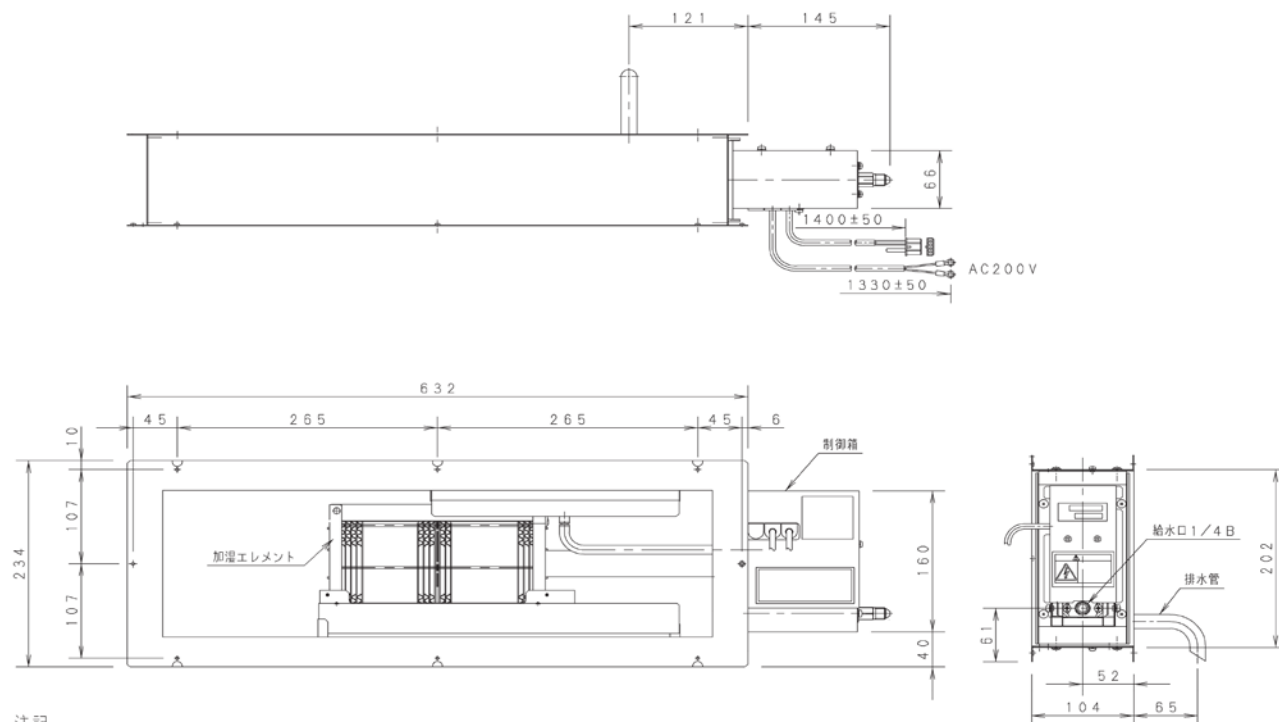


加湿器品番		CZ-07ASF2			CZ-10ASF2			CZ-20ASF2			
適用	ビルトイン カセット	マルチ 55形	22, 28, 36, 45形	56形	—	71, 80形	90形	—	112形	140形	160形
	室内機	マルチ 55形	—	50, 56形	—	63・71・80形	—	—	112形	140形	160形
適用	ビルトイン オールタクト	マルチ 55形	—	28, 36, 45, 56形	—	71, 80形	—	90形	112形	140形	160形
	室内機	マルチ 55形	—	50, 56形	—	63・71・80形	—	—	112形	140形	160形
室内機風量（定格）		m ³ /min	13	14	16	21	23	26	32	34	36
加湿性能		kg/h	0.70	0.75	0.85	1.00	1.02	1.05	2.00	2.02	2.04
適用線図No.		①			②			③			

(注記)

- ・加湿能力条件は、加湿器通過 湿温度がDB45℃、RH15% の場合の値を示します。
- ・室内ユニットがサーモオフした場合は、加湿器は停止します。

■外形寸法図

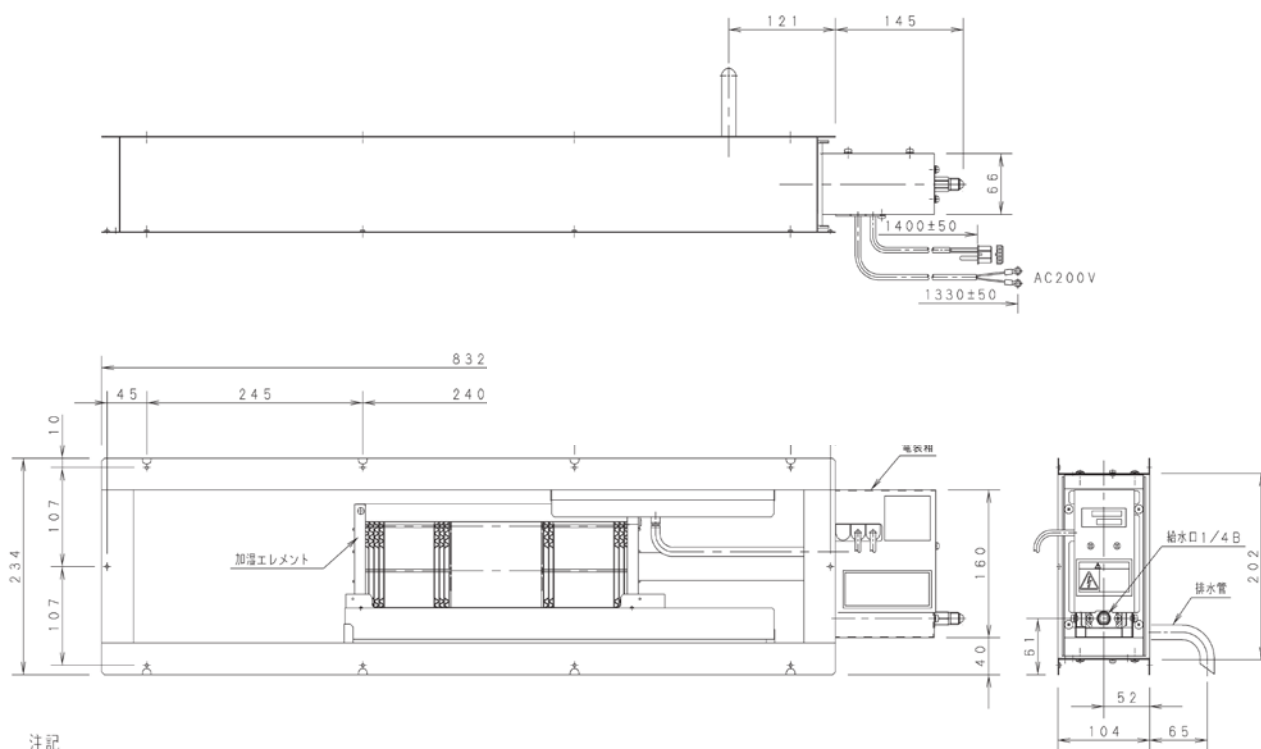


注記

- 1) ドレン排水をエアコン本体へ流し込むタイプです。
- 2) 加湿器の取付は必ずエアコン本体吊下げ前に行ってください。

品番	CZ-07ASF2
----	-----------

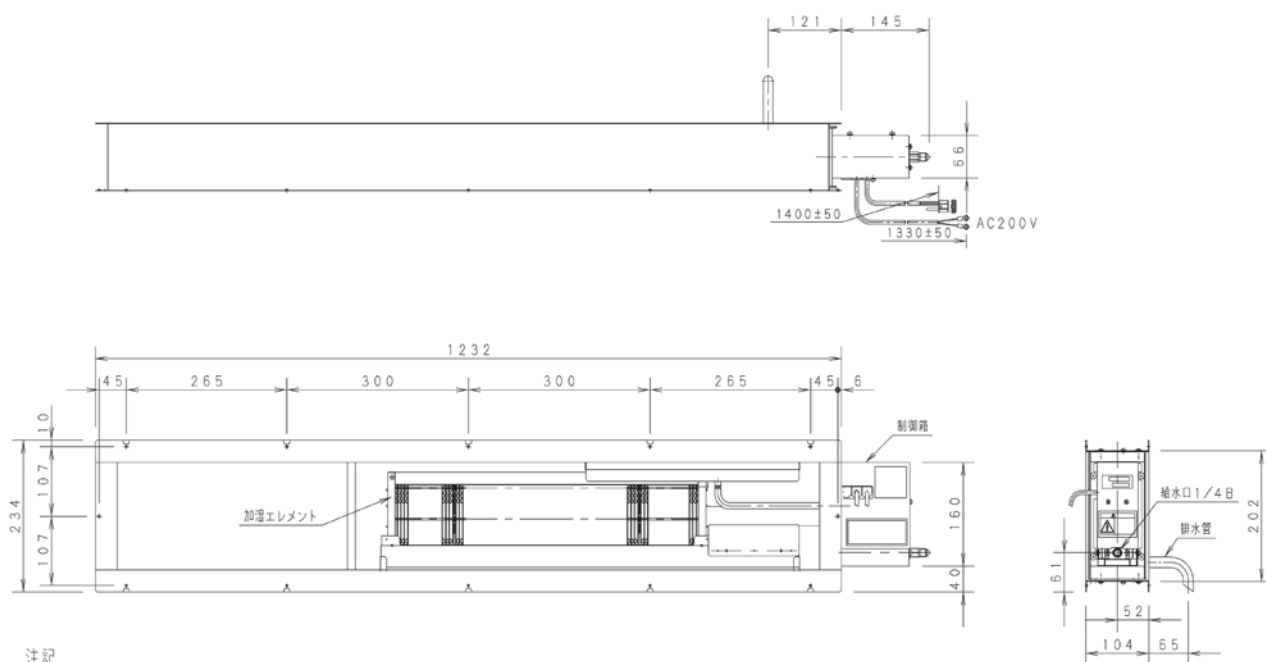
5. 室内ユニット関連部品の仕様と据付 (天井ビルトインカセット形)



注記

- 1) ドレン排水をエアコン本体へ流し込むタイプです。
- 2) 加湿器の取付は必ずエアコン本体吊下げ前に行ってください。

品番	CZ-10ASF2
----	-----------



注記

- 1) ドレン排水をエアコン本体へ流し込むタイプです。
- 2) 加湿器の取付は必ずエアコン本体吊下げ前に行ってください。

品番	CZ-20ASF2
----	-----------

■取付説明

自然気化式加湿器 取付説明書

品番 CZ-07ASF2 CZ-10ASF2 CZ-20ASF2

取付説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。

特に『安全上のご注意』は、施工前に必ずお読みください。

取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、付属の保守点検説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、この取付説明書は保守点検説明書とともにお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容(禁止事項)です。



実行しなければならない内容(強制事項)です。

警告



- 取付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う(ユニットの落下や水漏れ、感電や火災の原因)
- 付属品は当社指定の部品を使用する(指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れ、感電、火災等の原因)
- 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う(ユニットの落下による、けがの原因)
- 修理・改修は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する(水漏れや感電、火災の原因)

- 電気工事(アース工事を含む)は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」およびこの「取付説明書」に従って施工する(感電、火災のおそれ)
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する(感電、火災のおそれ)
- 配線をはさまないように、カバーは元どおり確実に取り付ける(感電、火災の原因)

注意



- 給水配管の断熱は、この「取付説明書」に従って確実に断熱する(正しく断熱されていないと、水漏れや凍結の原因)
- 給水には必ず水道水(上水)を使用する



- 凍結のおそれがある場所には取り付けない(破損、水漏れの原因)

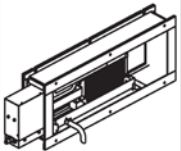
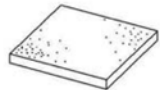
お願い

- 加湿器の取付工事は、必ず室内ユニットを据え付ける前に行ってください。加湿器組込み後の輸送はしないでください。
- 定期清掃や点検のため、加湿器取り付け側の天井面に450□以上の点検口を必ず設置してください。
- ヒューミディスタット(現地手配)は、湿度低下で接点がONとなる方式のもので、接点容量200VA以上のものを準備してください。
- 保守管理のため加湿器毎に給水配管にサービスバルブ(現地手配)を設けてください。
- 加湿(暖房)シーズン後、給水用サービスバルブ(現地手配)を必ず閉めてください。
- 現地手配の給水配管には死水排水バルブおよびY形ストレーナー(現地手配)の取り付けをおすすめします。冷房シーズンなどで長期間加湿器を使用しない場合は、給水配管内の水が腐ってしまいます。その水が加湿(暖房)シーズン開始時に加湿器に給水されると異臭の発生や菌の繁殖の原因になります。加湿(暖房)シーズン開始時の運転前に、給水配管内を新しい水に置き換えてから使用してください。
- 給水配管は公共の水道管に直接接続することはできません。公共の水道管から給水しなければならない場合は、シスターン(型式認可品：現地手配)をご使用ください。
- 給水配管は水圧がかかりますのでフレア接続としてください。
- 給水圧力は0.049～0.49MPaの範囲内でご使用ください。ただしポンプを使用して給水する場合は0.049～0.29MPaの範囲内でご使用ください。この範囲を超える場合は、給水系統毎に減圧弁(現地手配)を設けてください。また給水配管にトラップがあるとエアだまりができて異音が発生することがありますので、トラップが無いように設置してください。
- 定期清掃や点検の際を除いては、室内ユニットの漏電しゃ断器は入れたままにしてください。万一、加湿器内部の給水用電磁弁にゴミ等がからみ閉じなくなった場合の漏水を防ぎます。
- 加湿(暖房)シーズン開始時の運転前に、加湿器本体の給水配管接続口に挿入してあるストレーナーの清掃を行ってください。

1. 仕様

品番	CZ-07ASF2	CZ-10ASF2	CZ-20ASF2
適合室内ユニット形番	22～56形	63～90形	112～160形
電源仕様	単相 200V±10% 50/60Hz		
給水圧力	0.049～0.49 Mpa		
給水圧力 (ポンプ使用時)	0.049～0.29 Mpa		
使用水および水温	上水 0～40℃		
周囲温湿度	5～40℃、90%RH 以下		

2. 付属品

品名	説明書	自然気化式加湿器	給水用配管	給水配管断熱材	閉端接続子	取付ネジ
形状	- 取付説明書 - 保守点検説明書 - 試運転説明書		断熱パイプ 継手付き  $\phi 6.35$ L=500		 ヒューミディ スタート用	(M4×L12) 07: 6本 10: 8本 20: 10本
数量	各 1	1	1	2	2	-

3. 取付けかた

※加湿器の組み込みは、必ず室内ユニットを吊り下げる前に行ってください。

1. 室内ユニットの吹出枠をはずす。(図 1)
2. 加湿器を付属の取付ネジ (M4×L12) で取り付ける。(図 2)
排水ホースの先が排水溝に入ること。(図 3)
3. 室内ユニットの吹出枠を加湿器に取り付ける。(図 4)

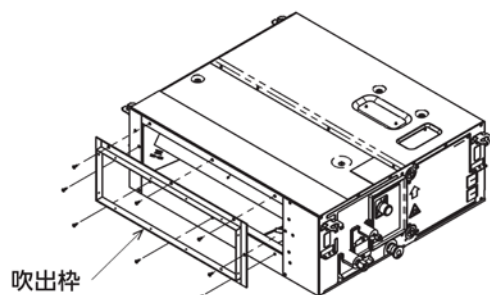


図 1

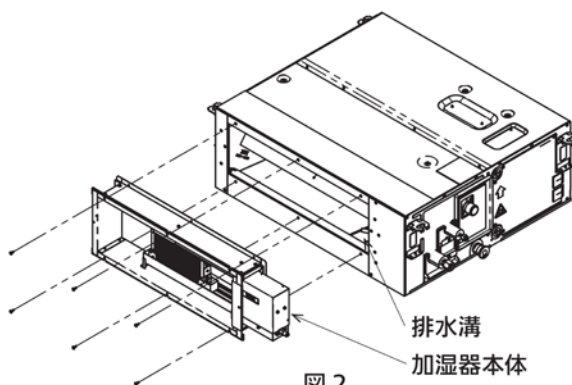


図 2

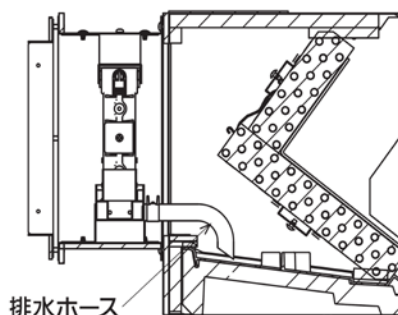


図 3

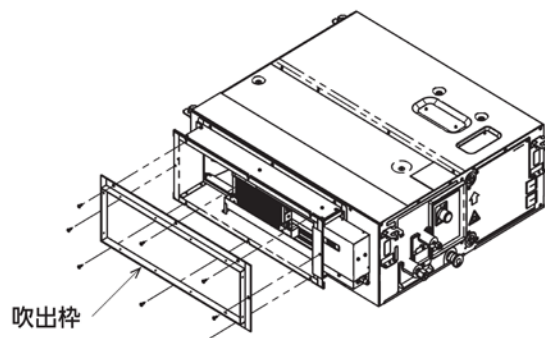


図 4

4. 電気配線

1. 室内ユニット電装ボックスのフタをはずして、加湿器の電源線・信号線を引き込んでください。
配線の引き回しは、図5～図7を参考にしてください。
2. 加湿器の電源線を端子板に接続します。
電源線は黒を端子板の【R】に、白を【S】に接続してください。
3. 信号線を室内コントロール基板のコネクタ【HU (CN066: 4P)】に接続してください。
4. ヒューミディスタットを使用する場合は、加湿器の電気回路図を参考に加湿器電装ボックス内にあるジャンパー線(青色)を切断し、付属品の閉端接続子で接続してください。(図8)

ビルトインオールダクト形

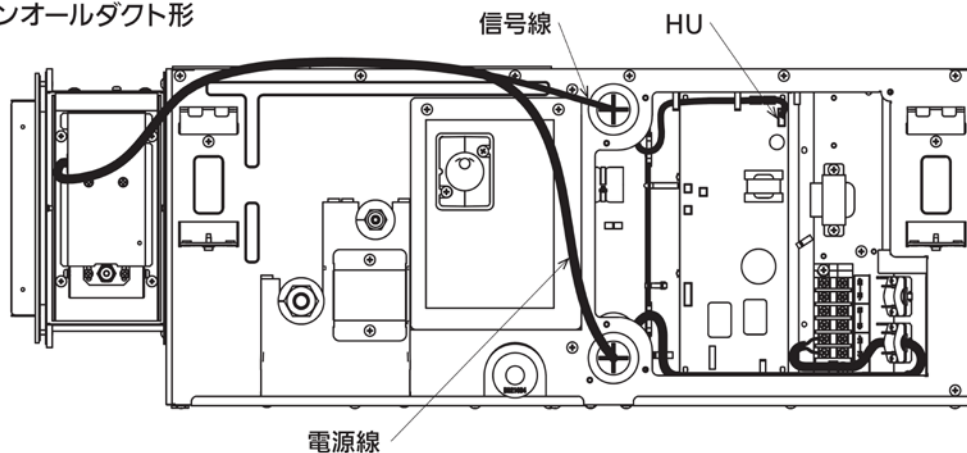


図5

天井ビルトインカセット形

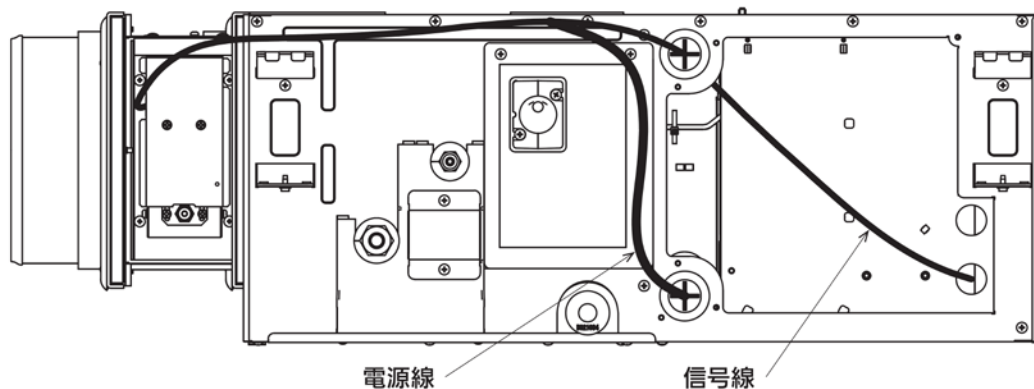


図6

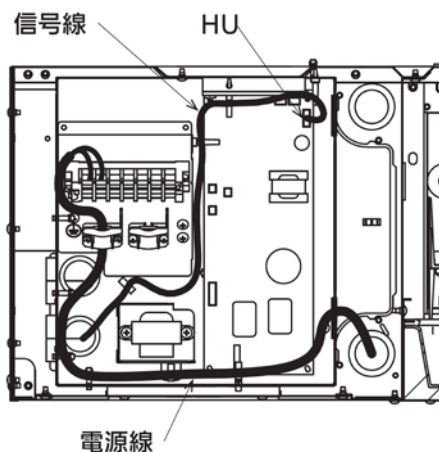


図7

加湿器コントロール基板電気回路図

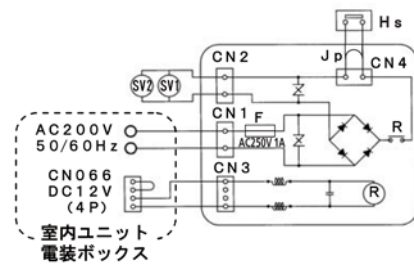


図 8

※ヒューミディスタット（現地手配）の接続部は、加湿器電装ボックス内に収納してください。

記号	名称	備考
Hs	ヒューミディスタット	現地手配
Jp	ジャンパー線	青色
SV1、2	給水用電磁弁	
F	ヒューズ	AC250V 1A
CN1～4	コネクタ	

5. 運転確認

- 室内ユニットの「据付工事説明書」に従って加湿器を組み込んだ室内ユニットを据え付けてください。
 - 現地手配の給水配管内に通水し、配管内の汚れを取り除いてください。
 - 加湿器本体の給水口に付属品の給水用配管を接続してください。（図 9）
※ダブルスパナにて、締付トルクは 20N・m 程度
※加湿器本体の給水口に挿入されているワッシャーおよびストレーナーを取り付けた状態で配管を接続してください。
取り付けずに接続すると、以後ストレーナーが取り付けなくなったり、水漏れの原因になります。
 - 図 9 を参考に現地手配の給水配管等を接続してください。
- 以下の項目は運転確認後、問題が無いことを確認した上で行なってください。
- 給水接続部の水漏れ確認を行ってください。
 - 水漏れが無ければ、給水用配管の接続部に付属品の給水配管断熱材を巻きつけてクランパー等（現地手配）で固定してください。（図 9）
 - 現地手配の給水配管にも、断熱処理を行ってください。配管の凍結は漏水事故の原因となります。十分に保温工事をしてください。この断熱材は現地手配になります。

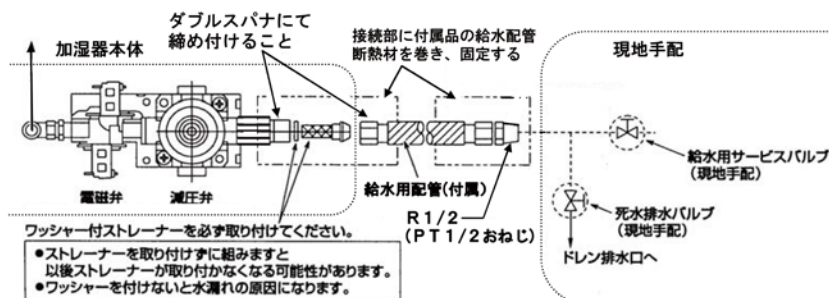


図 9

6. 運転確認

- 漏電しゃ断器を入れ、加湿器の給水用サービスバルブを開いて通水してください。
- リモコンの運転 / 停止ボタンを押して空調機を運転させた後、運転切換ボタンで暖房運転にします。
※暖房運転できないとき、あるいは暖房サーモオンになりにくいときは、付属の試運転説明書を参照してください。
- 加湿器に内蔵されている給水用電磁弁が作動し、正常に加湿制御していることを確認してください。
- 正常な運転を確認したら、運転 / 停止ボタンを押して運転を停止してください。
※ヒューミディスタット（現地手配）をご使用の場合は、ご希望の湿度目盛りに合わせてご使用ください。このときの動作確認は、設定を変化させて給水用電磁弁が正しく動作していることを確認してください。
※漏電しゃ断器は入れたままにしてください。
※試運転時、加湿器から「ビーン」という異音が発生した場合に、給水用サービスバルブを閉めると音が消えるようであれば、給水系（減圧弁等）へのエアのかみ込みが考えられます。この場合、一旦給水配管の接続をはずしてエア抜きおよび加湿器給水口のストレーナーの清掃を実施してください。ポンプを使用して給水する場合は、ポンプによるエアのかみ込みが考えられます。給水圧力を調整できる場合は、給水圧を下げてください。

自然気化式加湿器 保守点検説明書

品番 CZ-07ASF2 CZ-10ASF2 CZ-20ASF2

ご使用前に、この保守点検説明書と室内ユニットに付属の「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
特に『安全上のご注意』は必ずお読みください。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

**警告**

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

**注意**

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容 (禁止事項) です。



実行しなければならない内容 (強制事項) です。

警告

■ 修理・改修は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する
(水漏れや感電、火災の原因)

■ 移動再設置は、販売店に相談する
(ユニットの落下や水漏れ、感電や火災の原因)

注意

■ 給水には必ず水道水 (上水) を使用する

お願い

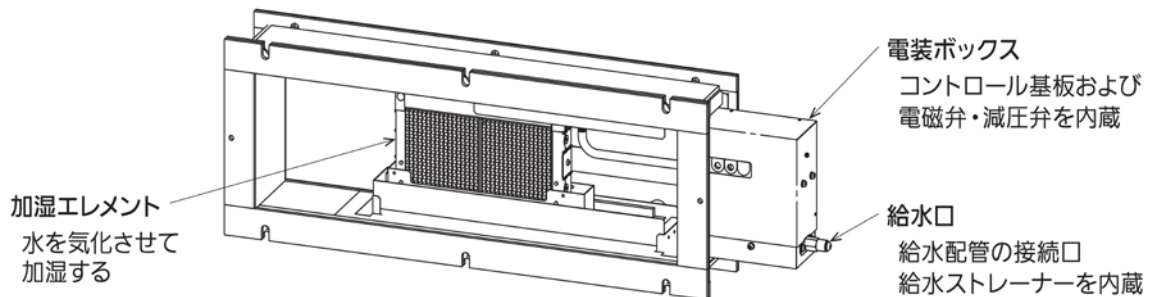
- 定期清掃や保守点検は、お客様自身で行わず、必ずお買い上げの販売店または専門業者に依頼してください。
- 加湿 (暖房) シーズン終了後、給水用サービスバルブを必ず閉めてください。
- 冷房シーズンなどで長期間加湿器を使用しない場合は、加湿 (暖房) シーズン開始時の運転前に、給水管内を新しい水に置き換えてから使用してください。そのまま給水されますと汚れや異物による能力不足、加湿エレメントから異臭の発生や菌の繁殖の原因になります。
- 定期清掃や点検の際を除いては、室内ユニットの漏電しゃ断器は入れたままにしてください。万一、加湿器内部の給水用電磁弁にゴミ等がからみ閉じなくなった場合の漏水を防ぎます。

1. 仕様

品番	CZ-07ASF2	CZ-10ASF2	CZ-20ASF2
適合室内ユニット形番	22 ~ 56 形	63 ~ 90 形	112 ~ 160 形
加湿能力 (kg/h)	0.7 ±20%	1.0 ±20%	2.0 ±20%
外形寸法図 H×W×L (mm)	234×183×775	234×183×975	234×183×1375
質量 水 (有) (kg)	3.9	4.6	6.1
質量 水 (無) (kg)	3.7	4.3	5.7
電源仕様	単相 200V±10% 50/60Hz		
給水圧力	0.049 ~ 0.49 Mpa		
給水圧力 (ポンプ使用時)	0.049 ~ 0.29 Mpa		
使用水および水温	上水 10 ~ 40℃		
周囲温湿度	5 ~ 40℃、90%RH 以下		

加湿能力は、室内ユニットに組み込んだ状態で加湿器入口空気温度 DB45℃・相対湿度 15% で CZ-07ASF2 を 13m³/min. CZ-10ASF2 を 21m³/min. CZ-20ASF2 を 32m³/min の風量で動作させたときの値を示します。

2. 各部のなまえ



3. ご使用上の注意

- シーズンオフなど長期間加湿（暖房）運転をしない場合は、給水用のサービスバルブを閉めてください。
- 冷房シーズンなどで長期間加湿器を使用しない場合は、加湿（暖房）シーズン開始時の運転前に、給水配管内を新しい水に置き換えて給水確認を行ってから使用してください。そのまま給水されますと汚れや異物による能力不足、加湿エレメントから異臭の発生や菌の繁殖の原因になります。
- シーズンオフ中に加湿エレメントに付着した汚れを取るため、加湿（暖房）シーズン開始時の運転前に必ず保守点検を行ってください。
- エアコン（室内ユニット）のエアフィルターが汚れていると、加湿能力や加湿器の寿命に悪影響を与える原因になります。エアフィルターは定期的に点検を行い、汚れている場合は清掃してください。
- 加湿（暖房）シーズン開始時の運転前には、給水用のサービスバルブを開けて使用してください。

4. 運転のしかた

加湿器はエアコン（室内ユニット）に接続されており、エアコンを暖房運転したときに自動で加湿運転をします。エアコンの運転操作方法については室内ユニットに付属の「取扱説明書」に従ってください。

5. 保守点検

長く安心してご使用していただくために、サービス技術者による定期的な保守点検を行ってください。

1. 点検周期

- 保全周期（交換周期）は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。
 - 点検周期は1年が目安です。
 - 加湿エレメントの交換周期は3年です。
 - 保守点検実施の場合でも、予期せぬ故障が発生することがあります。この場合、保証期間外での故障修理は有償扱いとなります。
 - 冷房シーズンなどで長期間加湿器を使用しない場合は、加湿（暖房）シーズン開始時の運転前に、給水配管内を新しい水に置き換えて給水確認を行ってから使用してください。そのまま給水されますと汚れや異物による能力不足、加湿エレメントから異臭の発生や菌の繁殖の原因になります。
- ※室内ユニットに付属の「取扱説明書」に記載されている『保証とアフターサービスについて』もあわせてご覧ください。

2. 作業前の準備

- 作業は安全に留意して行ってください。特に板金のエッジ部分や熱交換器の温度等には十分に注意してください。付属の取付説明書もあわせてご覧ください。
- 作業にかかる前に必ず漏電しゃ断器を切り、給水用のサービスバルブを閉めてください。

5. 保守点検 (つづき)

3. 作業手順

1) 加湿エレメントの洗浄 (1回/年: シーズン開始時)

- ① 給水配管を取りはずしてください。(図 1)
※給水配管内の残水が出てくる場合がありますので、バケツやウエスなどを準備してください。
- ② 加湿器本体を固定しているネジ (M4×6) 4 本ははずし、電気配線を引っ張らないように加湿器の電装部と加湿エレメントを枠から引き出してください。(図 2)
※給水配管内の残水が出てくる場合がありますので、バケツやウエスなどを準備してください。
※給水ストレーナー、ワッシャーを紛失しないようご注意ください。(図 1)
- ③ ジョイントをはずして加湿エレメントを取りはずしてください。(図 3)
- ④ 加湿エレメントが十分に入る大きさの容器を用意し、容器に水またはぬるま湯を入れたうえで市販の中性洗剤を溶かしてください。
- ⑤ 洗浄液に加湿エレメントを浸し、柔らかいブラシ等で加湿部表面の汚れを取ってください。(図 4)
- ⑥ 十分に水洗いをした後、水気を落とした上で、取りはずしと逆の手順で加湿エレメントを組み付け、加湿器を室内ユニットに取り付けてください。
※下記の 2) の給水ストレーナーの清掃もあわせて行ってください。
※水漏れが無いことを必ず確認した上で、断熱材を取り付けてください。

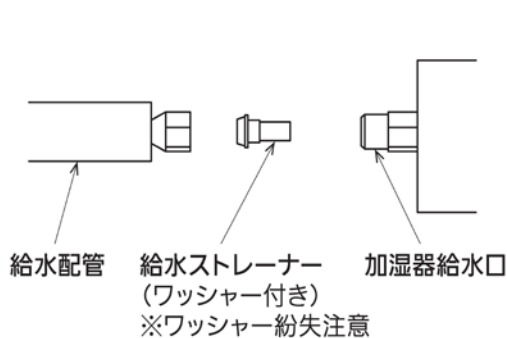


図 1

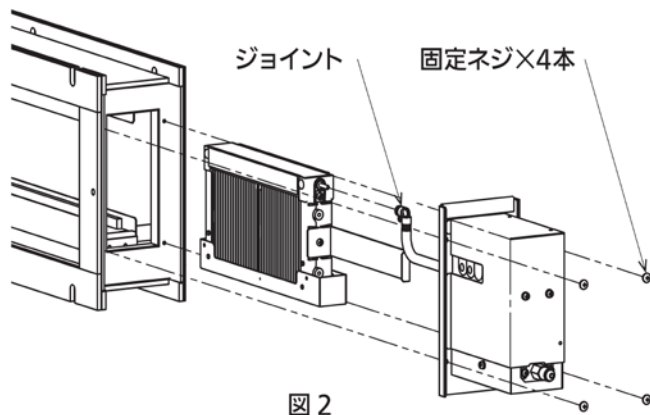


図 2

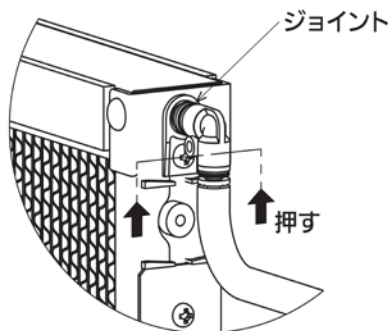


図 3

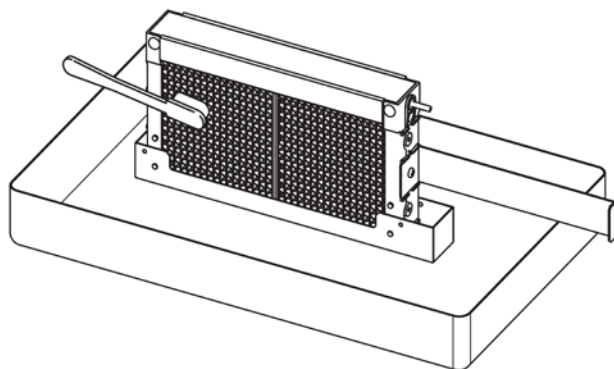


図 4

2) 給水ストレーナーの清掃 (1回/年: シーズン開始時)

- ① 給水配管を取りはずしてください。(図 1)
- ② 給水口に挿入されている給水ストレーナーを取りはずし、内側のゴミを洗い落としてください。
※給水配管内の残水が出てくる場合がありますので、バケツやウエスなどを準備してください。
※給水ストレーナーを抜き取る時、ワッシャーを紛失しないようご注意ください。(図 1)
- ③ 元どおりに取り付けてください。
※上記の 1) 加湿エレメントの洗浄もあわせて行ってください。
※水漏れが無いか確認をした後、断熱材を取り付けてください。

(6) ビルトインオールダクト形

●ダクト設計における留意点

《設計風量》

ダクトタイプは据付状態によって機外静圧が異なり風量も変化します。定格機外静圧を超えて使用すると、送風量が減少して快適な空調が得られませんので、機外静圧は定格がそれ以下での使用を推奨します。

■システムによる許容ダクト長さ目安

次の表は主なシステムについて、丸ダクトの最大接続可能長さを表わしています。ダクト設計をされる際の目安にして下さい。下記以外のシステムについては次項以降の資料を参照のうえ設計して下さい。

※1. 高機能フィルター、ロングライフフィルターを使用する場合は、取付説明書に従って静圧設定を行ってください。

※2. 吹出口数の変更はできるだけ避けてください。下表のように機内の圧力損失が増加するため最大ダクト長は短くなります。

※3. 下表は定格風量で算出していますが、送風機特性の風量、静圧制限内で設計風量を下げることが可能です。

機外静圧のアップ、最大ダクト長の延長が可能です。

筐体→		標準吹出口数の場合						吹出口数を変更した場合				
		小	中		大			中		大		
マルチ→		28,36, 45,56	71	90	112	140	160	71	90	112	140	160
定格風量(m ³ /min)		16	21	26	32	34	36	21	26	32	34	36
ユニット吹出口数(個)		2	3	3	4	4	4	2	2	3	3	3
吹出口1個当たりの風量(m ³ /min)		8.0	7.0	8.7	8.0	8.5	9.0	10.5	13.0	10.7	11.3	12.0
丸ダクト・吹出口径		φ200	φ200	φ200	φ200	φ200	φ200	φ200	φ200	φ200	φ200	φ200
オールダクト仕様	機外静圧(Pa)	タップ⑧	70	70	70	100	100	100	70	70	100	100
		タップ⑪	100	100	100	110	110	110	100	100	110	110
		タップ⑮	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150
	圧損(Pa)	角ダクト仕様 → 丸ダクト仕様	21.2	14.5	22.6	23.4	26.4	29.6	14.5	22.6	23.4	26.4
		吹出グリル	28.1	22.1	32.4	28.1	31.3	34.7	45.9	67.4	47.2	58.4
		高性能フィルター (JIS比色法65%)	23.3	21.4	31.1	21.4	23.9	26.5	21.4	31.1	21.4	23.9
		高性能フィルター (JIS比色法90%)	29.8	26.7	37.6	26.2	28.7	31.2	26.7	37.6	26.2	28.7
		吸込グリル	7.7	8.2	15.2	12.9	15.3	18.1	8.2	15.2	12.9	15.3
		キャンバスダクト	0.6	0.2	0.6	0.2	0.2	0.3	0.2	0.6	0.2	0.2
	フレキシブルダクト圧損 (Pa/m)	直線部	1.3	1.0	1.5	1.3	1.5	1.7	2.3	3.5	2.4	2.7
		曲がり部 (半径R0.4m, 1ヶ所)	2.1	1.6	2.5	2.1	2.4	2.7	3.7	5.6	3.8	4.3
システム例 によるダクト (m)	接続最大長さ	キャンバスダクト +吸込グリル	タップ⑧	8.8	24.3	—	26.4	17.4	9.8	—	—	6.4
			タップ⑪	(30)	(30)	18.3	(30)	24.1	15.7	13.1	—	10.6
			タップ⑮	(30)	(30)	(30)	(30)	(30)	(30)	12.0	27.6	20.2
		高性能フィルター (JIS比色法65%) +吸込グリル	タップ⑧	—	3.0	—	10.1	1.3	—	—	—	—
			タップ⑪	13.8	(30)	—	17.7	8.0	—	3.7	—	1.5
			タップ⑮	(30)	(30)	(30)	(30)	(30)	23.8	25.6	3.1	18.5
		高性能フィルター (JIS比色法90%) +吸込グリル	タップ⑧	—	—	—	6.5	—	—	—	—	—
			タップ⑪	8.9	27.5	—	14.1	4.8	—	1.4	—	—
			タップ⑮	(30)	(30)	26.3	(30)	(30)	21.0	23.3	23.3	16.5
											9.5	3.6

フレキシブルダクトの曲がり:半径R0.4m、1ヶ所を想定し算出(→直管相当長Le=1.6m)

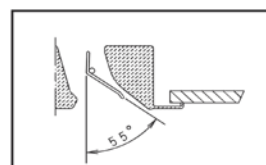
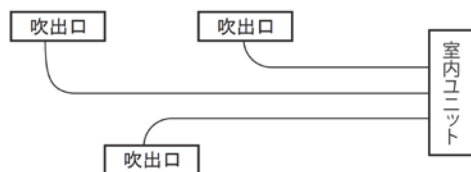
吹出グリル(GRL-S20B)取付

吸込グリルはフィルター付き

上表算出条件

1)ダクト接続長さ: 定格風量、定格機外静圧にて、最大何メートルまでダクト引きが可能かを算出しました。

2)フレキシブル丸ダクトの曲り: 半径R 0.4m、1ヶ所を想定し算出 3) 吹出羽角度



(注) 1. ビルトイン仕様の機外静圧は、小パネル装着時の値です。

2. 吹出口の数の変更は3個→2個、4個→3個の変更のみ可能、それ以外の変更はできません。

■室内ユニット定格風量におけるオプション部品の圧力損失

前ページ以外のシステムの機外静圧を算出する場合にご利用下さい。

●標準仕様

適用機種				22形、28形、36形、45形、56形			71形、90形			112形	140形	160形	
定格風量 [m ³ /min]				13	14	16	21	23	26	32	34	36	
ユニット吹出口数				2	2	2	3	3	3	4	4	4	
吹出口1口当りの風量 [m ³ /min]				6.5	7.0	8.0	7.0	7.7	8.7	8.0	8.5	9.0	
圧力損失 〔Pa〕	ビルトイン仕様	小パネル		8.2	9.3	－	14.1	16.5	－	17.0	18.9	20.9	
		大パネル		8.2	9.3	－	14.1	16.5	－	17.0	18.9	20.9	
		高性能フィルター（比色法65%）		16.7	18.8	－	21.4	25.1	－	21.4	23.9	26.5	
		高性能フィルター（比色法90%）		21.4	24.1	－	26.7	30.9	－	26.2	28.7	31.2	
		ロングライフフィルター		2.2	2.5	－	1.5	1.7	－	0.9	1.0	1.1	
		スライドチャンバー		（圧力損失は計算上、無視できます。）									
		キャンバスダクト											
	オールダクト仕様	吸込グリル		－	－	7.7	8.2	－	15.2	12.9	15.3	18.1	
		キャンバスダクト（直線部+曲がり部）		－	－	0.6	0.2	－	0.6	0.2	0.2	0.3	
		高性能フィルター（比色法65%）		－	－	23.3	21.4	－	31.1	21.4	23.9	26.5	
		高性能フィルター（比色法90%）		－	－	29.8	26.7	－	37.6	26.2	28.7	31.2	
		ロングライフフィルター		－	－	3.0	1.5	－	2.0	0.9	1.0	1.1	
吹出側圧力損失 〔Pa〕	ビルトインダクト仕様 共通	フレキルダクト （1m当たり）	φ150	直線部	1.0	1.1	1.5	1.1	1.3	1.7	1.5	1.7	1.9
				曲り部（一ヶ所）	1.0	1.1	1.5	1.1	1.4	1.7	1.5	1.7	1.9
			φ200	直線部	0.9	1.0	1.3	1.0	1.2	1.5	1.3	1.5	1.7
				曲り部（一ヶ所）	1.4	1.6	2.1	1.6	1.9	2.5	2.1	2.4	2.7
		分岐チャンバー			4.7	5.3	6.8	5.3	6.3	7.8	6.8	7.5	8.3
		吹出口ユニット		φ150	5.5	6.3	8.0	6.3	7.4	9.3	8.0	9.0	9.9
				φ200	19.3	22.1	28.1	22.1	26.0	32.4	28.1	31.3	34.7
		丸フランジ			19.7	23.0	30.5	23.5	28.2	36.2	32.9	37.1	41.5
	角フランジ			6.1	7.1	9.2	9.0	10.7	13.6	9.5	10.7	11.9	

- (注) 1. ビルトイン小パネル仕様の場合のユニット機外静圧は、小パネルの圧力損失を含んでいます。
 2. 吹出口ユニットφ150とフレキダクトφ150については、分岐チャンバー使用時とし、1本当たりの風量は吹出口1個当たりの風量の1/2になります。
 フレキダクトの曲り部は、曲げ半径R=0.4mとし、90°曲げの場合です(φ150、φ200ともに)。
 3. 定格風量以外での圧力損失については、以降の別売部品の各圧力特性線図を参照して下さい。
 また下記、近似式を使っても求めることができます。

$$P = \left(\frac{Q}{Q_1} \right)^2 P_1$$

Q : 任意風量
 Q₁ : 定格風量
 P : 任意風量における圧力損失
 P₁ : 定格風量における圧力損失

●吹出口数を変更した場合

適用機種				71 形, 90 形			112形	140形	160形	
定格風量 [m ³ /min]				21	23	26	3	34	36	
準吹出口				3→2	3→2	3→2	4→3	4→3	4→3	
吹出口1コ当りの風量 [m ³ /min]				10.5	11.5	13.0	10.7	11.3	12.0	
圧力損失 〔Pa〕	フレキ丸ダクト (1m当たり)	φ 150	直線部	2.5	3.0	3.8	2.6	2.9	3.3	
			曲り部(一ヶ所)	2.5	3.0	3.9	2.6	2.9	3.3	
		φ 200	直線部	2.3	2.7	3.5	2.4	2.7	3.0	
			曲り部(一ヶ所)	3.7	4.4	5.6	3.8	4.3	4.8	
	分岐チャンバー			10.9	12.8	15.8	11.2	12.4	13.8	
	吹出口ユニット		φ 150	13.1	15.5	19.3	13.5	15.1	16.7	
			φ 200	45.9	54.0	67.4	47.2	52.6	58.4	
	丸フランジ吹出口2個仕様				54.0	65.4	84.6	－	－	－
	丸フランジ吹出口3個仕様				23.5	52.2	36.2	55.1	62.3	69.9
	丸フランジ吹出口4個仕様				－	－	－	32.9	37.1	41.5
本体吹出口を少なくすることによる 圧力損失増加				30.5	37.1	48.4	22.2	25.2	28.4	

吹出口数を少なくすることにより圧力損失は、上記表④のごとく増加します。

従って、ユニット機外静圧はその分だけ減少します。

- (注) 1. 吹出口数の変更は、3→2、4→3のみとし、それ以外の変更はできません。
 2. 吹出口ユニットφ150とフレキダクトφ150については、分岐チャンバー使用時とし、1本当たりの風量は吹出口1個当たりの風量の1/2になります。
 フレキダクトの曲り部は、曲げ半径R=0.4mとし、90°曲げの場合です。

(例2) ビルトインオールダクト形

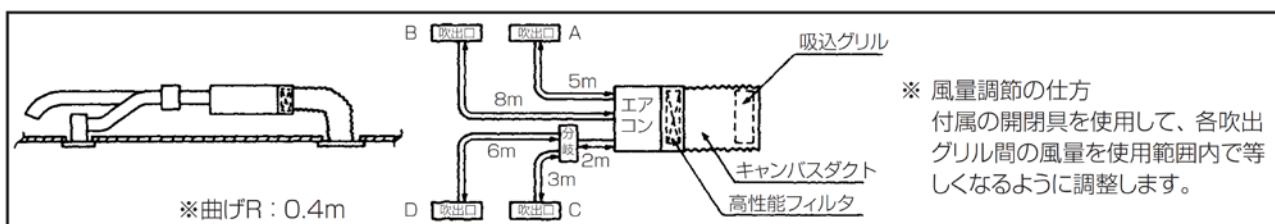
(条件)

電源	単相200V
使用機種	S-G71FES2
(オールダクト仕様)	
吸込グリル	GRL-RBU80TN
キャンバスダクト	DKT-CBU80T
フィルタチャンバー	CMB-FBU80T
高性能フィルター	AFT-MBD80T
(JIS比色法65%)	
φ200	DKT-F2010B,F2020B
フレキシブルダクト	F2075B
分岐チャンバー	CMB-B20B
φ150	DKT-F1510B,F1520B
フレキシブルダクト	F1575B
吹出口ユニット	GRL-S15B,S20B

(算出方法)

- イ. 送風機特性は、オールダクト形のものを使用します。
- ロ. 吸込側の各部品の圧力損失は、定格風量で求めます。
- ハ. 吹出側の圧力損失は、各スポットの中で1番圧損の大きいダクト系統で計算します。
- ニ. φ200フレキシブルダクトと分岐チャンバーは、1スポット当りの風量で求めます。
- ホ. φ150フレキシブルダクトと分岐チャンバーは、1スポット当りの風量の1/2で求めます。

吹出口の配列・ト系統は下図で、ユニットの風量は定格風量、各吹出口の風量はそれぞれ定格風量の1/3とします。



1 各オプション部品の圧力損失を求めます。

(1) 1系統当り風量7.0m³/min時の圧力損失を前述の表より求めます。

機種名	S-G71FES2					
タップ	0011					
機外静圧	標準時		100			
	高性能フィルター 比色法65%取り付け時		97			
吸い込み側 圧力損失	吸込グリル	Pa	8.2			
	キャンバスダクト	Pa	0.2			
	高性能フィルター 比色法65%	Pa	21.4			
	吸い込み側 圧力損失計	Pa	29.8			
吹出し側 圧力損失	角ダクトフランジ → 丸ダクトフランジ	Pa	14.5			
	風量	m³/min	経路A	経路B	経路C	経路D
	φ200直線部	m	7	7	3.5	3.5
		Pa/m	4.4	7.4	2.0	2.0
		Pa	1.0	1.0	1.0	1.0
	φ200曲がり部	Pa	4.4	7.4	2.0	2.0
	分岐チャンバー	Pa	1.6	1.6	0	0
		Pa	0	0	5.3	5.3
	φ150直線部	m	0	0	2.4	5.4
		Pa/m	0	0	1.1	1.1
		Pa	0	0	2.64	5.94
	φ150曲がり部	Pa	0	0	1.76	1.76
	吹出し口ユニット	Pa	22.1	22.1	6.3	6.3
	吹出し側 圧力損失計	Pa	42.6	45.6	32.5	34.3
圧力損失合計		Pa	72.4	75.4	62.3	65.6

(2) S-G71FES2 の送風機特性(3×7.0=21m³/min)の時、機外静圧97Pa：高性能フィルター（比色法65%）取付時から定格以上の吹出風量が確保出来ることが分かります。

(尚、定格風量を必要とする場合、試運転時に吹出口内の風量調整板開度を調整する必要があります。)

② 室内ユニットの全風量に対する運転状態の求め方

圧力損失曲線を算出することによって、送風機の運転状態が推定されます。

風量－圧力損失式 $P = \left(\frac{Q}{Q_1}\right)^2 P_1$ を利用して、CS-P80FE4U (オールダクト形) の送風機特性グラフ ① で算出した他に任意の点 (例えば19、15m³/minの点) をプロットします。

ア、21m³/min=75.4Pa

イ、19m³/min時 : $P = (19/21)^2 \times 75.4 = 61.7$ Pa

ウ、15m³/min時 : $P = (15/21)^2 \times 75.4 = 38.5$ Pa

室内ファンタップを0011に設定した場合、送風機はアーイーウの曲線と⑪急、⑥強、③弱の交点で運転されます。

S-G71FES2

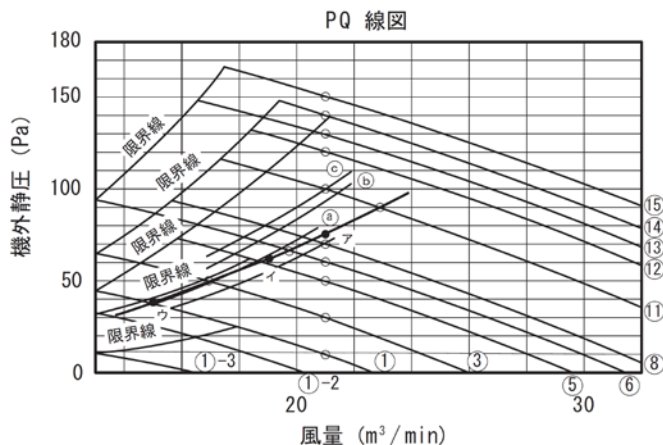
室内ファンタップ (ビルトインオールダクト)

		項目コード "b0"																				
		00	15	00	14	00	13	00	12	00	11	00	00	00	06	00	05	00	03	00	01	
		冷房	暖房	冷房	暖房	冷房	暖房	冷房	暖房	冷房	暖房	冷房	暖房	冷房	暖房	冷房	暖房	冷房	暖房	冷房	暖房	
タップ	⑮	H	H																			
	⑭			H	H																	
	⑬	M	M			H	H															
	⑫							H	H													
	⑪				M					H	H											
	⑩			M				M	M	M												
	⑨				M			M	M	M												
	⑧											H	H									
	⑦	L	L			M					M	M			H	H						
	⑥													M	M							
⑤												M	M									
④			L			L	L	L	L	L	L			M	M	M	M	H	H			
③																		M	M	H	H	
②			L		L								L	L	L	L			M	M	H	H
①-2																		L	L	L	M	M
①-3																					L	

(H: 急, M: 強, L: 弱)

- ① ロングライフフィルター初期圧力損失
- ② 高性能フィルター (JIS比色法65%) 初期圧力損失
- ③ 高性能フィルター (JIS比色法90%) 初期圧力損失

(m ³ /min)			
ノッチ	急	強	弱
S-G71FES2	22.9	19.8	16.9

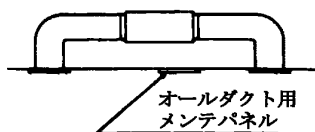


●仕様と据付

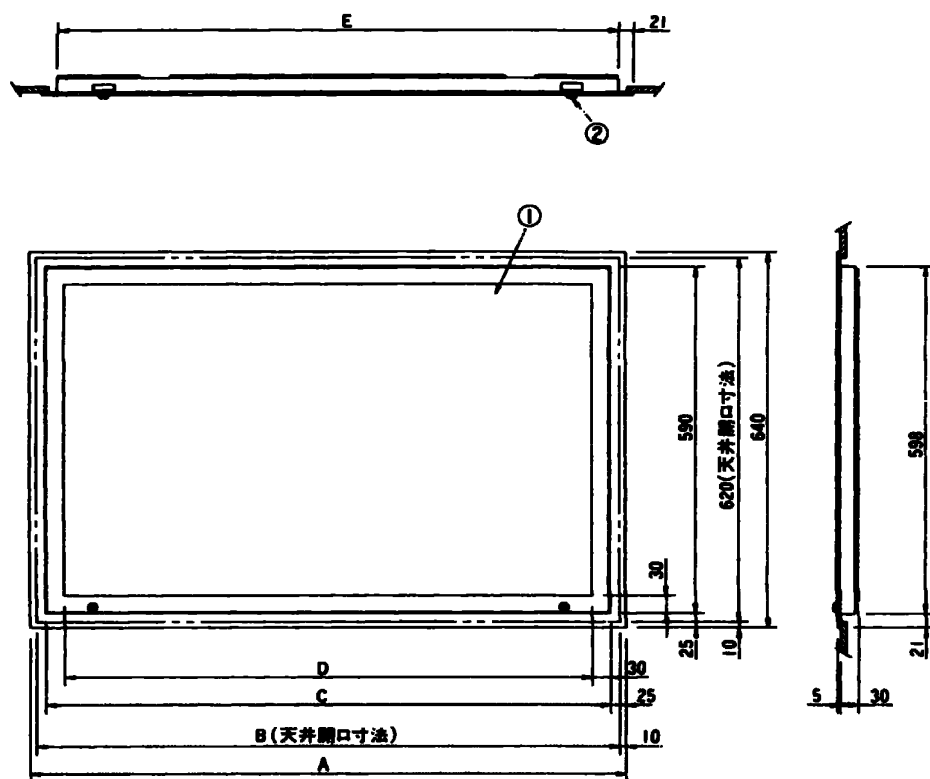
■オールダクト用メンテパネル(PNR-MBD45・71・125RF)

■材質外装色

材質	鋼板製
外装色	ホワイト(マンセル10Y9.3/0.4)



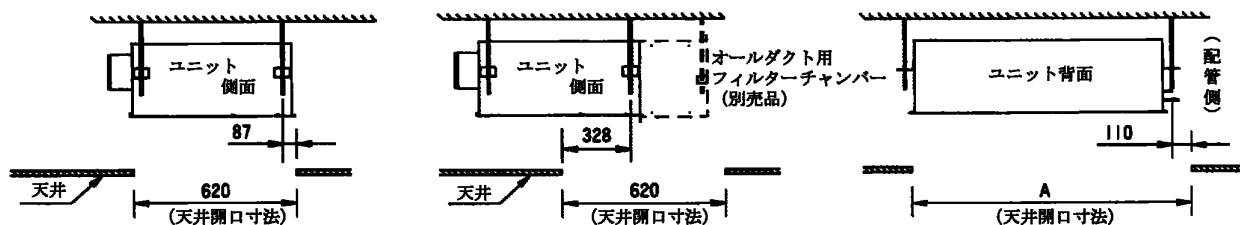
■外形寸法図



品番	A	B	C	D	E
PNR-MBD45RF	970	950	920	860	928
PNR-MBD71RF	1270	1250	1220	1160	1228
PNR-MBD125RF	1700	1680	1650	1590	1658

①	化粧パネル(建材組込可)
②	化粧ねじ

■天井開口寸法と位置(メンテパネル)

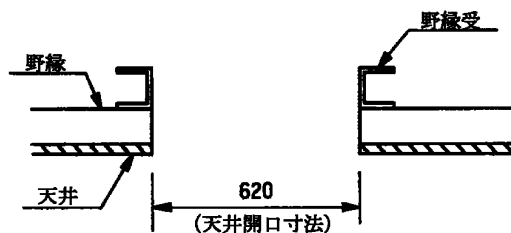


A寸法

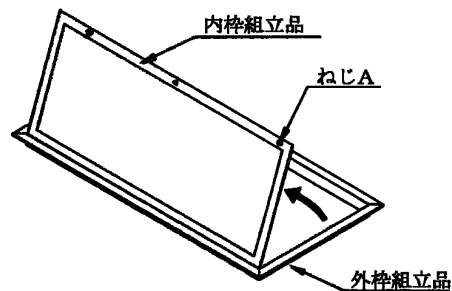
品番	A
PNR-MBD45RF -RBD45RF	950
PNR-MBD71RF -RBD71RF	1250
PNR-MBD125RF -RBD125RF	1680

■オールダクト用メンテパネルの取付方法

①開口穴に合せて野縁受けを取り付る

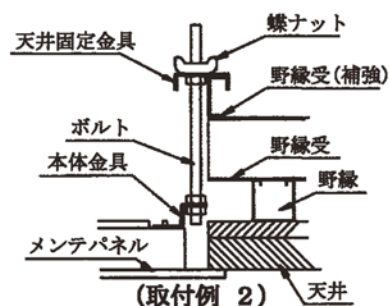
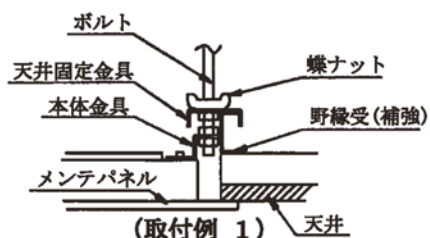
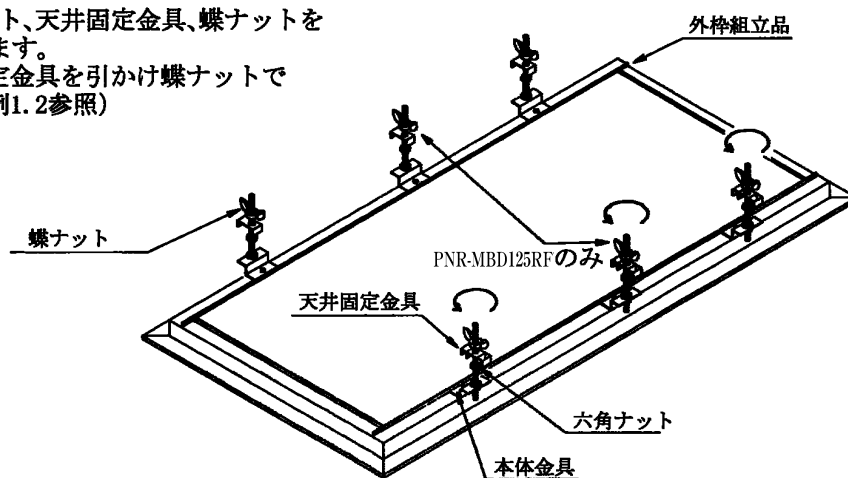


②外枠を外す



③パネル外枠の固定

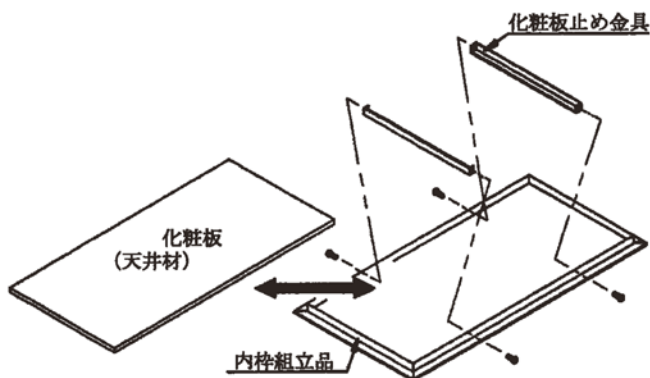
- ・付属のボルト、ナット、天井固定金具、蝶ナットを図の様に組み立てます。
- ・野縁受けに天井固定金具を引かけ蝶ナットで締め付けます。(例1.2参照)



■天井材組込メンテパネル寸法

天井材切取寸法

	品 名	たて	よこ
メンテパネル	PNR-MBD45RF	547	880
	PNR-MBD71RF	547	1180
	PNR-MBD125RF	547	1610



■フィルター仕様

●高性能フィルター (JIS比色法65%)

名 称		高性能フィルター (JIS比色法65%)					
品 番		AFT-MBD50T	AFT-MBD80T		AFT-MBD140T		
適用機種	ビルトインオールダクト外形	28/36/45/56形	71形	90形	112形	140形	160形
静 圧 設 定	—	11	11	11	15	15	15
初 期 風 量	m ³ /min	16.3	21.4	26.2	34.3	36.1	38.6
最 終 風 量	m ³ /min	13.1	17.3	20.9	26.2	27.0	29.3
初期機外静圧	Pa	97	97	99	142	142	141
最終機外静圧	Pa	123	116	126	169	173	171
寿 命	時間	3600	3900	3200	4900	4600	4100
平 均 効 率	—	JIS比色法 65% (JIS 11種)					
使 用 濾 材	—	ポリオレフィン系帯電繊維					
フィルター外形寸法 幅×奥行×厚み	mm	(663×1) × 269×50	(473×2) × 269×50		(713×2) × 269×50		

●高性能フィルター (JIS比色法90%)

名 称		高性能フィルター (JIS比色法90%)					
品 番		AFT-HBD50T	AFT-HBD80T		AFT-HBD140T		
適用機種	ビルトインオールダクト外形	28/36/45/56形	71形	90形	112形	140形	160形
静 圧 設 定	—	11	11	11	15	15	15
初 期 風 量	m ³ /min	16.0	21.0	25.3	33.9	35.5	37.7
最 終 風 量	m ³ /min	13.1	17.3	20.9	26.2	27.0	29.3
初期機外静圧	Pa	99	99	104	144	145	144
最終機外静圧	Pa	123	116	126	169	173	171
寿 命	時間	2100	2000	1600	2500	2300	2200
平 均 効 率	—	JIS比色法 90% (JIS 11種)					
使 用 濾 材	—	ポリオレフィン系帯電繊維					
フィルター外形寸法 幅×奥行×厚み	mm	(663×1) × 269×50	(473×2) × 269×50		(713×2) × 269×50		

●ロングライフフィルター

名 称		ロングライフフィルター					
品 番		AFT-LBD50T	AFT-LBD80T		AFT-LBD140T		
適用機種	ビルトインオールダクト外形	28/36/45/56形	71形	90形	112形	140形	160形
静 圧 設 定	—	8	8	8	11	11	11
初 期 風 量	m ³ /min	15.6	20.2	25.4	32.1	34.0	36.2
最 終 風 量	m ³ /min	12.9	17.1	21.1	27.6	27.5	29.8
初期機外静圧	Pa	73	73	74	109	110	110
最終機外静圧	Pa	99	87	98	124	131	131
寿 命	時間	5000	5000	5000	5000	5000	5000
平 均 効 率	—	JIS重量法 28% (JIS 15種)					
使 用 濾 材	—	PPハニカム (防カビ仕様)					
フィルター外形寸法 幅×奥行×厚み	mm	(663×1) × 269×50	(473×2) × 269×50		(713×2) × 269×50		

注意事項

- 1) 最終機外静圧・寿命は上記静圧設定時の値です。
- 2) フィルター寿命(時間)は、塵埃濃度 0.15mg/m³(ビル管理法規制値)として算出しています。
寿命(時間)は現場条件により異なります。
- 3) ユニットに取り付ける場合は、フィルターチャンバーも必要ですので同時手配ください。

●フィルターチャンバー

品 番		CMB-FBU50T	CMB-FBU80T	CMB-FBU140T
チャンバー外形寸法 幅×奥行×厚み	mm	700×307×150	1000×307×150	1480×307×150

■圧力損失

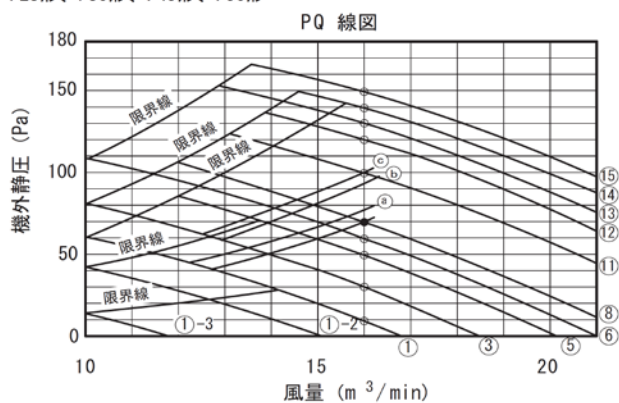
●ビルトインオールダクト形

室内ファンタップ (ビルトインオールダクト)

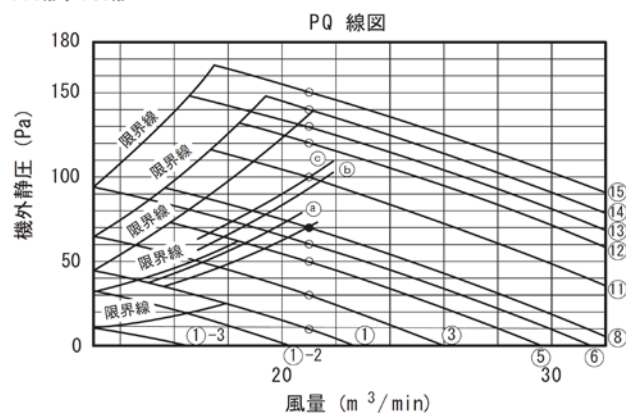
		項目コード "60"														
		0015	0014	0013	0012	0011	0008	0006	0005	0003	0001					
		冷房	暖房	冷房	暖房	冷房	暖房	冷房	暖房	冷房	暖房	冷房	暖房			
タップ	(15)	H	H									出荷時の 設定				
	(14)			H	H											
	(13)	M	M			H	H									
	(12)						H	H								
	(11)			M				H	H							
	(8)															
	(6)	L	L			M	M	M		H	H					
	(5)								M	M						
	(3)				L	L	L	L	L		M		M			
	(1)			L		L				L	L		L			
①-2												L	M	M	H	H
①-3														L	L	M

P28形、P36形、P45形、P56形

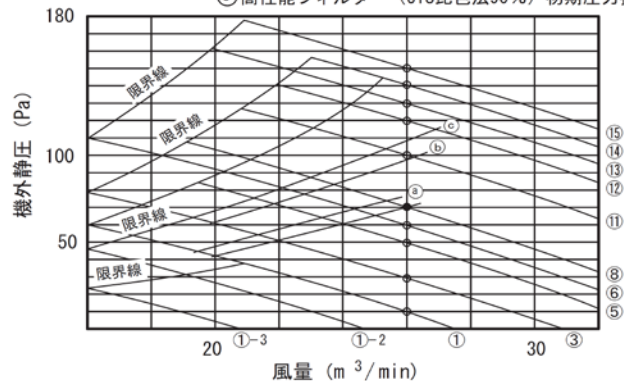
(H:急、M:強、L:弱)



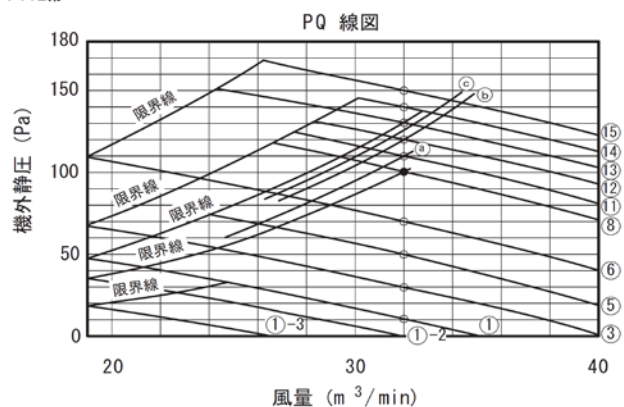
P71形、P80形



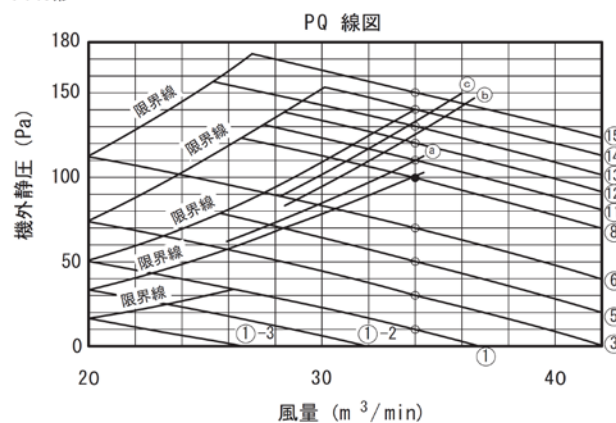
P90形
 ① ロングライフフィルター初期圧力損失
 ② 高性能フィルター (JIS比色法65%) 初期圧力損失
 ③ 高性能フィルター (JIS比色法90%) 初期圧力損失



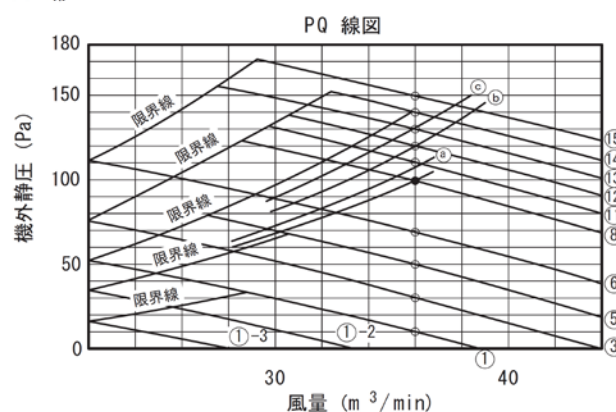
P112形



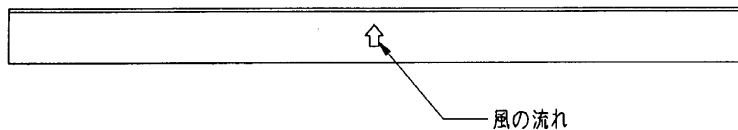
P140形



P160形



■外形寸法図

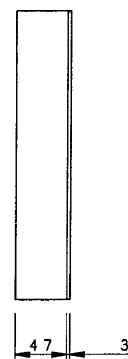
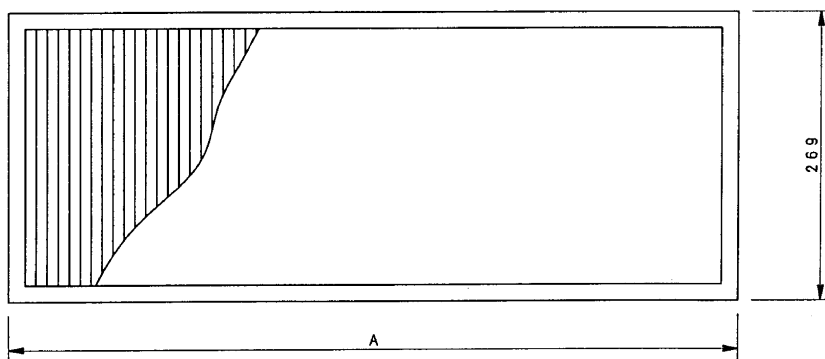


高性能フィルター（JIS比色法65%）

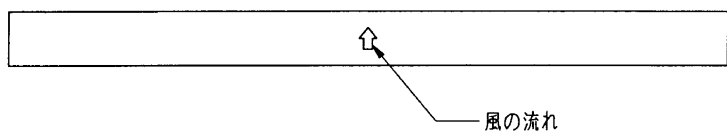
品 番	A	員数
AFT-MBD50T	663	1
AFT-MBD80T	473	2
AFT-MBD140T	713	2

高性能フィルター（JIS比色法90%）

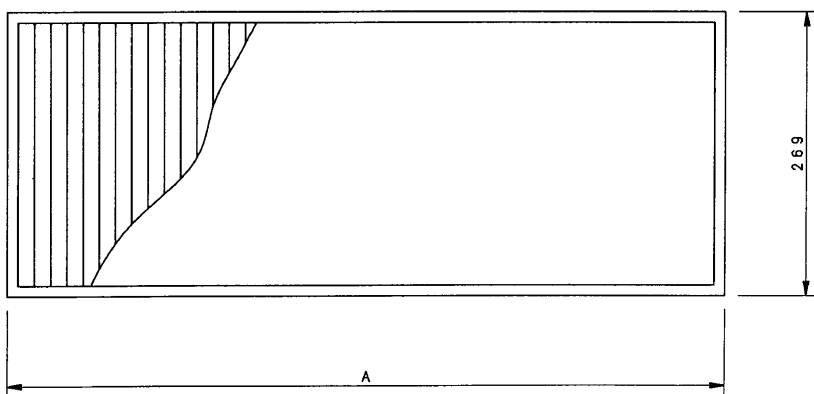
品 番	A	員数
AFT-HBD50T	663	1
AFT-HBD80T	473	2
AFT-HBD140T	713	2



品 番	外形寸法図 高性能フィルター（JIS比色法65%） -HBD50・80・140T （JIS比色法90%）
AFT-MBD50・80・140T	



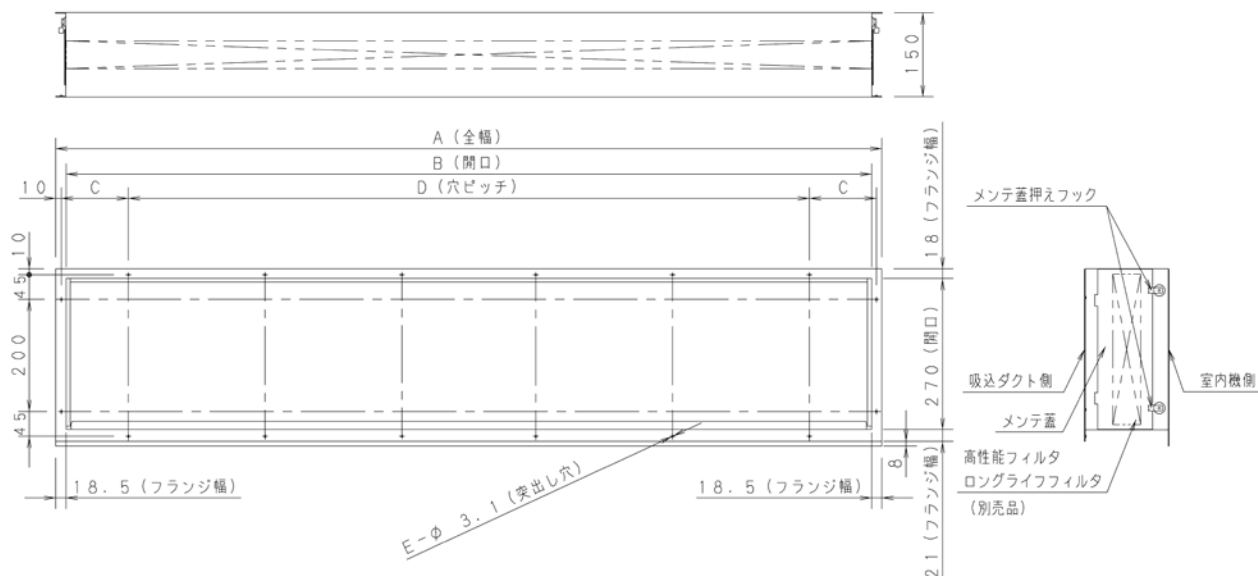
品 番	A	員数
AFT-LBD50T	663	1
AFT-LBD80T	473	2
AFT-LBD140T	713	2



品 番	ロングライフフィルター 外形寸法図
AFT-LBD50・80・140T	

フィルターチャンバー (CMB-FBU50・80・140T)

■外形寸法図



品 番	A (全幅)	B (開口)	C	D (穴ピッチ/左から順番に列記)	E (穴数)	必要フィルタ数
CMB-FBU50T	700	663	170	340	8	1
CMB-FBU80T	1000	963	120	245+250+245	12	2
CMB-FBU140T	1480	1443	120	245+245+240+245+245	16	2

注記) 1. 外寸図は「CMB-FBU140T」の例です。
2. 表中の寸法以外は共通です。

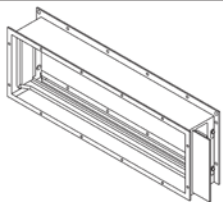
品番	外形寸法図 フィルタチャンバー ダクト高静圧タイプ《28~160形》用
CMB-FBU50T -FBU80T -FBU140T	

■ビルトイン用フィルター、フィルターチャンバーの取り付け方

フィルターチャンバー取付説明書

□ 構成部品

ビルトインオールダクト形用

フィルターチャンバー	取付ネジ
	(M4×L 12)  50形: 8本 80形: 12本 140形: 16本

※フィルターは別売の高性能フィルターまたは、ロングライフフィルターを使用してください。

□ 取付け前に

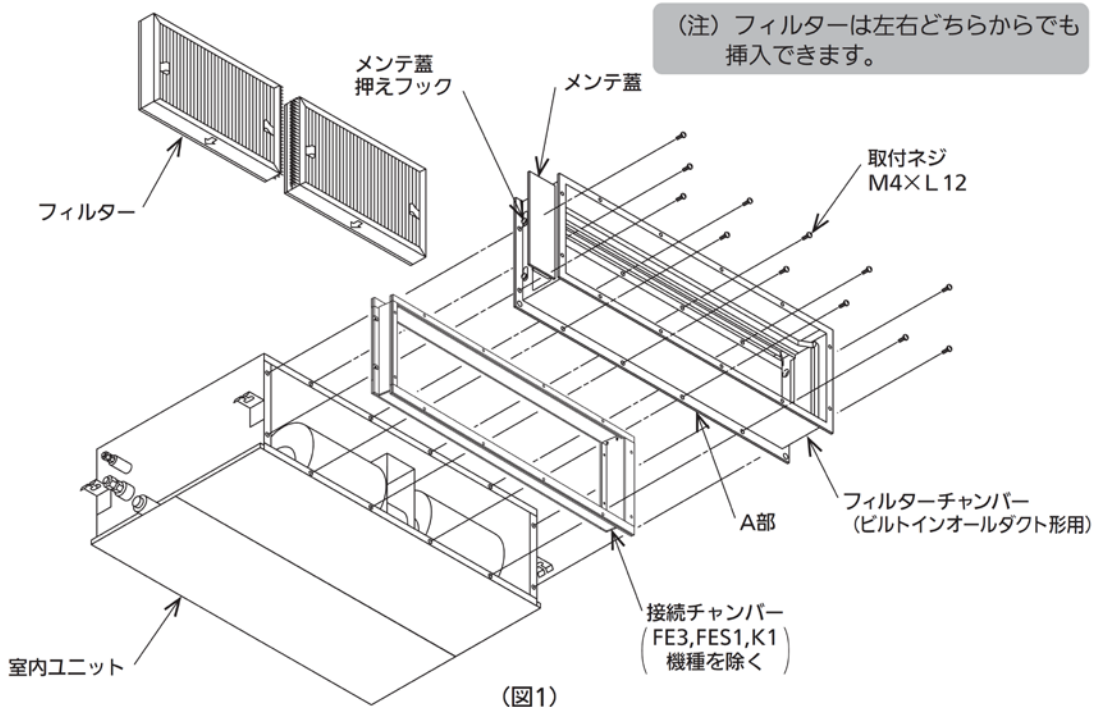
1. 室内ユニットに接続チャンバー（別売）を取り付けます。（FE3, FES1, K1機種を除く）
2. 高性能フィルターまたは、ロングライフフィルターを使用する場合は、裏面の設定方法に従って静圧設定を行ってください。また、FE3, FES1, K1機種に高性能フィルターを取り付ける場合は、室内ユニットの電装蓋をはずし、ファンモーターと基板コネクターの間に室内ユニット付属の中継コネク터를接続してください。
※FE3, FES1, K1機種にロングライフフィルターを取り付ける場合、中継コネクターは接続しないでください。

□ 取付けかた

1. フィルターチャンバーのフランジ（A部）は、上下によって曲げ方向が異なります。内曲げを上にして取り付けてください。（図1）
2. フィルターチャンバーは室内ユニットに付属の取付ネジで確実に固定してください。（図1）
（50形…8本、80形…12本、140形…16本）
3. フィルターは、フィルターチャンバー側面にあるフック（2個）を90度回転させメンテ蓋を開き、側面から挿入します。（図1）
4. フィルター挿入後、メンテ蓋を閉じて、フックを回転させて確実に固定します。
5. フィルターの詳細は、高性能フィルターまたは、ロングライフフィルター付属の取付説明書を参照してください。

□ 併用別売品の取付けかた

- 別売品に付属している取付説明書を参照してください。



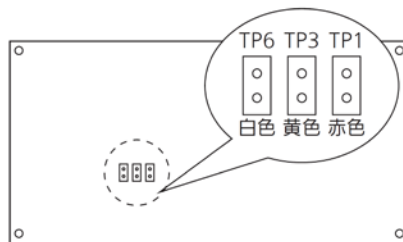
□ 静圧設定方法

基板から設定する場合 ～高性能フィルターを使用する場合～

※ロングライフフィルターの場合はこの作業は不要です。

※FE3, FES1, K1機種に高性能フィルターを取り付ける場合は室内ユニット付属の中継コネクターを使用してください。

- ① 漏電しゃ断器をOFFにして、基板への電源供給を停止してください。
- ② 電装ボックスの蓋を開き、室内コントロール基板を確認してください。(図2)
- ③ 電装ボックスの蓋の内側に貼り付けてある短絡コネクター(2P:黄色)を室内コントロール基板の短絡ピンTP3(2P:黄色)に接続してください。



(図2) 室内コントロール基板

ワイヤードリモコン・タイマーリモコンで設定する場合 ～機外静圧に合わせてファンモータータップを設定する場合～

機外静圧設定は定格機外静圧時を想定していますので、それ以外の場合は、室内ユニット据付工事説明書の“機外静圧設定”を参照してください。

※FE3, FES1, K1機種に高性能フィルターを取り付ける場合は室内ユニット付属の中継コネクターを使用してください。

<手順> 停止中に行なってください。
別売品名称を下表1でご確認ください。

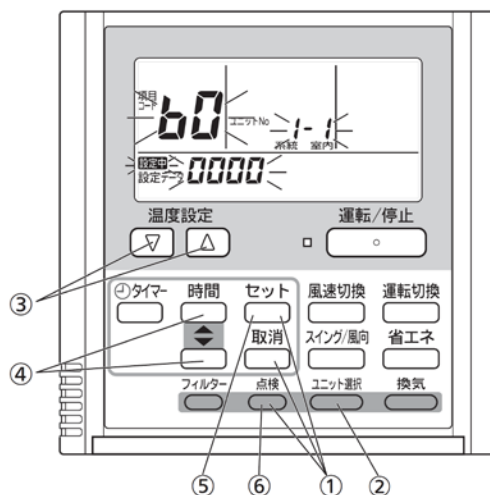
表1 静圧設定表

ビルトインオールダクト形に取り付ける場合		
リモコンの設定データ 項目コード b0	別売品名称	
0011	高性能フィルター90%	AFT-HBD50T
0011	高性能フィルター90%	AFT-HBD80T
0015	高性能フィルター90%	AFT-HBD140T
0011	高性能フィルター65%	AFT-MBD50T
0011	高性能フィルター65%	AFT-MBD80T
0015	高性能フィルター65%	AFT-MBD140T
0008	ロングライフフィルター	AFT-LBD50T
0008	ロングライフフィルター	AFT-LBD80T
0011	ロングライフフィルター	AFT-LBD140T

(ワイヤードリモコンの場合)

- ① [点検] + [取消] + [セット] ボタンを同時に4秒以上押します。
- ② [ユニット選択] ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニットNoを順次表示します。
このとき、選択されている室内ユニットのみファンモーターが運転します。
- ③ 温度設定 ▼ / ▲ ボタンで項目コード「b0」を指定します。
- ④ 時間 ▼ / ▲ ボタンで設定データを変更します。
設定データの内容は表1のようになっています。
- ⑤ [セット] ボタンを押します。(表示が点滅から点灯に変わればOK)
選択している室内ユニットを変更したい場合は②へ
- ⑥ [点検] ボタンを押します。通常の停止状態になります。

※フィルターサイン点灯時間の設定はフィルターの仕様書およびテクニカルガイドを参照してください。



(図3)

別売部品

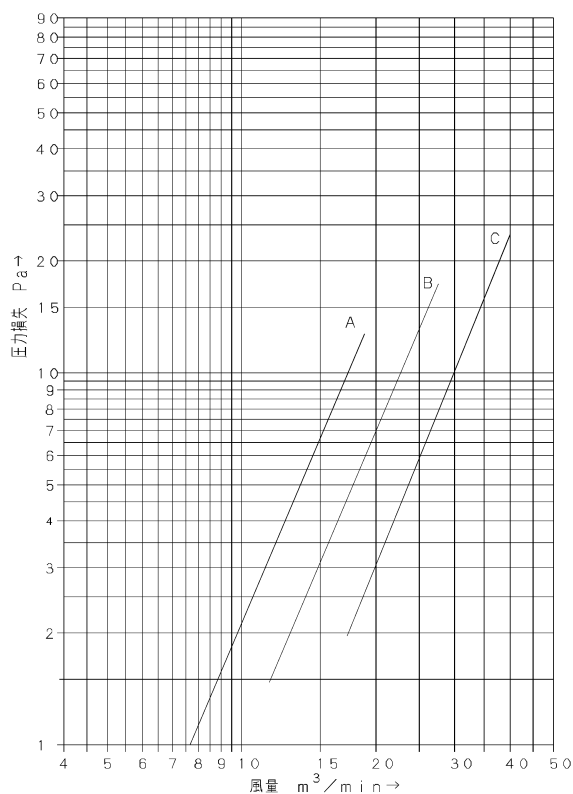
5. 室内ユニット関連部品の仕様と据付 (ビルトインオールダクト形)

吸込グリル (GRL-RBU50・80・140TN)

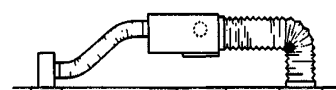
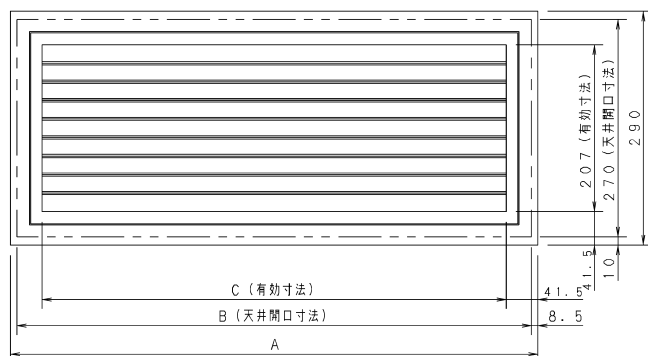
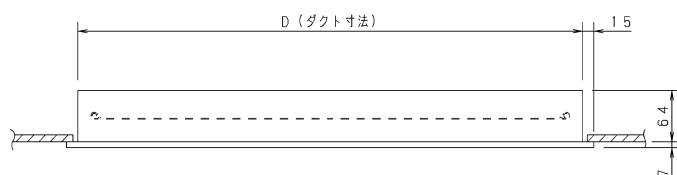
■圧力損失

吸込グリル (フィルター付)

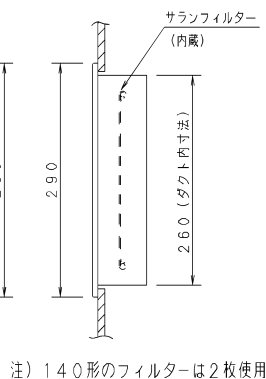
グラフ記号	部品品番	適用機種
A	GRL-RBU50TN	28～56形
B	GRL-RBU80TN	71～90形
C	GRL-RBU140TN	112～160形



■外形寸法図

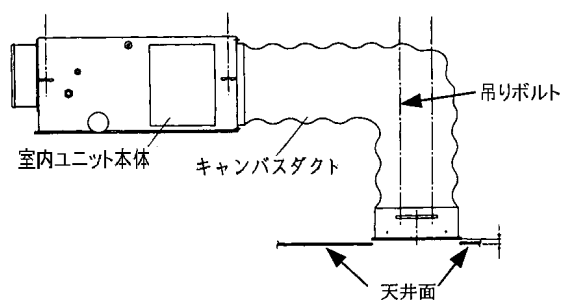


品番	A	B	C	D
GRL-RBU50TN	692	675	609	662
GRL-RBU80TN	992	975	909	962
GRL-RBU140TN	1,472	1,455	1,389	1,442

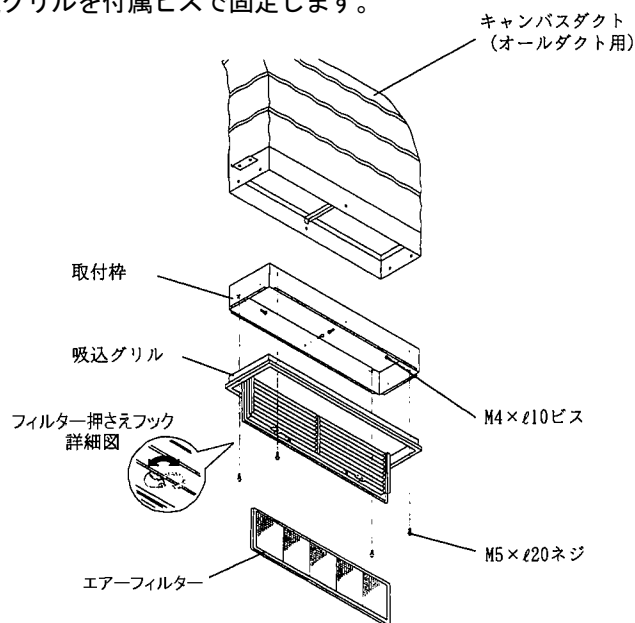


■キャンバスダクト、吸込グリルの取付け方

- キャンバスダクトと天井面との寸法は、2mmになるように吊ボルトで高さを調節してください。



- キャンバスダクトに取付枠を付属ビスで固定します。
取付枠に吸込グリルを付属ビスで固定します。

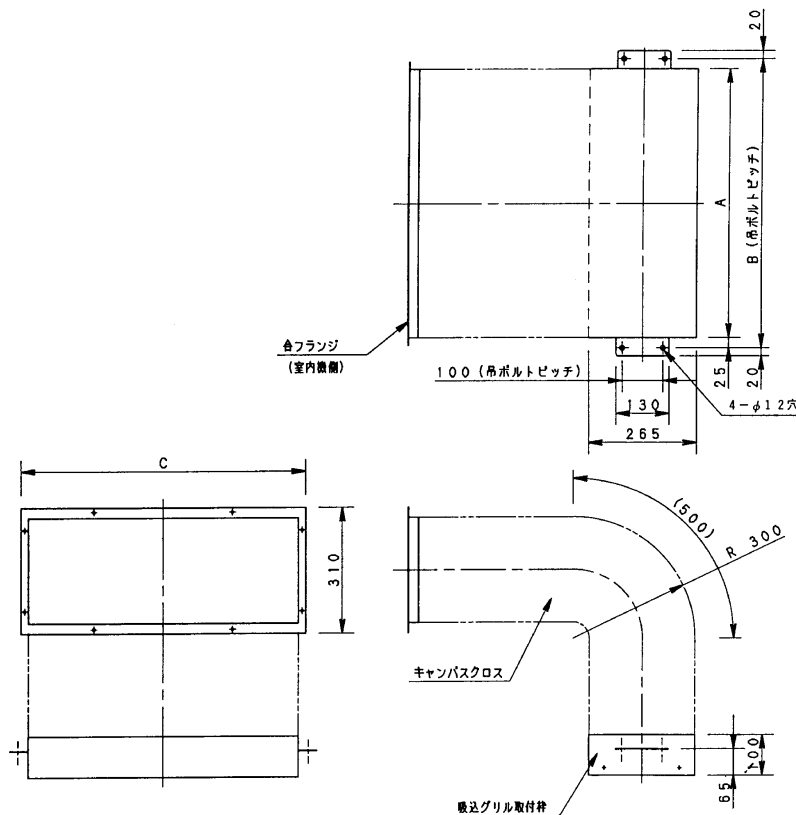


●材質・外装色

材 質	鋼板製
外装色	ホワイト（マンセル10Y9.3／0.4）

キャンバスダクト (DKT-CBU50・80・140T)

■外形寸法図



品 番	(mm)		
	A	B	C
DKT-CBU50T	665	715	700
DKT-CBU80T	965	1015	1000
DKT-CBU140T	1445	1495	1480

材 質 キャンバスクロス (防炎仕様)

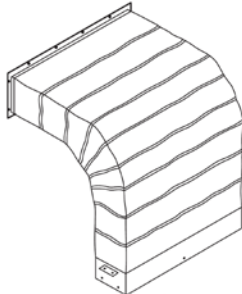
補強ワイヤ入り
全長: 最大 1.6 m

■取付方

キャンバスダクト取付説明書

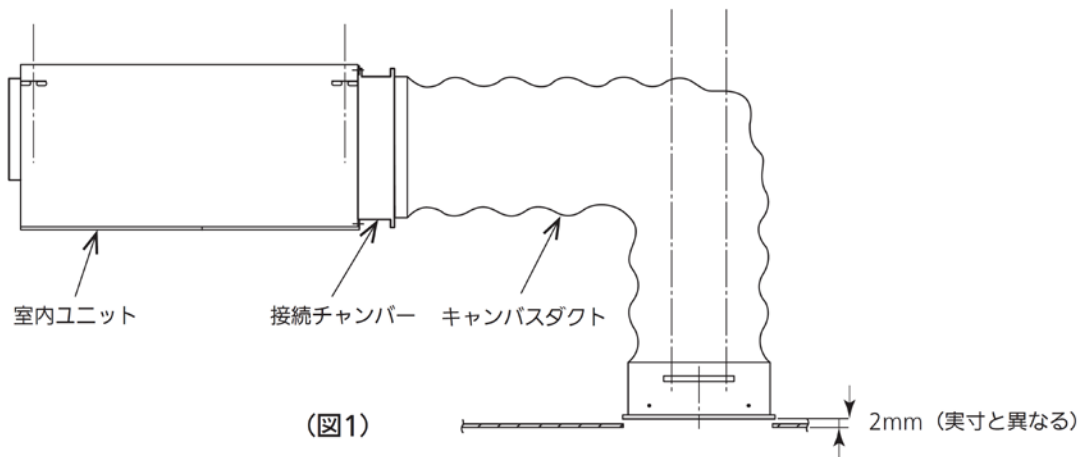
ビルトインオールダクト形用

□ 構成部品

キャンバスダクト	取付ネジ
 (全長：最大1.6m)	(M4×L 12)  50形： 8本 80形： 12本 140形： 16本

□ 取付け前に

1. 室内ユニットに接続チャンバー（別売）を取り付けます。（FE3,FES1,K1機種を除く）
2. キャンバスダクト下面と天井面との寸法は、2mmになるように吊ボルトで高さ調整してください。（図1）
3. 吸込グリルの天井開口寸法は、室内ユニットまたは吸込グリル（別売）の説明書を参照してください。



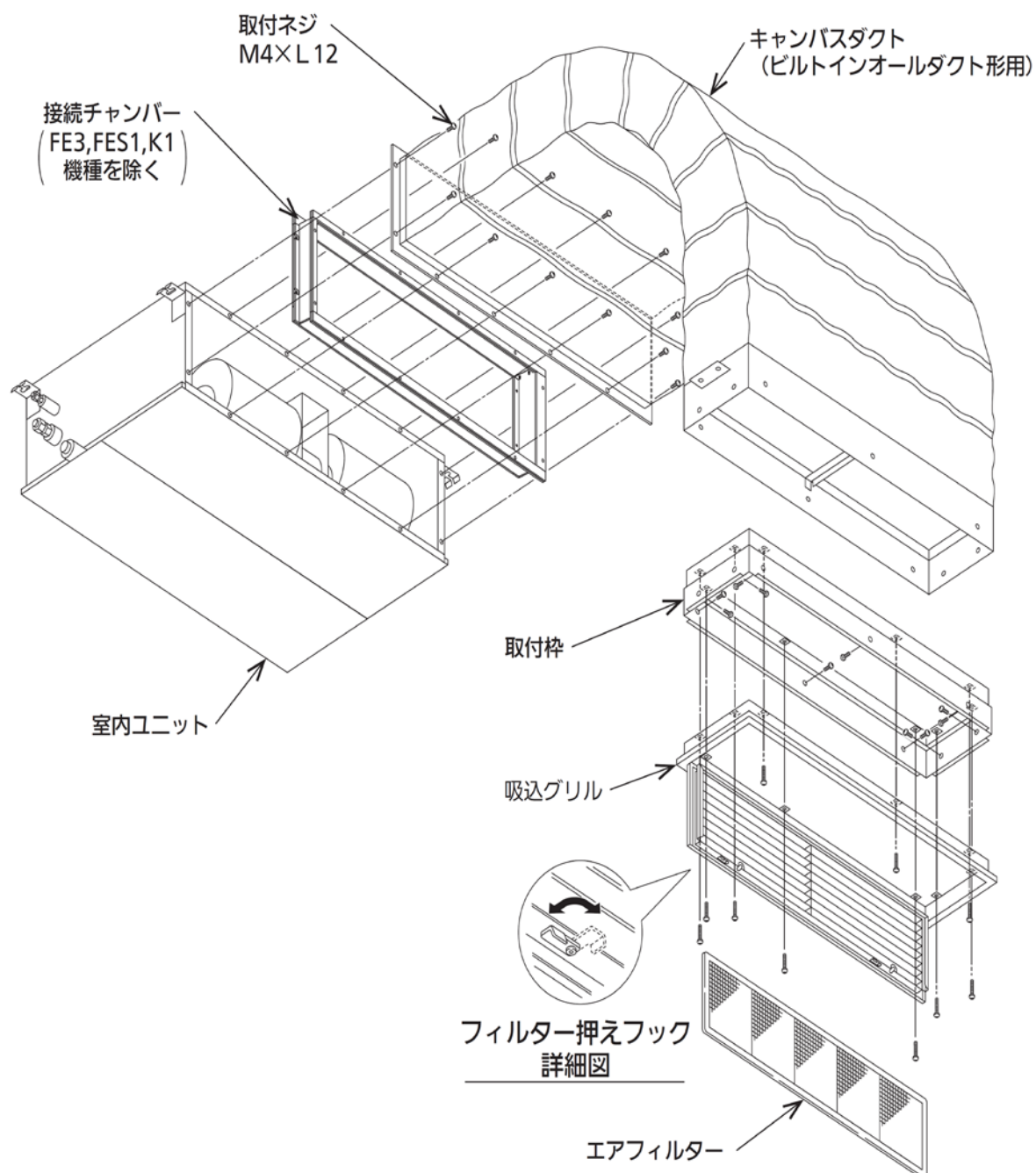
□ 取付けかた（図2）

1. 本品を付属の取付ネジで取り付けます。（50形…8本,80形…12本,140形…16本）
2. 吸込グリル（別売）を取り付けます。
取り付けについては、吸込グリル付属の取付説明書を参照してください。

- キャンバスダクトは高温高湿で使用すると結露のおそれがあります。
ダクトの外周に保温材を巻いてください。
- フィルターチャンバー（別売）を接続する場合は、接続チャンバー（別売）と本品の間に設置してください。

□ 併用別売品の取付けかた

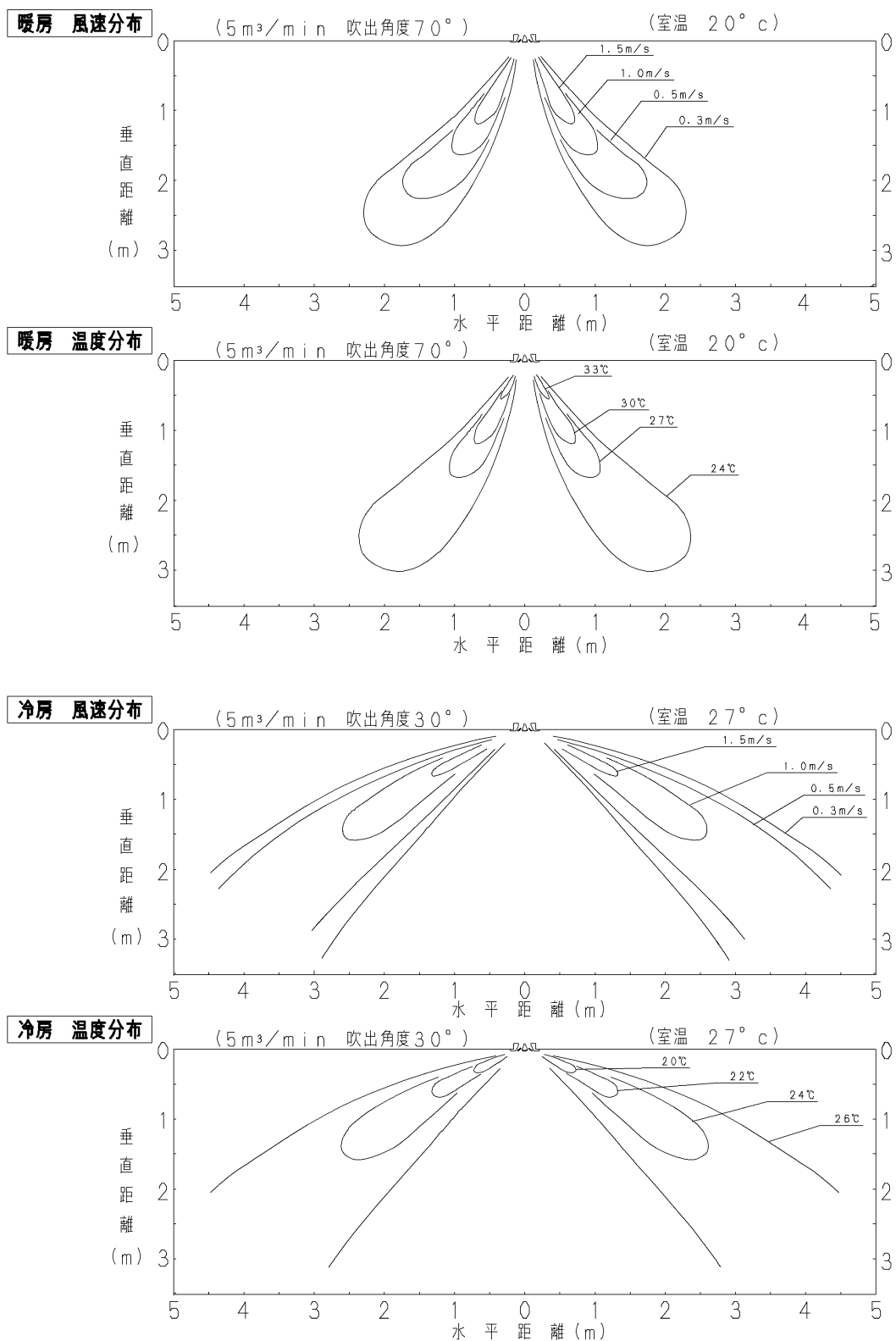
- 別売品に付属している取付説明書を参照してください。



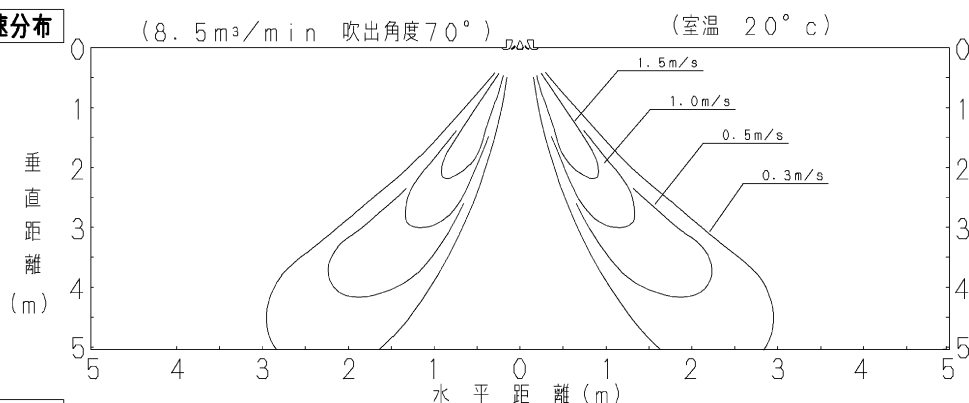
(図2)

吹出口グリル (GRL-S15B・GRL-S20B)

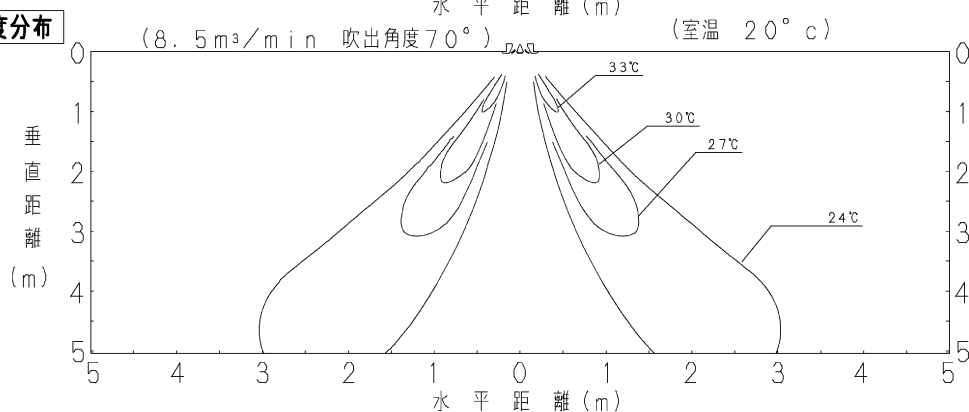
■風速分布・温度分布



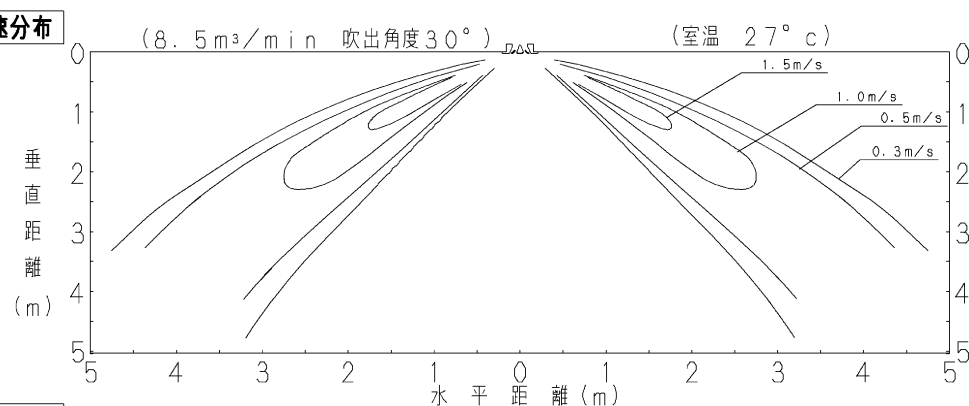
暖房 風速分布



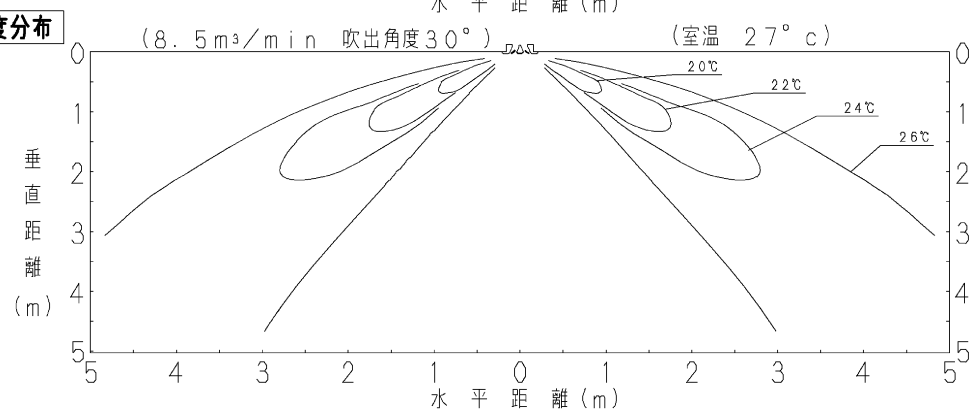
暖房 温度分布



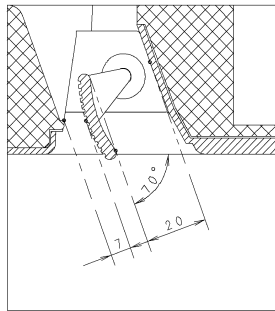
冷房 風速分布



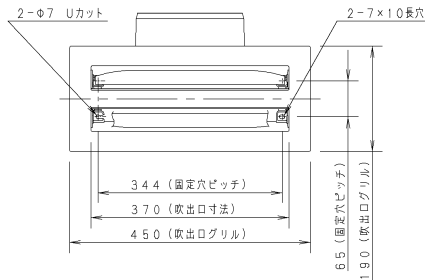
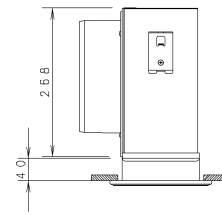
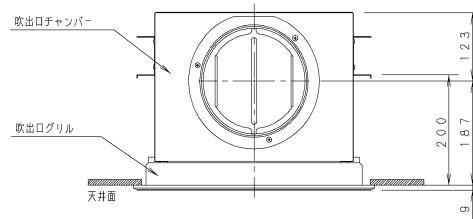
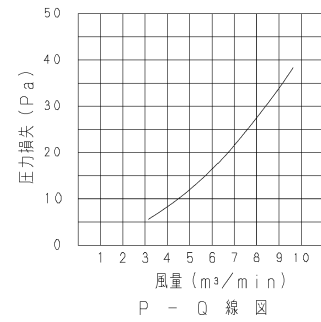
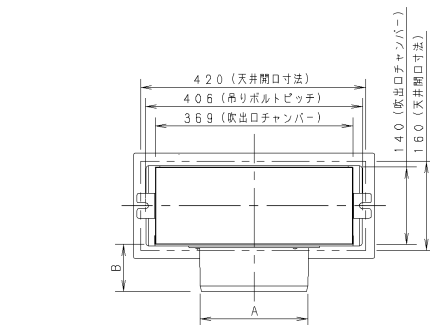
冷房 温度分布



■外形寸法図



F L A P 接線角度 70° のときの吹出し面積 $S (m^2)$
 $S (70^\circ) = 0.020 (m^2)$



(mm)

品 番	A	B
GRL-S15B	150	100
GRL-S20B	200	85

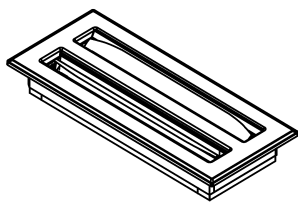
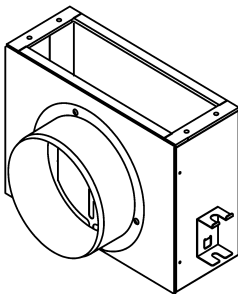
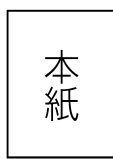
■据付説明

■吹出口グリル据付説明書(1/2)

● 据え付け前に本説明書をよくお読みください。

- (△注意) ・据え付けは、製品重量に十分耐える所に行ってください。
強度が不足している場合、落下によりけがの原因になります。
- ・油・オイルミスト雰囲気中に設置することは避けてください。
グリルが破損して落下する可能性があります。
- ・落下させたり、無理な力を加えた場合、破損する可能性があります。

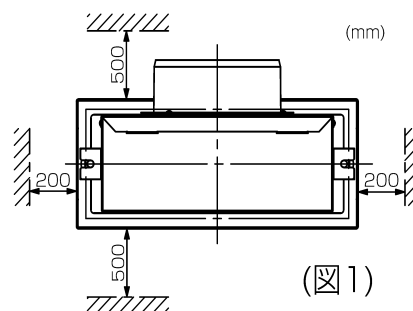
1. 梱包内容

グリル	チャンバー	グリル取付ビス	取付説明書
		 M4×35 4本	 本紙 1枚

機種名	ダクト接続径
GRL-S15B	Φ150
GRL-S20B	Φ200

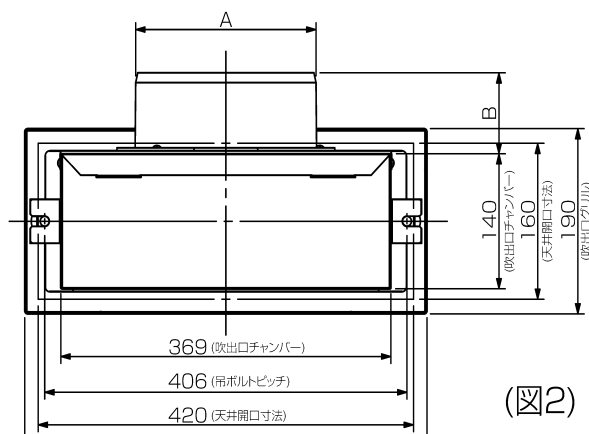
2. 据付場所

- ・吹出口グリルは、温度分布が均一になる様な場所に据え付けてください。
- また、吹出口グリルは壁面に対して、右図寸法以上近付けないようにしてください。冷房時、壁面に露が付くことがあります。
- ・建物の出入口付近には設置しないでください。
吹出口に露が付くことがあります。



3. 据え付け前の準備

- ・天井開口穴と吹出口グリル、吹出口チャンバーの位置関係は、下図に従ってください。



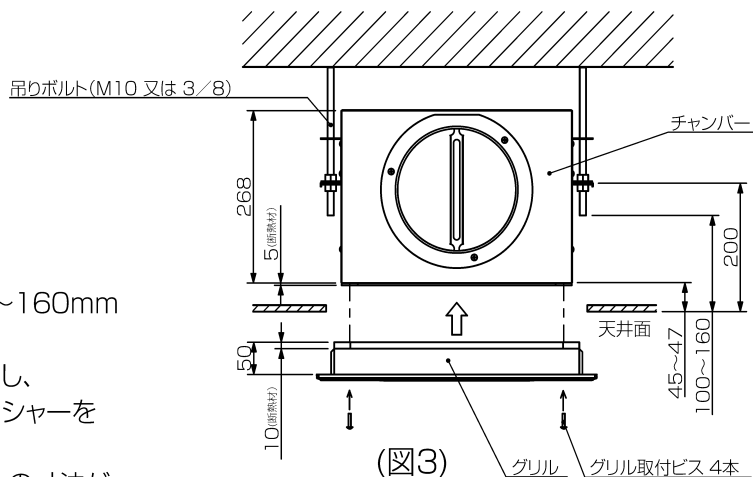
	(mm)	
吹出口グリル	A	B
GRL-S15B	150	100
GRL-S20B	200	85

■吹出口グリル据付説明書(2/2)

4. 据え付けかた

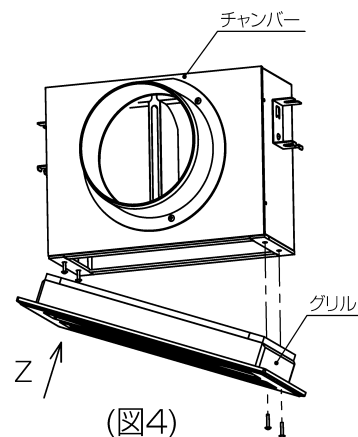
(1) チャンバーの据え付けかた (図3)

- ・吊りボルトの長さは、天井下面より100～160mmの範囲にしてください。
- ・チャンバーは、吊り金具に吊りボルトを通し、必ず吊り金具の上下両面からナット、ワッシャーを用いて確実に固定してください。
- ・チャンバー下部(板金部より)と天井下面との寸法が45～47mmの位置になるように調整してください。吊りボルトが長いと、グリルに当たり、グリルが破損、結露する可能性があります。



(2) グリルの取り付けかた (図4)

- ・付属のビス2本をチャンバー短手片側に5mm程度仮止めしてください。
- ・グリルのビス穴(Uカット側)を仮止めしたビスに通した後、逆側のビス2本をグリルを押し上げて止めてください。

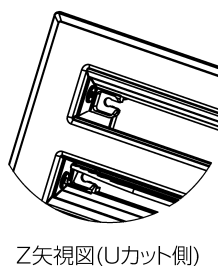
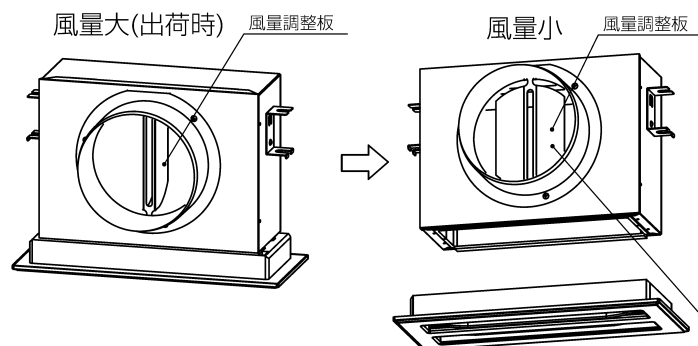


〈ご注意〉

吹出口チャンバーに吹出口グリルを取り付ける時には、絶対に隙間ができないように注意してください。
隙間ができると露が付く原因となります。

5. 風量調節のしかた

- (1) チャンバー内の風量調整板の角度を変えて風量を調整してください。
出荷時は風量最大になるようにしてあります。



〈ご注意〉

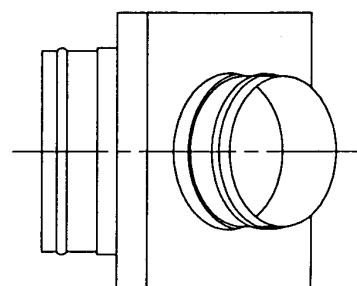
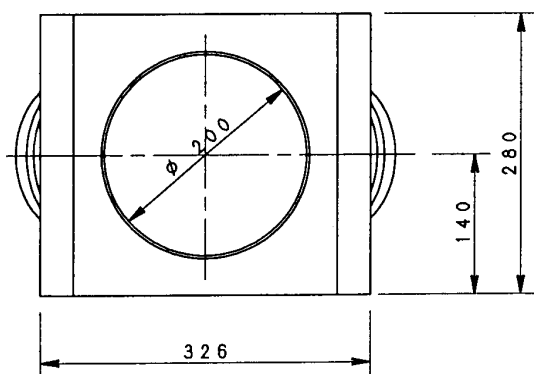
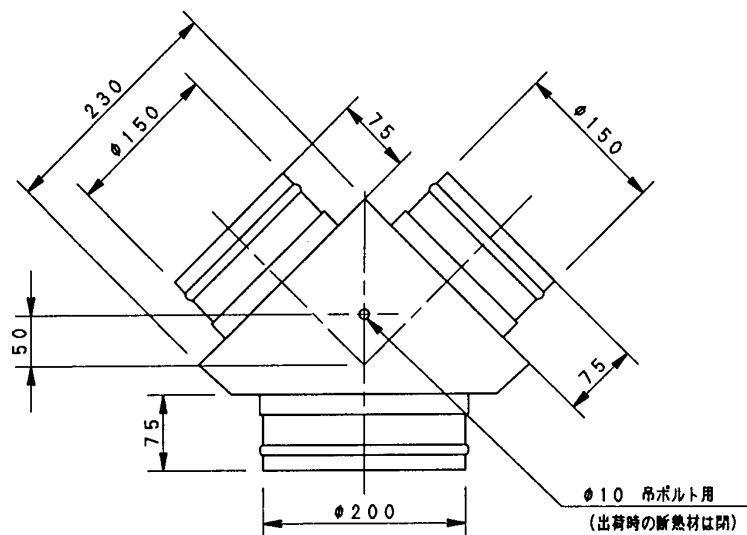
風量調整板は全閉では使用しないでください。異常音やグリルからの水滴落下の原因になります。

(2) 風向調整のしかた

手動にて吹出グリルのフラップを動かし、風向を調節してください。

分岐チャンバー (CMB-B20B)

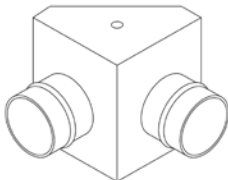
■外形寸法図



■取付方

分岐チャンバー取付説明書

□ 構成部品

分岐チャンバー	ワッシャー (両面断熱材付き)
	 2個

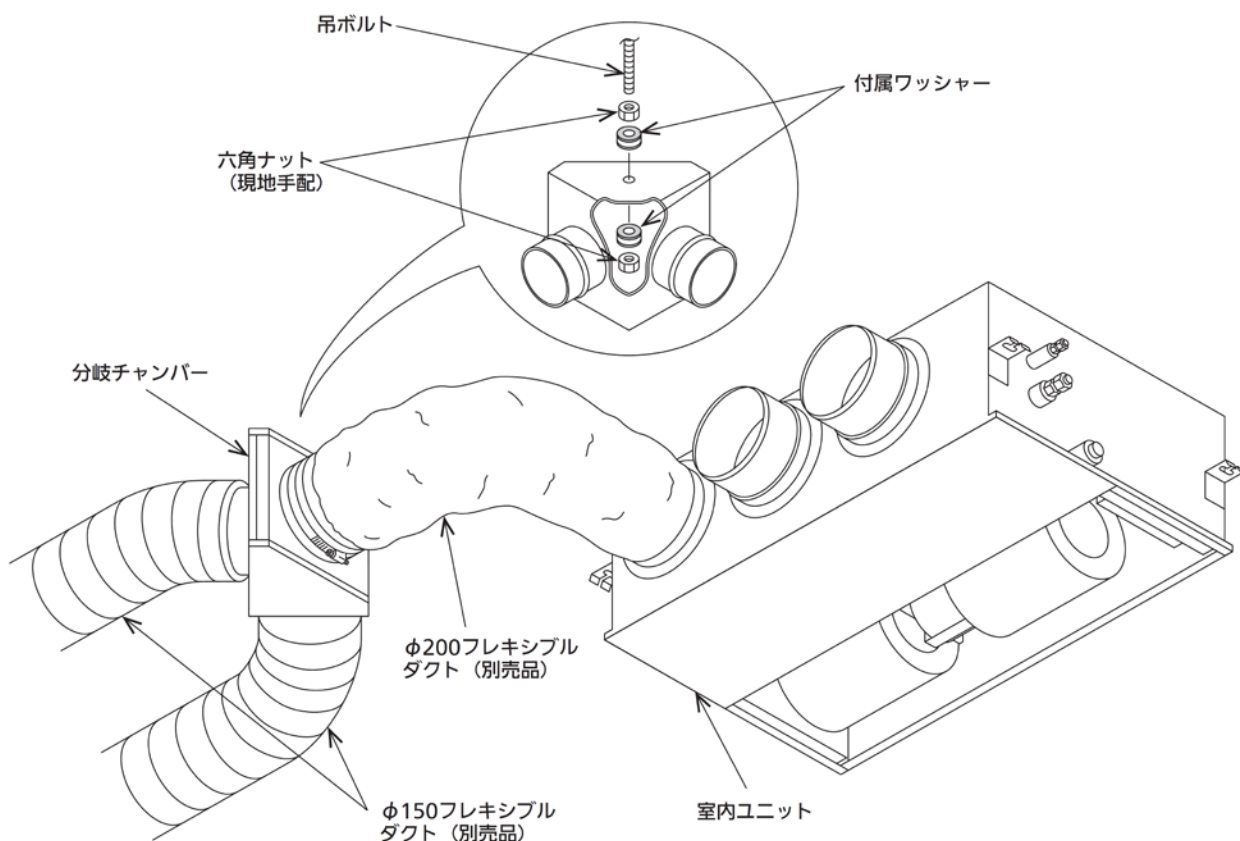
□ 取付け前に

1. 分岐チャンバーの吊ボルト穴はφ10です。
出荷時の断熱材は穴無しになっています。吊ボルトによる吊込みを行う場合は、断熱材のヘコミ(φ10程度)を押し穴あけしてください。
2. 吊ボルトに付属のワッシャーを上下に差し込み、六角ナットで固定してください。(図1)
ワッシャーの取り付けは詳細図を参照してください。

□ 併用別売品の取付けかた

- 別売品に付属している取付説明書を参照してください。

組立詳細図

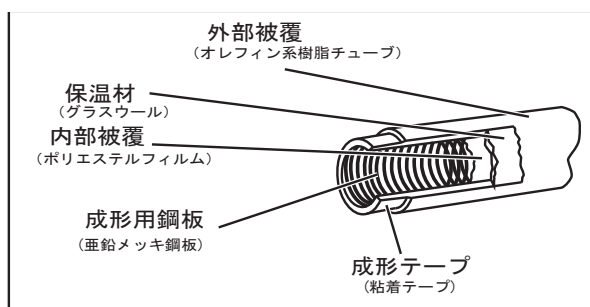


(図1)

別売部品

5. 室内ユニット関連部品の仕様と据付 (天井ビルトインカセット形)

フレキシブルダクト CZ-F1510、1520、1550
CZ-F2010、2020、2050

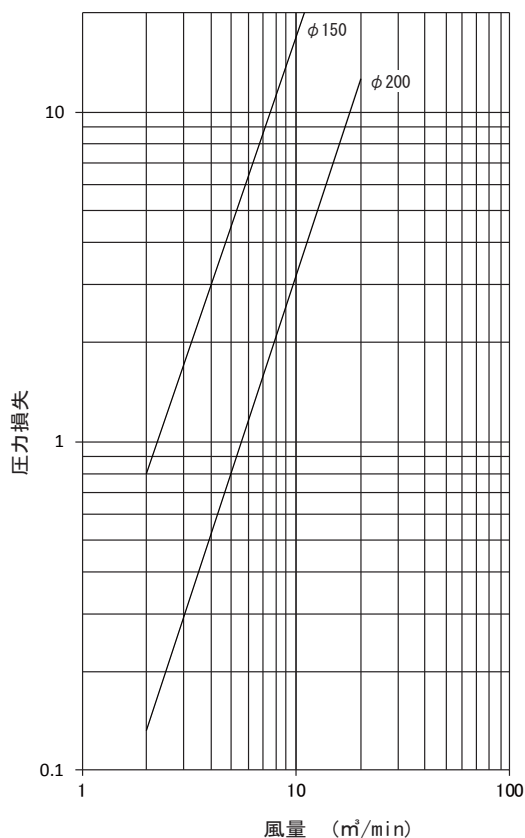


フレキシブルダクトは自由に曲げる事が出来、施工が困難な場所にもムリなく使用出来ます。
ダクト周囲温度が30℃、80%を超える場合は市販の高断熱仕様(断熱材厚さ: 50mm程度)のダクトをご使用ください。

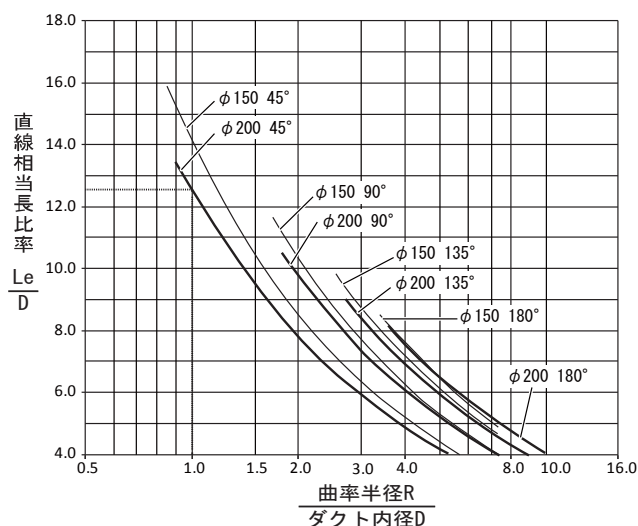
仕様

品番	CZ-F2010	CZ-F2020	CZ-F2050	CZ-F1510	CZ-F1520	CZ-F1550
口径 mm	φ200			φ150		
長さ m	1.0	2.0	5.0	1.0	2.0	5.0
使用温度	-10℃～80℃					
最大風速	15m / sec					
使用静圧	-150Pa～500Pa					
90° 最小曲率半径	360mm			255mm		
45° 最小曲率半径	180mm			128mm		
付属品	バンド×2, 断熱材×1, 粘着テープ×1			バンド×2, 断熱材×1, 粘着テープ×1		

圧力損失(直線部) 図-1 (Pa/m)

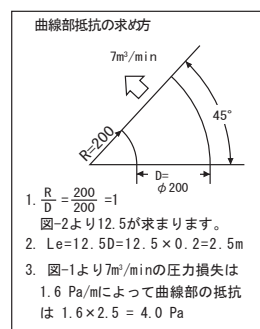
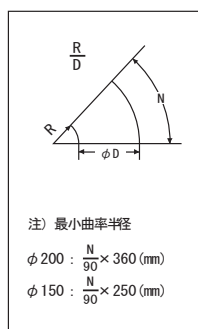


曲り部の直線相当長比率 図-2



Leの目安

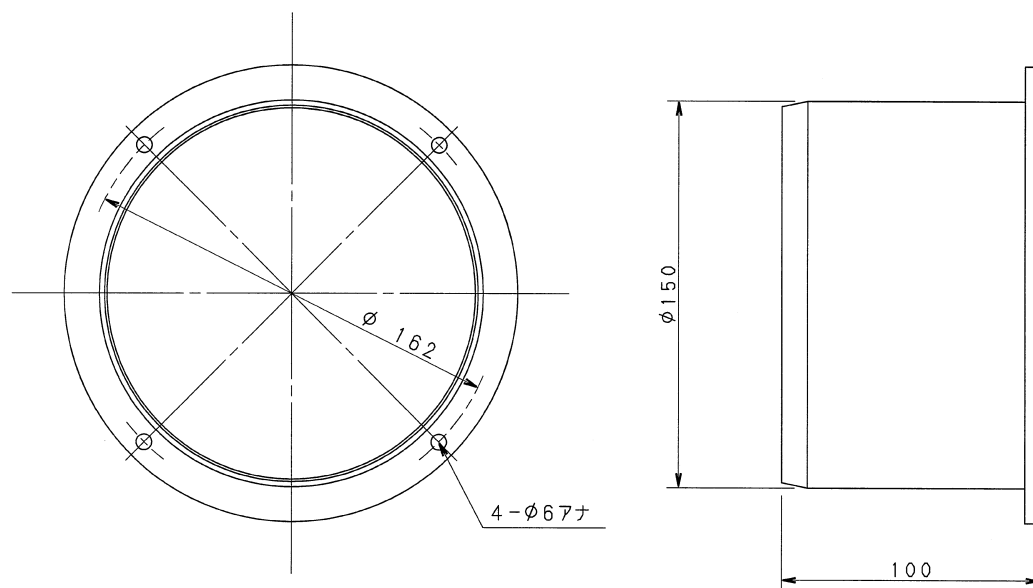
R/D	Le (m)		R/D	Le (m)	
	φ200	φ150		φ200	φ150
1.0	2.5	2.1	3.0	1.2	1.0
2.0	1.6	1.3	4.0	1.0	0.8



品番	CZ-F1510, 1520, 1550 CZ-F2010, 2020, 2050	外形寸法図 フレキシブルダクト(丸)
----	--	-----------------------

外気取入口丸合フランジ (DKT-MF15A1)

■外形寸法図



■ 付属部品

取付け用ネジ (タッピン 4 × 12)	4 (個)
----------------------	-------

■ 取り付け前の準備

丸合フランジを取り付ける場合、フレキシブルダクト (別売品) が必要ですので用意して下さい

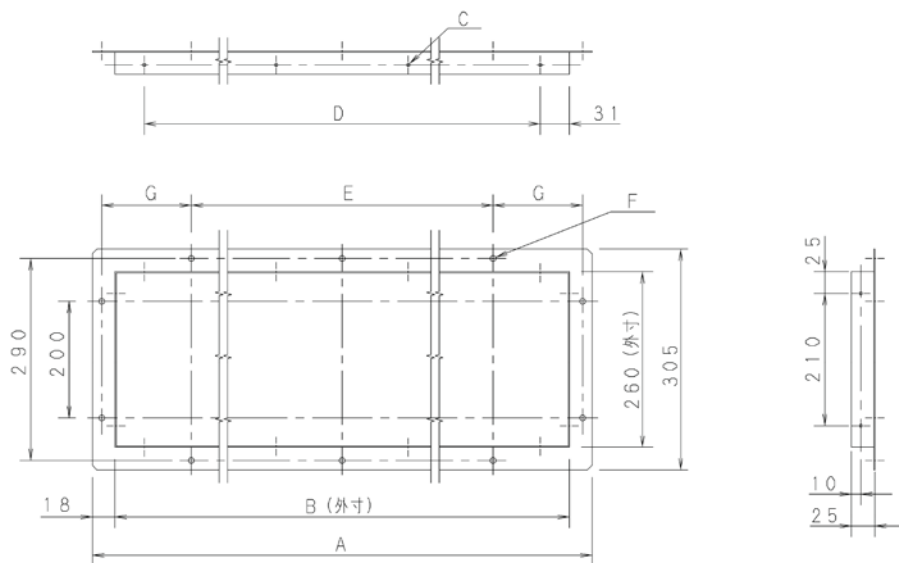
丸合フランジ	フレキシブルダクト (丸)
DKT-MF15A1	DKT-F1510B ϕ 150 1m
	DKT-F1520B ϕ 150 2m
	DKT-F1575B ϕ 150 7.62m

■ 取付方法

- (1) ユニット本体の切り込みを目印に、断熱材ごと、ニッパ、金ノコ等で切断し、切り取ってください。
- (2) ユニット本体の丸合フランジをネジ4本 (付属) で取り付けてください。
- (3) フレキシブルダクトの取付方法については、付属の取付説明書を参照してください。

吸込角ダクト合フランジ (DKT-RFBD50・80・140T)

■外形寸法図



品 番	A	B	C	D	E	F	G
DKT-RFBD50T	698	662	12-φ3.3穴	3X200P=600	1X340P=340	8-φ6穴	170
DKT-RFBD80T	998	962	16-φ3.3穴	5X180P=900	なから (245) + (250) + (245) = 740	12-φ6穴	120
DKT-RFBD140T	1478	1442	18-φ3.3穴	6X230P=1380	なから (245) + (245) + (240) (245) + (245) = 1220	16-φ6穴	120

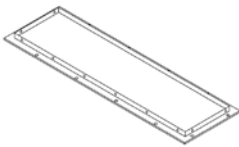
品 番	外形寸法図 吸込角ダクトフランジ 天井ビルトインカセット形 ビルトインオールダクト形
DKT-RFBD50T -RFBD80T -RFBD140T	

■取付方

吸込角ダクト合フランジ取付説明書

ビルトインオールダクト形用

□ 構成部品

吸込角ダクト合フランジ	取付ネジ
	(M4×L12)  50形： 8本 80形：12本 140形：16本

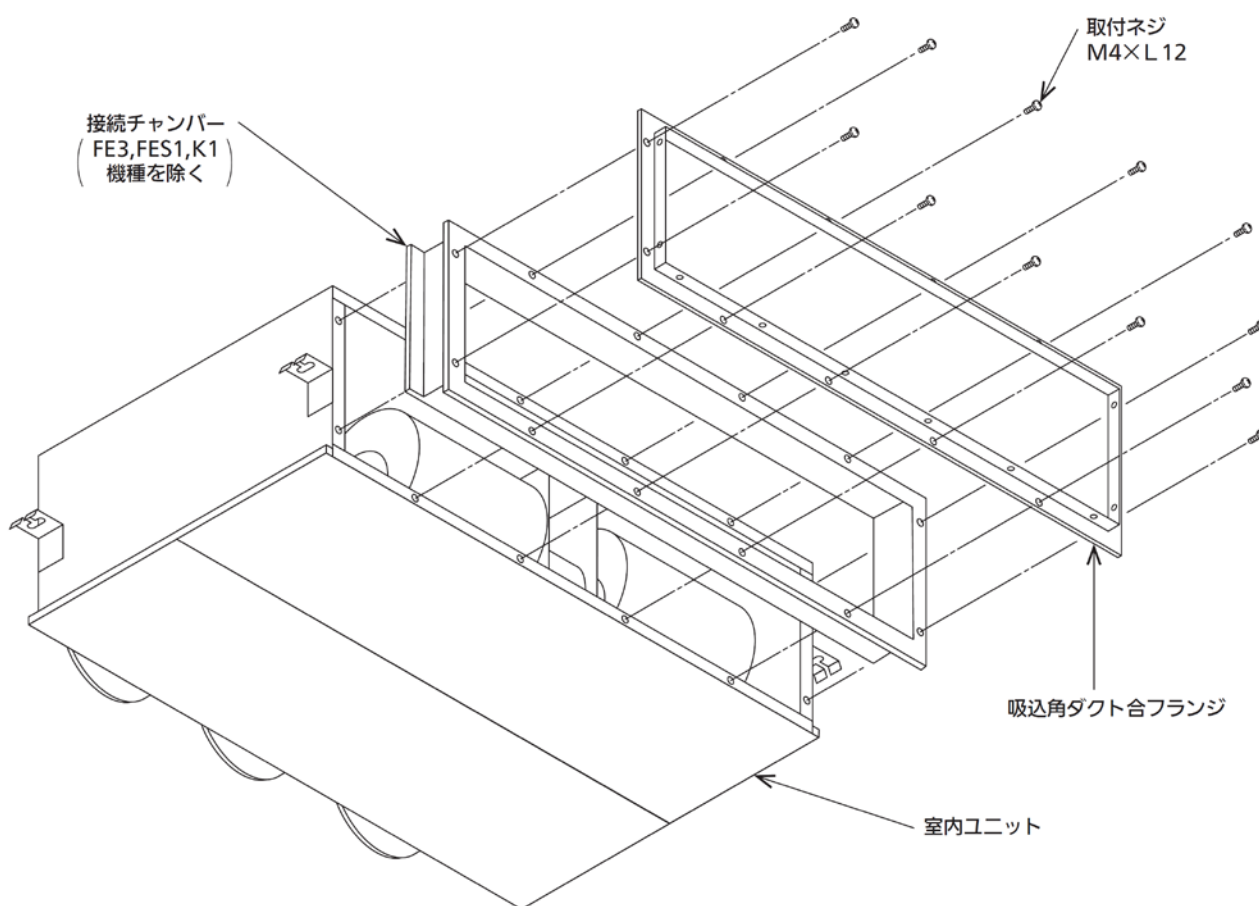
□ 取付け前に

1. 室内ユニットに接続チャンパー（別売）を取り付けます。（FE3,FES1,K1機種を除く）

□ 取付けかた（図1）

1. 本品を付属の取付ネジで取り付けます。（50形…8本、80形…12本、140形…16本）

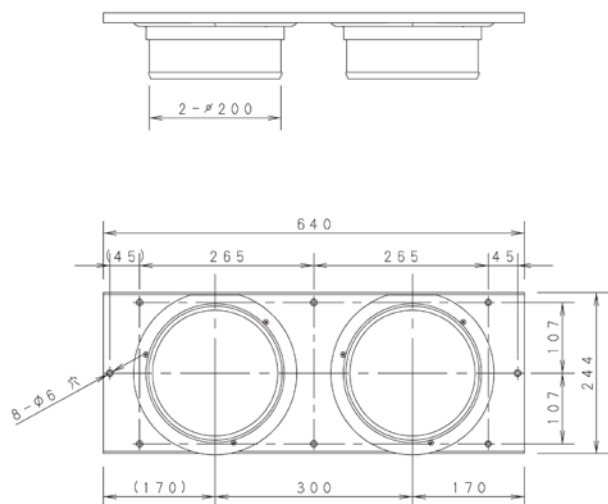
- フィルターチャンパー（別売）を接続する場合は、接続チャンパー（別売）と本品の間に設置してください。



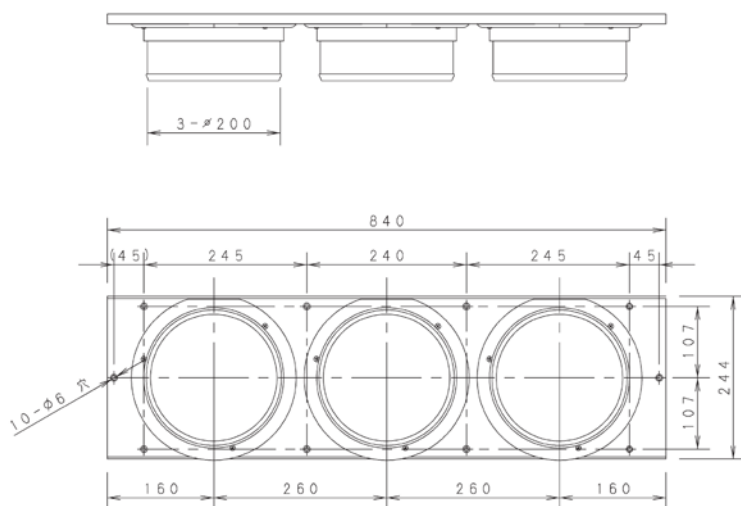
(図1)

吹出丸ダクト合フランジ (CZ-56・90・160DAF2A)

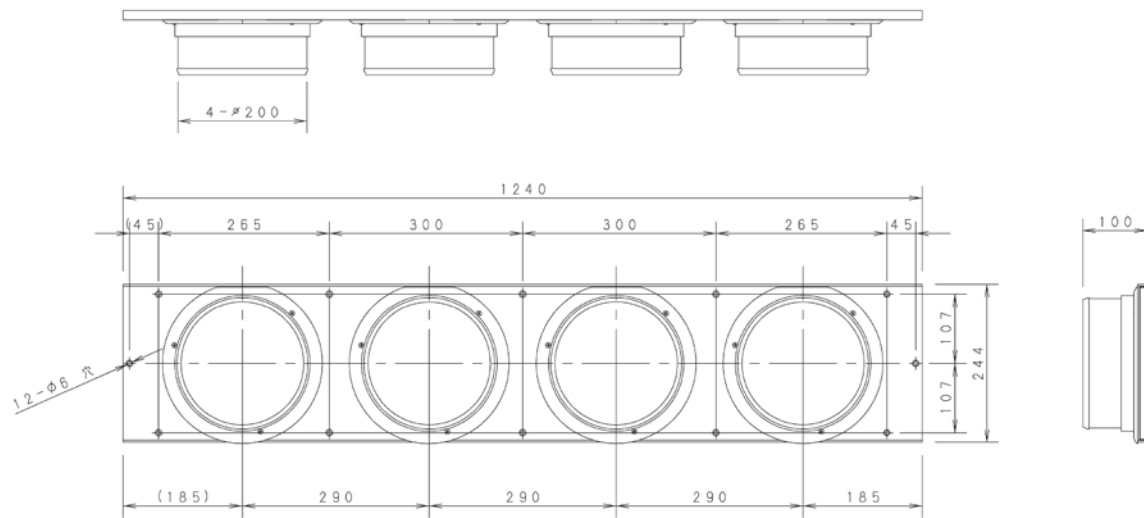
■外形寸法図



品番	CZ-56DAF2A	外形寸法図 吹出丸ダクト合フランジ ビルトインオールダクト形
----	------------	--------------------------------------



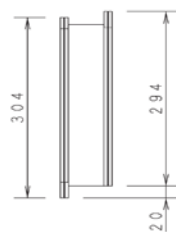
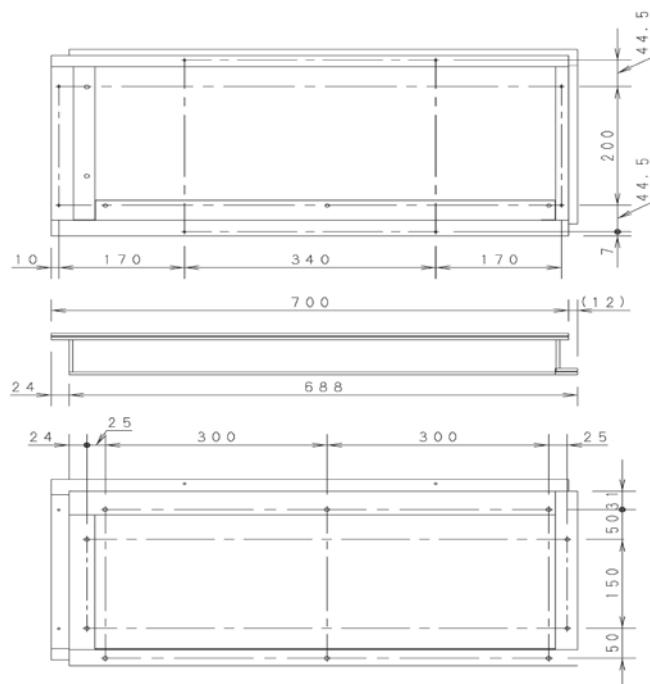
品番	CZ-90DAF2A	外形寸法図 吹出丸ダクト合フランジ ビルトインオールダクト形
----	------------	--------------------------------------



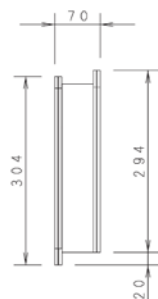
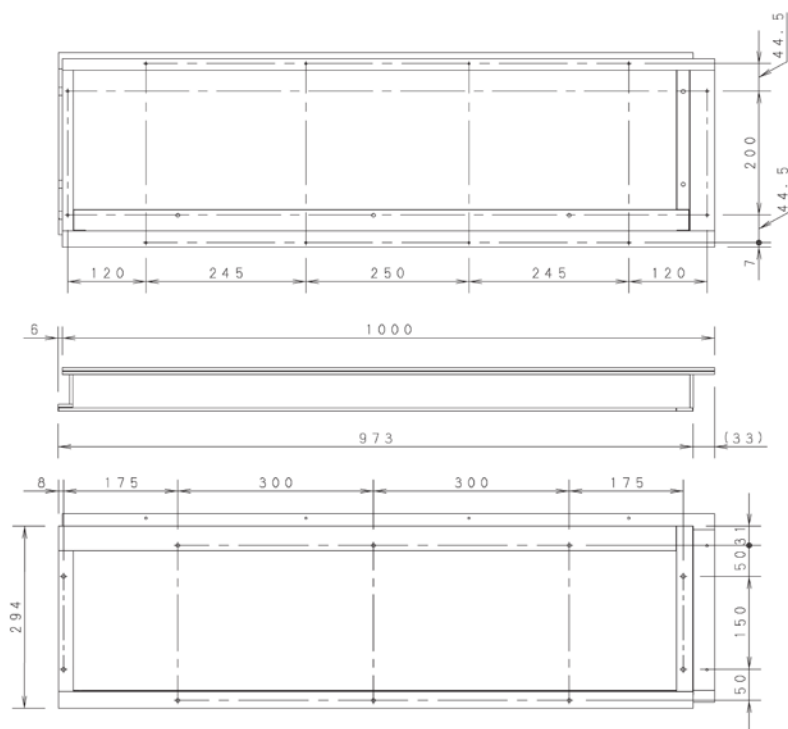
品番	CZ-160DAF2A	外形寸法図 吹出丸ダクト合フランチ ビルトインオールダクト形
----	-------------	--------------------------------------

接続チャンバー (CZ-56・90・160SPF1)

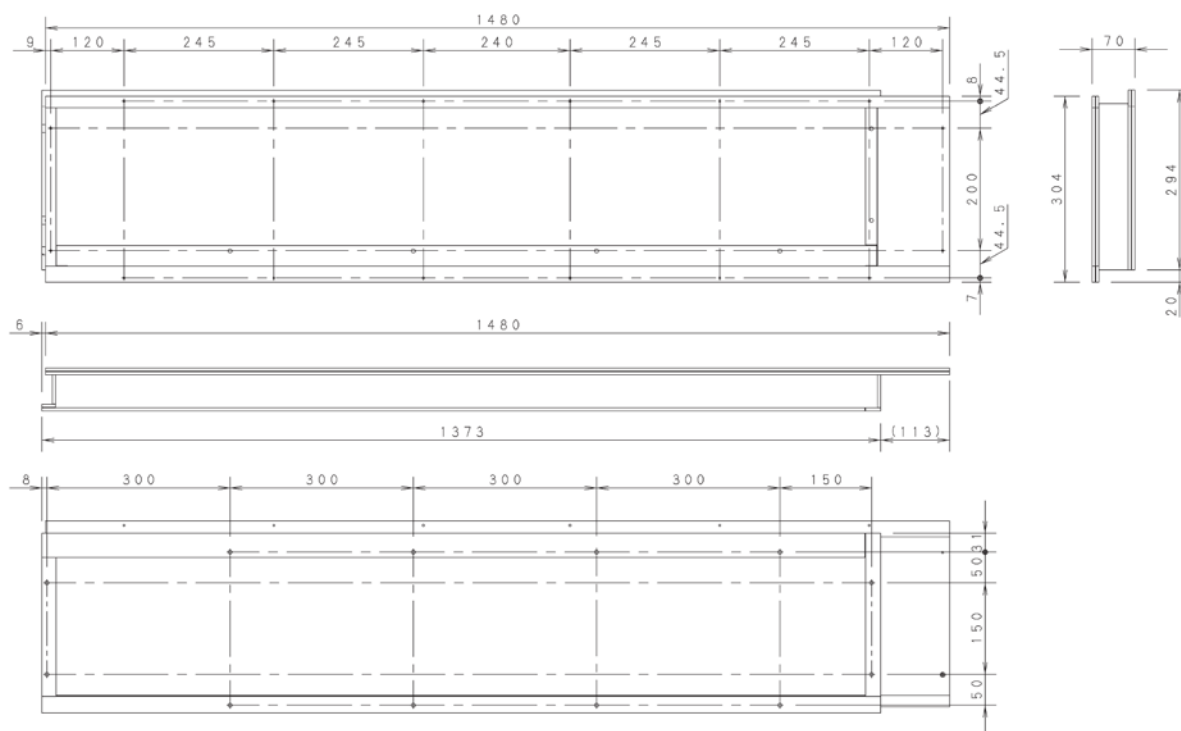
■外形寸法図



品番	CZ-56SPF1	外形寸法図 接続合フランジ ビルトインオールダクト形
----	-----------	----------------------------------



品番	CZ-90SPF1	外形寸法図 接続合フランジ ビルトインオールダクト形
----	-----------	----------------------------------



品番	CZ-160SPF1	外形寸法図 接縫合フランジ ビルトインオールダクト形
----	------------	----------------------------------

■取付方

接続チャンバー 取付説明書

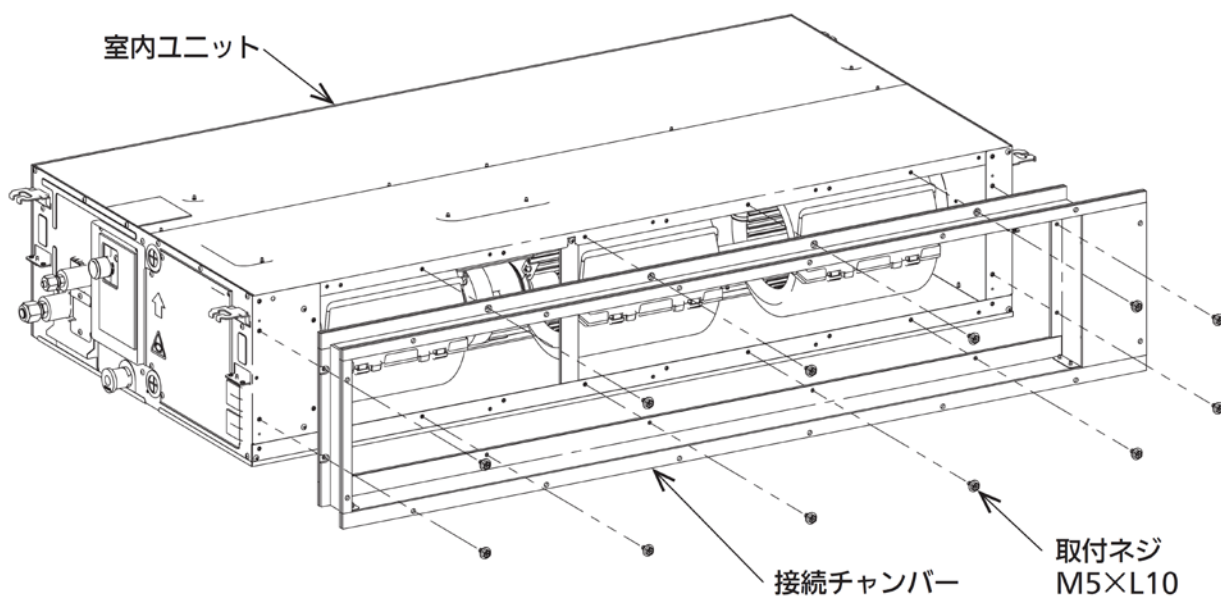
ビルトインオールダクト形用

□ 構成部品

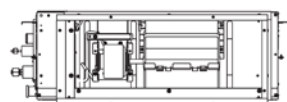
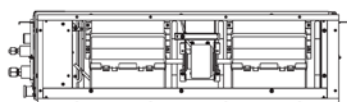
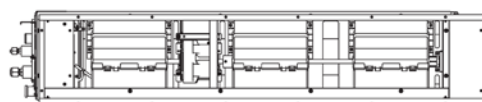
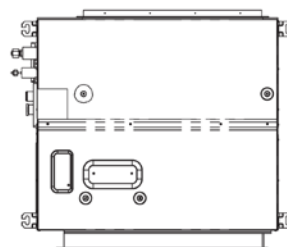
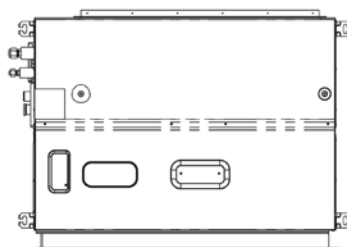
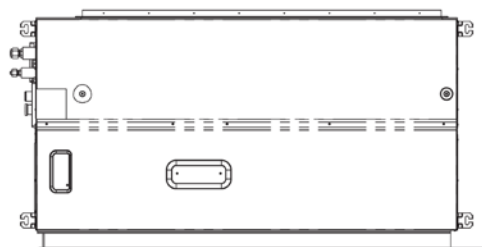
接続チャンバー	取付ネジ
	(M5×L10)  56形 : 10本 90形 : 10本 160形 : 12本

□ 取付けかた

- 室内ユニット本体の吸込側に付属の取付ネジで固定します。



～完成状態～



気化式加湿器 (CZ-07・10・20ASF2)

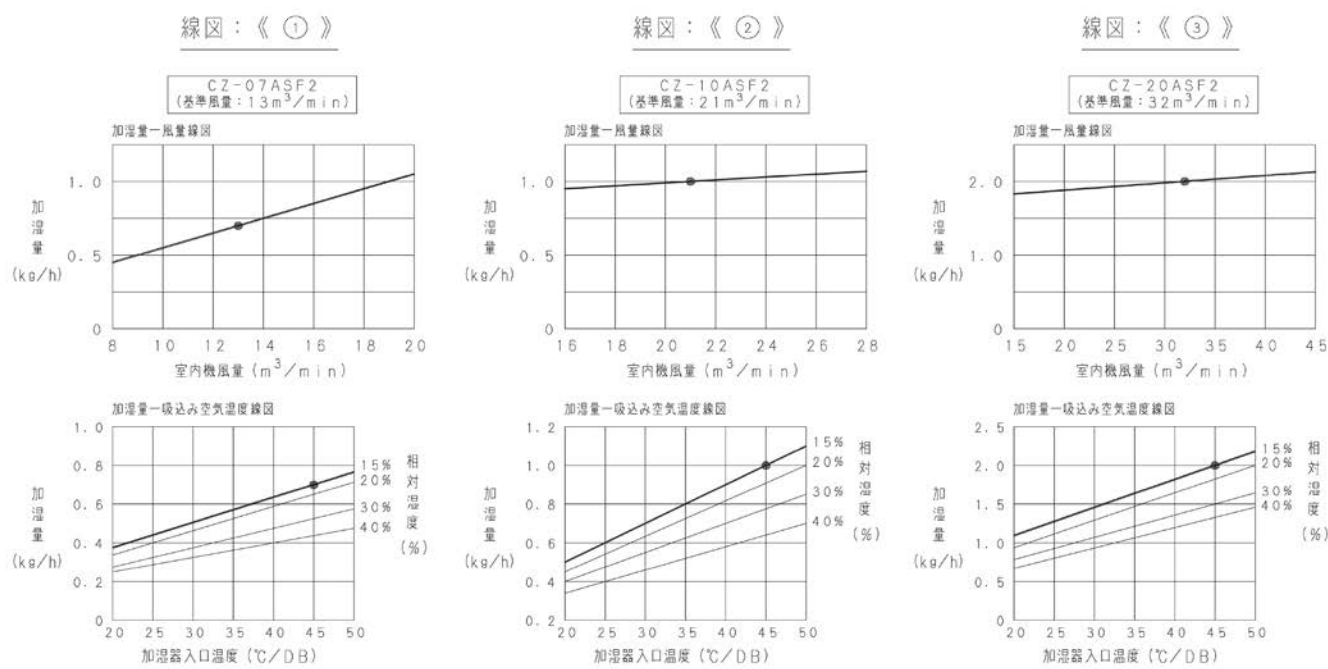
■仕様

品番		CZ-07ASF2	CZ-10ASF2		CZ-20ASF2		
適用機種	ビルトインオールダクト形	28・36・ 45・56 形	71 形	90 形	112 形	140 形	160 形
加湿器方式		自然蒸発式					
室内ユニット風量	m ³ /min	16	21	26	32	34	36
加湿性能	kg/h	0.85	1.00	1.05	2.00	2.02	2.04
給水制御方式		タイマー制御による断続給水					
給水量	ℓ /h	9.4					
電源電圧		単相 200V 50／60H z					
本体質量		kg	3.7	4.3	5.7		
定格消費電力		W	5.5±10%				
使用 条件	給水圧力	MPa	0.049 (0.5kgf/cm ²) ～0.49 (5kgf/cm ²)				
	給水圧力(ポンプ 使用時)	MPa	0.049 (0.5kgf/cm ²) ～0.29 (3kgf/cm ²)				
	使用周囲温度		1℃～40℃、90%RH 以下				
	使用水		上水道又はこれと同等水質のこと (水温 5～40℃)				
	取付角度		全方向共±2° 以内のこと				
保護装置			排水管詰まり発生時、フロートスイッチによる電磁弁停止				

注) 加湿能力は加湿器入口空気温度 45℃、15%RH の値を示します。

- 加湿 (暖房) シーズン中は元電源を入れたままにしておいてください。
万一、給水用電磁弁にゴミなどがからみ閉じなくなった場合の漏水を防止します。
- 加湿 (暖房) シーズン後、給水用サービスバルブ (現地手配) を必ず閉めてください。
- 排水用止水バルブ (現地手配) の取付をおすすめします。加湿 (暖房) シーズン使用開始時に、給水用サービスバルブと排水用止水バルブを開き、給水配管内の水を新しい水に置換してから加湿器をご使用ください。
- ポンプによる給水を行う場合は、必ず給水圧力の上限は0.29Mpa以下としてください。
給水圧力範囲を超える場合は、別の減圧弁 (現地手配) を設けてください。
- ヒューミディスタットをご使用の場合は、希望の湿度目盛に合わせます。
設定を変化させて給水用電磁弁が正しく加湿制御していることを確認してください。
- 加湿能力の低下防止のため、1年に1回シーズン前に加湿部を洗浄してください。
水かぬるま湯に中性洗剤を溶かし、柔らかなブラシで表面の汚れを取ってください。

■能力線図

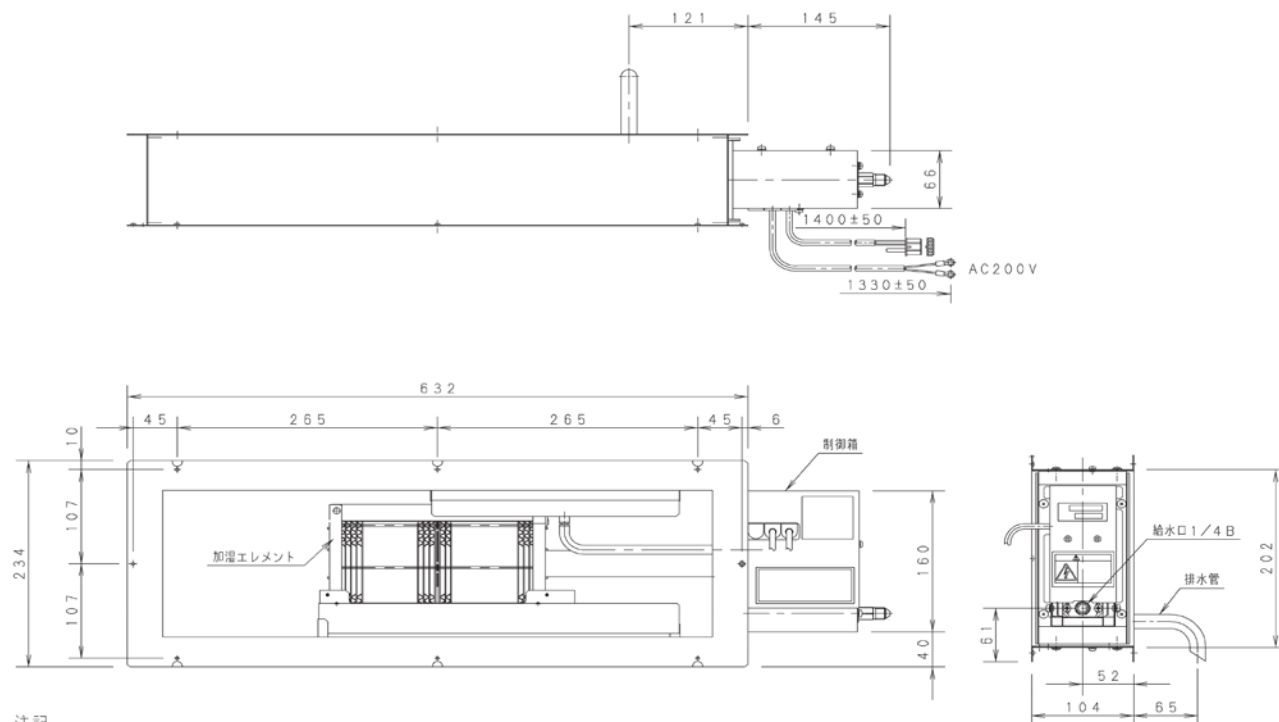


加湿器品番		CZ-07ASF2			CZ-10ASF2			CZ-20ASF2		
適用 室内機	ビルトイン カセット	マルチ 22, 28, 36, 45形	56形	—	71, 80形	90形	—	112形	140形	160形
		低 騒 音 —	50, 56形	—	63・71・80形	—	—	112形	140形	160形
適用 室内機	ビルトイン オールダクト	マルチ —	—	28, 36, 45, 56形	71, 80形	—	90形	112形	140形	160形
		低 騒 音 —	—	50, 56形	63・71・80形	—	—	112形	140形	160形
室内機風量 (定格)	m3/min	13	14	16	21	23	26	32	34	36
加湿性能	kg/h	0.70	0.75	0.85	1.00	1.02	1.05	2.00	2.02	2.04
適用線図No.	①			②			③			

(注記)

- ・加湿能力条件は、加湿器通過 湿温度がDB45℃、RH15%の場合の値を示します。
- ・室内ユニットがサーモオフした場合は、加湿器は停止します。

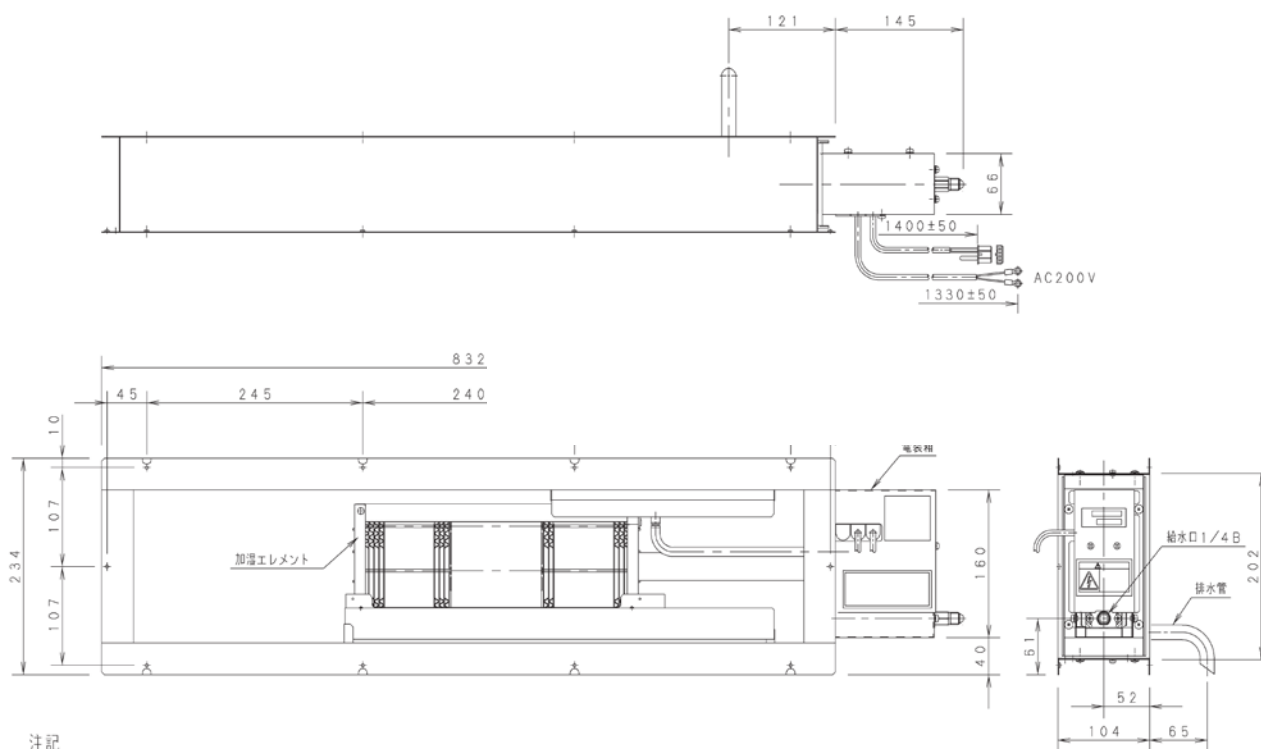
■外形寸法図



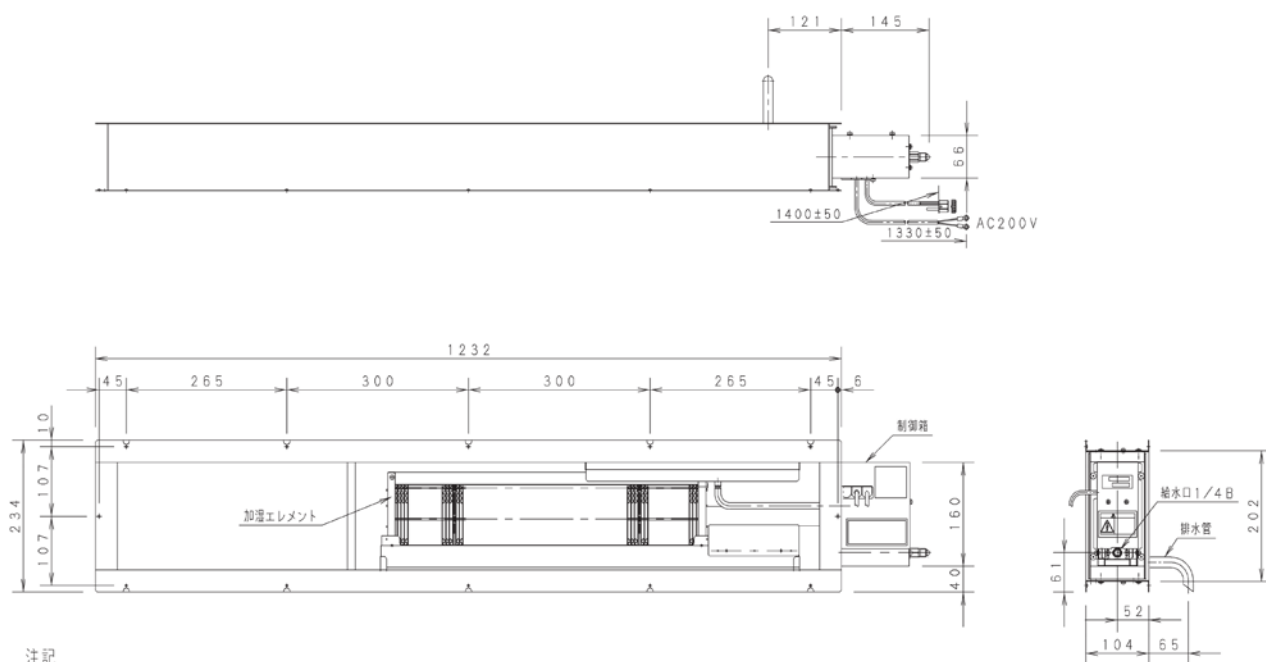
注記

- 1) ドレン排水をエアコン本体へ流し込むタイプです。
- 2) 加湿器の取付は必ずエアコン本体吊下げ前に行ってください。

品番	CZ-07ASF2
----	-----------



品名	CZ-10ASF2
----	-----------



品名	CZ-20ASF2
----	-----------

■取付説明

自然気化式加湿器 取付説明書

品番 CZ-07ASF2 CZ-10ASF2 CZ-20ASF2

取付説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。

特に『安全上のご注意』は、施工前に必ずお読みください。

取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、付属の保守点検説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、この取付説明書は保守点検説明書とともにお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容（禁止事項）です。



実行しなければならない内容（強制事項）です。

警告



- 取付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う（ユニットの落下や水漏れ、感電や火災の原因）
- 付属品は当社指定の部品を使用する（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れ、感電、火災等の原因）
- 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う（ユニットの落下による、けがの原因）
- 修理・改修は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する（水漏れや感電、火災の原因）

- 電気工事（アース工事を含む）は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」およびこの「取付説明書」に従って施工する（感電、火災のおそれ）
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する（感電、火災のおそれ）
- 配線をはさまないように、カバーは元どおり確実に取り付ける（感電、火災の原因）

注意



- 給水配管の断熱は、この「取付説明書」に従って確実に断熱する（正しく断熱されていないと、水漏れや凍結の原因）
- 給水には必ず水道水（上水）を使用する



- 凍結のおそれがある場所には取り付けない（破損、水漏れの原因）

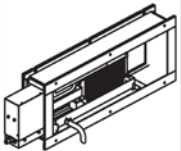
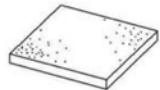
お願い

- 加湿器の取付工事は、必ず室内ユニットを据え付ける前に行ってください。加湿器組込み後の輸送はしないでください。
- 定期清掃や点検のため、加湿器取り付け側の天井面に 450□以上の点検口を必ず設置してください。
- ヒューミディスタット（現地手配）は、湿度低下で接点が ON となる方式のもので、接点容量 200VA 以上のものを準備してください。
- 保守管理のため加湿器毎に給水配管にサービスバルブ（現地手配）を設けてください。
- 加湿（暖房）シーズン後、給水用サービスバルブ（現地手配）を必ず閉めてください。
- 現地手配の給水配管には死水排水バルブおよびY形ストレーナー（現地手配）の取り付けをおすすめします。冷房シーズンなどで長期間加湿器を使用しない場合は、給水配管内の水が腐ってしまいます。その水が加湿（暖房）シーズン開始時に加湿器に給水されると異臭の発生や菌の繁殖の原因になります。加湿（暖房）シーズン開始時の運転前に、給水配管内を新しい水に置き換えてから使用してください。
- 給水配管は公共の水道管に直接接続することはできません。公共の水道管から給水しなければならない場合は、シスターン（型式認可品：現地手配）をご使用ください。
- 給水配管は水圧がかかりますのでフレア接続としてください。
- 給水圧力は 0.049 ~ 0.49MPa の範囲内でご使用ください。ただしポンプを使用して給水する場合は 0.049 ~ 0.29MPa の範囲内でご使用ください。この範囲を超える場合は、給水系統毎に減圧弁（現地手配）を設けてください。また給水配管にトラップがあるとエアだまりができて異音が発生することがありますので、トラップが無いように設置してください。
- 定期清掃や点検の際を除いては、室内ユニットの漏電しゃ断器は入れたままにしてください。万一、加湿器内部の給水用電磁弁にゴミ等がからみ閉じなくなった場合の漏水を防ぎます。
- 加湿（暖房）シーズン開始時の運転前に、加湿器本体の給水配管接続口に挿入してあるストレーナーの清掃を行ってください。

1. 仕様

品番	CZ-07ASF2	CZ-10ASF2	CZ-20ASF2
適合室内ユニット形番	22～56形	63～90形	112～160形
電源仕様	単相 200V±10% 50/60Hz		
給水圧力	0.049～0.49 Mpa		
給水圧力 (ポンプ使用時)	0.049～0.29 Mpa		
使用水および水温	上水 0～40℃		
周囲温湿度	5～40℃、90%RH 以下		

2. 付属品

品名	説明書	自然気化式加湿器	給水用配管	給水配管断熱材	閉端接続子	取付ネジ
形状	- 取付説明書 - 保守点検説明書 - 試運転説明書		断熱パイプ 継手付き  $\phi 6.35$ L=500		 ヒューミディ スタート用	(M4×L12) 07: 6本 10: 8本 20: 10本
数量	各 1	1	1	2	2	-

3. 取付けかた

※加湿器の組み込みは、必ず室内ユニットを吊り下げる前に行ってください。

1. 室内ユニットの吹出枠をはずす。(図 1)
2. 加湿器を付属の取付ネジ (M4×L12) で取り付ける。(図 2)
排水ホースの先が排水溝に入ること。(図 3)
3. 室内ユニットの吹出枠を加湿器に取り付ける。(図 4)

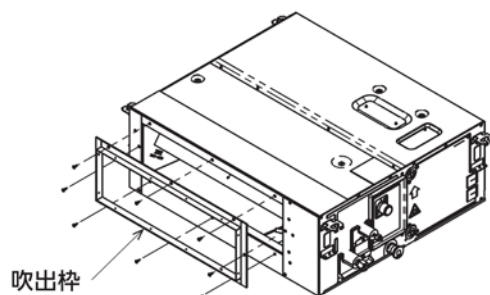


図 1

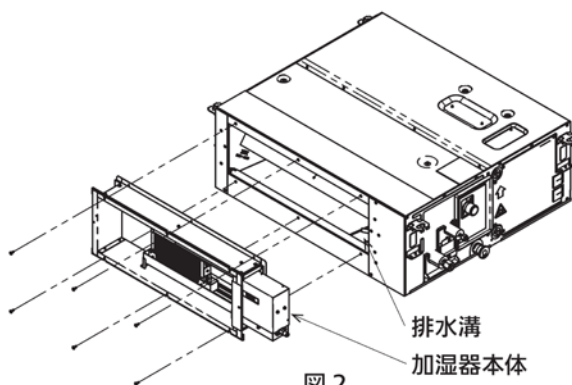


図 2

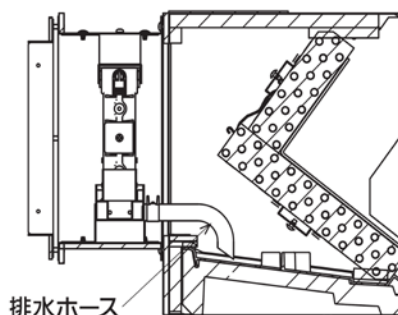


図 3

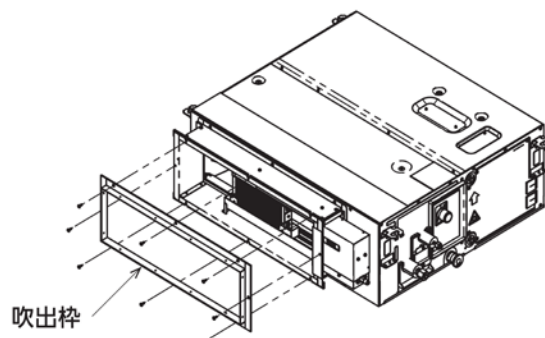


図 4

4. 電気配線

1. 室内ユニット電装ボックスのフタをはずして、加湿器の電源線・信号線を引き込んでください。
配線の引き回しは、図5～図7を参考にしてください。
2. 加湿器の電源線を端子板に接続します。
電源線は黒を端子板の【R】に、白を【S】に接続してください。
3. 信号線を室内コントロール基板のコネクタ【HU (CN066: 4P)】に接続してください。
4. ヒューミディスタットを使用する場合は、加湿器の電気回路図を参考に加湿器電装ボックス内にあるジャンパー線（青色）を切断し、付属品の閉端接続子で接続してください。（図8）

ビルトインオールダクト形

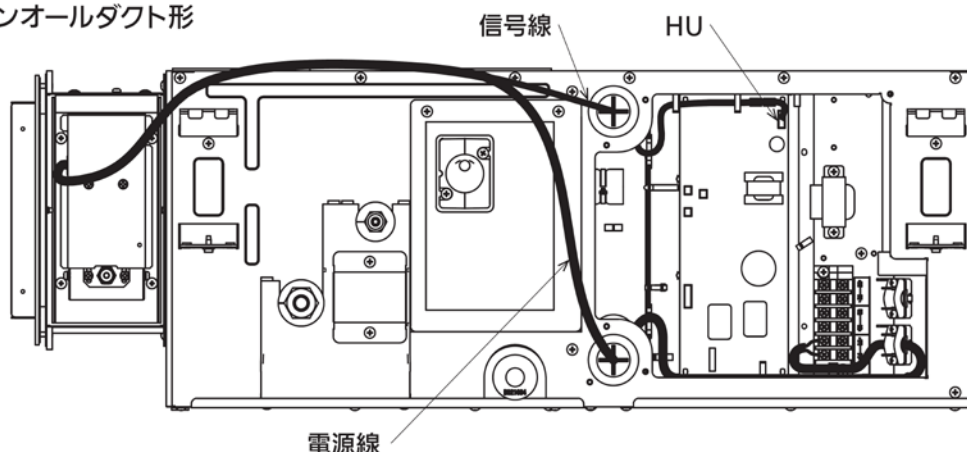


図5

天井ビルトインカセット形

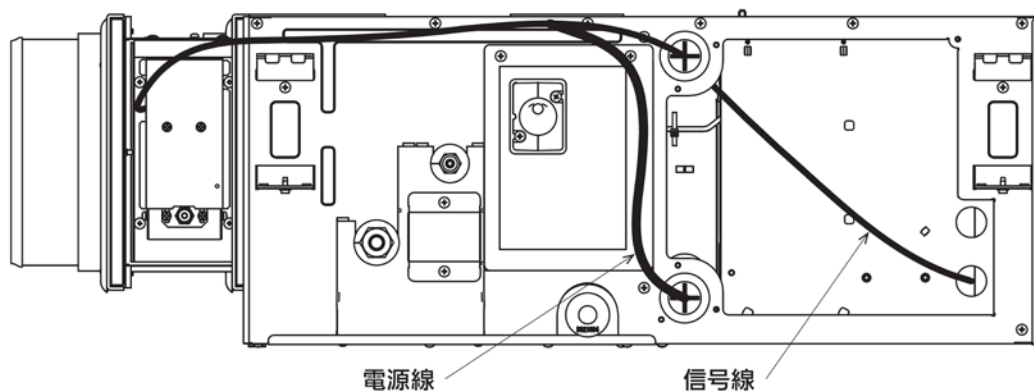


図6

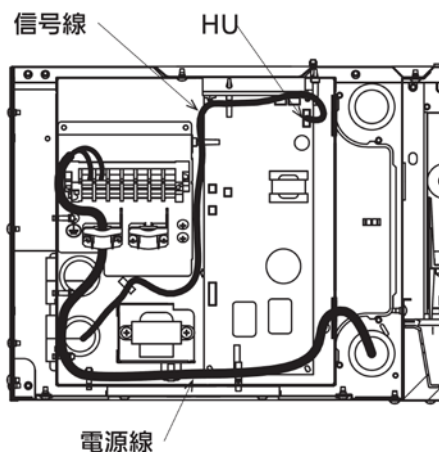


図7

加湿器コントロール基板電気回路図

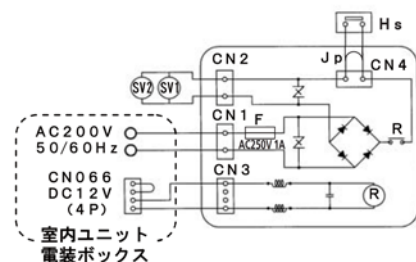


図 8

※ヒューミディスタット（現地手配）の接続部は、加湿器電装ボックス内に収納してください。

記号	名称	備考
Hs	ヒューミディスタット	現地手配
Jp	ジャンパー線	青色
SV1、2	給水用電磁弁	
F	ヒューズ	AC250V 1A
CN1～4	コネクタ	

5. 運転確認

- 室内ユニットの「据付工事説明書」に従って加湿器を組み込んだ室内ユニットを据え付けてください。
 - 現地手配の給水配管内に通水し、配管内の汚れを取り除いてください。
 - 加湿器本体の給水口に付属品の給水用配管を接続してください。（図 9）
※ダブルスパナにて、締付トルクは 20N・m 程度
※加湿器本体の給水口に挿入されているワッシャーおよびストレーナーを取り付けた状態で配管を接続してください。
取り付けずに接続すると、以後ストレーナーが取り付けなくなったり、水漏れの原因になります。
 - 図 9 を参考に現地手配の給水配管等を接続してください。
- 以下の項目は運転確認後、問題が無いことを確認した上で行なってください。
- 給水接続部の水漏れ確認を行ってください。
 - 水漏れが無ければ、給水用配管の接続部に付属品の給水配管断熱材を巻きつけてクランパー等（現地手配）で固定してください。（図 9）
 - 現地手配の給水配管にも、断熱処理を行ってください。配管の凍結は漏水事故の原因となります。十分に保温工事をしてください。この断熱材は現地手配になります。

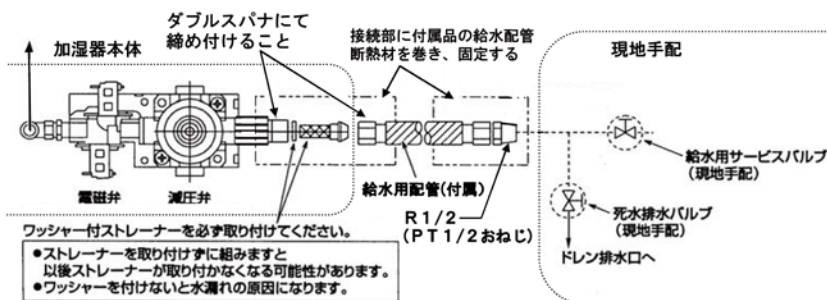


図 9

6. 運転確認

- 漏電しゃ断器を入れ、加湿器の給水用サービスバルブを開いて通水してください。
- リモコンの運転 / 停止ボタンを押し空調機を運転させた後、運転切換ボタンで暖房運転にします。
※暖房運転できないとき、あるいは暖房サーモオンになりにくいときは、付属の試運転説明書を参照してください。
- 加湿器に内蔵されている給水用電磁弁が作動し、正常に加湿制御していることを確認してください。
- 正常な運転を確認したら、運転 / 停止ボタンを押し運転を停止してください。
※ヒューミディスタット（現地手配）をご使用の場合は、ご希望の湿度目盛りに合わせてご使用ください。このときの動作確認は、設定を変化させて給水用電磁弁が正しく動作していることを確認してください。
※漏電しゃ断器は入れたままにしてください。
※試運転時、加湿器から「ビーン」という異音が発生した場合に、給水用サービスバルブを閉めると音が消えるようであれば、給水系（減圧弁等）へのエアのかみ込みが考えられます。この場合、一旦給水配管の接続をはずしてエア抜きおよび加湿器給水口のストレーナーの清掃を実施してください。ポンプを使用して給水する場合は、ポンプによるエアのかみ込みが考えられます。給水圧力を調整できる場合は、給水圧を下げてください。

自然気化式加湿器 保守点検説明書

品番 CZ-07ASF2 CZ-10ASF2 CZ-20ASF2

ご使用前に、この保守点検説明書と室内ユニットに付属の「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
特に『安全上のご注意』は必ずお読みください。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

**警告**

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

**注意**

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容（禁止事項）です。



実行しなければならない内容（強制事項）です。

警告

■ 修理・改修は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する
(水漏れや感電、火災の原因)

■ 移動再設置は、販売店に相談する
(ユニットの落下や水漏れ、感電や火災の原因)

注意

■ 給水には必ず水道水（上水）を使用する

お願い

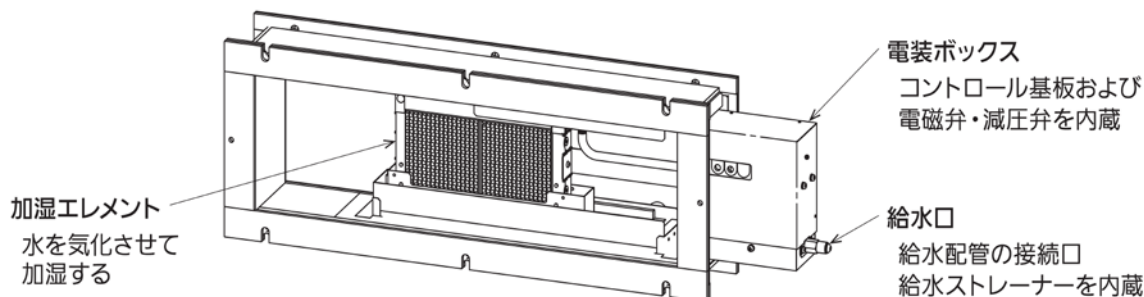
- 定期清掃や保守点検は、お客様自身で行わず、必ずお買い上げの販売店または専門業者に依頼してください。
- 加湿（暖房）シーズン終了後、給水用サービスバルブを必ず閉めてください。
- 冷房シーズンなどで長期間加湿器を使用しない場合は、加湿（暖房）シーズン開始時の運転前に、給水管内を新しい水に置き換えてから使用してください。そのまま給水されますと汚れや異物による能力不足、加湿エレメントから異臭の発生や菌の繁殖の原因になります。
- 定期清掃や点検の際を除いては、室内ユニットの漏電しゃ断器は入れたままにしてください。万一、加湿器内部の給水用電磁弁にゴミ等がからみ閉じなくなった場合の漏水を防ぎます。

1. 仕様

品番	CZ-07ASF2	CZ-10ASF2	CZ-20ASF2
適合室内ユニット形番	22～56形	63～90形	112～160形
加湿能力 (kg/h)	0.7 ±20%	1.0 ±20%	2.0 ±20%
外形寸法図 H×W×L (mm)	234×183×775	234×183×975	234×183×1375
質量 水（有）(kg)	3.9	4.6	6.1
質量 水（無）(kg)	3.7	4.3	5.7
電源仕様	単相 200V±10% 50/60Hz		
給水圧力	0.049～0.49 Mpa		
給水圧力（ポンプ使用時）	0.049～0.29 Mpa		
使用水および水温	上水 10～40℃		
周囲温湿度	5～40℃、90%RH 以下		

加湿能力は、室内ユニットに組み込んだ状態で加湿器入口空気温度 DB45℃・相対湿度 15% で CZ-07ASF2 を 13m³/min. CZ-10ASF2 を 21m³/min. CZ-20ASF2 を 32m³/min の風量で動作させたときの値を示します。

2. 各部のなまえ



3. ご使用上の注意

- シーズンオフなど長期間加湿（暖房）運転をしない場合は、給水用のサービスバルブを閉めてください。
- 冷房シーズンなどで長期間加湿器を使用しない場合は、加湿（暖房）シーズン開始時の運転前に、給水配管内を新しい水に置き換えて給水確認を行ってから使用してください。そのまま給水されますと汚れや異物による能力不足、加湿エレメントから異臭の発生や菌の繁殖の原因になります。
- シーズンオフ中に加湿エレメントに付着した汚れを取るため、加湿（暖房）シーズン開始時の運転前に必ず保守点検を行ってください。
- エアコン（室内ユニット）のエアフィルターが汚れていると、加湿能力や加湿器の寿命に悪影響を与える原因になります。エアフィルターは定期的に点検を行い、汚れている場合は清掃してください。
- 加湿（暖房）シーズン開始時の運転前には、給水用のサービスバルブを開けて使用してください。

4. 運転のしかた

加湿器はエアコン（室内ユニット）に接続されており、エアコンを暖房運転したときに自動で加湿運転をします。エアコンの運転操作方法については室内ユニットに付属の「取扱説明書」に従ってください。

5. 保守点検

長く安心してご使用していただくために、サービス技術者による定期的な保守点検を行ってください。

1. 点検周期

- 保全周期（交換周期）は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。
 - 点検周期は1年が目安です。
 - 加湿エレメントの交換周期は3年です。
 - 保守点検実施の場合でも、予期せぬ故障が発生することがあります。この場合、保証期間外での故障修理は有償扱いとなります。
 - 冷房シーズンなどで長期間加湿器を使用しない場合は、加湿（暖房）シーズン開始時の運転前に、給水配管内を新しい水に置き換えて給水確認を行ってから使用してください。そのまま給水されますと汚れや異物による能力不足、加湿エレメントから異臭の発生や菌の繁殖の原因になります。
- ※室内ユニットに付属の「取扱説明書」に記載されている『保証とアフターサービスについて』もあわせてご覧ください。

2. 作業前の準備

- 作業は安全に留意して行ってください。特に板金のエッジ部分や熱交換器の温度等には十分に注意してください。付属の取付説明書もあわせてご覧ください。
- 作業にかかる前に必ず漏電しゃ断器を切り、給水用のサービスバルブを閉めてください。

5. 保守点検 (つづき)

3. 作業手順

1) 加湿エレメントの洗浄 (1回 / 年 : シーズン開始時)

- ① 給水配管を取りはずしてください。(図 1)
※給水配管内の残水が出てくる場合がありますので、バケツやウエスなどを準備してください。
- ② 加湿器本体を固定しているネジ (M4×6) 4 本をはずし、電気配線を引っ張らないように加湿器の電装部と加湿エレメントを枠から引き出してください。(図 2)
※給水配管内の残水が出てくる場合がありますので、バケツやウエスなどを準備してください。
※給水ストレーナー、ワッシャーを紛失しないようご注意ください。(図 1)
- ③ ジョイントをはずして加湿エレメントを取りはずしてください。(図 3)
- ④ 加湿エレメントが十分に入る大きさの容器を用意し、容器に水またはぬるま湯を入れたうえで市販の中性洗剤を溶かしてください。
- ⑤ 洗浄液に加湿エレメントを浸し、柔らかいブラシ等で加湿部表面の汚れを取ってください。(図 4)
- ⑥ 十分に水洗いをした後、水気を落とした上で、取りはずしと逆の手順で加湿エレメントを組み付け、加湿器を室内ユニットに取り付けてください。
※下記の 2) の給水ストレーナーの清掃もあわせて行ってください。
※水漏れが無いことを必ず確認した上で、断熱材を取り付けてください。

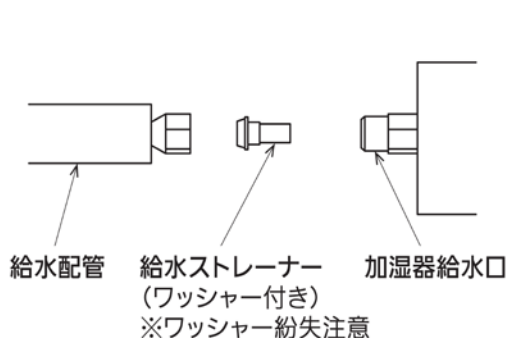


図 1

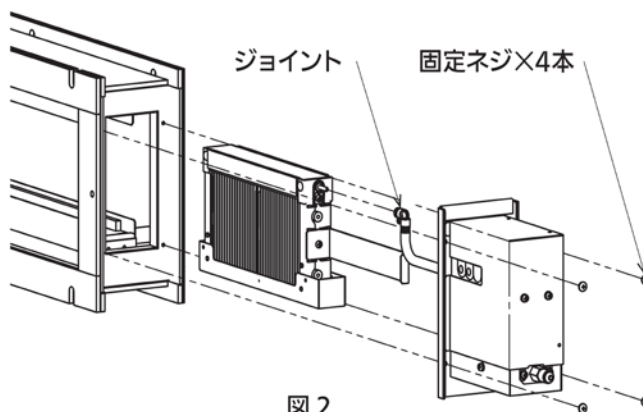


図 2

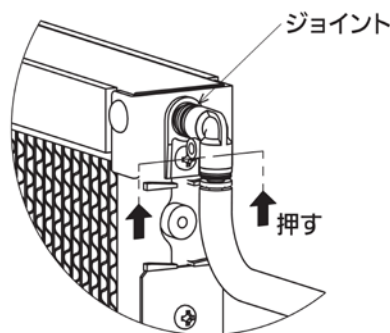


図 3

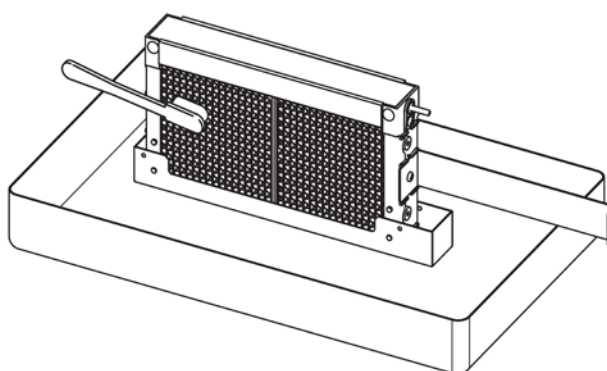


図 4

2) 給水ストレーナーの清掃 (1回 / 年 : シーズン開始時)

- ① 給水配管を取りはずしてください。(図 1)
- ② 給水口に挿入されている給水ストレーナーを取りはずし、内側のゴミを洗い落としてください。
※給水配管内の残水が出てくる場合がありますので、バケツやウエスなどを準備してください。
※給水ストレーナーを抜き取る時、ワッシャーを紛失しないようご注意ください。(図 1)
- ③ 元どおりに取り付けてください。
※上記の 1) 加湿エレメントの洗浄もあわせて行ってください。
※水漏れが無いか確認をした後、断熱材を取り付けてください。

(7) 天井埋込形

フィルター関連

●高性能フィルター（JIS比色法90%）[適用機種：71～140形]

■仕様＜SPW-HFU125R＞

名 称		高性能フィルター（JIS比色法90%）		
品 番		SPW-HFU125R		
適 用 機 種		天井埋込形		
		71形	90・112形	140形
初 期 風 量 (m ³ /min)		23	30	36
最 終 風 量 (m ³ /min)		(18)	(23)	(29)
初 期 圧 損 [Pa]		24.5	34.3	44.1
最 終 圧 損 [Pa]		78.4	78.4	98
保塵量 (g/ユニット) ダストJIS15種		280	270	324
フィルター寿命 (時間)		3500	2500	2500
平均効率 ダストJIS11種		JIS比色法90%		
使 用 濾 材		ポリオレフィン系 帯電繊維		
フィルター外形寸法 (mm)	幅	495×2		
	高さ	380		
	厚み	150		
フィルターチャンバー	品番	SPW-MFU125RR		
	質量 (kg)	12		

●高性能フィルター（JIS比色法65%）[適用機種：71～140形]

■仕様＜SPW-MFU125R＞

名 称		高性能フィルター（JIS比色法65%）		
品 番		SPW-MFU125R		
適 用 機 種		天井埋込形		
		71形	90・112形	140形
初 期 風 量 (m ³ /min)		23	30	36
最 終 風 量 (m ³ /min)		(18)	(23)	(29)
初 期 圧 損 [Pa]		18.6	26.5	34.3
最 終 圧 損 [Pa]		58.8	58.8	88.2
保塵量 (g/ユニット) ダストJIS15種		280	270	324
フィルター寿命 (時間)		3500	2500	2500
平均効率 ダストJIS11種		JIS比色法65%		
使 用 濾 材		ポリオレフィン系 帯電繊維		
フィルター外形寸法 (mm)	幅	495×2		
	高さ	380		
	厚み	85		
フィルターチャンバー	品番	SPW-MFU125RR		
	質量 (kg)	12		

●ロングライフフィルター [適用機種：71～140形]

■仕様＜SPW-LFU125R1＞

名 称	ロングライフフィルター		
品 番	SPW-LFU125R1		
適 用 機 種	天井埋込形		
	71形	90・112形	140形
初 期 風 量 (m ³ /min)	23	30	36
最 終 風 量 (m ³ /min)	—	—	—
初 期 圧 損 [Pa]	4.9	7.8	9.8
最 終 圧 損 [Pa]	29.4	39.2	49.0
フィルター寿命 (時間)	2500		
平均効率 ダストJIS15種	JIS重量法60%		
使 用 濾 材	ポリエステルSPB		
フィルター外形寸法 (mm)	幅	495×2	
	高さ	380	
	厚み	50	
フィルタチャンバー	品番	SPW-MFU125RR	
	質量 (kg)	12	

- 高性能フィルター JIS比色法65% <AFT-MU280U> [適用機種: 224、280形]
JIS比色法90% <AFT-HU280U>

■仕様

名 称		高性能フィルター (J I S比色法65%)		高性能フィルター (J I S比色法90%)	
品 番		A F T - M U 2 8 0 U		A F T - H U 2 8 0 U	
適 用 機 種		天井埋込形			
		2 2 4 形	2 8 0 形	2 2 4 形	2 8 0 形
初 期 風 量 (m ³ / m i n)		5 6	7 0 / 7 4	5 6	7 0 / 7 4
最 終 風 量 (m ³ / m i n)		5 2	6 8	(4 2)	(6 0)
初 期 圧 損 [P a]		2 7	5 1 / 5 9	3 6	6 1 / 6 5
最 終 圧 損 [P a]		5 4	1 0 6 / 1 1 8	9 8	1 8 2 / 1 9 4
保 塵 量 (g / ユ ニ ッ ト)		5 8 5	7 1 1 / 6 8 4	5 8 5	6 2 9 / 6 5 6
フィルター寿命 (時間)		2 5 0 0	2 5 0 0	2 5 0 0	2 5 0 0
平 均 効 率		J I S比色法65% (J I S 1 1 種)		J I S比色法90% (J I S 1 1 種)	
使 用 濾 材		ポリオレフィン系 帯電繊維			
質 量 (k g)		3 . 2 × 2			
フィルター外形寸法 (mm)	幅	6 0 0 × 2			
	高さ	4 2 0			
	厚み	1 5 0			
フィルターチャンバ ー	品番	C M B - F U 2 8 0 U			
	寸法 (mm)	(H) 4 7 0 × (W) 1 2 4 7 × (D) 5 2 1			
	質量 (kg)	2 6			

ご注意: フィルター寿命は、塵埃濃度 0.15mg/m³ (ビル管理法規制値) で算出した値を示します。(ダスト JIS15 種)
またフィルターの寿命は、現場条件により異なりますのでご注意ください。

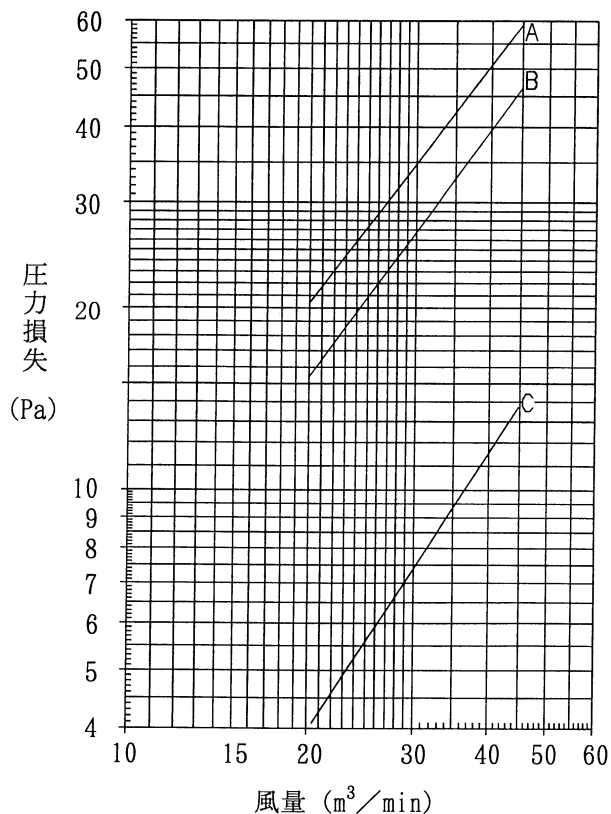
- ロングライフフィルター<AFT-LU280U> [適用機種: 224、280形]

■仕様

名 称	ロングライフフィルター	
品 番	AFT-LU280U	
適 用 機 種	天井埋込形	
	224形	280形
初期風量 (m ³ /min)	56	70/74
最終風量 (m ³ /min)	—	—
初期圧損 [Pa]	13	21/24
最終圧損 [Pa]	79	79
保塵量 (g/ユニット)	690	477/510
フィルター寿命 (時間)	2500	2500
平均効率	JIS重量法60% (JIS15種)	
使用濾材	ポリエステルSPG	
質 量 (kg)	1.6×2	
フィルター外形寸法 (mm)	幅	600×2
	高さ	420
	厚み	50
フィルターチャンバー	品番	CMB-FU280U
	寸法 (mm)	(H) 470×(W) 1247×(D) 521
	質量 (kg)	26

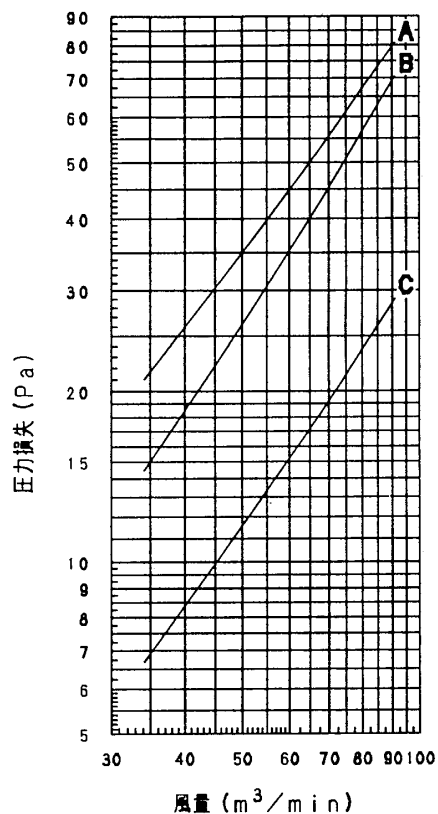
ご注意: フィルター寿命は、塵埃濃度 0.15mg/m³ (ビル管理法規制値) で算出した値を示します。(ダスト JIS15 種)
またフィルターの寿命は、現場条件により異なりますのでご注意ください。

■高性能・ロングライフフィルターの圧力損失特性



A : SPW-HFU125R
(高性能フィルター・JIS比色法90%)
B : SPW-MFU125R
(高性能フィルター・JIS比色法65%)
C : SPW-LFU125R1
(ロングライフフィルター)

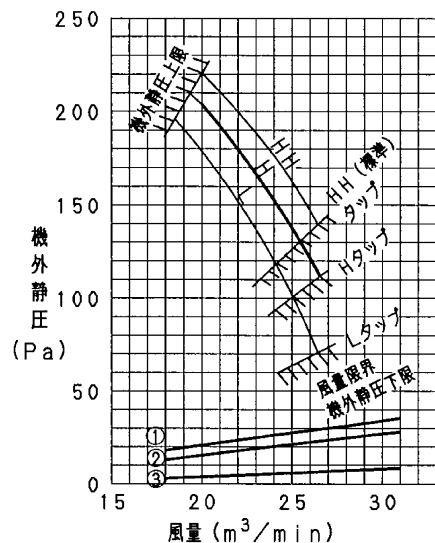
■高性能・ロングライフフィルターの圧力損失特性



A : AFT-HU280U
(高性能フィルター・JIS比色法90%)
B : AFT-MU280U
(高性能フィルター・JIS比色法65%)
C : AFT-LU280U
(ロングライフフィルター)

■風量～圧力損失特性線図〔高性能・ロングライフフィルター〕

●71形

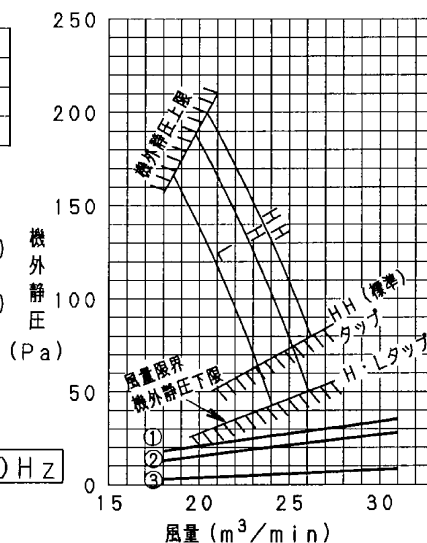


風速切換リモコン表示	急	強	弱	備 考
HHタップ (標準)	HH	H	L	—
Hタップ	H	H	L	別売コネクタ必要
Lタップ	L	L	L	別売コネクタ必要

フィルターの初期圧力損失

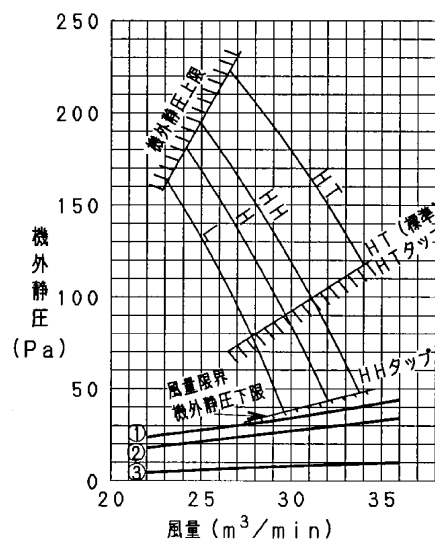
- ① SPW-HFU125R (高性能フィルター/JIS比色法90%)
- ② SPW-MFU125R (高性能フィルター/JIS比色法65%)
- ③ SPW-LFU125R1 (ロングライフフィルター)

50Hz



60Hz

●90・112形

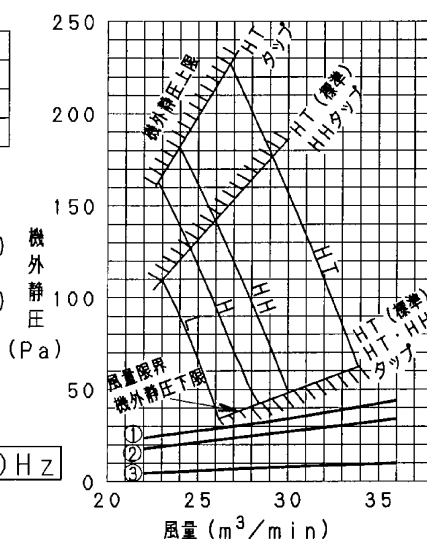


風速切換リモコン表示	急	強	弱	備 考
HTタップ (標準)	HT	H	L	—
Hタップ	HT	HH	H	別売コネクタ必要
HHタップ	HH	H	L	別売コネクタ必要

フィルターの初期圧力損失

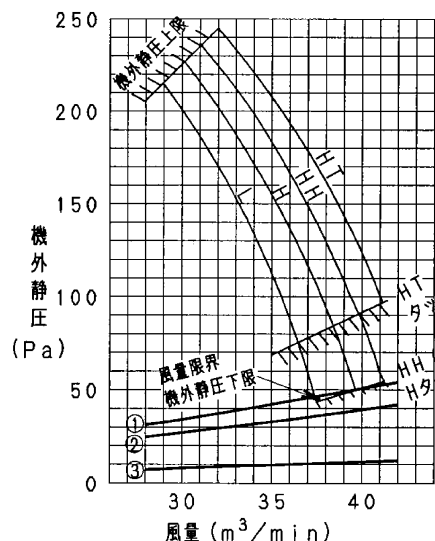
- ① SPW-HFU125R (高性能フィルター/JIS比色法90%)
- ② SPW-MFU125R (高性能フィルター/JIS比色法65%)
- ③ SPW-LFU125R1 (ロングライフフィルター)

50Hz



60Hz

●140形

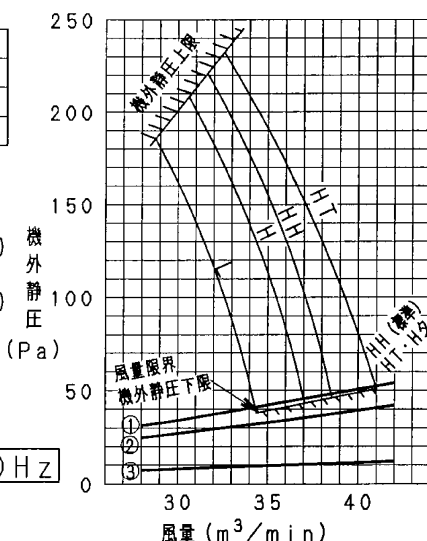


風速切換リモコン表示	急	強	弱	備 考
HHタップ (標準)	HT	H	L	別売コネクタ必要
Hタップ	HH	H	L	—
Lタップ	H	H	L	別売コネクタ必要

フィルターの初期圧力損失

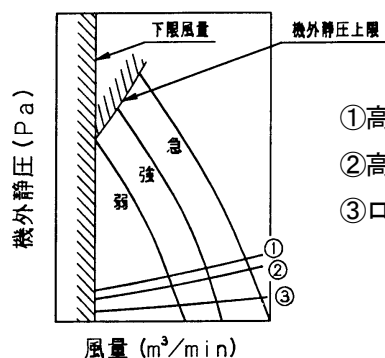
- ① SPW-HFU125R (高性能フィルター/JIS比色法90%)
- ② SPW-MFU125R (高性能フィルター/JIS比色法65%)
- ③ SPW-LFU125R1 (ロングライフフィルター)

50Hz



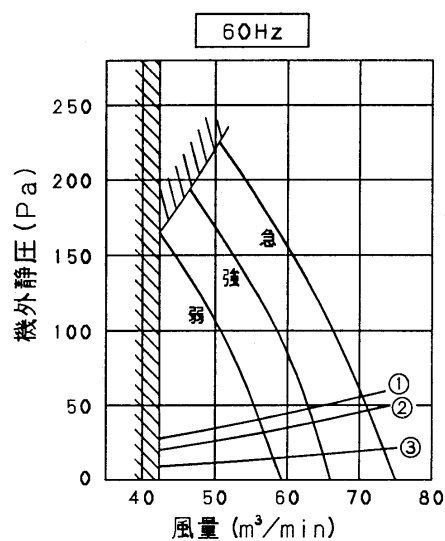
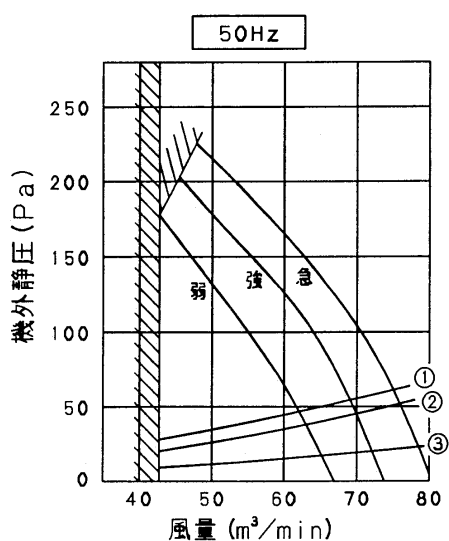
60Hz

■ 風量～圧力損失特性線図〔高性能・ロングライフフィルター〕

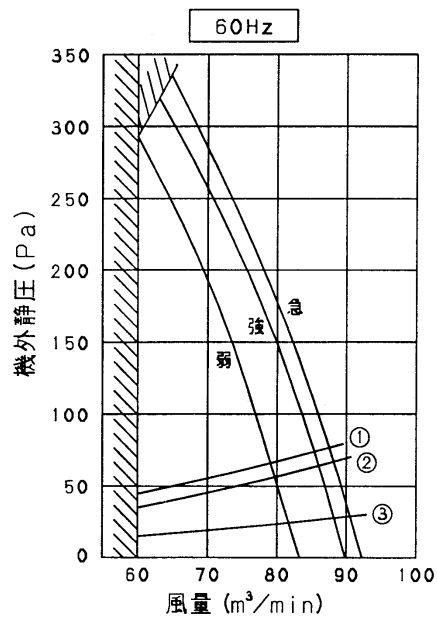
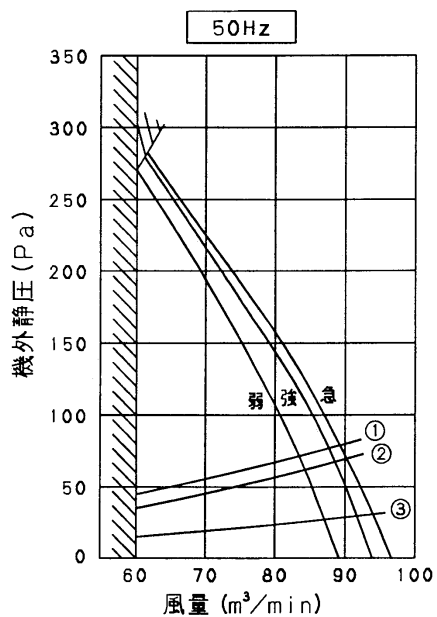


- ①高性能フィルター (JIS比色法90%) 初期圧力損失
- ②高性能フィルター (JIS比色法65%) 初期圧力損失
- ③ロングライフフィルター 初期圧力損失

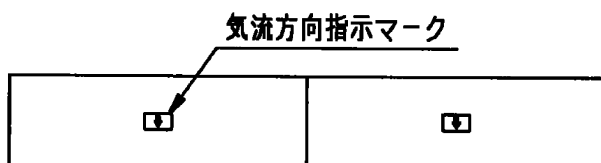
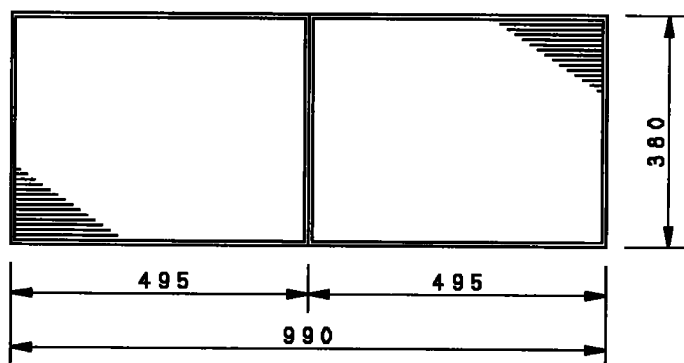
● 224形



● 280形

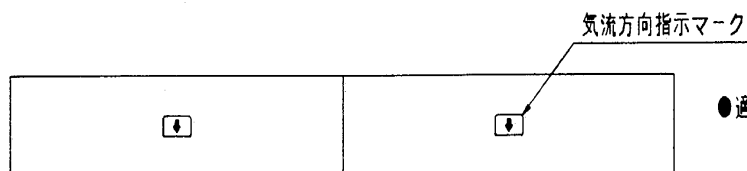
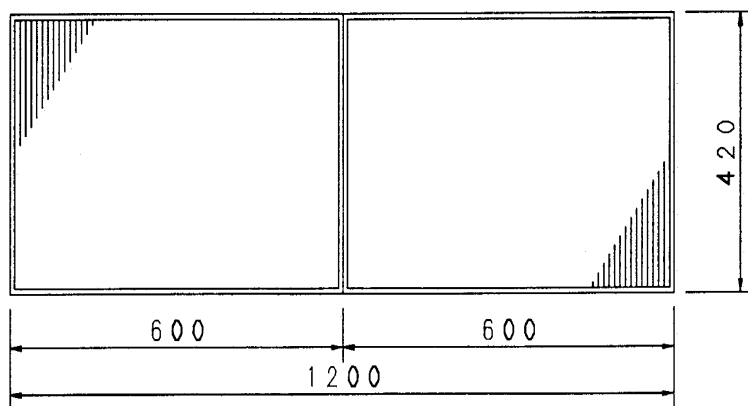


■外形寸法図



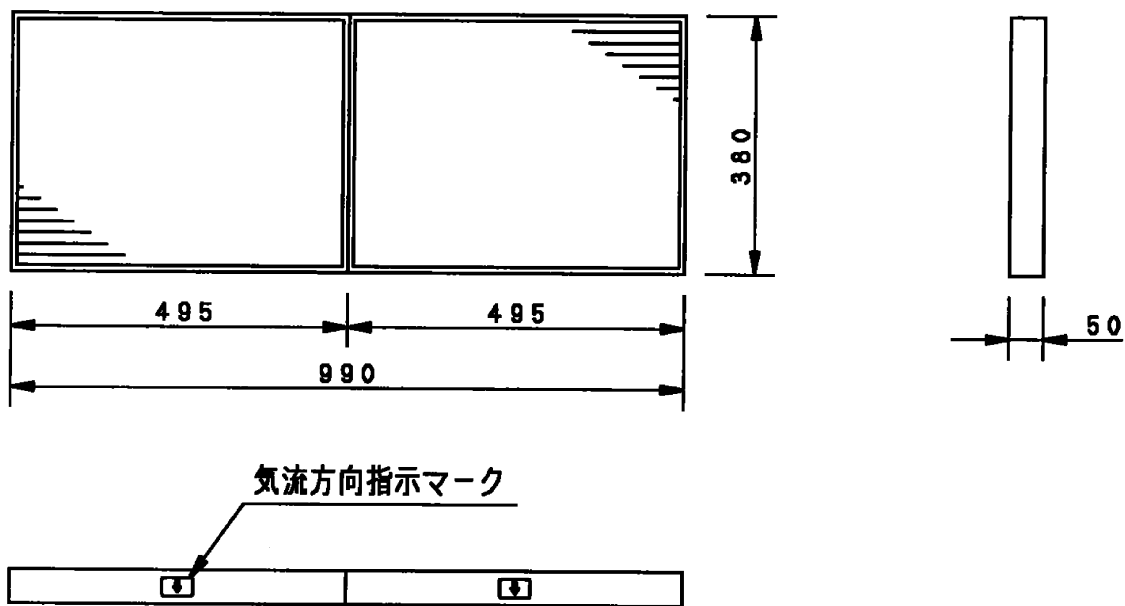
適 用	A寸法 (mm)
SPW-HFU125R	150
SPW-MFU125R	85

品番	SPW-MFU125R(65%) SPW-HFU125R(90%)	高性能フィルター 外形寸法図
----	--------------------------------------	-------------------

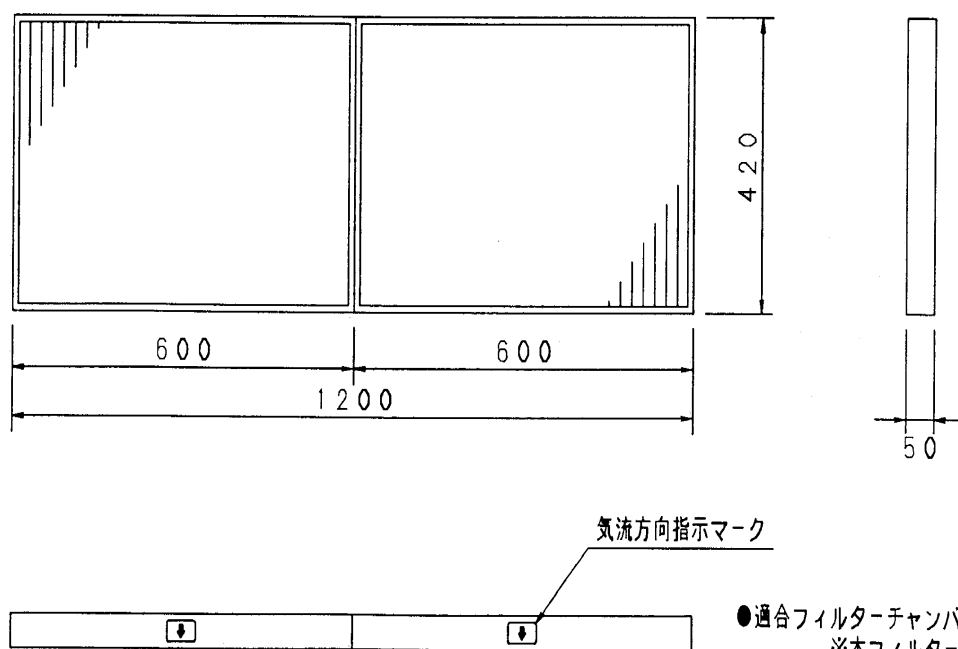


●適合フィルターチャンバー：CMB-FU280U
※本フィルターは2枚1組で使用します。

品番	AFT-MU280U (65%) AFT-HU280U (90%)	高性能フィルター 外形寸法図
----	--------------------------------------	-------------------



品番	SPW-LFU125R1	ロングライフフィルター 外形寸法図
----	--------------	----------------------

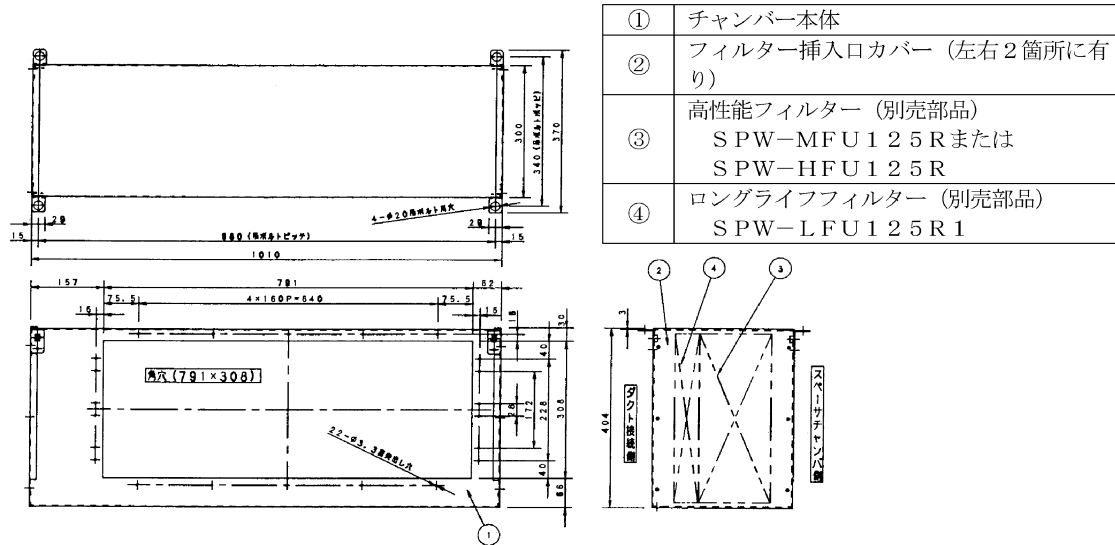


●適合フィルターチャンバー：CMB-FU280U
※本フィルターは2枚1組で使用します。

品番	AFT-LU280U	ロングライフフィルター 外形寸法図
----	------------	----------------------

フィルターチャンバー (SPW-MFU125RR) 71~140形
(CMB-FU280U) 224・280形

■外形寸法図



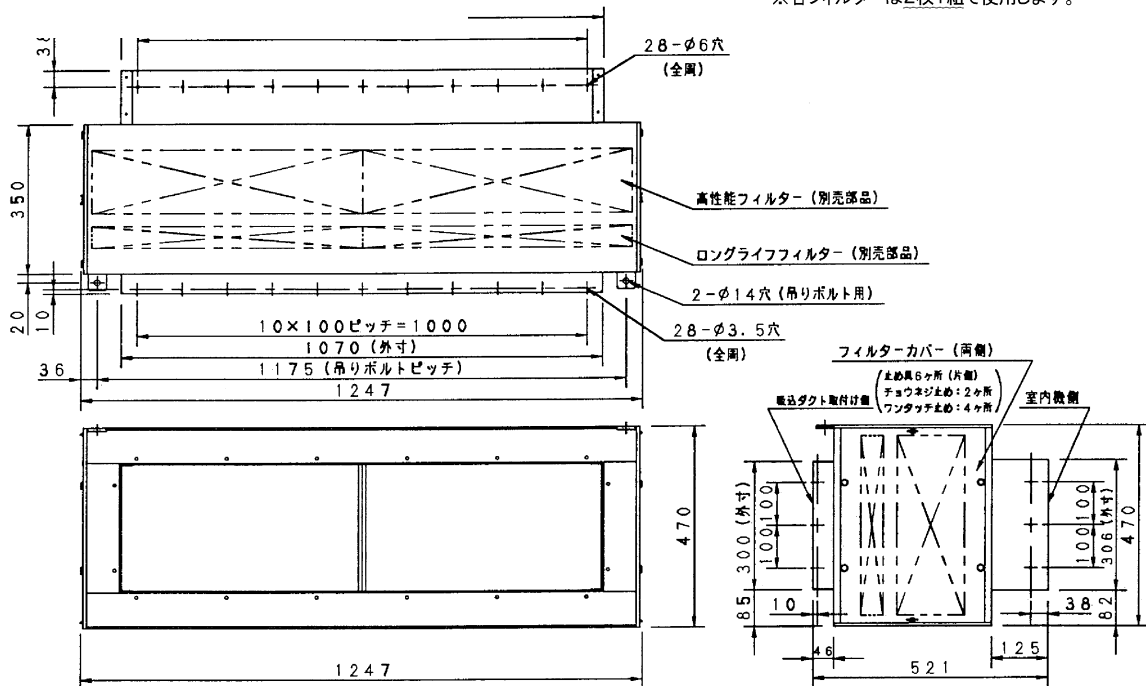
注記: ダクト接続のフランジは、空調機本体の吸込側フランジをはずし、
フィルターチャンバーに取付けます。

品番	SPW-MFU125RR	フィルターチャンバー 外形寸法図
----	--------------	---------------------

【適合フィルター(別売部品)】

高性能フィルター (どちらかを使用) JIS 比色法 65% AFT-MU280U	ロングライフ フィルター JIS 比色法 90% AFT-HU280U AFT-LU280U
---	--

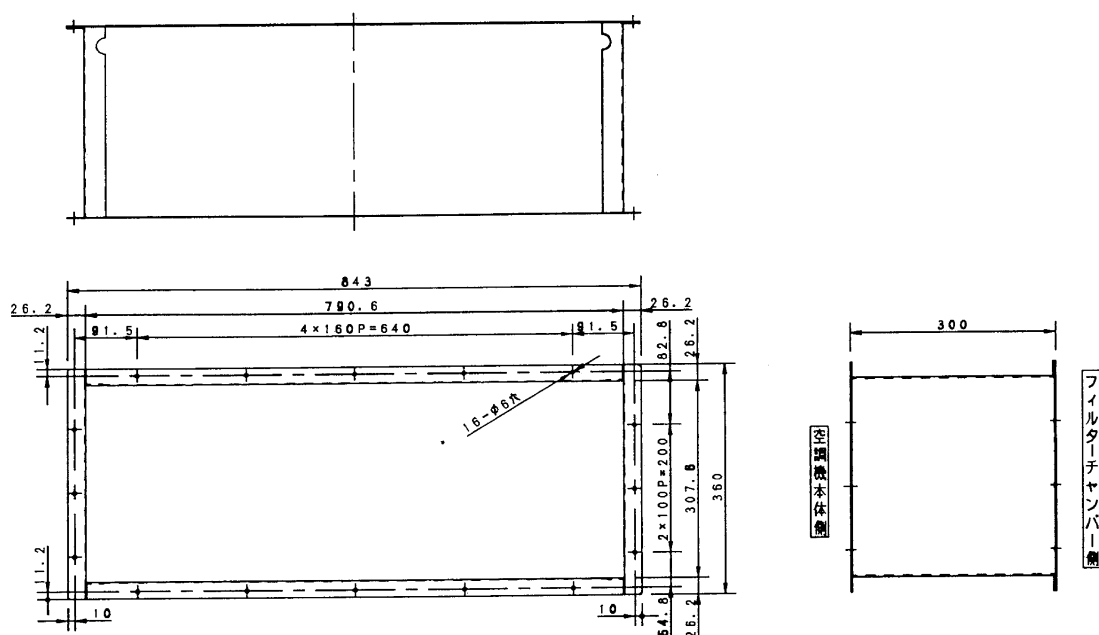
※各フィルターは2枚1組で使用します。



品番	CMB-FU280U	フィルターチャンバー 外形寸法図
----	------------	---------------------

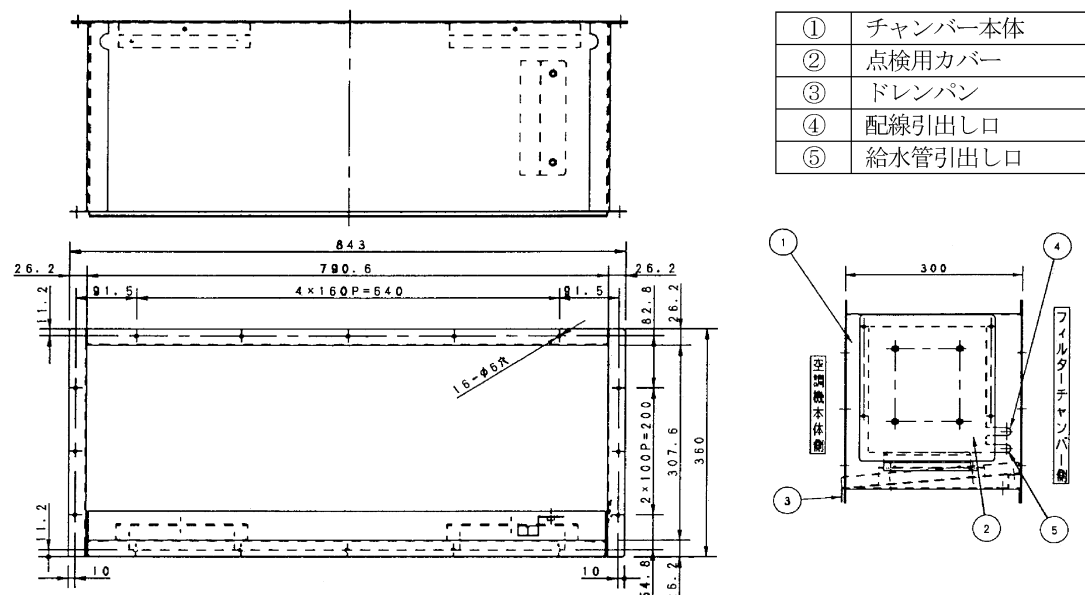
スぺーサーチャンバー (CZ-03SPE3) 71~140形

■外形寸法図



加湿器チャンバー (RH-UU125SR) 71~140形

■外形寸法図

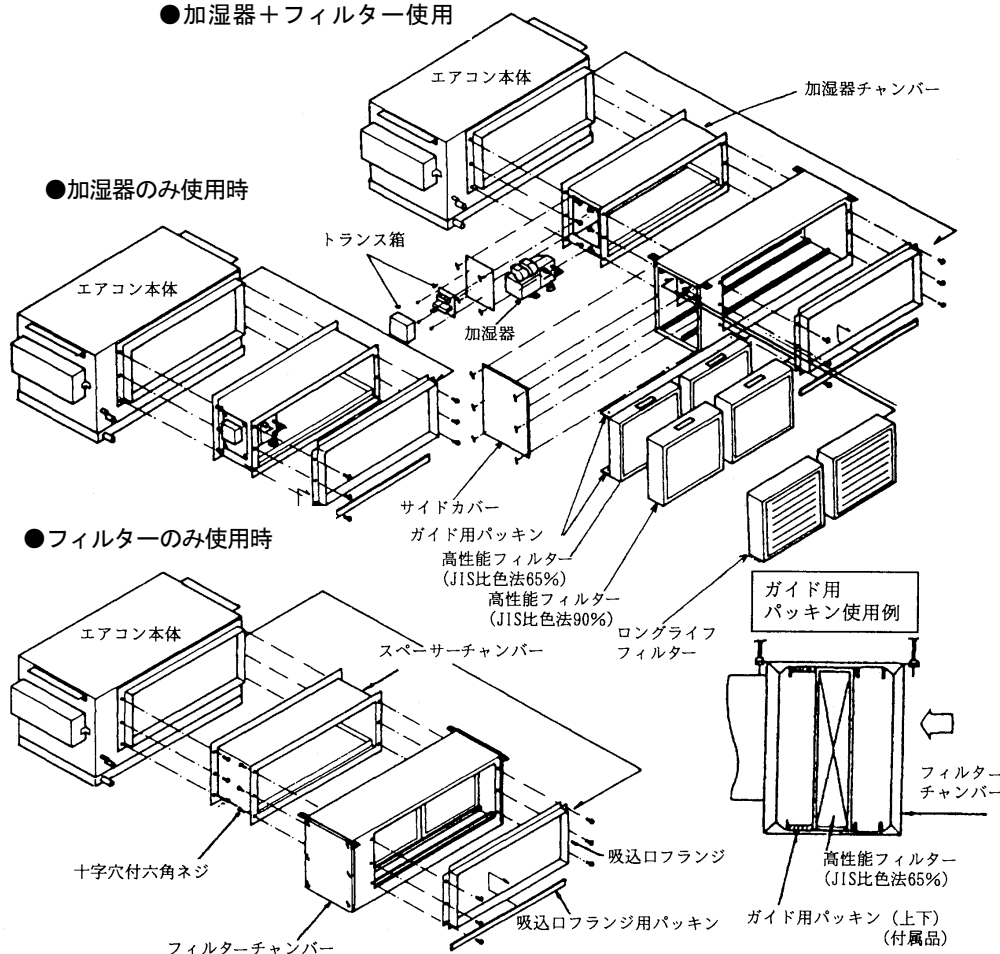


別売部品

5. 室内ユニット関連部品の仕様と据付 (天井埋込形)

■施工法

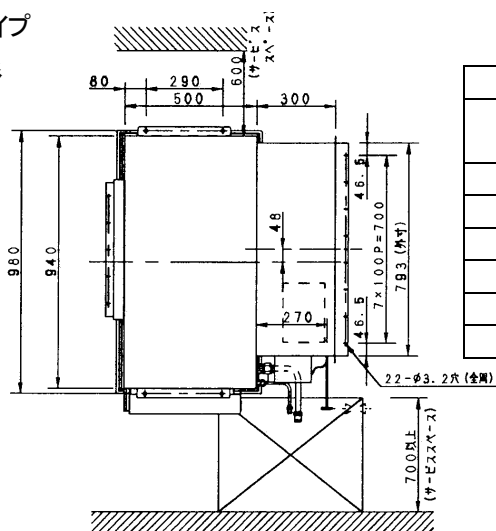
●加湿器＋フィルター使用



■部品取付図（超音波加湿器・加湿器チャンバー）

天井埋込形高静圧タイプ

71·90·112·140形



①	天井埋込形本体
②	加湿器チャンバー(フィルターチャンバー・接続ダクト兼用) RH-UU125SR
③	超音波加湿器本体(注記2参照)
④	超音波加湿器トランス箱(注記2参照)
⑤	加湿器給水配管接続口
⑥	給水ストレーナー1/28(現地手配)
⑦	給水サービス弁(現地手配)
⑧	ダクト接続用フランジ(空調機本体部品を付替え使用)

注記

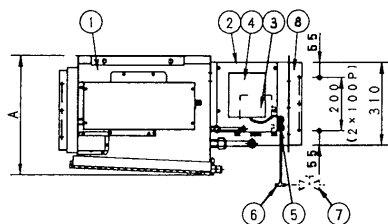
1. エアコンの周囲には、点検・保守が容易にできるようにサービススペースを確保し、必ず点検口を設けてください。
2. 加湿器は、ウェットマスター社の下記製品を1つ選択し、現地手配してください。

WM-ENS1200(霧化量:1.2kg/h)

WM-ENS2400(霧化量:2.4kg/h)

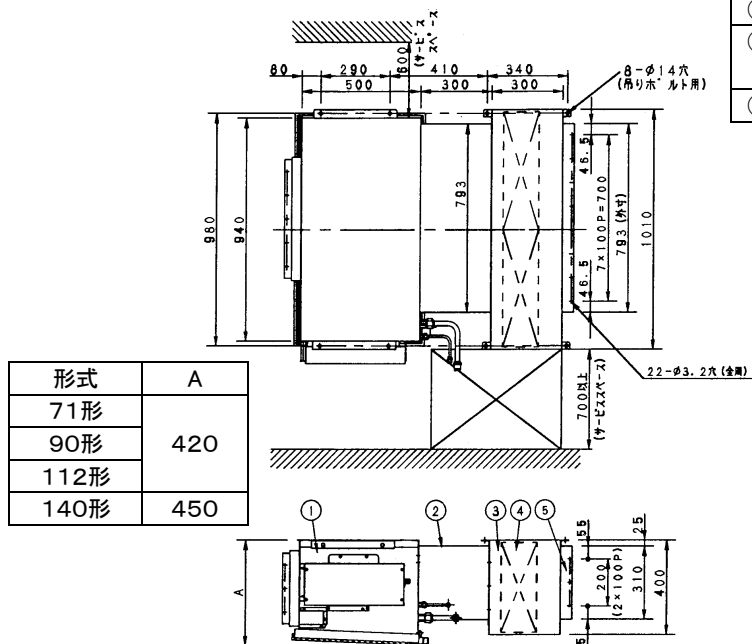
WM-ENS3600(霧化量:3.6kg/h)

形式	A
71形	420
90形	
112形	
140形	450



■部品取付図 (高性能フィルター・フィルターチャンバー・スぺンサーチャンバー)

天井埋込形
71・90・112・140形



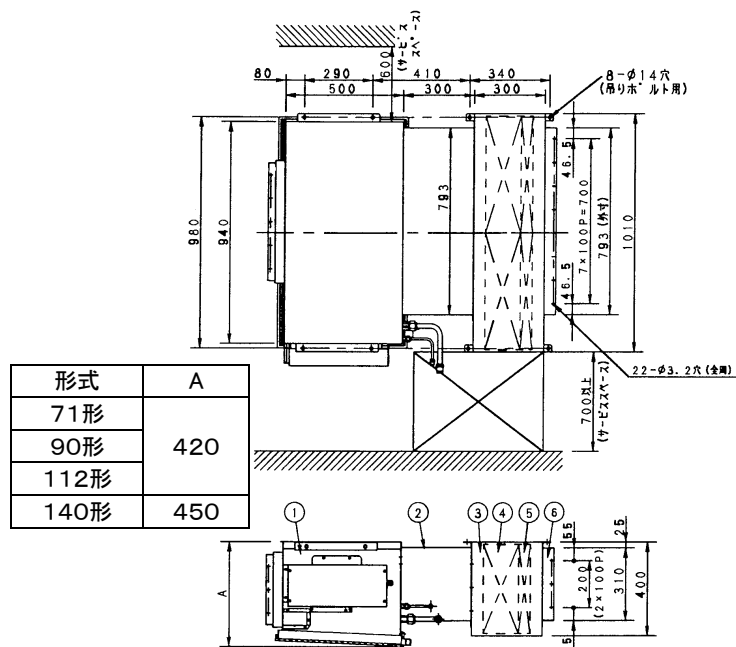
形式	A
71形	420
90形	
112形	
140形	450

①	天井埋込形本体
②	スぺンサーチャンバー CZ-03SPE3
③	フィルターチャンバー SPW-MFU125RR
④	高性能フィルター SPW-MFU125R(JIS 比色法 65%) SPW-HFU125R(JIS 比色法 90%)
⑤	ダクト接続用フランジ空調機本体を付け替え使用

注記: エアコンの周囲には、点検、保守ができるようにサービススペースを確保し、必ず点検口を設けてください。

■部品取付図 (ロングライフフィルター・高性能フィルター・フィルターチャンバー・スぺンサーチャンバー)

天井埋込形
71・90・112・140形



形式	A
71形	420
90形	
112形	
140形	450

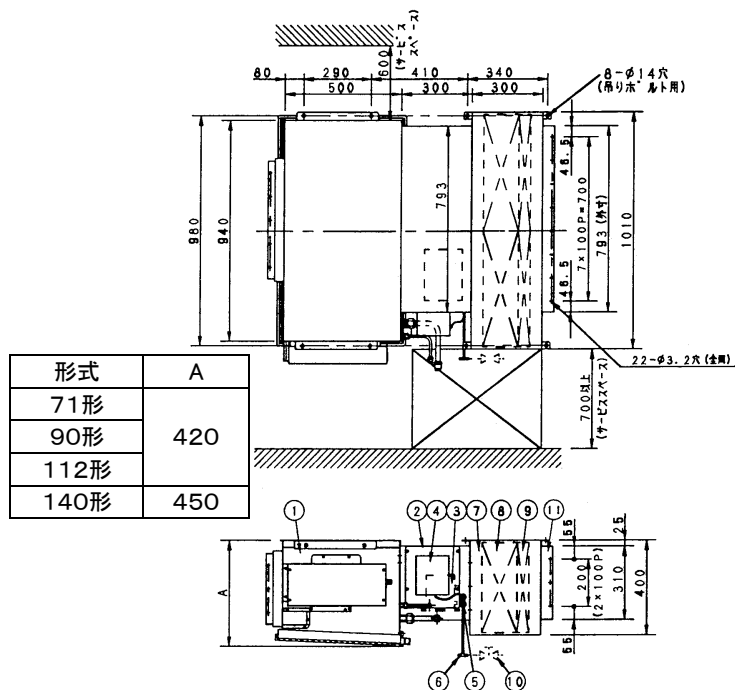
①	天井埋込形本体
②	スぺンサーチャンバー CZ-03SPE3 (フィルターチャンバー接続用ダクト)
③	フィルターチャンバー SPW-MFU125RR
④	高性能フィルター SPW-MFU125R(JIS 比色法 65%) SPW-HFU125R(JIS 比色法 90%)
⑤	ロングライフフィルター SPW-LFU125R1
⑥	ダクト接続用フランジ空調機本体を付け替え使用

注記: エアコンの周囲には、点検・保守ができるようにサービススペースを確保し、必ず点検口を設けてください。

■部品取付図 [ロングライフフィルター・高性能フィルター・フィルターチャンバー] 超音波加湿器・スプレーチャンバー]

天井埋込形

71・90・112・140形



①	天井埋込形本体
②	スプレーチャンバー CZ-03SPE3 (フィルターチャンバー接続用ダクト)
③	超音波加湿器本体(注記2参照)
④	超音波加湿器用トランス箱(注記2参照)
⑤	加湿器給水配管接続口
⑥	給水ストレーナー1/2B(現地手配)
⑦	フィルターチャンバー SPW-MFU125RR
⑧	高性能フィルター SPW-MFU125R(JIS 比色法 65%) SPW-HFU125R(JIS 比色法 90%)
⑨	ロングライフフィルター SPW-LFU125R1
⑩	給水サービス弁(現地手配)
⑪	ダクト接続用フランジ(空調機本体を付け替え使用)

注記:

- 1) エアコンの周囲には、点検、保守ができるようにサービススペースを確保し、必ず点検口を設けてください。
- 2) 加湿器はウェットマスター社製の下記品番製品を1つ選択し、現地手配してください。

WM-ENS1200(霧化量 1.2kg/h)

WM-ENS2400(霧化量 2.4kg/h)

WM-ENS3600(霧化量 3.6kg/h)

ドレンアップキット (DP-U140B、DP-U280B)

●DP-U140B

■仕様

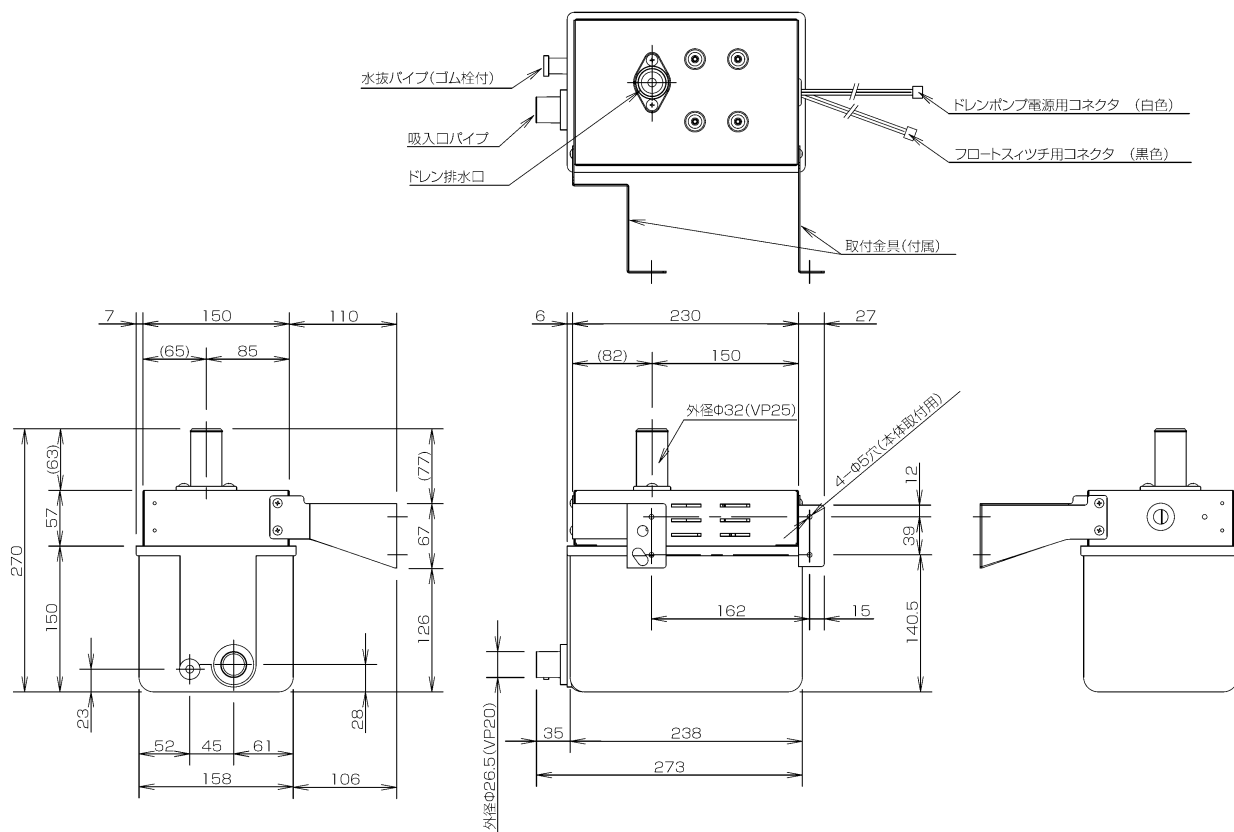
品 番		DP-U140B
適 用 機 種		71・90・112・140形
ドレンアップポンプ	電圧 (V)	単相200V (50/60Hz)
	電流 (A)	0.13/0.10
	入力 (W)	12/11
	使用流体	ドレン水
	使用温度	流体温度: 0~40℃ (但し、ドレン水凍結なきこと) 周囲温度: 0~45℃ (湿度RH95%以下)
	吐出量 (cc/min)	400cc/min以上、揚程1200mm 水位10mm、定格電圧

●DP-U280B

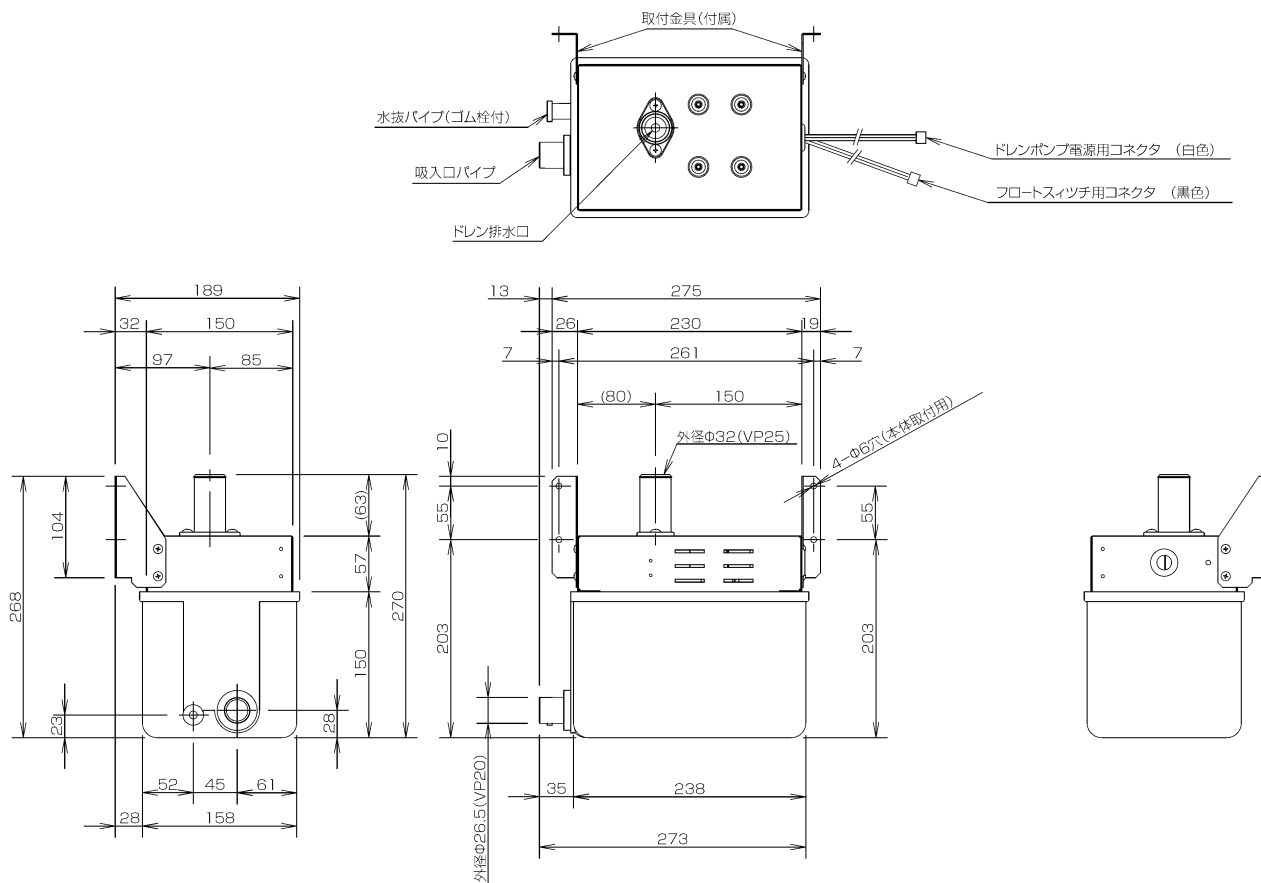
■仕様

品 番		DP-U280B
適 用 機 種		224・280形
ドレンアップポンプ	電圧 (V)	単相200V (50/60Hz)
	電流 (A)	0.13/0.10
	入力 (W)	12/11
	使用流体	ドレン水
	使用温度	流体温度: 0~40℃ (但し、ドレン水凍結なきこと) 周囲温度: 0~45℃ (湿度RH95%以下)
	吐出量 (cc/min)	400cc/min以上、揚程1200mm 水位10mm、定格電圧

■外形寸法図〈DP-U140B〉



■外形寸法図〈DP-U280B〉



■据付方法

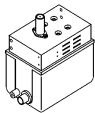
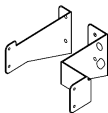
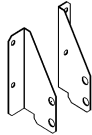
ドレンアップキット工事説明書

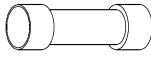
室内ユニットの添付資料「据付工事担当の方へ」「電気工事担当の方へ」「試運転担当の方へ」も必ず参照してください。

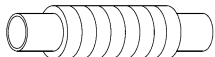
1. 適合エアコン形式

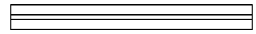
ドレンアップキット形名	140形	280形
適 合 機 種	天井埋込タイプ 71、90、112、140形	天井埋込タイプ 224、280形

2. 付属部品

名 称	ドレンアップキット本体	取り付け金具	取り付け金具
形 状			
個 数	1	各1	各1
備 考	140, 280形共通	140形	280形

名 称	ドレンホース断熱材付(本体接続用)	ホースバンド金具	本体接続側断熱材
形 状	 L480mm(140形) L260mm(280形)	 Φ26用 Φ32用	 T5 T3
個 数	1	各1	各2
備 考	140, 280形	140, 280形共通	140, 280形共通

名 称	ドレンホース(排水側)	排水側断熱材	排水側断熱チューブ
形 状	 L230mm	 T5	 L300mm
個 数	1	1	1
備 考	140, 280形共通	140, 280形共通	140, 280形共通

名 称	取り付けビス	クランパー	ビニールクランパー
形 状	 4X12(2種)		 L300mm
個 数	8	4	4
備 考	140, 280形共通	140, 280形共通	140, 280形共通

安全上のご注意

- 据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、「⚠ 警告」、「⚠ 注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告 取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。

⚠ 注意 取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

*据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに“取扱説明書”にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また“据付工事担当のかたへ”、“電気工事担当のかたへ”は、“取扱説明書”と共に、お客様で保管頂くように依頼してください。

⚠ 警告

- 据付工事は、R410A用に製造された専用のツール・配管を使用し、確実に行ってください。
使用しているHFC系冷媒(R410A)は、従来の冷媒に比べ圧力が約1.6倍高くなります。
専用の配管部材を使用しなかったり、据え付けに不備があると、破裂、けが、または水漏れや感電・火災の原因になります。
- 据付、電気工事は、販売店または専門業者に依頼してください。
ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
- 据付工事は、“据付工事担当のかたへ”“電気工事担当のかたへ”に従って確実に行ってください。
据え付けに不備があると、冷媒漏れ、水漏れ、感電、火災等の原因になります。
- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」および“据付工事担当のかたへ”“電気工事担当のかたへ”に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
電源回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
- 小部屋へ据え付ける場合は万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策が必要です。
限界濃度を超えない対策については販売店と相談して据え付けてください。万一、冷媒が漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。(ビル用マルチの場合)
- 据え付けは、重量に十分耐える所に確実に行ってください。
強度が不足している場合は、ユニットの落下により、けがの原因になります。
- 作業中に冷媒ガスが漏れた場合は換気をしてください。
冷媒ガスが火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
- 設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認してください。
冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

⚠ 注意

- 可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わないでください。
万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。
- ドレン配管は、“据付工事担当のかたへ”に従って確実に排水するよう配管し、結露が生じないよう保温してください。配管工事に不備があると水漏れし、家財等を濡らす原因になることがあります。
- 冷媒配管の断熱は、“据付工事担当のかたへ”に従って確実に断熱してください。
断熱しないと、水漏れや、やけどの原因になることがあります。

3. 各室内ユニットのドレンアップキット取り付け位置

- 室内ユニットの据付状態が水平になっていることを確認して下さい。

a) 点検口の設置

- 点検サービス作業等が容易に行えるように、点検口を設けてください。

ドレンアップキット140形

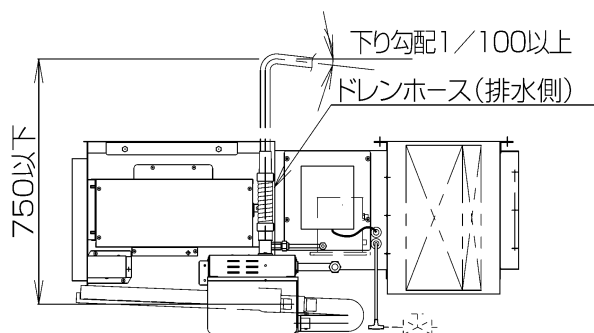
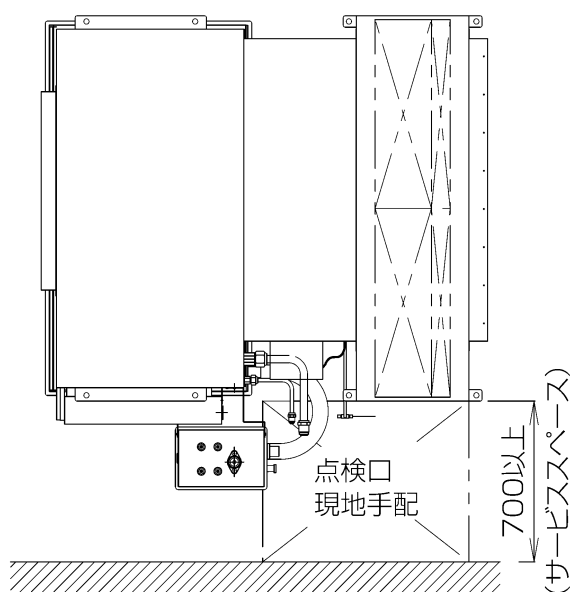


図-1

ドレンアップキット280形

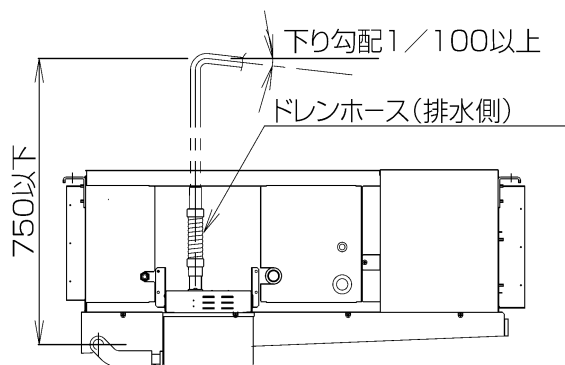
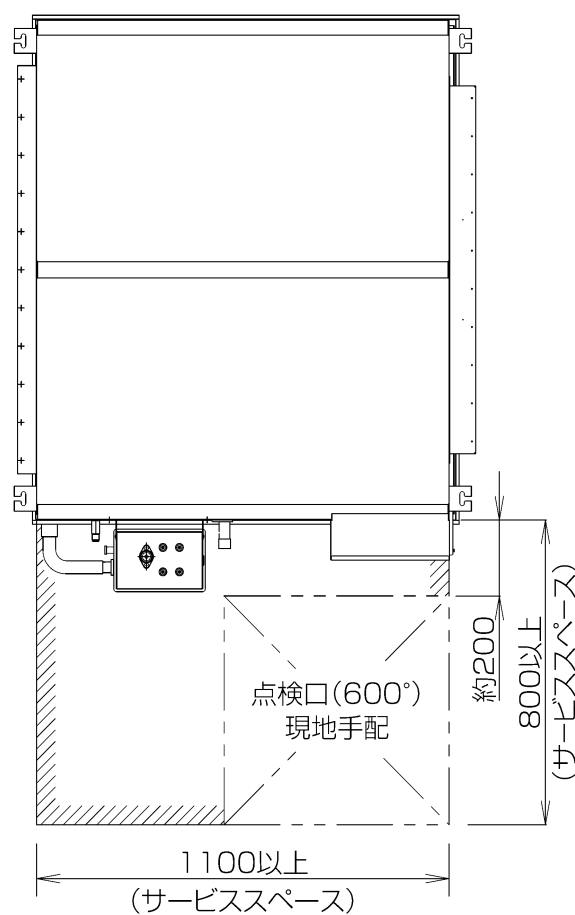
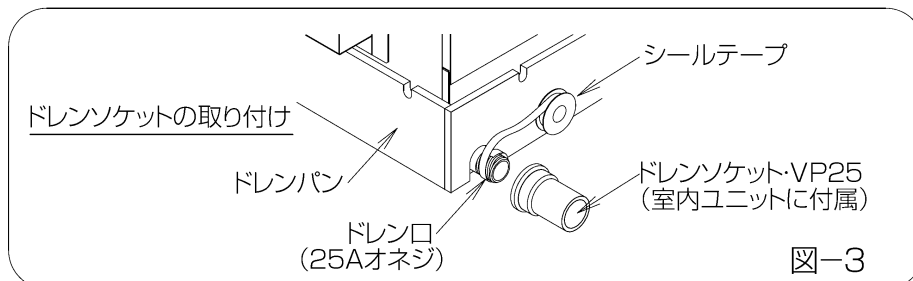


図-2

4. 取付方法

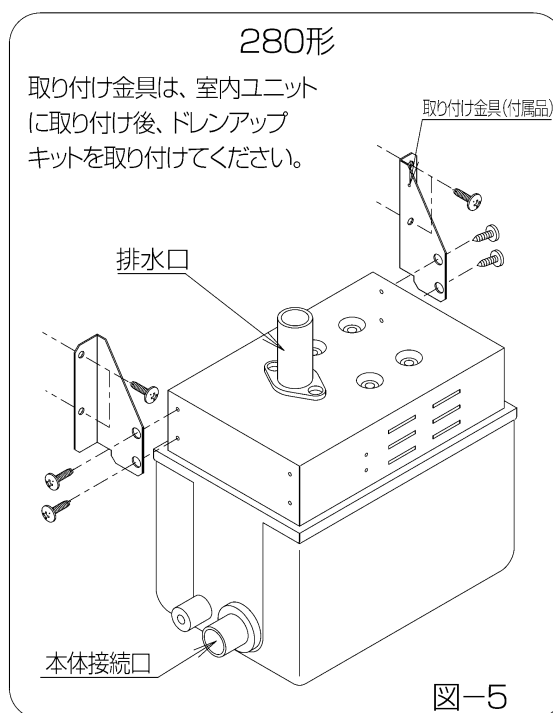
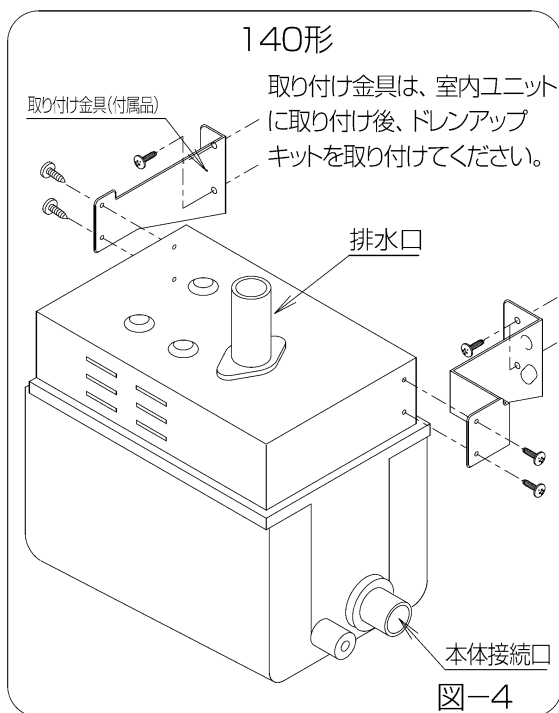
a) ドレンアップキットの取り付け準備

- ドレンソケット (VP25・室内ユニット付属品) を室内ユニットのドレン口に、図のように取り付けてください。(ドレン口にはシールテープを巻いてください。)



注意

室内ユニット取り付け用パネルの取り付け穴を変更して取り付けないで下さい。
ドレンアップキットのドレン皿容量が小さいため、フロートスイッチが作動し、運転ができなくなったり、水漏れの原因となります。



*ドレンアップキット本体接続口と排水口のテープは取り外してください。

b) 室内ユニット、ドレンアップキットとドレンホース(本体接続用)の取り付け

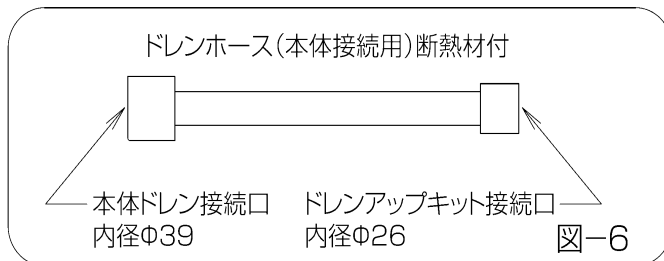
- 室内ユニットとドレンホースの取り付けは、図のように取り付けてください(図-7)
ドレンホース両端の口径は違いますので、接続時は十分に注意してください。



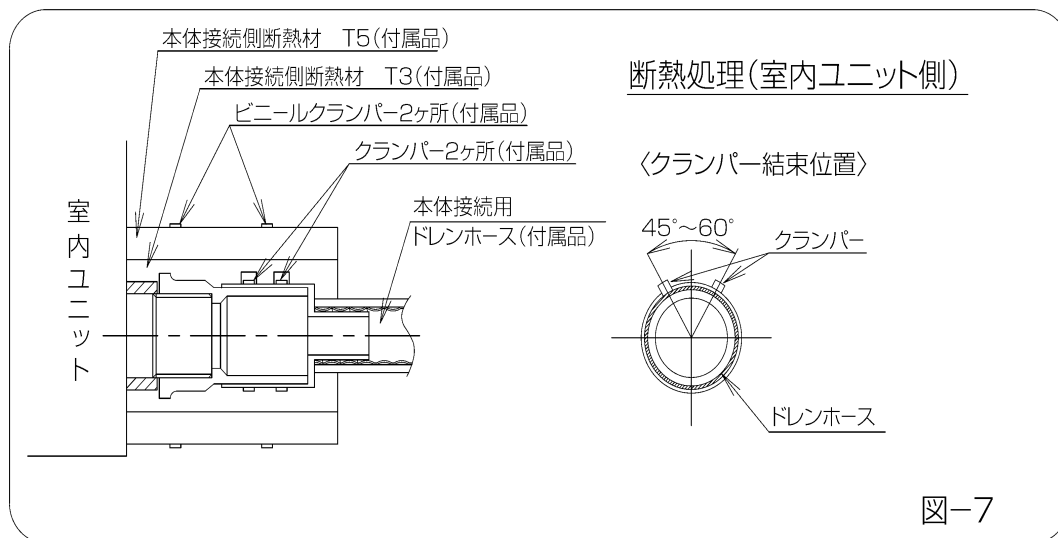
注意

本体接続用ドレンホースは、ねじれ、曲がり、つぶれ等ないように取り付けてください。

また、室内ユニットドレン口よりドレンホースは、絶対高くしないでください。
水漏れの原因となります。

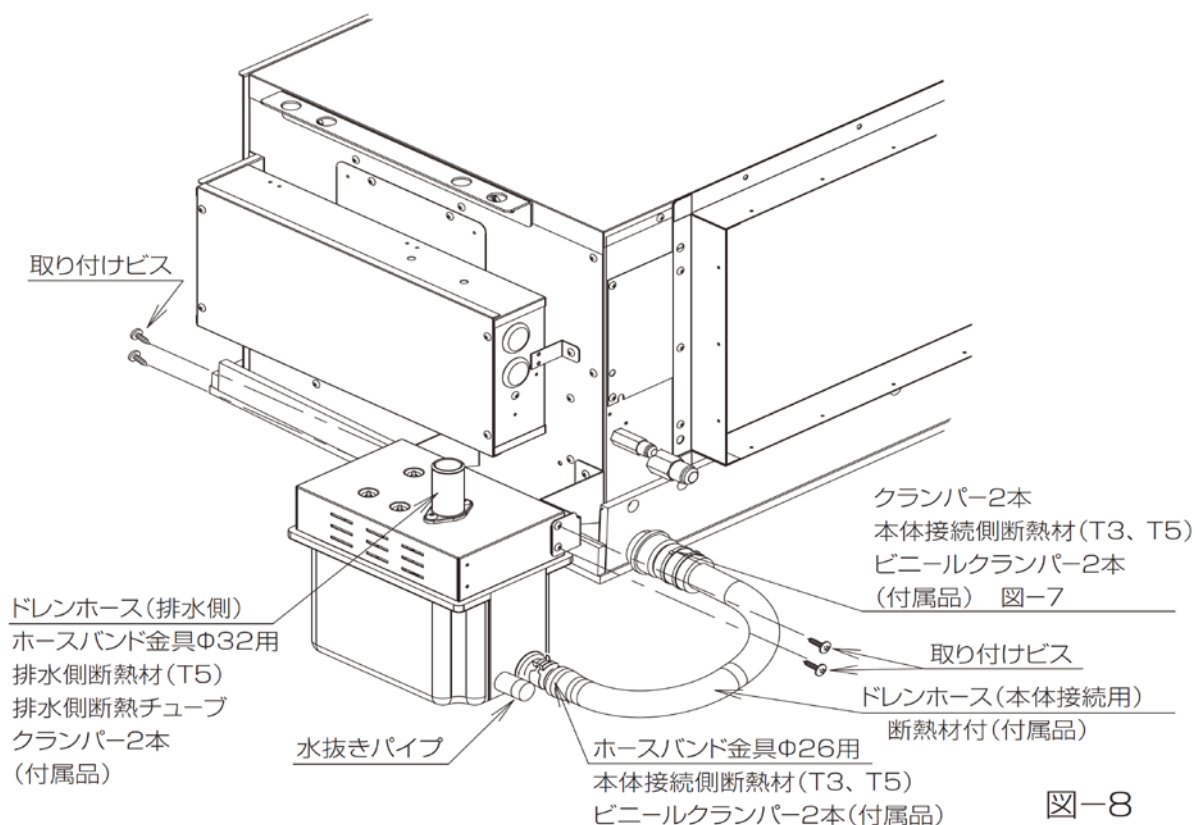


- 室内ユニットとドレンアップキットの間にトラップは設けないでください。
- ドレンホース取り付け後、室内ユニット側はクランパー(付属)、ドレンアップキット側はホースバンド金具φ26用(付属)で固定してください(図-7, 8, 9)
- ドレンアップキット本体接続口は、ドレンホースを根元まで差し込み、ホースバンド金具φ26(付属)をプライヤー等でつまみながら水漏れのないよう取り付けてください(図-8, 9)

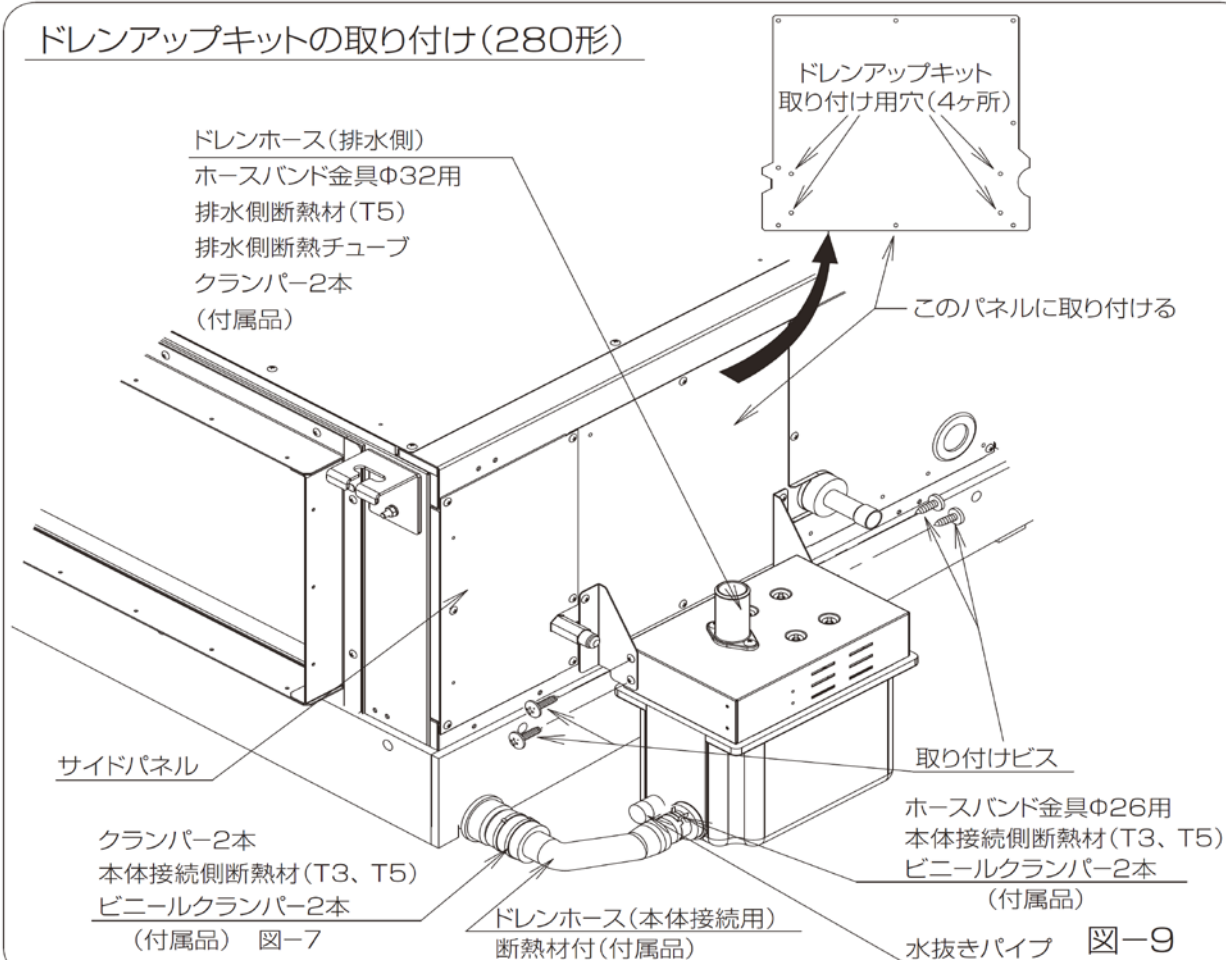


- 本体接続用ドレンホース両端に付属の本体接続側断熱材(T3、T5)を巻き付けてください。
- 本体接続用ドレンホース両端に付属のビニールクランパーで固定してください。

ドレンアップキットの取り付け(140形)



ドレンアップキットの取り付け(280形)



 注意

- ドレン配管は工事説明書に従って確実に排水するよう配管し、結露しないよう断熱してください。水漏れの原因となります。
- ドレンアップキットを取り付けた場合、室内ユニット吸込み側機外静圧は、
定格機外静圧の80%以下で使用してください。 *水漏れの原因になります。

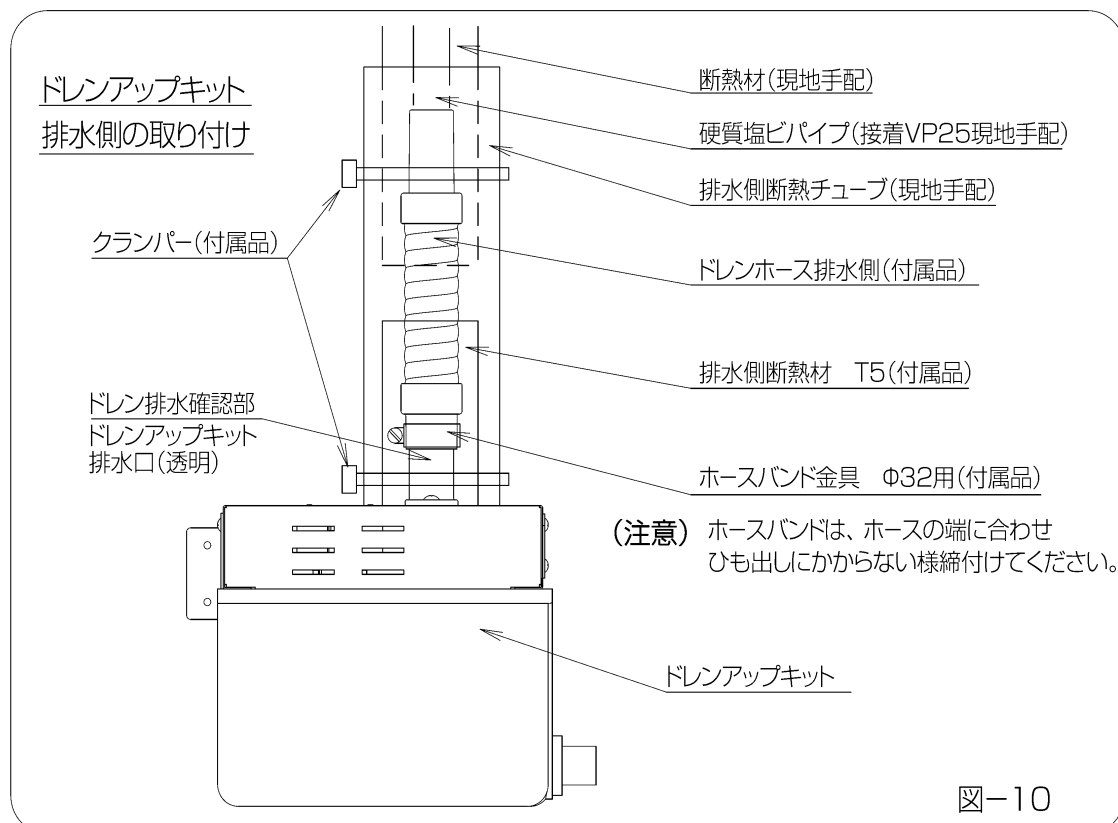
c)現地ドレン配管のしかた

ドレンホースの取り付け(図-10)

- ドレンアップキット排水側に、付属のドレンホース(排水側)を取り付けてください。
- ドレンホース(ドレンアップキット側)を、付属のホースバンド金具Φ32用で固定してください。
- ドレンホース(ドレンアップキット側)に排水側断熱材(T5付属)を巻き付けてください。
- ドレンホースに、付属の排水側断熱チューブを巻き付けてください。
- 排水側断熱チューブを、付属のクランパー2本で固定してください。
- 室内部分にあるドレン配管は、必ず断熱してください。

 注意

- ドレン配管は硬質塩ビパイプ一般管VP25を使用し、漏れのないよう接着剤で結合してください。
- ドレン配管は必ず下り勾配(1／100以上)とし、トラップや山越えを作らないようにしてください。
- ドレン配管が長い場合には、途中で支持金具を設けてドレン配管の波打ちをなくしてください。
- エアー抜き管は絶対に付けないでください。ドレンが吹き出ることがあります。
- ドレンアップ高さは、室内ユニット本体ドレン口センターより750mm以下とってください。



5. 電気配線

a) 室内ユニットの電装ボックスカバーをはずします。

b) 電気配線をしてください。

ドレンアップキットよりのリード線(ドレンポンプ電源用コネクタ-白色、フロートスイッチ用コネクタ-黒色)を室内ユニット電装ボックス内の中継コネクタに色を合わせて接続してください。

(注意) 配線は誤配線のないように接続してください。

- 電装ボックス内の2Pコネクタ(白、黒)に、ドレンアップキット2Pコネクタ(白、黒)を接続してください。(電装ボックス内2Pコネクタ-黒には短絡ソケット黒が付いていますので取りはずしてください。不要になります)

c) 配線作業の終了後は、電装ボックスカバーを元通りに取り付けてください。

6. 試運転について

ドレン排水の確認

- 配管工事、電気工事完了後、排水がうまく行われるか次の要領で確認して下さい。
(作業前にバケツやウエスを用意して下さい)

200V電源がきている場合

電装ボックス内の電源端子板(R, S端子)に電源を接続してください。

100V電源がきている場合

昇圧トランスを使用し、電装ボックス内の電源端子板(R, S端子)に電源を接続してください。

- 長時間冷房運転ができない場合は、室内ユニットサイドパネルをはずし、石油ポンプなどを使って水を少しずつ入れ、排水がうまく行われるか確認してください。また、各接続部から水漏れのないことも確認してください。

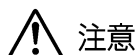
(注意)

電源投入後および運転停止後、約3分間は室内ユニット・ドレンアップキットは運転しません。

正常に運転できない場合には、リモコン液晶表示部に警報表示されます。

室内ユニットの添付資料「試運転担当の方へ」または「電気工事担当の方へ」を参照し、修正してください。

7. 長期間エアコンをご使用しない場合



注意

ドレンアップキットの水抜きパイプより、水抜きしてください。

ドレンアップキットの中に水が溜まっていますと、臭い、つまりの原因となります。

また、水抜きした場合には、必ずゴム栓で水漏れしないよう、しっかりと締めてください。

超音波加湿器 (WM-ENA1200/2400/3600SN)

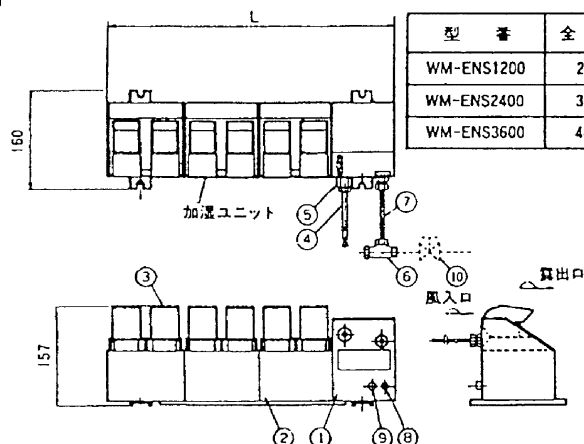
ウェットマスター(株)製 [適用機種: 天井埋込形71~140形]

■仕様

品番		霧化量 (kg/h)	※有効加湿量 (kg/h)	超音波加湿 ユニット数	一次電源 (トランス箱)	定格消費 電力 (W)	重量 (Kg)	
			パッケージ取付時 (85～100%)				加湿器本体	トランス箱
WM-ENA1200SN		1.2	1.0～1.2	2	単相 AC200V 50/60Hz	80	1.5	3
WM-ENA2400SN		2.4	2.0～2.4	4		155	2.2	4
WM-ENA3600SN		3.6	3.0～3.6	6		230	2.9	5
共通仕様	温湿度条件	加湿ユニット：1～50℃（90％RH） トランスBOX：40℃以下（90％RH）						
	給水条件	市水、給水圧：20～490kPa、給水温度5～40℃						
	給水方式	電磁弁およびフロートスイッチによる自動給水						
	保護装置	1) 低水位による無負荷運転防止装置 2) 加湿器本体温度上昇時に電源カットするサーモスタット 3) 回路保護のためのヒューズおよびバリスタ						
	付属品	給水ストレーナー・ク給水銅管φ6（リングジョイント方式）・予備ヒューズ・ゴム吸盤足						

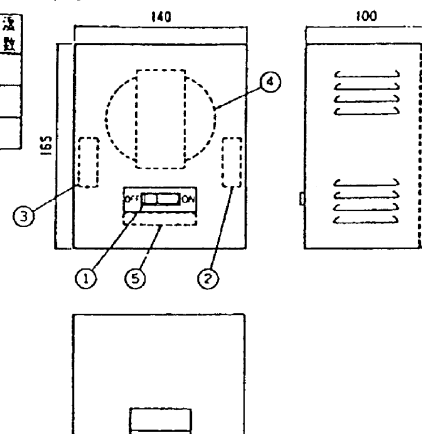
■外形寸法図

加湿器



番号	加湿器本体 部品名称	仕様/形式
①	コントロール水槽	ABS樹脂
②	霧化水槽	ABS樹脂
③	エリミネーター	ABS樹脂
④	接続コード	2芯ケーブル1m
⑤	コードクリップ	PG-9
⑥	給水ストレーナー	T形100メッシュ
⑦	給水軟銅管	外径φ6×1m
⑧	オーバーフローパイプ	外径φ13 内径φ9
⑨	排水パイプ	外径φ13 内径φ9
⑩	給水サービス弁	客先ご用意

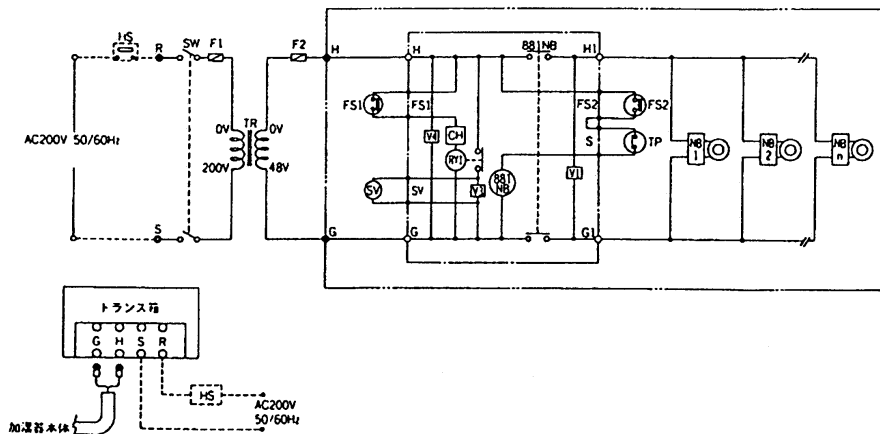
トランスBOX



番号	トランス箱 部品名称	仕様/形式
①	スイッチ	波型
②	ヒューズ(1次側)	ヒューズ台
③	ヒューズ(2次側)	ヒューズ台
④	トランス	200V/48V
⑤	端子台	4P

品番	WM-ENS1200~3600	加湿器 外形寸法図
----	-----------------	--------------

■電気回路図



■使用上の注意

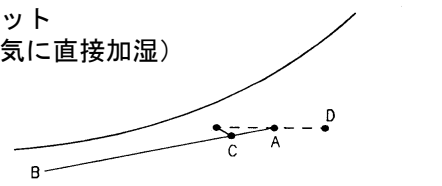
①空気線図上の変化

- 全ての超音波式加湿器は、空気線図上では熱水分比＝0の方向、即ち等エンタルピー変化を行います。このため、外気温度が低い時に外気に直接霧化させても加湿が行えない場合がありますからご注意ください。

②霧化量と有効加湿量

- 霧化量は、水スプレー式の場合の噴霧量に相当するもので、加湿器外部に取り出される全ての霧の量を表します。
- 有効加湿量とは、全霧化量の内、実際に流通空気に加えられる有効分のことで、カタログに記載する数値は標準暖房条件で運転される場合の加湿量を表します。

室内ユニット
(混合空気に直接加湿)



A : 室内
B : 外気
C : 混合空気
D : 吹出口

③標準暖房条件と有効加湿量の基準

- 次のような温度条件で運転される場合の有効加湿量を基準にしています。
 - ・室内空気 DB＝20℃、RH＝50%
 - ・外気 DB＝0℃、RH＝50%
 - ・外気量 全風量の20%取入れ
 - ・混合空気(加湿器入口) DB＝16.2℃、RH＝55%

④振動子寿命

- 超音波加湿器の振動子は、運転時間の経過と共に霧化能力が徐々に低下してきます。交換の目安は約5000時間で、一般事務所ビルの暖房用加湿としては約5年に相当します。ただし、室内の湿度が不足しなければそのまま継続して使用することができます。

⑤白い粉と給水処理

- 超音波加湿器の霧は粒径1ミクロン前後の微粒子ですが、水滴であることには違いありません。従って原水中に含まれるミネラル分が、蒸発残留物いわゆる白い粉となって空気中を浮遊します。
- 白い粉は僅かな量であり、もともと飲料水中に含まれているミネラルなので、健康上害のないことは報告されており、一般暖房では給水の処理を行う必要がありません。ただし、電算室や精密機械室などでは白い粉を極力少なくするように、加湿器への給水処理を行った方が安全です。
- 給水処理には純水装置が必要です。軟水器ではミネラルの成分が変わるだけで、ミネラルの除去には効果がありません。必ず純水器等を利用ください。

⑥給排水その他

- 給水は市水または上水を使用し、所定の給排水接続を行い、給水管にはサービス弁をご用意ください。
- 給水圧力は、0.2～5.0kg/cm³の範囲で供給して下さい。0.2kg/cm³以下になる恐れのある場合は、断水リレーをご用意ください。
- 給水は公共の水道管から直接接続することはできません。このような場合はシスターンをご使用ください。
- 気温0℃以下の場所を使用する場合は給排水管および加湿器水槽内の凍結防止対策が必要です。
- ディフューザーは、現場で簡単に取付けることができます。

取付説明書

この加湿器は、天井埋込タイプの加湿器チャンバーに取付可能です。適合エアコン及び加湿器チャンバーをご確認ください。加湿器チャンバーに付属されている取付説明書は、超音波加湿器ENSシリーズについての取付説明書です。ENAシリーズは本取付説明書に従って取付を実施してください。

① 適合エアコン・加湿器チャンバー形式名

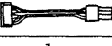
適合エアコン	加湿器チャンバー	超音波加湿器 (ウェットマスター製)
天井埋込形 (高静圧タイプ) 71~140タイプ	RH-UU125SR	WM-ENA1200SN(加湿量 1.2ℓ/h) ENA2400SN(加湿量 2.4ℓ/h) ENA3600SN(加湿量 3.6ℓ/h)

●超音波加湿器の仕様、取付、注意事項等については、超音波加湿器に付属されている取扱説明書/施工要領書をご覧ください。

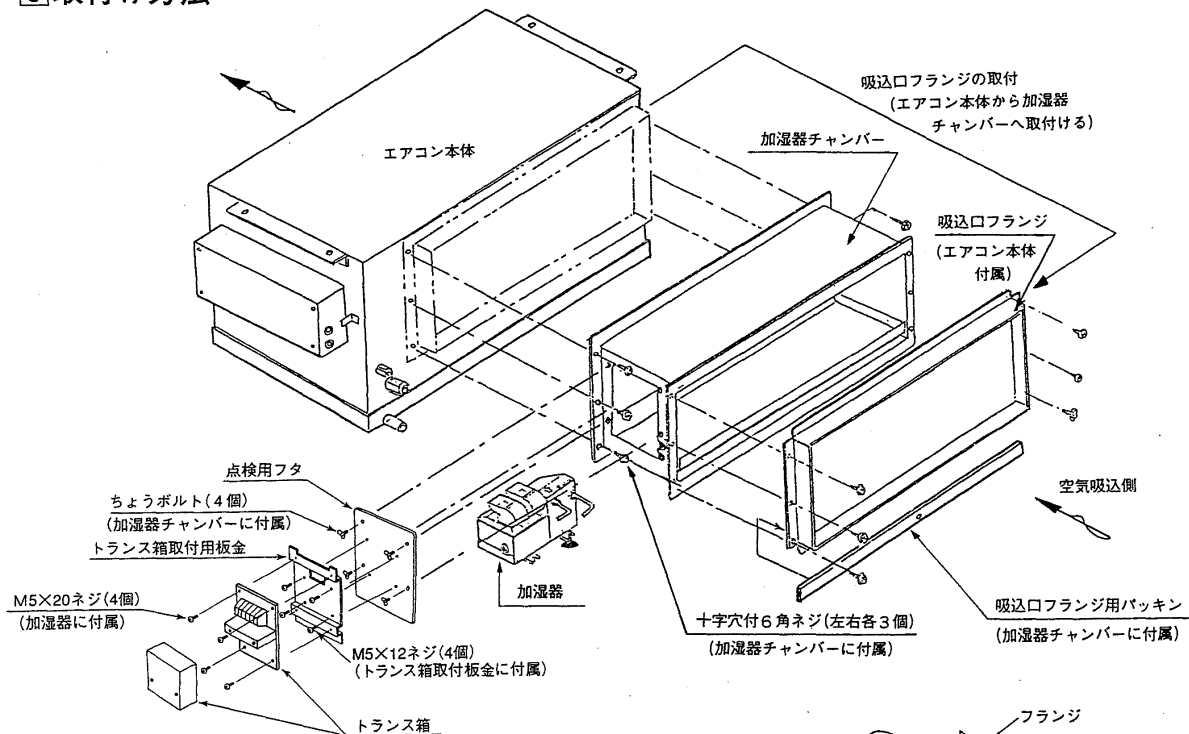
② 梱包内容

加湿器本体	トランス箱	トランス箱取付用板金
		
付属品: 2Pコネクタ 説明書本紙 2Pコネクタ使用方法 ビスM5×12(4個)		

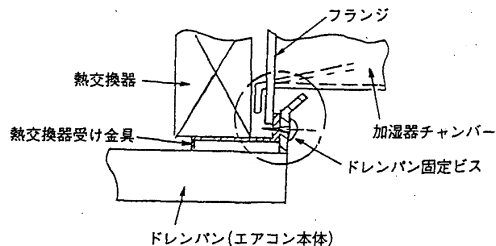
参考) 加湿器チャンバー付属部品

名称	ソケット付コード	十字穴付六角ネジ	パッキン	中継コネクター
形状				
個数	1	6	1	1
備考	電気配線用	チャンバー取付用	吸込口フランジ用	SJ形機種(パッケージ) F2形機種(ガスヒーター) T形以降機種(パッケージ) G形以降機種(ガスヒーター)

③ 取付け方法



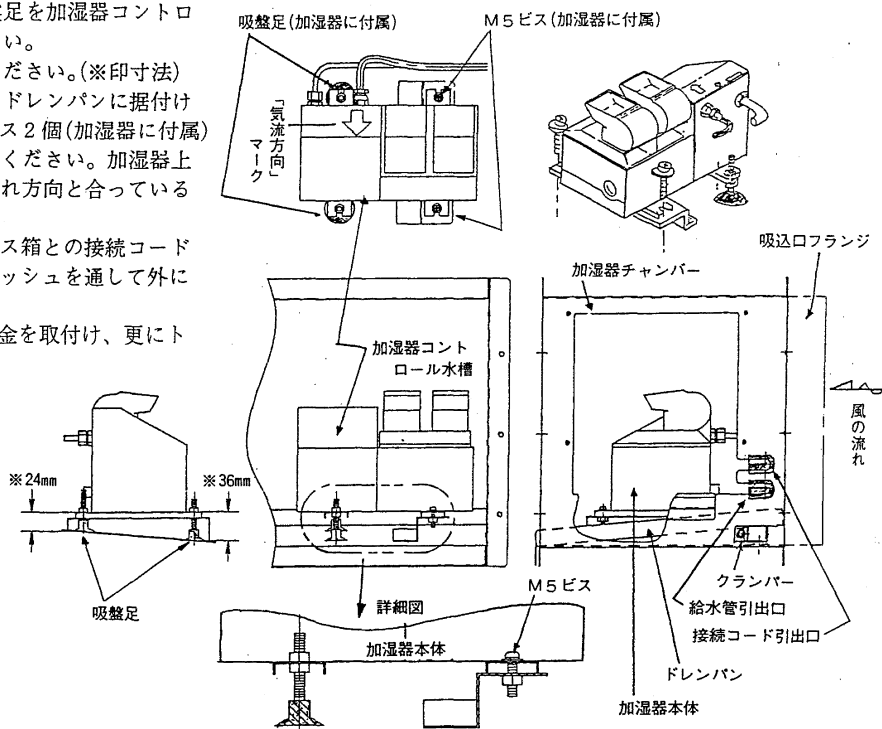
1. エアコン本体の吸込口フランジを外し、加湿器チャンバーの吸込口に取付けてください。
この時、加湿器チャンバーに付属のフランジ用パッキンを吸込口フランジの下側に貼り付けてください。
2. 加湿器チャンバーを付属の十字穴付六角ネジ(M4)でエアコン本体に取付けてください。(左右各3個)
この時、加湿器チャンバーのフランジ下部がエアコン本体の熱交換器受け金具の内側にはまり込むように取付けてください。(右図○内、水洩れ防止のため)
3. エアコン本体付属の据付工事説明書に従って据付を行ってください。
サービス用の点検口(600×600)は必ず設けてください。



- 加湿器チャンバーは吸込側のみ取付可能です。
吹出口には取付けないでください。

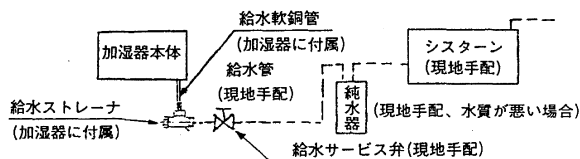
④ 超音波加湿器の取付

1. 加湿器に付属されているゴム吸盤足を加湿器コントロール水槽側に2個取付けてください。
高さ調整は、図のように行ってください。(※印寸法)
2. 加湿器本体を加湿器チャンバー内ドレンパンに据付けてください。手前2箇所はM5ビス2個(加湿器に付属)でドレンパン上の金具に固定してください。加湿器上面の「気流方向」のマークが風の流れ方向と合っていることを確認してください。
3. 加湿器付属の給水管およびトランス箱との接続コードは加湿器チャンバー側面のゴムブッシュを通して外に出してください。
4. 点検用フタにトランス箱取付用板金を取付け、更にトランス箱を取付けてください。
5. 加湿器本体からトランス箱への接続コードをクランパーで固定してください。



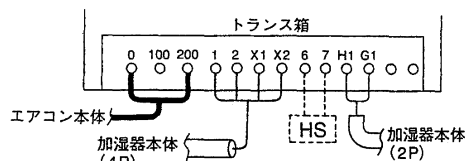
⑤ 給水配管

- 加湿器に付属されている「施工要領書」をご覧ください。(右図参照)
- ドレンはエアコン本体側に排出されますのでドレン管は不要です。



● 給水管には必ず防露工事を行ってください。

⑥ 電気配線



1. 加湿器本体からの接続コードをトランス箱端子台の1・2・X1・X2 (4P) 及びH1・G1 (2P) に接続してください。
2. 加湿器チャンバー付属のソケット付コード(長さ2m)をトランス箱端子台の0・200に接続してください。
3. (1) T, U形(G1, G2, H1, J1形)は、加湿器ソケット付コードに加湿器チャンバー付属の中継コネクタ(T形用)を接続し、3P(赤)コネクタを室内ユニット基板上的のHU1に、3P(黒)コネクタをHUに接続してください。
(2) A形(J2形)は、加湿器のソケット付コードに加湿器チャンバー付属の中継コネクタ(T形用)を接続し、3P(赤)コネクタを室内ユニット基板上的のHU1に接続してください。3P(黒)コネクタは、接続不要です。適当な場所でクランパー等で結束してください。また、トランス箱取付板金に同梱されている2Pコネクタ(白)を基板上的のFILTERに接続してください。同時に別紙「SPW-A形…ご使用の方へ」に従い、超音波加湿器の設定を行ってください。
4. ヒューミディスタット(現地手配)は、トランス箱端子台の6・7に接続してください。ヒューミディスタットを使用しない場合は、6・7を短絡してください。

⑦ 試運転

- 加湿器に付属されている「施工要領書」をご覧ください。
- 運転はトランス箱のスイッチをON状態のままでエアコンのリモコン操作で暖房運転してください。
(暖房運転で暖房準備解除後、加湿器はONします。)
- ヒューミディスタットを使用する場合は、設定を最大にしてください。

最後に以下の項目を確認し、チェック☑を入れてください。

- | | |
|--|---|
| ☐ 加湿器本体の取付方向が正しく、水平にしっかりと固定されていること。 | ☐ 電気配線が指定の端子に接続されていること。
(図電気配線を参照) |
| ☐ 配管各部は正しく確実に接続されていること。 | ☐ また、エアコンとのインターロック(暖房運転以外では停止)がとれていること。 |
| ☐ エリミネータ全てから霧が発生していることを確認してください。 | ☐ ヒューミディスタット(現地手配)をON・OFFさせ、加湿器の発停を確認してください。 |
| ☐ 加湿器本体の水槽内水位は、フロートスイッチと電磁弁により一定に保たれます。オーバーフロー管からの流水のないことを確認してください。 | ☐ 加湿器本体各部および給水配管からの漏水のないことを確認してください。 |

自然気化式加湿器 [適用機種：天井埋込形 224・280形]

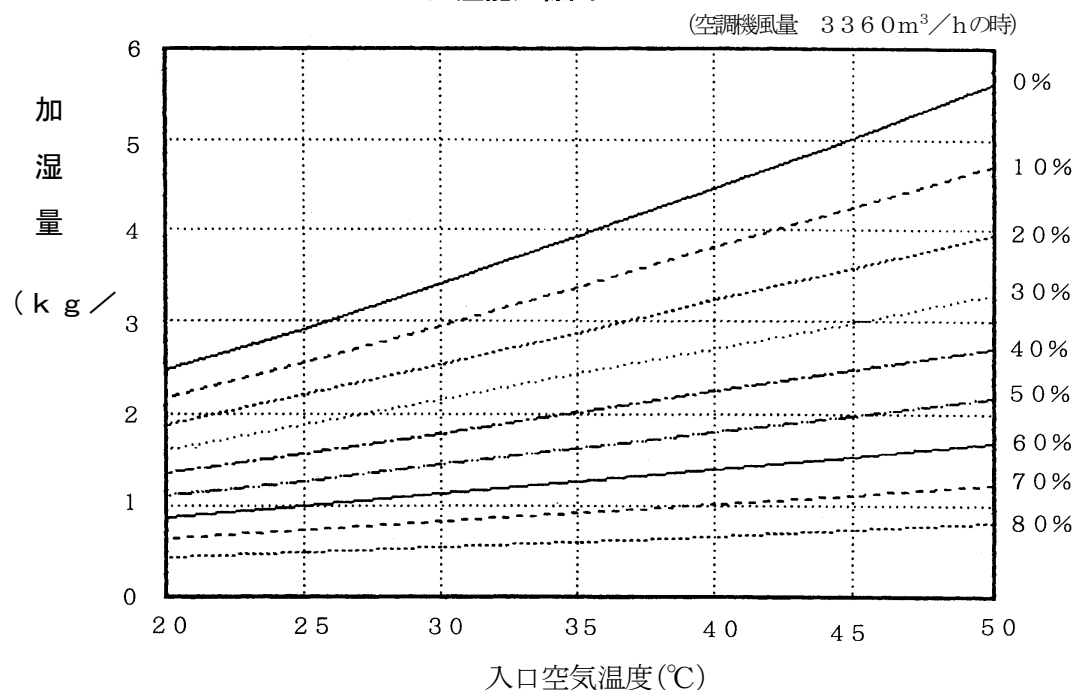
● 仕様

品番		RH-UN45U	
室内ユニットタイプ		天井埋込形	
		224形	280形
加湿量	kg/h	3.5	4.4
		(吸込空気温度40℃、湿度15%RHの時)	
給水量	ℓ/h	18	
トランス箱への電源		単相200V 50/60Hz	
定格消費電力		20W	
本体質量	kg	2.5	
風量	m ³ /min	56.0	70.0/74.0
使用水圧	kPa	49～490	
使用水質		水道水または市水	

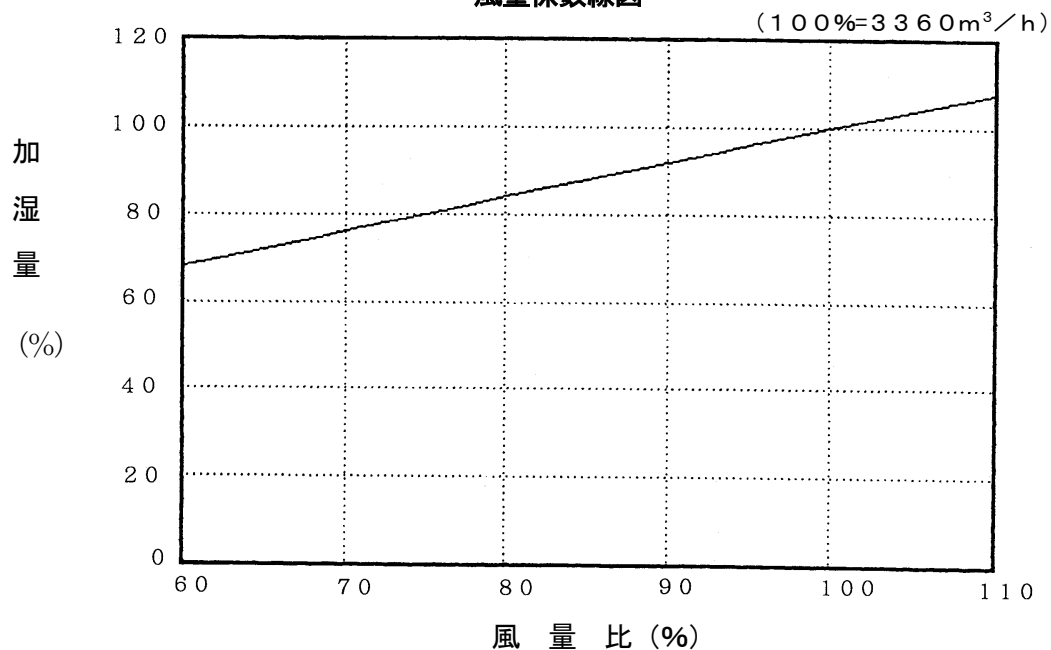
■性能特性

●適用機種：224形

加湿能力線図



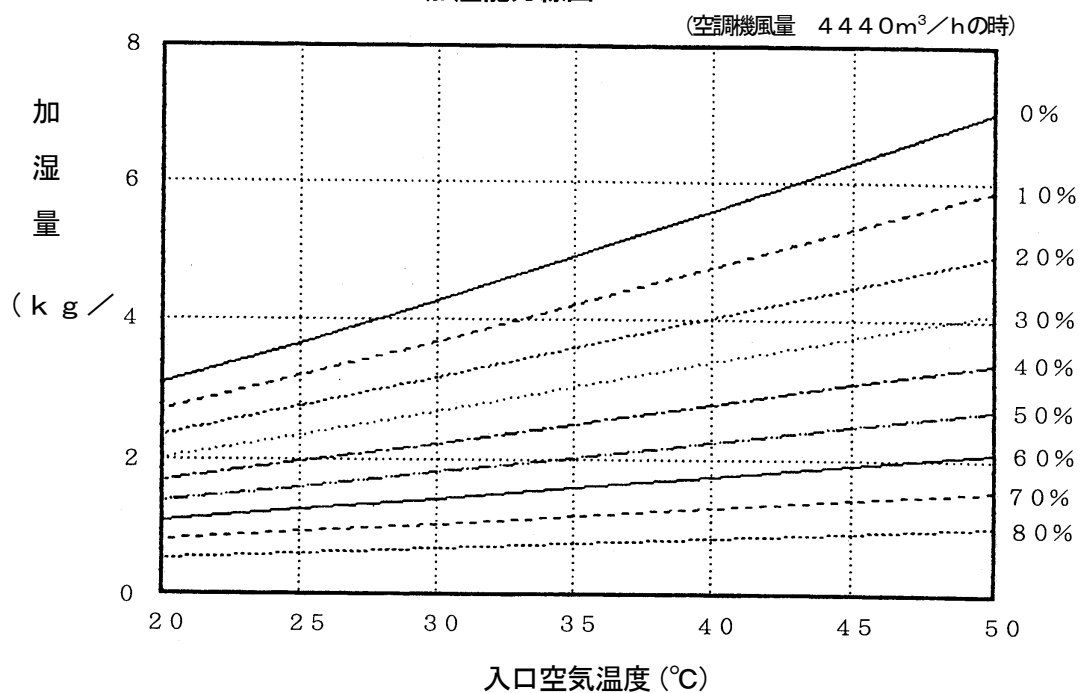
風量係数線図



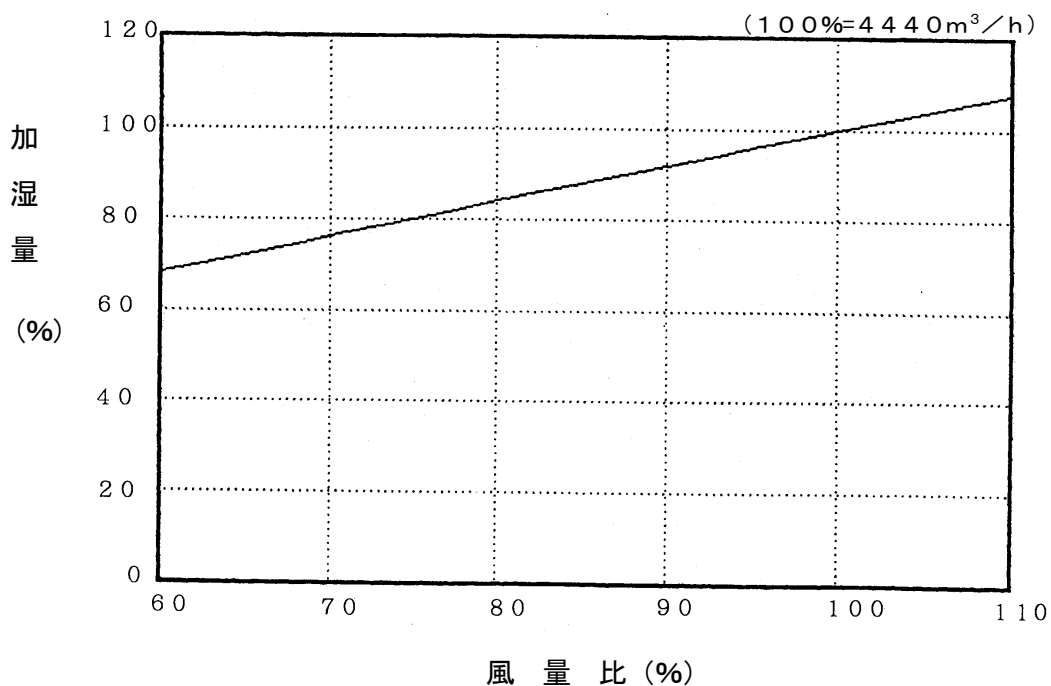
■性能特性

●適用機種：280形

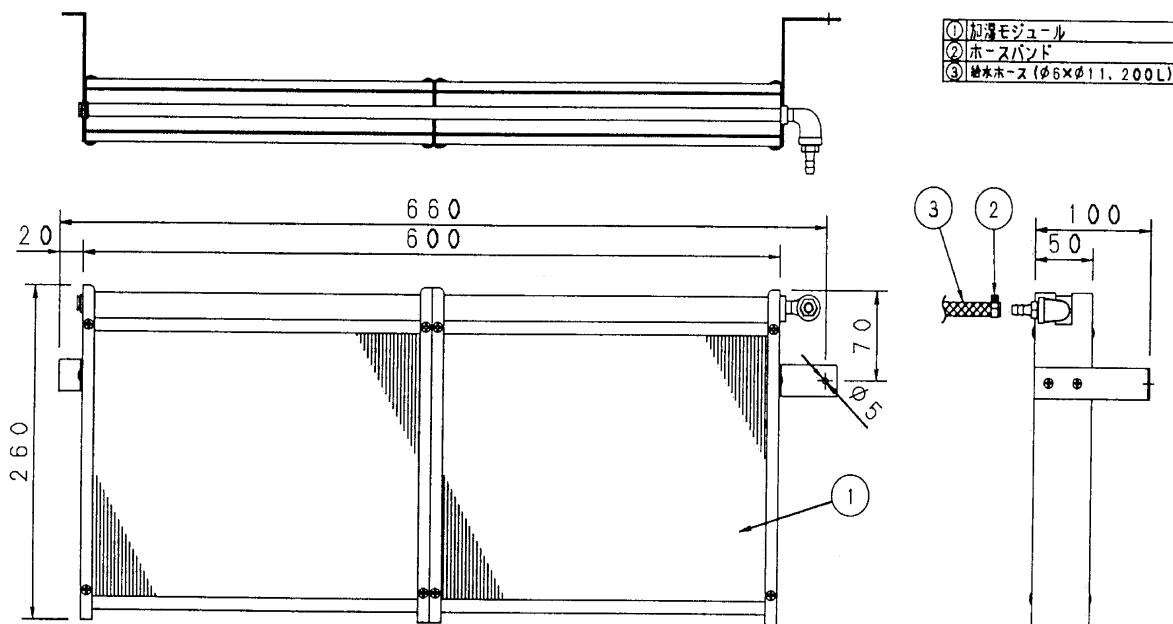
加湿能力線図



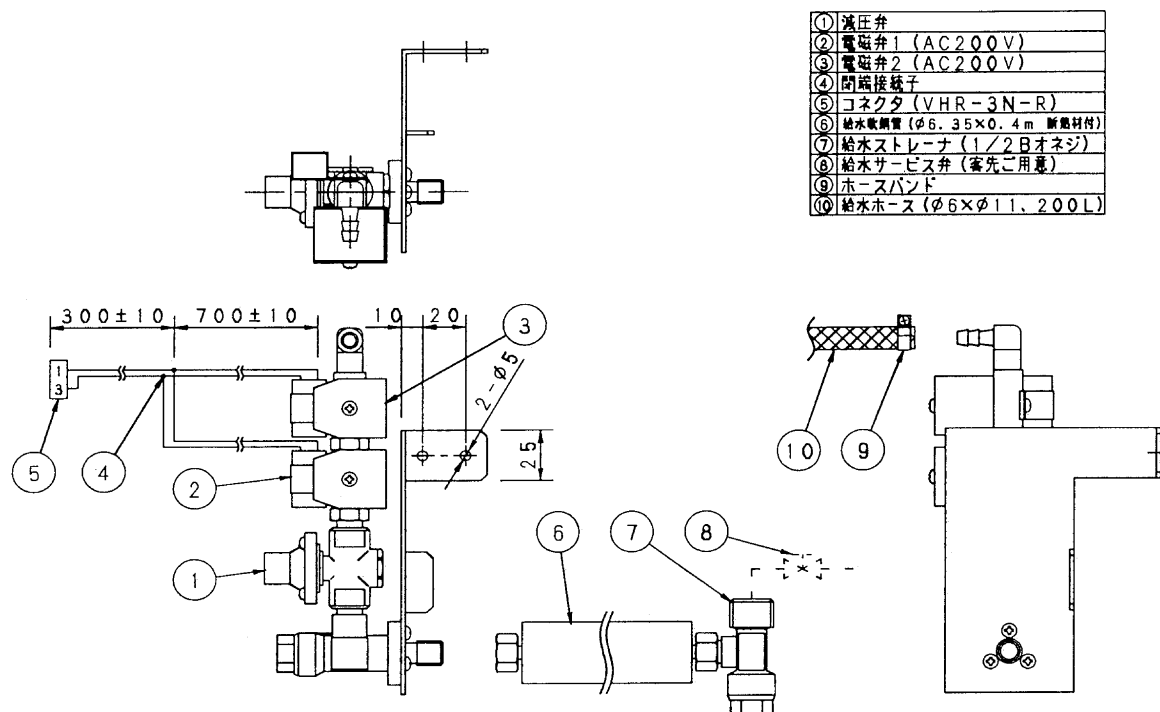
風量係数線図



■外形寸法図

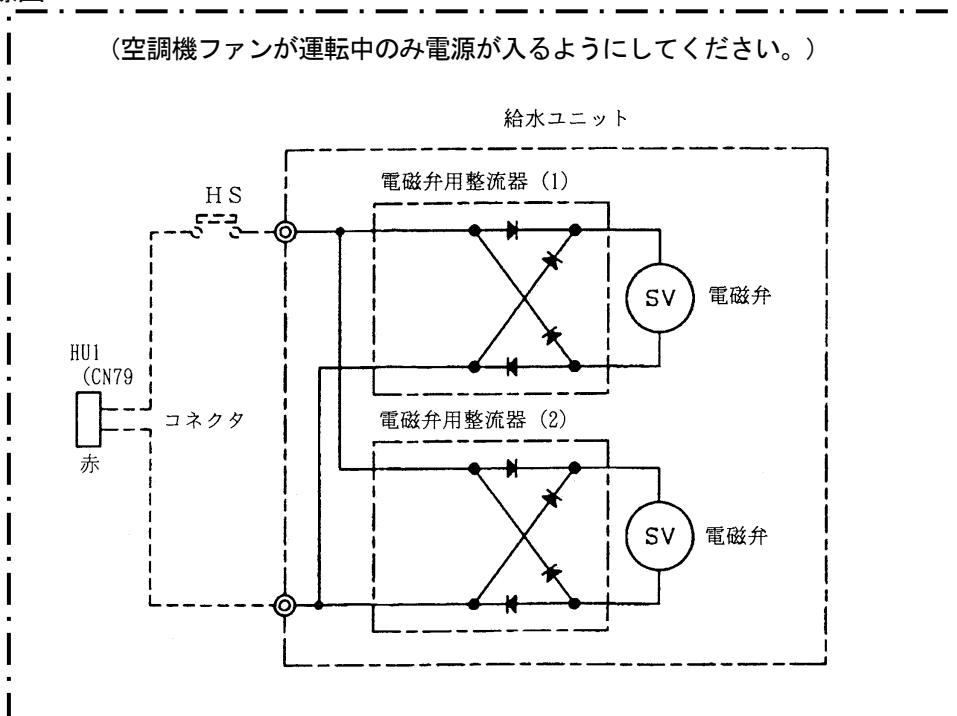


品番	RH-UN45U	自然気化式加湿器 外形寸法図
----	----------	-------------------



品番	RH-UN45U	給水ユニット外形寸法図
----	----------	-------------

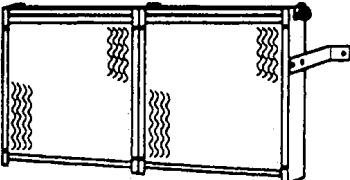
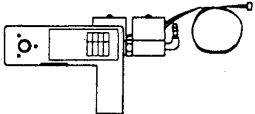
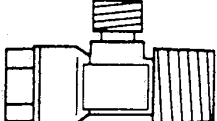
■電気結線図



■取付方法

●付属品一覧

※梱包開封後は、直ちに付属品の内容を確認してください。

部品名称	形 状	個数	備 考
①加湿器本体		1	
②給水ユニット		1	減圧弁、給水用電磁弁 固定金具、電磁弁コード
③給水ホース		1	半透明、0.2m
④ホースバンド		2	
⑤給水軟銅管		1	φ6.35×0.4m 断熱材付
⑥給水ストレーナー		1	1/2Bオネジ
⑦断熱材		1	φ28×φ60×3t
⑧取付ビス		3	4×12タッピンビス
⑨運転用短絡 コネクター		1	
⑩閉端接続子		2	ヒューミディスタット 配線接続用
⑪取扱説明書		1	

●取付

1. 加湿器本体の取付

- (1) 室内ユニットはドレンパンが上側の状態で梱包されていますので、梱包より取り外し、半回転させてドレンパンが下になるように置いてください。このとき、ドレンパンの下側の断熱材を傷つけないようにしてください。
- (2) ユニット側面のパネルを外し、パネルについているハトメゴム2箇所の中央膜部分に切れ目を入れてください。
(小：電磁弁コード用、大：給水軟銅管用)
- (3) 加湿器本体の支え金具部分をユニット内のレールに沿うようにスライドしてください。レール中央部に加湿器固定用の止め金具がありますので、止め金具に加湿器本体の支え金具が差し込まれたことを確認した後、手前側の支え金具を付属のビス1本で固定してください。また、取り付け後は、加湿器本体がレールから外れていないことを確認してください。(図-1 参照)

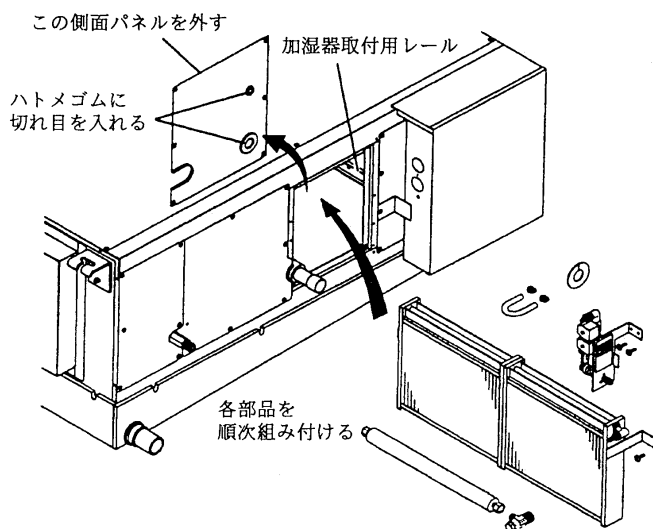


図-1 加湿器の組込

2. 給水ユニットの取付

- (1) 給水ユニットの上下取付方向を確認し、付属のビス2本で固定してください。
(図-2 参照)
- (2) 電磁弁コードは側面パネル取付の際に側面パネルについているハトメゴムを貫通させます。

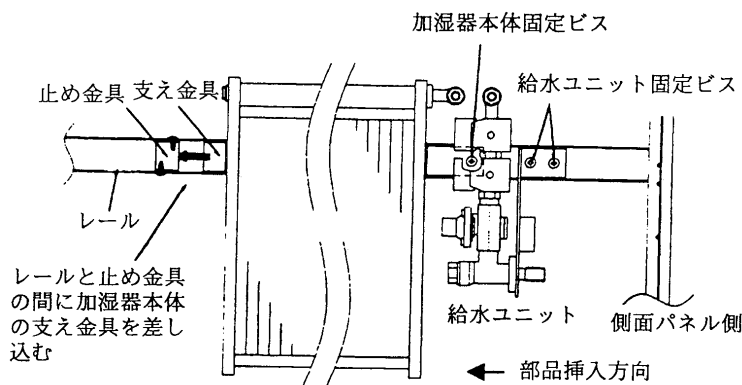


図-2 加湿器本体／給水ユニットの固定

3. 給水ホース／給水軟銅管の接続

- (1) 加湿器本体のホース口～給水ユニット間に給水ホースを差し込み、ホースバンドで確実に締め付けてください。(図-3 参照)
- (2) 給水ユニットに給水軟銅管を接続します。給水軟銅管の接続部はリングジョイント式となっています。給水軟銅管を給水ユニットの給水口に差し込んで、給水ユニット取付板金を利用しダブルスパナで確実に締め付けてください。(図-4 参照) リングナットの締付トルクは10N・m程度としてください。

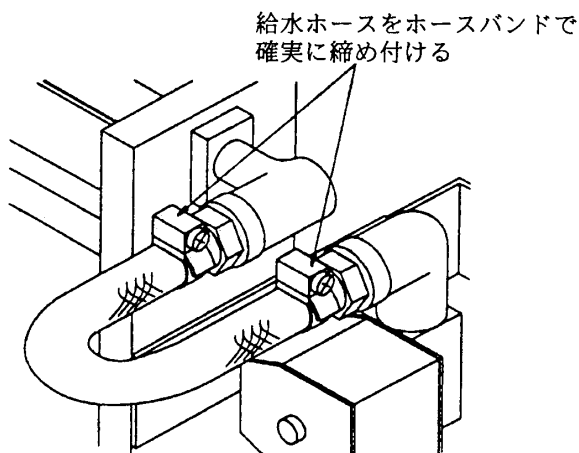


図-3 給水ホースの接続

(3) 側面パネルを元通り取り付けます。この際、給水軟銅管および電磁弁コードを側面のパネルのハトメゴムに貫通させてください。

(小：電磁弁コード用、大：給水軟銅管用)

側面パネル取り付け後、隙間ができないように軟銅管貫通部に付属の断熱材を貼り付けてください。

(4) ユニット外部での給水軟銅管と現地給水管との接続には付属の給水ストレーナーを使用してください。

なお、給水管を接続する前には、通水して配管内のフラッシングを実施してください。

(注) 軟銅管は継手部付近からの急な曲げ加工は行わないでください。漏水の原因となることがあります。

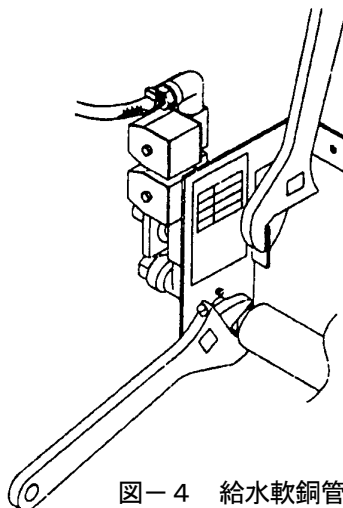


図-4 給水軟銅管の接続

4. 給水配管

- 給水には市水、上水（いずれも水道法水質基準を満足するもの）をご使用ください。
- 加湿器への給水は公共の水道管から直接接続できませんのでご注意ください。
- 給水サービス弁（現地手配）を必ず各加湿器ごとに設けてください。
- 給水圧力は0.05～0.5MPa、給水温度は5～40℃の範囲でご使用ください。
- 配管には必ず断熱材（現地手配、発泡ポリエチレン、比重0.03、肉厚10mm以上）を巻いてください。
なお、ストレーナーに断熱材を巻く際には、ストレーナー掃除時にキャップが外せるよう配慮してください。
- 加湿器に現地給水管を接続する前には、通水して配管内のフラッシングを実施してください。
- 配管後は、漏水のないことを確認してください。

5. 電気配線

(1) 室内ユニットの電装ボックスカバーを外してください。
電気回路は、電装ボックスカバーに貼り付けてある電気回路図を参照してください。

(2) 電装ボックス内のコントロール基板にある2Pコネクタ(HU1(CN79)赤)に電磁弁コードの2Pソケット(赤)を接続してください。

(3) ヒューミディスタット（現地手配、二位置制御用）を使用する場合には、電磁弁コードの片線のみをカットし、付属の閉端接続子2ヶを使用して結線してください。（図-5参照）

この際の結線処理は、必ず電装ボックス内で行ってください。

(注) 電気配線は誤配線のないように接続してください。

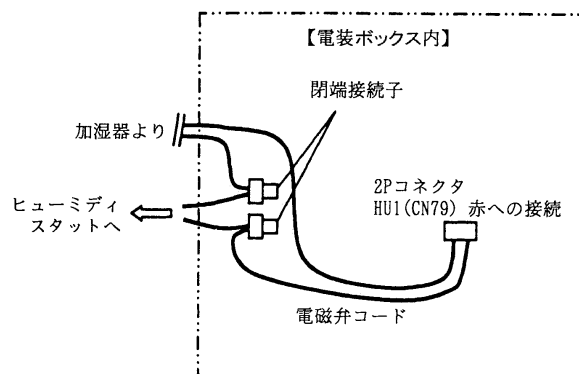


図-5 ヒューミディスタット使用時

⚠ 付属の運転用短絡コネクタについて

加湿器の運転に合わせて、ドレンアップキット（別売品）を使用する場合には、付属の運転用短絡コネクタを必ず接続してください。

室内ユニットがT・N・U形／H1・J1形の場合はCN36（3P・黒）を、A・B形／K1形の場合はCN70（2P・白）を使用します。

（このコネクタを短絡しないと、ドレンアップキットを取り付けても排水運転を行わないため水漏れを起こします。）

(4) 配線作業終了後は、電装ボックスカバーを元通り取り付けてください。

バリアゾーンシステム (140形専用)

据付・電気工事担当のかたへ

- 本説明書は、ハリアゾーンシステムに使用するオプション品の組立、及び据付・電気工事用のものです。
- 工事に際しては、室内・外ユニットに付属する『据付工事担当のかたへ』、『電気工事担当のかたへ』と、室外ユニットに付属する『試運転担当のかたへ』の説明書を必ず参照してください。

安全上のご注意

- 据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実にこなしてください。
- ここに示した注意事項は、「 警告」、「 注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。



警告 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。



注意 取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合、及び物的損害のみの発生が想定される場合。



警告

- 据付は、お買い上げの販売店又は専門業者に依頼してください。
ご自分で据え付け工事をされ不備があると、冷媒漏れの原因になります。
- 小部屋等へ据え付ける場合は、万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策が必要です。
限界濃度を超えない対策については、販売店と相談して据え付けてください。
万一、冷媒が漏洩して限界濃度を超えると、酸欠事故の原因になります。
- 据え付けは、重量に十分耐える所に確実にこなしてください。
強度が不足している場合は、ユニットの落下により、けがの原因になります。
- 地震に備え所定の据付工事を行ってください。
据付工事に不備があると、落下などによる事故の原因になります。
- 作業中に冷媒ガスが漏れた場合は換気をしてください。
- 冷媒ガスが火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
- 設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認してください。
冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒータ、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

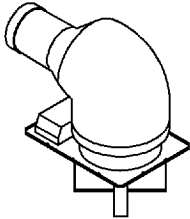
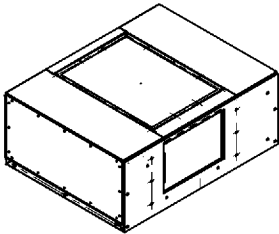
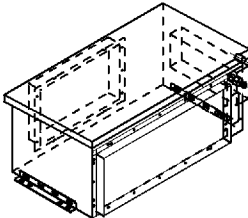
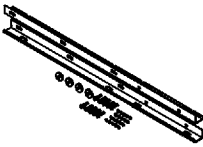
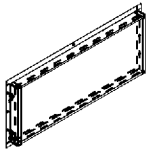


注意

- 可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わないでください。
万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。
- 冷媒配管の断熱は、「据付工事担当のかたへ」に従って確実に断熱してください。
断熱しないと、水漏れや、やけどの原因になることがあります。
- 板金には絶対穴あけや溶接はしないでください。
- カバーの天面に物を置いたり、乗ったりしないでください。

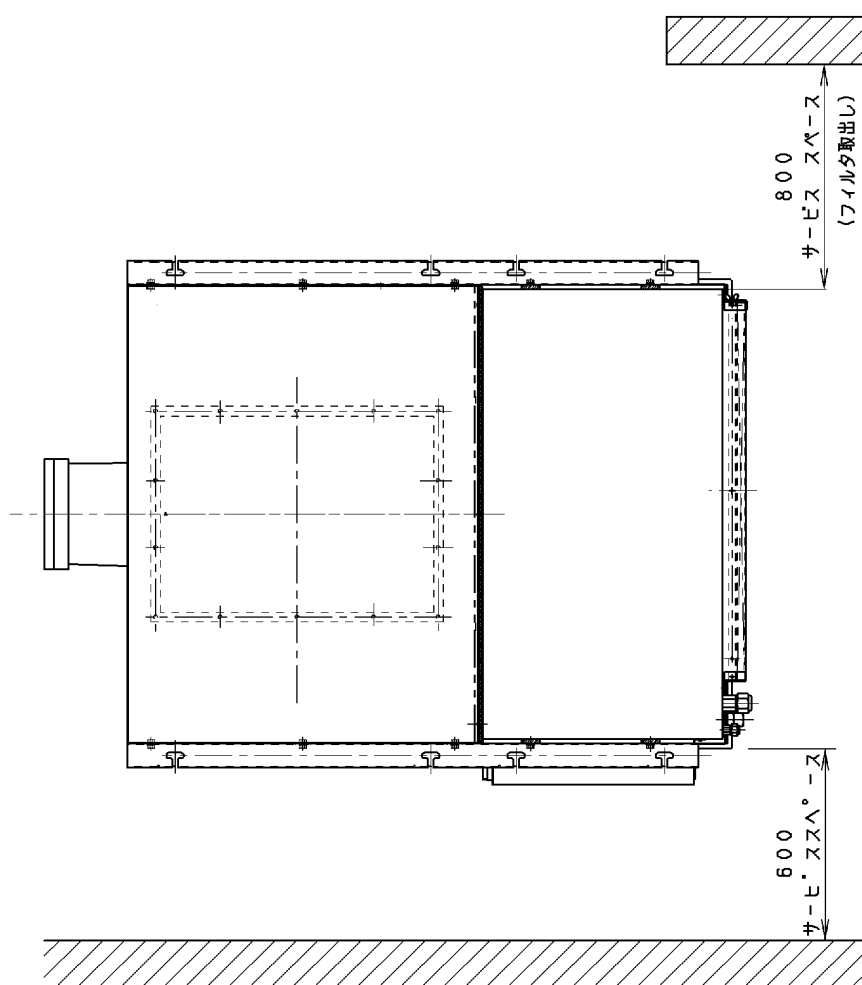
1. 必要オプション品と現地手配品

● 各オプション品の付属品をご確認ください。

オプション名 品 番	形 状	備 考
吹出口ユニット FY-20XGR		現地手配品 松下精工製 付属品 裏板金具 M6ボルト (14本) ワイヤレスリモコン
吹出口チャンハ" SGP-CMB140J		オプション品 付属品 側面用断熱材 (2枚) M4×2.5ビス (6本) SPワッシャ (6コ) 平ワッシャ (6コ) M4タッピン (20本) 風速変換用中継コネクター
天井埋込形室内ユニット S-G140ES1		現地手配品
吊り金具セット SGP-ATK140J		オプション品 付属品 スペーサー (4コ) M8ボルト (10本) SPワッシャ (10本) 平ワッシャ (10本)
吸込口クリル SGP-GRL140J		オプション品 付属品 フィルタセット済み

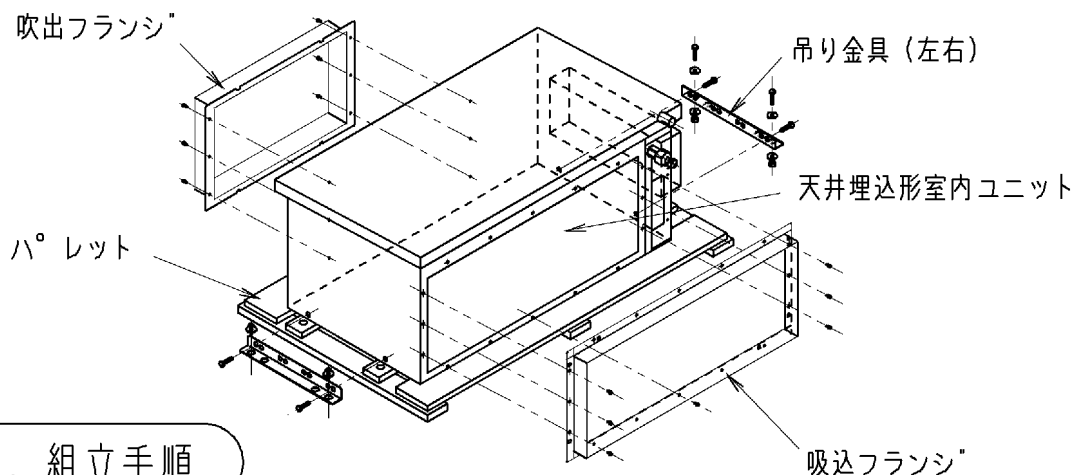
2. 据付場所の選定

- ① 本システムは“ 高圧ガス保安法 ” “ 冷凍保安規則 ” 及び高圧ガス保安協会制定の“ 冷凍空調装置の施設基準 ” を満たすように設置してください。
- ② 本システムは必ず水平な場所へ、水平に設置してください。



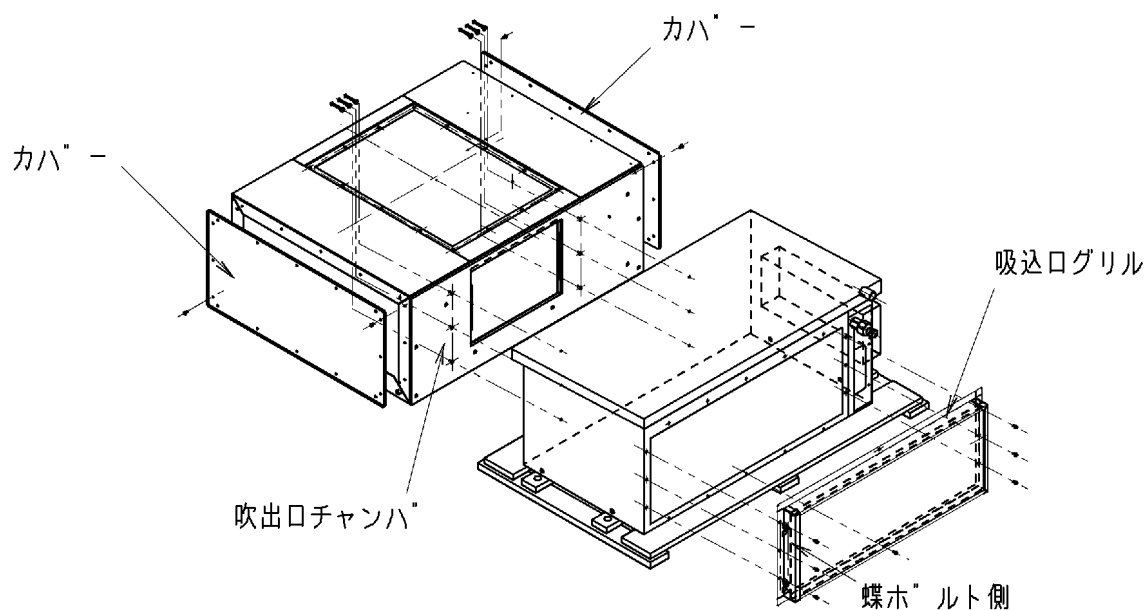
3. 組立前の準備

- ① 天井埋込形室内ユニット（現地手配）の吸込フランシ[※]と吹出フランシ[※]をはずしてください。（M4ヒ[※]ス）
- ② パレット（木台）に本体を固定している、ヒ[※]ス・ホ[※]ルト・ナットをはずしてください。
- ③ 本体に固定する吊り金具用ホ[※]ルト（M8）をはずし、吊り金具をはずしてください。



4. 組立手順

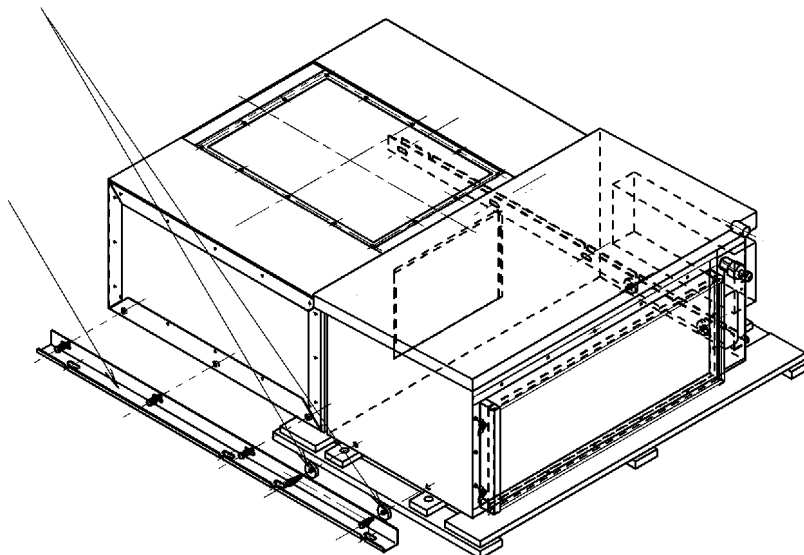
- ① 吸込口[※]リル（オフ[※]ション品）と、吹出口チャンハ[※]（オフ[※]ション品）を用意してください。
- ① 吸込フランシ[※]固定に使用していたヒ[※]スを使用し、吸込グリルを固定してください。（M4ヒ[※]ス）
- ③ 吹出口チャンハ[※]左右のカハ[※]ー（ヒ[※]ス各2）をはずしてください。
- ④ 吹出口チャンハ[※]に付属している（M4ヒ[※]ス L=25）に、スフ[※]リンク[※]ワッシャと平ワッシャ大をセットしてください。
- ⑤ 吹出フランシ[※]固定に使用していた取付穴に、吹出口チャンハ[※]の取付穴を合わせ、上記のセットヒ[※]ス（6本）でチャンハ[※]内部から固定をしてください。



- ⑥ 吊り金具セットを用意してください。(オプション品)
- ⑦ 室内ユニット吊り金具取付穴に 付属のスぺーサ (左右各2コ) をセットし、付属のワッシャ (2種類) をセットしてM8ボルト (左右各5本) で、オプションの吊り金具を固定してください。

スぺーサ (左右各2コ)

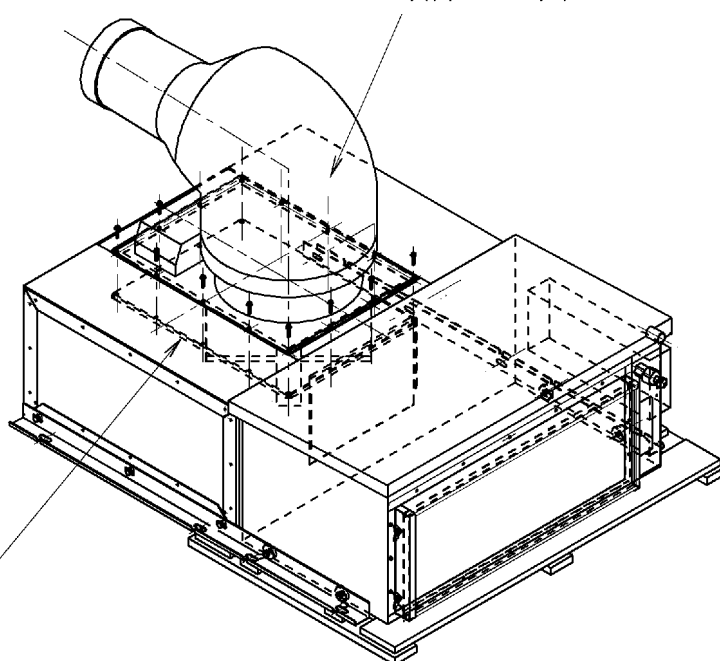
吊り金具 (左右)



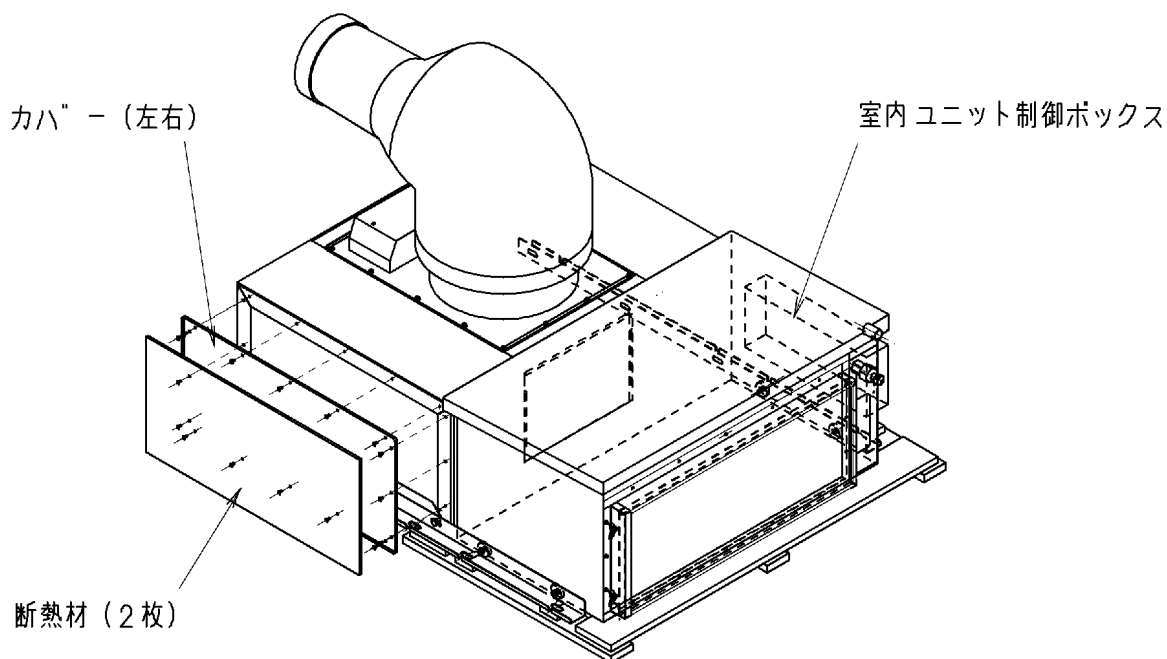
- ⑧ 吹出口ユニット (現地手配品) を用意してください。
- ⑨ 吹出口チャンハの内部に上記ユニットに付属する裏板金具を入れ、付属のM6ボルト (14本) でユニット取付穴とチャンハ取付穴を貫通させ、裏板金具のナット部で固定をしてください。

吹出口ユニット

裏板金具



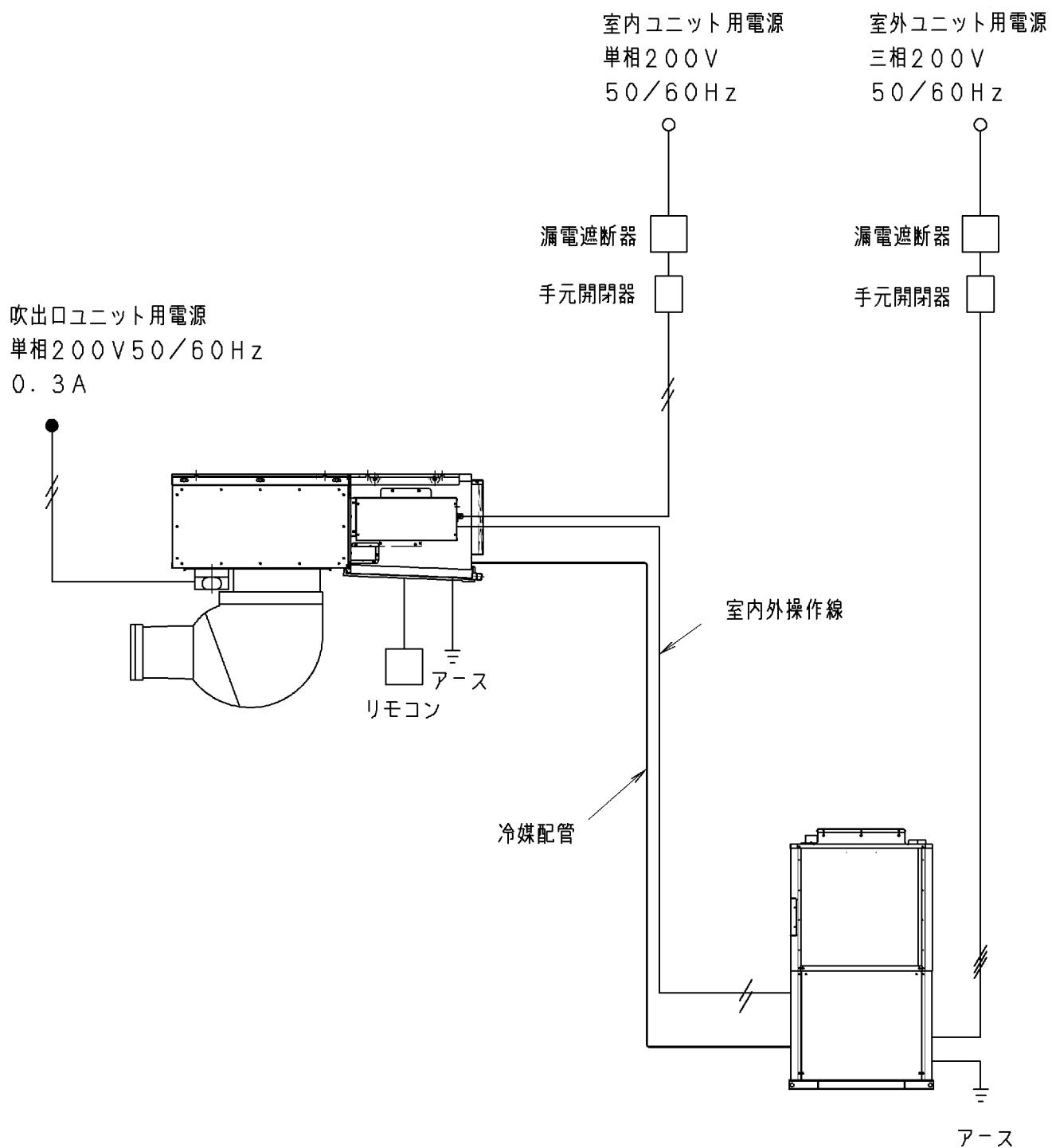
- ⑩ 吹出口チャンハ" の左右側面に、③ ではずしたカハ" - を付属のヒ" ス (左右各16本) で取付けてください。
- ⑪ 左右側面のカバーに、付属の側面用断熱材を貼付けてください。



- ⑫ 脚立やリフトを用意して、組み上がったユニットを反転させ乗せてください。
- ⑬ 現地手配にて吊りボ" ルト (M10又は3/8") 8本、平ワッシャ16コ、ナット16コを用意してください。
- ⑭ 吊り金具の上下にナットと平ワッシャを使用し、上記吊りボ" ルトでしっかりと固定をしてください。
- ⑮ 室内ユニット制御ボックスのカバーをはずし、ファンモーター用 (9P白) コネクターを取出してください。
- ⑯ 上記コネクターをはずし、付属の風速変換用中継コネクターを間に入れてください。
- ⑰ コネクターを制御ボックスの中に収納し、カハ" - を取付けてください。
- ⑱ 室内・外ユニットに付属する『据付工事担当の かたへ』に従い、冷媒配管・ト" レン配管を行ってください。

4. 電気工事担当のかたへ

- 室内・外ユニットに付属する『電気工事担当のかたへ』に従い、電気配線工事を行ってください。



5. 使用上のご注意

- ハリアゾーンシステムとは、人が活動する範囲に焦点を当てたゾーン空調方式です。
- 特徴は、『冷房運転』時に『強い風』をプラスして体感温度を下げるというもので、『冷房』において効果を発揮するものです。
- 『暖房運転』では『強い風』が当たると不快感を感じる場合があります。
その場合は吹出口ユニットのノズルの向きを、人に直接風が当たらない方向（例えば床面方向）に固定する等の、ご指導をお使いになる方へ行ってください。

(8) 天井吊形 (T 1 形)

高性能フィルター (比色法 65%)

(CZ-56MFT、CZ-80MFT、CZ-160MFT)

■高性能フィルター (比色法65%) 仕様

名 称			高性能フィルター（比色法65%）					
品 番			CZ-56MFT		CZ-80MFT	CZ-160MFT		
適用機種			36・45形	56形	71・80・90形	112形	140形	160形
初期風量	m ³ /min		12.0	12.7	19.8	28.6	31.5	31.5
最終風量	m ³ /min		8.5	9.8	10.7	16.2	17.3	17.3
初期圧損	Pa		17.6	19.1	22.2	22.4	25.7	25.7
最終圧損	Pa		59.7	73.5	65.0	70.5	97.7	97.7
フィルター寿命	時間		2300	2300	2000	2100	2200	2200
平均効率			比色法 65%（JIS 11種）					
使用濾材			ポリオレフィン系帯電繊維					
フィルター 外形寸法	幅	mm	(373×2)		(508×2)	(716×2)		
	奥行	mm	257					
	厚み	mm	30					
	質量	kg	0.7		0.9	1.3		
フィルター チャンパー	品番		CZ-56FBCT		CZ-80FBCT	CZ-160FBCT		
	厚み	mm	45					
	質量	kg	2.3		3	3.3		

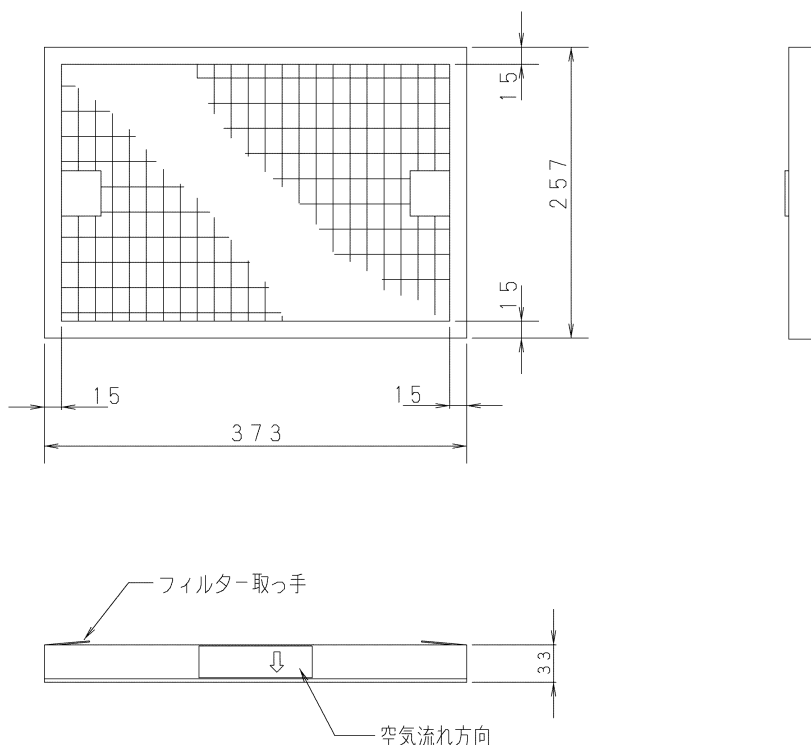
注記

- (1) 高性能フィルターを組み込むと風量がダウンして、弱風運転の場合は保護装置が作動する恐れがあります。
これを防止するため、チャンバー付属の据付工事説明書に従い、ファンタップ変更を必ず行なってください。
- (2) フィルター寿命は、塵埃濃度0.15mg/m³ (ビル管理法規制値) で算出した値を示します。(ダストJIS15種)
フィルター寿命は、現場条件により異なりますのでご注意ください。
- (3) 高性能フィルターを組み込む場合は、フィルターチャンバーが必要ですのご用意ください。
- (4) 吸込グリル付属のエアフィルターは、プレフィルターとしてそのまま使用します。
- (5) 風量・圧損・寿命は、急風時 (ファンタップ変更後) の値を示します。

■外形寸法図

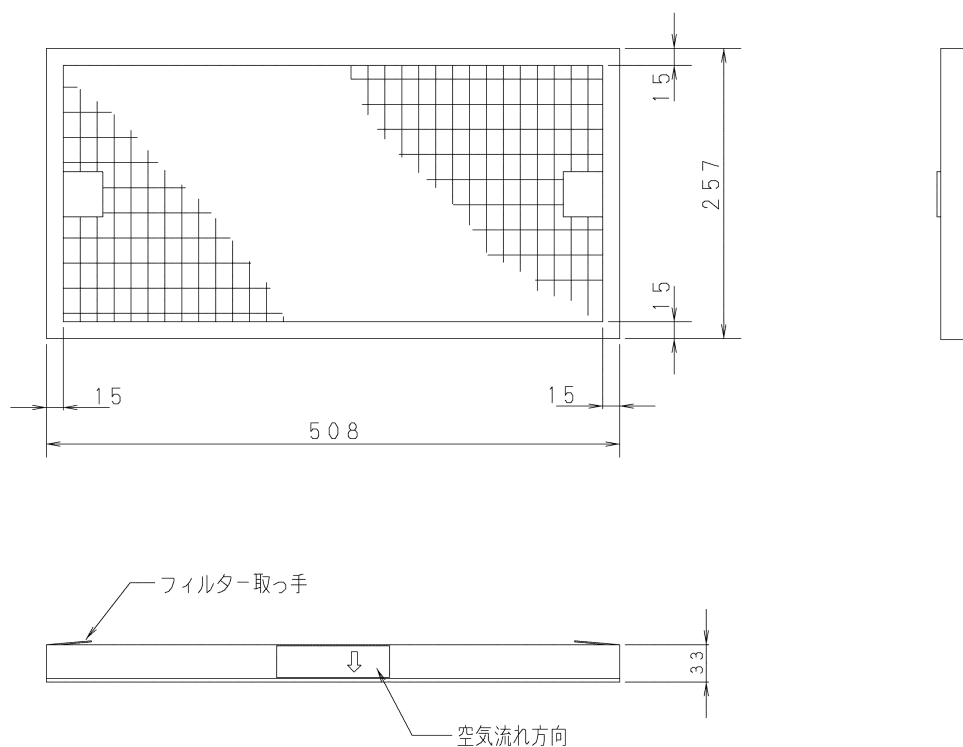
■CZ-56MFT

適用機種	個数
36～56形	2



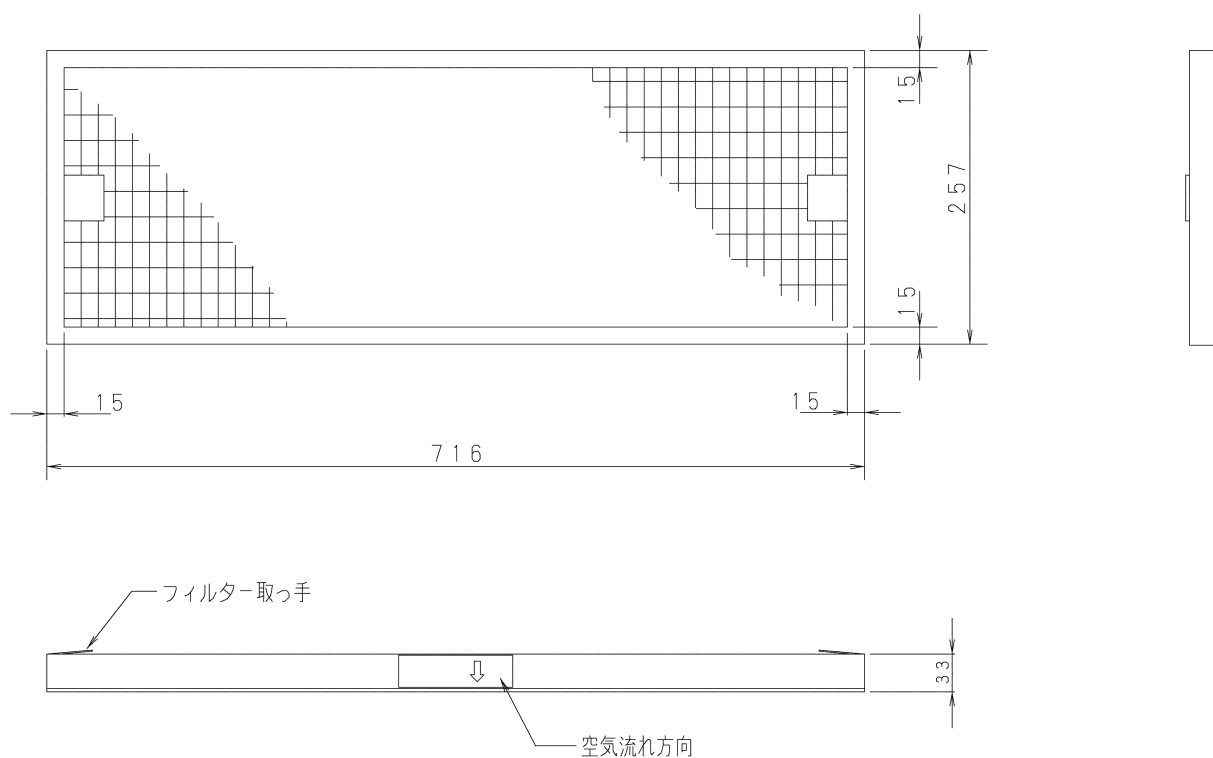
■CZ-80MFT

適用機種	個数
71~90形	2



■CZ-160MFT

適用機種	個数
112~160形	2



超ロングライフフィルター（質量法40%）
（CZ-56LFT、CZ-80LFT、CZ-160LFT）

■超ロングライフフィルター（質量法40%）仕様

名 称			超ロングライフフィルター（質量法40%）					
品 番			CZ-56LFT		CZ-80LFT		CZ-160LFT	
適用機種			36・45形	56形	71・80・90形	112形	140形	160形
初期風量	m ³ /min		14.2	14.8	22.0	29.6	32.7	33.3
最終風量	m ³ /min		9.3	10.2	11.0	16.4	17.5	17.5
初期圧損	Pa		4.9	5.2	10.8	10.7	14.1	14.9
最終圧損	Pa		36.8	38.7	51.4	53.4	71.3	76.1
フィルター寿命	時間		5000	5000	5000	5100	5000	5000
平均効率			質量法 40%（JIS 15種）					
使用濾材			PPハニカム（防カビ仕様）					
フィルター 外形寸法	幅	mm	(373×2)		(508×2)		(716×2)	
	奥行	mm	257					
	厚み	mm	30					
	質量	kg	1.1		1.4		1.8	
フィルター チャンバー	品番		CZ-56FBCT		CZ-80FBCT		CZ-160FBCT	
	厚み	mm	45					
	質量	kg	2.3		3		3.3	

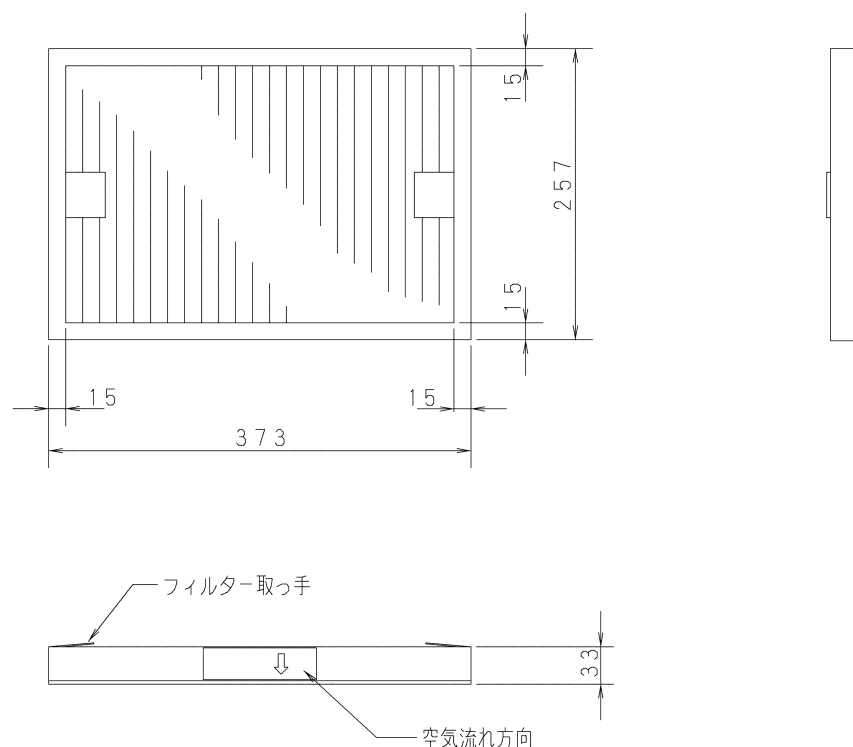
注記

- (1) 超ロングライフフィルターを組み込むと風量がダウンして、弱風運転の場合は保護装置が作動する恐れがあります。
これを防止するため、チャンバー付属の据付工事説明書に従い、ファンタップ変更を必ず行なってください。
- (2) フィルター寿命は、塵埃濃度0.15mg/m³（ビル管理法規制値）で算出した値を示します。（ダストJIS15種）
フィルター寿命は、現場条件により異なりますのでご注意ください。
- (3) 超ロングライフフィルターを組み込む場合は、別売品のフィルターチャンバーが必要です。ご用意ください。
- (4) 吸込グリル付属のエアフィルターは、取り外してご使用ください。
- (5) 風量・圧損・寿命は、急風時（ファンタップ変更後）の値を示します。

■外形寸法図

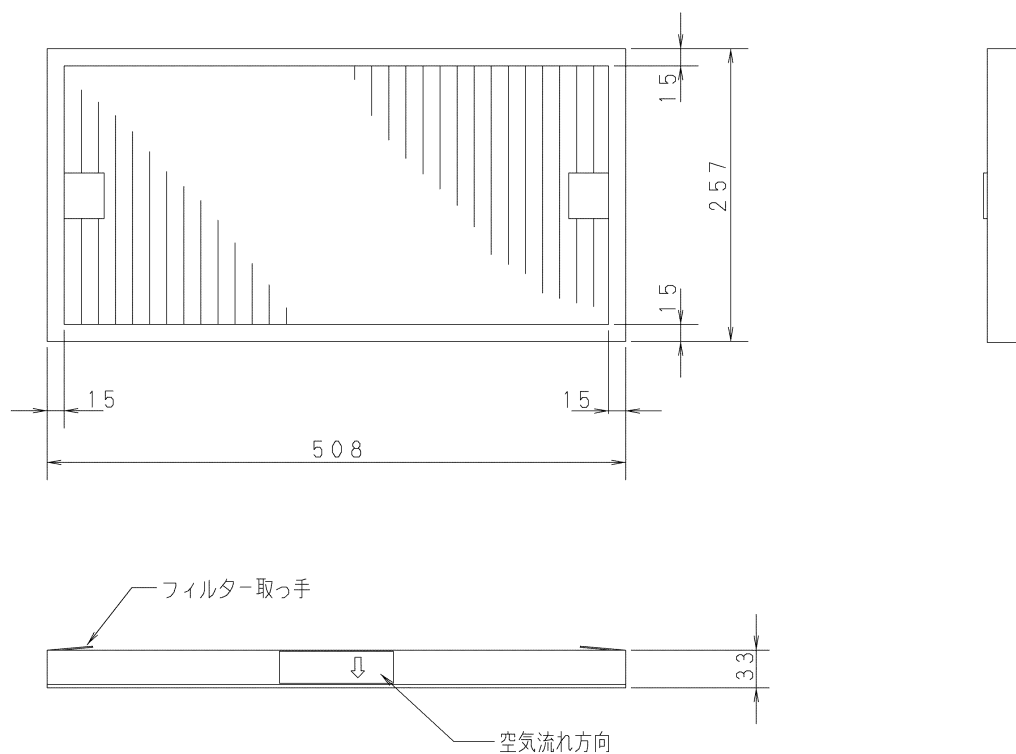
■CZ-56LFT

適用機種	個数
36～56形	2



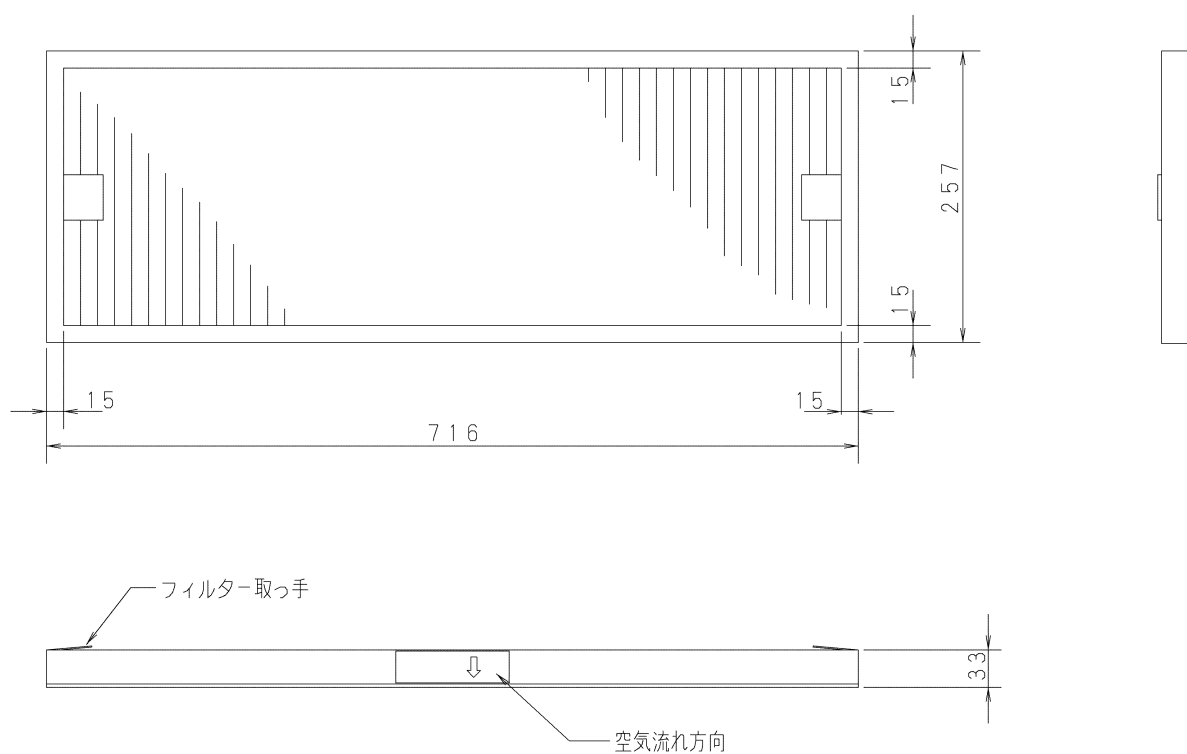
■ CZ-80LFT

適用機種	個数
71~80 形	2



■ CZ-160LFT

適用機種	個数
112~160 形	2



取付説明書 高性能フィルター・超ロングライフフィルター

品番	CZ-56MFT	CZ-80MFT	CZ-160MFT
	CZ-56LFT	CZ-80LFT	CZ-160LFT

適用室内ユニット 天井吊形

- 取付説明書とフィルターチャンバーの据付説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。
- 特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
- 取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに「取付説明書」にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、「取付説明書」は、室内ユニットの「取扱説明書」、「据付工事説明書」と共に、お客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人へ危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



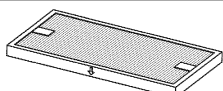
注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

ご注意

別売フィルターを使用する場合は、フィルターチャンバーに付属の取付説明書に従い、DCファンタップの設定変更を行ってください。
(行わない場合は、風量減少・露付により水漏れし、家財等を濡らす原因となります。)

□ 取り付け前の準備

高性能フィルターまたは超ロングライフフィルター	取付説明書
 2個 ● 高性能フィルターは使い捨てです。 ● 方向性がありますので注意してください。	1枚(本紙) (付属品)

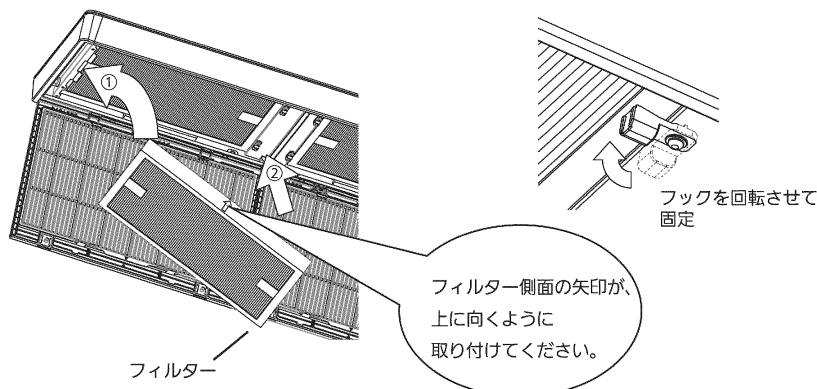
- 各フィルターとフィルターチャンバーの組合せは下記の通りですので、ご確認ください。

高性能フィルター (比色法65%)	超ロングライフフィルター	フィルターチャンバー (別売品)
CZ-56MFT	CZ-56LFT	CZ-56FBCT
CZ-80MFT	CZ-80LFT	CZ-80FBCT
CZ-160MFT	CZ-160LFT	CZ-160FBCT

□ 取り付けかた

1. 各フィルターの取り付けかた

各フィルターを下図のように取り付け、フックを回転させて固定してください。



□ 取り付けかた(つづき)

2. 超ロングライフフィルターをご使用の場合

超ロングライフフィルターをご使用の場合には、吸込グリルに取り付けてあるエアフィルターを取りはずしてご使用ください。

3. 詳細設定

超ロングライフフィルターを取り付ける場合には、フィルターサイン点灯時間設定を変更してください。

DCファンタップの設定変更方法は、フィルターチャンパーに付属の据付工事説明書をご覧ください。

表1 フィルターサイン点灯時間設定表

リモコンの設定データ 項目コード 72	使用用途 / 別売品名称
0008 (出荷時設定値)	エアフィルター(標準)・高性能フィルター(比色法65%)
0050	超ロングライフフィルター

(1) ワイヤードリモコンで設定する場合(別売品: CZ-10RT4C)

ご使用の用途、別売品に応じた「項目コード72の設定データ」を表1で確認してください。

〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。

① **戻る** + **決定** + **戻る** ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。

② **上** / **下** ボタンで選択、**左** / **右** ボタンでページが切り替わります。

「8. 詳細設定」を選択し、**決定** ボタンを押してください。

「詳細設定画面」が表示されます。

③ **上** / **下** ボタンで変更するユニットNoを選択してください。

④ **左** / **右** ボタンで項目コードを選択してください。

⑤ **上** / **下** ボタンで項目コードを「72」に変更してください。

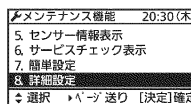
⑥ **左** / **右** ボタンで設定データを選択してください。

⑦ **上** / **下** ボタンで設定データを表1で確認した値に変更し、**決定** ボタンを押してください。

⑧ **上** / **下** ボタンでユニットNoを選択後、**戻る** ボタンを押してください。

「詳細設定終了画面」が表示されます。

「はい」を選択し、**決定** ボタンを押してください。



(2) ワイヤードリモコンで設定する場合(別売品: CZ-10RT3/CZ-10RT3A)

ご使用の用途、別売品に応じた「項目コード72の設定データ」を表1で確認してください。

〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。

① **点検** + **セット** + **取消** ボタンを同時に4秒間以上押します。

② **ユニット選択** ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニットNoを順次表示します。

このとき、選択されている室内ユニットのみファンモーターが運転します。

③ **温度設定** **上** / **下** ボタンで項目コード「72」を指定します。

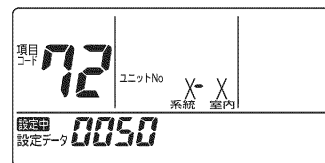
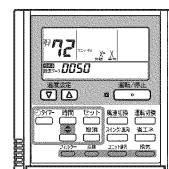
④ **時間** **上** / **下** ボタンで設定データを変更します。設定データの内容は表1のようになっています。

⑤ **セット** ボタンを押します。(表示が点滅から点灯に変わればOK)

⑥ **点検** ボタンを押します。通常の停止状態になります。

選択している室内ユニットを変更したい場合は②へ

⑦ **点検** ボタンを押します。通常の停止状態になります。



□ フィルター清掃および交換時期について

- リモコンにフィルターサインが表示されたときは、フィルターの清掃または交換時期です。

○ 高性能フィルターの場合

吸込グリルに取り付けてあるエアフィルターの清掃を行い、フィルターサインをリセットしてください。

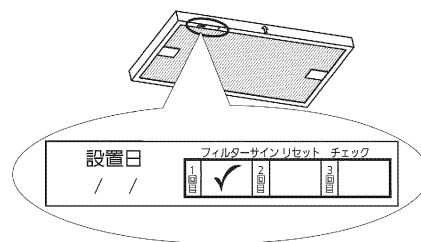
高性能フィルターについているラベルにチェックをいれて、フィルターの交換時期を忘れないようにすることをおすすめいたします。

また、3回目のフィルターサイン点灯時は、高性能フィルターの交換もしてください。

○ 超ロングライフフィルターの場合

超ロングライフフィルターの清掃を行い、フィルターサインをリセットしてください。

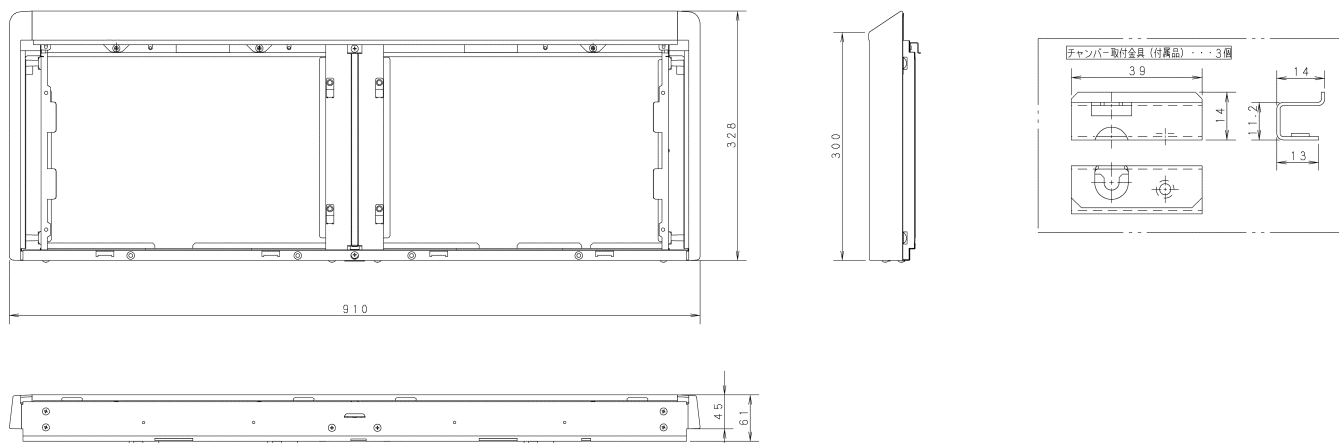
※フィルターサインのリセット方法は、室内ユニットに付属の取扱説明書をご覧ください。



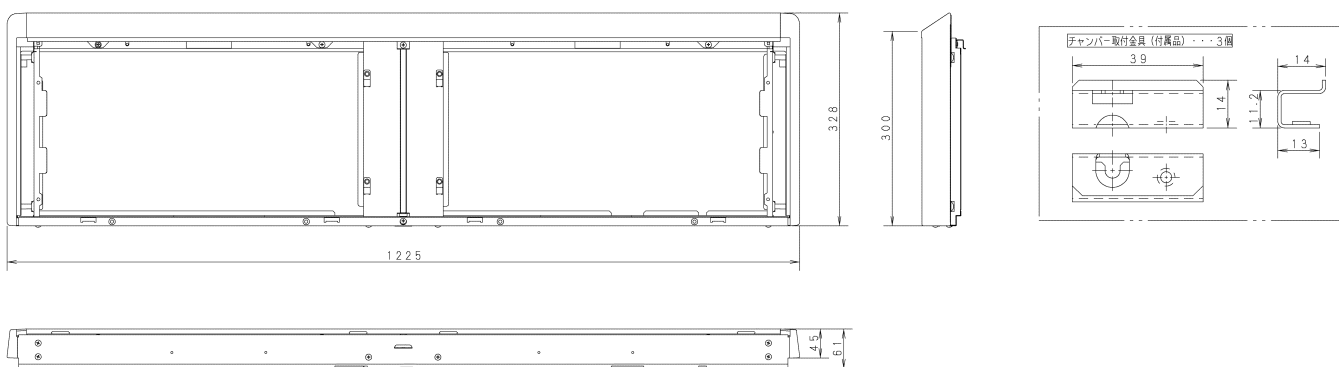
フィルターチャンパー

■外形寸法図

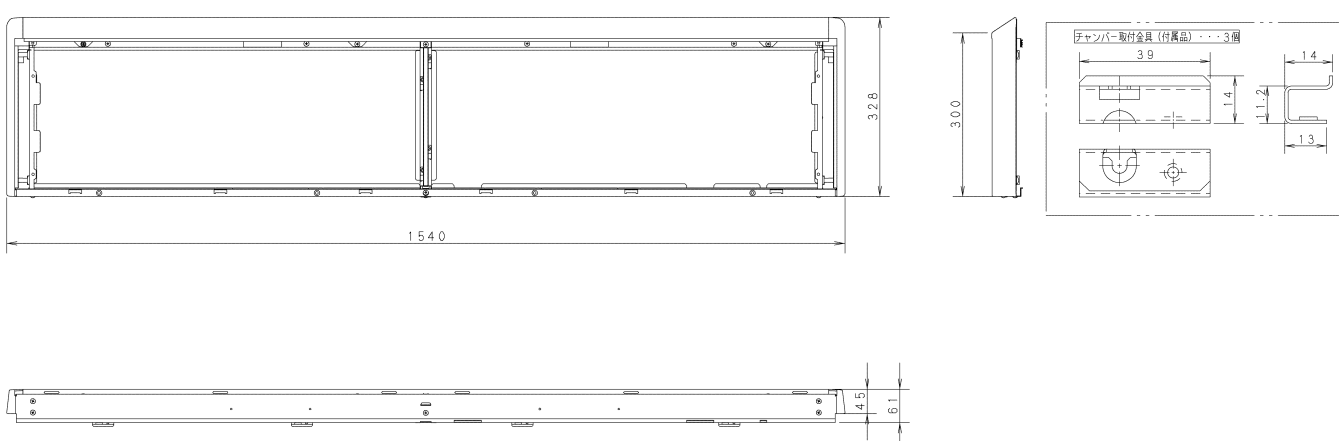
■CZ-56FBCT



■CZ-80FBCT



■CZ-160FBCT



据付工事説明書 フィルターチャンバー

品番 CZ-56FBCT CZ-80FBCT CZ-160FBCT

適用室内ユニット 天井吊形

- 据付工事説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。
- 特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに「据付工事説明書」にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、「据付工事説明書」は、室内ユニットの「取扱説明書」、「据付工事説明書」と共に、お客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

人へ危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

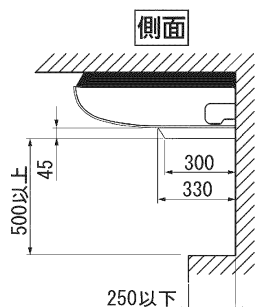
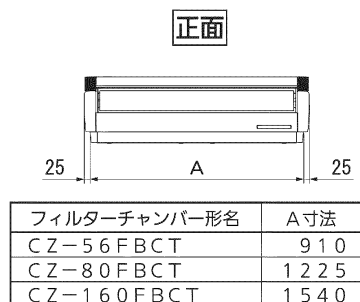
ご注意

フィルターチャンバーは、室内ユニット本体の据付作業完了後に取り付けてください。
試運転により、振動やビビリ音等の異常音がないことを確認してください。
別売フィルターは、他の別売フィルターとの併用はできません。

□ 付属品

フィルターチャンバー本体	取付金具	取付ネジ	短絡コネクタ	据付工事説明書
	 56形： 3個 80形： 3個 160形： 4個	(M4×L10) 56形： 7本 80形： 7本 160形： 8本		1 枚(本紙)

□ フィルターチャンバー取付図



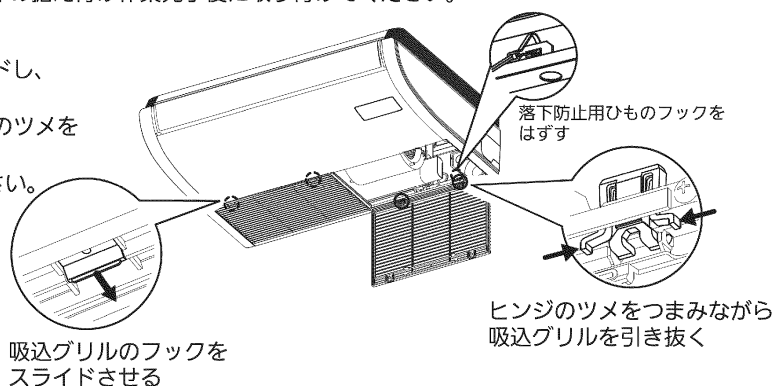
※吸込口の下側に障害物がある場合は、左図寸法を守ってください。

□ 取り付けかた

- フィルターチャンバーは、室内ユニット本体の据え付け作業完了後に取り付けてください。

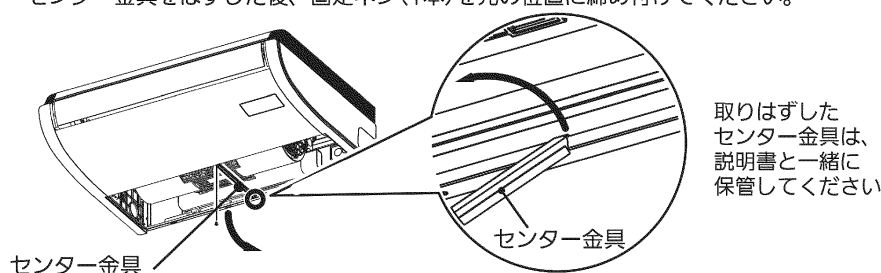
1. 吸込グリル取りはずし

吸込グリルのフックを矢印方向にスライドし、吸込グリルを開いてください。
吸込グリルを開いた状態で、後部ヒンジのツメを押して吸込グリルを引き抜いてください。
落下防止用ひものフックをはずしてください。



2. 室内ユニットのセンター金具の取りはずし

室内ユニット中央部のセンター金具固定ネジ(1本)をはずし、センター金具をはずしてください。
センター金具をはずした後、固定ネジ(1本)を元の位置に締め付けてください。



3. DCファンタップの設定

別売フィルターを取り付ける場合、ワイヤードリモコンまたは室内コントロール基板(付属の短絡コネクタ使用)からDCファンタップの設定を変更します。

※設定変更を行わないと、風量減少・露付の原因となります。

ワイヤードリモコンから設定する場合(推奨)

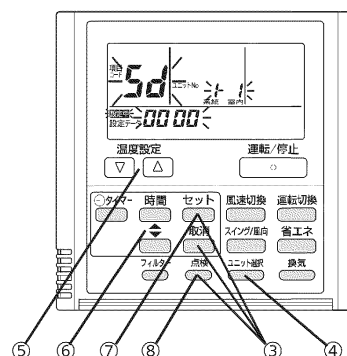
- ① この設定は運転停止中に行ってください。
- ② ご使用になるフィルターによって設定値が異なります。設定は表1をご確認ください。

表1 DCファンタップ設定表

リモコンの設定データ 項目コード 5d または 5D	使用用途 / 別売品名称
0000	標準 (出荷設定)
0001	超ロングライフフィルター
0003	高性能フィルター (比色法65%)

● ワイヤードリモコン CZ-10RT3 または CZ-10RT3A で設定する場合

- ③ 点検 + 取消 + セット ボタンを同時に4秒以上押します。
- ④ ユニット選択 ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニットNo を順次表示します。このとき、選択されている室内ユニットのみファンモーターが運転します。
- ⑤ 温度設定 ▽ / △ ボタンで項目コード「5d」を指定します。
- ⑥ 時間 設定 ボタンで設定データを変更します。
設定データの内容は表1のようになっています。
- ⑦ セット ボタンを押します。(表示が点滅から点灯に変わればOK)
選択している室内ユニットを変更したい場合は④へ
- ⑧ 点検 ボタンを押します。通常の停止状態になります。

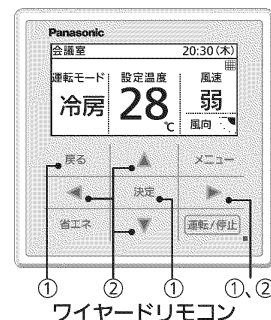
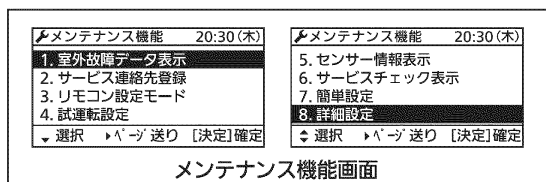


3. DCファンタップの設定 (つづき)

● ワイヤードリモコン CZ-10RT4シリーズ で設定する場合

メンテナンス機能画面の表示(ユニットが停止中に行ってください。)

- ① 戻る + 決定 + 省エネ ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。
- ② 上下 / 左右 ボタンで選択、左右 / 上下 ボタンでページが切り替わります。
必要な機能のページを表示し、選択してください。

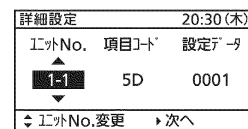


詳細設定方法 (ユニットが停止中に行ってください。)

- 上下 / 左右 ボタンで8.詳細設定を選択し、決定 ボタンを押してください。詳細設定画面が表示されます。
- 左右 / 上下 ボタンでユニットNo./項目コード/設定データの選択を切り替えてください。

【ファン風速設定方法の例】

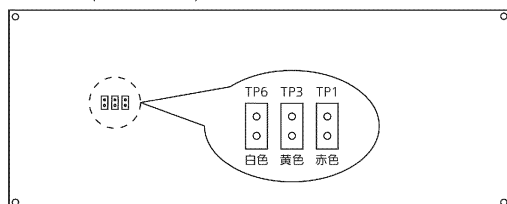
- 上下 / 左右 ボタンでユニットNo./設定するユニット/項目コード:5D/設定データを選択し、決定 ボタンを押してください。続けて別の系統を設定する場合はユニットNo.を変更し、決定 ボタンを押してください。
- 戻る ボタンを押し、再起動: “はい” を選択し、決定 ボタンを押してください。



室内コントロール基板から設定する場合

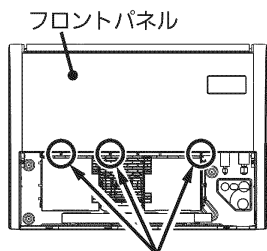
- ① 漏電しゃ断器をOFFにして、基板への電源供給を停止してください。
- ② 電装ボックスの蓋を開き、室内コントロール基板を確認してください。
- ③ ご使用される別売フィルターの種類ごとに、付属の短絡コネクタ (2P:黄色) を室内コントロール基板に接続してください。

- 超ロングライフフィルターをご使用の場合 : TP1 (2P 赤色) に接続
- 高性能フィルター(比色法65%)をご使用の場合 : TP3 (2P 黄色) に接続

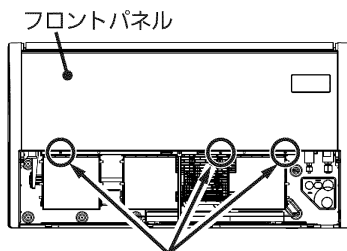


4. フィルターチャンバー取り付け準備

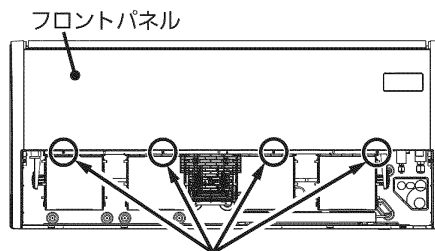
室内ユニットのフロントパネル固定ネジ(センターバー固定部を除く: 56・80形:3本、160形:4本)を5mm程度緩め、付属の取付金具(56・80形:3個、160形:4個)を緩めた固定ネジにスライドさせた後、固定ネジを締めこみ固定してください。



固定ネジ (5mm程度緩めて固定)
取付金具固定位置 (56形)

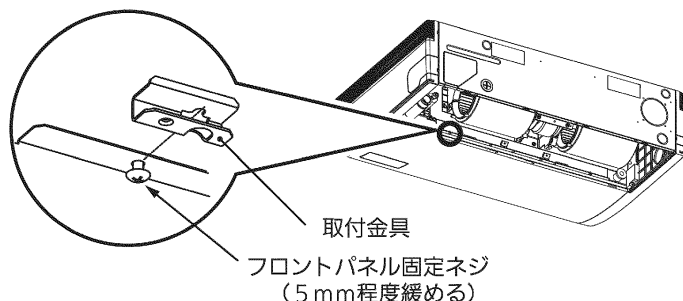


固定ネジ (5mm程度緩めて固定)
取付金具固定位置 (80形)



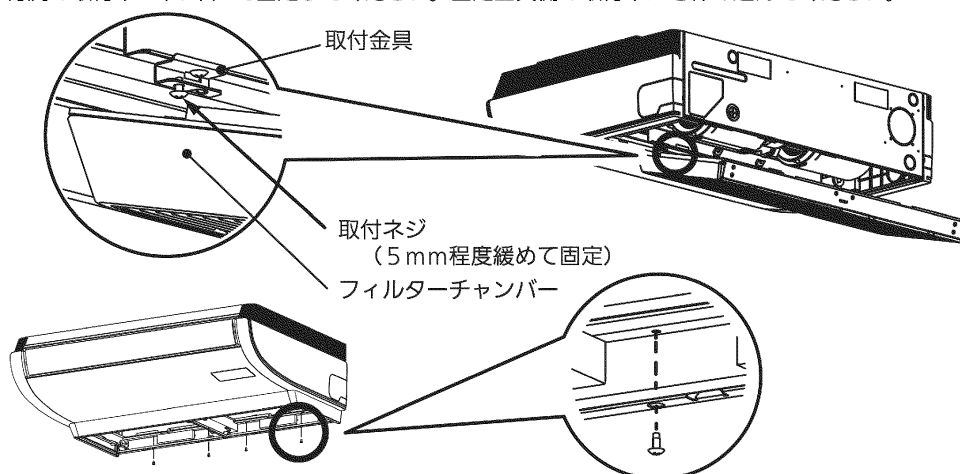
固定ネジ (5mm程度緩めて固定)
取付金具固定位置 (160形)

□ 取り付けかた (つづき)



5. フィルターチャンバー取り付け

4で室内ユニットに取り付けた取付金具に付属の取付ネジ(56・80形：3本、160形：4本)を5mm程度緩めて取り付けます。フィルターチャンバーを取り付けた付属の取付ネジに引掛けた後背面側を付属の取付ネジ(4本)で固定してください。固定金具側の取付ネジを締め込んでください。

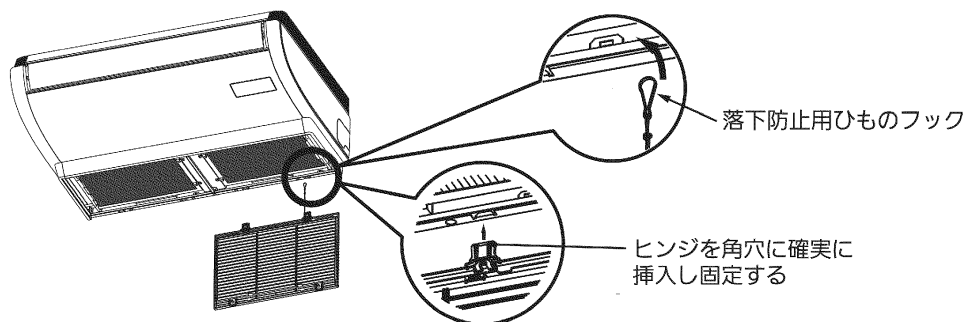


6. 別売フィルターの取り付け

別売フィルターの取り付けは、各フィルターに付属の取付説明書をご覧ください。

7. 吸込グリルの取り付け

1ではずした吸込グリルのヒンジをフィルターチャンバーの角穴に挿入して取り付けてください。吸込グリルの落下防止用ひものフックをフィルターチャンバーの角穴に固定してください。



注意

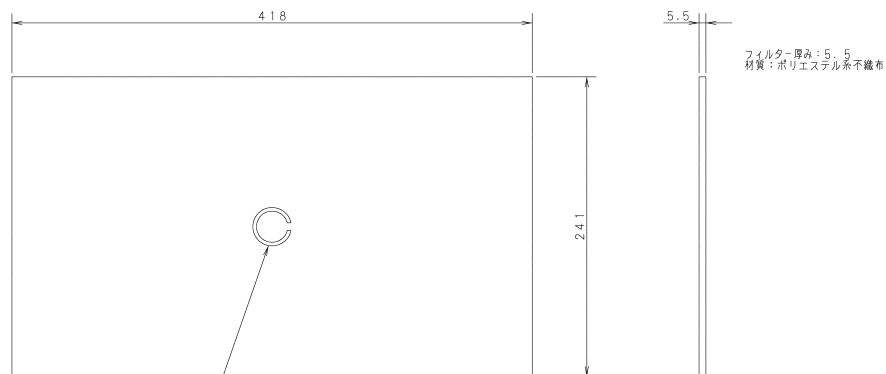
吸込グリルは室内ユニットに確実に取り付けること。
(取り付けが不完全な場合は、吸込グリルの落下により、けがの原因になります。)

オイルミストフィルター

■外形寸法図

■CZ-56FBT

適用機種	個数
36~56形	2

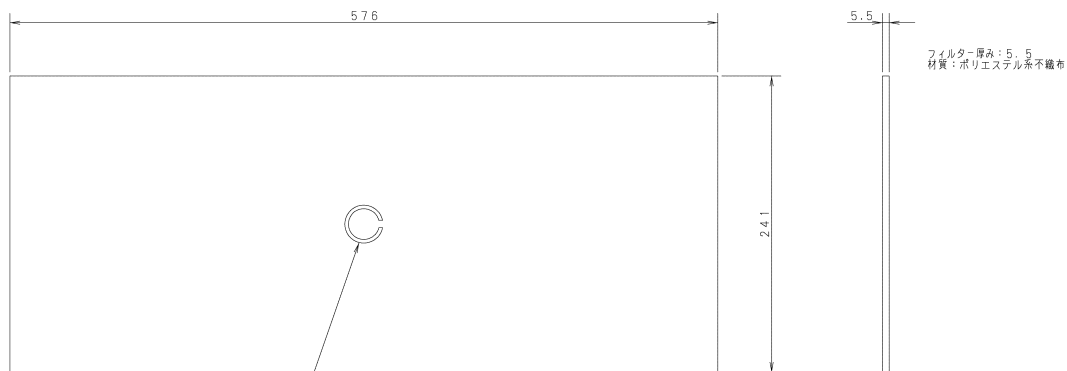


フィルター交換マーク

*フィルター中央部のフィルター交換マークが見えなくなったら、フィルター交換をお願いします。
*交換時期は使用環境により大きく異なりますが、約150時間（オイルミスト濃度2mg/m³）が目安です。

■CZ-80FBT

適用機種	個数
71~90形	2



フィルター交換マーク

*フィルター中央部のフィルター交換マークが見えなくなったら、フィルター交換をお願いします。
*交換時期は使用環境により大きく異なりますが、約150時間（オイルミスト濃度2mg/m³）が目安です。

■CZ-160FBT

適用機種	個数
112~160形	2



フィルター交換マーク

*フィルター中央部のフィルター交換マークが見えなくなったら、フィルター交換をお願いします。
*交換時期は使用環境により大きく異なりますが、約150時間（オイルミスト濃度2mg/m³）が目安です。

取付説明書 オイルミストフィルター

品番 CZ-56FBT CZ-80FBT CZ-160FBT

適用室内ユニット 天井吊形

- 取付説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。
- 特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
- 取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに「取付説明書」にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、「取付説明書」は、室内ユニットの「取扱説明書」、「据付工事説明書」と共に、お客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意 必ずお守りください

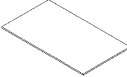
人へ危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

オイルミストフィルター	取付説明書
 50枚	1枚(本紙) (付属品)

※ オイルミストフィルターは室内ユニットの保護を目的とするもので、店内に発生する油煙を捕集するものではありません。

フィルター交換サインについて

オイルミストフィルターの中央部に黄色のマークがあります。(汚れではありません)
このマークが目立たなくなりましたら、オイルミストフィルターの交換をお願いします。

交換時期は使用環境により大きく異なりますが、およそ150時間(オイルミスト濃度: $2.0\text{mg}/\text{m}^3$)が目安です。

エアフィルターの掃除について、詳しくは本体の取扱説明書をご覧ください。

The diagram shows a rectangular oil mist filter. The width is labeled 'A' and the height is labeled '241'. A central yellow mark is labeled 'C'. A label 'オイルミストフィルター' (Oil Mist Filter) points to the rectangle.

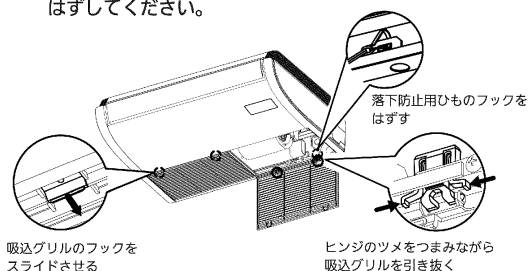
オイルミストフィルター形式	A寸法
CZ-56FBT	418
CZ-80FBT	576
CZ-160FBT	733

詳細設定について

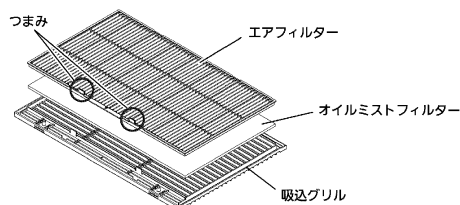
はじめてオイルミストフィルターをご使用になる場合は、室内ユニットのDCファンタップ設定変更が必要です。
詳細は、お買い上げの販売店または弊社窓口にご相談ください。

フィルターの取り付け方および交換のしかた

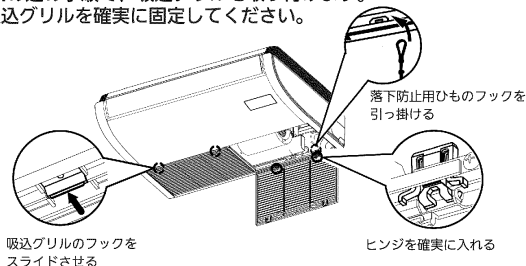
1. 吸込グリルのフックをスライドし、吸込グリルを開いてください。吸込グリル後部ヒンジのツメをつまみながら吸込グリルを引き抜いてください。落下防止用ひものフックをはずしてください。



2. エアフィルターのつまみを押し上げて、吸込グリルからはずしてください。吸込グリルのうえにオイルミストフィルターを置き、エアフィルターを取り付けます。オイルミストフィルターの黄色のマークが、吸込グリル側になるよう取り付けてください。



3. 1.の逆の手順で、吸込グリルを取り付けます。吸込グリルを確実に固定してください。



注意

- 吸込グリルは室内ユニットに確実に取り付ける。取り付けが不完全な場合は、吸込グリルの落下により、けがの原因になります。

お願い

ご使用済みのフィルターは可燃物として処理してください。

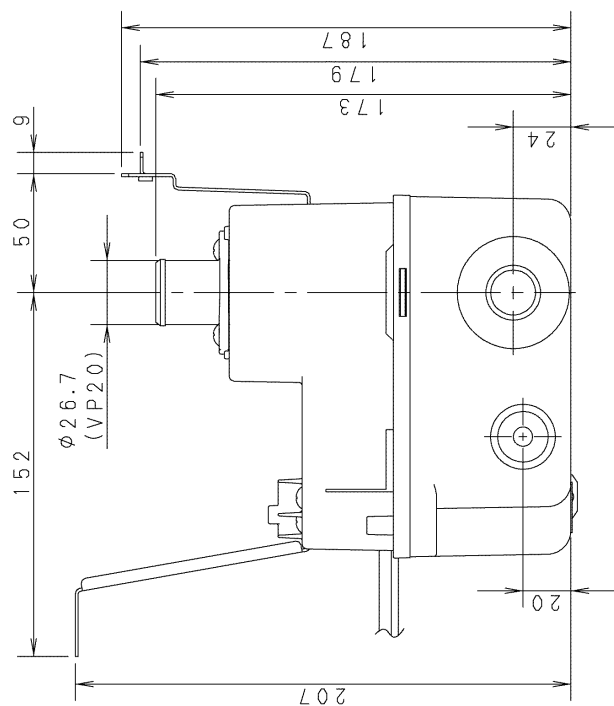
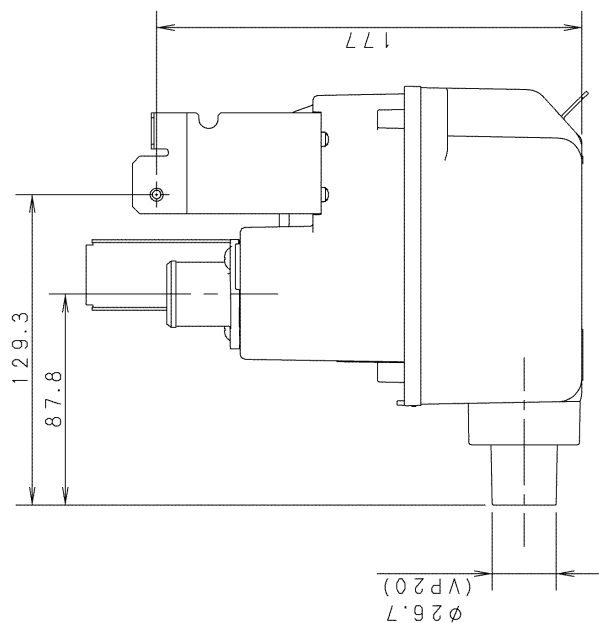
ドレンアップキット

■ドレンアップキット仕様

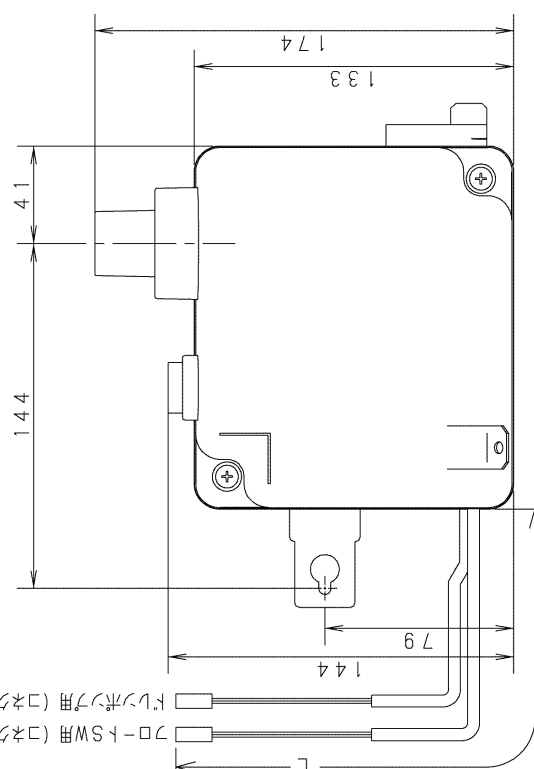
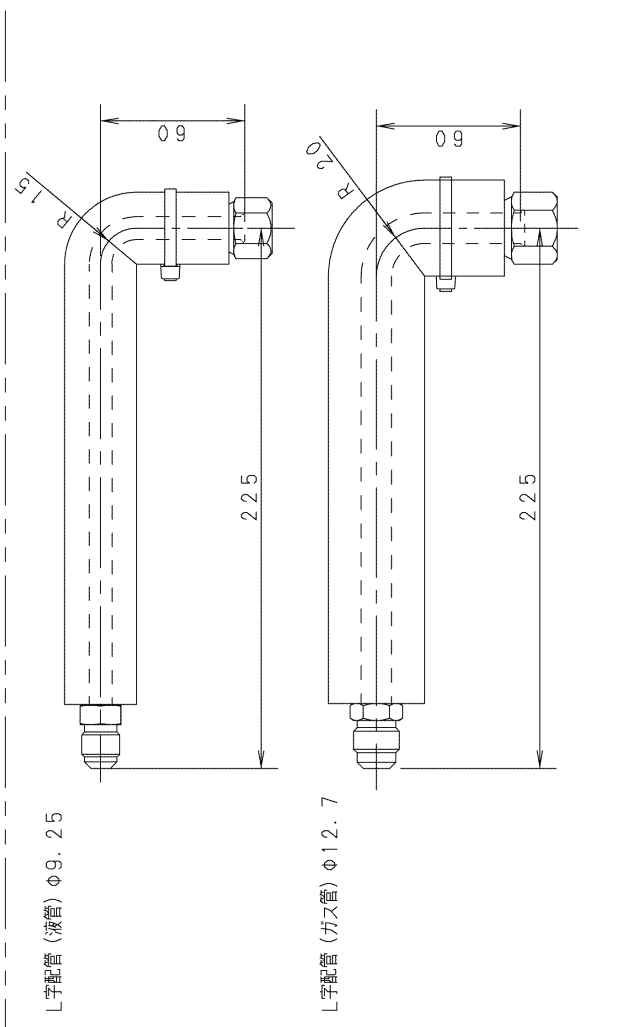
形 名		天井吊形	
ドレンアップキット品番		GZ-56DMTA	GZ-160DMTA
適用機種		36・45・56形	71～160形
ドレンアップ ポンプ	液管	φ9.52	φ9.52
	ガス管	φ12.7	φ15.88
	使用流体	ドレン水	
	使用温度	液体温度 0～35℃ 周囲温度 -10～45℃ (湿度RH95%以下)	
	吐出量	水位10mmで400cc/min *水位とは、ポンプ本体の先端部から水面までの距離	
フロートスイッチ		液面が下降して接点ON	

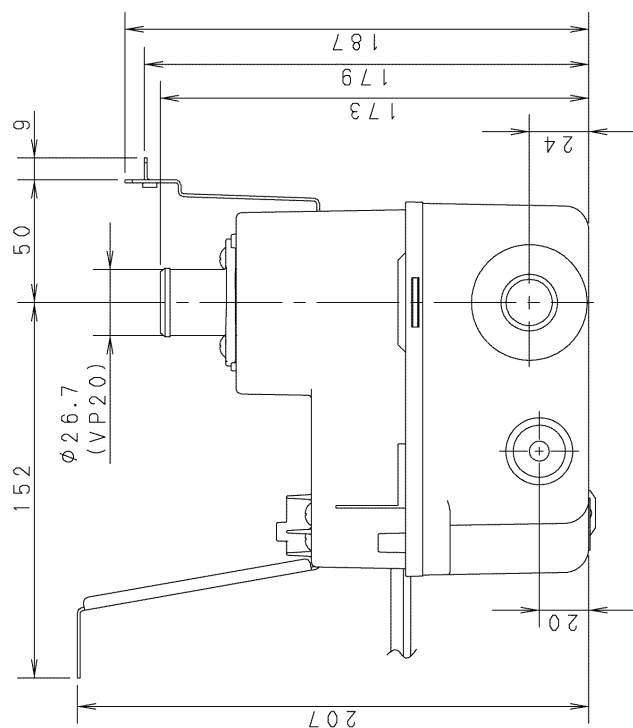
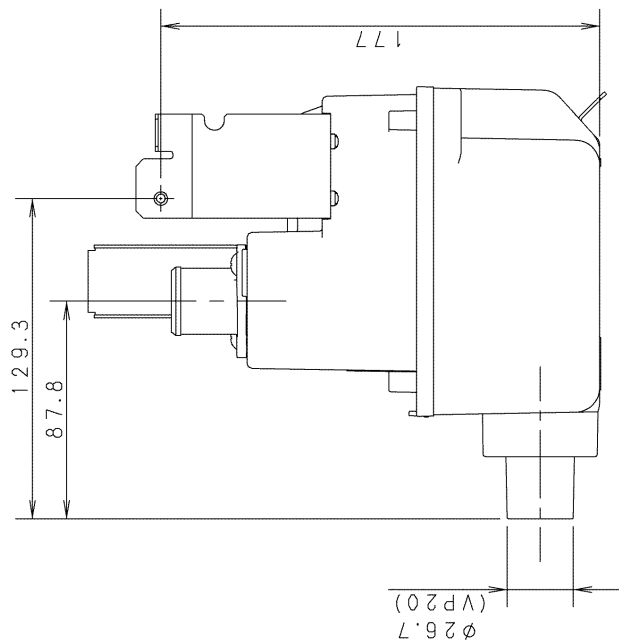
■ 外形寸法図

■ CZ-56DMTA

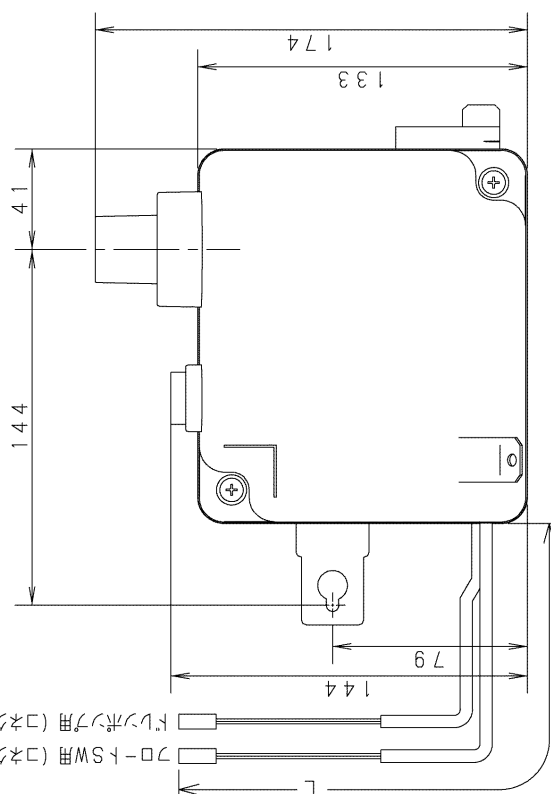
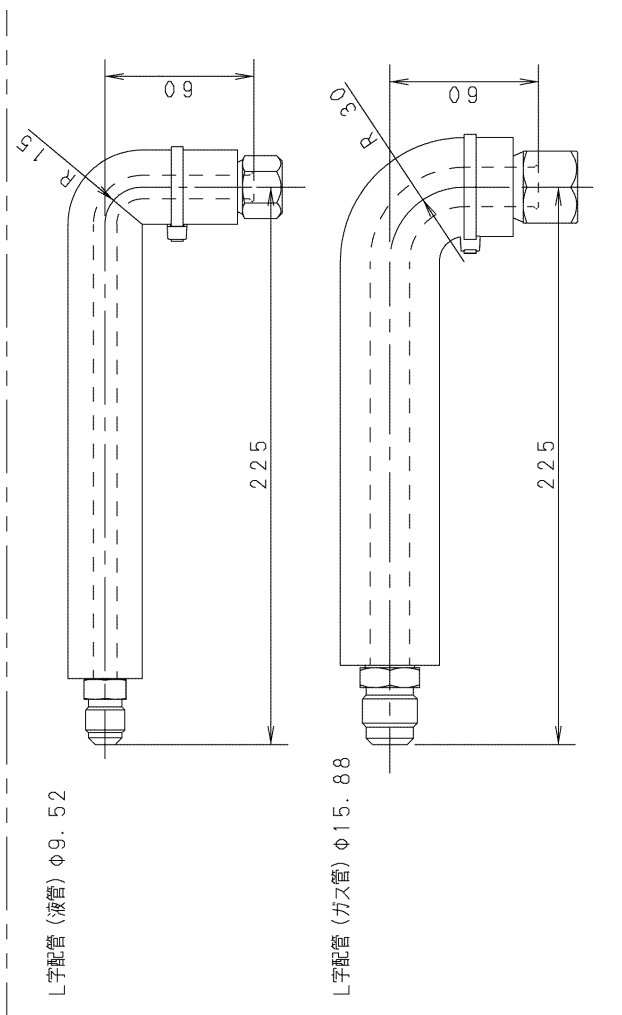


フロートSW用 (コネクタ: 白2P) L寸法: 740mm
Fリッポン用 (コネクタ: 白3P) L寸法: 1100mm





フロートSW用 (コネクタ: 白2P) L寸法: 740mm
Fリッポンソフ用 (コネクタ: 白3P) L寸法: 1100mm



据付工事説明書

本体内蔵ドレンアップキット

適用室内ユニット 天井吊形

品番

CZ-56DMTA

CZ-160DMTA

- 取り付け工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この据付工事説明書をよくお読みの上取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この据付工事説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

**警告**

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

**注意**

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容（禁止事項）です。



実行しなければならない内容（強制事項）です。

**警告**

- 据付・電気工事は、販売店か専門業者に依頼する（感電・火災等の原因）
- 据付工事は、室内ユニットの「据付工事説明書」に従って行う（感電・火災等の原因）
- 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う（ユニットの落下による、けがの原因）
- 据付作業中に冷媒が漏れたときは換気する据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する（冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因）

- 電気工事は、電気工事士が下記に従って行う

- 電気設備に関する技術基準
- 内線規程
- 据付工事説明書（感電・火災の原因）

- 配線は、所定のケーブルを確実に接続・固定する
- 端子接続部に、ケーブルの外力が伝わらないようにする。（発熱・火災等の原因）
- 工事は、ユニットの漏電しゃ断器を切ってから行う（感電の原因）

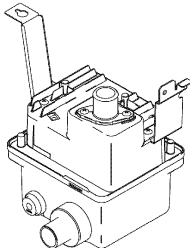
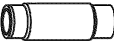
**注意**

- ドレンアップキット取り付け時には、必ず付属品のL字配管を使用してください。（指定の部品を使用しないと、冷媒漏れの原因になります。）

- 据付工事説明書に記載されていない方法や、各説明書に記載されていない本体および付属品への追加工、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

1. 付属品

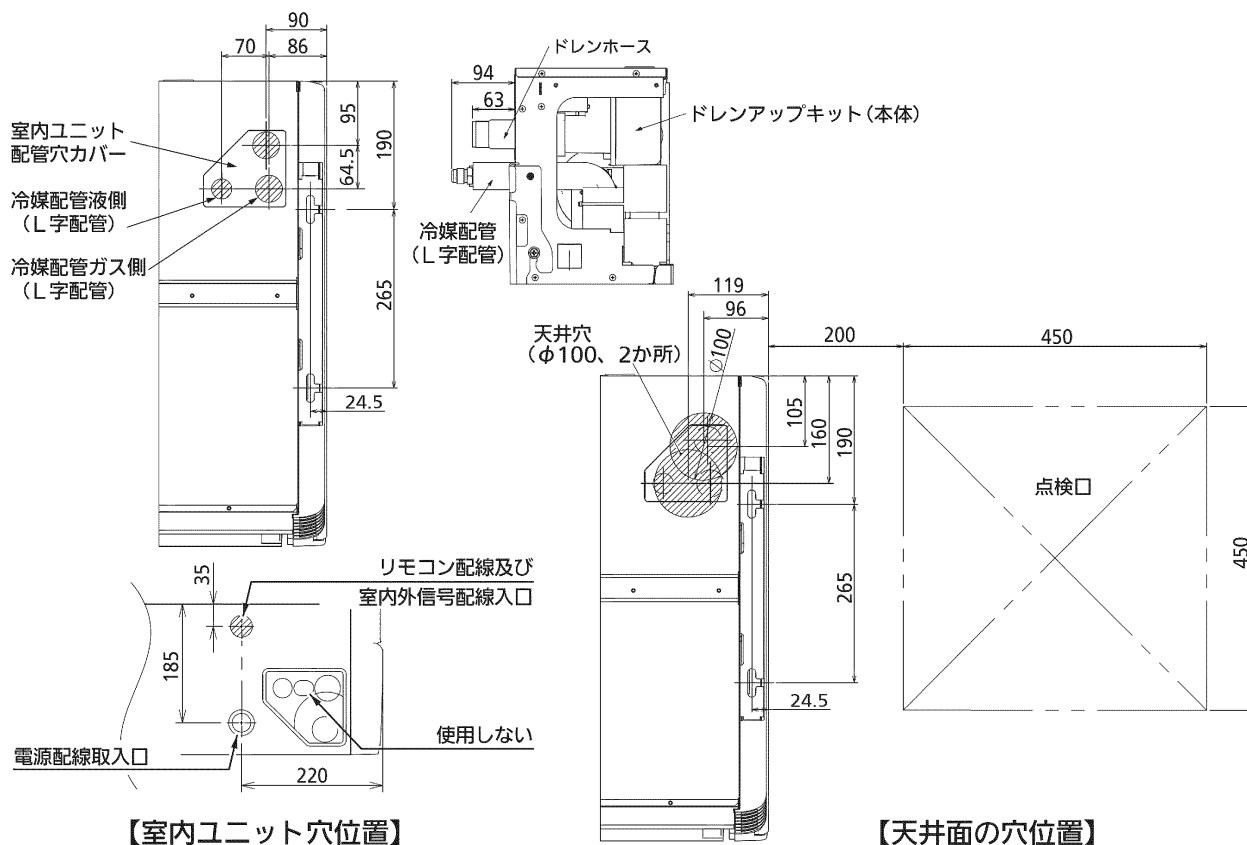
付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

ドレンアップキット (本体) (1個)	銀イオン用ラベル (1枚)	本体固定用ネジ (3個)	冷媒配管用			
			L字配管 (各1個)		フレア断熱材 (各1個)	
			細管(液管)	太管(ガス管)	液管用	ガス管用
	ドレン配管接続用				配線固定用	
	ドレンホース (1個)	断熱材 ドレンホース用 (1個)	ホースバンド (2個)	断熱材 (1個)	結束クランパー (大) (6個)	結束クランパー (小) (2個)
						

2. 取り付け準備

■ 取り付け時の注意事項

- ① ドレンアップキット取り付けの場合は、同梱のL字配管を使用した上配管取り出し以外ではできません。
- ② ドレン配管は全て断熱処理をしてください。
- ③ 据え付ける天井面に冷媒配管・ドレン配管を貫通させるために天井穴(φ100、2か所)を開けてください。
- ④ 据え付ける天井面に450角の点検口を設けてください。
- ⑤ ドレンアップキット取り付け時は、リモコン配線及び室内外信号線を必ず、下図”室内ユニット穴位置”に示す取入口より引き込んでください。
- ⑥ 各穴にすき間があかないよう、必ずパテや断熱材(現地調達)でシールしてください。
(ほこりの侵入による熱交換器の目詰まりや、小動物の侵入による故障の原因になります。)

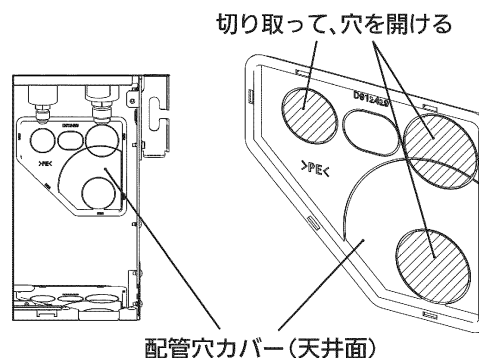


3. 取り付け手順

<1. 取り付けのまえに>

■ 配管穴カバー(天井面側)取りはずし

- ① 配管を通す箇所をカッターナイフ等で切り取り、穴を開けます。(斜線部)
- ② 加工後、元の位置に戻してください。



配管穴カバー(天井面)

図1

■ 吸込グリル取りはずし

- ① 室内ユニットの据付工事説明書にそって、ユニットを吊り下げてください。
- ② 吸込グリル、サイドプレート、センター金具、電装ボックスのふたを取りはずした状態にしてください。

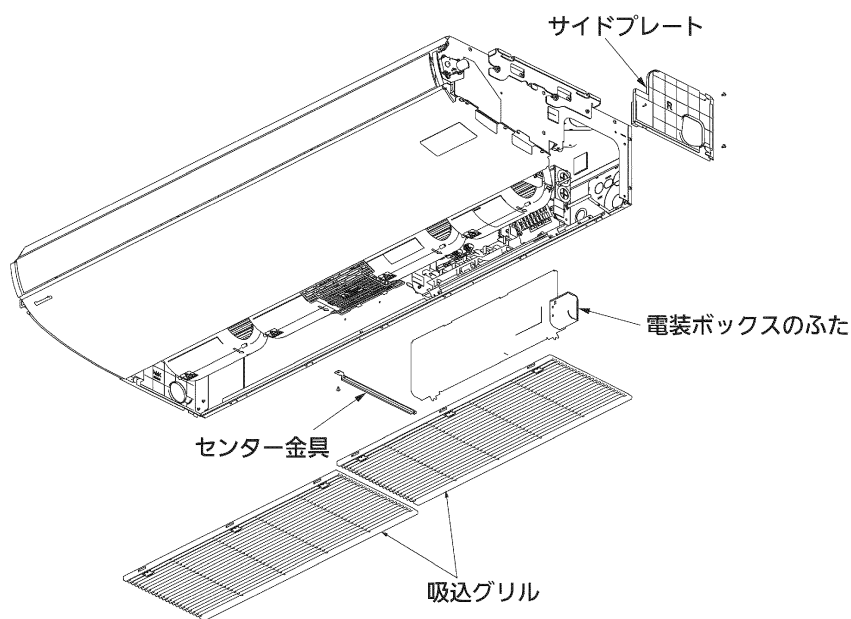


図2

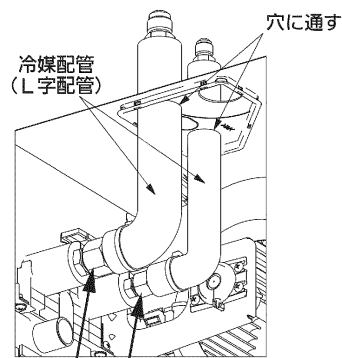
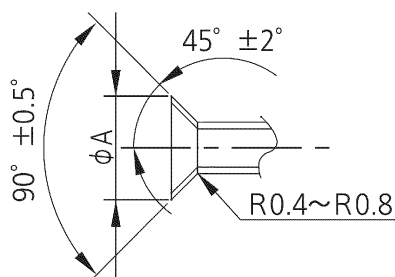
<2. L字配管接続>

- 配管接続部のフレアナットをはずすときおよび配管接続の際にフレアナットを締め付けるときは、必ずトルクレンチを用いダブルスパナにて行ってください。
(フレアナットを締め過ぎると、フレア部を破損し、冷媒漏れによる酸欠事故の原因になります。)
- フレアナットの締め付けトルクは、次ページの表を目安に締め付けてください。
- フレア接続時フレア部に塗布する冷凍機油は、少量のエステル油またはエーテル油をご使用ください。
その際、ネジ部や樹脂部分に油が付着しないようにご注意ください。
(強度が弱くなり割れや露付き、水漏れの原因になります。)
- 使用される環境の温湿度が30℃またはRH80%を超えられる場合は、断熱を強化してください。
(断熱しないと結露することがあります。)

3. 取り付け手順 (つづき)

■ 室内ユニットにL字配管(ドレンアップキット付属品)の接続

- 室内ユニットのフレアナットをはずします。
- L字配管を配管穴カバー(天井面側)に通し、フレア接続します。
- フレアナットの締付トルクは下表を目安にしてください。



フレアナットを締める

図 3

パイプ径 (mm)	締付トルク N・m (kg f・cm)	銅管肉厚 (mm)	フレアφA寸法 (mm)	使用工具の 推奨腕長さ
φ6.35 (1/4")	14 ~ 18 (140 ~ 180)	0.8	8.7 ~ 9.1	150 mm 程度
φ9.52 (3/8")	34 ~ 42 (340 ~ 420)	0.8	12.8 ~ 13.2	200 mm 程度
φ12.7 (1/2")	49 ~ 61 (490 ~ 610)	0.8	16.2 ~ 16.6	250 mm 程度
φ15.88 (5/8")	68 ~ 82 (680 ~ 820)	1.0	19.3 ~ 19.7	300 mm 程度

<3. 断熱処理>

■ 配管の断熱のしかた

下図に従って液管・ガス管とも、断熱してください。それぞれの配管接続部には、フレア断熱材(ドレンアップキット付属品)を巻き付け、結束クランパー(室内ユニット付属品)2個で結束してください。断熱しないと水漏れの原因になります。

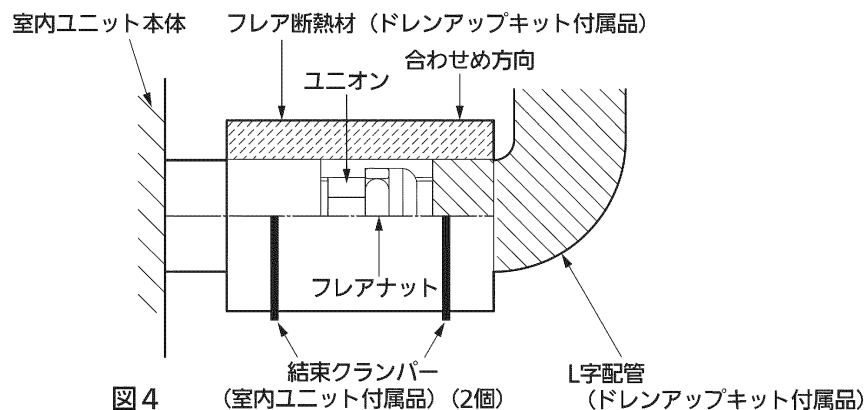


図 4

【室内ユニット本体-L字配管の接続】

<4. 冷媒配管接続>

- 室内ユニットの“据付工事説明書”にそってL字配管のユニオンに冷媒配管を接続してください。

3. 取り付け手順 (つづき)

<5.ドレンアップキット(本体) 取り付け>

■ドレンホース (室内ユニット付属品) の取り付け (図5, 図6)

- ① ドレンアップキットに、ドレンホース(室内ユニット付属品) を取り付けてください。
- ② ホースを突き当たるまで挿入してください。
- ③ ホースバンド(室内ユニット付属品) をドレンホースのテープに合わせて取り付けてください。(締付トルク: 3.0~3.5N・m)
- ④ ホースバンドにドレン配管接続用断熱材(ドレンアップキット付属品) を取り付けてください。
また、はがれを防ぐためにビニールテープ(現地調達) を巻いてください。
ホースバンドの金属部が露出しないようにしてください。
(結露の可能性あります)

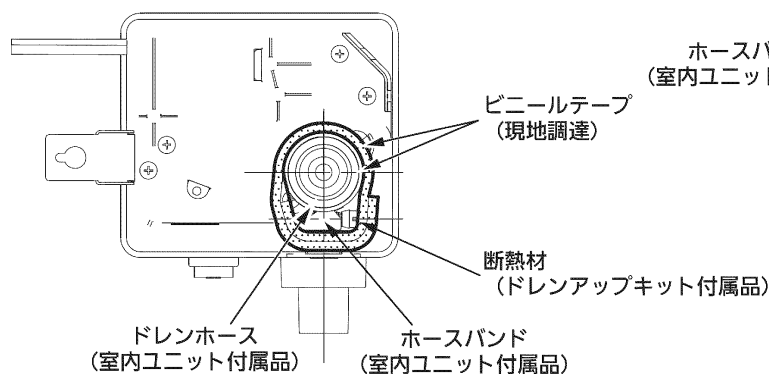


図5

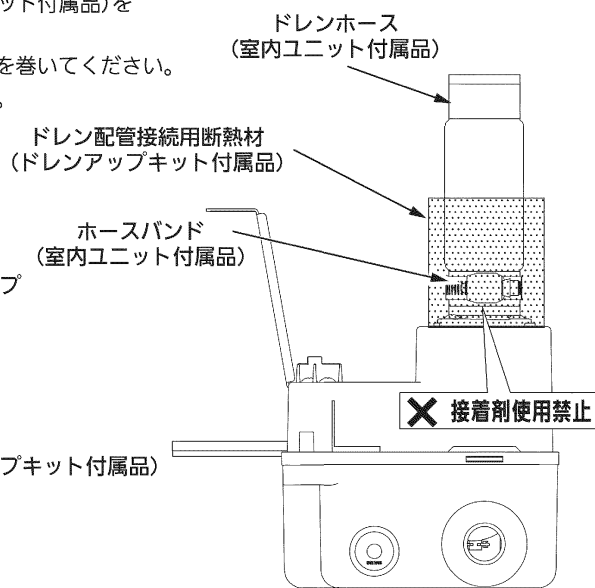


図6

■ドレンアップキット (本体) の取り付け

- ① 室内ユニットの天井面に、付属品のネジ(1個)を仮止めしてください。(図7, 図8)
- ② ドレンアップキット(本体)を室内ユニットに取り付けます。
天井面の配管穴カバーに開けた穴に、ドレンホースを通してください。
仮止めしたネジと右側面の角穴にドレンアップキット(本体)を引っ掛けてください。
3点のネジを締めて、ドレンアップキット(本体)を固定してください。

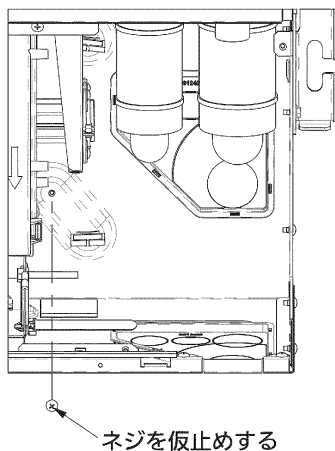


図7

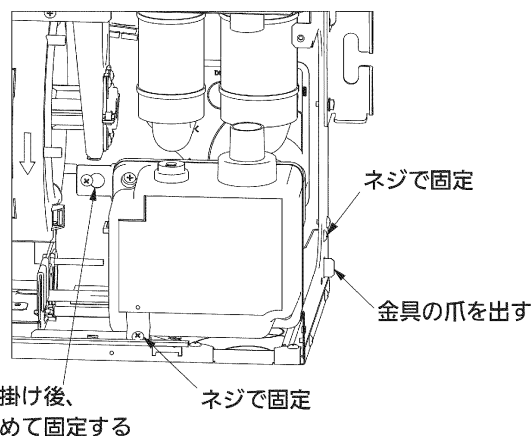


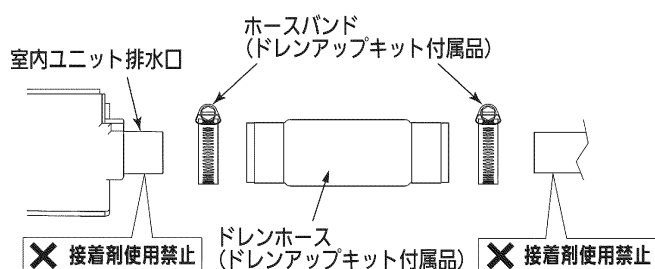
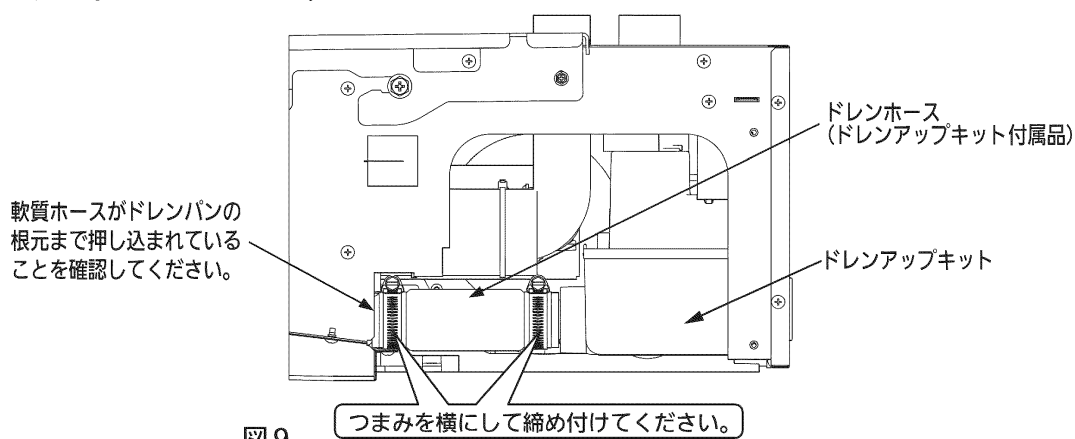
図8

3. 取り付け手順 (つづき)

<6. 室内ユニット側ドレンホースの接続>

■ドレンホースの取り付け (図9, 図10, 図11)

- ① ドレンホース(ドレンアップキット付属品)にホースバンド2個(ドレンアップキット付属品)を緩めた状態で取り付けてください。
- ② 室内ユニットのドレンパンとドレンアップキット(本体)をドレンホースで繋いでください。必ず奥まで挿し込んでください。ホースバンドをテープに合わせて締め付けてください。(締付トルク: 3.0~3.5N・m)
(接着剤は使用しないでください。接着剤をご使用になると、室内ユニット排水口が破損し、水漏れする可能性があります。)
- ③ ホースバンドに断熱材(室内ユニット付属品)2個を取り付けてください。
ホースバンドの金属部が露出しないようにしてください。(結露の可能性があります)
- ④ 図のように、ドレンホース断熱材をホースバンドに巻いてください。また、はがれを防ぐためにビニールテープ(現地調達)を巻いてください。



塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニット排水口が損傷し、水漏れの原因になります。

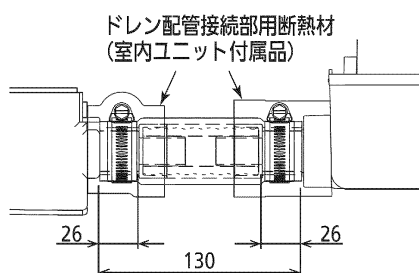


図10

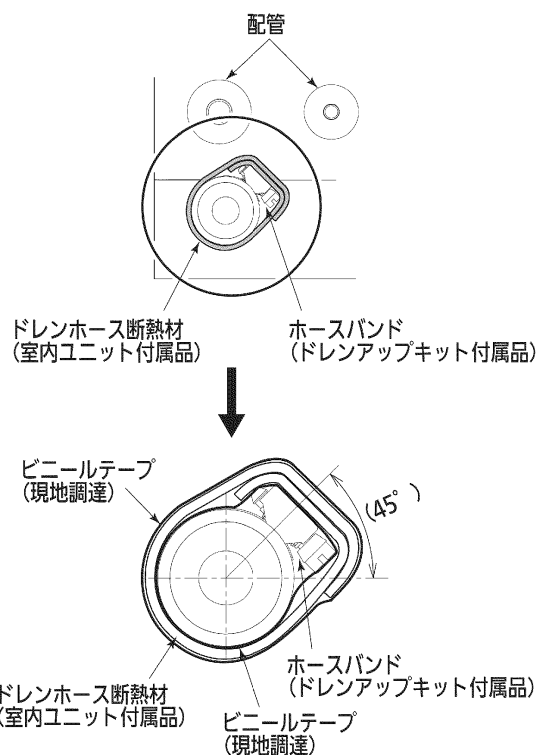
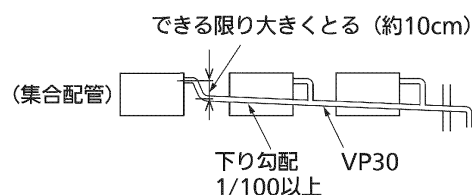
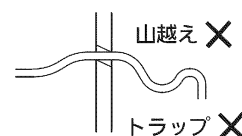
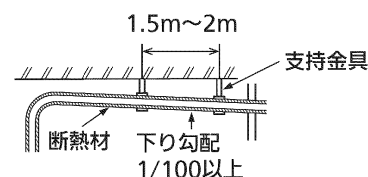


図11

4. ドレン配管のしかた

<1. ドレン配管施工上のご注意>

- 必ず付属のドレンホースを使用してください。
- ホースバンドは、付属のドレンホースの両端から約5～25mmの間で取り付けてください。
- アンモニア臭やイオウ系ガスが発生する下水などにはドレン配管を直接接続しないでください。下水の成分がドレン配管を通り室内ユニットの熱交換器を腐食させる可能性があります。(冷媒漏れの原因になります。)
- 市販のホースバンドで固定するとドレンホースにしわができ、水漏れするおそれがありますので付属のホースバンドを使用してください。またホースバンドをスライドさせる時ドレンホースをきず付けないようにしてください。
- 付属のドレンホースと室内ユニット排水口の接続には接着剤を使用しないでください。(排水口の破損による水漏れの原因になります。)
- 付属のドレンホース断熱材を巻いて接続部をすき間のないように断熱してください。(室内部分にあるドレン配管は必ず断熱してください。)
- 室内のドレン配管の断熱を確実に行ってください。
- ドレンアップキットとの接続部も必ず断熱してください。
断熱が不完全になると結露の原因になります。
- ドレン配管は下り勾配(1/100以上)とし、途中で山越えやトラップを作らないでください。水漏れや水飛び、異常音の原因になります。
- ドレン配管の横引きは20m以下にしてください。配管が長い場合は、1.5～2m間隔で支持金具を設け、波打ちを防止してください。
- 集合配管は右図のように施工してください。
- エアー抜き管は付けしないでください。
ドレン水が吹き出し、水漏れの原因になります。
- ドレン配管との接続部に力を加えないよう注意してください。
ドレン配管接続口との接続には、必ず付属のドレンホースを取り付けます。
必ず付属のホースバンドで固定してください。
ドレン配管接続口の破損や水漏れの原因になります。
- 断熱を施した後、取出口と配管(断熱材)のすき間をパテ等(現地調達)でふさいでください。
ほこりの侵入による熱交換器の目詰まりや、小動物の侵入による故障の原因になります。
- ドレン配管は必ず下り勾配(1/100以上)とし、トラップのできる配管は絶対しないでください。
上り勾配及びトラップ配管の場合にはドレンパンに水がたまり、水漏れや水飛び、騒音発生の原因になります。



<2. ドレン配管の接続>

■ドレン配管の接続

- ① ドレンホースとドレン配管を接続してください。(図12)
ドレン配管は硬質塩ビVP20(現地調達)を使用してください。
- ② 接続時、ドレンホース側と硬質塩ビ管継手には両方とも接着剤を塗ってください。(約2g)
はみ出た接着剤はウエス等で拭き取ってください。

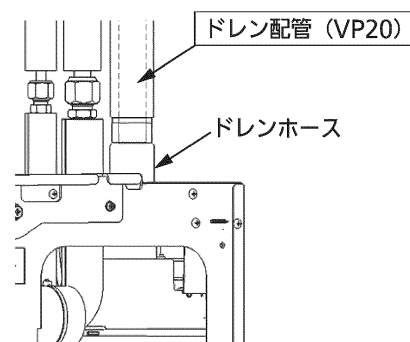


図12

5. 配管穴カバーのシール

- 室内ユニットの天井面の配管穴カバーと各配管のすき間をパテ等(現地調達)でふさいでください。
(ほこりの侵入による熱交換器が目詰まりや、小動物の侵入による故障の原因になります。)

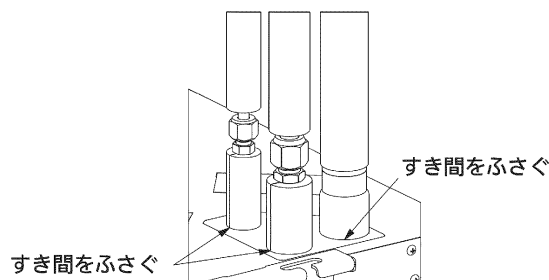


図13

<1. 断熱>

- 円筒形の断熱材を取り付け、結束クランパー (大) (ドレンアップキット付属品) で固定してください。
- 配管の接続部が露出しないようにしてください。
(結露の原因になります)

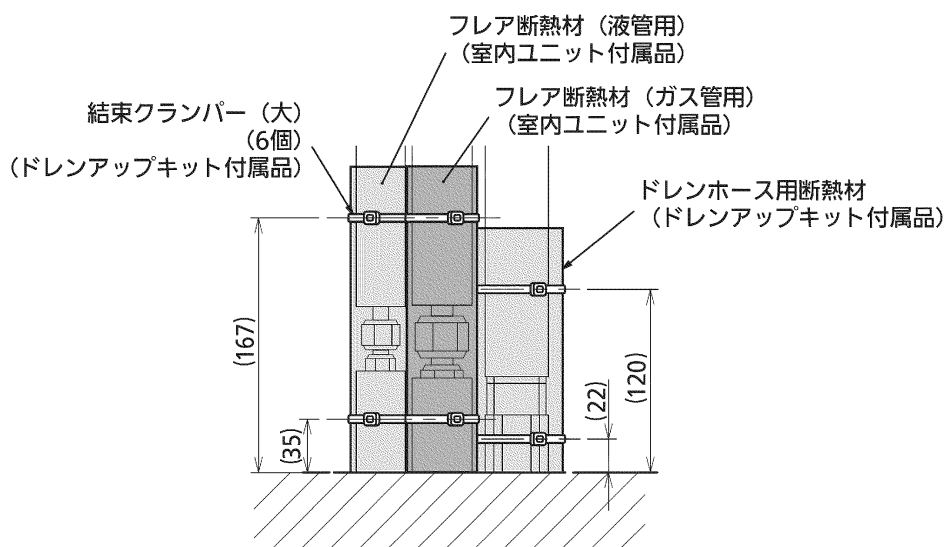


図14

6. 配線接続

■ 配線の引き込みと板金のエッジ処理

室内外操作線およびリモコン線は、室内ユニットの背面上部にある穴を切り開いて引き込んでください。
配線に傷が付かないよう、板金のエッジを処理してください。

注意 リモコン配線、室内外操作線は必ずリモコン配線・室内外操作線取入口から引き込んでください。

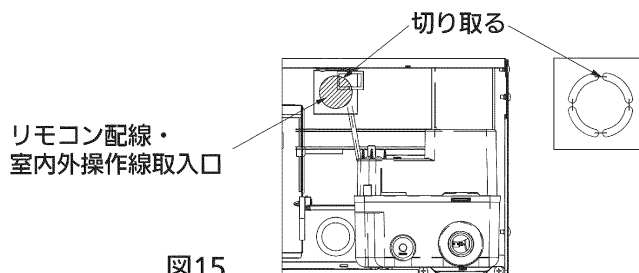


図15

- ① 電装ボックス左のツイストクランパーをほどき、ファンモーターの配線を緩めてください。
- ② 電装ボックスを固定しているネジをはずして、電装ボックスを引き出してください。
- ③ ドレンアップキットの配線（ドレンポンプ電源線 白 3P、フロートスイッチ配線 白 2P）を、電装ボックス右側奥の穴から引き込みます。ドレンアップキットの配線は、室内ユニット内配線と同じルートで引き回してください。
- ④ 再生クランパーには通さず、結束クランパー（小）（ドレンアップキット付属品）でユニット内配線に固定してください。
- ⑤ ドレンポンプ電源線（白 3P）をCN068に、フロートスイッチ用コネクタ（白 2P）をCN034に接続します。このとき、CN034の短絡用2Pコネクタをはずして接続してください。
- ⑥ 室内ユニットの電源線・室内外操作線・リモコン線を接続してください。
室内外操作線およびリモコン線の接続後、リモコン配線・室内外操作線取入口をパテ等でふさいでください。
（ほこりの侵入による熱交換器の目詰まりや、小動物の侵入による故障原因になります。）
- ⑦ 電装ボックスを元の位置に戻してください。電装ボックスの爪が室内ユニット背面の穴にはまっていることを確認してください。
（はずれている場合、運転時の騒音につながる可能性があります。）
- ⑧ ファンモーターの配線をツイストクランパーでたばねてください。

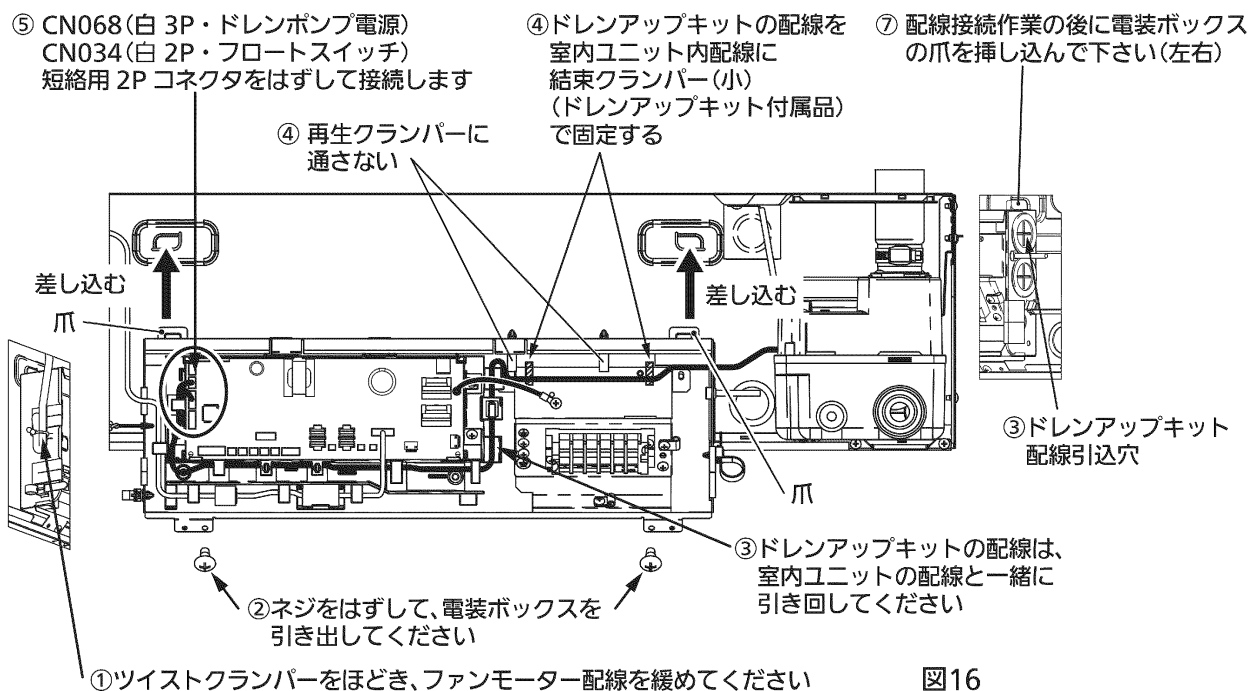


図16

7. 試運転

<1.ドレン排水状態の確認>

ドレン配管接続工事の完了後に、排水が確実に行われること、および配管接続部から水漏れのないことを確認してください。
(作業前にバケツやウエスを用意してください。)

- 右図の通り、ドレンパン吹出口よりドレンパン内に排水確認用の水を約1Lを少しずつ入れてください。

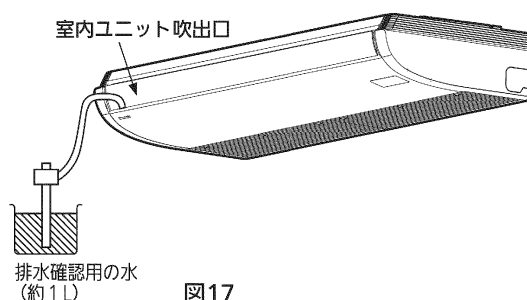


図17

A 電気配線が完了している場合

- A-1 冷房運転をしながらドレン水が排水されていることを確認してください。また、ドレン配管からの水漏れがないか確認してください。

B 電気配線が完了していない場合

- B-1 電装ボックス内の電源端子板（R,S端子）に単相200Vを接続してください。
B-2 室内コントロール基板のCHK（6Pプラグ⑤-⑥間）をワニグチクリップ等で短絡してください。
※CHK（6Pプラグ⑤-⑥間）を短絡すると、ファンが回転しますので注意してください。
(けがをするおそれがあります。)
B-3 電源を入れたらドレンポンプが運転しますので、室内ユニットの本体排水口（透明）部から排水がされているかを確認してください。
また、ドレン配管からの水漏れがないか確認してください。
B-4 排水確認が完了したら電源を切り、CHKの短絡をはずしてください。

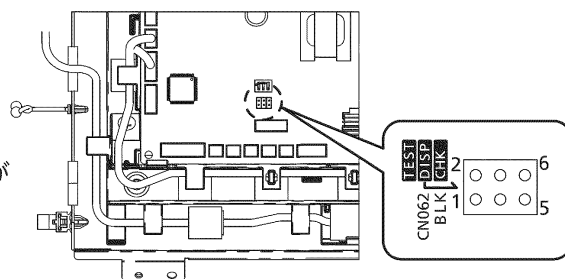


図18

⚠ 注意

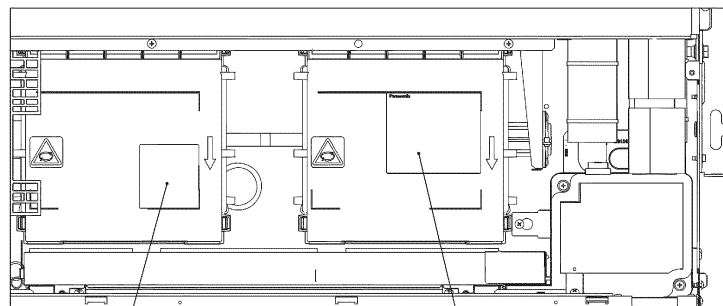
室内コントロール基板のCHK（6Pプラグ⑤-⑥間）を短絡すると、ファンが回転しますので注意してください。
けがをするおそれがあります。

ドレンポンプに異常がある場合“P 1 1”が表示されます。

8. 銀イオン系抗菌剤について

- 本製品には銀イオン系の抗菌剤を標準装備しております。

銀イオン系抗菌剤は消耗品で、ご使用いただける期間の目安は、一般事務所で2シーズン（冷房運転時間が2,500時間）となります。付属品の銀イオン用ラベルに運転開始日を記入し、室内ユニットのファンケーシングに貼り付け、交換の目安としてください。



「銀イオン系抗菌剤についての注意事項」

機種銘板

図19

9. 銀イオン系抗菌剤 交換手順

■水抜き

- ① 室内ユニットの運転を停止し、ドレンポンプが停止するまでお待ちください。(1分ほど遅れて停止します)
- ② 漏電しゃ断器を切ってください。
- ③ 排水管の中に残っている水が全て水受け皿に戻って来たら、水受け皿のゴム栓をはずして中に残っている水を出してください。

■水受け皿の取り外し

- ① 水受け皿を固定しているネジ(3か所)をはずしてください。(図20)
- ② 水受け皿を吹出側に少し動かし、爪をはずします。(図21)
- ③ 下側に引き出し、銀イオン系抗菌剤(1個)を交換してください。
抗菌剤は水受け皿の側面にあるポケットに挿し込んでください。
- ④ ゴム線をドライバー等で押し込んでください。
- ⑤ 元に戻し、ネジを固定してください。
- ⑥ ファンケーシングに貼られているラベルに交換年月日を記入してください。
室内ユニットを元の状態に戻し、作業は完了です。

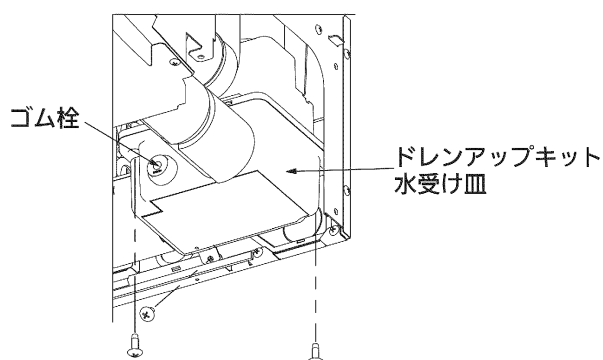


図20

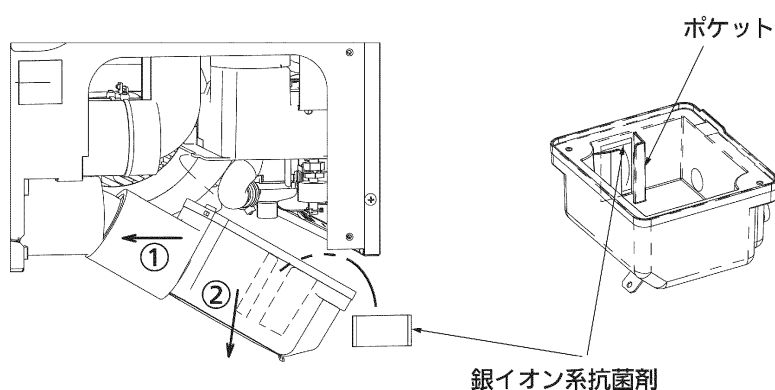
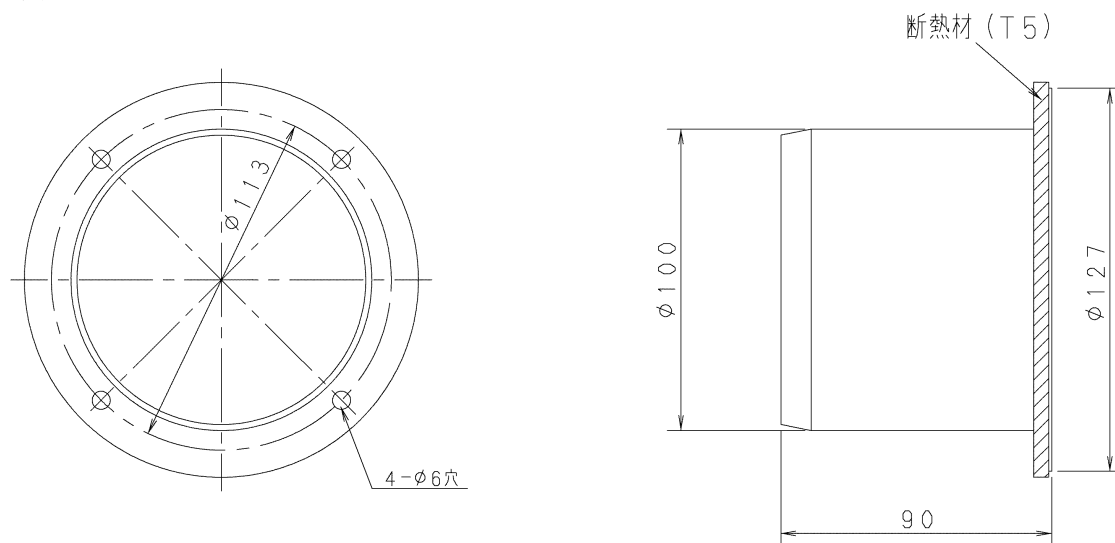


図21

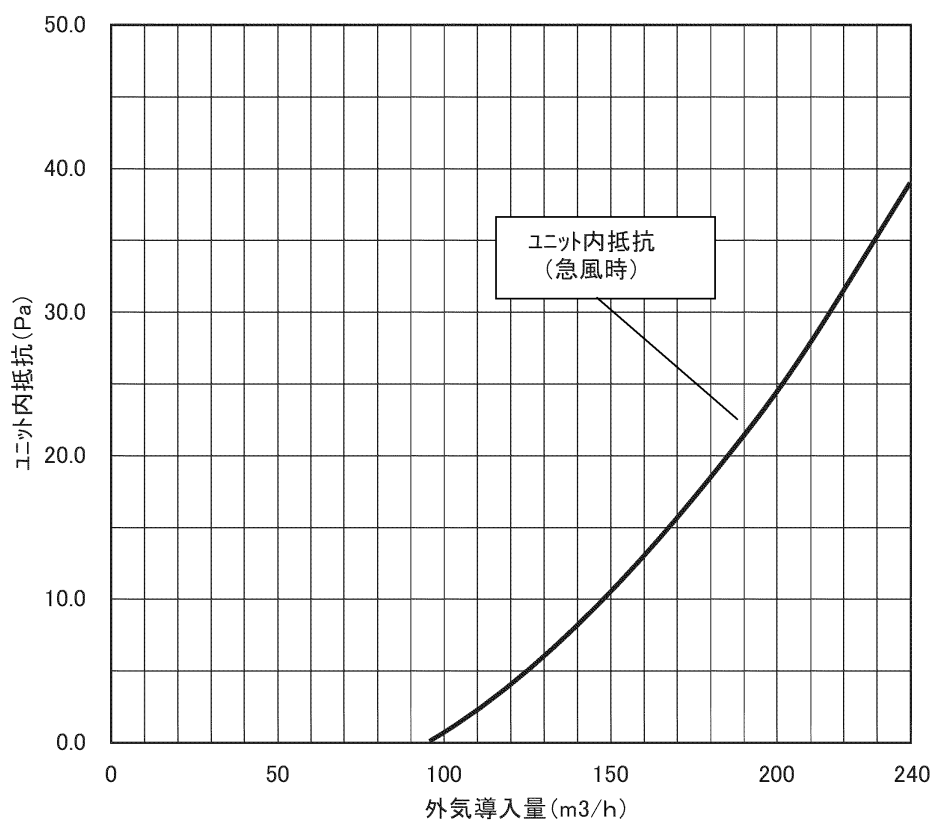
丸合いフランジ<外気取入れ用> (φ 100) <CZ-DA100>

■外形寸法図



■外気導入量とユニット内抵抗特性

外気導入量とユニット内抵抗特性



本体に直接外気を取り入れる場合(CZ-DA100使用時)の外気導入可能風量

形式	36,45,56形	71形	80,90形	112形	140形	160形
可能風量 (m³/h)	170	200	210	240	240	240

■据付工事説明書

据付工事説明書

丸合フランジ (φ100)

品番 CZ-DA100

適用室内ユニット 4方向天井カセット形 2方向天井カセット形 1方向天井カセットスリム形 天井吊形

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。

また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容（禁止事項）です。



実行しなければならない内容（強制事項）です。



警告



■据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
(ユニットの落下や水漏れの原因)

■据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
(ユニットの落下による、けがの原因)

■付属品は当社指定の部品を使用する
(指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因)



注意



■周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
(万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因)

■据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■使用上のご注意

- ・別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
- ・この据付工事説明書は、室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

1. 付属品

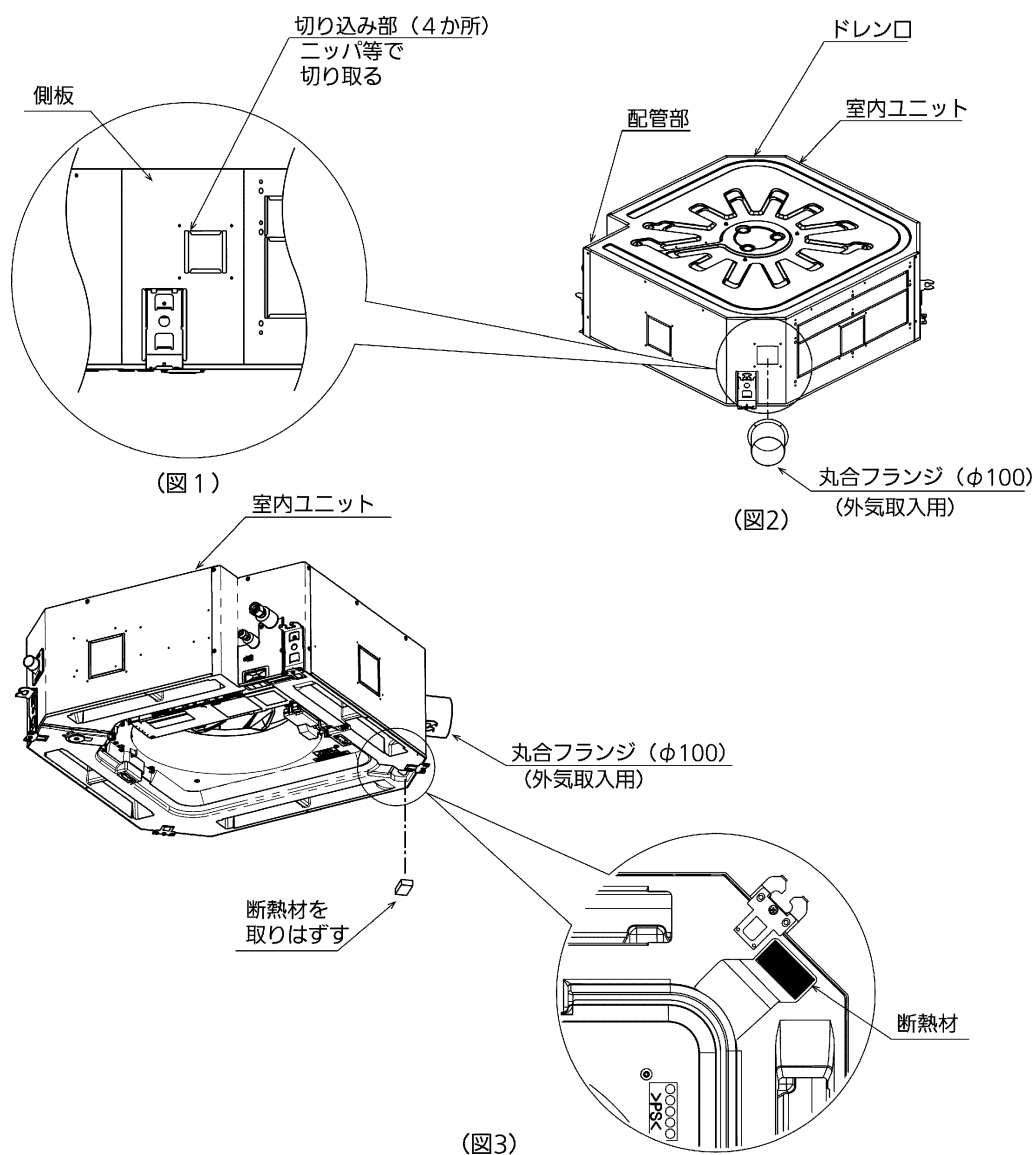
付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

名 称	個数	名 称	個数	据付工事説明書	個数
丸合フランジ (φ100) 	1	取付ネジ (M4×12) 	4		1

2. 取り付けかた

● 4方向天井カセット形の場合

- (1) 室内ユニット側板の切り込み部を、ニッパ等で切断してください。(図1)
- (2) 丸合フランジを付属の取付ネジ4本で取り付けてください。(図2)
- (3) 断熱材を取りはずしてください。(図3)

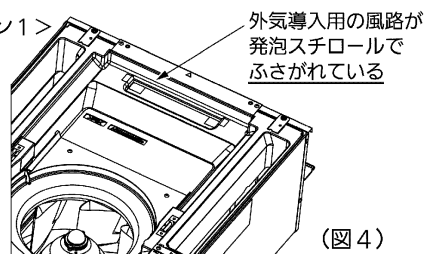


2. 取り付けかた (つづき)

●2方向天井カセット形の場合

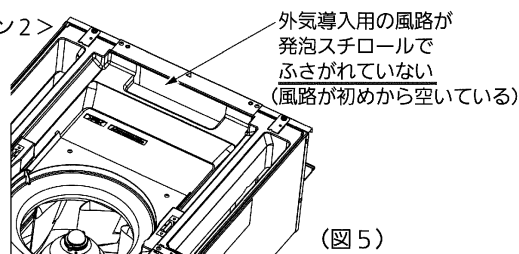
2方向天井カセット形は、ドレンパン仕様が2種類あります。仕様によって丸合フランジの取り付け方が異なりますので(図4)及び(図5)で確認の上、それぞれのパターン取付け指示に従って丸合フランジを取付けてください。

<パターン1>



(図4)

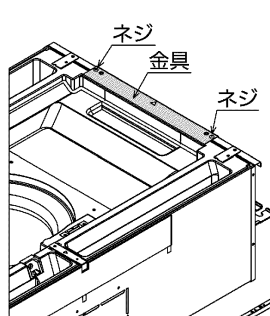
<パターン2>



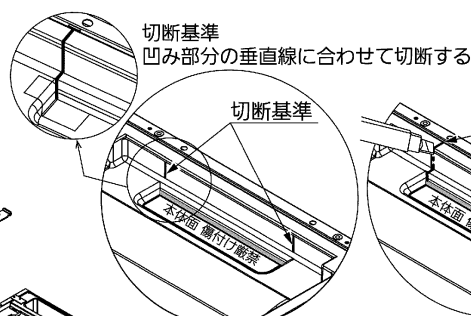
(図5)

<パターン1>

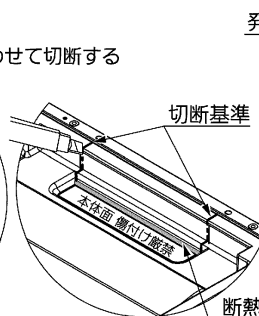
- (1) ネジを2か所はずし、金具を取りはずしてください。(図6)
- (2) 発泡スチロールを切断する基準位置と傷付け厳禁の本体面を確認してください。(図7)
- (3) カッターナイフ等で基準位置の内側を垂直方向に切断してください。
カッターナイフは前後に細かく動かし、本体面に傷をつけないようにゆっくりと切り取ってください。(図8)
- (4) 切断した部分を取り除いてください。(図9)
発泡スチロールの切りくずはよく取り除き、製品内部に残らないようにしてください。
- (5) (図6)で取りはずした金具を元に戻してください。
- (6) 室内ユニット側板の切り込み部を、ニッパ等で切り取ってください。(図10)
- (7) 丸合フランジを付属の取付ネジ4本で取り付けしてください。(図11)



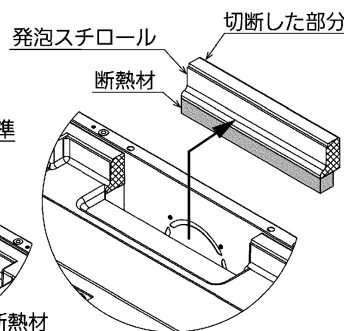
(図6)



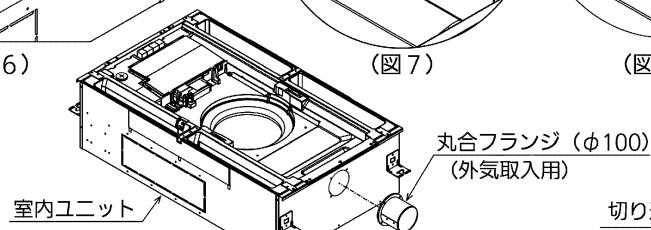
(図7)



(図8)

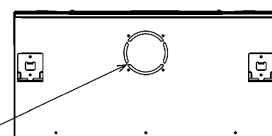


(図9)



(図11)

切り込み部(4か所)
ニッパ等で切り取る

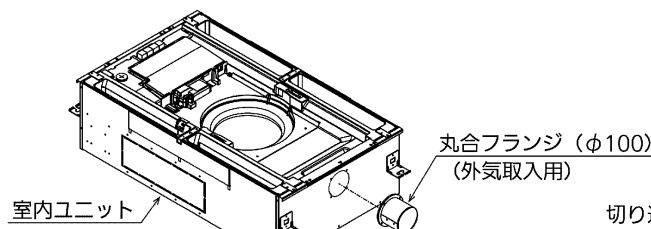


(図10)

<パターン2>

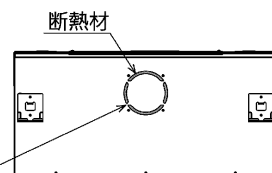
- (1) 室内ユニット側板の切り込み部を、ニッパ等で切断してください。(図12)
- (2) 室内ユニット断熱材をカッターナイフ等で切り込みに沿って切断し、切り取ってください。
断熱材の切りくずはよく取り除き、製品内部に残らないようにしてください。
- (3) 丸合フランジを付属の取付ネジ4本で取り付けしてください。(図13)

注意: カッターナイフを差し込みすぎて奥の発泡部品を傷つけないように、カッターナイフは前後に細かく動かし断熱材のみを切り取ってください



(図13)

切り込み部(4か所)
ニッパ等で切り取る

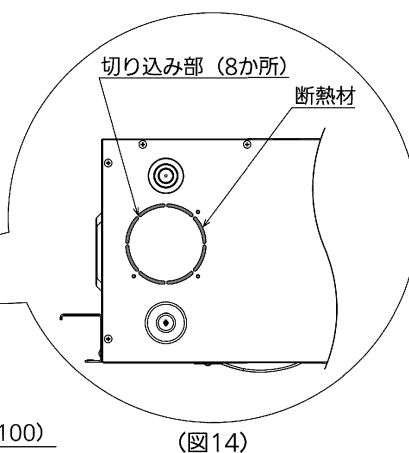
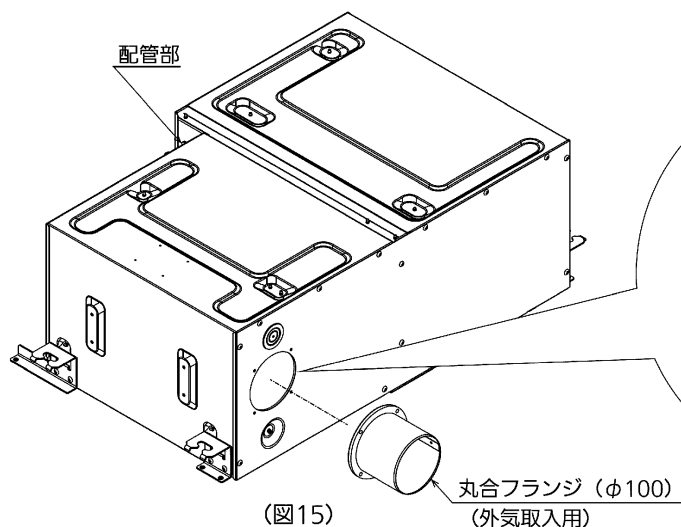


(図12)

2. 取り付けかた (つづき)

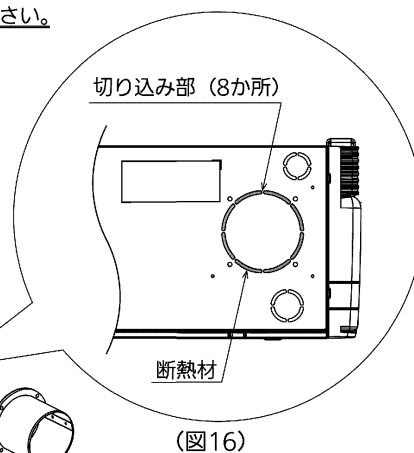
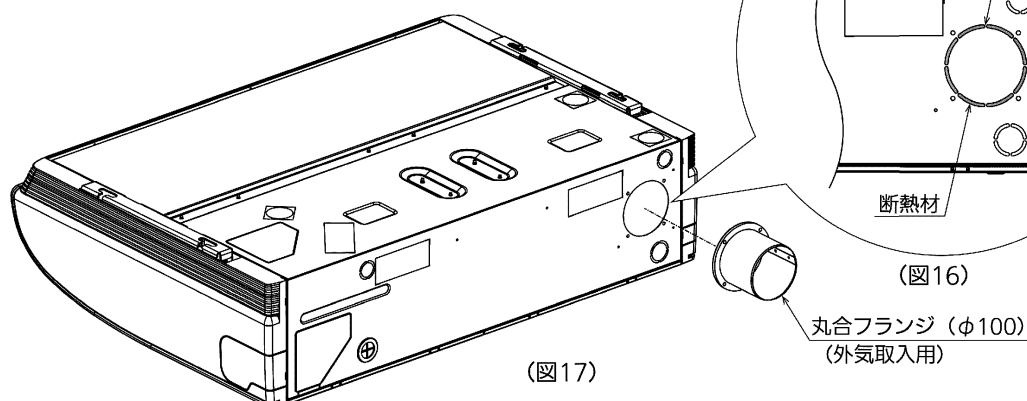
● 1 方向天井カセットスリム形の場合

- (1) 室内ユニット側板の切り込み部を、ニッパ等で切断してください。(図14)
- (2) 室内ユニット断熱材をカッターナイフ等で切り込みに沿って切断し、切り取ってください。
断熱材の切りくずはよく取り除き、製品内部に残らないようにしてください。
- (3) 丸合フランジを付属の取付ネジ4本で取り付けてください。(図15)



● 天井吊形の場合

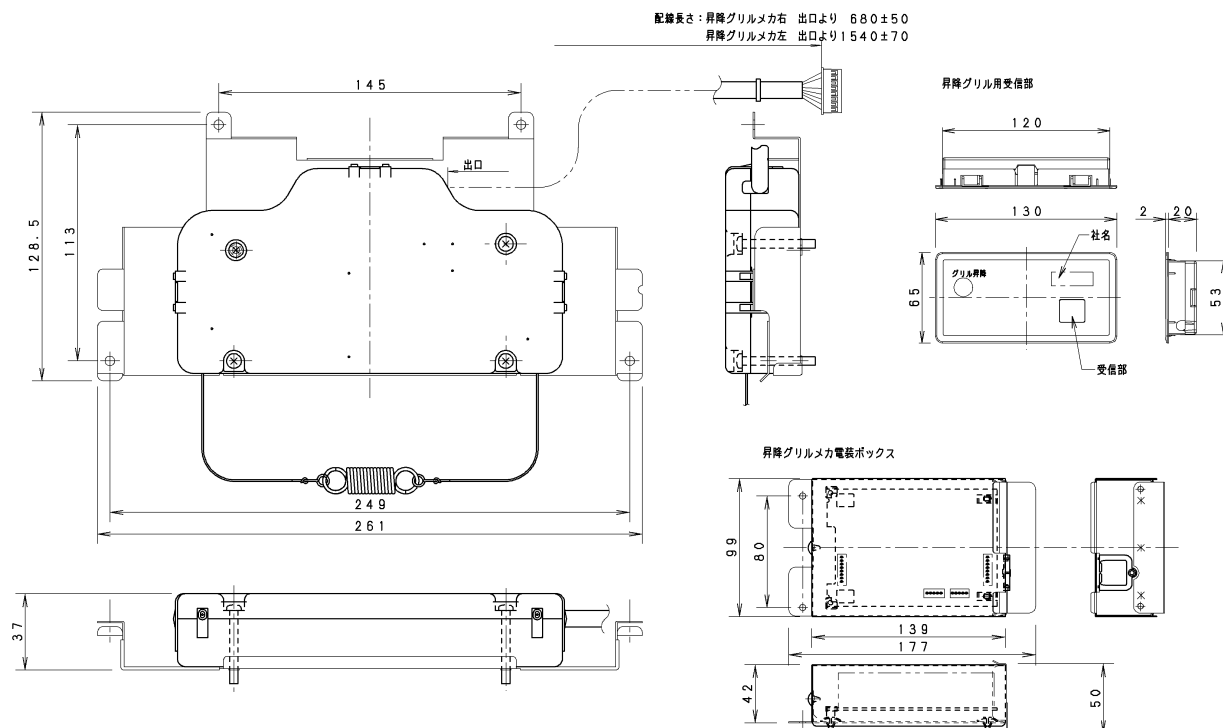
- (1) 室内ユニット背面の切り込み部を、ニッパ等で切断してください。(図16)
- (2) 室内ユニット断熱材をカッターナイフ等で切り込みに沿って切断し、切り取ってください。
断熱材の切りくずはよく取り除き、製品内部に残らないようにしてください。
- (3) 丸合フランジを付属の取付ネジ4本で取り付けてください。(図17)



(8) 天井吊形 (S1形)

昇降グリルメカキット (CZ-06KSKD3)

■外形寸法図



■ 取付説明



昇降グリルメカキット取付説明書

- 電気配線工事は、別紙「電気工事担当のかたへ」の説明にしたがってください。

安全上のご注意

- 据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
 ■ ここに示した注意事項は、「△ 警告」、「△ 注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。



警告

取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。



注意

取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認すると共に“取扱説明書”にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また“据付工事担当のかたへ”、“電気工事担当のかたへ”は、“取扱説明書”と共に、お客様で保管頂くように依頼してください。

△ 警告

- 据付、電気工事は、販売店または専門業者に依頼してください。ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
- 据付工事は、“据付工事担当のかたへ”“電気工事担当のかたへ”に従って確実に行ってください。据え付けに不備があると、冷媒漏れ、水漏れ、感電、火災等の原因になります。
- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および“据付工事担当のかたへ”“電気工事担当のかたへ”に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。電気回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
- 据え付けは、重量に十分耐える所に確実に行ってください。強度が不足している場合は、ユニットの落下により、けがの原因になります。
- 作業中に冷媒ガスが漏れた場合は換気をしてください。冷媒ガスが火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
- 設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認してください。冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

△ 注意

- 可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わないでください。万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。

構成部品

品名	昇降メカA	昇降メカB	取扱説明書	取付説明書	電装ボックス	受信部	ビス	コードクランプ	ブッシング
個数	1 (短配線)	1 (長配線)	1	2	1	1	11 4×10	2	1
形状				 本説明書 ワイヤレスリモコン併用の場合				 2個 1個	 高天井用1方向カセット形のみ使用

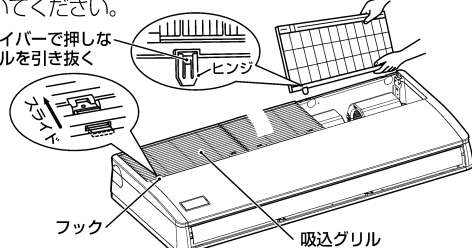
天井吊形に取り付ける場合

1. 昇降グリルメカキット取り付け前の準備

1. 吸込グリル取りはずし

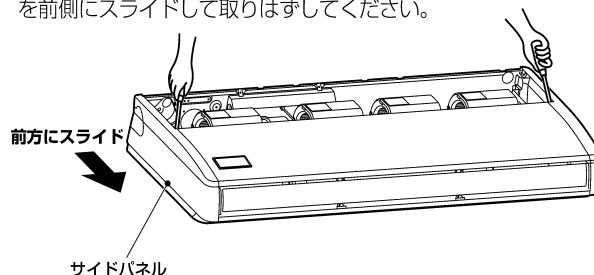
吸込グリルのフック (2カ所) を矢印方向にスライドし、開いてください。吸込グリルを開いた状態で、後部ヒンジ (2カ所) のツメを押しながらかき抜いてください。

ツメを○ドライバーで押しながらかき抜く



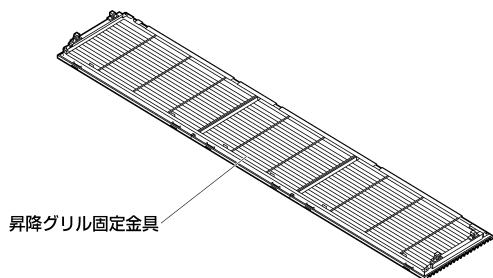
2. サイドパネル取りはずし

サイドパネル固定ビス (左右各1本) をはずした後にサイドパネルを前側にスライドして取りはずしてください。

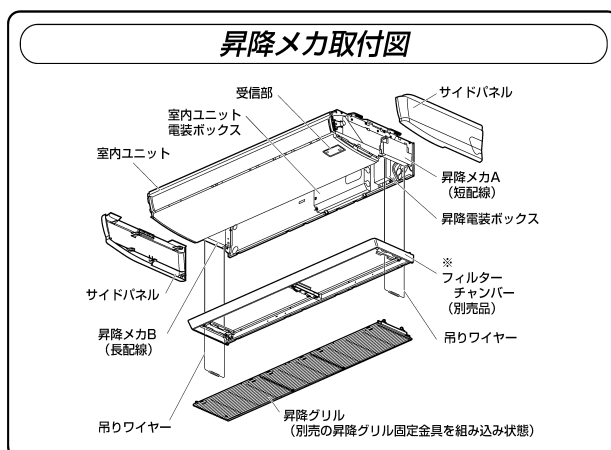


3. 別売部品の昇降グリル固定金具で昇降グリルを組み立てる。

昇降グリルの組立方法は、昇降グリル固定金具に付属している取付説明書に従ってください。



〈注意〉吸込グリルに使用していたフック・ヒンジは応急時に使用しますので、お客様で保管いただくように依頼してください。室内ユニットに取り付けしないでください。



※フィルターチャンパー（別売品）と同時に取り付けることができます。

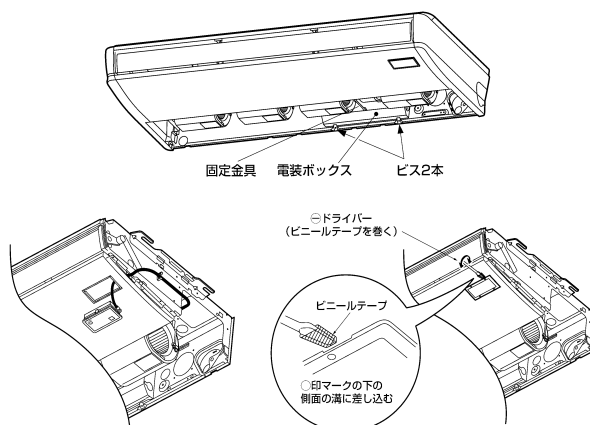
2. 受信部の取り付け

1. 固定金具をはずします。
2. 電装ボックスのカバー取付ビス（2カ所）をゆるめてカバーをはずします。（右図）
3. 受信部を室内ユニットに取り付けます。
 - ① ○ドライバーの先端にビニールテープを巻き、カバーの○印の下側の側面の溝に差し込んでこじるようにしてください。（下図右）
 - ② パネルにリード線を通してから受信部をパネル穴に取り付けます。
 - ③ 受信部のリード線は、ルーバモーターの配線を固定しているクリップに固定します。（下図左）

ワイヤレスリモコンをご使用になる場合は、別紙の“昇降グリルメカキットとワイヤレスリモコンを併用する場合”の説明書に従って取り付けてください。

〈注意1〉受信部の配線は電源引込線などといっしょにより合わせると誤作動の原因となりますので避けてください。

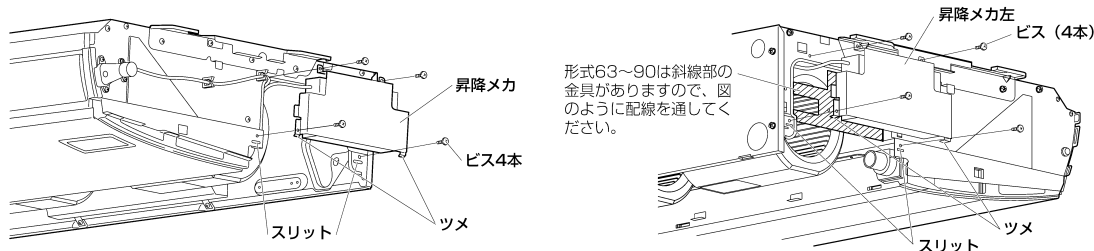
〈注意2〉ユニット電源にノイズを誘導している場合は、ノイズフィルターを取り付ける等の処置が必要です。



3. 昇降メカの取り付け

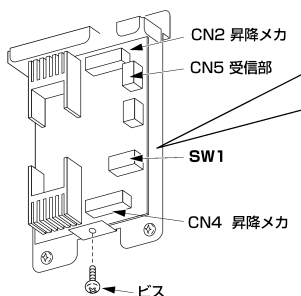
昇降メカの取り付けは、冷媒配管・ドレン配管接続後に行ってください。

1. 昇降メカのツメ2カ所を室内ユニット側面のスリットに押し込み、付属のビス（4本）で取り付けます。
 - ※昇降メカは左右違いますのでご注意ください。
 - ※昇降メカの吊りワイヤーとばねの入ったビニール袋は、工事が終わるまで取りはずさないでください。
 - ※左ドレン配管を行う場合は、昇降メカの吊りワイヤーとドレン断熱材が接触しないように注意してください。

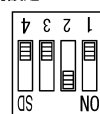


4. 昇降高さおよび機種切替の設定のしかた

1. 昇降電装ボックスのビス（1カ所）をゆるめ、カバーをはずしてください。
2. ご使用になる高さにあわせて、右図のように基板上的のスイッチを設定してください。
出荷時は2.0m天井吊形の設定になっています。
3. 昇降電装ボックスを室内ユニットに取り付けてください。
室内ユニットの差し込み部に昇降電装ボックスを差し込み、付属のビス（2カ所）で固定してください。



グリル下降距離設定 (SW1)
(出荷時設定=2.0m 天井吊形)

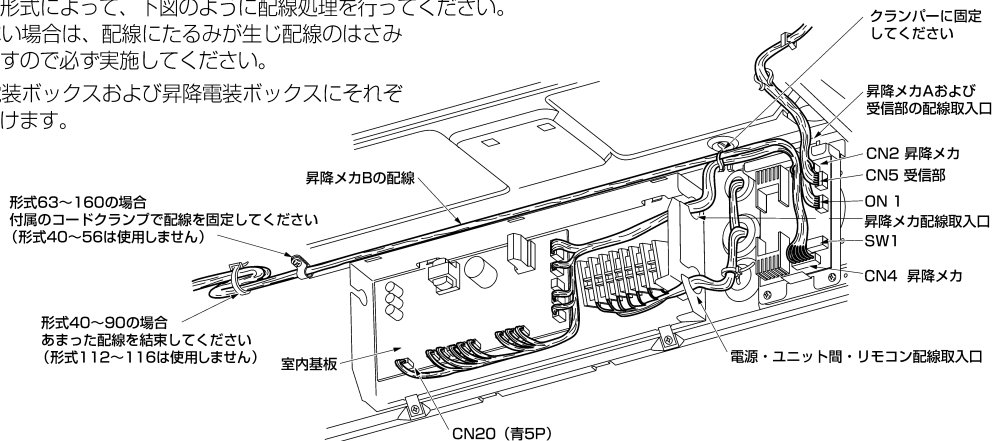


[m]	1	2	3	4
1.0	0	0	0	0
1.5	1	0	0	0
2.0	0	1	0	0
2.4	0	1	1	0
2.7	1	1	0	0
3.1	1	1	1	0

※ 4 は機種の切替です。天井吊形は出荷時の位置 (0) から動かさないでください。

5.配線のしかた

1. 昇降メカから出ている配線コネクタを昇降電装ボックスに接続します。それぞれ昇降メカA（短配線）をCN2、昇降メカB（長配線）をCN4に接続します。
2. 受信部から出ている配線・コネクタを昇降電装ボックスのCN5に接続します。
3. 昇降電装ボックスのCN1から出ている配線コネクタを室内ユニットのCN20（GRL）コネクタに接続します。
4. 各室内ユニットの形式によって、下図のように配線処理を行ってください。
配線処理を行わない場合は、配線にたるみが生じ配線のはさみ込み等が発生しますので必ず実施してください。
5. 室内ユニットの電装ボックスおよび昇降電装ボックスにそれぞれカバーを取り付けます。



6. サイドパネル・昇降グリルの取り付け

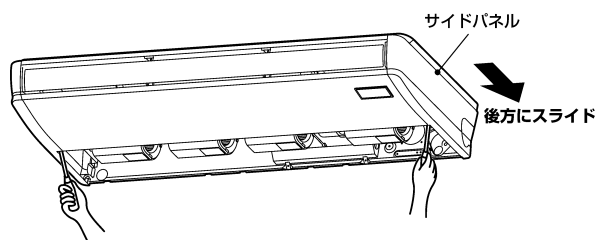
A. サイドパネルの取り付け

- ① サイドパネルを後方にスライドして取り付け、固定ビスで取り付けてください。
- サイドパネルを取り付けるときは、吊りワイヤーおよび配線をはさまないように気をつけてください。

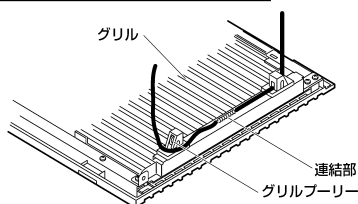
B. 昇降グリルの取り付け

昇降メカに貼り付けてあるビニール袋から吊りワイヤーとばねを取り出してください。

- ① 図のようにグリルブリーヘワイヤーを確実に通してください。
- 取り付けが終わったらもう一度次の確認をしてください
 - ・吊りワイヤーの連結部がはずれかけていませんか
 - ・グリルの吊りワイヤーが配線などと接触していませんか
 - ・吊りワイヤーがブリーヘからはずれたり、はさまったりしていませんか



グリルの吊り方



- ② 通電の有無で次の対応を行ってください。

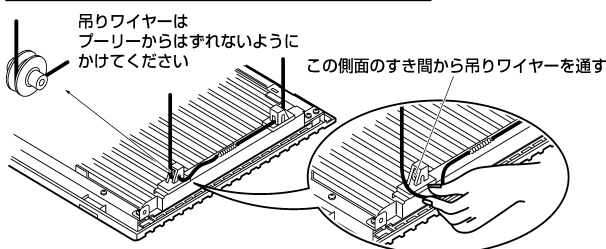
エアコンに電源が通電されている場合

- ① 吸込グリルのフック（2カ所）をはずして昇降グリル固定金具に付属しているシールを貼り付けてください。
ヒンジはそのまま取りはずしてください。
ヒンジ・フックは、取付説明書と一緒に保管してください。
- ② ヒンジ・フックが取り付けられていないのを確認し、昇降グリル用リモコンで吸込グリルを上昇させます。

エアコンに電源が通電されていない場合

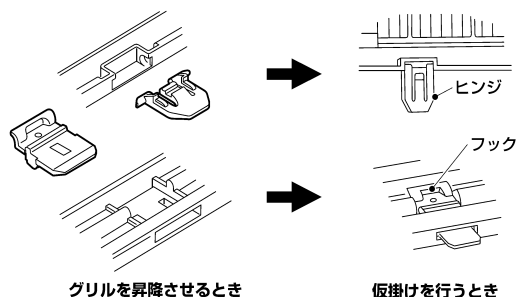
- ① 電源が通電されるまで吸込グリルに取り付けてあるフックとヒンジをそのまま使用し、吊りワイヤーが外に出ないように吸込グリルを取り付けてください。
- ② 通電されたら、必ず上記の“エアコンに電源が通電されている場合”の説明に従い、作業を行ってください。

グリルブリーヘへの吊りワイヤーの通し方



ヒンジ・フックの取り付け方（応急時）

仮掛けを行う場合には、室内ユニットのグリルに取り付けてあったフックおよびヒンジを使用してください。



7. 据え付け後の設定・その他

(1) 据え付け後の確認

- 配線接続が確実にされていることを確認します。
※接続されていないと、グリルの昇降動作ができなくなります。

(2) 昇降グリルをワイヤードまたはタイマーリモコンから操作するための設定方法

ワイヤード（タイマー）リモコンの「**フィルタ**」ボタンでグリルを操作するためには必ずワイヤード（タイマー）リモコンから下記設定を行なってください。この設定をしないと「**フィルタ**」ボタンを長押ししても“この機能は使用できません”または“**⊗**”が表示されます。

① **（点検）** + **（取消）** + **（セット）** ボタンを同時に4秒間以上押します。

※昇降グリルを設置している室内ユニットを含むグループ制御を行なう場合は親機に対して設定する必要があります。最初に表示されるユニットNoはグループ制御の親機の室内ユニットアドレスですので**（ユニット選択）**ボタンを押さないでください。

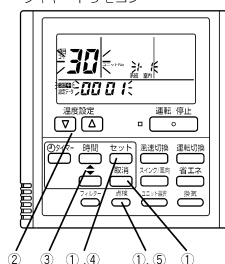
② 温度設定 **（▲）** / **（▼）** ボタンで項目コード「30」を指定します。

③ 時間 **（▲）** / **（▼）** ボタンで設定データを「0000」から「0001」に変更します。

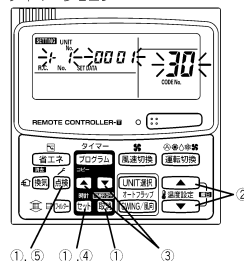
④ **（セット）** ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変わればOK）

⑤ **（点検）** ボタンを押します。通常の停止状態になります。「**フィルタ**」ボタンを4秒間以上押して液晶表示部に“フィルター **昇降**”または“**⊗**”と表示されることを確認してください。再度「**フィルタ**」ボタンを4秒間以上（または、2回）押すと通常の停止状態に戻ります。

ワイヤードリモコン



タイマーリモコン



ワイヤレスリモコン対応の場合

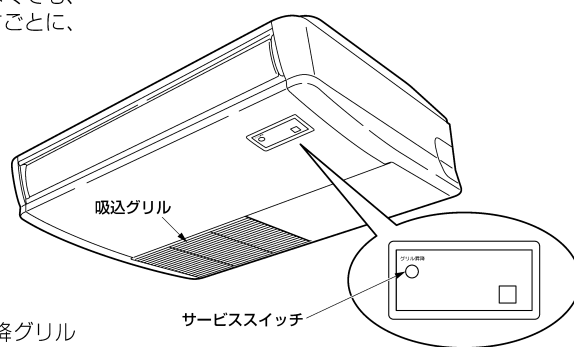
- 別売品の昇降操作専用リモコンでも昇降グリルの操作が可能です。
- 別売ワイヤレスリモコン（本体組込受信部タイプ）を併用する場合は、別紙「昇降グリルメカキットとワイヤレスリモコンを併用する場合」を参照してください。

(3) 据え付け後の動作確認

- (2)の設定終了後に、動作確認を行ってください。
- 電源投入時、初めて操作した場合は、下げるを押しても上昇動作をします。
- 昇降グリルが室内ユニットにきちんと収まると、収納動作を2回くり返した後、モーターが停止します。
- 上昇動作途中で停止の場合は、再度上げるを押して、収納を確認してください。

(4) サービス時

- リモコン（ワイヤード・昇降操作専用リモコン・ワイヤレス）を使用しなくても、右図のサービススイッチにて、昇降が可能です。サービススイッチは押すごとに、上昇、停止、下降をくり返します。

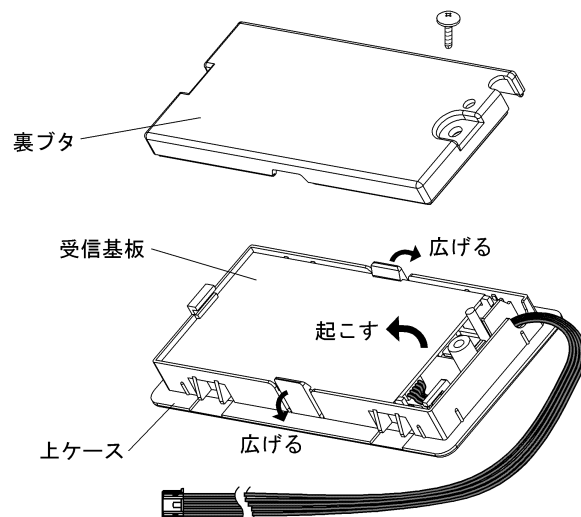


サービススイッチでも動作しない場合に、昇降グリルをはずす時は、昇降グリルを下方に引き下げ、サイドパネルを固定しているビス（2カ所）をはずしてサイドパネルをはずします。
昇降メカを固定しているビスをはずして、昇降メカと一緒に昇降グリルをはずしてください。

上記項目を確認した後、この説明書とユニット本体および別売部品の説明書等の一式全てとヒンジ・フックをお客様へ渡してください。
その際、ユニット本体の取扱説明書に記載されたフィルターの清掃の説明を必ずお客様へしてください。

■昇降グリルメカキットとワイヤレスリモコンを併用する場合

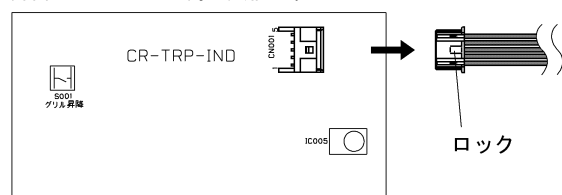
①昇降グリルメカキット付属の受信部およびワイヤレスリモコンの受信部の裏ブタをはずします。
(右の図は昇降グリルメカキット付属の受信部の例です)



②それぞれの受信基板を上ケースからはずします。このとき、基板両サイドの爪を広げながら、配線側を起こすようにはずしてください。

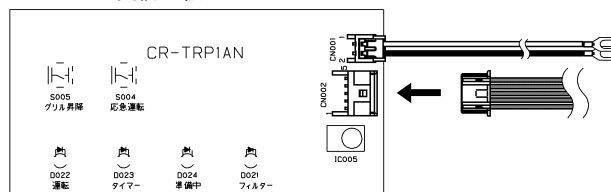
③昇降グリルメカキット付属の受信基板から配線ははずします。コネクタにはロックがありますので、押さえながら抜いてください。

昇降グリルメカ付属の受信基板

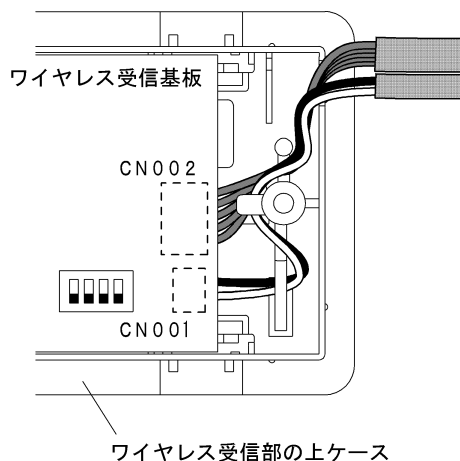


④昇降グリルメカキット付属の受信基板からはずした配線を、ワイヤレス受信基板のCN002に接続します。コネクタがロックするまでしっかりと挿入してください。

ワイヤレス受信基板

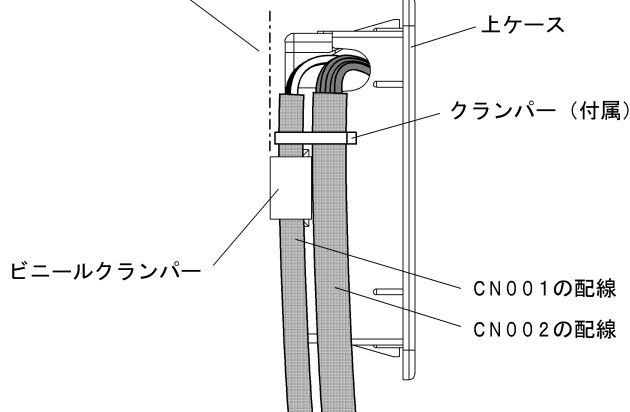


⑤ワイヤレス受信基板をワイヤレス受信部の上ケースに取り付け、それぞれの配線を下図のように処理してください。



⑥配線ははさまないように裏ブタを取り付け、CN001の配線(2本)をビニールクランパーでケースと共締めし、CN002の配線を付属のクランパーでCN001の配線と下図の位置で結束してください。

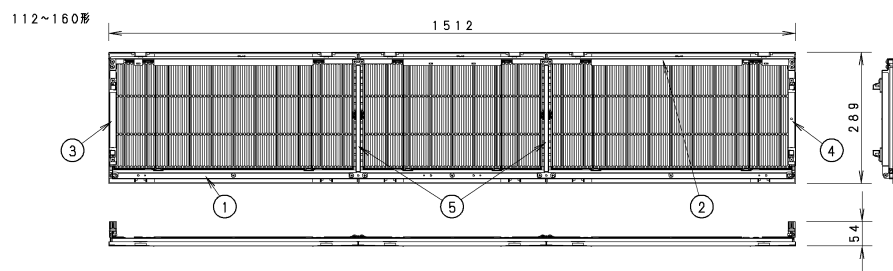
配線がケースのこの位置より上にふくらまないように処理してください。



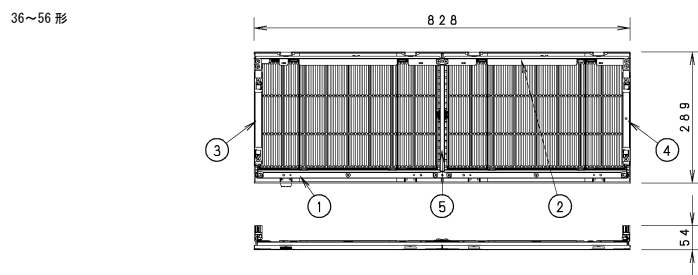
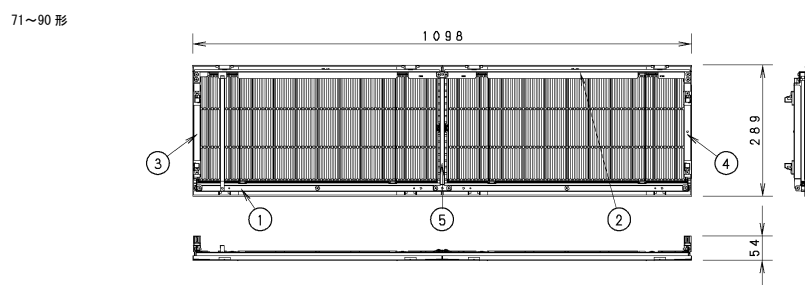
※受信部の室内ユニットへの取り付けは「天井吊形昇降グリルメカキット取付説明書」および、ワイヤレスリモコンの「据付(電気)工事担当およびサービス担当のかたへ」を参照してください。

昇降グリル固定金具 (GRL-T56AU, GRL-T80AU, GRL-T160AU)

■外形寸法図



①	金具A
②	金具B
③	グリル台A
④	グリル台B
⑤	中央固定金具



■昇降グリル固定金具取り付け時の注意

- ・取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。
この取付説明書は昇降メカキット取扱説明書と一緒に保管してください。
- ・固定金具の取り付けは、必ず付属のビス（4×12）を使用してください。

■構成部品

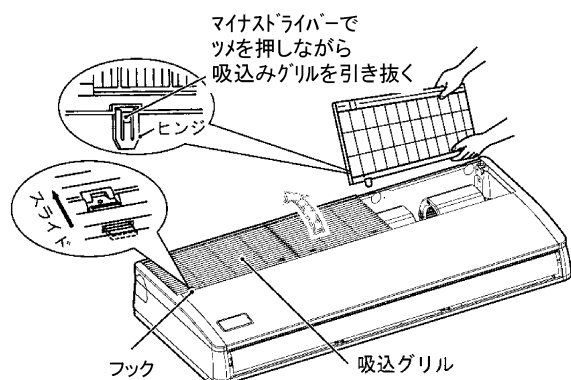
図番	品名	形状	員数	備考
①	金具A		1	T56AU
				T80AU
				T160AU
②	金具B		1	T56AU
				T80AU
				T160AU
③	プーリ台A (ダボ無)		1	T56AU(バランスウエイト付)
				T80AU,T160AU共用
④	プーリ台B (中央にダボ有)		1	T56AU(バランスウエイト付)
				T80AU,T160AU共用
⑤	中央固定金具		1	T56AU
			1	T80AU
			2	T160AU
			14	T56AU
			14	T80AU
⑥	ビス 4×12		19	T160AU
			4	T56AU
			4	T80AU
⑦	シール材		6	T160AU
			4	T80AU
			4	T56AU

(白色)

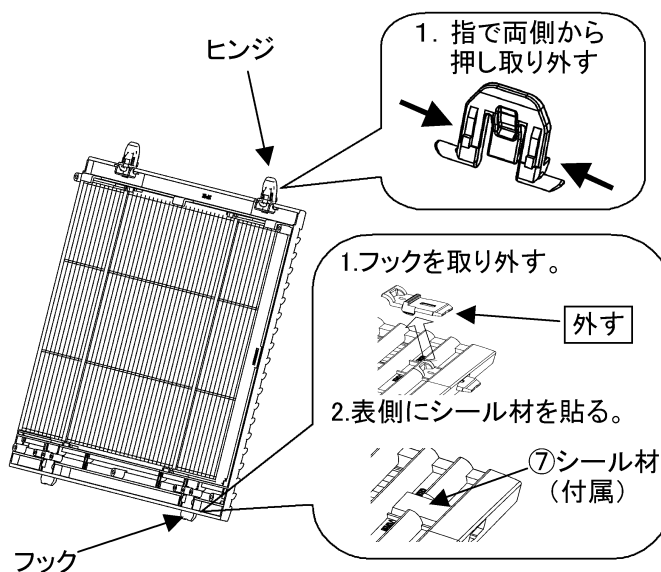
■昇降グリル固定金具取り付け前準備

(1) 吸込グリル取り外し

- ・吸込グリル固定フックを矢印方向にスライドし吸込グリルを開いてください。
- ・吸込グリルを開いた状態で、後部ヒンジのツメ部をマイナスドライバーで押しながら吸込グリルを引き抜いてください。



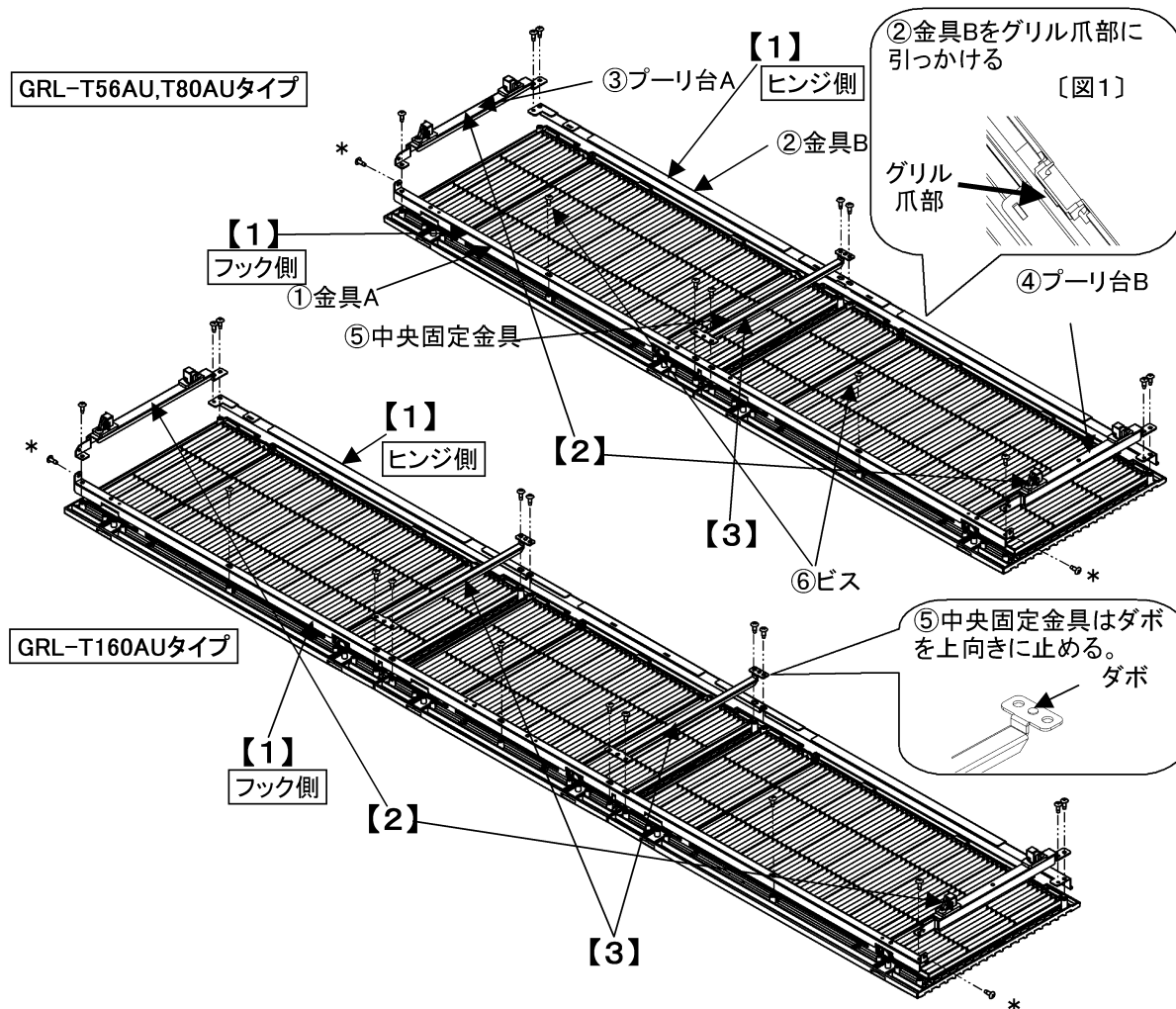
(2) フックとヒンジの取り外し



取り外したヒンジ、フックは、取付説明書と一緒に保管してください。

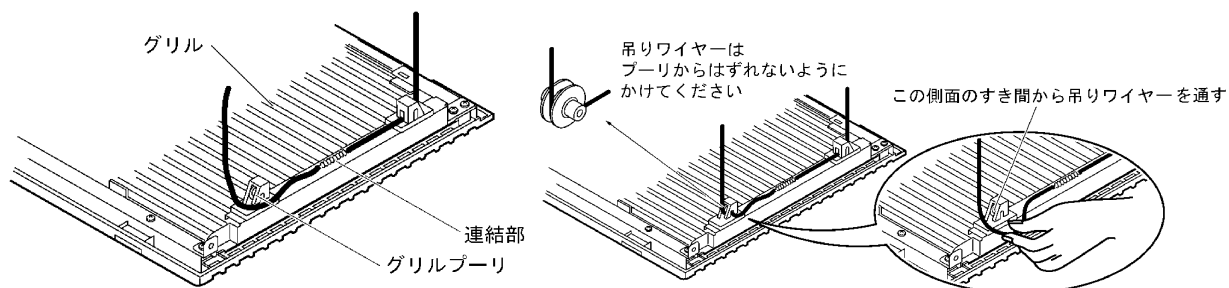
■昇降グリル固定金具取り付け手順

- 【1】. グリルのフック側に①金具Aを、グリルのヒンジ側に②金具Bを乗せてください。
②金具Bを乗せる際にグリル爪部に引っかけるように差し込んでください〔図1〕。
- 【2】. グリル左側に③プーリ台Aを乗せビス4本で止めてください（*印のビスを4番目に止めてください）。
グリル右側に④プーリ台Bを乗せビス4本で止めてください（*印のビスを4番目に止めてください）。
- 【3】. ⑤中央固定金具をダボが上向になるように乗せビス4本で止めしてください。
各グリルの中央部のボスと①金具Aをビス止めしてください。



■室内ユニット本体への取り付け方法

2で組み立てたグリルを、別売品昇降グリルメカキットの取付説明書を参照して室内ユニットに取り付けてください。



高性能フィルター

(AFT-MT56A、AFT-MT80A、AFT-MT160A)

超ロングライフフィルター

(AFT-LT56A、AFT-LT80A、AFT-LT160A)

■高性能フィルター仕様

形 名		天井吊形						
高性能フィルター品番		AFT-MT56A		AFT-MT80A		AFT-MT160A		
適用機種		36・45形	56形	71・80形	90形	112形	140形	160形
初期風量 (m³/min)		11.6	12.7	18.2	19.3	26.5	29.0	30.8
最終風量 (m³/min)		8.6	9.3	13.6	14.3	19.8	21.8	23.0
初期圧損 (Pa)		6.2	6.8	7.3	8.0	9.7	11.3	12.5
最終圧損 (Pa)		45.2	52.8	53.3	60.0	65.7	77.3	86.5
保塵量 (g/ユニット)		95	100	140	145	215	240	250
フィルター寿命 (時間)		2300	2200	2100	2100	2300	2300	2300
フィルターチャンバ (注1)		CMB-FT56A		CMB-FT80A		CMB-FT160A		
平均効率		J I S比色法 65% (JIS 11種)						
仕様濾材		ポリオレフィン系帯電繊維						
フィルター 外形寸法	幅 (mm)	(373×2)		(508×2)		(716×2)		
	奥行 (mm)	257						
	厚み (mm)	30						
	質量 (kg)	0.7		0.9		1.3		

(注1) フィルターチャンバーは必ず必要です。

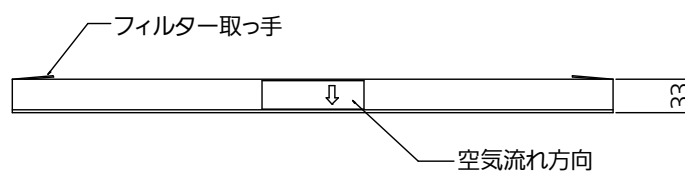
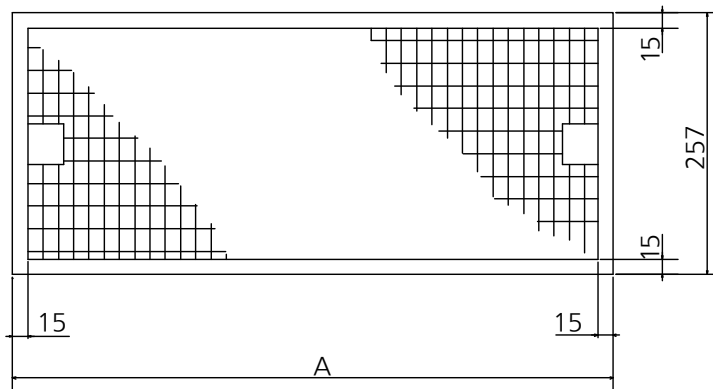
■超ロングライフフィルター仕様

形 名		天井吊形						
超ロングライフフィルター品番		AFL-LT56A		AFL-LT80A		AFL-LT160A		
適用機種		36・45形	56形	71・80形	90形	112形	140形	160形
初期風量 (m³/min)		12.2	13.0	18.6	19.8	27.1	29.5	31.5
最終風量 (m³/min)		8.7	9.5	13.9	14.8	19.1	21.2	23.1
初期圧損 (Pa)		2.1	2.4	2.1	2.3	4.3	5.1	5.7
最終圧損 (Pa)		17.6	19.4	18.9	20.8	27.8	31.1	33.7
保塵量 (g/ユニット)		550	580	840	890	1250	1320	1410
フィルター寿命 (時間)		5000	5000	5000	5000	5100	5000	5000
フィルターチャンバー (注1)		CMB-FT56A		CMB-FT80A		CMB-FT160A		
平均効率		JIS重量法 40% (JIS 15種)						
仕様濾材		PPハニカム (防カビ仕様)						
フィルター 外形寸法	幅 (mm)	(373×2)		(508×2)		(716×2)		
	奥行 (mm)	257						
	厚み (mm)	30						
	質量 (kg)	1.1		1.4		1.8		

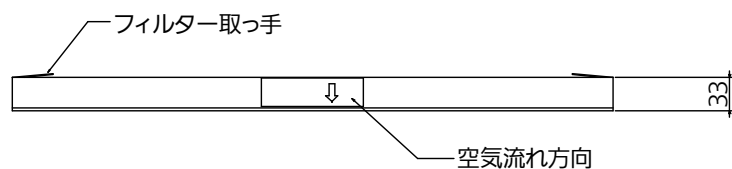
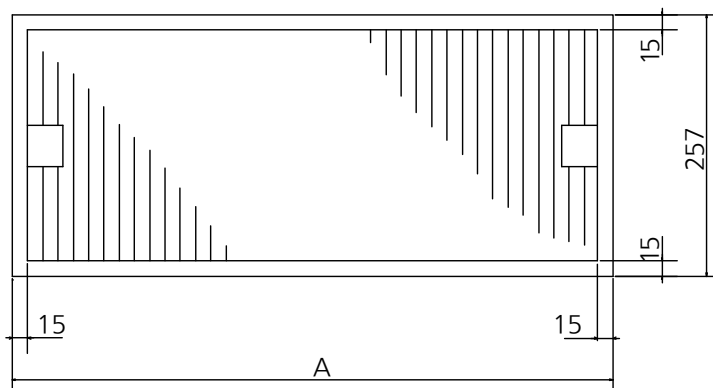
(注1) フィルターチャンバーは必ず必要です。

■外形寸法図

適用機種	フィルター品番	A寸法	個数
36～56形	AFT-MT56A	373	2
71～90形	AFT-MT80A	508	2
112～160形	AFT-MT160A	716	2



適用機種	フィルター品番	A寸法	個数
36～56形	AFT-LT56A	373	2
71～90形	AFT-LT80A	508	2
112～160形	AFT-LT160A	716	2



■ ご注意

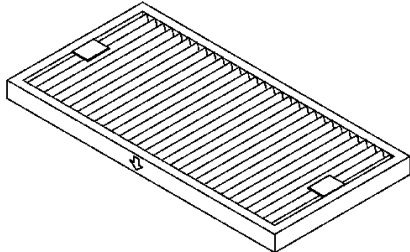
- 取付前に本説明書とフィルターチャンバーの取付説明書をよくお読みください。
- この取付説明書は室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管しておいてください。
- フィルターを使用する場合は、フィルターチャンバー付属の取付説明書に従い、ファンタップの変更を行ってください。行わない場合は、風量減少・露付の原因となります。

■ 取り付け前準備

各フィルターとフィルターチャンバーの組合せは下記の通りですので、ご確認ください。

高性能フィルター	超ロングライフフィルター	フィルターチャンバー（別売品）
AFT-MT56A	AFT-LT56A	CMB-FT56A
AFT-MT80A	AFT-LT80A	CMB-FT80A
AFT-MT160A	AFT-LT160A	CMB-FT160A

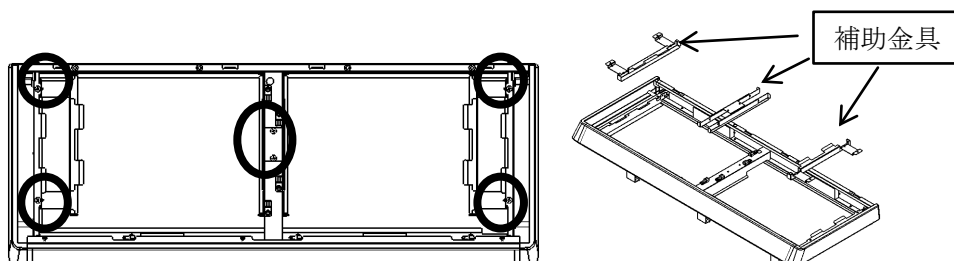
■ 付属品

名称	個数	備考
高性能フィルターまたは超ロングライフフィルター 	2	● 高性能フィルターは使い捨てです。 ● 方向性がありますので注意してください。

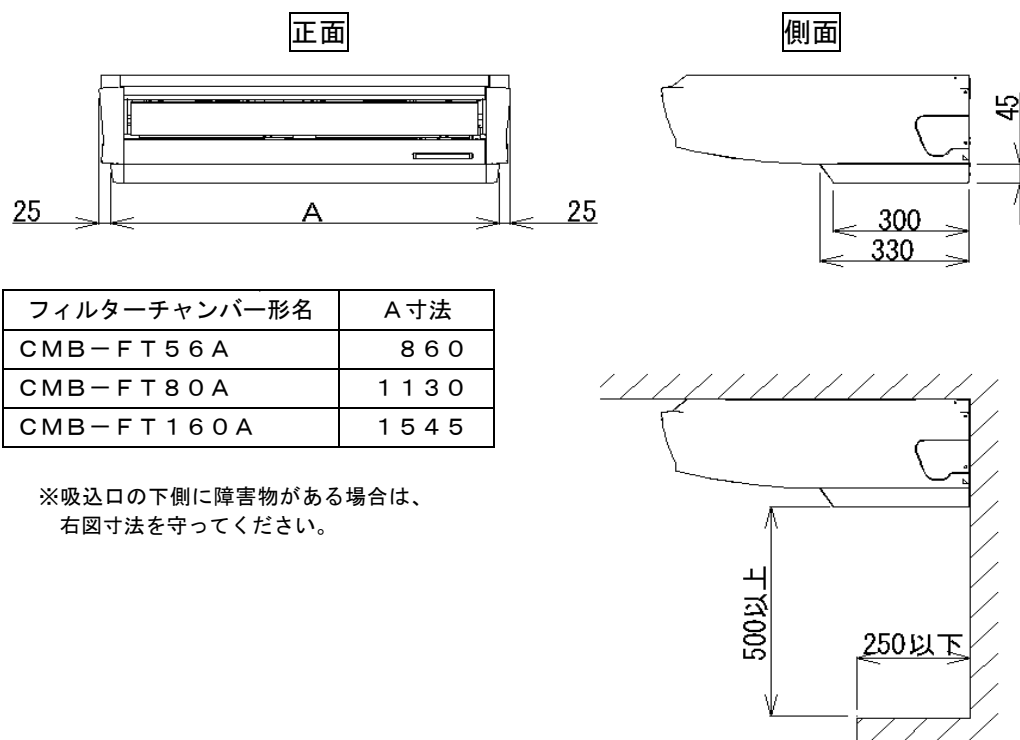
■ 補助金具の取外し

高性能フィルター・超ロングライフフィルターを使用する場合はフィルターチャンバーに取り付けてある補助金具が不要となりますので、下記の通りビス(各2本)をはずして補助金具を取りはずしてください。補助金具とビスは、この説明書と一緒に保管していただくようお客様にご依頼ください。

○内のビスをはずして補助金具を取りはずしてください

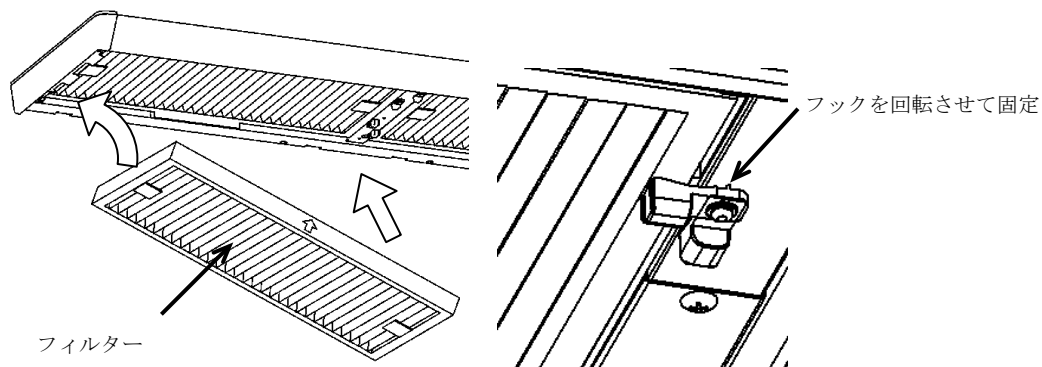


■フィルターチャンバー取付図



■各フィルターの取り付け方

各フィルターを下図のように取り付け、フックを回転させて固定してください。



■超ロングライフフィルターをご使用の場合

超ロングライフフィルターをご使用の場合には、吸込グリルに取り付けてある ロングライフフィルターを取りはずしてご使用ください。

デオドラントフィルター

(AFT-DT56A、AFT-DT80A、AFT-DT160A)

アンモニア脱臭フィルター

(CZ-02FET3、CZ-03FET3、CZ-06FET3)

■デオドラントフィルター仕様

形 名		天井吊形						
デオドラントフィルター品番		AFT-DT56A		AFT-DT80A		AFT-DT160A		
適用機種		36・45形	56形	71・80形	90形	112形	140形	160形
初期風量 (m³/min)		12.1	13.2	18.4	19.5	27.0	29.7	31.5
最終風量 (m³/min)		8.6	9.3	13.6	14.3	19.8	21.8	23.0
初期圧損 (Pa)		4.2	4.6	6.5	7.1	8.3	9.6	10.5
最終圧損 (Pa)		45.2	52.8	53.3	60.0	65.7	77.3	86.5
フィルターチャンバー (注1)		CMB-FT56A		CMB-FT80A		CMB-FT160A		
フィルター同梱数量		2		2		2		
初期脱臭性能／メンテナンスの目安		75% (JEM1467準拠) ／ (交換目安) 約6ヶ月						
初期集塵性能／交換目安		比色法 65% ／ 1800時間 (注3)						
仕様濾材		除塵シート (帯電ポリプロピレン) 脱臭層 (活性炭＋ゼオライト吸着剤) 防菌シート (抗菌難燃性ポリエステル／レーヨン不織布)						
フィルター 外形寸法	幅 (mm)	(310×2)		(445×2)		(652×2)		
	奥行 (mm)	225						
	厚み (mm)	15						
	質量 (kg)	0.50		0.66		0.90		
昇降グリルメカキット (注2)		GRL-T160BU. WL						
昇降グリル固定金具 (注2)		GRL-T56AU		GRL-T80U		GRL-T160AU		

(注1) フィルターチャンバーは必ず必要です。

(注2) 昇降グリルを使用する場合必要です。

(注3) 600時間毎にフィルター掃除を行った場合です。

■アンモニア脱臭フィルター仕様

形 名		天井吊形						
アンモニア脱臭フィルター品番		CZ-02FET3		CZ-03FET3		CZ-06FET3		
適用機種		36・45形	56形	71・80形	90形	112形	140形	160形
初期風量 (m ³ /min)		11.8	12.6	17.9	19.0	25.8	28.1	30.1
最終風量 (m ³ /min)		8.7	9.5	13.9	14.8	19.1	21.2	23.1
初期圧損 (Pa)		3.5	3.9	4.3	4.7	7.5	8.7	9.7
		17.6	19.4	18.9	20.8	27.8	31.1	33.7
フィルターチャンバー (注1)		CMB-FT56A		CMB-FT80A		CMB-FT160A		
初期脱臭性能／メンテナンスの目安		90％ (JEM1467準拠) (アンモニアのみ) ／ (交換目安) 約6ヶ月						
初期集塵性能／交換目安		比色法 65％ ／ 1800時間 (注3)						
仕様濾材		除塵シート (帯電ポリプロピレン) アンモニア脱臭抗菌シート (難燃性塩ビ系繊維＋アンモニア吸着剤＋抗菌剤)						
フィルター 外形寸法	幅 (mm)	(310×2)		(445×2)		(652×2)		
	奥行 (mm)	225						
	厚み (mm)	15						
	質量 (kg)	0.45		0.58		0.78		
昇降グリルメカキット (注2)		GRL-T160BU. WL						
昇降グリル固定金具 (注2)		GRL-T56AU		GRL-T80U		GRL-T160AU		

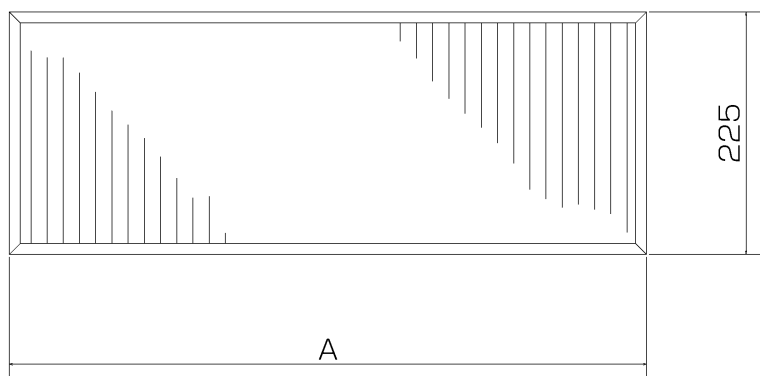
(注1) フィルターチャンバーは必ず必要です。

(注2) 昇降グリルを使用する場合必要です。

(注3) 600時間毎にフィルター掃除を行った場合です。

■外形寸法図

適用機種	フィルター品番	A寸法	個数
36～56 形	AFT-DT56A CZ-02FET3	310	2
71～90形	AFT-DT80A CZ-03FET3	445	2
112～160形	AFT-DT160A CZ-06FET3	652	2



■ ご注意

- ご使用になるまでフィルターを開封しないでください。
(デオドラントフィルター、アンモニア脱臭フィルターの寿命が短くなります。)
- フィルターの交換方法は本紙を参照してください。
- デオドラントフィルター・アンモニア脱臭フィルターの取り付けには、フィルターチャンバー (CMB-FT56A, FT80A, FT160A) が必要です。
- この説明書は室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管しておいてください。
- デオドラントフィルター、アンモニア脱臭フィルターは本体付属のロングライフフィルターと必ず併用してください。
- デオドラントフィルター、アンモニア脱臭フィルターは、他の別売フィルターとの併用はできません。

■ デオドラントフィルター・アンモニア脱臭フィルターの取り付け方

本フィルターの取り付けかたには、**(A フィルターチャンバーに取り付ける場合)**と**(B 昇降グリルを使用、吸込みグリルに取り付ける場合)**があります。
ご使用になる状況に応じて以下に示す取り付けかたを参照してください。

A フィルターチャンバーに取り付ける場合

- フィルターチャンバー (CMB-FT56A, FT80A, FT160A) が必要です。

1 室内ユニットにフィルターチャンバーを取り付けます。

※フィルターチャンバーの取り付けは、フィルターチャンバーに付属の取付説明書を参照してください。

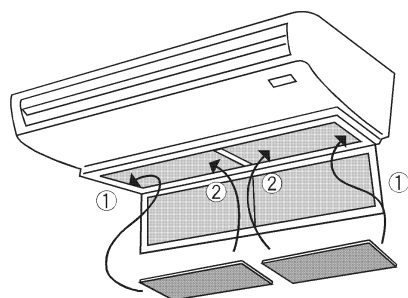
2 フィルターチャンバーにデオドラントフィルターまたはアンモニア脱臭フィルターを入れます。

- ①フィルターチャンバー内部の両端にあるガイドにデオドラントフィルターまたはアンモニア脱臭フィルターを挿入します (左右、各々について行ないます)。

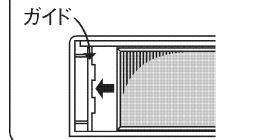
お願い

フィルター本体に貼り付けてあるラベルに風の流れる方向を示す矢印が書かれています。矢印が上を示すように取り付けてください。

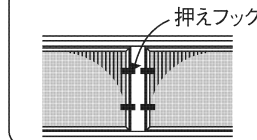
- ②デオドラントフィルターまたはアンモニア脱臭フィルターを上側に突きあたるまで押し込み、フィルターチャンバー中央部に設けられた「押えフック」をフィルターの縁の上にくるように回転させて固定します。



①部拡大図



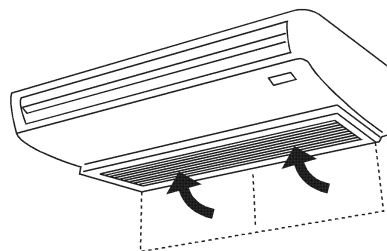
②部拡大図



3 吸込グリルを閉じ、ツマミをスライドさせて確実に固定します。

お願い

デオドラントフィルター・アンモニア脱臭フィルターを取り付ける場合は、フィルターチャンバー付属の取付説明書に従い、ファンタップの変更を行ってください。行わない場合は、風量減少・露付の原因となります。



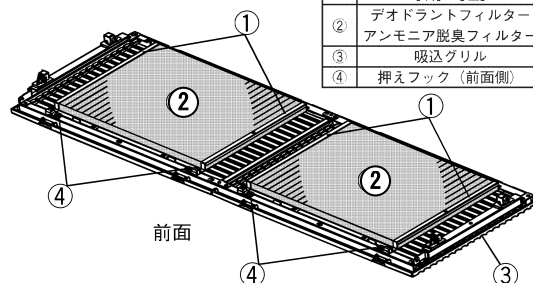
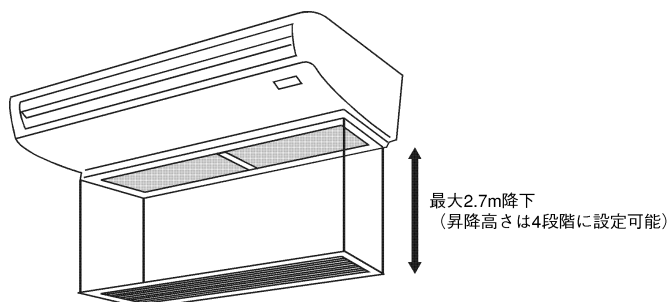
*本フィルターをフィルターチャンバーに取り付けた場合にも、昇降グリルを取り付けることができます。

- 取り付けには、フィルターチャンバーの他に、昇降グリルメカキット (CZ-06KSKD3) と昇降グリル固定金具 (GRL-T56AU, T80AU, T160AU) が必要です。

※昇降グリルを取り付ける場合は、昇降グリルメカキット (および昇降グリル固定金具) に付属の取付説明書を参照してください。

B 昇降グリルを使用し、吸込グリルに取り付ける場合

- 取り付けにはフィルターチャンバーの他に昇降グリルメカキット (CZ-O6KSKD3) と昇降グリル固定金具 (GRL-T56AU,T80AU,T160AU) が必要です。



番号	名 称	個数
①	脱臭フィルター固定金具 [右] [左]	各2 (計4)
②	デオドラントフィルター アンモニア脱臭フィルター	2
③	吸込グリル	1
④	押えフック (前面側)	4

■取り付け方法

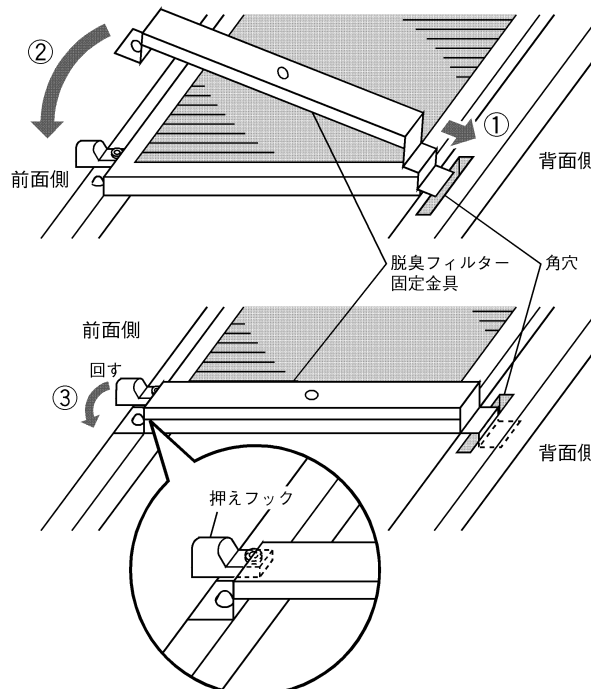
- 室内ユニットに昇降グリルメカキット (および昇降グリル固定金具)、フィルターチャンバーを取り付けます。
※昇降グリルメカキット (および昇降グリル固定金具)、フィルターチャンバーの取り付けは、昇降グリルメカキット (および昇降グリル固定金具)、フィルターチャンバー各々に付属の取付説明書を参照してください。

- デオドラントフィルターまたはアンモニア脱臭フィルターを吸込グリルについている本体に付属のロングライフフィルターのの上にせて、フィルターチャンバーに付属の脱臭フィルター固定金具で確実に固定してください。

※フィルターチャンバーに同梱されている「押えフック」を昇降グリル固定金具にネジで固定してください。

＜フィルターの固定方法＞

- ①背面側の角穴に脱臭フィルター固定金具を右図のようにはめ込みます。
- ②脱臭フィルター固定金具をフィルターの縁の上にくるようにのせ、前面側の凸部分に脱臭フィルター固定金具の穴をぴったりはめ込みます。
- ③「押えフック」を脱臭フィルター固定金具の上にくるように回転させて固定します。
- ④フィルター1枚につき両端をそれぞれ固定します。



お願い

- フィルター本体に貼り付けてあるラベルに風の流れる方向を示す矢印が書かれています。矢印が上を示すように取り付けてください。
- デオドラントフィルター・アンモニア脱臭フィルターを取り付ける場合は、フィルターチャンバー付属の取付説明書に従い、ファンタップの変更を行ってください。行わない場合は、風量減少・露付の原因となります。

■フィルターのお手入れ

■デオドラントフィルターまたはアンモニア脱臭フィルターのお手入れ方法

●2ヵ月に一度は掃除をしてください。

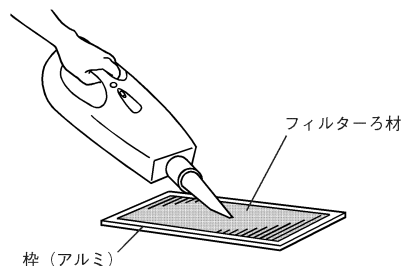
1

デオドラントフィルターまたはアンモニア脱臭フィルターを取り出してください。

(A フィルターチャンバーに取り付ける場合) または (B 昇降グリルを使用し、吸込みグリルに取り付ける場合) を参照して、フィルターを取り出してください。

2

デオドラントフィルターまたはアンモニア脱臭フィルターのホコリを掃除機で吸い取ってください。



3

デオドラントフィルターまたはアンモニア脱臭フィルターをもとどおりに確実に固定してください。

フィルターの交換時期

●デオドラントフィルター、アンモニア脱臭フィルターは、再使用できません。交換時期は、使いかたや使用場所により異なりますが、6ヵ月～1年に1回が目安です。

お願い

ご使用済のフィルターはフィルターろ材と枠を分離して、フィルターろ材は可燃物として、枠 (アルミ) は資源ゴミとして処理してください。

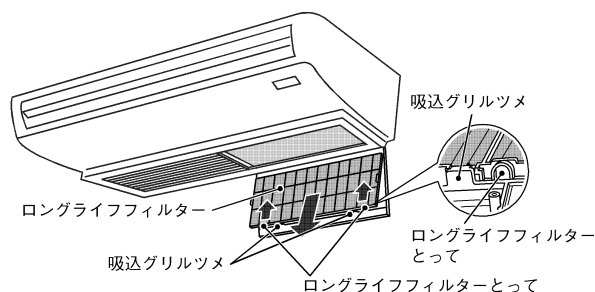
■本体に付属のロングライフフィルターのお手入れ方法

●デオドラントフィルターまたはアンモニア脱臭フィルターのお手入れの際には、室内ユニット (吸込グリル) に付属のロングライフフィルターをあわせて掃除してください。

1

ロングライフフィルターのとってを押し、吸込グリルのツメをはずします。ロングライフフィルターを手前に引き、取り出してください。

※昇降グリルを使用し吸込グリルにデオドラントフィルターまたはアンモニア脱臭フィルターを取り付けている場合は、デオドラントフィルターまたはアンモニア脱臭フィルターを先に取りはずしてください。

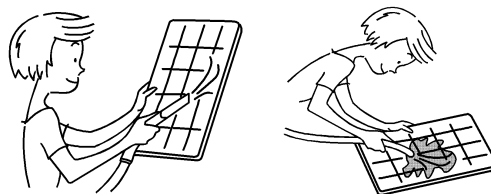


2

ロングライフフィルターのホコリを掃除機で吸い取るか水洗いしてください。

●汚れのひどいときは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯か水で洗うと効果があります。

●水洗いした後は、日陰でよく乾かしてください。



3

ロングライフフィルターを取り付けて、吸込グリルを閉じ、「ツマミ」を手前側にスライドさせて確実に固定してください。

※昇降グリルを使用し吸込グリルにデオドラントフィルターまたはアンモニア脱臭フィルターを取り付ける場合は、ロングライフフィルターを取り付けた後に、デオドラントフィルターまたはアンモニア脱臭フィルターを取り付けてください。

光再生脱臭フィルター

(CZ-02FDT3、CZ-03FDT3、CZ-06FDT3)

■光再生脱臭フィルター仕様

形 名		天井吊形						
光再生脱臭フィルター品番		CZ-02FDT3		CZ-03FDT3		CZ-06FDT3		
適用機種		36・45形	56形	71・80形	90形	112形	140形	160形
初期風量（m ³ /min）		12.5	13.4	19.0	20.1	28.1	30.5	32.6
最終風量（m ³ /min）		8.7	9.5	13.9	14.8	19.1	21.2	23.1
初期圧損（Pa）		0.9	1.0	1.0	1.1	2.0	2.5	2.8
最終圧損（Pa）		17.6	19.4	18.9	20.8	27.8	31.1	33.7
フィルターチャンバー（注1）		CMB-FT56A		CMB-FT80A		CMB-FT160A		
フィルター同梱数量		2		2		2		
初期脱臭性能／メンテナンスの目安		70%（JEM1467準拠）／（再生目安） 約6ヶ月（注3）						
仕様濾材		難燃性塩ビ系不織布（光触媒性酸化チタン、特殊ゼオライト含有）						
フィルター 外形寸法	幅（mm）	（310×2）		（445×2）		（652×2）		
	奥行（mm）	225						
	厚み（mm）	15						
	質量（kg）	0.40		0.58		0.70		
昇降グリルメカキット（注2）		CZ-06KSKD3						
昇降グリル固定金具（注2）		GRL-T56AU		GRL-T80AU		GRL-T160AU		

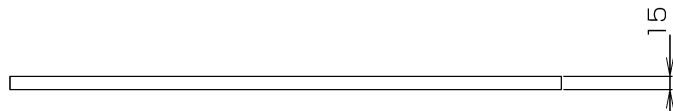
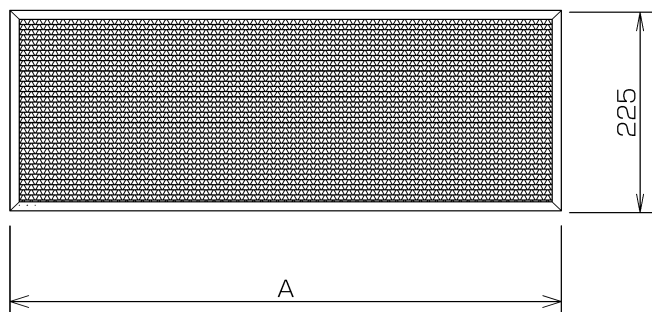
(注1) フィルターチャンバーは必ず必要です。

(注2) 昇降グリルを使用する場合必要です。

(注3) 天日干しによる再生で約6年使用可能です。(6ヶ月毎に再生の場合)

■外形寸法図

適用機種	フィルター品番	A寸法	個数
36～56形	CZ-02FDT3	310	2
71～90形	CZ-03FDT3	445	2
112～160形	CZ-06FDT3	652	2



■ ご注意

- ご使用になるまでフィルターを開封しないでください。
(光再生脱臭フィルターの寿命が短くなります。)
- フィルターの交換方法は本紙を参照してください。
- 光再生脱臭フィルターの取り付けには、フィルターチャンバー(CMB-FT56A, FT80A, FT160A)が必要です。
- この説明書は室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管しておいてください。
- 光再生脱臭フィルターは本体付属のロングライフフィルターと必ず併用してください。
- 光再生脱臭フィルターは、他の別売フィルターとの併用はできません。

■ 光再生脱臭フィルターの取り付け方

本フィルターの取り付けかたには、**(A フィルターチャンバーに取り付ける場合)**と**(B 昇降グリルを使用し、吸込みグリルに取り付ける場合)**があります。
ご使用になる状況に応じて以下に示す取り付けかたを参照してください。

A フィルターチャンバーに取り付ける場合

- フィルターチャンバー (CMB-FT56A, FT80A, FT160A) が必要です。

1 室内ユニットにフィルターチャンバーを取り付けます。

※フィルターチャンバーの取り付けは、フィルターチャンバーに付属の取付説明書を参照してください。

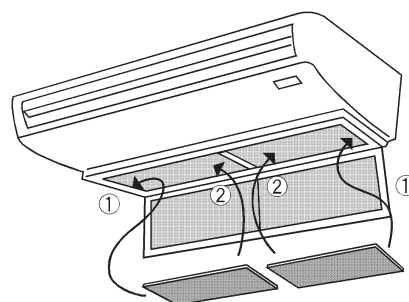
2 フィルターチャンバーに光再生脱臭フィルターを入れます。

- ①フィルターチャンバー内部の両端にあるガイドに光再生脱臭フィルターを挿入します(左右、各々について行ないます)。

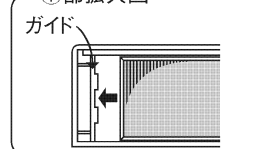
お願い

フィルター本体に貼り付けてあるラベルに風の流れる方向を示す矢印が書かれています。矢印が上を示すように取り付けてください。

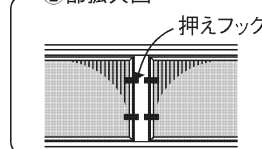
- ②光再生脱臭フィルターを上側に突きあたるまで押し込み、フィルターチャンバー中央部に設けられた「押えフック」をフィルターの縁の上にくるように回転させて固定します。



①部拡大図



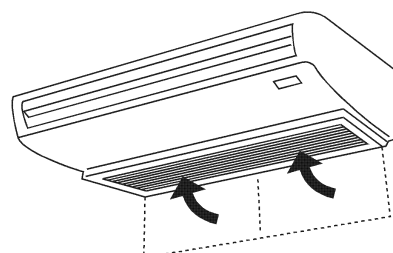
②部拡大図



3 吸込みグリルを閉じ、ツマミをスライドさせて確実に固定します。

お願い

光再生脱臭フィルターを取り付ける場合は、フィルターチャンバー付属の取付説明書に従い、ファンタップの変更を行ってください。行わない場合は、風量減少・露付の原因となります。



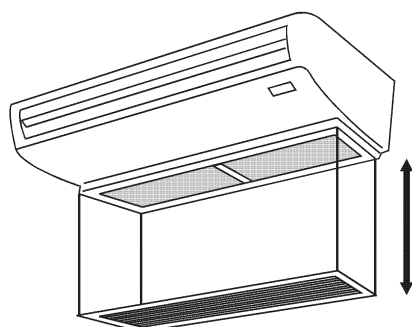
※本フィルターをフィルターチャンバーに取り付けた場合にも、昇降グリルを取り付けることができます。

- 取り付けには、フィルターチャンバーの他に、昇降グリルメカキット(CZ-O6KSKD3)と昇降グリル固定金具(GRL-T56AU, T80AU, T160AU)が必要です。

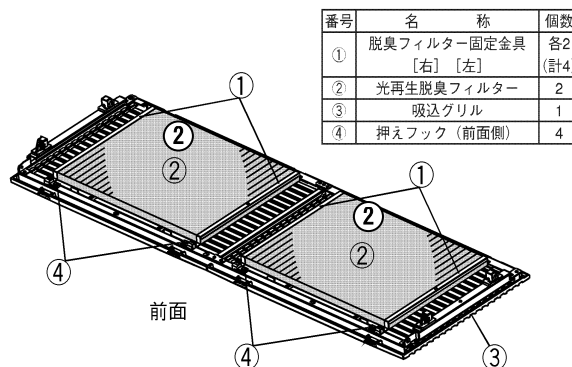
※昇降グリルを取り付ける場合は、昇降グリルメカキット(および昇降グリル固定金具)に付属の取付説明書を参照してください。

B 昇降グリルを使用し、吸込グリルに取り付ける場合

- 取り付けにはフィルターチャンバーの他に昇降グリルメカキット (CZ-06KSKD3) と昇降グリル固定金具 (GRL-T56AU,T80AU,T160AU) が必要です。



最大2.7m降下
(昇降高さは4段階に設定可能)



番号	名 称	個数
①	脱臭フィルター固定金具 [右] [左]	各2 (計4)
②	光再生脱臭フィルター	2
③	吸込グリル	1
④	押えフック (前面側)	4

■取り付け方法

- 1** 室内ユニットに昇降グリルメカキット (および昇降グリル固定金具)、フィルターチャンバーを取り付けます。
※昇降グリルメカキット (および昇降グリル固定金具)、フィルターチャンバーの取り付けは、昇降グリルメカキット (および昇降グリル固定金具)、フィルターチャンバー各々に付属の取付説明書を参照してください。

- 2** 光再生脱臭フィルターを吸込グリルについている本体に付属のロングライフフィルターのの上にのせて、フィルターチャンバーに付属の脱臭フィルター固定金具で確実に固定してください。

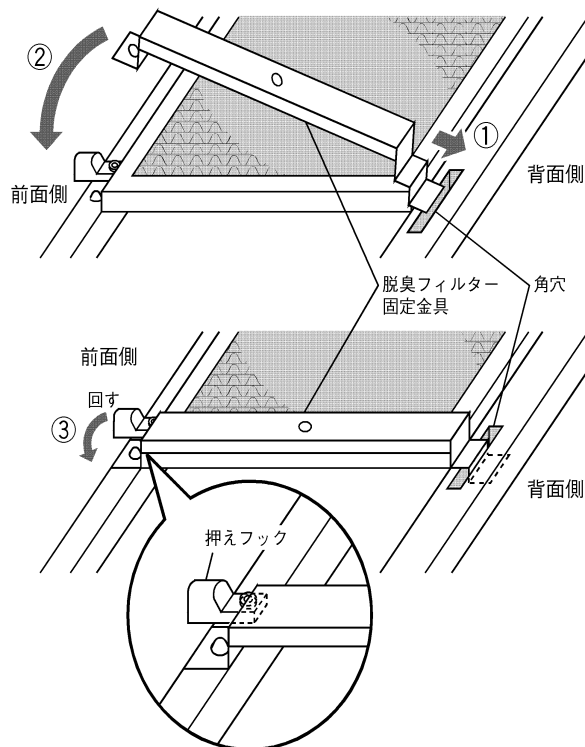
※フィルターチャンバーに同梱されている「押えフック」を昇降グリル固定金具にネジで固定してください。

<フィルターの固定方法>

- ①背面側の角穴に脱臭フィルター固定金具を右図のようにはめ込みます。
- ②脱臭フィルター固定金具をフィルターの縁の上にくるようにのせ、前面側の凸部分に脱臭フィルター固定金具の穴をぴったりはめ込みます。
- ③「押えフック」を脱臭フィルター固定金具の上にくるように回転させて固定します。
- ④フィルター1枚につき両端をそれぞれ固定します。

お願い

- フィルター本体に貼り付けてあるラベルに風の流れる方向を示す矢印が書かれています。矢印が上を示すように取り付けてください。
- 光再生脱臭フィルターを取り付ける場合は、フィルターチャンバー付属の取付説明書に従い、ファンタップの変更を行ってください。行わない場合は、風量減少・露付の原因となります。

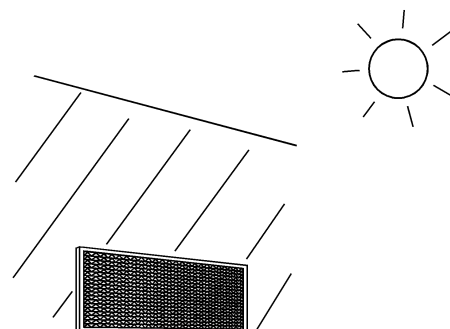


■フィルターのお手入れ

■光再生脱臭フィルターのお手入れ方法

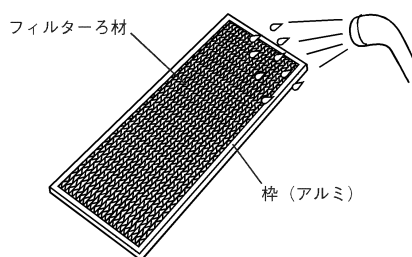
●6ヵ月に一度は掃除をしてください。

- 1 光再生脱臭フィルターを取り出してください。
(A フィルターチャンバーに取り付ける場合) または (B 昇降グリルを使用し、吸込みグリルに取り付ける場合)
を参照して、光再生脱臭フィルターを取り出してください。
- 2 光再生脱臭フィルターを軽くたたくなどしてホコリを落とし、6時間以上天日干ししてください。
- 3 光再生脱臭フィルターをもとどおりに確実に固定してください。



フィルターを水洗いする場合

- フィルターを天日干しできるところに水平に置き、シャワーなどの流水で水洗いをしてください。水洗いをしたあとは、そのまま乾くまで放置してください。このときも 6時間以上天日干ししてください。



ご注意

フィルターを水に濡れたまま取り扱っているとフィルターが破損するおそれがあります。

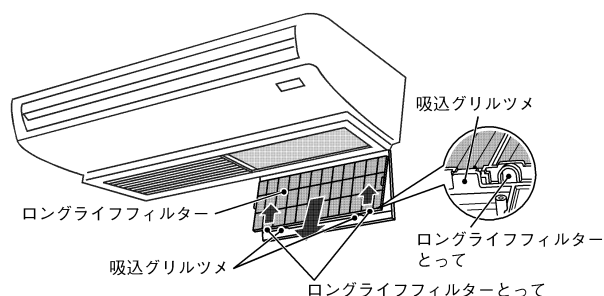
お願い

ご使用済のフィルターはフィルターろ材と枠を分離して、フィルターろ材は可燃物として、枠 (アルミ) は資源ゴミとして処理してください。

■本体に付属のロングライフフィルターのお手入れ方法

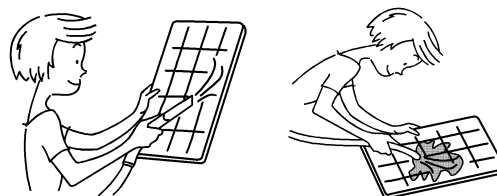
- 光再生脱臭フィルターのお手入れの際には、室内ユニット (吸込グリル) に付属のロングライフフィルターをあわせて掃除してください。

- 1 ロングライフフィルターのとってを押し、吸込グリルのツメをはずします。ロングライフフィルターを手前に引き、取り出してください。
※昇降グリルを使用し吸込グリルに光再生脱臭フィルターを取り付けている場合は、光再生脱臭フィルターを先に取りはずしてください。



- 2 ロングライフフィルターのホコリを掃除機で吸い取るか水洗いしてください。

- 汚れのひどいときは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯か水で洗うと効果があります。
- 水洗いした後は、日陰でよく乾かしてください。

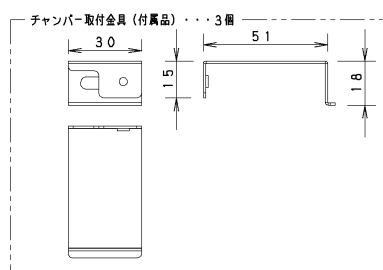
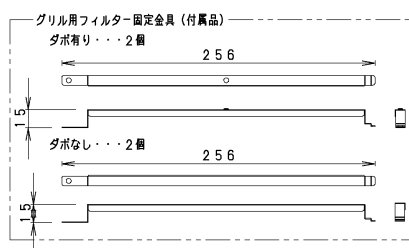
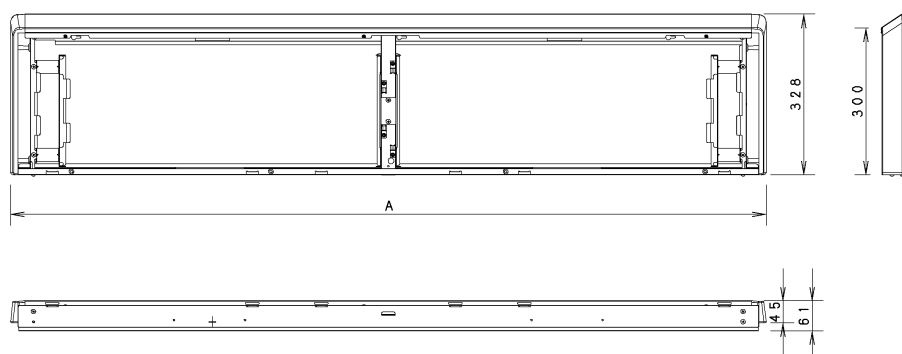


- 3 ロングライフフィルターを取り付けて、吸込グリルを閉じ、「ツマミ」を手前側にスライドさせて確実に固定してください。

※昇降グリルを使用し吸込グリルに光再生脱臭フィルターを取り付ける場合は、ロングライフフィルターを取り付けた後に、光再生脱臭フィルターを取り付けてください。

フィルターチャンバー (CMB-FT56・80・160A)

■外形寸法図

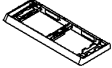


品 番	寸 法	A
CMB-FT56A		860
CMB-FT80A		1130
CMB-FT160A		1545

■フィルターチャンバー取付時の注意

- フィルターチャンバーは、室内ユニット本体据付作業完了後に取り付けてください。
- この取付説明書は室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管しておいてください。
- 試運転により、振動やビビリ音等の異常音がないことを確認してください。
- 各別売フィルターは、他の別売フィルターとの併用はできません。

■部品一覧

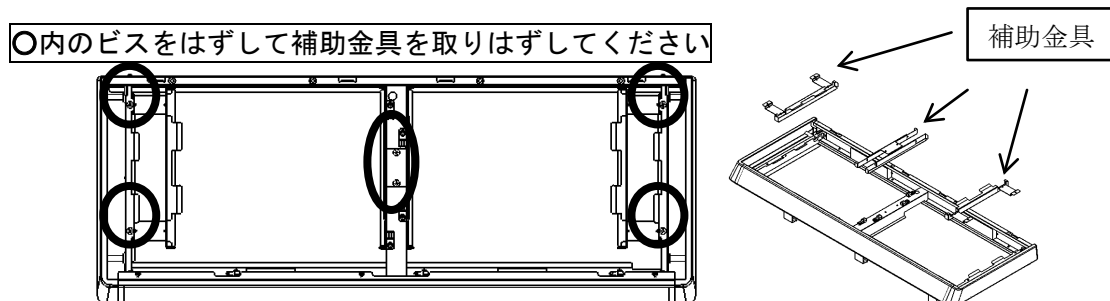
No	名称	形状	個数	No	名称	形状	個数
①	フィルターチャンバー		1	⑥	DCタップアップ 変更手順		1
②	チャンバー取付金具		3	⑦	グリル用脱臭フィルター 固定金具（ダボ有）		2
③	ビス		7	⑧	グリル用脱臭フィルター 固定金具（ダボ無）		2
④	短絡コネクタ		1	⑨	グリル用脱臭フィルター 押えフック		4
⑤	取付説明書		1	⑩	グリル用脱臭フィルター 段付ビス		4

(注意) ⑦～⑩は昇降グリルに脱臭フィルターを取り付ける場合に使用します。昇降グリルに脱臭フィルターを取り付ける場合は「■昇降グリルと併用する場合」を参照してください。昇降グリルに脱臭フィルターを取り付けない場合、各部品はこの説明書と一緒に保管していただくようお客様にご依頼ください。

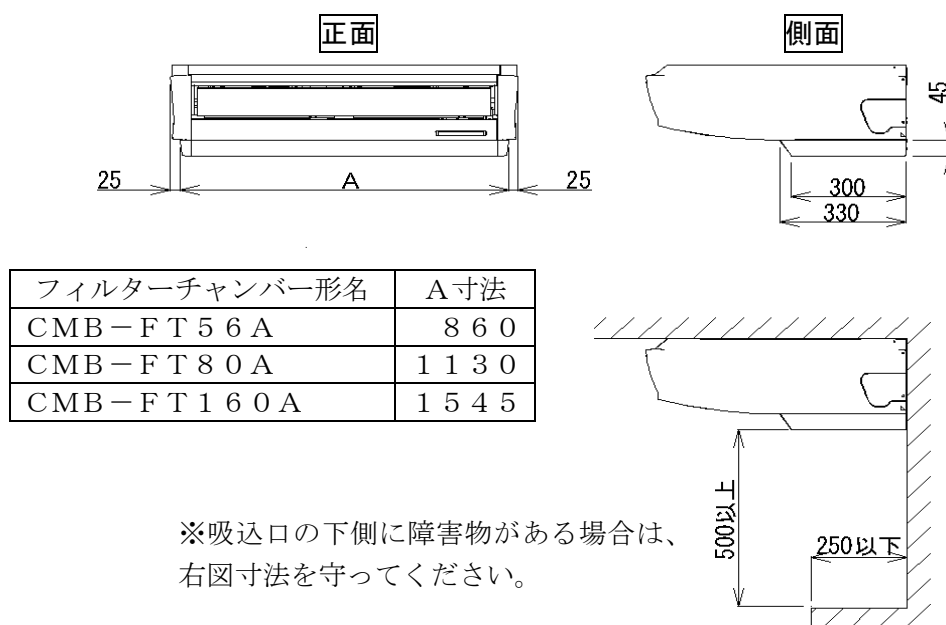
■フィルターチャンバー取付準備

高性能フィルター・超ロングライフフィルターを使用する場合

高性能フィルター・超ロングライフフィルターを使用する場合は補助金具が不要となりますので、下記の通りビス(各2本)をはずして補助金具を取りはずしてください。補助金具とビスは、この説明書と一緒に保管していただくようお客様にご依頼ください。



フィルターチャンバー取り付け図



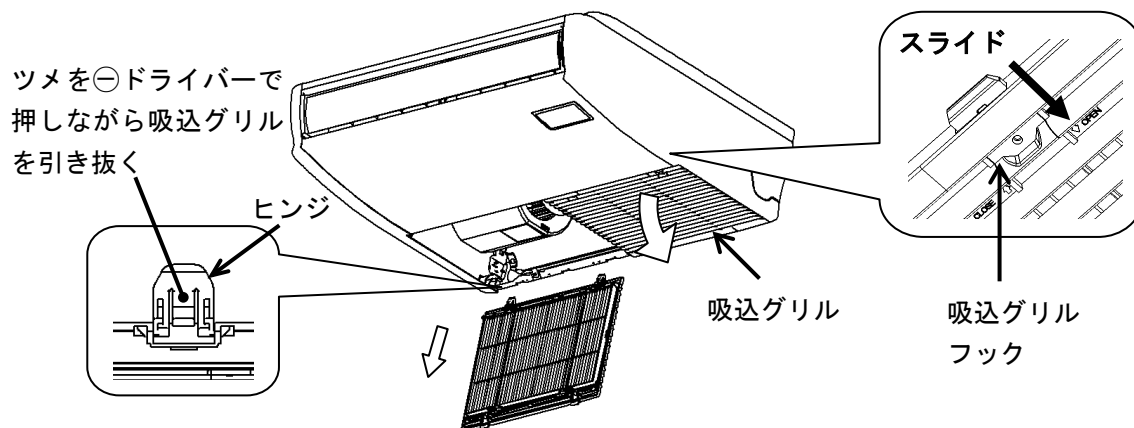
■フィルターチャンバー取り付け

●フィルターチャンバーは、室内ユニット本体据付作業完了後に取り付けてください。

1 吸込グリル取りはずし

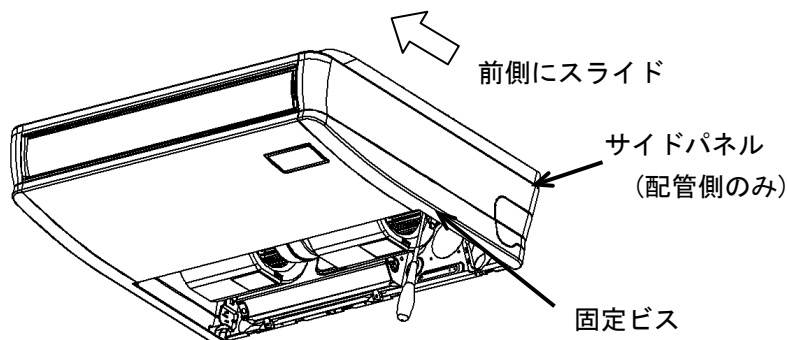
吸込グリルのフック(2カ所)を矢印方向にスライドし、吸込グリルを開いてください。

吸込グリルを開いた状態で、後部ヒンジ(2カ所)のツメ部を押して吸込グリルを引き抜いてください。



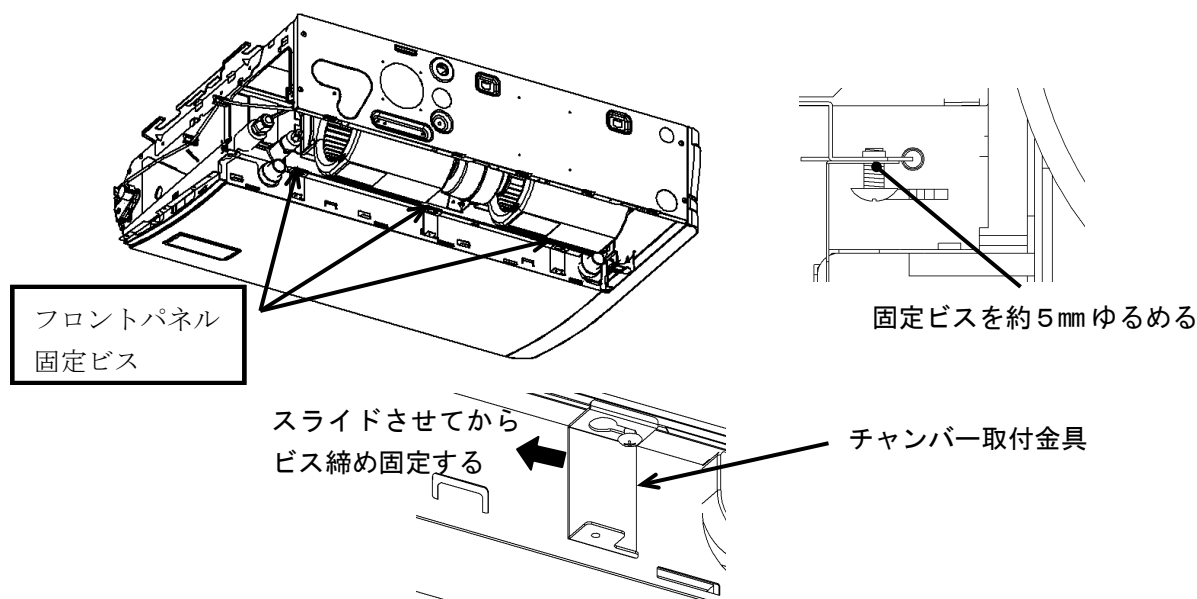
2 室内ユニットのサイドパネル取りはずし

サイドパネル固定ビス(1本)をはずした後にサイドパネル(配管側のみ)を前側にスライドして取りはずしてください。



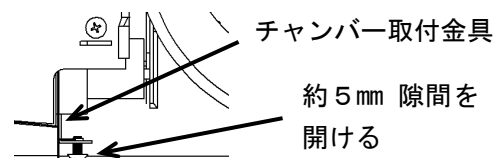
3 フィルターチャンバー引掛け準備

室内ユニットのフロントパネル固定ビス(3本)を5mm程度ゆるめ、付属のチャンバー取付金具(3個)をゆるめた固定ビスに引掛けてスライドさせてからビス締め固定してください。

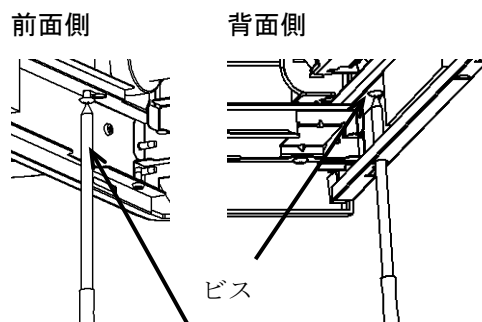
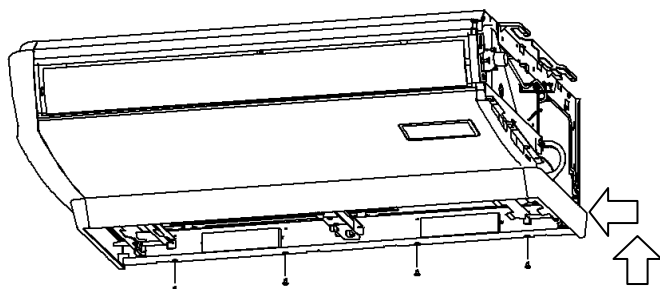


4 フィルターチャンバー取り付け

3で室内ユニットに取り付けたチャンバー取付金具に付属のビス(3本)を5mm程度隙間が開くように取り付けます。

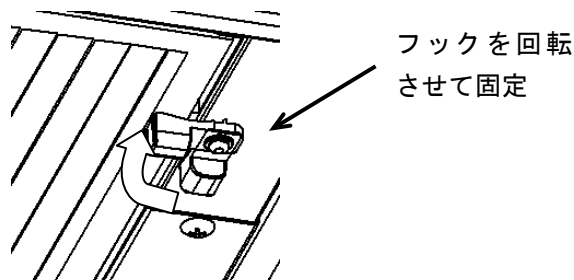
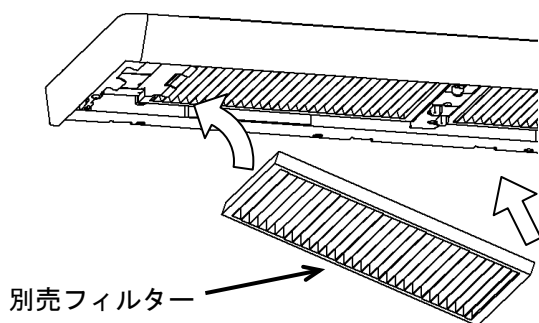


フィルターチャンバーを取り付けた付属のビスに引掛けて、左側にずらしビス締め固定してください。また、背面側は付属のビス(4本)で固定してください。



5 フィルターの取り付け

別売フィルターを下図のように取り付け、フックを回転させて固定してください。
(各フィルターの取り付けは、各フィルターに付属の取付説明書をご覧ください。)

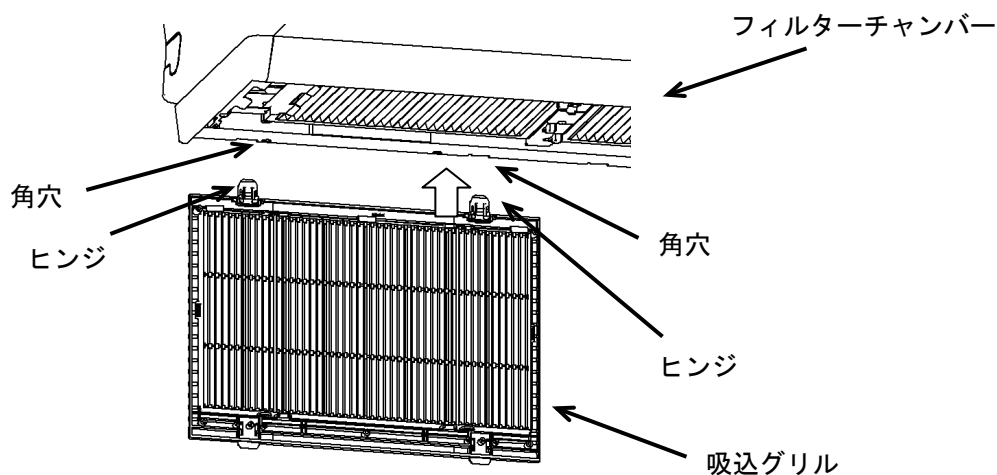


6 室内ユニットのサイドパネル取り付け

2と逆の手順でサイドパネルを後側にスライドして取り付けした後、固定ビス(1本)でサイドパネルを固定してください。

7 吸込グリルの取り付け

1ではずした吸込グリルのヒンジをフィルターチャンバーの角穴に挿入して取り付けてください。



8 吸込グリルを閉じる

1 と逆の手順で吸込グリルを閉じた後、フック(2カ所)をスライドしてください。

9 別売フィルターを取り付ける場合には、ワイヤードリモコンまたは室内基板(付属のコネクタ使用)にてDCファンタップの設定変更を必ず行ってください。設定方法は別紙の説明書に従って行ってください。

※設定変更を行わない場合、風量減少・露付の原因となります。

■昇降グリルと併用する場合

●昇降グリルと併用してご使用の場合、本品の他に別売部品の昇降グリルメカキットと昇降グリル固定金具が必要です。

1 昇降グリルメカキットの取り付け

昇降グリルメカキットを室内ユニットに取り付けてください。

(昇降グリルメカキットの取り付けは、昇降グリルメカキットに付属の取付説明書をご覧ください。)

2 昇降グリル固定金具の取り付け

吸込グリルに昇降グリル固定金具を取り付けます。

(昇降グリル固定金具の取り付けは、昇降グリル固定金具に付属の取付説明書をご覧ください。)

3 フィルターチャンバー補助金具の取りはずし

本説明書の「高性能フィルター・超ロングライフフィルターを使用する場合・昇降グリルと併用する場合」をごらんになり、フィルターチャンバーから補助金具を取りはずしてください。

補助金具とビスは、この説明書と一緒に保管していただくようお客様にご依頼ください。

4 フィルターチャンバーの取り付け

本説明書の「フィルターチャンバーの取り付け方」をごらんになり、フィルターチャンバーを室内ユニットに取り付けてください。

5 フィルターの取り付け

～高性能フィルター・超ロングライフフィルターの場合～

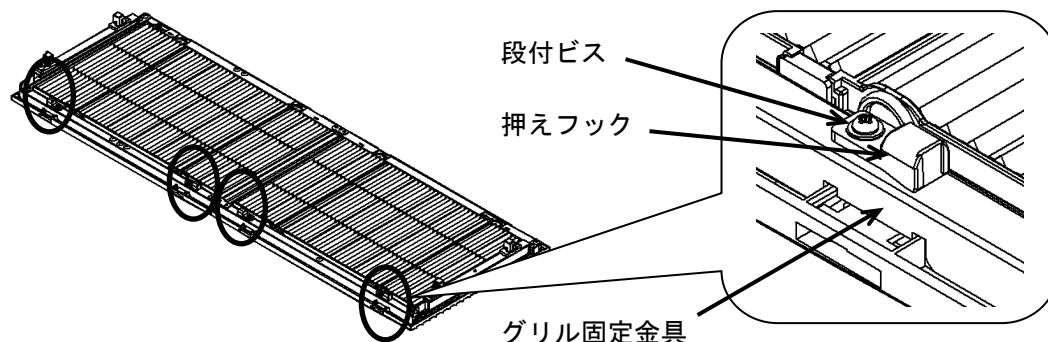
1) 各フィルターに付属の取付説明書に従い、フィルターを取り付けてください。

～脱臭フィルターの場合～

1) 押えフックの取り付け

付属の押えフック(4個)を付属の段付ビス(4本)で吸込みグリルに取り付けてください。

※押えフックがゆるまないようにしっかり取り付けてください。

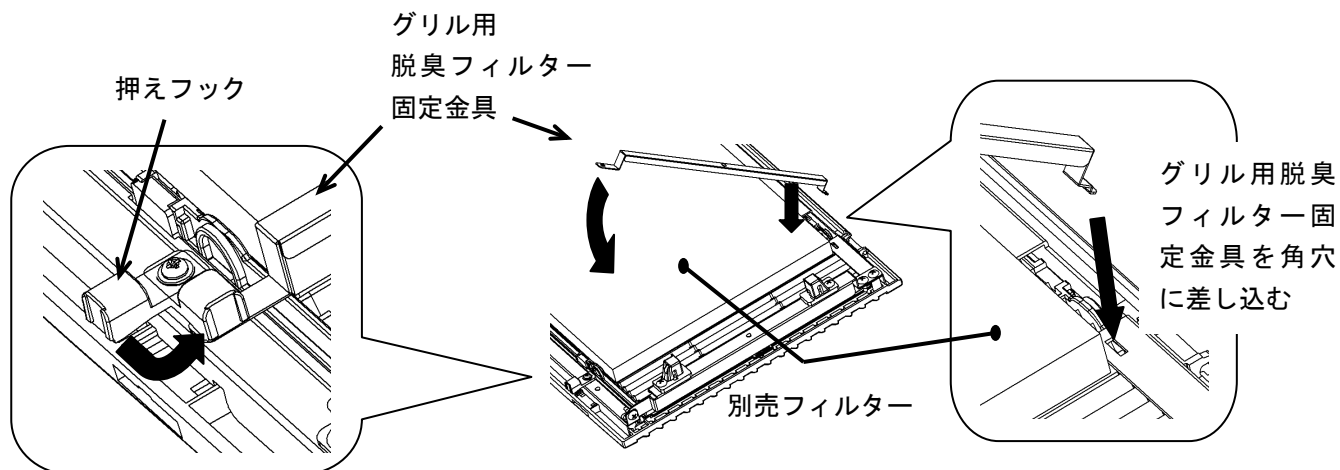


2) フィルターの固定方法

(フィルターの取り付けは、各フィルターに付属の取付説明書をご覧ください。)

別売フィルターを下図のように昇降グリルに乗せてください。

付属のグリル用脱臭フィルター固定金具(左右異なりますので注意してください)を昇降グリル固定金具の角穴に入れ、押えフックを回転させて固定してください。



ドレンアップキット (DP-TR160AN)

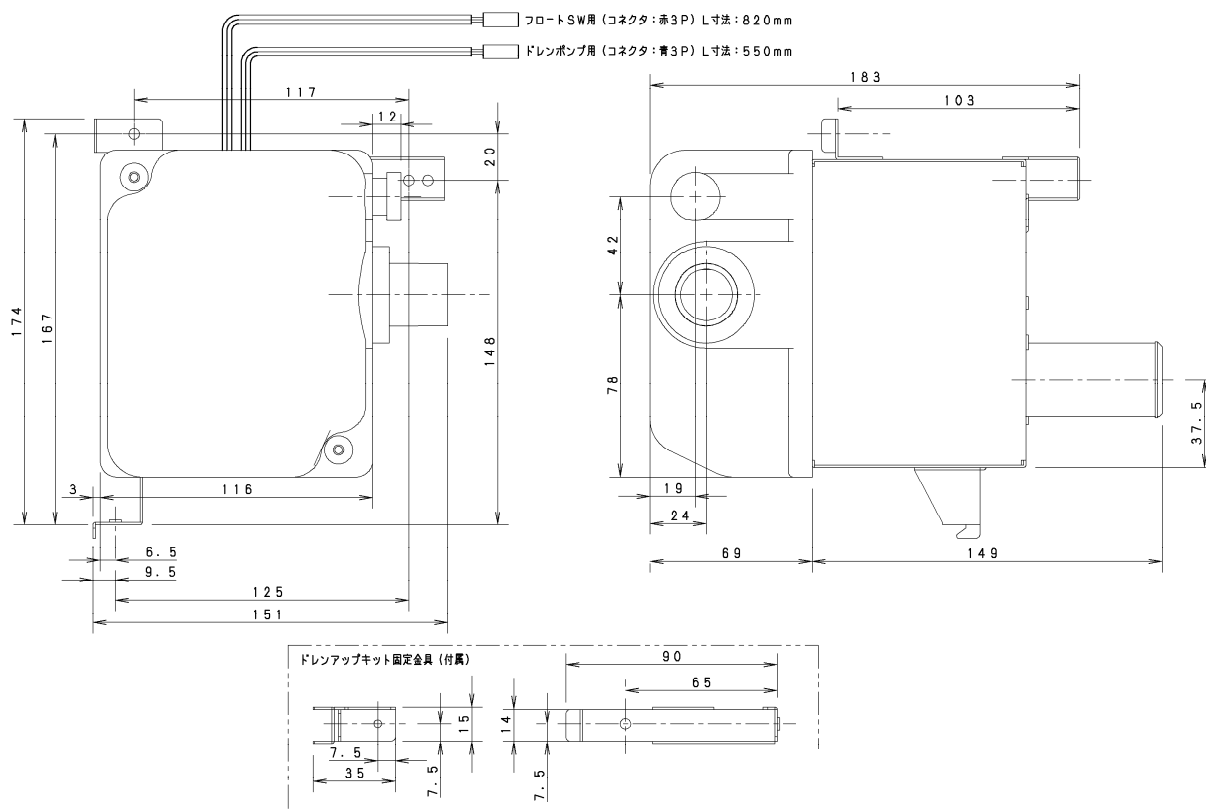
L字配管キット (DP-TR34LA、DP-TR35LA)

■仕様

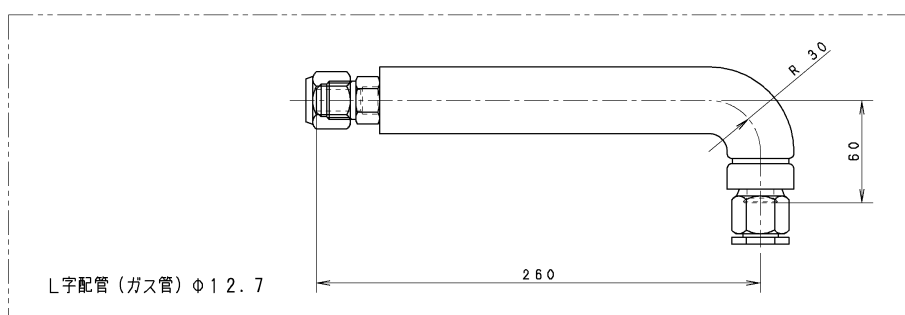
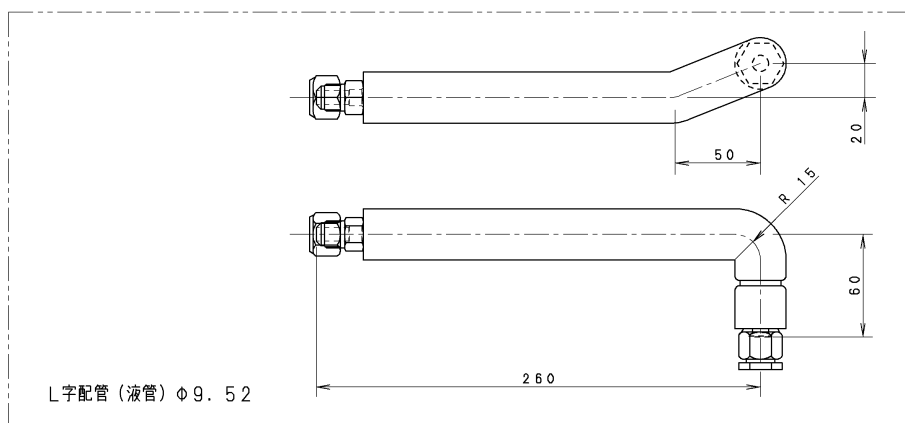
形 名		天井吊形	
ドレンアップキット品番		DP-TR160AN	
L字配管キット品番		DP-TR34LA	DP-TR35LA
適用機種		S-G36形 G45形 G56形	S-G71形 G80形 G90形 G112形 G140形 G160形
ド レ ン ア ッ プ ポ ンプ	電圧 (V)	200 (50/60Hz)	
	電流 (A)	0.12/0.10 (50/60Hz)	
	入力 (W)	12/11 (50/60Hz)	
	使用流体	ドレン水	
	使用温度	液体温度 0~35℃ 周囲温度 -10~45℃ (湿度RH95%以下)	
	吐 出 量 (cc/min)	水位10mmでは、400cc/min * 水位とは、ポンプ本体の先端部から水面までの距離	
フロートスイッチ		液面が下降して接点ON	

※ドレンアップキット取付時には、必ず別売品のL字配管キットを使用してください。

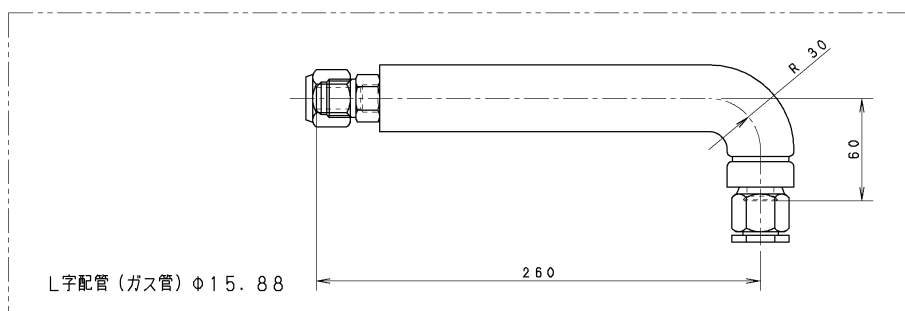
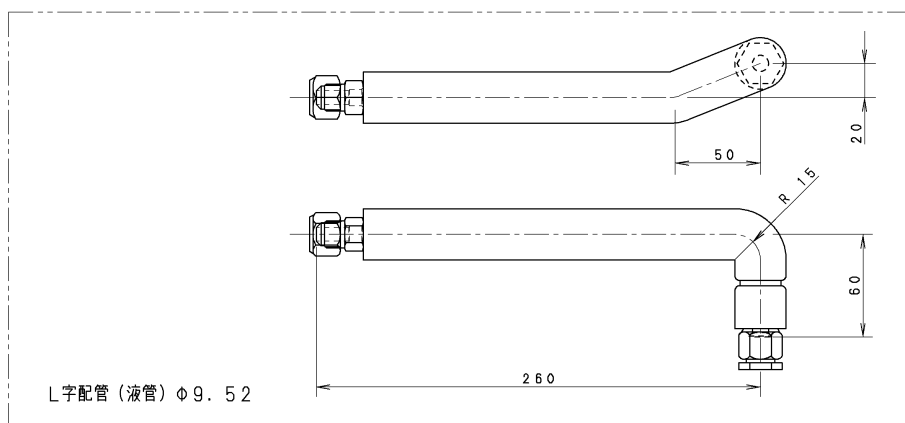
■外形寸法図



L字配管キット DP-TR34LA



L字配管キット DP-TR35LA



■ドレンアップキット取付時の注意

- 取り付けの前に、本説明書と室内ユニットの「据付工事担当のかたへ」をよくお読みになり正しい取り付けを行ってください。

**注意**

ドレンアップキット取付時には、必ず別売品のL字配管キットを使用してください。

■仕様

ドレンアップ高さ	室内ユニット上面から600mm以下
----------	-------------------

■構成部品

部 品 名	個数	形 状	用 途	部 品 名	個数	形 状	用 途
ドレンアップキット	1		—————	ドレンホース固定バンド	2		ドレンホース固定用
ドレンアップキット取付金具	1		ドレンアップキット取付用	ドレン接続部用断熱材	2		ドレンホース接続部断熱用
ドレンホース	1		ドレンアップキット塩ビ管接続用	天面シール用断熱材	1		室内ユニット天面取出口 ノックアウトシール用
断熱パイプ	1		ドレンホース断熱用	ねじ	4		ドレンアップキット固定用 ドレンアップキット取付金具固定用
				取付説明書	1	(本紙)	お客さまに必ず渡してください。

■安全上のご注意

- 据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、「△警告」、「△注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

**警告**

取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。

**注意**

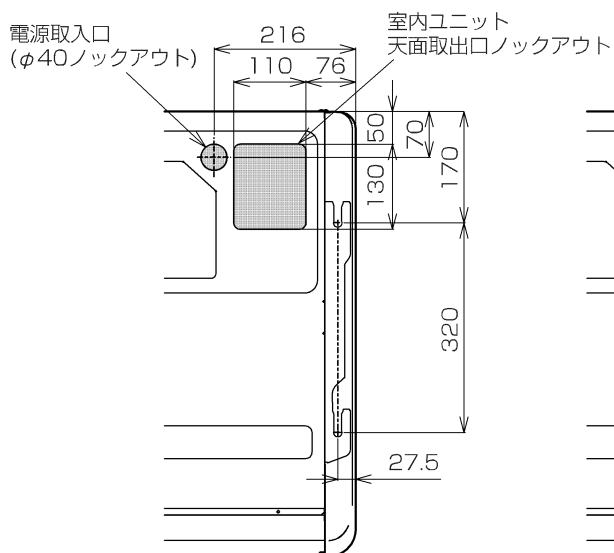
取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

- 据え付け工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに“取扱説明書”にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また“据付工事担当のかたへ”、“電気工事担当のかたへ”は、“取扱説明書”と共に、お客様で保管頂くように依頼してください。

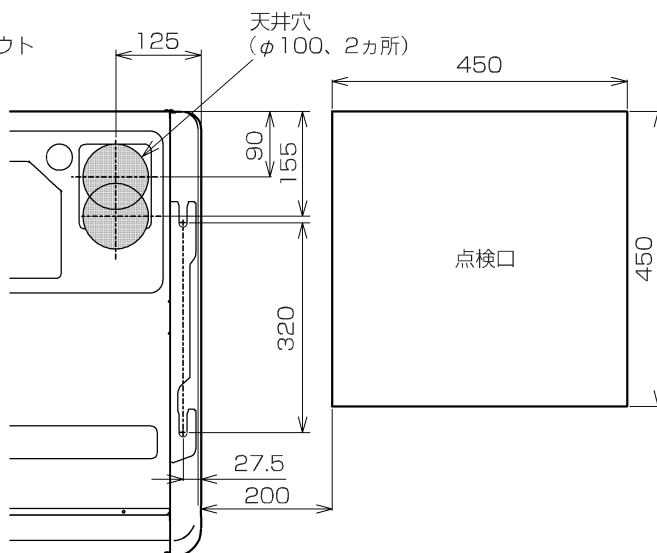
■ドレンアップキット取付準備

取り付け時の注意事項

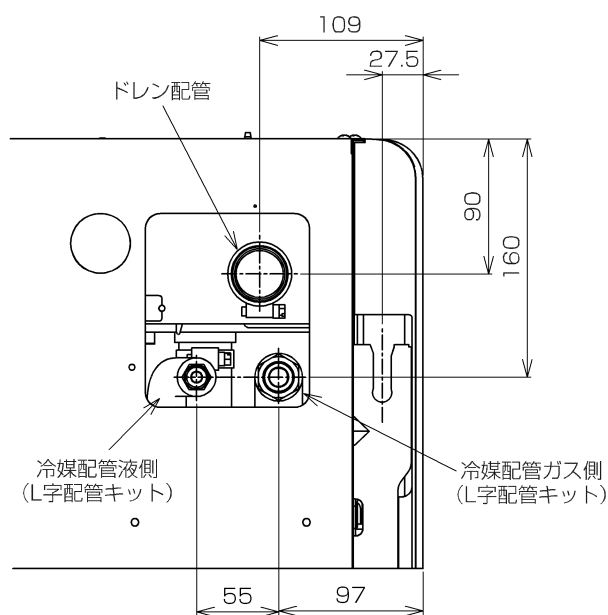
- ドレンアップキット取り付けの場合は、上配管取出以外はできません。
- ドレン配管は全て断熱処理をしてください。
- 据え付ける天井面に冷媒配管・ドレン配管を貫通させるために天井穴（φ100、2カ所）を開けてください。
- 据え付ける天井面に450角の点検口を設けてください。



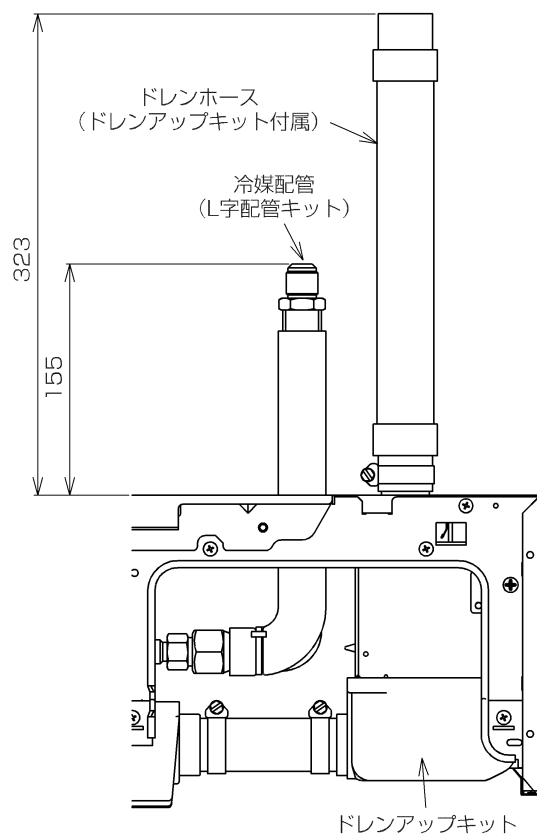
室内ユニット天面ノックアウト位置



天井面の穴位置



冷媒配管およびドレン配管位置

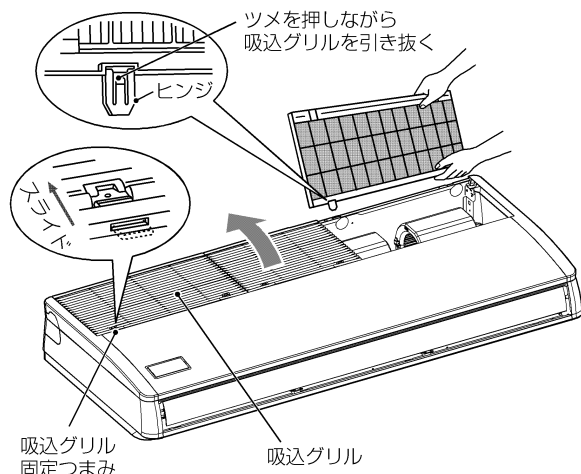


■ドレンアップキット取付手順

据え付けのまえに

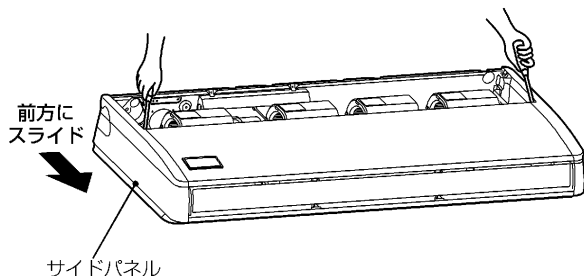
1. 吸込グリル取り外し

吸込グリル固定つまみ（2カ所）を矢印方向にスライドし、吸込グリルを開いてください。
吸込グリルを開いた状態で、後部ヒンジ（2カ所）のツメ部を押して吸込グリルを引き抜いてください。



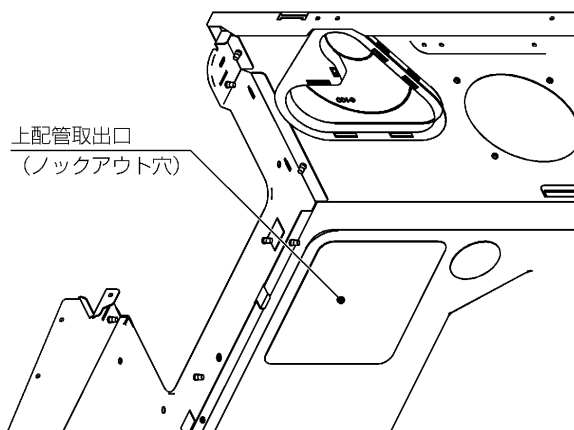
2. サイドパネル取り外し

サイドパネル固定ねじ（左右各1本）を外した後にサイドパネルを前側にスライドして取り外してください。



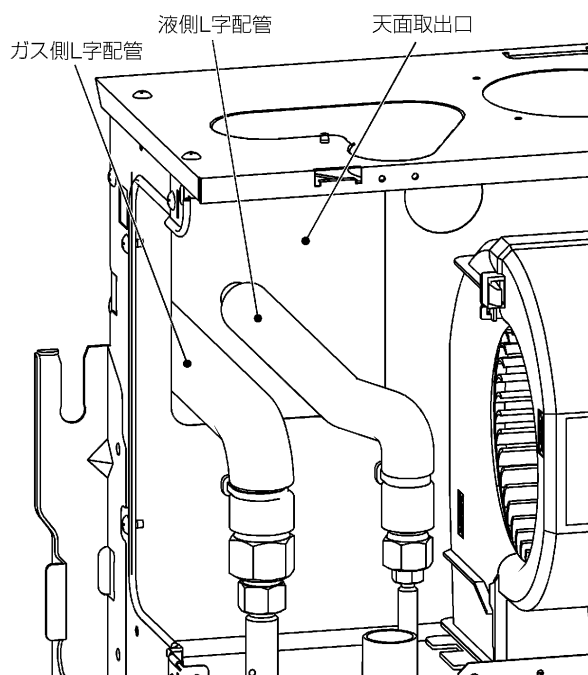
ノックアウト穴

天面の取出口（ノックアウト穴）を外してください。



L字配管キット接続

室内ユニットに別売の「L字配管キット」を接続してください。



パイプ径	締付トルク
φ9. 52(3/8")	34~42N・m (340~420kgf・cm)
φ12. 7(1/2")	49~61N・m (490~610kgf・cm)
φ15. 88(5/8")	68~82N・m (680~820kgf・cm)

●フレア配管接続部の締付トルク

室内・室外の各ユニットを接続するフレア配管接続部は、トルクレンチを使用して規定の締付トルクで確実に締め付けてください。接続に不備があるとガスリークだけでなく、冷凍サイクル故障の原因にもなります。

お願い

トルクをかけ過ぎますと、据付条件によってはナットが割れる場合があります。

断熱処理

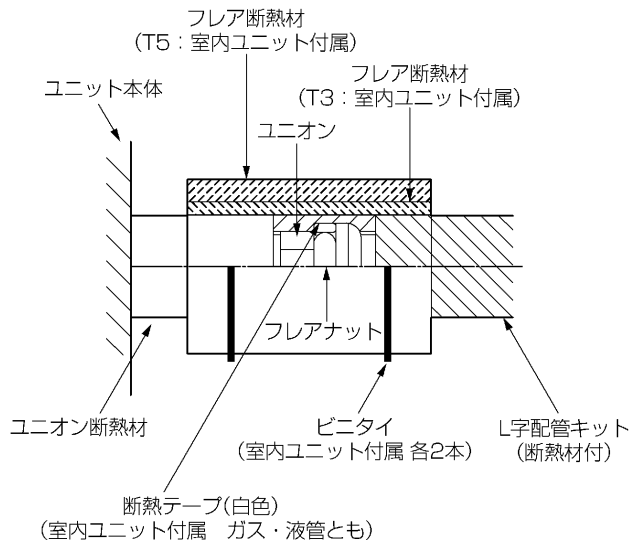
⚠ 注意

〈ユニット本体-L字配管キット-現地配管の接続〉

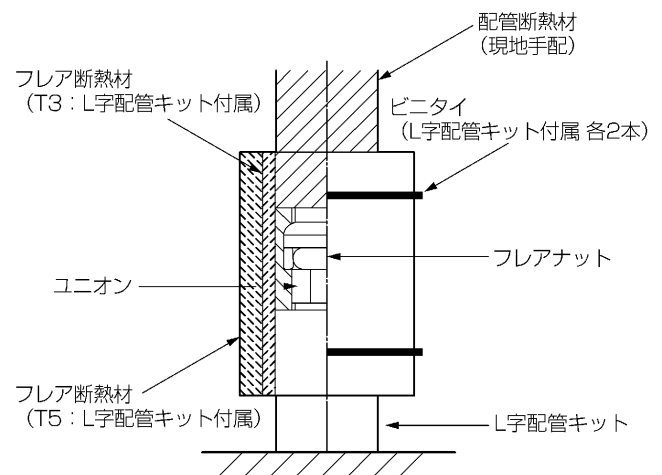
●ガス管・液管とも、必ず断熱をしてください。

また、フレアナット部に断熱テープ（白色）を巻き付けてください（ガス管・液管とも）。そして、配管接続部には付属のフレア断熱材を巻き付けビニタイ2本で結束してください。

断熱しないと水もれの原因になります。



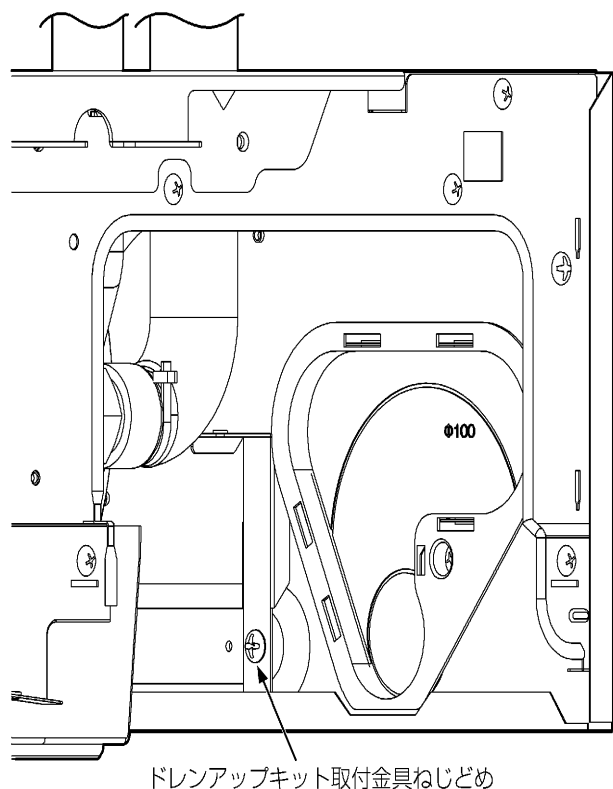
〈ユニット本体-L字配管キットの接続〉



〈L字配管キット-現地配管の接続〉

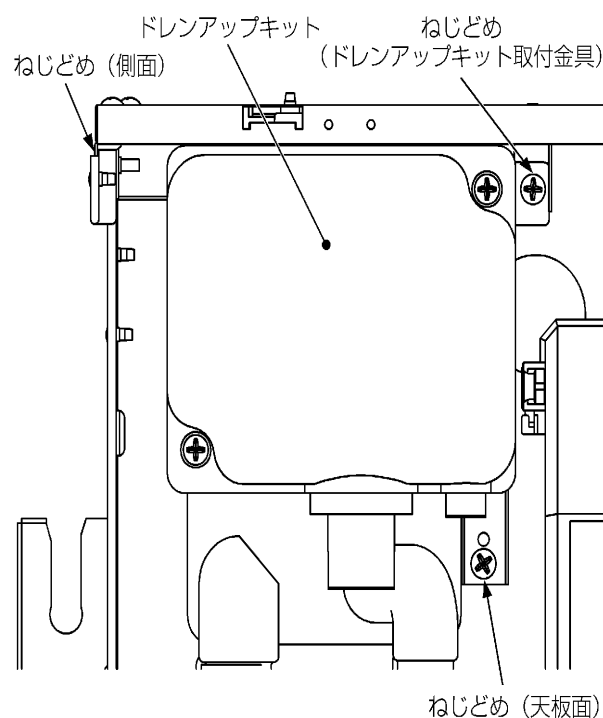
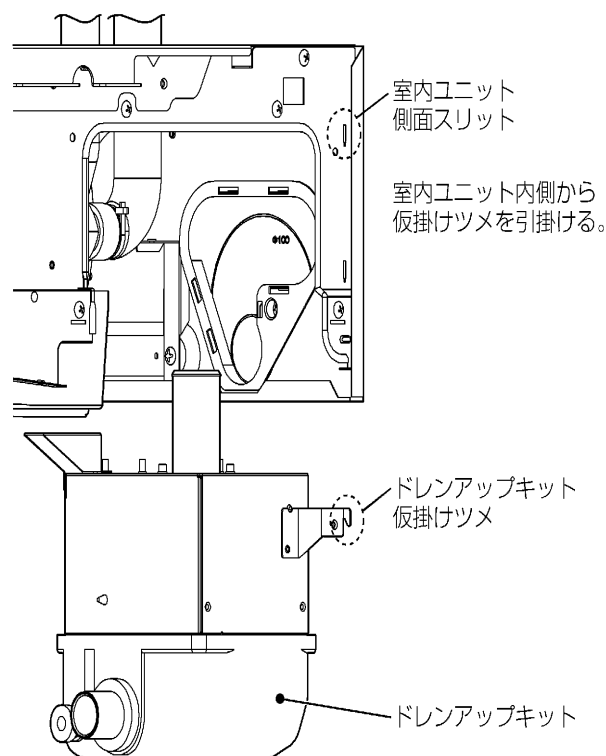
ドレンアップキット取付

1. ドレンアップキット取付金具を室内ユニット内側背面に取り付けます。(ねじ1本)



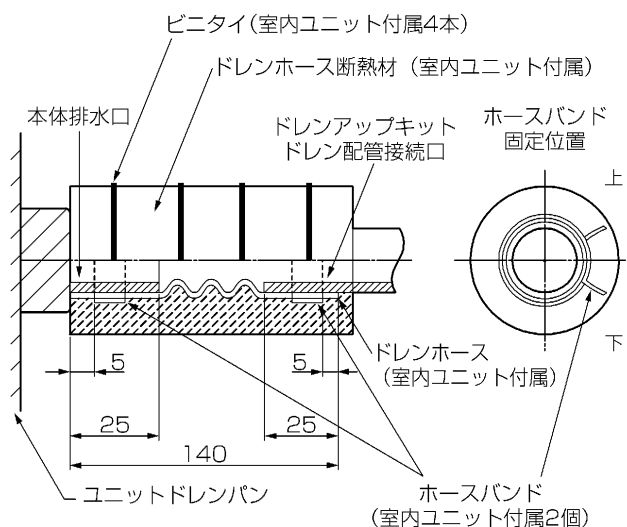
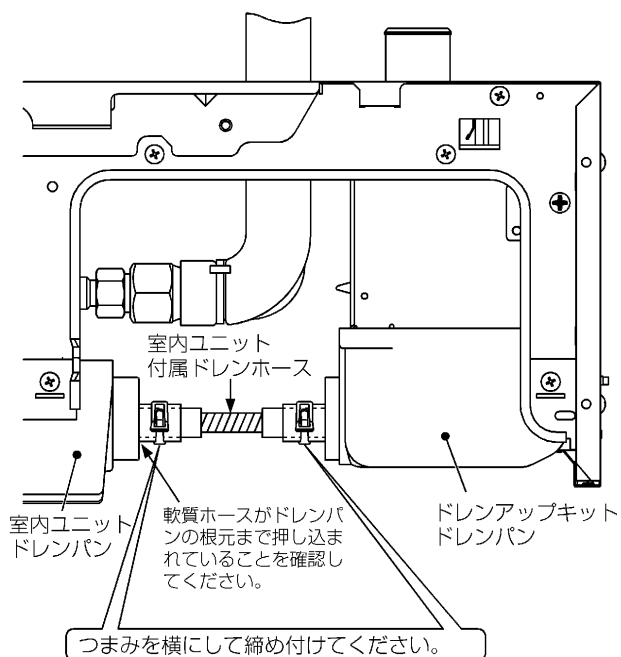
2. ドレンアップキット仮掛けツメを室内ユニット側面スリットに内側から引掛けます。

ドレンアップキットを室内ユニットにねじどめします。
(ねじ3本：天板面、側面、ドレンアップキット取付金具)



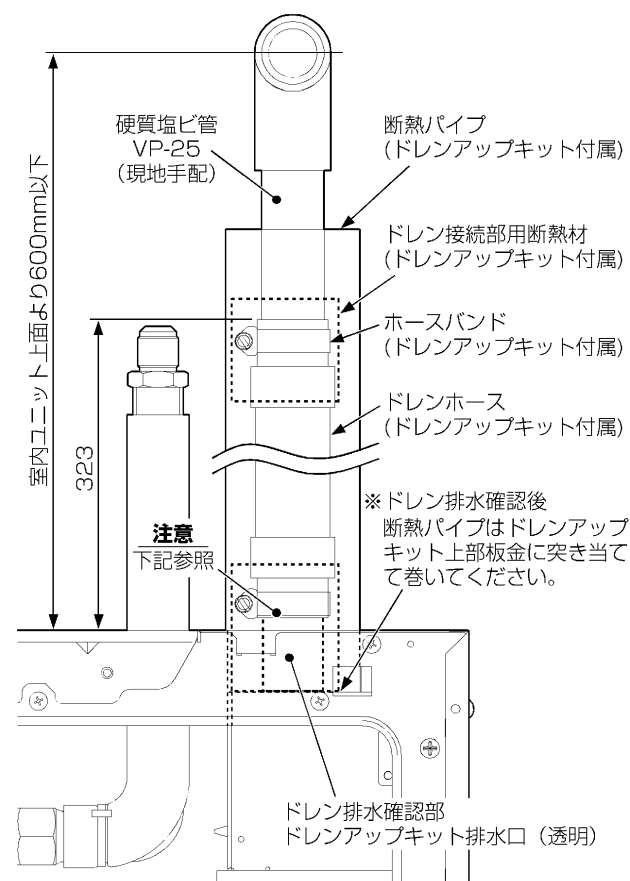
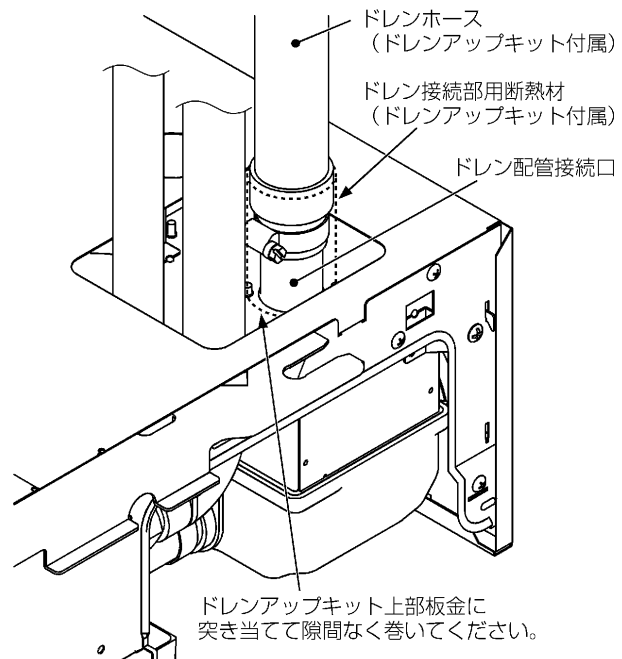
室内ユニット側ドレンホースの接続

1. 室内ユニットに付属のホースバンドを室内ユニットの排水口とドレンアップキットのドレン配管接続口に通した後、室内ユニットに付属のドレンホースを接続します。ホースバンドをプライヤーでつまみながら、ドレンホースを根元まで差し込んでください。



ドレンアップキット側ドレンホースの接続

1. ドレンアップキットに付属のドレンホースをドレンアップキット上部のドレン配管接続口に挿入します。
2. ドレンアップキットに付属のホースバンドを配管接続口の端に合わせ、しっかり締めてください。
3. ドレンアップキットに付属のドレン接続部用断熱材をドレン排水確認後、ドレンアップキット上部板金に突き当ててドレンホースを被うように隙間なく巻いてください。



注意

- ホースバンドの固定部が排水口の側面になるように取付けを行ってください。(上図参照)
- ホースバンドは、ホースの端に合わせてひも出しにかけられない様に締め付けてください。

※室内ユニット上面より150mm以下で使用する場合、エルボを使わないで直接付属のドレンホースを(なるべくRを大きく)曲げて接続してください。

■ドレン配管

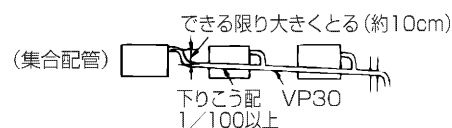
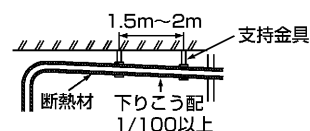
⚠ 注意

ドレン配管は、据付説明書に従って確実に排水するよう配管し、結露が生じないよう断熱すること
配管工事に不備があると、屋内に水漏れし、家財などをぬらす原因になることがあります。



お願い

- 室内のドレン配管の断熱を確実に行ってください。
- ドレンアップキットとの接続部も必ず断熱してください。断熱が不完全になると結露の原因になります。
- ドレン配管は下り勾配（1／100以上）とし、途中で山越えやトラップを作らないでください。異常音の原因になります。
- ドレン配管の横引きは20m以下にしてください。配管が長い場合は、1.5～2m間隔で支持金具を設け、波打ちを防止してください。
- 集合配管は右図のように施工してください。
- エア抜き管は付けないでください。ドレン水が吹き出し水漏れの原因となります。
- ドレン配管との接続部に力を加えないよう注意してください。
- ドレンアップキットのドレン配管接続口に直接硬質塩ビ管を接続することはできません。
ドレン配管接続口との接続には、必ず付属のドレンホースを取り付けます。
- ドレンアップキットのドレン配管接続口（硬質ソケット）には、接着剤の使用はできません。
必ず付属のホースバンドで固定してください。
ドレン配管接続口の破損や水漏れの原因になります。



配管材料・断熱材およびサイズ

配管工事及び断熱処理には下記の材料を現地手配してください。

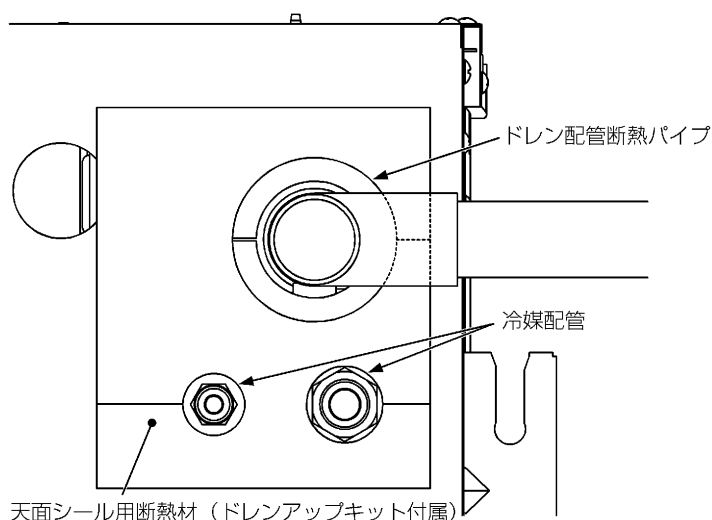
配管材料	硬質塩ビ管ソケット VP25用
	硬質塩ビ管 VP25 (外径φ32mm)
断熱材	発泡ポリエチレンフォーム 厚さ10mm以上

ドレン配管の接続

- 取り付けた付属のドレンホースに、硬質塩ビ管（現地手配）を接続します。

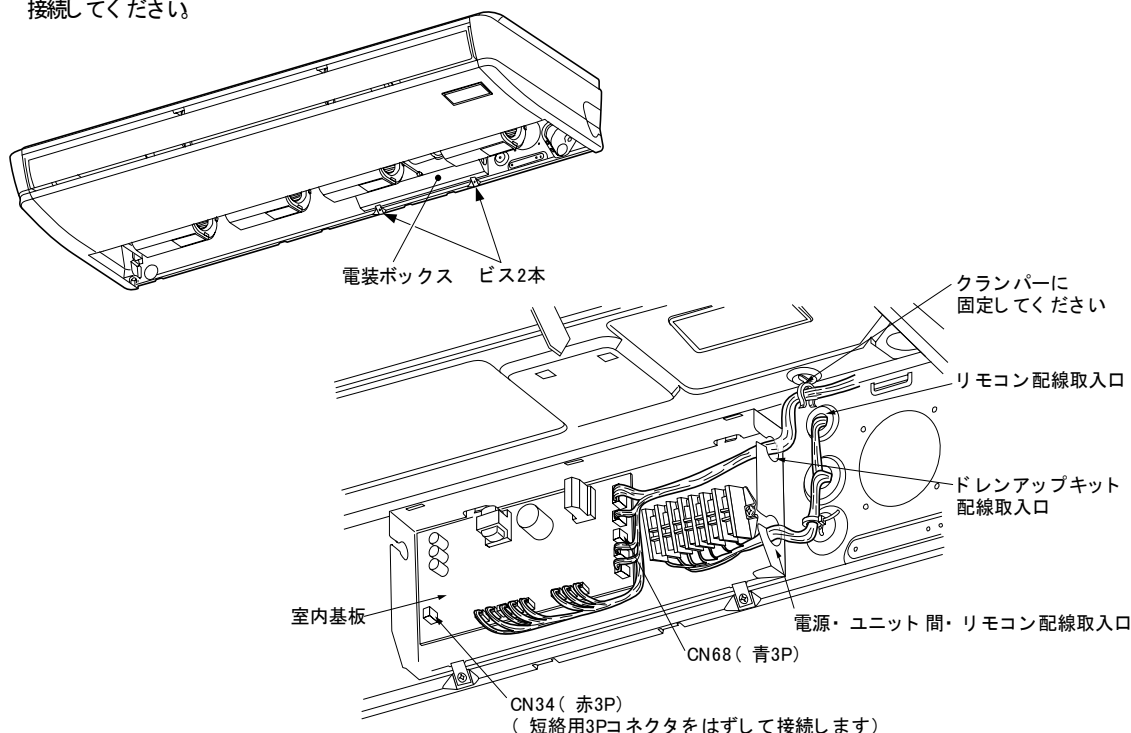
■天面シール用断熱材

ドレンアップキット付属の天面シール用断熱材を冷媒配管とドレン配管の位置にあわせ貼り付けます。



■配線接続

1. 電装ボックスのカバー取付ビス(2か所)をゆるめてカバーをはずします。
2. ドレンアップキットのドレンポンプ用コネクタ(青3P)を室内ユニット基板CN68(青3P)、フロートスイッチ用コネクタ(赤3P)を室内ユニット基板CN34(赤3P)に接続します。このとき、CN34(赤3P)の短絡用3Pコネクタをはずして接続してください。



■試運転

ドレン排水状態の確認

配管工事・電気工事完了後、冷房運転をしてドレンがスムーズに排水することを確認してください。
長時間冷房運転ができない場合は、室内ユニット吹出口より石油ポンプなどを使って水(約1200cc)を入れ、排水がうまく行われるか確認してください。
また、各接続部から水漏れのないことも確認してください。

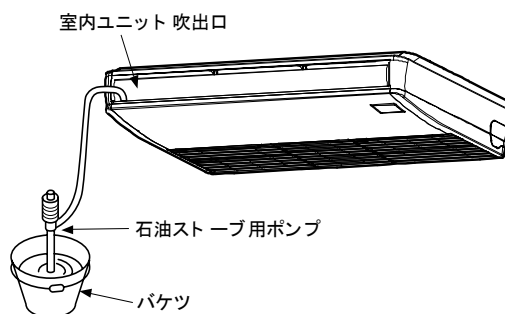
〈200Vの電源 がきている場合〉

電装ボックス内の電源端子板(R端子)に電源を接続してください。

〈100Vの電源 がきている場合〉

昇圧トランスを使用し電装ボックス内の電源端子板(R端子)に電源を接続してください。

- 室内ユニット吹口の開口部よりドレンパン内に排水確認用の水(約1200cc)を少しずつ入れてください。
- 室内コントロール基板のCHK(2Pプラグ)をワニグチクリップ等で短絡してドレンポンプを運転し、水の流れと水漏れの有無を確認してください。



⚠ 注意

室内コントロール基板のCN71CHK(2Pプラグ)を短絡すると、ファンも回転しますので注意してください。けがをする恐れがあります。

- 排水確認が完了したらCHK(2Pプラグ)のワニグチクリップ等をはずします。
- 昇圧トランスおよびドレンポンプ排水確認のための仮電源もはずしてください。

■ L字配管キット取り付け時の注意

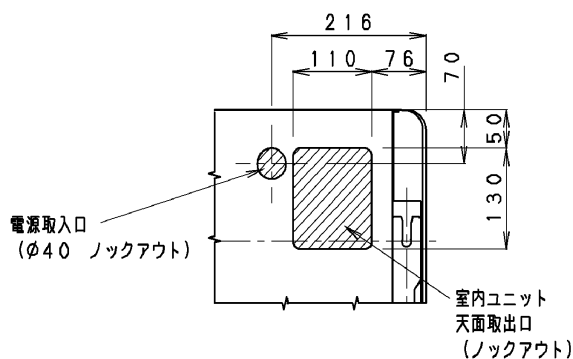
- 詳しい据付方法につきましては、室内ユニット付属の”据付工事担当のかたへ”をご覧ください。
- ドレンアップキットと合わせて据付を行う場合、ドレンアップキット付属の取付説明書をご覧ください。
- この説明書は室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管しておいてください。

■ 付属品

名	称	形 状	個数	備 考
①	L 字 配 管	液 管	1	
		ガス管	1	
②	フ レ ア 断 熱 材	T3	2	カ” ス管・液管接続部用
		T5	2	カ” ス管・液管接続部用
③	断 熱 テ ー プ	白色 (耐熱用)	2	カ” ス管・液管 フレアナット接続部用
④	ビニタイ		4	フレア断熱接続部用
⑤	天面シール用断熱材		1	天面シール用

■ L字配管キット取付準備

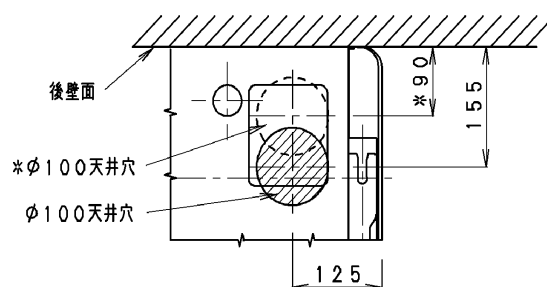
<ユニット上面より図示>



天面取出口

【図 1】

<ユニット上面より図示>



天井面の穴位置

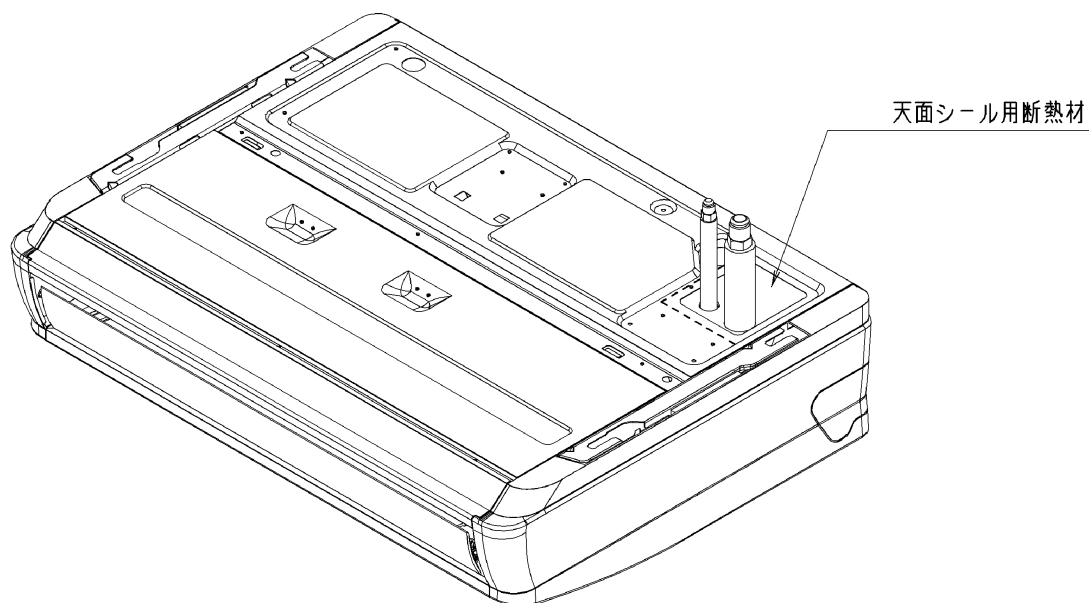
【図 2】

1. 上記図1に従いユニット天面取出口ノックアウトを開けてください。
2. 上記図2に従い天井面にφ100穴（1箇所）を開けてください。
3. 別売ドレンアップキットを取り付ける場合は、点線のφ100（※印部）も開けてください。

■ L字配管キット取り付け

○天面シール用断熱材で隙間をシールしてください。

○ドレンアップキット使用時は、ドレンアップキットに付属の天面シール用断熱材を使用してください。



■ 冷媒配管のしかた



警告

1. 冷媒配管のしかた.

○配管接続部のフレアナットを外すときおよび配管接続後にフレアナットを締め付けるときは、必ずモンキーレンチやスパナ等2丁掛けで行ってください。フレアナットを締め過ぎると、フレア部を破損し、冷媒漏れによる酸欠事故の原因となります。

○フレアナットの締めすぎによるフレア部の破壊を防ぐため、右表を目安に締め付けてください。

○液側配管のフレアナットの締め付けは、呼び寸法200のモンキーレンチ等で行ってください。

パイプ径	締め付トルク
φ9. 52(3/8")	34~42N・m (340~420kgf・cm)
φ12. 7(1/2")	49~61N・m (490~610kgf・cm)
φ15. 88(5/8")	68~82N・m (680~820kgf・cm)



注意

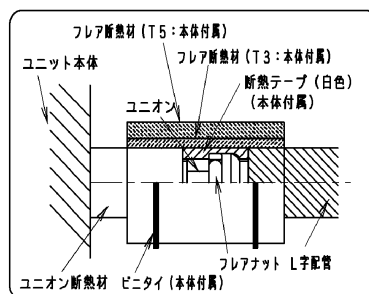
2. 配管の断熱

<ユニット本体-L字配管-現地配管の接続>

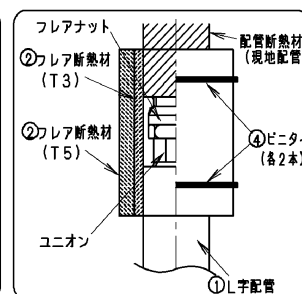
○液管・ガス管とも、必ず断熱をしてください。

また、フレアナット接続部に付属の断熱テープ(白色)を巻き付けてください。(液管・ガス管とも)そして、配管接続部には付属のフレア断熱材を巻き付け、ビニタイ2本で結束してください。断熱しないと水もれの原因になります。

パッケージエアコンは“高圧ガス保安法”、“冷凍保安規則”および高圧ガス保安協会制定の“冷凍装置の施設基準”を満たすように設置し、必要なものは届出をしてください。



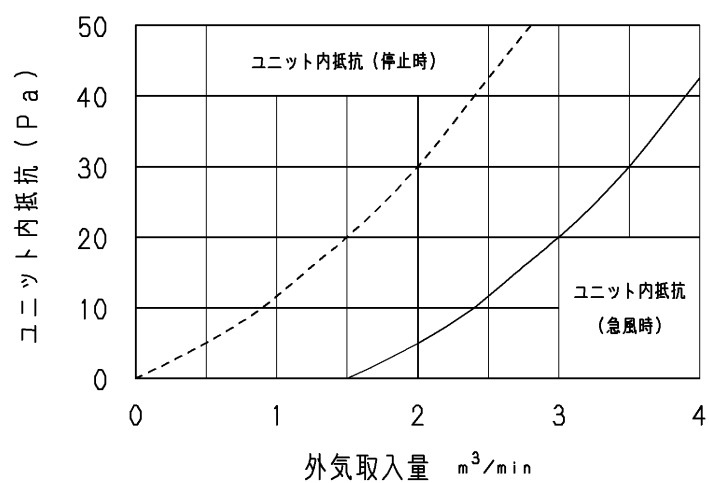
<ユニット本体-L字配管の接続>



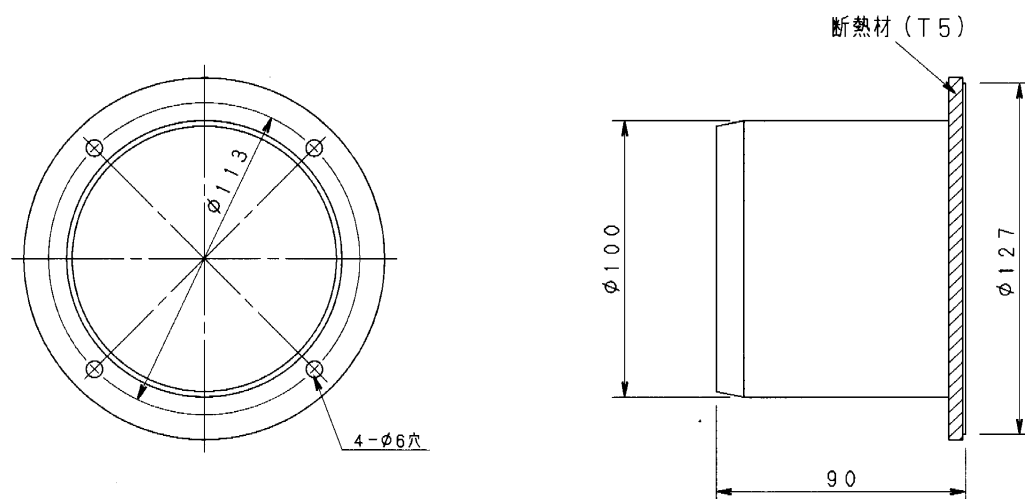
<L字配管-現地配管の接続>

外気取り入れ・本体用ダクトフランジ (DKT-MF10AN)

■外気取入量とユニット内抵抗特性



■外形寸法図



■据付方

■付属部品

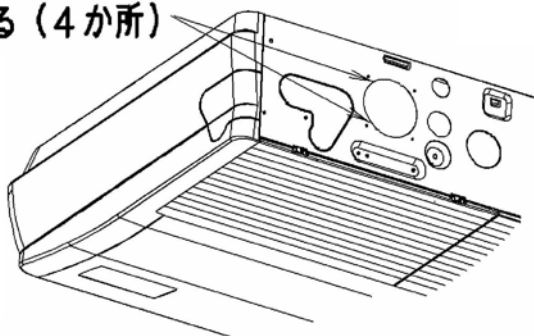
名	称	個数	名	称	個数
丸合フランジ ($\phi 100$ ・外気取入用)		1	取付ねじ (4 x 12)		4
シール用断熱材 A (4方向天井カセット用)		2	シール用断熱材 B (4方向天井カセット用)		2

■取付方法

(1) ユニット本体の切り込みを目印に、断熱材ごと、ニッパ、カッターナイフ等で切断し、切り取ってください。

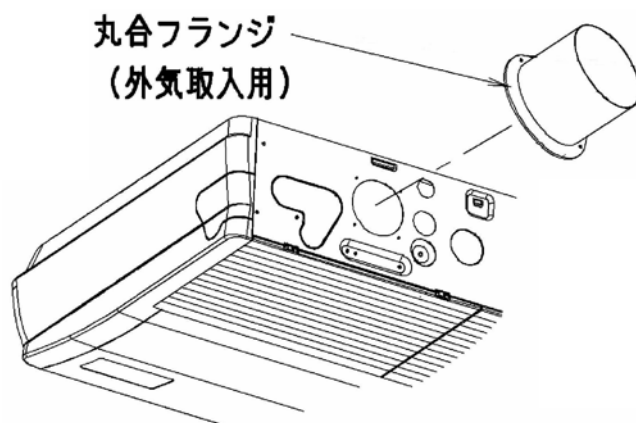
●天井吊形の場合

**ニッパ等で板金を
切断する(4か所)**



(2) ユニット本体の丸合フランジをネジ4本(付属)で取り付けてください。

●天井吊形の場合



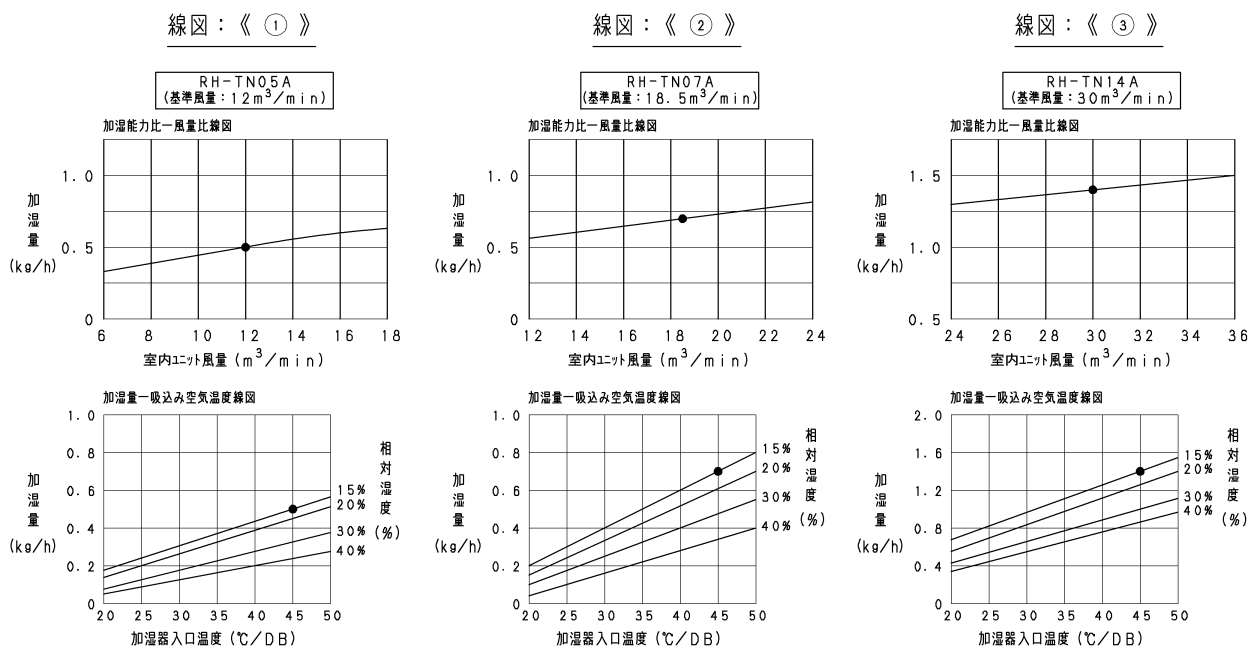
自然気化式加湿器 (RH-TN05、07、14A)

■仕様

項 目		仕 様		
形 名		RH-TN05A	RH-TN07A	RH-TN14A
適合エアコン形名		36~56形	71~90形	112~160形
外形寸法 H×W×D		71.5×639.3×79.8	71.5×909.3×79.8	71.5×1324.3×79.8
電 源 仕 様		50/60Hz 単相200V±10%		
加 湿 能 力 (kg/h)		0.5	0.7	1.4
給 水 圧 力		0.049MPa (0.5kgf/cm ²) ~ 0.49MPa (5kgf/cm ²)		
給水圧力(ポンプ使用時)		0.049MPa (0.5kgf/cm ²) ~ 0.29MPa (3kgf/cm ²)		
使用上の条件	使 用 水	上水道又は、これと同等水質のこと (水温10℃~40℃)		
	減 圧 弁	加湿器本体に取付け 水圧 0.049MPa (0.5kgf/cm ²)		
	周囲温湿度条件 (タイマーボックスを除く)	温 度 1℃~50℃ 相 対 湿 度 90%以下		

・加湿能力は、エアコンに組み込んだ時の値を示します。(加湿器入口空気温度45℃、相対湿度15%の時)

■能力線図



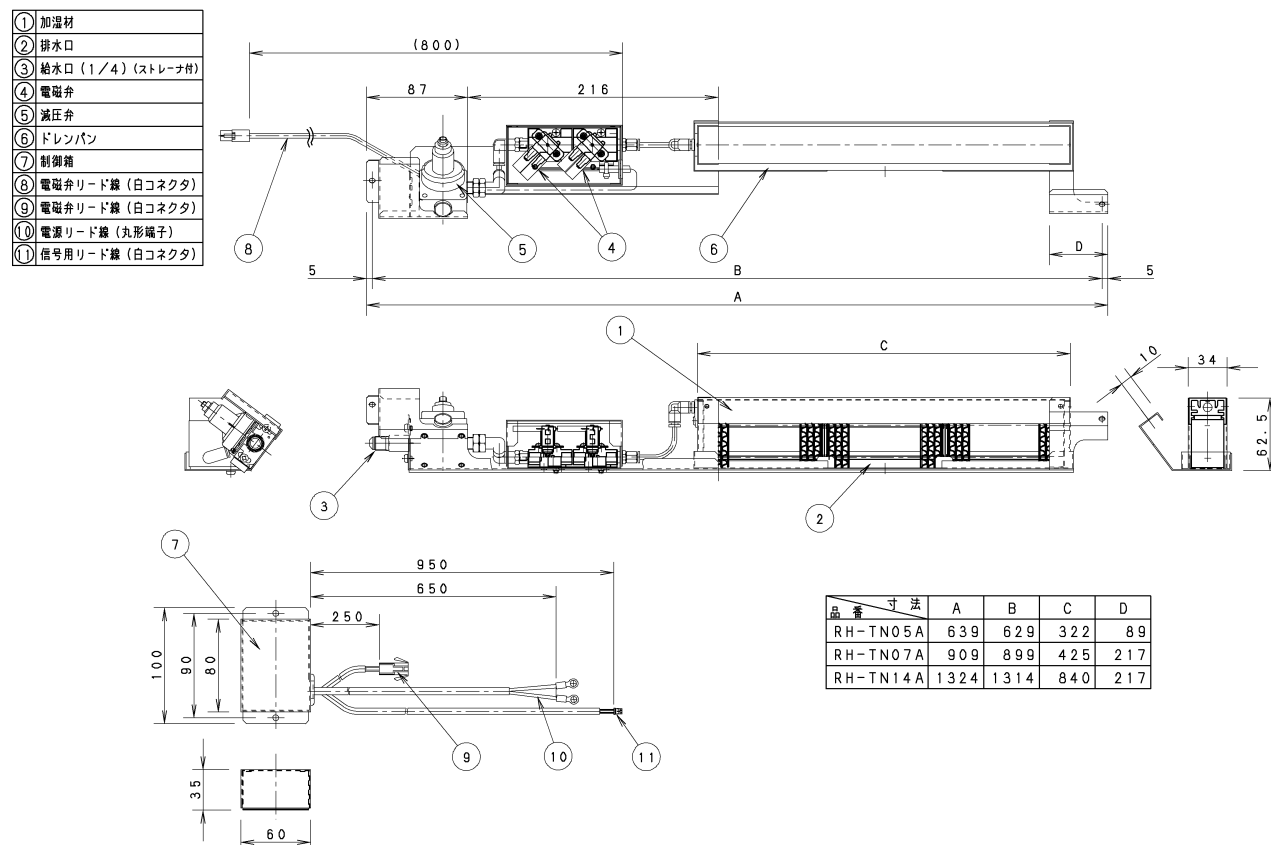
加温器品番	RH-TN05A	RH-TN07A	RH-TN14A
適用室内ユニット	36・45形	56形	71・80形 90形
室内ユニット風量(急風) m ³ /min	12	13	18.5 19.5
加温性能 kg/h	0.5	0.53	0.7 0.72
適用線図No.	①	②	③

注記

- 1) 加温能力条件は、加温器通過 温湿度がDB45℃、RH15%の場合の値を示します。
- 2) 風量比(%) = (任意風量/基準風量) × 100

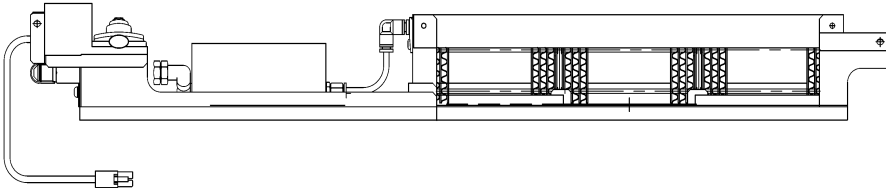
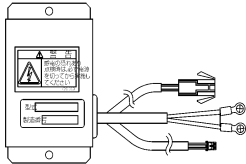
品番	RH-TN05A -TN07A -TN14A	能力線図 自然気化式加温器 天井吊形
----	------------------------------	--------------------------

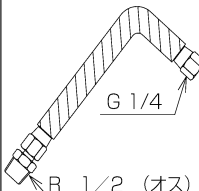
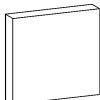
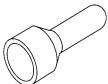
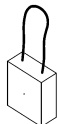
■外形寸法図

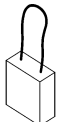


■構成部品

※開梱時に同梱部品が入っているかを必ずご確認ください。

気化式加湿器本体	コントロールボックス
1台	1台
	

取付説明書	給水用銅パイプ	給水断熱材	閉端接続子	ビニタイ	短絡コネクタ①
1枚	1本	1枚	2個	2本	1個
 本紙(両面)	n6.35x660  断熱材付き	100×100 t=10  給水パイプ用	 ヒューミデスタット 取付け用	L=200  断熱材固定用	 HU用(2P:白色)

短絡コネクタ②	取付ビス	シール用パテ
1個	4個	1個
 TP3用(2P:黄色)	n 4x8 (タッピンビス)  加湿器本体取付け用(2ヶ) コントロールボックス 取付け用(2ヶ)	

■取付け工事の前に

加湿器の取付け工事の際、上記構成部品の他に下記1～3の部品のご用意をおすすめいたします。

現地手配部品

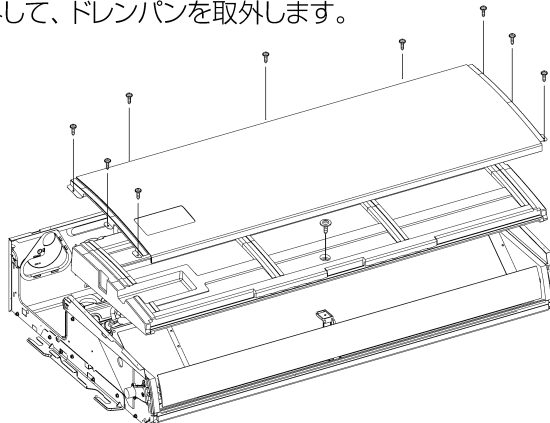
No.	部 品 名
1	ヒューミデスタット
2	給水用サービスバルブ
3	死水排水バルブ

■ 取付け手順(加湿器の組み合わせは必ず本体吊り下げ前に行ってください)

※エアコン上面を床面に置いた状態で作業してください。

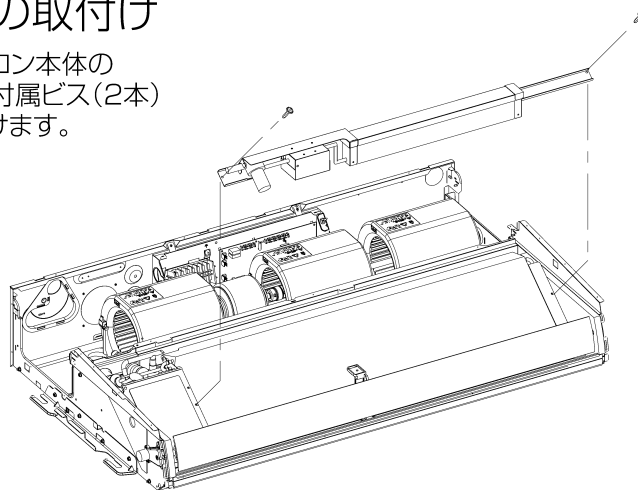
1. エアコン本体の準備

- ① エアコン本体の吸込みグリルとサイドカバーを外し、下図のようにビスを外して前パネルを取外します。
- ② 円形断熱材とねじを外して、ドレンパンを取外します。



2. 加湿器本体の取付け

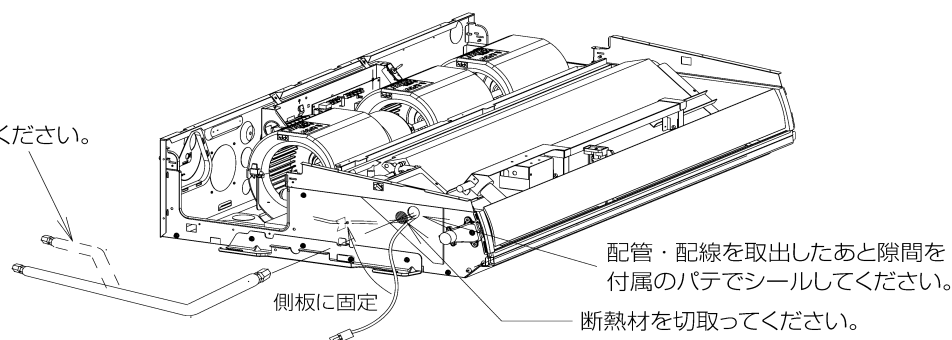
- ① 加湿器本体をエアコン本体の熱交換器の板金に付属ビス(2本)を使用して組み付けます。



3. 給水用銅パイプの取付け

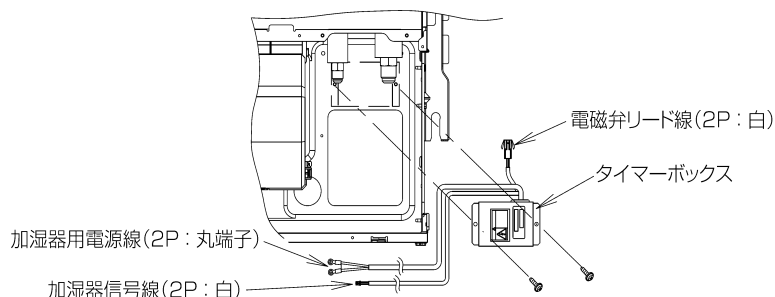
- ① エアコンの給水パイプ引込み用切り欠き部の断熱材を切り取ります。
- ② 加湿器本体の給水口に、給水パイプを接続します。
※フレアナット締め付けトルク目安：19.6N・m(200kgf・cm)
- ③ 電磁弁リード線も配管通し穴から出し側板のM字クランパーで固定してください。
終わりましたら付属のパテを使って、給水パイプと穴の隙間をシールします。
- ④ 給水パイプの先端は、ユニット本体の後配管取出口から出るように成形してください。
(サイドカバーを取付ける際に干渉しないように成形してください。)

取付け後、成形してください。



4. タイマーボックス取付け

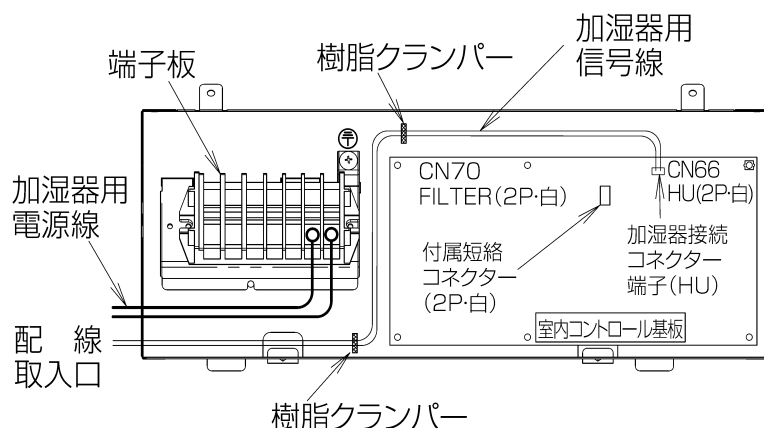
- ① 加湿器のタイマーボックスは、室内機配管の上側の天井に付属のビス(2本)で固定してください。
- ② 加湿器本体からの電磁弁リード線(2P：白)とタイマーボックスのリード線(2P：白)を接続してください。
- ③ ヒューミディスタットをご使用になる場合は、あらかじめタイマーボックスのふたをあけて、ボックス内にあるリード線(白色)を切断し、付属の閉端接続子で接続してから取付けてください。
(注意)ヒューミディスタットの接続部は、加湿器のタイマーボックス内に収納してください。



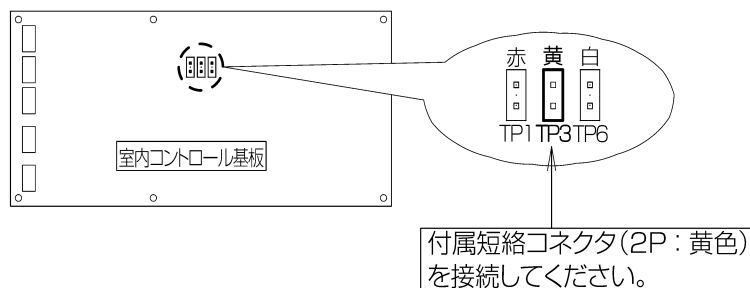
5. 電気配線

⚠ 警告 電気配線作業は必ず電源が切れている状態で行なうこと

- ① 電装ボックスの蓋を開き、室内コントロール基板のCN66：HU(2P：白)コネクタにタイマーボックスの加湿器信号線コネクタ(2P：白)を接続します。
- ② 室内コントロール基板のCN70：FILTER(2P：白)に付属の短絡コネクタ(2P：白)を接続してください。



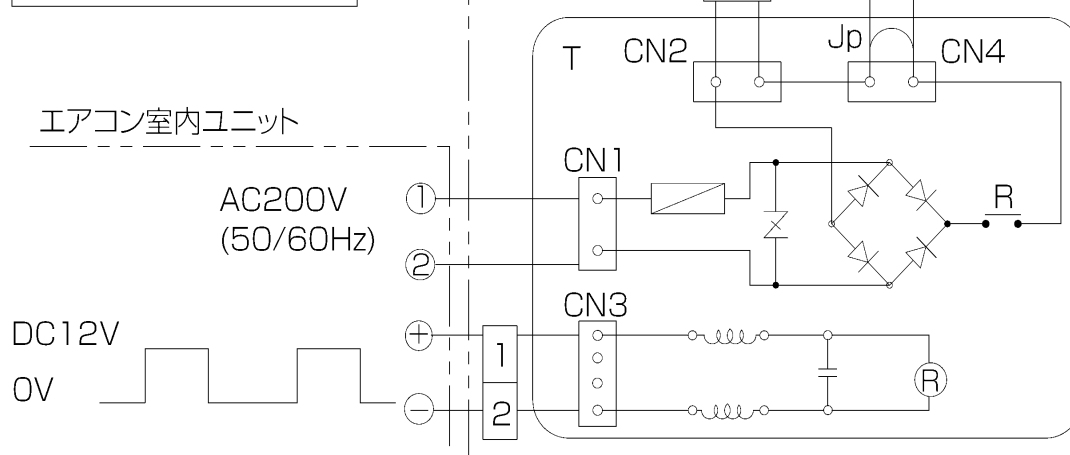
- ③ 室内コントロール基板の短絡ピンTP3(2P：黄色)に付属の短絡コネクタ(2P：黄色)を接続してください。
(設定を行わない場合、風量減少、露付きの原因となります。)



以上の作業が終了致しましたら、エアコンのドレンパンと前パネルを分解時の逆の手順で確実に組み付けてください。

6. エアコン本体は据付説明書に従って据付けてください

加湿器配線図



記号	名 称	記 事
T	基 板	22秒-ON, 38秒-OFF信号
Hs	ヒューミディスタット	現地手配
Jp	ジャンパー線	
SV1,2	給水用电磁弁	

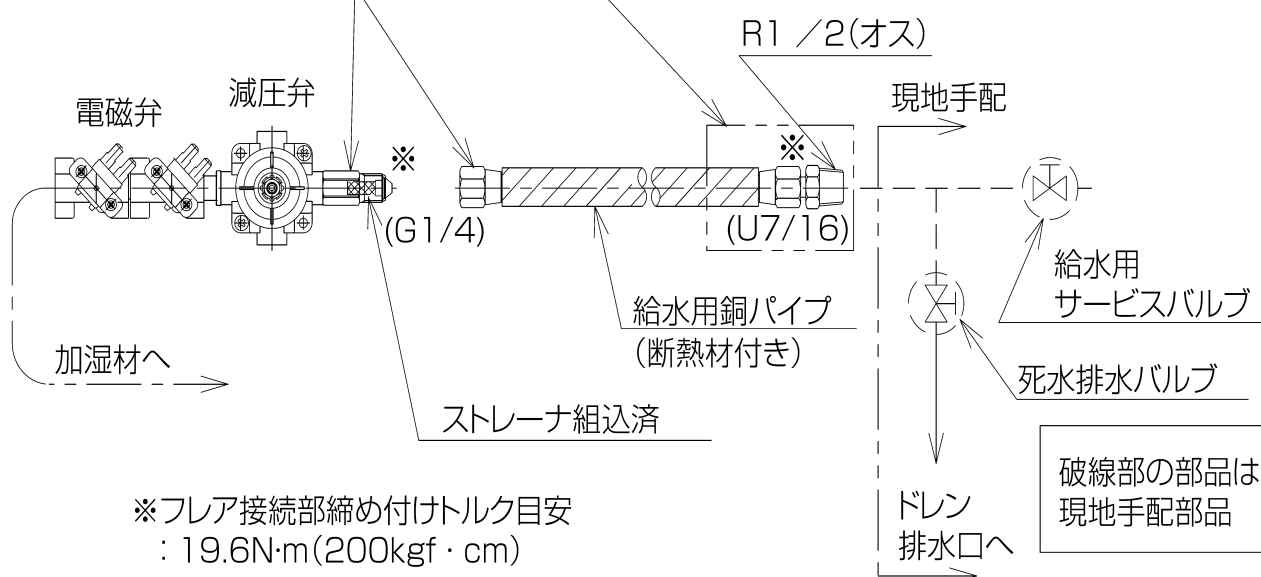
■給水配管

⚠ 注意

ダブルスパナで締め付けのこと

⚠ 注意

給水用銅パイプのフレア接続部に付属品の断熱材を巻き、ビニタイで固定のこと



※フレア接続部締め付けトルク目安
: 19.6N・m(200kgf・cm)

⚠ 注意

現地側の給水配管を加湿器に接続する際は、配管内の汚れを洗浄するため、一度水を通して汚れがなくなってから接続してください。

■ 運転確認

- ・元電源を入れてください。
- ・加湿器の給水用サービスバルブを開いてください。
- ・運転停止ボタンを押します。
- ・リモコンの運転切り換えスイッチを **暖房** にします。
- ・温度設定を希望の温度にします。
- ・給水用電磁弁が作動し正しく加湿制御していることを確認してください。
- ・再び運転停止ボタンを押すと運転を停止します。

— ご注意 —

試運転時、電磁弁または減圧弁から「ビーン」という異音が発生した場合、手元バルブを締めた時に音が消えるようであれば、給水系への「エア」のかみ込みが考えられますので、加湿器給水口を取外し、エア抜き及びストレーナの清掃を実施してください。

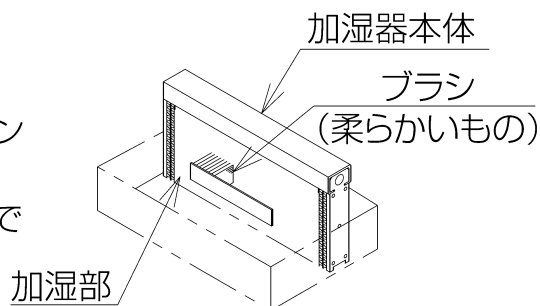
(おねがい)

- ・加湿(暖房)シーズン中は元電源を入れたままにしておいてください。
万一、給水用電磁弁にゴミなどがからみ閉じなくなった場合の漏水を防止します。
- ・加湿(暖房)シーズン後、給水用サービスバルブ(現地手配)を必ず閉めてください。
- ・死水排水バルブ(現地手配)の取付けをおすすめします。加湿(暖房)シーズン使用開始時に、給水用サービスバルブと死水排水バルブを開き、給水配管内の水を新しい水に置換してから使用することをおすすめします。
- ・ヒューミディスタットをご使用の場合は、希望の湿度目盛に合わせます。設定を変化させて給水用電磁弁が正しく加湿制御していることを確認してください。

■ 保守

(おねがい)

- ・加湿能力の低下防止のため、1年に1回シーズンインの前に加湿部を洗浄してください。
- ・水かぬるま湯に中性洗剤を溶かし、柔らかなブラシで表面の汚れを取ってください。



DC ファンモータータップ

■ DC ファンモータータップ設定変更手順

DC ファンモータータップの選択(天井吊形)

ご使用になられる用途、別売品を下表1でご確認ください。

表1 DC ファンモータータップ設定表

設定 No	リモコンの設定データ 項目コード 5d	使用用途／別売品名称
	0000	標準(出荷設定)
(1)	0001	高天井設定
		超ロングライフフィルター
		アンモニア脱臭フィルター(JIS 比色法 65%)
		光再生脱臭フィルター
(3)	0003	高性能フィルター(JIS 比色法 65%)
		デオドラントフィルター(JIS 比色法 65%)

基板から設定する場合

＜手順＞停止中に行なってください。

- ①電装ボックスの蓋を開き、室内コントロール基板を確認してください。(図1)
- ②表1の DC ファンモータータップ設定表で確認していただいた設定 No に応じて、別売品に付属の短絡コネクタ(2P:黄色)を室内コントロール基板の短絡ピンに接続してください。

設定 No(1)の場合 短絡コネクタを室内コントロール基板の短絡ピン TP1(2P:赤色)に接続してください。

設定 No(3)の場合 短絡コネクタを室内コントロール基板の短絡ピン TP3(2P:黄色)に接続してください。

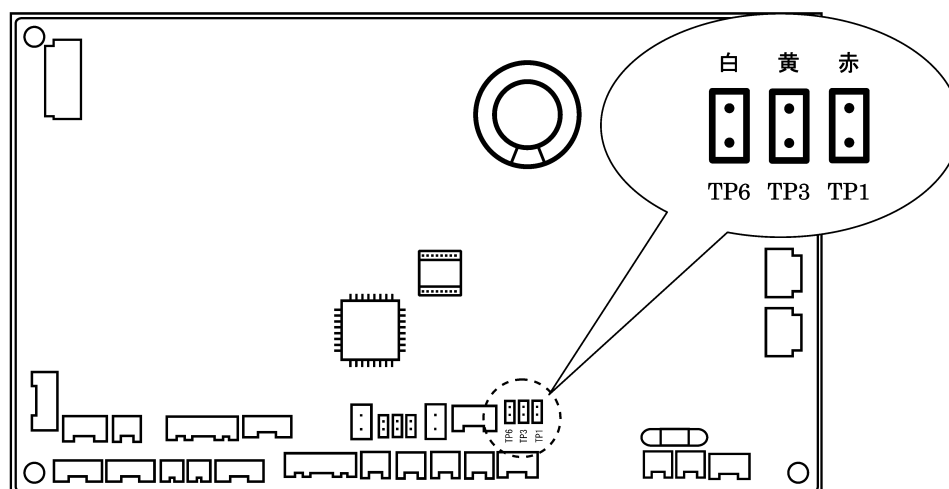
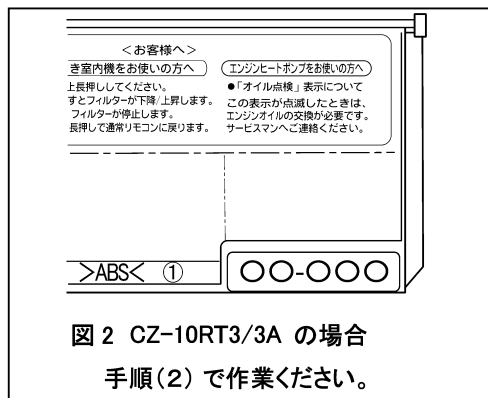


図1 室内コントロール基板

ワイヤードリモコンで設定する場合

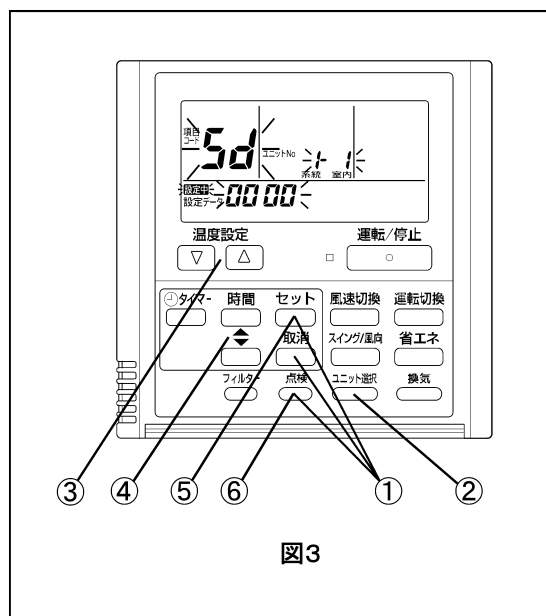
＜手順＞停止中に行なってください。

(1) リモコンの品番をご確認ください(品番は、リモコンの扉裏側に貼ってあるラベル(図2)をご参照ください)。



(2) リモコンが CZ-10RT3/3A の場合

- ① 点検 取消 セット ボタンを同時に4秒以上押します。
 - ② ユニット選択 ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニット No を順次表示します。このとき、選択されている室内ユニットのみ ファンモーターが運転します。
 - ③ 温度設定 (▽) / (△) ボタンで項目コード「5d」を指定します。
 - ④ 時間 (◀▶) ボタンで設定データを変更します。設定データの 内容は表1のようになっています。
 - ⑤ セット ボタンを押します。(表示が点滅から点灯に変われば OK)
- 選択している室内ユニットを変更したい場合は②へ
- ⑥ 点検 ボタンを押します。通常の停止状態になります。



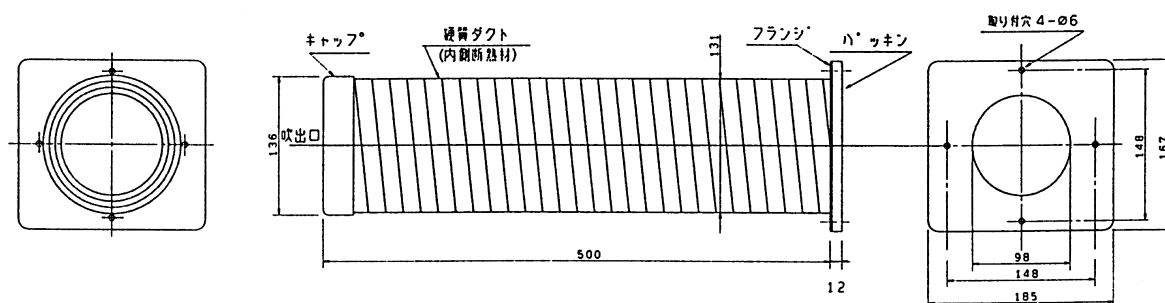
(9) 天吊形厨房用エアコン

交換フィルター (SPW-KF71) SGP-TKH80形
(SPW-KF125) SGP-TKH112・140形

- ・不織布
- ・50枚入り
- ・寸法 : SPW-KF71 606×420mm
 SPW-KF125 790×420mm

スポットダクト (DKT-TKH1005)

■外形寸法図



ユニットの吹出口のしゃ風は不要です。

・接続口の左・右どちらか又は左右両側につけて使用してください。

・ダクト仕様 : 長さ500mm (左右共通)

径 100mm

断熱材付

■据付方

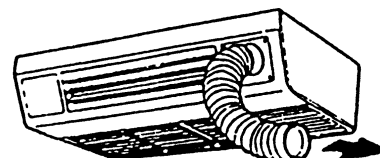
ユニット吹出口の遮風は不要です。

□接続口の左・右どちらか又は左右両側につけて使用してください。

□ダクト仕様 : 長さ500mm (左右共通)

径 100mm

断熱材付き



(10) 床置プレナム形

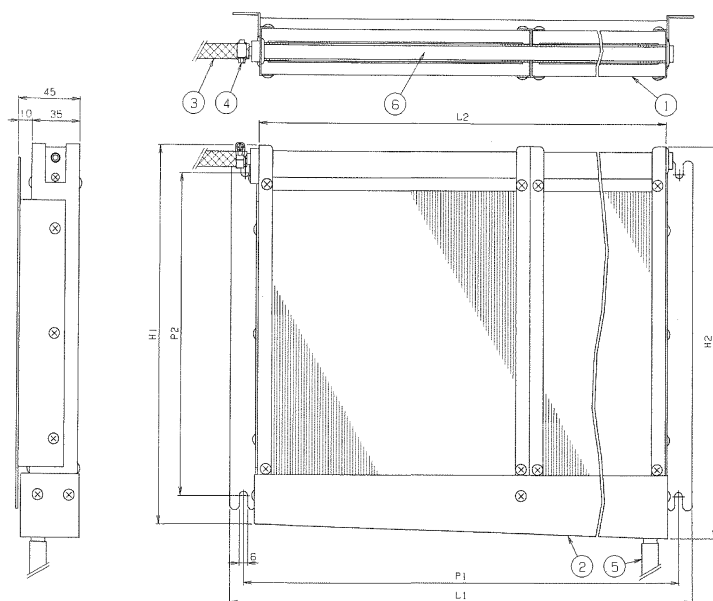
自然気化式加湿器 (RH-EN30TE・45E・45E1・60T・90E・120T)

■仕様

製 品 名		自然気化式加湿器					
適 用 機 種		224形		280形		355・450形	
加湿器品番 (RH-)		RH-EN30E	RH-EN45E1	RH-EN45E	RH-EN90E	RH-EN60T	RH-EN120T
加湿性能 (kg/h)		3.0	4.5	4.5	9.0	6.0	12.0
給 水 量 *1 (L/h)		8.3～9.0	18.4～20.0	18.4～20.0	29.8～32.6	19.2～20.6	40.8～43.6
能力 条件	コイル面風速	3.0m／s				2.5m／s	
	通過空気温湿度	40℃・15%RH					
電 源 電 圧		単相 AC200V 50／60Hz					
定 格 消 費 電 力		10W					
本体質量(重量) (kg)		3.0	3.5	3.5	5.5	4.5	6.5
使用 条件	周 辺 温 湿 度	加湿器本体 : 5～60℃ 90%RH以下 給水ユニット : 5～40℃ 80%RH以下					
	給 水 水 質	水道法水質基準に準ずる飲料水					
	給 水 圧 力	0.05～0.5MPa					
	給 水 温 度	5～40℃					
備 考		*1) 給水量は給水圧力範囲 (0.05～0.5MPa) において、 0.05MPa時に最小となり、0.5MPa時に最大となります。					

※加湿性能は能力条件により変化します。

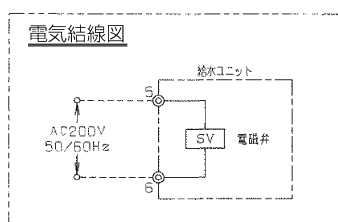
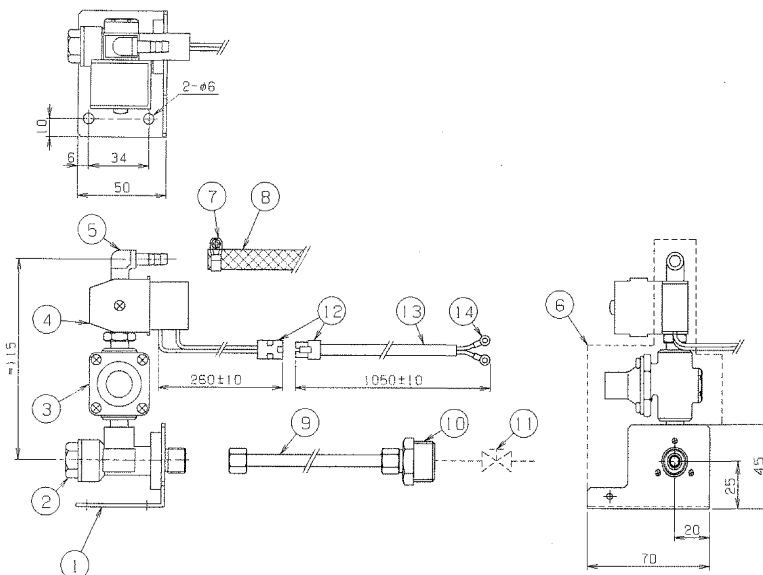
■外形寸法図： RH-EN30E・45E・45E1・90E



適用機種	加湿器品番	L1	L2	H1	H2	P1	P2
224形	RH-EN30E	440	400	270	280	420	230
	RH-EN45E1	640	600	270	285	620	230
280形	RH-EN45E	640	600	270	285	620	230
	RH-EN90E	940	900	345	365	920	305

番号	部品名	仕様
①	加湿モジュール	
②	ドレンパン	SUS304
③	給水ホース	Φ6×Φ11×1.5m
④	ホースバンド	
⑤	排水ホース	Φ11×Φ16×2m
⑥	給水ヘッド	銅管

■給水ユニット外形寸法図： RH-EN30E1・30E・45E・45E1・90E

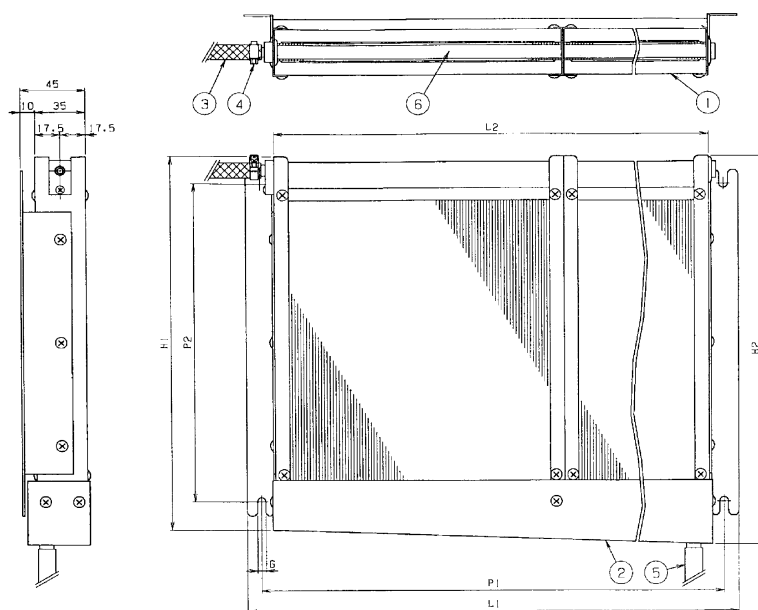


番号	部品名称	仕様	番号	部品名称	仕様
①	取付板	SGCC t2	⑧	給水ホース	Φ6×Φ11 1.5m
②	給水ストレーナー	T型	⑨	給水軟銅管	Φ6.35 2m
③	減圧弁	MAA-00A0-23	⑩	給水継手	R1/2
④	電磁弁	MAA-00A0-26	⑪	給水サービス弁	現地手配
⑤	給水ホース口		⑫	コネクタ	
⑥	断熱材		⑬	接続コード	VCTF0.75mm ² 2C
⑦	ホースバンド		⑭	絶縁被覆付丸端子	TMEV1.25-3.5S (または相当品)

別売部品

5. 室内ユニット関連部品の仕様と据付 (床置プレナム形)

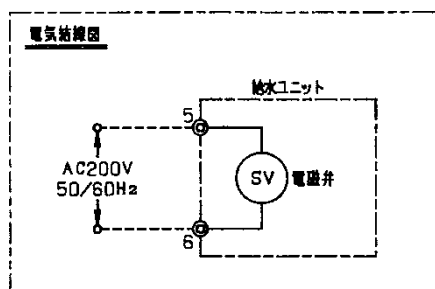
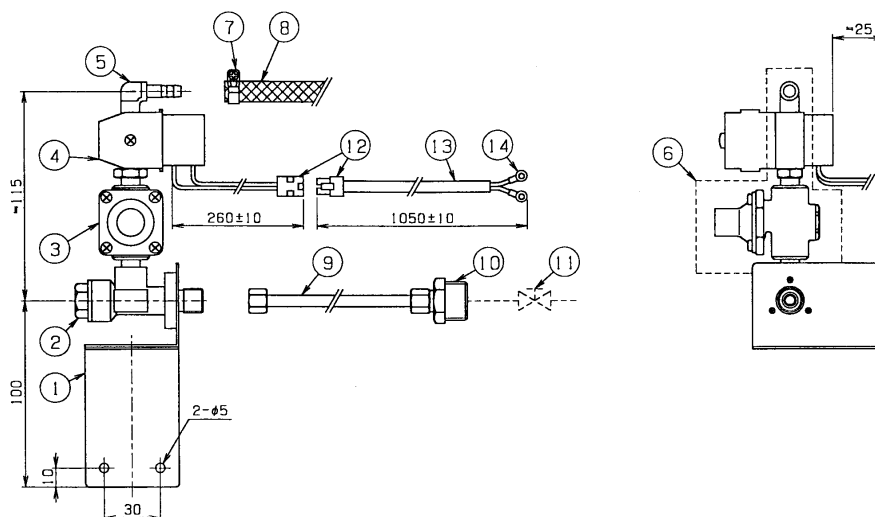
■加湿器外形寸法図： RH-EN60T・120T



適用機種	加湿器品番	L1	L2	H1	H2	P1	P2
355・450 形	RH-EN60T	840	800	270	285	820	230
	RH-EN120T	1240	1200	345	370	1220	305

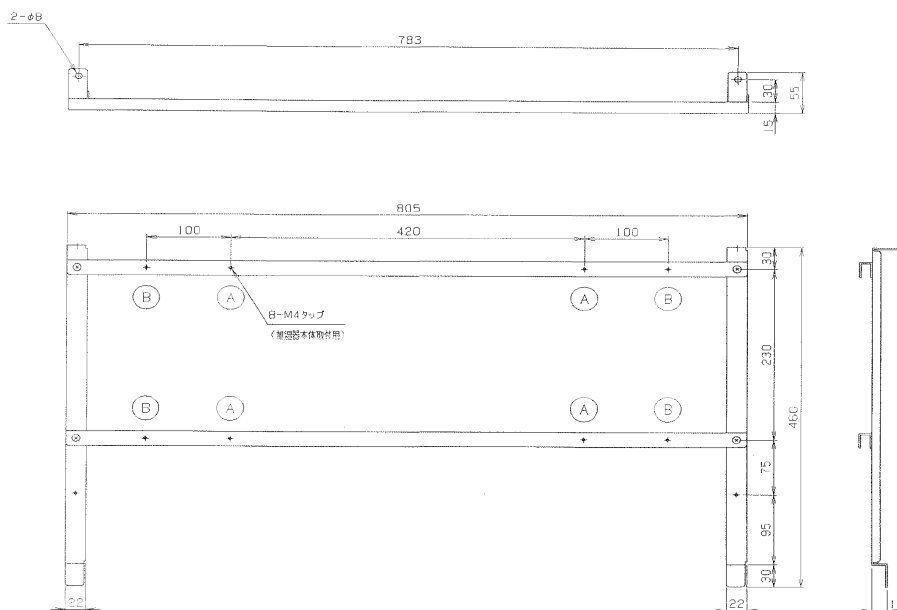
番号	部品名	仕様
①	加湿材	
②	ドレンパン	SUS304
③	給水ホース	φ6×φ11×1.5m
④	ホースバンド	
⑤	排水ホース	φ11×φ16×2m
⑥	給水ヘッダー	銅管

■給水ユニット外形寸法図： RH-EN60T・120T



番号	部品名称	仕様	番号	部品名称	仕様
①	固定金具	SGCC t2	⑧	給水ホース	φ6×φ11 1.5m
②	給水ストレーナー	T型	⑨	給水軟銅管	φ6.35 2m
③	減圧弁		⑩	給水継手	1/2B おねじ
④	給水用電磁弁	AC200V	⑪	給水サービス弁	現地手配
⑤	給水ホース口		⑫	コネクタ	Lコネクタ
⑥	断熱弁		⑬	接続コード	VCTF0.75mm ² 2C
⑦	ホースバンド		⑭	絶縁被覆付丸端子	TMEV1.25-3.5S (または相当品)

■加湿器取付用ブラケット外形寸法図：RH-EN30E・45E1用

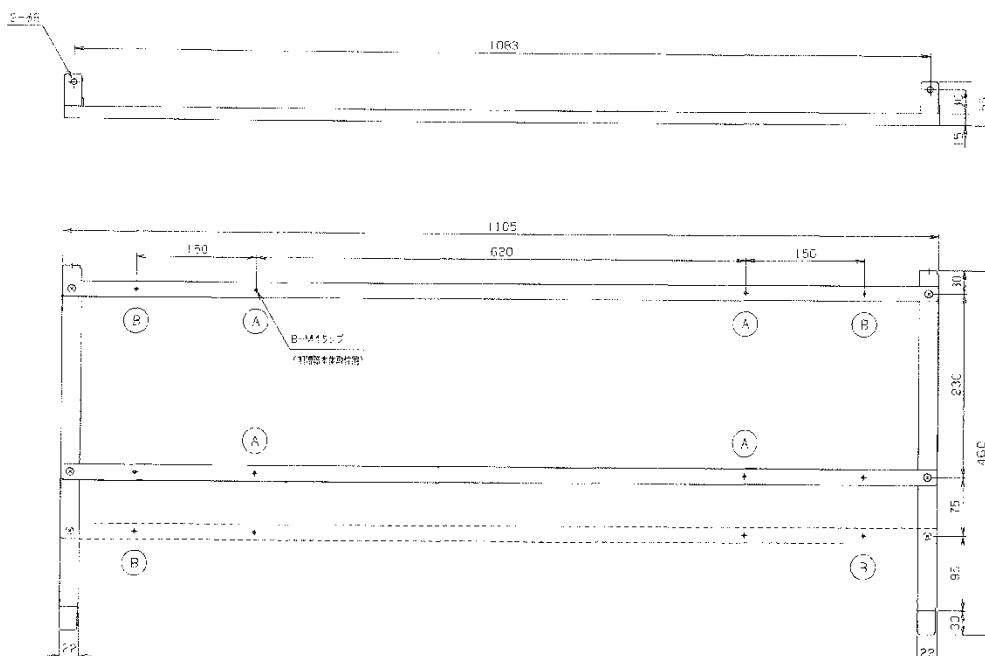


※現地組立てとなります。(ビス4本使用)
※ブラケットを完成させてビス4本にて加湿器を取付けた後、
ユニット内に取付けてください。

・ブラケット : SGCC t2
・付属ビス : M4 (ブラケット組立)
加湿器取付用
M6(ブラケット固定用)

適用機種	加湿器品番	加湿器取付位置
224形	RH-EN30E	Ⓐ4カ所
	RH-EN45E1	Ⓑ4カ所

■加湿器取付用ブラケット外形寸法図：RH-EN45E・90E用

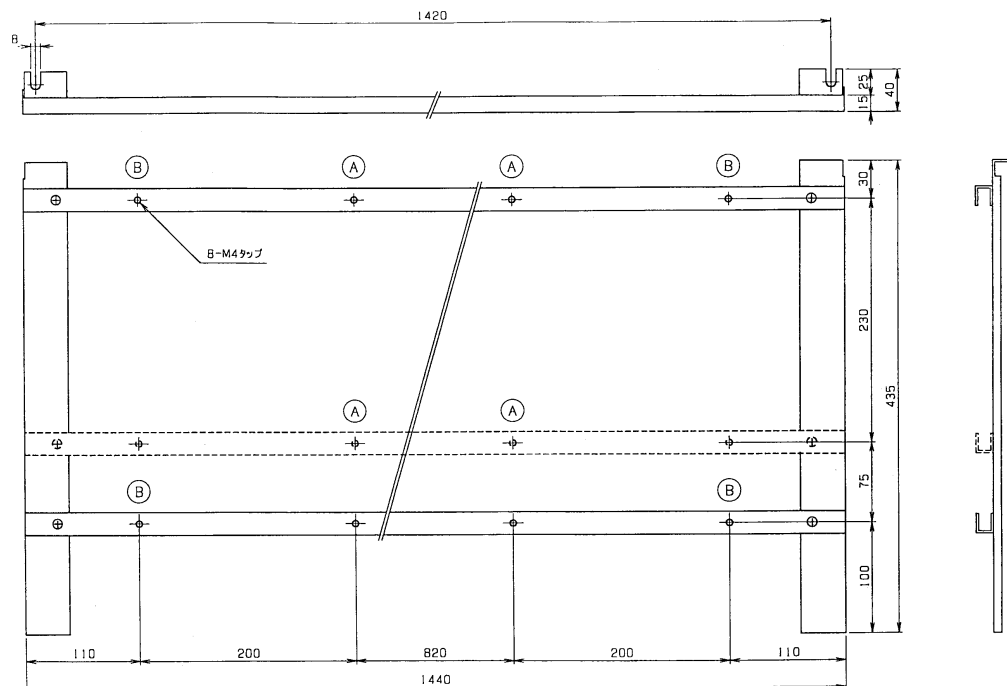


※現地組立てとなります。(ビス4本使用)
※ブラケットを完成させてビス4本にて加湿器を取り付けた後、
ユニット内に取付けてください。
※図はRH-EN90Eを取り付ける状態を示します。
RH-EN45Eを取り付ける際には、下部ステーを点線
位置にしてください。

・ブラケット : SGCC t2
・付属ビス : M4 (ブラケット組立)
加湿器取付用
M6(ブラケット固定用)

適用機種	加湿器品番	加湿器取付位置
280形	RH-EN45E	Ⓐ4カ所
	RH-EN90E	Ⓑ4カ所

■加湿器取付用ブラケット外形寸法図：RH-EN60T・120T用



※現地組立てとなります。(ビス4本使用)

※ブラケットを完成させてビス4本にて加湿器を取り付けた後、ユニット内に取り付けてください。

※図はRH-EN120Tを取り付ける状態を示します。

RH-EN60Tを取り付ける際には、下部ステーを点線位置にしてください。

・ブラケット:SGCC t2

・付属ビス:トラスビス M4×8L(SUS)

適用機種	加湿器品番	加湿器取付位置
355形	RH-EN60T	Ⓐ 4カ所
450形	RH-EN120T	Ⓑ 4カ所

別売部品

5. 室内ユニット関連部品の仕様と据付 (床置プレナム形)

■取付方法：RH-EN30E・45E・45E1・90E

●付属品一覧

※梱包開封後は、直ちに付属品の内容を確認してください。

・加湿器本体梱包

部品名称	①加湿器本体……………1台 ②給水ホース(半透明、1.5m)……………1本 ③排水ホース(黒色、2m)……………1本 ④ホースバンド……………2ケ ⑤取付ブラケット固定金具……………2ケ	⑥給水継手(R1/2)……………1ケ ⑦軟銅管(Φ6.35×2m)……………1ケ ⑧リングナット、真鍮リング……………各2ケ ⑨固定金具取付ビス(Φ4)……………4本 ⑩取扱説明書(本書)……………1部
①加湿器本体	②給水ホース	③排水ホース
⑥給水継手	⑦軟銅管	⑧リングナット、真鍮リング
	④ホースバンド	⑤取付ブラケット固定金具
	⑨取付ビス(Φ4)	⑩取扱説明書

・給水ユニット梱包

部品名称	①給水ユニット……………1台 ②取付ビス(Φ4)……………2本
①給水ユニット	②取付ビス(Φ4)

・ブラケット梱包

部品名称	①ブラケット……………一式 ②取付ビス(M6)……………2本 ③取付ビス(M4)……………8本 ④外形図……………1枚
①ブラケット	②③取付ビス(M6,M4)
	④外形図

■取付上の注意：RH-EN30E・45E・45E1・90E

加湿器本体の取付

(1) 図-1 のように取付ブラケットをM4ビス4本で組み立てます。RH-EN90Eの場合はブラケットを破線の位置にして組み立ててください。

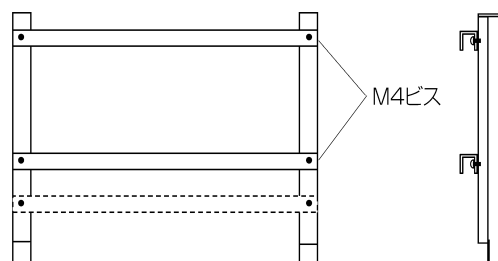


図-1 取付ブラケットの組立

(2) 図-2 のように組み立てた取付ブラケットにM4ビス4本で加湿器本体を取り付けます。

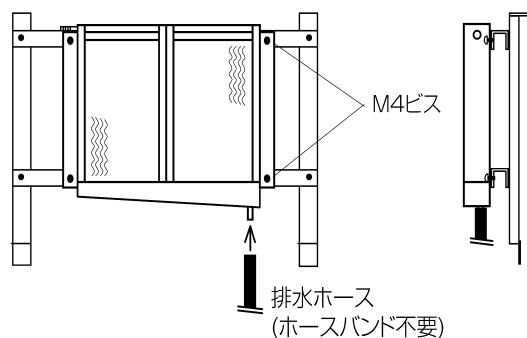


図-2 加湿器本体の取付

(3) 加湿器ドレンパンに排水ホースを差し込んでください。このときホースバンドは不要です。

(4) パッケージエアコン室内機の吸込口および上部前面パネルを外して、図-3 のように室内機のコイル2次側に組み立てた加湿器本体を組み込みます。

加湿器取付後にパッケージエアコンの輸送などがある場合には、コイルフランジにブラケット固定金具を取付け、取付ブラケット下部がその固定金具に収まるように取付ブラケットを面に沿ってスライドさせてください。また、取付ブラケット上部は付属のM6ビス2本で固定してください。

(5) 加湿運転中排水ホースからは常時少量のドレン水が出ますので、確実に排水が行われるよう排水ホースを適度な長さにカットし、ホース先端がドレンパン上になるように配管してください。この際排水ホースがコイルフィンに接触しないようにしてください。

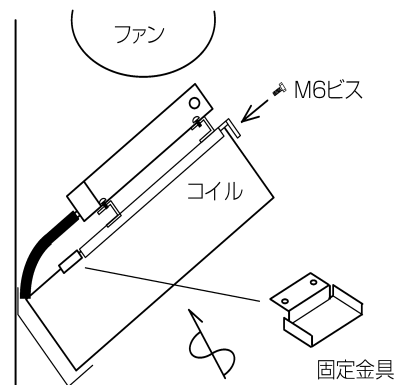


図-3 加湿器本体の組み込み

給水ユニットの取付

- (1)ビス2本を使用してサーモスタット固定金具の横に給水ユニットを取付けてください。(図-4)

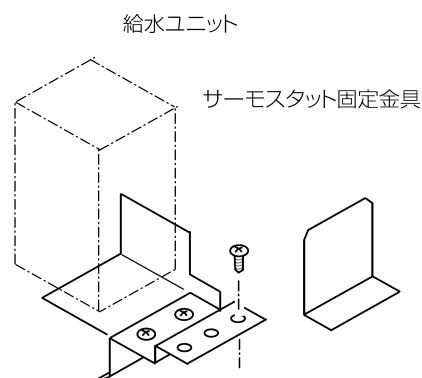


図-4 給水ユニットの取付

給水ホース／給水軟銅管の接続

- (1)加湿器本体ホース口に給水ホースを差し込み、給水ホース用ホースバンドで固定してください。
- (2)図-5のように給水ホースはコイル右側のグロメットを通して給水ユニットに接続します。給水ホースは折れや極端な曲がりがないように適度な長さにカットして給水ユニットのホースに差し込み、給水ホース用ホースバンドで固定してください。この際に給水ホースがコイルフィンに接触しないようにしてください。
- (3)給水ユニットに給水軟銅管を接続します。給水軟銅管はエアコンの加湿給水口よりエアコン内部に取り入れてください。給水軟銅管の接続部はリングジョイント式となっています。リングナットの締め付けトルクは10N・m(100kgf/cm)程度としてください。

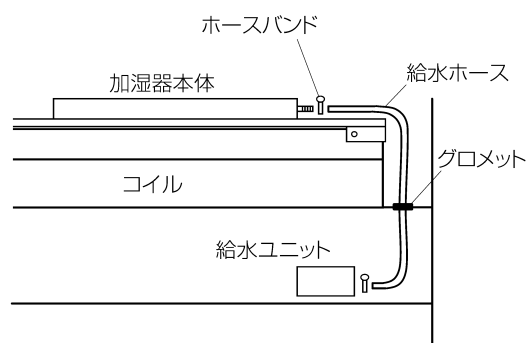


図-5 給水ホース／給水軟銅管の接続

注)軟銅管は継手部付近からの急な曲げ加工は行わないでください。漏水の原因となることがあります。

- (4)エアコン外部での給水軟銅管と現地の給水配管との接続には給水継手を使用してください。なお、給水配管を接続する前には、通水して必ず配管のフラッシングを実施してください。

給排水間管について

- 給水配管には水道法水質基準に準ずる飲料水をご使用ください。
- 加湿器への給水は公共の水道管から直接接続はできませんのでご注意ください。
- 給水サービス弁(現地手配)を必ず各加湿器ごとに設けてください。
- 給水圧力は0.05～0.5MPa、給水温度は5～40℃の範囲でご使用ください。
- 給水配管、排水配管ともに、凍結および結露を防止するための断熱処理をしてください。

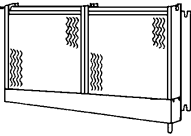
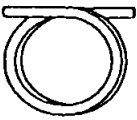
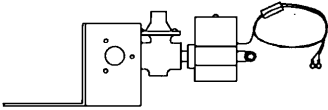
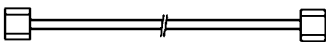
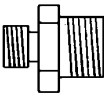
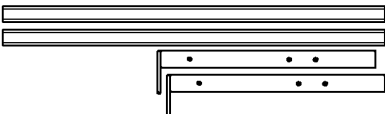
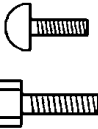
電気配線について

- 給水ユニットの電磁弁コードの丸端子をエアコン制御盤内の端子台5、6番に接続してください。

■取付方法： RH-EN60T・120T

●付属品一覧

※梱包開封後は、直ちに付属品の内容を確認してください。

部品名称	形 状	個数	備考
①加湿器本体		1	
②給水ホース		1	半透明、1.5m
③排水ホース		1	黒色、2m
④給水ホース用 ホースバンド		2	
⑤給水ユニット		1	給水ストレーナー、減圧弁、 給水用電磁弁、固定金具 電磁弁コード1.3m
⑥給水軟銅管		1	φ6.35×2m
⑦給水継手		1	1/2Bおねじ
⑧取付ブラケット		一式	
⑨取付ビス		8 4	M4ビス M6ビス
⑩取扱説明書		1	

■取付上の注意：RH-EN60T・120T

(1) 加湿器本体の取付

- 取付ブラケットをM4ビス4本で組み立てます。RH-EN45Tの場合は下部ステーを点線の位置にして組み立ててください。(図-1 参照)
- 組み立てた取付ブラケットにM4ビス4本で加湿器本体を取り付けます。(図-2 参照)
- 加湿器ドレンパンに排水ホースを差し込んでください。ホースバンドは不要です。
- 室内ユニットの吸込口および上部前面パネルを外します。室内ユニットのコイル2次側に、組み立てた加湿器本体を組み込みます。(図-3参照)
室内ユニットのコイルフランジにスライドさせるようにして、取り付けブラケット下部をコイルフランジの突起金具に引っかけてください。また取り付けブラケット上部は付属のM6ビス2本で固定してください。
- 加湿運転中は排水ホースから常時少量のドレン水が流れます。確実に排水が行われるように排水ホースを適度な長さにカットして、ホース先端が必ずドレンパン上になるように配管してください。この際排水ホースがコイルフィンに接触しないように注意してください。

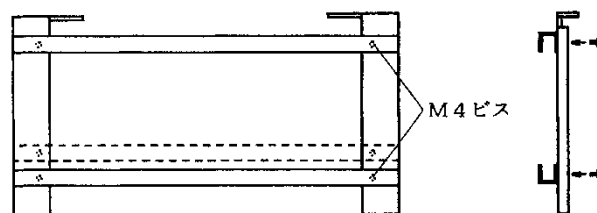


図-1 取付ブラケット

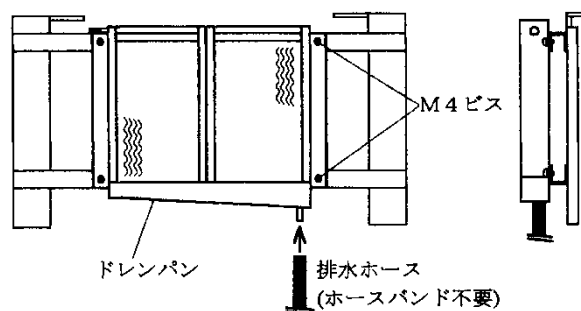


図-2 加湿器本体の取付

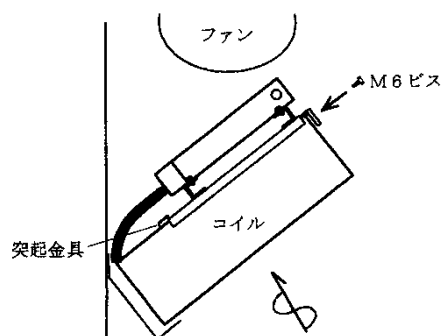


図-3 加湿器本体の組込

【注】加湿器本体を室内ユニットへ組み込む際、コイルフィンの破損にご注意ください。

(2) 給水ユニットの取付

- エアコン内部のサーモスタット固定金具のビス2本を外してください。
- 取り外した2本のビスを使用してサーモスタット固定金具と給水ユニットを共締めしてください。(図-4 参照)

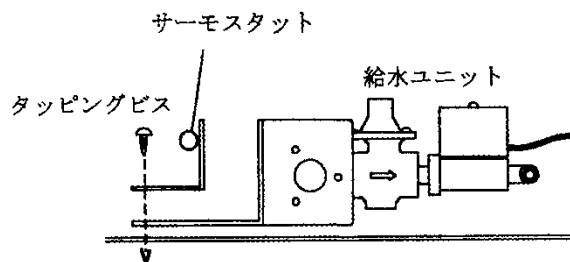


図-4 給水ユニットの取付

(3) 給水ホース／給水軟銅管の接続

- 加湿器本体ホース口に給水ホースを差し込み、給水ホース用ホースバンドで確実に固定してください。
- 給水ホースはコイル右側のグロメットを通して給水ユニットに接続します。給水ホースは折れや極端な曲がりがないように適度な長さにカットして給水ユニットのホース口に差し込み、給水ホース用ホースバンドで固定してください。この際給水ホースがコイルフィンに接触しないように注意してください。

(図-5参照)

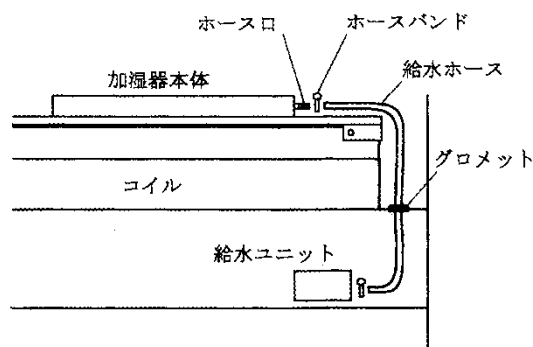


図-5 給水ホース／給水軟銅管の接続

- 給水ユニットに給水軟銅管を接続します。給水軟銅管はエアコンの加湿給水口よりエアコン内部に取り入れてください。給水軟銅管の接続部はリングジョイント形式となっています。リングナットの締め付けトルクは10N・m程度としてください。

【注】軟銅管は継手部付近からの急な曲げ加工は行わないでください・漏水の原因となることがあります。

- 現地の加湿器用給水配管と給水軟銅管の接続には給水継手を使用してください。なお、給水配管を接続する前には、通水して必ず配管のフラッシングを実施してください。

(4) 給水配管について

- 給水には水道法水質基準に準ずる飲料水をご使用ください。
- 加湿器への給水は公共の水道管から直接接続はできませんのでご注意ください。
- 給水サービス弁（現地手配）を必ず各加湿器（エアコン）ごとに設けてください。
- 給水圧力は0.05～0.5MPa、給水温度は5～40℃の範囲でご使用ください。
- 給水配管、排水配管ともに、凍結および結露を防止するための断熱処理をしてください。

(5) 電気配線について

- 給水ユニットの電磁弁コードの丸端子をエアコンの制御盤内の端子台5，6番に接続してください。

■運 転：RH-EN30E・45E・45E1・90E・RH-EN60T・120T

1. 施工後初めての運転

- 給水配管に設けてある給水サービス弁が開いていることを確認してください。
- エアコンを暖房運転すると、加湿器が自動的に運転します。

2. 日常の運転管理

- 加湿器の運転はエアコンに連動しますので、加湿器の運転スイッチ等は特に設けていません。

3. 加湿休止期の処置

- 加湿のオフシーズンには、給水配管に設けてある給水サービス弁を閉めてください。
- シーズンオフ時およびシーズンイン時には、それぞれ必要な保守作業を必ず実施してください。
- シーズンイン時には忘れずに給水サービス弁を開け、試運転を行って漏水の無いことを確認してください。

別売部品

5. 室内ユニット関連部品の仕様と据付 (床置プレナム形)

パン形加湿器 (RH-K3N・K4N・K5N・K6N)

■適用機種

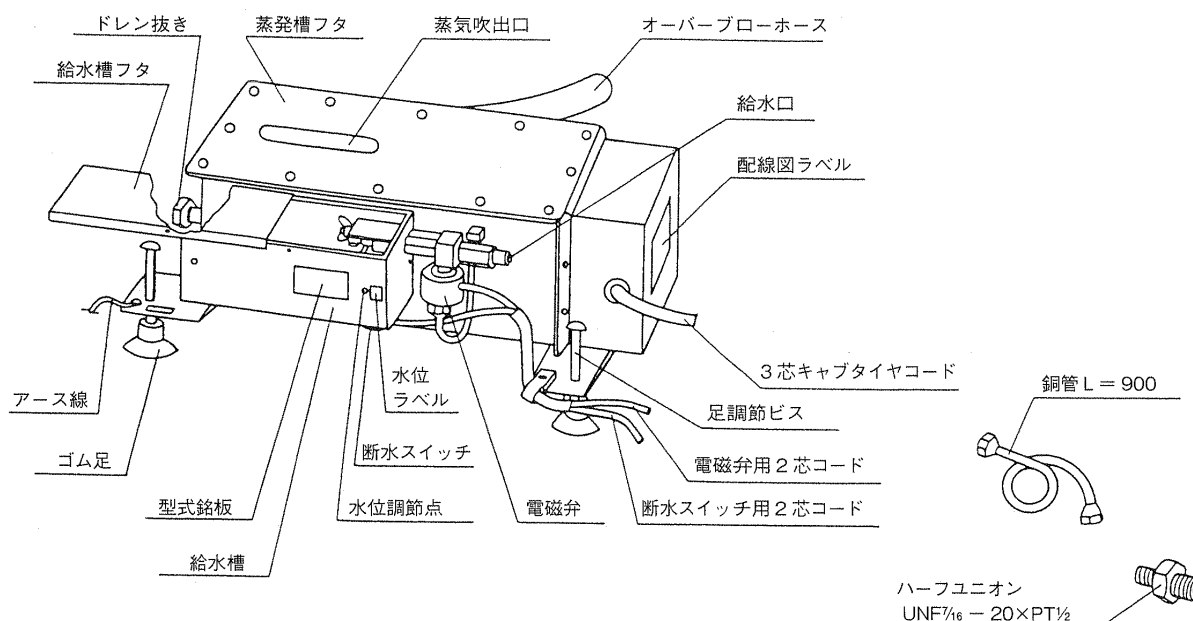
	RH-K3N	RH-K4N	RH-K5N	RH-K6N
適用機種	S-G224BE 形	S-G280BE 形	S-G355BE 形 S-G450BE 形	S-G355BE 形 S-G450BE 形 S-G560BE 形※

※操作用の WIRE-K (特注手配) が別途必要です

■仕様

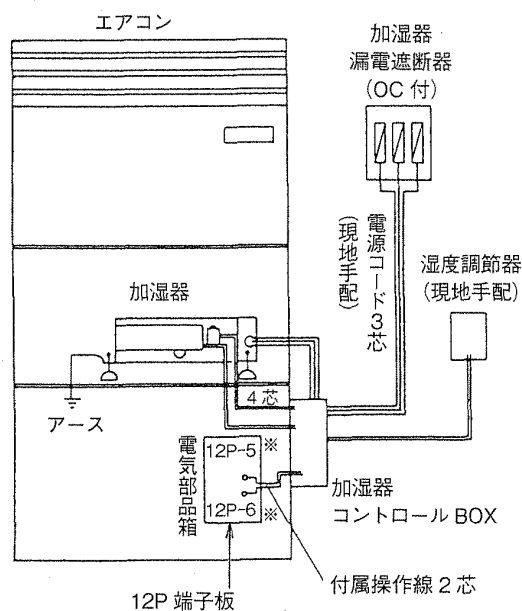
型 式		RH-K3N	RH-K4N	RH-K5N	RH-K6N
加湿能力 [kg/h]		3.9	5.2	6.5	7.8
電気 特性	電力 [kW/h]	3	4	5	6
	電 圧 [V]	3φ 200V			
	電 流 [A]	8.7	11.6	14.5	17.4
	結 線 方 法	△			
寸 法	長 さ [mm]	371	501		
	奥行き [mm]	192			
	高 さ [mm]	175			
製品重量 [kg]		4.6	5.8	6.3	
安全 装置	1 次	断水スイッチ		水位低下による操作回路OFF	
	2 次	サーマルカットアウト		150℃±15℃にて主回路しゃ断	
	3 次	温度ヒューズ		119℃にて主回路しゃ断	
付 属 品	1	取扱説明書			1部
	2	銅管φ6（フレアーナット付）L=900mm			1本
	3	ハーフユニオン UNF7/16×PT1/2			1個
	4	コントロールボックス（5時間タイマー組込み型）			1個
	5	操作コード2芯×1.7m			1本
	6	取付金具 左右			各1個
	7	取付用板（RH-K3Nのみ）			1個
	8	φ4×8タッピンネジ（RH-K3Nの時）（1個予備）			15個
備考	φ4×8タッピンネジ（RH-K4N～K6Nの時）（1個予備）				13個
	湿度調節器は、現地手配です。（加湿し過ぎによる水漏れ防止の為必要です）				

■外形寸法と部品構成



別売部品

■電気配線



※一部の機種は端子番号が異なります。
湿度調節器は、現地手配です（加湿し過ぎによる水漏れ防止の為必要です）。

5. 室内ユニット関連部品の仕様と据付 (床置プレナム形)

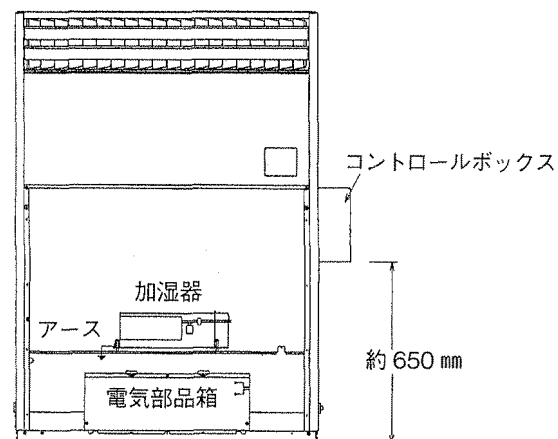
※電源に漏電遮断器を設置してください。

1. 付属のコントロールボックスをエアコン側板にビス止め固定してください。
2. 右のページ配線図の様に間違いなく配線してください。
電源電線は加湿器容量により異なります。
下表により行ってください。
3. アースを必ずお取りください。
RH-K3N は取付用板に、RH-K4N～K6N は取付金具に、それぞれアース線を接続してください。
4. 電線接続ビスにゆるみがないか確認し、絶縁抵抗を測定してください(1MΩ以下は不良です)。

型式	電力 [kW]	定格 電流 [A]	最大 電流 [A]	電源 配線 太さ	電線 こう長 [m]	アース 線太さ	漏電遮断器(OC付)	
							過電流 遮断 容量	定格感度 電流動作 時間
RH-K3N	3	8.7	10.1	φ 1.6 mm (2.0 mm ²)	24	2 mm ² 以上	20[A]	30mA 0.1sec 以下
RH-K4N	4	11.6	13.4	φ 1.6 mm (2.0 mm ²)	18		20[A]	
RH-K5N	5	14.5	16.7	φ 1.6 mm (2.0 mm ²)	14		20[A]	
RH-K6N	6	17.4	20.1	φ 1.6 mm (2.0 mm ²)	12		30[A]	

・電源は、三相 200V です。最大電流は、電圧 + 10% で電力公差 + 5% の値です。
・電線こう長は、電圧降下 4V の時です。

■コントロールボックス取付位置



アースの接続：

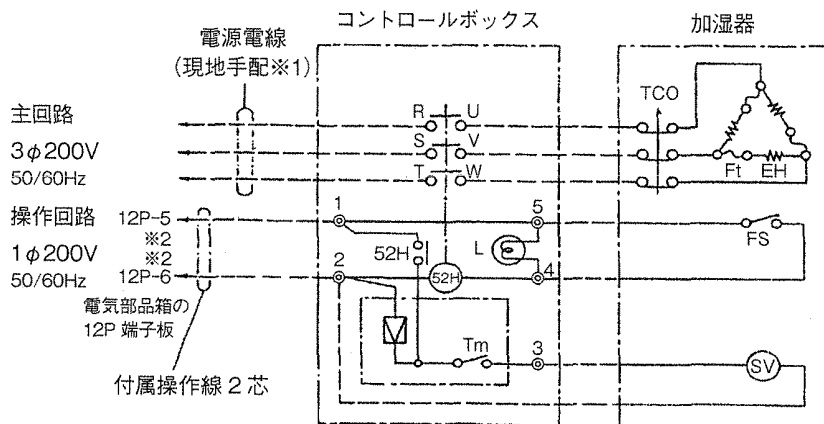
RH-K3N は取付板に、RH-K4N～K6N は取付金具に、それぞれアース線を接続してください。

■電気回路図

注) 電磁弁は5時間ごとのオーバーブローのためのもので補給水用ではありません。

番号1, 2, 3, 4, 5はコントロールボックス内の端子番号です。

①湿度調節器を使用しない場合の配線方法



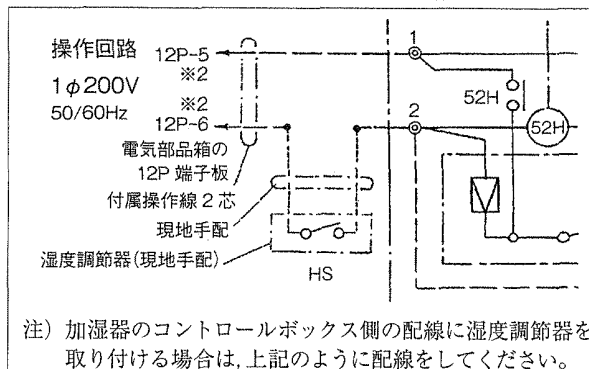
記号	名称
52H	電磁接触器
Tm	洗浄タイマー
L	断水表示灯
◎	端子台
SV	洗浄電磁弁
FS	断水スイッチ
TCO	サーマルカットアウト
EH	ヒータ
Ft	温度ヒューズ

・SV, FS, TCO, EH, Ftは加湿器に内蔵
・---の回路は現地施工

※1 電源電線 (φ 1.6 mm又は, 2.0 mm²。最大こう長は3ページの表による。)は, 丸形端子 (2-M4 又は, 2-3.5) にて, コントロールボックス内の電磁接触器 (端子ネジ: M3.5) に, 接続してください。

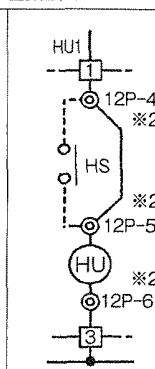
②湿度調節器を使用する場合の配線方法

■加湿器用コントロールボックス側の場合



注) 加湿器のコントロールボックス側の配線に湿度調節器を取り付ける場合は, 上記のように配線をしてください。

■室内ユニット電気部品箱側の場合

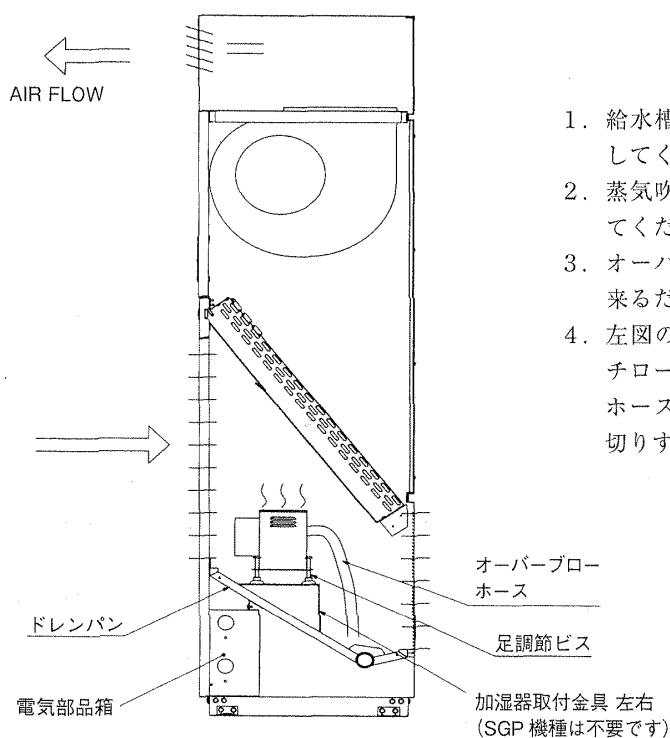


記号	名称
HU	加湿器
HS	湿度調節器 (現地手配)
◎	端子台

注) 湿度調節器は室内ユニットの電気部品箱の12P端子板の12P-4と12P-5に接続してください。短絡板は必ず外してください。

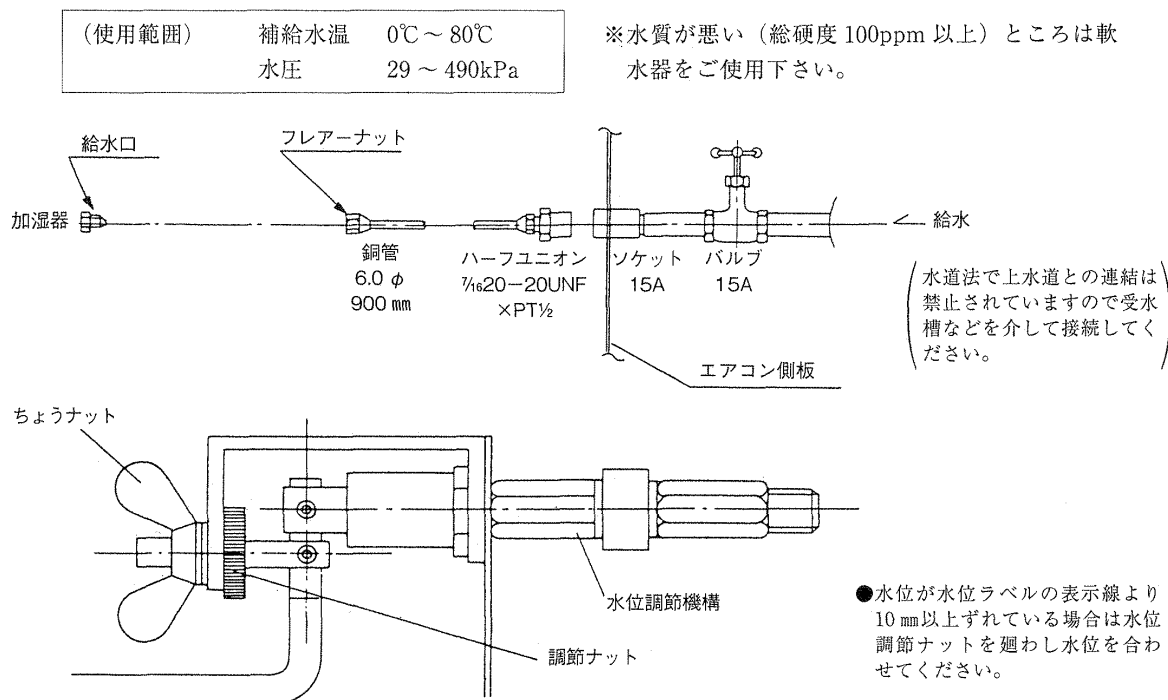
※2 一部機種は端子番号が異なります。

■取付方法



1. 給水槽を手前にし、足調節ビスを廻わし水平に設置してください。
2. 蒸気吹出口から障害物までは出来るだけ距離を取ってください。
3. オーバーフローホース出口はドレンパン排水口に出るだけ近くに置いてください。
4. 左図の様に配管が終わりましたら、フロート押エスチロールをはずし給水させてください。
ホースは折り曲げ部をなくすようにして余長部分は切りすててください。

■配管方法



(11) 床置ダクト形

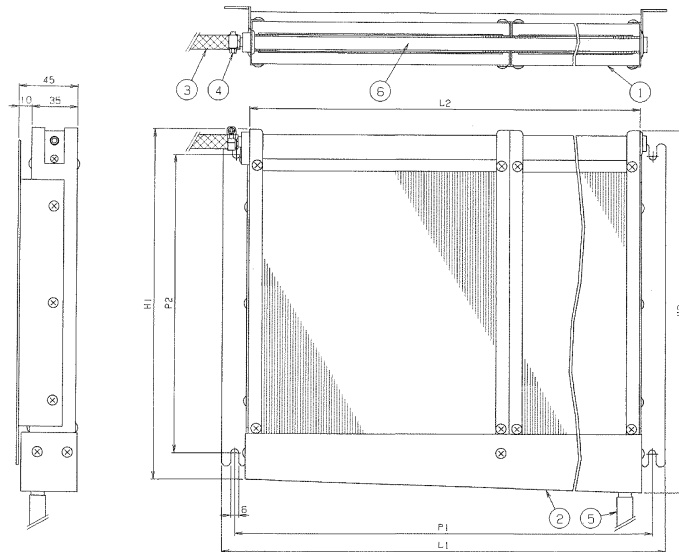
自然気化式加湿器 (RH-EN30TE・45E・45E1・60T・90E・120T)

■仕様

製 品 名		自然気化式加湿器					
適 用 機 種		224形		280形		355・450形	
加湿器品番 (RH-)		RH-EN30E	RH-EN45E1	RH-EN45E	RH-EN90E	RH-EN60T	RH-EN120T
加湿性能 (kg/h)		3.0	4.5	4.5	9.0	6.0	12.0
給 水 量 *1 (L/h)		8.3～9.0	18.4～20.0	18.4～20.0	29.8～32.6	19.2～20.6	40.8～43.6
能力 条件	コイル面風速	3.0m／s				2.5m／s	
	通過空気温湿度	40℃・15%RH					
電 源 電 圧		単相 AC200V 50／60Hz					
定 格 消 費 電 力		10W					
本体質量(重量) (kg)		3.0	3.5	3.5	5.5	4.5	6.5
使用 条件	周 辺 温 湿 度	加湿器本体 : 5～60℃ 90%RH以下 給水ユニット : 5～40℃ 80%RH以下					
	給 水 水 質	水道法水質基準に準ずる飲料水					
	給 水 圧 力	0.05～0.5MPa					
	給 水 温 度	5～40℃					
備 考		*1) 給水量は給水圧力範囲 (0.05～0.5MPa) において、 0.05MPa時に最小となり、0.5MPa時に最大となります。					

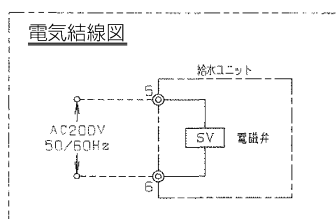
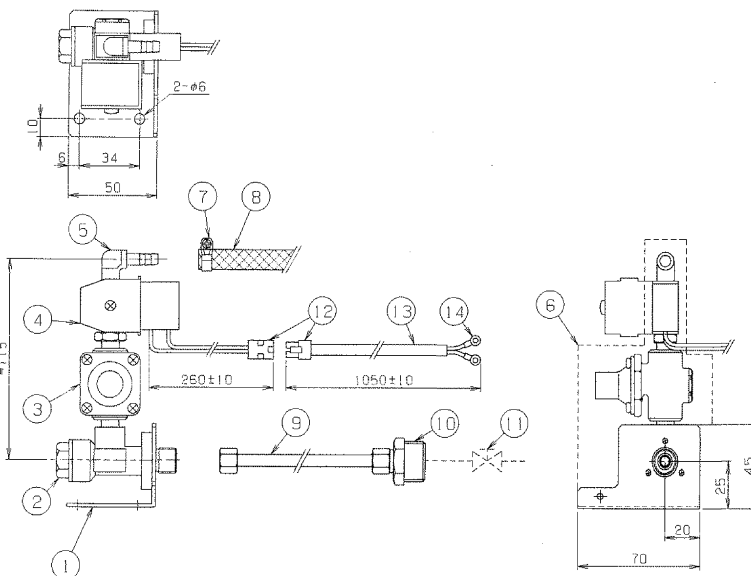
※加湿性能は能力条件により変化します。

■加湿器本体外形寸法図：RH-EN30E・45E・45E1・90E



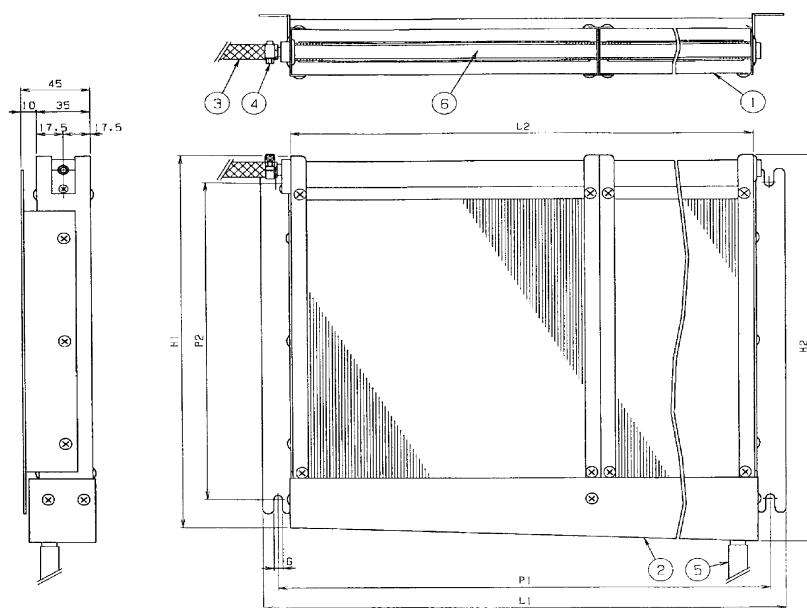
適用機種	加湿器品番	L1	L2	H1	H2	P1	P2	番号	部品名	仕様
224形	RH-EN30E	440	400	270	280	420	230	①	加湿モジュール	
	RH-EN45E1	640	600	270	285	620	230	②	ドレンパン	SUS304
280形	RH-EN45E	640	600	270	285	620	230	③	給水ホース	Φ6×Φ11×1.5m
	RH-EN90E	940	900	345	365	920	305	④	ホースバンド	
								⑤	排水ホース	Φ11×Φ16×2m
								⑥	給水ヘッダ	銅管

■給水ユニット外形寸法図：RH-EN30E1・30E・45E・45E1・90E



番号	部品名称	仕様	番号	部品名称	仕様
①	取付板	SGCC t2	⑧	給水ホース	Φ6×Φ11 1.5m
②	給水ストレーナー	T型	⑨	給水軟銅管	Φ6.35 2m
③	減圧弁	MAA-00A0-23	⑩	給水継手	R1/2
④	電磁弁	MAA-00A0-26	⑪	給水サービス弁	現地手配
⑤	給水ホース口		⑫	コネクタ	
⑥	断熱材		⑬	接続コード	VCTF0.75mm ² 2C
⑦	ホースバンド		⑭	絶縁被覆付丸端子	TMEV1.25-3.5S (または相当品)

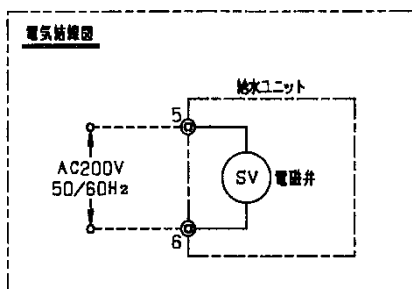
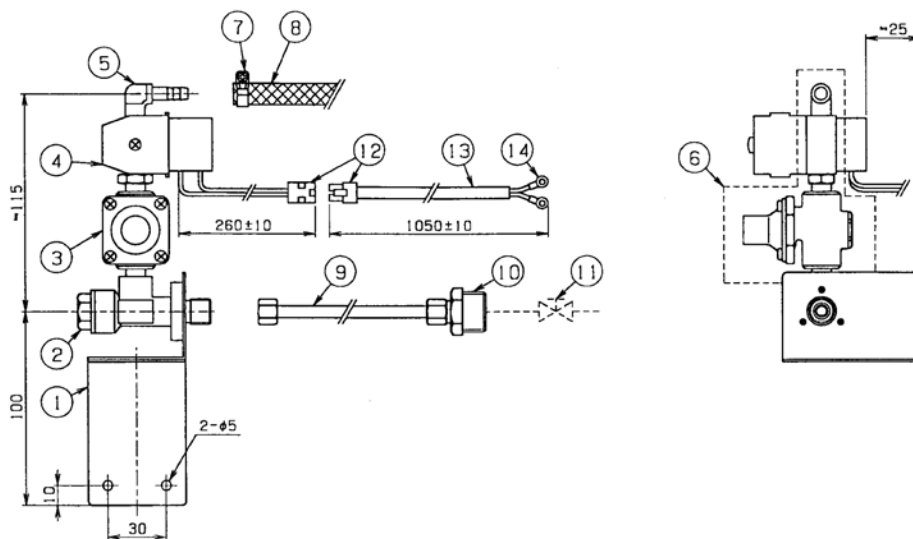
■加湿器外形寸法図： RH-EN60T・120T



適用機種	加湿器品番	L1	L2	H1	H2	P1	P2
355・450 形	RH-EN60T	840	800	270	285	820	230
	RH-EN120T	1240	1200	345	370	1220	305

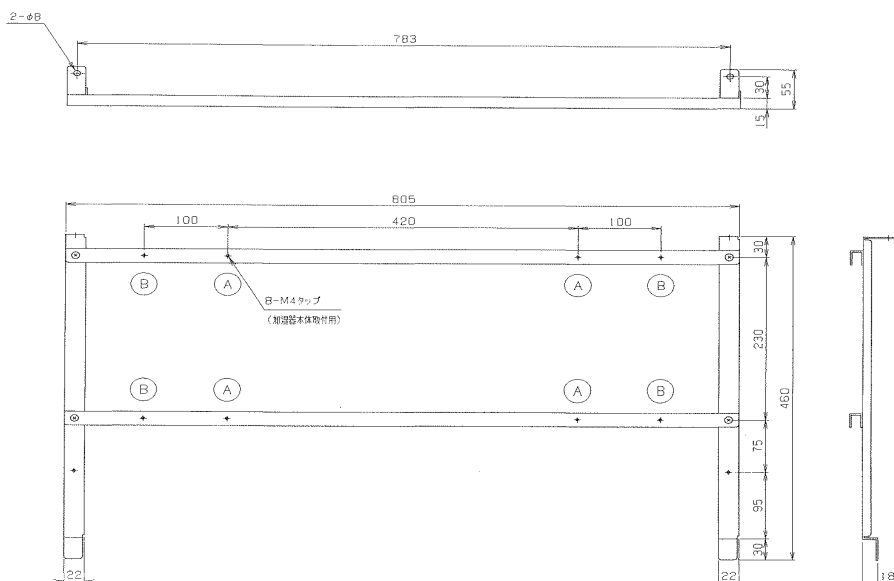
番号	部品名	仕様
①	加湿材	
②	ドレンパン	SUS304
③	給水ホース	φ6×φ11×1.5m
④	ホースバンド	
⑤	排水ホース	φ11×φ16×2m
⑥	給水ヘッダー	銅管

■給水ユニット外形寸法図： RH-EN60T・120T



番号	部品名称	仕様	番号	部品名称	仕様
①	固定金具	SGCC t2	⑧	給水ホース	φ6×φ11 1.5m
②	給水ストレーナー	T型	⑨	給水軟銅管	φ6.35 2m
③	減圧弁		⑩	給水継手	1/2B おねじ
④	給水用電磁弁	AC200V	⑪	給水サービス弁	現地手配
⑤	給水ホース口		⑫	コネクタ	Lコネクタ
⑥	断熱弁		⑬	接続コード	VCTF0.75mm ² 2C
⑦	ホースバンド		⑭	絶縁被覆付丸端子	TMEV1.25-3.5S (または相当品)

■加湿器取付用ブラケット外形寸法図：RH-EN30E・45E1用



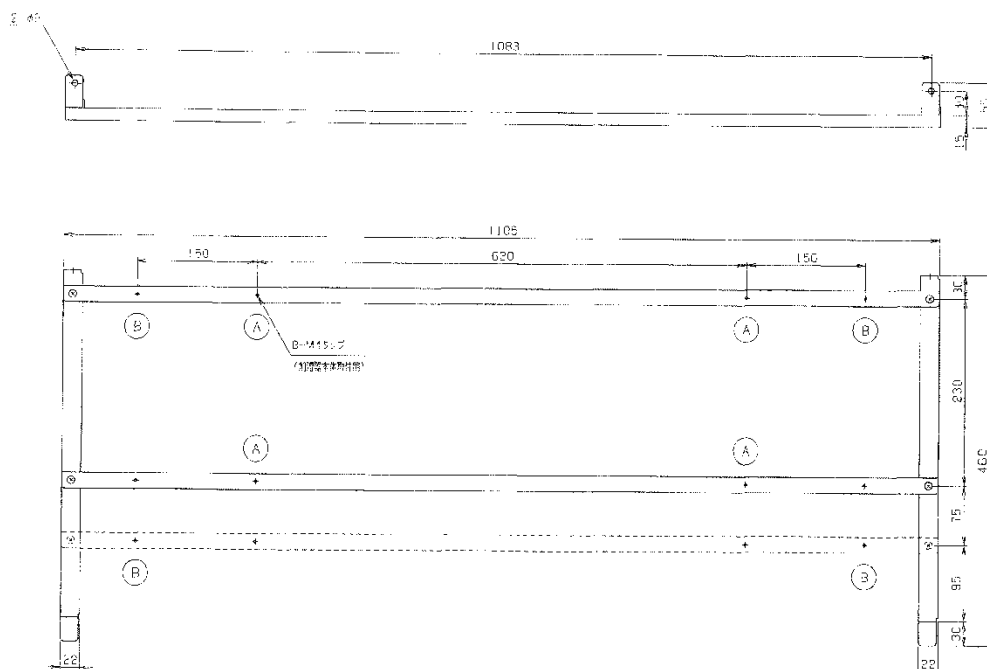
※現地組立てとなります。(ビス4本使用)

※ブラケットを完成させてビス4本にて加湿器を取付けた後、ユニット内に取付けてください。

・ブラケット : SGCC t2
・付属ビス : M4 (ブラケット組立
加湿器取付用)
M6(ブラケット固定用)

適用機種	加湿器品番	加湿器取付位置
224形	RH-EN30E	㊶4カ所
	RH-EN45E1	㊷4カ所

■加湿器取付用ブラケット外形寸法図：RH-EN45E・90E用



※現地組立てとなります。(ビス4本使用)

※ブラケットを完成させてビス4本にて加湿器を取り付けた後、ユニット内に取り付けてください。

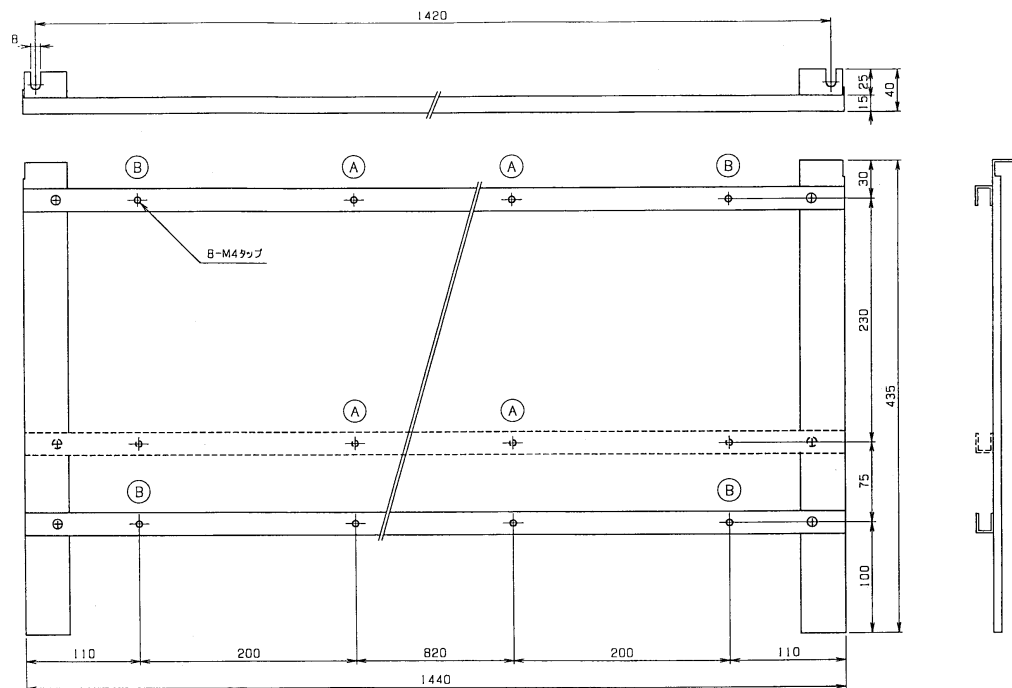
※図はRH-EN90Eを取り付ける状態を示します。

RH-EN45Eを取り付ける際には、下部ステーを点線位置にしてください。

・ブラケット : SGCC t2
・付属ビス : M4 (ブラケット組立
加湿器取付用)
M6(ブラケット固定用)

適用機種	加湿器品番	加湿器取付位置
280形	RH-EN45E	㊶4カ所
	RH-EN90E	㊷4カ所

■加湿器取付用ブラケット外形寸法図：RH-EN60T・120T用



※現地組立てとなります。(ビス4本使用)

※ブラケットを完成させてビス4本にて加湿器を取り付けた後、ユニット内に取り付けてください。

※図はRH-EN120Tを取り付ける状態を示します。

RH-EN60Tを取り付ける際には、下部ステーを点線位置にしてください。

・ブラケット:SGCC t2

・付属ビス:トラスビス M4×8L(SUS)

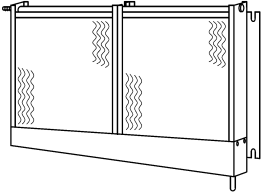
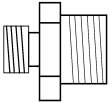
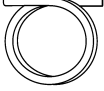
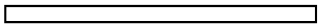
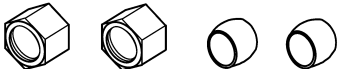
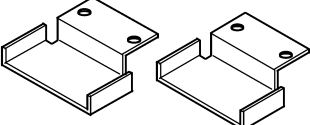
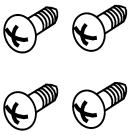
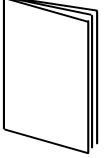
適用機種	加湿器品番	加湿器取付位置
355形	RH-EN60T	Ⓐ 4カ所
450形	RH-EN120T	Ⓑ 4カ所

■ 取付方法：RH-EN30E・45E・45E1・90E

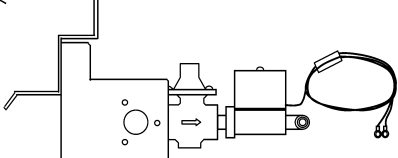
● 付属品一覧

※ 梱包開封後は、直ちに付属品の内容を確認してください。

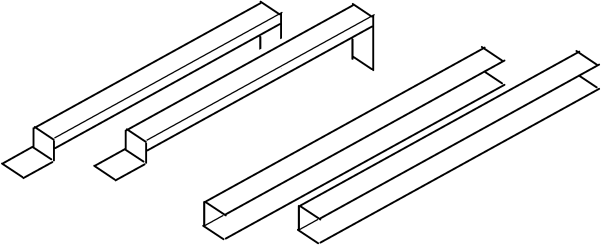
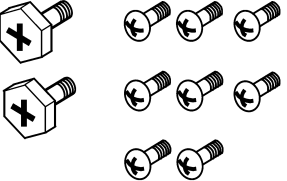
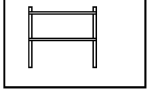
・ 加湿器本体梱包

部品名称	①加湿器本体……………1台 ②給水ホース(半透明、1.5m)……………1本 ③排水ホース(黒色、2m)……………1本 ④ホースバンド……………2ケ ⑤取付ブラケット固定金具……………2ケ	⑥給水継手(R1/2)……………1ケ ⑦軟銅管(Φ6.35×2m)……………1ケ ⑧リングナット、真鍮リング……………各2ケ ⑨固定金具取付ビス(Φ4)……………4本 ⑩取扱説明書(本書)……………1部
①加湿器本体  ⑥給水継手 	②給水ホース  ⑦軟銅管  ⑧リングナット、真鍮リング 	③排水ホース  ④ホースバンド  ⑤取付ブラケット固定金具  ⑨取付ビス(Φ4)  ⑩取扱説明書 

・ 給水ユニット梱包

部品名称	①給水ユニット……………1台 ②取付ビス(Φ4)……………2本
①給水ユニット 	②取付ビス(Φ4) 

・ ブラケット梱包

部品名称	①ブラケット……………一式 ②取付ビス(M6)……………2本 ③取付ビス(M4)……………8本 ④外形図……………1枚
①ブラケット 	②③取付ビス(M6,M4)  ④外形図 

■取付上の注意：RH-EN30E・45E・45E1・90E

加湿器本体の取付

(1) 図-1のように取付ブラケットをM4ビス4本で組み立てます。RH-EN90Eの場合はブラケットを破線の位置にして組み立ててください。

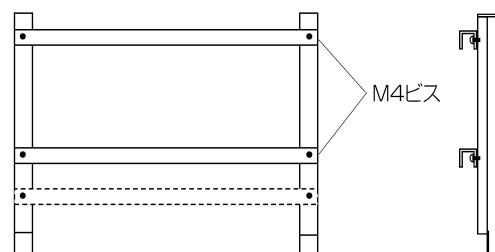


図-1 取付ブラケットの組立

(2) 図-2のように組み立てた取付ブラケットにM4ビス4本で加湿器本体を取り付けます。

(3) 加湿器ドレンパンに排水ホースを差し込んでください。このときホースバンドは不要です。

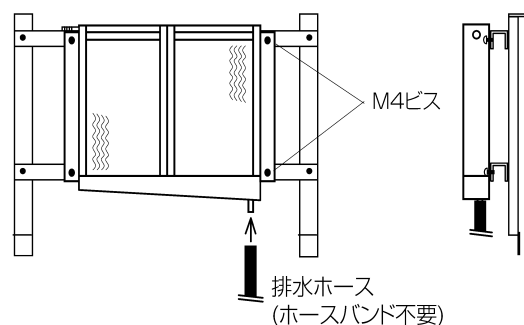


図-2 加湿器本体の取付

(4) パッケージエアコン室内機の吸込口および上部前面パネルを外して、図-3のように室内機のコイル2次側に組み立てた加湿器本体を組み込みます。

加湿器取付後にパッケージエアコンの輸送などがある場合には、コイルフランジにブラケット固定金具を取付け、取付ブラケット下部がその固定金具に収まるように取付ブラケットを面に沿ってスライドさせてください。また、取付ブラケット上部は付属のM6ビス2本で固定してください。

(5) 加湿運転中排水ホースからは常時少量のドレン水が出ますので、確実に排水が行われるよう排水ホースを適度な長さにカットし、ホース先端がドレンパン上になるように配管してください。この際排水ホースがコイルフィンに接触しないようにしてください。

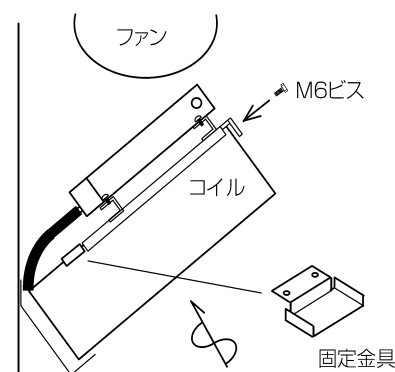


図-3 加湿器本体の組み込み

給水ユニットの取付

- (1)ビス2本を使用してサーモスタット固定金具の横に給水ユニットを取付けてください。(図-4)

給水ホース／給水軟銅管の接続

- (1)加湿器本体ホース口に給水ホースを差し込み、給水ホース用ホースバンドで固定してください。
- (2)図-5のように給水ホースはコイル右側のグロメットを通して給水ユニットに接続します。給水ホースは折れや極端な曲がりがないように適度な長さにカットして給水ユニットのホースに差し込み、給水ホース用ホースバンドで固定してください。この際に給水ホースがコイルフィンに接触しないようにしてください。
- (3)給水ユニットに給水軟銅管を接続します。給水軟銅管はエアコンの加湿給水口よりエアコン内部に取り入れてください。給水軟銅管の接続部はリングジョイント式となっています。リングナットの締め付けトルクは10N・m(100kgf/cm)程度としてください。

注)軟銅管は継手部付近からの急な曲げ加工は行わないでください。漏水の原因となることがあります。

- (4)エアコン外部での給水軟銅管と現地の給水配管との接続には給水継手を使用してください。なお、給水配管を接続する前には、通水して必ず配管のフラッシングを実施してください。

給排水間管について

- 給水配管には水道法水質基準に準ずる飲料水をご使用ください。
- 加湿器への給水は公共の水道管から直接接続はできませんのでご注意ください。
- 給水サービス弁(現地手配)を必ず各加湿器ごとに設けてください。
- 給水圧力は0.05～0.5MPa、給水温度は5～40℃の範囲でご使用ください。
- 給水配管、排水配管ともに、凍結および結露を防止するための断熱処理をしてください。

電気配線について

- 給水ユニットの電磁弁コードの丸端子をエアコン制御盤内の端子台5、6番に接続してください。

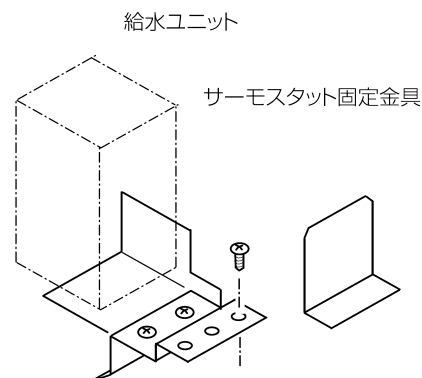


図-4 給水ユニットの取付

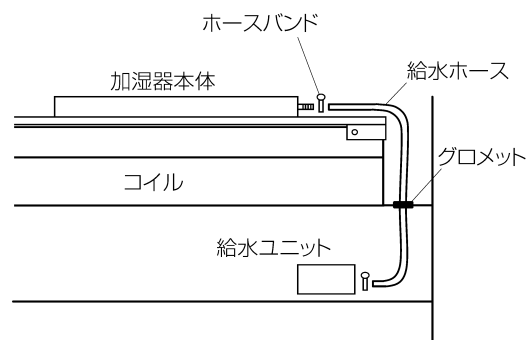
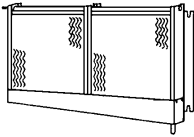
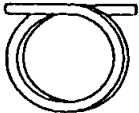
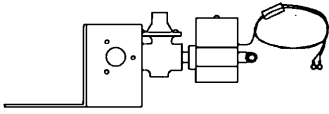
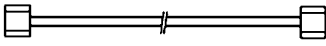
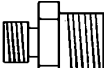
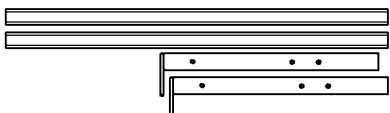
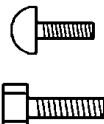


図-5 給水ホース／給水軟銅管の接続

■取付方法： RH-EN60T・120T

●付属品一覧

※梱包開封後は、直ちに付属品の内容を確認してください。

部品名称	形 状	個数	備考
①加湿器本体		1	
②給水ホース		1	半透明、1.5m
③排水ホース		1	黒色、2m
④給水ホース用 ホースバンド		2	
⑤給水ユニット		1	給水ストレーナー、減圧弁、 給水用電磁弁、固定金具 電磁弁コード1.3m
⑥給水軟銅管		1	φ6.35×2m
⑦給水継手		1	1/2Bおねじ
⑧取付ブラケット		一式	
⑨取付ビス		8 4	M4ビス M6ビス
⑩取扱説明書		1	

■取付上の注意：RH-EN60T・120T

(1) 加湿器本体の取付

- 取付ブラケットをM4ビス4本で組み立てます。RH-EN45Tの場合は下部ステーを点線の位置にして組み立ててください。(図-1 参照)
- 組み立てた取付ブラケットにM4ビス4本で加湿器本体を取り付けます。(図-2 参照)
- 加湿器ドレンパンに排水ホースを差し込んでください。ホースバンドは不要です。
- 室内ユニットの吸込口および上部前面パネルを外します。室内ユニットのコイル2次側に、組み立てた加湿器本体を組み込みます。(図-3参照)
室内ユニットのコイルフランジにスライドさせるようにして、取り付けブラケット下部をコイルフランジの突起金具に引っかけてください。また取り付けブラケット上部は付属のM6ビス2本で固定してください。
- 加湿運転中は排水ホースから常時少量のドレン水が流れます。確実に排水が行われるように排水ホースを適度な長さにカットして、ホース先端が必ずドレンパン上になるように配管してください。この際排水ホースがコイルフィンに接触しないように注意してください。

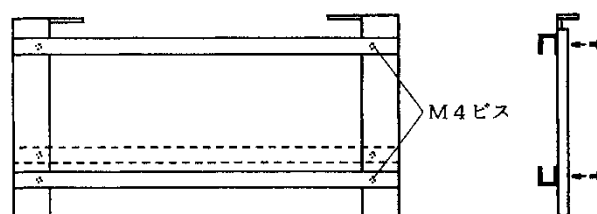


図-1 取付ブラケット

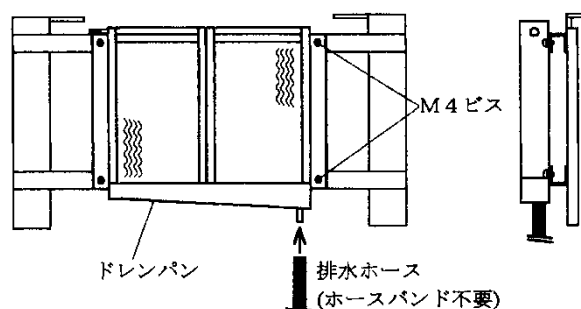


図-2 加湿器本体の取付

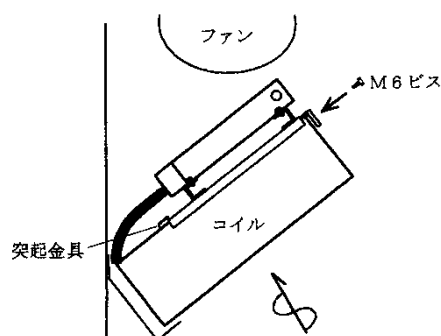


図-3 加湿器本体の組込

【注】加湿器本体を室内ユニットへ組み込む際、コイルフィンの破損にご注意ください。

(2) 給水ユニットの取付

- エアコン内部のサーモスタット固定金具のビス2本を外してください。
- 取り外した2本のビスを使用してサーモスタット固定金具と給水ユニットを共締めしてください。(図-4 参照)

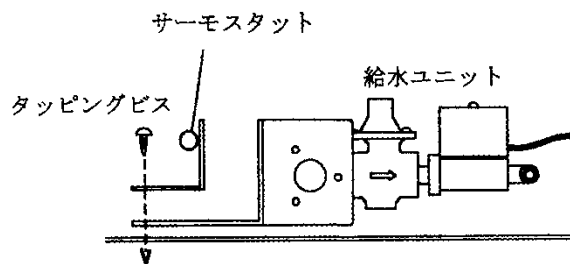


図-4 給水ユニットの取付

(3) 給水ホース／給水軟銅管の接続

- 加湿器本体ホース口に給水ホースを差し込み、給水ホース用ホースバンドで確実に固定してください。
- 給水ホースはコイル右側のグロメットを通して給水ユニットに接続します。給水ホースは折れや極端な曲がりがないように適度な長さにカットして給水ユニットのホース口に差し込み、給水ホース用ホースバンドで固定してください。この際給水ホースがコイルフィンに接触しないように注意してください。

(図-5参照)

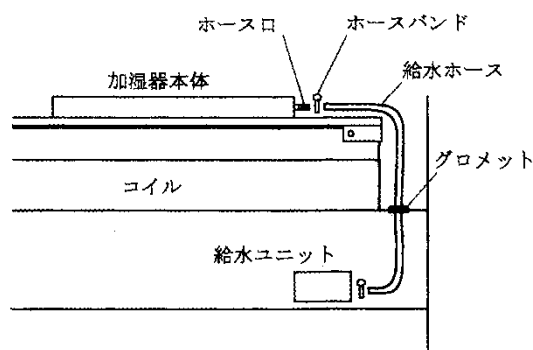


図-5 給水ホース／給水軟銅管の接続

- 給水ユニットに給水軟銅管を接続します。給水軟銅管はエアコンの加湿給水口よりエアコン内部に取り入れてください。給水軟銅管の接続部はリングジョイント形式となっています。リングナットの締め付けトルクは10N・m程度としてください。

【注】軟銅管は継手部付近からの急な曲げ加工は行わないでください・漏水の原因となることがあります。

- 現地の加湿器用給水配管と給水軟銅管の接続には給水継手を使用してください。なお、給水配管を接続する前には、通水して必ず配管のフラッシングを実施してください。

(4) 給水配管について

- 給水には水道法水質基準に準ずる飲料水をご使用ください。
- 加湿器への給水は公共の水道管から直接接続はできませんのでご注意ください。
- 給水サービス弁（現地手配）を必ず各加湿器（エアコン）ごとに設けてください。
- 給水圧力は0.05～0.5MPa、給水温度は5～40℃の範囲でご使用ください。
- 給水配管、排水配管ともに、凍結および結露を防止するための断熱処理をしてください。

(5) 電気配線について

- 給水ユニットの電磁弁コードの丸端子をエアコンの制御盤内の端子台5, 6番に接続してください。

■運 転：RH-EN30E・45E・45E1・90E・RH-EN60T・120T

1. 施工後初めての運転

- 給水配管に設けてある給水サービス弁が開いていることを確認してください。
- エアコンを暖房運転すると、加湿器が自動的に運転します。

2. 日常の運転管理

- 加湿器の運転はエアコンに連動しますので、加湿器の運転スイッチ等は特に設けていません。

3. 加湿休止期の処置

- 加湿のオフシーズンには、給水配管に設けてある給水サービス弁を閉めてください。
- シーズンオフ時およびシーズンイン時には、それぞれ必要な保守作業を必ず実施してください。
- シーズンイン時には忘れずに給水サービス弁を開け、試運転を行って漏水の無いことを確認してください。

パン形加湿器 (RH-K3N・K4N・K5N・K6N)

■適用機種

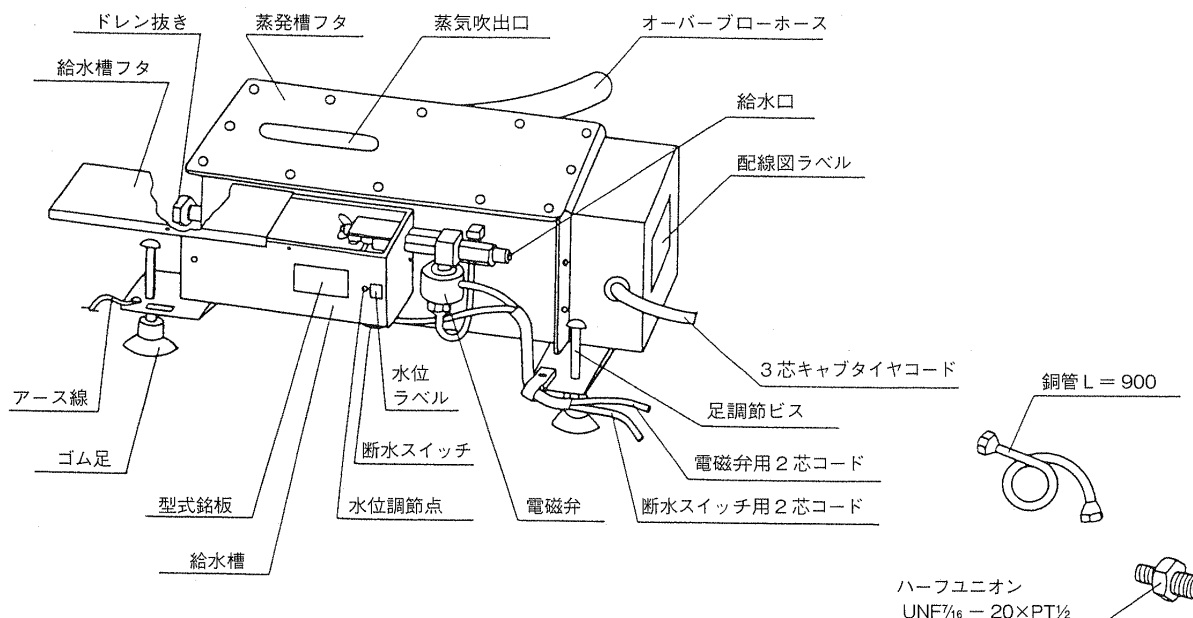
	RH-K3N	RH-K4N	RH-K5N	RH-K6N
適用機種	S-G224BD 形	S-G280BD 形	S-G355BD 形 S-G450BD 形	S-G355BD 形 S-G450BD 形 S-G560BD 形※ S-G900BD 形※ S-G1120BD 形※ S-G1400BD 形※

※操作用の WIRE-K (特注手配) が別途必要です

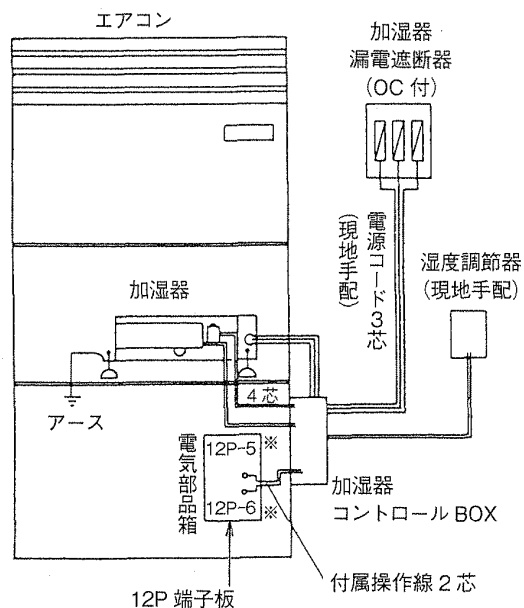
■仕様

型 式		RH-K3N	RH-K4N	RH-K5N	RH-K6N	
加湿能力 [kg/h]		3.9	5.2	6.5	7.8	
電気特性	電力 [kW/h]	3	4	5	6	
	電 圧 [V]	3φ 200V				
	電 流 [A]	8.7	11.6	14.5	17.4	
	結 線 方 法	△				
寸 法	長 さ [mm]	371	501			
	奥行き [mm]	192				
	高 さ [mm]	175				
製品重量 [kg]		4.6	5.8	6.3		
安全装置	1 次	断水スイッチ		水位低下による操作回路OFF		
	2 次	サーマルカットアウト		150℃±15℃にて主回路しゃ断		
	3 次	温度ヒューズ		119℃にて主回路しゃ断		
付 属 品	1	取扱説明書				1部
	2	銅管φ6（フレアーナット付）L=900mm				1本
	3	ハーフユニオン UNF7/16×PT1/2				1個
	4	コントロールボックス（5時間タイマー組込み型）				1個
	5	操作コード2芯×1.7m				1本
	6	取付金具 左右				各1個
	7	取付用板（RH-K3Nのみ）				1個
	8	φ4×8タッピンネジ（RH-K3Nの時）（1個予備）				15個
	φ4×8タッピンネジ（RH-K4N～K6Nの時）（1個予備）				13個	
備考		湿度調節器は、現地手配です。（加湿し過ぎによる水漏れ防止の為必要です）				

■外形寸法と部品構成



■電気配線



※一部の機種は端子番号が異なります。
湿度調節器は、現地手配です（加湿し過ぎによる水漏れ防止の為必要です）。

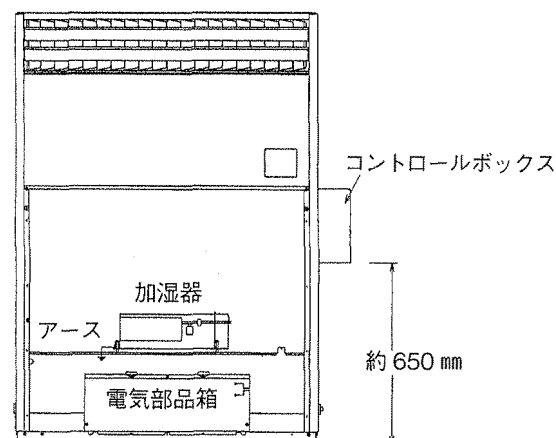
※電源に漏電遮断器を設置してください。

1. 付属のコントロールボックスをエアコン側板にビス止め固定してください。
2. 右のページ配線図の様に間違いなく配線してください。
電源電線は加湿器容量により異なります。
下表により行ってください。
3. アースを必ずお取りください。
RH-K3N は取付用板に、RH-K4N～K6N は取付金具に、それぞれアース線を接続してください。
4. 電線接続ビスにゆるみがないか確認し、絶縁抵抗を測定してください(1MΩ以下は不良です)。

型式	電力 [kW]	定格 電流 [A]	最大 電流 [A]	電源 配線 太さ	電線 こう長 [m]	アース 線太さ	漏電遮断器(OC付)	
							過電流 遮断 容量	定格感度 電流動作 時間
RH-K3N	3	8.7	10.1	φ 1.6 mm (2.0 mm ²)	24	2 mm ² 以上	20[A]	30mA 0.1sec 以下
RH-K4N	4	11.6	13.4	φ 1.6 mm (2.0 mm ²)	18		20[A]	
RH-K5N	5	14.5	16.7	φ 1.6 mm (2.0 mm ²)	14		20[A]	
RH-K6N	6	17.4	20.1	φ 1.6 mm (2.0 mm ²)	12		30[A]	

・電源は、三相 200V です。最大電流は、電圧 + 10% で電力公差 + 5% の値です。
・電線こう長は、電圧降下 4V の時です。

■コントロールボックス取付位置



アースの接続：

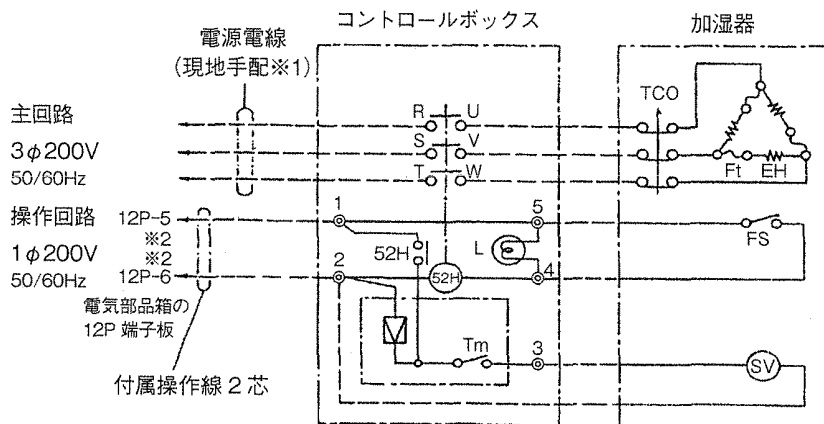
RH-K3N は取付板に、RH-K4N～K6N は取付金具に、それぞれアース線を接続してください。

■電気回路図

注) 電磁弁は5時間ごとのオーバーフローのためのもので補給水用ではありません。

番号1, 2, 3, 4, 5はコントロールボックス内の端子番号です。

①湿度調節器を使用しない場合の配線方法



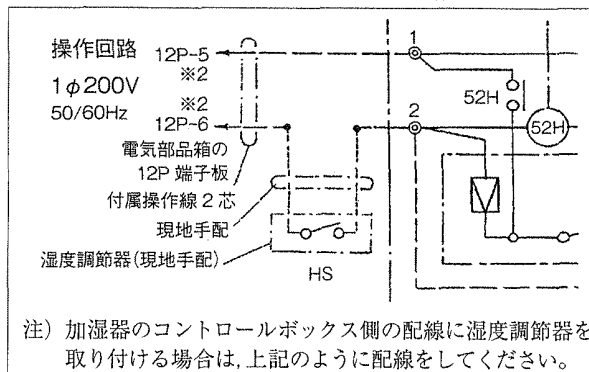
記号	名称
52H	電磁接触器
Tm	洗浄タイマー
L	断水表示灯
◎	端子台
SV	洗浄電磁弁
FS	断水スイッチ
TCO	サーマルカットアウト
EH	ヒータ
Ft	温度ヒューズ

・SV, FS, TCO, EH, Ftは加湿器に内蔵
・---の回路は現地施工

※1 電源電線 (φ 1.6 mm又は, 2.0 mm²。最大こう長は3ページの表による。) は, 丸形端子 (2-M4 又は, 2-3.5) にて, コントロールボックス内の電磁接触器 (端子ネジ: M3.5) に, 接続してください。

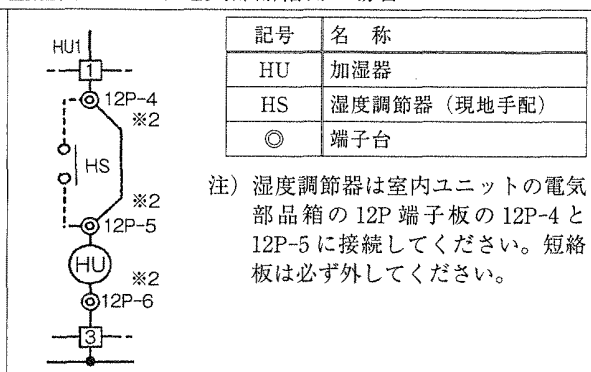
②湿度調節器を使用する場合の配線方法

■加湿器用コントロールボックス側の場合



注) 加湿器のコントロールボックス側の配線に湿度調節器を取り付ける場合は, 上記のように配線をしてください。

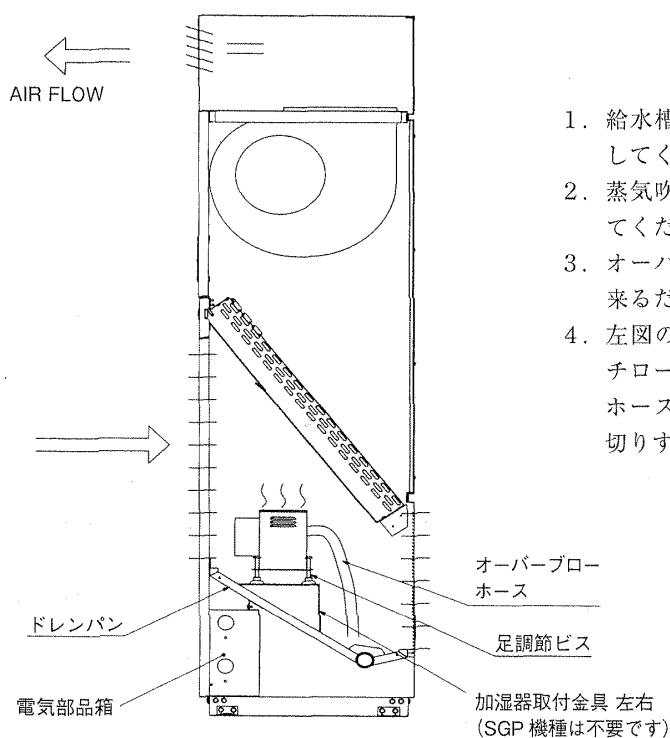
■室内ユニット電気部品箱側の場合



注) 湿度調節器は室内ユニットの電気部品箱の12P端子板の12P-4と12P-5に接続してください。短絡板は必ず外してください。

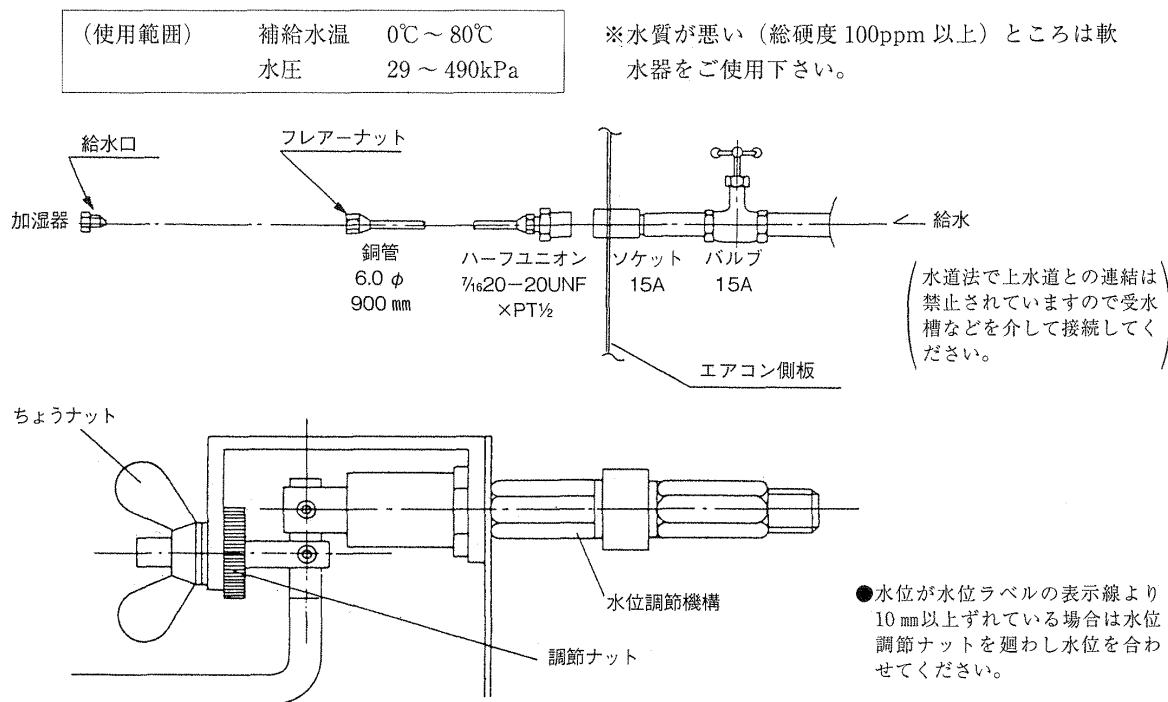
※2 一部機種は端子番号が異なります。

■取付方法



1. 給水槽を手前にし、足調節ビスを廻わし水平に設置してください。
2. 蒸気吹出口から障害物までは出来るだけ距離を取ってください。
3. オーバーフローホース出口はドレンパン排水口に出るだけ近くに置いてください。
4. 左図の様に配管が終わりましたら、フロート押エスチロールをはずし給水させてください。
ホースは折り曲げ部をなくすようにして余長部分は切りすててください。

■配管方法



フィルター関連

■仕様 (S-G224・280・355・450BD形)

●高性能フィルター (JIS 比色法 65%)

品番			AFT-ME224E	AFT-ME280E	AFT-ME450T	
適用機種			G224BD形	G280BD形	G355BD形	G450BD形
初期風量	m^3/min		64.0	80.0	105.0	130.0
初期圧損	Pa		32.0	28.0	40.2	53.9
最終圧損	Pa		80.0	70.0	100.9	134.3
保塵量	g/ユニット		706	843	1,126	1,130
フィルター寿命	時間		3,680	3,510	2,405	2,410
平均効率			JIS比色法 65% (JIS 11種)			
仕様濾材			ポリオレフィン系帯電繊維			
質量		kg	7.5	11.0	9.2	
フィルター寸法	幅	mm	842	571	1,542	
	高さ	mm	571	571	406	
	奥行	mm	200	200	200	
フィルター チャンバー	品番		CMB-FE224E	CMB-FE280E	CMB-FE450T	
	厚み	mm	538		376	
	質量	kg	21.0	25.5	23.0	

●高性能フィルター (JIS 比色法 90%)

品番			AFT-HE224E	AFT-HE280E	AFT-HE450T	
適用機種			G224BD形	G280BD形	G355BD形	G450BD形
初期風量	m^3/min		64.0	80.0	105.0	130.0
初期圧損	Pa		46.0	40.0	53.9	73.5
最終圧損	Pa		115.0	100.0	134.3	183.3
保塵量	g/ユニット		469	544	870	870
フィルター寿命	時間		2,440	2,260	1,858	1,860
平均効率			JIS比色法 90% (JIS 11種)			
仕様濾材			ポリオレフィン系帯電繊維			
質量		kg	7.5	11.0	9.2	
フィルター寸法	幅	mm	842	571	1,542	
	高さ	mm	571	571	406	
	奥行	mm	200	200	200	
フィルター チャンバー	品番		CMB-FE224E	CMB-FE280E	CMB-FE450T	
	厚み	mm	538		376	
	質量	kg	21.0	25.5	23.0	

●ロングライフフィルター

品番			AFT-LE224E	AFT-LE280E	AFT-LE450T	
適用機種			G224BD形	G280BD形	G355BD形	G450BD形
初期風量	m^3/min		64.0	80.0	105.0	130.0
初期圧損	Pa		8.5	7.5	10.8	14.7
最終圧損	Pa		22.0	19.0	27.4	36.3
保塵量	g/ユニット		579	749	1,004	1,000
フィルター寿命	時間		1,000	1040	858	860
平均効率			JIS重量法 28% (JIS 15種)			
仕様濾材			PPハニカム (防かび仕様)			
質量		kg	1.5	2.5	3.6	
フィルター寸法	幅	mm	842	571	1,542	
	高さ	mm	571	571	406	
	奥行	mm	50	50	50	
フィルター チャンバー	品番		CMB-FE224E	CMB-FE280E	CMB-FE450T	
	厚み	mm	538		376	
	質量	kg	21.0	25.5	23.0	

■圧力損失と保塵量特性

●高性能フィルター（JIS比色法65%）

AFT-ME224E・280E[適用機種：G224・280BD形]

図1 風速と初期圧力損失

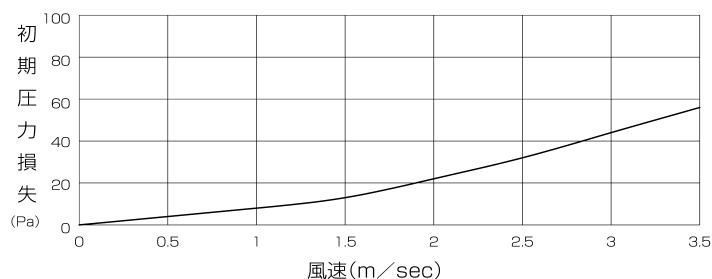
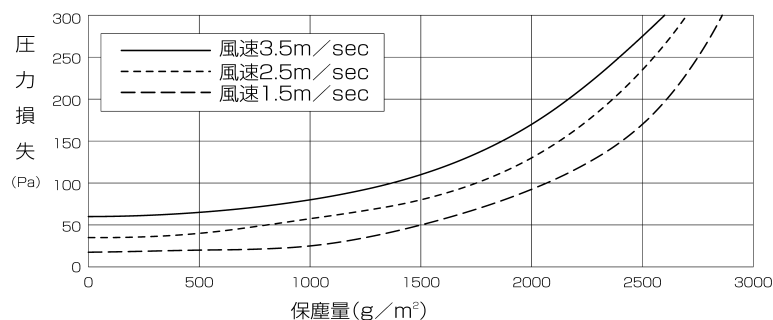


図2 保持容量と圧力損失



●高性能フィルター（JIS比色法65%）

AFT-ME450T[適用機種：G355・450BD形]

図1 風速と初期圧力損失

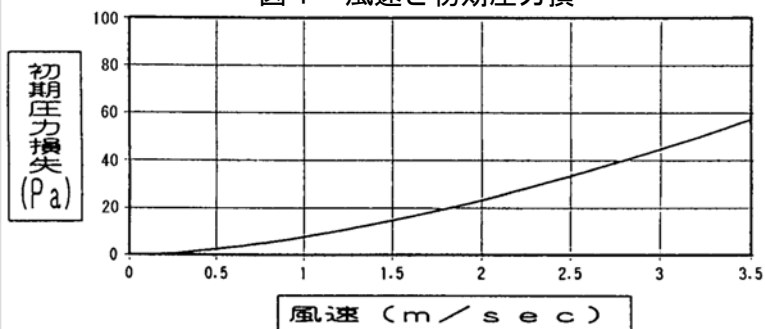
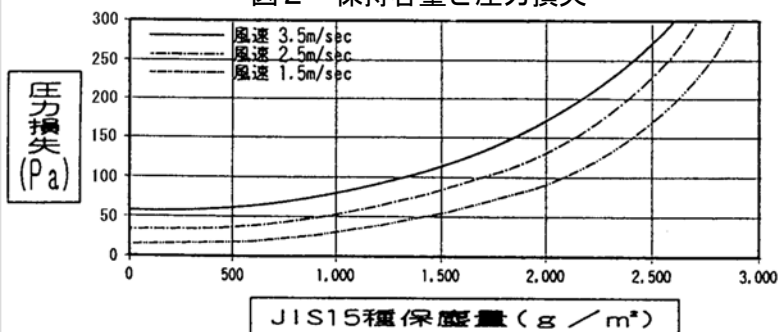


図2 保持容量と圧力損失



●高性能フィルター（JIS比色法90%）

AFT-HE224・280E[適用機種：G224・280BD形]

図1 風速と初期圧力損失

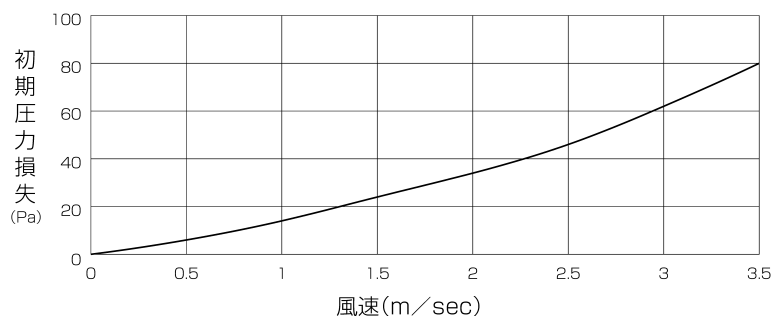
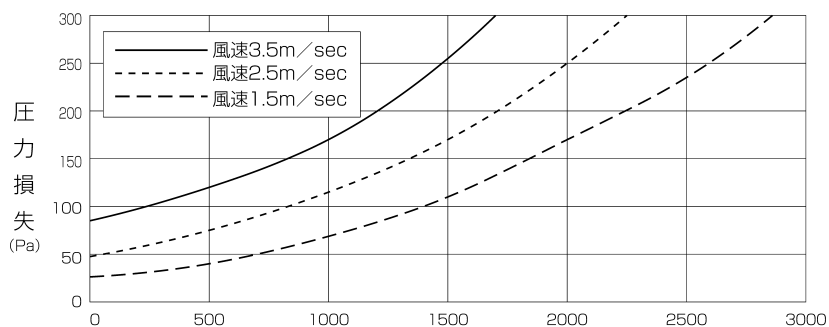


図2 保持容量と圧力損失



●高性能フィルター（JIS比色法90%）

AFT-HE450T[適用機種：G355・450BD形]

図1 風速と初期圧力損失

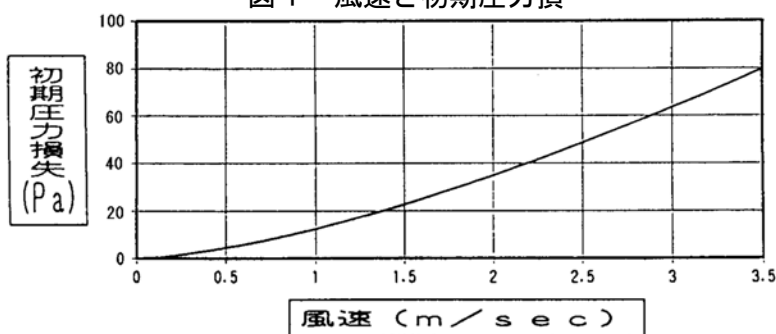
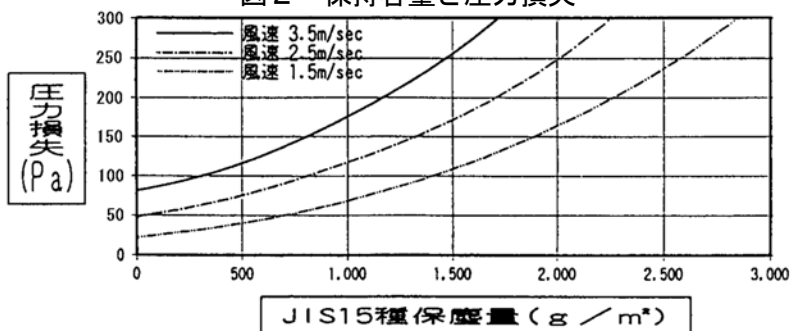


図2 保持容量と圧力損失



●ロングライフフィルター

AFT-LE224・280E [適用機種：G224・280BD形]

図1 風速と初期圧力損失

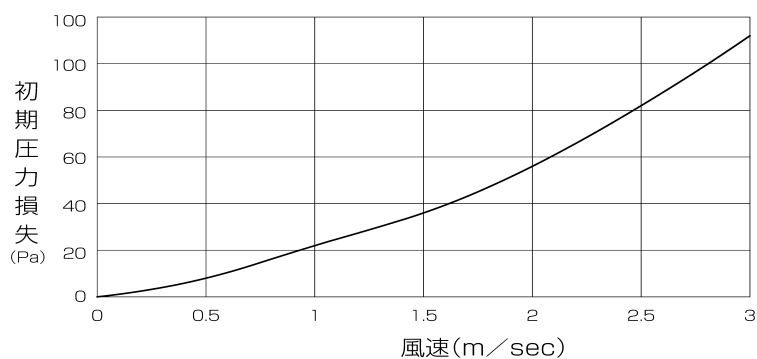
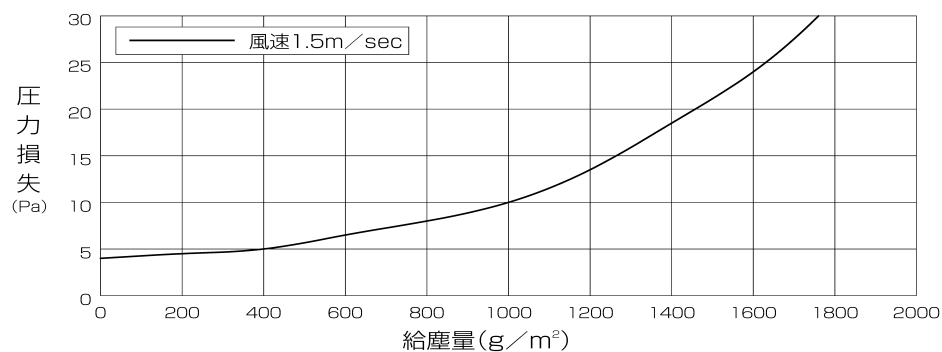


図2 給塵量と圧力損失



●ロングライフフィルター

AFT-LE450T [適用機種：G355・450BD形]

図1 風速と初期圧力損失

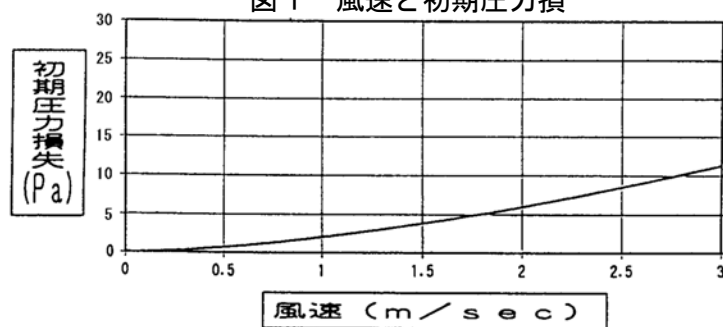
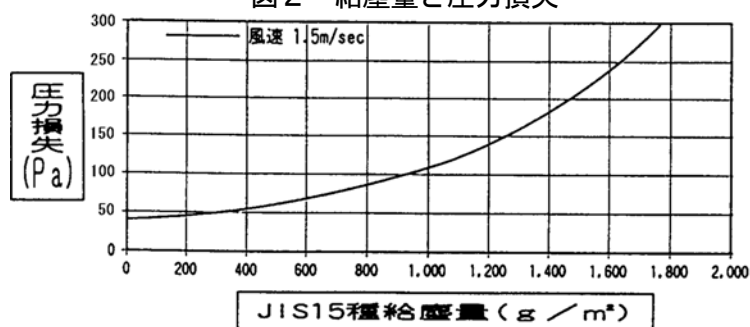


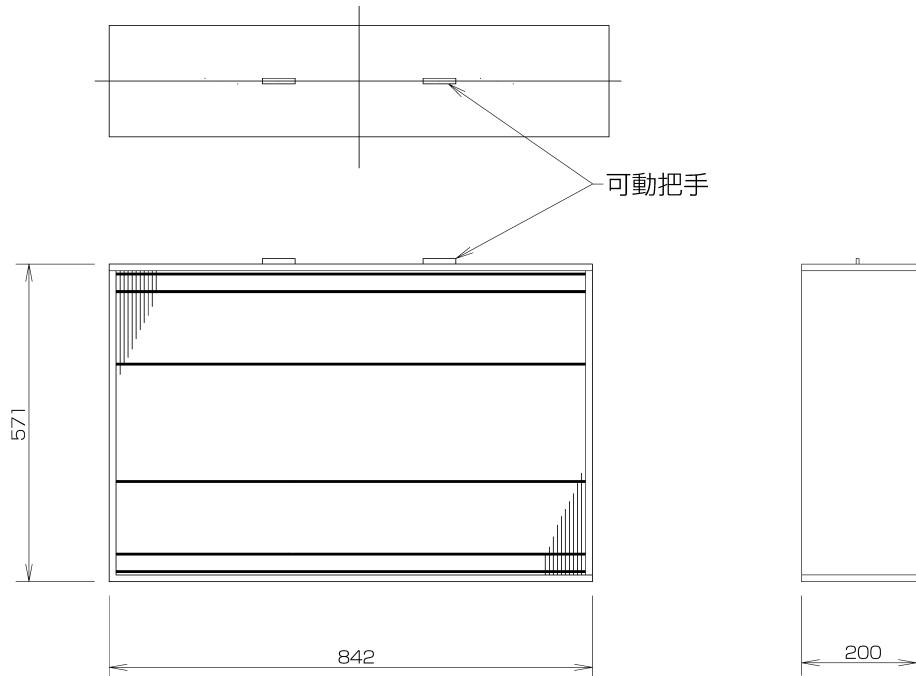
図2 給塵量と圧力損失



■高性能フィルター外形寸法図 AFT-ME224E AFT-HE224E

製品質量 7.5kg

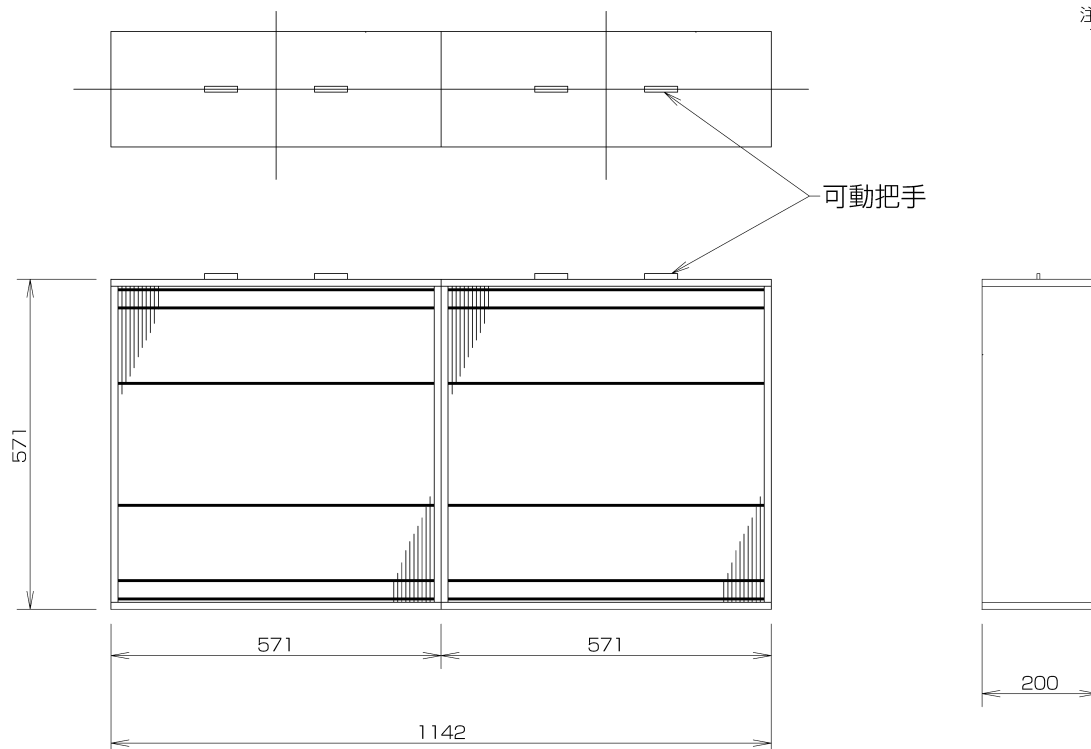
注記
1. 外枠：合板(T12)



AFT-ME280E AFT-HE280E

製品質量 11kg

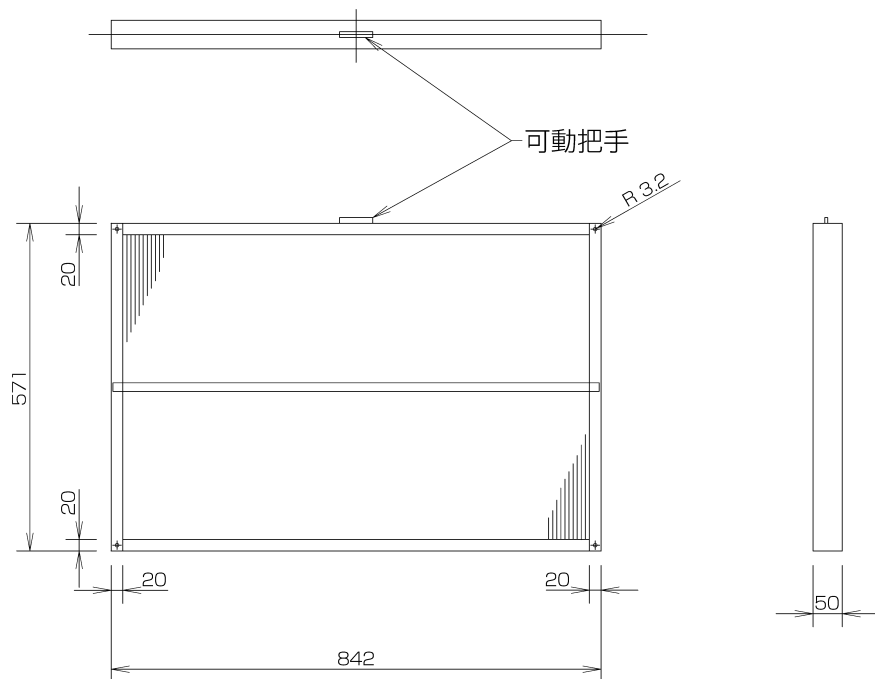
注記
1. 外枠：合板(T12)



■ロングライフフィルター外形寸法図 AFT-LE224E

製品質量 1.5kg

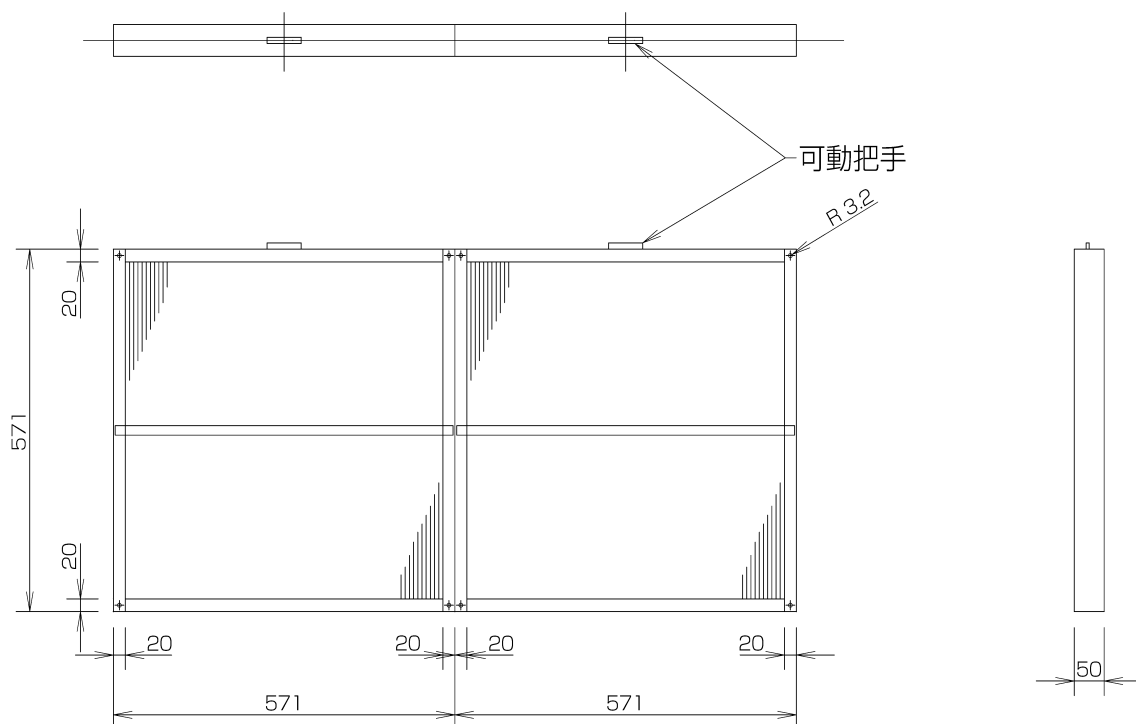
注記
1. 外枠：アルミ押出型材



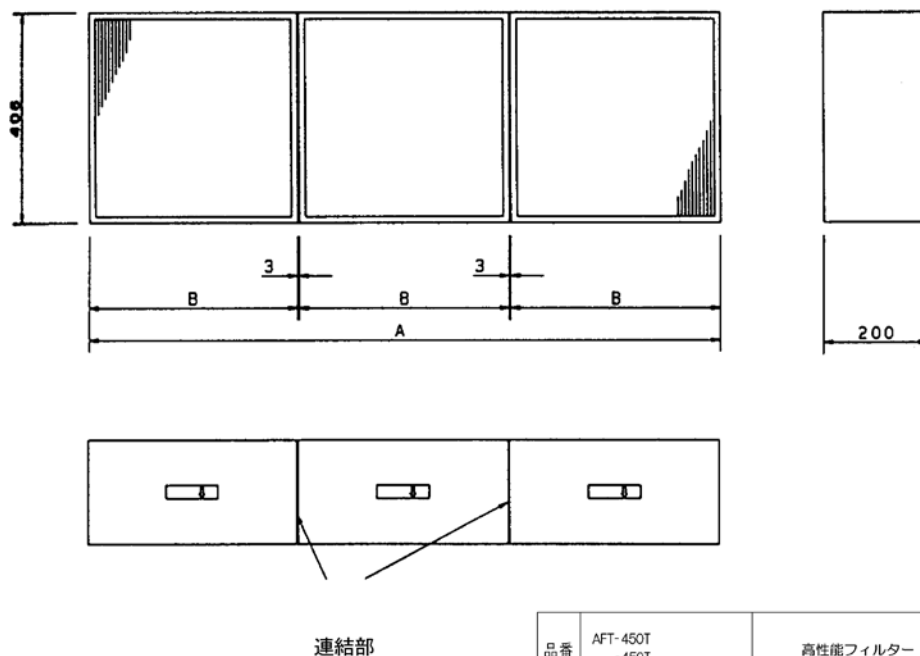
AFT-LE280E

製品質量 2.5kg

注記
1. 外枠：アルミ押出型材

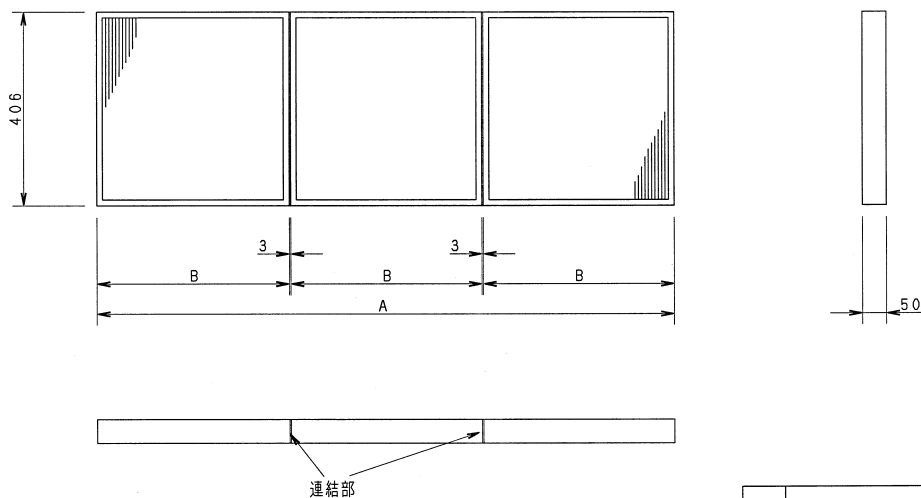


(mm)				
適用機種	AFT品番	A	B	備考
355/450形	AFT-ME450T -HE450T	1542	512	3分割



品番	AFT-450T -450T	高性能フィルター 外形寸法図
----	-------------------	-------------------

(MM)				
AFT 品番	A	B	備考	
AFT-LE224T	931	464	2分割	
AFT-LE280T	1212	402	3分割	
AFT-LE450T	1542	512	3分割	

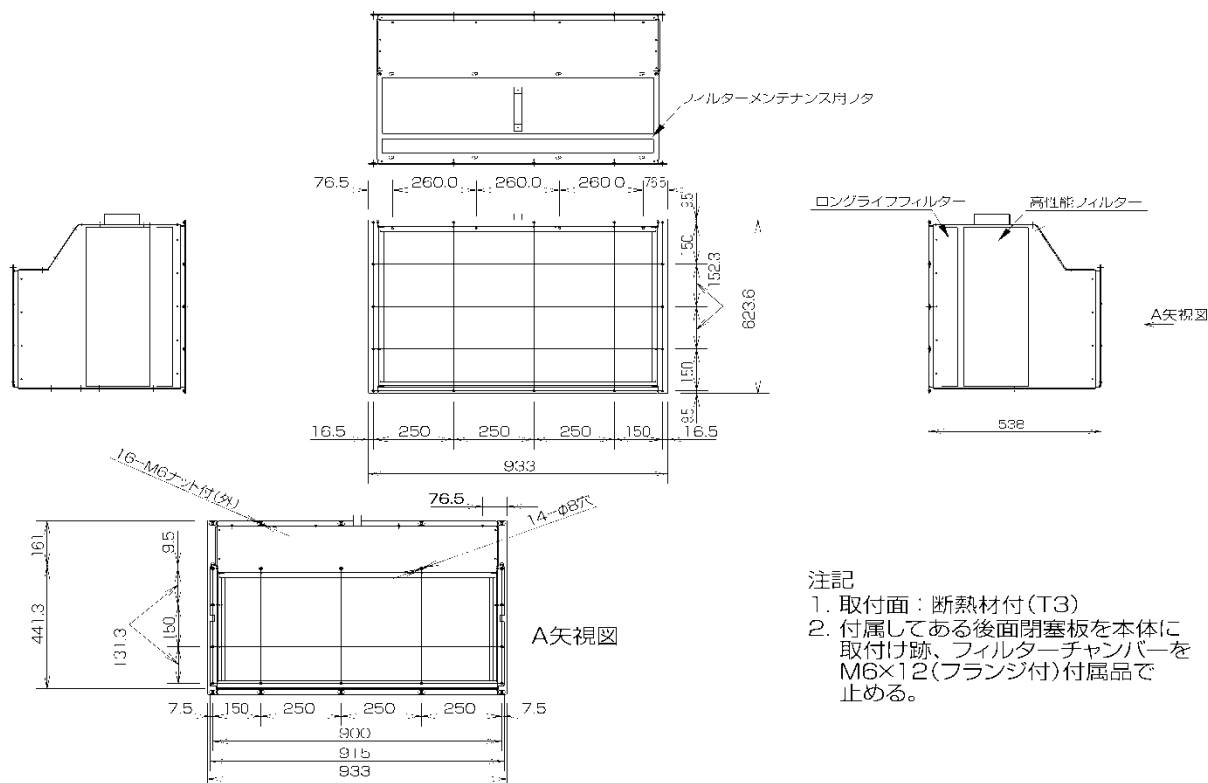


品番	AFT-LE224T -LE280T -LE450T	外形寸法図 (ロングライフフィルタ)
図番	00-53-(3)	

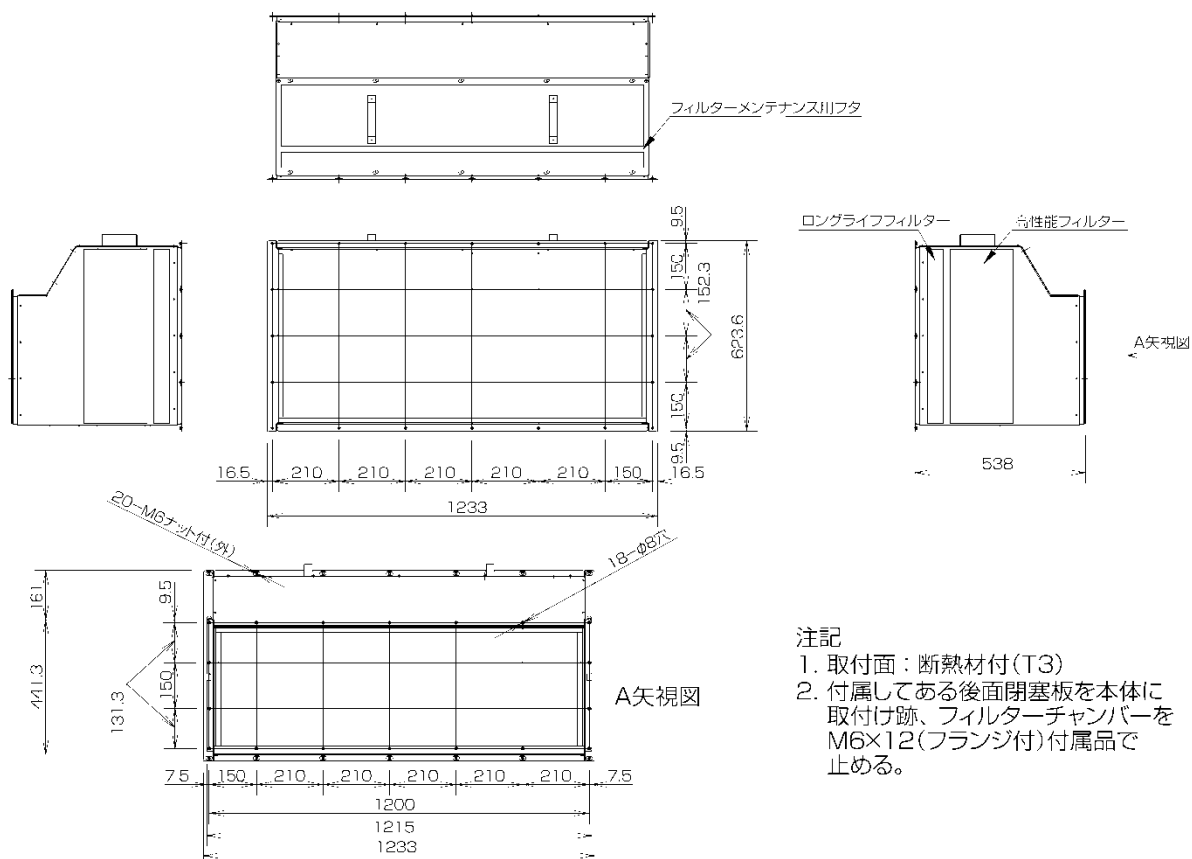
フィルターチャンバー (CMB-FE224・280E/CMB-FE450T)

■外形寸法図

CMB-FE224E

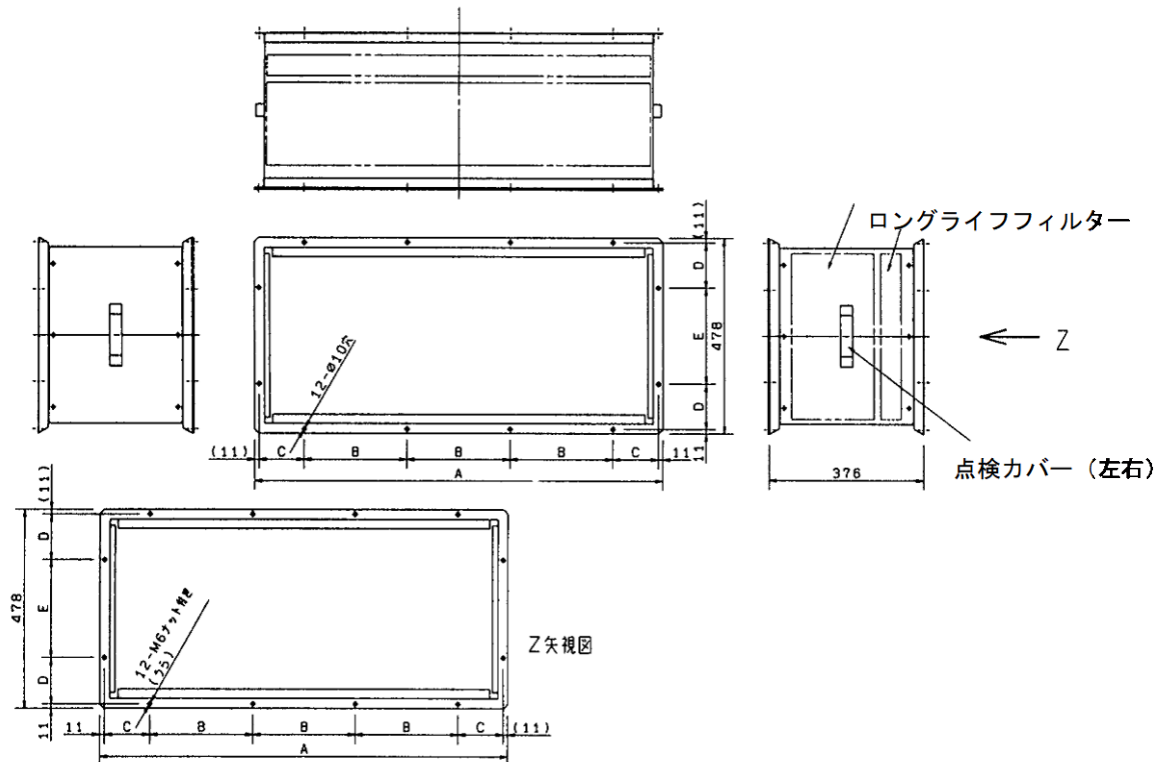


CMB-FE280E



(mm)

適用機種	CMB品番	A	B	C	D	E
355/450形	CMB-FE450T	1602	350	265	116	234



■据付方： CMB-FE224・280E

床置形 フィルターチャンバーの取り付け方

1. 付属品

CMB 品番	適用PAC	付属品			
		取付ボルト M6	裏カバーパネル	取付説明書	
CMB-FE224E	224形	14個	1個	1枚 (本説明書)	
CMB-FE280E	280形	18個	1個		

2. フィルターチャンバーとフィルターの組合せ

CMB 品番	高性能フィルター (どちらかを使用)		ロングライフ フィルター
	比色法 (65%)	比色法 (90%)	
CMB-FE224E	AFT-ME224E	AFT-HE224E	AFT-LE224E
CMB-FE280E	AFT-HE280E	AFT-HE280E	AFT-LE280E

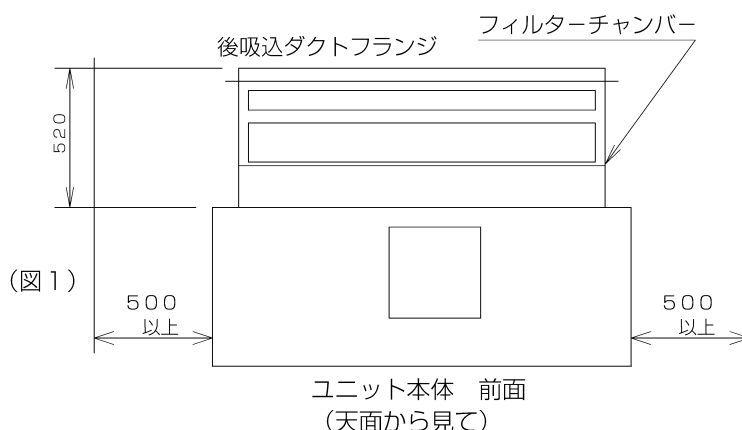
3. 取り付け前の準備

- 適用パッケージエアコンはダクト形が基本です。技術資料等でフィルター圧損を確認のうえ、風量・機外静圧等のダクト仕様が適切であることを再確認してください。
- フィルターチャンバーを取り付ける場合、下記の“前塞ぎ化粧パネル”および“後吸込ダクトフランジ”が必要です。(別売 特注対応品)

CMB 品番	前塞ぎパネル	後吸込ダクトフランジ
CMB-FE224E	PNR-E224E	DKT-RFD224E
CMB-FE280E	PNR-E280E	DKT-RFD280E

- 取付スペースおよびフィルターのサービスに必要なスペースは(図1)の通りです。

*フィルターは上部取り出しです。8馬力、10馬力機種は幅が広いので左右にスペースを取ると作業が楽になります。

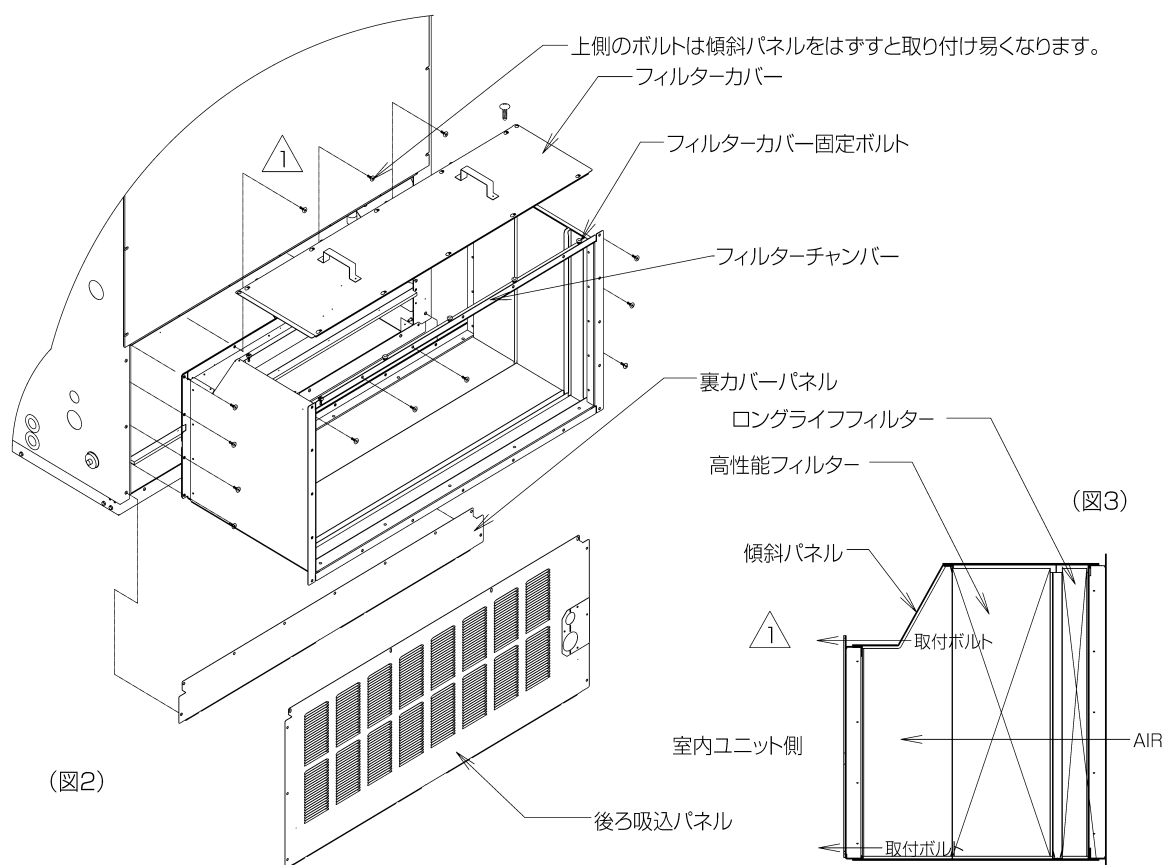


4. フィルターチャンバーの取り付け

1. まず、ユニット本体の後吸込パネルを取り外します。取り外したM6ボルトは、フィルターチャンバー取り付けに使用します。(図2)
2. 裏カバーを取り付けます。
3. 取り外したM6ボルトおよび付属ボルトを使用して、ユニット本体にフィルターチャンバーを取り付けます。(図2)
 - * チャンバーのフランジ面にパッキングが貼ってあり、面積の小さい方がユニット本体側です。
 - * フィルターの取り出し側が上側になる様に取り付けてください。
 - * チャンバー下側の取り付けボルトはチャンバーの内側から取り付けます。

5. 高性能・ロングライフフィルターの組み込み

1. フィルターカバーを固定しているボルトを緩め、フィルターカバーをスライドさせて外します。(図2)
2. ユニット本体側に高性能フィルター、手前側にロングライフフィルターを組み込みます。(図1、3)
 - * 280形用高性能フィルターは2個分割されていますので、順次組み込んで下さい。
 - * フィルター天部に空気の流れ方向を示す“矢印マーク”がありますので、方向を合わせてください。
3. フィルターを組込後、フィルターカバーを取り付けます。だるま穴に合わせてM5ボルトを締めてください。



6. 前面閉塞用パネルおよび後吸込ダクトフランジの取り付け

1. 前面PNRをはずし、内蔵のプレフィルターを取り外した後、“前面閉塞用パネル”を付属のボルトで取り付けてください。
前面PNRは前塞ぎパネルにかぶせるように取り付けます。
2. フィルターチャンバーの吸込口フランジ面に後吸込ダクトフランジを付属のボルトで取り付けてください。

■据付方: CMB-FE450T

床置形 フィルターチャンバーの取付け方

1. 付属品

CMB 品番	適用PAC	名称
CMB-FE450T	450形	フィルターチャンバー 取付け説明書

※ 450形は取付ボルトの付属はありません。

2. フィルターチャンバーとフィルターの組合せ

CMB 品番	高性能フィルター（どちらかを使用）		ロングライフ フィルター
	比色法（65%）	比色法（90%）	
CMB-FE450T	AFT-ME450T	AFT-HE450T	AFT-LE450T

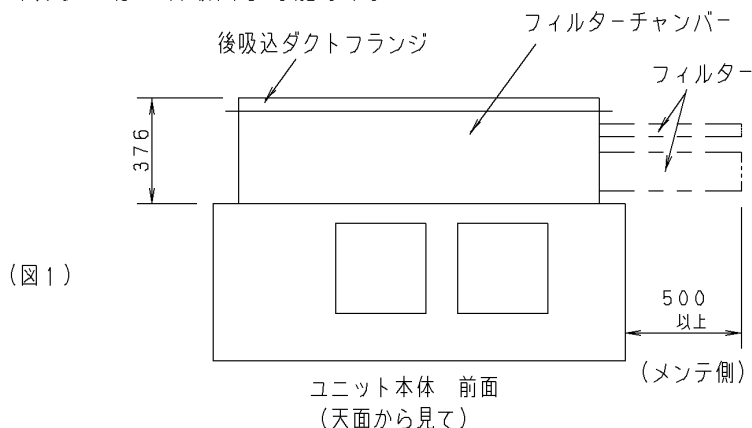
3. 取付け前の準備

- 適用PAC（パッケージエアコン）はダクト形が基本です。技術資料等でフィルター圧損を確認のうえ、風量・機外静圧等のダクト仕様が適切であることを再確認してください。
（プレナム形の場合は送風機の増速が必要ですので、別途 お問い合わせ願います。）
- フィルターチャンバーを取り付ける場合、下記の“前塞ぎ化粧パネル”および“後吸込ダクトフランジ”が必要です。（別売 特注対応品）

CMB 品番	前塞ぎ化粧パネル	後吸込ダクトフランジ
CMB-FE450T	PNR-E450S	DKT-RFD450T

3. 取付けスペース および フィルターのサービスに必要なスペースは（図1）の通りです。

※. フィルターは左右取出し可能です。



4. フィルタチャンハ" の取付け

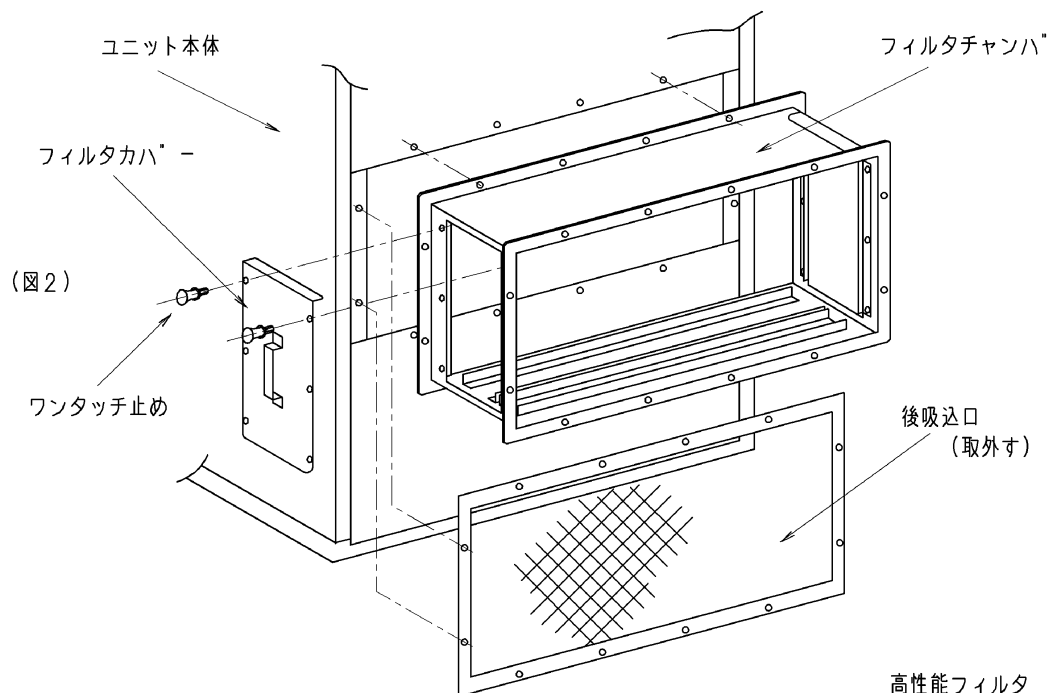
1. まず、ユニット本体の後吸込口を取外します。取外したM6ボ" ルトは、フィルタチャンハ" 取付けに使用します。(図2)
2. 取外したM6ボ" ルトおよび付属ボルトを使用して、ユニット本体にフィルタチャンハ" を取付けます。(図2)

※. チャンハ" のフランシ" 面にハ° ッキ" が貼ってある方がユニット本体側です。

※. 両側にあるフィルタカハ" ーのフランシ" 部が上面になるようにしてください。

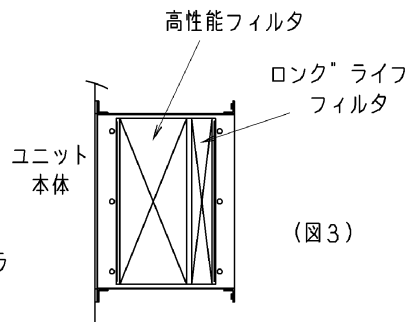
5. 高性能・ロンク" ライフフィルタの組込み

1. フィルタカハ" ーを固定しているワンタッチ止めを外し、フィルタカハ" ーを外します。(図2)
※. 左右どちらでも可能です。(どちらかに決めて下さい)
2. ユニット本体側に高性能フィルタ、手前側にロンク" ライフフィルタを組込みます。(図1、3)
※. フィルタは分割されていますので、連結しながら 順次組込んで下さい。
※. フィルタ天部に空気の流れ方向を示す" 矢印マーク" がありますので、方向を合わせてください。
3. フィルタを組込後、フィルタカハ" ーを取付けます。(図2)



6. 前塞ぎ化粧ハ° ネルおよび後吸込タ" クトフランシ" の取付け

1. 前面吸込ク" リル(樹脂)、内蔵のフ° レフィルタを取外した後、" 前塞ぎ化粧ハ° ネル" を付属のヒ" スで取付けてください。
2. フィルタチャンハ" の吸込口フランシ" 面に" 後吸込タ" クトフランシ" " を付属のボ" ルトで取付けてください。



プレフィルター・重量法76%・内蔵形 (AFT-1PE224・280E)
(AFT-1PE450T)

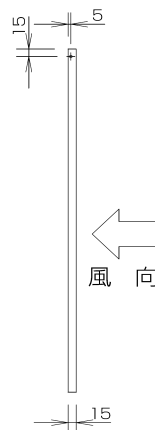
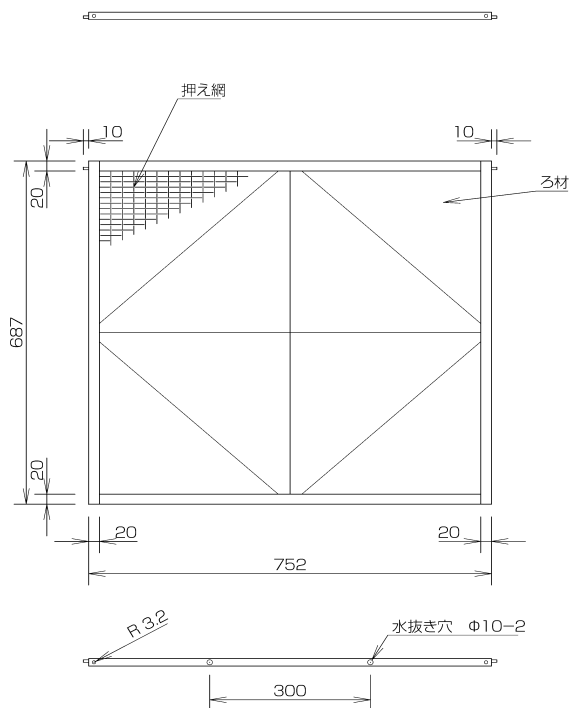
■外形寸法図

AFT-1PE224E

製品質量 2.0kg

注記

1. 外枠：アルミ材(T1.0)



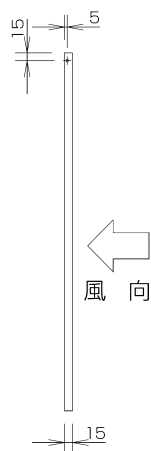
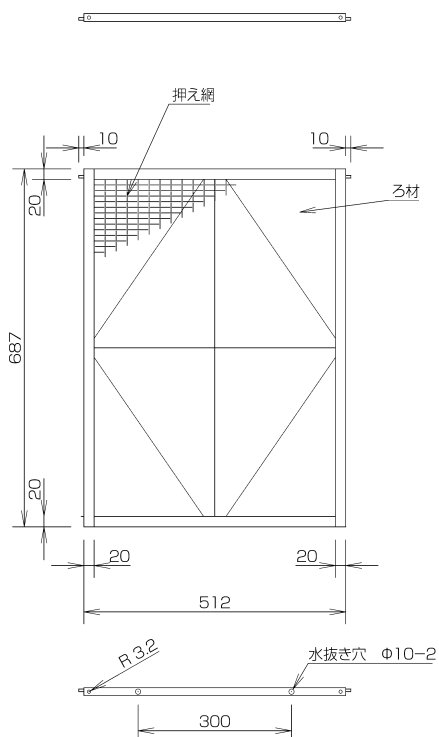
AFT-1PE280E

製品質量 2.6kg

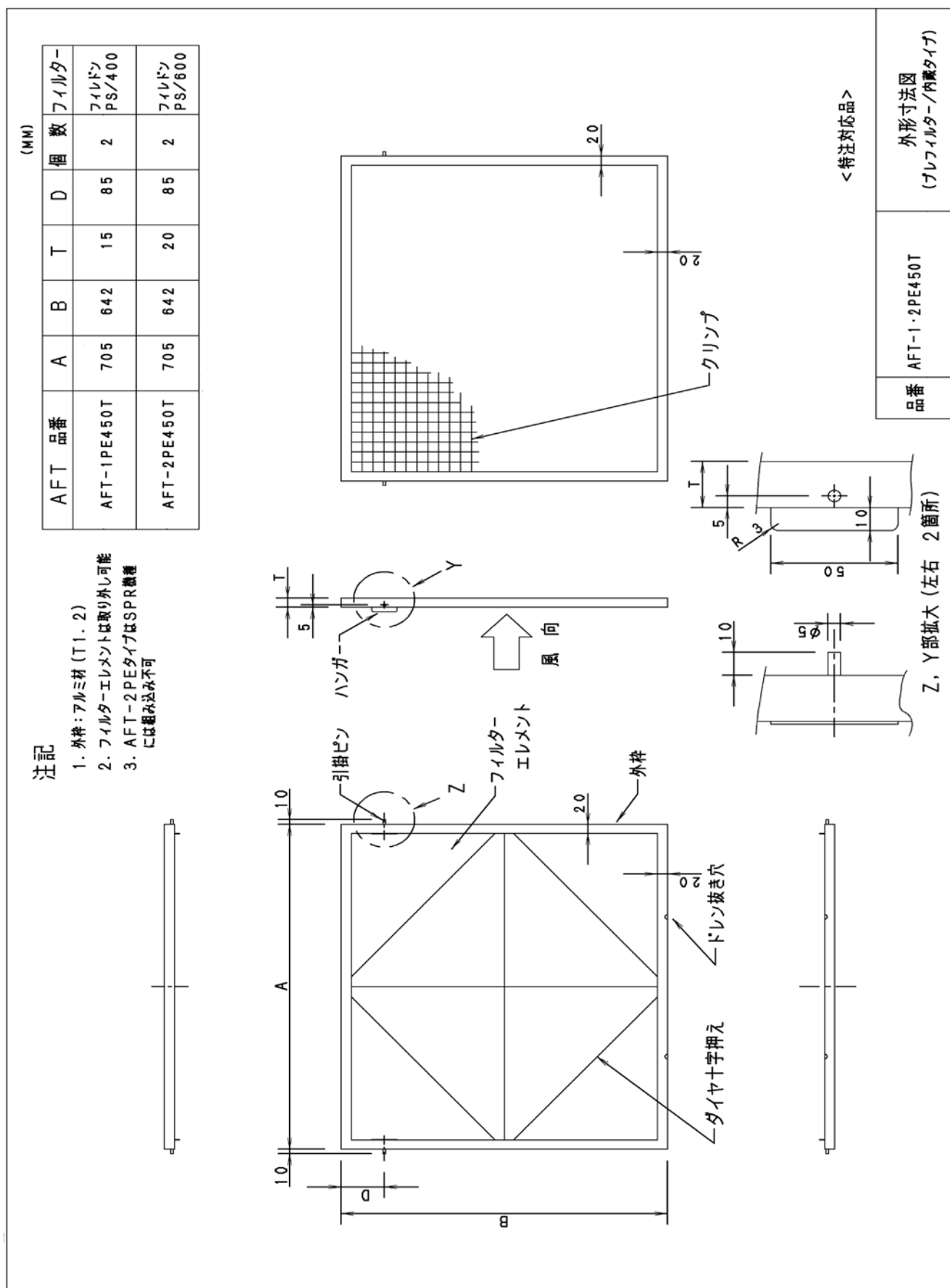
注記

1. 外枠：アルミ材(T1.0)

2. 2枚で1セット



AFT-1PE450T



プレフィルター・重量法82%・内蔵形 (AFT-2PE224・280E)
(AFT-2PE450T)

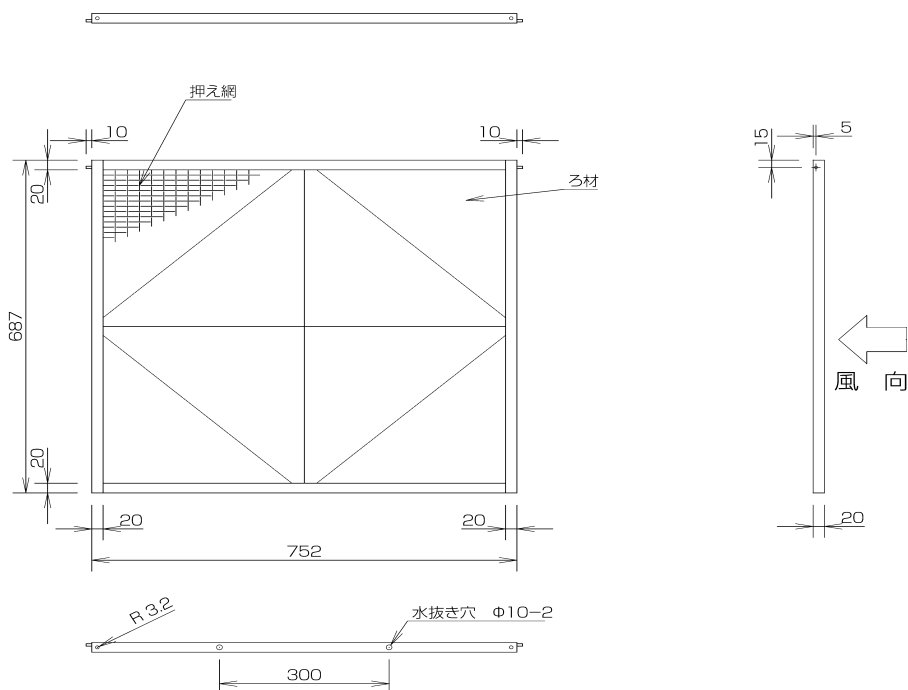
■外形寸法図

AFT-2PE224E

製品質量 2.5kg

注記

1. 外枠：アルミ材 (T1.0)

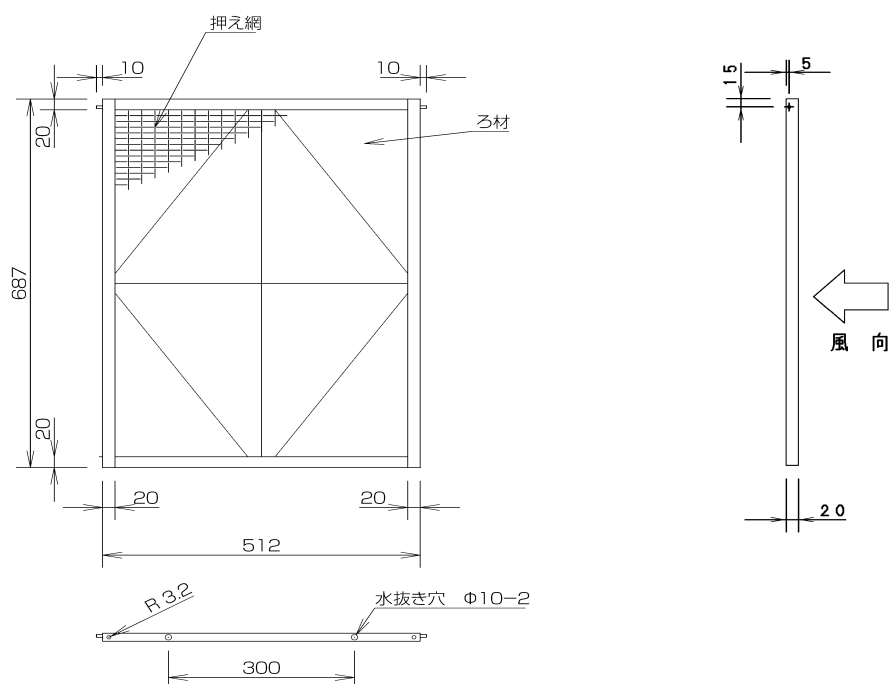


AFT-2PE280E

製品質量 3.2kg

注記

1. 外枠：アルミ材 (T1.0)
2. 2枚で1セット



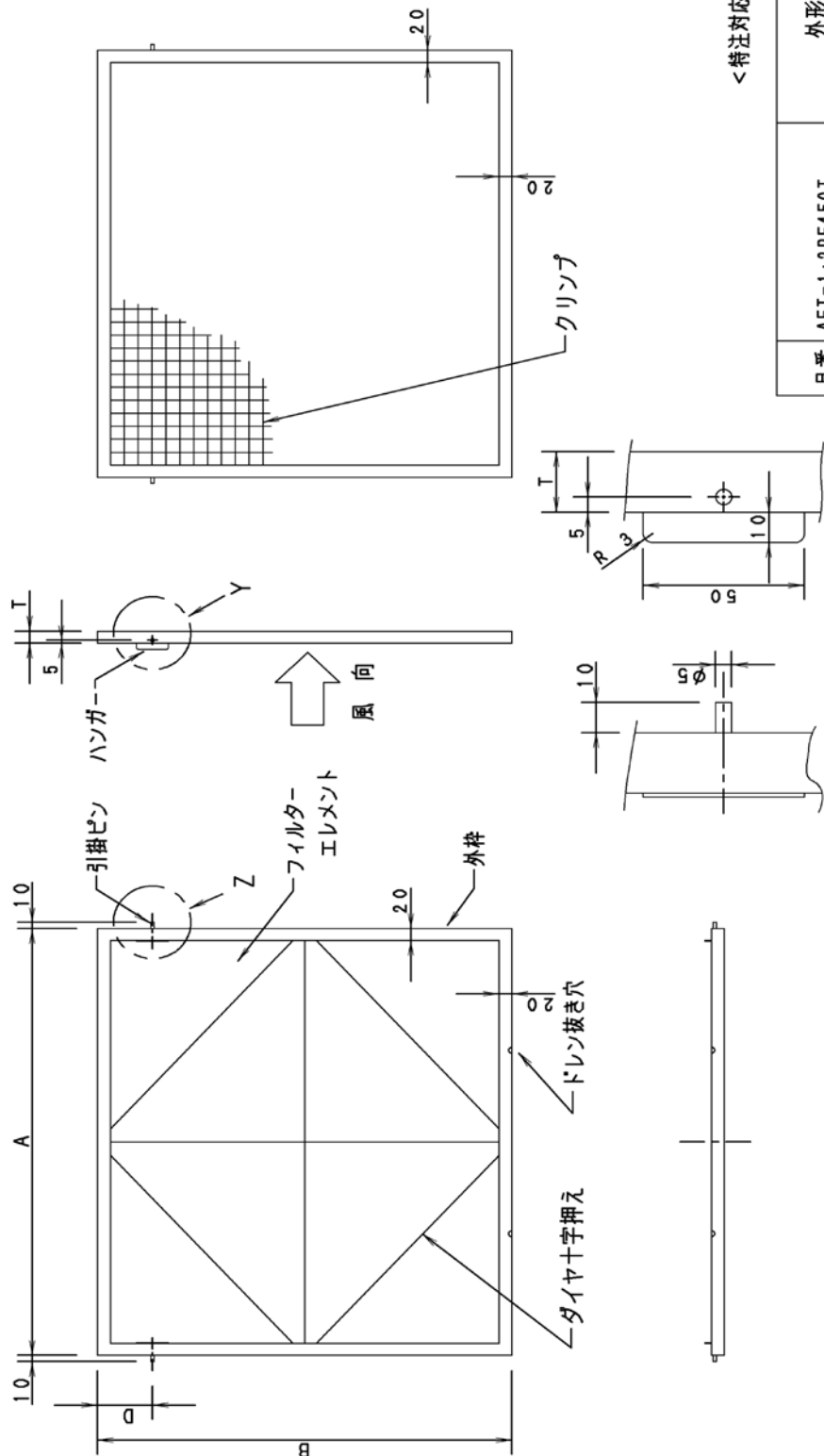
AFT-2PE450T

(mm)

AFT 品番	A	B	T	D	個数	フィルター
AFT-1PE450T	705	642	15	85	2	フィルドン PS/400
AFT-2PE450T	705	642	20	85	2	フィルドン PS/600

注記

1. 外枠：アルミ材 (T1. 2)
2. フィルターエレメントは取り外し可能
3. AFT-2PEタイプはSPR機構には組み込み不可



<特注対応品>

外形寸法図
(プレフィルター/内蔵タイプ)

品番 AFT-1・2PE450T

Z, Y部拡大 (左右 2箇所)

(12) 壁ビルトイン形

●高性能フィルター JIS比色法65%

品番		CZ-140HKWN4	CZ-224HKWN4	CZ-280HKWN4
適用機種		S-G140WNS1 S-G140WS1	S-G224WNS1 S-G224WS1	S-G280WNS1 S-G280WS1
定格風量	m ³ /min	44.0	64.0	80.0
最終風量	m ³ /min	39.5	51.0	62.5
平均効率		JIS比色法 65% (J I S 1 1 種)		
初期圧損	Pa	43	53	55
最終圧損	Pa	147	147	196
フィルター寿命	時間	2,960	2,380	2,800
使用濾材		ポリオレフィン系帯電繊維		
外形寸法	巾	385	490	615
	奥行	458	458	458
	高さ	150	150	150
有効面積	m ²	0.323	0.415	0.525
使用個数		2	2	2

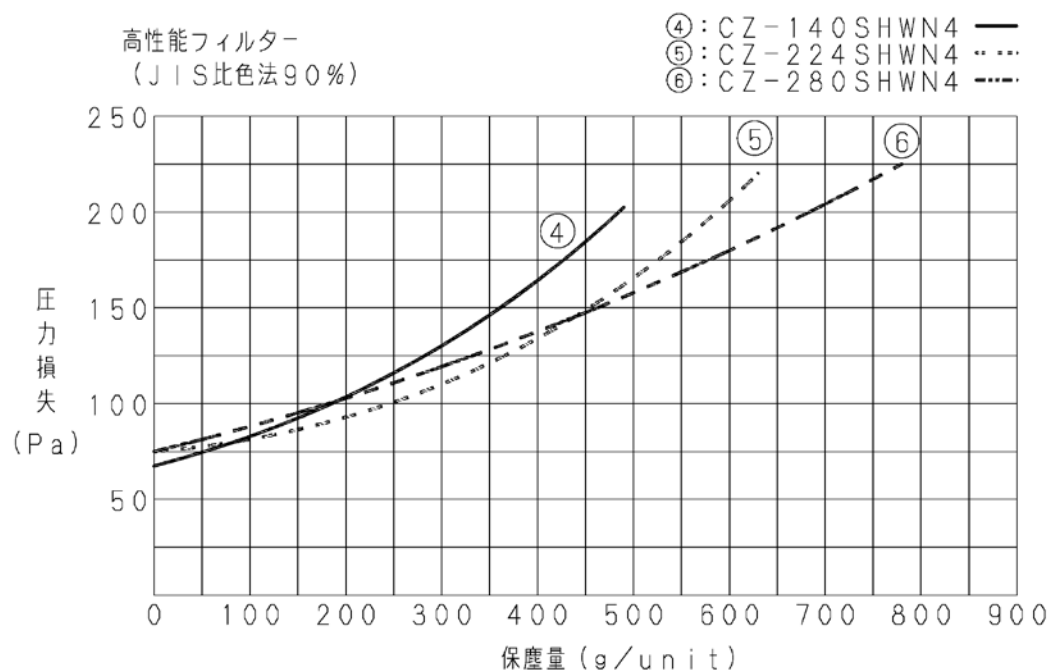
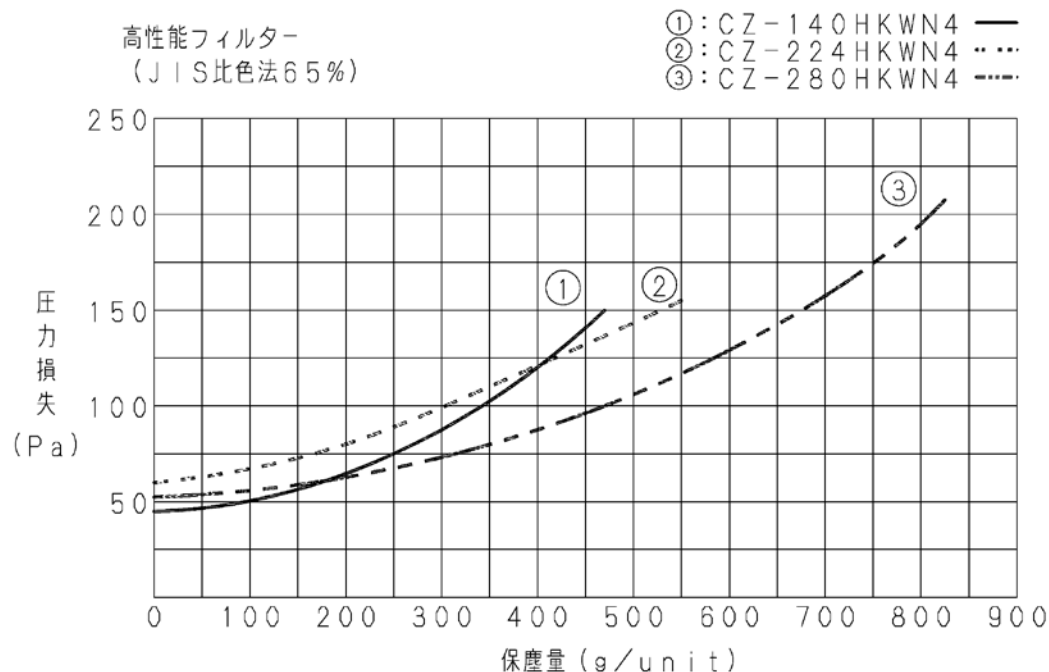
●高性能フィルター JIS比色法90%

品番		CZ-140SHWN4	CZ-224SHWN4	CZ-280SHWN4
適用機種		S-G140WNS1 S-G140WS1	S-G224WNS1 S-G224WS1	S-G280WNS1 S-G280WS1
定格風量	m ³ /min	44.0	64.0	80.0
最終風量	m ³ /min	38.5	48.0	66.0
平均効率		JIS比色法 90% (J I S 1 1 種)		
初期圧損	Pa	64	74	74
最終圧損	Pa	196	196	196
フィルター寿命	時間	3,050	2,460	2,270
使用濾材		ポリオレフィン系帯電繊維		
外形寸法	巾	385	490	615
	奥行	458	458	458
	高さ	150	150	150
有効面積	m ²	0.323	0.415	0.525
使用個数		2	2	2

注意事項

- 1、最終圧損、寿命は定格風量時の値です。
- 2、フィルター寿命(時間)は塵埃濃度0.15mg/m³(ビル管理法規制値)として算出しています。
寿命(時間)は現場条件により異なります。
- 3、保塵量はダストJIS15種での算出値です。現場保塵量は現場条件により異なります。

■ 保塵量に対する圧力損失



適用機種	高性能フィルター (JIS比色法65%)	高性能フィルター (JIS比色法90%)
S-G140W(N) S1	①: CZ-140HKWN4	④: CZ-140SHWN4
S-G224W(N) S1	②: CZ-224HKWN4	⑤: CZ-224SHWN4
S-G280W(N) S1	③: CZ-280HKWN4	⑥: CZ-280SHWN4

品番

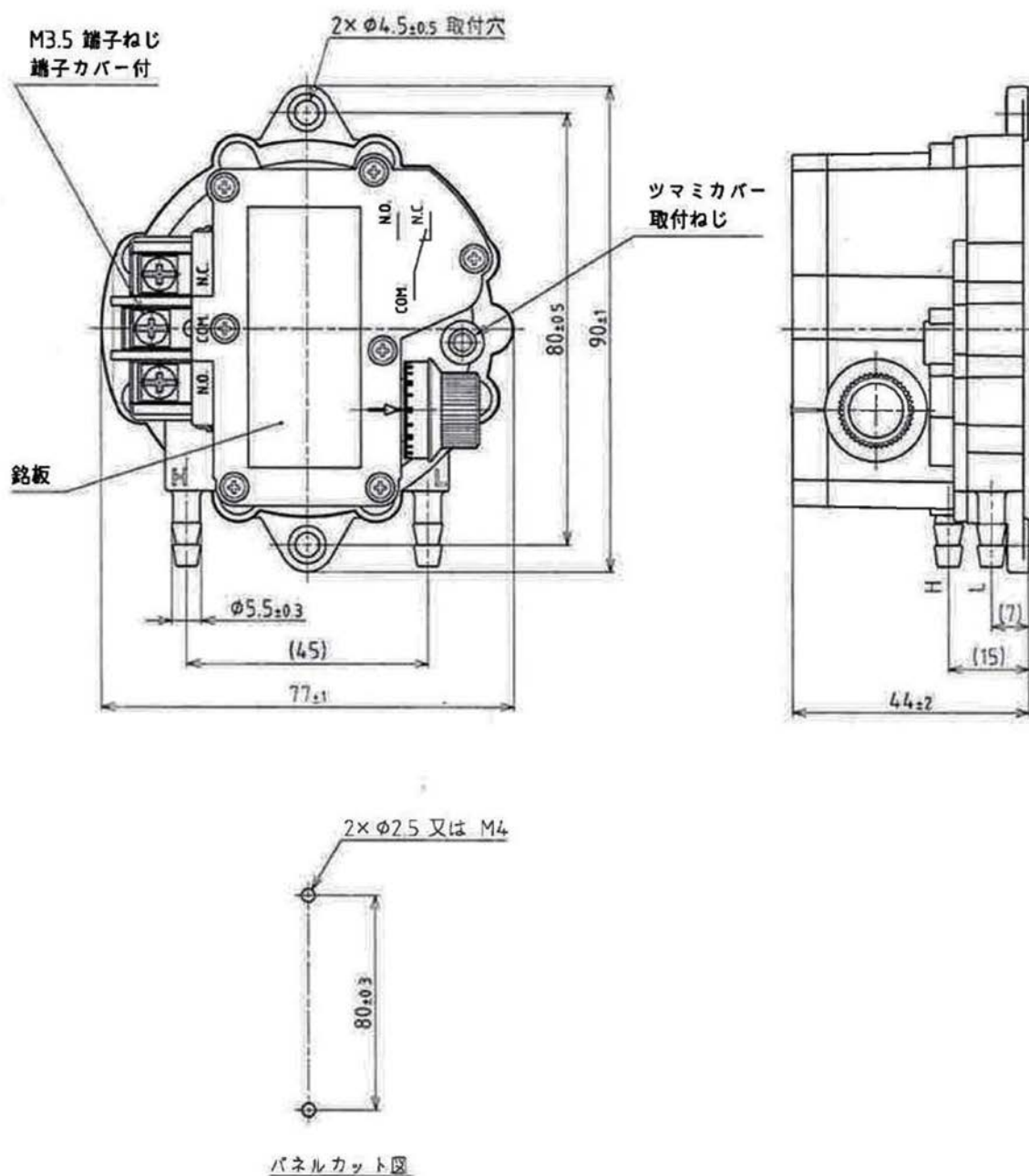
CZ-140, 224, 280HKWN4
CZ-140, 224, 280SHWN4

保塵量-圧力損失特性図
高性能フィルター

PA1300906/130513

差圧スイッチ(CZ-280PSWC)

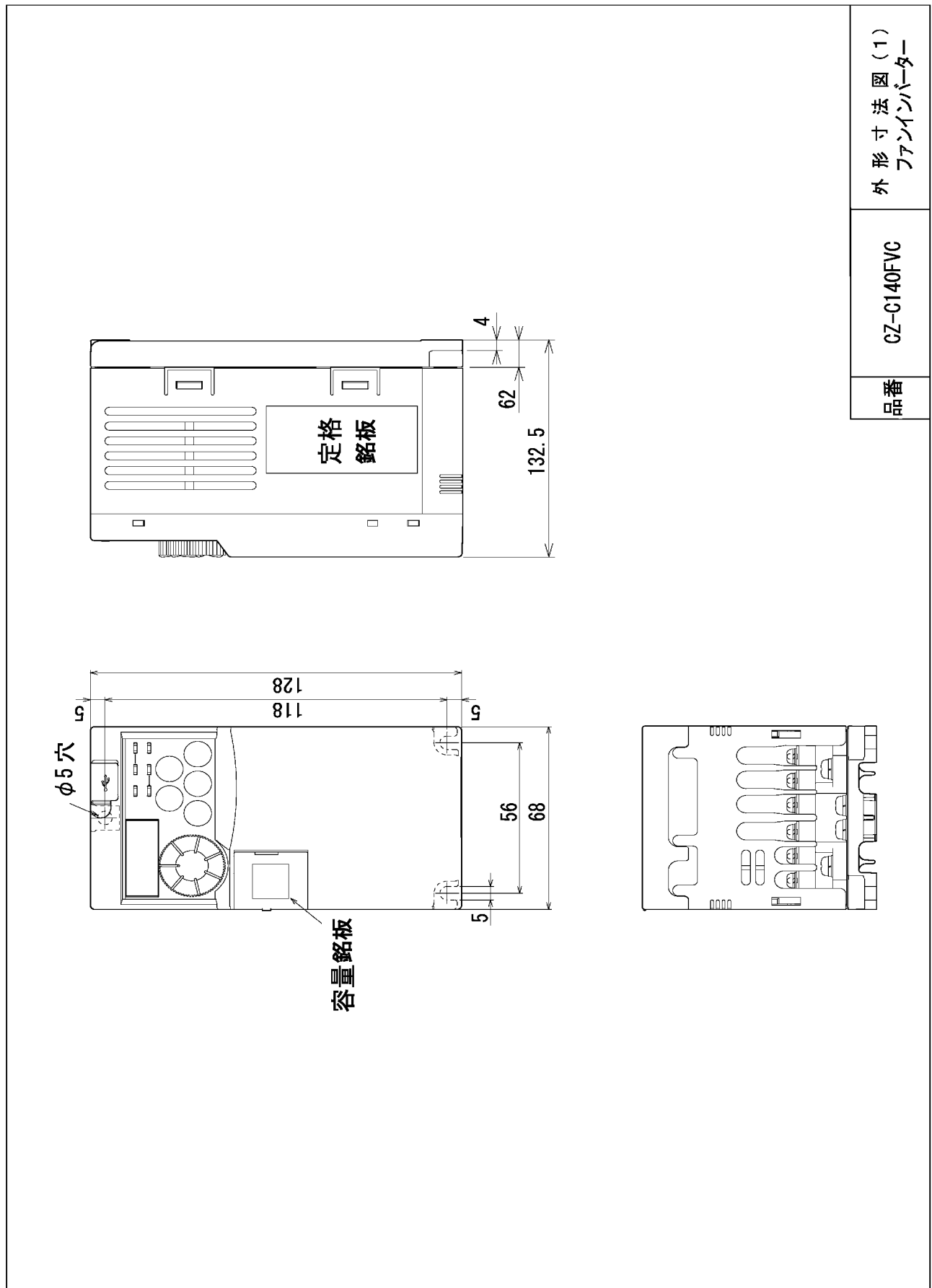
■外形寸法図

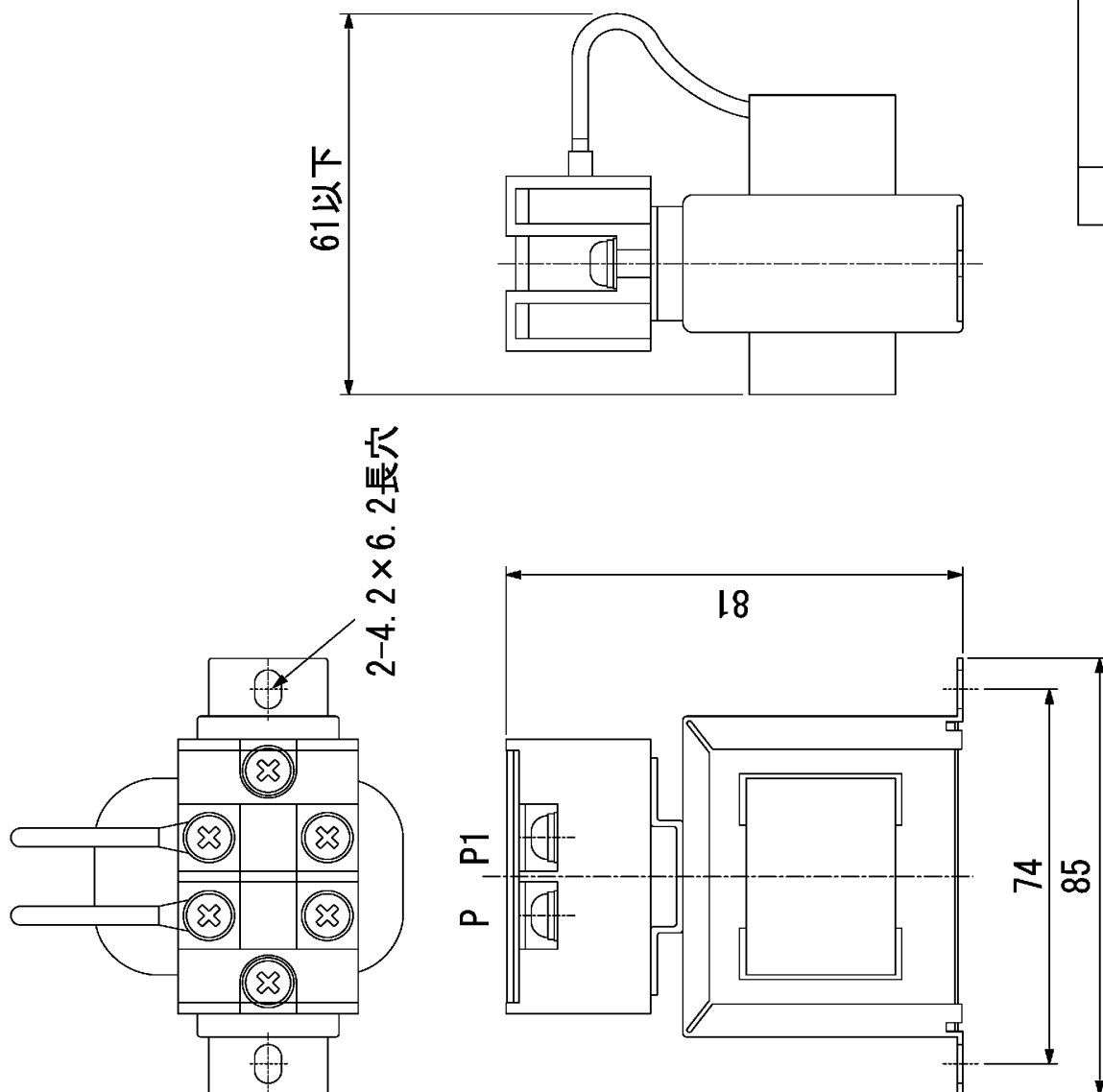


品番	CZ-280PSWC	外形寸法図 差圧スイッチ
----	------------	-----------------

ファンインバーター(CZ—C140FVC)

■外形寸法図





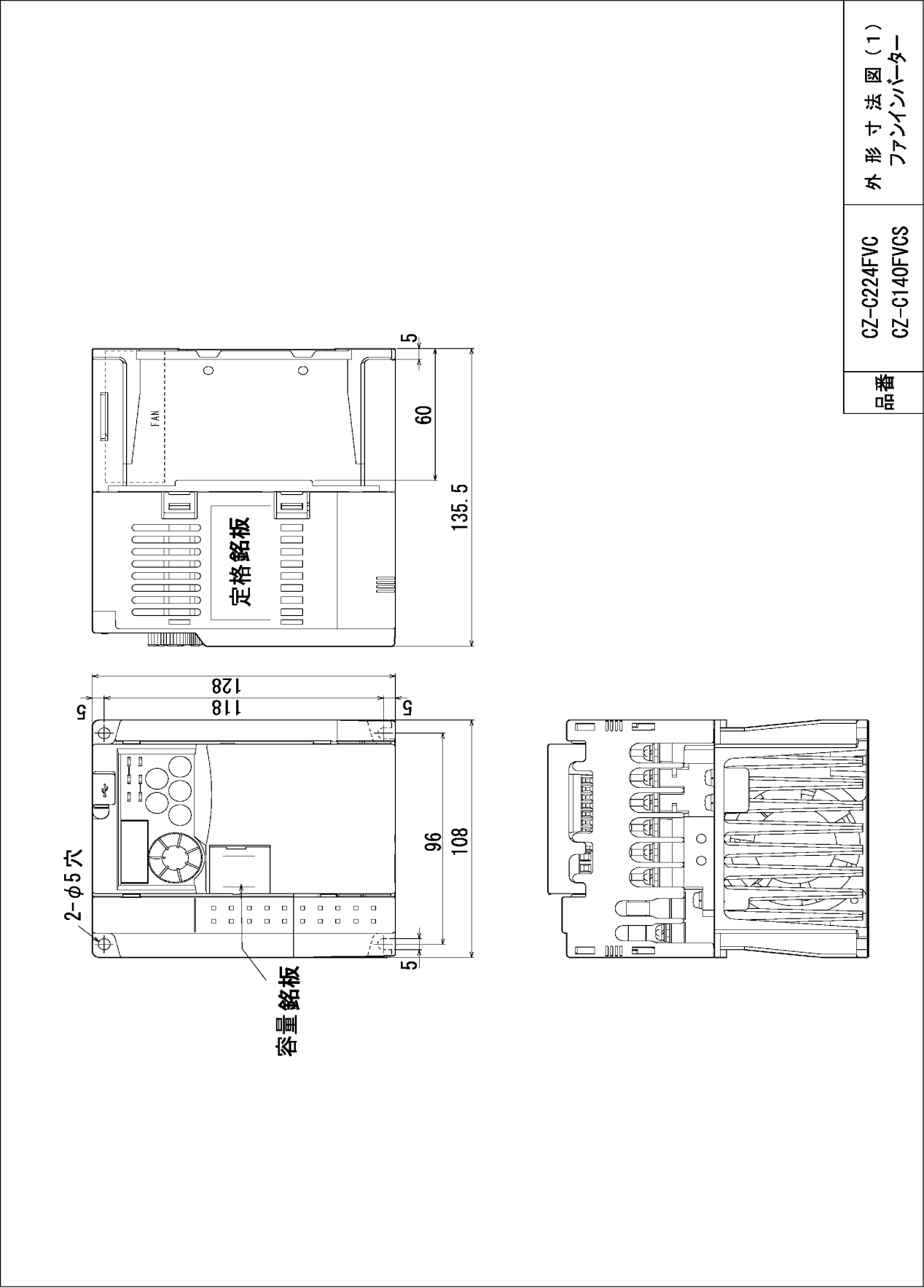
外形寸法図(2)
ファンインバーター

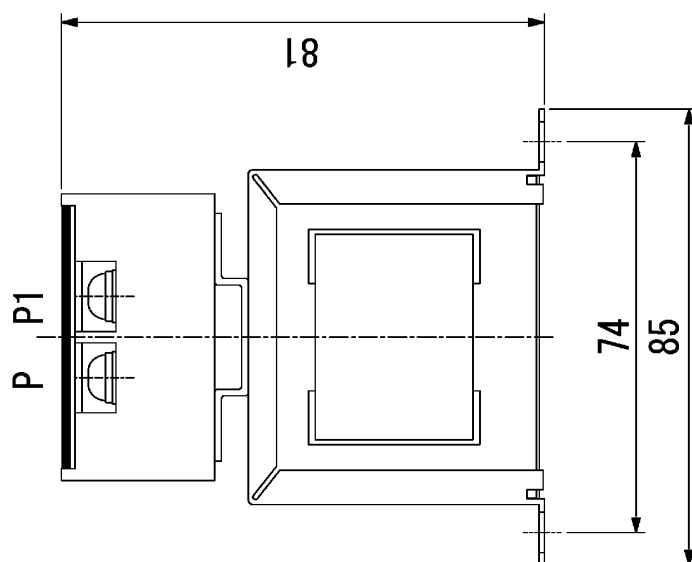
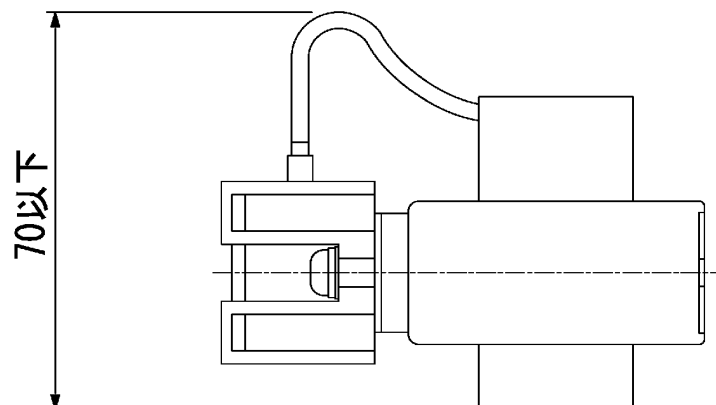
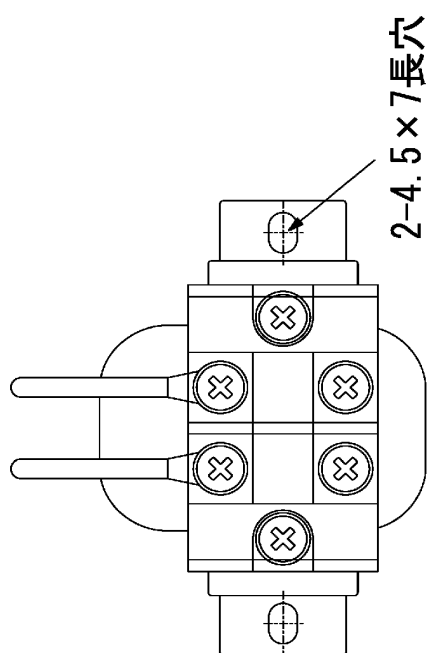
CZ-C140FVC

品番

ファンインバーター(CZ—C224FVC、CZ—C140FVCS)

■外形寸法図





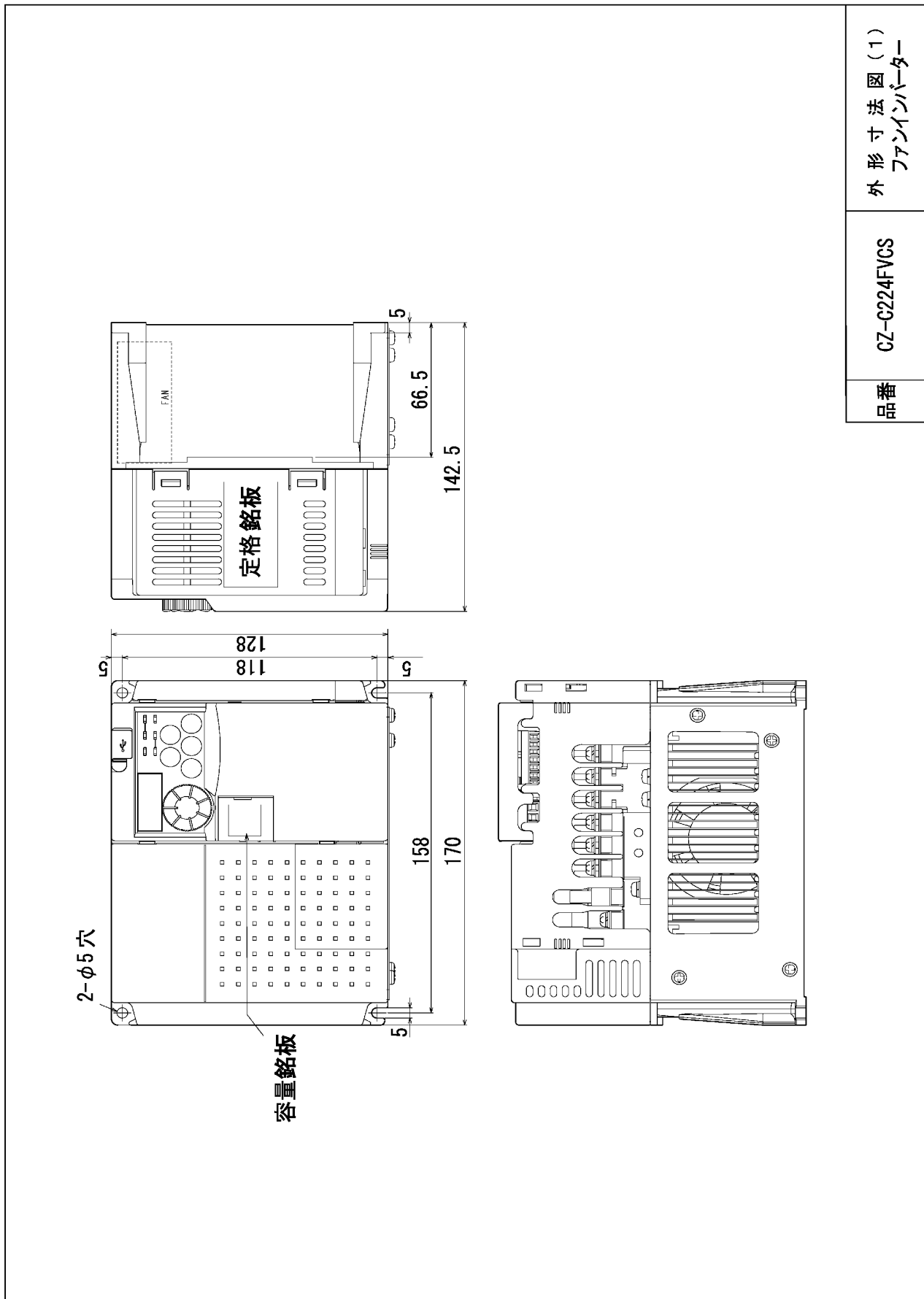
外形寸法図(2)
ファンインバーター

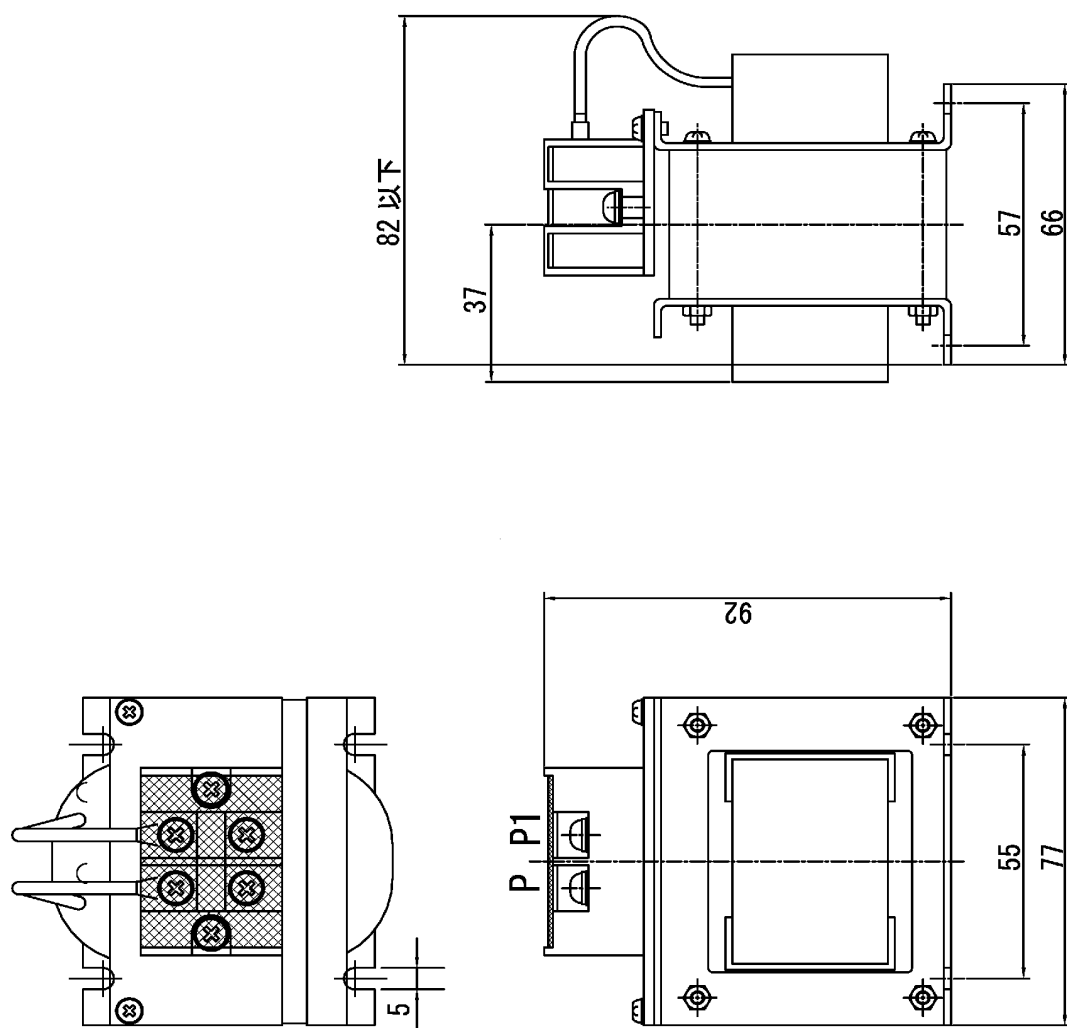
CZ-C224FVC
CZ-C140FVCS

品番

ファンインバーター(CZ—C224FVCS)

■外形寸法図





外形寸法図(2)
ファンインバーター

CZ-C224FVCS

品番

取付説明書 ファンインバーター

品番 (三相 200V) 適用室内ユニット 壁ビルトイン	CZ-C140FVC S-G140WS1 S-G140WNS1	CZ-C224FVC S-G224WS1 S-G224WNS1
---------------------------------------	---------------------------------------	---------------------------------------

品番 (単相 200V) 適用室内ユニット 壁ビルトイン	CZ-C140FVCS S-G140WS1 S-G140WNS1	CZ-C224FVCS S-G224WS1 S-G224WNS1
---------------------------------------	--	--

取り付け工事の前に室外ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この取付説明書をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
また、この取付説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容（禁止事項）です。



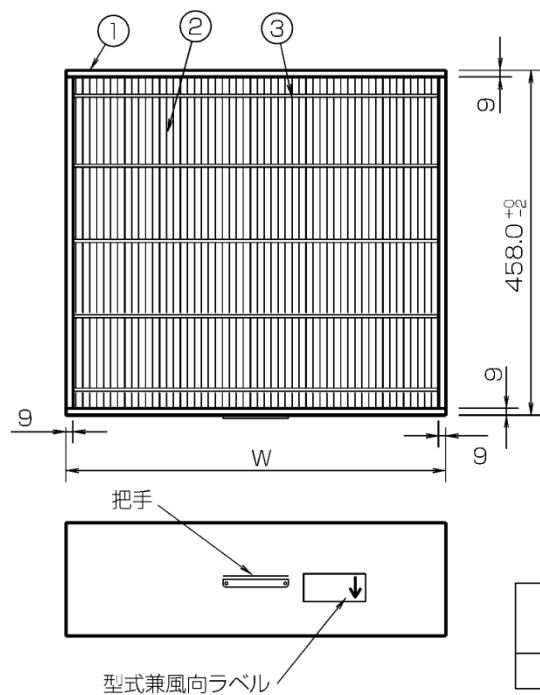
実行しなければならない内容（強制事項）です。

据え付け上の注意事項

警告	
電源配線をバンドなどで束ねて収納しない (発熱、火災の原因)	配線は途中接続しない (接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因)
据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う (ユニットの落下や水漏れ、感電や火災の原因)	ファンインバーター等の別売品は必ず当社指定の製品を ファンインバーター等の別売品は、必ず、当社指定の製品を使用してください。 また、別売品の取り付けは専門の業者に依頼してください。ご自分で取り付けをされ、不備があると、感電や火災、水漏れの原因になります。
電気工事（アース工事含む）は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」およびこの「据付工事説明書」に従って施工する (感電、火災のおそれ)	配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する (故障や発熱、火災の原因)
配線をはさまないように、カバーは元どおり確実に取り付ける (感電、火災の原因)	アース工事（D 種接地工事）を行う アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話などのアース線に接続しない（感電の原因） アース線は、ベランダの手すりにとらない（感電の原因）

高性能フィルター (CZ-280HKWN4)

■ 外形寸法図



番号	部品名称	材質
1	フィルター枠	合板
2	濾材	不織布
3	スタビライザ	難燃紙

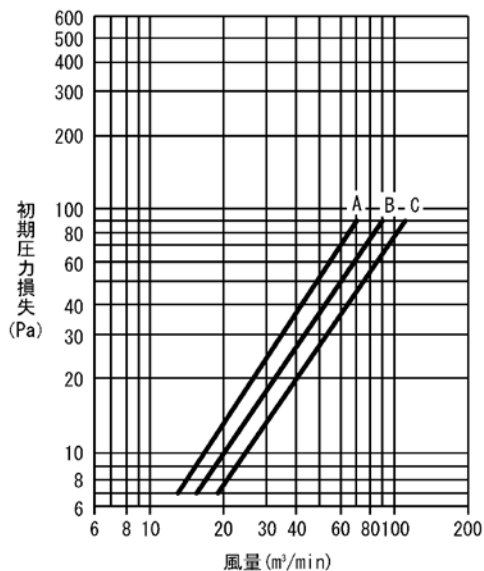
品番	CZ-140HKWN4	CZ-224HKWN4	CZ-280HKWN4
	CZ-140SHWN4	CZ-224SHWN4	CZ-280SHWN4
W	385 (+0,-2)	490 (+0,-2)	615 (+0,-2)

■ 風量・圧力損失特性線図

■ 圧力損失

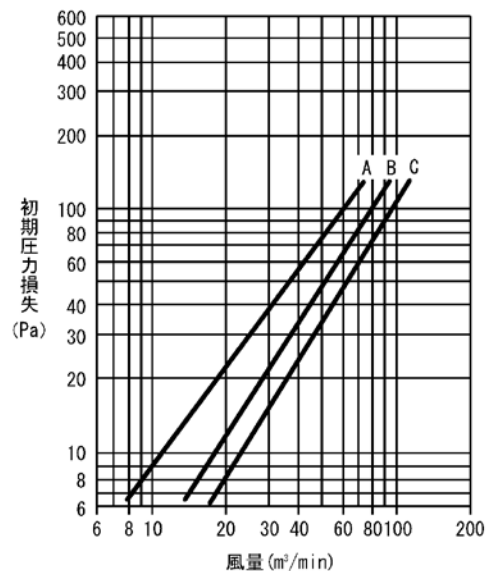
高性能フィルター (JIS 比色法 65%)

グラフ 記号	部品品番	壁ビルトイン
A	CZ-140HKWN4	140 形
B	CZ-224HKWN4	224 形
C	CZ-280HKWN4	280 形



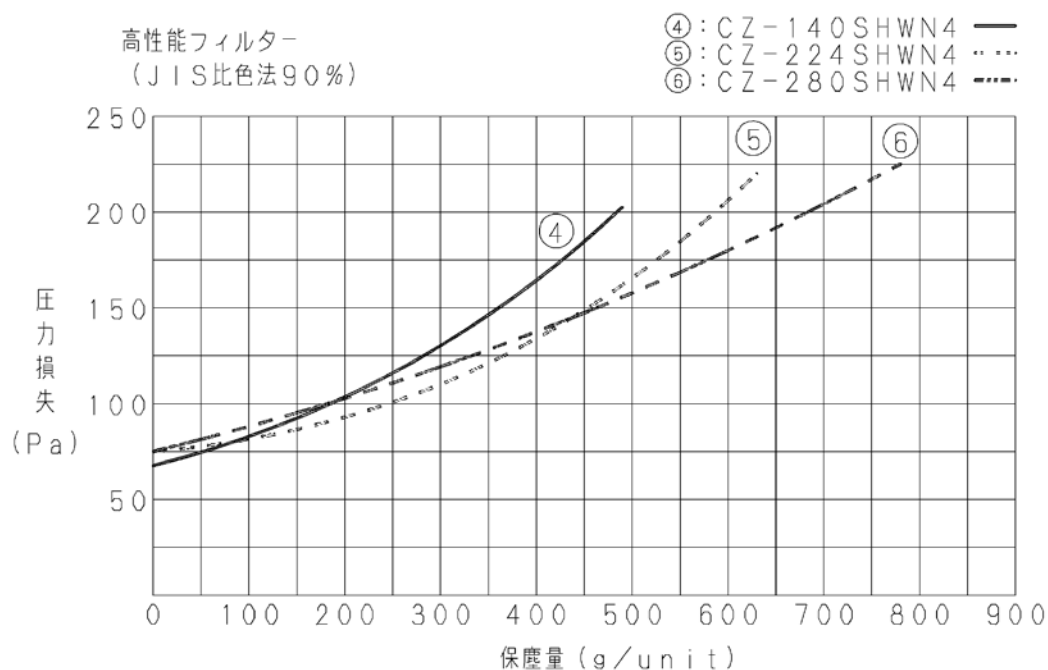
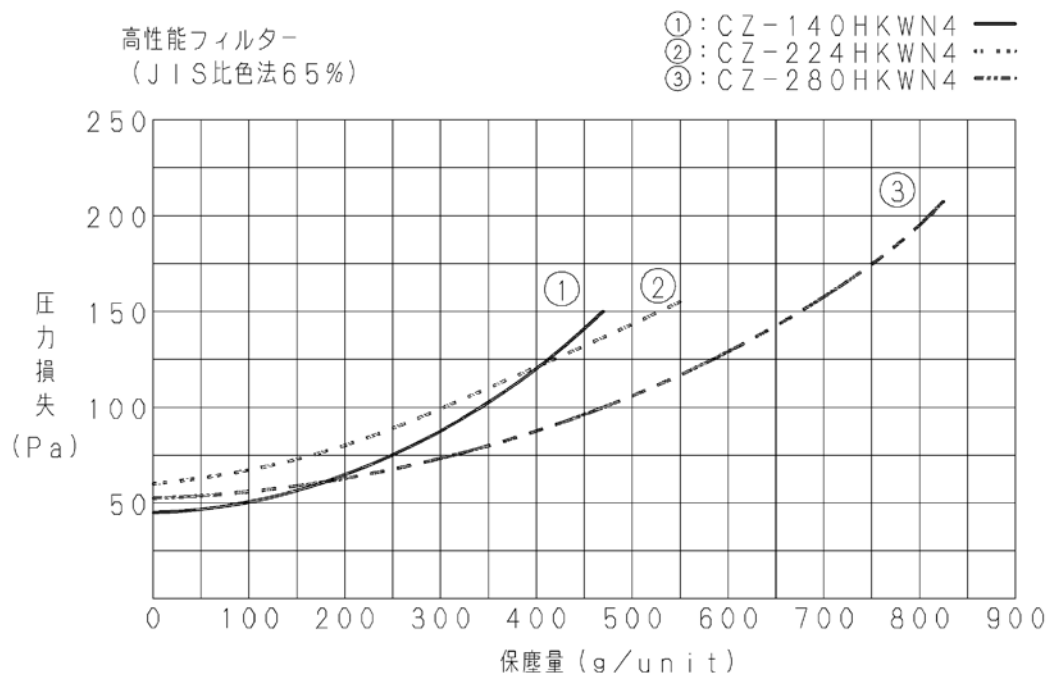
高性能フィルター (JIS 比色法 90%)

グラフ 記号	部品品番	壁ビルトイン
A	CZ-140SHWN4	140 形
B	CZ-224SHWN4	224 形
C	CZ-280SHWN4	280 形



■ 保塵量・圧力損失特性線図

■ 保塵量に対する圧力損失



適用機種	高性能フィルター (JIS比色法65%)	高性能フィルター (JIS比色法90%)
140形	①: CZ-140HKWN4	④: CZ-140SHWN4
224形	②: CZ-224HKWN4	⑤: CZ-224SHWN4
280形	③: CZ-280HKWN4	⑥: CZ-280SHWN4

品番	CZ-140, 224, 280HKWN4 CZ-140, 224, 280SHWN4	保塵量-圧力損失特性図 高性能フィルター
----	--	-------------------------

取付説明書 高性能フィルター

品番 CZ-140HKWN4 CZ-224HKWN4 CZ-280HKWN4
CZ-140SHWN4 CZ-224SHWN4 CZ-280SHWN4

取り付け工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この取付説明書をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
また、この取付説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意 **必ずお守りください**

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

**注意**

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

**注意**

■室内ユニットのアルミフィンにさわらない
(けがの原因)

■高性能フィルターの取り付けかた

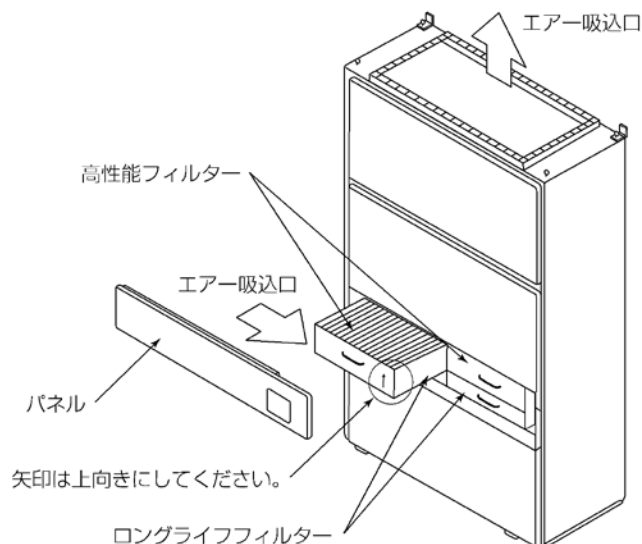
作業はユニットが停止中に行ってください。

①パネルのネジをはずし、やや持ち上げぎみにしてパネルをはずします。

②高性能フィルターを取り付け、パネルを取り付けます。

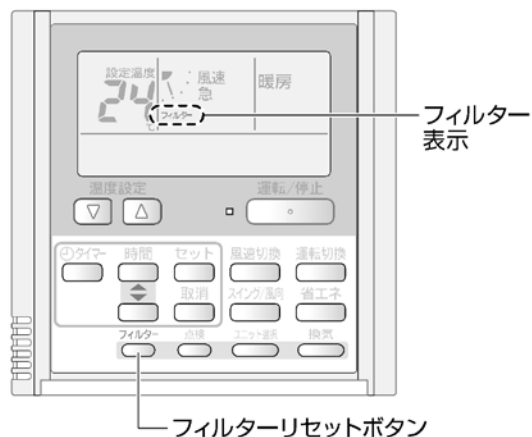
【壁ビルトイン形】

注：壁ビルトイン形は必ず矢印を上向きに取り付けてください。

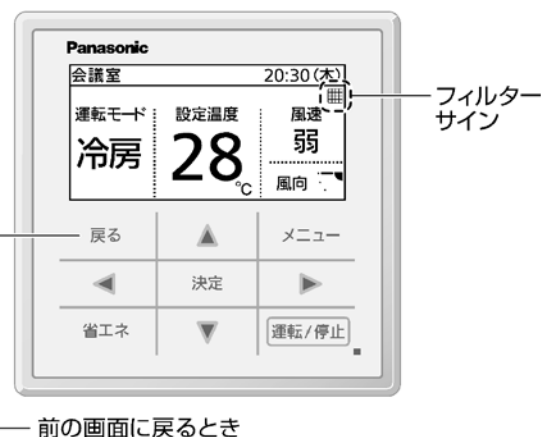


■ フィルター交換のしかた

● ワイヤードリモコン CZ-10RT3 シリーズの場合



● 多機能ワイヤードリモコン CZ-10RT4 シリーズの場合



“フィルター”表示または“”フィルターサインが表示されたときを目安に交換してください。
フィルター交換した後は、フィルター表示またはフィルターサインをリセットしてください。
このフィルターは洗って再使用できません。ほこりや油汚れの多い環境でご使用の場合は、表示に関係なく、こまめにホコリを掃除機で吸い取ってお手入れしてください。
フィルターのお手入れをしない場合は、水漏れの原因になることがありますので、ご注意ください。

[リセット方法]

● ワイヤードリモコンの場合

ワイヤードリモコンのフィルターリセットボタンを押す。(表示部の“フィルター”が消灯)

● 多機能ワイヤードリモコンの場合

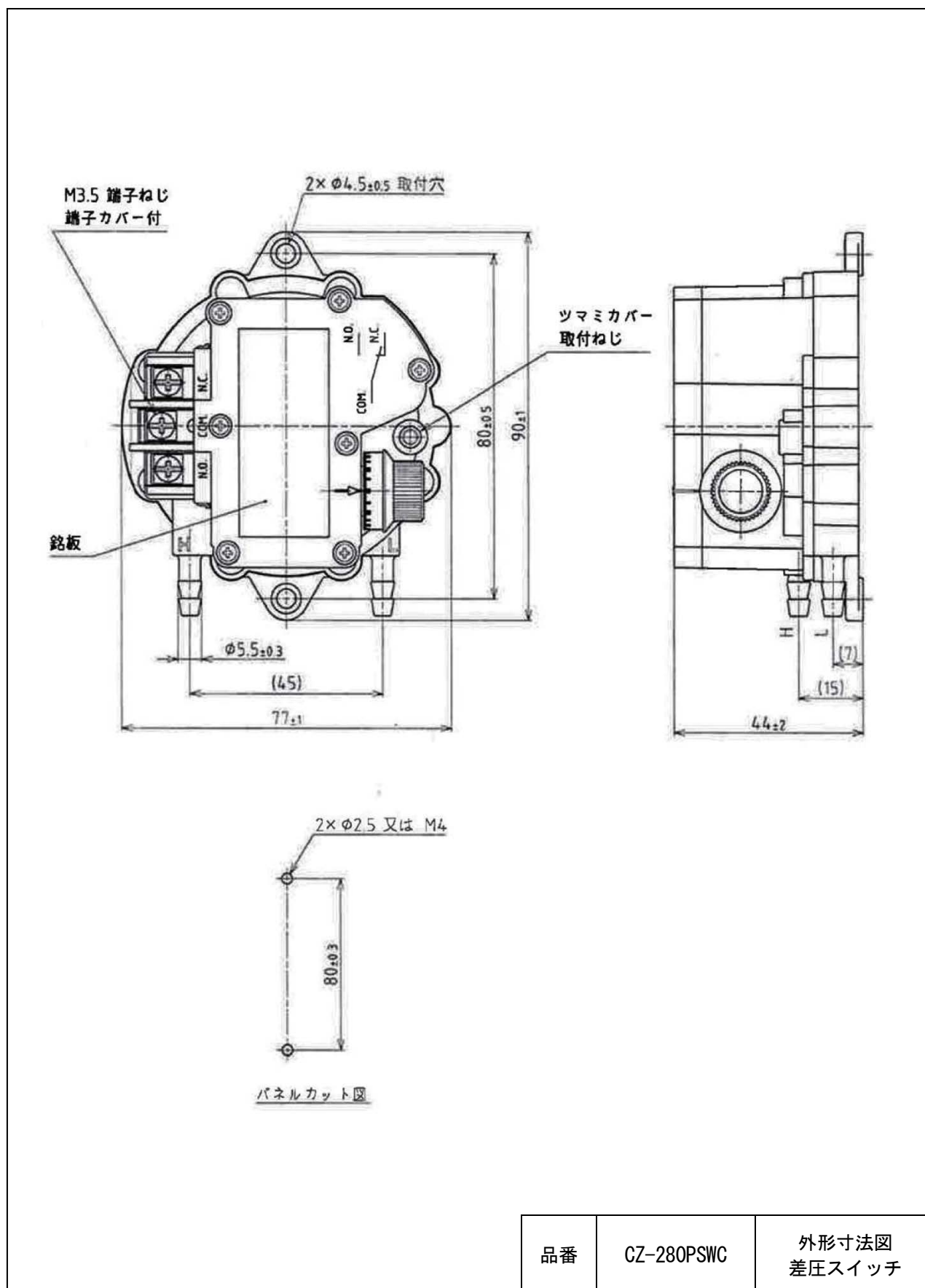
- メニュー画面を出す**
「メニュー」を押す
メニュー 20:30 (木)
1. エアコン基本操作説明
2. 風向設定
3. 個別風向固定設定
4. 切/入タイマー設定
↓ 選択 ▶ ページ送り [決定] 確定
- 「フィルター情報」を選ぶ**
↑ → 決定 を押す
メニュー 20:30 (木)
5. ウィークリータイマー設定
6. フィルター情報
7. 昇降グリル操作
8. 室外静音設定
↓ 選択 ◀ ページ送り [決定] 確定
- 「フィルターサインリセット」を選ぶ**
↓ → 決定 を押す
フィルター情報 20:30 (木)
フィルター清掃時期
フィルターサインリセット
↓ 選択 [決定] 確定
- 「はい」を選ぶ**
← → 決定 を押す
フィルターサインをリセットします。よろしいですか?
はい ◀ いいえ
- トップ画面に戻る**
メニュー を2回押す
会議室 20:30 (木)
運転モード 設定温度 風速
冷房 28 °C 弱
風向
フィルターサイン 消灯を確認してください。

■ 次回のフィルター交換時期は
手順 ③ で「フィルター清掃時期」を選ぶ。

清掃までの運転時間を確認して
メニュー を2回押す
フィルター情報 20:30 (木)
フィルター清掃時期の目安
2500 時間運転後
[戻る] 閉じる

差圧スイッチ (CZ-280PSWC)

■外形寸法図



品番

CZ-280PSWC

外形寸法図
差圧スイッチ

取付説明書 差圧スイッチ

品番 CZ-280PSWC

取り付け工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この取付説明書をよくお読みのうえ取り付けください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
また、この取付説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

**警告**

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

**注意**

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容（禁止事項）です。



実行しなければならない内容（強制事項）です。

**警告**電源配線をバンドなどで束ねて収納しない
(発熱、火災の原因)

配線は途中接続しない

(接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因)

据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って
確実に行う

(ユニットの落下や水漏れ、感電や火災の原因)



配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する

(故障や発熱、火災の原因)



電気工事（アース工事含む）は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」およびこの「据付工事説明書」に従って施工する

(感電、火災のおそれ)



配線をはさまないように、カバーは元どおり確実に取り付ける

(感電、火災の原因)

**注意**室内ユニットのアルミフィンにさわらない
(けがの原因)

■据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

●差圧スイッチ

CZ-280PSWC

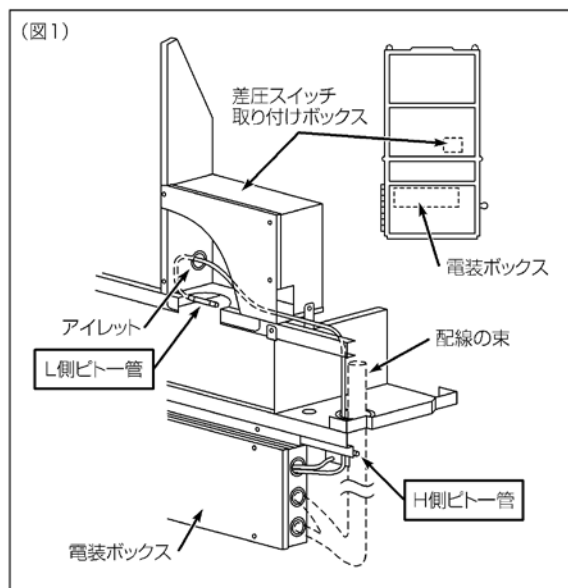
フィルターの上面、下面の差圧を測定し、目盛り信号をリモコンに表示して清掃の必要性を知らせます。

■付属品

名 称	形 状	個 数	備 考	名 称	形 状	個 数	備 考
差圧スイッチ		1		ホース		1	(H側) L1000
アイレット		1		ネジ		2	TOTA 4×10
ピトー管		2		クランパー		2	
ホース		1	(L側) L2000	差圧スイッチ コネクタ 2P (白)		1	

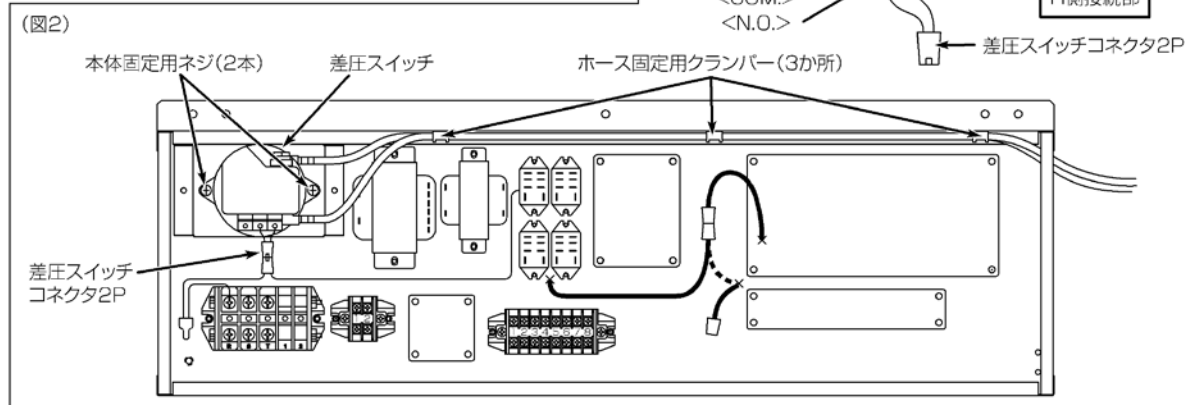
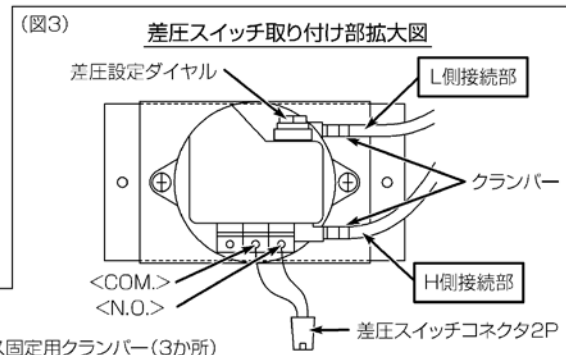
■取付けかた

1. アイレットを丸穴に取り付けてください。(図 1)
2. 差圧スイッチ本体を、電装ボックスに付属のネジ(2 本)で固定してください。(図 2)
3. 差圧スイッチコネクタ 2P (白) を差圧スイッチ端子に取り付け(図 3) 電装ボックス内の同色のコネクタと連結してください。(図 2)



4. ピトー管を 2 か所に固定し L 側、H 側に注意して差圧検出用のホースを接続してください。(図 1)
5. 差圧検出用のホースを差圧スイッチ本体に L 側、H 側を注意して接続してください。ホースを付属のクランパーで固定してください。(図 3)
6. 電装ボックス内でのホースは、電装ボックス内のクランパー(3 か所)で固定してください。この時ホースをつぶすことのないよう注意してください。(図 2)
7. 差圧設定時には、〈差圧スイッチ目盛の設定方法ラベル〉を参照し差圧設定ダイヤルにて設定してください。〈差圧スイッチ目盛の設定方法ラベル〉は、電装ボックスふたに貼ってあります。
8. ホースの固定箇所やホースの曲がり部分は、最後に必ずつぶれないことを確認してください。

(mm)	
L	H
2000	1000

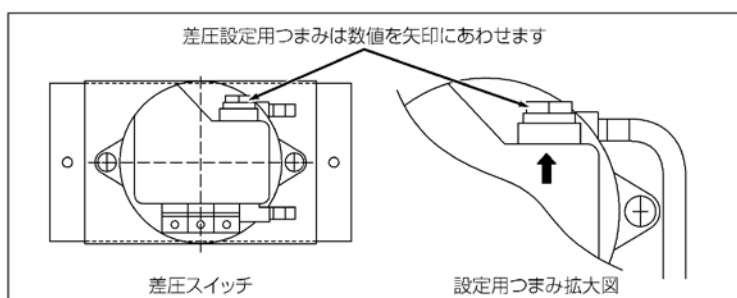


■ 目盛の設定方法

フィルターの目詰り時期を知らせるため、フィルターの種類および組み込む機種に応じて、差圧スイッチ目盛の数値設定をしてください。

室内ユニット形式	使用フィルター	フィルター機種名	Hz	差圧スイッチ目盛の設定値
140形	高性能フィルター (JIS比色法65%)	CZ-140HKWN4	50	150
	高性能フィルター (JIS比色法90%)	CZ-140SHWN4	60	160
224形	高性能フィルター (JIS比色法65%)	CZ-224HKWN4	50	180
	高性能フィルター (JIS比色法90%)	CZ-224SHWN4	60	190
280形	高性能フィルター (JIS比色法65%)	CZ-280HKWN4	50	240
	高性能フィルター (JIS比色法90%)	CZ-280SHWN4	60	280

- 差圧スイッチは電装ボックス内へ取り付けとなります。取り付け後、ダイヤルを回転させて差圧を設定してください。



■ 室内ユニットの設定変更 (ユニットが停止中に行ってください。)

リモコンの詳細設定操作で、室内ユニットの設定を変更してください。

※ご注意

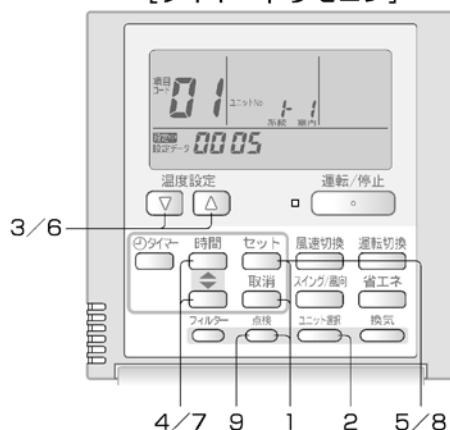
- ・ 詳細設定はシステムの動作にとって非常に重要な項目の設定です。誤った設定をすると不具合を生じますので、作業は十分慎重に行ってください。
- ・ 他の項目コードも表示されますが、そらの設定データは工場出荷時に機種別に最適な設定をしていますので変更しないでください。

〔ワイヤードリモコン CZ-10RT3 シリーズで設定する場合〕

● 操作方法

1. ワイヤードリモコンの **点検** と **セット** と **取消** ボタンを3つ同時に4秒以上押して、リモコンの **設定中** 表示が点滅することを確認し、詳細設定モードに入ったことを確認します。
(「ユニットNo.」に表示されるアドレスを持つ室内ユニットのファンが動きます。)
2. **ユニット選択** ボタンを押すごとに、室内ユニットが選択されます。(この時、選択しているユニットのファンが回転します。)
3. 詳細設定モードに入ると、最初に項目コード10(形式)が表示されますので温度設定 **▽・△** ボタンを押して項目コード01(フィルター種別)を選択します。
4. 時間 **設定** ボタンを押して設定データを0005(目詰まりセンサーを使用)に変更します。
(工場出荷時の設定データは0000(無し)です。)
5. **セット** ボタンを押して **設定中** の表示が点滅から点灯に変化したことを確認してください。
(セットボタンを押さないと、設定データは変更されません。)
6. 次に温度設定 **▽・△** ボタンを押して項目コード2A(オプション異常入力)を選択します。
7. 時間 **設定** ボタンを押して設定データを0000(フィルター(差圧スイッチ)入力)に変更します。
(工場出荷時の設定データは0002(加湿器入力)です。)
8. **セット** ボタンを押して **設定中** の表示が点滅から点灯に変化したことを確認してください。
(セットボタンを押さないと、設定データは変更されません。)
9. **点検** ボタンを押して、リモコンの表示が消えたことを確認します。
(詳細設定モード終了)

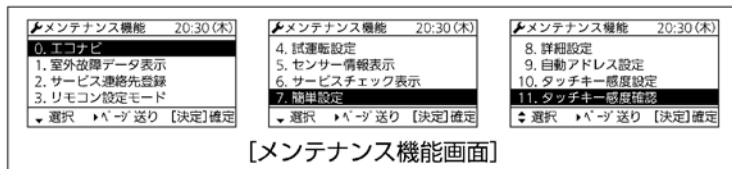
〔ワイヤードリモコン〕



[多機能ワイヤードリモコン CZ-10RT4シリーズで設定する場合]

●操作方法

1. **戻る** + **決定** + **▶** ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。
2. **▼** / **▲** ボタンで選択、**◀** / **▶** ボタンでページが切り替わります。
必要な機能のページを表示し、選択してください。



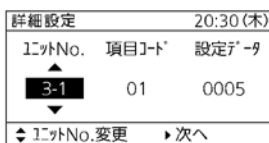
[メンテナンス機能画面]

[多機能ワイヤードリモコン]



3. **▼** / **▲** ボタンで「8.詳細設定」を選択し、**決定** ボタンを押してください。詳細設定画面が表示されます。
4. **◀** / **▶** ボタンでユニットNo./項目コード/設定データの選択を切り替えてください。
 - ・ **▼** / **▲** ボタンでユニットNo.: 設置するユニットを選択します。
 - ・ **◀** / **▶** ボタンで項目コードを選択し、**▼** / **▲** ボタンでデータを01 (フィルター種別) に変更してください。
 - ・ **◀** / **▶** ボタンで設定データを選択し、**▼** / **▲** ボタンでデータを0005 (目詰まりセンサーを使用) に変更し、**決定** ボタンを押してください。
(工場出荷時の設定データは、0000 (フィルターなし) です。)
 - ・ **◀** / **▶** ボタンで項目コードを選択し、**▼** / **▲** ボタンでデータを2A (オプション異常入力) に変更してください。
 - ・ **◀** / **▶** ボタンで設定データを選択し、**▼** / **▲** ボタンでデータを0000 (フィルター (差圧スイッチ) 入力) に変更し、**決定** ボタンを押してください。
(工場出荷時の設定データは、0002 (加湿器入力) です。)

続けて別の系統を設定する場合はユニットNo.を変更し、**決定** ボタンを押してください。
5. ユニットNo.、項目コード、設定データの変更が終わったら、**戻る** ボタンを押し、再起動: 「はい」を選択し、**決定** ボタンを押してください。(設定を終了し再起動します。)
(5.の操作で再起動を行わないと、設定データは変更されません。)



[詳細設定画面]

(13) 床置形ハイフレッシュ

高性能フィルター JIS比色法65% (AFT-MD250S)

JIS比色法90% (AFT-HD250S)

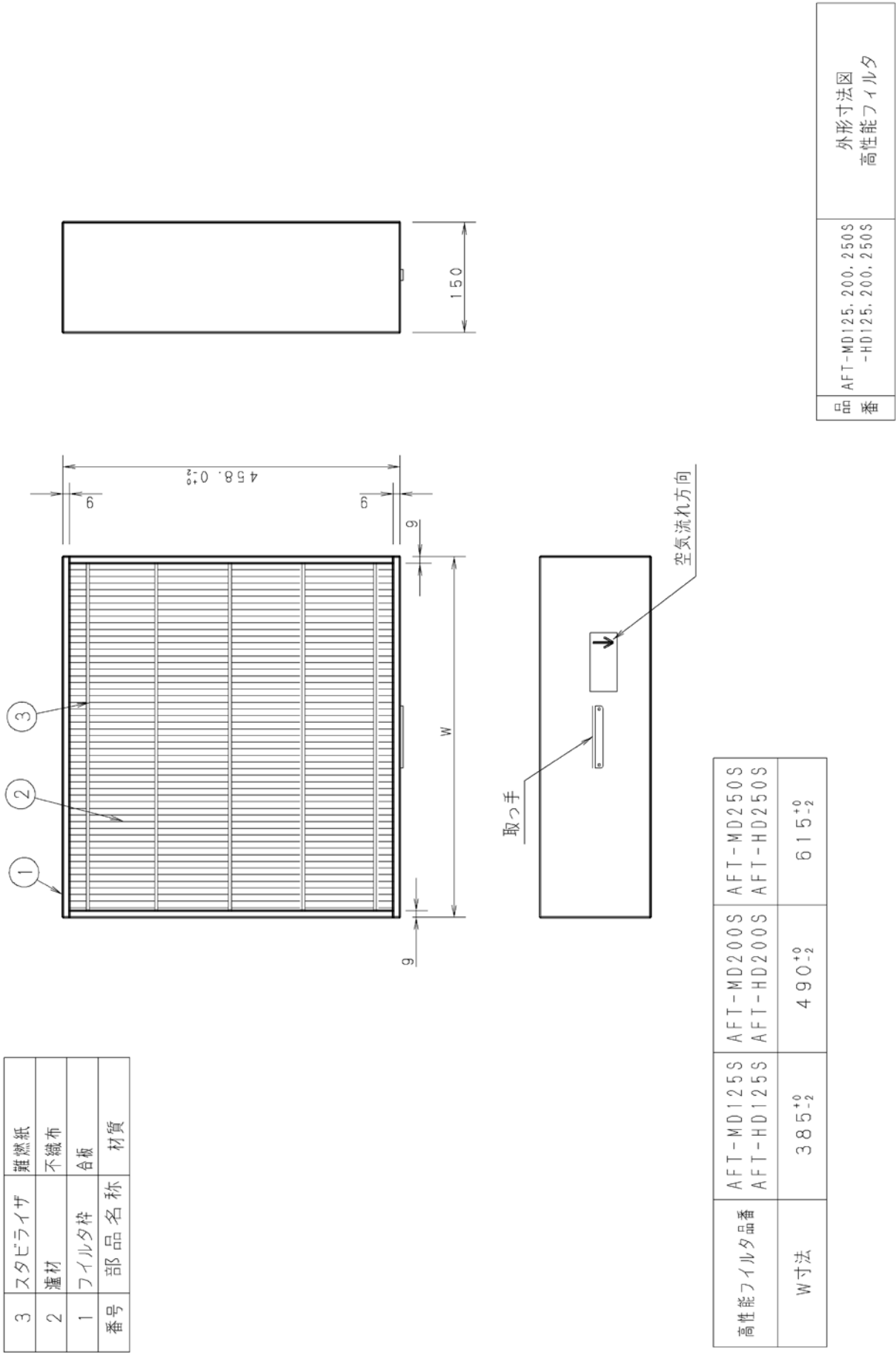
■ 仕様

名 称			高 性 能 フ ィ ル タ ー	
品 番			AFT-MD250S	AFT-HD250S
適 用 機 種			200形	200形
定 格 風 量	m ³ /min		33.3	33.3
最 終 風 量	m ³ /min		30	30
初 期 圧 損	Pa		14.7	19.6
最 終 圧 損	Pa		83.3	83.3
保 塵 量	g/ユニット		594	475
フィルター寿命	時 間		5,000	4,000
平 均 効 率			JIS 比色法 65% (ダスト JIS 11 種)	JIS 比色法 90% (ダスト JIS 11 種)
使 用 濾 材			東洋紡-EF60NK (難燃材)	
織 維			ポリオレフィン系 帯電繊維	
フィルター 外形寸法	幅	mm	615×2	
	奥行	mm	458	
	厚み	mm	150	

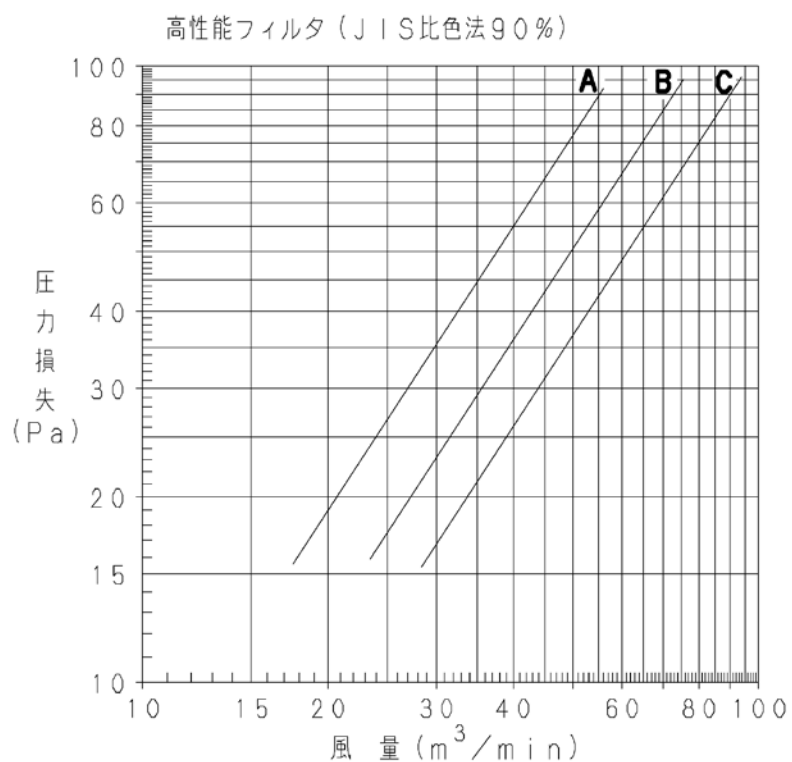
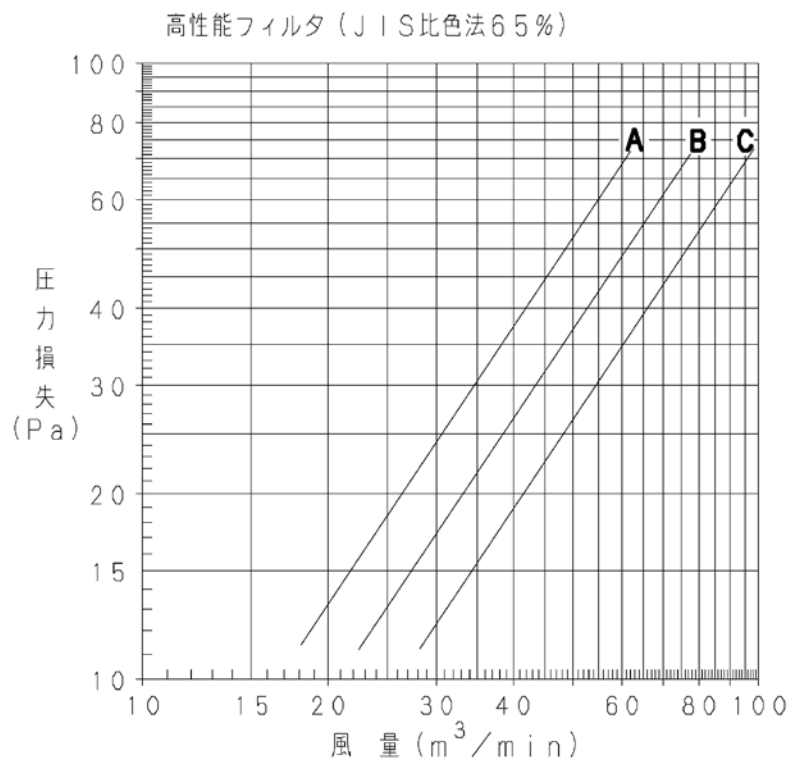
※注意事項

- 最終圧損、保塵量、寿命は強タップ (HH, H) または最大周波数時の値です。
- フィルター寿命 (時間) は塵埃濃度 0.15mg/m³ (ビル管理法規制値) として算出しています。
寿命 (時間) は現場条件によって異なります。
- 保塵量はダスト JIS 15 種での値です。現場保塵量は現場条件によって異なります。

■外形寸法図

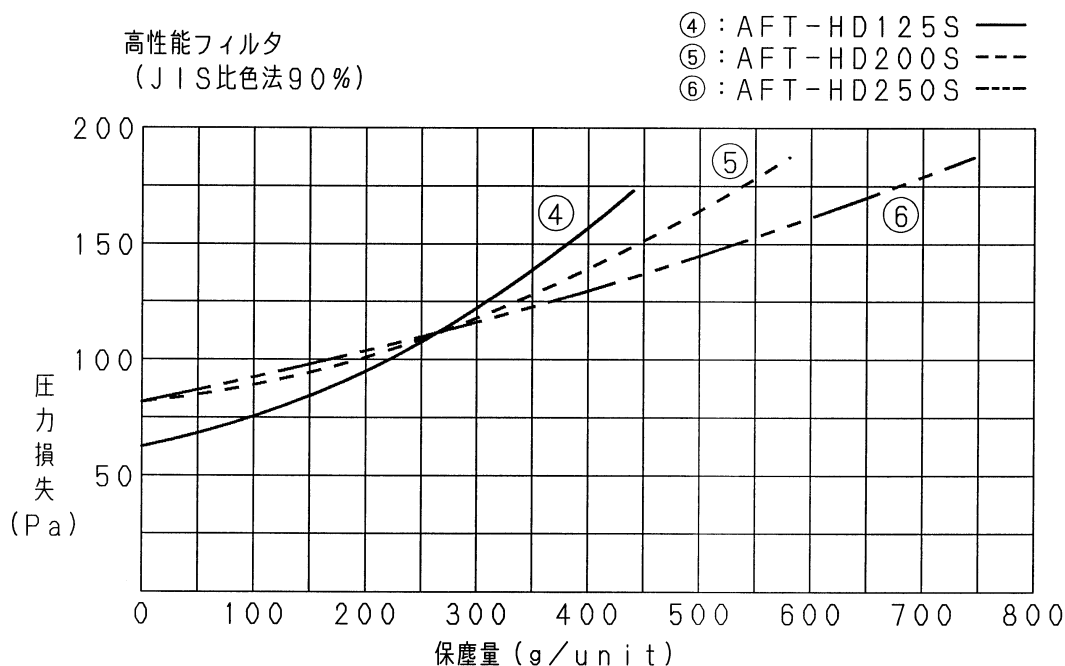
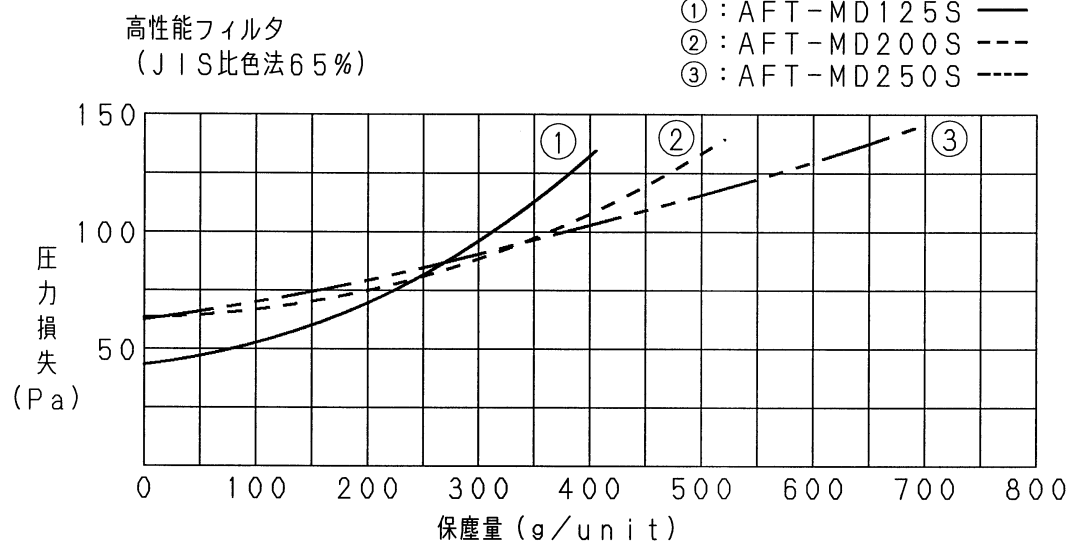


■ 風量－圧力損失特性図



品番	AFT-MD125, 200, 250S -HD125, 200, 250S	風量－圧力損失特性図 高性能フィルタ
----	---	-----------------------

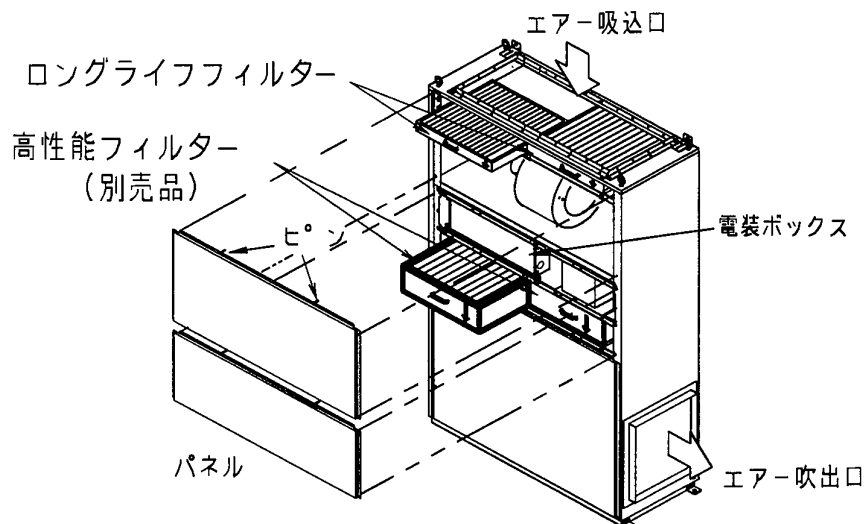
■ 保塵量に対する圧力損失



品番	AFT-MD125, 200, 250S -HD125, 200, 250S	保塵量-圧力損失特性図 高性能フィルタ
----	---	------------------------

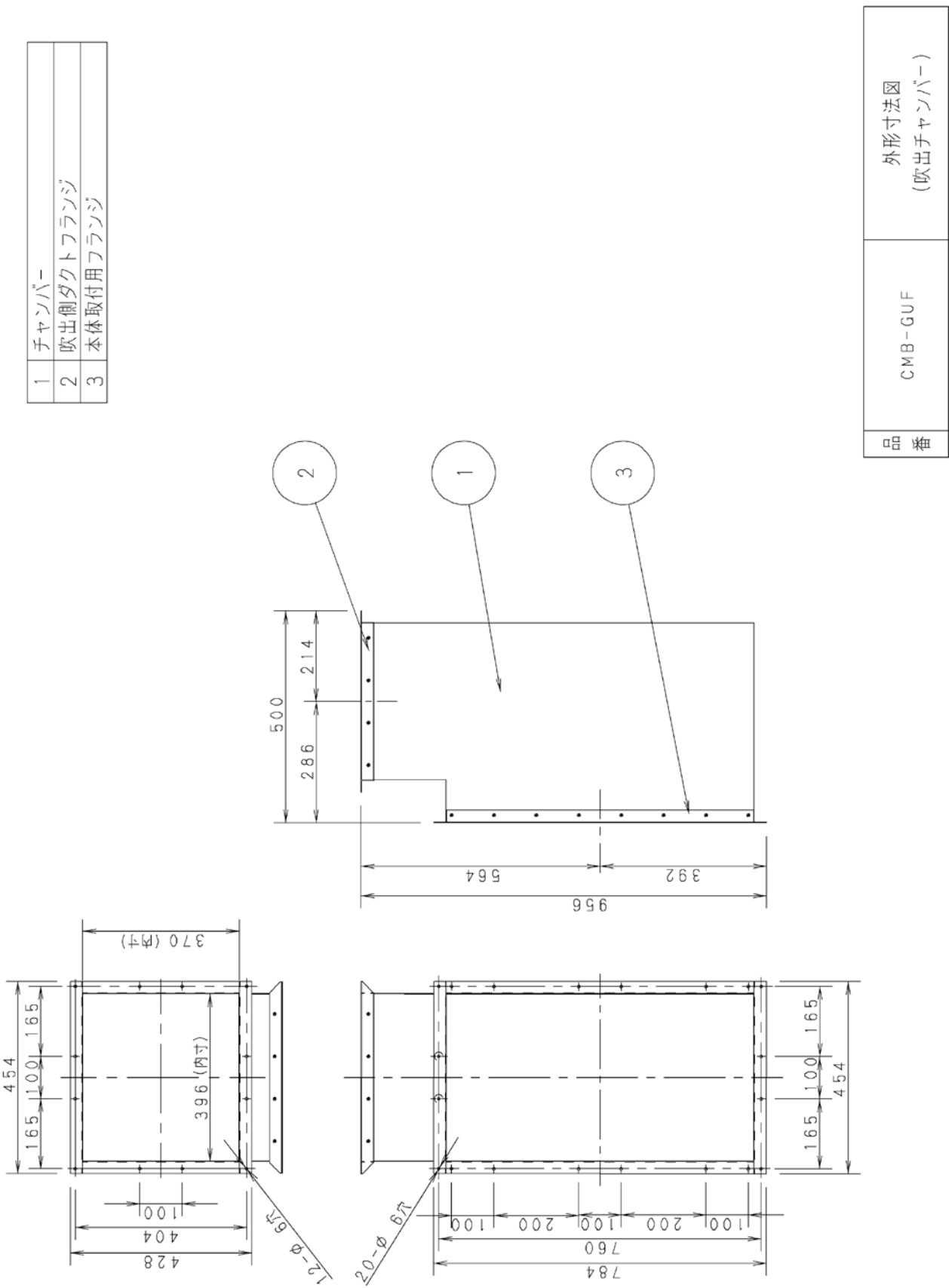
■取付け方

- ・フィルターは必ず矢印を下向きにして取り付けてください。
- ・パネルを外す場合、パネルが落下しないように注意してください。
- ・パネル上部はピン2本で引っかかっていますのでパネルをやや持ち上げぎみにしますとはずれやすくなります。



吹出しチャンバー (CMB-GUF)

■外形寸法図



取付説明書

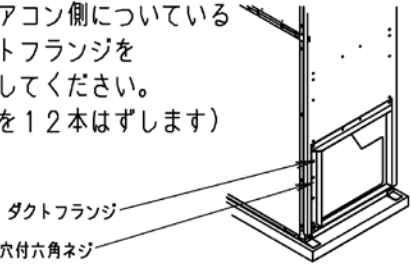
① 適合エアコン

② 付属部品

名 称	パネル断熱材	ダクト断熱材	十字穴付六角ネジ
形 状			
個 数	1	1	32
備 考	厚さ 15 (粘着剤付)		

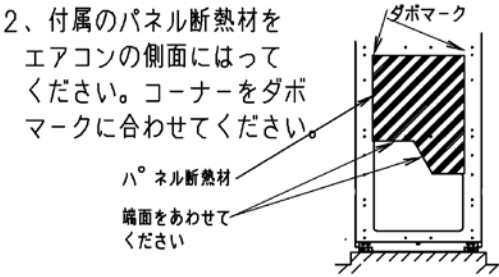
③ 取付け方法

1、エアコン側についているダクトフランジをはずしてください。
(ビスを12本はずします)



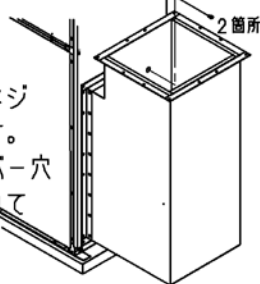
ダクトフランジ
十字穴付六角ネジ

2、付属のパネル断熱材をエアコンの側面にはってください。コーナーをダボマークに合わせてください。



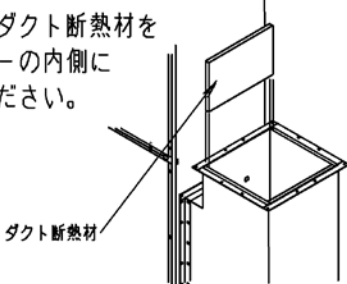
ダボマーク
パネル断熱材
端面をあわせてください

3、吹出チャンバーを取り付けてください。付属の十字穴付六角ネジ20本でとりつけます。うち2箇所はチャンバー穴よりドライバーを入れてとめてください。



2箇所

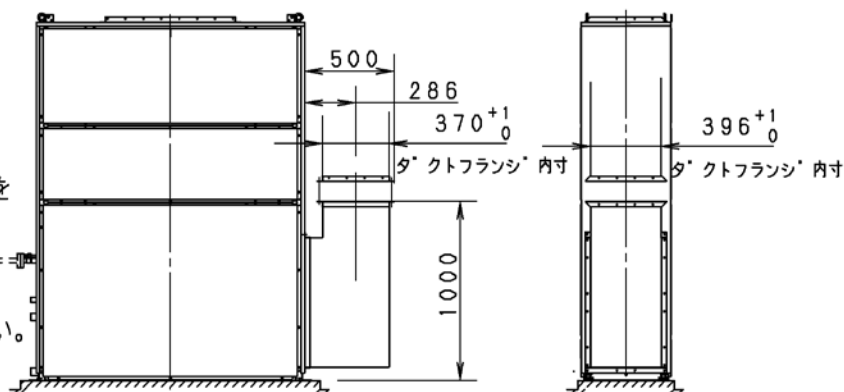
4、付属のダクト断熱材をチャンバーの内側にはってください。



ダクト断熱材

④ 取付後の寸法

吹出チャンバーへのダクト接続は、3-1ではずしたダクトフランジを使用してください。フランジどうしの結合は、付属の十字穴付六角ネジ12本を使用してください。



(14) 天井埋込形ハイフレッシュ

フィルター関連

●高性能フィルター（JIS比色法90%）〔適用機種：110形〕

■仕様＜SPW-HFU125R＞

名 称	高性能フィルター（JIS比色法90%）	
品 番	SPW-HFU125R	
適 用 機 種	天井埋込形ハイフレッシュ	
	110形	
初 期 風 量 (m ³ /min)	18.3	
最 終 風 量 (m ³ /min)	12.3/14.2	
初 期 圧 損 [Pa]	15.7	
最 終 圧 損 [Pa]	90.2	
保塵量 (g/ユニット) ダストJIS15種	329	
フィルター寿命 (時間)	5000	
平均効率 ダストJIS11種	JIS比色法90%	
使 用 濾 材	ポリオレフィン系 帯電繊維	
フィルター外形寸法 (mm)	幅	495×2
	高さ	380
	厚み	150
フィルターチャンバー	品番	SPW-MFU125RR
	質量 (kg)	12

●高性能フィルター（JIS比色法65%）〔適用機種：110形〕

■仕様＜SPW-MFU125R＞

名 称	高性能フィルター（JIS比色法65%）	
品 番	SPW-MFU125R	
適 用 機 種	天井埋込形ハイフレッシュ	
	110形	
初 期 風 量 (m ³ /min)	18.3	
最 終 風 量 (m ³ /min)	14.7/15.7	
初 期 圧 損 [Pa]	11.8	
最 終 圧 損 [Pa]	54.9	
保塵量 (g/ユニット) ダストJIS15種	329	
フィルター寿命 (時間)	5000	
平均効率 ダストJIS11種	JIS比色法65%	
使 用 濾 材	ポリオレフィン系 帯電繊維	
フィルター外形寸法 (mm)	幅	495×2
	高さ	380
	厚み	85
フィルターチャンバー	品番	SPW-MFU125RR
	質量 (kg)	12

- 高性能フィルター JIS比色法65% <AFT-MU280U>
JIS比色法90% <AFT-HU280U>

■仕様

名 称		高性能フィルター（JIS 比色法 6 5 %）		高性能フィルター（JIS 比色法 9 0 %）	
品 番		A F T - M U 2 8 0 U		A F T - H U 2 8 0 U	
適 用 機 種		天井埋込形ハイフレッシュ			
		1 7 0 形	2 1 0 形	1 7 0 形	2 1 0 形
初 期 風 量（m ³ ／min）		2 7 . 8 ／ 2 8 . 0	3 4 . 3 ／ 3 4 . 4	2 7 . 5 ／ 2 7 . 7	3 3 . 8 ／ 3 4 . 0
最 終 風 量（m ³ ／min）		2 1 . 8 ／ 2 1 . 3	2 6 . 7 ／ 2 6 . 0	2 1 . 8 ／ 2 1 . 3	2 6 . 7 ／ 2 6 . 0
初 期 圧 損〔Pa〕		1 0	1 5	1 5	2 0
最 終 圧 損〔Pa〕		7 0	7 0 ／ 8 0	7 0	7 0 ／ 8 0
保 塵 量（g／ユニット）		5 0 0	6 2 0	5 0 0	6 2 0
フィルター寿命（時間）		5 0 0 0	5 0 0 0	5 0 0 0	5 0 0 0
平 均 効 率		J I S 比色法 6 5 %（J I S 1 1 種）		J I S 比色法 9 0 %（J I S 1 1 種）	
使 用 濾 材		ポリオレフィン系 帯電繊維			
質 量（k g）		3 . 2 × 2			
フィルター外形寸法 （mm）	幅	6 0 0 × 2			
	高さ	4 2 0			
	厚み	1 5 0			
フィルターチャンバー	品番	CMB－FU280U			
	寸法（mm）	（H）470×（W）1247×（D）521			
	質量（kg）	26			

ご注意：フィルター寿命は、塵埃濃度 0.15mg/m³（ビル管理法規制値）で算出した値を示します。（ダスト JIS15 種）
またフィルターの寿命は、現場条件により異なりますのでご注意ください。

●ロングライフフィルター [適用機種：110形]

■仕様＜SPW-LFU125R1＞

名 称	ロングライフフィルター	
品 番	SPW-LFU125R1	
適 用 機 種	天井埋込形ハイフレッシュ	
	110形	
初 期 風 量 (m ³ /min)	18.3	
最 終 風 量 (m ³ /min)	—	
初 期 圧 損 [Pa]	2.9	
最 終 圧 損 [Pa]	—	
フィルター寿命 (時間)	5000	
平均効率 ダスト JIS15 種	JIS重量法60%	
使 用 濾 材	ポリエステルSPB	
フィルター外形寸法 (mm)	幅	495×2
	高さ	380
	厚み	50
フィルタチャンバー	品番	SPW-MFU125RR
	質量 (kg)	12

●ロングライフフィルター＜AFT-LU280U＞

■仕様

名 称		ロングライフフィルター	
品 番		AFT-LU280U	
適 用 機 種		天井埋込形ハイフレッシュ	
		170形	210形
初 期 風 量 (m ³ /min)		28.1	34.6
最 終 風 量 (m ³ /min)		—	—
初 期 圧 損 [Pa]		5	7
最 終 圧 損 [Pa]		—	—
保 塵 量 (g/ユニット)		500	620
フィルター寿命 (時間)		5000	5000
平 均 効 率		JIS重量法60% (JIS15種)	
使 用 濾 材		ポリエステル	
質 量 (kg)		1.6×2	
フィルター外形寸法 (mm)	幅	600×2	
	高さ	420	
	厚み	50	
フィルターチャンバー	品番	CMB-FU280U	
	寸法 (mm)	(H) 470× (W) 1247× (D) 521	
	質量 (kg)	26	

ご注意：フィルター寿命は、塵埃濃度 0.15mg/m³（ビル管理法規制値）で算出した値を示します。（ダスト JIS15 種）

またフィルターの寿命は、現場条件により異なりますのでご注意ください。

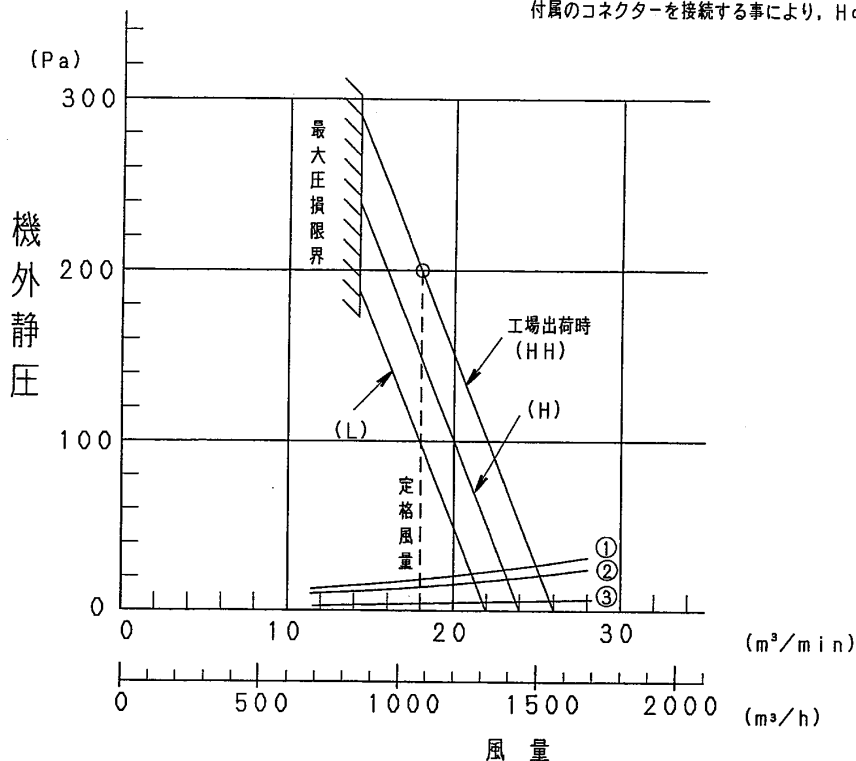
ロングライフフィルターは2回程度までの水道水による洗浄は可能ですが、目詰まりが除去できない場合は新品に交換してください。

■送風機特性

●S-G110XES1

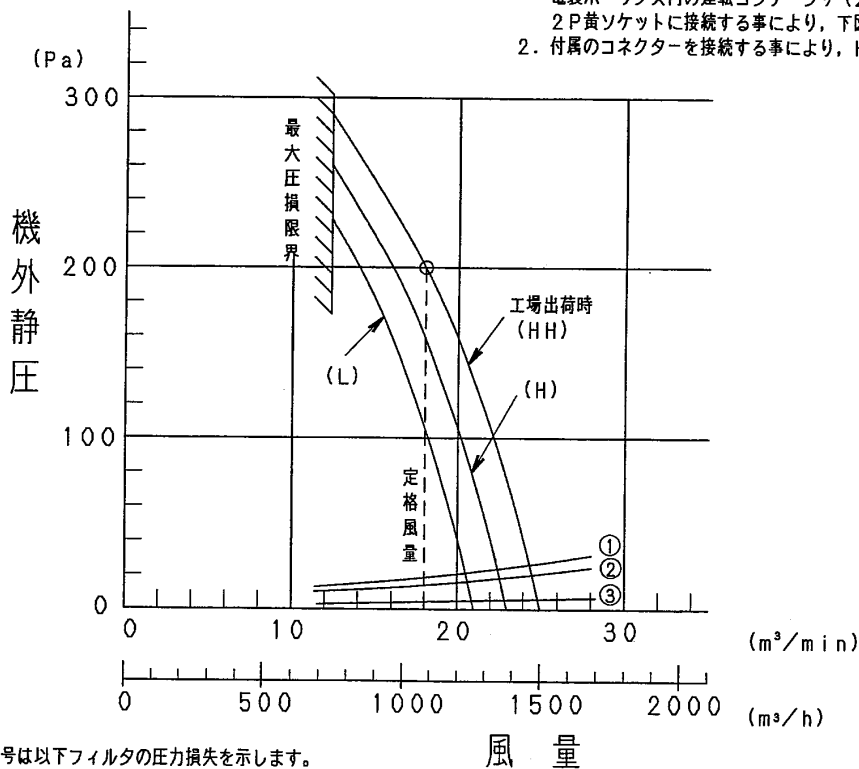
60Hz

工場出荷時は、HHで設定されています。
付属のコネクターを接続する事により、HorL設定に変更できます。



50Hz

- 工場出荷時は、電源周波数60Hz地区で設定されています。
電装ボックス内の運転コンデンスサ(2P青のコネクタ)を外し、
2P黄ソケットに接続する事により、下図のHH特性になります。
- 付属のコネクターを接続する事により、HorL設定に変更できます。



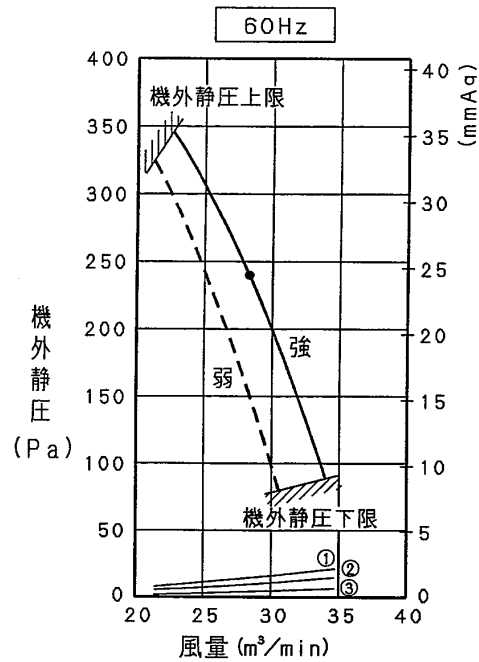
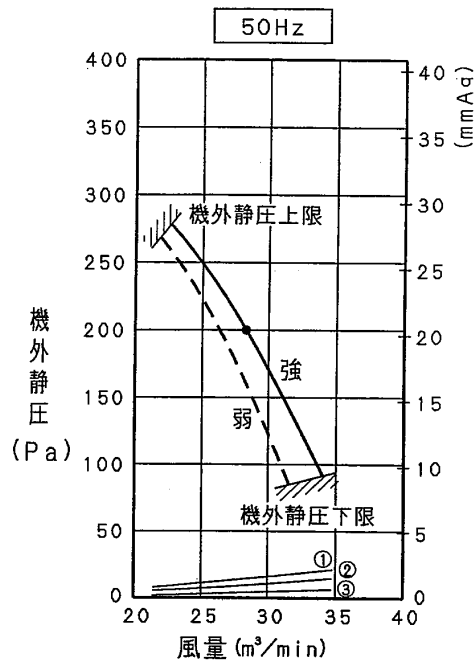
注 記

グラフ中の番号は以下フィルタの圧力損失を示します。

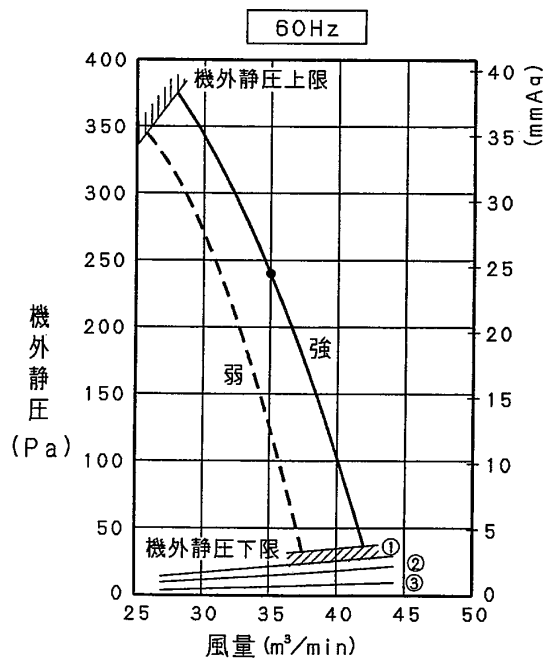
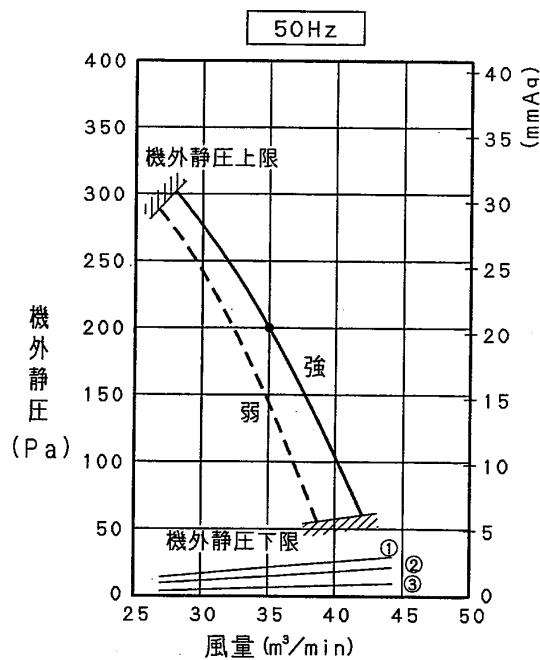
- ① 高性能フィルタ (SPW-HFU155R) 初期圧力損失
- ② 高性能フィルタ (SPW-MFU125R) 初期圧力損失
- ③ ロングライフフィルタ (SPW-LFU125R1) 初期圧力損失

品番	SPW-HFU125R -MFU125R -LFU125R1	送風機特性 (天井埋込形ハイフレッシュ)
----	--------------------------------------	-------------------------

●S-G170XES1



●S-G210XES1



※標準風速は“強”になっています。
風速“弱”は配線のつなぎ替えにより使用できます。

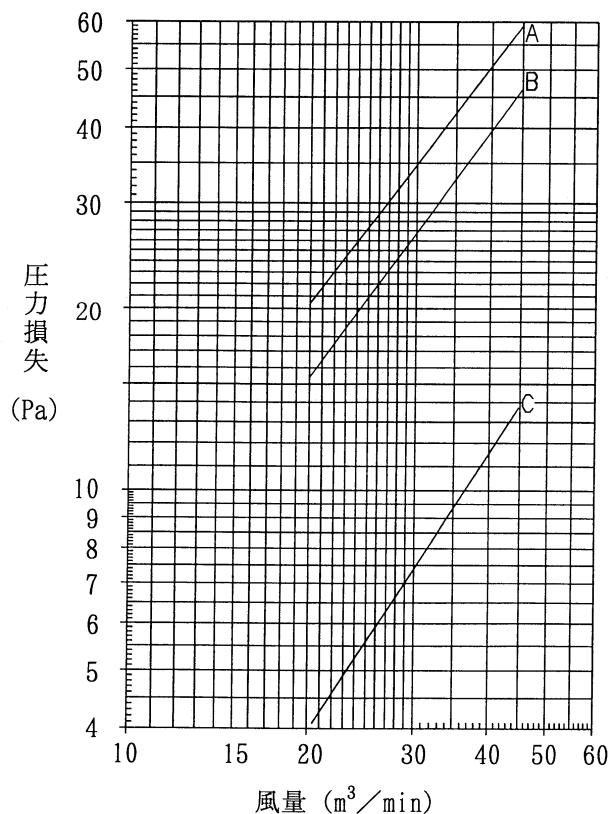
注 記

グラフ中の番号は以下フィルタの圧力損失を示します。

- ① 高性能フィルタ (SPW-HFU155R) 初期圧力損失
- ② 高性能フィルタ (SPW-MFU125R) 初期圧力損失
- ③ ロングライフフィルタ (SPW-LFU125R1) 初期圧力損失

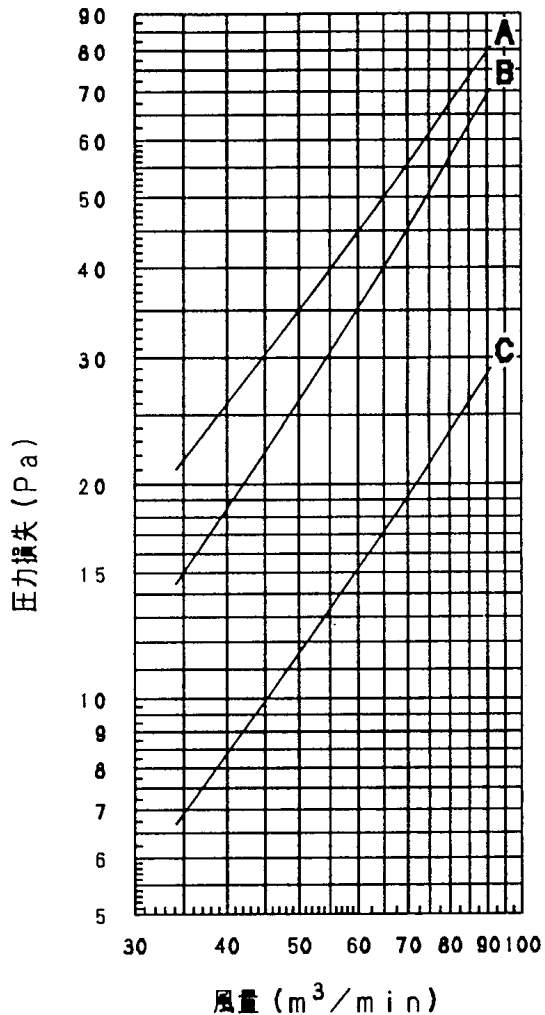
品番	AFT-HU280U MU280U LU280U	送風機特性 (天井埋込形ハイフレッシュ)
----	--------------------------------	-------------------------

■高性能・ロングライフフィルターの圧力損失特性



- A : SPW-HFU125R
(高性能フィルター・JIS比色法90%)
B : SPW-MFU125R
(高性能フィルター・JIS比色法65%)
C : SPW-LFU125R1
(ロングライフフィルター)

■高性能フィルター・ロングライフフィルターの圧力損失特性



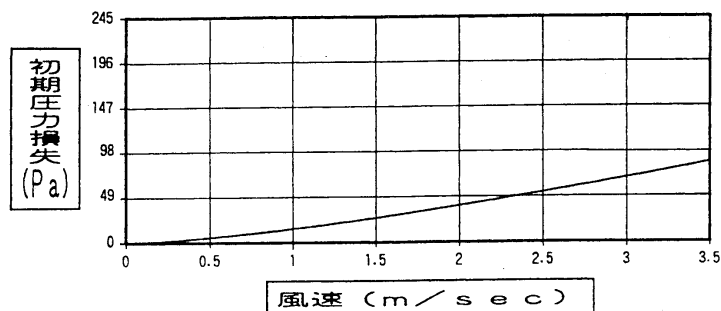
- A : AFT-HU280U
(高性能フィルター・JIS比色法90%)
B : AFT-MU280U
(高性能フィルター・JIS比色法65%)
C : AFT-LU280U
(ロングライフフィルター)

■圧力損失と保塵量特性

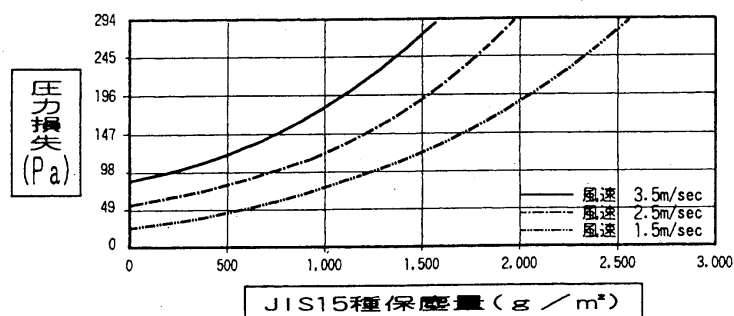
①高性能フィルター（JIS比色法90%）の圧力損失と保塵量特性

●AFT-HU280U [適用機種：天井埋込形ハイフレッシュ 170・210形]

風速と初期圧力損失



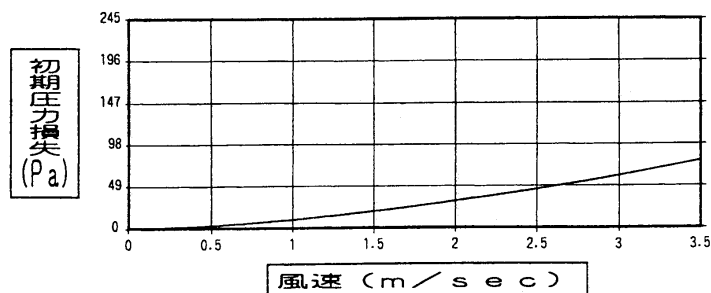
保持容量と圧力損失



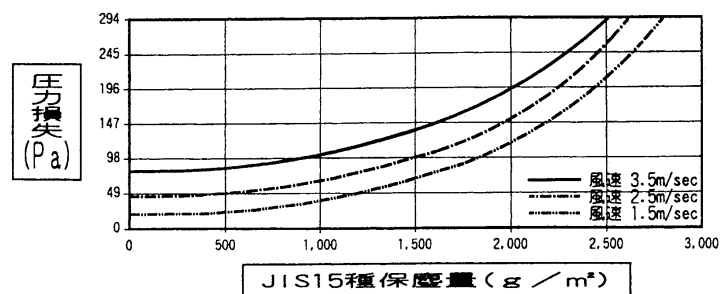
②高性能フィルター（JIS比色法65%）の圧力損失と保塵量特性

●AFT-MU280U [適用機種：天井埋込形ハイフレッシュ 170・210形]

風速と初期圧力損失



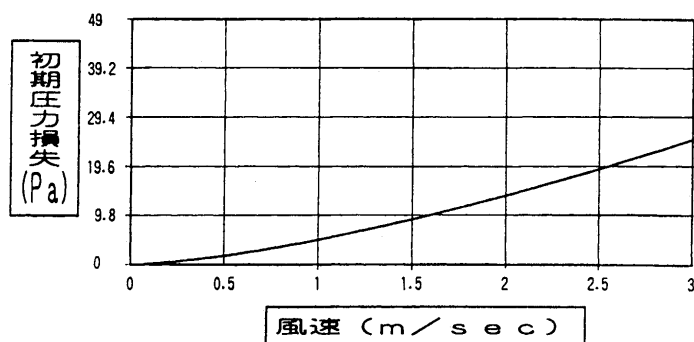
保持容量と圧力損失



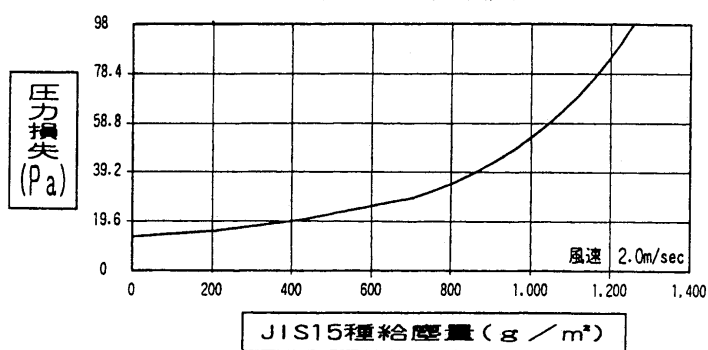
③ロングライフフィルターの圧力損失と保塵量特性

●AFT-LU280U [適用機種：天井埋込形ハイフレッシュ 170・210形]

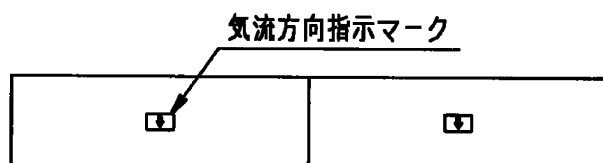
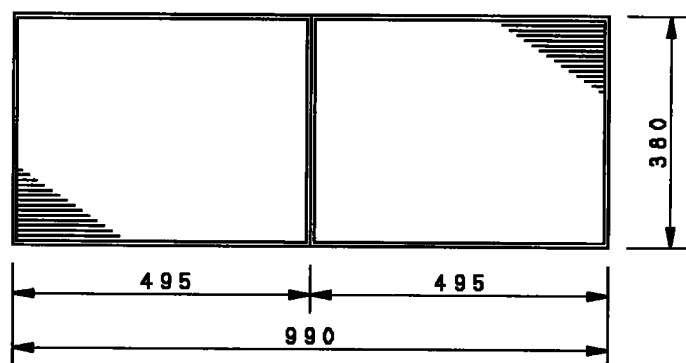
風速と初期圧力損失



保持容量と圧力損失

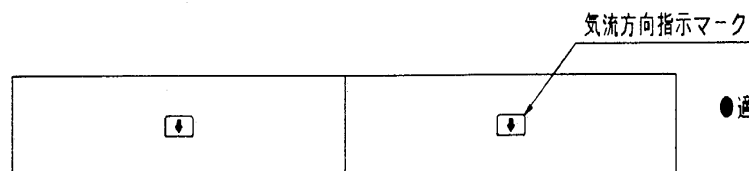
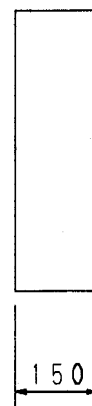
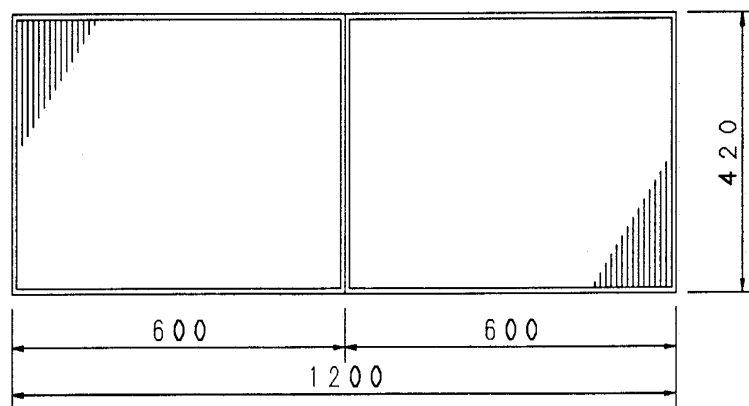


■外形寸法図



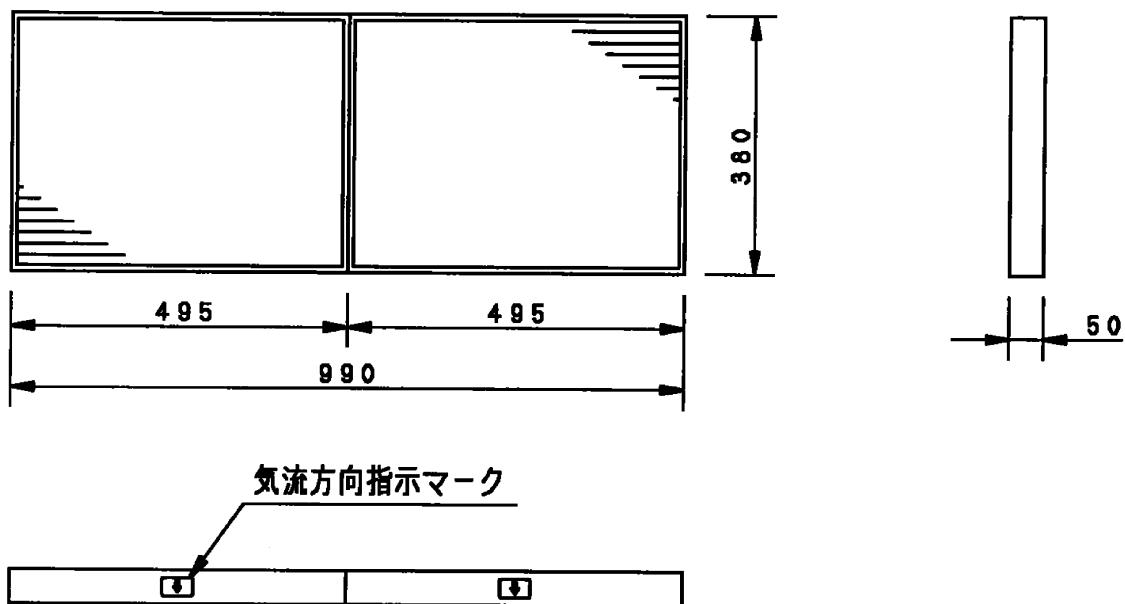
適 用	A寸法 (mm)
SPW-HFU125R	150
SPW-MFU125R	85

品番	SPW-MFU125R(65%) SPW-HFU125R(90%)	高性能フィルター 外形寸法図
----	--------------------------------------	-------------------

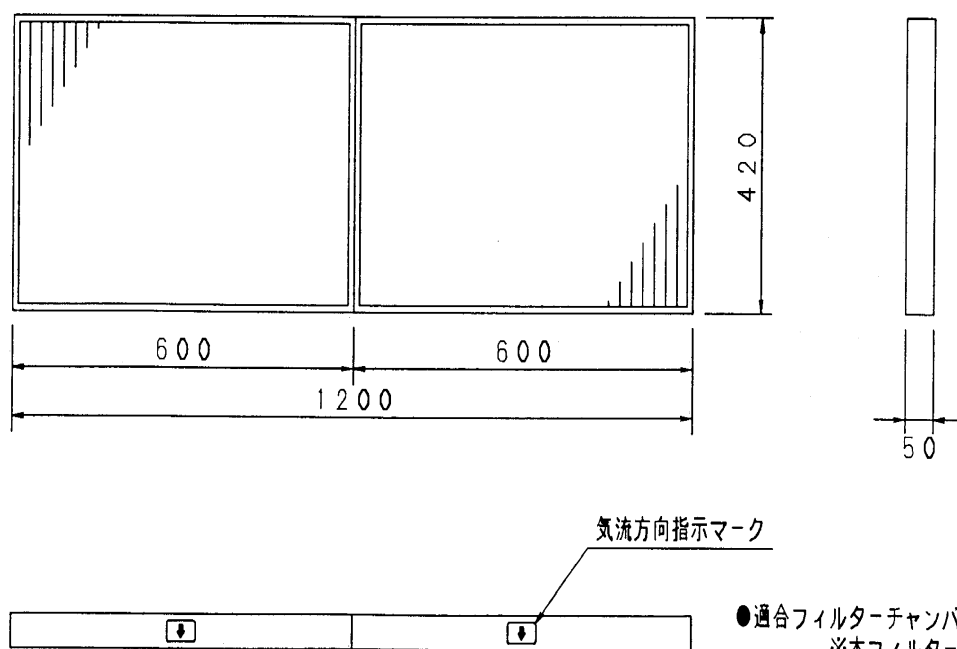


●適合フィルターチャンバー：CMB-FU280U
※本フィルターは2枚1組で使用します。

品番	AFT-MU280U (65%) AFT-HU280U (90%)	高性能フィルター 外形寸法図
----	--------------------------------------	-------------------



品番	SPW-LFU125R1	ロングライフフィルター 外形寸法図
----	--------------	----------------------



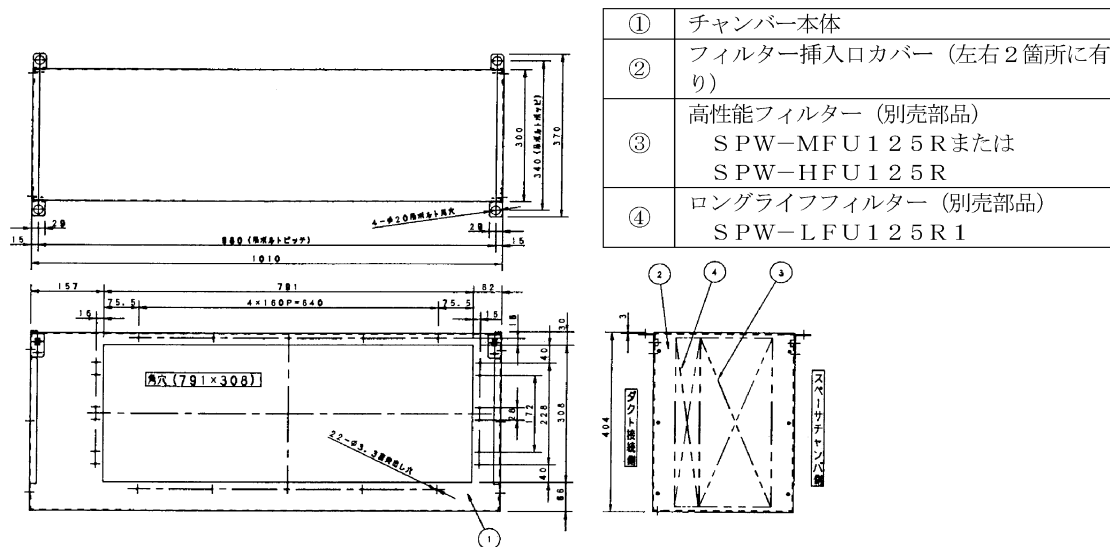
●適合フィルターチャンバー：CMB-FU280U
※本フィルターは2枚1組で使用します。

品番	AFT-LU280U	ロングライフフィルター 外形寸法図
----	------------	----------------------

フィルターチャンバー (SPW-MFU125RR) 110形

(CMB-FU280U) 170・210形

■外形寸法図



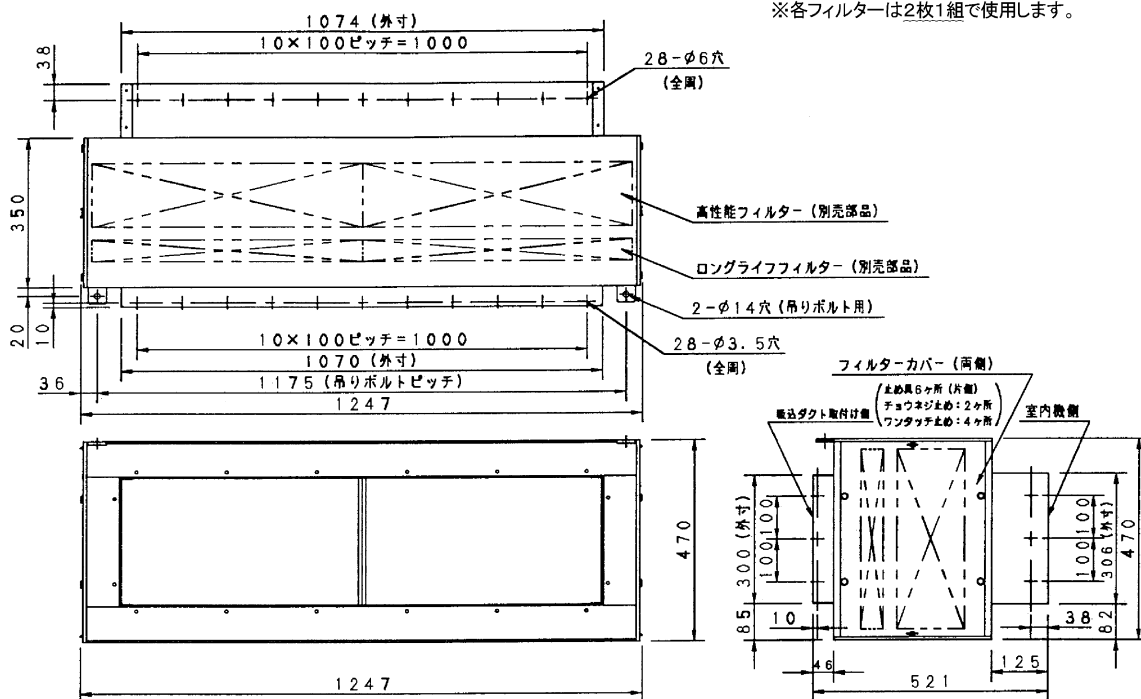
注記：ダクト接続のフランジは、空調機本体の吸込側フランジをはずし、
フィルターチャンバーに取付けます。

品番	SPW-MFU125RR	フィルターチャンバー 外形寸法図
----	--------------	---------------------

【適合フィルター(別売部品)】

高性能フィルター（どちらかを使用）		ロングライフ フィルター
JIS 比色法 65%	JIS 比色法 90%	
AFT-MU280U	AFT-HU280U	AFT-LU280U

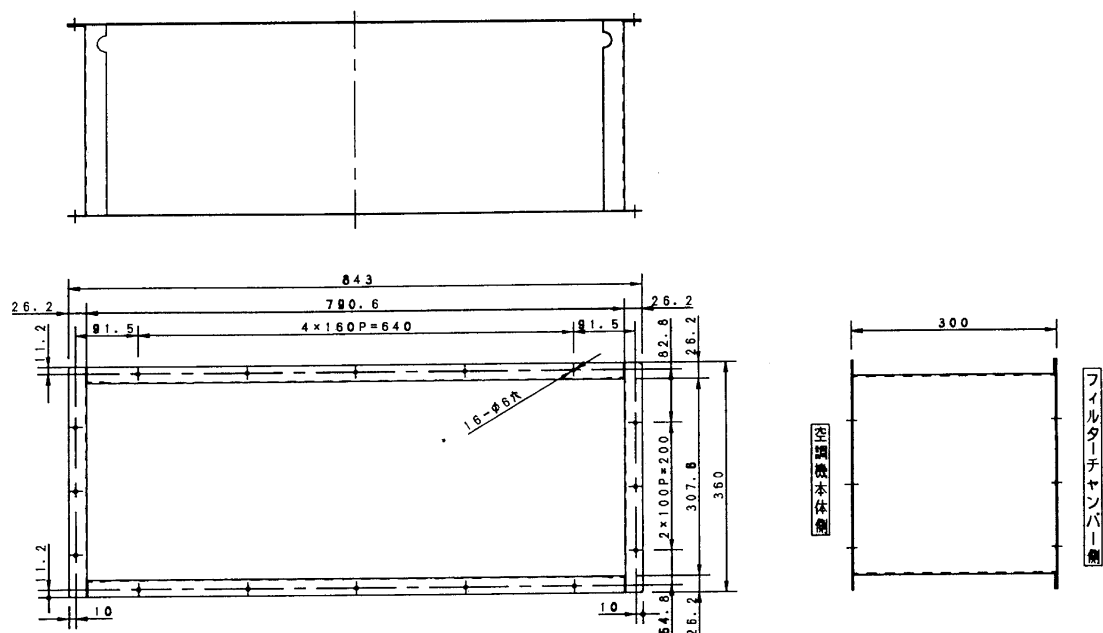
※各フィルターは2枚1組で使用します。



品番	CMB-FU280U	フィルターチャンバー 外形寸法図
----	------------	---------------------

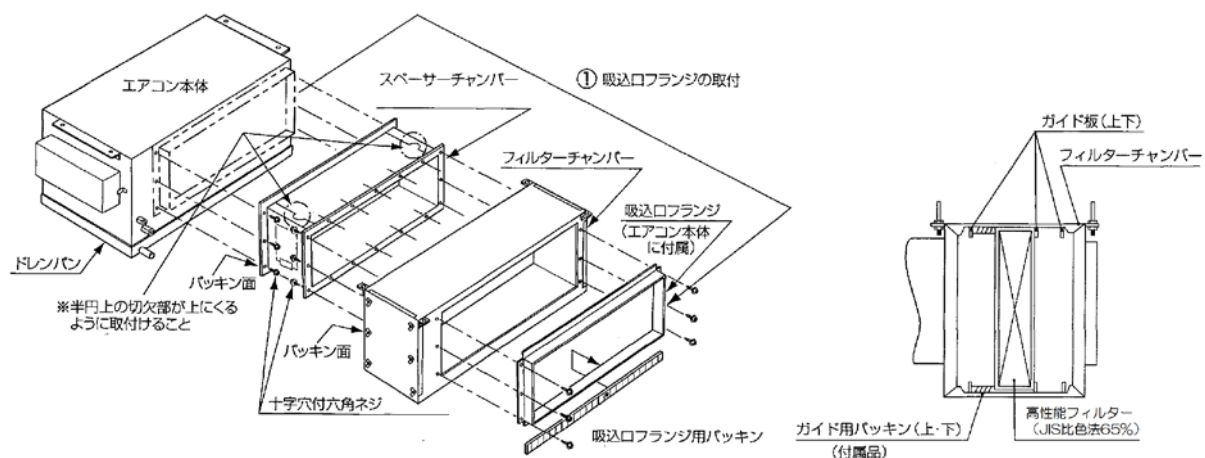
スぺーサーチャンバー (CZ-03SPE3) 110形

■外形寸法図



■施工法

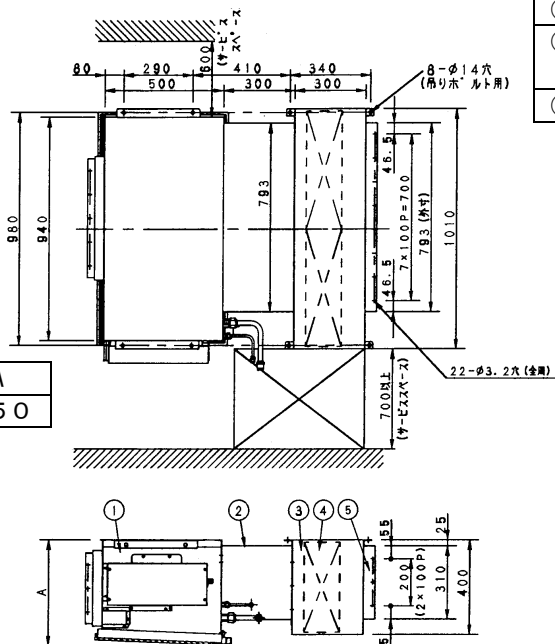
●フィルターのみ使用時



■部品取付図 (高性能フィルター・フィルターチャンバー・スぺンサーチャンバー)

天井埋込形ハイフレッシュ
110形

形式	A
110形	450



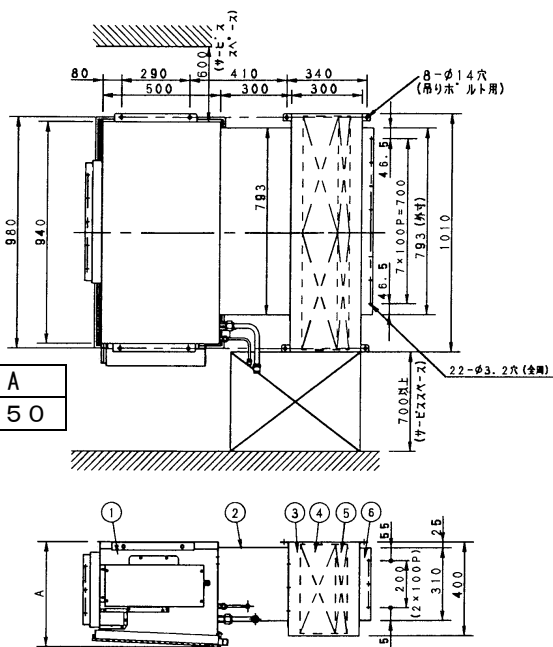
①	天井埋込形本体
②	スぺンサーチャンバー CZ-03SPE3
③	フィルターチャンバー SPW-MFU125RR
④	高性能フィルター SPW-MFU125R (JIS 比色法 65%) SPW-HFU125R (JIS 比色法 90%)
⑤	ダクト接続用フランジ空調機本体を付け替え使用

注記：エアコンの周囲には、点検、保守が
できるようにサービススペースを
確保し、必ず点検口を設けてください。

■部品取付図 (ロングライフフィルター・高性能フィルター・フィルターチャンバー・スぺンサーチャンバー)

天井埋込形ハイフレッシュ
110形

形式	A
110形	450



①	天井埋込形本体
②	スぺンサーチャンバー CZ-03SPE3 (フィルターチャンバー接続用ダクト)
③	フィルターチャンバー SPW-MFU125RR
④	高性能フィルター SPW-MFU125R (JIS 比色法 65%) SPW-HFU125R (JIS 比色法 90%)
⑤	ロングライフフィルター SPW-LFU125R1
⑥	ダクト接続用フランジ空調機本体を付け替え使用

注記：エアコンの周囲には、点検・保守が
できるようにサービススペースを
確保し、必ず点検口を設けてください。

ドレンアップキット (DP-U140B、DP-U280B)

●DP-U140B

■仕様

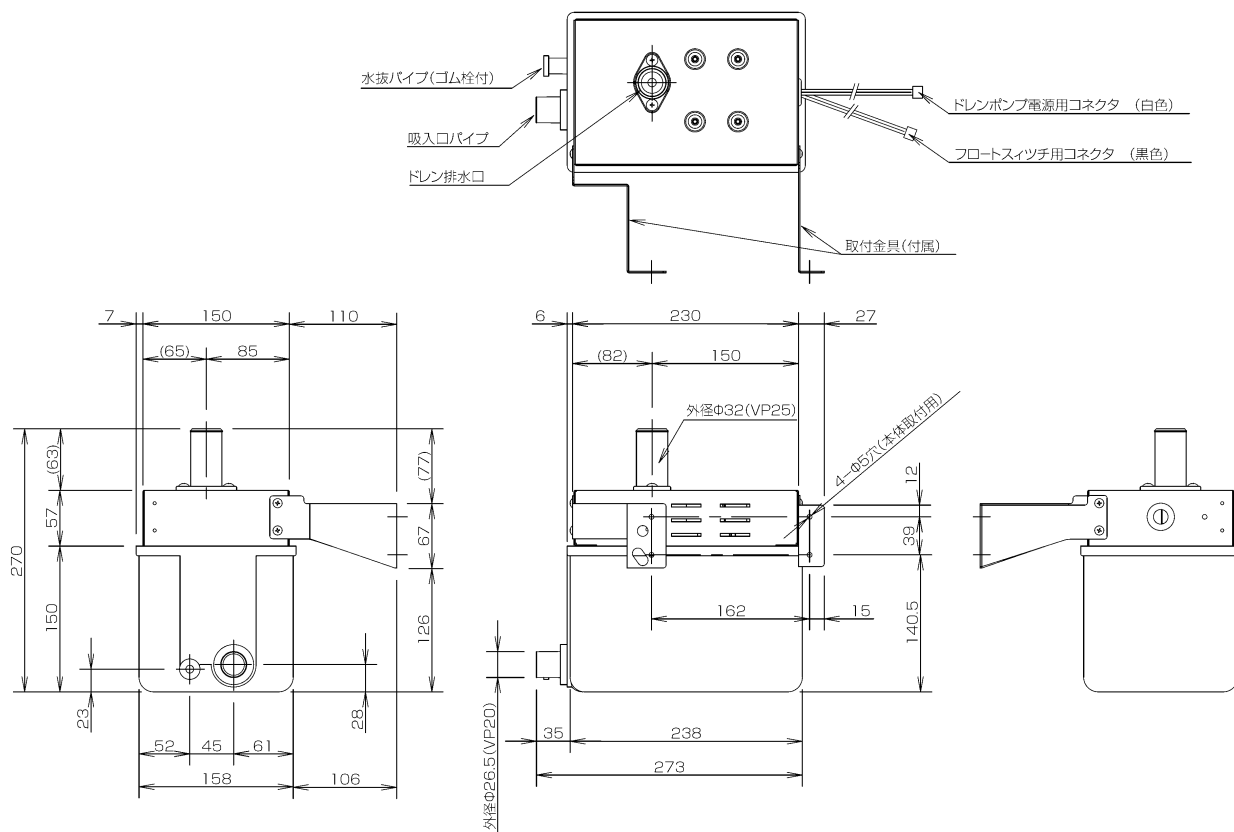
品 番		DP-U140B
適 用 機 種		110形
ドレンアップポンプ	電圧 (V)	単相200V (50/60Hz)
	電流 (A)	0.13/0.10
	入力 (W)	12/11
	使用流体	ドレン水
	使用温度	流体温度: 0~40℃ (但し、ドレン水凍結なきこと) 周囲温度: 0~45℃ (湿度RH95%以下)
	吐出量 (cc/min)	400cc/min以上、揚程1200mm 水位10mm、定格電圧

●DP-U280B

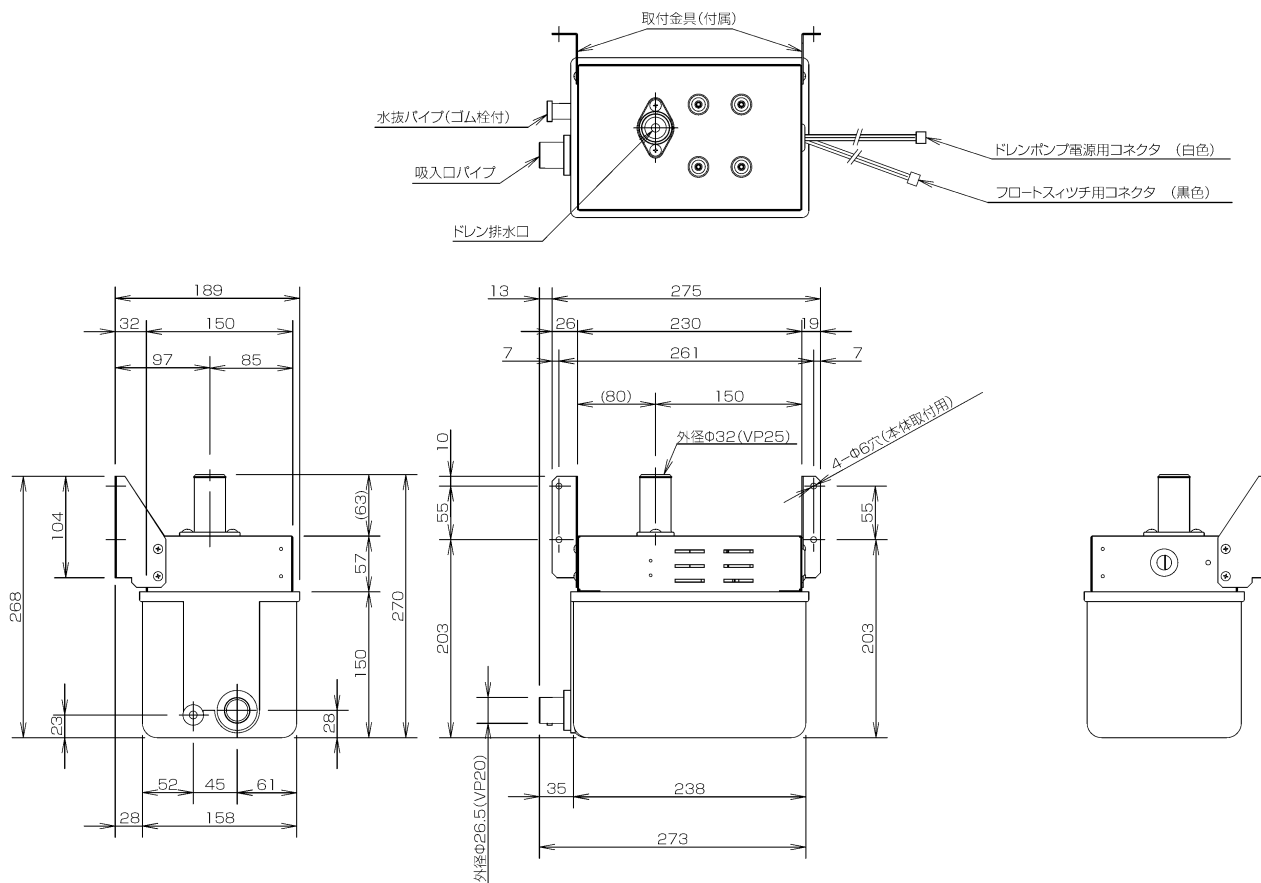
■仕様

品 番		DP-U280B
適 用 機 種		170・210形
ドレンアップポンプ	電圧 (V)	単相200V (50/60Hz)
	電流 (A)	0.13/0.10
	入力 (W)	12/11
	使用流体	ドレン水
	使用温度	流体温度: 0~40℃ (但し、ドレン水凍結なきこと) 周囲温度: 0~45℃ (湿度RH95%以下)
	吐出量 (cc/min)	400cc/min以上、揚程1200mm 水位10mm、定格電圧

■外形寸法図〈DP-U140B〉



■外形寸法図〈DP-U280B〉



■据付方法

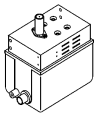
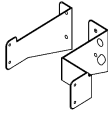
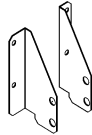
ドレンアップキット工事説明書

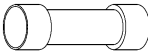
室内ユニットの添付資料「据付工事担当の方へ」「電気工事担当の方へ」「試運転担当の方へ」も必ず参照してください。

1. 適合エアコン形式

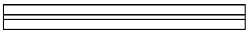
ドレンアップキット形名	140形	280形
適合機種	天井埋込ハイフレッシュ 110形	天井埋込ハイフレッシュ 170、210形

2. 付属部品

名称	ドレンアップキット本体	取り付け金具	取り付け金具
形状			
個数	1	各1	各1
備考	140, 280形共通	140形	280形

名称	ドレンホース断熱材付(本体接続用)	ホースバンド金具	本体接続側断熱材
形状	 L480mm(140形) L260mm(280形)	 Φ26用 Φ32用	 T5 T3
個数	1	各1	各2
備考	140, 280形	140, 280形共通	140, 280形共通

名称	ドレンホース(排水側)	排水側断熱材	排水側断熱チューブ
形状	 L230mm	 T5	 L300mm
個数	1	1	1
備考	140, 280形共通	140, 280形共通	140, 280形共通

名称	取り付けビス	クランパー	ビニールクランパー
形状	 4X12(2種)		 L300mm
個数	8	4	4
備考	140, 280形共通	140, 280形共通	140, 280形共通

安全上のご注意

- 据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、「⚠ 警告」、「⚠ 注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告 取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。

⚠ 注意 取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

*据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに“取扱説明書”にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また“据付工事担当のかたへ”、“電気工事担当のかたへ”は、“取扱説明書”と共に、お客様で保管頂くように依頼してください。

⚠ 警告

- 据付工事は、R410A用に製造された専用のツール・配管を使用し、確実に行ってください。
使用しているHFC系冷媒(R410A)は、従来の冷媒に比べ圧力が約1.6倍高くなります。
専用の配管部材を使用しなかったり、据え付けに不備があると、破裂、けが、または水漏れや感電・火災の原因になります。
- 据付、電気工事は、販売店または専門業者に依頼してください。
ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
- 据付工事は、“据付工事担当のかたへ”“電気工事担当のかたへ”に従って確実に行ってください。
据え付けに不備があると、冷媒漏れ、水漏れ、感電、火災等の原因になります。
- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」および“据付工事担当のかたへ”“電気工事担当のかたへ”に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
電源回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
- 小部屋へ据え付ける場合は万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策が必要です。
限界濃度を超えない対策については販売店と相談して据え付けてください。万一、冷媒が漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。(ビル用マルチの場合)
- 据え付けは、重量に十分耐える所に確実に行ってください。
強度が不足している場合は、ユニットの落下により、けがの原因になります。
- 作業中に冷媒ガスが漏れた場合は換気をしてください。
冷媒ガスが火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
- 設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認してください。
冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

⚠ 注意

- 可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わないでください。
万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。
- ドレン配管は、“据付工事担当のかたへ”に従って確実に排水するよう配管し、結露が生じないよう保温してください。配管工事に不備があると水漏れし、家財等を濡らす原因になることがあります。
- 冷媒配管の断熱は、“据付工事担当のかたへ”に従って確実に断熱してください。
断熱しないと、水漏れや、やけどの原因になることがあります。

3. 各室内ユニットのドレンアップキット取り付け位置

- 室内ユニットの据付状態が水平になっていることを確認して下さい。

a) 点検口の設置

- 点検サービス作業等が容易に行えるように、点検口を設けてください。

ドレンアップキット140形

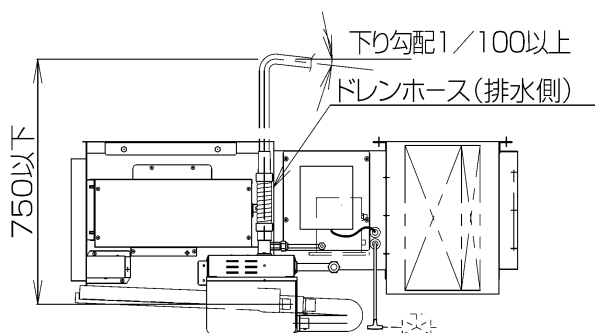
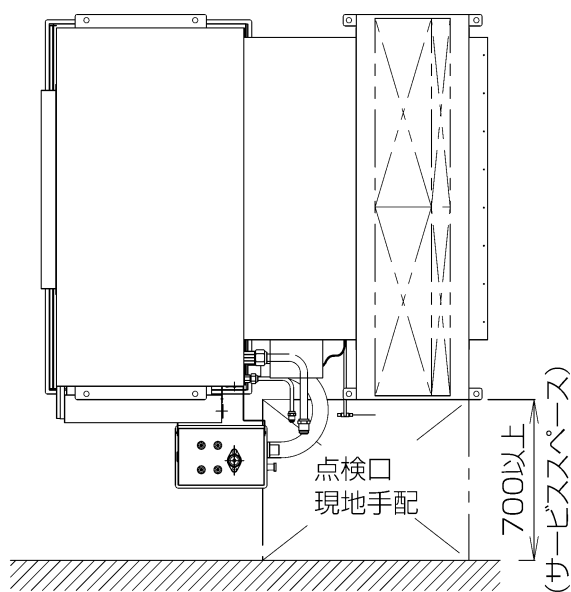


図-1

ドレンアップキット280形

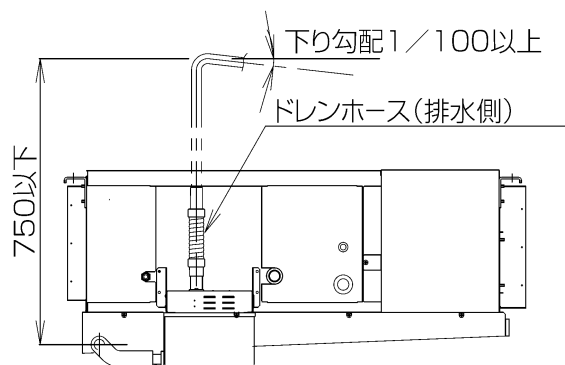
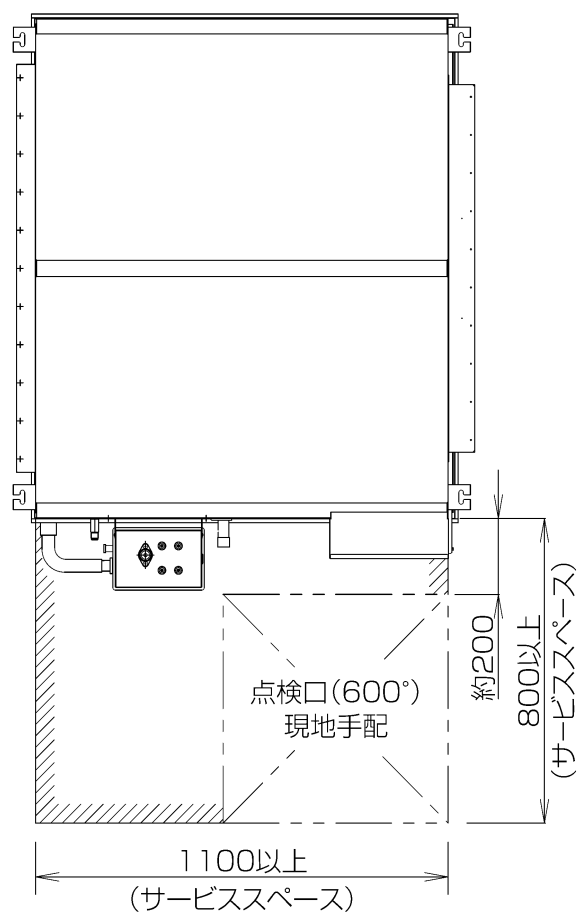
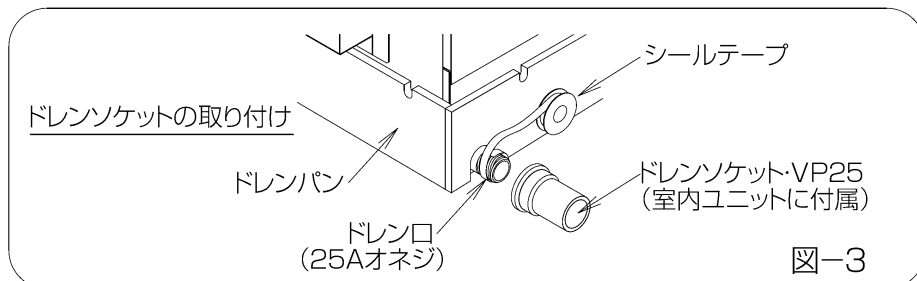


図-2

4. 取付方法

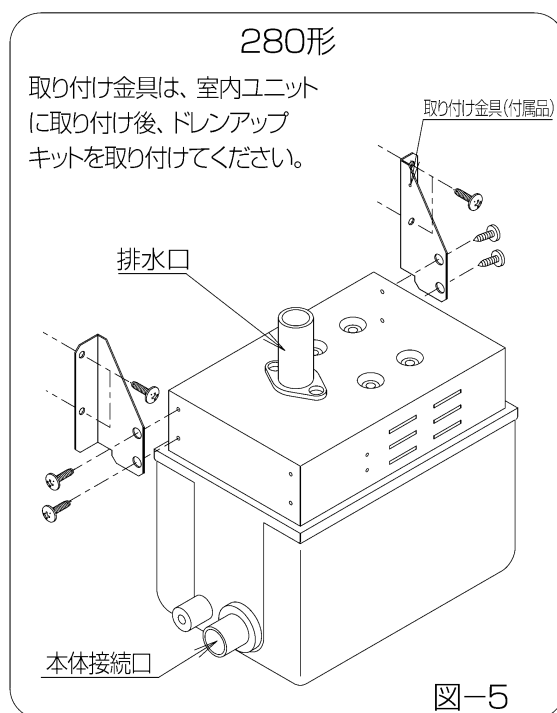
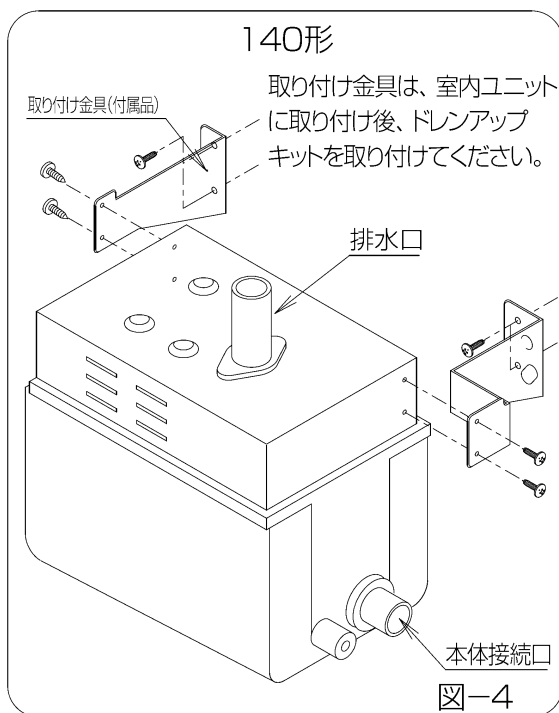
a) ドレンアップキットの取り付け準備

- ドレンソケット (VP25・室内ユニット付属品) を室内ユニットのドレン口に、図のように取り付けてください。(ドレン口にはシールテープを巻いてください。)



注意

室内ユニット取り付け用パネルの取り付け穴を変更して取り付けないで下さい。
ドレンアップキットのドレン皿容量が小さいため、フロートスイッチが作動し、運転ができなくなったり、水漏れの原因となります。



*ドレンアップキット本体接続口と排水口のテープは取り外してください。

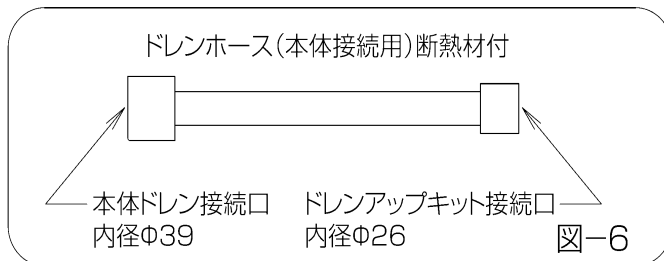
b)室内ユニット、ドレンアップキットとドレンホース(本体接続用)の取り付け

- 室内ユニットとドレンホースの取り付けは、図のように取り付けてください(図-7)
ドレンホース両端の口径は違いますので、接続時は十分に注意してください。

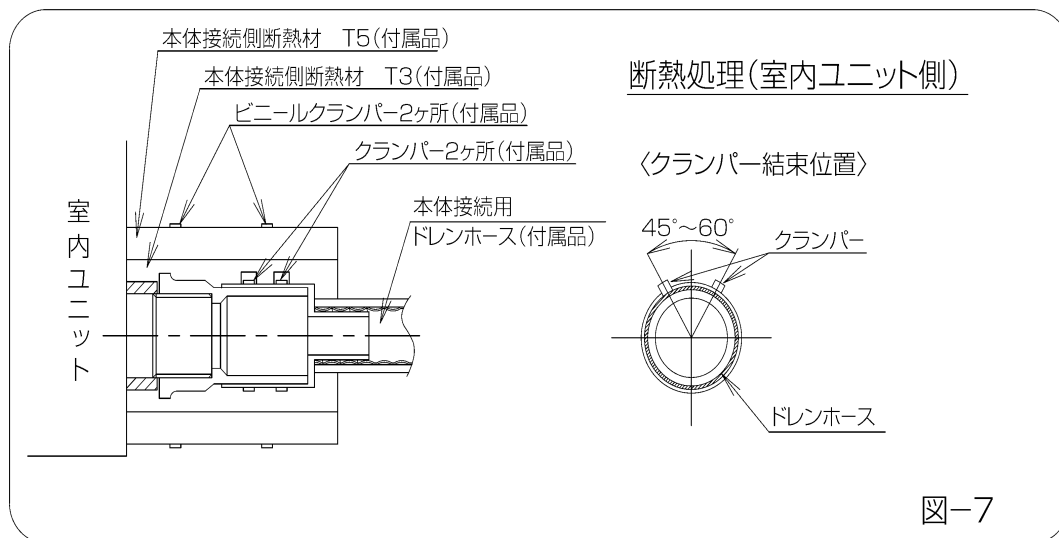
⚠ 注意

本体接続用ドレンホースは、ねじれ、曲がり、つぶれ等ないように取り付けてください。

また、室内ユニットドレン口よりドレンホースは、絶対高くしないでください。
水漏れの原因となります。

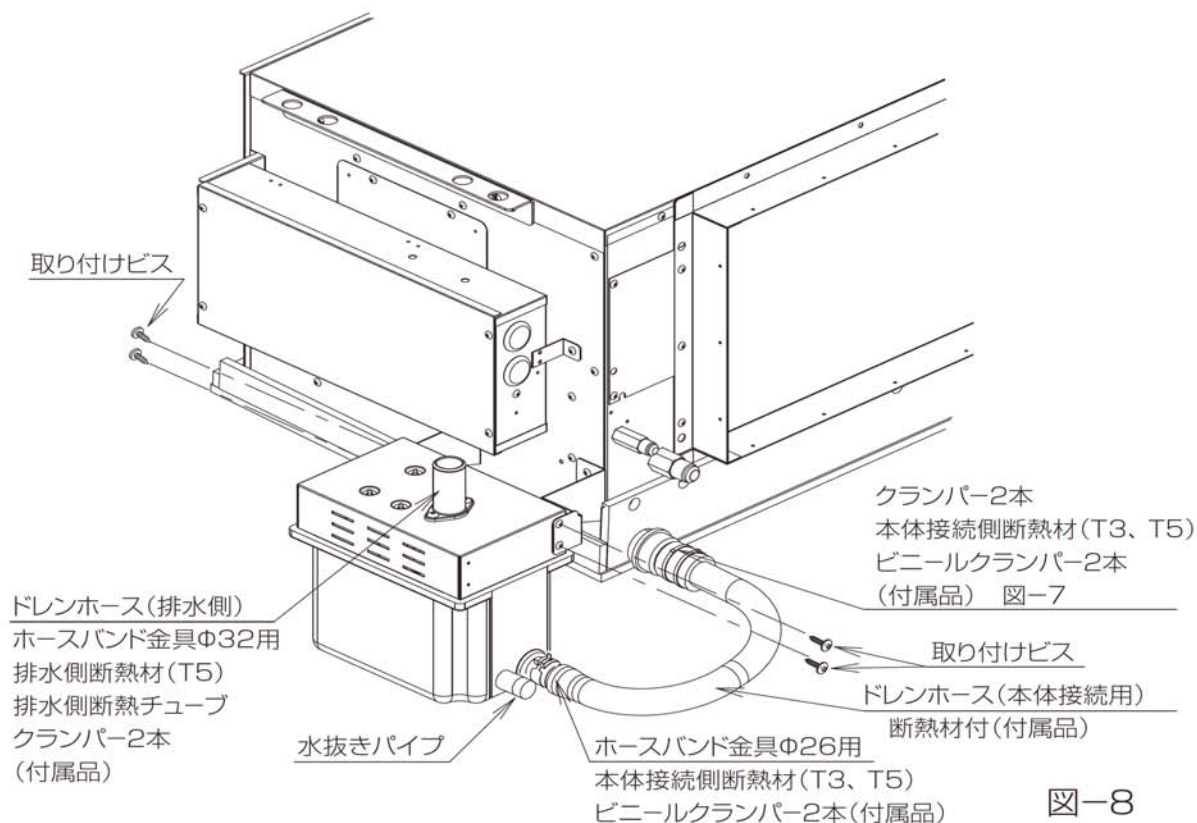


- 室内ユニットとドレンアップキットの間にトラップは設けないでください。
- ドレンホース取り付け後、室内ユニット側はクランパー(付属)、ドレンアップキット側はホースバンド金具φ26用(付属)で固定してください(図-7, 8, 9)
- ドレンアップキット本体接続口は、ドレンホースを根元まで差し込み、ホースバンド金具φ26(付属)をプライヤー等でつまみながら水漏れのないよう取り付けてください(図-8, 9)

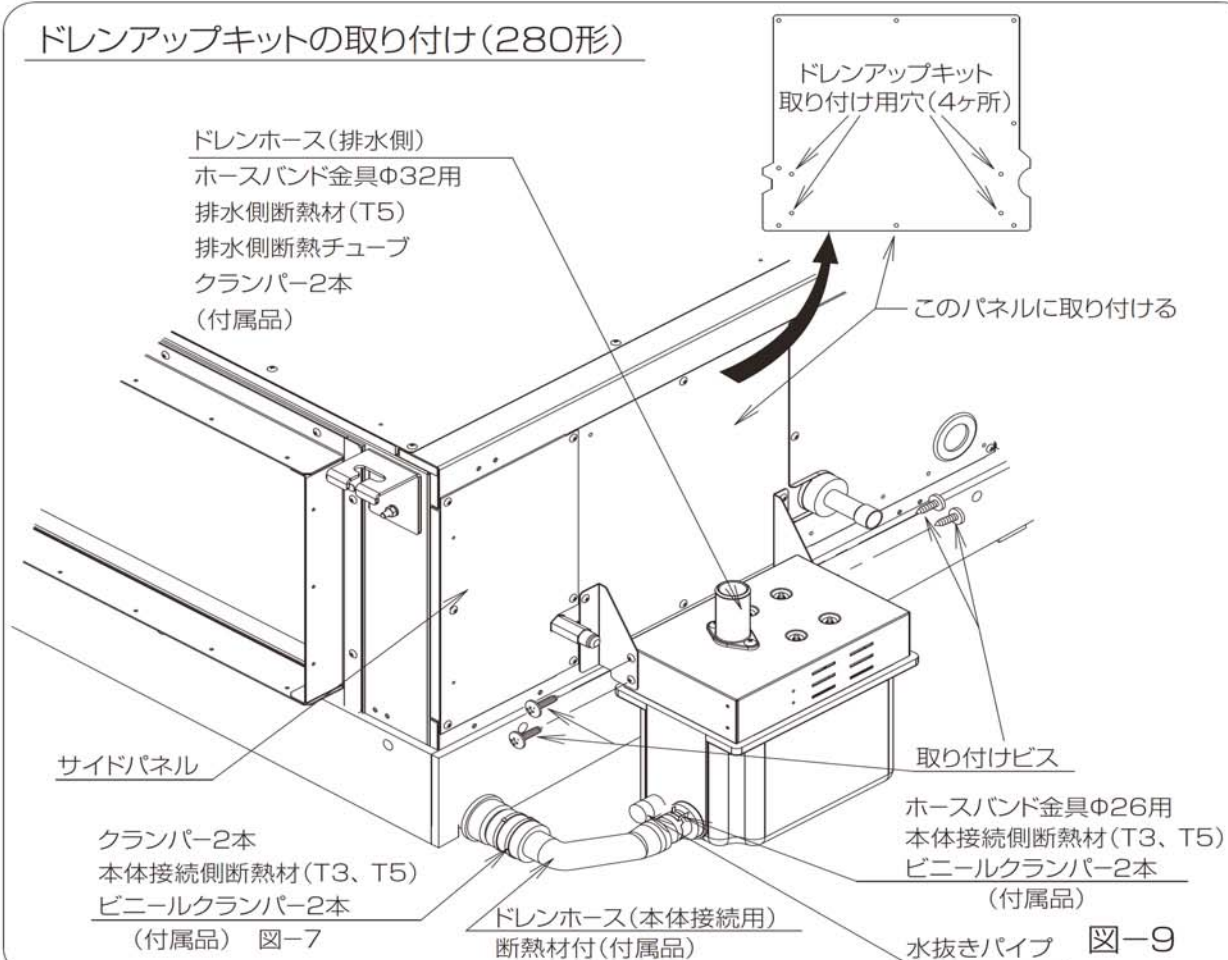


- 本体接続用ドレンホース両端に付属の本体接続側断熱材(T3、T5)を巻き付けてください。
- 本体接続用ドレンホース両端に付属のビニールクランパーで固定してください。

ドレンアップキットの取り付け(140形)



ドレンアップキットの取り付け(280形)





注意

- ドレン配管は工事説明書に従って確実に排水するよう配管し、結露しないよう断熱してください。水漏れの原因となります。
- ドレンアップキットを取り付けた場合、室内ユニット吸込み側機外静圧は、定格機外静圧の80%以下で使用してください。*水漏れの原因になります。

c) 現地ドレン配管のしかた

ドレンホースの取り付け(図-10)

- ドレンアップキット排水側に、付属のドレンホース(排水側)を取り付けてください。
- ドレンホース(ドレンアップキット側)を、付属のホースバンド金具Φ32用で固定してください。
- ドレンホース(ドレンアップキット側)に排水側断熱材(T5付属)を巻き付けてください。
- ドレンホースに、付属の排水側断熱チューブを巻き付けてください。
- 排水側断熱チューブを、付属のクランパー2本で固定してください。
- 室内部分にあるドレン配管は、必ず断熱してください。



注意

- ドレン配管は硬質塩ビパイプ一般管VP25を使用し、漏れのないよう接着剤で結合してください。
- ドレン配管は必ず下り勾配(1/100以上)とし、トラップや山越えを作らないようにしてください。
- ドレン配管が長い場合には、途中に支持金具を設けてドレン配管の波打ちをなくしてください。
- エアー抜き管は絶対に付けしないでください。ドレンが吹き出ることがあります。
- ドレンアップ高さは、室内ユニット本体ドレン口センターより750mm以下とってください。

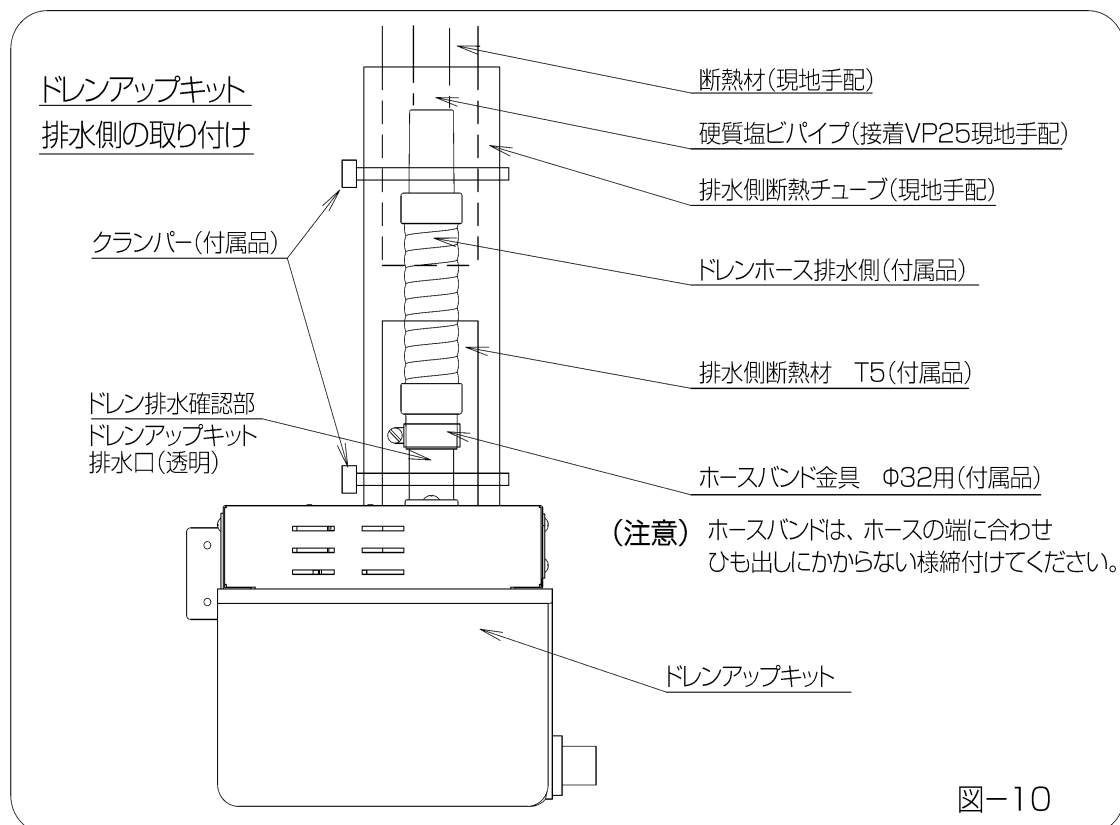


図-10

5. 電気配線

a) 室内ユニットの電装ボックスカバーをはずします。

b) 電気配線をしてください。

ドレンアップキットよりのリード線(ドレンポンプ電源用コネクタ-白色、フオートスイッチ用コネクタ-黒色)を室内ユニット電装ボックス内の中継コネクタに色を合わせて接続してください。

(注意) 配線は誤配線のないように接続してください。

- 電装ボックス内の2Pコネクタ(白、黒)に、ドレンアップキット2Pコネクタ(白、黒)を接続してください。(電装ボックス内2Pコネクタ-黒には短絡ソケット黒が付いていますので取りはずしてください。不要になります)

c) 配線作業の終了後は、電装ボックスカバーを元通りに取り付けてください。

6. 試運転について

ドレン排水の確認

- 配管工事、電気工事完了後、排水がうまく行われるか次の要領で確認して下さい。
(作業前にバケツやウエスを用意して下さい)

200V電源がきている場合

電装ボックス内の電源端子板(R, S端子)に電源を接続してください。

100V電源がきている場合

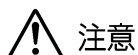
昇圧トランスを使用し、電装ボックス内の電源端子板(R, S端子)に電源を接続してください。

- 長時間冷房運転ができない場合は、室内ユニットサイドパネルをはずし、石油ポンプなどを使って水を少しずつ入れ、排水がうまく行われるか確認してください。また、各接続部から水漏れのないことも確認してください。

(注意)

電源投入後および運転停止後、約3分間は室内ユニット・ドレンアップキットは運転しません。
正常に運転できない場合には、リモコン液晶表示部に警報表示されます。
室内ユニットの添付資料「試運転担当の方へ」または「電気工事担当の方へ」を参照し、修正してください。

7. 長期間エアコンをご使用しない場合



注意

ドレンアップキットの水抜きパイプより、水抜きしてください。

ドレンアップキットの中に水が溜まっていますと、臭い、つまりの原因となります。

また、水抜きした場合には、必ずゴム栓で水漏れしないよう、しっかりと締めてください。

(15) クリーンエアコン

取付説明書 吸込一体形用パネル 壁下吸込形用パネル

品番	CZ-45KPCK4	CZ-56KPCK4	CZ-71KPCK4
(吸込一体形)	S-G45CKS15	S-G56CKS15	S-G71CKS15
適用室内ユニット	S-G45CKS16	S-G56CKS16	S-G71CKS16

品番	CZ-45KPCD4	CZ-56KPCD4	CZ-71KPCD4
(壁下吸込形)	S-G45CDS15	S-G56CDS15	S-G71CDS15
適用室内ユニット	S-G45CDS16	S-G56CDS16	S-G71CDS16

取り付け工事の前に室外ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この取付説明書をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この取付説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



実行しなければならない内容（強制事項）です。

据え付け上の注意事項

警告

据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う

(ユニットの落下や水漏れ、感電や火災の原因)



パネル等の別売品は必ず当社指定の製品を使用してください。

また、別売品の取り付けは専門の業者に依頼してください。ご自分で取り付けをされ、不備があると、感電や火災、水漏れの原因になります。



別売品は当社指定の製品を

付属品

形体	品番	天井パネル取付ネジ		
		必要数量 (本)	予備数量 (本)	合計・付属数量 (本)
吸込一体形	CZ-45KPCCK4	22	2	24
	CZ-56KPCCK4	32	2	34
	CZ-71KPCCK4	32	2	34
壁下吸込形	CZ-45KPCD4	18	2	20
	CZ-56KPCD4	26	2	28
	CZ-71KPCD4	26	2	28

1. 天井パネルの取り付けかた

ご注意

- 作業はヘルメット、安全靴を着用して行ってください。
着用しないと、落下物によるけがなどの原因になります。

天井パネル取り付け

- 1) 天井パネルに取り付けられている吹出パンチング板を取りはずしてください。(図1)

- 天井パネル上面には仮止めキャッチ (4か所) が付いていますので、室内ユニットの角孔開口部に差し込む事により仮り止めできます。(図2)

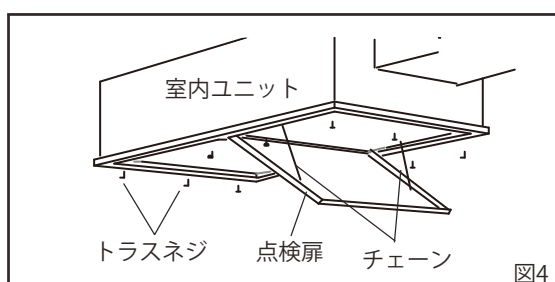
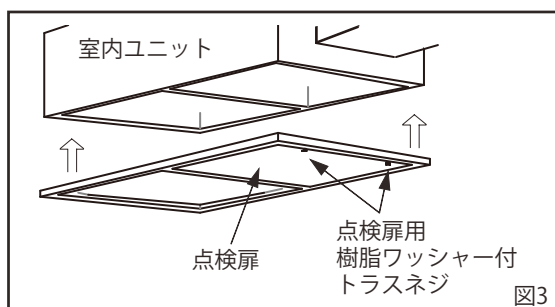
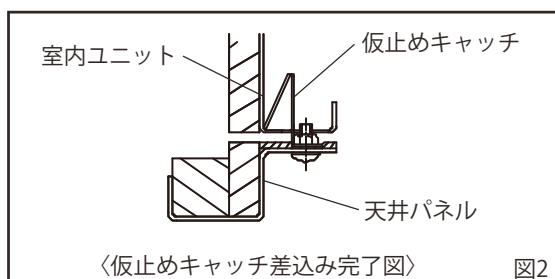
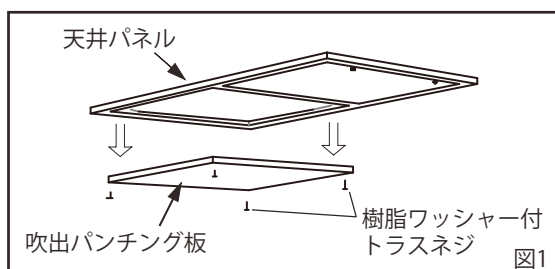
- 2) 天井パネルを持上げて、室内ユニットに押し当てて仮り止めしてください。(図3)

- 仮止めキャッチ (4か所) が確実に引掛かっているか確認してください。
- 天井パネルは仮り止めですので、すぐに次の作業を行ってください。

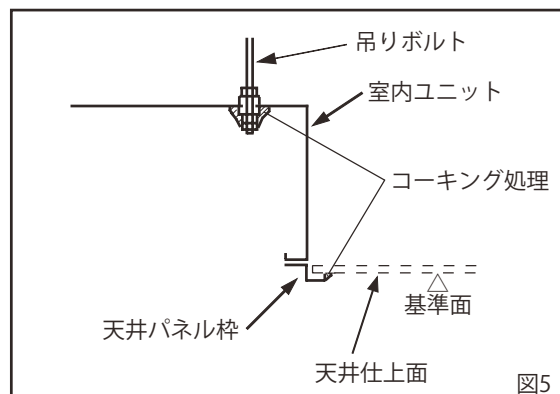
- 3) 点検扉を止めている、樹脂ワッシャー付トラスネジをゆるめて開けてください。(図4)

- 4) 点検扉を開けた奥と吹出しパンチング板をはずした奥に、天井パネル取り付け穴がありますので、付属のトラスネジで、天井パネルを室内ユニットに取り付けてください。(図4)

- 吸込一体形は吸込パンチング扉を止めているローレットビスもゆるめて、吸込パンチング扉を開けて天井パネルを取り付けてください。
- 吸込一体形の吸込パンチング扉にはプレフィルターが付いていますので、確認してください。



- 5) 吊りボルト部をシール材でコーキング処理をしてください。(図5)
- 6) 室内ユニットにあるチェーンを点検扉に付けて、樹脂ワッシャー付トラスネジ(締付トルク 0.9~1.0 N・m)で閉じてください。
- 7) 吹出パンチング板を樹脂ワッシャー付トラスネジ(締付トルク 0.25~0.3 N・m)で取り付けてください。
- 8) 天井仕上面と天井パネル枠の隙間をコーキング処理をしてください。(図5)



2. プレフィルターの取り付けかた

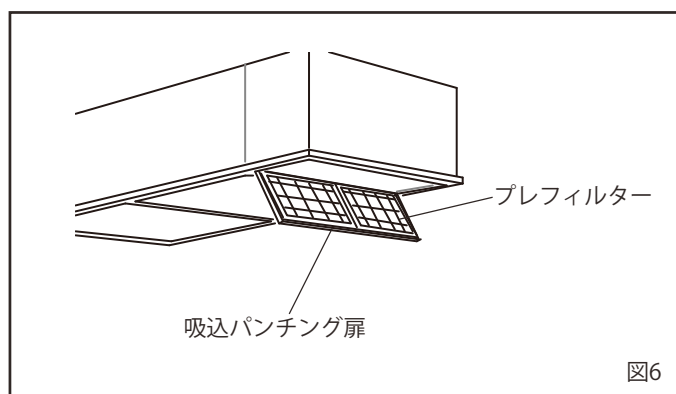
プレフィルターの取り付け

◆壁下吸込形の場合

- ・壁下吸込形には、プレフィルターは付いていません。
- ・必要に応じてプレフィルターを取り付ける場合は、壁面吸込口のふたの寸法に合せて裁断し、裏側に取り付けてください。

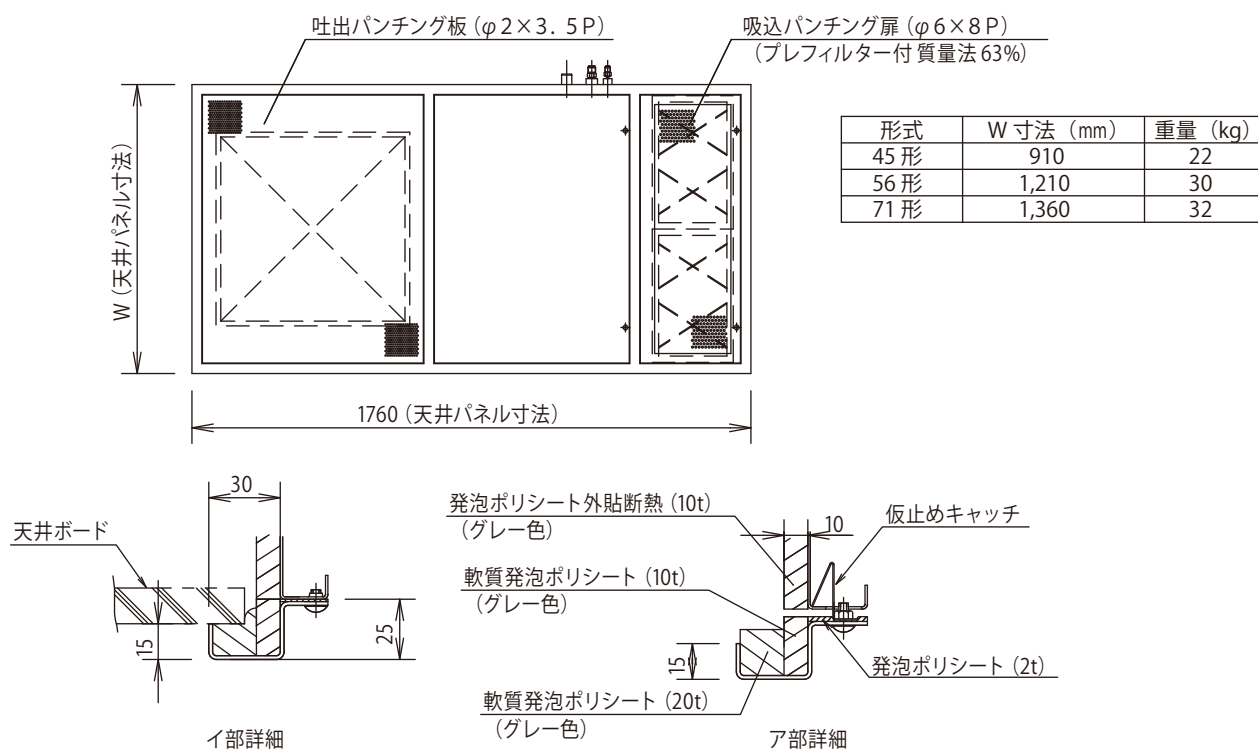
◆吸込一体形(逆流防止ダンパー付)

- ・プレフィルターはあらかじめ、吸込パンチング扉内に取り付けてあります。
- ・プレフィルターが付いているのを確認し、吸込パンチング扉を閉じてください。(図6)

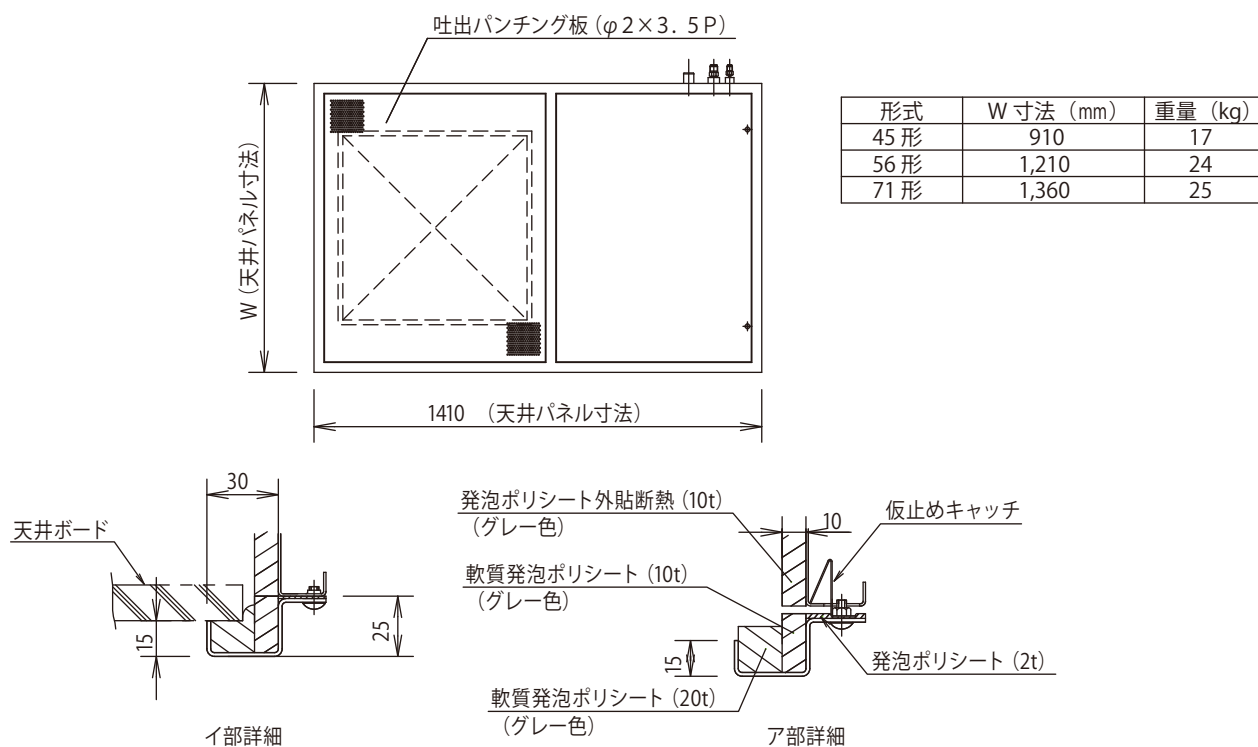


3. 製品の構造

■ 吸込一体形



■ 壁下吸込形



取付説明書 HEPA フィルター

品番	CZ-28SHCK4	CZ-45SHCK4	CZ-56SHCK4
(吸込一体形)	S-G71CKS15	S-G45CKS15	S-G56CKS15
適用室内ユニット	S-G71CKS16	S-G45CKS16	S-G56CKS16
品番	CZ-28SHCK4	CZ-45SHCK4	CZ-56SHCK4
(壁下吸込形)	S-G71CDS15	S-G45CDS15	S-G56CDS15
適用室内ユニット	S-G71CDS16	S-G45CDS16	S-G56CDS16

取り付け工事の前に室外ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この取付説明書をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この取付説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

**警告**

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

**注意**

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



実行しなければならない内容（強制事項）です。

据え付け上の注意事項

**警告**

据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
(ユニットの落下や水漏れ、感電や火災の原因)



HEPA フィルター等の別売品は必ず当社指定の製品を

HEPA フィルター等の別売品は、必ず、当社指定の製品を使用してください。

また、別売品の取り付けは専門の業者に依頼してください。ご自分で取り付けをされ、不備があると、感電や火災、水漏れの原因になります。



別売品は当社指定の製品を

1. HEPA フィルターの取り扱い

ご注意

- HEPA フィルターを取り扱う際には枠の部分を持ち、決してフィルター表面は触らないでください。フィルター表面は痛みやすく、破損した場合フィルターからの空気漏れの原因になります。
- HEPA フィルターを梱包していますポリ袋は、ちり、ほこり付着防止のため取り付ける直前に、取りはずしてください。
- HEPA フィルターの輸送・保管時は、横積みをしてください。
水平にして輸送すると振動・衝撃などによって素材が破損し、フィルターからの空気漏れの原因になります。
- HEPA フィルターは洗浄などによる再生使用はできません。
性能が低下した場合は必ず新品と交換してください。
なお、交換時期の目安は清浄度10,000クラスで約3年です。

1. 輸送

- ・ 持ち運びには、滑り止め手袋を着用してください。
- ・ 持ち運び方は、ダンボール箱を傾けて箱の対角線上の2つの角を持って運んでください。
- ・ 床に置く時は、フィルター底面が平均に着地するように静かに置いてください。
- ・ 車に積む時は、3段以上積み重ねないでください。
- ・ 製品の上に乗ったり、寄り掛かったり、また無用な外力を与えないでください。
- ・ 梱包ダンボール箱外側に明示してある諸注意の記号に注意して、作業してください。

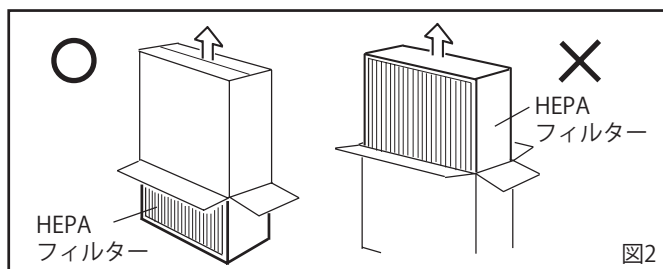
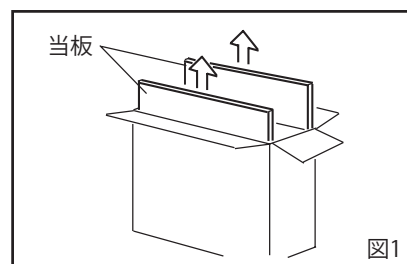
2. 保管

- ・ 保管場所は温度、湿度の変化が少なく、直射日光、風雨を避けられるところにしてください。
- ・ 角材を下に敷くなどして直接床に置かないでください。
- ・ 水漏れ汚染等が考えられる場所では、保管しないでください。

3. 開梱

● 開口部を上にした状態で、HEPA フィルター本体を持ち、抜き取らないでください。

- 1) 平坦な床面に置き、ダンボール箱のシールテープをはがしてください。
- 2) フィルターに付いている仕様銘板の型式を確認してください。
- 3) 箱のふたを外側に開き、当板を垂直に抜き取ってください。(図1)
- 4) 開いた箱の口を、静かに下に向けて、HEPA フィルターを床面に接地させてください。
- 5) 箱を垂直に抜き上げて取り去ってください。(図2)
- 6) ポリ袋は、取り付ける直前に取りはずしてください。



2.HEPA フィルターの取り付けかた

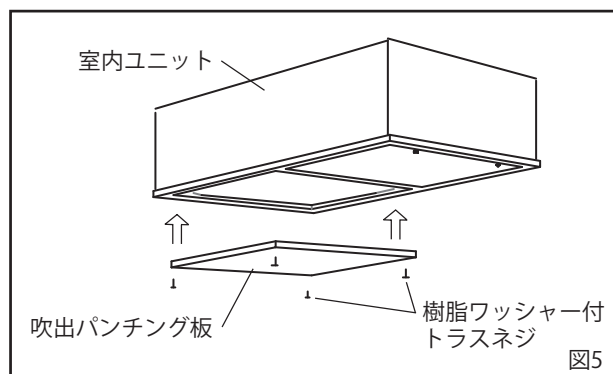
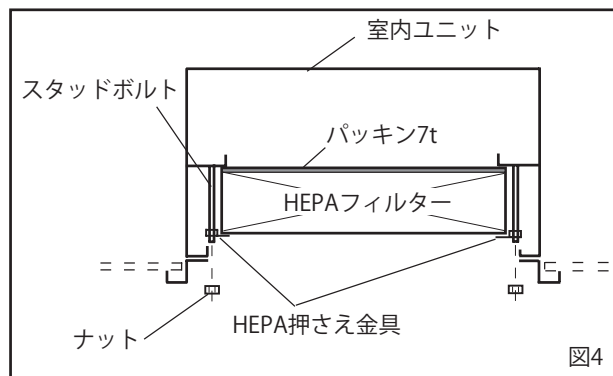
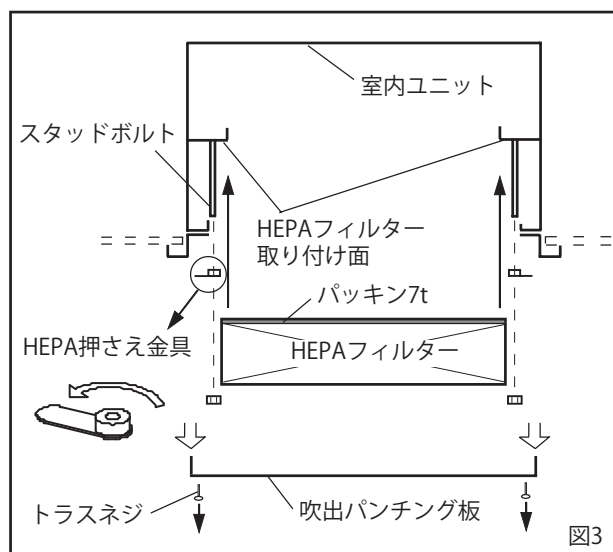
ご注意

- フィルター表面を上下のスタッドボルトに当てないように、注意してください。
- 作業はヘルメット、安全靴を着用して行ってください。
着用しないと、落下物によるけがの原因になります。
- HEPAフィルターの交換作業は保護具として、手袋、マスク、保護メガネを着用してください。
着用しないと、ちり、ほこりなどを吸い込み健康を害する原因になります。
- HEPAフィルターの固定の目安は、HEPAフィルターを室内ユニットに押しあてた状態で、HEPA押さえ金具を取り付け、ナットが突きあたるまで締めます。その状態からナットを2～3mm締め込んでください。

HEPAフィルター取り付け

- フィルター表面をスタッドボルトに当てないように、注意してください。

- 1) 吹出パンチング板をはずしてください。(図3)
- 2) スタッドボルトに付いている、HEPA押さえ金具とナットをゆるめてください(1つのHEPAフィルターに対し4か所)。
- 3) HEPA押さえ金具を外側に向けてください。(図3)
- 4) HEPAフィルター取り付け面のゴミ・汚れを取り、表面をきれいにしてください。
- 5) HEPAフィルターのパッキン側を上にして、本体ユニットに押し込んでください。(図4)
- 6) HEPAフィルターを室内ユニットに押し込んだ後、HEPA押さえ金具を回してHEPAフィルターの枠に引っ掛けてください。
- 7) パッキンを2～3mm押しつぶす程度にナットをボックスレンチ等で締め付けてください。パッキンの押しつぶし目安は、上記ご注意を確認してください。
- 8) 吹出パンチング板を樹脂ワッシャー付トラスネジ(締付トルク 0.25～0.3 N・m)で取り付けてください。(図5)

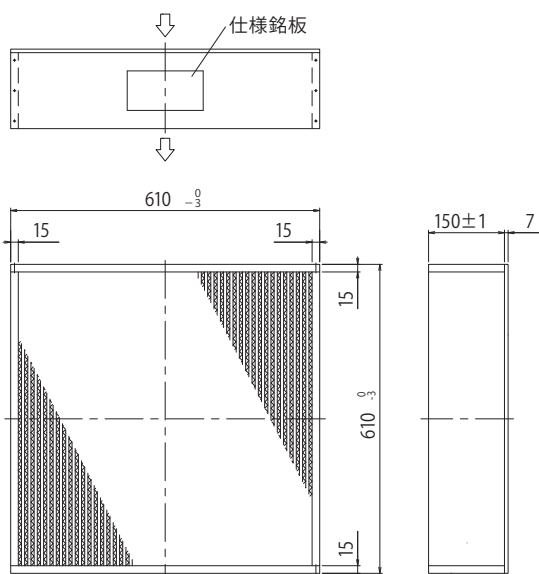


仕様

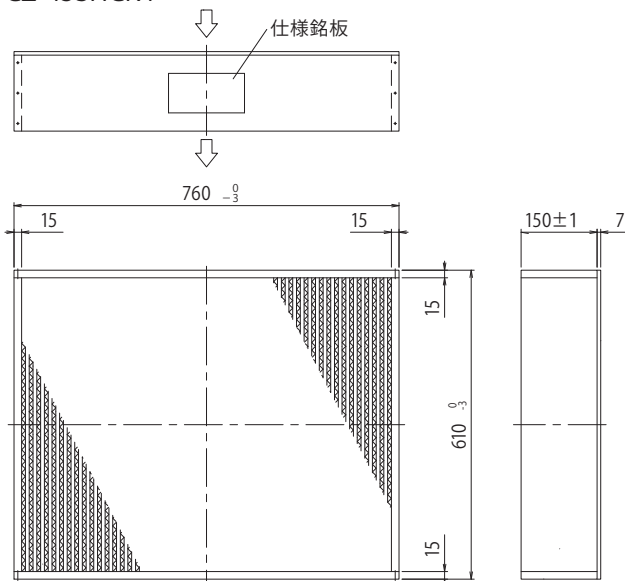
仕 様				
型式		CZ-28SHCK4	CZ-45SHCK4	CZ-56SHCK4
外形寸法 (W×H×D)	mm	610 × 610 × 150	760 × 610 × 150	915 × 610 × 150
捕集効率		0.3 μmPAO にて 99.97 %以上	0.3 μmPAO にて 99.97 %以上	0.3 μmPAO にて 99.97 %以上
ファンユニット 標準風量時圧力損失	50Hz	25.0 m ³ /min 初期 91 Pa ~ 最終 182 Pa	17.5 m ³ /min 初期 126 Pa ~ 最終 252 Pa	20.0 m ³ /min 初期 118 Pa ~ 最終 236 Pa
	60Hz	26.5 m ³ /min 初期 96 Pa ~ 最終 192 Pa	20.0 m ³ /min 初期 144 Pa ~ 最終 288 Pa	23.0 m ³ /min 初期 136 Pa ~ 最終 272 Pa
質量	kg	9	11	13

外形寸法図

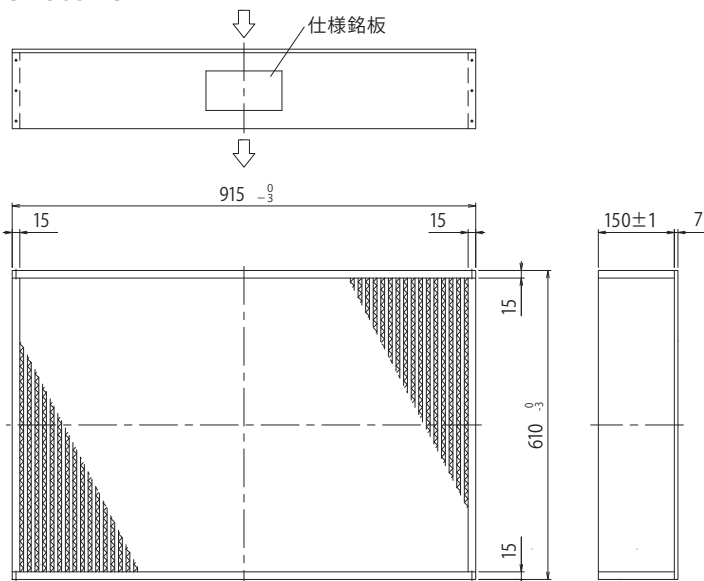
CZ-28SHCK4



CZ-45SHCK4

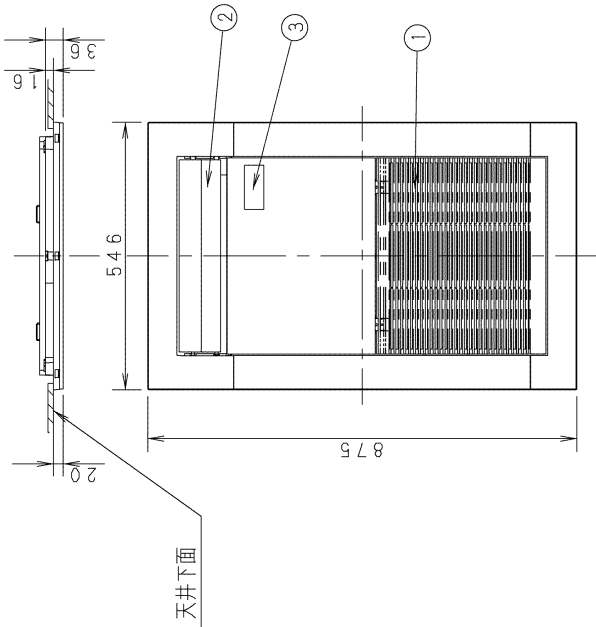
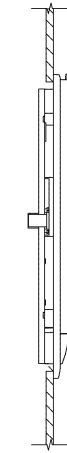
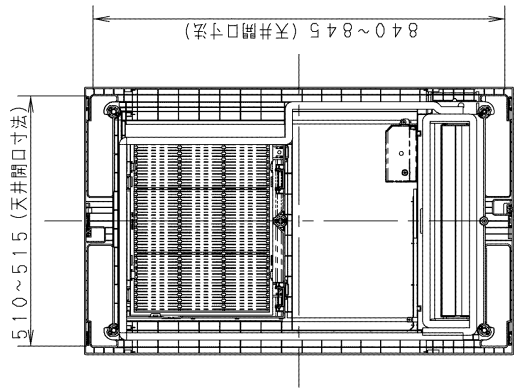


CZ-56SHCK4



(16) 1方向天井カセット スリム形 (T1形)
天井パネル (CZ-28KPDS45)

品番	パネル色
CZ-28KPDS4	ホワイト (マンセル記号 N9. 3)



① 吸込口
② 吹出口
③ 照度センサー-受光部

《パネル質量》
3kg
《フィルター寸法》
(367×266×13) ※1個

Panasonic®

据付工事説明書

品番 天井パネル CZ-28KPDS4

適用室内ユニット 1方向天井カセットスリム形

- 取り付け工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この据付工事説明書をよく読み、のうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この据付工事説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容（禁止事項）です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



実行しなければならない内容（強制事項）です。



警告



- 据付・電気工事は、販売店か専門業者に依頼する（感電・火災等の原因）
- 据付工事は、室内ユニットの「据付工事説明書」に従って行う（感電・火災等の原因）
- 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う（ユニットの落下による、けがの原因）
- 据付作業中に冷媒が漏れたときは換気する据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する（冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因）

- 電気工事は、電気工事が下記に従って行う

- 電気設備に関する技術基準
- 内線規程
- 据付工事説明書（感電・火災の原因）

- 配線は、所定のケーブルを確実に接続・固定する

- 端子接続部に、ケーブルの外力が伝わらないようにする。（発熱・火災等の原因）

- 工事は、ユニットの漏電しゃ断器を切ってから行う（感電の原因）

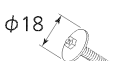


注意



- 可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へ設置しない（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

- 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

本体		付属品	
品名	天井パネル	座付ネジ	
個数	1	5	M5X26 φ18
形状		 座付ネジはパネル本体にあらかじめ取り付けられています。	

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

1. 取り付け前の準備

1. 室内ユニット位置の確認

①天井開口穴が下記の範囲内か確認します。

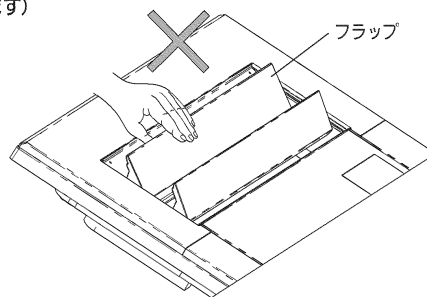
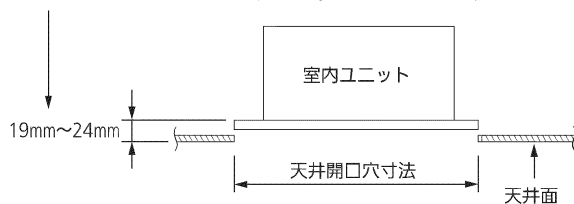
510～515 mm × 840～845 mm

②梱包箱に印刷されている据付原寸図を使用し、天井面と室内ユニットの位置出しを行ないます。天井面と室内ユニットの位置が合わないとう風漏れや水漏れおよびフラップの作動不良等の原因となります。

●パネルを下向きに置くことや、立掛け、突起物の上への放置は表面に傷がつきますので絶対にしないでください。

●フラップにさわったり、力を加えたりしないでください。(フラップの故障の原因となります)

必ず19mm～24mmの範囲内とすること。
この範囲が守られない場合、故障等の原因となります。

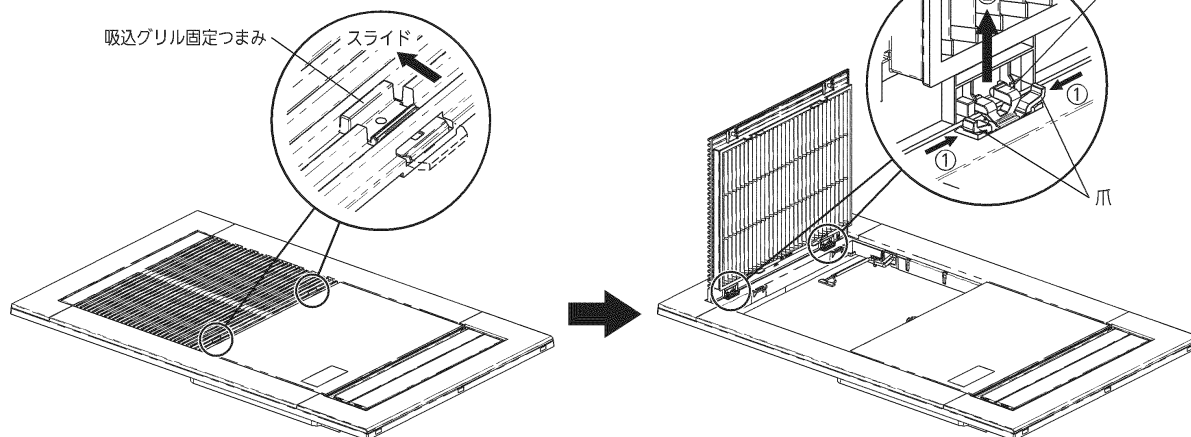


2. 取り付けかた

1. 吸込グリルの取りはずし

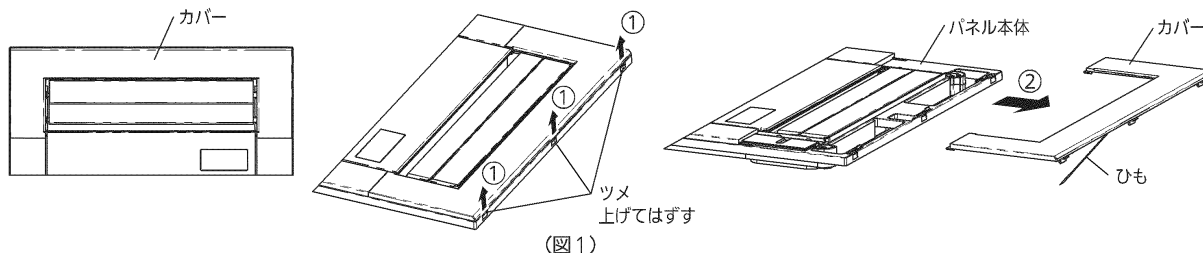
吸込グリル固定つまみを矢印方向にスライドし、吸込グリルを開いてください。

吸込グリルが開いた状態で、後部ヒンジ部をの爪部①をつまんで吸込グリルを②方向に引き抜いてください。



2. カバーの取りはずし

カバーのツメを矢印①の方向へ押し上げてはずし、カバーを矢印②の方向へスライドしはずしてください。(図1)



3. パネル本体の取り付け

フラップの角度変更は電源を入れなければできません。(フラップを手で動かさないでください。手で動かすと壊れるおそれがあります。)

①パネル本体内部の仮掛け金具を室内ユニットの引掛け部に挿入し仮掛けしてください。(図2)

②パネル本体の取付穴と室内ユニットのネジ穴を合わせてください。

③パネル本体に取り付けられている座付ネジ (M5×26) でパネル本体取付部の5か所を室内ユニットに密着するまで締め込んでください。(図3)

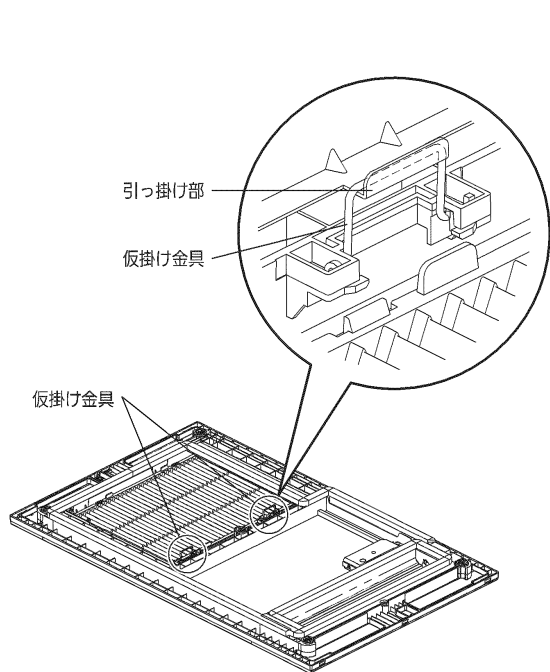
④パネル本体が天井に密着したことを確認してください。

●この時、室内ユニットとパネル本体、およびパネル本体と天井面との間に隙間がないようにしてください。(図4)

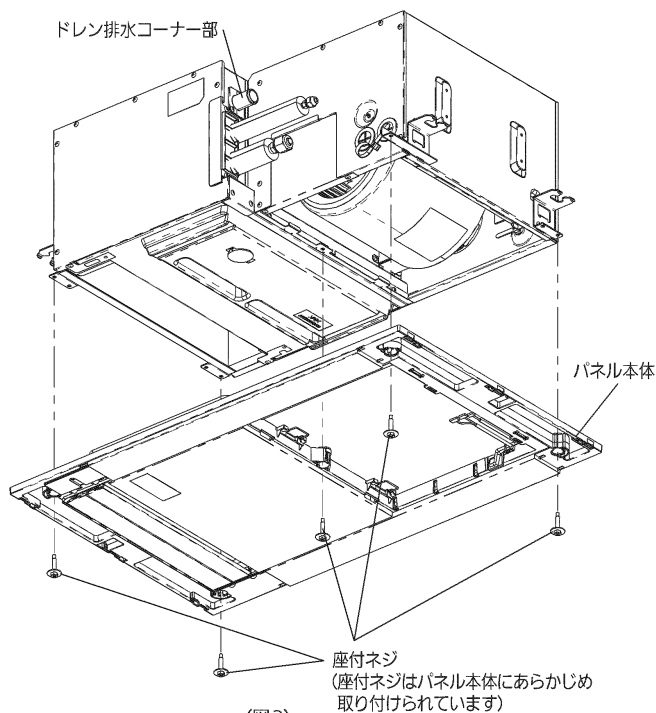
●天井との隙間が生じた場合、パネル本体を取り付けたまま、室内ユニットの据え付け高さを微調整し、天井との隙間をなくしてください。(図5)

●パネルの長手方向中央部に隙間が生じた場合、座付ネジ (中央) を締め込んでください。

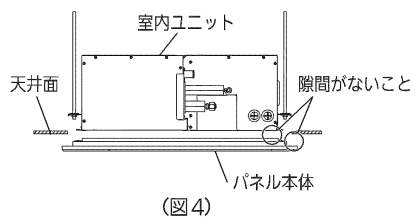
●はずす場合はパネル本体を支えながら仮掛け金具を外側に押してください。



(図2)

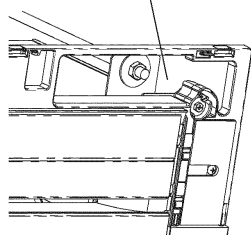


(図3)



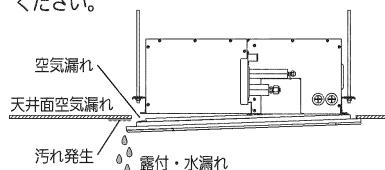
(図4)

カバー取付部の穴よりスパナ等の一般工具にて、室内ユニットのナットを微調整してください。

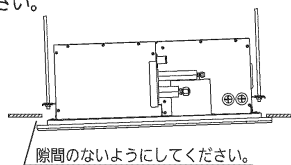


(図5)

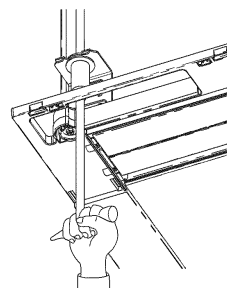
●座付ネジの締め込みが不十分な場合、下図のような不具合発生の原因となりますので確実に絞め込んでください。



●座付ネジを締め込んでも天井面とパネル本体との間に隙間ができる場合は室内ユニットの高さを再調整してください。

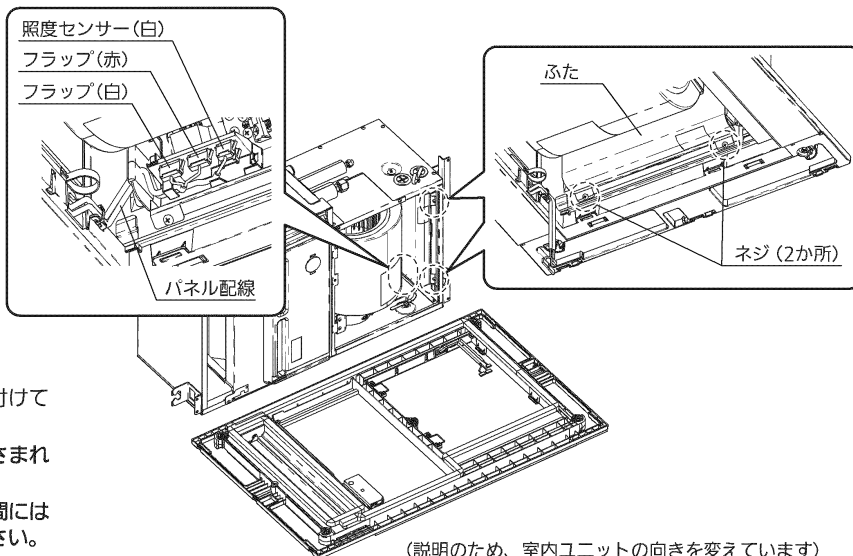


室内ユニットの水平度、ドレン配管等に影響がでない程度であればパネル本体のコーナー部の穴よりパネル本体を付けたまま本体の高さ調整ができます。



4. パネル本体の配線方法

- ①電装ボックスのふたをネジをゆるめて取りはずしてください。
(ふたはネジをはずさなくても取りはずしができます。)
- ②パネル本体から出ている配線コネクタを室内ユニットの基板のコネクタに接続してください。
- コネクタを基板に接続したのち、軽く引っ張り抜いたりぐらぐらししないことを確認してください。
(確実に接続されていないとオートフラップが動作せず、リモコンに“P09”が表示されます。)
- ③電装ボックスのふたを元通りに取り付けてください。
- 配線が電装ボックスとふたの間にはさまれていないことを確認してください。
- 配線が室内ユニットとパネル本体の間にはさまれていないことを確認してください。



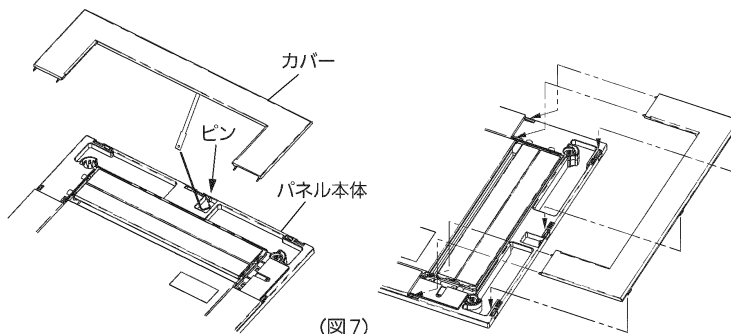
(図6)

(説明のため、室内ユニットの向きを変えています)

5. カバー・吸込グリルの取り付け

A. カバーの取り付け

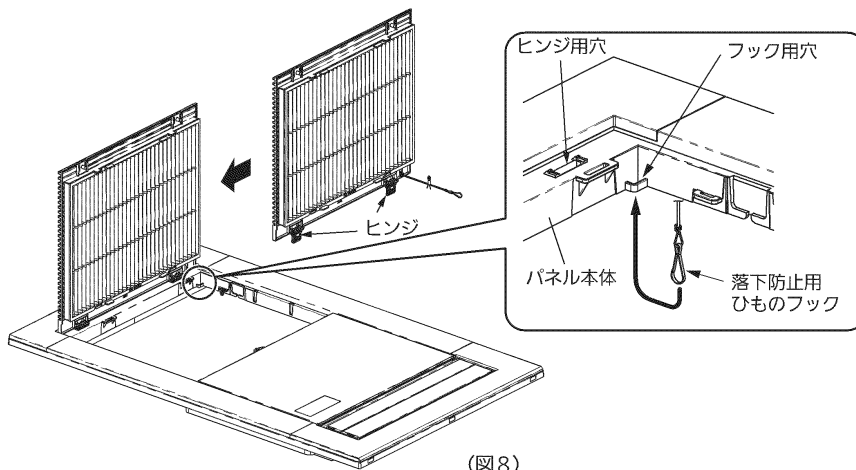
- ①カバーのひもを図7のようにパネル本体のピンに引っかけてください。
- ②カバーの爪をパネル本体に差し込み、取り付けてください。



(図7)

B. 吸込グリルの取り付け

- ①吸込グリル落下防止用ひもをパネル本体に図8のように取り付けてください。
- 落下防止用ひもを取り付けない場合、吸込グリルが落下するおそれがあります。
- ②吸込グリルのヒンジをパネル本体のヒンジ用穴に挿入してください。
- 吸込グリルを取り付ける際、配線をはさまないように注意してください。



(図8)

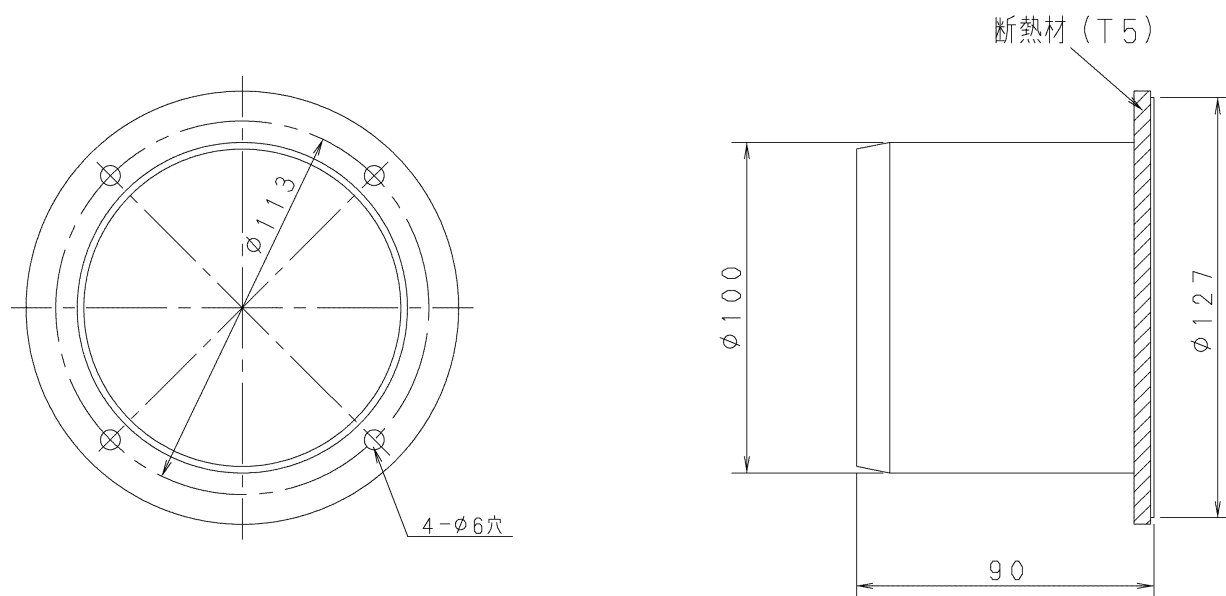
3. その他

据え付け後の確認

- 室内ユニットとパネル本体、およびパネル本体と天井面に隙間のないことを再確認してください。
※隙間があると水漏れや露付の原因となります。
- 配線接続が確実にされていることを確認してください。
※接続されてないとオートフラップが動かない(リモコンにP09の表示が出ます)、また水漏れや露付等の原因となります。

外気取入丸合フランジφ100 (CZ-A T100)

●外形寸法図



Panasonic[®]**据付工事説明書**

丸合フランジ (φ100)

品番 CZ-DA100

適用室内ユニット 1方向天井カセットスリム形

- 据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

**警告**

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

**注意**

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容（禁止事項）です。



実行しなければならない内容（強制事項）です。

**警告**

- 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
(ユニットの落下や水漏れの原因)

- 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に
(ユニットの落下による、けがの原因)
■付属品は当社指定の部品を使用する
(指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因)

**注意**

- 周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
(万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因)

- 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■使用上のご注意

- ・別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
- ・この据付工事説明書は、室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

1. 付属品

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

名 称	個数	名 称	個数	据付工事説明書	個数
丸合フランジ (φ100)	1	取付ネジ (M4×12)	4		1

2. 取り付けかた

● 1方向天井カセットスリム形の場合

- (1) 室内ユニット側板の切り込み部を、ニッパ等で切断してください。(図14)
- (2) 室内ユニット断熱材をカッターナイフ等で切り込みに沿って切断し、切り取ってください。
断熱材の切りくずはよく取り除き、製品内部に残らないようにしてください。
- (3) 丸合フランジを付属の取付ネジ4本で取り付けてください。(図15)

